

# イベント・ログ・システム メッセージの手引き



SC88-6373-12  
(英文原典 : SC30-3682-14)



# イベント・ログ・システム メッセージの手引き



SC88-6373-12  
(英文原典 : SC30-3682-14)

お願い

本書をご使用になる前に、ixページの『特記事項』をお読みください。

本書は、イベント・ログ・システムのメッセージを使用するすべての IBM ネットワーク装置に適用されます。

IBM サポート Web サイトを使用して、コメントをお送り いただいても結構です。そのためには、次の URL において *Overall Site Feedback* をクリックしてください。

<http://www.networking.ibm.com>

本マニュアルに関するご意見やご感想は、次の URL からお送りください。今後の参考にさせていただきます。

<http://www.ibm.com/jp/manuals/main/mail.html>

なお、日本 IBM 発行のマニュアルはインターネット経由でもご購入いただけます。詳しくは

<http://www.ibm.com/jp/manuals/> の「ご注文について」をご覧ください。

(URL は、変更になる場合があります)

原 典： SC30-3682-14  
Event Logging System  
Messages Guide

発 行： 日本アイ・ビー・エム株式会社

担 当： ナショナル・ランゲージ・サポート

第1刷 2000.2

この文書では、平成明朝体™W3、平成明朝体™W9、平成角ゴシック体™W3、平成角ゴシック体™W5、および平成角ゴシック体™W7を使用しています。この(書体\*)は、(財)日本規格協会と使用契約を締結し使用しているものです。フォントとして無断複製することは禁止されています。

注\* 平成明朝体™W3、平成明朝体™W9、平成角ゴシック体™W3、  
平成角ゴシック体™W5、平成角ゴシック体™W7

© Copyright International Business Machines Corporation 1994, 1999. All rights reserved.

Translation: © Copyright IBM Japan 2000



# 目次

特記事項	ix
商標	xi
本書について	xiii
本書の対象読者	xiii
本書の構成	xiii
第1章 はじめに	1
メッセージの表示	1
事象の原因	1
メッセージの解釈	1
エラー・コードおよびパケット完了コード	5
第2章 AAA プロトコル (AAA)	7
第3章 アドレス解決プロトコル (ARP)	15
第4章 拡張対等通信ネットワーク機能 (APPN)	35
第5章 AppleTalk フェーズ 2 (AP2)	39
第6章 AppleTalk フェーズ 2 ルーティング・テーブル保守プロトコル (R2MP)	45
第7章 AppleTalk フェーズ 2 ゾーン情報プロトコル (ZIP2)	49
第8章 非同期転送モード・ネットワーク・インターフェース (ATM)	55
第9章 ATM インターリム・ローカル管理インターフェース (ILMI)	79
第10章 ATM LLC (ALLC)	83
第11章 ATM シグナル (SVC)	89
第12章 ATM シグナル用 ATM アダプテーション・レイヤー (SAAL)	93
第13章 自動導入機能 (AI)	97
第14章 帯域幅予約システム (BRS)	99
第15章 Banyan VINES (VN)	101
第16章 Bisync リレー (BRLY)	113
第17章 BOOTP (BTP)	115
第18章 ボーダー・ゲートウェイ・プロトコル (BGP)	117
第19章 IPv6 のボーダー・ゲートウェイ・プロトコル (BGP6)	127
第20章 ブリッジ・ルーティング (BR)	139
第21章 ブリッジング・ブロードキャスト・マネージャー (BBCM)	145

第22章	チャンネル関連シグナル	149
第23章	コンポーネント非表示機能 (NOT)	151
第24章	CPU 使用率モニター (PERF)	153
第25章	データ圧縮エンジン (COMP)	155
第26章	データ符号化サブシステム	159
第27章	データ暗号化 (ENCR)	161
第28章	データ・リンク・スイッチ (DLSw)	163
第29章	デフォルト・ゲートウェイ (DGW)	221
第30章	DHCP サービス	223
第31章	ダイヤル回線 (DIAL)	257
第32章	ダイヤルアウト (DOUT)	263
第33章	ディジタル・モデム・アダプター	267
第34章	ディジタル・ネットワーク・アーキテクチャー・フェーズ IV (DN)	271
第35章	ディジタル・ネットワーク・アーキテクチャー・フェーズ V (DNAV)	295
第36章	距離ベクトル・マルチキャスト・ルーティング・プロトコル (DVM)	299
第37章	DS	305
第38章	動的ホスト構成プロトコル (IPv6 リレー・エージェント用) (DHCPv6)	311
第39章	イージー・スタート機能 (EZ)	315
第40章	終端システム - 中間システム間プロトコル Protocol (ESIS)	317
第41章	環境機能 (ENV)	321
第42章	ESCON ネットワーク・インターフェース (ESC)	323
第43章	イーサネット・ネットワーク・インターフェース (ETH)	333
第44章	事象ログ (EVL)	343
第45章	ファイバー分散データ・インターフェース (FDDI)	345
第46章	フレーム・リレー境界アクセス・ノード (BAN)	349
第47章	フレーム・リレー・ネットワーク・インターフェース (FRL)	353
第48章	ゲートウェイ (GW)	373
第49章	汎用パケット・フィルター (FLT)	387
第50章	LAN エミュレーション・クライアント機能 (ILEC)	389

第51章 サービス総合デジタル網 (ISDN)	393
第52章 中間システム間プロトコル (ISIS)	401
第53章 インターネット制御メッセージ・プロトコル (ICMP)	407
第54章 インターネット制御メッセージ・プロトコル IPv6 (ICM6)	411
第55章 インターネット・パケット交換 (IPX)	415
第56章 インターネット・プロトコル (IP)	433
第57章 次世代インターネット・プロトコル (IP V6)	449
第58章 IP プロトコル・ネットワーク (IPPN)	461
第59章 IP セキュリティー・プロトコル (IPsec)	463
第60章 ISAKMP	471
第61章 ISDN 調整および管理エンティティ (CEME)	475
第62章 ISDN レイヤー 2 リンク・アクセス手順 D チャネル (LAPD)	477
第63章 ISO OSI コネクションレス・ネットワーク・レイヤー (ISO)	479
第64章 LAN エミュレーション・クライアント機能 (LEC)	485
第65章 LAN エミュレーション構成サーバー (LECS)	507
第66章 LAN エミュレーション・サーバーおよび同報通信確認不可能サーバー (LES/BUS)	529
第67章 LAN ネットワーク・マネージャー (LNM)	579
第68章 LAN スイッチ統合 (LSI)	589
第69章 レイヤー 2 トンネル伝送 (L2)	595
第70章 LCS バーチャル・ネットワーク・インターフェース (LCS)	607
第71章 LAG	611
第72章 論理リンク制御 (LLC) ELS	617
第73章 LSA チャネル・ネットワーク・インターフェース (LSA)	629
第74章 MAC フィルター (MCF)	637
第75章 MMC	639
第76章 MPC チャネル・ネットワーク・インターフェース (MPC)	643
第77章 マルチキャスト・アドレス解決プロトコル (MARS)	649
第78章 マルチキャスト・フォワード・キャッシュ (MFC)	665
第79章 マルチキャスト・フォワード・キャッシュ v6 (MFC6)	669

第80章 マルチリンク PPP (MLP)	673
第81章 ATM 経由マルチプロトコル・クライアント (MPOA)	687
第82章 NetBIOS サポート・サブシステム (NBS)	725
第83章 ネットワーク・アドレス変換 (NAT)	733
第84章 ネットワーク・ディスパッチャー・ルーター (NDR)	741
第85章 IPv6 用の近隣発見プロトコル (NDP6)	747
第86章 ネクスト・ホップ・ルーティング・プロトコル (NHRP)	751
第87章 最短パス最優先オープン (OSPF)	779
第88章 ルーター IP への OS インターフェース (IPIF)	791
第89章 PCA ネットワーク・インターフェース (PCA)	793
第90章 PKI	801
第91章 ポイント・ポイント (2 地点間) プロトコル・ネットワーク・インター フェース (PPP)	811
第92章 ポリシー・データベースおよび検索エンジン (PLCY)	835
第93章 Presence Manager (PM)	841
第94章 プロトコル独立マルチキャスト (PIM)	845
第95章 プロトコル独立マルチキャスト IPv6 (PIM6)	853
第96章 QLLC レイヤー (X25 上)	861
第97章 ISDN Q.931 シグナル・レイヤー 3 (Q931)	867
第98章 RED	869
第99章 IPv6 用の RIP (RIP6)	871
第100章 ルーター FDDL (RTRF)	875
第101章 ルーティング情報プロトコル (RIP)	881
第102章 RSVP	885
第103章 SDLC リレー (SRLY)	891
第104章 セキュリティー・プロトコル (SEC)	893
第105章 シリアル・ライン・ネットワーク・インターフェース (SL)	897
第106章 サーバー・キャッシュ同期プロトコル (SCSP)	901
第107章 シンプル・ネットワーク管理プロトコル (SNMP)	907
第108章 ソース・ルーティング透過型 (SRT) ブリッジ	913

第109章	スパンニング・ツリー・プロトコル (STP)	931
第110章	SRT FDDL 関連 ELS メッセージ	937
第111章	SuperELAN (SE)	939
第112章	SuperELAN スパンニング・ツリー・プロトコル (SEST)	953
第113章	同期データ・リンク制御 (SDLC)	961
第114章	シン・サーバー・ディスク・タスク (TSDK)	975
第115章	シン・サーバー NFS (TSNS)	981
第116章	シン・サーバー NFS クライアント (TSNC)	987
第117章	シン・サーバー RFS クライアント (TSRC)	993
第118章	シン・サーバー RFS サーバー (TSRS)	1005
第119章	シン・サーバー TFTP および TFTP リレー・サーバー (TSTD)	1011
第120章	トークンリング・ネットワーク・インターフェース (TKR)	1015
第121章	伝送制御プロトコル (TCP)	1023
第122章	トリビアル・ファイル転送プロトコル (TFTP)	1033
第123章	ユーザー・データグラム・プロトコル (UDP)	1037
第124章	IPv6 用ユーザー・データグラム・プロトコル (UDP6)	1039
第125章	VCRM	1041
第126章	バーチャル LAN (VLAN) ELS	1043
第127章	バーチャル・ルーター冗長プロトコル (VRRP)	1051
第128章	音声フィーチャー (VOICE)	1053
第129章	V.25bis ダイアル呼び出し (V25B)	1055
第130章	V.34 ダイアル呼び出し (V34)	1059
第131章	Web サーバー・キャッシュ・コア (WEBC)	1067
第132章	Web サーバー・キャッシュ・HTTP プロキシ (WEBH)	1071
第133章	WAN 復元システム (WRS)	1075
第134章	Xerox ネットワーク・コア (XN)	1079
第135章	X.25 ネットワーク・インターフェース (X25)	1083
第136章	X.25 ネットワーク・インターフェース・フレーム・レイヤー (X252)	1085

第137章 X.25 ネットワーク・インターフェース・パケット・レイヤー (X253) . . . . .	1089
第138章 X.25 ネットワーク・インターフェース物理レイヤー (X251) . . . .	1093
第139章 TCP/IP を介する X.25 トランスポート (XTP). . . . .	1095

## 特記事項

本書において、日本では発表されていないIBM製品（機械およびプログラム）、プログラミングまたはサービスについて言及または説明する場合があります。しかし、このことは、弊社がこのようなIBM製品、プログラミングまたはサービスを、日本で発表する意図があることを必ずしも示すものではありません。本書で、IBMライセンス・プログラムまたは他のIBM製品に言及している部分があっても、このことは当該プログラムまたは製品のみが使用可能であることを意味するものではありません。これらのプログラムまたは製品に代えて、IBMの知的所有権を侵害することのない機能的に同等な他社のプログラム、製品またはサービスを使用することができます。ただし、IBMによって明示的に指定されたものを除き、これらのプログラムまたは製品に関連する稼働の評価および検証はお客様の責任で行っていただきます。

IBMおよび他社は、本書で説明する主題に関する特許権（特許出願を含む）商標権、または著作権を所有している場合があります。本書は、これらの特許権、商標権、および著作権について、本書で明示されている場合を除き、実施権、使用权等を許諾することを意味するものではありません。実施権、使用权等の許諾については、下記の宛先に、書面にてご照会ください。

〒106-0032 東京都港区六本木3丁目2-31  
AP事業所  
IBM World Trade Asia Corporation  
Intellectual Property Law & Licensing





## 商標

以下の用語は、IBM Corporation の米国またはその他の国における商標です。

Advanced Peer-to-Peer Networking

APPN

IBM

上記以外の会社名、製品名、またはサービス名は、他社の商標またはサービス・マークである場合があります。



---

## 本書について

本書では、イベント・ログ・システム (ELS) を用いて記録されたメッセージの解釈方法について説明します。ご使用の製品とともに提供されているソフトウェア・ユーザー資料を調べ、ELS が含まれているかどうかを確認してください。

---

## 本書の対象読者

本書は、サービスの提供者およびネットワーク操作員を対象としています。

---

## 本書の構成

本書は、最初の章で概要を紹介し、その後にイベント（事象）の各カテゴリーごとに章を編成しています。カテゴリーは、章の表題別にアルファベット順に並べてあります。



---

## 第1章 はじめに

この章では、イベント（事象）のログを記録する方法およびメッセージの解釈の仕方について説明します。また、サブシステム概念、事象番号、およびログ・レベルについても説明します。ELS の機能の大部分は、サブシステム、事象番号、およびログ・レベルをパラメーターとして使用するコマンドが基本になっています。

---

### メッセージの表示

本書におけるメッセージの説明の形式は、次のとおりです。

**レベル:**

エラー・メッセージのログ・レベルを記述します。

**短構文:**

ルーター・コンソールに表示されるメッセージを示します。これは、メッセージの省略された形です。

**長構文:**

メッセージの拡張テキストを示します。

**説明:** エラー・メッセージの意味を説明します。

**原因:** このメッセージが出るエラーの推定原因について説明します。

**処置:** エラーを訂正するための可能な処置を示します。

---

### 事象の原因

イベント・ログ・システム (ELS) によってモニターされる事象は、ルーターが作動している間、継続的に発生しています。事象の発生の理由は、次のとおりです。

- システム活動
- 状況の変更
- サービスの要求
- データの送受信
- データ・エラーおよび内部エラー

事象が発生すると、ELS は事象の発信元と性質を識別するデータを、システムから受け取ります。ELS は、受け取ったデータをその一部として含めたメッセージを生成します。

---

### メッセージの解釈

ここでは、ELS が生成するメッセージの解釈方法について説明します。2ページの図 1 にメッセージの基本要素を示し、2ページの『メッセージの説明』で各要素について説明します。

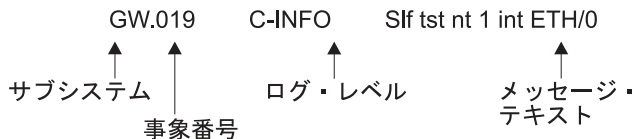


図1. メッセージの要素

## メッセージの要素

### サブシステム

### 意味

サブシステム は、プロトコル、パケット転送機能、またはインターフェースなどのようなルーターのコンポーネントを省略語で表します。図1 では、**GW** は、通過中にこの事象が発生したサブシステム (ゲートウェイ) を識別しています。

サブシステムの例としては、ARP、IP、TKR、および X.25 があります。ルーターの場合、サブシステムはルーターが構成されているハードウェアおよびソフトウェアによって異なります。

ELS の **list subsystem** コマンドを使用すれば、ルーター上で構成されているサブシステムをリストすることができます。

### 事象番号

事象番号 は、サブシステム内で各メッセージごとに割り当てられる番号です。図1 では、事象番号は **19** (GW サブシステム内の番号) です。

事象番号は、たとえば、**GW.019** のように、必ずサブシステムの省略語と一緒に表示されます。サブシステムと事象番号が一体となって個々の 事象を識別します。

ELS の **list subsystem** コマンドを使用すれば、サブシステム内の事象をリストすることができます。

### ログ・レベル

ログ・レベル は、各メッセージを、それを生成した事象のタイプ別に分類するフィールドです。ログ・レベルは、次のとおりです。

ログ・レベル	タイプ
<b>UI - ERROR</b>	異常な内部エラー
<b>CI - ERROR</b>	通常の内部エラー
<b>UE - ERROR</b>	異常な外部エラー
<b>CE - ERROR</b>	通常の外部エラー
<b>ERROR</b>	上記のすべてのエラー・レベルが含まれる
<b>U-INFO</b>	異常な情報コメント
<b>C-INFO</b>	通常の情報コメント

<b>INFO</b>	上記のすべてのコメント・レベルが含まれる
<b>STANDARD</b>	すべてのエラー・レベルおよびすべてのコメント・レベルが含まれる（デフォルト）
<b>P-TRACE</b>	パケット別のトレース
<b>U-TRACE</b>	異常操作パケット・トレース・メッセージ
<b>C-TRACE</b>	通常操作パケット・トレース・メッセージ
<b>TRACE</b>	上記のすべてのトレース・レベルが含まれる
<b>ALL</b>	すべてのログ・レベルが含まれる

## メッセージ・テキスト

メッセージ・テキストは、コンソール画面には省略形式で表示されます。以下の各章に示されている *source\_address* または *network* などのような変数は、メッセージがコンソールに表示されるときは、実際のデータで置き換えられます。メッセージ・テキストの中のこの種の変数はすべて置き換えられます。

メッセージ記述に含まれる変数 *error\_code* (通常 “rsn” または “reason” が前に置かれている) は、検出されたパケット・エラーのタイプを示しています。エラー・コードおよびパケット完了コードについては、次節で説明します。

### コード 意味

- 0**      パケットは、正常に出力のために待ち行列化された
- 1**      ランダム不特定エラー
- 2**      フロー制御のために、パケットは出力用に待ち行列化されなかった
- 3**      ネットワークがダウンしているために、パケットは待ち行列化されなかった

- 4 ループまたはよくない同報通信を回避するために、パケットは待ち行列化されなかった
- 5 あて先ホストがダウンしているために、パケットは待ち行列化されなかった（検出可能なネットワークの場合のみ）

SNMP 照会を送信した場合は、ルーターから受信する応答は、通常、1.3.6.1.4.1.1.1.3.4.85.31 のような 12 桁の数値です。この数値は、ELS 操作番号 (1.3.6.1.4.1.1.1.3)、オブジェクト (.4)、ELS サブシステム番号 (.85)、および事象番号 (.31) など、照会に関する各種の情報を表しています。たとえば、11 桁目の .85 は、サブシステム要素 X.25 の数値等価です。次のリストは、サブシステムの数値等価を示しています。

サブシステム	数値等価	サブシステム	数値等価	サブシステム	数値等価
AAA	189	AI	110	ALLC	141
AP2	53	APPN	117	ARP	5
ATM	115	BAN	111	BBCM	134
BGP	104	BGP6	224	BR	74
BRLY	198	BRS	3	BS	172
BTP	14	CAS	212	CEME	166
COMP	113	DBG	174	DFP	171
DGW	151	DHC6	204	DHCP	146
DIAL	163	DLS	107	DLS2	175
DN	25	DNAV	43	DOUT	144
DS	208	DVM	22	ENCR	148
ENV	112	ES	216	ESC	133
ESIS	41	ETH	81	EVL	126
EZ	109	FDDI	88	FLT	2
FR	92	FSD	170	GCOM	169
GW	1	ICM6	191	ICMP	11
IKE	210	ILEC	130	ILMI	119
IP	10	IPIF	203	IPPN	100
IPSP	159	IPV6	190	IPX	35
ISDN	99	ISIS	42	ISO	40
L2	162	LAG	214	LAPD	165
LCS	135	LEC	116	LECS	124
LES	123	LES2	176	LLC	103
LNM	102	LSA	136	LSI	155
MARS	128	MCF	105	MDM	206
MFC	18	MFC6	194	MLP	145
MMC	213	MPC	137	MPOA	156
NAT	167	NBS	114	NDP6	192
NDR	142	NHRP	131	NOT	127
PCA	161	PERF	200	PKI	215
PIM	196	PIM6	197	PLCY	209
PM	149	PPP	95	Q931	164
QLLC	152	R2MP	56	RED	225
RIP	15	RIP6	195	RMM	227
RSVP	138	RTRF	207	SAAL	120
SACM	168	SCSP	140	SDLC	90



サブシステム	数値等価	サブシステム	数値等価	サブシステム	数値等価
SE	157	SEC	147	SEST	158
SL	83	SNH	173	SNMP	21
SPF	17	SRLY	75	SRT	72
SRTF	205	STP	73	SVC	121
SW	226	TCP	12	TFTP	19
TKR	84	TSDK	183	TSNC	180
TSNS	199	TSRC	181	TSRS	182
TSTD	178	UDP	13	UDP6	193
V25B	108	V34	143	VCRM	139
VLAN	150	VN	60	VOIC	211
VRRP	177	WEBC	201	WEBH	202
WRS	101	XN	30	X25	85
X251	96	X252	97	X253	98
XTP	132	ZIP2	54		

---

## エラー・コードおよびパケット完了コード

コンソールには、次のようなネットワーク情報が表示されます。 *nt 1 int Eth/0* または *network 1, interface Eth/0*、ただし、

- *1* はネットワーク番号 (ルーター上の各ネットワークには、ゼロから順に番号が付けられています)。
- *0* は装置番号 (各ハードウェア・タイプ上のインターフェースには、ゼロから順に番号が付けられています)。

イーサネットおよびトークンリング・ハードウェア・アドレスは、長い 16 進数 (たとえば、X'020701003e2c') で表示されます。

IP (インターネット・プロトコル) アドレスは、ピリオドで区切られた 4 つの 10 進数バイト (たとえば、8.123.0.16) で表示されます。

IP バージョン 6 (IPv6) のアドレスは 128 ビットから成り、コロンで区切られた 8 組の 4 桁の 16 進数 (たとえば、abcd:1234:0000:1234:5555:FFEE:7777:0123) として表示されます。



---

## 第2章 AAA プロトコル (AAA)

この章では、AAA プロトコル (AAA) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### AAA.001

レベル: C-INFO

短構文: AAA.001 AAAAuthen: *string*

長構文: AAA.001 AAA Authen Message: *string*

説明: 一般認証メッセージ

---

### AAA.002

レベル: C-INFO

短構文: AAA.002 AAAAuthen ppp: *string*

長構文: AAA.002 AAA PPP Authen: *string*

説明: PPP 認証メッセージ

---

### AAA.003

レベル: C-INFO

短構文: AAA.003 AAAAuthen login: *string*

長構文: AAA.003 AAA Login Authen: *string*

説明: ログイン認証メッセージ

---

### AAA.004

レベル: C-INFO

短構文: AAA.004 AAAAuthen tunnel: *string*

長構文: AAA.004 AAA tunnel authen: *string*

説明: トンネル認証メッセージ

---

### AAA.005

レベル: CI-ERROR

短構文: AAA.005 aaa start acct request already started

長構文: AAA.005 aaa start acct request already started

説明: すでに何らかの開始済みのものに関する開始要求

---

### AAA.006

レベル: C-INFO

短構文: AAA.006 aaa radius acct packet formed

長構文: AAA.006 aaa radius acct packet formed

説明: RADIUS が形成済みのものに関するアカウント  
イング・パケット

---

### AAA.010

レベル: UI-ERROR

短構文: AAA.010 aaa ipsec index has not been  
initialized

長構文: AAA.010 aaa IPSec index has not been  
initialized

説明: IPSec aaa 索引使用を試みましたが、初期化されて  
いません。

処置: なし、pe に問題を報告します。

---

### AAA.011

レベル: C-INFO

短構文: AAA.011 AAAAuthor: *string*

長構文: AAA.011 AAA Author: *string*

説明: AAA の一般許可メッセージ

---

### AAA.012

レベル: C-INFO

短構文: AAA.012 AAAAuthor ppp: *string*

長構文: AAA.012 AAA PPP Author: *string*

説明: AAA の PPP 許可メッセージ

---

### AAA.013

レベル: C-INFO

短構文: AAA.013 AAAAuthor login: *string*

長構文: AAA.013 AAA Login Author: *string*

説明: AAA のログイン許可メッセージ

---

### AAA.014

レベル: C-INFO

短構文: AAA.014 AAAAuthor tunnel: *string*

長構文: AAA.014 AAA Tunnel Author: *string*

説明: AAA のトンネル許可メッセージ

---

#### AAA.015

レベル: CI-ERROR

短構文: AAA.015 otstndng rqst encntrd: compID  
*completion\_ID*

長構文: AAA.015 an outstanding request has been encountered identified by completion ID *completion\_ID*

説明: すでに未処理となっている要求が出されました。アプリケーションが直前の要求がまだ作業中に続けて要求を提出することがあります。

処置: なし。

---

#### AAA.016

レベル: UI-ERROR

短構文: AAA.016 authorization protocol is not valid  
*application\_type*

長構文: AAA.016 authorization protocol is not valid  
*application\_type*

説明: 許可プロトコルの設定が現在無効です。

---

#### AAA.017

レベル: C-INFO

短構文: AAA.017 Tech support bypass: *user*

長構文: AAA.017 Technical Support id bypassed remote authentication: *user*

説明: テクニカル・サポート id によるコンソール・ログインがリモート認証をう回しました。

処置: テクニカル・サポート・バイパスが望ましくない場合には、それを使用不可にします。

---

#### AAA.018

レベル: C-INFO

短構文: AAA.018 Login Last Resort was used: *user*

長構文: AAA.018 Login Last Resort was used: *user*

説明: リモート認証がタイムアウトとなり、ローカル・ログインが使用されました。

処置: Last Resort が望ましくない場合には、それを使用不可にします。

---

#### AAA.020

レベル: CI-ERROR

短構文: AAA.020 Radius internal queue size maximum reached [ *maxq*].

長構文: AAA.020 Radius internal queue size maximum reached [ *maxq*].

説明: RADIUS が要求を処理する内部待ち行列を持ち、有限です。

原因: RADIUS が処理を行っていない間に、非常に多くの要求が RADIUS に送られています。

処置: RADIUS サーバーが正しく機能していることを確認します。

---

#### AAA.021

レベル: C-INFO

説明: AAA の一般会計メッセージ

---

#### AAA.022

レベル: C-INFO

短構文: AAA.022 AAAacct ppp: *string*

長構文: AAA.022 AAA PPP Acct: *string*

説明: AAA の PPP 会計メッセージ

---

#### AAA.023

レベル: C-INFO

短構文: AAA.023 AAAacct login: *string*

長構文: AAA.023 AAA Login Acct: *string*

説明: AAA のログイン会計メッセージ

---

#### AAA.024

レベル: C-INFO

短構文: AAA.024 AAAacct tunnel: *string*

長構文: AAA.024 AAA Tunnel Acct: *string*

説明: AAA のトンネル会計メッセージ

---

#### AAA.025

レベル: C-INFO

短構文: AAA.025 unauthenticated user will not account

長構文: AAA.025 an unauthenticated user start accounting

---

説明: 非認証ユーザーを考慮しません。

---

**AAA.027**

レベル: C-INFO

短構文: AAA.027 aaa stp acctng rq not formally strtd  
*tunnelId*

長構文: AAA.027 stop accounting for for a request not  
formally started *tunnelId*

説明: 開始依頼を持つが正式には開始に対する応答を受信していないアカウント・セッションに関する停止が要求されました。

処置: RADIUS サーバーが正しく機能していることを確認します。

---

**AAA.028**

レベル: CI-ERROR

短構文: AAA.028 aaa ipsec acct protocol invalid

長構文: AAA.028 aaa ipsec accounting protocol invalid

説明: ipsec に関する無効プロトコル

処置: トンネル・アカウント・セッションについてプロトコルが正しく構成されていることを確認します。

---

**AAA.029**

レベル: UI-ERROR

短構文: AAA.029 record for this TunnelID *tunnelId*  
does not exist

長構文: AAA.029 record for this Tunnel Identifier  
*tunnelId* does not exist

説明: トンネル id のエントリーの検出試み。

処置: なし。

---

**AAA.031**

レベル: C-INFO

短構文: AAA.031 AAA: *An AAA message*

長構文: AAA.031 AAA Message: *An AAA message*

説明: AAA の一般メッセージ

---

**AAA.032**

レベル: C-INFO

短構文: AAA.032 AAA ppp: *An AAA message*

長構文: AAA.032 AAA Message: *An AAA message*

説明: AAA の一般 PPP メッセージ

---

**AAA.033**

レベル: C-INFO

短構文: AAA.033 AAA login: *An AAA message*

長構文: AAA.033 AAA Message: *An AAA message*

説明: AAA の一般ログイン・メッセージ

---

**AAA.034**

レベル: C-INFO

短構文: AAA.034 AAA tunnel: *An AAA message*

長構文: AAA.034 AAA Message: *An AAA message*

説明: AAA の一般トンネル・メッセージ

---

**AAA.035**

レベル: UI-ERROR

短構文: AAA.035 aaa ipsec tnnl infrmtn cnnt be rtrvd  
*tunnelid*

長構文: AAA.035 aaa ipsec tunnel information cannot  
be retrieved *tunnelid*

説明: aaa は ipsec から ipsec トンネル情報を要求しますが、検索することができません。

---

**AAA.036**

レベル: CI-ERROR

短構文: AAA.036 aaa ipsec gt mmry errr

長構文: AAA.036 aaa ipsec get memory error

説明: メモリーを割り振ることができません。

処置: メモリーをチェックします。

---

**AAA.037**

レベル: UI-ERROR

短構文: AAA.037 aaa ipsec ntry alrdy exists fr tnnl [  
*tunnelId*]

長構文: AAA.037 aaa ipsec entry already exists *tunnelId*

説明: ipsec アカウント・セッションがすでに確立されました。

---

**AAA.038**

レベル: UI-ERROR

短構文: AAA.038 aaa invalid user profile

長構文: AAA.038 aaa invalid user profile

説明: エンティティ内に無効ユーザー・プロファイルが検出されました。

---

**AAA.039**

レベル: C-INFO

短構文: AAA.039 AAA: *An AAA message*

長構文: AAA.039 AAA Message: *An AAA message*

説明: AAA の一般メッセージ

---

**AAA.040**

レベル: C-INFO

短構文: AAA.040 AAA: *An AAA message*

長構文: AAA.040 AAA Message: *An AAA message*

説明: AAA の一般メッセージ

---

**AAA.041**

レベル: C-INFO

短構文: AAA.041 AAA rqst crtd.r

長構文: AAA.041 AAA request has been created.

説明: 要求が作成されました。

---

**AAA.042**

レベル: C-INFO

短構文: AAA.042 AAA authent rqst crtd

長構文: AAA.042 AAA authentication request has been created.

説明: 要求が作成されました。

---

**AAA.043**

レベル: C-INFO

短構文: AAA.043 AAA authent rqst snt via *aaa\_protocol* to srvr *server\_ip\_address*

長構文: AAA.043 AAA authentication request sent via *aaa\_protocol* to server *server\_ip\_address*

説明: 要求が作成されました。

原因: 認証要求が AAA サーバーに送信されました。

---

処置: なし。

---

**AAA.044**

レベル: CI-ERROR

短構文: AAA.044 radius authent rqst cld nt hk authent prt

長構文: AAA.044 radius authentication request could not hook authentication port

説明: 認証要求の処理中、RADIUS はポートをフックできませんでした。

原因: 認証要求が AAA サーバーに送信されました。

処置: なし。

---

**AAA.045**

レベル: CI-ERROR

短構文: AAA.045 radius authent rqst cld nt complt MSCHAP reqst

長構文: AAA.045 radius authentication request could not complete MSCHAP request

説明: 認証要求の処理中、RADIUS はポートをフックできませんでした。

原因: PPP 認証プロトコルは m ではサポートされません。

処置: MSCHAP を使用不可にします。

---

**AAA.046**

レベル: C-INFO

短構文: AAA.046 message

長構文: AAA.046 message

説明: メッセージ

---

**AAA.047**

レベル: C-INFO

短構文: AAA.047 authent success *id\_name*

長構文: AAA.047 authentication success for *id\_name*

説明: メッセージ

---

**AAA.048**

レベル: CE-ERROR

短構文: AAA.048 authent fld *id\_name*

長構文: AAA.048 authentication failed for id *id\_name*

---

説明: 特定 Id に関して認証が失敗しました。

原因: ユーザー名が認証データベース内に検出されなかったか、入力されたパスワードに誤りがありました。認証サーバーが応答するのに時間がかかりました。

処置: 名前が認証データベース内に存在することを確認します。入力されたパスワードが正しいことを確認します。認証サーバーが使用されている場合は、それとの接続を確認します。

---

#### AAA.049

レベル: C-INFO

短構文: AAA.049 message

長構文: AAA.049 message

説明: メッセージ

---

#### AAA.050

レベル: C-INFO

短構文: AAA.050 AAA author rqst crtd

長構文: AAA.050 AAA authorization request has been created.

説明: 要求が作成されました。

---

#### AAA.051

レベル: C-INFO

短構文: AAA.051 processing response attributes

長構文: AAA.051 message

説明: メッセージ

---

#### AAA.052

レベル: UE-ERROR

短構文: AAA.052 aaa ipsec acct req failed

長構文: AAA.052 aaa ipsec acct req failed

説明: メッセージ

---

#### AAA.053

レベル: CE-ERROR

短構文: AAA.053 server ip address not configured

長構文: AAA.053 message

説明: メッセージ

---

#### AAA.054

レベル: CE-ERROR

短構文: AAA.054 UDP port not hooked

長構文: AAA.054 message

説明: メッセージ

---

#### AAA.055

レベル: C-INFO

短構文: AAA.055 message

長構文: AAA.055 message

説明: メッセージ

---

#### AAA.056

レベル: C-INFO

短構文: AAA.056 message

長構文: AAA.056 message

説明: メッセージ

---

#### AAA.057

レベル: UI-ERROR

短構文: AAA.057 radius queueing error

長構文: AAA.057 radius queueing error

説明: メッセージ

---

#### AAA.058

レベル: C-INFO

短構文: AAA.058 next token mode in radius securid

長構文: AAA.058 next token mode in radius securid

説明: 次のトークン・モードに関するアクセス要求を送信します。

---

#### AAA.059

レベル: CI\_ERROR

短構文: AAA.059 get memory error in send access request

長構文: AAA.059 get memory error in send access request

説明: メモリー割り振りが何も戻ってきませんでした。

処置: メモリー構成をチェックします。

---

**AAA.060**

レベル: C-INFO

短構文: AAA.060 AAA accounting rqst crtd

長構文: AAA.060 AAA accounting request has been created.

説明: 要求が作成されました。

---

**AAA.061**

レベル: C-INFO

短構文: AAA.061 accounting start

長構文: AAA.061 accounting start

説明: メッセージ

---

**AAA.062**

レベル: UI-ERROR

短構文: AAA.062 accounting failed - no valid protocol found

長構文: AAA.062 accounting failed - no valid protocol found

説明: メッセージ

処置: アカウンティングが正しく構成されていることを確認します。

---

**AAA.063**

レベル: C-INFO

短構文: AAA.063 message

長構文: AAA.063 message

説明: メッセージ

---

**AAA.064**

レベル: C-INFO

短構文: AAA.064 outstanding accounting request

長構文: AAA.064 outstanding accounting request

説明: メッセージ

---

**AAA.065**

レベル: C-INFO

短構文: AAA.065 accounting stop

長構文: AAA.065 accounting stop

説明: メッセージ

---

---

**AAA.066**

レベル: C-INFO

短構文: AAA.066 Tacacs sent access request *address* via *src* port *port*

長構文: AAA.066 Tacacs sent access request packet to *address* source *src* port *port*

説明: Tacacs パケット・タイプが、指定されたアドレスおよびポートに送信されました。

---

**AAA.067**

レベル: C-INFO

短構文: AAA.067 message

長構文: AAA.067 message

説明: メッセージ

---

**AAA.068**

レベル: C-INFO

短構文: AAA.068 RADIUS new *rtype* request *rid*

長構文: AAA.068 RADIUS new *rtype* request *rid*

説明: メッセージ

---

**AAA.069**

レベル: C-INFO

短構文: AAA.069 RADIUS sending a familiar request *idnum* *id*

長構文: AAA.069 RADIUS sending a familiar request *idnum* *id*

説明: メッセージ

---

**AAA.070**

レベル: CI-ERROR

短構文: AAA.070 RADIUS could nt hk UDP prt *port* for *function*

長構文: AAA.070 could not hook authentication port *port* for *function*.

説明: udp ポートのフックの試みが失敗しました。

原因: 他のものがすでにポートをフックしています。

処置: 初期イニシアルを取り外します。

---



---

**AAA.071**

レベル: C-INFO

短構文: AAA.071 RADIUS hkd UDP prt *port* for *function*

長構文: AAA.071 RADIUS hooked UDP port *port* for *function*

説明: request has been created

原因: request has been created

処置: request has been created

---

**AAA.072**

レベル: CE-ERROR

短構文: AAA.072 timeout has been triggered while trying RADIUS server.

長構文: AAA.072 RADIUS hooked UDP port for

説明: RADIUS サーバーへの到達を試みる時間がかかりすぎました。

原因: サーバーに到達できません。

処置: サーバーが稼動していることとネットワークに接続されていることを確認します。

---

**AAA.073**

レベル: UI-ERROR

短構文: AAA.073 lost request while in timeout.

長構文: AAA.073 RADIUS hooked UDP port for

説明: a radius request has been lost

原因: request has been created

処置: request has been created

---

**AAA.074**

レベル: U-INFO

短構文: AAA.074 resending request that timed out.

長構文: AAA.074 RADIUS hooked UDP port for

説明: a radius request has been lost

原因: request has been created

処置: request has been created

---

---

**AAA.075**

レベル: U-INFO

短構文: AAA.075 begin using other server.

長構文: AAA.075 RADIUS hooked UDP port for

説明: a radius request has been lost

原因: request has been created

処置: request has been created

---

**AAA.076**

レベル: C-INFO

短構文: AAA.076 RADIUS received access accept.

長構文: AAA.076 RADIUS hooked UDP port for

説明: a radius request has been lost

原因: request has been created

処置: request has been created

---

**AAA.077**

レベル: C-INFO

短構文: AAA.077 RADIUS received access reject.

長構文: AAA.077 RADIUS hooked UDP port for

説明: a radius request has been lost

原因: request has been created

処置: request has been created

---

**AAA.078**

レベル: C-INFO

短構文: AAA.078 RADIUS received response for auth

長構文: AAA.078 message

説明: メッセージ

原因: RADIUS サーバーが UDP を介してメッセージで応答しました。

---

**AAA.079**

レベル: C-INFO

短構文: AAA.079 RADIUS auth response for id *id\_number* aaa *aaa\_proto* appl *application*

長構文: AAA.079 RADIUS received a response on authentication port for id *id\_number* aaa *aaa\_proto* appl *application*

説明: メッセージ

---

---

**AAA.080**

レベル: C-INFO

短構文: AAA.080 RADIUS received response for acct

長構文: AAA.080 message

説明: メッセージ

原因: RADIUS サーバーが UDP を介してメッセージで応答しました。

---

**AAA.081**

レベル: C-INFO

短構文: AAA.081 RADIUS acct response for id *id\_number* aaa *aaa\_proto* appl *application*

長構文: AAA.081 RADIUS received a response on accounting port for id *id\_number* aaa *aaa\_proto* appl *application*

説明: メッセージ

---

**AAA.082**

レベル: C-INFO

短構文: AAA.082 RADIUS sent packet type *packetType* for id *rqid* to *address* via *src port port*

長構文: AAA.082 RADIUS sent a packet of type *packetType* *rqid* to destination to *address* via *src port port*

説明: RADIUS パケット・タイプが、指定されたアドレスおよびポートに送信されました。

---

**AAA.083**

レベル: UI-ERROR

短構文: AAA.083 RADIUS Rcvd Resp for unknown id *id*

長構文: AAA.083 Received Response for unknown id *id*

説明: 認証プロトコルが応答を受信しましたが、未処理の要求のいずれにも合致しない応答でした。

---

**AAA.084**

レベル: CE-ERROR

短構文: AAA.084 RADIUS Rcvd Invld Athntctr

長構文: AAA.084 Received Invalid Authenticator

説明: RADIUS がパケットを受信しましたが、認証機能が無効なので、パケットを廃棄しました。

処置: サーバー機密の構成をチェックします。

---

**AAA.085**

レベル: C-INFO

短構文: AAA.085 RADIUS sent access-request for id *rqid* to *address* via *src port port*

長構文: AAA.085 RADIUS sent access-request for id *rqid* to *address* via *src port port*

説明: 認証または許可に関する RADIUS アクセス要求

処置: なし。

---

**AAA.086**

レベル: C-INFO

短構文: AAA.086 RADIUS sent accounting-request for id *rqid* to *address* via *src port port*

長構文: AAA.086 RADIUS sent accounting-request for id *rqid* to *address* via *src port port*

説明: 認証または許可に関する RADIUS アカウンティング要求

処置: なし。

---

**AAA.087**

レベル: C-INFO

短構文: AAA.087 RADIUS sent access-challenge for id *rqid* to *address* via *src port port*

長構文: AAA.087 RADIUS sent access-challenge for id *rqid* to *address* via *src port port*

説明: 認証または許可に関する RADIUS アクセス・チャレンジ

処置: なし。

---

---

## 第3章 アドレス解決プロトコル (ARP)

この章では、アドレス解決プロトコル (ARP) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### ARP.001

レベル: U-INFO

短構文: ARP.001 Q ovf nt network

長構文: ARP.001 Queue overflow net network

**説明:** 未処理の ARP パケットの待ち行列が長過ぎたために、ARP パケットが待ち行列に追加されずに廃棄されました。これは、ARP の到着が早過ぎて処理できなかったことを意味しています。この事象は、ELS ではカウントされずに、ARP コンソールでカウントされることに注意してください。ARP>STATISTICS コマンドを使用して、"input packet overflows" セクションのカウンター (入力ネットワーク別に保持) を読み取ることができます。

**原因:** これは、いわゆる "ARP ストーム" の徴候としてしばしば現れるものです。ホスト (通常は、普通のワークステーション) に到着するパケットによっては、ホストがそのあて先アドレスを認識できないもの (通常は、IP 同報通信パケット) があります。そこで、ホストでは、(ホスト仕様に違反して) パケットの転送を試みますが、そのためには ARP のマッピングが必要になります。すべてのホストが同時に同報通信を受信するので、すべてが同時にパケットの転送を試み、すべてが同時に ARP 要求を出します。

**処置:** 該当するホストの製造元に、ソフトウェアを仕様に適合させるよう依頼してください。短期的には、そのようなパケットの発信元を使用不可にするなり、パケットの発信元に対して、誤作動するホストが同報通信として認識できるアドレスを使用させるようにすることができます。

---

### ARP.002

レベル: P-TRACE

短構文: ARP.002 Pkt in operation\_type hardware\_address\_space protocol\_type nt network ID

長構文: ARP.002 Packet received operation\_type hardware\_address\_space protocol\_type net network ID

**説明:** 示されているタイプの ARP パケットが、いま処理のために到着しました。

---

### ARP.003

レベル: U-INFO

短構文: ARP.003 Unkwn hdw hardware\_address\_space nt network ID

長構文: ARP.003 Unknown hardware space hardware\_address\_space net network ID

**説明:** ネットワークで着信 ARP パケットを受信しましたが、そのネットワークでは、どのプロトコルもアドレス変換のために ARP を使用していません。

**原因:** ゲートウェイの構成が誤っています。

**処置:** 構成を訂正してください。

**原因:** ARP の使用を必要とするネットワーク上でプロトコルが使用されているが、そのプロトコルはルーターがサポートしていないものです。

**処置:** なし。

---

### ARP.004

レベル: UE-ERROR

短構文: ARP.004 Bd hdw hardware\_address\_space hardware\_address\_length nt network ID

長構文: ARP.004 Bad hardware address space hardware\_address\_space hardware\_address\_length nt network ID

**説明:** 着信 ARP パケットを受信しましたが、ハードウェア・アドレス空間コードまたはハードウェア・アドレス長さが、そのネットワークで使用する必要のあるものと一致していません。

**原因:** これは、ネットワーク上の他の装置のエラー (おそらく、バイト・スワップの問題) に原因があるものと考えられます。

**処置:** ネットワーク管理ツールを使用して発信元ホストを検出し、その装置の製造元に連絡して、問題を報告してください。

---

**ARP.005**

レベル: P-TRACE

短構文: ARP.005 Unkwn prt *protocol\_type* nt *network ID*

長構文: ARP.005 Unknown protocol type  
*protocol\_type*net *network ID*

説明: あるプロトコルの着信 ARP パケットを受信しましたが、そのプロトコルには、ルーターはアドレス変換のために ARP を使用していません。

原因: ゲートウェイの構成が誤っています。

処置: 構成を訂正してください。

原因: ARP の使用を必要とするネットワーク上でプロトコルが使用されているが、そのプロトコルはルーターがサポートしていないものです。

処置: なし。

---

**ARP.006**

レベル: UE-ERROR

短構文: ARP.006 Bd prt *protocol\_type*  
*protocol\_address\_length* nt *network ID*

長構文: ARP.006 Bad protocol address length  
*protocol\_type protocol\_address\_length* net *network ID*

説明: 着信 ARP パケットを受信しましたが、プロトコル・アドレス長さが、そのネットワークで使用する必要のあるものと一致していません。

原因: これは、ネットワーク上の他の装置のエラー (おそらく、バイト・スワップの問題) に原因があるものと考えられます。

処置: ネットワーク管理ツールを使用して発信元ホストを検出し、その装置の製造元に連絡して、問題を報告してください。

---

**ARP.007**

レベル: U-TRACE

短構文: ARP.007 Mk ent *hardware\_address\_space*  
*protocol\_type* nt *network ID*

長構文: ARP.007 Make translation entry  
*hardware\_address\_space protocol\_type* net *network ID*

説明: このホストにアドレス指定された着信 ARP パケットに、変換キャッシュに入っていないマッピングが含まれていました。パケット内の情報を使用して、新しいキャッシュ項目が記入されました。

---

**ARP.008**

レベル: UE-ERROR

短構文: ARP.008 Bd opc *operation\_type*  
*hardware\_address\_space protocol\_type* nt *network ID*

長構文: ARP.008 Bad operation code *operation\_type*  
*hardware\_address\_space protocol\_type* net *network ID*

説明: 無効な操作可能コードをもつ着信 ARP パケットを受信しました。

原因: これは、ネットワーク上の他の装置のエラー (おそらく、バイト・スワップの問題) に原因があるものと考えられます。

処置: ネットワーク管理ツールを使用して発信元ホストを検出し、その装置の製造元に連絡して、問題を報告してください。

---

**ARP.009**

レベル: U-TRACE

短構文: ARP.009 Rply *hardware\_address\_space*  
*protocol\_type* nt *network ID*

長構文: ARP.009 Reply sent *hardware\_address\_space*  
*protocol\_type* net *network ID*

説明: 別のホストからの変換要求のために、ARP 応答を送信中です。

---

**ARP.010**

レベル: UI-ERROR

短構文: ARP.010 Err on rply nt *network ID*

長構文: ARP.010 Transmission error on sending reply  
net *network ID*

説明: 発信 ARP または逆方向 ARP 応答パケットが、ルーター内に何らかの問題が発生したために除去されました。

原因: この問題の原因としては、出力待ち行列の過負荷やネットワークのダウンなど、さまざまなものが考えられます。

処置: 該当するネットワーク・サブシステムからのログ出力を調べて、さらに詳しい情報を入手してください。

---

**ARP.011**

レベル: U-TRACE

短構文: ARP.011 Del ent *hardware\_address\_space*  
*protocol\_type* nt *network ID*

**長構文:** ARP.011 Deleting translation entry  
*hardware\_address\_space protocol\_type net network ID*

**説明:** タイムアウトになった (最近使用も更新もされなかった) 変換キャッシュ項目が削除されています。このプロセスの制御方法の詳細については、ARP の資料を参照してください。

---

#### ARP.012

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** ARP.012 No iorb fr rqst nt *network ID*

**長構文:** ARP.012 No buffer for outgoing request packet  
net *network ID*

**説明:** ルーター内のバッファ不足のために、出力応答パケットが除去されました。

**原因:** この問題については、一時的な過負荷など、多くの原因が考えられます。

**処置:** ルーターの残りのログ出力を調べて、さらに詳しい情報を入手してください。引き続き問題が発生する場合は、サービス技術員に連絡してください。

---

#### ARP.014

**レベル:** U-TRACE

**短構文:** ARP.014 Rqst *hardware\_address\_space protocol\_type nt network ID*

**長構文:** ARP.014 Translation request sent  
*hardware\_address\_space protocol\_type net network ID*

**説明:** 別のホストのアドレス変換が必要なルーターからパケットが転送された結果として、ARP 変換要求を送信しています。

---

#### ARP.016

**レベル:** P-TRACE

**短構文:** ARP.016 unkn dst prot ad nt *network ID*

**長構文:** ARP.016 Unknown destination protocol address  
net *network ID*

**説明:** このメッセージは、ARP 要求が不明のプロトコル・アドレスを指定している場合 (すなわち、このルーターに対する要求でない場合) に生成されます。

**原因:** このネットワーク上の、このルーター以外のホストに対する ARP 要求

**処置:** 何も必要ありません。ARP プロトコルの場合は、要求はすべてが同報通信として送信されるので、これは正常です。

---

#### ARP.017

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** ARP.017 Rqst send failed rsn *reason\_code nt network ID*

**長構文:** ARP.017 Transmission of request failed for  
reason *reason\_code net network ID*

**説明:** ルーター内の何らかの問題が原因で、出力 ARP 要求パケットが除去されました。理由コード (*reason\_code*) に原因が示されています。

**原因:** 各種のハンドラー・エラー (理由コード 1)

**処置:** ハンドラーからのエラー・メッセージを検査して、*network\_name* を調べてください。

**原因:** 出力待ち行列オーバーフローまたはその他のフロー制御 (理由コード 2)

**処置:** 輻輳 (ふくそう) を緩和してください。

**原因:** ネットワークがダウン (理由コード 3)

**処置:** ネットワークがダウンしているとハンドラーが判断した理由を調べてください。

**原因:** ループまたはよくない同報通信を回避するために、ハンドラーによって除去されました (理由コード 4)。

**処置:** 構成を検査してください。

**原因:** ホストがダウン (理由コード 5)

**処置:** ホストがダウンしているとハンドラーが判断した理由を調べてください。

---

#### ARP.018

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** ARP.018 rcv: No mem for cache ent, prot  
*protocol\_type nt network ID*

**長構文:** ARP.018 receive: No memory for cache entry,  
protocol *protocol\_type net network ID*

**説明:** ARP パケットの入力処理時、ルーターは所定のプロトコルに対する ARP キャッシュ項目を作成する上で利用可能な記憶域がありませんでした。

**原因:** ルーターはヒープ記憶域が極端に少ない状態です。

**処置:** 記憶域の使用量を減らす方法を見つけてください。



---

**ARP.019**

レベル: UI-ERROR

短構文: ARP.019 xmt: No mem for cache ent, prot  
*protocol\_type* nt *network ID*

長構文: ARP.019 transmit: No memory for cache entry,  
protocol *protocol\_type* net *network ID*

説明: ARP パケットの出力処理時、ルーターは所定の  
プロトコルに対する ARP キャッシュ項目を作成する上  
で利用可能な記憶域がありませんでした。

原因: ルーターはヒープ記憶域が極端に少ない状態  
です。

処置: 記憶域の使用量を減らす方法を見つけてくだ  
さい。

---

**ARP.020**

レベル: U-TRACE

短構文: ARP.020 Inverse Rply sent  
*hardware\_address\_space protocol\_type* nt *network ID*

長構文: ARP.020 Inverse Reply sent  
*hardware\_address\_space protocol\_type* net *network ID*

説明: 別のホストから変換要求があったために、逆  
方向 ARP 応答が送信されています。

---

**ARP.021**

レベル: P-TRACE

短構文: ARP.021 inv arp req drp, no prot addr for prot  
*protocol\_type* nt *network ID*

長構文: ARP.021 inverse ARP request dropped, no  
protocol address *protocol\_type* nt *network ID*

説明: このメッセージが生成されるのは、逆方向 ARP  
要求は到着しても、ルーターには要求されたプロトコ  
ルのプロトコル・アドレスがインターフェース上にない  
ため、逆方向 ARP 要求に応答できず、それが廃棄さ  
れた場合です。

原因: ルーターにはプロトコルがインターフェース上  
で構成されていないか、インターフェース上でのプロ  
トコルの初期化が完了していないか、逆方向 ARP が  
このプロトコルの場合に構成されていないか、逆  
方向 ARP がこのプロトコルではサポートされてい  
ないかのいずれかです。

処置: 何も必要ありません。これは正常です。

原因: 要求されたプロトコルが AppleTalk の場合  
は、ルーターが相変わらずそのプローブ論理の処理  
過程にあって、AppleTalk プロトコル・アドレスが  
まだ有効にな

っていない可能性があります。

処置: 何も必要ありません。これは正常です。

---

**ARP.022**

レベル: U-TRACE

短構文: ARP.022 Inv Rqst sent *hardware\_address\_space*  
*protocol\_type* to *hardware\_address* nt *network ID*

長構文: ARP.022 Inverse Request sent  
*hardware\_address\_space protocol\_type* to  
*hardware\_address* net *network ID*

説明: こちら側のプロトコル・アドレスを相手方へ  
通知しようとしているときに、逆方向 ARP 要求が  
送信されています。

---

**ARP.030**

レベル: U-INFO

短構文: ARP.030 ATM CIP NtDwn: Clnt prot/addr  
*protocol\_number/ protocol\_address* nt *network ID*

長構文: ARP.030 ATM CIP NetDown: Client  
protocol/proto addr *protocol\_number/ protocol\_address*  
nt *network ID*

説明: このクライアントは、ネットダウンのアップ  
コールを受信しました。すべてのチャンネルおよび  
コールがクリアされます。NetUp アップコールを受  
信すると、インターフェースはすべてのコールの再  
確立を試みます。

---

**ARP.031**

レベル: U-INFO

短構文: ARP.031 ATM CIP NtUp: Clnt prot/addr  
*protocol\_number/ protocol\_address* nt *network ID*

長構文: ARP.031 ATM CIP NetUp: Clnt prot/addr  
*protocol\_number/ protocol\_address* net *network ID*

説明: このクライアントは、ネットアップを受信  
しました。すでに利用可能になっている場合、この  
クライアントは何もしません。ダウンしている場  
合、クライアントはアドレスを登録し、コールを送  
受信し、構成されている PVC があれば、それを再  
オープンします。

---

**ARP.032**

レベル: C-INFO

短構文: ARP.032 ATM CIP AddrStateChg (Active):  
Clnt prot/addr *protocol\_number/ protocol\_address*  
nt *network ID*

長構文: ARP.032 ATM CIP AddrStateChg (Active):

Clnt prot/addr *protocol\_number/ protocol\_address* nt *network ID*

**説明:** このクライアントは、スイッチからアドレス状態の変更を受信しました。これは、アドレス ESI および SEL がスイッチに登録されたことを意味しています。クライアントは、セットアップし、コールを受信するための手順を進めることができます。

---

#### ARP.033

**レベル:** C-INFO

**短構文:** ARP.033 ATM CIP UNI Vers rcved: Clnt prot/addr *protocol\_number/ protocol\_address* nt *network ID*

**長構文:** ARP.033 ATM CIP UNI Vers rcved: Clnt prot/addr *protocol\_number/ protocol\_address* nt *network ID*

**説明:** このクライアントは、ネットダウンのアップコールを受信しました。すべてのチャネルおよびコールがクリアされます。NetUp アップコールを受信すると、インターフェースはすべてのコールの再確立を試みます。

---

#### ARP.034

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** ARP.034 ATM CIP GetAddrByHandle rc=*return\_code*: Clnt prot/addr *protocol\_number/ protocol\_address* nt *network ID*

**長構文:** ARP.034 ATM CIP GetAddrByHandle rc=*return\_code*: Clnt prot/addr *protocol\_number/ protocol\_address* nt *network ID*

**説明:** スイッチからアドレスを入手しようとしているときに、エラーが検出されました。

---

#### ARP.035

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** ARP.035 ATM CIP LlcOpenCallSap rc=*return\_code*: Clnt prot/addr *protocol\_number/ protocol\_address* nt *network ID*

**長構文:** ARP.035 ATM CIP LlcOpenCallSap rc=*return\_code*: Clnt prot/addr *protocol\_number/ protocol\_address* nt *network ID*

**説明:** コール SAP をオープンしようとしているときに、エラーが検出されました。コール SAP は、リモートあて先に ATM のコールを発信または受信するために必要です。

---

#### ARP.036

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** ARP.036 ATM CIP Addr Deactivated!: Clnt prot/addr *protocol\_number/ protocol\_address* nt *network ID*

**長構文:** ARP.036 ATM CIP Addr Deactivated!: Clnt prot/addr *protocol\_number/ protocol\_address* nt *network ID*

**説明:** このクライアントの ATM アドレスが非活動化されました。すべてのコールが削除されています。このクライアントは、アドレスが再活動化されるのを待ちます。PVC はまだ操作可能な状態のままです。

---

#### ARP.037

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** ARP.037 ATM CIP Addr Refused!: Clnt prot/addr *protocol\_number/ protocol\_address* nt *network ID*

**長構文:** ARP.037 ATM CIP Addr Refused!: Clnt prot/addr *protocol\_number/ protocol\_address* nt *network ID*

**説明:** 要求されたアドレスが、スイッチによって拒否されました。

**原因:** 考えられる原因は、重複する MAC アドレスがすでにスイッチに登録されていることです。

---

#### ARP.038

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** ARP.038 ATM CIP AddrStChg unknown: Clnt prot/addr *protocol\_number/ protocol\_address* nt *network ID*

**長構文:** ARP.038 ATM CIP AddrStChg unknown: Clnt prot/addr *protocol\_number/ protocol\_address* nt *network ID*

**説明:** アドレス状態変更機能が呼び出されましたが、要求された状態が不明です。

---

#### ARP.039

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** ARP.039 ATM CIP LecslstReport?:

**長構文:** ARP.039 ATM CIP LecslstReport?:

**説明:** 内部の障害です。指定された機能はクラシカル IP クライアントで呼び出されましたが、そのクライアントにはそのような機能は定義されていません。

---

**ARP.040**

レベル: U-INFO

短構文: ARP.040 ATM CIP ReceiveCall: Clnt prot/addr protocol\_number/ protocol\_address nt network ID

長構文: ARP.040 ATM CIP ReceiveCall: Clnt prot/addr protocol\_number/ protocol\_address nt network ID

説明: コールが、このクライアントによって受信されました。有効な Cdb がある場合は、ARP\_40 の後に続けて、ARP\_87 が表示されます (リモート・クライアント ATM アドレス)。

---

**ARP.041**

レベル: UE-ERROR

短構文: ARP.041 ATM CIP HangUpCall (invald PCR): Clnt prot/addr protocol\_number/ protocol\_address nt network ID

長構文: ARP.041 ATM CIP HangUpCall (invald PCR): Clnt prot/addr protocol\_number/ protocol\_address nt network ID

説明: このクライアントが受信したコールは、指定されたピーク・セル速度が最大許容値を超えています。このコールが解放された原因は、RJT\_IE\_PARM\_VALUE、PRM\_FWD\_PEAKRATE\_LP です。

---

**ARP.042**

レベル: UE-ERROR

短構文: ARP.042 ATM CIP OpenDataPath failr( return\_code): Clnt prot/addr protocol\_number/ protocol\_address nt network ID

長構文: ARP.042 ATM CIP OpenDataPath failr( return\_code): Clnt prot/addr protocol\_number/ protocol\_address nt network ID

説明: 指定のパラメーターを用いてデータ・パスのオープンを試みているとき、障害が発生しました。このコールは、該当する原因コードを出して停止します。

---

**ARP.043**

レベル: UE-ERROR

短構文: ARP.043 ATM CIP atmRcvCallAck fail( return\_code): Clnt prot/addr protocol\_number/ protocol\_address nt network ID

長構文: ARP.043 ATM CIP atmRcvCallAck fail( return\_code): Clnt prot/addr protocol\_number/ protocol\_address nt network ID

説明: 着信コールの受信確認をしようとしているときに、障害が発生しました。

原因: 原因は、内部の制御ブロックの問題です。

---

**ARP.044**

レベル: C-INFO

短構文: ARP.044 ATM CIP PlaceCallAck: Clnt prot/addr protocol\_number/ protocol\_address nt network ID

長構文: ARP.044 ATM CIP PlaceCallAck: Clnt prot/addr protocol\_number/ protocol\_address nt network ID

説明: 発信したコールが、リモートあて先によって受信され、受信確認されました。リモート側へのデータ・パスをオープンし、VCC での送受信を開始します。ARP\_44 の後に続けて、ARP\_87 が表示されます (リモート・クライアント ATM アドレス)。

---

**ARP.045**

レベル: U-INFO

短構文: ARP.045 ATM CIP atmArpDisconnectCall: NULL CORRELATOR received

長構文: ARP.045 ATM CIP atmArpDisconnectCall: NULL CORRELATOR received

説明: コールが、受信する直前に解放されました。

---

**ARP.046**

レベル: U-INFO

短構文: ARP.046 ATM CIP atmArpDisconnectCall: Clnt prot/addr protocol\_number/ protocol\_address nt network ID

長構文: ARP.046 ATM CIP atmArpDisconnectCall: Clnt prot/addr protocol\_number/ protocol\_address nt network ID

説明: すでに活動状態になっているコール、または現在発信中のコールが解放されました。解放された理由が、追加 ELS メッセージに表示されています。これは、通常の状態です。チャンネルが必要な場合は、再初期化します。たとえば、制御チャンネルは、サーバーに接続されるまで 15 秒ごとに再試行されます。

原因: ネットワークまたはリモート・ユーザーのいずれかが、コールを解放しました。



---

**ARP.047**

レベル: U-INFO

短構文: ARP.047 ATM CIP atmArpDiscCall: rsn=*reason\_code*, cause=*cause\_code*, diagLen=*diag\_len*, diagData[0]=*diag\_data*

長構文: ARP.047 ATM CIP atmArpDiscCall: rsn=*reason\_code*, cause=*cause\_code*, diagLen=*diag\_len*, diagData[0]=*diag\_data*

説明: このメッセージに入っている情報は、コールが解放された理由です。

---

**ARP.048**

レベル: U-INFO

短構文: ARP.048 ATM CIP atmArpDiscCall: vpi=*vcc\_vpi*, vci=*vcc\_vci*, AtmAddr=*vcc\_remote\_atm\_address*

長構文: ARP.048 ATM CIP atmArpDiscCall: vpi=*vcc\_vpi*, vci=*vcc\_vci*, AtmAddr=*vcc\_remote\_atm\_address*

説明: このメッセージの中の情報は、チャンネル VPI/VCI と、切断中のチャンネルのリモート ATM アドレスです。

---

**ARP.049**

レベル: U-INFO

短構文: ARP.049 ATM CIP atmArpDiscCall WalkDwn PCR=*walk\_down\_PCR*, SCR=*walk\_down\_SCR*:Clnt prot/addr *protocol\_num/ protocol\_address* nt *network ID*

長構文: ARP.049 ATM CIP atmArpDiscCall WalkDwn PCR=*walk\_down\_PCR*, SCR=*walk\_down\_SCR*:Clnt prot/addr *protocol\_num/ protocol\_address* nt *network ID*

説明: 解放されたコールは、セル速度が原因で解放されました。ATMARP クライアントは、ARP\_48 にリストされているターゲットとの接続を確立するために、一般に使用されるデータ速度まで下げようと試みます。

原因: セル速度が不一致であるために、ネットワークまたはリモート・ユーザーのいずれかが、コールを解放しました。

---

**ARP.050**

レベル: UI-ERROR

短構文: ARP.050 ATM CIP ArpDisconnectLeaf?:

長構文: ARP.050 ATM CIP ArpDisconnectLeaf?:

説明: 内部の障害です。指定された機能はクラシカル IP クライアントで呼び出されましたが、そのクライアントにはそのような機能は定義されていません。

---

**ARP.051**

レベル: C-TRACE

短構文: ARP.051 ATM CIP atmArpRcvFrame: (prot = *protocol\_number*) nt *network ID*

長構文: ARP.051 ATM CIP atmArpRcvFrame: (prot = *protocol\_number*) nt *network ID*

説明: メッセージに示されているインターフェースで、メッセージ内のプロトコル番号の 1483 カプセル化パケットを受信しました。このトレース・ポイントがオンになると、受信したすべてのパケットに対して、このメッセージが出されます。

---

**ARP.052**

レベル: UE-ERROR

短構文: ARP.052 ATM CIP atmArpRcvFrame: Unknown prot = *protocol\_number* nt *network ID*

長構文: ARP.052 ATM CIP atmArpRcvFrame: Unknown prot = *protocol\_number* nt *network ID*

説明: 指定されたネットワーク以外で、不明のプロトコル ID をもつパケットが受信されました。これは予想されたトラフィックである場合も、そうでない場合もあります。いずれの場合も、パケットは廃棄されます。転送はされません。

---

**ARP.053**

レベル: UI-ERROR

短構文: ARP.053 ATM CIP atmArpAddLeafAck?:

長構文: ARP.053 ATM CIP atmArpAddLeafAck?:

説明: 内部の障害です。指定された機能はクラシカル IP クライアントで呼び出されましたが、そのクライアントにはそのような機能は定義されていません。

---

**ARP.054**

レベル: UI-ERROR

短構文: ARP.054 ATM CIP atmArpInit Registr failure (rc= *return\_code*): Clnt prot/addr *protocol\_number/ protocol\_address* nt *network ID*

長構文: ARP.054 ATM CIP atmArpInit Registr failure (rc= *return\_code*): Clnt prot/addr *protocol\_number/ protocol\_address* nt *network ID*

説明: このクライアントは、基礎にある装置ドライバーおよびネットワーク・ハンドラーに対して、ユーザーとして登録するのに失敗しました。このクライアントは、操作不可能になります。

処置: ルーターをリブートし、担当のサービス技術員に連絡してください。

---

#### ARP.055

レベル: C-INFO

短構文: ARP.055 ATM CIP atmArpInit Registr  
successfull: Clnt prot/addr *protocol\_number*/  
*protocol\_address* nt *network ID*

長構文: ARP.055 ATM CIP atmArpInit Registr  
successfull: Clnt prot/addr *protocol\_number*/  
*protocol\_address* nt *network ID*

説明: このクライアントは、基礎にある装置ドライバ  
ーおよびネットワーク・ハンドラーに、正常に登録され  
ました。これは通常の初期化です。

---

#### ARP.056

レベル: UI-ERROR

短構文: ARP.056 ATM CIP atmArpInit OpnBffFrmSap  
Failed (rc= *return\_code*): Clnt prot/addr *protocol\_number*/  
*protocol\_address* nt *network ID*

長構文: ARP.056 ATM CIP atmArpInit OpnBffFrmSap  
Failed (rc= *return\_code*): Clnt prot/addr *protocol\_number*/  
*protocol\_address* nt *network ID*

説明: このクライアントは、バッファ・フレーム  
SAP のオープンに失敗しました。これは、内部エラー  
が原因です。このクライアントは、操作不可能になりま  
す。

処置: ルーターをリブートし、担当のサービス技術員  
に連絡してください。

---

#### ARP.057

レベル: C-INFO

短構文: ARP.057 ATM CIP atmArpInit Address  
Activation pending: Clnt prot/addr *protocol\_number*/  
*protocol\_address* nt *network ID*

長構文: ARP.057 ATM CIP atmArpInit Address  
Activation pending: Client protocol/address  
*protocol\_number*/ *protocol\_address* net *network ID*

説明: このクライアントは、クライアント ATM アド  
レスをスイッチに登録するシーケンスを開始していま  
す。登録が完了すると、クライアント ATM アドレスの  
状況を記述する、別のアドレス状態変更のメッセージの  
ログが記録されます。

処置: 処置は必要ありません。これは正常の処理で  
す。

---

#### ARP.058

レベル: C-INFO

短構文: ARP.058 ATM CIP atmArpInit Address  
Activation success: Clnt prot/addr *protocol\_number*/  
*protocol\_address* nt *network ID*

長構文: ARP.058 ATM CIP atmArpInit Address  
Activation success: Clnt prot/addr *protocol\_number*/  
*protocol\_address* nt *network ID*

説明: このクライアントは、正常にアドレスを活動化  
しました。

---

#### ARP.059

レベル: CE\_ERROR

短構文: ARP.059 ATM CIP:AAL IE:Not prsnt, or Invl  
AAL type (x *AAL\_type*)

長構文: ARP.059 ATM CIP:AAL IE:Not present, or  
Invalid AAL type (x *AAL\_type*)

説明: 無効な AAL タイプ。AAL タイプは AAL5 で  
なければなりません。

---

#### ARP.060

レベル: CE\_ERROR

短構文: ARP.060 ATM CIP:AAL IE:Invl fwd max  
SDU sz ( *fwd\_max\_SDU\_size*)

長構文: ARP.060 ATM CIP:AAL IE:Invalid forward  
maximum SDU size ( *fwd\_max\_SDU\_size*)

説明: 順方向の最大 SDU サイズが無効です。

---

#### ARP.061

レベル: CE\_ERROR

短構文: ARP.061 ATM CIP:AAL IE:Invl bak max  
SDU sz for P2P call ( *bak\_max\_SDU\_size*)

長構文: ARP.061 ATM CIP:AAL IE:Invalid backward  
maximum SDU size for Point-to-Point Call ( *bak\_max\_SDU\_size*)

説明: ポイント・ポイント (2 地点) 間のコールの場  
合、逆方向の最大 SDU サイズが小さ過ぎます。このコ  
ールは受け入れられますが、データを受信するだけで  
す。ARP はサポートされません。

---

**ARP.062**

レベル: CE\_ERROR

短構文: ARP.062 ATM CIP:AAL IE:Invlid bak max SDU sz for P2MP call ( *bak\_max\_SDU\_size* )

長構文: ARP.062 ATM CIP:AAL IE:Invalid backward maximum SDU size for Point-to-MultiPoint Call ( *bak\_max\_SDU\_size* )

説明: ポイント・マルチポイント間のコールの場合、逆方向の最大 SDU サイズが無効です。これは、ゼロまたは 1 でなければなりません。

---

**ARP.066**

レベル: CE\_ERROR

短構文: ARP.066 ATM CIP:AAL IE:Invlid SCS type (x *SSCS\_type* )

長構文: ARP.066 ATM CIP:AAL IE:Invalid SCS type (x *SSCS\_type* )

説明: 無効な SCS タイプ。SCS タイプはヌルでなければなりません。

---

**ARP.067**

レベル: CE\_ERROR

短構文: ARP.067 ATM CIP:Cell Rate IE:Fwd SCR(CLP=0+1) excds max *fwd\_sustainable\_rate*

長構文: ARP.067 ATM CIP:Cell Rate IE:Forward Sustainable Cell Rate(CLP=0+1) exceeds maximum *fwd\_sustainable\_rate*

説明: 低優先順位データの順方向持続可能セル速度が、予約済みの最大セル速度を超えています。

---

**ARP.068**

レベル: CE\_ERROR

短構文: ARP.068 ATM CIP:Cell Rate IE:Fwd SCR(CLP=0) excds max *fwd\_sustainable\_rate*

長構文: ARP.068 ATM CIP:Cell Rate IE:Forward Sustainable Cell Rate(CLP=0) exceeds maximum *fwd\_sustainable\_rate*

説明: 高優先順位データの順方向持続可能セル速度が、予約済みの最大セル速度を超えています。

---

---

**ARP.069**

レベル: CE\_ERROR

短構文: ARP.069 ATM CIP:Cell Rate IE:Fwd PCR(CLP=0+1) excds max *fwd\_peak\_rate*

長構文: ARP.069 ATM CIP:Cell Rate IE:Forward Peak Cell Rate(CLP=0+1) exceeds maximum *fwd\_peak\_rate*

説明: 低優先順位データの順方向ピーク・セル速度が、予約済みの最大セル速度を超えています。

---

**ARP.070**

レベル: CE\_ERROR

短構文: ARP.070 ATM CIP:Cell Rate IE:Bak SCR(CLP=0+1) excds max *bak\_sustainable\_rate*

長構文: ARP.070 ATM CIP:Cell Rate IE:Backward Sustainable Cell Rate(CLP=0+1) exceeds maximum *bak\_sustainable\_rate*

説明: 低優先順位データの逆方向持続可能セル速度が、予約済みの最大セル速度を超えています。

---

**ARP.071**

レベル: CE\_ERROR

短構文: ARP.071 ATM CIP:Cell Rate IE:Bak SCR(CLP=0) excds max *bak\_sustainable\_rate*

長構文: ARP.071 ATM CIP:Cell Rate IE:Backward Sustainable Cell Rate(CLP=0) exceeds maximum *bak\_sustainable\_rate*

説明: 高優先順位データの逆方向持続可能セル速度が、予約済みの最大セル速度を超えています。

---

**ARP.072**

レベル: CE\_ERROR

短構文: ARP.072 ATM CIP:Cell Rate IE:Bak PCR(CLP=0+1) excds max *bak\_peak\_rate*

長構文: ARP.072 ATM CIP:Cell Rate IE:Backward Peak Cell Rate(CLP=0+1) exceeds maximum *bak\_peak\_rate*

説明: 低優先順位データの逆方向ピーク・セル速度が、予約済みの最大セル速度を超えています。

---

**ARP.073**

レベル: CE\_ERROR

短構文: ARP.073 ATM CIP:Bearer IE:Invlid class (x *bearer\_class* )

---

長構文: ARP.073 ATM CIP:Bearer IE:Invalid class (x *bearer\_class*)

説明: 無効なベアラー・クラス。ベアラー・クラスは、クラス C またはクラス X でなければなりません。

---

#### ARP.074

レベル: CE\_ERROR

短構文: ARP.074 ATM CIP:Bearer IE:Invld conn type (x *conn\_type*)

長構文: ARP.074 ATM CIP:Bearer IE:Invalid connection type (x *conn\_type*)

説明: 無効な接続タイプ。接続タイプは、ポイント・ポイントでなければなりません。

---

#### ARP.075

レベル: CE\_ERROR

短構文: ARP.075 ATM CIP:QOS IE:Invld fwd QOS class (x *fwd\_QOS*)

長構文: ARP.075 ATM CIP:QOS IE:Invalid forward QOS class (x *fwd\_QOS*)

説明: 接続はベストエフォート・サービスであり、順方向のサービス品質は QOS クラス 0 でなければなりません。

---

#### ARP.076

レベル: CE\_ERROR

短構文: ARP.076 ATM CIP:QOS IE:Invld bak QOS class (x *bak\_QOS*)

長構文: ARP.076 ATM CIP:QOS IE:Invalid backward QOS class (x *bak\_QOS*)

説明: 接続はベストエフォートであり、逆方向のサービス品質は QOS クラス 0 でなければなりません。

---

#### ARP.077

レベル: CE\_ERROR

短構文: ARP.077 ATM CIP:Calling Party addr IE not prsnt

長構文: ARP.077 ATM CIP:Calling Party address IE not present

説明: 発呼側アドレス IE は、存在しません。

---

#### ARP.078

レベル: CE\_ERROR

短構文: ARP.078 ATM CIP:Calling Party Addr IE:Invld ATM addr lngth ( *remote\_addr\_length*)

長構文: ARP.078 ATM CIP:Calling Party Addr IE:Invalid ATM address length ( *remote\_addr\_length*)

説明: 発呼側アドレス IE は、無効な ATM アドレス長です。

---

#### ARP.079

レベル: CE\_ERROR

短構文: ARP.079 ATM CIP:Calling Party Addr IE:ATM addr fld scrn

長構文: ARP.079 ATM CIP:Calling Party Addr IE:ATM address failed screening

説明: ATM アドレスが検査されましたが、スクリーニングを通過しませんでした。

---

#### ARP.080

レベル: CE\_ERROR

短構文: ARP.080 ATM CIP:Calling Party Addr IE:Invld ATM addr

長構文: ARP.080 ATM CIP:Calling Party Address IE:Invalid ATM address

説明: ATM アドレスの形式が誤りです。私用 ATM アドレス形式しかサポートされません。

---

#### ARP.081

レベル: CE\_ERROR

短構文: ARP.081 ATM CIP:BLLI IE:Invld L2 prtcl (x *l2prot*)

長構文: ARP.081 ATM CIP:BLLI IE:Invalid Layer 2 protocol (x *l2prot*)

説明: BLLI IE に無効なレイヤー 2 プロトコルが含まれています。レイヤー 2 プロトコルは 12 (ISO 8802/2) である必要があります。

---

#### ARP.082

レベル: UI-ERROR

短構文: ARP.082 ATM CIP:ArpFix No Client Address match: Clnt prot *protocol\_number* nt *network ID*

長構文: ARP.082 ATM CIP:ArpFix No Client Address match: Client protocol *protocol\_number* net *network ID*

説明: 構成された PVC または SVC の設定を試みているときに、一致するクライアントが見つからなかったために PVC または SVC に関連付ける正しいクライアントを決定できませんでした。

---

**ARP.083**

レベル: UI-ERROR

短構文: ARP.083 ATM CIP:ArpFix Invlid user or frm sap hndl: Clnt prot/addr *protocol\_number/protocol\_address* nt *network ID*

長構文: ARP.083 ATM CIP:ArpFix Invalid user or frame sap handle: Clnt prot/addr *protocol\_number/protocol\_address* nt *network ID*

説明: 構成された PVC または SVC の設定を試みているときに、クライアントのユーザー・ハンドルまたはフレーム SAP ハンドルが NULL でした。

---

**ARP.084**

レベル: UI-ERROR

短構文: ARP.084 ATM CIP:ArpFix OpnDataPath Failure (rc= *return\_code*): Clnt prot/addr *protocol\_number/protocol\_address* nt *network ID*

長構文: ARP.084 ATM CIP:ArpFix OpnDataPath Failure (rc= *return\_code*): Client protocol/addr *protocol\_number/protocol\_address* network *network ID*

説明: 特定の PVC を設定するためにハードウェアの初期化を試みているときに、障害が検出されました。

---

**ARP.085**

レベル: UI-ERROR

短構文: ARP.085 ATM CIP:ArpFix Cll sap invld: Clnt prot/addr *protocol\_number/protocol\_address* nt *network ID*

長構文: ARP.085 ATM CIP:ArpFix Call sap invalid: Client protocol/address *protocol\_number/protocol\_address* network *network ID*

説明: 構成された SVC の設定を試みているときに、クライアント・ユーザーのコール SAP が無効でした。

---

**ARP.086**

レベル: UI-ERROR

短構文: ARP.086 ATM CIP: atmPlaceCall Failure (rc= *return\_code*): Clnt prot/addr *protocol\_number/protocol\_address* nt *network ID*

長構文: ARP.086 ATM CIP: atmPlaceCall Failure (rc=

*return\_code*): Client protocol/address *protocol\_number/protocol\_address* net *network ID*

説明: 構成された SVC の設定を試みているときに、装置ドライバーのサービスが SUCCESS 以外の値を返しました。

---

**ARP.087**

レベル: U-INFO

短構文: ARP.087 ATM CIP: Remote station : AtmAddr= *vcc\_remote\_atm\_address*

長構文: ARP.087 ATM CIP: Remote station : AtmAddr= *vcc\_remote\_atm\_address*

説明: 構成された SVC の設定。これはリモート・クライアントの ATM アドレスです。このメッセージは、PlaceCall SUCCESS に関する ARP\_88 の前に表示され、PlaceCall FAILURE に関する ARP\_86 の後に続きます。また、このメッセージは、ARP\_40 および ARP\_44 の後にも表示されます。

---

**ARP.088**

レベル: C-INFO

短構文: ARP.088 ATM CIP: atmPlaceCall Success: Clnt prot/addr *protocol\_number/protocol\_address* nt *network ID*

長構文: ARP.088 ATM CIP: atmPlaceCall Success: Clnt protocol/address *protocol\_number/protocol\_address* net *network ID*

説明: コールは正常に実行されました。このチャンネルは新しいチャンネル・リストの上に現れるはずであり、まだ応答はされていません。応答されると、ログに PlaceCallAck メッセージが現れます。

---

**ARP.089**

レベル: U-INFO

短構文: ARP.089 ATM CIP: chan aged: vpi= *vcc\_vpi*, vci= *vcc\_vci*, AtmAddr= *vcc\_remote\_atm\_address*

長構文: ARP.089 ATM CIP: channel aged out: vpi= *vcc\_vpi*, vci= *vcc\_vci*, AtmAddr= *vcc\_remote\_atm\_address*

説明: チャンネルが非活動状態であるために切断されました。このメッセージの中の情報は、チャンネル VPI/VCI と、切断中のチャンネルのリモート ATM アドレスです。



---

**ARP.090**

レベル: UE-ERROR

短構文: ARP.090 ATM CIP: Disconnect of cntrl vcc:  
Clnt prot/addr *protocol\_number/ protocol\_address* nt  
*network ID*

長構文: ARP.090 ATM CIP: Disconnect of control vcc:  
Client protocol/address *protocol\_number/ protocol\_address*  
net *network ID*

説明: 活動状態の制御チャンネルが切断されました。現在 ARP キャッシュにないアドレスの解決は、新しい制御チャンネルが活動状態になるまで中断されます。

---

**ARP.092**

レベル: U-TRACE

短構文: ARP.092 ATM CIP: Mk ent *protocol\_number/*  
*protocol\_address* nt *network ID*

長構文: ARP.092 ATM CIP: Make ATM Arp entry  
prot/addr *protocol\_number/ protocol\_address* nt *network*  
*ID*

説明: このホストにアドレス指定された着信 ATM ARP パケットに、変換キャッシュにないマッピングが含まれていました。パケット内の情報を使用して、新しいキャッシュ項目が記入されました。

---

**ARP.093**

レベル: U-TRACE

短構文: ARP.093 ATM CIP: Mv ent *protocol\_number/*  
*protocol\_address* nt *network ID*

長構文: ARP.093 ATM CIP: Move ATM Arp entry  
prot/addr *protocol\_number/ protocol\_address* nt *network*  
*ID*

説明: このホストにアドレス指定された着信 ATM ARP パケットが固定チャンネルに着信し、変換キャッシュの中にあるマッピングを含んでいましたが、非固定チャンネルを使用していました。ARP 項目は、固定チャンネルを使用するように更新されました。

---

**ARP.094**

レベル: U-TRACE

短構文: ARP.094 ATM CIP: Rslv ent *protocol\_number/*  
*protocol\_address* nt *network ID*

長構文: ARP.094 ATM CIP: Resolve ATM Arp entry  
prot/addr *protocol\_number/ protocol\_address* nt *network*  
*ID*

説明: このホストにアドレス指定された着信 ATM ARP パケットまたは InARP パケットには、ARP キャッシュの中にあるプロトコル・アドレスをもつマッピングが含まれていましたが、接続されたチャンネルがありませんでした。ARP 項目は、ARP パケットの中の ATM アドレスを使用するように更新されました。ARP 項目はこのチャンネルに接続されました。

---

**ARP.095**

レベル: U-TRACE

短構文: ARP.095 ATM CIP: InArp Req sent *vpi/ vci*  
*protocol\_type* nt *network ID*

長構文: ARP.095 ATM CIP: Inverse Arp request sent  
*vpi= vpi, vci= vci* prot *protocol\_type* net *network ID*

説明: あて先 ATM アドレスについてのプロトコル・アドレスを検出するための試みとして、InARP 変換要求が示された VPI および VCI と共にチャンネル上に送信されています。

---

**ARP.096**

レベル: U-TRACE

短構文: ARP.096 ATM CIP: Arp\_send NULL channel  
detected, nt *network ID*

長構文: ARP.096 ATM CIP: Arp\_send NULL channel  
detected, net *network ID*

説明: 発信 ARP パケットが送信されるはずでしたが、ARP サーバーへのチャンネルが活動状態ではありませんでした。パケットは廃棄されます。

---

**ARP.097**

レベル: U-TRACE

短構文: ARP.097 ATM CIP: Arp Req sent  
*protocol\_number/ protocol\_address* nt *network ID*

長構文: ARP.097 ATM CIP: ATM Arp request sent  
prot/addr *protocol\_number/ protocol\_address* net *network*  
*ID*

説明: ARP 変換要求が、与えられたプロトコル・アドレスについての ATM アドレスを検出するための試みとして、ATM ARP サーバーに送信されています。

---

**ARP.098**

レベル: CE\_ERROR

短構文: ARP.098 ATM CIP: Dup ent *protocol\_number/*  
*protocol\_address* nt *network ID*

長構文: ARP.098 ATM CIP: Dup ATM Arp entry

prot/addr *protocol\_number/ protocol\_address* nt *network ID*

**説明:** このホストにアドレス指定された着信 ATM ARP パケットまたは InARP パケットには、ARP キャッシュの中にあるプロトコル・アドレスをもつマッピングが含まれており、関連づけられたチャンネルがありましたが、関連づけられた ATM アドレスが異なっていました。ARP パケットは無視されます。

---

#### ARP.099

**レベル:** P\_TRACE

**短構文:** ARP.099 Trace ARP/ATMARP frame

**長構文:** ARP.099 Trace ARP/ATMARP frame

**説明:** ATM ARP 構成要素に関するパケット・トレース

---

#### ARP.100

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** ARP.100 DROP: Bridging not enabled on VCC (vpi= *vpi*, vci= *vci*), nt *network ID*

**長構文:** ARP.100 DROP: Bridging not enabled on VCC (vpi= *vpi*, vci= *vci*), network *network ID*

**説明:** RFC 1483 に定義されているブリッジ・タイプ上で、フレームが受信されました。しかし、ブリッジングがこの回線で使用可能にされていなかったために、フレームは廃棄されます。

**原因:** ポイント・ポイント WAN 接続においては、このことはブリッジングが一方の終点ルーターでは使用可能になっており、もう一方では使用不可になっていることを示しています。この構成は誤っています。

**処置:** 回線の両端で適正なブリッジング動作を使用可能にするか、またはこの VCC に接続されたブリッジ・ポート上でのブリッジングを使用不可にします。言い換えれば、回線の両端でブリッジングを使用可能にするか使用不可にする必要があります。

---

#### ARP.101

**レベル:** C-INFO

**短構文:** ARP.101 DROP: Bridge port ( *portnum*) not fwding on VCC (vpi= *vpi*, vci= *vci*), nt *network ID*

**長構文:** ARP.101 DROP: Bridge port ( *portnum*) not forwarding on VCC (vpi= *vpi*, vci= *vci*), network *network ID*

**説明:** ブリッジ・フレームは、ブリッジ・ポートが転送状態でないために、廃棄されます。

**原因:** ポートがアップ状態になった直後で、ブロック化、listen、確認、転送の各状態に進行中であるか、またはスパンニング・ツリー・プロトコルがこのポートをバックアップ・ポートとしてブロック状態に留まらせるように決定した可能性があります。

---

#### ARP.102

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** ARP.102 DROP: *source\_mac*-> *dest\_mac*, Frame to bdg port behav mismatch on VCC (vpi= *vpi*, vci= *vci*), nt *network ID*

**長構文:** ARP.102 DROP: *source\_mac*-> *dest\_mac*, Frame to bridge port behavior mismatch on VCC= (vpi= *vpi*, vci= *vci*), network *network ID*

**説明:** ブリッジされたフレームが受信されましたが、フレーム・タイプとブリッジ・ポートの動作とが合致しないために、廃棄されます。

**原因:** ソース・ルーティングされたフレームが、ソース・ルーティングが使用不可になっているブリッジ・ポートで受信されたか、または透過フレームが、透過ブリッジングが使用不可になっているブリッジ・ポートで受信されました。

**処置:** 回線の両端で適正なブリッジング動作を使用可能にするか、またはこの VCC に接続されたブリッジ・ポート上でのブリッジングを使用不可にします。

---

#### ARP.103

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** ARP.103 Unsupported bdg frame type = 0x *type*, VCC (vpi= *vpi*, vci= *vci*) on nt *network ID*

**長構文:** ARP.103 Unsupported bridge frame type = 0x *type* from VCC (vpi= *vpi*, vci= *vci*) on network *network ID*

**説明:** サポートされないブリッジ・フレーム・タイプが検出され、フレームは廃棄されました。

**原因:** 受信されたブリッジ・フレームが、802.4 ブリッジ・フレームか、802.6 ブリッジ・フレームか、ブリッジ・プロトコル ID が RFC 1483 でサポートされていないブリッジ・フレームのいずれかでした。

**処置:** 互換性のあるブリッジング動作が回線の両端で構成されていることを確認して、それでも問題が起こる場合はサービス技術員に連絡してください。

---

**ARP.104**

レベル: UI-ERROR

短構文: ARP.104 Unrecgnz outgoing bdg frame type = *type* on VCC (vpi= *vpi*, vci= *vci*) on nt *network ID*

長構文: ARP.104 Unrecognized outgoing bridge frame type = *type* on VCC (vpi= *vpi*, vci= *vci*) on network *network ID*

説明: 発信ブリッジ・フレーム・タイプが認識できません。ブリッジが ATM インターフェースに送信を依頼したフレームのタイプは、RFC 1483 に定義されているカプセル化に変換できません。

原因: ソフトウェアの問題

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

**ARP.105**

レベル: UE-ERROR

短構文: ARP.105 Unsupported ethertype = 0x *etype* (OUI = 0x *oui*) on VCC (vpi= *vpi*, vci= *vci*) on nt *network ID*

長構文: ARP.105 Unsupported ethernet type = 0x *etype* (OUI = 0x *oui*) on VCC (vpi= *vpi*, vci= *vci*) on network *network ID*

説明: サポートされないイーサネット・タイプが検出されました。

原因: ソフトウェアが古いものであるか、適合していません。サービス技術員に連絡してください。

---

**ARP.106**

レベル: U-INFO

短構文: ARP.106 ATM CIP: Var *msgType* info: *desc* addr *atmAddr*.

長構文: ARP.106 ATM CIP: Variable *msgType* information: *desc* addr *atmAddr*.

説明: メッセージに関するアドレス情報が可変です。

---

**ARP.107**

レベル: U-INFO

短構文: ARP.107 ATM CIP: No MARS cntrl vcc in func *functionCall*.

長構文: ARP.107 ATM CIP: No MARS control vcc while in function call *functionCall*.

説明: MARS 要求メッセージが ATM MARS サーバーに送信中です。

---

**ARP.108**

レベル: UI-ERROR

短構文: ARP.108 ATM CIP: Client control blk is null in func *functionCall*.

長構文: ARP.108 ATM CIP: Client control block is null in function call *functionCall*.

説明: 内部機能コールには、ヌルである有効なクライアント制御ブロックを指すポインタが必要で、機能名を記録し、問題を報告してください。

---

**ARP.109**

レベル: UI-ERROR

短構文: ARP.109 ATM CIP: Event control blk is null in func *functionCall*.

長構文: ARP.109 ATM CIP: Event control block is null in function call *functionCall*.

説明: 内部機能コールには、ヌルである有効な事象制御ブロックを指すポインタが必要で、機能名を記録し、問題を報告してください。

---

**ARP.110**

レベル: U-INFO

短構文: ARP.110 Tx Q ovf in func *functionCall* nt *network*.

長構文: ARP.110 Transmit queue overflow in function *functionCall* net *network*.

説明: 送信する必要のある保留の ARP/MARS パケットの待ち行列が長過ぎたため、MARS パケットが待ち行列に追加されずに廃棄されました。これは、ARP/MARS パケットの送信が速過ぎて処理できなかったことを意味しています。

---

**ARP.111**

レベル: P-TRACE

短構文: ARP.111 ATM CIP: *state* MARS Client msg proc for *msgType* a *action*.

長構文: ARP.111 ATM CIP: *state* MARS Client message processing for *msgType* a *action*.

説明: これは、MARS クライアントが実行中のアクションです。

---



---

**ARP.112**

レベル: P-TRACE

短構文: ARP.112 ATM CIP: Msg is a response to an outstanding *msgType*.

長構文: ARP.112 ATM CIP: Message is a response to an outstanding *msgType*.

説明: このメッセージには、この MARS クライアントで発信された要求に対する MARS サーバーからの応答が入っています。

---

**ARP.113**

レベル: UE-ERROR

短構文: ARP.113 ATM CIP: *msgType* msg rcv contains invalid *value*.

長構文: ARP.113 ATM CIP: *msgType* message recived contains and invalid *value* value.

説明: MARS クライアントにメッセージが送信されましたが、無効値が含まれています。

原因: MARS サーバーに問題があります。

処置: システム管理者に連絡してください。

---

**ARP.114**

レベル: U-TRACE

短構文: ARP.114 ATM CIP: *message*.

長構文: ARP.114 ATM CIP: *message*.

説明: これは、MARS クライアントが実行中のアクションです。

---

**ARP.115**

レベル: U-TRACE

短構文: ARP.115 ATM CIP: *msgType* spec info [splt *srcPln* tplt *argPln* thtl *argHtl* tttl *tarStl*].

長構文: ARP.115 ATM CIP: *msgType* specific information [splt *srcPln* tplt *argPln* thtl *argHtl* tttl *tarStl*].

説明: これは、MARS クライアントが送信中または受信中の特定のメッセージ内容です。

---

**ARP.116**

レベル: U-TRACE

短構文: ARP.116 ATM CIP: *msgType* spec info [splt *srcPln* thtl *argHtl* tttl *argStl* tplt *argPln* tnum *tnumAddr*

*seqxy* *msgPart* msn *marsSeq*].

長構文: ARP.116 ATM CIP: *msgType* specific information [splt *srcPln* thtl *argHtl* tttl *argStl* tplt *argPln* tnum *tnumAddr* *seqxy* *msgPart* msn *marsSeq*].

説明: これは、MARS クライアントが送信中または受信中の特定のメッセージ内容です。

---

**ARP.117**

レベル: P-TRACE

短構文: ARP.117 ATM CIP: *msgType* spec info [splt *srcPln* thtl *argHtl* tttl *argStl* flags *msgFlags* tnum *tnumAddr* *seqxy* *msgPart* msn *marsSeq*].

長構文: ARP.117 ATM CIP: *msgType* specific information [splt *srcPln* thtl *argHtl* tttl *argStl* flags *msgFlags* tnum *tnumAddr* *seqxy* *msgPart* msn *marsSeq*].

説明: これは、MARS クライアントが送信中または受信中の特定のメッセージ内容です。

---

**ARP.118**

レベル: U-TRACE

短構文: ARP.118 ATM CIP: *msgType* spec info [splt *srcPln* thtl *argHtl* tttl *argStl* tplt *argPln* tnum *tnumAddr* msn *marsSeq*].

長構文: ARP.118 ATM CIP: *msgType* specific information [splt *srcPln* thtl *argHtl* tttl *argStl* tplt *argPln* tnum *tnumAddr* msn *marsSeq*].

説明: これは、MARS クライアントが送信中または受信中の特定のメッセージ内容です。

---

**ARP.119**

レベル: U-INFO

短構文: ARP.119 ATM CIP: *action* MARS Client proc for an exp *timType* tim.

長構文: ARP.119 ATM CIP: *action* MARS Client processing for an expired *timType* timer.

説明: MARS クライアント・メッセージの処理中に、タイマー・アクションが生じています。

---

**ARP.120**

レベル: U-INFO

短構文: ARP.120 ATM CIP: MARS Client Response timer exp for mar\$optype: *opType* .

長構文: ARP.120 ATM CIP: MARS Client Response timer exp for mar\$optype: *opType* .

説明: このメッセージに示されているのは、タイマーが満了した場合の MARS の操作タイプです。

---

#### ARP.121

レベル: P-TRACE

短構文: ARP.121 ATM CIP: *action* MARS Client io proc for *reqType*.

長構文: ARP.121 ATM CIP: *action* MARS Client I/O processing for *reqType*.

説明: メッセージを受信した結果、MARS クライアントで行われているアクション

---

#### ARP.122

レベル: UI-ERROR

短構文: ARP.122 ATM CIP: Channel cntl blk is null in func *functionCall*.

長構文: ARP.122 ATM CIP: Channel control block is null in function call *functionCall*.

説明: 内部機能コールには、ヌルである有効なチャンネル制御ブロックを指すポインターが必要です。機能名を記録し、問題を報告してください。

---

#### ARP.123

レベル: UI-ERROR

短構文: ARP.123 ATM CIP: atmAddLeaf Failure (rc= *return\_code*): Clnt prot/addr *protocol\_number/protocol\_address* nt *network ID*

長構文: ARP.123 ATM CIP: atmAddLeaf Failure (rc= *return\_code*): Client protocol/address *protocol\_number/protocol\_address* net *network ID*

説明: 構成された SVC にリーフの追加を試みているときに、装置ドライバーのサービスが SUCCESS 以外の値を返しました。

---

#### ARP.124

レベル: UI-ERROR

短構文: ARP.124 ATM CIP: atmAddLeaf Failure destination: AtmAddr= *vcc\_remote\_atm\_address*

長構文: ARP.124 ATM CIP: atmAddLeaf Failure destination: AtmAddr= *vcc\_remote\_atm\_address*

説明: 構成された SVC にリーフの追加を試みているときに、装置ドライバーのサービスが SUCCESS 以外の値を返しました。これは、リーフの確立が試みられているリモート端末のアドレスです。

---

#### ARP.125

レベル: C-INFO

短構文: ARP.125 ATM CIP: atmAddLeaf Success: Clnt prot/addr *protocol\_number/ protocol\_address* nt *network ID*

長構文: ARP.125 ATM CIP: atmAddLeaf Success: Clnt protocol/address *protocol\_number/ protocol\_address* net *network ID*

説明: リーフが正常に追加されました。このリーフは、VC の 1 つに対するリーフとしてアクティブ・チャンネル・リストに表示される必要があります。まだ応答はされていません。応答されると、AddLeafAck メッセージがログに表示されます。

---

#### ARP.126

レベル: UI-ERROR

短構文: ARP.126 ATM CIP: Problem processing Redirect list (rc= *return\_code*).

長構文: ARP.126 ATM CIP: Problem processing Redirect list (rc= *return\_code*).

説明: MARS\_REDIRECT メッセージから入手したバックアップ MARS サーバーの確認済みリストの処理を試みている最中に、エラーが発生しました。

---

#### ARP.127

レベル: UI-ERROR

短構文: ARP.127 ATM CIP: Protocol control blk is null in func *functionCall*.

長構文: ARP.127 ATM CIP: Protocol control block is null in function call *functionCall*.

説明: 内部機能コールには、ヌルである有効なプロトコル制御ブロックを指すポインターが必要です。機能名を記録し、問題を報告してください。

---

#### ARP.129

レベル: UE-ERROR

短構文: ARP.129 Invalid TLV values *tlvRc*

長構文: ARP.129 Invalid TLV values *tlvRc*

説明: MARS クライアントにメッセージが送信されましたが、無効の TLV 値が含まれています。

原因: MARS サーバーに問題があります。

処置: システム管理者に連絡してください。

---

**ARP.130**

レベル: UE-ERROR

短構文: ARP.130 Invalid version *opVersion*

長構文: ARP.130 Invalid MARS operation version specified in message *opVersion*

説明: MARS クライアントにメッセージが送信されましたが、無効のバージョンが含まれています。

原因: MARS サーバーに問題があります。

処置: システム管理者に連絡してください。

---

**ARP.131**

レベル: UE-ERROR

短構文: ARP.131 Unsupported op value *opValue*

長構文: ARP.131 Invalid MARS operation value specified in message *opValue*

説明: MARS クライアントにメッセージが送信されましたが、無効の操作が含まれています。

原因: MARS サーバーに問題があります。

処置: システム管理者に連絡してください。

---

**ARP.132**

レベル: CE-ERROR

短構文: ARP.132 Out of sequence op type *opType*

長構文: ARP.132 Sequence error in MARS operation type specified in message *opType*

説明: MARS クライアントにメッセージが送信されましたが、無効の操作が含まれています。

原因: タイミング・エラー

処置: 問題が継続する場合は、システム管理者に連絡してください。

---

**ARP.133**

レベル: U-INFO

短構文: ARP.133 Registration with MARS server rc = *registerRc*

長構文: ARP.133 The client has attempted to register with the MARS server and has received a response of *registerRc*.

説明: MARS への登録要求に対する非ゼロ応答

原因: 正常

---

処置: 問題が継続する場合は、システム管理者に連絡してください。

---

**ARP.134**

レベル: U-TRACE

短構文: ARP.134 ATM CIP: *msgType action: fixhdr[afn addrFamily pro proType snap pSnap0 pSnap1 pSnap2 pSnap3 pSnap4 chksum checksum ext extoff ver opVersion shtl addrTypeLen sstl subAddrTypeLen]* on nt network ID.

長構文: ARP.134 ATM CIP: A *msgType* message was *action* with a fixed header of [*afn addrFamily pro proType snap pSnap0 pSnap1 pSnap2 pSnap3 pSnap4 chksum checksum ext extoff ver opVersion shtl addrTypeLen sstl subAddrTypeLen*] on net network ID.

説明: これは、MARS クライアントが送信中または受信中のメッセージの固定ヘッダーです。

---

**ARP.135**

レベル: U-INFO

短構文: ARP.135 ATM CIP ArpDisconnectLeaf: *rsn= reason\_code, cause= cause\_code, diagLen= diag\_len, diagData[0]= diag\_data vpi= vcc\_vpi, vci= vcc\_vci, LeafAtmAddr= leaf\_remote\_atm\_address*

長構文: ARP.135 ATM CIP ArpDisconnectLeaf: *rsn= reason\_code, cause= cause\_code, diagLen= diag\_len, diagData[0]= diag\_data vpi= vcc\_vpi, vci= vcc\_vci, LeafAtmAddr= leaf\_remote\_atm\_address*

説明: このメッセージに含まれている情報は、リーフが解放された理由です。また、このリーフがメンバーになっていたチャネル VPI/VCI、ならびにこのリーフの ATM アドレスを示す情報も含まれています。

---

**ARP.136**

レベル: UE-ERROR

短構文: ARP.136 ATM CIP atmArpRcvFrame: Unknown *protype* value= *vauleNum* nt network ID

長構文: ARP.136 ATM CIP atmArpRcvFrame: Unknown *protype* value= *vauleNum* nt network ID

説明: 指定されたネットワーク以外で、不明のプロトコル ID をもつパケットが受信されました。これは予想されたトラフィックである場合も、そうでない場合もあります。いずれの場合も、パケットは廃棄されます。転送はされません。

---

---

**ARP.137**

レベル: U-INFO

短構文: ARP.137 ATM CIP atmArpAddLeafAck: vpi=*vcc\_vpi*, vci= *vcc\_vci*, LeafAtmAddr=*leaf\_remote\_atm\_address*

長構文: ARP.137 ATM CIP atmArpAddLeafAck: vpi=*vcc\_vpi*, vci= *vcc\_vci*, LeafAtmAddr=*leaf\_remote\_atm\_address*

説明: ポイント・マルチポイント (1 地点多地点) 間のコールへの新規パーティーの追加が正常に行われたことを確認します。

---

**ARP.138**

レベル: U-TRACE

短構文: ARP.138 ATM CIP: *msgType* spec info [*spln srcPln tpln targPln pnum numPairs seq priSeq flags msgFlags cmi clusterId msn marsSeq*].

長構文: ARP.138 ATM CIP: *msgType* specific information [*spln srcPln tpln targPln pnum numPairs seq priSeq flags msgFlags cmi clusterId msn marsSeq*].

説明: これは、MARS クライアントが送信中または受信中の特定のメッセージ内容です。

---

**ARP.139**

レベル: U-INFO

短構文: ARP.139 ATM CIP: atmaActivateServer Current Active Arp Server: AtmAddr= *vcc\_remote\_atm\_address*

長構文: ARP.139 ATM CIP: atmaActivateServer Current Active Arp Server: AtmAddr= *vcc\_remote\_atm\_address*

説明: これは、現行の動作可能 ARP サーバーの ATM アドレスです。

---

**ARP.140**

レベル: U-INFO

短構文: ARP.140 ATM CIP: start\_SG failed: retcd=*retcd*, protid= *protid*, sgid= *sgid*, lsid= *lsid*, net= *net#*

長構文: ARP.140 ATM CIP: start\_SG failed: retcd=*retcd*, protid= *protid*, sgid= *sgid*, lsid= *lsid*, net= *net#*

説明: SCSP によるサーバー・グループの開始が正常に行われませんでした。このサーバー・グループはすでに開始されていた可能性があります。異なるサブネットに同じサーバー・グループ ID が構成されている可能性もあります。サーバー・グループ ID は、各サブネットごとにそれぞれ固有である必要があります。

---

**ARP.141**

レベル: U-INFO

短構文: ARP.141 ATM CIP:AAL IE:Negotiating SDU sizes, Remote Station fwd max SDU sz ( *fwd\_max\_SDU\_size*)

長構文: ARP.141 ATM CIP:AAL IE:Negotiating SDU sizes with Remote Station, Remote Station forward maximum SDU size ( *fwd\_max\_SDU\_size*)

説明: リモート端末の順方向最大 SDU サイズが、ユーザーの逆方向最大 SDU サイズを上回っています。リモート端末との間で SDU サイズについて折衝します。

---

**ARP.142**

レベル: U-INFO

短構文: ARP.142 ATM CIP:AAL IE:Negotiating SDU sizes, Remote Station bak max SDU sz ( *bak\_max\_SDU\_size*)

長構文: ARP.142 ATM CIP:AAL IE:Negotiating SDU sizes with Remote Station, Remote Station backward maximum SDU size ( *bak\_max\_SDU\_size*)

説明: リモート端末の逆方向最大 SDU サイズが、ユーザーの順方向最大 SDU サイズを上回っています。リモート端末との間で SDU サイズについて折衝します。

---

**ARP.143**

レベル: U-TRACE

短構文: ARP.143 ATM CIP: No Chan *protocol\_number/protocol\_address* nt *network ID*

長構文: ARP.143 ATM CIP: Entry rcvd on Down Channel, prot/addr *protocol\_number/ protocol\_address* nt *network ID*

説明: 着信 ATM ARP パケットが到着したチャンネルがダウンしていて、パケットを処理できませんでした。パケットは廃棄されます。

---

**ARP.144**

レベル: UI-ERROR

短構文: ARP.144 xmt: No mem for csa ent, prot *protocol\_type* nt *network ID*

長構文: ARP.144 transmit: No memory for csa record, protocol *protocol\_type* net *network ID*

説明: ARP パケットの出力処理時に、ルーターは、指定の ARP 項目のクライアント状態公示 (csa) レコード

を通して SCSP を通知するために使用できる記憶域がありませんでした。

**原因:** ルーターはヒープ記憶域が極端に少ない状態です。

**処置:** 記憶域の使用量を減らす方法を見つけてください。

---

#### ARP.145

**レベル:** P\_TRACE

**短構文:** ARP.145 ATM CIP: InArp bad subnet  
*protocol\_number/ protocol\_address nt network ID*

**長構文:** ARP.145 ATM CIP: InArp received from  
another subnet, prot/addr *protocol\_number/*  
*protocol\_address nt network ID*

**説明:** InArp パケットを受信しましたが、発信元プロトコル・アドレスがこのインターフェース上に定義されたサブネットの 1 つではありません。パケットは無視されます。

---

#### ARP.146

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** ARP.146 ATM CIP: bad red call rcvd: CInt  
prot/addr *protocol\_number/ protocol\_address nt network ID*

**長構文:** ARP.146 ATM CIP: bad red call received:  
Client protocol/address *protocol\_number/ protocol\_address*  
*net network ID*

**説明:** CIP 冗長用に定義されたローカル ATM アドレスあてのコールを受信しましたが、次の理由の 1 つにより、応答されませんでした。(1) コールされる側が発信用に構成されている (2) コールされる側がすでに冗長チャンネルを持っている (3) 発呼者の ATM アドレスが、構成された発呼者の ATM アドレスと一致していない。発呼者の ATM アドレスは ARP\_86 に従います。このボックスとそのパートナーの CIP 冗長構成を検査してください。

---

#### ARP.147

**レベル:** U-TRACE

**短構文:** ARP.147 ATM CIP: ARP Pkt on rcv-only  
*protocol\_number/ protocol\_address nt network ID*

**長構文:** ARP.147 ATM CIP: ARP Packet received on  
receive-only channel, prot/addr *protocol\_number/*  
*protocol\_address nt network ID*

**説明:** 着信 ATM ARP パケットが、データの受信専用

のチャンネルに到着しました。パケットは廃棄されます。最も考えられる原因は、このチャンネルの逆方向 SDU サイズが、このインターフェースに構成されている SDU より小さかったことです。

---

#### ARP.148

**レベル:** U-INFO

**短構文:** ARP.148 Processing *routine\_name net*  
*net\_number prot protocol\_number hdw hardware\_address*

**長構文:** ARP.148 Processing *routine\_name* for net  
number *net\_number* protocol *protocol\_number* hardware  
address *hardware\_address*

**説明:** arp\_circup または arp\_circdn が指定されたネット番号、プロトコル、およびハードウェア・アドレスについて呼び出されていることを示します。

---

#### ARP.149

**レベル:** U-INFO

**短構文:** ARP.149 Calling argrply prot *protocol\_number*  
*hdw hardware\_address arp\_op arp\_opcode*

**長構文:** ARP.149 Calling argrply protocol  
*protocol\_number* hardware address *hardware\_address* arp  
opcode *arp\_opcode*

**説明:** arp\_circup は、指定されたプロトコル、ハードウェア・アドレス、および arp opcode について根拠のない arp を送信しています。





---

## 第4章 拡張対等通信ネットワーク機能 (APPN)

この章では、拡張対等通信ネットワーク機能 (APPN) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### APPN.001

レベル: C-INFO

短構文: APPN.001 Rcvd netup for intf *n\_net*

長構文: APPN.001 Received netup for interface *n\_net*

説明: このメッセージは、インターフェースによって netup が受信されるごとに生成されます。

---

### APPN.002

レベル: C-INFO

短構文: APPN.002 Rcvd netdn for intf *n\_net*

長構文: APPN.002 Received netdown for interface *n\_net*

説明: このメッセージは、インターフェースによって netdown が受信されるごとに生成されます。

---

### APPN.003

レベル: C-INFO

短構文: APPN.003 Discarding APPN HPR pkt rcvd on dn intf.

長構文: APPN.003 Discarding APPN HPR packet received on down interface.

説明: このメッセージは、現在ダウンしているポートにパケットが送信された場合に生成されます。

---

### APPN.004

レベル: C-INFO

短構文: APPN.004 Unkwn Dialog Msge rcvd

長構文: APPN.004 Unknown Dialog Message received

説明: EGPE から不明のダイアログ・メッセージを受信した場合に生成されます。

---

### APPN.008

レベル: C-INFO

短構文: APPN.008 APPN dumped to file

長構文: APPN.008 APPN dumped to file

説明: このメッセージは、APPN が talk 5 によってダ

ンプを取ったときに生成されます。

---

### APPN.009

レベル: C-INFO

短構文: APPN.009 Stop APPN node

長構文: APPN.009 Message has been sent to stop APPN node.

説明: このメッセージは、APPN が talk 5 によって停止を指示された場合に生成されます。

---

### APPN.010

レベル: C-INFO

短構文: APPN.010 APPN node not running

長構文: APPN.010 APPN node is not running so cannot support talk 5 command.

説明: このメッセージは、talk 5 コマンドを実行しようとした際に APPN が実行されていない場合に生成されます。

---

### APPN.011

レベル: UE-ERROR

短構文: APPN.011 *logged\_string*

長構文: APPN.011 *logged\_string*

説明: このメッセージは、APPN サブシステムがログ項目を生成する場合に生成されます。通常、ログ項目はエラー状態を報告します。詳細については、ログが記録されているテキストを参照してください。

原因: APPN サブシステム内でエラーが発生しました。

---

### APPN.012

レベル: UE-ERROR

短構文: APPN.012 *logged\_string*

長構文: APPN.012 *logged\_string*

説明: このメッセージは、APPN サブシステムがログ項目を生成する場合に生成されます。通常、ログ項目はエラー状態を報告します。詳細については、ログが記録

されているテキストを参照してください。

**原因:** APPN サブシステム内でエラーが発生しました。

---

#### APPN.013

**レベル:** C-INFO

**短構文:** APPN.013 APPN Msg: Comp: *component\_name*  
PrID: *Probe\_ID* Op: *Operator\_Name* Text: *message*

**長構文:** APPN.013 APPN Messaeg: Component:  
*component\_name* Probe ID: *Probe\_ID* Operator:  
*Operator\_Name*TextL *message*

**説明:** このメッセージは、APPN 構成要素がユーザーにメッセージを表示するときに生成されます。

**原因:** ユーザーに知らせる必要のあるすべての状態。

---

#### APPN.014

**レベル:** P-TRACE

**短構文:** APPN.014 *trace\_info*

**長構文:** APPN.014 *trace\_info*

**説明:** APPN のデータ・リンク制御送受信トレースが使用可能になっているときに、このメッセージは XID および PIU を表示します。

**原因:** APPN が XID または PIU をトレースしています。

---

#### APPN.015

**レベル:** P-TRACE

**短構文:** APPN.015 *trace\_info*

**長構文:** APPN.015 *trace\_info*

**説明:** APPN ノード・レベル・トレースが使用可能になっているときに、このメッセージは APPN ノード・レベル・トレースを表示します。

**原因:** APPN ノード・レベル・トレースが生成されています。

---

#### APPN.016

**レベル:** P-TRACE

**短構文:** APPN.016 *trace\_info*

**長構文:** APPN.016 *trace\_info*

**説明:** APPN 構成要素レベル・トレースが使用可能になっているときに、このメッセージは APPN 構成要素レベル・トレースを表示します。

**原因:** APPN 構成要素レベル・トレースが生成されました。

---

#### APPN.017

**レベル:** ALWAYS

**短構文:** APPN.017 *msg*

**長構文:** APPN.017 *msg*

**説明:** aping 出力

**原因:** talk 5 から -b オプションの付いた aping が出されました。

---

#### APPN.018

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** APPN.018 *msg*

**長構文:** APPN.018 *msg*

**説明:** TN3270E サーバー NetDisp アドバイザー・ログ

**原因:** TN3270E サーバー NetDisp アドバイザーの設定時のエラー

---

#### APPN.023

**レベル:** C-INFO

**短構文:** APPN.023 DX *st1 st2 st3 st4*

**長構文:** APPN.023 DX *st1 st2 st3 st4*

**説明:** DLCX の活動化、非活動化、およびエラーの事例をトレースします。データのトレースではありません。

---

#### APPN.024

**レベル:** C-INFO

**短構文:** APPN.024 \*\*\* *msg\*\*\**

**長構文:** APPN.024 \*\*\* *msg\*\*\**

**説明:** このメッセージは、APPN CFG からの一般情報です。

---

#### APPN.025

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** APPN.025 \*\*\* *msg\*\*\**

**長構文:** APPN.025 \*\*\* *msg\*\*\**

**説明:** このメッセージは、APPN CFG からのエラー情報です。



---

**APPN.026**

レベル: UE-ERROR

短構文: APPN.026 *msg*

長構文: APPN.026 *msg*

説明: このメッセージは、EGPE から呼び出されたエラー・ログから生成されます。エラー・ログは、メッセージを 70 バイトのストリングに分解し、断片の状態です。ELS に渡します。

---

**APPN.027**

レベル: C-INFO

短構文: APPN.027 APPN *msg*

長構文: APPN.027 EGPE/APPN node process was *msg* second.

説明: EGPE の MOS スケジューラーがノードを停止または再始動したことを、時刻と共に示します。

---

**APPN.028**

レベル: ALWAYS

短構文: APPN.028 APPN *msg*

長構文: APPN.028 APPN *msg*

説明: APPN 操作での重大な事象 (APPN 異常終了ダンプのような) を示します。

---

**APPN.029**

レベル: CE-ERROR

短構文: APPN.029 *logged\_string*

長構文: APPN.029 *logged\_string*

説明: このメッセージは、APPN サブシステムが通知ログ項目を生成する場合に生成されます。通常、ログ項目はエラー状態を報告します。詳細については、ログが記録されているテキストを参照してください。

原因: APPN サブシステム内でエラーが発生しました。

---

**APPN.030**

レベル: CE-ERROR

短構文: APPN.030 *logged\_string*

長構文: APPN.030 *logged\_string*

説明: このメッセージは、APPN サブシステムが警告ログ項目を生成する場合に生成されます。通常、ログ項目はエラー状態を報告します。詳細については、ログが

記録されているテキストを参照してください。

原因: APPN サブシステム内でエラーが発生しました。

---

**APPN.031**

レベル: UE-ERROR

短構文: APPN.031 *logged\_string*

長構文: APPN.031 *logged\_string*

説明: このメッセージは、APPN サブシステムがエラー・項目を生成する場合に生成されます。通常、ログ項目はエラー状態を報告します。詳細については、ログが記録されているテキストを参照してください。

原因: APPN サブシステム内でエラーが発生しました。

---

**APPN.032**

レベル: CI-ERROR

短構文: APPN.032 *logged\_string*

長構文: APPN.032 *logged\_string*

説明: このメッセージは、APPN サブシステムが重大なログ項目を生成する場合に生成されます。通常、ログ項目はエラー状態を報告します。詳細については、ログが記録されているテキストを参照してください。

原因: APPN サブシステム内でエラーが発生しました。

---

**APPN.033**

レベル: UI-ERROR

短構文: APPN.033 *logged\_string*

長構文: APPN.033 *logged\_string*

説明: このメッセージは、APPN サブシステムが処置を必要とするログ項目を生成する場合に生成されます。通常、ログ項目はエラー状態を報告します。詳細については、ログが記録されているテキストを参照してください。

原因: APPN サブシステム内でエラーが発生しました。



---

## 第5章 AppleTalk フェーズ 2 (AP2)

この章では、AppleTalk フェーズ 2 (AP2) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### AP2.003

レベル: P-TRACE

短構文: AP2.003 q ovf *src\_net/ src\_node -> dest\_net/ dest\_node* nt network

長構文: AP2.003 queue overflow *src\_net/ src\_node -> dest\_net/ dest\_node* net network

説明: 指定のパケットは、転送機能の入力待ち行列をオーバーフローさせたので、廃棄されました。

---

### AP2.005

レベル: UE-ERROR

短構文: AP2.005 pkt trnc *length* pkt ln *received\_length* *src\_net/ src\_node -> dst\_net/ dst\_node*

長構文: AP2.005 packet truncated *length* packet length *received\_length* *src\_net/ src\_node -> dst\_net/ dst\_node*

説明: 受信したパケットの物理長さが不十分であったため、DDP ヘッダーで要求された長さのパケットを収めることができませんでした。両方の長さとも、含まれているのは DDP ヘッダーとデータだけで、データ・リンク・ヘッダーの LAP ヘッダーが含まれていません。

---

### AP2.007

レベル: UE-ERROR

短構文: AP2.007 bd hdr cksum frm *src\_net/ src\_node*, rcv *rcvd\_csum*, comp *comp\_csum*

長構文: AP2.007 bad header checksum from *src\_net/ src\_node*, received *rcvd\_csum*, computed *comp\_csum*

説明: 指定のパケットを計算したチェックサム値が、DDP ヘッダー内のチェックサム値と一致しませんでした。

---

### AP2.008

レベル: U-INFO

短構文: AP2.008 no rte *src\_net/ src\_node -> dest\_net/ dest\_node*

長構文: AP2.008 no route *src\_net/ src\_node -> dest\_net/ dest\_node*

説明: 指定されたパケットの経路指定を試みている間、あて先ネットのルーティング・テーブル・エントリが見付かりませんでした。

---

### AP2.009

レベル: UE-ERROR

短構文: AP2.009 hp cnt ovf *src\_net/ src\_node -> dest\_net/ dest\_node*

長構文: AP2.009 hop count overflow *src\_net/ src\_node -> dest\_net/ dest\_node*

説明: 転送を試みているときにパケット・ホップ・カウン트가オーバーフローしたために、指定のパケットは廃棄されました。

原因: パケットのホップ・カウン트가オーバーフローするのは、一般的に、ルーティング・ループが原因です。通常、これは一時的な状態です。

処置: 問題が頻発したり継続したりする場合は、ネットワーク構成が不適切でないかどうか調べてください。

---

### AP2.010

レベル: UI-ERROR

短構文: AP2.010 no iorb for copy

長構文: AP2.010 no i/o request block to copy packet

説明: システムは、パケットの内部処理のために、送信された同報通信パケットのコピーを作成しようとしていましたが、パケットをコピーするためのシステム・バッファを割り振ることができませんでした。パケットは引き続き転送しようとされますが、ローカル・コピーは受け取りません。

原因: ルーターにバッファ不足があります。これは一時的な状態である可能性があります。

---

### AP2.011

レベル: UI-ERROR

短構文: AP2.011 No RTMP entry for FwdReq pkt to net *dest\_net*, rcvd nt network

長構文: AP2.011 No RTMP entry for FwdReq pkt to net *dest\_net*, received net network

説明: Apple NBP 転送要求パケットを受信しましたが、RTMP にそのネットワークに関するエントリーがないか、ネットがすでに直接接続されていないか、いずれかです。

---

#### AP2.012

レベル: P-TRACE

短構文: AP2.012 *src\_net/ src\_node -> dest\_net/ dest\_node*

長構文: AP2.012 *src\_net/ src\_node -> dest\_net/ dest\_node*

説明: 指定の AppleTalk パケットが転送されました。

---

#### AP2.013

レベル: UI-ERROR

短構文: AP2.013 *pkt too lg pkt\_len > max\_len nt network src\_net/ src\_node -> dest\_net/ dest\_node*

長構文: AP2.013 *packet too large pkt\_len > max\_len net network src\_net/ src\_node -> dest\_net/ dest\_node*

説明: パケットが出力ネットワークのパケット最大長を超えたので、廃棄されました。

---

#### AP2.014

レベル: UI-ERROR

短構文: AP2.014 *pkt src\_net/ src\_node -> dest\_net/ dest\_node dsc, rsn code*

長構文: AP2.014 *packet src\_net/ src\_node -> dest\_net/ dest\_node discarded, reason code*

説明: エラー・コードで示されている理由により、出力パケットが正常に転送されませんでした。

---

#### AP2.017

レベル: UE-ERROR

短構文: AP2.017 *bad dst skt socket*

長構文: AP2.017 *bad destination socket socket*

説明: ローカルであて先指定されたパケットに入っているあて先ソケットには、受信者が存在しませんでした。

---

#### AP2.018

レベル: UE-ERROR

短構文: AP2.018 *unk prt tp type*

長構文: AP2.018 *unkown protocol type type*

説明: ローカルであて先指定されたパケットのプロトコル・タイプ・フィールドに、認知されない値が入っていました。

---

#### AP2.019

レベル: UE-ERROR

短構文: AP2.019 *no uniq nd addr avial nt network*

長構文: AP2.019 *no unique node address available net network*

説明: ハンドラーが、このネットワークで利用可能な固有のノード・アドレスを見つけることができませんでした。

原因: ネットワークには、すでに最大数のノードが存在しています。すべての番号が使用されています。ネット範囲を拡張する必要があります。

---

#### AP2.020

レベル: C-INFO

短構文: AP2.020 *nt/nd addr assgnd net\_number/ node\_number nt network*

長構文: AP2.020 *net/node address assigned net\_number/ node\_number net network*

説明: 示されているネット/ノード・アドレスが、指定のインターフェースに割り当てられています。

---

#### AP2.021

レベル: C-INFO

短構文: AP2.021 *intfc up net\_num/ node\_num nt network*

長構文: AP2.021 *interface up net\_num/ node\_num net network*

説明: 指定のインターフェースは、ネットとノード・アドレスの両方が確保されており、現在アップ状態で、ゾーン名を探しています。

---

#### AP2.022

レベル: C-INFO

短構文: AP2.022 *intfc up net\_num/ node\_num zn zone\_name nt network*

長構文: AP2.022 *interface up net\_num/ node\_num zone zone\_name net network*

説明: 指定のインターフェースは、ネット、ノード、およびゾーン名が確保されており、現在アップ状態です。

---

**AP2.027**

レベル: UI-ERROR

短構文: AP2.027 no mem for NBP pkt

長構文: AP2.027 no memory for NBP packet

説明: NBP パケットの送信に IORB が利用不可能でした。

---

**AP2.028**

レベル: UI-ERROR

短構文: AP2.028 NBP *type* disc nt *network* rsn *error\_code*

長構文: AP2.028 NBP *type* discarded net *network* reason *error\_code*

説明: 示されている理由により、NBP パケットが送信されませんでした。

---

**AP2.029**

レベル: P-TRACE

短構文: AP2.029 NBP *type* snt to net *net\_number*

長構文: AP2.029 NBP *type* sent to net *net\_number*

説明: NBP パケットが、示されているネットに送信されました。

---

**AP2.031**

レベル: UI-ERROR

短構文: AP2.031 no mem for AARP Probe

長構文: AP2.031 no memory for AARP Probe

説明: AARP プローブ・パケット用のバッファが利用不可能でした。

---

**AP2.032**

レベル: UI-ERROR

短構文: AP2.032 AARP Probe disc nt *network* rsn *error\_code*

長構文: AP2.032 AARP Probe discarded net *network* reason *error\_code*

説明: 示されている理由により、Apple ARP プローブが送信されませんでした。

---

---

**AP2.033**

レベル: P-TRACE

短構文: AP2.033 AARP Probe snt nt *network*

長構文: AP2.033 AARP Probe sent net *network*

説明: Apple ARP プローブが、示されているネット上で送信されました。

---

**AP2.034**

レベル: C-INFO

短構文: AP2.034 AARP Rsp match tentative addr, new addr selected nt *network*

長構文: AP2.034 AARP Response match tentative addr, new addr selected nt *network*

説明: 暫定アドレスを要求したプローブに対する Apple ARP 応答を受信しました。プローブを継続するために、新しいノード・アドレスが選択されました。

---

**AP2.035**

レベル: UE-ERROR

短構文: AP2.035 Unrec AARP pkt typ *arp\_type* rcvd nt *network*

長構文: AP2.035 Unrecognized AARP packet type *arp\_type* received net *network*

説明: 認知できないタイプの Apple ARP パケットを受信しました。

---

**AP2.036**

レベル: P-TRACE

短構文: AP2.036 AARP Probe rcvd *src\_net/ src\_node* nt *network*

長構文: AP2.036 AARP Probe received *src\_net/ src\_node* net *network*

説明: Apple ARP プローブ・パケットを受信しました。

---

**AP2.037**

レベル: UI-ERROR

短構文: AP2.037 AARP Response disc nt *network* rsn *error\_code*

長構文: AP2.037 AARP Response discarded net *network* reason *error\_code*

---

説明: 示されている理由により、Apple ARP 応答が送信されませんでした。

---

#### AP2.038

レベル: P-TRACE

短構文: AP2.038 AARP Response snt nt *network*

長構文: AP2.038 AARP Response sent net *network*

説明: プローブに対する Apple ARP 応答が、示されているネット上で送信されました。

---

#### AP2.039

レベル: UE-ERROR

短構文: AP2.039 Echo pkt short ( *length*) frm *src\_net/ src\_node* nt *network*

長構文: AP2.039 Echo packet too short ( *length* bytes) from *src\_net/ src\_node* net *network*

説明: エコー・パケットを受信しましたが、短過ぎてエコー・パケット・ヘッダーが入りませんでした。

---

#### AP2.040

レベル: U-TRACE

短構文: AP2.040 Echo pkt, func *function\_code*, frm *src\_net/ src\_node* nt *network*

長構文: AP2.040 Echo packet, echo function *function\_code*, received from *src\_net/ src\_node* net *network*

説明: 指定のノードからエコー・プロトコル・パケットを受信しましたが、エコー要求でもエコー応答でもありませんでした。これには応答されません。

---

#### AP2.041

レベル: P-TRACE

短構文: AP2.041 Echo Req frm *src\_net/ src\_node* nt *network*, rplyng

長構文: AP2.041 Echo Request from *src\_net/ src\_node* net *network*, replying

説明: 指定のホストから、エコー要求パケットを受信しました。応答が送信されます。

---

#### AP2.045

レベル: UI-ERROR

短構文: AP2.045 Echo Rply disc nt *network* rsn *error\_code*

長構文: AP2.045 Echo Reply discarded net *network* reason *error\_code*

説明: 示されている理由により、エコー応答が送信されませんでした。

---

#### AP2.047

レベル: UE-ERROR

短構文: AP2.047 pkt too short (*length*) net *network*

長構文: AP2.047 Long DDP packet too short for header ( *length* bytes) net *network*

説明: 長形式 DDP パケットを受信しましたが、長形式 DDP ヘッダーの長さ (13 バイト) より短くなっています。

---

#### AP2.048

レベル: UE-ERROR

短構文: AP2.048 pkt too long ( *length*) *src\_net/ src\_node* -> *dst\_net/ dst\_node*

長構文: AP2.048 Long DDP packet too long ( *length* bytes) *src\_net/ src\_node* -> *dst\_net/ dst\_node*

説明: 長形式 DDP パケットを受信しましたが、DDP ヘッダーの後に 586 バイトの限界を超えるデータがあります。

---

#### AP2.049

レベル: UE-ERROR

短構文: AP2.049 DDP rsvd bits *src\_net/ src\_node* -> *dst\_net/ dst\_node*

長構文: AP2.049 Long DDP packet reserved bit(s) set *src\_net/ src\_node* -> *dst\_net/ dst\_node*

説明: 長形式 DDP パケットを受信しましたが、ホップ・カウント上で 2 つの予約ビットのうちの 1 つ (または複数) が設定されています。

---

#### AP2.056

レベル: P-TRACE

短構文: AP2.056 *source\_net/ source\_node* -> *destination\_net/ destination\_node* nt *network* ign

長構文: AP2.056 *source\_net/ source\_node* -> *destination\_net/ destination\_node* net *network* ignored

説明: AppleTalk パケットが認知されましたが、インターフェースで AppleTalk 転送機能が使用可能にされていなかったため無視されました。

---

**AP2.059**

レベル: UI-ERROR

短構文: AP2.059 Ilg zone *zone\_name* seed w/o net seed  
nt *network*

長構文: AP2.059 Illegal zone *zone\_name* seed without  
network seed net *network*

説明: ユーザーは、ネットワーク番号が構成されてい  
ないネットワークのゾーン名を構成しました。ゾーン名  
は無視されます。

---

**AP2.060**

レベル: UE-ERROR

短構文: AP2.060 NBP bd cnt *tuple\_count* in *type* frm  
*src\_net/ src\_node* nt *network*

長構文: AP2.060 NBP bad count *tuple\_count* in *type*  
from *src\_net/ src\_node* net *network*

説明: 指定のホストからの NBP 要求パケットに入っ  
ていたタプル・カウントがイリーガルで、1 ではありません  
でした。

---

**AP2.061**

レベル: P-TRACE

短構文: AP2.061 NBP *type* rcvd frm *src\_net/ src\_node*  
nt *network*

長構文: AP2.061 NBP *type* received from *src\_net/*  
*src\_node* net *network*

説明: 指定のホストから NBP 同報通信要求または転送  
要求を受信しました。

---

**AP2.062**

レベル: U-INFO

短構文: AP2.062 no knwn zn nm for nt *net\_num* in  
NBP BrRq frm *src\_net/ src\_node*

長構文: AP2.062 no known zone name for net *net\_num*  
in NBP BrRq from *src\_net/ src\_node*

説明: BrRq パケットで要求されたネットの関連ゾーン  
名が見付かりませんでした。

---

**AP2.063**

レベル: U-INFO

短構文: AP2.063 zn *zone\_name* not fnd in ZIT, NBP  
BrRq frm *src\_net/ src\_node*

長構文: AP2.063 zone *zone\_name* not found in ZIT,

NBP BrRq from *src\_net/ src\_node*

説明: 指定のホストからの BrRq で要求されたゾーン  
が、ゾーン情報テーブル内で見つかりませんでした。

---

**AP2.064**

レベル: UI-ERROR

短構文: AP2.064 no mem for NBP stat block, BrRq  
frm *src\_net/ src\_node* ign

長構文: AP2.064 no memory for NBP status block,  
BrRq from *src\_net/ src\_node* ign

説明: 指定のホストからの NBP BrRq を処理するた  
めの、状況ブロック用の記憶域が利用不可能でした。

---

**AP2.065**

レベル: UE-ERROR

短構文: AP2.065 NBP shrt (*length*) frm *src\_net/*  
*src\_node* nt *network*

長構文: AP2.065 NBP short (*length* bytes) from *src\_net/*  
*src\_node* nt *network*

説明: NBP パケットを受信しましたが、短過ぎて NBP  
ヘッダーが入りません。パケットは廃棄されます。

---

**AP2.066**

レベル: UE-ERROR

短構文: AP2.066 NBP bd func *function* frm *src\_net/*  
*src\_node* nt *network*

長構文: AP2.066 NBP bad function *function* from  
*src\_net/ src\_node* nt *network*

説明: NBP パケットを受信しましたが、機能コードが  
サポートされないものでした。パケットは廃棄されま  
す。

---

**AP2.067**

レベル: UE-ERROR

短構文: AP2.067 NBP trnc ( *length*) frm *src\_net/*  
*src\_node* nt *network*

長構文: AP2.067 NBP truncated ( *length* bytes) from  
*src\_net/ src\_node* nt *network*

説明: NBP パケットを受信しましたが、短過ぎて NBP  
データが収まりません。パケットは廃棄されます。

---



---

**AP2.068**

レベル: UE-ERROR

短構文: AP2.068 NBP *type ilg field len length frm src\_net/ src\_node nt network*

長構文: AP2.068 NBP *type ilg field len length from src\_net/ src\_node nt network*

説明: NBP パケットを受信しましたが、エンティティ一名の長さが 32 文字を超えています。パケットは廃棄されます。

---

**AP2.069**

レベル: P-TRACE

短構文: AP2.069 NBP *type snt to net net\_number node node\_number*

長構文: AP2.069 NBP *type sent to net net\_number node node\_number*

説明: NBP パケットが、示されているあて先に送信されました。

---

**AP2.070**

レベル: P-TRACE

短構文: AP2.070 NBP LkUp rcvd frm *src\_net/ src\_node nt network*

長構文: AP2.070 NBP LookUp received from *src\_net/ src\_node net network*

説明: 指定のホストから NBP ルックアップ要求を受信しました。



---

## 第6章 AppleTalk フェーズ 2 ルーティング・テーブル保守プロトコル (R2MP)

この章では、AppleTalk フェーズ 2 ルーティング・テーブル保守プロトコル (R2MP) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### R2MP.003

レベル: U-INFO

短構文: R2MP.003 nt num inferred *net\_number* nt *network*

長構文: R2MP.003 net number inferred *net\_number* net *network*

説明: RTMP データ・パケットからネットワーク番号が推論され、指定のインターフェースに割り当てられました。

---

### R2MP.004

レベル: UE-ERROR

短構文: R2MP.004 nt nmbrs cnflct frm *net\_num/* *src\_node* not in *net\_num-* *net\_num* on nt *network*

長構文: R2MP.004 net numbers conflict from *net\_num/* *src\_node* not in *net\_num-* *net\_num* on nt *network*

説明: RTMP パケットの発信元ネットワーク番号が、指定のインターフェースの現在使用されているネットワーク範囲と競合しています。

原因: ネットワーク上のいずれかのホストの構成エラー。

処置: 同じネットワーク上の複数のルーターが、必ず 1 つだけのネットワーク範囲を送達するようにしてください。

---

### R2MP.005

レベル: UE-ERROR

短構文: R2MP.005 bd net *net\_range* in RTMP frm *src\_net/* *src\_node*

長構文: R2MP.005 bad net *net\_range* in RTMP from *src\_net/* *src\_node*

説明: 指定のルーターからの RTMP データ・パケットで、無効なネットワーク範囲が検出されました。

---

### R2MP.006

レベル: UI-ERROR

短構文: R2MP.006 nt rtng tbl ovrfl, dsc *net\_range*

長構文: R2MP.006 network routing table overflow, discarding *net\_range*

説明: ルーティング・テーブルへの指定されたネットの挿入が実行されませんでした。ヒープ記憶域の割り振りが失敗したためです。

処置: 問題が慢性化する場合は、(1) メモリーをアップグレードするか、(2) 不必要なフィーチャーをオフにすることによって、使用可能なヒープ記憶域を増やします。AppleTalk フィルターを使用して不必要なルーティング情報をフィルターに掛けて除去して、AppleTalk テーブルのサイズを小さくすることもできます。

---

### R2MP.007

レベル: U-INFO

短構文: R2MP.007 rte to *net\_range* via *gw\_net/* *gw\_node* excds max hps, disc

長構文: R2MP.007 rte to *net\_range* via *gw\_net/* *gw\_node* exceeds max hops, discarded

説明: RTMP データ・パケットに、指定されたネットへの新しい経路が入っていましたが、ホップ・カウントが大きすぎます。経路は廃棄されました。

---

### R2MP.008

レベル: U-INFO

短構文: R2MP.008 new rte to *net\_range* via *gw\_net/* *gw\_node*, hops *hops*

長構文: R2MP.008 new route to *net\_range* via *gw\_net/* *gw\_node*, hops *hops*

説明: 指定の最初のホップを介して、新しい経路がルーティング・テーブルに追加されました。

---

**R2MP.009**

レベル: U-INFO

短構文: R2MP.009 rte to *net\_range* via *gw\_net/gw\_node* dltd, hopc excded

長構文: R2MP.009 rte to *net\_range* via *gw\_net/gw\_node* deleted, hopcount exceeded

説明: 指定のネットワークへの経路は、新しい経路のホップ・カウントが大き過ぎるので、ルーティング・テーブルから削除されました。

---

**R2MP.010**

レベル: U-INFO

短構文: R2MP.010 rte to *net\_range* aged away

長構文: R2MP.010 rte to *net\_range* aged away

説明: 指定のネットワークへの経路は、古くなったので、ルーティング・テーブルから削除されました。

---

**R2MP.011**

レベル: UI-ERROR

短構文: R2MP.011 no mem RTMP brdcast nt *network*, *packet\_count* pkts snt

長構文: R2MP.011 no memory for RTMP broadcast net *network*, *packet\_count* packets sent

説明: RTMP データ・パケットを送信するためのバッファ用記憶域を入手できませんでした。報告されている数のパケットが、エラーの発生前に送信されました。

---

**R2MP.012**

レベル: UI-ERROR

短構文: R2MP.012 Outgng disc nt *network* rsn *error\_code*

長構文: R2MP.012 Outgoing discarded net *network* reason *error\_code*

説明: 指定の理由により、発信 RTMP パケットが正しく送信できませんでした。

---

**R2MP.014**

レベル: P-TRACE

短構文: R2MP.014 rqst rcv frm *src\_net/ src\_node* nt *network*

長構文: R2MP.014 Request received from *src\_net/ src\_node* net *network*

---

説明: 指定のホストから RTMP 要求を受信しました。RTMP 応答が送信されます。

---

**R2MP.017**

レベル: P-TRACE

短構文: R2MP.017 Snt nt *network* pkts *packet\_count*

長構文: R2MP.017 Sent net *network* packets *packet\_count*

説明: 指定のインターフェースで、示されている数の RTMP データ・パケットが送信されました。

---

**R2MP.019**

レベル: U-INFO

短構文: R2MP.019 del nt *net\_range* rt via *net\_num/ node\_num* nt *network*

長構文: R2MP.019 del network *net\_range* route via *net\_num/ node\_num* net *network*

説明: 指定のネットワークへの経路が、ルーティング・テーブルから削除されました。

---

**R2MP.023**

レベル: UE-ERROR

短構文: R2MP.023 Dta bd len ( *length*) frm *src\_net/ src\_node* nt *network*

長構文: R2MP.023 Data bad length ( *length* bytes) from *src\_net/ src\_node* net *network*

説明: RTMP データ・パケットまたは応答パケットは、RTMP ルーティング・テーブルの数が偶数 (または、ゼロ) ではありませんでした。パケットは廃棄されます。

---

**R2MP.024**

レベル: UE-ERROR

短構文: R2MP.024 Dta bd ID len ( *ID\_length*) frm *src\_net/ src\_node* nt *network*

長構文: R2MP.024 Data bad sender's node ID length ( *ID\_length* bits) from *src\_net/ src\_node* net *network*

説明: RTMP データ・パケットまたは応答パケットを受信しましたが、送信側の ID の長さが 8 ビットではありませんでした。このインプリメンテーションでは、この長さは 8 ビットであることが必要です。パケットは廃棄されます。

---

---

**R2MP.026**

レベル: UE-ERROR

短構文: R2MP.026 Dta bd vers ( *version*) frm *src\_net/ src\_node* nt *network*

長構文: R2MP.026 Data bad version ( *version*) from *src\_net/ src\_node* net *network*

説明: RTMP データまたは応答パケットは、最初の RTMP ルーティング・タプルに正しいバージョン番号 (0x82) が入っていませんでした。パケットは廃棄されます。

---

**R2MP.027**

レベル: P-TRACE

短構文: R2MP.027 RDR rcv frm *src\_net/ src\_node* nt *network*

長構文: R2MP.027 Route Data Request received from *src\_net/ src\_node* net *network*

説明: 指定されたホストから RTMP 経路データ要求または拡張経路データ要求を受信しました。RTMP データが送信されます。

---

**R2MP.028**

レベル: UE-ERROR

短構文: R2MP.028 bad netrange *net\_first- net\_last* nt *network* spans *net\_first- net\_last*

長構文: R2MP.028 Bad netrange *net\_first- net\_last* net *network* spans *net\_first- net\_last*

説明: ネット範囲がインターフェース・ネット範囲と既存のネットのどちらかにオーバーラップします。最初のネット範囲が廃棄されます。

原因: ネットワーク構成の誤り

---

**R2MP.029**

レベル: UI-ERROR

短構文: R2MP.029 filtered int netrange *net\_first- net\_last* nt *network*

長構文: R2MP.029 Filtered Interface netrange *net\_first- net\_last* net *network*

説明: インターフェース・ネット範囲がそれ自体のネット・フィルターによってフィルターされます。インターフェースは使用不可になります。ユーザーはフィルターとインターフェース・ネット範囲のどちらかを再構成する必要があります。

---

**R2MP.030**

レベル: UE-ERROR

短構文: R2MP.030 filtered net *net* on nt *network*

長構文: R2MP.030 Filtered net *net* on net *network*

説明: ネットがインターフェース・ネット・フィルターによってフィルターされました。

---

**R2MP.031**

レベル: UE-ERROR

短構文: R2MP.031 filtered netrange *net\_first- net\_last* frm *src\_net/ src\_node* on nt *network*

長構文: R2MP.031 Filtered netrange *net\_first- net\_last* from *src\_net/ src\_node* on net *network*

説明: 別のルーターからのネット範囲が、インターフェース・ネット・フィルターによってフィルターされました。

---

**R2MP.032**

レベル: CE-ERROR

短構文: R2MP.032 Req frm *src\_net/ src\_node* nt *network*, port ntwk num 0

長構文: R2MP.032 Request from *src\_net/ src\_node* net *network*, port's network number 0

説明: RTMP 要求パケットまたは経路データ要求パケットをインターフェース上で受信しましたが、そのポートのネットワーク番号が相変わらずゼロでした。要求は無視されます。

原因: ポートではまだシード・ルーターからネットワーク番号を探りだしていません。

処置: ネットワークを探りだすまで待ちます。

原因: ネットワーク上にネットワーク番号のシード・ルーターが存在しません。

処置: シードされるルーターを再構成してください。

---

**R2MP.033**

レベル: P-TRACE

短構文: R2MP.033 data pkt frm *src\_net/ src\_node* nt *network*

長構文: R2MP.033 data packet from *src\_net/ src\_node* net *network*

説明: RTMP データ・パケットを受信しました。

---

**R2MP.034**

レベル: UE-ERROR

短構文: R2MP.034 rqst, bd src node *src\_net/ src\_node* nt network

長構文: R2MP.034 Request, bad source node *src\_net/ src\_node* net network

説明: RTMP 要求または経路データ要求を受信しましたが、発信元アドレスがイリーガル (0 または 255) です。

長構文: R2MP.038 illegal rtmp net number 0 from *src\_net/ src\_node* net network

説明: RTMP データ・パケットまたは応答パケットを受信しましたが、送信側のネットワーク番号が 0 です。パケットは廃棄されます。

原因: 送信ノードにソフトウェア・バグがあります。ネットワーク番号がゼロの場合は、送信ノードは RTMP データや応答を送信できないはずで

---

**R2MP.035**

レベル: UE-ERROR

短構文: R2MP.035 rqst, unk func *R2MP\_function* frm *src\_net/ src\_node* nt network, disc

長構文: R2MP.035 Request, unkown function *R2MP\_function* from *src\_net/ src\_node* net network

説明: RTMP 要求を受信しましたが、機能コードが不明です。パケットは無視されます。

---

**R2MP.036**

レベル: UE-ERROR

短構文: R2MP.036 Rqst short ( *length*) frm *src\_net/ src\_node* nt network

長構文: R2MP.036 Request too short ( *length* bytes) from *src\_net/ src\_node* net network

説明: RTMP 要求パケットが短過ぎて、必要な RTMP ヘッダー・データが入りませんでした。パケットは廃棄されます。

---

**R2MP.037**

レベル: UE-ERROR

短構文: R2MP.037 Dta short ( *length*) frm *src\_net/ src\_node* nt network

長構文: R2MP.037 Data packet short ( *length* bytes) from *src\_net/ src\_node* net network

説明: RTMP データまたは応答パケットが短過ぎて、必要な RTMP ヘッダー・データが入りませんでした。パケットは廃棄されます。

---

**R2MP.038**

レベル: UE-ERROR

短構文: R2MP.038 ilg rtmp net 0 from *src\_net/ src\_node* nt network

---

## 第7章 AppleTalk フェーズ 2 ゾーン情報プロトコル (ZIP2)

この章では、AppleTalk フェーズ 2 ゾーン情報プロトコル (ZIP2) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### ZIP2.001

レベル: U-INFO

短構文: ZIP2.001 del zone *zone*

長構文: ZIP2.001 deleting zone *zone*

説明: 指定のゾーンが、ゾーン情報テーブルから削除されました。

---

### ZIP2.002

レベル: UI-ERROR

短構文: ZIP2.002 no mem for new zone *zone*

長構文: ZIP2.002 no memory for new zone *zone*

説明: ルーター内の記憶域が不十分であったため、指定のゾーンをゾーン情報テーブルに挿入できませんでした。

---

### ZIP2.003

レベル: UI-ERROR

短構文: ZIP2.003 no mem for ZIP query net *net\_number*

長構文: ZIP2.003 no memory for ZIP query net *net\_number*

説明: 発信パケット用に利用可能な記憶域がないために、ルーターは指定のネットワークに対するゾーン名照会を生成することができませんでした。

---

### ZIP2.004

レベル: UI-ERROR

短構文: ZIP2.004 query disc nt *network* rsn *error\_code*

長構文: ZIP2.004 query discarded net *network* reason *error\_code*

説明: 示されている理由により、指示されているネット上で、ゾーン名照会が送信できませんでした。

---

### ZIP2.006

レベル: C-INFO

短構文: ZIP2.006 query for *net\_num* brdcst nt *network*

長構文: ZIP2.006 query for *net\_num* broadcast on net *network*

説明: 指示されているネットに送信された ZIP 照会が、指定されたインターフェース上で同報通信されました。

---

### ZIP2.008

レベル: P-TRACE

短構文: ZIP2.008 rply rcvd frm *src\_net/ src\_node* nt *network*

長構文: ZIP2.008 reply received from *src\_net/ src\_node* net *network*

説明: 指定のルーターから、ZIP 応答パケットを受信しました。

---

### ZIP2.009

レベル: C-INFO

短構文: ZIP2.009 ZIT entry, zn nm *zone* assgnd to nt *net\_number*

長構文: ZIP2.009 ZIT entry, zone name *zone* assigned to net *net\_number*

説明: 指定のネットに関する指定されたゾーン名が、ゾーン情報テーブルに追加されました。

---

### ZIP2.011

レベル: UI-ERROR

短構文: ZIP2.011 rply disc nt *network* rsn *error\_code*

長構文: ZIP2.011 reply discarded net *network* reason *error\_code*

説明: 指定の理由により、ZIP 応答は送信されませんでした。

---

### ZIP2.013

レベル: P-TRACE

短構文: ZIP2.013 qry rcvd frm *src\_net/ src\_node* nt *network*

**長構文:** ZIP2.013 query received from *src\_net/ src\_node*  
*net network*

**説明:** 指定のノードから、ZIP 照会パケットを受信しました。

---

#### ZIP2.014

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** ZIP2.014 Bad GtNtInf rq frm *src\_net/ src\_node*  
*nt network*

**長構文:** ZIP2.014 Bad GetNetInfo request from *src\_net/ src\_node*  
*net network*

**説明:** パケットの長さが短い、非ブランク・フィールドがあったため、ZIP GetNetInfo 要求が廃棄されました。

**原因:** リモート・ノードにプログラム・エラーがあります。

---

#### ZIP2.015

**レベル:** U-INFO

**短構文:** ZIP2.015 GtNtInf rqst frm *src\_net/ src\_node*  
*nt network*

**長構文:** ZIP2.015 GetNetInfo request from *src\_net/ src\_node*  
*net network*.

**説明:** 指定の発信元から、ZIP GetNetInfo 要求を受信しました。

---

#### ZIP2.016

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** ZIP2.016 no buf for ZIP GtNtInf rply to  
*src\_net/ src\_node*

**長構文:** ZIP2.016 no packet buffer for ZIP GetNetInfo  
reply to *src\_net/ src\_node*.

**説明:** 指定の発信元に ZIP GetNetInfo 応答を送信するために利用可能なパケット・バッファがありませんでした。

---

#### ZIP2.017

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** ZIP2.017 rply trunc frm *src\_net/ src\_node*  
*nt network*

**長構文:** ZIP2.017 reply truncated from *src\_net/ src\_node*  
*net network*

**説明:** ZIP 応答を受信しましたが、長さが不十分で、ZIP タプルのすべては収まりきれませんでした。DDP

パケット終了より前のタプルは、すべて処理されます。

---

#### ZIP2.018

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** ZIP2.018 GtNtInf rply disc nt *network*  
*error\_code*

**長構文:** ZIP2.018 GetNetInfo reply discarded net  
*network* reason *error\_code*

**説明:** 指定の理由により、ZIP GetNetInfo 応答が送信されませんでした。

---

#### ZIP2.019

**レベル:** U-INFO

**短構文:** ZIP2.019 GtNtInf rply for *net\_range* frm  
*src\_net/ src\_node* nt *network*

**長構文:** ZIP2.019 GetNetInfo reply for net *net\_range*  
from *src\_net/ src\_node* nt *network*

**説明:** 特定のネット範囲に関して、指示されている発信元から、指示されているネットを通して、GetNetInfo 応答を受信しました。

---

#### ZIP2.020

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** ZIP2.020 GtNtInf rply trunc ( *length*) frm  
*src\_net/ src\_node* nt *network*

**長構文:** ZIP2.020 GetNetInfo reply truncated ( *length*  
bytes) from *src\_net/ src\_node* nt *network*

**説明:** GetNetInfo 応答を受信しましたが、パケットが短過ぎて、情報がすべては収められていませんでした。

**原因:** リモート・ノードにプログラム・エラーがあります。

---

#### ZIP2.021

**レベル:** U-INFO

**短構文:** ZIP2.021 Ntly frm *src\_net/ src\_node* nt  
*network*, ign

**長構文:** ZIP2.021 ZIP Notify from *src\_net/ src\_node* nt  
*network*, ignored

**説明:** ZIP 通知を受信しました。これらは現在は無視されます。



---

**ZIP2.023**

レベル: UE-ERROR

短構文: ZIP2.023 ATP shrt ( *length*) frm *src\_net/ src\_node* nt *network*

長構文: ZIP2.023 ATP short ( *length* bytes) from *src\_net/ src\_node* net *network*

説明: ATP パケットを受信しましたが、短過ぎて ATP ヘッダーが入りません。パケットは廃棄されます。

---

**ZIP2.024**

レベル: P-TRACE

短構文: ZIP2.024 *type* rcvd frm *src\_net/ src\_node* nt *network*

長構文: ZIP2.024 *type* received from *src\_net/ src\_node* net *network*

説明: 指示されているホストから ZIP GetMyZone、GetZoneList、または GetLocalZones ATP パケットを受信しました。

---

**ZIP2.025**

レベル: UE-ERROR

短構文: ZIP2.025 ATP bd hdr frm *src\_net/ src\_node* nt *network*

長構文: ZIP2.025 ATP bad header from *src\_net/ src\_node* net *network*

説明: 指定のホストからの ATP ヘッダーが無効です。TReq が XO でないか、ビットマップの下位ビットが設定されていません。パケットは廃棄されます。

---

**ZIP2.026**

レベル: UE-ERROR

短構文: ZIP2.026 ATP bd func *function* frm *src\_net/ src\_node* nt *network*

長構文: ZIP2.026 ATP bd function *function* from *src\_net/ src\_node* net *network*

説明: ZIP ATP パケットを受信しましたが、ATP ユーザー・バイトに無効な機能コードが入っています。パケットは廃棄されます。

---

**ZIP2.027**

レベル: UE-ERROR

短構文: ZIP2.027 *type* too long ( *length*) frm *src\_net/ src\_node* nt *network*

長構文: ZIP2.027 *type* too long ( *length* bytes) from *src\_net/ src\_node* net *network*

説明: ZIP GetMyZone または GetZoneList ATP 要求パケットが長過ぎました。

---

**ZIP2.028**

レベル: UE-ERROR

短構文: ZIP2.028 GetZoneList strt indx 0 frm *src\_net/ src\_node* nt *network*

長構文: ZIP2.028 GetZoneList start index 0 from *src\_net/ src\_node* net *network*

説明: 受信した ZIP GetZoneList または GetLocalZones パケットの開始索引が 0 です。

---

**ZIP2.029**

レベル: UE-ERROR

短構文: ZIP2.029 GetMyZone strt indx not 0 frm *src\_net/ src\_node* nt *network*

長構文: ZIP2.029 GetMyZone start index not 0 from *src\_net/ src\_node* net *network*

説明: GetMyZone ATP パケットを受信しましたが、開始索引が 0 ではありませんでした。パケットは廃棄されます。

---

**ZIP2.030**

レベル: U-INFO

短構文: ZIP2.030 No zn nm assoc wth nt *network*

長構文: ZIP2.030 No zone name associated with net *network*

説明: 指定の直接接続ネットワークに関連するゾーン名がありません。

原因: これは、ルーターがこのインターフェースのネットワークのゾーン名を確認する前に ZIP GetMyZone パケットを受信した場合に起きる、一時的な状態です。

---

**ZIP2.031**

レベル: UI-ERROR

短構文: ZIP2.031 *type*Reply disc nt *network* rsn *error\_code*

長構文: ZIP2.031 *type*Reply discarded net *network* reason *error\_code*

説明: 指定の理由により、ZIP GetZoneList、GetMyZone、または GetLocalZones 応答が送信されませんでした。

---

**ZIP2.032**

レベル: UE-ERROR

短構文: ZIP2.032 Ntfy trunc ( *length*) frm *src\_net/ src\_node* nt *network*

長構文: ZIP2.032 Notify truncated ( *length* bytes) from *src\_net/ src\_node* net *network*

説明: ZIP 通知パケットを受信しましたが、長さが不十分で、示されている長さのゾーン名が入っていません。

---

**ZIP2.033**

レベル: UE-ERROR

短構文: ZIP2.033 *type* usr byt 2 not 0 frm *src\_net/ src\_node* nt *network*

長構文: ZIP2.033 *type* user byte 2 not 0 from *src\_net/ src\_node* net *network*

説明: ZIP GetMyZone、GetZoneList、または GetLocalZones ATP パケットを受信しましたが、ATP ヘッダーのユーザー・バイト 2 が、指定のホストからの 0 ではありません。パケットは廃棄されます。

---

**ZIP2.034**

レベル: UE-ERROR

短構文: ZIP2.034 GetZoneList st indx *index*, high frm *src\_net/ src\_node* nt *network*

長構文: ZIP2.034 GetZoneList start index *index*, too high from *src\_net/ src\_node* net *network*

説明: 指定の索引より上の索引をもつゾーンを要求する ZIP GetZoneList または GetLocalZones パケットを受信しましたが、1 つも見付かりませんでした。

原因: 直前の GetZoneList 要求以後に、ゾーン削除など、ZIT に変更が加えられたことが原因で、索引の値が変更されています。

処置: 再度試みます。

原因: リモート・ノードにプログラム・エラーがあります。

---

**ZIP2.035**

レベル: CE-ERROR

短構文: ZIP2.035 query cnt 0 frm *src\_net/ src\_node* nt *network*

長構文: ZIP2.035 query count 0 from *src\_net/ src\_node* net *network*

説明: ネットワーク・カウントが 0 の ZIP 照会パケットを受信しました。

---

**ZIP2.036**

レベル: CE-ERROR

短構文: ZIP2.036 rply cnt 0 frm *src\_net/ src\_node* nt *network*

長構文: ZIP2.036 reply count 0 from *src\_net/ src\_node* net *network*

説明: ネットワーク・カウントが 0 の ZIP 応答パケットを受信しました。

---

**ZIP2.038**

レベル: UE-ERROR

短構文: ZIP2.038 cnt *network\_count* & len ( *length*) disag frm *src\_net/ src\_node* nt *network*

長構文: ZIP2.038 Network count *network\_count* and DDP length ( *length* bytes) disagree from *src\_net/ src\_node* net *network*

説明: ZIP 照会パケットを受信しましたが、ZIP ネットワーク・カウントを基にして予期されていた長さど、パケットの実際の DDP 長さが一致しません。

原因: リモート・ノードでのプログラム・エラー

---

**ZIP2.039**

レベル: C-INFO

短構文: ZIP2.039 unk nt *network\_number* in qry frm *src\_net/ src\_node* nt *network*

長構文: ZIP2.039 Unknown network number *network\_number* in Query from *src\_net/ src\_node* net *network*

説明: ZIP 照会パケットを受信し、ZIP データには指定されたネットワーク番号が入っていましたが、このネットワークが RTMP データベース内にはないか、そのゾーン名が ZIP データベース内にありません。パケットの処理は続行されます。

---

**ZIP2.040**

レベル: UE-ERROR

短構文: ZIP2.040 unk nt *network\_number* in rply frm *src\_net/ src\_node* nt *network*

長構文: ZIP2.040 Unknown network number *network\_number* in Reply from *src\_net/ src\_node* net *network*



説明: ZIP 応答パケットを受信し、ZIP データには指定されたネットワーク番号が入っていましたが、このネットワークが RTMP データベース内にありません。パケットの処理は続行されます。

---

#### ZIP2.041

レベル: C-INFO

短構文: ZIP2.041 rq on unseed pt frm *src\_net/ src\_node* nt *network*

長構文: ZIP2.041 Request on unseeded port from *src\_net/ src\_node* net *network*

説明: ZIP 照会または要求を受信したのが、シード・ルーターからネットワーク範囲を取得していない未シード・ポート上でした。パケットの処理は停止します。

---

#### ZIP2.042

レベル: UE-ERROR

短構文: ZIP2.042 rply bd tpl nm len *length* nt *network* frm *src\_net/ src\_node* nt *network*, ign

長構文: ZIP2.042 reply bad tuple name length *length* network *network* from *src\_net/ src\_node* net *network*, ignored

説明: ZIP 応答パケットを受信しましたが、ゾーン名の 1 つが正当な長さ (1 ~ 36 文字の範囲) ではありませんでした。応答の処理は、指定のネットワーク番号の ZIP タプルで終了します。

---

#### ZIP2.043

レベル: UI-ERROR

短構文: ZIP2.043 no mem for GtNtInf rq nt *network*

長構文: ZIP2.043 no memory for GetNetInfo request net *network*

説明: 発信パケットに利用可能な記憶域がないために、ルーターは指定のネットワークに対する GetNetInfo 要求を生成することができませんでした。

---

#### ZIP2.044

レベル: UI-ERROR

短構文: ZIP2.044 GtNtInf disc nt *network* rsn *error\_code*

長構文: ZIP2.044 GetNetInfo discarded net *network* reason *error\_code*

説明: 指定の理由により、指定のネットワークで GetNetInfo 要求が送信されませんでした。

---

#### ZIP2.045

レベル: C-INFO

短構文: ZIP2.045 GtNtInf brdcst nt *network*

長構文: ZIP2.045 GetNetInfo broadcast on net *network*

説明: 指示されているネットに対する GetNetInfo 要求が、指定されたインターフェース上で同報通信されました。

---

#### ZIP2.046

レベル: UE-ERROR

短構文: ZIP2.046 zone *zonename* filtered from nt *network*

長構文: ZIP2.046 *zonename* *zonename* filtered from net *network*

説明: ゾーン名情報がインターフェースで受信されましたが、入力フィルター・リストによって除去されました。

---

#### ZIP2.047

レベル: C-INFO

短構文: ZIP2.047 query for *net\_num* snt to *net\_num/ node\_num* nt *network*

長構文: ZIP2.047 query for *net\_num* sent to *net\_num/ node\_num* net *network*

説明: 指定のネットに関する ZIP 照会が、指定されたルーターに送信されました。

---

#### ZIP2.048

レベル: UE-ERROR

短構文: ZIP2.048 unrcgnzd ZIP typ *type* fr *src\_net/ src\_node* nt *network*

長構文: ZIP2.048 unrecognized ZIP type *type* from *src\_net/ src\_node* net *network*

説明: 認知できないコマンド・タイプをもつ ZIP パケットが検出されました。

---

#### ZIP2.049

レベル: UI-ERROR

短構文: ZIP2.049 no buf for ZIP rply to *net\_num/ node*

長構文: ZIP2.049 no packet buffer for ZIP reply to *net\_num/ node*

説明: 指定のルーターへの ZIP 応答を送信するために

利用可能なバッファがありませんでした。

---

#### **ZIP2.050**

レベル: C-INFO

短構文: ZIP2.050 rply net *net\_num* snt to *src\_net*/  
*src\_node* nt *network*

長構文: ZIP2.050 reply net *net\_num* sent to *src\_net*/  
*src\_node* net *network*

説明: 指定のルーターに、ZIP 応答が送信されました。

---

#### **ZIP2.051**

レベル: UE-ERROR

短構文: ZIP2.051 short ( *length*) frm *src\_net*/*src\_node*  
nt *network*

長構文: ZIP2.051 packet short ( *length* bytes) from  
*src\_net*/*src\_node* net *network*

説明: ZIP パケットを受信しましたが、長さが不十分で、DDP ヘッダーの後に 2 バイトの ZIP ヘッダーが入っていません。パケットは廃棄されます。

---

## 第8章 非同期転送モード・ネットワーク・インターフェース (ATM)

この章では、非同期転送モード・ネットワーク・インターフェース (ATM) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### ATM.001

レベル: C-INFO

短構文: ATM.001 Create configuration support, nt *network ID*

長構文: ATM.001 Create configuration support, on network *network ID*

説明: config\_support オブジェクトを作成しようとしています。

---

### ATM.002

レベル: C-INFO

短構文: ATM.002 Create Timer\_master, nt *network ID*

長構文: ATM.002 Create Timer\_master, on network *network ID*

説明: Timer\_master オブジェクトを作成しようとしています。

---

### ATM.003

レベル: C-INFO

短構文: ATM.003 Create connection manager, nt *network ID*

長構文: ATM.003 Create connection manager, on network *network ID*

説明: conn\_mgr オブジェクトを作成しようとしています。

---

### ATM.004

レベル: C-INFO

短構文: ATM.004 Create ilmi\_wrapper, nt *network ID*

長構文: ATM.004 Create ilmi\_wrapper, on network *network ID*

説明: ilmi\_wrapper オブジェクトを作成しようとしています。

---

### ATM.005

レベル: C-INFO

短構文: ATM.005 Create ilmi, nt *network ID*

長構文: ATM.005 Create ilmi, on network *network ID*

説明: ilmi (ATM\_address\_table) オブジェクトを作成しようとしています。

---

### ATM.006

レベル: C-INFO

短構文: ATM.006 Create ilmi\_user, nt *network ID*

長構文: ATM.006 Create ilmi\_user, on network *network ID*

説明: ilmi\_user オブジェクトを作成しようとしています。

---

### ATM.007

レベル: C-INFO

短構文: ATM.007 Create saal\_wrapper, nt *network ID*

長構文: ATM.007 Create saal\_wrapper, on network *network ID*

説明: saal\_wrapper オブジェクトを作成しようとしています。

---

### ATM.008

レベル: C-INFO

短構文: ATM.008 Create qsaal, nt *network ID*

長構文: ATM.008 Create qsaal, on network *network ID*

説明: qsaal オブジェクトを作成しようとしています。

---

### ATM.009

レベル: C-INFO

短構文: ATM.009 Create signalling (Q93B\_protocol), nt *network ID*

長構文: ATM.009 Create signalling (Q93B\_protocol), on network *network ID*

説明: Q93B\_protocol (シグナル) オブジェクトを作成しようとしています。

---

#### ATM.010

レベル: C-INFO

短構文: ATM.010 Calling *object\_addrs\_avail*, nt *network ID*

長構文: ATM.010 Calling *object\_addrs\_avail*, on network *network ID*

説明: すべての作成済みオブジェクトの *object\_addrs\_avail* を呼び出しています。

---

#### ATM.011

レベル: C-INFO

短構文: ATM.011 Starting *ilmi\_wrapper*, nt *network ID*

長構文: ATM.011 Starting *ilmi\_wrapper*, on network *network ID*

説明: *ilmi\_wrapper->start* を呼び出しています。

---

#### ATM.012

レベル: C-INFO

短構文: ATM.012 Starting *ilmi*, nt *network ID*

長構文: ATM.012 Starting *ilmi*, on network *network ID*

説明: *ilmi->start* を呼び出しています。

---

#### ATM.013

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.013 Start of *ilmi\_wrapper* failed, nt *network ID*, rc *retcode*

長構文: ATM.013 Start of *ilmi\_wrapper* failed, on network *network ID*, return code = *retcode*

説明: *ilmi\_wrapper->start* が失敗しました。

---

#### ATM.014

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.014 Start of *ilmi* failed, nt *network ID*, rc *retcode*

長構文: ATM.014 Start of *ilmi* failed, on network *network ID*, return code = *retcode*

説明: *ilmi->start* を失敗しました。

---

#### ATM.015

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.015 Creation of configuration support failed, nt *network ID*, rc *retcode*

長構文: ATM.015 Creation of configuration support failed, on network *network ID*, return code = *retcode*

説明: *config\_support* の作成が失敗しました。

---

#### ATM.016

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.016 Creation of *Timer\_master* failed, nt *network ID*, rc *retcode*

長構文: ATM.016 Creation of *Timer\_master* failed, on network *network ID*, return code = *retcode*

説明: *Timer\_master* の作成が失敗しました。

---

#### ATM.017

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.017 Creation of connection manager failed, nt *network ID*, rc *retcode*

長構文: ATM.017 Creation of connection manager failed, on network *network ID*, return code = *retcode*

説明: *conn\_mgr* の作成が失敗しました。

---

#### ATM.018

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.018 Creation of *ilmi\_wrapper* failed, nt *network ID*, rc *retcode*

長構文: ATM.018 Creation of *ilmi\_wrapper* failed, on network *network ID*, return code = *retcode*

説明: *ilmi\_wrapper* の作成が失敗しました。

---

#### ATM.019

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.019 Creation of *ilmi* failed, nt *network ID*, rc *retcode*

長構文: ATM.019 Creation of *ilmi* failed, on network *network ID*, return code = *retcode*

説明: *ilmi* の作成が失敗しました。

---

---

**ATM.020**

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.020 Creation of ilmi\_user failed, nt *network ID*

長構文: ATM.020 Creation of ilmi\_user failed, on network *network ID*

説明: ilmi\_user の作成が失敗しました。

---

**ATM.021**

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.021 Creation of saal\_wrapper failed, nt *network ID*, rc *retcode*

長構文: ATM.021 Creation of saal\_wrapper failed, on network *network ID*, return code = *retcode*

説明: saal\_wrapper の作成が失敗しました。

---

**ATM.022**

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.022 Creation of qsaal failed, nt *network ID*, rc *retcode*

長構文: ATM.022 Creation of qsaal failed, on network *network ID*, return code = *retcode*

説明: qsaal の作成が失敗しました。

---

**ATM.023**

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.023 Creation of signalling (Q93B\_protocol) failed, nt *network ID*, rc *retcode*

長構文: ATM.023 Creation of signalling (Q93B\_protocol) failed, on network *network ID*, return code = *retcode*

説明: Q93B\_protocol の作成が失敗しました。

---

**ATM.024**

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.024 Bad inbound control frame discarded, handle = *conn\_handle* nt *network ID*

長構文: ATM.024 Bad inbound control frame discarded, handle = *conn\_handle*, on network *network ID*

説明: 無効なインバウンド制御フレーム

---

---

**ATM.025**

レベル: C-INFO

短構文: ATM.025 Frame xmit by net\_dsio, handle = *conn\_handle* nt *network ID*

長構文: ATM.025 Frame transmitted using net\_dsio, handle = *conn\_handle*, on network *network ID*

説明: net\_dsio を使用して、ATM インターフェースでフレームが送信されました。

---

**ATM.026**

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.026 Inbound frame discarded, handle = *conn\_handle* nt *network ID*, rc *stat*

長構文: ATM.026 Inbound frame discarded, handle = *conn\_handle*, on network *network ID*, status = *stat*

説明: iorb 中の状況が無効です。

---

**ATM.027**

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.027 Outbound frame not sent, handle = *conn\_handle* nt *network ID*, rc *retcode*

長構文: ATM.027 Outbound frame not sent, handle = *conn\_handle*, on network *network ID*, return code = *retcode*

説明: netout からの状況が無効です。

---

**ATM.028**

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.028 Device Driver User Registration Failed, handle = *conn\_handle* nt *network ID*, rc *stat*

長構文: ATM.028 Device Driver User Registration Failed, handle = *conn\_handle*, on network *network ID*, status = *stat*

説明: atmcharm\_init ユーザー登録が失敗しました。

---

**ATM.029**

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.029 Device Driver Wrap User Registration Failed, handle = *conn\_handle* nt *network ID*, rc *rc*

長構文: ATM.029 Device Driver Wrap User Registration Failed, handle = *conn\_handle*, on network *network ID*, status = *rc*

---

説明: atmcharm\_init ユーザー登録循環が失敗しました。

---

#### ATM.030

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.030 ERROR opening Frame SAP, handle = *conn\_handle* nt *network ID*, rc *stat*

長構文: ATM.030 ERROR opening Frame SAP, handle = *conn\_handle*, on network *network ID*, status = *stat*

説明: フレーム SAP をオープンできませんでした。

---

#### ATM.031

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.031 ERROR opening data path for ILMI, handle = *conn\_handle* nt *network ID*, rc *stat*

長構文: ATM.031 ERROR opening data path for ILMI, handle = *conn\_handle*, on network *network ID*, status = *stat*

説明: ILMI のデータ・パスをオープンできませんでした。

---

#### ATM.032

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.032 ERROR opening Wrap Frame SAP, handle = *conn\_handle* nt *network ID*, rc *rc*

長構文: ATM.032 ERROR opening Wrap Frame SAP, handle = *conn\_handle*, on network *network ID*, status = *rc*

説明: フレーム循環 SAP をオープンできませんでした。

---

#### ATM.033

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.033 ERROR creating objects, handle = *conn\_handle* nt *network ID*, rc *rc*

長構文: ATM.033 ERROR creating objects, handle = *conn\_handle*, on network *network ID*, status = *rc*

説明: オブジェクト (SVC、ILMI など) を作成できませんでした。

---

#### ATM.034

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.034 Inbound frame discarded, handle = *conn\_handle* nt *network ID*, cnt *i\_bxfr*

長構文: ATM.034 Inbound frame discarded, handle = *conn\_handle*, on network *network ID*, count = *i\_bxfr*

説明: iorb のバイト・カウントが無効です。

---

#### ATM.035

レベル: C-INFO

短構文: ATM.035 Function *function\_name* called, nt *network ID*

長構文: ATM.035 Function *function\_name* called, on network *network ID*

説明: ATM 機能が呼び出されました。

---

#### ATM.036

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.036 Could not stop objects, nt *network ID*, rc *rc*

長構文: ATM.036 Could not stop objects, on network *network ID*, return code = *rc*

説明: オブジェクトの停止時のエラー

---

#### ATM.037

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.037 Connection handle is NULL, nt *network ID*

長構文: ATM.037 Connection handle is NULL, on network *network ID*

説明: *conn\_handle* が NULL です。

---

#### ATM.038

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.038 Unable to get buffers, nt *network ID*

長構文: ATM.038 Unable to get buffers on network *network ID*

説明: バッファーを入手できませんでした。

---

**ATM.039**

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.039 Connect ioctl failed , nt *network ID* vpi/vci vpi/ vci

長構文: ATM.039 Connect ioctl failed , nt *network ID* vpi/vci vpi/ vci

説明: ioctl の接続が失敗しました。

---

**ATM.040**

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.040 Could not start objects, nt *network ID*, rc rc

長構文: ATM.040 Could not start objects, on network *network ID*, return code = rc

説明: オブジェクトの開始時のエラー

---

**ATM.041**

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.041 Invalid max SDU size, nt *network ID*, SDU sz rate

長構文: ATM.041 Invalid max SDU size, on network *network ID*, max SDU size = rate

説明: ATM ネットワーク・ハンドラーが、この接続には無効な最大 SDU サイズを渡されました。

---

**ATM.042**

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.042 Invalid peak cell rate, nt *network ID*, pk rate rate

長構文: ATM.042 Invalid peak cell rate, on network *network ID*, peak cell rate = rate

説明: ATM ネットワーク・ハンドラーが、この接続には無効なピーク・セル速度を渡されました。

---

**ATM.043**

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.043 Invalid sustainable cell rate, nt *network ID*, sustn rate rate

長構文: ATM.043 Invalid sustainable cell rate, on network *network ID*, sustainable cell rate = rate

説明: ATM ネットワーク・ハンドラーが、この接続には無効な持続可能セル速度を渡されました。

---

---

**ATM.044**

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.044 Invalid max burst size, nt *network ID*, brst sz rate

長構文: ATM.044 Invalid max burst size, on network *network ID*, max burst size = rate

説明: ATM ネットワーク・ハンドラーが、この接続には無効な最大バースト・サイズを渡されました。

---

**ATM.045**

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.045 API, invalid net number, nt *network ID*, dev devNum

長構文: ATM.045 API called with invalid net number, on network *network ID*, devNum devNum

説明: 無効な devNum を指定した atmUserRegistration が呼び出されました。

---

**ATM.046**

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.046 API call failed, no memory, nt *network ID*

長構文: ATM.046 API call failed, no memory, on network *network ID*

説明: ATM API コールが失敗しました。利用可能な記憶域がありません。

---

**ATM.047**

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.047 Get UNI version ILMI failed, nt *network ID*, rc rc

長構文: ATM.047 Get UNI Version ILMI failed, on network *network ID*, return code = rc

説明: atmGetUniVersion ILMI が get\_uni\_version\_wrap の失敗を戻しました。

---

**ATM.048**

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.048 API, invalid user handle, *userHandle*

長構文: ATM.048 API called with invalid user handle, *userHandle*

説明: 無効なユーザー・ハンドルを使用して

---



atmUserRegistration が呼び出されました。

---

#### ATM.049

レベル: CI-ERROR

短構文: ATM.049 API call failed, net down, nt *network ID*

長構文: ATM.049 API call failed, network down, on network *network ID*

説明: ATM API コールが失敗しました。ネットワークはダウンしています。

---

#### ATM.050

レベル: C-INFO

短構文: ATM.050 Address activation ILMI successful, nt *network ID*, rc *rc*

長構文: ATM.050 ATM address activation ILMI successful, on network *network ID*, return code = *rc*

説明: atmAddrActivation ILMI が、正常な alloc\_addr\_wrap を戻しました。

---

#### ATM.051

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.051 Address activation ILMI failed, nt *network ID*, rc *rc*

長構文: ATM.051 ATM address activation ILMI failed, on network *network ID*, return code = *rc*

説明: atmAddrActivation ILMI が alloc\_addr\_wrap の失敗を戻しました。

---

#### ATM.052

レベル: C-INFO

短構文: ATM.052 Sharing ESI/Selector, nt *network ID*, addr *addr*

長構文: ATM.052 Sharing ESI/Selector, on network *network ID*, addr *addr*

説明: atmAddrActivation が ATM アドレスの共用を提供しています。

---

#### ATM.053

レベル: C-INFO

短構文: ATM.053 conn\_mgr dstrc ntrd, nt *network ID*

長構文: ATM.053 Connection Manager destructor entered, on network *network ID*

説明: 接続管理プログラムを破壊するような入力が行われました。

---

#### ATM.054

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.054 API, invalid address handle, nt *network ID*, hndl *handle*

長構文: ATM.054 API called with invalid address handle, on network *network ID*, handle = *handle*

説明: 無効なアドレス・ハンドルを用いて atmAddrDeactivation が呼び出されました。

---

#### ATM.055

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.055 Address deactivation ILMI failed, nt *network ID*, hndl *handle* rc *rc*

長構文: ATM.055 ATM address deactivation ILMI failed, on network *network ID*, handle = *handle*, return code = *rc*

説明: atmAddrDeactivation ILMI が free\_addr\_handle\_wrap の失敗を戻しました。

---

#### ATM.056

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.056 Get address by handle ILMI failed, nt *network ID*, hndl *handle* rc *rc*

長構文: ATM.056 Get ATM address by handle ILMI failed, on network *network ID*, handle = *handle*, return code = *rc*

説明: atmGetAddrByHandle ILMI が get\_atm\_addr\_wrap の失敗を戻しました。

---

#### ATM.057

レベル: C-INFO

短構文: ATM.057 Get UNI version ILMI successful, nt *network ID*, rc *rc*

長構文: ATM.057 Get UNI Version ILMI successful, on network *network ID*, return code = *rc*

説明: atmGetUniVersion ILMI が、正常な get\_uni\_version\_wrap を戻しました。



---

**ATM.058**

レベル: C-INFO

短構文: ATM.058 Get LECS address ILMI successful, nt *network ID*, rc *rc*

長構文: ATM.058 Get LECS address ILMI successful, on network *network ID*, return code = *rc*

説明: atmGetLeCsAddr ILMI が、正常な get\_lecs\_list\_wrap を戻しました。

---

**ATM.059**

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.059 Get LECS address ILMI failed, nt *network ID*, rc *rc*

長構文: ATM.059 Get LECS address ILMI failed, on network *network ID*, return code = *rc*

説明: atmGetLeCsAddr ILMI が get\_lecs\_list\_wrap の失敗を戻しました。

---

**ATM.060**

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.060 call SAP already open, nt *network ID* hndl *handle*

長構文: ATM.060 call SAP already open for this user, network *network ID*, SAP handle = *handle*

説明: このユーザーに対するコール SAP は、すでにオープンされています。

---

**ATM.061**

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.061 max call SAPs exceeded, nt *network ID*

長構文: ATM.061 max call SAPs exceeded, network *network ID*

説明: 最大数のコール SAP がすでにオープンされています。

---

**ATM.062**

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.062 bad PID count, nt *network ID* cnt *count*

長構文: ATM.062 bad PID count, network *network ID*, count = *count*

---

説明: PID リスト内の PID カウントが範囲外です。

---

**ATM.063**

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.063 bad PID, nt *network ID* PID *PID*

長構文: ATM.063 bad PID, network *network ID*, PID = *PID*

説明: PID リスト内の PID が無効です。

---

**ATM.064**

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.064 Conn mgr register caller failed, nt *network ID*, rc *rc*

長構文: ATM.064 Connection manager register caller failed, on network *network ID*, return code = *rc*

説明: 接続管理プログラムの reg\_caller\_wrap のコールが失敗しました。

---

**ATM.065**

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.065 API, invalid call SAP hndl, nt *network ID*, hndl *handle*

長構文: ATM.065 API received invalid call SAP handle, on network *network ID*, handle = *handle*

説明: 無効なコール SAP ハンドルが API に渡されました。

---

**ATM.066**

レベル: C-INFO

短構文: ATM.066 API, placing call, nt *network ID*, addr *address*

長構文: ATM.066 API, placing call, on network *network ID*, ATM address = *address*

説明: 指定のアドレスへコールを発信中です。

---

**ATM.067**

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.067 API, place call failed, nt *network ID*, hndl *handle*, addr *address*, rc *rc*

長構文: ATM.067 API, place call failed, on network *network ID*, handle = *handle*, ATM address = *address*, return code = *rc*

説明: 指定のアドレスへのコールが失敗しました。

---

---

**ATM.068**

レベル: C-INFO

短構文: ATM.068 API, adding leaf, nt *network ID*, addr *address*, conn hndl = *handle*

長構文: ATM.068 API, adding leaf, on network *network ID*, ATM address = *address*, conn handle = *handle*,

説明: マルチポイント (多地点) コールにリーフを追加中です。

---

**ATM.069**

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.069 API, add leaf failed, nt *network ID*, hndl *handle*, addr *address*, rc *rc*

長構文: ATM.069 API, add leaf failed, on network *network ID*, handle = *handle*, ATM address = *address*, return code = *rc*

説明: マルチポイント (多地点) コールへのリーフの追加が失敗しました。

---

**ATM.070**

レベル: C-INFO

短構文: ATM.070 API, hangup leaf, nt *network ID*, conn hndl *connHandle*, leaf hndl *leafHandle*

長構文: ATM.070 API, hangup leaf, on network *network ID*, conn handle = *connHandle*, leaf handle = *leafHandle*

説明: リーフを停止中です。

---

**ATM.071**

レベル: C-INFO

短構文: ATM.071 API, recv call ack, nt *network ID*, conn hndl *connHandle*

長構文: ATM.071 API, receive call ack, on network *network ID*, conn handle = *connHandle*

説明: コールの受信確認を受け取りました。

---

**ATM.072**

レベル: C-INFO

短構文: ATM.072 API, hangup call, nt *network ID*, conn hndl *connHandle*

長構文: ATM.072 API, hangup call, on network *network ID*, conn handle = *connHandle*

---

説明: コールを停止中です。

---

**ATM.073**

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.073 API, invalid frame SAP type, nt *network ID*, type *type*

長構文: ATM.073 API called with invalid frame SAP type, on network *network ID*, type = *type*

説明: 無効なフレーム SAP タイプが API に渡されました。

---

**ATM.074**

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.074 API, invalid frame SAP hndl, nt *network ID*, hndl *handle*

長構文: ATM.074 API called with invalid frame SAP handle, on network *network ID*, handle = *handle*

説明: 無効なフレーム SAP ハンドルが API に渡されました。

---

**ATM.075**

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.075 API, invalid VCC hndl, nt *network ID*, hndl *handle*

長構文: ATM.075 API called with invalid VCC handle, on network *network ID*, handle = *handle*

説明: 無効な VCC ハンドルが API に渡されました。

---

**ATM.076**

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.076 API, invalid MAC offset, nt *network ID*, offset *offset*

長構文: ATM.076 API called with invalid MAC address offset, on network *network ID*, offset = *offset*

説明: 無効な MAC アドレス・オフセットが API に渡されました。

---

**ATM.077**

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.077 API, invalid VCC grp hndl, nt *network ID*, grp hndl *handle*

長構文: ATM.077 API called with invalid VCC group handle, on network *network ID*, group handle = *handle*

---

説明: 無効な VCC グループ・ハンドルが API に渡されました。

---

#### ATM.078

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.078 API, VCC already in grp, nt *network ID*, vcc hndl *vcchandle*, grp hndl *grphandle*

長構文: ATM.078 API, VCC already in group, on network *network ID*, vcc handle = *vcchandle*, group handle = *grphandle*

説明: VCC を、すでに所属しているグループに追加しようとしています。

---

#### ATM.079

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.079 API, VCC not in grp, nt *network ID*, vcc hndl *vcchandle*, grp hndl *grphandle*

長構文: ATM.079 API, VCC not in group, on network *network ID*, vcc handle = *vcchandle*, group handle = *grphandle*

説明: VCC は、このグループには所属していません。

---

#### ATM.080

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.080 API, MAC already mapped, nt *network ID*, vcc hndl *vcchandle*, grp hndl *grphandle*, MAC *MACaddr*

長構文: ATM.080 API, MAC already mapped, on network *network ID*, vcc handle = *vcchandle*, group handle = *grphandle*, MAC address *MACaddr*

説明: MAC アドレスを、すでにマップされているグループにマップしようとしています。

---

#### ATM.081

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.081 API, MAC not mapped, nt *network ID*, vcc hndl *vcchandle*, grp hndl *grphandle*, MAC *MACaddr*

長構文: ATM.081 API, MAC not mapped, on network *network ID*, vcc handle = *vcchandle*, group handle = *grphandle*, MAC address *MACaddr*

説明: マップされていない MAC アドレスを、グループからマップ解除しようとしています。

---

#### ATM.082

レベル: C-INFO

短構文: ATM.082 addr state change, nt *network ID*, addr *address*, state = *state*

長構文: ATM.082 ATM address state change, on network *network ID*, ATM address = *address*, state = *state*,

説明: アドレス状態の変更

---

#### ATM.083

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.083 Connection manager start failed, nt *network ID*, rc *retcode*

長構文: ATM.083 Connection manager start failed, on network *network ID*, return code = *retcode*

説明: 接続管理プログラムの開始が失敗しました。

---

#### ATM.084

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.084 SAAL wrapper start failed, nt *network ID*, rc *retcode*

長構文: ATM.084 SAAL wrapper start failed, on network *network ID*, return code = *retcode*

説明: SAAL 循環機能の開始が失敗しました。

---

#### ATM.085

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.085 SAAL start failed, nt *network ID*, rc *retcode*

長構文: ATM.085 SAAL start failed, on network *network ID*, return code = *retcode*

説明: SAAL の開始が失敗しました。

---

#### ATM.086

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.086 SVC start failed, nt *network ID*, rc *retcode*

長構文: ATM.086 SVC start failed, on network *network ID*, return code = *retcode*

説明: SVC の開始が失敗しました。

---

**ATM.087**

レベル: C-INFO

短構文: ATM.087 Conn mgr stopped, nt *network ID*

長構文: ATM.087 Connection Manager stopped, on network *network ID*

説明: 接続管理プログラムの停止が入力されました。

---

**ATM.088**

レベル: P\_TRACE

短構文: ATM.088 Trace ATM frame.

長構文: ATM.088 Trace ATM frame.

説明: ATM フレーム・パケットがトレース中

---

**ATM.089**

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.089 Conn mgr place call failed, nt *network ID*, rc *retcode*

長構文: ATM.089 Connection manager place call failed, on network *network ID*, rc = *retcode*

説明: 接続管理プログラムのコールが失敗しました。

---

**ATM.090**

レベル: U-INFO

短構文: ATM.090 Call setup failed, SAAL not up yet, nt *network ID*

長構文: ATM.090 Call setup failed, SAAL not up yet, on network *network ID*

説明: SAAL がまだ確立されていなかったため、コールのセットアップが失敗しました。

---

**ATM.091**

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.091 Conn handle in use, nt *network ID*, hdnl *handle*

長構文: ATM.091 SVC thinks conn handle is in use, on network *network ID*, handle = *handle*

説明: SVC が接続ハンドルが使用中であると判断したために、コールのセットアップが失敗しました。

---

---

**ATM.092**

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.092 Invalid conn handle, nt *network ID*, hdnl *handle*

長構文: ATM.092 Invalid conn handle, no entry in connection table, on network *network ID*, handle = *handle*

説明: 接続ハンドルが NULL 項目を指しているため、コールのセットアップが失敗しました。

---

**ATM.093**

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.093 Place call ack failed, nt *network ID*, rc *retcode*, hdnl *handle*, vpi *vpi*, vci *vci*

長構文: ATM.093 Place call ack failed, on network *network ID*, rc = *retcode*, handle = *handle*, vpi = *vpi*, vci = *vci*

説明: コールの受信確認が失敗しました。

---

**ATM.094**

レベル: UE-ERROR

短構文: ATM.094 Receive call failed, no such caller, nt *network ID*, hdnl *handle*, vpi *vpi*, vci *vci*

長構文: ATM.094 Receive call failed, no such caller, on network *network ID*, handle = *handle*, vpi = *vpi*, vci = *vci*

説明: コール・パラメーターに一致する発呼者側が見つかりませんでした。

---

**ATM.095**

レベル: UE-ERROR

短構文: ATM.095 call rjct, nt *network ID*, rc *retcode*, hdnl *handle*, vpi *vpi*, vci *vci*

長構文: ATM.095 Call rejected, on network *network ID*, rc = *retcode*, handle = *handle*, vpi = *vpi*, vci = *vci*

説明: コールされた側がコールを拒否しました。

---

**ATM.096**

レベル: C-INFO

短構文: ATM.096 Call accepted, nt *network ID*, rc *retcode*, hdnl *handle*, vpi *vpi*, vci *vci*

長構文: ATM.096 Call accepted, on network *network ID*, rc = *retcode*, handle = *handle*, vpi = *vpi*, vci = *vci*

説明: コールされた側がコールを受け入れました。

---

**ATM.097**

レベル: C-INFO

短構文: ATM.097 Receive call ack, nt *network ID*, rc *retcode*, hndl *handle*

長構文: ATM.097 Receive call ack, on network *network ID*, rc = *retcode*, handle = *handle*

説明: コールされた側はコールを受け入れるか、または拒否します。

---

**ATM.098**

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.098 Bad cnfg prm, n\_int *interface*, rc *retcode*, prm *parm*

長構文: ATM.098 Bad configuration parm, n\_int = *interface*, rc = *retcode*, parm = *parm*

説明: 接続管理プログラムが、構成パラメーターを読み取ろうとしましたが、失敗しました。

---

**ATM.099**

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.099 Conn mgr, no memory, n\_int *interface*, pnt *point*

長構文: ATM.099 Connection Manager, no memory, n\_int = *interface*, trace point = *point*

説明: 接続管理プログラムが、初期化のための記憶域を入手できませんでした。

---

**ATM.100**

レベル: C-INFO

短構文: ATM.100 Conn mgr adding leaf, nt *network ID*, hndl *handle*

長構文: ATM.100 Connection Manager adding leaf, on network *network ID*, handle = *handle*

説明: 接続管理プログラムのリーフ追加が入力されました。

---

**ATM.101**

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.101 Invlid conn hndl, not in connect tbl, nt *network ID*, hndl *handle*, func *function\_name*

長構文: ATM.101 Invalid conn handle, no entry in

connection table, on network *network ID*, handle = *handle*, function *function\_name*

説明: 接続ハンドルが NULL 項目を指しています。

---

**ATM.102**

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.102 Invlid conn hndl, free connection, nt *network ID*, hndl *handle*, func *function\_name*

長構文: ATM.102 Invalid conn handle, free connection, on network *network ID*, handle = *handle*, function = *function\_name*

説明: 接続ハンドルが非活動項目を指しています。

---

**ATM.103**

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.103 No leaf handle available, nt *network ID*, hndl *handle*

長構文: ATM.103 No leaf handle available, on network *network ID*, conn handle = *handle*

説明: リーフ・ハンドルを入手できませんでした。

---

**ATM.104**

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.104 Add leaf handle failed, nt *network ID*, hndl *handle*, rc *retcode*

長構文: ATM.104 Add leaf handle failed, on network *network ID*, conn handle = *handle*, rc = *retcode*

説明: リーフ・ハンドルの追加が失敗しました。

---

**ATM.105**

レベル: C-INFO

短構文: ATM.105 Conn mgr add leaf ack, nt *network ID*, hndl *handle*

長構文: ATM.105 Connection Manager add leaf ack, on network *network ID*, handle = *handle*

説明: 接続管理プログラムのリーフ追加の受信確認が入力されました。

---

**ATM.106**

レベル: C-INFO

短構文: ATM.106 Conn mgr registering caller, nt *network ID*

長構文: ATM.106 Connection Manager registering caller, on network *network ID*

説明: 接続管理プログラムの register\_caller が入力されました。

---

#### ATM.107

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.107 Max callers exceeded, nt *network ID*

長構文: ATM.107 Max callers exceeded, on network *network ID*

説明: 発呼者が登録しようとしたのですが、すでに発呼者の最大数に達しています。

---

#### ATM.108

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.108 dup cllr PID, nt *network ID*

長構文: ATM.108 Duplicate caller PID, on network *network ID*

説明: 発呼者が、既存の発呼者と同じ PID およびアドレスで登録しようとした。

---

#### ATM.109

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.109 dup cllr addr, nt *network ID*

長構文: ATM.109 Duplicate caller address, on network *network ID*

説明: 発呼者が、既存の発呼者と同じアドレスで登録しようとした。

---

#### ATM.110

レベル: C-INFO

短構文: ATM.110 Conn mgr deregistering caller, nt *network ID*

長構文: ATM.110 Connection Manager deregistering caller, on network *network ID*

説明: 接続管理プログラムの deregister\_caller が入力されました。

---

#### ATM.111

レベル: C-INFO

短構文: ATM.111 Conn mgr disconnecting call, nt *network ID*, hndl *handle*

長構文: ATM.111 Connection Manager disconnecting

call, on network *network ID*, handle = *handle*

説明: 接続管理プログラムの disconnect\_call が入力されました。

---

#### ATM.112

レベル: C-INFO

短構文: ATM.112 rmv cnxn, SVC err, nt *network ID*, hndl *handle*

長構文: ATM.112 Conn Mgr removing connection, SVC error, on network *network ID*, handle = *handle*

説明: SVC が接続ハンドルを入手しましたが、エラーを検出したために、ハンドルを戻しているところです。

---

#### ATM.113

レベル: C-INFO

短構文: ATM.113 Conn mgr reporting failure, nt *network ID*, hndl *handle*

長構文: ATM.113 Connection Manager reporting failure to caller, on network *network ID*, handle = *handle*

説明: 接続管理プログラムの report\_failure\_to\_Caller が入力されました。

---

#### ATM.114

レベル: C-INFO

短構文: ATM.114 Conn mgr removing connection, nt *network ID*, hndl *handle*

長構文: ATM.114 Connection Manager removing connection, on network *network ID*, handle = *handle*

説明: 接続管理プログラムの接続除去が入力されました。

---

#### ATM.115

レベル: C-INFO

短構文: ATM.115 Conn mgr disconnecting leaf, nt *network ID*, hndl *handle*

長構文: ATM.115 Connection Manager disconnecting leaf, on network *network ID*, handle = *handle*

説明: 接続管理プログラムの disconnect\_leaf が入力されました。



---

**ATM.116**

レベル: C-INFO

短構文: ATM.116 Conn mgr getting conn hndl, nt *network ID*

長構文: ATM.116 Connection Manager getting conn handle, on network *network ID*

説明: 接続管理プログラムの `get_conn_handle` が入力されました。

---

**ATM.117**

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.117 no conn handles, nt *network ID*

長構文: ATM.117 All connection handles in use, on network *network ID*

説明: 空き接続ハンドルがありません。

---

**ATM.118**

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.118 no mem conn obj, nt *network ID*

長構文: ATM.118 No memory for connection object, on network *network ID*

説明: 接続オブジェクト用の記憶域がありません。

---

**ATM.119**

レベル: C-INFO

短構文: ATM.119 Conn mgr hanging up call, nt *network ID*, hndl *handle*

長構文: ATM.119 Connection Manager hanging up call, on network *network ID*, handle = *handle*

説明: 接続管理プログラムの `hang_up_call` が入力されました。

---

**ATM.120**

レベル: C-INFO

短構文: ATM.120 conn\_mgr hanging up leaf, nt *network ID*, hndl *handle*

長構文: ATM.120 Connection Manager hanging up leaf, on network *network ID*, handle = *handle*

説明: 接続管理プログラムの `hang_up_leaf` が入力されました。

---

---

**ATM.121**

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.121 Hang up leaf failed, nt *network ID*, rc *retcode*

長構文: ATM.121 SVC hang up leaf failed, on network *network ID*, rc = *retcode*

説明: `SVC hang_up_leaf` が失敗しました。

---

**ATM.122**

レベル: C-INFO

短構文: ATM.122 Hang up leaf success, nt *network ID*, rc *retcode*

長構文: ATM.122 SVC hang up leaf success, on network *network ID*, rc = *retcode*

説明: `SVC hang_up_leaf` が正常に行われました。

---

**ATM.123**

レベル: C-INFO

短構文: ATM.123 Conn mgr placing call, nt *network ID*

長構文: ATM.123 Connection Manager placing call, on network *network ID*

説明: 接続管理プログラムの `place_call` が入力されました。

---

**ATM.124**

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.124 Max calls exceeded, nt *network ID*

長構文: ATM.124 Max calls exceeded, on network *network ID*

説明: 発呼者がコールの発信を試みましたが、すでに最大数のコールが確立されています。

---

**ATM.125**

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.125 cllr not reg, nt *network ID*, hndl *handle*

長構文: ATM.125 Caller not registered, on network *network ID*, handle = *handle*

説明: 発呼者が未登録です。

---

---

**ATM.126**

レベル: C-INFO

短構文: ATM.126 Conn mgr place call ack, nt *network ID*

長構文: ATM.126 Connection Manager place call ack, on network *network ID*

説明: 接続管理プログラムの `place_call_ack` が入力されました。

---

**ATM.127**

レベル: C-INFO

短構文: ATM.127 Conn mgr processing received call, nt *network ID*

長構文: ATM.127 Connection Manager processing received call, on network *network ID*

説明: 接続管理プログラムの `process_receive_call` が入力されました。

---

**ATM.128**

レベル: UE-ERROR

短構文: ATM.128 Cllee not reg, nt *network ID*, hndl *handle*

長構文: ATM.128 Callee not registered, on network *network ID*, conn handle = *handle*

説明: コールされる側が未登録です。

---

**ATM.129**

レベル: C-INFO

短構文: ATM.129 Callee found, nt *network ID*, cllr *caller*, cnxn *handle*

長構文: ATM.129 Callee found, on network *network ID*, caller = *caller*, conn\_handle = *handle*

説明: コールされる側が見付かりました。

---

**ATM.130**

レベル: C-INFO

短構文: ATM.130 Conn mgr finding caller id, nt *network ID*

長構文: ATM.130 Connection Manager finding caller id, on network *network ID*

説明: 接続管理プログラムの `find_caller_id` が入力されました。

---

---

**ATM.131**

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.131 Addr not found, nt *network ID*,addr *handle*

長構文: ATM.131 Address not found by ILMI, on network *network ID*, address handle = *handle*

説明: ILMI がアドレスを見付けることができませんでした。

---

**ATM.132**

レベル: C-INFO

短構文: ATM.132 Callee found, nt *network ID*,hndl *handle*

長構文: ATM.132 Callee found, on network *network ID*, caller handle = *handle*

説明: コールされる側が見付かりました。

---

**ATM.133**

レベル: UE-ERROR

短構文: ATM.133 cllee not reg, nt *network ID*, hndl *handle*

長構文: ATM.133 Callee not registered, on network *network ID*, address handle = *handle*

説明: コールされる側が未登録です。

---

**ATM.134**

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.134 Conn handle NULL, nt *network ID*

長構文: ATM.134 Connection handle NULL, on network *network ID*

説明: `iorb` 内の接続ハンドルが NULL です。

---

**ATM.135**

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.135 ILMI ptr NULL, nt *network ID*

長構文: ATM.135 ILMI wrapper function called, ILMI pointer is NULL, on network *network ID*

説明: ILMI 循環機能が呼び出されましたが、ILMI ポインターが NULL です。

---



---

**ATM.136**

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.136 ILMI wrap ptr NULL, nt *network ID*

長構文: ATM.136 ILMI wrapper function called, ILMI wrapper pointer is NULL, on network *network ID*

説明: ILMI 循環機能が呼び出されましたが、ILMI 循環ポインターが NULL です。

---

**ATM.137**

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.137 ERROR opening data path for SVC, handle = *user\_handle* nt *network ID*, rc *stat*

長構文: ATM.137 ERROR opening data path for SVC, handle = *user\_handle*, on network *network ID*, status = *stat*

説明: SVC のデータ・パスをオープンできませんでした。

---

**ATM.138**

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.138 Unknown adapter type, nt *network ID*, type *adapter\_type*

長構文: ATM.138 Unknown adapter type, on network *network ID*, adapter type = *adapter\_type*

説明: アダプターが不明のアダプター・タイプを戻しました。

---

**ATM.139**

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.139 Slftst called, nt *network ID* down

長構文: ATM.139 Selftest called, but network *network ID* is down

説明: 自己検査が呼び出されましたが、アダプターがダウンしています。

---

**ATM.140**

レベル: CE-ERROR

短構文: ATM.140 Prefix removed, nt *network ID*

長構文: ATM.140 The switch removed its prefix on network *network ID*

説明: ATM スイッチが接頭部を除去しました。

---

---

**ATM.141**

レベル: UE-ERROR

短構文: ATM.141 Cnfgd spd not adapter spd, nt *network ID*, cnfg *config*, adapter *adapter*

長構文: ATM.141 Configured speed different from adapter on network *network ID*, config speed = *config*, adapter speed = *adapter*

説明: アダプターの速度が構成された速度と異なっています。

---

**ATM.142**

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.142 Bad VCC handle, nt *network ID*, hndl= *handle*

長構文: ATM.142 Bad VCC handle, on network *network ID*, handle = *handle*

説明: 装置ドライバーが、ネットワーク・ハンドラーによくない VCC ハンドルを渡しました。

---

**ATM.143**

レベル: C-INFO

短構文: ATM.143 VCC hndl, nt *network ID*, hndl= *handle*, VPI= *vpi*, VCI= *vci*

長構文: ATM.143 VCC handle passed to device driver, on network *network ID*, handle = *handle*, VPI = *vpi*, VCI = *vci*

説明: ネットワーク・ハンドラーが、この VPI/VCI 用の装置ドライバーにハンドルを渡しました。

---

**ATM.144**

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.144 No bfr for disc, nt *network ID*, VPI= *vpi*, VCI= *vci*

長構文: ATM.144 No buffer for disconnect, on network *network ID*, VPI = *vpi*, VCI = *vci*

説明: VCC を切断するために使用可能なバッファがありませんでした。

---

**ATM.145**

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.145 Frame recvd while disconn pending, nt *network ID*, hndl= *handle*

長構文: ATM.145 Frame received while disconnect

---

pending, on network *network ID*, handle = *handle*

説明: VCC が切断保留状態であるときに、フレームが受信されました。

---

#### ATM.146

レベル: UE-ERROR

短構文: ATM.146 No prefix set, nt *network ID*

長構文: ATM.146 The switch never set its prefix on network *network ID*

説明: ATM スイッチが接頭部を設定していませんでした。

---

#### ATM.147

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.147 No mem to rd adptr addr, nt *network ID*

長構文: ATM.147 No memory at init to read adapter address, on network *network ID*

説明: アダプター・アドレスを読み取るための初期化で、記憶域が使用できませんでした。

---

#### ATM.148

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.148 No mem to rd adptr addr, nt *network ID*

長構文: ATM.148 No memory at init to read adapter address, on network *network ID*

説明: アダプター・アドレスを読み取るための初期化で、記憶域が使用できませんでした。

---

#### ATM.149

レベル: UE-ERROR

短構文: ATM.149 No rspns to poll, sndng nxt poll, nt *network ID*, mntcnt= *n\_mntcnt*

長構文: ATM.149 No response received to ILMI poll, sending next poll, on network *network ID*, maint count= *n\_mntcnt*

説明: ILMI ポーリングに対する応答がスイッチから受信されませんでした。次のポーリングを送信します。

---

#### ATM.150

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.150 Inlow, nt *network ID*, d\_iorbs= *d\_iorbs*

長構文: ATM.150 Low input buffers remaining, on network *network ID*, buffs remain= *d\_iorbs*

説明: 低入力バッファァーがアダプター上に残っていません。

---

#### ATM.153

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.153 Timer re-entrancy err, nt *net\_no*, flag = *flag*, log pt = *log\_point*

長構文: ATM.153 Timer re-entrancy error on net *net\_no*, flag = *flag*, logpoint = *log\_point*

説明: タイマーの再入エラー

---

#### ATM.154

レベル: C-INFO

短構文: ATM.154 Timer set alarm, nt *net\_no*, ndx = *index*, callback = *user\_ptr*

長構文: ATM.154 Timer set alarm on net *net\_no*, index = *index*, callback address = *user\_ptr*

説明: タイマーが設定されました。

---

#### ATM.155

レベル: C-INFO

短構文: ATM.155 Timer set alarm, nt *net\_no*, type = *type*, element = *element*

長構文: ATM.155 Timer set alarm on net *net\_no*, type = *type*, element address = *element*

説明: タイマーが設定されました。

---

#### ATM.156

レベル: C-INFO

短構文: ATM.156 Timer trace, nt *net\_no*, log pt = *logpoint*, rc = *rcode*

長構文: ATM.156 Timer trace on net *net\_no*, logpoint = *logpoint*, return code = *rcode*

説明: タイマーのトレース

---

---

**ATM.157**

レベル: C-INFO

短構文: ATM.157 Timer trace, nt *net\_no*, log pt = *logpoint*, ndx = *index*, element = *element*

長構文: ATM.157 Timer trace on net *net\_no*, logpoint = *logpoint*, index = *index*, element = *element*

説明: タイマーのトレース

---

**ATM.158**

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.158 Timer already stopped, nt *net\_no*, log pt = *logpoint*, ndx = *index*, element = *element*

長構文: ATM.158 Timer already stopped on net *net\_no*, logpoint = *logpoint*, index = *index*, element = *element*

説明: タイマーはすでに停止しています。

---

**ATM.159**

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.159 User stopping unowned timer, nt *net\_no*, stopper = *stopper*, owner = *owner*

長構文: ATM.159 User stopping unowned timer on net *net\_no*, stopper = *stopper*, owner = *owner*

説明: ユーザーが別のユーザーのタイマーを停止しようとしています。

---

**ATM.160**

レベル: C-INFO

短構文: ATM.160 Timer cancel alarm, nt *net\_no*, logpt = *logpoint*, callback = *callback*

長構文: ATM.160 Timer cancel alarm on net *net\_no*, logpoint = *logpoint*, callback address = *callback*

説明: タイマーがキャンセルされました。

---

**ATM.161**

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.161 Timer SNO, nt *net\_no*, logpt = *logpoint*

長構文: ATM.161 Timer should not occur on net *net\_no*, logpoint = *logpoint*

説明: タイマー要素が最初、最後、または中間にありませんでした。

---

---

**ATM.162**

レベル: C-INFO

短構文: ATM.162 Timer tick, nt *net\_no*, logpt = *logpoint*, tim = *time*, callback = *callback*

長構文: ATM.162 Timer tick on net *net\_no*, logpoint = *logpoint*, time = *time*, callback address = *callback*

説明: タイマーのティック

---

**ATM.163**

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.163 Timer out of elements, nt *net\_no*

長構文: ATM.163 Timer out of elements on net *net\_no*

説明: タイマーの要素がなくなりました。

---

**ATM.164**

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.164 Timer tried to free twice, nt *net\_no*

長構文: ATM.164 Timer tried to free twice on net *net\_no*

説明: タイマーが解放を 2 回試みました。

---

**ATM.165**

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.165 Tmr elmnts set to max, nt *net\_no*

長構文: ATM.165 Number of timer elements capped at maximum on net *net\_no*

説明: タイマー要素の数が最大数を超過している可能性があり、最大数に制限されました。

---

**ATM.166**

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.166 VNET Registration Failed, nt *network id*, rc *stat*

長構文: ATM.166 VNET User Registration Failed, on network *network id*, status = *stat*

説明: atm\_vnet\_init ユーザー登録が正常に行われませんでした。

---

---

**ATM.167**

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.167 Addr state change, not in API, nt *network ID*, addr *address*, state = *state*

長構文: ATM.167 ATM address state change, not in API, on network *network ID*, ATM address = *address*, state= *state*,

説明: アドレス状態の変更であるが、API にそのレコードがありません。

---

**ATM.168**

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.168 Addr in use, but not in API, nt *network ID*, addr *address*

長構文: ATM.168 ATM address in use for ILMI, but not API, on network *network ID*, ATM address = *address*

説明: ILMI ではアドレスが登録されていると考えますが、API にそのレコードがありません。

---

**ATM.169**

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.169 No bfr to splice VCC, nt *network ID*, *vpi1- vci1* to *vpi2- vci2*

長構文: ATM.169 No buffer to splice VCC on network *network ID*, *vpi1- vci1* to VCC *vpi2- vci2*

説明: 2 つの VCC をスプライス (接続) するために使用可能なバッファがありませんでした。

---

**ATM.170**

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.170 nt *network ID*, VCC *vpi1- vci1* was spliced *vpi2- vci2*, now *vpi3- vci3*

長構文: ATM.170 on network *network ID*, VCC *vpi1- vci1* was spliced to *vpi2- vci2*, now spliced to *vpi3- vci3*

説明: ユーザーがスプライス (接続) した VCC は、すでに別の VCC にスプライス (接続) されているものでした。

---

**ATM.171**

レベル: UE-ERROR

短構文: ATM.171 nt *network ID*, no rsp to Restart

長構文: ATM.171 Switch never responded to Restart on net *network ID*

説明: ATM スイッチは、Restart に RestartAck で応答することがまったくありませんでした。

---

**ATM.172**

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.172 Transmit msg got VCC handle, nt *network ID*

長構文: ATM.172 Transmit message was passed NULL VCC handle on network *network ID*

説明: ユーザーは、NULL VCC ハンドルを渡して *xmit\_msg* を呼び出しました。

---

**ATM.173**

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.173 nt *network ID*, *cmd* failed, unsupported protocol: *prt*

長構文: ATM.173 on network *network ID*, *cmd* failed, unsupported protocol: *prt*

説明: 内部ルーチンが、サポートされないプロトコルのマルチキャスト・アドレスの追加または削除を試みました。

---

**ATM.174**

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.174 nt *network ID*, *cmd* failed, protocol *prt*, error code: *err*

長構文: ATM.174 on network *network ID*, *cmd* failed, protocol *prt*, error code: *err*

説明: マルチキャスト・アドレスの追加または除去が試みられている最中に、内部エラーが発生しました。

---

**ATM.175**

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.175 nt *network ID*, SVC msg drop, low bfrs: *D2 D3 D4 D5*

長構文: ATM.175 on network *network ID*, SVC message dropped, adapter low on buffers: *D2 D3 D4 D5*

説明: アダプターはバッファが不足しているため、信号メッセージが除去されました。

---

---

**ATM.176**

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.176 nt *network ID*, disc conn hndl *caller*, *caller handle* dereg

長構文: ATM.176 on network *network ID*, disconnect call for handle *caller*, *caller handle* already deregistered

説明: コールの切断を受信したが、発呼者がすでに登録解除されています。

---

**ATM.177**

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.177 Function *vccmgrHandle* called, bad vccmgr hndl *caller*

長構文: ATM.177 Function *vccmgrHandle* called with invalid vccmgr handle *caller*

説明: 無効の VCC マネージャー・ハンドルを用いて、VCC マネージャー機能が呼び出されました。

---

**ATM.178**

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.178 Function *mechHandle* called, bad MEC hndl *caller*

長構文: ATM.178 Function *mechHandle* called with invalid MEC handle *caller*

説明: VCC マネージャーが無効の MEC ハンドルを見付けました。

---

**ATM.179**

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.179 Function *caller* called, no mem

長構文: ATM.179 Function *caller* called, out of memory

説明: ATM API コールが失敗しました。利用可能な記憶域がありません。

---

**ATM.181**

レベル: C-INFO

短構文: ATM.181 VCCMGR, als new entry, vccmgr hndl *vccmgrHandle*

長構文: ATM.181 VCCMGR, new VCC entry created dynamically, vccmgr handle = *vccmgrHandle*

説明: *vccmgrGetVCCTableEntry* が呼び出されて、新規

VCC 項目がシステム・メモリーから動的に割り振られました。

---

**ATM.182**

レベル: C-INFO

短構文: ATM.182 VCCMGR, new VCC entry, vccmgr hndl *vccmgrHandle*

長構文: ATM.182 VCCMGR, new VCC entry created, vccmgr handle = *vccmgrHandle*

説明: *vccmgrGetVCCTableEntry* が呼び出されて、新規 VCC 項目が作成されました。

---

**ATM.183**

レベル: C-INFO

短構文: ATM.183 VCCMGR, fvs vcc entry, vccmgr hndl *vccmgrHandle*

長構文: ATM.183 VCCMGR, free VCC entry to system, vccmgr handle = *vccmgrHandle*

説明: *vccmgrFreeVCCTableEntry* が呼び出されて、VCC 項目をシステム・メモリーに解放しました。

---

**ATM.184**

レベル: C-INFO

短構文: ATM.184 VCCMGR, free VCC entry, vccmgr hndl *vccmgrHandle*

長構文: ATM.184 VCCMGR, free VCC entry to free list, vccmgr handle = *vccmgrHandle*

説明: *vccmgrFreeVCCTableEntry* が呼び出されて、VCC 項目をフリー・リストに解放しました。

---

**ATM.185**

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.185 VCCMGR, duplicate entry, pType *pType*, vccmgr hndl *vccmgrHandle*

長構文: ATM.185 VCCMGR, duplicated VCC entry in list, protocol type *pType*, vccmgr handle = *vccmgrHandle*

説明: *vccmgrAddVCCToVCCList* が呼び出されて、リスト内に VCC 項目が複写されました。

---

**ATM.186**

レベル: C-INFO

短構文: ATM.186 VCCMGR, add entry, pType *pType*, vccmgr hndl *vccmgrHandle*

長構文: ATM.186 VCCMGR, add VCC entry to VCC list, protocol type *pType*, vccmgr handle = *vccmgrHandle*

説明: *vccmgrAddVCCToVCCList* が呼び出されて、VCC リストに VCC 項目を追加しました。

---

#### ATM.187

レベル: C-INFO

短構文: ATM.187 VCCMGR, delete entry, *pType* *pType*, vccmgr hndl *vccmgrHandle*

長構文: ATM.187 VCCMGR, delete VCC entry from VCC list, protocol type *pType*, vccmgr handle = *vccmgrHandle*

説明: *vccmgrDeleteEntryFromVCCList* が呼び出されて、VCC 項目を削除しました。

---

#### ATM.188

レベル: C-INFO

短構文: ATM.188 VCCMGR, new MEC entry, mec hndl *mecHandle*

長構文: ATM.188 VCCMGR, new MEC entry created, mec handle = *mecHandle*

説明: *vccmgrGetMECTableEntry* が呼び出され、新規 MEC 項目が作成されました。

---

#### ATM.189

レベル: C-INFO

短構文: ATM.189 VCCMGR, free MEC entry, mec hndl *mecHandle*

長構文: ATM.189 VCCMGR, free MEC entry, mec handle = *mecHandle*

説明: *vccmgrFreeMECTableEntry* が呼び出されて、MEC 項目を解放しました。

---

#### ATM.190

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.190 VCCMGR, duplicate MEC entry, mec hndl *mecHandle*

長構文: ATM.190 VCCMGR, duplicated entries in MEC list, mec handle = *mecHandle*

説明: *vccmgrAddMECEnterToMECList* が呼び出されて、MEC 項目が複写されました。

---

#### ATM.191

レベル: C-INFO

短構文: ATM.191 VCCMGR, add MEC entry, mec hndl *mecHandle*

長構文: ATM.191 VCCMGR, add MEC entry to MEC list, mec handle = *mecHandle*

説明: *vccmgrAddMECEnterToMECList* が呼び出されて、MEC 項目が複写されました。

---

#### ATM.192

レベル: C-INFO

短構文: ATM.192 VCCMGR, delete MEC entry, mec hndl *mecHandle*

長構文: ATM.192 VCCMGR, delete MEC entry from MEC list, mec handle = *mecHandle*

説明: *vccmgrDeleteMECEnterFromMECList* が呼び出されて、MEC 項目を削除しました。

---

#### ATM.193

レベル: C-INFO

短構文: ATM.193 VCCMGR, VCC sharing, nt *network ID*, conn hndl *connHandle*

長構文: ATM.193 VCCMGR, place call VCC sharing, on network *network ID*, conn Handle = *connHandle*

説明: *vccmgrPlaceCall* が呼び出されて、VCC が共用されました。

---

#### ATM.194

レベル: C-INFO

短構文: ATM.194 VCCMGR, place call ack, vccmgr hndl *vccmgrHandle*, conn hndl *connHandle*

長構文: ATM.194 VCCMGR, place call ack, vccmgr handle = *vccmgrHandle*, conn handle = *connHandle*

説明: *vccmgrPlaceCallAck* が呼び出されました。

---

#### ATM.195

レベル: C-INFO

短構文: ATM.195 VCCMGR, place call ack for shared vcc, conn hndl *vccmgrHandle*

長構文: ATM.195 VCCMGR, place call ack for shared VCC, conn handle = *vccmgrHandle*



説明: `vccmgrPlaceCallAckSimulation` が呼び出されました。

---

#### ATM.196

レベル: C-INFO

短構文: ATM.196 VCCMGR, VCC sharing, conn hndl *connHandle*

長構文: ATM.196 VCCMGR, receive call VCC sharing, conn Handle = *connHandle*

説明: `vccmgrReceiveCallAck` が呼び出されて、VCC が共有されました。

---

#### ATM.197

レベル: C-INFO

短構文: ATM.197 VCCMGR, frame drop, id *dmuxID* conn hndl *connHandle*

長構文: ATM.197 VCCMGR, data frame dropped, dmux id = *dmuxID*, conn Handle = *connHandle*

説明: `vccmgrReceiveFrame` が呼び出されて、フレームを除去しました。

---

#### ATM.198

レベル: C-INFO

短構文: ATM.198 VCCMGR, ready indicate rcvd, conn hndl *connHandle*

長構文: ATM.198 VCCMGR, first LE ready indicate received, conn Handle = *connHandle*

説明: `vccmgrReceiveFrame` が呼び出されて、第 1 準備完了表示を受信しました。

---

#### ATM.199

レベル: C-INFO

短構文: ATM.199 VCCMGR, duplicate VCC found, MEC hndl *mechHandle*, conn hndl *connHandle*

長構文: ATM.199 VCCMGR, duplicate VCC found, MEC handle = *mechHandle*, conn handle = *connHandle*

説明: `vccmgrReceiveFrame` が呼び出されて、VCC が複製されました。

---

#### ATM.200

レベル: C-INFO

短構文: ATM.200 VCCMGR, data frame rcvd, marker *marker*

長構文: ATM.200 VCCMGR, LE data frame received, marker = *marker*

説明: `vccmgrReceiveFrame` が呼び出されて、データ・フレームを受信しました。

---

#### ATM.201

レベル: C-INFO

短構文: ATM.201 VCCMGR, control frame rcvd, opcode *opCode*

長構文: ATM.201 VCCMGR, LE control frame received, opCode = *opCode*

説明: `vccmgrReceiveFrame` が呼び出されて、制御フレームを受信しました。

---

#### ATM.202

レベル: C-INFO

短構文: ATM.202 VCCMGR, frame drop, dmuxID *opCode*

長構文: ATM.202 VCCMGR, frame dropped, user not found, dmuxID = *opCode*

説明: `vccmgrReceiveFrame` が呼び出されて、フレームを除去しました。

---

#### ATM.203

レベル: C-INFO

短構文: ATM.203 VCCMGR, simulating rcvd call, hndl *connHandle*

長構文: ATM.203 VCCMGR, simulating receive call, connHandle = *connHandle*

説明: `vccmgrSimulatingReceiveCall` が呼び出されました。

---

#### ATM.204

レベル: C-INFO

短構文: ATM.204 VCCMGR, call simulated, hndl *connHandle*

長構文: ATM.204 VCCMGR, receive call simulated, connHandle = *connHandle*

説明: `vccmgrSimulatingReceiveCall` が呼び出されました。

---

**ATM.205**

レベル: C-INFO

短構文: ATM.205 VCCMGR, share VCC data path, vcc hndl *vccHandle*

長構文: ATM.205 VCCMGR, share VCC data path, vccHandle = *vccHandle*

説明: *vccmgrOpenVccDataPath* が呼び出されました。

---

**ATM.206**

レベル: C-INFO

短構文: ATM.206 VCCMGR, close shared VCC data path, vcc hndl *vccHandle*

長構文: ATM.206 VCCMGR, close shared VCC data path, vcc handle = *vccHandle*

説明: *vccmgrOpenVccDataPath* が呼び出されました。

---

**ATM.207**

レベル: C-INFO

短構文: ATM.207 VCCMGR, hangup call by vccmgr, conn hndl *vccHandle*

長構文: ATM.207 VCCMGR, hangup call by vccmgr, conn handle = *vccHandle*

説明: *vccmgrReleaseVCC* が呼び出されて、コールを停止しました。

---

**ATM.208**

レベル: C-INFO

短構文: ATM.208 VCCMGR, nt *network ID*, hangup call, conn hndl *connHandle*

長構文: ATM.208 VCCMGR, network *network ID*, VCC hangup call, connHandle = *connHandle*

説明: *vccmgrHangupCall* が呼び出されました。

---

**ATM.209**

レベル: C-INFO

短構文: ATM.209 VCCMGR, nt *network ID*, hangup shared call, conn hndl *connHandle*

長構文: ATM.209 VCCMGR, network *network ID*, hangup shared VCC call, connHandle = *connHandle*

説明: *vccmgrHangupCall* が呼び出されました。

---

---

**ATM.210**

レベル: C-INFO

短構文: ATM.210 VCCMGR, new owner, vccmgr hndl *vccmgrHandle*, conn hndl *connHandle*

長構文: ATM.210 VCCMGR, new VCC owner found, vccmgrHandle = *vccmgrHandle*, connHandle = *connHandle*

説明: *vccmgrSetNewVccOwner* が呼び出されました。

---

**ATM.211**

レベル: C-INFO

短構文: ATM.211 VCCMGR, new owner, vccmgr hndl *vccmgrHandle*, conn hndl *connHandle*

長構文: ATM.211 VCCMGR, new VCC owner found, vccmgrHandle = *vccmgrHandle*, connHandle = *connHandle*

説明: *vccmgrDisconnectCallSharedUser* が呼び出されました。

---

**ATM.212**

レベル: C-INFO

短構文: ATM.212 VCCMGR, disconnect call, vccmgr hndl *vccmgrHandle*, conn hndl *connHandle*

長構文: ATM.212 VCCMGR, disconnect call, vccmgr handle = *vccmgrHandle*, connHandle = *connHandle*

説明: *vccmgrDisconnectCall* が呼び出されました。

---

**ATM.213**

レベル: C-INFO

短構文: ATM.213 VCCMGR, close call sap, sap hndl *vccmgrHandle*

長構文: ATM.213 VCCMGR, close call sap, sap handle = *vccmgrHandle*

説明: *vccmgrCloseCallSap* が呼び出されました。

---

**ATM.214**

レベル: C-INFO

短構文: ATM.214 VCCMGR, disconnect shared call, conn hndl *connHandle*

長構文: ATM.214 VCCMGR, disconnect call for shared users, connHandle = *connHandle*

---



説明: vccmgrDisconnectCallSharedUser が呼び出されました。

---

#### ATM.215

レベル: C-INFO

短構文: ATM.215 VCCMGR, simulating hangup call, conn hndl *connHandle*

長構文: ATM.215 VCCMGR, simulating hangup call for shared users, connHandle = *connHandle*

説明: vccmgrHangupCallSimulation が呼び出されました。

---

#### ATM.216

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.216 API, invalid bound VCC hndl, nt *network ID*, hndl *handle* bnd hndl *bound*

長構文: ATM.216 API called with invalid VCC handle, on network *network ID*, handle = *handle* bound handle = *bound*

説明: VCC ハンドル内の無効の結合 VCC ハンドルが API に渡されました。

---

#### ATM.217

レベル: UI-ERROR

短構文: ATM.217 C\_caller, hangup leaf: dup caller on MP call, nt *network ID*, conn hndl *connHandle*

長構文: ATM.217 C\_caller, hangup leaf: duplicate caller on multipoint call, on network *network ID*, conn handle = *connHandle*

説明: 同じ発呼者のマルチポイント (多地点) コールに対して追加パーティーを受信しました。

---

#### ATM.218

レベル: U-INFO

短構文: ATM.218 Function *function\_name*: Grp-snd cnclcd nt *network ID* group *groupHandle*

長構文: ATM.218 Function *function\_name*: Group-send canceled on network *network ID* group *groupHandle*

説明: グループ送信時にグループ・リストが変更されました (取り消されました)。

---

#### ATM.219

レベル: CI-ERROR

短構文: ATM.219 Function *function\_name*: Grp not in use nt *network ID* iorb *iorbp*

長構文: ATM.219 Function *function\_name*: Group not in use on network *network ID* iorb *iorbp*

説明: グループ送信時に、グループ状態が正しく設定されていませんでした。

---

#### Panic atmmem

短構文: ATM interface initialization failed, no memory.

説明: ATM インターフェースが、初期化を完了できる十分な記憶域を割り振ることができませんでした。

処置: サービス技術員に連絡してください。



---

## 第9章 ATM インターリム・ローカル管理インターフェース (ILMI)

この章では、ATM インターリム・ローカル管理インターフェース (ILMI) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### ILMI.001

レベル: C-INFO

短構文: ILMI.001 nt *net\_num* state chng *state*

長構文: ILMI.001 Network *net\_num* state changed to: *state*

説明: ILMI の状態が変更されました。

---

### ILMI.002

レベル: C-INFO

短構文: ILMI.002 nt *net\_num* ntrd func *function\_name*

長構文: ILMI.002 Network *net\_num*, entered function *function\_name*

説明: ILMI 機能が開始されましたが、トレース引き数はありません。

---

### ILMI.003

レベル: C-INFO

短構文: ILMI.003 nt *net\_num* ntrd func *function\_name*, state= *state*

長構文: ILMI.003 Network *net\_num*, entered, function *function\_name*, state = *state*

説明: ILMI の状態を引き数として、ILMI 機能が開始されました。

---

### ILMI.004

レベル: C-INFO

短構文: ILMI.004 nt *net\_num* ntrd func *function\_name* *value*

長構文: ILMI.004 Network *net\_num*, entered function *function\_name* *value*

説明: 値 *x* を引き数として、ILMI 機能が開始されました。

---

### ILMI.005

レベル: C-INFO

短構文: ILMI.005 nt *net\_num* ntrd func *function\_name*, *val1*, *val2*

長構文: ILMI.005 Network *net\_num*, entered function *function\_name*, *val1*, *val2*

説明: 値 *x* および *y* を引き数として、ILMI 機能が開始されました。

---

### ILMI.006

レベル: P\_TRACE

短構文: ILMI.006 Trace ATM ILMI frame.

長構文: ILMI.006 Trace ATM ILMI frame.

説明: ATM ILMI フレーム・パケットのトレース

---

### ILMI.007

レベル: C-INFO

短構文: ILMI.007 nt *net\_num* ntrd func *function\_name*,state= *state*,hdl= *info*

長構文: ILMI.007 Network *net\_num*, entered function *function\_name*, state = *state*, handle = *info*

説明: ILMI の状態およびアドレス・ハンドルを引き数として、ILMI 機能が開始されました。

---

### ILMI.008

レベル: C-INFO

短構文: ILMI.008 nt *net\_num* recv *cmd\_type*

長構文: ILMI.008 Network *net\_num*, received a *cmd\_type*

説明: ILMI データがコマンド・タイプと共に受信されました。

---

### ILMI.009

レベル: UE-ERROR

短構文: ILMI.009 nt *net\_num* *els\_msg*, state= *state*

長構文: ILMI.009 Network *net\_num*, *els\_msg*, *state=state*

説明: ILMI 状態を含む、外部エラーの ILMI ログ・ポイント

---

#### ILMI.010

レベル: UI-ERROR

短構文: ILMI.010 nt *net\_num* *els\_msg*, *state=state*

長構文: ILMI.010 Network *net\_num*, *els\_msg*, *state=state*

説明: ILMI 状態を含む、内部エラーの ILMI ログ・ポイント

---

#### ILMI.011

レベル: C-INFO

短構文: ILMI.011 nt *net\_num* *els\_msg*, *state=state*

長構文: ILMI.011 Network *net\_num*, *els\_msg*, *state=state*

説明: ILMI 状態を含む、情報の ILMI ログ・ポイント

---

#### ILMI.012

レベル: UE-ERROR

短構文: ILMI.012 nt *net\_num* *els\_msg*, *info*

長構文: ILMI.012 Network *net\_num*, *els\_msg* *info*

説明: 追加データを含む、外部エラーの ILMI ログ・ポイント

---

#### ILMI.013

レベル: UE-ERROR

短構文: ILMI.013 nt *net\_num* *els\_msg*

長構文: ILMI.013 Network *net\_num*, *els\_msg*

説明: データのない、外部エラーの ILMI ログ・ポイント

---

#### ILMI.014

レベル: UI-ERROR

短構文: ILMI.014 nt *net\_num* *els\_msg*

長構文: ILMI.014 Network *net\_num*, *els\_msg*

説明: データのない、内部エラーの ILMI ログ・ポイント

---

#### ILMI.015

レベル: C-INFO

短構文: ILMI.015 nt *net\_num* ntrd func *function\_name* *state*, *state=info*

長構文: ILMI.015 Network *net\_num*, entered function *function\_name* *state*, *state=info*

説明: ILMI 機能が、値 *y* および ILMI 状態を引き数として開始されました。

---

#### ILMI.016

レベル: C-INFO

短構文: ILMI.016 nt *net\_num* *els\_msg* *value*

長構文: ILMI.016 Network *net\_num*, *els\_msg* *value*

説明: 値を含む、情報の ILMI ログ・ポイント

---

#### ILMI.017

レベル: C-INFO

短構文: ILMI.017 nt *net\_num* *els\_msg*

長構文: ILMI.017 Network *net\_num*, *els\_msg*

説明: データのない、情報の ILMI ログ・ポイント

---

#### ILMI.018

レベル: UI-ERROR

短構文: ILMI.018 nt *net\_num* *els\_msg*, *value*

長構文: ILMI.018 Network *net\_num*, *els\_msg* *value*

説明: 追加データを含む、内部エラーの ILMI ログ・ポイント

---

#### ILMI.019

レベル: C-INFO

短構文: ILMI.019 nt *net\_num* *els\_msg*, *val1*, *val2*

長構文: ILMI.019 Network *net\_num*, *els\_msg*, *val1*, *val2*

説明: 値を 2 つ含む、情報の ILMI ログ・ポイント

---

#### ILMI.020

レベル: C-INFO

短構文: ILMI.020 nt *net\_num* snt *cmd\_type*

長構文: ILMI.020 Network *net\_num*, sent a *cmd\_type*

説明: ILMI データがコマンド・タイプと共に送信されました。

---

**ILMI.021**

レベル: C-INFO

短構文: ILMI.021 nt *net\_num* net pref= *addr1 addr2 addr3 addr4*

長構文: ILMI.021 Network *net\_num*, network prefix= *addr1 addr2 addr3 addr4*

説明: ILMI はスイッチからネットワーク接頭部を受信しました。

---

**ILMI.022**

レベル: C-INFO

短構文: ILMI.022 nt *net\_num* ntrd func *function\_name*, *version*

長構文: ILMI.022 Network *net\_num*, entered, function *function\_name*, UNI version = *version*

説明: ILMI が UNI のバージョンを返しました。

---

**ILMI.023**

レベル: C-INFO

短構文: ILMI.023 Reg ESI, nt *net\_num*, func *function\_name*, addr= *addr1 addr2*, sel= *sel*

長構文: ILMI.023 Registering ESI on Network *net\_num*, function *function\_name*, ESI= *addr1 addr2*, Selector = *sel*

説明: ILMI がセレクターに ESI を登録しています。



---

## 第10章 ATM LLC (ALLC)

この章では ATM LLC (ALLC) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### ALLC.001

レベル: C-INFO

短構文: ALLC.001 Fn *function\_name* called, nt *network id*

長構文: ALLC.001 Function *function\_name* called, on network *network id*

説明: ATM 1483 機能が呼び出されました。

---

### ALLC.002

レベル: CI-ERROR

短構文: ALLC.002 error rtn, fn *function\_name* rc *return\_code* ( *descriptor\_string*) nt *network ID*

長構文: ALLC.002 error rtn, fn *function\_name* rc *return\_code* ( *descriptor\_string*) nt *network ID*

説明: ATM LLC レイヤーに対するダウンコールがエラーを戻しました。

**原因:** 入力パラメーターが不良であるか、またはエラーを記述する短ストリングと共に戻りコードが印刷される条件が誤っている可能性があります。エラーを戻す機能名も印刷されます。表示される可能性があるエラー・ストリングとしては、以下のものがあります。"Invalid net num": 無効のネット番号が API に渡されました。"NULL clientFunctions": NULL clientFunctions ptr が渡されました。"NULL clientHandlePtr": NULL clientHandlePtr が渡されました。"Inv hdr length": 無効のパケット・ヘッダー長さが渡されました。"Invalid addr scheme": 無効の ATM アドレス指定機構が要求されました。"net down (reg)": ネットはダウンしているが、クライアントは登録されました (エラーなし)。"net down (no reg)": ネットがダウンしていて、クライアント登録は実行されませんでした (エラーなし)。"dup non-shared EPs": 2 つの共用不可能エンドポイントが構成され、同じ ATM アドレスの登録が試行されました。(これは、構成エラーの可能性を示しています。)"addr actvn procdng": ATM アドレス活性化が進行中です (エラーなし)。"bad client handle": 無効のクライアント・ハンドルが ATM LLC API に渡されました。"bad input parms": 無効の入力パラメーターが ATM LLC API に渡されました。"ep not up": まだアップになっていないエンドポイントに対して、発呼者がチャネ

ルのオープンを試行しました。"bad channel handle": 無効のチャンネル・ハンドルが ATM LLC API に渡されました。"not chnl user": ATM LLC API に対する発呼者が、チャンネルのユーザーにならないままで、そのチャンネルの使用を試行しました。

---

### ALLC.003

レベル: C-INFO

短構文: ALLC.003 clnt ( *atm1483ClientStruct\_ptr*) added to exstng EP ( *atm1483EpBlkStruct\_ptr*) (total *num\_clnts*), nt *network id*

長構文: ALLC.003 client ( *atm1483ClientStruct\_ptr*) added to existing EP ( *atm1483EpBlkStruct\_ptr*) (total *num\_clnts*), nt *network id*

説明: クライアントが既存のエンドポイントに正常に登録され、このエンドポイントにおける新しいクライアント数が印刷されます。

---

### ALLC.004

レベル: C-INFO

短構文: ALLC.004 Clnt ( *atm1483ClientStruct\_ptr*) added to new EP ( *atm1483EpBlkStruct\_ptr*), nt *network id*

長構文: ALLC.004 Client ( *atm1483ClientStruct\_ptr*) added to newly created endpoint ( *atm1483EpBlkStruct\_ptr*), nt *network id*

説明: 新規エンドポイントが作成され、ここにクライアントが正常に登録されました。

---

### ALLC.005

レベル: C-INFO

短構文: ALLC.005 Fn *function\_name* rtnng SUCCESS, nt *network id*

長構文: ALLC.005 Function *function\_name* returning SUCCESS, on network *network id*

説明: ATM 1483 機能が SUCCESS を戻しています。

---

**ALLC.006**

レベル: C-INFO

短構文: ALLC.006 Fn *function\_name* called

長構文: ALLC.006 Function *function\_name* called

説明: ATM 1483 機能が呼び出されました。

---

**ALLC.007**

レベル: CI-ERROR

短構文: ALLC.007 Error rtn, fn *function\_name* rc *return\_code* ( *descriptor\_string*)

長構文: ALLC.007 Error rtn, fn *function\_name* rc *return\_code* ( *descriptor\_string*)

説明: ATM LLC レイヤーに対するダウンコールがエラーを戻しました。

原因: 入力パラメーターが不良であるか、またはエラーを記述する短ストリングと共に戻りコードが印刷される条件が誤っている可能性があります。表示される可能性のある *descriptor\_string* が、ALLC\_2 の場合と同じです。

---

**ALLC.008**

レベル: UI\_ERROR

短構文: ALLC.008 Failed mem allocn, fn *function\_name* ( *descriptor\_string*)

長構文: ALLC.008 Failed memory allocation in function *function\_name* ( *descriptor\_string*)

説明: 動的記憶域を割り振る試みが失敗しました。

原因: これは、ルーターの動的記憶域が不足していることを示しています。この障害には、他の記憶域割り振り障害に対処する場合と同じようにして対処する必要があります。

---

**ALLC.009**

レベル: UI\_ERROR

短構文: ALLC.009 Matching PVC (vpi= *vpi* vci= *vci*) unusable ( *descriptor\_string*), nt *network id*

長構文: ALLC.009 matching PVC (vpi= *vpi* vci= *vci*) unusable ( *descriptor\_string*), nt *network id*

説明: クライアントが既存の PVC のオープンを試行しましたが、共用フラグのためにこれができないか、または SDU のミスマッチがあります (これは記述子ストリングに示されています)。

---

原因: これらの PVC に関する構成エラーを示している場合があります。

---

**ALLC.010**

レベル: C-INFO

短構文: ALLC.010 new user on chnl (vpi *vpi*/ vci *vci*) (total *new\_total*) nt *network id*

長構文: ALLC.010 Added new user to chnl (vpi *vpi*/ vci *vci*) (total *new\_total*) nt *network id*

説明: 新規ユーザーが VCC に追加されています。この VCC の新しいユーザー数が印刷されます。

---

**ALLC.011**

レベル: C-INFO

短構文: ALLC.011 PVC up (vpi= *vpi* vci= *vci*), nt *network id*

長構文: ALLC.011 New PVC activated (vpi= *vpi* vci= *vci*), nt *network id*

説明: 新規 PVC が起動されています。

---

**ALLC.012**

レベル: UI-ERROR

短構文: ALLC.012 Failed PVC bring up (vpi= *vpi* vci= *vci*, redial= *redial\_flag*), nt *network id*

長構文: ALLC.012 Failed PVC bring up (vpi= *vpi* vci= *vci*, redial= *redial\_flag*), nt *network id*

説明: PVC の起動が正常に行われなかったことを示しています。後続の起動が再試行されることが、ゼロ以外によって示されている場合は、リダイヤルします。

---

**ALLC.013**

レベル: CE-ERROR

短構文: ALLC.013 Failed SVC bring up (dstn *atm\_address*, redial= *redial\_flag*), nt *network id*

長構文: ALLC.013 Failed SVC bring up (dstn ATM addr *atm\_address*, redial= *redial\_flag*), nt *network id*

説明: 指定のあて先 ATM アドレスへの SVC の起動が正常に行われなかったことを示しています。"redial" がゼロ以外では、後続の起動が再試行されることを示しています。

---



---

**ALLC.014**

レベル: C-INFO

短構文: ALLC.014 SVC call placed (dstn *atm\_address*),  
nt *network id*

長構文: ALLC.014 SVC call placed (dstn ATM addr  
*atm\_address*), nt *network id*

説明: 指定のあて先 ATM アドレスへの SVC に関して、コールが正常に発信されたことを示しています。

---

**ALLC.016**

レベル: C-INFO

短構文: ALLC.016 SVC hung up (vpi *vpi/* vci *vci*, dstn  
*atm\_address*) nt *network id*

長構文: ALLC.016 SVC hung up (vpi *vpi/* vci *vci*, dstn  
*atm\_address*) nt *network id*

説明: SVC がハングアップされたのが、この SVC の最後のユーザーがこのチャンネルをクローズした後であったことを示しています。

---

**ALLC.017**

レベル: C-INFO

短構文: ALLC.017 atm1483SendData success(vpi *vpi/*  
vci *vci*), nt *network id*

長構文: ALLC.017 atm1483SendData success(vpi *vpi/*  
vci *vci*), nt *network id*

説明: この VCC 上の "slow path" データ伝送機能は正常に行われました。

---

**ALLC.018**

レベル: UI-ERROR

短構文: ALLC.018 atm1483SendData failed (vpi *vpi/* vci  
*vci*), nt *network id*

長構文: ALLC.018 atm1483SendData failed (vpi *vpi/* vci  
*vci*), nt *network id*

説明: この VCC 上の "slow path" データ伝送機能は正常に行われませんでした。

---

**ALLC.019**

レベル: C-INFO

短構文: ALLC.019 EP actvn attempt (ESI *esi* Sel  
*selector*), nt *network id*

長構文: ALLC.019 EP activation attempt (ESI *esi* Sel  
*selector*), nt *network id*

説明: エンドポイントを起動する試みが行われていません。エンドポイントは、その ESI (実際の、または "出荷時設定" のいずれかとセレクター・バイト) によって記述されています。

---

**ALLC.020**

レベル: CI-ERROR

短構文: ALLC.020 ATM downcall fail (*function\_name*  
rc *return\_code*)

長構文: ALLC.020 ATM downcall from 1483 failed  
(*function\_name* rc *return\_code*)

説明: 1483 レイヤーから ATM ドライバーへのダウンコールが戻したものが、SUCCESS 以外であり、機能名および戻りコードが印刷されます。

---

**ALLC.021**

レベル: C-INFO

短構文: ALLC.021 EP up ( *atm\_address*), nt *network id*

長構文: ALLC.021 Local endpoint activated ( *atm\_address*),  
nt *network id*

説明: ローカル ATM 1483 エンドポイントが起動されています。

---

**ALLC.022**

レベル: C-INFO

短構文: ALLC.022 ATM addr state chg (ESI *esi* Sel  
*selector*, state *newstate*), nt *network id*

長構文: ALLC.022 ATM addr state chg upcall (ESI *esi*  
Sel *selector*, state *newstate*), nt *network id*

説明: ATM アドレスの状態の変更を示すアップコールを受信しました。変更後の新しい状態は "state" の値によって示されます。state = 0 => アドレス非活性化  
state = 1 => アドレス活性化 state = 2 => アドレス拒否  
state = 3 => アドレス循環

---

**ALLC.023**

レベル: UE-ERROR

短構文: ALLC.023 Hanging up incoming call (caller  
*remote\_atm\_address*, *hangup\_descriptor\_string*), nt *network id*

長構文: ALLC.023 Hanging up incoming call (caller  
*remote\_atm\_address*, *hangup\_descriptor\_string*), nt *network id*

説明: 着信コールがハングアップされています。発呼

者の ATM アドレス、および理由を記述するストリングが印刷されます。

---

#### ALLC.024

レベル: C-INFO

短構文: ALLC.024 Valid call recvd (caller *remote\_atm\_address*, vpi *vpi/ vci vci*, total *num\_chnls*, sdu chg *sdu\_chg*)

長構文: ALLC.024 Valid call recvd (caller *remote\_atm\_address*, vpi *vpi/ vci vci*, total *num\_chnls*, sdu chg *sdu\_chg*)

説明: 有効な着信コールを受信し、確認応答しました。発呼者の ATM アドレス、VPI および VCI に加えて、このインターフェース (ALLC を使用) 上の動作可能 SVC の新しい合計数が印刷され、SDU 折衝が実行されたかどうか ("sdu chg" がゼロ以外の場合) が示されています。

---

#### ALLC.025

レベル: UE-ERROR

短構文: ALLC.025 Hanging up acked call (destn *remote\_atm\_address*, *hangup\_descriptor\_string*, redial *redial\_flag*), nt *network id*

長構文: ALLC.025 Hanging up acked call (destn *remote\_atm\_address*, *hangup\_descriptor\_string*, redial *redial\_flag*), nt *network id*

説明: ACK を受信した発信コールがハングアップされています。あて先 ATM アドレス、および理由を記述するストリングが印刷されます。"リダイヤル" フラグがゼロ以外の場合は、チャンネルがリダイヤルされることを示しています。

---

#### ALLC.026

レベル: C-INFO

短構文: ALLC.026 VCC setup complete (destn *remote\_atm\_address*, vpi *vpi/ vci vci*, total *num\_chnls*), nt *network id*

長構文: ALLC.026 VCC setup complete (destn *remote\_atm\_address*, vpi *vpi/ vci vci*, total *num\_chnls*), nt *network id*

説明: ローカル・エンド・ステーションによって開始された VCC が正常に設定されています。あて先 ATM アドレス、VPI、VCI が、このインターフェース (ALLC を使用) 上の動作可能 SVC の新しい合計数と共に印刷されます。

---

#### ALLC.027

レベル: CE-ERROR

短構文: ALLC.027 Recvd remote discon (from *remote\_atm\_address*, vpi *vpi/vci vci*), nt *network id*

長構文: ALLC.027 Recvd remote discon (from *remote\_atm\_address*, vpi *vpi/vci vci*), nt *network id*

説明: リモート ATM ステーションが VCC を切断しました。VCC のリモート ATM アドレスおよび VPI/VCI が印刷されます。

---

#### ALLC.028

レベル: CE-ERROR

短構文: ALLC.028 Remote VCC Disconn (rsn *reason\_code*, cause *cause\_code*, diagLen *diag\_len*, diagData[0] *diag\_data*)

長構文: ALLC.028 Remote VCC Disconn (rsn *reason\_code*, cause *cause\_code*, diagLen *diag\_len*, diagData[0] *diag\_data*)

説明: これが使用されるのは、ALLC\_27 によって示された VCC 切断に関して、理由コードおよび原因コードを示す場合です。

---

#### ALLC.029

レベル: C-INFO

短構文: ALLC.029 EP cleaned up (ESI *esi Sel selector*), nt *network id*

長構文: ALLC.029 EP cleaned up (ESI *esi Sel selector*), nt *network id*

説明: 必要がなくなったエンドポイントの終結処理中です。このエンドポイントを定義する ESI およびセレクター・バイトが表示されます。

---

#### ALLC.030

レベル: UI\_ERROR

短構文: ALLC.030 Internal ATM downcall fail ( *function\_name rc return\_code*)

長構文: ALLC.030 ATM downcall for a local function from 1483 failed ( *function\_name rc return\_code*)

説明: ローカル機能にのみ関与し、通常は常に正常に行われるはずの、ATM API に対するダウンコールが、正常に行われませんでした。ATMLLC または ATM ドライバー・コード、あるいはその両方にエラーがある可能性を示しています。

---

**ALLC.031**

レベル: C-INFO

短構文: ALLC.031 Packet recvd (0-3 *first\_4\_bytes* 4-7 *next\_4\_bytes* 8-9 *next\_2\_bytes*), nt *network id*

長構文: ALLC.031 Packet received by ATMLLC (0-3 *first\_4\_bytes* 4-7 *next\_4\_bytes* 8-9 *next\_2\_bytes*), nt *network id*

説明: このネット上で ATMLLC モジュールがパケットを受信しました。このパケットの先頭の 10 バイト (LLC SNAP 情報が入っている) が印刷されます。

---

**ALLC.032**

レベル: UI-ERROR

短構文: ALLC.032 invalid clnt ( *atm1483ClientStruct\_ptr*) on chnl (*vpi vpi/vci vci*), nt *network id*

長構文: ALLC.032 invalid client ( *atm1483ClientStruct\_ptr*) still on chnl (*vpi vpi/vci vci*), nt *network id*

説明: 無効のクライアントがチャンネルのユーザーとしてリストされています。すでに削除されたか、またはこのチャンネルを以前終了している、古いクライアントであった可能性があります。内部コーディング・エラーであることを示しています。

---

**ALLC.033**

レベル: U-INFO

短構文: ALLC.033 chnl disconn recvd with null correlator

長構文: ALLC.033 chnl disconn recvd with null correlator

説明: ATMLLC モジュールが、あるチャンネルに関して切断を受信しましたが、その設定自体をまだ受信していませんでした。

---

**ALLC.034**

レベル: C-INFO

短構文: ALLC.034 netup recvd by ep *atm1483EpBlkStruct\_ptr* ( *num\_clients* clnts), nt *network id*

長構文: ALLC.034 netup recvd by endpoint *atm1483EpBlkStruct\_ptr* ( *num\_clients* clients), nt *network id*

説明: 指定されたエンドポイントがネットアップを受

信しました。このエンドポイントに現在登録されているクライアントの数が印刷されます。

---

**ALLC.035**

レベル: C-INFO

短構文: ALLC.035 netdwn recvd by ep *atm1483EpBlkStruct\_ptr* ( *num\_clients* clnts), nt *network id*

長構文: ALLC.035 netdown recvd by endpoint *atm1483EpBlkStruct\_ptr* ( *num\_clients* clients), nt *network id*

説明: 指定されたエンドポイントがネットダウンを受信しました。このエンドポイントに現在登録されているクライアントの数が印刷されます。

---

**ALLC.036**

レベル: C-INFO

短構文: ALLC.036 clnt ( *atm1483ClientStruct\_ptr*) deleted from ep ( *atm1483EpBlkStruct\_ptr*), *n\_clients* remain, nt *network id*

長構文: ALLC.036 client ( *atm1483ClientStruct\_ptr*) deleted from endpt ( *atm1483EpBlkStruct\_ptr*), *n\_clients* remain, nt *network id*

説明: エンドポイントからクライアントが登録解除されるつど、必ずこのメッセージが印刷されます。該当のクライアントおよびエンドポイントの ID が、エンドポイント上に残っているクライアントの数と共に印刷されます。



---

## 第11章 ATM シグナル (SVC)

この章では、ATM シグナル (SVC) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### SVC.001

レベル: C-INFO

短構文: SVC.001 *LOGATM\_STRING*

長構文: SVC.001 *LOGATM\_STRING*

説明: 一般情報ログ

---

### SVC.002

レベル: C-INFO

短構文: SVC.002 *LOGATM\_STRING D2*

長構文: SVC.002 *LOGATM\_STRING D2*

説明: 引き数が 1 つの一般情報ログ

---

### SVC.003

レベル: C-INFO

短構文: SVC.003 *LOGATM\_STRING, D2, D3*

長構文: SVC.003 *LOGATM\_STRING, D2, D3*

説明: 引き数が 2 つの一般情報ログ

---

### SVC.004

レベル: C-INFO

短構文: SVC.004 *LOGATM\_STRING, D2, D3, D4*

長構文: SVC.004 *LOGATM\_STRING, D2, D3, D4*

説明: 引き数が 3 つの一般情報ログ

---

### SVC.005

レベル: UI-ERROR

短構文: SVC.005 *LOGATM\_STRING*

長構文: SVC.005 *LOGATM\_STRING*

説明: 総称内部エラー・ログ

---

### SVC.006

レベル: UI-ERROR

短構文: SVC.006 *LOGATM\_STRING D2*

長構文: SVC.006 *LOGATM\_STRING D2*

説明: 引き数が 1 つの総称内部エラー・ログ

---

### SVC.007

レベル: UI-ERROR

短構文: SVC.007 *LOGATM\_STRING D2 D3*

長構文: SVC.007 *LOGATM\_STRING D2 D3*

説明: 引き数が 2 つの総称内部エラー・ログ

---

### SVC.008

レベル: UI-ERROR

短構文: SVC.008 *LOGATM\_STRING D2 D3 D4*

長構文: SVC.008 *LOGATM\_STRING D2 D3 D4*

説明: 引き数が 3 つの総称内部エラー・ログ

---

### SVC.009

レベル: UE-ERROR

短構文: SVC.009 *LOGATM\_STRING*

長構文: SVC.009 *LOGATM\_STRING*

説明: 総称外部エラー・ログ

---

### SVC.010

レベル: UE-ERROR

短構文: SVC.010 *LOGATM\_STRING D2*

長構文: SVC.010 *LOGATM\_STRING D2*

説明: 引き数が 1 つの総称外部エラー・ログ

---

### SVC.011

レベル: UE-ERROR

短構文: SVC.011 *LOGATM\_STRING, D2, D3*

長構文: SVC.011 *LOGATM\_STRING, D2, D3*

説明: 引き数が 2 つの総称外部エラー・ログ

---

**SVC.012**

レベル: C-INFO

短構文: SVC.012 Enter *LOGATM\_STRING*

長構文: SVC.012 Entered function *LOGATM\_STRING*

説明: SVC 機能を開始しました。

---

**SVC.013**

レベル: C-INFO

短構文: SVC.013 Enter function *LOGATM\_STRING D2*

長構文: SVC.013 Entered function *LOGATM\_STRING D2*

説明: 引き数を 1 つ指定して、SVC 機能を開始しました。

---

**SVC.014**

レベル: C-INFO

短構文: SVC.014 Enter function *LOGATM\_STRING, D2, D3*

長構文: SVC.014 Entered function *LOGATM\_STRING, D2, D3*

説明: 引き数を 2 つ指定して、SVC 機能を開始しました。

---

**SVC.015**

レベル: C-INFO

短構文: SVC.015 Enter function *LOGATM\_STRING, D2, D3, D4*

長構文: SVC.015 Entered function *LOGATM\_STRING, D2, D3, D4*

説明: 引き数を 3 つ指定して、SVC 機能を開始しました。

---

**SVC.016**

レベル: C-INFO

短構文: SVC.016 Exit *LOGATM\_STRING*

長構文: SVC.016 Exited Function *LOGATM\_STRING*

説明: SVC 機能を終了しました。

---

---

**SVC.017**

レベル: C-INFO

短構文: SVC.017 Exit *LOGATM\_STRING D2*

長構文: SVC.017 Exited Function *LOGATM\_STRING D2*

説明: 引き数を 1 つ指定して、SVC 機能を終了しました。

---

**SVC.018**

レベル: C-INFO

短構文: SVC.018 Exit *LOGATM\_STRING, D2, D3*

長構文: SVC.018 Exited Function *LOGATM\_STRING D2 D3*

説明: 引き数を 2 つ指定して、SVC 機能を終了しました。

---

**SVC.019**

レベル: C-INFO

短構文: SVC.019 Exit *LOGATM\_STRING, D2, D3, D4*

長構文: SVC.019 Exited Function *LOGATM\_STRING D2 D3 D4*

説明: 引き数を 3 つ指定して、SVC 機能を終了しました。

---

**SVC.020**

レベル: C-INFO

短構文: SVC.020 Received signalling message *LOGATM\_STRING,conn hndl= D2,ID= D3,state= D4*

長構文: SVC.020 Received signalling message *LOGATM\_STRING, conn handle = D2, Call Ref ID = D3, call state = D4*

説明: シグナル・メッセージを受信しました。

---

**SVC.021**

レベル: UE-ERROR

短構文: SVC.021 Timer *LOGATM\_STRING* expired, *conn hndl= D2,leaf hndl= D3*

長構文: SVC.021 Timer *LOGATM\_STRING* expired, *conn handle = D2, leaf handle = D3*

説明: タイマーが満了しました。

---

---

**SVC.022**

レベル: P\_TRACE

短構文: SVC.022 Trace ATM SVC frame.

長構文: SVC.022 Trace ATM SVC frame.

説明: ATM SVC フレーム・パケットのトレース

---

**SVC.023**

レベル: UE-ERROR

短構文: SVC.023 Timer *LOGATM\_STRING* expired

長構文: SVC.023 Timer *LOGATM\_STRING* expired

説明: タイマーが満了しました。

---

**SVC.024**

レベル: C-INFO

短構文: SVC.024 Received signalling message,  
*LOGATM\_STRING* type= *D2*

長構文: SVC.024 Received signalling message,  
*LOGATM\_STRING* type = *D2*

説明: シグナル・メッセージを受信しました。

---

**SVC.025**

レベル: C-INFO

短構文: SVC.025 *LOGATM\_STRING* *D2 D3 D4 D5*

長構文: SVC.025 *LOGATM\_STRING* *D2 D3 D4 D5*

説明: ストリング引き数を含む汎用情報ログ

---

**SVC.026**

レベル: UE-ERROR

短構文: SVC.026 *LOGATM\_STRING*, *D2*, *D3*, *D4*

長構文: SVC.026 *LOGATM\_STRING*, *D2*, *D3*, *D4*

説明: 引き数が 3 つの総称外部エラー・ログ

---

**SVC.027**

レベル: UI-ERROR

短構文: SVC.027 *LOGATM\_STRING*

長構文: SVC.027 *LOGATM\_STRING*

説明: コール切断エラー

---





---

## 第12章 ATM シグナル用 ATM アダプテーション・レイヤー (SAAL)

この章では、ATM シグナル用 ATM アダプテーション・レイヤー (SAAL) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### SAAL.001

レベル: C-INFO

短構文: SAAL.001 nt *n\_net* Function *LOGATM\_STRING* entered

長構文: SAAL.001 Net *n\_net* Function *LOGATM\_STRING* entered

説明: SAAL 機能を開始しました。

---

### SAAL.002

レベル: C-INFO

短構文: SAAL.002 nt *n\_net* Function *LOGATM\_STRING* extd

長構文: SAAL.002 Net *n\_net* Function *LOGATM\_STRING* exited

説明: SAAL 機能を終了しました。

---

### SAAL.003

レベル: UI-ERROR

短構文: SAAL.003 nt *n\_net* *LOGATM\_STRING*

長構文: SAAL.003 Net *n\_net* *LOGATM\_STRING*

説明: SAAL の内部エラー

---

### SAAL.004

レベル: C-INFO

短構文: SAAL.004 nt *n\_net* SSCF state change, *LOGATM\_STRING* D2

長構文: SAAL.004 Net *n\_net* SSCF state change, *LOGATM\_STRING* D2

説明: SSCF の状態変更

---

### SAAL.005

レベル: C-INFO

短構文: SAAL.005 nt *n\_net* SSCF *LOGATM\_STRING* D2

長構文: SAAL.005 Net *n\_net* SSCF *LOGATM\_STRING* D2

説明: 引き数が 1 つの SSCF の状態変更

---

### SAAL.006

レベル: C-INFO

短構文: SAAL.006 nt *n\_net* *LOGATM\_STRING*

長構文: SAAL.006 Net *n\_net* *LOGATM\_STRING*

説明: SSCF によるパケットの送信

---

### SAAL.007

レベル: C-INFO

短構文: SAAL.007 nt *n\_net* *LOGATM\_STRING*

長構文: SAAL.007 Net *n\_net* *LOGATM\_STRING*

説明: SSCF によるパケットの受信

---

### SAAL.008

レベル: UI-ERROR

短構文: SAAL.008 nt *n\_net* *LOGATM\_STRING*

長構文: SAAL.008 Net *n\_net* *LOGATM\_STRING*

説明: SSCF の内部エラー

---

### SAAL.009

レベル: UI-ERROR

短構文: SAAL.009 nt *n\_net* SSCF state change *LOGATM\_STRING* D2

長構文: SAAL.009 Net *n\_net* SSCF state change *LOGATM\_STRING* D2

説明: SSCF の異常な状態変更

---

### SAAL.010

レベル: C-INFO

短構文: SAAL.010 nt *n\_net* SSCOP state change, *LOGATM\_STRING* D2

長構文: SAAL.010 Net *n\_net* SSCOP state change,  
*LOGATM\_STRING D2*

説明: SSCOP の状態変更

---

#### SAAL.011

レベル: UE-ERROR

短構文: SAAL.011 nt *n\_net LOGATM\_STRING*

長構文: SAAL.011 Net *n\_net LOGATM\_STRING*

説明: SSCF の外部エラー・ログ

---

#### SAAL.012

レベル: UE-ERROR

短構文: SAAL.012 nt *n\_net LOGATM\_STRING D2*

長構文: SAAL.012 Net *n\_net LOGATM\_STRING D2*

説明: 引き数が 1 つの SSCF の外部エラー・ログ

---

#### SAAL.013

レベル: UI-ERROR

短構文: SAAL.013 nt *n\_net* SSCOP state change  
*LOGATM\_STRING D2*

長構文: SAAL.013 Net *n\_net* SSCOP state change  
*LOGATM\_STRING D2*

説明: 引き数が 1 つの SSCOP の異常な状態変更

---

#### SAAL.014

レベル: UI-ERROR

短構文: SAAL.014 nt *n\_net LOGATM\_STRING*

長構文: SAAL.014 Net *n\_net LOGATM\_STRING*

説明: SSCOP の内部エラー

---

#### SAAL.015

レベル: UI-ERROR

短構文: SAAL.015 nt *n\_net* SSCOP state change  
*LOGATM\_STRING*

長構文: SAAL.015 Net *n\_net* SSCOP state change  
*LOGATM\_STRING*

説明: SSCOP の異常な状態変更

---

#### SAAL.016

レベル: C-INFO

短構文: SAAL.016 nt *n\_net* rcv *LOGATM\_STRING*,  
*seq= seq,len= len*

長構文: SAAL.016 Net *n\_net* receive  
*LOGATM\_STRING*, sequence number = *seq*, length= *len*

説明: SSCOP による順序保存データの受信

---

#### SAAL.017

レベル: UE-ERROR

短構文: SAAL.017 nt *n\_net LOGATM\_STRING*

長構文: SAAL.017 Net *n\_net LOGATM\_STRING*

説明: SSCOP の外部エラー

---

#### SAAL.018

レベル: UE-ERROR

短構文: SAAL.018 nt *n\_net LOGATM\_STRING D2*

長構文: SAAL.018 Net *n\_net LOGATM\_STRING D2*

説明: 引き数が 1 つの SSCOP 外部エラー

---

#### SAAL.019

レベル: C-INFO

短構文: SAAL.019 nt *n\_net LOGATM\_STRING*,  
*sequence, size*

長構文: SAAL.019 Net *n\_net LOGATM\_STRING*,  
*sequence, size*

説明: SSCOP によるシーケンス番号およびサイズを指定したパケットの送信

---

#### SAAL.020

レベル: C-INFO

短構文: SAAL.020 nt *n\_net* SSCOP *LOGATM\_STRING*  
timeout

長構文: SAAL.020 Net *n\_net* SSCOP  
*LOGATM\_STRING* timeout

説明: SSCOP のタイムアウト

---

#### SAAL.021

レベル: UE-ERROR

短構文: SAAL.021 nt *n\_net* SSCOP rcv err,  
*LOGATM\_STRING*

長構文: SAAL.021 Net *n\_net* SSCOP rcv err,  
*LOGATM\_STRING*

説明: SSCOP によるエラーの受信

---

#### SAAL.022

レベル: U-INFO

短構文: SAAL.022 nt *n\_net* xmit *LOGATM\_STRING*:  
*D2 D3 D4 D5*, len= *len*

長構文: SAAL.022 Net *n\_net* transmit  
*LOGATM\_STRING*: *D2 D3 D4 D5*, length= *len*

説明: SSCOP によるデータの送信

---

#### SAAL.023

レベル: U-INFO

短構文: SAAL.023 nt *n\_net* rcv *LOGATM\_STRING*:  
*D2 D3 D4 D5*, len= *len*

長構文: SAAL.023 Net *n\_net* receive  
*LOGATM\_STRING*: *D2 D3 D4 D5*, length= *len*

説明: SSCOP によるデータの受信

---

#### SAAL.024

レベル: P\_TRACE

短構文: SAAL.024 Trace SAAL packet

長構文: SAAL.024 Trace SAAL packet

説明: トレース SAAL パケット

---

#### SAAL.025

レベル: C-INFO

短構文: SAAL.025 nt *n\_net* xmit *LOGATM\_STRING*:  
*D2 D3 D4 D5*, len= *len*

長構文: SAAL.025 Net *n\_net* transmit  
*LOGATM\_STRING*: *D2 D3 D4 D5*, length= *len*

説明: SSCOP によるポーリングまたは状況の送信

---

#### SAAL.026

レベル: C-INFO

短構文: SAAL.026 nt *n\_net* rcv *LOGATM\_STRING*:  
*D2 D3 D4 D5*, len= *len*

長構文: SAAL.026 Net *n\_net* receive  
*LOGATM\_STRING*: *D2 D3 D4 D5*, length= *len*

説明: SSCOP によるポーリングまたは状況の受信



---

## 第13章 自動導入機能 (AI)

この章では、自動導入機能 (AI) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### AI.001

レベル: ALWAYS

短構文: AI.001 Changed params on ifc *ifNum* (*subsystemName*), from *oldParams* to *newParams*.

長構文: AI.001 Changed parameters on interface *ifNum* (*subsystemName*) from *oldParams* to *newParams*

説明: EasyStart 構成のダウンロードの試み中に、サブシステム・パラメーターが変更されました。



---

## 第14章 帯域幅予約システム (BRS)

この章では、帯域幅予約システム (BRS) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### BRS.001

レベル: C\_INFO

短構文: BRS.001 pkt *iob* prot/filt *msg prot/filt type size* size queued in class *class name* prio *priority* nt *interface number* int *network ID*

長構文: BRS.001 packet with Id *iob* for protocol/filter *msg prot/filt type size size* placed in class *class name* at priority *priority* network *interface number* int *network ID*

説明: パケットは、プロトコル/フィルターに基づいて優先順位クラスに置かれます。

---

### BRS.002

レベル: C\_INFO

短構文: BRS.002 pkt of prot *msg prot type size size* is disc'ed by overflow nt *interface number* int *network ID*

長構文: BRS.002 a packet of protocol *msg prot type size size* is discarded because of queue overflow network *interface number* int *network ID*

説明: すべてのパケットのオーバーフローを通知します。

---

### BRS.003

レベル: C\_INFO

短構文: BRS.003 zero length pkt of prot *msg prot type* is disc'ed nt *interface number* int *network ID*

長構文: BRS.003 a zero length packet of protocol *msg prot type* is discarded network *interface number* int *network ID*

説明: 長さがゼロのパケットがダンプされるときメッセージ

---

### BRS.004

レベル: C\_INFO

短構文: BRS.004 pkt *iob* prot/filt *protocol or filter name size size* xmit from class *class name* nt *interface number* int *network ID*

長構文: BRS.004 packet with Id *iob* for prot or filter

*protocol or filter name size size* is transmitted from class *class name* network *interface number* int *network ID*

説明: パケットは、転送のためにハンドラー構造からドライバー待ち行列に入れられます。

---

### BRS.005

レベル: C\_INFO

短構文: BRS.005 Lost prior *other items affected* mappings of *prot or filt* for nt *interface number* int *network ID*

長構文: BRS.005 Lost priority *other items affected* mappings of *prot or filt* for network *interface number* int *network ID*

説明: プロトコルまたはフィルターのマッピング用の構成レコードが、SRAM 内にありません。デフォルトのマッピングが想定されました。

原因: プロトコルまたはフィルターのマッピング用の元の構成レコードが、このレベルのソフトウェアではサポートされていないか、構成記憶域が破壊されているかのいずれかです。

処置: マッピングを再構成するか、あるいは元の構成レコードがソフトウェアの現在のレベルではサポートされていない場合には、構成ツールのアップグレード機能を使用します。構成記憶域が破壊されている場合は、サービス技術員に連絡してください。

---

### BRS.006

レベル: C\_INFO

短構文: BRS.006 No memory to create BRS structure. BRS not enabled on nt *other items affected* int *interface number*

長構文: BRS.006 No memory to create BRS structure. BRS not enabled on network *other items affected* int *interface number*

説明: BRS は、BRS 操作に必要な記憶域の割り振りを試みているときに、記憶域割り振りエラーを検出しました。

原因: 記憶域の不足

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

**BRS.008**

レベル: C\_INFO

短構文: BRS.008 pkt *iob* prot/filt *protocol or filter name* size size intercepted by Frame Relay from class *class name* nt interface number int network ID

長構文: BRS.008 packet with Id *iob* for prot or filter *protocol or filter name* size size intercepted by FR from class *class name* network interface number int network ID

説明: パケットがフレーム・リレーにより断片化のために代行受信されました。

---

**BRS.009**

レベル: C\_INFO

短構文: BRS.009 Frag *fragment of total frags* for prot/filt *protocol/filter name* size size xmit from class *class name* nt interface number int network ID

長構文: BRS.009 Fragment *fragment of total frags* for prot or filter *protocol/filter name* size size is transmitted from class *class name* network interface number int network ID

説明: フレーム・リレーによる断片が、転送のためにハンドラー構造からドライバー待ち行列に入れられません。

---

**BRS.010**

レベル: C\_INFO

短構文: BRS.010 Interleave higher prio single seg pkt for prot/filt *prot/filt type* size size from class *class name* network interface number int network id

長構文: BRS.010 Fragment sequence interrupted to send higher priority single segment packet for prot/filt *prot/filt type* size size from class *class name* network interface number int network id

説明: 同じクラスからの高い優先順位の単一セグメントのパケットを現行の断片化シーケンスとして割り込ませません。

---

**BRS.011**

レベル: UE\_ERROR

短構文: BRS.011 BRS disabled for FH circuit *name* DLCI number nt network ID

長構文: BRS.011 BRS can not be enabled for frame relay frame handler circuits. The BRS definition for circuit *name* DLCI number has been ignored, nt network ID

説明: BRS 定義が無効で、無視されます。

---

**BRS.012**

レベル: C\_INFO

短構文: BRS.012 Whole pkt size *PKT size* Frag *fragment of total frags* size size xmit from BRS to DD n\_opq.nq= *n\_opq.nq* nt interface number int network ID

長構文: BRS.012 Whole Pkt Size *PKT size* Fragment *fragment of total frags* size size xmit from BRS to DD n\_opq.nq= *n\_opq.nq* network interface number int network ID

説明: フレーム・リレーによる断片が、転送のためにハンドラー構造からドライバー待ち行列に入れられません。

---

**BRS.013**

レベル: C\_INFO

短構文: BRS.013 Frag *fragment of total frags* size size xmit from BRS to DD. n\_opq.nq= *n\_opq.nq* nt interface number int network ID

長構文: BRS.013 Fragment *fragment of total frags* size size xmit from BRS to DD. n\_opq.nq= *n\_opq.nq* network interface number int network ID

説明: フレーム・リレーによる断片が、転送のためにハンドラー構造からドライバー待ち行列に入れられません。



---

## 第15章 Banyan VINES (VN)

この章では、Banyan VINES (VN) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### VN.001

レベル: P-TRACE

短構文: VN.001 *source\_vines\_network:*  
*source\_vines\_subnet -> destination\_vines\_network:*  
*destination\_vines\_subnet*

長構文: VN.001 Accepting packet from  
*source\_vines\_network: source\_vines\_subnet* for  
*destination\_vines\_network: destination\_vines\_subnet*

説明: このメッセージは、転送側を正常に通る各 VINES パケットについて生成されます。

---

### VN.002

レベル: CI-ERROR

短構文: VN.002 drp pkt *source\_vines\_network:*  
*source\_vines\_subnet -> destination\_vines\_network:*  
*destination\_vines\_subnet rsn reason\_code, nt Network ID*

長構文: VN.002 Dropping packet from  
*source\_vines\_network: source\_vines\_subnet* to  
*destination\_vines\_network: destination\_vines\_subnet* for  
reason *reason\_code*, net *Network ID*

説明: このメッセージは、パケットがネットワークでの伝送を受け入れられない場合に生成されます。理由コードに、パケットが廃棄された理由が示されます。

---

### VN.003

レベル: C-TRACE

短構文: VN.003 no rte for pkt *source\_vines\_network:*  
*source\_vines\_subnet -> destination\_vines\_network:*  
*destination\_vines\_subnet*

長構文: VN.003 No route for packet from  
*source\_vines\_network: source\_vines\_subnet* to  
*destination\_vines\_network: destination\_vines\_subnet*

説明: このメッセージは、データ・パケットについての経路も見付からない場合に生成されます。

---

### VN.004

レベル: U-TRACE

短構文: VN.004 cant alloc for bcst frm

*source\_vines\_network: source\_vines\_subnet*

長構文: VN.004 Cannot allocate buffer to broadcast packet from *source\_vines\_network: source\_vines\_subnet*

説明: このメッセージが生成されるのは、ルーターが同報通信パケットを受信したが、バッファ不足のため、そのすべてのインターフェース外にそのパケットを同報通信することができない場合です。

---

### VN.005

レベル: UE-ERROR

短構文: VN.005 pkt ln *packet\_length* too small  
*source\_vines\_network: source\_vines\_subnet ->*  
*destination\_vines\_network: destination\_vines\_subnet nt*  
*Network ID*

長構文: VN.005 Packet length ( *packet\_length* ) under minimum VINES packet size from *source\_vines\_network: source\_vines\_subnet* to *destination\_vines\_network: destination\_vines\_subnet* net *Network ID*

説明: 最小 VINES 長よりも短い長さのパケットを受信しました。

原因: 発信元ノードに問題があります。

処置: 問題が引き続き発生する場合は、発信元ノードを検査してください。

---

### VN.006

レベル: UE-ERROR

短構文: VN.006 pkt ln *packet\_length* too large  
*source\_vines\_network: source\_vines\_subnet ->*  
*destination\_vines\_network: destination\_vines\_subnet nt*  
*Network ID*

長構文: VN.006 Packet length ( *packet\_length* ) over maximum VINES packet size from *source\_vines\_network: source\_vines\_subnet* to *destination\_vines\_network: destination\_vines\_subnet* net *Network ID*

説明: 最大 VINES 長よりも長いパケットを受信しました。

原因: 発信元ノードに問題があります。

処置: 問題が引き続き発生する場合は、発信元ノードを検査してください。

---

#### VN.007

レベル: UE-ERROR

短構文: VN.007 pkt trunc *specified\_length* pkt ln *true\_length* *source\_vines\_network: source\_vines\_subnet -> destination\_vines\_network: destination\_vines\_subnet* nt *Network ID*

長構文: VN.007 Packet truncated from *specified\_length* to *true\_length* bytes from *source\_vines\_network: source\_vines\_subnet* for *destination\_vines\_network: destination\_vines\_subnet* net *Network ID*

説明: このメッセージは、ヘッダーに指定されているパケット長が、パケット・バッファ長より大きい場合に生成されます。

原因: 転送時のパケットの破壊

処置: 問題が引き続き起こる場合は、ネットワークおよびルーターを検査してください。

原因: リモート・ノードでのプログラム・エラー

---

#### VN.008

レベル: CE-ERROR

短構文: VN.008 hop cnt zero *source\_vines\_network: source\_vines\_subnet -> destination\_vines\_network: destination\_vines\_subnet*

長構文: VN.008 Hop count expired on packet from *source\_vines\_network: source\_vines\_subnet* for *destination\_vines\_network: destination\_vines\_subnet*

説明: このメッセージが生成されるのは、ホップ・カウントが限度に達したため、パケットが廃棄された場合です。

---

#### VN.009

レベル: C-TRACE

短構文: VN.009 snd ICP pkt for unrch dest *source\_vines\_network: source\_vines\_subnet -> destination\_vines\_network: destination\_vines\_subnet*

長構文: VN.009 Sending ICP unreachable packet to source *source\_vines\_network: source\_vines\_subnet* for destination *destination\_vines\_network: destination\_vines\_subnet*

説明: このメッセージが生成されるのは、ICP パケットがあて先到達不可能でパケットの発信元に戻された場合です。

---

#### VN.010

レベル: UE-ERROR

短構文: VN.010 bd hdr cks frm *source\_vines\_network: source\_vines\_subnet*, expct *expected\_checksum*, gt *actual\_checksum*, nt *Network ID*

長構文: VN.010 Bad header checksum in packet from *source\_vines\_network: source\_vines\_subnet*, expected *expected\_checksum*, got *actual\_checksum*, nt *Network ID*

説明: このメッセージが生成されるのは、ローカル・ルーターをあて先とするパケットで、チェックサムが無効の場合です。

原因: おそらく、パケットが損傷しています。別のノードが、正しくないヘッダーを作成している可能性があります。

処置: 問題が引き続き起こる場合は、回線トレースを調べて、パケットが損傷する箇所を判別してください。

---

#### VN.011

レベル: U-INFO

短構文: VN.011 q ovrf *source\_vines\_network: source\_vines\_subnet -> destination\_vines\_network: destination\_vines\_subnet* net *network ID*

長構文: VN.011 Queue overflow on packet from *source\_vines\_network: source\_vines\_subnet* for *destination\_vines\_network: destination\_vines\_subnet* from net *network ID*

説明: このメッセージが生成されるのは、待ち行列のオーバーフローのため、転送機能がパケットを廃棄する必要がある場合です。

---

#### VN.012

レベル: UI-ERROR

短構文: VN.012 cant alloc for ICP to *destination\_vines\_network: destination\_vines\_subnet*

長構文: VN.012 Cannot allocate a buffer for an ICP message to node *destination\_vines\_network: destination\_vines\_subnet*

説明: このメッセージが生成されるのは、バッファがないため、ルーターが ICP メッセージを送信できない場合です。

---

**VN.013**

レベル: C-INFO

短構文: VN.013 rcv echo frm  
*neighbor\_hardware\_address* nt *network ID*

長構文: VN.013 Received echo packet from  
*neighbor\_hardware\_address* net *network ID*

説明: このメッセージが生成されるのは、ルーターが VINES IP エコー・パケットを受信した場合です。

---

**VN.014**

レベル: CI-ERROR

短構文: VN.014 cant snd echo rpl to  
*neighbor\_hardware\_address* rsn *reason\_code* nt *network ID*

長構文: VN.014 Cannot send echo packet to  
*neighbor\_hardware\_address* for reason *reason\_code* net  
*network ID*

説明: このメッセージが生成されるのは、ルーターが VINES IP エコー・パケットを受信したが、それに応答できない場合です。理由コードは、ルーターが応答を送信できなかった理由を指定します。

---

**VN.015**

レベル: P-TRACE

短構文: VN.015 dsc pkt *source\_vines\_network*:  
*source\_vines\_subnet* -> *destination\_vines\_network*:  
*destination\_vines\_subnet* nt *Network ID* no VINES

長構文: VN.015 Discarded packet from  
*source\_vines\_network*: *source\_vines\_subnet* for  
*destination\_vines\_network*: *destination\_vines\_subnet* net  
*Network ID*, no VINES forwarder

説明: VINES に関しては使用可能にされていないインターフェース上で、パケットが受信されるたびに、偽 VINES 転送機能によってこのメッセージが生成されません。

---

**VN.016**

レベル: UE-ERROR

短構文: VN.016 bd brdc hdr cks frm  
*source\_vines\_network*: *source\_vines\_subnet*, expct  
*expected\_checksum*, gt *actual\_checksum*, nt *Network ID*

長構文: VN.016 Bad broadcast header checksum in  
packet from *source\_vines\_network*: *source\_vines\_subnet*,  
expected *expected\_checksum*, got *actual\_checksum*, net  
*Network ID*

説明: このメッセージが生成されるのは、VINES リンク・レベル同報通信の一部をなすパケットがルーターに到着したが、チェックサムが無効の場合です。

原因: おそらく、パケットが損傷しています。別のノードが、正しくないヘッダーを作成している可能性があります。

処置: 問題が引き続き起こる場合は、回線トレースを調べて、パケットが損傷する箇所を判別してください。

---

**VN.017**

レベル: U-INFO

短構文: VN.017 rcv pkt frm *source\_vines\_network*:  
*source\_vines\_subnet* prot *protocol* no srvr nt *Network ID*

長構文: VN.017 Packet from *source\_vines\_network*:  
*source\_vines\_subnet*, protocol *protocol*; no server net  
*Network ID*

説明: このメッセージは、不明のプロトコルのパケットが到着した場合に生成されます。パケットのあて先はローカル・ルーターになっています。

---

**VN.018**

レベル: C-TRACE

短構文: VN.018 brd pkt *source\_vines\_network*:  
*source\_vines\_subnet* prot *protocol* no srvr nt *Network ID*

長構文: VN.018 Broadcast packet from  
*source\_vines\_network*: *source\_vines\_subnet*, protocol  
*protocol*; no server net *Network ID*

説明: このメッセージが生成されるのは、VINES IP 同報通信パケットが到着したが、プロトコルが確認不能の場合です。

---

**VN.019**

レベル: CE-ERROR

短構文: VN.019 rcv unk nonbrd pkt typ *packet\_type*  
trprt ctrl *transport\_control* info *information* for lcl rtr frm  
*source\_vines\_network*: *source\_vines\_subnet* nt *Network ID*

長構文: VN.019 Received unknown non-broadcast packet  
of type *packet\_type* transport control *transport\_control*  
with info *information* for the local router from node  
*source\_vines\_network*: *source\_vines\_subnet* net *Network ID*

説明: このメッセージは、ローカル・ルーターをあて先とするデータ・パケットを受信した場合に生成されます。これは発生するはずのないことです。ローカル・ルーターでは、レベル 3 より高い VINES プロトコルは、いずれもサポートしないからです。転送制御フィー

ルドは VINES IP ヘッダーからのものです。パケット・タイプが IPC (タイプ 1) である場合、情報フィールドはあて先ポート番号を含み、IPC エラー・メッセージが発信元ノードに戻されます。それ以外の場合、情報フィールドは無意味です。

---

#### VN.020

レベル: C-INFO

短構文: VN.020 rcv unk brd pkt typ *packet\_type* trprt ctrl *transport\_control* info *information* frm *source\_vines\_network*: *source\_vines\_subnet* nt *Network ID*

長構文: VN.020 Received unknown broadcast data packet type *packet\_type* transport control *transport\_control* with info *information* from node *source\_vines\_network*: *source\_vines\_subnet* net *Network ID*

説明: このメッセージが生成されるのは、VINES IP 同報通信データ・パケットをローカル・ルーターが受信した場合です。パケットは廃棄されます。転送制御フィールドは VINES IP ヘッダーからのものです。パケット・タイプが IPC (タイプ 1) である場合、情報フィールドはあて先ポート番号を含み、IPC エラー・メッセージが発信元ノードに戻されます。それ以外の場合、情報フィールドは無意味です。

---

#### VN.021

レベル: C-INFO

短構文: VN.021 rcv netrpc call msg frm *source\_vines\_network*: *source\_vines\_subnet* nt *Network ID*, no such nbr

長構文: VN.021 Received netrpc call message from node *source\_vines\_network*: *source\_vines\_subnet* net *Network ID*, no such neighbor

説明: このメッセージが生成されるのは、コール・メッセージが含まれている VINES NetRPC パケットを、ローカル・ルーターが受信したが、発信元ノードが情報を要求している近隣のレコードが、ローカル・ルーターにない場合です。NetRPC 打ち切りメッセージは発信元ノードに戻されます。

---

#### VN.022

レベル: C-INFO

短構文: VN.022 rcv netrpc call msg frm *source\_vines\_network*: *source\_vines\_subnet* port *port* nt *Network ID*, nbr exists

長構文: VN.022 Received netrpc call message from node *source\_vines\_network*: *source\_vines\_subnet* port *port* net *Network ID*, neighbor exists

説明: このメッセージが生成されるのは、呼び出しメッセージが含まれている VINES NetRPC パケットを、ローカル・ルーターが示されているポート上で受信した場合です。NetRPC 戻りメッセージは発信元ノードに戻されます。

---

#### VN.023

レベル: U-INFO

短構文: VN.023 rcv rte pkt with hop cnt gr than zero frm *source\_vines\_network*: *source\_vines\_subnet* nt *Network ID*

長構文: VN.023 Received a routing packet with a hop count greater than zero from *source\_vines\_network*: *source\_vines\_subnet* net *Network ID*

説明: このメッセージが生成されるのは、ルーティング更新パケットまたはルーティング応答パケットを受信したが、ホップ・カウントがゼロより大きい場合です。パケットは廃棄されます。

---

#### VN.024

レベル: C-TRACE

短構文: VN.024 snd rte rsp to *destination\_vines\_network*: *destination\_vines\_subnet*

長構文: VN.024 Sending routing response packet to node *destination\_vines\_network*: *destination\_vines\_subnet*

説明: このメッセージが生成されるのは、このルーターがルーティング応答パケットの送信に取りかかった場合です。

---

#### VN.025

レベル: UI-ERROR

短構文: VN.025 cant alloc for rte rsp to nt *destination\_vines\_network*

長構文: VN.025 Cannot allocate a buffer to send a routing response to network *destination\_vines\_network*

説明: このメッセージが生成されるのは、ルーターがルーティング応答パケットの送信を試みたが、使用可能なバッファがないため、その送信ができない場合です。

---

#### VN.026

レベル: CE-ERROR

短構文: VN.026 rcv rte pkt on uncng int frm *source\_vines\_network*: *source\_vines\_subnet* nt *Network ID*

長構文: VN.026 Received a routing packet on interface

not configured for VINES from *source\_vines\_network*:  
*source\_vines\_subnet* net *Network ID*

**説明:** このメッセージが生成されるのは、VINES が稼働できるように構成されていないインターフェース上で、ルーティング更新またはルーティング応答を受信した場合です。

---

#### VN.027

**レベル:** P-TRACE

**短構文:** VN.027 snd rte pkt typ *routing\_packet\_type*

**長構文:** VN.027 Sending a routing packet of type *routing\_packet\_type*

**説明:** このメッセージが生成されるのは、ルーターがルーティング・パケットを送信中の場合です。タイプ 0 は、更新に含まれるのが、最近変更されたルーティング・エントリだけであることを意味します。タイプ 1 は、全ルーティング更新であることを意味します。タイプ 2 は、ルーティング要求パケット (X.25 回線でしか送信されない) であることを意味します。タイプ 3 は、更新に含まれるのが、X.25 回線のみを対象とする変更であることを意味します。

---

#### VN.028

**レベル:** U-TRACE

**短構文:** VN.028 rcv rte rsp frm  
*destination\_vines\_network*: *destination\_vines\_subnet*

**長構文:** VN.028 Received routing response packet from  
*destination\_vines\_network*: *destination\_vines\_subnet*

**説明:** このメッセージが生成されるのは、ルーティング応答パケットを受信した場合です。パケットは受け入れられ、処理されます。

---

#### VN.029

**レベル:** P-TRACE

**短構文:** VN.029 rcv rte upd frm  
*destination\_vines\_network*: *destination\_vines\_subnet* nt  
*Network ID*

**長構文:** VN.029 Received routing update packet from  
*destination\_vines\_network*: *destination\_vines\_subnet* net  
*Network ID*

**説明:** このメッセージが生成されるのは、ルーティング更新パケットを受信した場合です。

---

#### VN.030

**レベル:** U-INFO

**短構文:** VN.030 cant alloc nbr tbl ent for  
*neighbor\_vines\_network*: *neighbor\_vines\_subnet*

**長構文:** VN.030 Cannot allocate a neighbor table entry for neighbor  
*neighbor\_vines\_network*:  
*neighbor\_vines\_subnet*

**説明:** このメッセージが生成されるのは、フリー・リスト上に近隣テーブル・エントリがなくて、受信したばかりのルーティング更新に関する情報を保持できない場合です。その情報が含まれているルーティング更新は廃棄されます。

---

#### VN.031

**レベル:** U-INFO

**短構文:** VN.031 cant alloc nbr cache ent for  
*neighbor\_vines\_network*: *neighbor\_vines\_subnet*

**長構文:** VN.031 Cannot allocate a neighbor cache entry for neighbor  
*neighbor\_vines\_network*:  
*neighbor\_vines\_subnet*

**説明:** このメッセージが生成されるのは、フリー・リスト上に近隣キャッシュ・エントリがなくて、ルーティング更新を生成したサービスの隣接クライアント・ノードに関する情報を保持できない場合です。その情報が含まれているルーティング更新は廃棄されます。

---

#### VN.032

**レベル:** U-INFO

**短構文:** VN.032 add eql cst rte to nbr  
*neighbor\_vines\_network*: *neighbor\_vines\_subnet* nt *Network ID*

**長構文:** VN.032 Adding an equal cost route to neighbor  
*neighbor\_vines\_network*: *neighbor\_vines\_subnet* net  
*Network ID*

**説明:** このメッセージが生成されるのは、同じ近隣ノードへの追加の等コスト経路が追加された場合です。この時点で、同じ近隣への等コスト経路が少なくとも 2 つあることとなります。

---

#### VN.033

**レベル:** U-INFO

**短構文:** VN.033 cant alloc net tbl ent for  
*destination\_vines\_network*

**長構文:** VN.033 Cannot allocate a network table entry network  
*destination\_vines\_network*



**説明:** このメッセージが生成されるのは、フリー・リスト上にネットワーク・テーブル・エントリがなく、受信したばかりのルーティング更新に関する情報を保持できない場合です。その情報が含まれているルーティング更新は廃棄されます。

---

#### VN.034

**レベル:** U-INFO

**短構文:** VN.034 add eql cst rte for node *vines\_network* nt *Network ID*

**長構文:** VN.034 Adding an equal cost route for node *vines\_network* net *Network ID*

**説明:** このメッセージが生成されるのは、同じネットワーク・ノードへの追加の等コスト経路が追加された場合です。この時点で、同じネットワークへの等コスト経路が少なくとも 2 つあることになります。

---

#### VN.035

**レベル:** U-INFO

**短構文:** VN.035 updt nt *destination\_vines\_network* mtrc *metric* via same *next\_hop\_vines\_network*: *next\_hop\_vines\_subnet*

**長構文:** VN.035 update route to net *destination\_vines\_network* at metric *metric* via same neighbor *next\_hop\_vines\_network*: *next\_hop\_vines\_subnet*

**説明:** このメッセージが生成されるのは、示されているあて先への新しい (より良い) 経路がルーティング更新を介して確認され、インストールされた場合です。

---

#### VN.036

**レベル:** U-INFO

**短構文:** VN.036 nt *destination\_vines\_network* unrch inc met

**長構文:** VN.036 Marking network *destination\_vines\_network* unreachable due to increased metric

**説明:** このメッセージが生成されるのは、あて先ネットワークへのメトリックの増加を知らせる RTP パケットを受信した場合です。あて先ネットワークは到達不能としてマークされます。

---

#### VN.037

**レベル:** C-TRACE

**短構文:** VN.037 rcv rte req frm *destination\_vines\_network*: *destination\_vines\_subnet*

**長構文:** VN.037 Received routing request packet from *destination\_vines\_network*: *destination\_vines\_subnet*

**説明:** このメッセージが生成されるのは、ルーティング要求パケットを受信した場合です。

---

#### VN.038

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** VN.038 rcv rte red frm *destination\_vines\_network*: *destination\_vines\_subnet*

**長構文:** VN.038 Received routing redirect packet from *destination\_vines\_network*: *destination\_vines\_subnet*

**説明:** このメッセージが生成されるのは、ルーティング転送パケットを受信した場合です。パケットは無視されます。

---

#### VN.039

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** VN.039 rcv unkn rte pkt frm *destination\_vines\_network*: *destination\_vines\_subnet* nt *Network ID*

**長構文:** VN.039 Received unknown sub-type of routing packet from *destination\_vines\_network*: *destination\_vines\_subnet* net *Network ID*

**説明:** このメッセージが生成されるのは、ルーティング・パケットを受信したが、サブタイプが確認不能の場合です。

**原因:** リモート・ノードが混同されています。

**処置:** この問題が引き続き発生する場合は、リモート・ノードをデバッグしてください。

---

#### VN.040

**レベル:** C-INFO

**短構文:** VN.040 rmv nbr entry node *neighbor\_vines\_network*: *neighbor\_vines\_subnet*

**長構文:** VN.040 Removing neighbor entry for node *neighbor\_vines\_network*: *neighbor\_vines\_subnet*

**説明:** このメッセージが生成されるのは、ローカル・ルーターが近隣ノードからルーティング・パケットを受信しないまま、6 分間が経過した場合です。

---

#### VN.041

**レベル:** C-INFO

**短構文:** VN.041 rmv rtng entry node *destination\_vines\_network*: *destination\_vines\_subnet*

**長構文:** VN.041 Removing routing entry for node  
*destination\_vines\_network: destination\_vines\_subnet*

**説明:** このメッセージが生成されるのは、ローカル・ルーターがサービス・ノードに関するルーティング・パケットを受信しないまま、6 分間が経過した場合です。

---

#### VN.042

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** VN.042 cant alloc for rte upd

**長構文:** VN.042 Cannot allocate a buffer to send a routing update.

**説明:** このメッセージが生成されるのは、ルーターがルーティング更新パケットの送信を試みましたが、使用可能なバッファがないため、その送信ができない場合です。

---

#### VN.043

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** VN.043 cant alloc for redir  
*source\_vines\_network: source\_vines\_subnet ->*  
*destination\_vines\_network: destination\_vines\_subnet nt*  
*Network ID*

**長構文:** VN.043 Cannot allocate buffer for redirect packet for packet from *source\_vines\_network:*  
*source\_vines\_subnet* for *destination\_vines\_network:*  
*destination\_vines\_subnet* net *Network ID*

**説明:** このメッセージが生成されるのは、ルーターが転送パケットの送信を試行したが、使用可能なバッファがないため、その送信ができない場合です。

---

#### VN.044

**レベル:** C-INFO

**短構文:** VN.044 snd redir *source\_vines\_network:*  
*source\_vines\_subnet -> destination\_vines\_network:*  
*destination\_vines\_subnet* nt *Network ID*

**長構文:** VN.044 Sending redirect packet for packet from *source\_vines\_network: source\_vines\_subnet* for *destination\_vines\_network: destination\_vines\_subnet* net *Network ID*

**説明:** このメッセージが生成されるのは、このルーターが転送パケットを送信する場合です。

**原因:** 近隣ノードは、あて先に直接パケットを送信してきた場合に、このルーターにパケットを送信しました。

**処置:** これが繰り返し発生する場合は、近隣ノードを修正する必要があります。

---

#### VN.045

**レベル:** U-INFO

**短構文:** VN.045 rcv rte upd frm orphn  
*source\_vines\_network: source\_vines\_subnet* nt *Network ID*

**長構文:** VN.045 Received a routing update packet from orphan client node *source\_vines\_network:*  
*source\_vines\_subnet* net *Network ID*

**説明:** このメッセージが生成されるのは、対応するサービス・ノードが作動可能でない隣接クライアント・ノードから、ルーターがルーティング更新を受信した場合です。これが発生する可能性があるのは、対応するサービス・ノードが最近ダウンしたことがある場合です。

---

#### VN.046

**レベル:** U-TRACE

**短構文:** VN.046 cant alloc mem fr hdr fr rte upd frm clnt  
*source\_vines\_network: source\_vines\_subnet*

**長構文:** VN.046 Cannot allocate memory for link level header for routing update from Client  
*source\_vines\_network: source\_vines\_subnet*

**説明:** このメッセージが生成されるのは、ルーターが隣接クライアント・ノードからルーティング更新を受信したが、記憶域を割り振ることができなくて、そのルーティング・テーブル・エントリ用として、クライアント・ノードのリンク・レベル・ヘッダーを保持することができない場合です。

---

#### VN.047

**レベル:** U-TRACE

**短構文:** VN.047 cant alloc mem fr hdr fr rte upd frm srvr  
*source\_vines\_network: source\_vines\_subnet*

**長構文:** VN.047 Cannot allocate memory for link level header for routing update from Server  
*source\_vines\_network: source\_vines\_subnet*

**説明:** このメッセージが生成されるのは、ルーターが隣接サーバー・ノードからルーティング更新を受信したが、記憶域を割り振ることができなくて、そのルーティング・テーブル・エントリ用として、サーバー・ノードのリンク・レベル・ヘッダーを保持することができない場合です。

---

#### VN.048

**レベル:** U-TRACE

**短構文:** VN.048 cant alloc mem fr hdr fr rte upd nw int frm srvr  
*source\_vines\_network: source\_vines\_subnet*

**長構文:** VN.048 Cannot allocate memory for link level header for routing update on a new interface from Server *source\_vines\_network: source\_vines\_subnet*

**説明:** このメッセージが生成されるのは、ルーターがすでにレコードをもっている隣接サーバー・ノードから、ルーティング更新を受信したが、新しいインターフェース上であり、記憶域を割り振ることができなくて、そのルーティング・テーブル・エントリー用として、サーバー・ノードのリンク・レベル・ヘッダーを保持できない場合です。

---

#### VN.049

**レベル:** C-TRACE

**短構文:** VN.049 no rte for redr pkt  
*source\_vines\_network: source\_vines\_subnet ->*  
*destination\_vines\_network: destination\_vines\_subnet*

**長構文:** VN.049 No route for redirect packet from *source\_vines\_network: source\_vines\_subnet* to *destination\_vines\_network: destination\_vines\_subnet*

**説明:** このメッセージが生成されるのは、ルーターが、RTP 転送パケットはパケットの発信元に送信される必要があると確認したが、パケットのあて先に関するルーティング・エントリーが見付からない場合です。

---

#### VN.050

**レベル:** C-INFO

**短構文:** VN.050 rmv int rec for nbr node  
*neighbor\_vines\_network: neighbor\_vines\_subnet* nt *Network ID*

**長構文:** VN.050 Removing interface record for neighbor node *neighbor\_vines\_network: neighbor\_vines\_subnet* net *Network ID*

**説明:** このメッセージが生成されるのは、ルーターが近隣ノードからのルーティング・パケットを特定のインターフェース上で受信しないまま、6 分間が経過した場合です。それでもなお、近隣ノードには、別のインターフェースを経由して直接到達可能な場合があります。

---

#### VN.051

**レベル:** C-INFO

**短構文:** VN.051 rmv int rec for dest node *vines\_network* nt *Network ID*

**長構文:** VN.051 Removing interface record for destination node *vines\_network* net *Network ID*

**説明:** このメッセージが生成されるのは、ローカル・ルーターが受信したルーティング・パケットに示されて

いるリモート・ノードへのコストが、ルーターがそのリモート・ノードに関してデータベース内にもっているコストよりも大きい場合です。ただし、リモート・ノードへの追加経路が少なくとも 1 つは残っています。

---

#### VN.052

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** VN.052 rcv rte pkt with unk X.25 addr *dte\_address* frm *source\_vines\_network: source\_vines\_subnet* nt *Network ID*

**長構文:** VN.052 Received a routing packet with an unknown X.25 address *dte\_address* from *source\_vines\_network: source\_vines\_subnet* net *Network ID*

**説明:** このメッセージが生成されるのは、ルーティング更新を X.25 ノードから受信したが、そのノードのアドレスがローカル・ルーター内に構成されていなかった場合です。パケットは廃棄されます。

---

#### VN.053

**レベル:** P-TRACE

**短構文:** VN.053 rcv ARP qr pkt frm *neighbor\_hardware\_address* nt *Network ID*

**長構文:** VN.053 Received an ARP query request packet from neighbor *neighbor\_hardware\_address* net *Network ID*

**説明:** このメッセージが生成されるのは、ARP 照会要求パケットを受信した場合です。

---

#### VN.054

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** VN.054 rcv ARP qr with IP addr frm *neighbor\_hardware\_address* nt *Network ID*

**長構文:** VN.054 Received an ARP query request packet with a non-null IP address from *neighbor\_hardware\_address* net *Network ID*

**説明:** このメッセージが生成されるのは、ARP 照会要求パケットを受信したが、非空 IP アドレスが含まれている場合です。それでもなお、パケットは正常として処理されます。

**原因:** 近隣ノードが混同されています。

**処置:** この問題が引き続き発生する場合は、近隣ノードをデバッグしてください。



---

**VN.055**

レベル: UI-ERROR

短構文: VN.055 no free nbr tbl entries for  
*neighbor\_hardware\_address*

長構文: VN.055 No free neighbor table entries for  
neighbor *neighbor\_hardware\_address*

説明: このメッセージが生成されるのは、ARP 照会要求を受信したが、近隣テーブル・エントリが使用不可で、近隣の VINES IP アドレスを解決できない場合です。

---

**VN.056**

レベル: UI-ERROR

短構文: VN.056 no free mem for hw addr for  
*neighbor\_hardware\_address*

長構文: VN.056 No free memory to hold hardware  
address for ARP packet from *neighbor\_hardware\_address*

説明: このメッセージが生成されるのは、ARP 照会要求パケットを受信したが、記憶域を割り振ることができなくて、照会要求を送信したノードのハードウェア・アドレスを保管できない場合です。

---

**VN.057**

レベル: UI-ERROR

短構文: VN.057 no free mem for RIF for  
*neighbor\_hardware\_address*

長構文: VN.057 No free memory to hold routing  
information field for ARP packet from  
*neighbor\_hardware\_address*

説明: このメッセージが生成されるのは、ARP 照会要求パケットを受信したが、記憶域を割り振ることができなくて、照会要求を送信したノードのルーティング情報フィールドを保管できない場合です。

---

**VN.058**

レベル: C-TRACE

短構文: VN.058 rcv ARP qr frm  
*neighbor\_hardware\_address* while rslving addr nt *Network ID*

長構文: VN.058 Received an ARP query request packet  
from *neighbor\_hardware\_address* while resolving address  
for another node net *Network ID*

説明: このメッセージが生成されるのは、ARP 照会要求パケットを 1 つのノードから受信し、ルーターが別

のノードからの VINES IP アドレスを解決している最中である場合です。

---

**VN.059**

レベル: P-TRACE

短構文: VN.059 rcv ARP ar pkt frm  
*neighbor\_hardware\_address* nt *Network ID*

長構文: VN.059 Received an ARP assignment request  
packet from neighbor *neighbor\_hardware\_address* net  
*Network ID*

説明: このメッセージが生成されるのは、ARP 割り当て要求パケットを受信した場合です。

---

**VN.060**

レベル: UE-ERROR

短構文: VN.060 rcv ARP ar with IP addr frm  
*neighbor\_hardware\_address* nt *Network ID*

長構文: VN.060 Received an ARP assignment request  
packet with a non-null IP address from  
*neighbor\_hardware\_address* net *Network ID*

説明: このメッセージが生成されるのは、ARP 割り当て要求パケットを受信したが、非空 IP アドレスが含まれている場合です。それでもなお、パケットは正常として処理されます。

原因: 近隣ノードが混同されています。

処置: この問題が引き続き発生する場合は、近隣ノードをデバッグしてください。

---

**VN.061**

レベル: UI-ERROR

短構文: VN.061 cant instl ARP entry frm  
*neighbor\_hardware\_address*

長構文: VN.061 Cannot install an ARP entry for  
address resolution from *neighbor\_hardware\_address*

説明: このメッセージが生成されるのは、ARP 割り当て要求パケットを受信したが、ルーターにメモリ資源がなくて、VINES IP アドレスを割り振ることができない場合です。

---

**VN.064**

レベル: UE-ERROR

短構文: VN.064 rcv bad ARP subtyp pkt frm  
*neighbor\_hardware\_address* nt *Network ID*

長構文: VN.064 Received an ARP packet with a bad

sub-type field from *neighbor\_hardware\_address* net  
*Network ID*

**説明:** このメッセージが生成されるのは、ARP パケットを受信したが、サブタイプ・フィールドがイリーガルな場合です。

**原因:** 近隣ノードが混同されています。

**処置:** この問題が引き続き発生する場合は、近隣ノードをデバッグしてください。

---

#### VN.066

**レベル:** P-TRACE

**短構文:** VN.066 snd ARP sr pkt to  
*neighbor\_hardware\_adrress* nt *Network ID*

**長構文:** VN.066 Sending an ARP service response packet to neighbor *neighbor\_hardware\_adrress* net  
*Network ID*

**説明:** このメッセージが生成されるのは、ARP 照会要求パケットに対する応答として、ARP サービス応答パケットが生成された場合です。

---

#### VN.067

**レベル:** P-TRACE

**短構文:** VN.067 snd ARP ar pkt to  
*neighbor\_hardware\_adrress* nt *Network ID*

**長構文:** VN.067 Sending an ARP assignment response packet to neighbor *neighbor\_hardware\_adrress* net  
*Network ID*

**説明:** このメッセージが生成されるのは、ARP 割り当て要求パケットに対する応答として、ARP 割り当て応答パケットが生成された場合です。

---

#### VN.068

**レベル:** C-INFO

**短構文:** VN.068 rcv ICP exc not frm  
*source\_vines\_network: source\_vines\_subnet*

**長構文:** VN.068 Received ICP exception notification packet from node *source\_vines\_network:*  
*source\_vines\_subnet*

**説明:** このメッセージが生成されるのは、ルーターが ICP 例外通知パケットを受信した場合です。

---

#### VN.069

**レベル:** CE-ERROR

**短構文:** VN.069 rcv ICP metr not frm  
*source\_vines\_network: source\_vines\_subnet*

**長構文:** VN.069 Received ICP metric notification packet from node *source\_vines\_network: source\_vines\_subnet*

**説明:** このメッセージが生成されるのは、ICP メトリック通知パケットを受信した場合です。ルーターがメトリック要求パケットを生成することは決していないため、これは決して起こるはずがないことです。

**原因:** 近隣ノードが混同されています。

**処置:** この問題が引き続き発生する場合は、あて先ノードをデバッグしてください。

---

#### VN.070

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** VN.070 rcv ICP illeg subtyp frm  
*source\_vines\_network: source\_vines\_subnet*

**長構文:** VN.070 Received ICP packet with illegal sub-type from node *source\_vines\_network:*  
*source\_vines\_subnet*

**説明:** このメッセージが生成されるのは、ICP パケットを受信したが、サブタイプ・フィールドがイリーガルな場合です。

**原因:** あて先ノードが混同されています。

**処置:** この問題が引き続き発生する場合は、あて先ノードをデバッグしてください。

---

#### VN.071

**レベル:** C-TRACE

**短構文:** VN.071 snd rte cost icp pkt to  
*destination\_vines\_network: destination\_vines\_subnet*

**長構文:** VN.071 Sending routing cost ICP packet to node *destination\_vines\_network: destination\_vines\_subnet*

**説明:** このメッセージが生成されるのは、このルーターから近隣の 1 つへのルーティング・コストを要求したノードに、ICP パケットが送信された場合です。

---

#### VN.072

**レベル:** C-TRACE

**短構文:** VN.072 snd no rte icp pkt to  
*destination\_vines\_network: destination\_vines\_subnet*

**長構文:** VN.072 Sending No Route ICP packet to node

*destination\_vines\_network: destination\_vines\_subnet*

**説明:** このメッセージが生成されるのは、ノードが到着不能であって先にパケットを送信したため、そのノードに ICP パケットが送信された場合です。

---

#### **VN.073**

**レベル:** C-TRACE

**短構文:** VN.073 rcv icp echo pkt frm

*source\_vines\_network: source\_vines\_subnet*

**長構文:** VN.073 Received ICP Echo packet from  
*source\_vines\_network: source\_vines\_subnet*

**説明:** このメッセージが生成されるのは、ICP エコー要求パケットを受信した場合です。ルーターは ICP エコー応答パケットを返します。

---

#### **VN.074**

**レベル:** C-INFO

**短構文:** VN.074 VINES init nt *network\_number*, rtl tbl  
sz *routing\_table\_entries*, max svc nbrs  
*max\_service\_neighbors*, max clt nbrs *max\_client\_neighbors*

**長構文:** VN.074 The VINES protocol is initializing with  
network number *network\_number*, max routing table  
entries *routing\_table\_entries*, max service node neighbors  
*max\_service\_neighbors*, max client node neighbors  
*max\_client\_neighbors*

**説明:** このメッセージが生成されるのは、VINES プロトコルがその初期化コードを実行した場合です。

---

#### **VN.075**

**レベル:** U-INFO

**短構文:** VN.075 No VINES IP addr

**長構文:** VN.075 No VINES IP address is configured for  
this router

**説明:** このメッセージが生成されるのは、VINES はルーター上で使用可能にされているが、ユーザーがルーターに VINES IP アドレスを割り当てていなかった場合です。VINES プロトコルは初期化されません。

---

#### **VN.076**

**レベル:** U-INFO

**短構文:** VN.076 int dlt but not VINES nt *network ID*  
dlt

**長構文:** VN.076 Interface record deleted, but VINES  
interface record net *network ID* not deleted

**説明:** このメッセージが生成されるのは、ユーザーがインターフェースに関する VINES レコードを削除しないまま、ルーター・インターフェース・レコードを削除してしまった場合です。

---

#### **VN.077**

**レベル:** U-INFO

**短構文:** VN.077 int max pkt sz too sml nt *network ID*

**長構文:** VN.077 The maximum packet size of net  
*network ID* is smaller than the maximum VINES packet  
size

**説明:** このメッセージが生成されるのは、インターフェースの最大パケット・サイズが最大 VINES パケット・サイズより小さい場合です。これが起こる可能性があるのは、ユーザーが構成したインターフェースの最大パケット・サイズがそのデフォルトより小さい場合です。インターフェースは VINES では使用可能になりません。

---

#### **VN.079**

**レベル:** U-INFO

**短構文:** VN.079 No Int cfg

**長構文:** VN.079 No Interfaces have been configured, so  
Vines will not be started.

**説明:** VINES には、ルーターに関してインターフェースが (たとえば、VINES 用として使用されない場合でも) 定義されていることを検出する必要があり、また、対話先としてインターフェースまたは X.25 アドレスが少なくとも 1 つは必要です。そうでないと、プロトコルが始動しません。



---

## 第16章 Bisync リレー (BRLY)

この章では Bisync リレー (BRLY) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### BRLY.001

レベル: C-INFO

短構文: BRLY.001 BRLY interface initialization starting network *networkID*

長構文: BRLY.001 BRLY initialization started on network *networkID*

説明: BRLY 転送機能が、リレー・インターフェースで初期化を開始しました。

---

### BRLY.002

レベル: C-INFO

短構文: BRLY.002 BRLY interface initialization complete network *networkID*

長構文: BRLY.002 BRLY initialization completed on network *networkID*

説明: BRLY 転送機能が、リレー・インターフェースでの初期化を完了しました。

---

### BRLY.003

レベル: C-TRACE

短構文: BRLY.003 BRLY frame received on network *networkID*

長構文: BRLY.003 BRLY frame received on network *networkID*

説明: BSC リレー・フレームを受信しました。

---

### BRLY.004

レベル: C-INFO

短構文: BRLY.004 BRLY frame sent on network *networkID*

長構文: BRLY.004 BRLY frame sent on network *networkID*

説明: BSC リレー・フレームを送信しました。

---

### BRLY.005

レベル: UI-ERROR

短構文: BRLY.005 BRLY frame discarded for group *group\_number* on network *networkID* - *discard\_reason*

長構文: BRLY.005 BRLY frame discarded for group *group\_number* on network *networkID* - *discard\_reason*

説明: BRLY フレームが廃棄されました。

---

### BRLY.006

レベル: CI-ERROR

短構文: BRLY.006 BRLY memory allocation failed

長構文: BRLY.006 A BRLY memory allocation request failed

説明: 資源に対する BRLY 記憶域割り振り要求が失敗しました。

---

### BRLY.007

レベル: CI-ERROR

短構文: BRLY.007 BRLY port defined for non-BSC net or invalid hdw - net *networkID*

長構文: BRLY.007 BRLY port defined for non-BSC net or invalid hdw - network *networkID*

説明: BSC 以外のネット上に、または無効な (使用不可の) ハードウェアを使用して、BRLY ポートが定義されました。

---

### BRLY.008

レベル: CI-ERROR

短構文: BRLY.008 Configuration error for group *group\_number* - *configuration\_error* - group internally disabled

長構文: BRLY.008 Configuration error for group *group\_number* - *configuration\_error* - group internally disabled

説明: グループ構成エラー

---

**BRLY.009**

レベル: CI-ERROR

短構文: BRLY.009 BRLY frame discarded on network  
*networkID - discard\_reason*

長構文: BRLY.009 BRLY frame discarded on network  
*networkID - discard\_reason*

説明: BRLY フレームが廃棄されました。

---

**BRLY.010**

レベル: CI-ERROR

短構文: BRLY.010 BRLY frame discarded -  
*discard\_reason*

長構文: BRLY.010 BRLY frame discarded -  
*discard\_reason*

説明: BRLY フレームが廃棄されました。

---

**Panic brlyudperr**

短構文: BSC Relay UDP port not available\r\n

説明: BSC リレーの UDP ポートには、以前に別のアプリケーションが登録されています。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

## 第17章 BOOTP (BTP)

この章では、BOOTP (BTP) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### BTP.001

レベル: U-TRACE

短構文: BTP.001 rcvd rqst frm ( *client\_IP\_address*, nt *Network ID*)

長構文: BTP.001 received request from ( *client\_IP\_address*, net *Network ID*)

説明: BOOTP 要求が、特定のインターフェースで受信されました。クライアント IP アドレスがメッセージに含まれますが、この時点では不明のこともあります。その場合には、0.0.0.0 として表示されます。

---

### BTP.002

レベル: UE-ERROR

短構文: BTP.002 bd rqst frm ( *client\_IP\_address*, nt *Network ID*): *reason*

長構文: BTP.002 bad request from ( *client\_IP\_address*, net *Network ID*): *reason*

説明: BOOTP 要求が、特定のインターフェースで受信されました。クライアント IP アドレスがメッセージに含まれますが、この時点では不明のこともあります。その場合には、0.0.0.0 として表示されます。示されている理由により、要求は無効です。したがって、廃棄されます。

---

### BTP.003

レベル: U-TRACE

短構文: BTP.003 fwd rqst to *server\_IP\_address*

長構文: BTP.003 Forwarding request to *server\_IP\_address*

説明: BOOTP 要求が、特定のサーバーに転送されています。

---

### BTP.004

レベル: U-TRACE

短構文: BTP.004 fwd rply *server\_IP\_address* -> *client\_IP\_address*

長構文: BTP.004 Forwarding reply from

*server\_IP\_address* to *client\_IP\_address*

説明: ルーターを中継エージェントとして使用して、BOOTP 応答が特定のサーバーからクライアントに戻されています。

---

### BTP.005

レベル: UE-ERROR

短構文: BTP.005 bad reply *server\_IP\_address* -> *client\_IP\_address*: *reason*

長構文: BTP.005 bad reply from *server\_IP\_address* to *client\_IP\_address*: *reason*

説明: BOOTP 応答を受信しました。示されているエラーにより、この応答をクライアントに中継することはできません。BOOTP 応答は廃棄されました。

---

### BTP.006

レベル: ALWAYS

短構文: BTP.006 net *Network ID*, gw *source\_IP\_address*: Client reply packet in error; *error*

長構文: BTP.006 net *Network ID*, gw *source\_IP\_address*: Client reply packet in error; *error*

説明: BOOTP サーバーから、間違ったパケット・タイプの応答または短過ぎる応答を受け取りました。ゲートウェイ・アドレスは、サーバーからこのクライアントに最終中継を行ったルーターです。これはサーバー・アドレスの場合もあります。

---

### BTP.007

レベル: ALWAYS

短構文: BTP.007 net *Network ID*, Valid Resp, Server: *serverName*( *serverIp*), Bootfile: *bootfile* VendOpts config file: *cfgFile* IpAddr *ourIp*, gwAddr *gwAddr*

長構文: BTP.007 net *Network ID*, Valid Resp, server: *serverName*/ *serverIp*, bootfile: *bootfile*, vendor options config File: *cfgFile*, ipAddr *ourIp*, gwAddr *gwAddr*

説明: 有効な BOOTP 応答パケットをサーバーから受信しました。



---

**BTP.008**

レベル: ALWAYS

短構文: BTP.008 net *Network ID* No cfg file name  
(srv: *serverName/ serverIp*)

長構文: BTP.008 net *Network ID* No config file name  
in packet (srv: *serverName/ serverIp*)

説明: サーバーから、ベンダー拡張フィールド内またはブート・ファイル名フィールド内に構成ファイル名のない応答を受け取りました。

---

**BTP.009**

レベル: ALWAYS

短構文: BTP.009 net *Network ID*, Failed to snd client  
req (htype: *htype*)

長構文: BTP.009 net *Network ID*, Failed to send client  
request (htype: *htype*)

説明: BOOTP 要求を送信しようとしたましたが失敗しました。

---

**BTP.010**

レベル: ALWAYS

短構文: BTP.010 net *Network ID*, Sent client request  
(htype: *htype*)

長構文: BTP.010 net *Network ID*, Sent client request  
(htype: *htype*)

説明: BOOTP クライアント要求の送信が正常に行われました。

---

**BTP.011**

レベル: ALWAYS

短構文: BTP.011 net *Network ID*, Could not snd client  
req because: *error*

長構文: BTP.011 net *Network ID*, Could not send client  
request because: *error*

説明: 出力装置が BOOTP をサポートしていない、その装置が起動していない、バッファを割り振ることができなかった、のいずれかの理由で、BOOTP 要求を送信しようとして失敗しました。

---

**BTP.012**

レベル: ALWAYS

短構文: BTP.012 net *Network ID* No cfile in  
vendOptions, using bootfile fld instead

長構文: BTP.012 net *Network ID* No cfile in  
vendOptions, using bootfile fld instead

説明: 構成ファイル名のベンダー拡張が、応答の中にありませんでした。ルーターは、その代わりにブート・ファイル名フィールドを使用します。

---

**BTP.013**

レベル: ALWAYS

短構文: BTP.013 net *Network ID* Unsupported vend tag:  
*vendTag*, len: *vendLen*

長構文: BTP.013 net *Network ID* Reply received with  
unsupported vendor tag field: *vendTag*, len *vendLen*

説明: サーバーが、ベンダー・フィールドにサポートされていないベンダー特定オプションを含む BOOTP 応答パケットを送信しました。これはクリティカルではありません。単に、その BOOTP サーバーが、この BOOTP クライアント用に正しく構成されていない、ということを示します。

---

**BTP.014**

レベル: U-TRACE

短構文: BTP.014 cached rqst frm  
*client\_hardware\_address*

長構文: BTP.014 cached request from  
*client\_hardware\_address*

説明: BOOTP クライアント要求がキャッシュされました。

---

**BTP.015**

レベル: U-TRACE

短構文: BTP.015 rmvd cached rqst frm  
*client\_hardware\_address: reason*

長構文: BTP.015 removed cached request from  
*client\_hardware\_address: reason*

説明: BOOTP クライアント要求がキャッシュから除去されました。

---

**Panic btpudperr**

短構文: bootp udp port not avail

説明: 別のアプリケーションが、BOOTP の UDP ポートに以前から登録しています。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

## 第18章 ボーダー・ゲートウェイ・プロトコル (BGP)

この章では、ボーダー・ゲートウェイ・プロトコル (BGP) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### BGP.001

レベル: UI-ERROR

短構文: BGP.001 Bad sec code in OPEN, from *neighbor*

長構文: BGP.001 BGP security code in OPEN message is incorrect from neighbor *neighbor*

説明: BGP RFC は、使用可能安全保護コード 0 だけを指定しています。このメッセージは、別のコードを受け取った場合に印刷されます。

原因: 近隣が、ヌルではない安全保護コードを OPEN メッセージの中に入れて送信しました。

処置: BGP の指定に、より忠実に従っているルーターを使用してください。

---

### BGP.002

レベル: UI-ERROR

短構文: BGP.002 Bad msg hdr len, from *neighbor*

長構文: BGP.002 BGP message header length is incorrect from neighbor *neighbor*

説明: スピーカーが、正しくないヘッダー長を含むメッセージを受け取りました。

原因: 近隣が、正しくない長さの OPEN メッセージを送信しました。

処置: BGP の指定に従っているルーターを使用してください。

---

### BGP.003

レベル: U-INFO

短構文: BGP.003 Unsupported BGP version, from *neighbor*

長構文: BGP.003 Unsupported BGP version request from neighbor *neighbor*

説明: 現在 BGP によってサポートされているバージョンはバージョン 4 です。それ以外のバージョン・サポートはありません。このメッセージは、このバージョンより以前の BGP のバージョンが近隣によって要求された場合に印刷されます。

原因: 近隣が、サポートされていない BGP のバージョンを要求しています。

処置: 近隣のルーターを、正しいバージョン用に構成する必要があります。

---

### BGP.004

レベル: UI-ERROR

短構文: BGP.004 Bad marker fld, from *neighbor*

長構文: BGP.004 Marker field is incorrect from neighbor *neighbor*

説明: サポートされている唯一のマーカー・フィールドは、すべて 1 の 16 オクテットです。このメッセージは、他の値を受け取った場合に印刷されます。

原因: 近隣が、正しくないマーカー・フィールドを使用しています。

処置: BGP の指定に従っているルーターを使用してください。

---

### BGP.005

レベル: UI-ERROR

短構文: BGP.005 Bad AS num, from *neighbor*

長構文: BGP.005 Bad AS number from neighbor *neighbor*

説明: このメッセージは、OPEN メッセージの中の近隣の AS 番号が、その近隣用に構成された値と一致していない場合に印刷されます。

原因: 近隣が、構成された値と一致しない AS を使用しています。

処置: 近隣とこのルーターに、正しく構成された AS 番号を確実に使用させるようにします。

---

### BGP.006

レベル: UI-ERROR

短構文: BGP.006 Bad BGP ID, from *neighbor*

長構文: BGP.006 Bad BGP identifier from neighbor *neighbor*

説明: このメッセージは、近隣とこのスピーカーが同

じ BGP 識別子を持っている場合に印刷されます。この識別子は、TCP 接続の衝突を解決するために使用されるので、許可されない構成です。

**原因:** 近隣が、これと同じ BGP 識別子を使用しています。

**処置:** 近隣とこのルーターに、正しく構成された BGP 識別子を持たせるようにします。

---

### BGP.007

**レベル:** U-INFO

**短構文:** BGP.007 Conn err to *neighbor*; clsg with notify

**長構文:** BGP.007 Closing connection to neighbor *neighbor* with notification

**説明:** 接続の有限状態機械の中に何らかのエラーが発生し、そのためにこのメッセージが出されました。

**原因:** 接続の有限状態機械の中にエラーが発生し、そのために接続が打ち切られました。

**処置:** この事象と同時に発生した接続エラーが他にないか確かめます。

---

### BGP.008

**レベル:** U-INFO

**短構文:** BGP.008 Conn err to *neighbor*; clsg with no notify

**長構文:** BGP.008 Closing connection to neighbor *neighbor* without notification

**説明:** 接続の有限状態機械の中に何らかのエラーが発生し、そのためにこのメッセージが出されました。通常、これは、このスピーカーが NOTIFICATION メッセージを受け取って、そのメッセージを送信した近隣に別のメッセージを送り返す理由がないことに起因します。

**原因:** 接続の有限状態機械の中にエラーが発生し、そのために接続が打ち切られました。

**処置:** この事象と同時に発生した接続エラーが他にないか確かめます。

---

### BGP.009

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** BGP.009 Foreign close from *neighbor* sprt *sourceport* dprt *destinationport*

**長構文:** BGP.009 Foreign close from neighbor *neighbor* source port *sourceport* destination port *destinationport*

**説明:** スピーカーが、外部クローズを受け取ったところ です。

**原因:** 近隣がクローズを出しています。

**処置:** 近隣は、通知後、または BGP ID 折衝後にクローズを出しているはず です。この状態が当てはまる場合、処置は不要です。これらの理由以外で接続がクローズした場合、その近隣がエラーになっています。

---

### BGP.010

**レベル:** U-INFO

**短構文:** BGP.010 Reinit BGP conn to *neighbor*

**長構文:** BGP.010 Reinitialize the BGP connection to neighbor *neighbor*

**説明:** この近隣への前の接続が打ち切られた場合、スピーカーがその接続を再開します。このメッセージは、この状態が起こった場合に印刷されます。

**原因:** スピーカーが、最初の障害が起きた後に、この近隣への接続を再初期化しています。

**処置:** なし。ただし、これが近隣への接続がない場合に多く発生する場合は除きます。

---

### BGP.011

**レベル:** U-INFO

**短構文:** BGP.011 Conn to *neighbor* clsg with no notify

**長構文:** BGP.011 Connection to neighbor *neighbor* closing with no notification

**説明:** おそらく、相手方から受け取った NOTIFICATION メッセージへの応答として、ルーターが、通知を送信せずに、近隣への BGP 接続をクローズしています。

---

### BGP.012

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** BGP.012 No conn listen can be done

**長構文:** BGP.012 No connection listen can be done

**説明:** 何らかの理由で、スピーカーが listen を出すことができません。

**原因:** おそらく、TCP サブシステム内に内部エラーがあります。また、ルーターの記憶域が不足している可能性もあります。

**処置:** 記憶域不足になっているかチェックします。記憶域が不足している場合は、記憶域の使用率について、BGP 構成統計をチェックします。近隣接続の数が多い場合、記憶域の使用量が著しく増加します。

---

**BGP.013**

レベル: UI-ERROR

短構文: BGP.013 TCP open fail to *neighbor*

長構文: BGP.013 TCP open failure to BGP neighbor  
*neighbor*

説明: BGP スピーカーが、近隣からの接続要求を受け取るために、tcp\_listen 要求を開始しています。このメッセージは、この機能の呼び出しが失敗であった場合に印刷されます。

原因: TCP サブシステムへのオープンが失敗しました。

処置: 重大な問題です。ルーターが使用できるヒープ記憶域の量をチェックしてください。

---

**BGP.014**

レベル: U-INFO

短構文: BGP.014 Conn timer fired for *neighbor*

長構文: BGP.014 Connection timer fired for neighbor  
*neighbor*

説明: このスピーカーからこの近隣への接続を活動化する試みを続行するために、接続タイマーが使用されています。このタイマーのファイヤーが原因で、スピーカーが、前の tcp\_open を取り止め、別の tcp\_open を出しています。

原因: 接続タイマーは、指定時間内に完了した近隣接続がなかったためにファイヤーしました。

処置: なし。接続処理は、近隣への接続が完了するまで続行します。

---

**BGP.015**

レベル: U-INFO

短構文: BGP.015 conn to *neighbor* open on sprt  
*sourceport dprt destinationport*

長構文: BGP.015 connection to neighbor *neighbor* open  
on soure port *sourceport* destination port *destinationport*

説明: この近隣のこの接続に関する OPEN メッセージを受け取りました。

原因: その近隣への接続が正常に完了しました。

処置: なし。これは、通知メッセージです。

---

**BGP.016**

レベル: U-INFO

短構文: BGP.016 OPEN sent to *neighbor*

長構文: BGP.016 OPEN message sent to neighbor  
*neighbor*

説明: 接続がオープンされたときに、スピーカーは近隣に OPEN メッセージを送信します。このメッセージはこれが行われたときに印刷されます。

原因: これは、接続処理の一部です。

処置: なし。これは、通知メッセージです。

---

**BGP.017**

レベル: UI-ERROR

短構文: BGP.017 Bad msg len from *neighbor* sprt  
*sourceport dprt destinationport*

長構文: BGP.017 Bad message length received from  
neighbor *neighbor* source port *sourceport* destination port  
*destinationport*

説明: メッセージを受け取ったときに、そのメッセージの長さがチェックされています。このメッセージは、受信されたメッセージの長さが予期されていたメッセージ・ヘッダー・サイズより短い場合に印刷されます。

原因: おそらく、この原因は、スピーカー側または近隣側のソフトウェアに、何らかの装置ドライバー・エラーまたは損傷があることだと思われます。

処置: これが、他の近隣の場合にも起こるか確認します。起こる場合は、このルーターに何らかの問題がある疑いがあります。そうでない場合、該当の近隣に問題があると思われます。これは重大なエラーです。多くのソースからの情報が必要になる可能性があります。

---

**BGP.019**

レベル: UI-ERROR

短構文: BGP.019 Bad msg type from *neighbor* sprt  
*sourceport dprt destinationport*

長構文: BGP.019 Bad message type from neighbor  
*neighbor* source port *sourceport* destination port  
*destinationport*

説明: BGP メッセージには、OPEN、UPDATE、NOTIFICATION、KEEPALIVE の 4 つのタイプしかありません。このメッセージは、メッセージのタイプが予期していたものとは異なる場合に印刷されます。

原因: メッセージ・タイプは、BGP 情報のもっとも基

本的な部分の 1 つであるので、メッセージの誤りに起因するものと思われます。

**処置:** これが、他の近隣の場合にも起こるか確認します。起こる場合は、このルーターに何らかの問題がある疑いがあります。そうでない場合、該当の近隣に問題があると思われます。これは重大なエラーです。多くのソースからの情報が必要になる可能性があります。

---

### BGP.020

**レベル:** U-INFO

**短構文:** BGP.020 BGP init

**長構文:** BGP.020 BGP initialization

**説明:** このメッセージは、BGP が使用可能になったときに印刷されます。

---

### BGP.023

**レベル:** U-INFO

**短構文:** BGP.023 Nbr *neighbor* disabled or deleted

**長構文:** BGP.023 Neighbor *neighbor* is disabled or deleted

**説明:** 近隣レコードは見付かりましたが、近隣が使用不可であるか、削除されています。

**原因:** ユーザーが近隣ノードを使用不可にしたか、または削除しました。

**処置:** なし。

---

### BGP.024

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** BGP.024 Attr len too long from *neighbor*, len *length*

**長構文:** BGP.024 Attribute length too long from neighbor *neighbor*, length *length*

**説明:** パス属性の長さが、ヘッダー内の長さより長くなっています。

**原因:** スピーカーまたは近隣が、そのメッセージをわい曲してしまいました。

**処置:** ユーザーは、スピーカーまたは近隣でデータ汚損があることを疑う必要があります。リンクの品質を検査してください。

---

### BGP.025

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** BGP.025 mand attr without trans bit set from *neighbor*, attr *attribute\_type*

**長構文:** BGP.025 mandatory attribute without transitive bit set from neighbor *neighbor*, attribute type *attribute\_type*

**説明:** 近隣が、非移行ビット・セットを含む必須属性を送信しました。これは、仕様に違反しています。

**原因:** これは、プロトコルについて非常に基本的な部分であるために、ユーザーは、近隣またはスピーカーにデータ汚損があることを疑う必要があります。

**処置:** ユーザーは、スピーカーまたは近隣でデータ汚損があることを疑う必要があります。リンクの品質を検査してください。

---

### BGP.026

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** BGP.026 Mand attr with partial bit set from *neighbor*, attr *attribute\_type*

**長構文:** BGP.026 Mandatory attribute with partial bit set from neighbor *neighbor*, attribute type *attribute\_type*

**説明:** 近隣が、部分的ビット・セットを含む必須属性を送信しました。これは、仕様に違反しています。

**原因:** これは、プロトコルについて非常に基本的な部分であるために、ユーザーは、近隣またはスピーカーにデータ汚損があることを疑う必要があります。

**処置:** ユーザーは、スピーカーまたは近隣でデータ汚損があることを疑う必要があります。リンクの品質を検査してください。

---

### BGP.027

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** BGP.027 Opt non-trans attr with partial bit set from *neighbor*, attr *attribute\_type*

**長構文:** BGP.027 Optional non-transitive attribute with partial bit set from neighbor *neighbor*, attribute *attribute\_type*

**説明:** 近隣が、部分的ビット・セットを含む任意選択属性を送信しました。これは、仕様に違反しています。

**原因:** これは、基本的なプロトコル違反であり、ユーザーは、近隣またはスピーカー内にデータ汚損があることを疑う必要があります。

**処置:** ユーザーは、スピーカーまたは近隣でデータ汚



損があることを疑う必要があります。リンクの品質を検査してください。

---

### BGP.028

レベル: UI-ERROR

短構文: BGP.028 Origin path attr with bad len from *neighbor*, len *length*

長構文: BGP.028 Origin path attribute has bad length from neighbor *neighbor*, length *length*

説明: 起点属性の長さは 1 バイトでなければなりませんが、この属性の長さは 1 バイトではありません。

原因: これは、基本的なプロトコル違反であり、ユーザーは、近隣またはスピーカー内にデータ汚損があることを疑う必要があります。

処置: ユーザーは、スピーカーまたは近隣でデータ汚損があることを疑う必要があります。リンクの品質を検査してください。

---

### BGP.029

レベル: UI-ERROR

短構文: BGP.029 Origin path attr with bad type from *neighbor*, origin *origin\_type*

長構文: BGP.029 Origin path attribute with bad type from neighbor *neighbor*, origin *origin\_type*

説明: 起点属性に、識別されない起点タイプがあります。

原因: これは、基本的なプロトコル違反です。

処置: BGP の指定に従っているルーターを使用してください。

---

### BGP.030

レベル: UI-ERROR

短構文: BGP.030 Dupl AS in path attr from *neighbor*, pathlen *AS\_path\_length*

長構文: BGP.030 Duplicate AS in path attribute from neighbor *neighbor*, path length *AS\_path\_length*

説明: 近隣が AS パス属性を送信しましたが、それが重複しています。

原因: AS パス属性にループがあり、そのことは、AS が重複していることにより判明されています。スピーカーは、重複した AS を持つパスを公示してはなりません。

処置: データ汚損によって重複が生じた可能性はほとんどありません。近隣に問題がある可能性があります。

これは、BGP の中心的な機能であるため、近隣が欠陥のあるプロトコルによって作動している可能性があり、訂正が必要です。

---

### BGP.031

レベル: UI-ERROR

短構文: BGP.031 Bad next hop attr len from *neighbor*, len *length*

長構文: BGP.031 Next hop attribute with bad length from neighbor *neighbor*, length *length*

説明: ネクスト・ホップは、IP アドレスの長さでなければなりませんが、この属性の長さが間違っています。

原因: 近隣がネクスト・ホップ属性を送信しましたが、その長さが間違っています。この原因はデータ汚損である可能性があります。

処置: 長さフィールドが完全にわい曲されている場合、スピーカーまたは近隣にデータ汚損がある疑いがあります。長さフィールドが 1 バイトだけオフになっている場合、近隣によるプロトコル違反の疑いがあります。

---

### BGP.032

レベル: UI-ERROR

短構文: BGP.032 Bad next hop attr from *neighbor*, next hop *next\_hop\_attribute*

長構文: BGP.032 Bad next hop attribute from neighbor *neighbor*, next hop *next\_hop\_attribute*

説明: ネクスト・ホップ属性の長さは正しいのですが、正しくないと判別されました。

原因: 近隣がネクスト・ホップ・アドレスを送信しましたが、それは、こちら側のアドレスまたはサブネット・アドレスです。

処置: そのアドレスがこちら側のアドレスである場合、近隣は、完全にプロトコル違反を犯しています。そのアドレスがサブネット・アドレスである場合、近隣が違反を犯している可能性があります。

---

### BGP.033

レベル: UI-ERROR

短構文: BGP.033 Bad mult exit disc attr len from *neighbor*, len *length*

長構文: BGP.033 Bad mult exit disc attribute length from neighbor *neighbor*, length *length*

説明: mult exit disc 属性の長さが間違っています。

**原因:** 近隣が mult exit disc 属性を送信しましたが、その長さが間違っています。

**処置:** 予期していた長さ与实际に受け取った長さとの間の差が大きい場合、スピーカーまたは近隣にデータ汚損の疑いがあります。長さの差が 1 だけである場合、近隣がプロトコル違反を犯している可能性があります。

---

#### BGP.034

**レベル:** UI\_ERROR

**短構文:** BGP.034 Bad local pref attr len from *neighbor*, len *length*

**長構文:** BGP.034 Local preference attribute has bad length from neighbor *neighbor*, length *length*

**説明:** ローカル優先属性の長さが間違っています。

**原因:** 近隣がローカル優先を送信しましたが、その長さが間違っています。

**処置:** 予期していた長さ与实际に受け取った長さとの間の差が大きい場合、スピーカーまたは近隣にデータ汚損の疑いがあります。長さの差が 1 だけである場合、近隣がプロトコル違反を犯している可能性があります。

---

#### BGP.035

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** BGP.035 Bad atom aggr attr len from *neighbor*, len *length*

**長構文:** BGP.035 Atomic aggregate attribute has bad length from neighbor *neighbor*, length *length*

**説明:** 原子集合属性の長さは 0 でなければなりません、0 以外の長さになっていました。

**原因:** 近隣が、間違っ てフォーマットされた原子集合属性を送信しました。

**処置:** 予期していた長さ与实际に受け取った長さとの間の差が大きい場合、スピーカーまたは近隣にデータ汚損の疑いがあります。長さの差が 1 だけである場合、近隣がプロトコル違反を犯している可能性があります。

---

#### BGP.036

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** BGP.036 Bad aggr attr len from *neighbor*, len *length*

**長構文:** BGP.036 Aggregator attribute has bad length from neighbor *neighbor* length *length*

**説明:** 集合属性の長さが間違っています。

**原因:** 近隣が集合属性を送信しましたが、その長さが間違っています。

**処置:** 予期していた長さ与实际に受け取った長さとの間の差が大きい場合、スピーカーまたは近隣にデータ汚損の疑いがあります。長さの差が 1 だけである場合、近隣がプロトコル違反を犯している可能性があります。

---

#### BGP.039

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** BGP.039 Unrecog well knwn attr from *neighbor*, attr *attribute\_type*

**長構文:** BGP.039 Unrecognized well-known attribute from neighbor *neighbor*, attribute *attribute\_type*

**説明:** 定式属性が認識できないものです。

**原因:** 近隣が、認識できない定式属性を送信しました。

**処置:** これは基本的なプロトコル違反となるので、ユーザーは、スピーカーまたは近隣にデータ汚損があることを疑う必要があります。

---

#### BGP.040

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** BGP.040 Dupl attr from *neighbor*, attr *attribute\_type*

**長構文:** BGP.040 Multiple attributes from neighbor *neighbor*, attribute *attribute\_type*

**説明:** UPDATE メッセージ内に重複したパス属性が見つかりました。

**原因:** 近隣が、重複したパス属性を含む UPDATE メッセージを送信しました。

**処置:** これはプロトコル違反なので、その近隣をチェックする必要があります。

---

#### BGP.042

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** BGP.042 No NLRI in UPDATE from *neighbor*

**長構文:** BGP.042 No Network Layer Routing Information in UPDATE from neighbor *neighbor*

**説明:** UPDATE メッセージに、ネットワーク・レイヤー・ルーティング情報がありませんでした。

**原因:** 近隣が、パス属性は含んでいるが、ルーティング情報は含んでいない UPDATE メッセージを送信しました。



処置: 近隣に、プロトコル違反があるかどうかをチェックする必要があります。

---

#### BGP.043

レベル: U-INFO

短構文: BGP.043 NLRI *NLRI* rej by ext policy from *neighbor*

長構文: BGP.043 Network Layer Routing Information *NLRI* rejected by external policy from neighbor *neighbor*

説明: パス属性によって記述されているネットワーク・レイヤー・ルーティング情報が、ポリシーの適用後に拒否されました。

原因: ポリシー構成コマンドが原因で、パス属性によって記述されたこの NLRI が拒否されました。

処置: なし。ただし、この NLRI が組み込まれている場合を除きます。

---

#### BGP.044

レベル: U-INFO

短構文: BGP.044 New or updted RIB entry *NLRI* from *neighbor*

長構文: BGP.044 New or updated RIB entry *NLRI* from neighbor *neighbor*

説明: NLRI はすでにフィルターを通過して、ルーティング情報ベースに入れられています。

原因: 近隣が、外部ポリシー規則の定義によって受け入れられている NLRI およびパスを含む UPDATE メッセージを送信しました。

処置: なし。ただし、この NLRI が除外されていない場合を除きます。

---

#### BGP.046

レベル: U-INFO

短構文: BGP.046 Notify rcvd from *neighbor*, err *error\_code: sub\_code*

長構文: BGP.046 Notify received from *neighbor*, error code *error\_code*, subcode *sub\_code*

説明: 近隣から NOTIFICATION メッセージを受け取りました。これによって、BGP 接続は打ち切れ、通常、何らかのエラーが示されます。エラー・コードおよびサブコードは、BGP 仕様の中で見つけることができます。それにより、この通知の正確な理由が分かります。

---

#### BGP.047

レベル: U-INFO

短構文: BGP.047 Accept dest *destination* from IP fw *tbl*

長構文: BGP.047 Destination *destination* from IP forwarding table included

説明: スピーカーが、内部ポリシーの指示に従い、このあて先を組み込んだところです。

原因: 内部ポリシーは、あて先を特定して組み込むことができます。

処置: なし。ただし、内部ポリシーがこのあて先を除外していなければならない場合は除きます。

---

#### BGP.048

レベル: UI-ERROR

短構文: BGP.048 BGP spkr unable to get mem

長構文: BGP.048 BGP speaker unable to get memory

説明: BGP が、必要な記憶域を割り振ることができませんでした。BGP は、このために実行できません。

原因: ヒープ記憶域が不足しています。これは、おそらく、記憶域を大量に必要とする転送機能/プロトコルの実行中の数が多過ぎるためです。

処置: 不必要な転送機能/プロトコルを使用不可にするか、または記憶域を大きくしてください。

---

#### BGP.049

レベル: U-INFO

短構文: BGP.049 Closing conn to *neighbor* sprt *sourceport* dprt *destinationport*; conn collision

長構文: BGP.049 closing connection to neighbor *neighbor* source port *sourceport* destination port *destinationport* because of connection collision

説明: BGP が、接続衝突のために、この近隣への重複接続を除去しています。

原因: 最初の近隣接続の確立時には、複数の TCP 接続を形成することができます。

処置: なし。衝突は発生する可能性があり、BGP RFC が、どの接続が勝つかを判別するための手順を記述します。

---

**BGP.050**

レベル: U-INFO

短構文: BGP.050 UPDATE(s) sent to *neighbor*, len *message\_length*

長構文: BGP.050 UPDATE(s) sent to *neighbor neighbor*, length *message\_length*

説明: 1 つまたは複数の BGP UPDATE メッセージが、示されている近隣に対し待ち行列化されています。これは、トポロジー変更時にのみ起こります。UPDATE メッセージの全部を合わせた長さは表示されます。

---

**BGP.052**

レベル: U-INFO

短構文: BGP.052 UPDATE rcvd from *neighbor*, len *message\_length*

長構文: BGP.052 UPDATE received from *neighbor neighbor*, length *message\_length*

説明: 示されている長さの BGP UPDATE メッセージを、示されている近隣から受け取りました。これは、何らかのトポロジー変更を示します。

---

**BGP.053**

レベル: U-INFO

短構文: BGP.053 Del BGP route to *network*

長構文: BGP.053 Deleted BGP route to *network network*

説明: 示されているネットワークへの BGP 経路がもはや無効であり、IP ルーティング・テーブルから削除されています。

---

**BGP.055**

レベル: UI-ERROR

短構文: BGP.055 Ext nbr *neighbor* not on cmn net

長構文: BGP.055 External neighbor *neighbor* is not on common network

説明: 外部近隣は、ルーターと共通ネットワークを共用しなければなりません。そうしなければ、その近隣は無視されます。共通ネットワーク上の近隣のアドレスは、"BGP Config> add neighbor" コマンドで構成する必要があります。

原因: おそらく、近隣の共通ネットワーク・アドレスが構成されていません。

処置: 近隣のアドレスの構成を检查してください。

---

**BGP.056**

レベル: U-INFO

短構文: BGP.056 OPEN rcvd from *neighbor*

長構文: BGP.056 OPEN received from *neighbor neighbor*

説明: 示されている近隣から、BGP OPEN メッセージを受け取りました。これは、その近隣が、会話を開始することを希望していることを示します。

---

**BGP.057**

レベル: P-TRACE

短構文: BGP.057 KEEPALIVE rcvd from *neighbor*

長構文: BGP.057 KEEPALIVE received from *neighbor neighbor*

説明: 示されている近隣から、BGP KEEPALIVE メッセージを受け取りました。これらのメッセージは、BGP 接続がまだ有効であることを確認するために、定期的を送受信されます。

---

**BGP.058**

レベル: U-INFO

短構文: BGP.058 Notify sent to *neighbor*

長構文: BGP.058 Notify sent to *neighbor*

説明: NOTIFICATION メッセージが近隣に送信されました。これによって、BGP 接続は打ち切れ、回復不可能エラー (おそらく、近隣から受け取ったデータが間違っていた) が検出されたことが示されます。前に表示された ELS メッセージが、そのエラーの正確な内容を示します。

---

**BGP.059**

レベル: P-TRACE

短構文: BGP.059 KEEPALIVE sent to *neighbor*

長構文: BGP.059 KEEPALIVE sent to *neighbor neighbor*

説明: BGP KEEPALIVE メッセージが、示されている近隣に送信されました。これらのメッセージは、BGP 接続がまだ有効であることを確認するために、定期的を送受信されます。

---

**BGP.060**

レベル: U-INFO

短構文: BGP.060 Couldn't add net *network* mask *mask*

長構文: BGP.060 Couldn't add network *network* mask *mask* to routing table

説明: ルーターが、そのルーティング・テーブルへの BGP UPDATE メッセージの中で受け取ったネットワークを追加することができません。これは、ルーティング・テーブルの桁あふれのため、あるいはネットワーク番号の形式が間違っているための、いずれかによるものです。

---

**BGP.061**

レベル: U-INFO

短構文: BGP.061 No mem for UPDATE to *neighbor*

長構文: BGP.061 No memory for UPDATE to neighbor *neighbor*

説明: ピアへ UPDATE メッセージを送信するための記憶域を獲得できません。ルーターは再試行を続けます。メッセージが続けて出される場合、ルーターの使用可能記憶域が不足している可能性があります。

---

**BGP.062**

レベル: UI-ERROR

短構文: BGP.062 Rej nbr *neighbor*, not in nbr tbl

長構文: BGP.062 External neighbor *neighbor* is not in the neighbor table

説明: 外部近隣が、このスピーカーと BGP 接続を確立しようと試みていますが、そのスピーカーは、構成内にその近隣を含んでいません。

原因: 近隣のパラメーターが、両方のスピーカー内で構成されていません。

処置: 両方のスピーカー内の近隣構成をチェックします。

---

**BGP.063**

レベル: U-INFO

短構文: BGP.063 Pasv conn exists for *neighbor*; new pasv conn closed

長構文: BGP.063 Passive connection already exists for neighbor *neighbor*; new passive connection is closed

説明: この近隣の受動 TCP 接続がすでに存在していますが、その近隣が別の受動接続の確立を試みましたが、

しい接続はクローズされます。

---

**BGP.067**

レベル: UI-ERROR

短構文: BGP.067 Hold tmr exp for *neighbor* clsnng conn

長構文: BGP.067 Hold timer expired for neighbor *neighbor*; closing connection

説明: この近隣から KEEPALIVE メッセージを受け取りませんでした。そのため、KEEPALIVE タイマーが満了となり、接続はクローズされます。

原因: 説明を参照

処置: 近隣がアップしており、BGP を実行していることを確認します。

---

**BGP.069**

レベル: U-INFO

短構文: BGP.069 BGP state change; nbr *neighbor* ev event oldst *oldstate* newst *newstate*

長構文: BGP.069 BGP state change; neighbor *neighbor* event *event* old state *oldstate* new state *newstate*

説明: この近隣への接続の状態が、変更されたところです。

---

**BGP.070**

レベル: UI-ERROR

短構文: BGP.070 Unexp event; nbr *neighbor* ev event st *state*

長構文: BGP.070 Unexpected event; neighbor *neighbor* event *event* state *state*

説明: この BGP の実施で処理されない事象が発生しました。これは、ソフトウェア・エラーを示し、サービス技術員に報告する必要があります。

原因: 説明を参照

処置: 説明を参照

---

**BGP.071**

レベル: UE-ERROR

短構文: BGP.071 Bad aggregate net *aggregate\_net* mask *aggregate\_mask*

長構文: BGP.071 Bad aggregate net *aggregate\_net* mask *aggregate\_mask*

説明: ルーターが使用できない集合体が構成されまし

た。これは、おそらく構成の間違いです。この集合体は無視されます。

---

#### **BGP.072**

レベル: P-TRACE

短構文: BGP.072 Add NLRI *destination\_net* len *destination\_mask\_len* updt for nbr *neighbor*

長構文: BGP.072 Add NLRI *destination\_net* len *destination\_mask\_len* UPDATE for neighbor *neighbor*

説明: 新しいネットワーク・レイヤー到達可能性情報が、新しい UPDATE メッセージ内で、この近隣用に構築されている、特定の属性リストに関連した NLRI のリストに追加されました。

---

#### **BGP.073**

レベル: P-TRACE

短構文: BGP.073 Wdra NLRI *destination\_net* len *destination\_mask\_len* updt for nbr *neighbor*

長構文: BGP.073 Withdraw NLRI *destination\_net* len *destination\_mask\_len* UPDATE for neighbor *neighbor*

説明: ネットワーク・レイヤー到達可能性情報が、新しい UPDATE メッセージ内で、この近隣用に構築されている実行不可能経路のリストに追加されました。

---

#### **BGP.074**

レベル: UI-ERROR

短構文: BGP.074 Bad hold tim val *timer\_value* from *neighbor*

長構文: BGP.074 Received bad hold timer value *timer\_value* from neighbor *neighbor*

説明: スピーカーが受信した OPEN メッセージが、受諾できない保留タイマー値を持っています。

原因: 近隣が送信した OPEN メッセージが、誤った保留タイマー値を持っています。

処置: BGP の指定に従っているルーターを使用してください。

---

#### **BGP.075**

レベル: U-INFO

短構文: BGP.075 Conn Cls to *neighbor*; clsg with notify cease

長構文: BGP.075 Closing connection to neighbor *neighbor* with notification cease

説明: ユーザーが近隣ノードを使用不可にしたので、

このメッセージが出ました。

原因: ユーザーが近隣ノードを使用不可にしたので、このメッセージが出ました。

処置: なし。

---

## 第19章 IPv6 のボーダー・ゲートウェイ・プロトコル (BGP6)

この章では、IPv6 ボーダー・ゲートウェイ・プロトコル (BGP) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### BGP6.001

レベル: UI-ERROR

短構文: BGP6.001 Bad sec code in OPEN, from *neighbor*

長構文: BGP6.001 Security code in OPEN message is incorrect from neighbor *neighbor*

説明: BGP RFC は、使用可能安全保護コード 0 だけを指定しています。このメッセージは、別のコードを受け取った場合に印刷されます。

原因: 近隣が、ヌルではない安全保護コードを OPEN メッセージの中に入れて送信しました。

処置: BGP の指定に、より忠実に従っているルーターを使用してください。

---

### BGP6.002

レベル: UI-ERROR

短構文: BGP6.002 Bad msg hdr len, from *neighbor*

長構文: BGP6.002 Message header length is incorrect from BGP6 neighbor *neighbor*

説明: スピーカーが、正しくないヘッダー長を含むメッセージを受け取りました。

原因: 近隣が、正しくない長さの OPEN メッセージを送信しました。

処置: BGP の指定に従っているルーターを使用してください。

---

### BGP6.003

レベル: U-INFO

短構文: BGP6.003 Unsupported BGP version, from *neighbor*

長構文: BGP6.003 Unsupported BGP version request from neighbor *neighbor*

説明: 現在 BGP によってサポートされているバージョンはバージョン 4 です。それ以外のバージョン・サポートはありません。このメッセージは、このバージョンより以前の BGP のバージョンが近隣によって要求された場合に印刷されます。

原因: 近隣が、サポートされていない BGP のバージョンを要求しています。

処置: 近隣のルーターを、正しいバージョン用に構成する必要があります。

---

### BGP6.004

レベル: UI-ERROR

短構文: BGP6.004 Bad marker fld, from *neighbor*

長構文: BGP6.004 Marker field is incorrect from neighbor *neighbor*

説明: サポートされている唯一のマーカー・フィールドは、すべて 1 の 16 オクテットです。このメッセージは、他の値を受け取った場合に印刷されます。

原因: 近隣が、正しくないマーカー・フィールドを使用しています。

処置: BGP の指定に従っているルーターを使用してください。

---

### BGP6.005

レベル: UI-ERROR

短構文: BGP6.005 Bad AS num, from *neighbor*

長構文: BGP6.005 Bad AS number from neighbor *neighbor*

説明: このメッセージは、OPEN メッセージの中の近隣の AS 番号が、その近隣用に構成された値と一致していない場合に印刷されます。

原因: 近隣が、構成された値と一致しない AS を使用しています。

処置: 近隣とこのルーターに、正しく構成された AS 番号を確実に使用させるようにします。

---

### BGP6.006

レベル: UI-ERROR

短構文: BGP6.006 Bad ID from BGP6 neighbor *neighbor*

長構文: BGP6.006 Bad identifier from BGP6 neighbor *neighbor*



**説明:** このメッセージは、近隣とこのスピーカーが同じ BGP 識別子を持っている場合に印刷されます。この識別子は、TCP 接続の衝突を解決するために使用されるので、許可されない構成です。

**原因:** 近隣が、これと同じ BGP 識別子を使用しています。

**処置:** IPv6 において BGP 識別子として使用される、正しく構成された IPv4 アドレスを近隣とこのルーターが必ず使用するようにします。

---

### BGP6.007

**レベル:** U-INFO

**短構文:** BGP6.007 Conn err to *neighbor*; clsg with notify

**長構文:** BGP6.007 Closing connection to neighbor *neighbor* with notification

**説明:** 接続の有限状態機械の中に何らかのエラーが発生し、そのためにこのメッセージが出されました。

**原因:** 接続の有限状態機械の中にエラーが発生し、そのために接続が打ち切られました。

**処置:** この事象と同時に発生した接続エラーが他にないか確かめます。

---

### BGP6.008

**レベル:** U-INFO

**短構文:** BGP6.008 Conn err to *neighbor*; clsg with no notify

**長構文:** BGP6.008 Closing connection to neighbor *neighbor* without notification

**説明:** 接続の有限状態機械の中に何らかのエラーが発生し、そのためにこのメッセージが出されました。通常、これは、このスピーカーが NOTIFICATION メッセージを受け取って、そのメッセージを送信した近隣に別のメッセージを送り返す理由がないことに起因します。

**原因:** 接続の有限状態機械の中にエラーが発生し、そのために接続が打ち切られました。

**処置:** この事象と同時に発生した接続エラーが他にないか確かめます。

---

### BGP6.009

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** BGP6.009 Foreign close from *neighbor* sprt *sourceport* dprt *destinationport*

**長構文:** BGP6.009 Foreign close from neighbor

*neighbor* source port *sourceport* destination port *destinationport*

**説明:** スピーカーが、外部クローズを受け取ったところです。

**原因:** 近隣がクローズを出しています。

**処置:** 近隣は、通知後、または BGP6 ID 折衝後にクローズを出しているはずですが、この状態が当てはまる場合、処置は不要です。これらの理由以外で接続がクローズした場合、その近隣がエラーになっています。

---

### BGP6.010

**レベル:** U-INFO

**短構文:** BGP6.010 Reinit BGP6 conn to *neighbor*

**長構文:** BGP6.010 Reinitialize the BGP6 connection to neighbor *neighbor*

**説明:** この近隣への前の接続が打ち切られた場合、スピーカーがその接続を再開します。このメッセージは、この状態が起こった場合に印刷されます。

**原因:** スピーカーが、最初の障害が起きた後に、この近隣への接続を再初期化しています。

**処置:** なし。ただし、これが近隣への接続がない場合に多く発生する場合は除きます。

---

### BGP6.011

**レベル:** U-INFO

**短構文:** BGP6.011 Conn to *neighbor* clsg with no notify

**長構文:** BGP6.011 Connection to neighbor *neighbor* closing with no notification

**説明:** おそらく、相手方から受け取った NOTIFICATION メッセージへの応答として、ルーターが、通知を送信せずに、近隣への BGP6 接続をクローズしています。

---

### BGP6.012

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** BGP6.012 No conn listen can be done

**長構文:** BGP6.012 No connection listen can be done

**説明:** 何らかの理由で、スピーカーが listen を出すことができません。

**原因:** おそらく、TCP サブシステム内に内部エラーがあります。また、ルーターの記憶域が不足している可能性もあります。

**処置:** 記憶域不足になっているかチェックします。記

憶域が不足している場合は、記憶域の使用率について、BGP6 構成統計をチェックします。近隣接続の数が多い場合、記憶域の使用量が著しく増加します。

---

### BGP6.013

レベル: UI-ERROR

短構文: BGP6.013 TCP open fail to *neighbor*

長構文: BGP6.013 TCP open failure to BGP6 neighbor *neighbor*

説明: BGP6 スピーカーが、近隣からの接続要求を受け取るために、tcp\_listen 要求を開始しています。このメッセージは、この機能の呼び出しが失敗であった場合に印刷されます。

原因: TCP サブシステムへのオープンが失敗しました。

処置: 重大な問題です。ルーターが使用できるヒープ記憶域の量をチェックしてください。

---

### BGP6.014

レベル: U-INFO

短構文: BGP6.014 Conn timer fired for *neighbor*

長構文: BGP6.014 Connection timer fired for neighbor *neighbor*

説明: このスピーカーからこの近隣への接続を活動化する試みを続行するために、接続タイマーが使用されています。このタイマーのファイヤーが原因で、スピーカーが、前の tcp\_open を取り止め、別の tcp\_open を出しています。

原因: 接続タイマーは、指定時間内に完了した近隣接続がなかったためにファイヤーしました。

処置: なし。接続処理は、近隣への接続が完了するまで続行します。

---

### BGP6.015

レベル: U-INFO

短構文: BGP6.015 conn to *neighbor* open on sprt *sourceport dprt destinationport*

長構文: BGP6.015 connection to neighbor *neighbor* open on soure port *sourceport* destination port *destinationport*

説明: この近隣のこの接続に関する OPEN メッセージを受け取りました。

原因: その近隣への接続が正常に完了しました。

処置: なし。これは、通知メッセージです。

---

### BGP6.016

レベル: U-INFO

短構文: BGP6.016 OPEN sent to *neighbor*

長構文: BGP6.016 OPEN message sent to neighbor *neighbor*

説明: 接続がオープンされたときに、スピーカーは近隣に OPEN メッセージを送信します。このメッセージはこれが行われたときに印刷されます。

原因: これは、接続処理の一部です。

処置: なし。これは、通知メッセージです。

---

### BGP6.017

レベル: UI-ERROR

短構文: BGP6.017 Bad msg len from *neighbor* sprt *sourceport dprt destinationport*

長構文: BGP6.017 Bad message length received from neighbor *neighbor* source port *sourceport* destination port *destinationport*

説明: メッセージを受け取ったときに、そのメッセージの長さがチェックされています。このメッセージは、受信されたメッセージの長さが予期されていたメッセージ・ヘッダー・サイズより短い場合に印刷されます。

原因: おそらく、この原因は、スピーカー側または近隣側のソフトウェアに、何らかの装置ドライバー・エラーまたは損傷があることだと思われます。

処置: これが、他の近隣の場合にも起こるか確認します。起こる場合は、このルーターに何らかの問題がある疑いがあります。そうでない場合、該当の近隣に問題があると思われます。これは重大なエラーです。多くのソースからの情報が必要になる可能性があります。

---

### BGP6.018

レベル: U-INFO

短構文: BGP6.018 Resending OPEN message to *neighbor* without capabilities negotiation.

長構文: BGP6.018 Resending OPEN message to *neighbor* without capabilities negotiation.

説明: BGP6 対等機能が初期 OPEN に対して非サポート機能を示す通知で応答した場合は、OPEN は機能折衝オプションなしで再送信されます。

原因: BGP6 対等機能から機能折衝がサポートされない旨の通知を受信しました。

処置: なし。これは、通知メッセージです。



---

### BGP6.019

レベル: UI-ERROR

短構文: BGP6.019 Bad msg type from *neighbor* sprt *sourceport* dprt *destinationport*

長構文: BGP6.019 Bad message type from neighbor *neighbor* source port *sourceport* destination port *destinationport*

説明: BGP メッセージには、OPEN、UPDATE、NOTIFICATION、KEEPALIVE の 4 つのタイプしかありません。このメッセージは、メッセージのタイプが予期していたものとは異なる場合に印刷されます。

原因: メッセージ・タイプは、BGP 情報のもっとも基本的な部分の 1 つであるので、メッセージの誤りに起因するものと思われます。

処置: これが、他の近隣の場合にも起こるか確認します。起こる場合は、このルーターに何らかの問題がある疑いがあります。そうでない場合、該当の近隣に問題があると思われます。これは重大なエラーです。多くのソースからの情報が必要になる可能性があります。

---

### BGP6.020

レベル: U-INFO

短構文: BGP6.020 BGP6 init

長構文: BGP6.020 BGP6 initialization

説明: このメッセージは、BGP6 が使用可能になったときに印刷されます。

---

### BGP6.021

レベル: U-INFO

短構文: BGP6.021 No capabilities option received from neighbor *neighbor*

長構文: BGP6.021 No capabilities option received from neighbor *neighbor*

説明: BGP6 は、OPEN 上で IPv6 のサポートを指定する機能オプション・パラメーターを受信することを予定します。相互操作性のために、機能オプションが送信されない場合でも接続は受諾されます。

原因: 機能オプション・パラメーターがありません。

処置: なし。

---

### BGP6.022

レベル: U-INFO

短構文: BGP6.022 Conn Cls to *neighbor*; clsg with notify cease

長構文: BGP6.022 Closing connection to neighbor *neighbor* with notification cease

説明: ユーザーが近隣ノードを使用不可にしたので、このメッセージが出ました。

原因: ユーザーが近隣ノードを使用不可にしたので、このメッセージが出ました。

処置: なし。

---

### BGP6.023

レベル: U-INFO

短構文: BGP6.023 Nbr *neighbor* disabled or deleted

長構文: BGP6.023 Neighbor *neighbor* is disabled or deleted

説明: 近隣レコードは見付かりましたが、近隣が使用不可であるか、削除されています。

原因: ユーザーが近隣ノードを使用不可にしたか、または削除しました。

処置: なし。

---

### BGP6.024

レベル: UI-ERROR

短構文: BGP6.024 Attr len too long from *neighbor*, len *length*

長構文: BGP6.024 Attribute length too long from neighbor *neighbor*, length *length*

説明: パス属性の長さが、ヘッダー内の長さより長くなっています。

原因: スピーカーまたは近隣が、そのメッセージをわい曲してしまいました。

処置: ユーザーは、スピーカーまたは近隣でデータ汚損があることを疑う必要があります。リンクの品質を検査してください。

---

### BGP6.025

レベル: UI-ERROR

短構文: BGP6.025 mand attr without trans bit set from *neighbor*, attr *attribute\_type*

長構文: BGP6.025 mandatory attribute without transitive

bit set from neighbor *neighbor*, attribute type *attribute\_type*

**説明:** 近隣が、非移行ビット・セットを含む必須属性を送信しました。これは、仕様に違反しています。

**原因:** これは、プロトコルについて非常に基本的な部分であるために、ユーザーは、近隣またはスピーカーにデータ汚損があることを疑う必要があります。

**処置:** ユーザーは、スピーカーまたは近隣でデータ汚損があることを疑う必要があります。リンクの品質を検査してください。

---

### BGP6.026

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** BGP6.026 Mand attr with partial bit set from *neighbor*, attr *attribute\_type*

**長構文:** BGP6.026 Mandatory attribute with partial bit set from neighbor *neighbor*, attribute type *attribute\_type*

**説明:** 近隣が、部分的ビット・セットを含む必須属性を送信しました。これは、仕様に違反しています。

**原因:** これは、プロトコルについて非常に基本的な部分であるために、ユーザーは、近隣またはスピーカーにデータ汚損があることを疑う必要があります。

**処置:** ユーザーは、スピーカーまたは近隣でデータ汚損があることを疑う必要があります。リンクの品質を検査してください。

---

### BGP6.027

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** BGP6.027 Opt non-trans attr with partial bit set from *neighbor*, attr *attribute\_type*

**長構文:** BGP6.027 Optional non-transitive attribute with partial bit set from neighbor *neighbor*, attribute *attribute\_type*

**説明:** 近隣が、部分的ビット・セットを含む任意選択属性を送信しました。これは、仕様に違反しています。

**原因:** これは、基本的なプロトコル違反であり、ユーザーは、近隣またはスピーカー内にデータ汚損があることを疑う必要があります。

**処置:** ユーザーは、スピーカーまたは近隣でデータ汚損があることを疑う必要があります。リンクの品質を検査してください。

---

### BGP6.028

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** BGP6.028 Origin path attr with bad len from *neighbor*, len *length*

**長構文:** BGP6.028 Origin path attribute has bad length from neighbor *neighbor*, length *length*

**説明:** 起点属性の長さは 1 バイトでなければなりませんが、この属性の長さは 1 バイトではありません。

**原因:** これは、基本的なプロトコル違反であり、ユーザーは、近隣またはスピーカー内にデータ汚損があることを疑う必要があります。

**処置:** ユーザーは、スピーカーまたは近隣でデータ汚損があることを疑う必要があります。リンクの品質を検査してください。

---

### BGP6.029

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** BGP6.029 Origin path attr with bad type from *neighbor*, origin *origin\_type*

**長構文:** BGP6.029 Origin path attribute with bad type from neighbor *neighbor*, origin *origin\_type*

**説明:** 起点属性に、識別されない起点タイプがあります。

**原因:** これは、基本的なプロトコル違反です。

**処置:** BGP の指定に従っているルーターを使用してください。

---

### BGP6.030

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** BGP6.030 Dupl AS in path attr from *neighbor*, pathlen *AS\_path\_length*

**長構文:** BGP6.030 Duplicate AS in path attribute from neighbor *neighbor*, path length *AS\_path\_length*

**説明:** 近隣が AS パス属性を送信しましたが、それが重複しています。

**原因:** AS パス属性にループがあり、そのことは、AS が重複していることにより判明されています。スピーカーは、重複した AS を持つパスを公示してはなりません。

**処置:** データ汚損によって重複が生じた可能性はほとんどありません。近隣に問題がある可能性があります。これは、BGP の中心的な機能であるため、近隣が欠陥のあるプロトコルによって作動している可能性があり、訂正が必要です。

---

**BGP6.031**

レベル: UI-ERROR

短構文: BGP6.031 Bad next hop attr len from *neighbor*, len *length*

長構文: BGP6.031 Next hop attribute with bad length from neighbor *neighbor*, length *length*

説明: ネクスト・ホップは、IP アドレスの長さでなければなりません、この属性の長さが間違っています。

原因: 近隣がネクスト・ホップ属性を送信しましたが、その長さが間違っています。この原因はデータ汚損である可能性があります。

処置: 長さフィールドが完全にわい曲されている場合、スピーカーまたは近隣にデータ汚損がある疑いがあります。長さフィールドが 1 バイトだけオフになっている場合、近隣によるプロトコル違反の疑いがあります。

---

**BGP6.032**

レベル: UI-ERROR

短構文: BGP6.032 Bad next hop attr from *neighbor*, next hop *next\_hop\_attribute*

長構文: BGP6.032 Bad next hop attribute from neighbor *neighbor*, next hop *next\_hop\_attribute*

説明: ネクスト・ホップ属性の長さは正しいのですが、正しくないと判別されました。

原因: 近隣がネクスト・ホップ・アドレスを送信しましたが、それは、こちら側のアドレスまたはサブネット・アドレスです。

処置: そのアドレスがこちら側のアドレスである場合、近隣は、完全にプロトコル違反を犯しています。そのアドレスがサブネット・アドレスである場合、近隣が違反を犯している可能性があります。

---

**BGP6.033**

レベル: UI-ERROR

短構文: BGP6.033 Bad mult exit disc attr len from *neighbor*, len *length*

長構文: BGP6.033 Bad mult exit disc attribute length from neighbor *neighbor*, length *length*

説明: mult exit disc 属性の長さが間違っています。

原因: 近隣が mult exit disc 属性を送信しましたが、その長さが間違っています。

処置: 予期していた長さと実際に受け取った長さとの間の差が大きい場合、スピーカーまたは近隣にデータ汚

損の疑いがあります。長さの差が 1 だけである場合、近隣がプロトコル違反を犯している可能性があります。

---

**BGP6.034**

レベル: UI-ERROR

短構文: BGP6.034 Bad local pref attr len from *neighbor*, len *length*

長構文: BGP6.034 Local preference attribute has bad length from neighbor *neighbor*, length *length*

説明: ローカル優先属性の長さが間違っています。

原因: 近隣がローカル優先を送信しましたが、その長さが間違っています。

処置: 予期していた長さと実際に受け取った長さとの間の差が大きい場合、スピーカーまたは近隣にデータ汚損の疑いがあります。長さの差が 1 だけである場合、近隣がプロトコル違反を犯している可能性があります。

---

**BGP6.035**

レベル: UI-ERROR

短構文: BGP6.035 Bad atom aggr attr len from *neighbor*, len *length*

長構文: BGP6.035 Atomic aggregate attribute has bad length from neighbor *neighbor*, length *length*

説明: 原子集合属性の長さは 0 でなければなりません、0 以外の長さになっていました。

原因: 近隣が、間違ってフォーマットされた原子集合属性を送信しました。

処置: 予期していた長さと実際に受け取った長さとの間の差が大きい場合、スピーカーまたは近隣にデータ汚損の疑いがあります。長さの差が 1 だけである場合、近隣がプロトコル違反を犯している可能性があります。

---

**BGP6.036**

レベル: UI-ERROR

短構文: BGP6.036 Bad aggr attr len from *neighbor*, len *length*

長構文: BGP6.036 Aggregator attribute has bad length from neighbor *neighbor* length *length*

説明: 集合属性の長さが間違っています。

原因: 近隣が集合属性を送信しましたが、その長さが間違っています。

処置: 予期していた長さと実際に受け取った長さとの間の差が大きい場合、スピーカーまたは近隣にデータ汚損の疑いがあります。長さの差が 1 だけである場合、

近隣がプロトコル違反を犯している可能性があります。

---

#### BGP6.037

レベル: UI-ERROR

短構文: BGP6.037 Bad hold tim val *timer\_value* from *neighbor*

長構文: BGP6.037 Received bad hold timer value *timer\_value* from neighbor *neighbor*

説明: スピーカーが受信した OPEN メッセージが、受諾できない保留タイマー値を持っています。

原因: 近隣が送信した OPEN メッセージが、誤った保留タイマー値を持っています。

処置: BGP の指定に従っているルーターを使用してください。

---

#### BGP6.038

レベル: P-TRACE

短構文: BGP6.038 Withdraw NLRI *destination\_net* len *destination\_mask\_len* updt for nbr *neighbor*

長構文: BGP6.038 Withdraw NLRI *destination\_net* len *destination\_mask\_len* UPDATE for neighbor *neighbor*

説明: ネットワーク・レイヤー到達可能性情報が、新しい UPDATE メッセージ内で、この近隣用に構築されている実行不可能経路のリストに追加されました。

---

#### BGP6.039

レベル: UI-ERROR

短構文: BGP6.039 Unrecog well knwn attr from *neighbor*, attr *attribute\_type*

長構文: BGP6.039 Unrecognized well-known attribute from neighbor *neighbor*, attribute *attribute\_type*

説明: 定式属性が認識できないものです。

原因: 近隣が、認識できない定式属性を送信しました。

処置: これは基本的なプロトコル違反となるので、ユーザーは、スピーカーまたは近隣にデータ汚損があることを疑う必要があります。

---

#### BGP6.040

レベル: UI-ERROR

短構文: BGP6.040 Dupl attr from *neighbor*, attr *attribute\_type*

長構文: BGP6.040 Multiple attributes from neighbor

*neighbor*, attribute *attribute\_type*

説明: UPDATE メッセージ内に重複したパス属性が見つかりました。

原因: 近隣が、重複したパス属性を含む UPDATE メッセージを送信しました。

処置: これはプロトコル違反なので、その近隣をチェックする必要があります。

---

#### BGP6.041

レベル: P-TRACE

短構文: BGP6.041 Add NLRI *destination\_net* len *destination\_mask\_len* updt for nbr *neighbor*

長構文: BGP6.041 Add NLRI *destination\_net* len *destination\_mask\_len* UPDATE for neighbor *neighbor*

説明: 新しいネットワーク・レイヤー到達可能性情報が、新しい UPDATE メッセージ内で、この近隣用に構築されている、特定の属性リストに関連した NLRI のリストに追加されました。

---

#### BGP6.042

レベル: UI-ERROR

短構文: BGP6.042 No NLRI in UPDATE from *neighbor*

長構文: BGP6.042 No Network Layer Routing Information in UPDATE from neighbor *neighbor*

説明: UPDATE メッセージに、ネットワーク・レイヤー・ルーティング情報がありませんでした。

原因: 近隣が、パス属性は含んでいるが、ルーティング情報は含んでいない UPDATE メッセージを送信しました。

処置: 近隣に、プロトコル違反があるかどうかをチェックする必要があります。

---

#### BGP6.043

レベル: U-INFO

短構文: BGP6.043 NLRI *NLRI* rejected by receive policy from *neighbor*

長構文: BGP6.043 Network Layer Routing Information *NLRI* rejected by receive policy from neighbor *neighbor*

説明: パス属性によって記述されているネットワーク・レイヤー・ルーティング情報が、ポリシーの適用後に拒否されました。

原因: ポリシー構成コマンドが原因で、パス属性によって記述されたこの NLRI が拒否されました。

**処置:** なし。ただし、この NLRI が組み込まれている場合を除きます。

---

#### BGP6.044

**レベル:** U-INFO

**短構文:** BGP6.044 New or updted RIB entry *NLRI* from *neighbor*

**長構文:** BGP6.044 New or updated RIB entry *NLRI* from neighbor *neighbor*

**説明:** NLRI はすでにフィルターを通過して、ルーティング情報ベースに入れられています。

**原因:** 近隣が、受信ポリシー規則の定義によって受け入れられている NLRI およびパスを含む UPDATE メッセージを送信しました。

**処置:** なし。ただし、この NLRI が除外されていない場合を除きます。

---

#### BGP6.045

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** BGP6.045 Bad aggregate net *aggregate\_net* mask *aggregate\_mask*

**長構文:** BGP6.045 Bad aggregate net *aggregate\_net* mask *aggregate\_mask*

**説明:** ルーターが使用できない集合体が構成されました。これは、おそらく構成の間違いです。この集合体は無視されます。

---

#### BGP6.046

**レベル:** U-INFO

**短構文:** BGP6.046 Notify rcvd from *neighbor*, err *error\_code*: *sub\_code*

**長構文:** BGP6.046 Notify received from *neighbor*, error code *error\_code*, subcode *sub\_code*

**説明:** 近隣から NOTIFICATION メッセージを受け取りました。これによって、BGP6 接続は打ち切れ、通常、何らかのエラーが示されます。エラー・コードおよびサブコードは、BGP 仕様の中で見つけることができます。それにより、この通知の正確な理由が分かります。

---

#### BGP6.047

**レベル:** U-INFO

**短構文:** BGP6.047 Accept dest *destination* from IP fw *tbl*

**長構文:** BGP6.047 Destination *destination* from IP forwarding table included

**説明:** スピーカーが、内部ポリシーの指示に従い、このあて先を組み込んだところです。

**原因:** 内部ポリシーは、あて先を特定して組み込むことができます。

**処置:** なし。ただし、内部ポリシーがこのあて先を除外していなければならない場合は除きます。

---

#### BGP6.048

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** BGP6.048 BGP6 spkr unable to get mem

**長構文:** BGP6.048 BGP6 speaker unable to get memory

**説明:** BGP6 が、必要な記憶域を割り振ることができませんでした。BGP6 は、このために実行できません。

**原因:** ヒープ記憶域が不足しています。おそらく記憶域を大量に必要とする実行中の転送機能/プロトコルの数が多過ぎるためです。

**処置:** 不必要な転送機能/プロトコルを使用不可にするか、記憶域を増やしてください。

---

#### BGP6.049

**レベル:** U-INFO

**短構文:** BGP6.049 Closing conn to *neighbor* sprt *sourceport* dprt *destinationport*; conn collision

**長構文:** BGP6.049 closing connection to neighbor *neighbor* source port *sourceport* destination port *destinationport* because of connection collision

**説明:** BGP6 が、接続衝突のために、この近隣への重複接続を除去しています。

**原因:** 最初の近隣接続の確立時には、複数の TCP 接続を形成することができます。

**処置:** なし。衝突は発生する可能性があり、BGP RFC が、どの接続が勝つかを判別するための手順を記述しません。

---

#### BGP6.050

**レベル:** U-INFO

**短構文:** BGP6.050 UPDATE(s) sent to *neighbor*, len *message\_length*

**長構文:** BGP6.050 UPDATE(s) sent to neighbor *neighbor*, length *message\_length*

**説明:** 1 つまたは複数の BGP6 UPDATE メッセージが、示されている近隣に対し待ち行列化されています。



これは、トポロジー変更時にのみ起こります。UPDATE  
メッセージの全部を合わせた長さは表示されます。

---

#### BGP6.051

レベル: UI-ERROR

短構文: BGP6.051 Unexp event; nbr *neighbor* ev *event*  
st *state*

長構文: BGP6.051 Unexpected event; neighbor *neighbor*  
event *event* state *state*

説明: この BGP6 の実施で処理されない事象が発生し  
ました。これは、ソフトウェア・エラーを示し、サービ  
ス技術員に報告する必要があります。

原因: 説明を参照

処置: 説明を参照

---

#### BGP6.052

レベル: U-INFO

短構文: BGP6.052 UPDATE rcvd from *neighbor*, len  
*message\_length*

長構文: BGP6.052 UPDATE received from neighbor  
*neighbor*, length *message\_length*

説明: 示されている長さの BGP6 UPDATE メッセージ  
を、示されている近隣から受け取りました。これは、何  
らかのトポロジー変更を示します。

---

#### BGP6.053

レベル: U-INFO

短構文: BGP6.053 Del BGP6 route to *network*

長構文: BGP6.053 Deleted BGP6 route to network  
*network*

説明: 示されているネットワークへの BGP6 経路がも  
はや無効であり、IP ルーティング・テーブルから削除  
されています。

---

#### BGP6.054

レベル: U-INFO

短構文: BGP6.054 BGP6 state change; nbr *neighbor* ev  
event *oldst* *oldstate* *newst* *newstate*

長構文: BGP6.054 BGP6 state change; neighbor  
*neighbor* event *event* old state *oldstate* new state *newstate*

説明: この近隣への接続の状態が、変更されたところ  
です。

---

#### BGP6.055

レベル: UI-ERROR

短構文: BGP6.055 Ext nbr *neighbor* not on cmn net

長構文: BGP6.055 External neighbor *neighbor* is not on  
common network

説明: 外部近隣は、ルーターと共通ネットワークを共  
用しなければなりません。そうしなければ、その近隣は  
無視されます。共通ネットワーク上の近隣のアドレス  
は、"BGP6 Config> add neighbor" コマンドで構成する  
必要があります。

原因: おそらく、近隣の共通ネットワーク・アドレス  
が構成されていません。

処置: 近隣のアドレスの構成を検査してください。

---

#### BGP6.056

レベル: U-INFO

短構文: BGP6.056 OPEN rcvd from *neighbor*

長構文: BGP6.056 OPEN received from neighbor  
*neighbor*

説明: 示されている近隣から、BGP6 OPEN メッセー  
ジを受け取りました。これは、その近隣が、会話を開始  
することを希望していることを示します。

---

#### BGP6.057

レベル: P-TRACE

短構文: BGP6.057 KEEPALIVE rcvd from *neighbor*

長構文: BGP6.057 KEEPALIVE received from neighbor  
*neighbor*

説明: 示されている近隣から、BGP6 KEEPALIVE メッ  
セージを受け取りました。これらのメッセージは、  
BGP6 接続がいまだ有効であることを確認するために、  
定期的を送受信されます。

---

#### BGP6.058

レベル: U-INFO

短構文: BGP6.058 Notify sent to *neighbor*

長構文: BGP6.058 Notify sent to *neighbor*

説明: NOTIFICATION メッセージが近隣に送信されま  
した。これによって、BGP6 接続は打ち切られ、回復不  
可能エラー (おそらく、近隣から受け取ったデータが間  
違っていた) が検出されたことが示されます。前に表示  
された ELS メッセージが、そのエラーの正確な内容を  
示します。

---

**BGP6.059**

レベル: P-TRACE

短構文: BGP6.059 KEEPALIVE sent to *neighbor*

長構文: BGP6.059 KEEPALIVE sent to neighbor  
*neighbor*

説明: BGP6 KEEPALIVE メッセージが、示されている近隣に送信されました。これらのメッセージは、BGP6 接続がまだ有効であることを確認するために、定期的 に送受信されます。

---

**BGP6.060**

レベル: U-INFO

短構文: BGP6.060 Couldn't add net *network* mask *mask*

長構文: BGP6.060 Couldn't add network *network* mask  
*mask* to routing table

説明: ルーターが、そのルーティング・テーブルへの BGP6 UPDATE メッセージの中で受け取ったネットワークを追加することができません。これは、ルーティング・テーブルの桁あふれのため、あるいはネットワーク番号の形式が間違っているための、いずれかによるものです。

---

**BGP6.061**

レベル: U-INFO

短構文: BGP6.061 No mem for UPDATE to *neighbor*

長構文: BGP6.061 No memory for UPDATE to  
neighbor *neighbor*

説明: ピアへ UPDATE メッセージを送信するための記憶域を獲得できません。ルーターは再試行を続けます。メッセージが続けて出される場合、ルーターの使用可能記憶域が不足している可能性があります。

---

**BGP6.062**

レベル: UI-ERROR

短構文: BGP6.062 Rej nbr *neighbor*, not in nbr tbl

長構文: BGP6.062 External neighbor *neighbor* is not in  
the neighbor table

説明: 外部近隣が、このスピーカーと BGP6 接続を確立しようと試みていますが、そのスピーカーは、構成内にその近隣を含んでいません。

原因: 近隣のパラメーターが、両方のスピーカー内で構成されていません。

処置: 両方のスピーカー内の近隣構成をチェックします。

---

**BGP6.063**

レベル: U-INFO

短構文: BGP6.063 Pasv conn exists for *neighbor*; new  
pasv conn closed

長構文: BGP6.063 Passive connection already exists for  
neighbor *neighbor*; new passive connection is closed

説明: この近隣の受動 TCP 接続がすでに存在していますが、その近隣が別の受動接続の確立を試みましたが、新しい接続はクローズされます。

---

**BGP6.064**

レベル: UI-ERROR

短構文: BGP6.064 Hold tmr exp for *neighbor* clng  
conn

長構文: BGP6.064 Hold timer expired for neighbor  
*neighbor*; closing connection

説明: この近隣から KEEPALIVE メッセージを受け取りませんでした。そのため、KEEPALIVE タイマーが満了となり、接続はクローズされます。

原因: 説明を参照

処置: 近隣がアップしており、BGP を実行していることを確認します。

---

**BGP6.065**

レベル: UI-ERROR

短構文: BGP6.065 Attr addr family not supported from  
*neighbor*, af *address\_family*

長構文: BGP6.065 Attribute address family not  
supported from neighbor *neighbor*, af *address\_family*

説明: MP\_REACH\_NLRI または MP\_UNREACH\_NLRI 属性中のアドレス・ファミリーはサポートされていません。

原因: スピーカーまたは近隣が、そのメッセージをわい曲してしまいました。

処置: ユーザーは、スピーカーまたは近隣でデータ汚損があることを疑う必要があります。リンクの品質を検査してください。



---

**BGP6.066**

レベル: U-INFO

短構文: BGP6.066 Send NLRI *NLRI* rejected by policy for neighbor *neighbor*

長構文: BGP6.066 Send NLRI *NLRI* rejected by policy for neighbor *neighbor*

説明: ネットワーク・レイヤー・ルーティング情報は、送信ポリシー規則によりこの近隣には送信されません。

原因: 送信ポリシーの適用は、NLRI のこの近隣への非送信の結果を生じました。

処置: なし。ただし、この NLRI が送信されている場合を除きます。



---

## 第20章 ブリッジ・ルーティング (BR)

この章では、ブリッジ・ルーティング (BR) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### BR.001

レベル: C-INFO

短構文: BR.001 *source\_mac-> dest\_mac* drp, port block/list, nt *network*

長構文: BR.001 Frame from *source\_mac* to *dest\_mac* dropped, received on blocked or listening port, network *network*

説明: MAC フレームがハードウェアによって受信されましたが、廃棄されている最中です。受信が行われたポートが "閉そく" 状態または "listen" 状態のためです。フレームが処理されるのは、ポートが "確認" 状態または "転送" 状態のときだけです。

原因: ポートの立ち上げ時には正常

処置: ポートが "確認" 状態および "転送" 状態に遷移するのを待ちます。

---

### BR.002

レベル: P-TRACE

短構文: BR.002 *source\_mac-> dest\_mac* drp, dst same LAN, nt *network*

長構文: BR.002 Frame from *source\_mac* to *dest\_mac* dropped, destination on same LAN, network *network*

説明: MAC フレームを受信しましたが、そのあて先アドレスが、ブリッジのパケットが来た側と同じ側にあります。ブリッジする必要がないので、フレームはフィルター論理によって廃棄されます。パフォーマンス上の理由から、この事象は ELS によってカウントされません。カウンターが ASRT に保持されており、ASRT>LIST SOURCE-ROUTE COUNTERS および ASRT>LIST TRANSPARENT COUNTERS コマンドの "Dropped, dest addr filtering" 項目です。

原因: ネットワーク上の通常のローカル・トラフィック

---

### BR.003

レベル: UE-ERROR

短構文: BR.003 *source\_mac-> dest\_mac*, brdg encap for rout prot IPX (802.3), drp, nt *network*

長構文: BR.003 Frame from *source\_mac* to *dest\_mac*, WAN bridge encapsulation for routed protocol IPX (802.3), dropped, network *network*

説明: WAN インターフェースを介してイーサネット・ブリッジ・カプセルに入ったフレームを受信しましたが、このノードで、IPX プロトコル (802.3 カプセル内の) は経路指定されます。

原因: ローカル・ノードまたはリモート・ノードにおける、WAN リンクを介して特定プロトコルをブリッジするか、経路指定するかについての構成エラー

処置: 特定のプロトコルをブリッジするか、経路指定するかについては、WAN リンク上のすべてのホストで一致していなければなりません。適切に再構成してください。

---

### BR.004

レベル: P-TRACE

短構文: BR.004 *source\_mac-> dest\_mac* prt IPX (802.3) filt, drp, nt *network*

長構文: BR.004 Frame from *source\_mac* to *dest\_mac*, protocol IPX (802.3) filtered, dropped, network *network*

説明: IPX プロトコル (802.3 カプセル内) のフレームを受信しましたが、IPX プロトコルは、ブリッジによって管理されてフィルター処理されています。フレームは廃棄されます。

原因: フィルター処理されるプロトコルのフレームを受信

---

### BR.005

レベル: P-TRACE

短構文: BR.005 *source\_mac-> dest\_mac* SNAP *protocol\_identifier* filt, drp, nt *network*

長構文: BR.005 Frame from *source\_mac* to *dest\_mac*, IEEE 802 SNAP Protocol Identifier *protocol\_identifier* filtered, dropped, network *network*

説明: 指定の IEEE 802 サブネットワーク・アクセス・プロトコル (SNAP) プロトコル識別子 (PID) のフレームを受信しましたが、この PID はブリッジによ

て管理されてフィルター処理されます。フレームは廃棄されます。

**原因:** フィルター処理されるプロトコルのフレームを受信

---

#### BR.006

**レベル:** U-TRACE

**短構文:** BR.006 Unreg dst *source\_mac*-> *dest\_mac* SNAP *protocol\_identifier*, drp, nt *network*

**長構文:** BR.006 Frame from *source\_mac* to unregistered destination MAC address *dest\_mac*, IEEE 802 SNAP Protocol Identifier *protocol\_identifier*, dropped, network *network*

**説明:** 使用可能であるプロトコルに一致する、IEEE 802 サブネットワーク・アクセス・プロトコル (SNAP) プロトコル識別子 (PID) のフレームを受信しましたが、あて先 MAC アドレスがブリッジに登録されていません。フレームは廃棄されます。

**原因:** *dest\_mac* がユニキャスト・アドレスの場合、LAN 上のステーションがこのプロトコル用のフレームを、間違ったネクスト・ホップ MAC アドレスに送信しています。

**処置:** リモート・ステーションの処置を訂正してください。

**原因:** *dest\_mac* がマルチキャスト・アドレスの場合、LAN 上のステーションが、フレームを間違ったマルチキャスト・アドレスにか、あるいは、おそらくこのルーターが使用可能にしていないあて先アドレスだけに送信しています。プロトコルによって、これはエラーである場合と、エラーでない場合があります。

**処置:** 必要な場合には、リモート・ステーションの処置を訂正してください。

---

#### BR.007

**レベル:** P-TRACE

**短構文:** BR.007 *source\_mac*-> *dest\_mac* SNAP *protocol\_identifier*, endnode, nt *network*

**長構文:** BR.007 Frame from *source\_mac* to *dest\_mac*, IEEE 802 SNAP Protocol Identifier *protocol\_identifier* for endnode protocol, network *network*

**説明:** エンド・ノード・プロトコルに一致する、IEEE 802 サブネットワーク・アクセス・プロトコル (SNAP) プロトコル識別子 (PID) 用のマルチキャスト・フレームを受信しました。フレームは、エンド・ノード・プロトコルによってブリッジされ、ローカル処理されます。

---

#### BR.008

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** BR.008 *source\_mac*-> *dest\_mac*, brdg encaps for rout SNAP *protocol\_identifier*, drp, nt *network*

**長構文:** BR.008 Frame from *source\_mac* to *dest\_mac*, WAN bridge encapsulation for routed IEEE 802 SNAP Protocol Identifier *protocol\_identifier*, dropped, network *network*

**説明:** WAN インターフェースを介して、ブリッジ・カプセル化された IEEE 802.2 フレームを受信しましたが、その IEEE 802 サブネットワーク・アクセス・プロトコル (SNAP) プロトコル識別子 (PID) は、このノードで経路指定されています。フレームは廃棄されます。

**原因:** ローカル・ノードまたはリモート・ノードにおける、WAN リンクを介して特定プロトコルをブリッジするか、経路指定するかについての構成エラー

**処置:** 特定のプロトコルをブリッジするか、経路指定するかについては、WAN リンク上のすべてのホストで一致していなければなりません。適切に再構成してください。

---

#### BR.009

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** BR.009 BPDU *source\_mac*-> *dest\_mac*, wrng dst, drp, nt *network*

**長構文:** BR.009 IEEE 802.1D BPDU *source\_mac* to *dest\_mac*, wrong destination, dropped, network *network*

**説明:** IEEE 802.1D ブリッジ・プロトコル・データ単位 (BPDU) を、間違ったあて先アドレスで受信しました。これは、特定のマルチキャスト・アドレスあてに送られるものと思われます。BPDU は廃棄されます。

**原因:** リモート・ノードでのプログラム・エラー

**処置:** リモート・ノードのソフトウェアを訂正してください。

**原因:** ノードは、IBM トークンリング専用のソース・ルーティング・スパンニング・ツリー・プロトコルを示していますが、これが BPDU に非標準のあて先アドレスを使用している。

**処置:** メッセージを無視するか、ソース・ルーティング・ノードを再構成します。

---

**BR.010**

レベル: P-TRACE

短構文: BR.010 *source\_mac-> dest\_mac* DSAP *destination\_service\_access\_point* filt, drp, nt *network*

長構文: BR.010 Frame from *source\_mac* to *dest\_mac*, IEEE 802.2 DSAP *destination\_service\_access\_point* filtered, dropped, network *network*

説明: 指定の IEEE 802.2 あて先サービス・アクセス点 (DSAP) 用のフレームを受信しましたが、この DSAP はブリッジによって管理されてフィルター処理されます。フレームは廃棄されます。

原因: フィルター処理されるプロトコルのフレームを受信

---

**BR.011**

レベル: U-TRACE

短構文: BR.011 Unreg dst *source\_mac-> dest\_mac* DSAP *destination\_service\_access\_point*, drp, nt *network*

長構文: BR.011 Frame from *source\_mac* to unregistered destination MAC address *dest\_mac*, IEEE 802.2 DSAP *destination\_service\_access\_point*, dropped, network *network*

説明: 使用可能プロトコルに一致する、IEEE 802.2 あて先サービス・アクセス点 (DSAP) 用のフレームを受信しましたが、あて先 MAC アドレスがブリッジに登録されていません。フレームは廃棄されます。

原因: *dest\_mac* がユニキャスト・アドレスの場合、LAN 上のステーションがこのプロトコル用のフレームを、間違えたネクスト・ホップ MAC アドレスに送信しています。

処置: リモート・ステーションの処置を訂正してください。

原因: *dest\_mac* がマルチキャスト・アドレスの場合、LAN 上のステーションが、フレームを間違えたマルチキャスト・アドレスにか、あるいは、おそらくこのルーターが使用可能にしているあて先アドレスだけに送信しています。プロトコルによって、これはエラーである場合と、エラーでない場合があります。

処置: 必要な場合には、リモート・ステーションの処置を訂正してください。

---

**BR.012**

レベル: P-TRACE

短構文: BR.012 *source\_mac-> dest\_mac* DSAP *destination\_service\_access\_point*, endnode, nt *network*

長構文: BR.012 Frame from *source\_mac* to *dest\_mac*, IEEE 802.2 DSAP *destination\_service\_access\_point* for endnode protocol, network *network*

説明: エンド・ノード・プロトコルに一致する、IEEE 802.2 あて先サービス・アクセス点 (DSAP) 用のマルチキャスト・フレームを受信しました。フレームは、エンド・ノード・プロトコルによってブリッジされ、ローカル処理されます。

---

**BR.013**

レベル: UE-ERROR

短構文: BR.013 *source\_mac-> dest\_mac*, brdg encap for rout DSAP *destination\_service\_access\_point*, drp, nt *network*

長構文: BR.013 Frame from *source\_mac* to *dest\_mac*, WAN bridge encapsulation for routed IEEE 802.2 DSAP *destination\_service\_access\_point*, dropped, network *network*

説明: WAN インターフェースを介して、ブリッジ・カプセル化された IEEE 802.2 フレームを受信しましたが、その IEEE 802.2 あて先サービス・アクセス点 (DSAP) は、このノードで経路指定されています。フレームは廃棄されます。

原因: ローカル・ノードまたはリモート・ノードにおける、WAN リンクを介して特定プロトコルをブリッジするか、経路指定するかに関しての構成エラー

処置: 特定のプロトコルをブリッジするか、経路指定するかについては、WAN リンク上のすべてのホストで一致していなければなりません。適切に再構成してください。

---

**BR.014**

レベル: P-TRACE

短構文: BR.014 *source\_mac-> dest\_mac* Etype *Ethernet\_type* filt, drp, nt *network*

長構文: BR.014 Frame from *source\_mac* to *dest\_mac*, Ethernet type *Ethernet\_type* filtered, dropped, network *network*

説明: 指定のイーサネット・タイプのフレームを受信しましたが、このタイプは、ブリッジによって管理されてフィルター処理されます。フレームは廃棄されます。

原因: フィルター処理されるプロトコルのフレームを受信

---

**BR.015**

レベル: U-TRACE

短構文: BR.015 Unreg dst *source\_mac*-> *dest\_mac*  
Etype *Ethernet\_type*, drp, nt *network*

長構文: BR.015 Frame from *source\_mac* to unregistered destination MAC address *dest\_mac*, Ethernet type *Ethernet\_type*, dropped, network *network*

説明: 使用可能プロトコルに一致する、イーサネット・タイプのフレームを受信しましたが、あて先 MAC アドレスがブリッジに登録されていません。フレームは廃棄されます。

原因: *dest\_mac* がユニキャスト・アドレスの場合、LAN 上のステーションがこのプロトコル用のフレームを、間違ったネクスト・ホップ MAC アドレスに送信しています。

処置: リモート・ステーションの処置を訂正してください。

原因: *dest\_mac* がマルチキャスト・アドレスの場合、LAN 上のステーションが、フレームを間違ったマルチキャスト・アドレスにか、あるいは、おそらくこのルーターが使用可能にしていなくて先アドレスだけに送信しています。プロトコルによって、これはエラーである場合と、エラーでない場合があります。

処置: 必要な場合には、リモート・ステーションの処置を訂正してください。

---

**BR.016**

レベル: P-TRACE

短構文: BR.016 *source\_mac*-> *dest\_mac* Etype *Ethernet\_type*, endnode, nt *network*

長構文: BR.016 Frame from *source\_mac* to *dest\_mac*, Ethernet type *Ethernet\_type* for endnode protocol, network *network*

説明: エンド・ノード・プロトコルに一致する、イーサネット・タイプのマルチキャスト・フレームを受信しました。フレームは、エンド・ノード・プロトコルによってブリッジされ、ローカル処理されます。

---

**BR.017**

レベル: UE-ERROR

短構文: BR.017 *source\_mac*-> *dest\_mac*, brdg encap for rout Etype *Ethernet\_type*, drp, nt *network*

長構文: BR.017 Frame from *source\_mac* to *dest\_mac*, WAN bridge encapsulation for routed Ethernet type *Ethernet\_type*, dropped, network *network*

説明: WAN インターフェースを介して、イーサネット・ブリッジ・カプセル化されたイーサネット・フレームを受信しましたが、そのイーサネット・タイプは、このノードで経路指定されています。フレームは廃棄されます。

原因: ローカル・ノードまたはリモート・ノードにおける、WAN リンクを介して特定プロトコルをブリッジするか、経路指定するかについての構成エラー

処置: 特定のプロトコルをブリッジするか、経路指定するかについては、WAN リンク上のすべてのホストで一致していなければなりません。適切に再構成してください。

---

**BR.018**

レベル: P-TRACE

短構文: BR.018 SR *source\_mac*-> *dest\_mac* DSAP *destination\_service\_access\_point* filt, drp, nt *network*

長構文: BR.018 Source-routed frame from *source\_mac* to *dest\_mac*, IEEE 802.2 DSAP *destination\_service\_access\_point* filtered, dropped, network *network*

説明: 指定の IEEE 802.2 あて先サービス・アクセス点 (DSAP) 用の、ソース・ルーティング・フレームを受信しましたが、この DSAP はブリッジによって管理されてフィルター処理されます。フレームは廃棄されます。

原因: フィルター処理されるプロトコルのフレームを受信

---

**BR.019**

レベル: U-TRACE

短構文: BR.019 SR unreg dst *source\_mac*-> *dest\_mac* DSAP *destination\_service\_access\_point*, drp, nt *network*

長構文: BR.019 Source-routed frame from *source\_mac* to unregistered destination MAC address *dest\_mac*, IEEE 802.2 DSAP *destination\_service\_access\_point*, dropped, network *network*

説明: ソース・ルーティングされたフレームが、使用可能プロトコルに対応する IEEE 802.2 あて先サービス・アクセス・ポイント (DSAP) 用として受信されましたが、あて先 MAC アドレスがブリッジ内で登録されていません。フレームは廃棄されます。

原因: *dest\_mac* がユニキャスト・アドレスの場合、LAN 上のステーションがこのプロトコル用のフレームを、間違ったネクスト・ホップ MAC アドレスに送信しています。



**処置:** リモート・ステーションの処置を訂正してください。

**原因:** `dest_mac` がマルチキャスト・アドレスの場合、LAN 上のステーションが、フレームを間違ったマルチキャスト・アドレスにか、あるいは、おそらくこのルーターが使用可能にしているあて先アドレスだけに送信しています。プロトコルによって、これはエラーである場合と、エラーでない場合があります。

**処置:** 必要な場合には、リモート・ステーションの処置を訂正してください。

---

## BR.020

**レベル:** P-TRACE

**短構文:** BR.020 SR *source\_mac*-> *dest\_mac* DSAP *destination\_service\_access\_point*, endnode, nt *network*

**長構文:** BR.020 Source-routed frame from *source\_mac* to *dest\_mac*, IEEE 802.2 DSAP *destination\_service\_access\_point* for endnode protocol, *network network*

**説明:** エンド・ノード・プロトコルと一致している、IEEE 802.2 あて先サービス・アクセス点 (DSAP) 用の、ソース・ルーティング・マルチキャスト・フレームを受信しました。フレームは、エンド・ノード・プロトコルによってブリッジされ、ローカル処理されます。

---

## BR.021

**レベル:** P-TRACE

**短構文:** BR.021 SR *source\_mac*-> *dest\_mac* SNAP *protocol\_identifier* filt, drp, nt *network*

**長構文:** BR.021 Source-routed frame from *source\_mac* to *dest\_mac*, IEEE 802 SNAP Protocol Identifier *protocol\_identifier* filtered, dropped, *network network*

**説明:** 指定の IEEE 802 サブネットワーク・アクセス・プロトコル (SNAP) プロトコル識別子 (PID) 用のソース・ルーティング・フレームを受信しましたが、この PID は、ブリッジによって管理されてフィルター処理されます。フレームは廃棄されます。

**原因:** フィルター処理されるプロトコルのフレームを受信

---

## BR.022

**レベル:** U-TRACE

**短構文:** BR.022 SR unreg dst *source\_mac*-> *dest\_mac* SNAP *protocol\_identifier*, drp, nt *network*

**長構文:** BR.022 Source-routed frame from *source\_mac*

to unregistered destination MAC address *dest\_mac*, IEEE 802 SNAP Protocol Identifier *protocol\_identifier*, dropped, *network network*

**説明:** ソース・ルーティングされたフレームが、使用可能プロトコルに対応する IEEE 802 サブネットワーク・アクセス・プロトコル (SNAP) プロトコル識別子 (PID) 用として受信されましたが、あて先 MAC アドレスがブリッジ内で登録されていません。フレームは廃棄されます。

**原因:** `dest_mac` がユニキャスト・アドレスの場合、LAN 上のステーションがこのプロトコル用のフレームを、間違ったネクスト・ホップ MAC アドレスに送信しています。

**処置:** リモート・ステーションの処置を訂正してください。

**原因:** `dest_mac` がマルチキャスト・アドレスの場合、LAN 上のステーションが、フレームを間違ったマルチキャスト・アドレスにか、あるいは、おそらくこのルーターが使用可能にしているあて先アドレスだけに送信しています。プロトコルによって、これはエラーである場合と、エラーでない場合があります。

**処置:** 必要な場合には、リモート・ステーションの処置を訂正してください。

---

## BR.023

**レベル:** P-TRACE

**短構文:** BR.023 SR *source\_mac*-> *dest\_mac* SNAP *protocol\_identifier*, endnode, nt *network*

**長構文:** BR.023 Source-routed frame from *source\_mac* to *dest\_mac*, IEEE 802 SNAP Protocol Identifier *protocol\_identifier* for endnode protocol, *network network*

**説明:** エンド・ノード・プロトコルに一致する、IEEE 802 サブネットワーク・アクセス・プロトコル (SNAP) プロトコル識別子 (PID) 用の、ソース・ルーティング・マルチキャスト・フレームを受信しました。フレームは、エンド・ノード・プロトコルによってブリッジされ、ローカル処理されます。

---

## BR.025

**レベル:** P-TRACE

**短構文:** BR.025 *source\_mac*-> *dest\_mac* drp, src add flt, nt *network*

**長構文:** BR.025 Frame from *source\_mac* to *dest\_mac* dropped, source address filtered, *network network*

**説明:** ハードウェアが MAC フレームを受信しましたが、ソース MAC アドレスがブリッジによって管理され



てフィルター処理されます。フレームは廃棄されます。

**原因:** ソース MAC アドレスがあて先フィルターと一致しているフレームを受信

---

#### BR.026

**レベル:** P-TRACE

**短構文:** BR.026 SR *source\_mac-> dest\_mac* drp, dst add flt, nt *network*

**長構文:** BR.026 Frame from *source\_mac* to *dest\_mac* dropped, destination address filtered, network *network*

**説明:** ハードウェアが、ソース・ルーティング MAC フレームを受信しましたが、あて先 MAC がブリッジによって管理されてフィルター処理されます。フレームは廃棄されます。

**原因:** あて先 MAC アドレスがあて先フィルターと一致しているフレームを受信

---

#### BR.027

**レベル:** P-TRACE

**短構文:** BR.027 SR *source\_mac-> dest\_mac* drp, src add flt, nt *network*

**長構文:** BR.027 Frame from *source\_mac* to *dest\_mac* dropped, source address filtered, network *network*

**説明:** ハードウェアが、ソース・ルーティング MAC フレームを受信しましたが、ソース MAC がブリッジによって管理されてフィルター処理されます。フレームは廃棄されます。

**原因:** ソース MAC アドレスがあて先フィルターと一致しているフレームを受信

---

#### BR.028

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** BR.028 No buf for endnode bridge, *source\_mac-> dest\_mac*, nt *network*, not bridged

**長構文:** BR.028 No buffer to copy packet for endnode bridge and process, from *source\_mac* to *dest\_mac*, network *network*, not bridged

**説明:** マルチキャスト・フレームが、ブリッジとローカル処理の両方の対象となるエンド・ノード・プロトコル用として受信されました。バッファが不足していて、フレームのコピーを 2 つ作成して両方のタイプの処理を行うことができなかったため、フレームはブリッジされず、ローカル処理だけが行われます。

**原因:** 重大なパケット・バッファの不足

---

**処置:** GWCON 内の記憶域統計を検査して、パケット・バッファ・レベルを確認してください。可能な場合は、ルーティング・テーブルまたはブリッジ・テーブルを小さくしてください。テーブルを小さくできない場合は、記憶域サイズを増やしてください。

**原因:** トラフィック・ピークで、利用可能なバッファがすべて使われています。

**処置:** このメッセージが非常にまれに出る場合は問題です。

---

#### BR.029

**レベル:** C-TRACE

**短構文:** BR.029 NB inp pkt fltd - *source\_mac-> dest\_mac*, prt *port*, nt *network*

**長構文:** BR.029 NETBIOS Input Packet Filtered - *source\_mac-> dest\_mac*, port *port*, network *network*

**説明:** NETBIOS パケットが、NETBIOS フィルター構成レコードに指定されている基準に一致しています。パケットは廃棄されます。

---

#### BR.030

**レベル:** U-TRACE

**短構文:** BR.030 Rcvd tkr brg pkt but no tkr hnd

**長構文:** BR.030 Received tkr bridge packet over WAN, but router has no handler to process it.

**説明:** リモート・ルーターがローカル・ルーターに向けて WAN ブリッジ・ポートを通じてパケットを送信して、フレームはトークンリング形式でしたが、ローカル・ルーターにトークンリング・フレーム用のハンドラーが含まれていません。パケットは廃棄されました。

---

---

## 第21章 ブリッジング・ブロードキャスト・マネージャー (BBCM)

この章では、ブリッジング・ブロードキャスト・マネージャー (BBCM) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### BBCM.001

レベル: U\_INFO

短構文: BBCM.001 *instance\_str*initlzd

長構文: BBCM.001 *instance\_str*initialized

説明: ブリッジング・ブロードキャスト・マネージャーが初期化されました。

---

### BBCM.002

レベル: U\_INFO

短構文: BBCM.002 *instance\_str*HALTED

長構文: BBCM.002 *instance\_str*HALTED

説明: ブリッジング・ブロードキャスト・マネージャーが停止されました。活動状態になっているプロトコルがありません。

---

### BBCM.003

レベル: U\_INFO

短構文: BBCM.003 *instance\_str*STARTED/RESTARTED prtcl *protocol\_name*, age out= *age\_out* min

長構文: BBCM.003 *instance\_str*STARTED/RESTARTED protocol *protocol\_name*, age out= *age\_out* min

説明: 特定のプロトコルに関して、BBCM が開始 (または再始動) されました。

---

### BBCM.004

レベル: U\_INFO

短構文: BBCM.004 *instance\_str*STOPPED prtcl *protocol\_name*

長構文: BBCM.004 *instance\_str*STOPPED protocol *protocol\_name*

説明: 特定のプロトコルに関して、BBCM が停止されました。このプロトコルに関する BBCM では、フレームは処理されず、既存のプロトコル項目は、時間を経て経過時間切れとなります。

---

### BBCM.005

レベル: U\_INFO

短構文: BBCM.005 *instance\_str*SHUT DOWN BBCM for prtcl *protocol\_name*

長構文: BBCM.005 *instance\_str*SHUT DOWN BBCM for protocol *protocol\_name*

説明: 特定のプロトコルに関して、BBCM がシャットダウンされました。このプロトコルに関する BBCM では、フレームは処理されず、既存のプロトコル項目はすべて削除されました。これは、BBCM の記憶域不足で、追加のプロトコル項目が追加できなかった結果である可能性があります。BBCM の記憶域はこれで解放されたので、他の機能で使用することができます。

---

### BBCM.006

レベル: U\_INFO

短構文: BBCM.006 *instance\_str*deleted all *protocol\_name* prtcl entries

長構文: BBCM.006 *instance\_str*deleted all entries for protocol *protocol\_name*

説明: 特定のプロトコルのすべてのプロトコル項目が削除されました。

---

### BBCM.007

レベル: UI\_ERROR

短構文: BBCM.007 *instance\_str*add to *protocol\_name* cache failed. prtcl CB alloc err

長構文: BBCM.007 *instance\_str*add to *protocol\_name* cache failed. protocol control block allocation error

説明: プロトコル制御ブロック用として記憶域の割り振りを試みている最中に、エラーが発生したため、BBCM は新しいプロトコル・アドレスを追加できませんでした。使用可能な記憶域に不足があると、BBCM はシャットダウンします。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

**BBCM.008**

レベル: C\_INFO

短構文: BBCM.008 *instance\_stradded protocol\_type\_string protocol\_address on MAC addr x MAC\_address to cache*

長構文: BBCM.008 *instance\_stradded protocol\_type\_string protocol\_address on MAC address x MAC\_address to cache*

説明: BBCM は、プロトコル・アドレスを特定の MAC アドレスと共に、そのキャッシュに追加しました。

---

**BBCM.009**

レベル: C\_INFO

短構文: BBCM.009 *instance\_straged protocol\_type\_string protocol\_address on MAC addr x MAC\_address from cache*

長構文: BBCM.009 *instance\_straged protocol\_type\_string protocol\_address on MAC address x MAC\_address from cache*

説明: BBCM は、特定の MAC アドレス上の特定のプロトコル・アドレスを、経過時間切れによってそのキャッシュから除去しました。

---

**BBCM.010**

レベル: C\_INFO

短構文: BBCM.010 *instance\_strset protocol\_type\_string protocol\_address age to age*

長構文: BBCM.010 *instance\_strset protocol\_type\_string protocol\_address age to age*

説明: 指定のプロトコル・アドレスの経過時間が、示されている経過時間に設定されました。

---

**BBCM.011**

レベル: U\_INFO

短構文: BBCM.011 *instance\_strWarning: MAC addr x MAC\_address replaced MAC addr x MAC\_address for protocol\_type\_string protocol\_address*

長構文: BBCM.011 *instance\_strWarning: MAC address x MAC\_address replaced MAC address x MAC\_address for protocol\_type\_string protocol\_address*

説明: BBCM は、2 つの MAC アドレスで同一のプロトコル・アドレスを使用中であることを検知しました。最初に表示されている MAC アドレスが新しく検出され

たもので、これからはこれがそのプロトコル・アドレスに対応付けられます。

処置: これは、装置の 1 つの構成の誤りである可能性があります。

---

**BBCM.012**

レベル: U\_INFO

短構文: BBCM.012 *instance\_strWarning: MAC addr x MAC\_address conflicts w/ Permanent Entry MAC addr x MAC\_address, protocol\_type\_string protocol\_address*

長構文: BBCM.012 *instance\_strWarning: MAC address x MAC\_address conflicts with Permanent Entry MAC address x MAC\_address, protocol\_type\_string protocol\_address*

説明: BBCM は、最初の MAC アドレスが永続項目と同じプロトコル・アドレスを使用していることを検知しました。永続項目は、そのままにしておきます。

処置: これは、装置または永続項目の構成の誤りである可能性があります。

---

**BBCM.013**

レベル: UI\_ERROR

短構文: BBCM.013 *instance\_strINIT FAILED*

長構文: BBCM.013 *instance\_strINITIALIZATION FAILED*

説明: ブリッジング・ブロードキャスト・マネージャーの初期化が正常に行われませんでした。BBCM の初期化用として記憶域の割り振りを試みている最中に、エラーが発生しました。

---

**BBCM.014**

レベル: UI\_ERROR

短構文: BBCM.014 *instance\_strERROR STARTING PROTOCOL protocol\_name*

長構文: BBCM.014 *instance\_strERROR STARTING PROTOCOL protocol\_name*

説明: 特定のプロトコルに関するブリッジング・ブロードキャスト・マネージャーが正常に開始できませんでした。

---

**BBCM.015**

レベル: UI\_ERROR

短構文: BBCM.015 *instance\_strNo assoc. Super ELAN*

**長構文:** BBCM.015 *instance\_str*No associated Super ELAN exists

**説明:** ブリッジング・ブロードキャスト・マネージャー要求が行われましたが、対応する Super ELAN が見つかりませんでした。

**処置:** サービス技術員に連絡してください。



---

## 第22章 チャネル関連シグナル

この章では、チャネル関連シグナル・メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### CAS.001

レベル: C-INFO

短構文: CAS.001 Adapter CAS code initialized, protocol  
*net nt protocol int /*

長構文: CAS.001 Adapter CAS code initialized, protocol  
*net nt protocol int /*

説明: 指定されたプロトコルに、アダプター CAS コードが初期化されました。

---

### CAS.002

レベル: C-INFO

短構文: CAS.002 Adapter CAS code reset, net *net int /*

長構文: CAS.002 Adapter CAS code reset, net *net int /*

説明: アダプター CAS コードがリセットされました。

---

### CAS.003

レベル: C-INFO

短構文: CAS.003 Chn *channel* FSM st *state1* ev *event*  
-> *state2* nt *network ID*

長構文: CAS.003 Channel *channel* FSM transition  
occurred: old state *state1*, event *event*, new state *state2*  
on network *network ID*.

説明: FSM 遷移が生じました。

---

### CAS.004

レベル: C-INFO

短構文: CAS.004 Chn *channel* FSM st *state1* ev *event*  
-> *state2*

長構文: CAS.004 Channel *channel* FSM transition  
occurred: old state *state1*, event *event*, new state *state2*.

説明: FSM 遷移が生じました。





---

## 第23章 コンポーネント非表示機能 (NOT)

この章では、コンポーネント非表示機能 (NOT) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### NOT.001

レベル: UINFO

短構文: NOT.001 *source\_net/ source\_node -> destination\_net/ destination\_node nt network ign*

長構文: NOT.001 *source\_net/ source\_node -> destination\_net/ destination\_node net network ignored*

説明: AppleTalk パケットが認知されましたが、AppleTalk 転送機能がロードされていないので無視されました。

---

### NOT.004

レベル: UINFO

短構文: NOT.004 DECnet pkt ign

長構文: NOT.004 DECnet packet ignored, no DECnet forwarder

説明: DECnet パケットを受信しましたが、ゲートウェイに DECnet 転送機能が導入されていません。

---

### NOT.005

レベル: UINFO

短構文: NOT.005 dsc pkt *source\_ip\_address -> destination\_ip\_address nt Network ID no IP*

長構文: NOT.005 Discarded packet from *source\_ip\_address* for *destination\_ip\_address* net *Network ID*, no IP forwarder

説明: このメッセージは、各パケットを受信するたびに、偽 IP 転送機能によって生成されます。

原因: IP パケットを受信しましたが、IP 転送機能が存在しません。

---

### NOT.007

レベル: UINFO

短構文: NOT.007 dsc pkt *source\_vines\_network: source\_vines\_subnet -> destination\_vines\_network: destination\_vines\_subnet nt Network ID no IP*

長構文: NOT.007 Discarded packet from *source\_vines\_network: source\_vines\_subnet* for

*destination\_vines\_network: destination\_vines\_subnet* net *Network ID*, no VINES forwarder

説明: このメッセージは、VINES が使用可能にされていないルーターでパケットが受信されるたびに偽 VINES 転送機能によって生成されます。

---

### NOT.008

レベル: UINFO

短構文: NOT.008 FAKE: pkt dscrd frm hst *source\_address*

長構文: NOT.008 FAKE: packet discarded from host *source\_address*

説明: このメッセージは、SNMP 偽ルーチンによって生成されます。

原因: SNMP パケットが到着しましたが、ルーターは SNMP をサポートしていません。

---

### NOT.009

レベル: UINFO

短構文: NOT.009 FAKE: EGP neighbor *IP\_address* lost

長構文: NOT.009 FAKE: EGP neighbor *IP\_address* lost

説明: このメッセージは、SNMP の EGP 近隣損失偽ルーチンによって生成されます。

原因: EGP 近隣損失事象を生成しようとしたのですが、ルーターに SNMP が導入されていません。

---

### NOT.011

レベル: UINFO

短構文: NOT.011 Bridge *source\_mac-> dest\_mac*, no fwd, nt *network*

長構文: NOT.011 Bridge frame from *source\_mac* to *dest\_mac*, no forwarder, network *network*

説明: ブリッジ・フレームを受信しましたが、この構成ではブリッジ機能は利用不可能です。フレームは無視されます。

原因: 802.2 あて先 SAP 42 へのフレームを受信

---

**NOT.014**

レベル: UINFO

短構文: NOT.014 *source\_net/ source\_node -> dest\_net/ dest\_node ign*

長構文: NOT.014 Packet from *source\_net/ source\_node* for *dest\_net/ dest\_node* ignored

説明: IPX パケットがネットワークに到着しましたが、IPX 転送機能が導入されていません。

---

**NOT.015**

レベル: UINFO

短構文: NOT.015 *disc frm src\_SRLY\_addrH -> dst\_SRLY\_addrH nt networkID*

長構文: NOT.015 discarded frame with source addr *src\_SRLY\_addrH* and destination addr *dst\_SRLY\_addrH* on network *networkID*

説明: 示されているインターフェースで SDLC リレーが構成されていないために、フレームが廃棄されました。

原因: インターフェースに、空白または偽の転送機能が構成されています。受信した SDLC リレー・フレームはすべて廃棄されます。

---

**NOT.016**

レベル: UINFO

短構文: NOT.016 *dsc pkt source\_ip\_address -> destination\_ip\_address nt Network ID no IPSec*

長構文: NOT.016 Discarded packet from *source\_ip\_address* for *destination\_ip\_address* net *Network ID*, no IP Security

説明: このメッセージは、IP セキュリティー用の各パケットを受信するたびに、IPSec スタブによって生成されます。

原因: IPSec 用の IP パケットを受信しましたが、IP セキュリティーが存在しません。

---

**NOT.017**

レベル: UINFO

短構文: NOT.017 *no NAT to trans pkt source\_ip\_address -> destination\_ip\_address Dir= direction*

長構文: NOT.017 Did not translate packet from *source\_ip\_address* to *destination\_ip\_address* direction *direction*, no NAT

説明: このメッセージは、NAT 用の各パケットを受信するたびに、NAT スタブによって生成されます。

原因: NAT 用の IP パケットを受信しましたが、NAT が存在しません。

---

**NOT.018**

レベル: UINFO

短構文: NOT.018 *dsc pkt source\_ip\_address -> destination\_ip\_address nt Network ID no IPSec*

長構文: NOT.018 Discarded packet from *source\_ip\_address* for *destination\_ip\_address* net *Network ID*, no IP Security for IPv6

説明: このメッセージは、IP セキュリティー用の各 IPv6 パケットを受信するたびに、IPSec スタブによって生成されます。

原因: IPSec 用の IPv6 パケットを受信しましたが、IP セキュリティーが存在しません。

---

**NOT.019**

レベル: UINFO

短構文: NOT.019 *dsc pkt source\_ip\_address -> destination\_ip\_address nt Network ID no DiffServ*

長構文: NOT.019 Discarded packet from *source\_ip\_address* for *destination\_ip\_address* net *Network ID*, no DiffServ

説明: このメッセージは、DiffServ 処置用の各パケットを受信するたびに、DiffServ スタブによって生成されます。

原因: DiffServ 用の IP パケットを受信しましたが、DiffServ が存在しません。

---

**NOT.020**

レベル: UINFO

短構文: NOT.020 *disc packet recv nt Network ID*

長構文: NOT.020 discarded packet received from net *Network ID*

説明: voice パケットがネットワークに到着しましたが、VoIP 転送機能が導入されていません。

---

## 第24章 CPU 使用率モニター (PERF)

この章では、CPU 使用率モニター (PERF) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### PERF.001

レベル: ALWAYS

短構文: PERF.001 CPU Loading *iob= packet load*  
*factor* Max CPU Loading %%= %3u

長構文: PERF.001 CPU Loading *iob= packet load*  
*factor* Max CPU Loading %%= %3u

説明: CPU ロード中 (CPU パケット処理能力の %)

---

### PERF.002

レベル: ALWAYS

短構文: PERF.002 CPU Util *iob= utilization* Max CPU  
Util %%= %3u

長構文: PERF.002 Processor *iob* Utilization= *utilization*  
Max Processor %% Utilization= %3u

説明: CPU 使用率 (パケット・ロードに対して非線形)

---

### PERF.003

レベル: ALWAYS

短構文: PERF.003 RX Packets Dropped= *iob* TX  
Packets Dropped= *Inbound packets dropped by router*

長構文: PERF.003 Inbound Packets Dropped= *iob*  
Outbound Packets Dropped= *Inbound packets dropped by*  
*router*

説明: パケット統計モニターの出力

---

### PERF.004

レベル: ALWAYS

短構文: PERF.004 *String*

長構文: PERF.004 *String*

説明: この ELS は TN Testool 専用です。Testool は  
DEBUG コンパイルによってのみ使用可能になります。



---

## 第25章 データ圧縮エンジン (COMP)

この章では、データ圧縮エンジン (COMP) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### COMP.005

レベル: UE-ERROR

短構文: COMP.005 *algo, bad FCS nt network ID*

長構文: COMP.005 *algo, bad FCS, net network ID.*

説明: 圧縮解除で、パケットが入力時に壊れているか、CRC が正しくないか、または同種の検査値が無効であることが検出されました。

---

### COMP.008

レベル: UE-ERROR

短構文: COMP.008 *LZS-Decomp returned got.*

長構文: COMP.008 *LZS-Decomp returned got.*

説明: スタッカー圧縮解除によって、何かエラーが返されました。

---

### COMP.009

レベル: UE-ERROR

短構文: COMP.009 *alg,/compress err rc, doing doing,, nt network ID*

長構文: COMP.009 *alg,/compress error rc, doing doing, on network network ID*

説明: 圧縮によって、エラー・コードが返されました。"doing" パラメーターは、圧縮が作用していた対象を示しています。

---

### COMP.010

レベル: UE-ERROR

短構文: COMP.010 *alg,/decompress err rc, doing doing,, nt network ID*

長構文: COMP.010 *alg,/decompress error rc, doing doing, on network network ID*

説明: 圧縮解除によって、エラー・コードが返されました。"doing" パラメーターは、圧縮解除が作用していた対象を示しています。

---

### COMP.011

レベル: UE-ERROR

短構文: COMP.011 *alg, err nobuf net network ID*

長構文: COMP.011 *alg, error, can't get buffer on network network ID*

説明: 圧縮ルーチンが、作業バッファを獲得できませんでした。

---

### COMP.012

レベル: P-TRACE

短構文: COMP.012 *alg, nocomp cc cc, pktlen pktlen, cmplen cmplen, net network ID*

長構文: COMP.012 *alg, nocompress cond code cc,, pkt-len pktlen, -> cmp-len cmplen,, on network network ID*

説明: パケットが圧縮できませんでした。

---

### COMP.013

レベル: P-TRACE

短構文: COMP.013 *alg, cmp: pkt len pktlen, -> send len cmplen,, net network ID*

長構文: COMP.013 *alg alg, compress: original pkt len pktlen,, compressed pkt len cmplen,, on network network ID*

説明: パケット別のトレース圧縮結果

---

### COMP.014

レベル: P-TRACE

短構文: COMP.014 *alg, exp: pkt.len pktlen, <- recv len cmplen,, net network ID*

長構文: COMP.014 *alg alg, expand: result pkt len pktlen,, received pkt len cmplen,, on network network ID*

説明: パケット別のトレース展開結果

---

**COMP.019**

レベル: UI-ERROR

レベル: OOM

短構文: COMP.019 Init fail: no mem for contexts; CMP disabled.

長構文: COMP.019 Unable to allocate memory for compression contexts.

説明: 圧縮システムは、構成された数の圧縮 "コンテキスト" に見合う記憶域を割り振ることができませんでした。圧縮サブシステムは操作不可能です。

原因: システムに十分な RAM がないか、または構成されたコンテキストの数が多過ぎます。

処置: 割り振りに備えて構成されるコンテキストの数を減らすか、またはシステムの他の部分が使用する記憶域の所要量を減らしてください。そうしない場合は、ルーター内の RAM の量をアップグレードする必要があります。

---

**COMP.020**

レベル: C-INFO

短構文: COMP.020 CMP Init: max contexts = 0, CMP disabled.

長構文: COMP.020 No compression contexts were configured. Compression is disabled.

説明: 圧縮がまったく構成されていないか、または割り振りの対象となるコンテキストの数がゼロに設定されています。割り振られたコンテキストはなく、圧縮は使用不可です。

---

**COMP.021**

レベル: C\_INFO

短構文: COMP.021 CMP Init: allocated *num\_ctx* contexts.

長構文: COMP.021 Compression subsystem allocated *num\_ctx* contexts.

説明: 示されている数のコンテキストに見合うスペースが割り振られました。

---

**COMP.022**

レベル: CI\_ERROR

短構文: COMP.022 No ctx available for net *network ID* channel *channel*

長構文: COMP.022 No context available for network *network ID* channel *channel*.

説明: ネットが圧縮コンテキストの割り振りを試行しましたが、使用可能なものではありませんでした。これは通常、構成されたコンテキストが最大数に達していることを意味します。

---

**COMP.023**

レベル: C-TRACE

短構文: COMP.023 Autofreeing context # *context* owned by nt *network ID*.

長構文: COMP.023 Autofreeing context # *context* owned by network *network ID*.

説明: ネットが圧縮コンテキストを割り振ったものの、後でネットがダウンした時点で、そのコンテキストを解放しませんでした。圧縮ユーティリティ・ライブラリーがこれを検出し、自らそのコンテキストを解放しました。

---

**COMP.024**

レベル: C-TRACE

短構文: COMP.024 Allocated context # *context\_id* nt *network ID* channel *channel*.

長構文: COMP.024 Allocated context # *context\_id* for network *network ID* channel *channel*.

説明: インターフェースが圧縮コンテキストを割り振りました。

---

**COMP.025**

レベル: C-TRACE

短構文: COMP.025 Freed context # *context\_id* nt *network ID* channel *channel*.

長構文: COMP.025 Freed context # *context\_id* for network *network ID* channel *channel*.

説明: インターフェースが圧縮コンテキストを解放しました。

---

**COMP.026**

レベル: C-TRACE

短構文: COMP.026 Cmp net dn nt *network ID*.

長構文: COMP.026 Compression observed netdown on monitored network *network ID*.

説明: 圧縮システムは、自らが積極的に監視しているネットに関して、ネットのダウンを検出しました。圧縮

システムでは、そのネットが未解放コンテキストを保持していないかどうか検査し、保持していればそれをすべて解放します。

---

### **Panic CMP\_NO\_MEMORY**

**短構文:** Compression subsystem couldn't allocate required memory.

**説明:** 圧縮サブシステムは、その正常な動作に必要な記憶域を割り振ることができませんでした。これは、メッセージ COMP\_19 で示される場合よりも重大な問題です。サイズが構成可能パラメーターで変更できない上、非常に小さいので割り振り障害など起こりようがないような、内部テーブルの割り振りにかかわるものだからです。

---

### **Panic CMP\_INVALID\_NET**

**短構文:** An invalid NET identifier was detected in an internal call.

**説明:** 機能に渡された NET パラメーターが無効でした (NULL と考えられます)。

---

### **Panic CMP\_INVALID\_CTX**

**短構文:** An invalid CmpContext identifier was detected in an internal call.

**説明:** 機能に渡された CmpContext パラメーターが無効でした。





---

## 第26章 データ符号化サブシステム

この章では、データ符号化サブシステム・メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### ES.001

レベル: C\_INFO

短構文: ES.001 INFO: *infoString*

長構文: ES.001 INFORMATION: *infoString*

説明: 汎用メッセージ

*circuit 0x circuit, numCircuits circuit(s) rc errCode*

説明: ES クライアントは、空き回線のプールに回線を返そうとしましたが、問題が発生しました。エラー・コードは、指定された最後の値であり、2 は無効なパラメーター、16 は回線が検出されない、を示します。

---

### ES.002

レベル: C\_INFO

短構文: ES.002 Port *port* circuit *circuit* moved to device *device*

長構文: ES.002 Port *port* circuit *circuit* moved to device *device*

説明: 回線が異なる圧縮/暗号化装置に再割り当てされました。これは通常、ハードウェア圧縮/暗号化コプロセッサが使用不可にされたときに発生します。

---

### ES.003

レベル: C\_INFO

短構文: ES.003 Getting a *objString* from the free pool

長構文: ES.003 Getting a *objString* from the free pool.

説明: ES クライアントは、空きプールから新規オブジェクトを要求しました。

---

### ES.004

レベル: C\_INFO

短構文: ES.004 Returned a *objString* to the free pool

長構文: ES.004 Returned a *objString* to the free pool.

説明: ES クライアントは、空きプールにオブジェクトを返しました。

---

### ES.005

レベル: CI\_ERROR

短構文: ES.005 Error freeing circuit, pt 0x *port* cir 0x *circuit* num cir *numCircuits* rc *errCode*

長構文: ES.005 Error freeing circuit, port 0x *port*



---

## 第27章 データ暗号化 (ENCR)

この章では、データ暗号化 (ENCR) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### ENCR.001

レベル: P-TRACE

短構文: ENCR.001 ENCR *alg*, , pkt len *pktlen*, -> send len *cmlen*,, net *network ID*

長構文: ENCR.001 ENCR *alg alg*, encrypt: original pkt len *pktlen*,, encrypt pkt len *cmlen*,, on network *network ID*

説明: パケット別トレース暗号化の結果

---

### ENCR.002

レベル: UE-ERROR

短構文: ENCR.002 ENCR *alg/encryption err rc*, doing *doing*,, nt *network ID*

長構文: ENCR.002 ENCR *alg/encryption error rc*, doing *doing*, on network *network ID*

説明: 暗号化機能によってエラー・コードが返されました。"doing" パラメーターは、暗号化機能が作用していた対象を示しています。

---

### ENCR.003

レベル: UE-ERROR

短構文: ENCR.003 ENCR *alg/decrypt err rc*, doing *doing*,, nt *network ID*

長構文: ENCR.003 ENCR *alg/decrypt error rc*, doing *doing*, on network *network ID*

説明: 復号機能によってエラー・コードが返されました。"doing" パラメーターは、復号機能が作用していた対象を示しています。

---

### ENCR.004

レベル: UE-ERROR

短構文: ENCR.004 ENCR *alg*, err nobuf net *network ID*

長構文: ENCR.004 ENCR *alg*, error, can't get buffer on network *network ID*

説明: 暗号化ルーチンが作業バッファを獲得できませんでした。



---

## 第28章 データ・リンク・スイッチ (DLSw)

この章では、データ・リンク・スイッチ (DLSw) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### DLS.003

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.003 DLSw, Dynamic Neighbors  
DISABLED, *ip\_address* connection rejected

長構文: DLS.003 DLSw, Dynamic Neighbors  
DISABLED, entry through read port from IP address  
*ip\_address* has been rejected

説明: 読み取り TCP 接続が、未知の近隣を介してオープンされたため、動的近隣が DISABLED になりました。その結果、接続は拒否され、クローズされます。

---

### DLS.005

レベル: C-INFO

短構文: DLS.005 Opening TCP connection to Neighbor  
*ip\_address* (ports *tcb\_sprt* -> *tcb\_dprrt*)

長構文: DLS.005 Opening a new TCP connection to the  
Neighbor at IP address *ip\_address* (Local Port *tcb\_sprt* to  
Remote Port *tcb\_dprrt*)

説明: DLS が、IP アドレスによって指定されている特定のあて先への OPEN を要求した結果として、TCP/IP が指定されたポートを使用して、そのあて先への接続をオープンします。

---

### DLS.008

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.008 DLSw disabled no SRB seg defined  
config

長構文: DLS.008 DLSw forwarder disabled no SRB  
segment defined

説明: 構成が不適切なために、データ・リンク・スイッチの転送機能が使用不可にされています。LLC-2 SAP が定義されているのに、SRB セグメント番号が定義されていません。

---

### DLS.014

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.014 no mem to join group

長構文: DLS.014 no memory to join group

説明: グループを結合するために必要なデータ構造に割り振る空き記憶域が十分にありません。

---

### DLS.015

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.015 no iorb to send group packet

長構文: DLS.015 no iorb to send group packet

説明: グループ結合または結合応答を送信するために利用可能な IORB バッファがありません。

---

### DLS.016

レベル: P-TRACE

短構文: DLS.016 Sent group pkt type *type* group *group*  
role *role* dest *destination*

長構文: DLS.016 Sent group packet type *type* group  
*group* role *role* dest *destination*

説明: DLSw グループ・パケットを送信しました。

---

### DLS.018

レベル: P-TRACE

短構文: DLS.018 Rcvd group pkt type *type* group  
*group* role *role* src *source*

長構文: DLS.018 Received group packet type *type*  
*group* *group* role *role* source *source*

説明: DLSw グループ・パケットを受信しました。

---

### DLS.019

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.019 Rcvd bad group pkt vers *version* type  
*type* priority *priority* domain *domain*

長構文: DLS.019 Received bad group packet version  
*version* type *type* priority *priority* domain *domain*

説明: DLSw グループ・パケットを受信しましたが、バージョン番号、タイプ、優先順位、またはドメイン ID のいずれかが無効です。

---

**DLS.021**

レベル: C-INFO

短構文: DLS.021 Rcvd group pkt mismatched roles  
group *group* role *role*

長構文: DLS.021 Received group packet but mismatched  
roles group *group* role *role*

説明: グループ・パケットを受信しましたが、役割が一致していません。有効な役割の一致は、クライアント／サーバーおよびピア／ピアだけです。

---

**DLS.022**

レベル: C-INFO

短構文: DLS.022 Contacted by Neighbor *address* from  
group *group*

長構文: DLS.022 Contacted by a Neighbor at IP  
Address *address* from Multicast group *group*

説明: グループ一致が見つかり、接続をオープンしています。

---

**DLS.025**

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.025 No mem to queue group packet to  
tasker

長構文: DLS.025 No memory to queue group packet to  
tasker

説明: グループ・パケットを送信するタスクを追加するために、待ち行列ヘッダーを入手するための十分な記憶域がありませんでした。

---

**DLS.026**

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.026 group packet not sent, tasker queue  
full

長構文: DLS.026 group packet not sent, tasker queue  
full

説明: タスク管理プログラムの待ち行列が満杯だったので、グループ・パケットを送信できませんでした。

---

**DLS.028**

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.028 no mem to init SDLC link nt *network*  
*ID*

長構文: DLS.028 no memory to initialize SDLC link  
net *network ID*

説明: SDLC リンクを初期化するために十分な利用可能記憶域がありませんでした。

---

**DLS.029**

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.029 unexp rtn code from sdlc open station  
= *rtn\_code* nt *network ID*

長構文: DLS.029 unexpected return code from sdlc  
open station = *rtn\_code* net *network ID*

説明: SDLC ステーション・オープン機能が、予期しない戻りコードを返しました。

---

**DLS.030**

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.030 sdlc lnk ctl blk not fnd during del  
lnk nt *network ID*

長構文: DLS.030 sdlc link control block not found  
during delete link net *network ID*

説明: 削除される SDLC リンクの、SDLC リンク制御ブロックが見つかりませんでした。

---

**DLS.031**

レベル: C-INFO

短構文: DLS.031 sdlc station closed nt *network ID*

長構文: DLS.031 sdlc station closed net *network ID*

説明: ネットワーク・インターフェースの SDLC ステーションが、正常にクローズされました。

---

**DLS.032**

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.032 unexp rtn code from sdlc cls station  
= *rtn\_code* nt *network ID*

長構文: DLS.032 unexpected return code from sdlc  
close station = *rtn\_code* net *network ID*

説明: SDLC ステーション・クローズ機能が、予期しない戻りコードを返しました。

---

**DLS.033**

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.033 sdlc lnk ctl blk not fnd during init  
lnk sta nt *network ID*



長構文: DLS.033 sdlc link control block not found during init link station net *network ID*

説明: 初期化される SDLC ステーションの、SDLC リンク制御ブロックが見付かりませんでした。

---

#### DLS.034

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.034 no mem to init SDLC link sta nt *network ID*

長構文: DLS.034 no memory to initialize SDLC link station net *network ID*

説明: SDLC リンク・ステーションを初期化するために十分な利用可能記憶域がありませんでした。

---

#### DLS.035

レベル: C-INFO

短構文: DLS.035 sdlc link sta open addr *link\_address* nt *network ID*

長構文: DLS.035 sdlc link station opened address *link\_address* net *network ID*

説明: ネットワーク・インターフェースで、このリンク・アドレスの SDLC リンク・ステーションが正常にオープンされました。

---

#### DLS.036

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.036 dupl sdlc link sta addr *link\_address* nt *network ID*

長構文: DLS.036 duplicate sdlc link station address *link\_address* net *network ID*

説明: 指定の SDLC リンク・ステーションは、すでにオープンされているリンク・ステーションと重複しているので、オープンできませんでした。

---

#### DLS.037

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.037 unexp rtn code from sdlc open lnk sta = *rm\_code* nt *network ID*

長構文: DLS.037 unexpected return code from sdlc open link station = *rm\_code* net *network ID*

説明: SDLC リンク・ステーション・オープン機能が、予期しない戻りコードを返しました。

---

#### DLS.038

レベル: C-INFO

短構文: DLS.038 sdlc link station closed addr *link\_address* nt *network ID*

長構文: DLS.038 sdlc station closed address *link\_address* net *network ID*

説明: 指定されたアドレスとネットワーク・インターフェースの SDLC リンク・ステーションが、正常にクローズされました。

---

#### DLS.039

レベル: C-INFO

短構文: DLS.039 processing sdlc net up for addr *link\_address* nt *network ID*

長構文: DLS.039 processing sdlc net up for address *link\_address* net *network ID*

説明: SDLC リンク・ステーションについて、ネットワークがアップ状態にあるという通知を受信しました。

---

#### DLS.040

レベル: C-INFO

短構文: DLS.040 processing sdlc net down for addr *link\_address* nt *network ID*

長構文: DLS.040 processing sdlc net down for address *link\_address* net *network ID*

説明: SDLC リンク・ステーションについて、ネットワークがダウンしているという通知を受信しました。

---

#### DLS.041

レベル: C-INFO

短構文: DLS.041 rcvd sdlc net up while not in down st for addr *link\_address* nt *network ID*

長構文: DLS.041 received sdlc net up while not in down state for address *link\_address* net *network ID*

説明: ダウンしていないインターフェース上の SDLC リンク・ステーションについて、ネットワークがアップ状態にあるという通知を受信しました。

---

#### DLS.042

レベル: C-INFO

短構文: DLS.042 sdlc trans to resolve pend st for addr *link\_address* nt *network ID*

長構文: DLS.042 sdlc transition to resolve pending state

for address *link\_address* net *network ID*

説明: 指定の SDLC リンク・ステーションは、解決保留状態に変換中です。

---

#### DLS.043

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.043 unexp sdlc test rsp for addr *link\_address* nt *network ID*

長構文: DLS.043 unexpected sdlc test response for address *link\_address* net *network ID*

説明: 指定の SDLC リンク・ステーションから、予期しないテスト応答を受信しました。

---

#### DLS.044

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.044 unexp sdlc non xid0 from pu 2 dev for addr *link\_address* nt *network ID*

長構文: DLS.044 unexpected sdlc non xid0 from pu 2 device for address *link\_address* net *network ID*

説明: 指定の SDLC リンク・ステーションから、PU タイプ 2 装置について予期しない XID タイプを受信しました。

---

#### DLS.045

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.045 invalid sdlc xid0 len from addr *link\_address* nt *network ID*

長構文: DLS.045 invalid sdlc xid0 length from address *link\_address* net *network ID*

説明: 指定の SDLC リンク・ステーションから、無効な長さ XID-0 を受信しました。

---

#### DLS.046

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.046 conn ind rcvd from sec sdlc station from addr *link\_address* nt *network ID*

長構文: DLS.046 connection indication received from secondary sdlc station from address *link\_address* net *network ID*

説明: 指定の SDLC リンク・ステーションから、2 次 SDLC リンク・ステーションが SNRM を送信したという通知を受信しました。

---

#### DLS.047

レベル: C-INFO

短構文: DLS.047 sdlc trans to contacted st for addr *link\_address* nt *network ID*

長構文: DLS.047 sdlc transition to contacted state for address *link\_address* net *network ID*

説明: 指定の SDLC リンク・ステーションは、接続状態に変換中です。

---

#### DLS.048

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.048 unexp sdlc conn cfm for addr *link\_address* nt *network ID*

長構文: DLS.048 unexpected sdlc connect confirm for address *link\_address* net *network ID*

説明: 指定の SDLC リンク・ステーションから、予期しない接続確認を受信しました。

---

#### DLS.049

レベル: C-INFO

短構文: DLS.049 sdlc disc ind rcvd addr *link\_address* nt *network ID*

長構文: DLS.049 sdlc disconnect indication received address *link\_address* net *network ID*

説明: 指定の SDLC リンク・ステーションから、切断の通知を受信しました。

---

#### DLS.050

レベル: C-INFO

短構文: DLS.050 sdlc disc compl addr *link\_address* nt *network ID*

長構文: DLS.050 sdlc disconnect complete address *link\_address* net *network ID*

説明: 指定の SDLC リンク・ステーションの切断手順が完了しました。

---

#### DLS.051

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.051 unexp sdlc disc ind in st *state* for addr *link\_address* nt *network ID*

長構文: DLS.051 unexpected sdlc disconnect indication in state *state* for address *link\_address* net *network ID*

説明: 指定の SDLC リンク・ステーションから、予期しない切断の通知を受信しました。

---

#### DLS.052

レベル: C-INFO

短構文: DLS.052 sdhc disc conf addr *link\_address* nt *network ID*

長構文: DLS.052 sdhc disconnect confirm address *link\_address* net *network ID*

説明: 指定の SDLC リンク・ステーションから、切断確認を受信しました。

---

#### DLS.053

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.053 unexp sdhc disc cfm in state *state* for addr *link\_address* nt *network ID*

長構文: DLS.053 unexpected sdhc disconnect confirm in state *state* for address *link\_address* net *network ID*

説明: 指定の SDLC リンク・ステーションから、予期しない切断確認を受信しました。

---

#### DLS.054

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.054 unexp sdhc resolve\_r in state *state* for addr *link\_address* nt *network ID*

長構文: DLS.054 unexpected sdhc resolve\_r in state *state* for address *link\_address* net *network ID*

説明: 指定の SDLC リンク・ステーションについて、予期しない resolve\_r 事象を受信しました。

---

#### DLS.055

レベル: C-INFO

短構文: DLS.055 sdhc trans to connected st for addr *link\_address* nt *network ID*

長構文: DLS.055 sdhc transition to connected state for address *link\_address* net *network ID*

説明: 指定の SDLC リンク・ステーションは、接続状態に変換中です。

---

#### DLS.056

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.056 unexp rtn code from sdhc conn req = *rtm\_code* for addr *link\_address* nt *network ID*

長構文: DLS.056 unexpected return code from sdhc connect request = *rtm\_code* for address *link\_address* net *network ID*

説明: SDLC 接続要求機能が、予期しない戻りコードを返しました。

---

#### DLS.057

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.057 unexp sdhc xid from dls in state *state* for addr *link\_address* nt *network ID*

長構文: DLS.057 unexpected sdhc xid from dls in state *state* for address *link\_address* net *network ID*

説明: 指定の SDLC リンク・ステーションについて、予期しない XID 事象を受信しました。

---

#### DLS.058

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.058 unexp sdhc xid3 from dls for pu 2 dev for addr *link\_address* nt *network ID*

長構文: DLS.058 unexpected sdhc xid3 from dls for pu 2 device for address *link\_address* net *network ID*

説明: 指定の SDLC リンク・ステーションの PU タイプ 2 装置について、DLS から予期しない XID-3 を受信しました。

---

#### DLS.059

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.059 unexp sdhc dlc\_contact from dls in state *state* for addr *link\_address* nt *network ID*

長構文: DLS.059 unexpected sdhc dlc\_contact from dls in state *state* for address *link\_address* net *network ID*

説明: 指定の SDLC リンク・ステーションについて、DLS から予期しない DLC\_CONTACT 事象を受信しました。

---

#### DLS.060

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.060 unexp sdhc dlc\_info from dls in state *state* for addr *link\_address* nt *network ID*

長構文: DLS.060 unexpected sdhc dlc\_info from dls in state *state* for address *link\_address* net *network ID*

説明: 指定の SDLC リンク・ステーションについて、DLS から予期しない DLC\_INFO 事象を受信しました。

---

**DLS.061**

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.061 unexp sdlc dlc\_dgrm from dls in state *state* for addr *link\_address* nt *network ID*

長構文: DLS.061 unexpected sdlc dlc\_dgrm from dls in state *state* for address *link\_address* net *network ID*

説明: 指定の SDLC リンク・ステーションについて、DLS から予期しない DLC\_DGRM 事象を受信しました。

---

**DLS.062**

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.062 unexp I-frame from sdlc in state *state* for addr *link\_address* nt *network ID*

長構文: DLS.062 unexpected I-frame from sdlc in state *state* for address *link\_address* net *network ID*

説明: 指定の SDLC リンク・ステーションについて、SDLC から予期しない I フレームを受信しました。

---

**DLS.063**

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.063 unexp UI-frame from sdlc in state *state* for addr *link\_address* nt *network ID*

長構文: DLS.063 unexpected UI-frame from sdlc in state *state* for address *link\_address* net *network ID*

説明: 指定の SDLC リンク・ステーションについて、SDLC から予期しない UI フレームを受信しました。

---

**DLS.064**

レベル: C-INFO

短構文: DLS.064 rcvd halt\_dl from dls for sdlc addr *link\_address* nt *network ID*

長構文: DLS.064 received halt\_dl for sdlc address *link\_address* net *network ID*

説明: 指定の SDLC リンク・ステーションについて、DLS から HALT\_DL 事象が送信されました。

---

**DLS.065**

レベル: C-INFO

短構文: DLS.065 sdlc trans to disc pend st for addr *link\_address* nt *network ID*

長構文: DLS.065 sdlc transition to disconnect pending state for address *link\_address* net *network ID*

説明: 指定の SDLC リンク・ステーションは、切断保留状態に変換中です。

---

**DLS.066**

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.066 unexp rtn code from sdlc disc req = *rtn\_code* addr *link\_address* nt *network ID*

長構文: DLS.066 unexpected return code from sdlc disconnect request = *rtn\_code* addr *link\_address* net *network ID*

説明: SDLC 切断要求機能が、予期しない戻りコードを返しました。

---

**DLS.067**

レベル: C-INFO

短構文: DLS.067 sdlc trans to disc st for addr *link\_address* nt *network ID*

長構文: DLS.067 sdlc transition to disconnect state for address *link\_address* net *network ID*

説明: 指定の SDLC リンク・ステーションは、切断保留状態に変換中です。

---

**DLS.068**

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.068 unexp sdlc dlc\_halt\_dl from dls in state *state* for addr *link\_address* nt *network ID*

長構文: DLS.068 unexpected sdlc dlc\_halt\_dl from dls in state *state* for address *link\_address* net *network ID*

説明: 指定の SDLC リンク・ステーションについて、DLS から予期しない DLC\_HALT\_DL 事象を受信しました。

---

**DLS.069**

レベル: C-INFO

短構文: DLS.069 cleanup timer expired for addr *link\_address* nt *network ID*

長構文: DLS.069 cleanup timer expired for address *link\_address* net *network ID*

説明: 指定の SDLC リンク・ステーションの終結処置タイマーが満了しました。

---

**DLS.070**

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.070 unexp sdlc cleanup timer exp in state *state* for addr *link\_address* nt *network ID*

長構文: DLS.070 unexpected sdlc cleanup timer expiration in state *state* for address *link\_address* net *network ID*

説明: SDLC 終結処置タイマーが満了しましたが、SDLC リンク・ステーションは予期しない状態になっています。

---

**DLS.071**

レベル: C-INFO

短構文: DLS.071 sdlc buf retry timer expired for addr *link\_address* nt *network ID*

長構文: DLS.071 sdlc buffer retry timer expired for address *link\_address* net *network ID*

説明: 指定の SDLC リンク・ステーションのバッファ再試行タイマーが満了しました。

---

**DLS.072**

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.072 unexp sdlc buf retry timer exp in state *state* for addr *link\_address* nt *network ID*

長構文: DLS.072 unexpected sdlc buffer retry timer expiration in state *state* for address *link\_address* net *network ID*

説明: SDLC バッファ再試行タイマーが満了しましたが、SDLC リンク・ステーションは予期しない状態になっています。

---

**DLS.073**

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.073 unknown sdlc fsm input = *event* for addr *link\_address* nt *network ID*

長構文: DLS.073 unknown sdlc fsm input = *event* for address *link\_address* net *network ID*

説明: SDLC インターフェース有有限状態管理機構が、未知の事象を渡されました。

---

---

**DLS.077**

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.077 no buf for sdlc test for addr *link\_address* nt *network ID*

長構文: DLS.077 no buffer for sdlc test for address *link\_address* net *network ID*

説明: SDLC リンク・ステーションにテスト・フレームを送信するためのバッファを入手できませんでした。後で、操作が再試行されます。

---

**DLS.078**

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.078 unexp rtn code from sdlc test req = *rtn\_code* addr *link\_address* nt *network ID*

長構文: DLS.078 unexpected return code from sdlc test request = *rtn\_code* addr *link\_address* net *network ID*

説明: SDLC テスト要求機能が、予期しない戻りコードを返しました。

---

**DLS.079**

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.079 no buf for sdlc xid0 for addr *link\_address* nt *network ID*

長構文: DLS.079 no buffer for sdlc xid0 for address *link\_address* net *network ID*

説明: SDLC リンク・ステーションに XID0 フレームを送信するためのバッファを入手できませんでした。後で、操作が再試行されます。

---

**DLS.080**

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.080 no buf for sdlc null xid for addr *link\_address* nt *network ID*

長構文: DLS.080 no buffer for sdlc null xid for address *link\_address* net *network ID*

説明: SDLC リンク・ステーションに空の XID フレームを送信するためのバッファを入手できませんでした。後で、操作が再試行されます。

---

**DLS.081**

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.081 unexp rtn code from sdlc I frm req = *rtn\_code* addr *link\_address* nt *network ID*

長構文: DLS.081 unexpected return code from sdlc I frame request = *rtm\_code* address *link\_address* net *network ID*

説明: SDLC I フレーム要求機能が、予期しない戻りコードを返しました。

---

### DLS.082

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.082 unexp rtn code from sdlc UI frm req = *rtm\_code* addr *link\_address* nt *network ID*

長構文: DLS.082 unexpected return code from sdlc UI frame request = *rtm\_code* addr *link\_address* net *network ID*

説明: SDLC UI フレーム要求機能が、予期しない戻りコードを返しました。

---

### DLS.083

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.083 unexp rtn code from sdlc force rnr req = *rtm\_code* addr *link\_address* nt *network ID*

長構文: DLS.083 unexpected return code from sdlc force rnr request = *rtm\_code* addr *link\_address* net *network ID*

説明: SDLC 強制 RNR 要求機能が、予期しない戻りコードを返しました。

---

### DLS.086

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.086 sdlc disc rcvd rsn *reason* for addr *link\_address* nt *network ID*

長構文: DLS.086 sdlc disconnect received reason *reason* for address *link\_address* net *network ID*

説明: SDLC プロトコルによってエラーが検出されたために、指定の SDLC 接続が切断されました。

---

### DLS.087

レベル: C-INFO

短構文: DLS.087 sdlc trans to null\_xid\_pend st for addr *link\_address* nt *network ID*

長構文: DLS.087 sdlc transition to null\_xid\_pend state for address *link\_address* net *network ID*

説明: 指定の SDLC リンク・ステーションは、NULL\_XID\_PENDING 状態に変換中です。これは、送信

された NULL\_XID への応答を待っていることを意味します。

---

### DLS.088

レベル: C-INFO

短構文: DLS.088 sdlc trans to xid\_0\_pend st for addr *link\_address* nt *network ID*

長構文: DLS.088 sdlc transition to xid\_0\_pend state for address *link\_address* net *network ID*

説明: 指定の SDLC リンク・ステーションは、XID\_0\_PENDING 状態に変換中です。これは、送信された XID-0 への応答を待っていることを意味します。

---

### DLS.089

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.089 DLS, TCP conn brk to *address*, DLS sess closed *source\_mac\_address*-> *dest\_mac\_address*, sap *source\_sap*-> *dest\_sap*

長構文: DLS.089 DLS forwarder experience a session loss due to TCP connection to *address* break, origin MAC *source\_mac\_address*->Target MAC *dest\_mac\_address*, origin SAP *source\_sap*->Target SAP *dest\_sap*

説明: DLS 近隣への TCP 接続がダウンしました。TCP 接続上の活動状態のすべての DLS セッションが、個別に停止にされます。

---

### DLS.096

レベル: U-INFO

短構文: DLS.096 DLS, DL\_STARTED event in cir-est or cir-restart state, ignore

長構文: DLS.096 DLS DLC\_DL\_STARTED event from underlying DLCST in circuit established or circuit restart state

説明: 回線がすでに確立されているときに、DLS 状態管理機構が、下位リンク (LLC または SDLC) から DLC\_DL\_STARTED 事象の通知を受信しました。これは、ブリッジの複数のパスから間欠的に TEST 応答が入ってきたものと考えられます。無視してください。

---

### DLS.097

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.097 DLS, No memory available to create DLS session.



**長構文:** DLS.097 DLS, No memory available to create DLS session.

**説明:** DLS セッションの作成に必要な資源を割り振るために使用できる記憶域がありません。

---

#### DLS.102

**レベル:** C-INFO

**短構文:** DLS.102 DLS, Broadcast CANUREACH\_ex sent for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap* lfsize *largest\_frame\_size*

**長構文:** DLS.102 DLS, Broadcast CANUREACH\_ex sent for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap* lfsize *largest\_frame\_size*

**説明:** 特定のあと先に関する TEST(c) の処理中に、DLS がマルチキャスト UDP を介して同報通信 CANUREACH\_ex を送り出しました。

---

#### DLS.104

**レベル:** C-INFO

**短構文:** DLS.104 DLS, SAPs resolved for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

**長構文:** DLS.104 DLS, SAPs resolved for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

**説明:** DLS 接続は、たとえば SAP 0 を DSAP または SSAP として使用するなど、特定の SAP を使用しなくても確立することができますが、特定の SAP を使用すると、同じ接続の SAP が更新されます。

---

#### DLS.106

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** DLS.106 DLS, rcvd CANUREACH not proc by any DLCs for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

**長構文:** DLS.106 DLS, received CANUREACH could not be processed by any DLC for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

**説明:** DLS ピアから、TCP を介して CANUREACH SSP メッセージを受信しましたが、下位のデータ・リンク・レイヤー (SDLC または LLC) が、これを TEST(c) フレームに変換することができませんでした。

---

#### DLS.107

**レベル:** C-INFO

**短構文:** DLS.107 CANUREACH-ex rcvd *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap* lfsize *largest\_frame\_size*

**長構文:** DLS.107 CANUREACH-ex received for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap* lfsize *largest\_frame\_size*

**説明:** DLS が指定の回線について CANUREACH-ex を受信しました。

---

#### DLS.113

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** DLS.113 LLC, Initialization FAILED for SAP *Sap*

**長構文:** DLS.113 LLC, Initialization FAILED for SAP *Sap*

**説明:** 何らかの問題で、LLC による SAP 初期化が失敗しました。

---

#### DLS.114

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** DLS.114 LLC, parameter validation FAILED for SAP *Sap*, rsn = *reason*

**長構文:** DLS.114 LLC, parameter validation FAILED for SAP *Sap*, rsn = *reason*

**説明:** LLC の調整可能パラメーターが範囲外です。

---

#### DLS.115

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** DLS.115 *intfmod*, No Memory for SAP control block for SAP *Sap*

**長構文:** DLS.115 *intfmod*, No Memory for SAP control block for SAP *Sap*

**説明:** SAP 制御ブロックに利用可能な記憶域がありません。

---

#### DLS.116

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** DLS.116 *intfmod*, Opening of SAP *Sap* FAILED, rsn = *reason*

**長構文:** DLS.116 *intfmod*, Opening of SAP *Sap* FAILED, rsn = *reason*



説明: LLC またはローカル APPN の問題で、SAP のオープンが失敗しました。理由コードに、具体的な問題が示されています。

---

#### DLS.117

レベル: C-INFO

短構文: DLS.117 LLC, Closing SAP Sap

長構文: DLS.117 LLC, Closing SAP Sap

説明: LLC による SAP のクローズ

---

#### DLS.118

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.118 *intfmod*, FAILED open stn, invalid sapcb, dst= *Destination*,src= *Source*,dsap= *Dsap*,ssap= *Ssap*

長構文: DLS.118 *intfmod*, FAILED open stn, invalid sapcb, dst= *Destination*,src= *Source*,dsap= *Dsap*,ssap= *Ssap*

説明: オープンすべきステーションが所属する SAP が無効であるために、LLC データ・リンク・サービスまたは APPN データ・リンク・サービス用のステーションのオープンが失敗しました。

---

#### DLS.119

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.119 *intfmod*, FAILED open stn, No memory, dst= *Destination*,src= *Source*,dsap= *Dsap*,ssap= *Ssap*

長構文: DLS.119 *intfmod*, FAILED open stn, No memory, dst= *Destination*,src= *Source*,dsap= *Dsap*,ssap= *Ssap*

説明: 接続を管理する制御ブロックを作成するために利用可能な記憶域がないために、LLC データ・リンク・サービスまたは APPN データ・リンク・サービス用のステーションのオープンに失敗しました。

---

#### DLS.120

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.120 LLC, FAILED open stn, rsn= *Reason*, dst= *Destination*,src= *Source*,dsap= *Dsap*,ssap= *Ssap*

長構文: DLS.120 LLC, FAILED open stn, rsn= *Reason*, dst= *Destination*,src= *Source*,dsap= *Dsap*,ssap= *Ssap*

説明: LLC 内部の何らかの問題のために、LLC データ・リンク・サービス用のステーションのオープンに失

敗しました。理由コードに、具体的な問題が示されています。

---

#### DLS.121

レベル: C-INFO

短構文: DLS.121 *intfmod*, opened stn, dst= *Destination*,src= *Source*,dsap= *Dsap*,ssap= *Ssap*

長構文: DLS.121 *intfmod*, opened stn, dst= *Destination*,src= *Source*,dsap= *Dsap*,ssap= *Ssap*

説明: LLC データ・リンク・サービス用のステーションのオープンに成功しました。

---

#### DLS.124

レベル: C-INFO

短構文: DLS.124 LLC, closed stn by force *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.124 LLC, closed stn by force *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

説明: LLC データ・リンク・サービス用のステーションが強制的にクローズされました。

---

#### DLS.125

レベル: C-INFO

短構文: DLS.125 *intfmod*, closed stn quietly *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.125 *intfmod*, closed stn quietly *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

説明: LLC データ・リンク・サービス、またはローカル APPN データ・リンク・サービス用のステーションが、正常にクローズされました。

---

#### DLS.126

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.126 LLC, *action* Send failed, rsn= *reason*, *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.126 LLC, *action* Send failed rsn= *reason*, *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

説明: LLC が、フレームの送信に失敗しました。理由

コードに、具体的な問題が示されています。

---

#### DLS.127

レベル: U-INFO

短構文: DLS.127 *intfmod*, *action* became busy after sending, *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, *sap source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.127 *intfmod*, *action* became busy after sending, *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, *sap source\_sap-> dest\_sap*

説明: LLC または APPN は、フレームを送信した後、使用中になりました。この使用中状態は一種の受諾表示で、LLC に発信されたフレームは送信のために受け入れられます。ただし、DLS はこの状態を記録し、それ以上のフレームの送信を抑制します。

---

#### DLS.128

レベル: U-INFO

短構文: DLS.128 *intfmod* BUSY, *enq frm to tx pendQ*, *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, *sap source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.128 *intfmod* BUSY, *enqueue frame to pend queue*, *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, *sap source\_sap-> dest\_sap*

説明: LLC または APPN は使用中なので、TCP から受信したフレームは、その LLC セッションまたは APPN セッション用の保留待ち行列に入れられています。LLC または APPN が使用中状態を出ると、保留待ち行列からすべてのフレームがフラッシュされます。

---

#### DLS.130

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.130 *intfmod*, *frame refused*, *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, *sap source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.130 *intfmod*, *frame not proc*, *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, *sap source\_sap-> dest\_sap*

説明: SAP およびステーションが、LLC データ・リンク・サービスまたはローカル APPN データ・リンク・サービス用にオープンされていなかったため、フレームは DLS によって処理されませんでした。

---

#### DLS.131

レベル: C-INFO

短構文: DLS.131 LLC, *frame refused*, NOT switching for network *network*, *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, *sap source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.131 LLC, *frame refused*, NOT switching for network *network*, *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, *sap source\_sap-> dest\_sap*

説明: フレームの DSAP が、そのフレームが受信されたインターフェースで交換されるように構成されていないので、フレームは DLS によって処理されませんでした。

---

#### DLS.134

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.134 LLC, *llcevent event not proc*, *handle is bad*

長構文: DLS.134 LLC, *llcevent event not proc*, *handle is bad*

説明: LLC から DLS への受け渡しが不適正であったため、LLC 事象は DLS によって処理されませんでした。

---

#### DLS.135

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.135 LLC, *llcevent unknown event*, not proc for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, *sap source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.135 LLC, *llcevent unknown event*, not proc for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, *sap source\_sap-> dest\_sap*

説明: 認識できない LLC 事象が発生しました。この事象は処理されません。

---

#### DLS.136

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.136 *intfmod*, *llcevent req not proc*, *inv handle*, for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, *sap source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.136 *intfmod*, *llcevent req not proc*, *inv handle*, for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, *sap source\_sap-> dest\_sap*

説明: DLS から渡されたハンドルが不適正だったため、DLS からの LLC 要求または APPN 要求が、LLC

インターフェース・モジュール、または APPN インターフェース・モジュールによって処理されませんでした。

---

#### DLS.137

レベル: U-INFO

短構文: DLS.137 LLC, not enabled, start\_dl not honored, for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.137 LLC, not enabled, start\_dl not honored, for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

説明: DLS の LLC 部分が使用可能にされていないので、DLS から LLC インターフェース・モジュールへの DL 開始要求が受諾されませんでした。これはエラーではありません。CANUREACH を受信すると、DLS はデータ・リンク・サービス・インターフェース・モジュールに対して、START\_DL 要求を出します。SAP への切り替えが構成されていないか、構成がまったく行われていない場合、このような要求は破棄されるのが通常です。

---

#### DLS.138

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.138 *intfmod*, START\_DL discard as err open stn, for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.138 *intfmod*, START\_DL discard as error happened during open station operation, for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

説明: LLC または APPN によってデータ・リンク・ステーションをオープンできなかったため、DLS から LLC インターフェース・モジュール、または APPN インターフェース・モジュールへの DL 開始要求が受諾されませんでした。

---

#### DLS.142

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.142 *intfmod*, event *eventname* received in bad state *statename*, *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.142 *intfmod* event *eventname* received in bad state *statename*, *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

説明: LLC または APPN への DLS インターフェース

が、よくない状態の事象を受信しました。

---

#### DLS.144

レベル: C-INFO

短構文: DLS.144 LLC, Secondary TEST\_R ign, for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.144 LLC Secondary TEST\_R is ignored, for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

説明: マルチパス・ブリッジ環境では、以前に送信した TEST コマンドに対して複数の応答を受信することがあります。LLC インターフェース・モジュールは、そのような TEST 応答を廃棄します。

---

#### DLS.154

レベル: C-INFO

短構文: DLS.154 *intfmod*, *frame\_type* frame drpped, *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap* prt nt up

長構文: DLS.154 *intfmod*, *frame\_type* frame drpped, *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap* prt nt up

説明: ブリッジ・ポートがアップ状態になっていないか、またはローカル APPN が利用不可能であるため、DLS から受信したフレームを正常に送信できませんでした。

---

#### DLS.156

レベル: C-INFO

短構文: DLS.156 DLS session pool of *count* bytes created for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.156 DLS session pool of *count* bytes created for origin MAC *source\_mac\_address->Target MAC dest\_mac\_address*, origin SAP *source\_sap->Target SAP dest\_sap*

説明: 新しい DLS 接続のためにセッション・プールが作成されました。このプールは、データ転送用としてこのセッション専用に使われます。

---

#### DLS.157

レベル: C-INFO

短構文: DLS.157 Global DLS *type* pool of *count* bytes created

**長構文:** DLS.157 Global DLS *type* pool of *count* bytes created

**説明:** 大域 DLS 記憶域プールが作成されました。これは、SSP 制御メッセージおよび非データ転送関連項目のために使用されます。

---

#### DLS.158

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** DLS.158 Cannot create DLS session pool of *count* bytes for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, *sap source\_sap-> dest\_sap*

**長構文:** DLS.158 Cannot create DLS session pool of *count* bytes for origin MAC *source\_mac\_address->Target MAC dest\_mac\_address*, origin SAP *source\_sap->Target SAP dest\_sap*

**説明:** 現在、新しい DLS セッションをサポートするために十分な利用可能記憶域がありません。

---

#### DLS.159

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** DLS.159 Cannot alloc global DLS *type* pool of *count* bytes

**長構文:** DLS.159 Cannot alloc global DLS *type* pool of *count* bytes

**説明:** DLS をサポートするために十分な利用可能記憶域がありません。DLS は使用不可能にされました。

---

#### DLS.160

**レベル:** C-INFO

**短構文:** DLS.160 Entering *flow\_ctrl\_type* congestion for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, *sap source\_sap-> dest\_sap*

**長構文:** DLS.160 Entering *flow\_ctrl\_type* congestion for origin MAC *source\_mac\_address->Target MAC dest\_mac\_address*, origin SAP *source\_sap->Target SAP dest\_sap*

**説明:** TCP バックアップのため、または DLS\_ENTER\_BUSY SSP メッセージを受信したために、DLS セッションが輻輳 (ふくそう) しています。この状態が頻繁に起こる場合は、各 DLS セッションに割り振られる記憶域の量を増やすことを考慮してください。

---

#### DLS.161

**レベル:** C-INFO

**短構文:** DLS.161 Entering GLOBAL congestion on global DLS *pool\_type* pool state= *pool\_state* mem= *memavail*

**長構文:** DLS.161 Entering GLOBAL congestion on global DLS *pool\_type* pool state= *pool\_state* mem= *memavail*

**説明:** 現在活動中のすべての DLS セッションによって割り振られた記憶域の合計容量が、ユーザーが DLS 用に事前割り振りした容量を超過しました。その結果、一部の記憶域が解放されるまで、データ・リンクが一時的に休止状態に置かれています。この状態が頻発する場合は、DLSw に割り振られている記憶域の容量を増やすことを考慮してください。

---

#### DLS.162

**レベル:** C-INFO

**短構文:** DLS.162 Exiting *flow\_ctrl\_type* congestion for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, *sap source\_sap-> dest\_sap*

**長構文:** DLS.162 Exiting *flow\_ctrl\_type* congestion for origin MAC *source\_mac\_address->Target MAC dest\_mac\_address*, origin SAP *source\_sap->Target SAP dest\_sap*

**説明:** 前回は DLS が輻輳 (ふくそう) した時点以降に、十分な記憶域が解放されたので、データ・リンクは再びデータを受信できるようになりました。

---

#### DLS.163

**レベル:** C-INFO

**短構文:** DLS.163 Exiting GLOBAL congestion on global DLS *pool\_type* pool state= *pool\_state* mem= *memavail*

**長構文:** DLS.163 Exiting GLOBAL congestion on global DLS *pool\_type* pool state= *pool\_state* mem= *memavail*

**説明:** 前回は DLS が輻輳 (ふくそう) した時点以降に、十分な記憶域が解放されたので、データ・リンクは再びデータを受信できるようになりました。

---

#### DLS.164

**レベル:** U-INFO

**短構文:** DLS.164 no slow buf for copy while queueing data to *ip\_address* mode *mode*

**長構文:** DLS.164 no slow buffer for copy while queueing data to neighbor *ip\_address* mode *mode*

**説明:** トランスポート/回線が輻輳 (ふくそう) している間待ち行列に入れておくためのデータ・バッファをコピーするためのバッファが入手できませんでした。既存の装置バッファは、待ち行列に入っています。モード: "0" は通常、"1" は使用中、"2" は緊急、"3" は歩調合せです。

---

#### DLS.165

**レベル:** C-INFO

**短構文:** DLS.165 DLS session pool deleted for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address, sap source\_sap-> dest\_sap*

**長構文:** DLS.165 DLS session pool deleted for origin MAC *source\_mac\_address->Target MAC dest\_mac\_address, origin SAP source\_sap->Target SAP dest\_sap*

**説明:** DLSw セッションがクローズされた後、すべてのバッファが DLSw セッション・プールに戻されました。プールはこれで現在取り外しできます。

---

#### DLS.166

**レベル:** C-INFO

**短構文:** DLS.166 DLS, SSP msg CANUREACH received from *ip\_address* for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address, sap source\_sap-> dest\_sap*

**長構文:** DLS.166 DLS forwarder received a SSP CANUREACH message over TCP connection to *ip\_address* for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address, sap source\_sap-> dest\_sap*

**説明:** DLS 転送機能が、TCP を介してスイッチ切り替えプロトコルの CANUREACH メッセージを受信しました。

---

#### DLS.167

**レベル:** C-INFO

**短構文:** DLS.167 DLS, SSP msg ICANREACH received from *ip\_address* for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address, sap source\_sap-> dest\_sap*

**長構文:** DLS.167 DLS forwarder received a SSP ICANREACH message over TCP connection to *ip\_address* for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address, sap source\_sap-> dest\_sap*

**説明:** DLS 転送機能が、TCP を介してスイッチ切り替

えプロトコルの ICANREACH メッセージを受信しました。

---

#### DLS.168

**レベル:** C-INFO

**短構文:** DLS.168 DLS, SSP msg REACHACK received from *ip\_address* for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address, sap source\_sap-> dest\_sap*

**長構文:** DLS.168 DLS forwarder received a SSP REACHACK message over TCP connection to *ip\_address* for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address, sap source\_sap-> dest\_sap*

**説明:** DLS 転送機能が、TCP を介してスイッチ切り替えプロトコルの REACHACK メッセージを受信しました。

---

#### DLS.169

**レベル:** C-INFO

**短構文:** DLS.169 DLS, SSP msg XIDFRAME received from *ip\_address* for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address, sap source\_sap-> dest\_sap*

**長構文:** DLS.169 DLS forwarder received a SSP XIDFRAME message over TCP connection to *ip\_address* for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address, sap source\_sap-> dest\_sap*

**説明:** DLS 転送機能が、TCP を介してスイッチ切り替えプロトコルの XIDFRAME メッセージを受信しました。

---

#### DLS.170

**レベル:** C-INFO

**短構文:** DLS.170 DLS, SSP msg DGRMFRAME received from *ip\_address* for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address, sap source\_sap-> dest\_sap*

**長構文:** DLS.170 DLS forwarder received a SSP DGRMFRAME message over TCP connection to *ip\_address* for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address, sap source\_sap-> dest\_sap*

**説明:** DLS 転送機能が、TCP を介してスイッチ切り替えプロトコルの DGRMFRAME メッセージを受信しました。



---

**DLS.171**

レベル: C-INFO

短構文: DLS.171 DLS, SSP msg CONTACT received from *ip\_address* for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.171 DLS forwarder received a SSP CONTACT message over TCP connection to *ip\_address* for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

説明: DLS 転送機能が、TCP を介してスイッチ切り替えプロトコルの CONTACT メッセージを受信しました。

---

**DLS.172**

レベル: C-INFO

短構文: DLS.172 DLS, SSP msg CONTACTED received from *ip\_address* for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.172 DLS forwarder received a SSP CONTACTED message over TCP connection to *ip\_address* for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

説明: DLS 転送機能が、TCP を介してスイッチ切り替えプロトコルの CONTACTED メッセージを受信しました。

---

**DLS.173**

レベル: C-INFO

短構文: DLS.173 DLS, SSP msg DATAFRAME received from *ip\_address* for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.173 DLS forwarder received a SSP DATAFRAME message over TCP connection to *ip\_address* for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

説明: DLS 転送機能が、TCP を介してスイッチ切り替えプロトコルの DATAFRAME メッセージを受信しました。

---

**DLS.174**

レベル: C-INFO

短構文: DLS.174 DLS, SSP msg RESTART\_DL received from *ip\_address* for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.174 DLS forwarder received a SSP

RESTART\_DL message over TCP connection to *ip\_address* for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

説明: DLS 転送機能が、TCP を介してスイッチ切り替えプロトコルの RESTART\_DL メッセージを受信しました。

---

**DLS.175**

レベル: C-INFO

短構文: DLS.175 DLS, SSP msg RESTARTED received from *ip\_address* for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.175 DLS forwarder received a SSP RESTARTED message over TCP connection to *ip\_address* for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

説明: DLS 転送機能が、TCP を介してスイッチ切り替えプロトコルの RESTARTED メッセージを受信しました。

---

**DLS.176**

レベル: C-INFO

短構文: DLS.176 DLS, SSP msg HALT\_DL received from *ip\_address* for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.176 DLS forwarder received a SSP HALT\_DL message over TCP connection to *ip\_address* for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

説明: DLS 転送機能が、TCP を介してスイッチ切り替えプロトコルの HALT\_DL メッセージを受信しました。

---

**DLS.177**

レベル: C-INFO

短構文: DLS.177 DLS, SSP msg DL\_HALTED received from *ip\_address* for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.177 DLS forwarder received a SSP DL\_HALTED message over TCP connection to *ip\_address* for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

説明: DLS 転送機能が、TCP を介してスイッチ切り替えプロトコルの DL\_HALTED メッセージを受信しました。

---

**DLS.178**

レベル: C-INFO

短構文: DLS.178 DLS, SSP msg INFOFRAME received from *ip\_address* for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.178 DLS forwarder received a SSP INFOFRAME message over TCP connection to *ip\_address* for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

説明: DLS 転送機能が、TCP を介してスイッチ切り替えプロトコルの INFOFRAME メッセージを受信しました。

---

**DLS.179**

レベル: C-INFO

短構文: DLS.179 DLS, SSP msg ENTER\_BUSY received from *ip\_address* for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.179 DLS forwarder received a SSP ENTER\_BUSY message over TCP connection to *ip\_address* for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

説明: DLS 転送機能が、TCP を介してスイッチ切り替えプロトコルの ENTER\_BUSY メッセージを受信しました。

---

**DLS.180**

レベル: C-INFO

短構文: DLS.180 DLS, SSP msg EXIT\_BUSY received from *ip\_address* for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.180 DLS forwarder received a SSP EXIT\_BUSY message over TCP connection to *ip\_address* for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

説明: DLS 転送機能が、TCP を介してスイッチ切り替えプロトコルの EXIT\_BUSY メッセージを受信しました。

---

**DLS.181**

レベル: C-INFO

短構文: DLS.181 DLS, SSP msg HALT\_DL\_NOACK received from *ip\_address* for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.181 DLS forwarder received a SSP

HALT\_DL\_NOACK message over TCP connection to *ip\_address* for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

説明: DLS 転送機能が、TCP を介してスイッチ切り替えプロトコルの HALT\_DL\_NOACK メッセージを受信しました。

---

**DLS.182**

レベル: C-INFO

短構文: DLS.182 DLS, SSP msg IAMOKAY received from *ip\_address*

長構文: DLS.182 DLS forwarder received a SSP IAMOKAY message over TCP connection to *ip\_address*

説明: DLS 転送機能が、TCP を介してスイッチ切り替えプロトコルの IAMOKAY メッセージを受信しました。

---

**DLS.183**

レベル: C-INFO

短構文: DLS.183 DLS, UNRECOGNIZED\_SSP received from *ip\_address* for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.183 DLS forwarder received an UNRECOGNIZED\_SSP message over TCP connection to *ip\_address* for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

説明: DLS 転送機能が、TCP を介して、認識できないスイッチ切り替えプロトコル・メッセージを受信しました。

---

**DLS.184**

レベル: C-INFO

短構文: DLS.184 DLS, DLC event DLC\_CONTACTED received for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.184 DLS forwarder received a DLC event of type DLC\_CONTACTED for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

説明: DLS 転送機能が、下位レイヤーのデータ・リンク (LLC または SDLC) から、DLC\_CONTACTED 事象を受信しました。



---

**DLS.185**

レベル: C-INFO

短構文: DLS.185 DLS, DLC event DLC\_ERROR received for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address, sap source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.185 DLS forwarder received a DLC event of type DLC\_ERROR for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address, sap source\_sap-> dest\_sap*

説明: DLS 転送機能が、下位レイヤーのデータ・リンク (LLC または SDLC) から、DLC\_ERROR 事象を受信しました。

---

**DLS.186**

レベル: C-INFO

短構文: DLS.186 DLS, DLC event DLC\_RESET received for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address, sap source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.186 DLS forwarder received a DLC event of type DLC\_RESET for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address, sap source\_sap-> dest\_sap*

説明: DLS 転送機能が、下位レイヤーのデータ・リンク (LLC または SDLC) から、DLC\_RESET 事象を受信しました。

---

**DLS.187**

レベル: C-INFO

短構文: DLS.187 DLS, DLC event DLC\_DL\_HALTED received for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address, sap source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.187 DLS forwarder received a DLC event of type DLC\_DL\_HALTED for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address, sap source\_sap-> dest\_sap*

説明: DLS 転送機能が、下位レイヤーのデータ・リンク (LLC または SDLC) から、DLC\_DL\_HALTED 事象を受信しました。

---

**DLS.188**

レベル: C-INFO

短構文: DLS.188 DLS, DLC event DLC\_DL\_ENTER\_BUSY received for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address, sap source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.188 DLS forwarder received a DLC event of type DLC\_DL\_ENTER\_BUSY for

*source\_mac\_address-> dest\_mac\_address, sap source\_sap-> dest\_sap*

説明: DLS 転送機能が、下位レイヤーのデータ・リンク (LLC または SDLC) から、DLC\_DL\_ENTER\_BUSY 事象を受信しました。

---

**DLS.189**

レベル: C-INFO

短構文: DLS.189 DLS, DLC event DLC\_DL\_EXIT\_BUSY received for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address, sap source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.189 DLS forwarder received a DLC event of type DLC\_DL\_EXIT\_BUSY for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address, sap source\_sap-> dest\_sap*

説明: DLS 転送機能が、下位レイヤーのデータ・リンク (LLC または SDLC) から、DLC\_DL\_EXIT\_BUSY 事象を受信しました。

---

**DLS.190**

レベル: C-INFO

短構文: DLS.190 DLS, DLC event DLC\_DL\_STARTED received for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address, sap source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.190 DLS forwarder received a DLC event of type DLC\_DL\_STARTED for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address, sap source\_sap-> dest\_sap*

説明: DLS 転送機能が、下位レイヤーのデータ・リンク (LLC または SDLC) から、DLC\_DL\_STARTED 事象を受信しました。

---

**DLS.192**

レベル: C-INFO

短構文: DLS.192 DLS, DLC event DLC\_INFO received for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address, sap source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.192 DLS forwarder received a DLC event of type DLC\_INFO for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address, sap source\_sap-> dest\_sap*

説明: DLS 転送機能が、下位レイヤーのデータ・リンク (LLC または SDLC) から、DLC\_INFO 事象を受信しました。

---

**DLS.193**

レベル: C-INFO

短構文: DLS.193 DLS, DLC event DLC\_DGRM received for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.193 DLS forwarder received a DLC event of type DLC\_DGRM for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

説明: DLS 転送機能が、下位レイヤーのデータ・リンク (LLC または SDLC) から、DLC\_DGRM 事象を受信しました。

---

**DLS.194**

レベル: C-INFO

短構文: DLS.194 DLS, DLC event DLC\_XID received for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.194 DLS forwarder received a DLC event of type DLC\_XID for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

説明: DLS 転送機能が、下位レイヤーのデータ・リンク (LLC または SDLC) から、DLC\_XID 事象を受信しました。

---

**DLS.195**

レベル: C-INFO

短構文: DLS.195 DLS, DLC event DLC\_DATAFRAME received for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.195 DLS forwarder received a DLC event of type DLC\_DATAFRAME for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

説明: DLS 転送機能が、下位レイヤーのデータ・リンク (LLC または SDLC) から、DLC\_DATAFRAME 事象を受信しました。

---

**DLS.196**

レベル: C-INFO

短構文: DLS.196 DLS, Transition to DISCONNECTED state for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.196 DLS forwarder is transitioning to DISCONNECTED state for the DLS session with data link id *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

---

**180** ELS メッセージの手引き

説明: TCP を介して受信した SSP メッセージ、または下位レイヤーの DLC から提示された事象のいずれかの処理時に、関連 DLS セッションが DISCONNECTED 状態に変換中です。

---

**DLS.197**

レベル: C-INFO

短構文: DLS.197 DLS, Transition to CONNECT\_PENDING state for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.197 DLS forwarder is transitioning to CONNECT\_PENDING state for the DLS session with data link id *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

説明: TCP を介して受信した SSP メッセージ、または下位レイヤーの DLC から提示された事象のいずれかの処理時に、関連 DLS セッションが CONNECT\_PENDING 状態に変換中です。

---

**DLS.198**

レベル: C-INFO

短構文: DLS.198 DLS, Transition to CONNECTED state for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.198 DLS forwarder is transitioning to CONNECTED state for the DLS session with data link id *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

説明: TCP を介して受信した SSP メッセージ、または下位レイヤーの DLC から提示された事象のいずれかの処理時に、関連 DLS セッションが CONNECTED 状態に変換中です。

---

**DLS.199**

レベル: C-INFO

短構文: DLS.199 DLS, Transition to DISCONNECT\_PENDING state for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.199 DLS forwarder is transitioning to DISCONNECT\_PENDING state for the DLS session with data link id *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

説明: TCP を介して受信した SSP メッセージ、または下位レイヤーの DLC から提示された事象のいずれかの処理時に、関連 DLS セッションが DISCONNECT\_PENDING 状態に変換中です。

---

**DLS.200**

レベル: C-INFO

短構文: DLS.200 DLS, Transition to CIRCUIT\_ESTABLISHED state for *source\_mac\_address->dest\_mac\_address*, sap *source\_sap->dest\_sap*

長構文: DLS.200 DLS forwarder is transitioning to CIRCUIT\_ESTABLISHED state for the DLS session with data link id *source\_mac\_address->dest\_mac\_address*, sap *source\_sap->dest\_sap*

説明: TCP を介して受信した SSP メッセージ、または下位レイヤーの DLC から提示された事象のいずれかの処理時に、関連 DLS セッションが CIRCUIT\_ESTABLISHED 状態に変換中です。

---

**DLS.201**

レベル: C-INFO

短構文: DLS.201 DLS, Transition to CIRCUIT\_PENDING state for *source\_mac\_address->dest\_mac\_address*, sap *source\_sap->dest\_sap*

長構文: DLS.201 DLS forwarder is transitioning to CIRCUIT\_PENDING state for the DLS session with data link id *source\_mac\_address->dest\_mac\_address*, sap *source\_sap->dest\_sap*

説明: TCP を介して受信した SSP メッセージ、または下位レイヤーの DLC から提示された事象のいずれかの処理時に、関連 DLS セッションが CIRCUIT\_PENDING 状態に変換中です。

---

**DLS.202**

レベル: C-INFO

短構文: DLS.202 DLS, Transition to CIRCUIT\_RESTART state for *source\_mac\_address->dest\_mac\_address*, sap *source\_sap->dest\_sap*

長構文: DLS.202 DLS forwarder is transitioning to CIRCUIT\_RESTART state for the DLS session with data link id *source\_mac\_address->dest\_mac\_address*, sap *source\_sap->dest\_sap*

説明: TCP を介して受信した SSP メッセージ、または下位レイヤーの DLC から提示された事象のいずれかの処理時に、関連 DLS セッションが CIRCUIT\_RESTART 状態に変換中です。

---

**DLS.203**

レベル: C-INFO

短構文: DLS.203 DLS, Transition to RESOLVE\_PENDING state for *source\_mac\_address->dest\_mac\_address*, sap *source\_sap->dest\_sap*

長構文: DLS.203 DLS forwarder is transitioning to RESOLVE\_PENDING state for the DLS session with data link id *source\_mac\_address->dest\_mac\_address*, sap *source\_sap->dest\_sap*

説明: TCP を介して受信した SSP メッセージ、または下位レイヤーの DLC から提示された事象のいずれかの処理時に、関連 DLS セッションが RESOLVE\_PENDING 状態に変換中です。

---

**DLS.204**

レベル: C-INFO

短構文: DLS.204 DLS, Transition to CONTACT\_PENDING state for *source\_mac\_address->dest\_mac\_address*, sap *source\_sap->dest\_sap*

長構文: DLS.204 DLS forwarder is transitioning to CONTACT\_PENDING state for the DLS session with data link id *source\_mac\_address->dest\_mac\_address*, sap *source\_sap->dest\_sap*

説明: TCP を介して受信した SSP メッセージ、または下位レイヤーの DLC から提示された事象のいずれかの処理時に、関連 DLS セッションが CONTACT\_PENDING 状態に変換中です。

---

**DLS.205**

レベル: C-INFO

短構文: DLS.205 DLS, Transition to RESTART\_PENDING state for *source\_mac\_address->dest\_mac\_address*, sap *source\_sap->dest\_sap*

長構文: DLS.205 DLS forwarder is transitioning to RESTART\_PENDING state for the DLS session with data link id *source\_mac\_address->dest\_mac\_address*, sap *source\_sap->dest\_sap*

説明: TCP を介して受信した SSP メッセージ、または下位レイヤーの DLC から提示された事象のいずれかの処理時に、関連 DLS セッションが RESTART\_PENDING 状態に変換中です。

---

---

**DLS.206**

レベル: C-INFO

短構文: DLS.206 DLS, Transition to HALT\_PENDING state for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.206 DLS forwarder is transitioning to HALT\_PENDING state for the DLS session with data link id *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

説明: TCP を介して受信した SSP メッセージ、または下位レイヤーの DLC から提示された事象のいずれかの処理時に、関連 DLS セッションが HALT\_PENDING 状態に変換中です。

---

**DLS.207**

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.207 DLS, DLC\_CONTACTED rcvd in bad state *state* for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.207 DLS forwarder received a DLC\_CONTACTED event in bad state *state* for the DLS session with data link id *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

説明: DLC\_CONTACTED 事象の処理時に、DLS 状態管理機構が、事象が予期しない状態で発生しているのを発見しました。

---

**DLS.208**

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.208 DLS, DLC\_DGRM rcvd in bad state *state* for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.208 DLS forwarder received a DLC\_DGRM event in bad state *state* for the DLS session with data link id *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

説明: DLC\_DGRM 事象の処理時に、DLS 状態管理機構が、事象が予期しない状態で発生しているのを発見しました。

---

**DLS.209**

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.209 DLS, DLC\_ERROR rcvd in bad state *state* for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.209 DLS forwarder received a DLC\_ERROR event in bad state *state* for the DLS session with data link id *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

説明: DLC\_ERROR 事象の処理時に、DLS 状態管理機構が、事象が予期しない状態で発生しているのを発見しました。

---

**DLS.210**

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.210 DLS, DLC\_INFO rcvd in bad state *state* for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.210 DLS forwarder received a DLC\_INFO event in bad state *state* for the DLS session with data link id *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

説明: DLC\_INFO 事象の処理時に、DLS 状態管理機構が、事象が予期しない状態で発生しているのを発見しました。

---

**DLS.211**

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.211 DLS, DLC\_DL\_HALTED rcvd in bad state *state* for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.211 DLS forwarder received a DLC\_DL\_HALTED event in bad state *state* for the DLS session with data link id *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

説明: DLC\_DL\_HALTED 事象の処理時に、DLS 状態管理機構が、事象が予期しない状態で発生しているのを発見しました。

---

**DLS.212**

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.212 DLS, DLC\_DL\_STARTED rcvd in bad state *state* for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.212 DLS forwarder received a DLC\_DL\_STARTED event in bad state *state* for the DLS session with data link id *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

説明: DLC\_DL\_STARTED 事象の処理時に、DLS 状態管理機構が、事象が予期しない状態で発生しているのを発見しました。

---

**DLS.213**

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.213 DLS, DLC\_RESET rcvd in bad state *state* for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.213 DLS forwarder received a DLC\_RESET event in bad state *state* for the DLS session with data link id *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

説明: DLC\_RESET 事象の処理時に、DLS 状態管理機構が、事象が予期しない状態で発生しているのを発見しました。

---

**DLS.214**

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.214 DLS, DLC\_RESOLVE\_C rcvd in bad state *state* for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.214 DLS forwarder received a DLC\_RESOLVE\_C event in bad state *state* for the DLS session with data link id *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

説明: DLC\_RESOLVE\_C 事象の処理時に、DLS 状態管理機構が、事象が予期しない状態で発生しているのを発見しました。

---

**DLS.215**

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.215 DLS, DLC\_XID rcvd in bad state *state* for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.215 DLS forwarder received a DLC\_XID event in bad state *state* for the DLS session with data link id *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

説明: DLC\_XID 事象の処理時に、DLS 状態管理機構が、事象が予期しない状態で発生しているのを発見しました。

---

**DLS.216**

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.216 DLS, CANUREACH rcvd in bad state *state* for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.216 DLS forwarder received a

CANUREACH event in bad state *state* for the DLS session with data link id *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

説明: CANUREACH 事象の処理時に、DLS 状態管理機構が、事象が予期しない状態で発生しているのを発見しました。

---

**DLS.217**

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.217 DLS, DGRMFRAME rcvd in bad state *state* for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.217 DLS forwarder received a DGRMFRAME event in bad state *state* for the DLS session with data link id *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

説明: DGRMFRAME 事象の処理時に、DLS 状態管理機構が、事象が予期しない状態で発生しているのを発見しました。

---

**DLS.218**

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.218 DLS, XIDFRAME rcvd in bad state *state* for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.218 DLS forwarder received a XIDFRAME event in bad state *state* for the DLS session with data link id *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

説明: XIDFRAME 事象の処理時に、DLS 状態管理機構が、事象が予期しない状態で発生しているのを発見しました。

---

**DLS.220**

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.220 DLS, CONTACT rcvd in bad state *state* for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.220 DLS forwarder received a CONTACT event in bad state *state* for the DLS session with data link id *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

説明: CONTACT 事象の処理時に、DLS 状態管理機構が、事象が予期しない状態で発生しているのを発見しました。

---



---

**DLS.221**

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.221 DLS, CONTACTED rcvd in bad state *state* for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.221 DLS forwarder received a CONTACTED event in bad state *state* for the DLS session with data link id *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

説明: CONTACTED 事象の処理時に、DLS 状態管理機構が、事象が予期しない状態で発生しているのを発見しました。

---

**DLS.222**

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.222 DLS, RESTART\_DL rcvd in bad state *state* for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.222 DLS forwarder received a RESTART\_DL event in bad state *state* for the DLS session with data link id *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

説明: RESTART\_DL 事象の処理時に、DLS 状態管理機構が、事象が予期しない状態で発生しているのを発見しました。

---

**DLS.223**

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.223 DLS, DL\_RESTARTED rcvd in bad state *state* for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.223 DLS forwarder received a DL\_RESTARTED event in bad state *state* for the DLS session with data link id *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

説明: DL\_RESTARTED 事象の処理時に、DLS 状態管理機構が、事象が予期しない状態で発生しているのを発見しました。

---

**DLS.224**

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.224 DLS, INFOFRAME rcvd in bad state *state* for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.224 DLS forwarder received a

INFOFRAME event in bad state *state* for the DLS session with data link id *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

説明: INFOFRAME 事象の処理時に、DLS 状態管理機構が、事象が予期しない状態で発生しているのを発見しました。

---

**DLS.225**

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.225 DLS, HALT\_DL rcvd in bad state *state* for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.225 DLS forwarder received a HALT\_DL event in bad state *state* for the DLS session with data link id *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

説明: HALT\_DL 事象の処理時に、DLS 状態管理機構が、事象が予期しない状態で発生しているのを発見しました。

---

**DLS.226**

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.226 DLS, HALT\_DL\_NOACK rcvd in bad state *state* for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.226 DLS forwarder received a HALT\_DL\_NOACK event in bad state *state* for the DLS session with data link id *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

説明: HALT\_DL\_NOACK 事象の処理時に、DLS 状態管理機構が、事象が予期しない状態で発生しているのを発見しました。

---

**DLS.227**

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.227 DLS, DL\_HALTED rcvd in bad state *state* for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.227 DLS forwarder received a DL\_HALTED event in bad state *state* for the DLS session with data link id *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

説明: DL\_HALTED 事象の処理時に、DLS 状態管理機構が、事象が予期しない状態で発生しているのを発見しました。

---

**DLS.228**

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.228 DLS, ENTER\_BUSY rcvd in bad state *state* for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.228 DLS forwarder received a ENTER\_BUSY event in bad state *state* for the DLS session with data link id *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

説明: ENTER\_BUSY 事象の処理時に、DLS 状態管理機構が、事象が予期しない状態で発生しているのを発見しました。

---

**DLS.229**

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.229 DLS, EXIT\_BUSY rcvd in bad state *state* for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.229 DLS forwarder received a EXIT\_BUSY event in bad state *state* for the DLS session with data link id *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

説明: EXIT\_BUSY 事象の処理時に、DLS 状態管理機構が、事象が予期しない状態で発生しているのを発見しました。

---

**DLS.230**

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.230 DLS, REACHACK rcvd in bad state *state* for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.230 DLS forwarder received a REACHACK event in bad state *state* for the DLS session with data link id *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

説明: REACHACK 事象の処理時に、DLS 状態管理機構が、事象が予期しない状態で発生しているのを発見しました。

---

**DLS.231**

レベル: C-INFO

短構文: DLS.231 DLS, CANUREACH to *ip\_address* sent for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.231 DLS, CANUREACH to *ip\_address*

sent for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

説明: DLS は CANUREACH SSP メッセージを、TCP を介して DLS ピアに正常に送信しました。

---

**DLS.232**

レベル: C-INFO

短構文: DLS.232 DLS, ICANREACH to *ip\_address* sent for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.232 DLS, ICANREACH to *ip\_address* sent for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

説明: DLS は ICANREACH SSP メッセージを、TCP を介して DLS ピアに正常に送信しました。

---

**DLS.233**

レベル: C-INFO

短構文: DLS.233 DLS, REACH\_ACK to *ip\_address* sent for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.233 DLS, REACH\_ACK to *ip\_address* sent for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

説明: DLS は REACH\_ACK SSP メッセージを、TCP を介して DLS ピアに正常に送信しました。

---

**DLS.234**

レベル: C-INFO

短構文: DLS.234 DLS, CONTACT to *ip\_address* sent for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.234 DLS, CONTACT to *ip\_address* sent for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

説明: DLS は CONTACT SSP メッセージを、TCP を介して DLS ピアに正常に送信しました。

---

**DLS.235**

レベル: C-INFO

短構文: DLS.235 DLS, CONTACTED to *ip\_address* sent for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.235 DLS, CONTACTED to *ip\_address*



sent for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap  
*source\_sap-> dest\_sap*

説明: DLS は CONTACTED SSP メッセージを、TCP  
を介して DLS ピアに正常に送信しました。

---

#### DLS.236

レベル: C-INFO

短構文: DLS.236 DLS, RESTART\_DL to *ip\_address*  
sent for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap  
*source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.236 DLS, RESTART\_DL to *ip\_address*  
sent for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap  
*source\_sap-> dest\_sap*

説明: DLS は RESTART\_DL SSP メッセージを、TCP  
を介して DLS ピアに正常に送信しました。

---

#### DLS.237

レベル: C-INFO

短構文: DLS.237 DLS, DL\_RESTARTED to *ip\_address*  
sent for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap  
*source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.237 DLS, DL\_RESTARTED to *ip\_address*  
sent for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap  
*source\_sap-> dest\_sap*

説明: DLS は DL\_RESTARTED SSP メッセージを、  
TCP を介して DLS ピアに正常に送信しました。

---

#### DLS.238

レベル: C-INFO

短構文: DLS.238 DLS, ENTER\_BUSY to *ip\_address*  
sent for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap  
*source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.238 DLS, ENTER\_BUSY to *ip\_address*  
sent for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap  
*source\_sap-> dest\_sap*

説明: DLS は ENTER\_BUSY SSP メッセージを、TCP  
を介して DLS ピアに正常に送信しました。

---

#### DLS.239

レベル: C-INFO

短構文: DLS.239 DLS, EXIT\_BUSY to *ip\_address* sent  
for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap  
*source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.239 DLS, EXIT\_BUSY to *ip\_address* sent

for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap  
*source\_sap-> dest\_sap*

説明: DLS は EXIT\_BUSY SSP メッセージを、TCP  
を介して DLS ピアに正常に送信しました。

---

#### DLS.240

レベル: C-INFO

短構文: DLS.240 DLS, HALT\_DL to *ip\_address* sent  
for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap  
*source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.240 DLS, HALT\_DL to *ip\_address* sent  
for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap  
*source\_sap-> dest\_sap*

説明: DLS は HALT\_DL SSP メッセージを、TCP を  
介して DLS ピアに正常に送信しました。

---

#### DLS.241

レベル: C-INFO

短構文: DLS.241 DLS, DL\_HALTED to *ip\_address* sent  
for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap  
*source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.241 DLS, DL\_HALTED to *ip\_address* sent  
for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap  
*source\_sap-> dest\_sap*

説明: DLS は DL\_HALTED SSP メッセージを、TCP  
を介して DLS ピアに正常に送信しました。

---

#### DLS.242

レベル: C-INFO

短構文: DLS.242 DLS, HALT\_DL\_NOACK to  
*ip\_address* sent for *source\_mac\_address->*  
*dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.242 DLS, HALT\_DL\_NOACK to  
*ip\_address* sent for *source\_mac\_address->*  
*dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

説明: DLS は HALT\_DL\_NOACK SSP メッセージ  
を、TCP を介して DLS ピアに正常に送信しました。

---

#### DLS.243

レベル: C-INFO

短構文: DLS.243 DLS, TEST\_CIRCUIT\_RSP to  
*ip\_address* sent for *source\_mac\_address->*  
*dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.243 DLS, TEST\_CIRCUIT\_RSP to

*ip\_address* sent for *source\_mac\_address*->  
*dest\_mac\_address*, *sap source\_sap*-> *dest\_sap*

説明: DLS は TEST\_CIRCUIT\_RSP SSP メッセージを、TCP を介して DLS ピアに正常に送信しました。

---

#### DLS.244

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.244 DLS, FAILED to send CANUREACH to *ip\_address* for *source\_mac\_address*-> *dest\_mac\_address*, *sap source\_sap*-> *dest\_sap*

長構文: DLS.244 DLS, FAILED to send CANUREACH to *ip\_address* for *source\_mac\_address*-> *dest\_mac\_address*, *sap source\_sap*-> *dest\_sap*

説明: バッファー不足か、DLSw が DLSw 機能交換 SAP リスト内の発信元 SAP をサポートしないか、いずれかの原因で、CANUREACH SSP 制御メッセージを送信できませんでした。

---

#### DLS.245

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.245 DLS, FAILED to send ICANREACH to *ip\_address* for *source\_mac\_address*-> *dest\_mac\_address*, *sap source\_sap*-> *dest\_sap*

長構文: DLS.245 DLS, FAILED to send ICANREACH to *ip\_address* for *source\_mac\_address*-> *dest\_mac\_address*, *sap source\_sap*-> *dest\_sap*

説明: バッファーがないか、DLSw が DLSw 機能交換 SAP リスト内の発信元 SAP をサポートしないために、ICANREACH SSP 制御メッセージが送信されませんでした。

---

#### DLS.246

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.246 DLS, FAILED to send REACH\_ACK to *ip\_address* for *source\_mac\_address*-> *dest\_mac\_address*, *sap source\_sap*-> *dest\_sap*

長構文: DLS.246 DLS, FAILED to send REACH\_ACK to *ip\_address* for *source\_mac\_address*-> *dest\_mac\_address*, *sap source\_sap*-> *dest\_sap*

説明: バッファー不足が原因で、REACH\_ACK SSP 制御メッセージを送り出すことができませんでした。

---

#### DLS.247

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.247 DLS, FAILED to send CONTACT to *ip\_address* for *source\_mac\_address*-> *dest\_mac\_address*, *sap source\_sap*-> *dest\_sap*

長構文: DLS.247 DLS, FAILED to send CONTACT to *ip\_address* for *source\_mac\_address*-> *dest\_mac\_address*, *sap source\_sap*-> *dest\_sap*

説明: バッファー不足が原因で、CONTACT SSP 制御メッセージを送り出すことができませんでした。

---

#### DLS.248

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.248 DLS, FAILED to send CONTACTED to *ip\_address* for *source\_mac\_address*-> *dest\_mac\_address*, *sap source\_sap*-> *dest\_sap*

長構文: DLS.248 DLS, FAILED to send CONTACTED to *ip\_address* for *source\_mac\_address*-> *dest\_mac\_address*, *sap source\_sap*-> *dest\_sap*

説明: バッファー不足が原因で、CONTACTED SSP 制御メッセージを送り出すことができませんでした。

---

#### DLS.249

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.249 DLS, FAILED to send RESTART\_DL to *ip\_address* for *source\_mac\_address*-> *dest\_mac\_address*, *sap source\_sap*-> *dest\_sap*

長構文: DLS.249 DLS, FAILED to send RESTART\_DL to *ip\_address* for *source\_mac\_address*-> *dest\_mac\_address*, *sap source\_sap*-> *dest\_sap*

説明: バッファー不足が原因で、RESTART\_DL SSP 制御メッセージを送り出すことができませんでした。

---

#### DLS.250

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.250 DLS, FAILED to send DL\_RESTARTED to *ip\_address* for *source\_mac\_address*-> *dest\_mac\_address*, *sap source\_sap*-> *dest\_sap*

長構文: DLS.250 DLS, FAILED to send DL\_RESTARTED to *ip\_address* for *source\_mac\_address*-> *dest\_mac\_address*, *sap source\_sap*-> *dest\_sap*

説明: バッファー不足が原因で、DL\_RESTARTED SSP 制御メッセージを送り出すことができませんでした。

---

**DLS.251**

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.251 DLS, FAILED to send ENTER\_BUSY to *ip\_address* for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, *sap source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.251 DLS, FAILED to send ENTER\_BUSY to *ip\_address* for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, *sap source\_sap-> dest\_sap*

説明: バッファ不足が原因で、ENTER\_BUSY SSP 制御メッセージを送り出すことができませんでした。

---

**DLS.252**

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.252 DLS, FAILED to send EXIT\_BUSY to *ip\_address* for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, *sap source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.252 DLS, FAILED to send EXIT\_BUSY to *ip\_address* for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, *sap source\_sap-> dest\_sap*

説明: バッファ不足が原因で、EXIT\_BUSY SSP 制御メッセージを送り出すことができませんでした。

---

**DLS.253**

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.253 DLS, FAILED to send HALT\_DL to *ip\_address* for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, *sap source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.253 DLS, FAILED to send HALT\_DL to *ip\_address* for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, *sap source\_sap-> dest\_sap*

説明: バッファ不足が原因で、HALT\_DL SSP 制御メッセージを送り出すことができませんでした。

---

**DLS.254**

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.254 DLS, FAILED to send DL\_HALTED to *ip\_address* for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, *sap source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.254 DLS, FAILED to send DL\_HALTED to *ip\_address* for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, *sap source\_sap-> dest\_sap*

説明: バッファ不足が原因で、DL\_HALTED SSP 制御メッセージを送り出すことができませんでした。

---

---

**DLS.255**

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.255 DLS, FAILED to send HALT\_DL\_NOACK to *ip\_address* for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, *sap source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.255 DLS, FAILED to send HALT\_DL\_NOACK to *ip\_address* for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, *sap source\_sap-> dest\_sap*

説明: バッファ不足が原因で、HALT\_DL\_NOACK SSP 制御メッセージを送り出すことができませんでした。

---

**DLS.256**

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.256 DLS, FAILED to send TEST\_CIRCUIT\_RSP to *ip\_address* for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, *sap source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.256 DLS, FAILED to send TEST\_CIRCUIT\_RSP to *ip\_address* for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, *sap source\_sap-> dest\_sap*

説明: バッファ不足が原因で、TEST\_CIRCUIT\_RSP SSP 制御メッセージを送り出すことができませんでした。

---

**DLS.258**

レベル: C-INFO

短構文: DLS.258 DLS, XIDFRAME to *ip\_address* sent for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, *sap source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.258 DLS, XIDFRAME to *ip\_address* sent for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, *sap source\_sap-> dest\_sap*

説明: DLS は XIDFRAME SSP メッセージを、TCP を介して DLS ピアに正常に送信しました。

---

**DLS.259**

レベル: C-INFO

短構文: DLS.259 DLS, DGRMFRAME to *ip\_address* sent for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, *sap source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.259 DLS, DGRMFRAME to *ip\_address*

sent for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

**説明:** DLS は DGRMFRAME SSP メッセージを、TCP を介して DLS ピアに正常に送信しました。

---

### DLS.260

**レベル:** C-INFO

**短構文:** DLS.260 DLS, DATAFRAME to *ip\_address* sent for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

**長構文:** DLS.260 DLS, DATAFRAME to *ip\_address* sent for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

**説明:** DLS は、TCP または UDP を介して、その DLSw ピアに、DATAFRAME SSP メッセージを正常に送り出しました。

---

### DLS.261

**レベル:** C-INFO

**短構文:** DLS.261 DLS, INFOFRAME to *ip\_address* sent for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

**長構文:** DLS.261 DLS, INFOFRAME to *ip\_address* sent for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

**説明:** DLS は INFOFRAME SSP メッセージを、TCP を介して DLS ピアに正常に送信しました。

---

### DLS.262

**レベル:** C-INFO

**短構文:** DLS.262 DLS, SSP msg TEST\_CIRCUIT\_REQ received from *ip\_address* for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

**長構文:** DLS.262 DLS forwarder received a SSP TEST\_CIRCUIT\_REQ message over TCP connection to *ip\_address* for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

**説明:** DLS 転送機能が TCP を介して、スイッチ切り替えプロトコルの TEST\_CIRCUIT\_REQ メッセージを受信しました。

---

### DLS.263

**レベル:** C-INFO

**短構文:** DLS.263 DLS, SSP msg TEST\_CIRCUIT\_RSP received from *ip\_address* for *source\_mac\_address->*

*dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

**長構文:** DLS.263 DLS forwarder received a SSP TEST\_CIRCUIT\_RSP message over TCP connection to *ip\_address* for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

**説明:** DLS 転送機能が TCP を介して、スイッチ切り替えプロトコルの TEST\_CIRCUIT\_RSP メッセージを受信しました。

---

### DLS.264

**レベル:** C-INFO

**短構文:** DLS.264 *intfmod*, Flushed Info frame sent, *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

**長構文:** DLS.264 *intfmod*, Flushed info frame sent, *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

**説明:** DLS から受信した情報フレームが、LLC エンド・ステーション、またはローカル APPN に正常にフラッシュされました。

---

### DLS.265

**レベル:** C-INFO

**短構文:** DLS.265 *intfmod*, TEST\_C frame sent, *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

**長構文:** DLS.265 *intfmod*, TEST\_C frame sent, *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

**説明:** DLSw ピア・ルーターから CANUREACH を受信した結果として、TEST コマンド・フレームが LLC エンド・ステーション、またはローカル APPN に正常に送信されました。

---

### DLS.266

**レベル:** C-INFO

**短構文:** DLS.266 *intfmod*, TEST\_R frame sent, *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

**長構文:** DLS.266 *intfmod*, TEST\_R frame sent, *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

**説明:** DLSw ピア・ルーターから ICANREACH を受信した結果として、TEST 応答フレームが LLC エンド・

ステーション、またはローカル APPN に正常に送信されました。

---

#### DLS.268

レベル: C-INFO

短構文: DLS.268 LLC, UI frame sent, *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address, sap source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.268 LLC, UI frame sent, *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address, sap source\_sap-> dest\_sap*

説明: UI フレームが LLC エンド・ステーションに正常に送信されました。

---

#### DLS.269

レベル: U-INFO

短構文: DLS.269 *intfmod*, TEST\_C frame refused by st mch, *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address, sap source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.269 *intfmod*, TEST\_C frame refused by st mch, *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address, sap source\_sap-> dest\_sap*

説明: TEST コマンド・フレームは、DLS を介して正常に中継できなかったため、LLC インターフェース・モジュール、または APPN インターフェース・モジュールの状態管理機構によって処理されませんでした。

TEST コマンド・フレームの場合、DLS はフレームをブリッジ・パスを介しても送信できるように、フレームをコピーし、そのフレームを拒否するので、この状況は正常です。

---

#### DLS.270

レベル: U-INFO

短構文: DLS.270 *intfmod*, TEST\_R frame refused by st mch, *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address, sap source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.270 *intfmod*, TEST\_R frame refused by st mch, *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address, sap source\_sap-> dest\_sap*

説明: TEST 応答フレームは、DLS を介して正常に中継できなかったため、LLC インターフェース・モジュール、または APPN インターフェース・モジュールの状態管理機構によって処理されませんでした。

---

#### DLS.271

レベル: U-INFO

短構文: DLS.271 *intfmod*, XID\_C frame refused by st mch, *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address, sap source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.271 *intfmod*, XID\_C frame refused by st mch, *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address, sap source\_sap-> dest\_sap*

説明: XID コマンド・フレームは、DLS を介して正常に中継できなかったため、LLC インターフェース・モジュール、または APPN インターフェース・モジュールの状態管理機構によって処理されませんでした。

---

#### DLS.272

レベル: U-INFO

短構文: DLS.272 *intfmod*, XID\_R frame refused by st mch, *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address, sap source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.272 *intfmod*, XID\_R frame refused by st mch, *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address, sap source\_sap-> dest\_sap*

説明: XID 応答フレームは、DLS を介して正常に中継できなかったため、LLC インターフェース・モジュール、または APPN インターフェース・モジュールの状態管理機構によって処理されませんでした。

---

#### DLS.273

レベル: U-INFO

短構文: DLS.273 LLC, UI frame refused by st mch, *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address, sap source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.273 LLC, UI frame refused by st mch, *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address, sap source\_sap-> dest\_sap*

説明: UI フレームは、DLS を介して正常に中継できなかったため、DLS-LLC インターフェース・モジュールの状態管理機構によって処理されませんでした。

---

#### DLS.274

レベル: U-INFO

短構文: DLS.274 LLC, INFO frame refused by st mch, *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address, sap source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.274 LLC, INFO frame refused by st mch,

*source\_mac\_address-> dest\_mac\_address, sap source\_sap-> dest\_sap*

**説明:** INFO フレームは、DLS を介して正常に中継できなかったため、DLS-LLC インターフェース・モジュールの状態管理機構によって処理されませんでした。

---

#### DLS.276

**レベル:** C-INFO

**短構文:** DLS.276 *intfmod, event eventname received for source\_mac\_address-> dest\_mac\_address, sap source\_sap-> dest\_sap*

**長構文:** DLS.276 *intfmod, event eventname received for source\_mac\_address-> dest\_mac\_address, sap source\_sap-> dest\_sap*

**説明:** DLS の LLC インターフェース・モジュール、または APPN インターフェース・モジュールが、NETUP 事象を受信しました。

---

#### DLS.277

**レベル:** C-INFO

**短構文:** DLS.277 *intfmod, event eventname received for source\_mac\_address-> dest\_mac\_address, sap source\_sap-> dest\_sap*

**長構文:** DLS.277 *intfmod, event eventname received for source\_mac\_address-> dest\_mac\_address, sap source\_sap-> dest\_sap*

**説明:** DLS の LLC インターフェース・モジュール、または APPN インターフェース・モジュールが、NETDOWN 事象を受信しました。

---

#### DLS.278

**レベル:** C-INFO

**短構文:** DLS.278 *intfmod, event eventname received for source\_mac\_address-> dest\_mac\_address, sap source\_sap-> dest\_sap*

**長構文:** DLS.278 *intfmod, event eventname received for source\_mac\_address-> dest\_mac\_address, sap source\_sap-> dest\_sap*

**説明:** DLS の LLC インターフェース・モジュール、または APPN インターフェース・モジュールが、CONNECT\_IND 事象を受信しました。

---

#### DLS.279

**レベル:** C-INFO

**短構文:** DLS.279 *intfmod, event eventname received for source\_mac\_address-> dest\_mac\_address, sap source\_sap-> dest\_sap*

**長構文:** DLS.279 *intfmod, event eventname received for source\_mac\_address-> dest\_mac\_address, sap source\_sap-> dest\_sap*

**説明:** DLS の LLC インターフェース・モジュール、または APPN インターフェース・モジュールが、CONNECT\_CONF 事象を受信しました。

---

#### DLS.280

**レベル:** C-INFO

**短構文:** DLS.280 *intfmod, event eventname received for source\_mac\_address-> dest\_mac\_address, sap source\_sap-> dest\_sap*

**長構文:** DLS.280 *intfmod, event eventname received for source\_mac\_address-> dest\_mac\_address, sap source\_sap-> dest\_sap*

**説明:** DLS の LLC インターフェース・モジュール、または APPN インターフェース・モジュールが、ENTER\_BUSY 事象を受信しました。

---

#### DLS.281

**レベル:** C-INFO

**短構文:** DLS.281 *intfmod, event eventname received for source\_mac\_address-> dest\_mac\_address, sap source\_sap-> dest\_sap*

**長構文:** DLS.281 *intfmod, event eventname received for source\_mac\_address-> dest\_mac\_address, sap source\_sap-> dest\_sap*

**説明:** DLS の LLC インターフェース・モジュール、または APPN インターフェース・モジュールが、EXIT\_BUSY 事象を受信しました。

---

#### DLS.282

**レベル:** C-INFO

**短構文:** DLS.282 *intfmod, event eventname received for source\_mac\_address-> dest\_mac\_address, sap source\_sap-> dest\_sap*

**長構文:** DLS.282 *intfmod, event eventname received for source\_mac\_address-> dest\_mac\_address, sap source\_sap-> dest\_sap*



説明: DLS の LLC インターフェース・モジュール、または APPN インターフェース・モジュールが、DISC\_IND 事象を受信しました。

---

#### DLS.283

レベル: C-INFO

短構文: DLS.283 *intfmod*, event *eventname* received for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.283 *intfmod*, event *eventname* received for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

説明: DLS の LLC インターフェース・モジュール、または APPN インターフェース・モジュールが、DISC\_CONF 事象を受信しました。

---

#### DLS.284

レベル: C-INFO

短構文: DLS.284 *intfmod*, event *eventname* received for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.284 *intfmod*, event *eventname* received for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

説明: DLS の LLC インターフェース・モジュール、または APPN インターフェース・モジュールが、RESET\_IND 事象を受信しました。

---

#### DLS.285

レベル: C-INFO

短構文: DLS.285 *intfmod*, event *eventname* received for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.285 *intfmod*, event *eventname* received for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

説明: DLS の LLC インターフェース・モジュール、または APPN インターフェース・モジュールが、TEST\_C 事象を受信しました。

---

#### DLS.286

レベル: C-INFO

短構文: DLS.286 *intfmod*, event *eventname* received for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.286 *intfmod*, event *eventname* received for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

説明: DLS の LLC インターフェース・モジュール、または APPN インターフェース・モジュールが、TEST\_R 事象を受信しました。

---

#### DLS.287

レベル: C-INFO

短構文: DLS.287 *intfmod*, event *eventname* received for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.287 *intfmod*, event *eventname* received for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

説明: DLS の LLC インターフェース・モジュール、または APPN インターフェース・モジュールが、XID\_C 事象を受信しました。

---

#### DLS.288

レベル: C-INFO

短構文: DLS.288 *intfmod*, event *eventname* received for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.288 *intfmod*, event *eventname* received for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

説明: DLS の LLC インターフェース・モジュール、または APPN インターフェース・モジュールが、XID\_R 事象を受信しました。

---

#### DLS.289

レベル: C-INFO

短構文: DLS.289 LLC, event LLCIM\_LLC\_UI received for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.289 LLC, event LLCIM\_LLC\_UI received for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

説明: DLS の LLC インターフェース・モジュールが、LLC から LLCIM\_LLC\_UI 事象を受信しました。



---

**DLS.290**

レベル: C-INFO

短構文: DLS.290 *intfmod*, event *eventname* received for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, *sap source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.290 *intfmod*, event *eventname* received for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, *sap source\_sap-> dest\_sap*

説明: DLS の LLC インターフェース・モジュール、または APPN インターフェース・モジュールが、DLS から DLC\_START\_DL 事象を受信しました。

---

**DLS.291**

レベル: C-INFO

短構文: DLS.291 *intfmod*, event *eventname* received for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, *sap source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.291 *intfmod*, event *eventname* received for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, *sap source\_sap-> dest\_sap*

説明: DLS の LLC インターフェース・モジュール、または APPN インターフェース・モジュールが、DLS から DLC\_RESOLVE\_R 事象を受信しました。

---

**DLS.292**

レベル: C-INFO

短構文: DLS.292 *intfmod*, event *eventname* received for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, *sap source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.292 *intfmod*, event *eventname* received for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, *sap source\_sap-> dest\_sap*

説明: DLS の LLC インターフェース・モジュール、または APPN インターフェース・モジュールが、DLS から DLC\_CONTACT 事象を受信しました。

---

**DLS.293**

レベル: C-INFO

短構文: DLS.293 LLC, event LLCIM\_DLC\_DGRM received for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, *sap source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.293 LLC, event LLCIM\_DLC\_DGRM received for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, *sap source\_sap-> dest\_sap*

---

説明: DLS の LLC インターフェース・モジュールが、DLS から LLCIM\_LLC\_DGRM 事象を受信しました。

---

**DLS.294**

レベル: C-INFO

短構文: DLS.294 *intfmod*, event *eventname* received for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, *sap source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.294 *intfmod*, event *eventname* received for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, *sap source\_sap-> dest\_sap*

説明: DLS の LLC インターフェース・モジュール、または APPN インターフェース・モジュールが、DLS から DLC\_XID 事象を受信しました。

---

**DLS.295**

レベル: C-INFO

短構文: DLS.295 *intfmod*, event *eventname* received for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, *sap source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.295 *intfmod*, event *eventname* received for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, *sap source\_sap-> dest\_sap*

説明: DLS の LLC インターフェース・モジュール、または APPN インターフェース・モジュールが、DLS から DLC\_HALT\_DL 事象を受信しました。

---

**DLS.296**

レベル: C-INFO

短構文: DLS.296 *intfmod*, event *eventname* received for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, *sap source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.296 *intfmod*, event *eventname* received for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, *sap source\_sap-> dest\_sap*

説明: DLS の LLC インターフェース・モジュール、または APPN インターフェース・モジュールが、DLS から DLC\_ENTER\_BUSY 事象を受信しました。

---

**DLS.297**

レベル: C-INFO

短構文: DLS.297 *intfmod*, event *eventname* received for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, *sap source\_sap-> dest\_sap*

---

**長構文:** DLS.297 *intfmod*, event *eventname* received for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

**説明:** DLS の LLC インターフェース・モジュール、または APPN インターフェース・モジュールが、DLS から DLC\_EXIT\_BUSY 事象を受信しました。

---

#### DLS.298

**レベル:** C-INFO

**短構文:** DLS.298 *intfmod*, event *eventname* received for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

**長構文:** DLS.298 *intfmod*, event *eventname* received for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

**説明:** DLS の LLC インターフェース・モジュール、または APPN インターフェース・モジュールが、INFOFRAME 事象を受信しました。

---

#### DLS.299

**レベル:** C-INFO

**短構文:** DLS.299 *intfmod*, event *eventname* received for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

**長構文:** DLS.299 *intfmod*, event *eventname* received for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

**説明:** DLS の LLC インターフェース・モジュール、または APPN インターフェース・モジュールが、DLS から DLC\_INFO 事象を受信しました。

---

#### DLS.300

**レベル:** C-INFO

**短構文:** DLS.300 *intfmod*, Transition to *statename* state for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

**長構文:** DLS.300 *intfmod*, Transition to *statename* state for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

**説明:** DLS の LLC インターフェース・モジュール、または APPN インターフェース・モジュールが、CONTACTED 状態に変換中です。

---

#### DLS.301

**レベル:** C-INFO

**短構文:** DLS.301 *intfmod*, Transition to *statename* state for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

**長構文:** DLS.301 *intfmod* Transition to *statename* state for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

**説明:** DLS の LLC インターフェース・モジュール、または APPN インターフェース・モジュールが、RESOLVE\_PEND 状態に変換中です。

---

#### DLS.302

**レベル:** C-INFO

**短構文:** DLS.302 *intfmod*, Transition to *statename* state for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

**長構文:** DLS.302 *intfmod*, Transition to *statename* state for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

**説明:** DLS の LLC インターフェース・モジュール、または APPN インターフェース・モジュールが、CONNECTED 状態に変換中です。

---

#### DLS.303

**レベル:** C-INFO

**短構文:** DLS.303 *intfmod*, Transition to *statename* state for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

**長構文:** DLS.303 *intfmod* Transition to *statename* state for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

**説明:** DLS の LLC インターフェース・モジュール、または APPN インターフェース・モジュールが、CONNECT\_PEND 状態に変換中です。

---

#### DLS.304

**レベル:** C-INFO

**短構文:** DLS.304 *intfmod*, Transition to *statename* state for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

**長構文:** DLS.304 *intfmod* Transition to *statename* state for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

説明: DLS の LLC インターフェース・モジュール、または APPN インターフェース・モジュールが、CONTACT\_PEND 状態に変換中です。

---

### DLS.305

レベル: C-INFO

短構文: DLS.305 *intfmod*, Transition to *statename* state for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, *sap source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.305 *intfmod* Transition to *statename* state for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, *sap source\_sap-> dest\_sap*

説明: DLS の LLC インターフェース・モジュール、または APPN インターフェース・モジュールが、DISCONNECTED 状態に変換中です。

---

### DLS.306

レベル: C-INFO

短構文: DLS.306 *intfmod*, Transition to *statename* state for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, *sap source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.306 *intfmod* Transition to *statename* state for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, *sap source\_sap-> dest\_sap*

説明: DLS の LLC インターフェース・モジュール、または APPN インターフェース・モジュールが、DISC\_PEND 状態に変換中です。

---

### DLS.307

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.307 DLSw disabled no mem for buffers

長構文: DLS.307 DLSw forwarder disabled no memory for buffers

説明: DLS 専用バッファ・プールを作成するための記憶域が十分になかったため、データ・リンク・スイッチ転送機能が使用不可にされました。

---

### DLS.308

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.308 DLSw disabled no mem for llcim struct

長構文: DLS.308 DLSw forwarder disabled no memory for llcim structures

説明: 必要な LLCIM データ構造を作成するための記

憶域が十分になかったため、データ・リンク・スイッチ転送機能が使用不可にされました。

---

### DLS.309

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.309 DLSw disabled no mem for tcpim struct

長構文: DLS.309 DLSw forwarder disabled no memory for tcpim structures

説明: 必要な TCPIM データ構造を作成するための記憶域が十分になかったため、データ・リンク・スイッチ転送機能が使用不可にされました。

---

### DLS.310

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.310 DLSw disabled no mem for sdlcim struct

長構文: DLS.310 DLSw forwarder disabled no memory for sdlcim structures

説明: 必要な SDLCIM データ構造を作成するための記憶域が十分になかったため、データ・リンク・スイッチ転送機能が使用不可にされました。

---

### DLS.311

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.311 DLSw disabled no mem for group struct

長構文: DLS.311 DLSw forwarder disabled no memory for group protocol structures

説明: 必要なグループ・プロトコル・データ構造を作成するための記憶域が十分になかったため、データ・リンク・スイッチ転送機能が使用不可にされました。

---

### DLS.312

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.312 DLSw disabled no mem for dl corr array

長構文: DLS.312 DLSw forwarder disabled no memory for dl correlator array

説明: 必要な dl 相関配列を作成するための記憶域が十分になかったため、データ・リンク・スイッチ転送機能が使用不可にされました。

原因: dl 相関配列に必要な記憶域を割り振ることができません。

処置: DLSw セッションの最大数を減らしてください。

---

### DLS.313

レベル: C-INFO

短構文: DLS.313 *intfmod*, INFO frame sent, *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, *sap source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.313 *intfmod*, INFO frame sent, *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, *sap source\_sap-> dest\_sap*

説明: DLS から受信した INFO フレームが、LLC エンド・ステーションまたはローカル APPN に正常に送信されました。

---

### DLS.314

レベル: C-INFO

短構文: DLS.314 TCP, *cfg xmit buf too large for group group*, clipped to *transmit\_buffer\_size*

長構文: DLS.314 TCP, configured transmit buffer size too large for group *group*, clipped to *transmit\_buffer\_size*

説明: ユーザーは、グループ構成中に TCP 転送バッファ・サイズを構成しましたが、それはルーターが処理できません。このサイズは自動的に、ルーターが割り振ることができるより低い値に設定されていました。

---

### DLS.315

レベル: C-INFO

短構文: DLS.315 TCP, *cfg xmit buf too large for neighbour\_address*, clipped to *transmit\_buffer\_size*

長構文: DLS.315 TCP, configured transmit buffer size too large for *neighbour\_address*, clipped to *transmit\_buffer\_size*

説明: ユーザーが構成した TCP 転送バッファ・サイズは、ルーターが処理することができません。このサイズは、ルーターが割り振ることができるように自動的により低い値に設定されました。

---

### DLS.316

レベル: C-INFO

短構文: DLS.316 DLS, CANUREACH frame coll, frame ign, *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, *sap source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.316 DLS, CANUREACH frame collision,

*frame ignored*, *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, *sap source\_sap-> dest\_sap*

説明: CANUREACH フレームが DLS から受信されましたが、処理できませんでした。その理由は、CANUREACH で指定されている MAC アドレスおよび SAP について CANUREACH がこのルーターで現在すでに処理中であり、既存の回線の起点 MAC アドレスが、この CANUREACH で指定された起点 MAC アドレスよりも大きいからです。

---

### DLS.317

レベル: C-INFO

短構文: DLS.317 *intfmod*, XID\_C frame sent, *len=xid\_data\_len*, *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, *sap source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.317 *intfmod*, XID\_C frame sent, *len=xid\_data\_len*, *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, *sap source\_sap-> dest\_sap*

説明: XID\_C フレームが LLC エンド・ステーションまたはローカル APPN に正常に送信されました。

---

### DLS.318

レベル: C-INFO

短構文: DLS.318 *intfmod*, XID\_R frame sent, *len=xid\_data\_len*, *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, *sap source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.318 *intfmod*, XID\_R frame sent, *len=xid\_data\_len*, *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, *sap source\_sap-> dest\_sap*

説明: XID\_R フレームが LLC エンド・ステーションまたはローカル APPN に正常に送信されました。

---

### DLS.319

レベル: C-INFO

短構文: DLS.319 *intfmod*, XID\_C dropped, *len=xid\_data\_len*, *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, *sap source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.319 *intfmod*, XID\_C dropped, *len=xid\_data\_len*, *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, *sap source\_sap-> dest\_sap*

説明: 受信された XID\_C フレームが、直前に受信された XID\_C が DLSw により処理されているため、廃棄されました。この XID\_C は重複と見なされます。これは、エンド・ステーションが XID\_C を再試行するため頻繁に生じます。

---

**DLS.320**

レベル: C-INFO

短構文: DLS.320 LLC, *XID\_R* dropped, len=  
*xid\_data\_len*, *source\_mac\_address*-> *dest\_mac\_address*, sap  
*source\_sap*-> *dest\_sap*

長構文: DLS.320 LLC, *XID\_R* dropped, len=  
*xid\_data\_len*, *source\_mac\_address*-> *dest\_mac\_address*, sap  
*source\_sap*-> *dest\_sap*

説明: 受信された *XID\_R* フレームが、処理中の *XID* コマンドがないために廃棄されました。これは、*DLSw* が *XID\_C* を再試行したとき多数の *XID\_R* が戻る可能性があるために、通常でも生じます。

---

**DLS.321**

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.321 LLC, *XIDFRAME* dropped-bad *XID* state, len=  
*xid\_data\_len*, *source\_mac\_address*-> *dest\_mac\_address*, sap  
*source\_sap*-> *dest\_sap*

長構文: DLS.321 LLC, *XIDFRAME* dropped-bad *XID* state, len=  
*xid\_data\_len*, *source\_mac\_address*-> *dest\_mac\_address*, sap  
*source\_sap*-> *dest\_sap*

説明: 予期しない *XIDFRAME* が受信され、破棄されました。*LLC* は通常、この状態では *XID* の受信を予期しません。

処置: なし。ただし、メッセージで記述されたエンド・ステーション間の接続を確立する上で問題がない場合に限りです。

---

**DLS.322**

レベル: C-INFO

短構文: DLS.322 *intfmod*, unexpected null *XID*,  
*source\_mac\_address*-> *dest\_mac\_address*, sap *source\_sap*->  
*dest\_sap*

長構文: DLS.322 *intfmod*, unexpected null *XID*,  
*source\_mac\_address*-> *dest\_mac\_address*, sap *source\_sap*->  
*dest\_sap*

説明: 空白 *XID* が *SABME/UA* 交換の後で受信されました。このことは、この状態では通常起こらず、エンド・ステーションが新規のセッションを開始しようとしていることを示しています。現行 *DLSw* セッションは終了します。

---

**DLS.323**

レベル: C-INFO

短構文: DLS.323 *DLS*, activ *XIDFRAME* dropped-bad state, len=  
*xid\_data\_len*, *source\_mac\_address*-> *dest\_mac\_address*, sap  
*source\_sap*-> *dest\_sap*

長構文: DLS.323 *DLS*, activ *XIDFRAME* dropped-bad state, len=  
*xid\_data\_len*, *source\_mac\_address*-> *dest\_mac\_address*, sap  
*source\_sap*-> *dest\_sap*

説明: 受信された活動化 *XIDFRAME* は、*DLSw* *DLS\_CONNECTED* または *DLS\_CONNECT\_PENDING* 状態で許可されません。このフレームは廃棄されます。

---

**DLS.324**

レベル: C-INFO

短構文: DLS.324 *DLS*, activ *XID* dropped-bad state, len=  
*xid\_data\_len*, *source\_mac\_address*-> *dest\_mac\_address*, sap  
*source\_sap*-> *dest\_sap*

長構文: DLS.324 *DLS*, activ *XID* dropped-bad state, len=  
*xid\_data\_len*, *source\_mac\_address*-> *dest\_mac\_address*, sap  
*source\_sap*-> *dest\_sap*

説明: 受信された活動化 *XID* は、*DLSw* *DLS\_CONNECTED* または *DLS\_CONNECT\_PENDING* 状態で許可されません。このフレームは廃棄されます。

---

**DLS.325**

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.325 *DLS*, Session not created-Maximum Number of *DLS* Sessions exceeded.

長構文: DLS.325 *DLS*, Session not created-Maximum Number of *DLS* Sessions exceeded.

説明: *DLSw* セッションは、構成された *DLSw* セッションの最大数を超過するため作成されません。

---

**DLS.326**

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.326 close transport conn to *ip\_address*, unrecoverable SSP sync error

長構文: DLS.326 closing transport connection to *ip\_address*, unrecoverable SSP synchronization error

説明: 受信した *DLSw* SSP メッセージにエラーがあったため、回復の試みとして、TCP セッションをクローズする必要があります。原因は、直前の SSP メッセージのメッセージ長が無効であったためか、現在のメッセ



ージの DLSw SSP バージョンがサポートされていないためか、いずれかです。

---

#### DLS.327

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.327 DL\_HALTED timer expired, closing session *source\_mac\_address*-> *dest\_mac\_address*, sap *source\_sap*-> *dest\_sap*

長構文: DLS.327 DL\_HALTED timer expired, closing session *source\_mac\_address*-> *dest\_mac\_address*, sap *source\_sap*-> *dest\_sap*

説明: 予期された DL\_HALTED SSP メッセージが先に送信された HALT\_DL メッセージに回答して受信されませんでした。その結果、接続は現在切断状態にあると考えられます。

---

#### DLS.328

レベル: C-INFO

短構文: DLS.328 DLSw, Reconnect TCP connection to Neighbor *ip\_address*

長構文: DLS.328 TCP, Automatically reconnecting to neighbor at *ip\_address*

説明: 前にダウンした TCP 接続が、再接続中です。これは、ユーザーが TCP 接続を「能動」と定義しているためです。自動再接続を禁止するには、この接続を「受動」と定義します。

---

#### DLS.330

レベル: C-INFO

短構文: DLS.330 sdlc link sta reopen addr *link\_address* nt *network ID*

長構文: DLS.330 SDLC link station reopened address *link\_address* net *network ID*

説明: リンク・アドレスの SDLC リンク・ステーションは、SDLC リンク・ステーションが SDLC コンソールで再追加されたため、ネットワーク・インターフェースで正常に再オープンされました。

---

#### DLS.331

レベル: C-INFO

短構文: DLS.331 TCP, no mem for conn to nbr at *ip\_address*

長構文: DLS.331 TCP, cannot create a new connection to neighbor at *ip\_address* due to a memory shortage

説明: 新規の TCP 接続を確立するための記憶域が、ルーター内で不足しています。

---

#### DLS.332

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.332 Ptr to SCB is NULL. Event: *event*;  
DLC: *dlc\_name*; CCB State: *ccb\_state*; MAC:  
*source\_mac\_address*-> *dest\_mac\_address*, SAP:  
*source\_sap*-> *dest\_sap*

長構文: DLS.332 Ptr to SCB is NULL. Event: *event*;  
DLC: *dlc\_name*; CCB State: *ccb\_state*; MAC:  
*source\_mac\_address*-> *dest\_mac\_address*, SAP:  
*source\_sap*-> *dest\_sap*

説明: 有効な DLS SCB を予期し、必要とする DLC 事象を処理しているときに、DLS 状態管理機構は渡された SCB へのポインターが NULL であることを発見しました。

---

#### DLS.333

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.333 Ptr to SCB is NULL and ptr to CCB is also NULL. Event: *event*

長構文: DLS.333 Ptr to SCB is NULL and ptr to CCB is also NULL. Event: *event*

説明: 有効な DLS SCB および DLC CCB を予期し、必要とする DLC 事象を処理しているときに、DLS 状態管理機構は渡された両方へのポインターが NULL であることを発見しました。

---

#### DLS.334

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.334 Ptr to SCB is NULL and CCB identifier is invalid. Event: *event*

長構文: DLS.334 Ptr to SCB is NULL and CCB identifier is invalid. Event: *event*

説明: 有効な DLS SCB および DLC CCB を予期し、必要とする DLC 事象を処理しているときに、渡された SCB へのポインターが NULL であり、DLC CCB 識別子が無効であることを DLS 状態管理機構が発見しました。

---

#### DLS.335

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.335 SSP msg received. Ptr to SCB is NULL. Xport state: *transport\_state*; IP: *remote\_ip\_addr*

**長構文:** DLS.335 SSP msg received. Ptr to SCB is NULL. Xport state: *transport\_state*; IP: *remote\_ip\_addr*

**説明:** 有効な DLS SCB を予期し、必要とする SSP 事象を処理しているときに、DLS 状態管理機構は渡された SCB へのポインターが NULL であることを発見しました。

---

### DLS.338

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** DLS.338 Could not send ctrl msg, closing session *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

**長構文:** DLS.338 Could not send control message, closing session *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

**説明:** ルーターは、メッセージを入れるバッファが不足しているために、応答制御メッセージを送信できませんでした。HALT\_DL\_NOACK を送信して DLSw セッションを終了します。

---

### DLS.339

**レベル:** C-INFO

**短構文:** DLS.339 DLS, Cleanup HALT\_DL\_NOACK to *ip\_address* sent for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

**長構文:** DLS.339 DLS, Cleanup HALT\_DL\_NOACK to *ip\_address* sent for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

**説明:** HALT\_DL\_NOACK SSP メッセージを、DLS が DLS ピアに TCP を通じて正常に送信しました。これが行われたのは、制御メッセージを送信しようとしたときにバッファ不足状態が起こったためです。

---

### DLS.340

**レベル:** C-INFO

**短構文:** DLS.340 Sent Capex Request to *ip\_address*.

**長構文:** DLS.340 A Capabilities Exchange Request has been sent to the DLSw neighbor at *ip\_address*.

**説明:** DLSw TCP インターフェース・モジュールは、TCP トランスポートが機能交換を行う能力があると判断しました。DLSw TCP インターフェース・モジュールは、DLSw 近隣への機能交換要求を送信しました。

---

### DLS.341

**レベル:** C-INFO

**短構文:** DLS.341 Received Capex Request from *ip\_address*.

**長構文:** DLS.341 A Capabilities Exchange Request has been received from the DLSw neighbor at *ip\_address*.

**説明:** DLSw TCP インターフェースが、DLSw 近隣から機能交換メッセージを受信しました。構文解析モジュールは、メッセージ・タイプが要求であると判断しました。

---

### DLS.342

**レベル:** C-INFO

**短構文:** DLS.342 Sent Capex Pos. Response to *ip\_address*.

**長構文:** DLS.342 A Capabilities Exchange Positive Response has been sent to the DLSw neighbor at *ip\_address*.

**説明:** DLSw 機能交換構文解析モジュールが、DLSw 近隣からの機能交換要求を正常に処理しました。

---

### DLS.343

**レベル:** C-INFO

**短構文:** DLS.343 Received Capex Pos. Response from *ip\_address*.

**長構文:** DLS.343 A Capabilities Exchange Positive Response has been received from the DLSw neighbor at *ip\_address*.

**説明:** DLSw TCP インターフェースが、DLSw 近隣から機能交換メッセージを受信しました。構文解析モジュールは、メッセージ・タイプが肯定応答であると判断しました。

---

### DLS.344

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** DLS.344 Sent Capex Neg. Response to *ip\_address* reason *reason\_code* offset *offset\_value*.

**長構文:** DLS.344 A Capabilities Exchange Negative Response has been sent to the DLSw neighbor at *ip\_address* Reason *reason\_code* Offset *offset\_value*.

**説明:** DLSw 機能交換構文解析モジュールが、DLSw 近隣からの機能交換要求を処理しましたが、その要求に、エラーまたは無効な制御ベクトルが含まれていることが判明しました。



---

**DLS.345**

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.345 Received Capex Neg. Response from *ip\_address* reason *reason\_code* offset *offset\_value*.

長構文: DLS.345 A Capabilities Exchange Negative Response has been received from the DLSw neighbor at *ip\_address*. The Negative Response contained a Reason of *reason\_code* at Offset *offset\_value*.

説明: DLSw TCP インターフェースが、DLSw 近隣から機能交換メッセージを受信しました。構文解析モジュールは、メッセージ・タイプが否定応答であると判断しました。

---

**DLS.346**

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.346 Capex Aborted!, *ip\_address* is assumed to be DLSw RFC 1434+ compliant.

長構文: DLS.346 Capabilities Exchange has been aborted with the neighbor at *ip\_address*. DLSw processing will continue by assuming that his neighbor is DLSw RFC 1434+ compliant.

説明: DLSw 機能交換管理プログラムは、近隣が DLSw AIW\_V1 をサポートする能力がないと判断しました。その近隣には DLSw RFC 1434+ をサポートする能力があると想定します。

---

**DLS.347**

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.347 Received unknown Capex message from *ip\_address*.

長構文: DLS.347 Received Unknown Capabilities Exchange Message from the neighbor at *ip\_address*.

説明: DLSw 近隣が、未知の機能交換メッセージを送信しました。機能交換は、これが要求または応答を意味する場合には失敗となる可能性があります。

---

**DLS.348**

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.348 No memory available to create DLS Capex message for *ip\_address*.

長構文: DLS.348 An attempt to allocate the memory required to build a Capabilities Exchange message has failed. The message can not be sent to the neighbor at *ip\_address*.

説明: ルーターが機能交換メッセージを作成するために必要とする資源を割り振るために使用できる記憶域がありません。機能交換は、この近隣については失敗になります。

---

**DLS.349**

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.349 Capex Failed! *ip\_address* is not DLSw AIW\_V1 compliant.

長構文: DLS.349 Capabilities Exchange has failed with the neighbor at *ip\_address*. DLSw processing can not continue. This neighbor is non compliant to DLSw AIW\_V1.

説明: DLSw 機能交換管理プログラムは、近隣が DLSw AIW\_V1 をサポートする能力がないと判断しました。この近隣の TCP トランスポート接続は打ち切られます。

---

**DLS.350**

レベル: C-INFO

短構文: DLS.350 Capex Successful! *ip\_address* is DLSw AIW compliant.

長構文: DLS.350 Capabilities Exchange has completed successfully with the neighbor at *ip\_address*. DLSw processing can now continue in a DLSw AIW compliant mode.

説明: DLSw 機能交換管理プログラムは、近隣が DLSw AIW をサポートする能力があると判断しました。

---

**DLS.351**

レベル: C-INFO

短構文: DLS.351 DLS, SSP msg IFCM *indmsg ackmsg* received from *ip\_address* for *source\_mac\_address->dest\_mac\_address*, *sap source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.351 DLS, DLS forwarder received a SSP IFCM *indmsg ackmsg* message over TCP connection to *ip\_address* for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, *sap source\_sap-> dest\_sap*

説明: DLS 転送機能が、スイッチ切り替えプロトコル (SSP) メッセージの分離フロー制御メッセージ (IFCM) を受信しました。

---

**DLS.352**

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.352 DLS, SSP msg received carrying flow control data. Ptr to SCB is NULL. Xport state: *transport\_state*; IP: *remote\_ip\_addr*

長構文: DLS.352 DLS, SSP msg received carrying flow control data. Ptr to SCB is NULL. Xport state: *transport\_state*; IP: *remote\_ip\_addr*

説明: DLS 状態管理機構は、有効な DLS SCB を予期し、それを必要とするフロー制御データを含む SSP 事象の処理中に、渡された SCB へのポインターが NULL であったことを発見しました。

---

**DLS.353**

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.353 DLS, Sender granted units for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, *sap source\_sap-> dest\_sap* is less than zero

長構文: DLS.353 DLS, Sender granted units for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, *sap source\_sap-> dest\_sap* is less than zero

説明: 送信側が認可している、この回線のサービスクラス・アクセス・ポイント (SAP) の単位が、ゼロより小さい値に減少しました。これはプロトコル違反であり、ルーターがその回線をダウンにしました。

---

**DLS.354**

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.354 DLS, Received increment window for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, *sap source\_sap-> dest\_sap* when window equal maximum size

長構文: DLS.354 DLS, Received increment window for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, *sap source\_sap-> dest\_sap* when window equal maximum size

説明: ウィンドウのサイズが最大サイズであるときに、DLSw が増分ウィンドウ・オペレーターを受信しました。

---

**DLS.355**

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.355 DLS, Received decrement window for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, *sap source\_sap-> dest\_sap* when window size equal 1

長構文: DLS.355 DLS, Received decrement window for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, *sap source\_sap->*

*dest\_sap* when window size equal 1

説明: ウィンドウのサイズが 1 であるときに、DLSw が減分ウィンドウ・オペレーターを受信しました。

---

**DLS.356**

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.356 DLS, Received unrecognized flow control operator for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, *sap source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.356 DLS, Received unrecognized flow control operator for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, *sap source\_sap-> dest\_sap*

説明: 認知されていないフロー制御オペレーターを受信しました。

---

**DLS.357**

レベル: C-INFO

短構文: DLS.357 DLS, FCIND operator rcv'd for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, *sap source\_sap-> dest\_sap* tx\_grant= *txgrant* tx\_window= *txwindow*

長構文: DLS.357 DLS, FCIND operator rcv'd for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, *sap source\_sap-> dest\_sap* tx\_grant= *txgrant* tx\_window= *txwindow*

説明: ルーターが、分離フロー制御メッセージ (IFCM) または付加フロー制御指示のスイッチ切り替えプロトコル (SSP) メッセージを受信しました。

---

**DLS.358**

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.358 DLS, Unexpected flow control acknowledgement rcv'd for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, *sap source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.358 DLS, Unexpected flow control acknowledgement rcv'd for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, *sap source\_sap-> dest\_sap*

説明: ルーターが、無効な状態で IFCM または付加フロー制御確認応答を受信しました。

---

**DLS.359**

レベル: C-INFO

短構文: DLS.359 DLS, SSP msg IFCM operator sent over TCP connection to *ip\_address* for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, *sap source\_sap-> dest\_sap*

**長構文:** DLS.359 DLS, DLS forwarder sent an IFCM SSP message *operator* over TCP connection to *ip\_address* for *source\_mac\_address*-> *dest\_mac\_address*, sap *source\_sap*-> *dest\_sap*

**説明:** DLS 転送機能が、スイッチ切り替えプロトコル (SSP) メッセージの IFCM を送信しました。

---

#### DLS.360

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** DLS.360 DLS, Receiver detected granted units exceeded for *source\_mac\_address*-> *dest\_mac\_address*, sap *source\_sap*-> *dest\_sap*

**長構文:** DLS.360 DLS, Receiver detected granted units exceeded for *source\_mac\_address*-> *dest\_mac\_address*, sap *source\_sap*-> *dest\_sap*

**説明:** ルーターが SSP\_INFOFRAME または SSP\_DGRMFRAME を受信しましたが、これが原因で、認可されている単位が超過しています。

---

#### DLS.361

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** DLS.361 DLS, FCACK expected before end of current window for *source\_mac\_address*-> *dest\_mac\_address*, sap *source\_sap*-> *dest\_sap*

**長構文:** DLS.361 DLS, Receiver expected flow control ack before end of current window for *source\_mac\_address*-> *dest\_mac\_address*, sap *source\_sap*-> *dest\_sap*

**説明:** 受信側が、現行ウィンドウの終了前に、フロー制御確認応答を受け取りませんでした。

---

#### DLS.362

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** DLS.362 DLS, Receiver attempted to increment window greater than maximum window size for *source\_mac\_address*-> *dest\_mac\_address*, sap *source\_sap*-> *dest\_sap*

**長構文:** DLS.362 DLS, Receiver attempted to increment window greater than maximum window size for *source\_mac\_address*-> *dest\_mac\_address*, sap *source\_sap*-> *dest\_sap*

**説明:** 受信側が、ウィンドウを、最大ウィンドウ・サイズより大きくしようとした。

---

#### DLS.363

**レベル:** C-INFO

**短構文:** DLS.363 DLS, Receiver attempted to decrement window less than minimum window size for *source\_mac\_address*-> *dest\_mac\_address*, sap *source\_sap*-> *dest\_sap*

**長構文:** DLS.363 DLS, Receiver attempted to decrement window less than minimum window size for *source\_mac\_address*-> *dest\_mac\_address*, sap *source\_sap*-> *dest\_sap*

**説明:** 受信側が、ウィンドウを、最小ウィンドウ・サイズより小さくしようとした。

---

#### DLS.364

**レベル:** C-INFO

**短構文:** DLS.364 DLS, MAC cache hit, selecting *ip\_address* for *source\_mac\_address*-> *dest\_mac\_address*, sap *source\_sap*-> *dest\_sap*

**長構文:** DLS.364 DLS, MAC cache hit, selecting *ip\_address* for *source\_mac\_address*-> *dest\_mac\_address*, sap *source\_sap*-> *dest\_sap*

**説明:** MAC キャッシュ内で、この回線の着信先 MAC アドレスに対するエントリーを DLSw が見付けました。ルーターは、この回線で、示された IP アドレスを持つパートナーを選択しました。

---

#### DLS.365

**レベル:** C-INFO

**短構文:** DLS.365 DLS, MAC expl already outstd, queue exp req for *source\_mac\_address*-> *dest\_mac\_address*, sap *source\_sap*-> *dest\_sap*

**長構文:** DLS.365 DLS, MAC explorer already outstanding, queueing the explorer request for *source\_mac\_address*-> *dest\_mac\_address*, sap *source\_sap*-> *dest\_sap*

**説明:** MAC キャッシュ内で、すでに探索が 1 つ未処理になっているこの回線の着信先 MAC アドレスに対するエントリーを、DLSw が見付けました。ルーターは、この MAC 探索要求を待ち行列に入れ、未処理の探索が完了した時点でそれを処理します。

---

#### DLS.366

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** DLS.366 DLS, No mem to create exp CB for

*source\_mac\_address-> dest\_mac\_address, sap source\_sap-> dest\_sap*

**長構文:** DLS.366 DLS, No memory to create explorer control block for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address, sap source\_sap-> dest\_sap*

**説明:** 記憶域不足状態のために、DLSw が、指定された回線で探索制御ブロックを作成できませんでした。探索は失敗し、ルーターは回線を開始しません。

---

### DLS.367

**レベル:** C-INFO

**短構文:** DLS.367 DLS, Creating new MAC cache entry for *target\_mac\_address*

**長構文:** DLS.367 DLS, Creating new MAC cache entry for *target\_mac\_address*

**説明:** ルーターは、指定された着信先 MAC アドレスに新しいキャッシュ・エントリを作成します。

---

### DLS.368

**レベル:** C-INFO

**短構文:** DLS.368 DLS, Explorer priority wait timer expired for *target\_mac\_address*

**長構文:** DLS.368 DLS, Explorer priority wait timer expired for *target\_mac\_address*

**説明:** 指定された着信先 MAC アドレスの優先待機タイマーが満了しました。ルーターは、現在、この MAC アドレスで接続できる既知の DLSw パートナーで探索要求に応えようとしています。

---

### DLS.369

**レベル:** C-INFO

**短構文:** DLS.369 DLS, MAC explorer satisfied for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address, sap source\_sap-> dest\_sap*

**長構文:** DLS.369 DLS, MAC explorer satisfied for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address, sap source\_sap-> dest\_sap*

**説明:** DLS は、この回線での探索に応じる、パートナー DLSw ルーターを見付けました。

---

### DLS.370

**レベル:** C-INFO

**短構文:** DLS.370 DLS, ICANREACH-ex timer expired for *target\_mac\_address*

**長構文:** DLS.370 DLS, ICANREACH-ex timer expired for *target\_mac\_address*

**説明:** 指定された着信先 MAC アドレスの ICANREACH-ex タイマーが満了しました。ルーターは、現在、この MAC アドレスで接続できる既知の DLSw パートナーで探索要求に応えようとしています。

---

### DLS.371

**レベル:** C-INFO

**短構文:** DLS.371 DLS, MAC explorer failed for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address, sap source\_sap-> dest\_sap*

**長構文:** DLS.371 DLS, MAC explorer failed for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address, sap source\_sap-> dest\_sap*

**説明:** DLS は、この回線での MAC 探索に応じるパートナー DLSw ルーターを見付けられませんでした。

---

### DLS.372

**レベル:** C-INFO

**短構文:** DLS.372 DLS, Reslvd tmr exp, tgt MAC expl failed for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address, sap source\_sap-> dest\_sap*

**長構文:** DLS.372 DLS, Resolved timer expired, target MAC explorer failed for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address, sap source\_sap-> dest\_sap*

**説明:** 着信先 MAC 探索が、指定された回線で、いずれの DLC からでも DLC\_RESOLVED を受信せずに、確立タイマーを満了しました。着信先 MAC アドレス探索は失敗でした。

---

### DLS.373

**レベル:** C-INFO

**短構文:** DLS.373 DLS, CANUREACH-ex rcvd while exploring for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address, sap source\_sap-> dest\_sap*

**長構文:** DLS.373 DLS, CANUREACH-ex received while exploring for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address, sap source\_sap-> dest\_sap*

**説明:** ルーターが CANUREACH-ex を受信したときは、すでに直前の CANUREACH-ex を処理している最中でした。ルーターはこの新しい CANUREACH-ex 要求を無視しました。

---

**DLS.374**

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.374 DLS, No mem to create tgt exp CB for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.374 DLS, No memory to create target explorer control block for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

説明: DLS が、記憶域不足状態があったために、指定された回線で、着信先探索制御ブロックを作成できませんでした。探索は失敗し、ルーターは回線を開始しません。

---

**DLS.375**

レベル: C-INFO

短構文: DLS.375 DLS, DLC\_RESOLVED not processed, CB not found *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.375 DLS, DLC\_RESOLVED not processed, CB not found *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

説明: DLC が DLC\_RESOLVED を送信しました。ルーターは、対応する制御ブロックが見つからなかったために、DLC\_RESOLVED を処理できませんでした。この状態は、確立タイマーがすでに満了している場合、または別の DLC からの DLC\_RESOLVED がすでに着信先 MAC アドレス探索に応じている場合に起こります。

---

**DLS.376**

レベル: C-INFO

短構文: DLS.376 DLS, ICANREACH-ex to *ip\_address* sent for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap* lfsize *largest\_frame\_size*

長構文: DLS.376 DLS, ICANREACH-ex to *ip\_address* sent for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap* lfsize *largest\_frame\_size*

説明: DLSw は、TCP または UDP を介して、その DLSw ピア (相手) に、ICANREACH\_ex SSP メッセージを正常に送り出しました。

---

**DLS.377**

レベル: C-INFO

短構文: DLS.377 DLS, Deleting MAC cache entry for *target\_mac\_address*

長構文: DLS.377 DLS, Deleting MAC cache entry for *target\_mac\_address*

説明: ルーターが、指定されたアドレスの MAC キャッシュ・エントリーを削除しました。

---

**DLS.378**

レベル: C-INFO

短構文: DLS.378 *intfmod*, event *eventname* received for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.378 *intfmod*, event *eventname* received for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

説明: DLS の LLC または APPN インターフェース・モジュールが、DLS から DLC\_RESOLVE 事象を受信しました。

---

**DLS.379**

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.379 LLC, FAILED pas opn stn, invld sapcb, dst= *Destination*,src= *Source*,dsap= *Dsap*,ssap= *Ssap*

長構文: DLS.379 LLC, FAILED passive open station, invalid sapcb, dst= *Destination*,src= *Source*,dsap= *Dsap*,ssap= *Ssap*

説明: LLC データ・リンク・サービスのステーションの受動オープンが、そのステーションをオープンするための SAP が無効であるために失敗しました。

---

**DLS.380**

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.380 LLC, FAILED pass open stn, No memory, dst= *Destination*,src= *Source*,dsap= *Dsap*,ssap= *Ssap*

長構文: DLS.380 LLC, FAILED passive open stn, No memory, dst= *Destination*,src= *Source*,dsap= *Dsap*,ssap= *Ssap*

説明: LLC データ・リンク・サービスのステーションの受動オープンが、接続を管理するための制御ブロックを作成するために使用可能な記憶域がないために失敗しました。

---



---

**DLS.381**

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.381 LLC, FAILED pass open stn, rsn=  
*Reason*, dst= *Destination*,src= *Source*,dsap= *Dsap*,ssap=  
*Ssap*

長構文: DLS.381 LLC, FAILED passive open stn, rsn=  
*Reason*, dst= *Destination*,src= *Source*,dsap= *Dsap*,ssap=  
*Ssap*

説明: LLC データ・リンク・サービスのステーション  
の受動オープンが、LLC 内に何らかの問題があるため  
に失敗しました。理由コードに、具体的な問題が示され  
ています。

---

**DLS.382**

レベル: C-INFO

短構文: DLS.382 *intfmod*, event *eventname* received for  
*source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap->*  
*dest\_sap*

長構文: DLS.382 *intfmod*, event *eventname* received for  
*source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap->*  
*dest\_sap*

説明: DLS の LLC または APPN インターフェース・  
モジュールが、DLS から DLC\_CS\_CONFIRM 事象を受  
信しました。

---

**DLS.383**

レベル: C-INFO

短構文: DLS.383 *intfmod*, event *eventname* rcvd drng  
exp for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap  
*source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.383 *intfmod*, event *eventname* received  
during exploration for *source\_mac\_address->*  
*dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

説明: DLS の LLC または APPN インターフェース・  
モジュールが、探索中に、DLS から  
DLC\_HALT\_NOACK 事象を受信しました。

---

**DLS.384**

レベル: C-INFO

短構文: DLS.384 *intfmod*, event *eventname* rcvd drg tgt  
exp for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap  
*source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.384 *intfmod*, event *eventname* received  
during target exploration for *source\_mac\_address->*  
*dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

---

説明: DLS の LLC または APPN インターフェース・  
モジュールが、着信側の探索中に、DLS から  
DLC\_HALT\_NOACK 事象を受信しました。

---

**DLS.385**

レベル: C-INFO

短構文: DLS.385 *intfmod*, event *eventname* received for  
*source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap->*  
*dest\_sap*

長構文: DLS.385 *intfmod*, event *eventname* received for  
*source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap->*  
*dest\_sap*

説明: DLS の LLC または APPN インターフェース・  
モジュールが、DLS から DLC\_HALT\_NOACK 事象を  
受信しました。

---

**DLS.386**

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.386 *intfmod*, No mem to create  
LLC/APPN exp CB for *source\_mac\_address->*  
*dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.386 *intfmod*, No memory to create  
LLC/APPN explorer control block for  
*source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap->*  
*dest\_sap*

説明: 記憶域不足状態のため、LLCIM または APPNIM  
は、指定された回線に関して探索制御ブロックを作成す  
ることができませんでした。探索は失敗し、ルーターは  
回線を開始しません。

---

**DLS.387**

レベル: C-INFO

短構文: DLS.387 LLC, Receivd passive open SABME  
for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap  
*source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.387 LLC, Receivd passive open SABME  
for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap  
*source\_sap-> dest\_sap*

説明: DLS の LLC インターフェース・モジュール  
が、ルーターがオープンしなかったステーションの  
SABME を受信しました。これによって、LLC ステーシ  
ョンが受動オープンしました。

---

---

**DLS.388**

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.388 *intfmod*, No mem to allocate LLC/APPN exp buffer for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.388 *intfmod*, No memory to allocate LLC/APPN explorer buffer for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

説明: 記憶域不足状態のため、LLC または APPN インターフェース・モジュールは、指定された回線に関して検索バッファを割り振ることができませんでした。探索は失敗し、ルーターは回線を開始しません。

---

**DLS.389**

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.389 *intfmod*, No mem to create LLC/APPN tgt exp CB for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.389 *intfmod*, No memory to create LLC/APPN target explorer control block for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

説明: 記憶域不足状態のため、LLCIM または APPNIM は、指定された回線に関して着信先検索制御ブロックを作成することができませんでした。探索は失敗し、ルーターは回線を開始しません。

---

**DLS.390**

レベル: C-INFO

短構文: DLS.390 LLC, opened stn passive, dst=*Destination*,src= *Source*,dsap= *Dsap*,ssap= *Ssap*

長構文: DLS.390 LLC, opened stn passive, dst=*Destination*,src= *Source*,dsap= *Dsap*,ssap= *Ssap*

説明: LLC データ・リンクのステーションの受動オープンが正常に行われました。

---

**DLS.391**

レベル: C-INFO

短構文: DLS.391 LLC, chgd tx wdw frm *old\_tx\_window* to *new\_tx\_window* for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.391 LLC, Changed transmit window from *old\_tx\_window* to *new\_tx\_window* for

*source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

説明: LLCIM が、PU 2.1 LLC エンド・ステーションから受信した XID-3 の中で要求された受信ウィンドウと一致するように、送信ウィンドウを変更しました。

---

**DLS.392**

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.392 LLC, cld nt chg tx wdw frm *old\_tx\_window* to *new\_tx\_window* ret= *return\_code* for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.392 LLC, Could not change transmit window from *old\_tx\_window* to *new\_tx\_window*, return = *return\_code* for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

説明: LLCIM は、PU 2.1 LLC エンド・ステーションから受信した XID-3 の中で要求された受信ウィンドウと一致するように、送信ウィンドウを変更することができませんでした。dl\_open\_station 機能コールが失敗し、指定された戻りコードが出されました。

---

**DLS.393**

レベル: C-INFO

短構文: DLS.393 Sent runtime Capex Request to *ip\_address*.

長構文: DLS.393 A Runtime Capabilities Exchange Request has been sent to the DLSw neighbor at *ip\_address*.

説明: ルーターが、実行時機能交換要求メッセージを DLSw 近隣に送信しました。これは、最初に交換された情報に変更があったために行われました。

---

**DLS.394**

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.394 Invalid interface number *interface* in Intf/SAP record with SAP *sap*

長構文: DLS.394 Invalid interface number *interface* in Intf/SAP record with SAP *sap*

説明: DLSw は、始動時に無効な構成パラメーターを検出しました。DLSw が LLC SAP をオープンするインターフェースが、ルーター上にありません。構成を変更してルーターを再始動してください。



---

**DLS.395**

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.395 Invalid intf number *interface* for SDLC station record with link addr *link\_address*

長構文: DLS.395 Invalid intf number *interface* for SDLC station record with link addr *link\_address*

説明: DLSw は、始動時に無効な構成パラメーターを検出しました。DLSw SDLC リンク・ステーションに指定されたインターフェースが、存在しないか、あるいは SDLC のタイプではありません。構成を変更してルーターを再始動してください。

---

**DLS.396**

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.396 Invalid SAP number *sap* in Intf/SAP record for interface *interface*

長構文: DLS.396 Invalid SAP number *sap* in Intf/SAP record for interface *interface*

説明: DLSw は、始動時に無効な構成パラメーターを検出しました。指定されたインターフェース上で DLSw がオープンしようとしている SAP 値が、奇数であるか、許容範囲外の値です。構成を変更して、ルーターを再始動してください。

---

**DLS.397**

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.397 Invalid source SAP *sap* in SDLC record for intfc *interface*, addr *link\_address*

長構文: DLS.397 Invalid source SAP *sap* in SDLC record for intfc *interface*, addr *link\_address*

説明: DLSw は、始動時に無効な構成パラメーターを検出しました。SDLC リンク・ステーションの発信元 SAP が許容範囲外です。DLSw はこの SDLC リンク・ステーションを追加していません。構成を変更してルーターを再始動してください。

---

**DLS.398**

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.398 Invalid TCP receive buffer size *buf\_size* for a neighbor or group

長構文: DLS.398 Invalid TCP receive buffer size *buf\_size* for a neighbor or group

説明: DLSw は、始動時に無効な構成パラメーターを検出しました。近隣またはグループの受信バッファ・

サイズが許容範囲外になっていましたが、DLSw がそれを範囲の限界に最も近い値に調整し、構成レコードをなんとか処理することができました。いずれかの時点で、コンソール情報と比較することによって構成を修正して問題を判別し、ルーターを再始動してください。

---

**DLS.399**

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.399 Invalid neighbor priority *priority\_value* for neighbor or group record

長構文: DLS.399 Invalid neighbor priority *priority\_value* for neighbor or group record

説明: DLSw は、始動時に無効な構成パラメーターを検出しました。近隣の優先度値が許容範囲外の値でしたが、DLSw がそれを範囲の限界に最も近い値に調整し、構成レコードをなんとか処理することができました。コンソール情報と比較することによって構成を修正して問題を判別し、ルーターを再始動してください。

---

**DLS.400**

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.400 Invalid priority wait timer *timer\_value* (in tenth seconds)

長構文: DLS.400 Invalid priority wait timer *timer\_value* (in tenth seconds)

説明: DLSw は、始動時に無効な構成パラメーターを検出しました。優先待機タイマーの値が許容範囲外の値でしたが、DLSw は、それを範囲の限界に最も近い値に調整したので、その調整済みの値を使用します。構成を修正し、ルーターを再始動してください。

---

**DLS.401**

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.401 Invalid DLSw session priority *priority\_value* for protocol DLSw sessions

長構文: DLS.401 Invalid DLSw session priority *priority\_value* for protocol DLSw sessions

説明: DLSw は、始動時に無効な構成パラメーターを検出しました。SNA または NetBIOS のセッション優先順位が許容範囲外ですが、DLSw は、それを範囲の限界に最も近い値に変更したので、その調整済みの値を使用します。構成を修正し、ルーターを再始動してください。

---

**DLS.402**

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.402 Invalid session priority frame allocation value *frame\_alloc\_value*

長構文: DLS.402 Invalid session priority frame allocation value *frame\_alloc\_value*

説明: DLSw は、始動時に無効な構成パラメーターを検出しました。4 つのセッション優先順位の 1 つで送信されるフレームの数が許容範囲外ですが、DLSw は、それを範囲の限界に最も近い値に変更したので、その調整済みの値を使用します。コンソール情報と比較することによって構成を修正して問題を判別し、ルーターを再始動してください。

---

**DLS.403**

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.403 Invalid NetBIOS MTU size *mtu\_size*

長構文: DLS.403 Invalid NetBIOS maximum transmission unit size *mtu\_size*

説明: DLSw は、始動時に無効な構成パラメーターを検出しました。NetBIOS MTU サイズが許容範囲外ですが、DLSw は、それを範囲の限界に最も近い値に変更したので、その調整済みの値を使用します。構成を修正し、ルーターを再始動してください。

---

**DLS.404**

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.404 SNA SAP configured on interface *interface*, but not SAP 00

長構文: DLS.404 SNA SAP configured on interface *interface*, but not SAP 00

説明: DLSw が、始動時に、無効な構成状態を検出しました。標準の SNA SAP (04、08、または 0C) の 1 つがインターフェース上でオープンされていますが、SAP 00 が同じインターフェース上でオープンされていません。SAP 00 がオープンになっていないと、SNA データ・リンク・スイッチが作動しません。ルーターは回線を確立することができません。DLSw のインターフェースを一時的に使用不可にする予定ではなかった場合には、必要に応じて、SAP 00 をオープンすることによって構成を修正し、ルーターを再始動します。

---

**DLS.405**

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.405 Duplicate SDLC source MAC address *interface* detected

長構文: DLS.405 Duplicate SDLC source MAC address *interface* detected

説明: DLSw が、始動時に、無効な構成状態を検出しました。DLSw SDLC 発信元 MAC アドレスが、同一 SDLC インターフェース上あるいは別の SDLC インターフェース上の、ルーター内で重複していました。ルーターでは、発信元 MAC アドレスは 1 つしか使用が許されておらず、DLSw は最初に出てきたアドレスだけを使用します。構成を修正し、ルーターを再始動してください。

---

**DLS.408**

レベル: C-INFO

短構文: DLS.408 DLS, FCACK recv'd for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap* rx\_grant= *rxgrant* rx\_window= *rxwindow*

長構文: DLS.408 DLS, FCACK recv'd for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap* rx\_grant= *rxgrant* rx\_window= *rxwindow*

説明: ルーターが、IFCM ACK または付加フロー制御確認応答 SSP メッセージを受信しました。

---

**DLS.409**

レベル: C-INFO

短構文: DLS.409 DLS, (PacingQ) DGRMFRAME to *ip\_address* sent for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.409 DLS, (PacingQ) DGRMFRAME to *ip\_address* sent for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

説明: DLS は、DGRMFRAME SSP メッセージを、TCP を介してその DLS ピアに正常に送信しました。

---

**DLS.410**

レベル: C-INFO

短構文: DLS.410 DLS, (PacingQ) INFOFRAME to *ip\_address* sent for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.410 DLS, (PacingQ) INFOFRAME to *ip\_address* sent for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

説明: DLS は、INFOFRAME SSP メッセージを、TCP を介してその DLS ピアに正常に送信しました。

---

#### DLS.411

レベル: C-INFO

短構文: DLS.411 DLS, Pool status for *pool* pool is *pstatus*

長構文: DLS.411 DLS, Pool status for *pool* pool is *pstatus*

説明: ルーターは、DLSw バッファ・プールの状況を報告しました。

---

#### DLS.412

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.412 DLS, Received invalid window operator *operator* for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap* after receiving RESET operator

長構文: DLS.412 DLS, Received invalid window operator *operator* for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap* after receiving RESET operator

説明: ルーターは、RESET オペレーターの受信後に、無効なウィンドウ・オペレーターを受信しました。

---

#### DLS.413

レベル: C-INFO

短構文: DLS.413 DLS, Pacing task called to process operator for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.413 DLS, Pacing task called to process operator for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

説明: ルーターは、スケジュールされている歩調合せ処置の処理を行うために、歩調合せオペレーター・スケジューラーをコールしました。

---

#### DLS.414

レベル: C-INFO

短構文: DLS.414 DLS, Receiver *source\_mac\_address* FCIND for *dest\_mac\_address-> source\_sap*, sap *dest\_sap->*

長構文: DLS.414 DLS, Receiver *source\_mac\_address* FCIND for *dest\_mac\_address-> source\_sap*, sap *dest\_sap->*

説明: 歩調合せ回線の受信側は、フロー制御指示の撤回または許可の要求を処理しました。

---

#### DLS.415

レベル: C-INFO

短構文: DLS.415 DLS, SSP msg NETBIOS\_NQ received from *ip\_address* for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.415 DLS forwarder received a SSP NETBIOS\_NQ message over TCP connection to *ip\_address* for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

説明: DLS 転送機能が、TCP を介してスイッチ切り替えプロトコルの NETBIOS\_NQ メッセージを受信しました。

---

#### DLS.416

レベル: C-INFO

短構文: DLS.416 DLS, SSP msg NETBIOS\_NR received from *ip\_address* for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.416 DLS forwarder received a SSP NETBIOS\_NR message over TCP connection to *ip\_address* for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

説明: DLS 転送機能が、TCP を介してスイッチ切り替えプロトコルの NETBIOS\_NR メッセージを受信しました。

---

#### DLS.417

レベル: C-INFO

短構文: DLS.417 DLS, SSP msg NETBIOS\_ANQ received from *ip\_address* for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.417 DLS forwarder received a SSP NETBIOS\_ANQ message over TCP connection to *ip\_address* for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

説明: DLS 転送機能が、TCP を介してスイッチ切り替えプロトコルの NETBIOS\_ANQ メッセージを受信しました。

---

**DLS.418**

レベル: C-INFO

短構文: DLS.418 DLS, SSP msg NETBIOS\_ANR received from *ip\_address* for *source\_mac\_address->dest\_mac\_address*, sap *source\_sap->dest\_sap*

長構文: DLS.418 DLS forwarder received a SSP NETBIOS\_ANR message over TCP connection to *ip\_address* for *source\_mac\_address->dest\_mac\_address*, sap *source\_sap->dest\_sap*

説明: DLS 転送機能が、TCP を介してスイッチ切り替えプロトコルの NETBIOS\_ANR メッセージを受信しました。

---

**DLS.419**

レベル: C-INFO

短構文: DLS.419 DLS, NETBIOS\_NQ to *ip\_address* sent for *source\_mac\_address->dest\_mac\_address*, sap *source\_sap->dest\_sap* lfsize *largest\_frame\_size*

長構文: DLS.419 DLS, NETBIOS\_NQ to *ip\_address* sent for *source\_mac\_address->dest\_mac\_address*, sap *source\_sap->dest\_sap* lfsize *largest\_frame\_size*

説明: DLS は、NETBIOS\_NQ SSP メッセージを、TCP を介してその DLS ピアへ正常に送信しました。

---

**DLS.420**

レベル: C-INFO

短構文: DLS.420 DLS, NETBIOS\_NR to *ip\_address* sent for *source\_mac\_address->dest\_mac\_address*, sap *source\_sap->dest\_sap* lfsize *largest\_frame\_size*

長構文: DLS.420 DLS, NETBIOS\_NR to *ip\_address* sent for *source\_mac\_address->dest\_mac\_address*, sap *source\_sap->dest\_sap* lfsize *largest\_frame\_size*

説明: DLS は、NETBIOS\_NR SSP メッセージを、TCP を介してその DLS ピアへ正常に送信しました。

---

**DLS.421**

レベル: C-INFO

短構文: DLS.421 DLS, NETBIOS\_ANQ to *ip\_address* sent for *source\_mac\_address->dest\_mac\_address*, sap *source\_sap->dest\_sap*

長構文: DLS.421 DLS, NETBIOS\_ANQ to *ip\_address* sent for *source\_mac\_address->dest\_mac\_address*, sap *source\_sap->dest\_sap*

説明: DLS は、NETBIOS\_ANQ SSP メッセージを、

TCP を介してその DLS ピアへ正常に送信しました。

---

**DLS.422**

レベル: C-INFO

短構文: DLS.422 DLS, NETBIOS\_ANR to *ip\_address* sent for *source\_mac\_address->dest\_mac\_address*, sap *source\_sap->dest\_sap*

長構文: DLS.422 DLS, NETBIOS\_ANR to *ip\_address* sent for *source\_mac\_address->dest\_mac\_address*, sap *source\_sap->dest\_sap*

説明: DLS は、NETBIOS\_ANR SSP メッセージを、TCP を介してその DLS ピアへ正常に送信しました。

---

**DLS.423**

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.423 no mem to init NetBIOS DLSw function

長構文: DLS.423 no memory to initialize NetBIOS DLSw function

説明: NetBIOS DLSw 機能を初期化するために使用可能な記憶域が不足していました。ルーターは、セッション制御ブロックと UI トラフィック・バッファ・プール用の記憶域を必要としています。

---

**DLS.425**

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.425 NetBIOS SSP message received without reqd DLC header

長構文: DLS.425 NetBIOS SSP message received without the required DLC header

説明: すべての NetBIOS SSP メッセージには DLC ヘッダーが付いていなければなりません。この SSP メッセージには DLS ヘッダーは付いていませんでしたが、ルーターはフレームの処理を続けます。これは、RFC1795 互換性の問題を示します。

---

**DLS.426**

レベル: C-INFO

短構文: DLS.426 DLS, Learning new NBName-IP assoc from *IPaddr* for *NBName*

長構文: DLS.426 DLS, Learning new NBName-IP association from *IPaddr* for *NBName*

説明: DLS は、ピア DLS から受信した SSP メッセージから、新しい NetBIOS 名と IP 関連を確認中です。

これは、一般的に、NETBIOS\_NR メッセージを受信したときに発生します。

---

#### DLS.427

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.427 LLC, FAILED open NB stn, dst=*Destination*,src= *Source*,dsap= *Dsap*,ssap= *Ssap*

長構文: DLS.427 LLC, FAILED open NetBIOS stn, dst= *Destination*,src= *Source*,dsap= *Dsap*,ssap= *Ssap*

説明: LLC データ・リンク・サービスの NetBIOS ステーションのオープンが、LLC 内に何らかの問題があったために失敗しました。

---

#### DLS.428

レベル: U-INFO

短構文: DLS.428 LLC, NetBIOS UI frame disc (pool cong) for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.428 LLC, NetBIOS UI frame discarded (pool congested) for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

説明: LLC インターフェース・モジュールが、LLC から受け取った NetBIOS UI フレームを廃棄しています。NetBIOS UI フレーム・バッファ・プールが過密状態です。

---

#### DLS.429

レベル: C-INFO

短構文: DLS.429 DLS, NetBIOS function is enabled

長構文: DLS.429 DLS, NetBIOS function is enabled

説明: DLSw NetBIOS 機能が使用可能になりました。NetBIOS SAP (0xf0) が少なくとも 1 つのポートで使用可能になると必ずこの状態になります。

---

#### DLS.430

レベル: C-INFO

短構文: DLS.430 DLS, NetBIOS function is disabled

長構文: DLS.430 DLS, NetBIOS function is disabled

説明: DLSw NetBIOS 機能が使用不可になりました。NetBIOS SAP (0xf0) がすべてのポートで使用不可になると必ずこの状態になります。

---

#### DLS.431

レベル: C-INFO

短構文: DLS.431 DLS, Broadcast CANUREACH-ex unsuccessful for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.431 DLS, Broadcast CANUREACH-ex unsuccessful for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

説明: ルーターが、いずれの DLSw パートナーにも CANUREACH-ex を送信することができませんでした。適切な状態のトランスポート接続を持つ DLSw パートナーがない、要求された SAP 用の回線をサポートする DLSw パートナーがない、あるいはルーターが CANUREACH-ex を送信するためのバッファを割り振ることができなかった、のいずれかです。

---

#### DLS.432

レベル: C-INFO

短構文: DLS.432 *intfmod*, Src SAP not open, DLC\_START\_DL not proc for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.432 *intfmod*, Source SAP not open, DLS\_START\_DL not processed for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

説明: ルーターは、指定された発信元 SAP がどのネットワーク・インターフェースでもオープンされなかったために、DLC\_START\_DL 要求を処理できませんでした。

---

#### DLS.433

レベル: C-INFO

短構文: DLS.433 DLS, CANUREACH\_ex to *ip\_address* sent for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap* lfsize *largest\_frame\_size*

長構文: DLS.433 DLS, CANUREACH\_ex to *ip\_address* sent for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap* lfsize *largest\_frame\_size*

説明: DLSw は、TCP または UDP を介して、その DLSw ピアに、CANUREACH\_ex SSP メッセージを正常に送り出しました。

---

#### DLS.434

レベル: C-INFO

短構文: DLS.434 TCP, lsn cplt from *ip\_address*, closing existing cnn



**長構文:** DLS.434 TCP, new connect request from neighbor *ip\_address*, closing existing connection

**説明:** リモート DLSw 近隣が、接続しようとしています。この近隣との TCP 接続は、すでに存在しています。この古い TCP 接続は切断されます。この状態が起るのは、リモート DLSw が再始動するか、リモート通信問題が原因でリモート DLSw が接続をクローズしたのに、ローカル DLSw TCP 接続がまだそれを検出していない場合です。

---

#### DLS.435

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** DLS.435 TCP, no mem for TCP listen

**長構文:** DLS.435 TCP, no memory to post a new TCP listen - will retry later

**説明:** 記憶域が不十分であるために、新規の TCP を listen 状態に入れることができません。ルーターは、別の TCP を listen 状態に入れる試みを 10 秒間続けます。この間、十分な記憶域が利用可能になるまで、ルーターは新規の TCP 接続を受け付けません。

---

#### DLS.436

**レベル:** C-INFO

**短構文:** DLS.436 DLS, CANUREACH\_cs to *ip\_address* sent for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap* lfsize *largest\_frame\_size*

**長構文:** DLS.436 DLS, CANUREACH\_cs to *ip\_address* sent for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap* lfsize *largest\_frame\_size*

**説明:** DLSw は、CANUREACH\_cs SSP メッセージを、TCP を介してその DLSw ピアへ正常に送信しました。

---

#### DLS.437

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** DLS.437 DLS, ICANREACH\_cs rcvd with lfsize *frame\_size*, less than req for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

**長構文:** DLS.437 DLS, ICANREACH\_cs received with lfsize *frame\_size*, less than requested for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, sap *source\_sap-> dest\_sap*

**説明:** DLSw 近隣から ICANREACH\_cs SSP メッセージを受信しましたが、その中に入っている lfsize 値が、ルーターが CANUREACH\_cs に入れて送ったものより小さい値になっています。これは、近隣 DLSw による

DLSw プロトコル違反です。lfsize 制御フラグが CANUREACH\_cs にセットされており、このことは、ルーターが CANUREACH\_cs で要求した lfsize をもつ回線を確立できなければ、近隣は回線のセットアップに失敗することを示しているからです。

---

#### DLS.438

**レベル:** C-INFO

**短構文:** DLS.438 sdhc trans to sec/nego idle st for addr *link\_address* nt *network ID*

**長構文:** DLS.438 sdhc transition to secondary or negotiable idle state for address *link\_address* net *network ID*

**説明:** 指定の SDLC リンク・ステーションは、2 次状態 (つまり、折衝可能なアイドル状態) へ変換中です。

---

#### DLS.439

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** DLS.439 unexp sdhc test cmd for addr *link\_address* nt *network ID*

**長構文:** DLS.439 unexpected sdhc test cmd for address *link\_address* net *network ID*

**説明:** 指定の SDLC リンク・ステーションから、予期しない test cmd フレームを受信しました。

---

#### DLS.440

**レベル:** C-INFO

**短構文:** DLS.440 nego sdhc pu 2 sta; lcl role set prim for addr *link\_address* nt *network ID*

**長構文:** DLS.440 negotiable pu 2 link being set primary for address *link\_address* net *network ID*

**説明:** PU 2 に構成された折衝可能リンクが、1 次リンクに指定変更されている最中です。

---

#### DLS.441

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** DLS.441 unexp sdhc non-nxid rcv for pu 2 sec dev addr *link\_address* nt *network ID*

**長構文:** DLS.441 unexpected sdhc non-null xid rcv from primary for addr *link\_address* net *network ID*

**説明:** 指定の 1 次 SDLC リンク・ステーションから、2 次 PU タイプ 2 装置に対して、予期しない XID タイプを受信しました。

---

**DLS.442**

レベル: C-INFO

短構文: DLS.442 conn ind rcvd from prim sdlc station  
addr *link\_address* nt *network ID*

長構文: DLS.442 connection indication received from  
primary sdlc station address *link\_address* net *network ID*

説明: 指定の SDLC リンク・ステーションから、1 次  
SDLC リンク・ステーションが SNRM を送信したとい  
う通知を受信しました。

---

**DLS.443**

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.443 conn ind rcvd in invld state from sdlc  
sta to addr *link\_address* nt *network ID*

長構文: DLS.443 connection indication received in  
invalid state from sdlc station to address *link\_address* net  
*network ID*

説明: 指定の SDLC リンク・ステーションから、  
SDLC リンク・ステーションが無効な状態で SNRM を  
送信したという通知を受信しました。

---

**DLS.444**

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.444 unexp sdlc cs\_confirm in state *state*  
for addr *link\_address* nt *network ID*

長構文: DLS.444 unexpected sdlc cs\_confirm in state  
*state* for address *link\_address* net *network ID*

説明: 指定の SDLC リンク・ステーションに対する予  
期しない cs\_confirm 事象を受信しました。

---

**DLS.445**

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.445 unexp xid rcv from DLS for sdlc pu  
2 sec addr *link\_address* nt *network ID*

長構文: DLS.445 unexpected sdlc xid rcv from DLS  
for sdlc addr *link\_address* net *network ID*

説明: DLS レイヤーから、2 次 PU タイプ 2 装置に  
対する予期しない XID タイプを受信しました。

---

**DLS.446**

レベル: C-INFO

短構文: DLS.446 sdlc trans to sec null\_xid\_pend st for  
addr *link\_address* nt *network ID*

長構文: DLS.446 sdlc transition to secondary  
null\_xid\_pend state for address *link\_address* net *network  
ID*

説明: 指定の 2 次 SDLC リンク・ステーションは、  
SEC\_NULL\_XID\_PENDING 状態に変換中です。これ  
は、そのステーションが、送信した NULL XID への応  
答を待っていることを意味しています。

---

**DLS.447**

レベル: C-INFO

短構文: DLS.447 sdlc trans to sec contact pnd st for  
addr *link\_address* nt *network ID*

長構文: DLS.447 sdlc transition to secondary contact  
pending state for address *link\_address* net *network ID*

説明: 指定の 2 次 SDLC リンク・ステーションは、2  
次接続保留状態に変換中です。

---

**DLS.448**

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.448 unexp rtn code from sdlc dl conn rsp  
= *rtn\_code* for addr *link\_address* nt *network ID*

長構文: DLS.448 unexpected return code from sdlc dl  
connect response = *rtn\_code* for address *link\_address* net  
*network ID*

説明: SDLC 接続応答を送信しようとしたときに、DL  
から予期しない戻りコードが戻されました。

---

**DLS.449**

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.449 unexp sdlc contacted\_rcv in state *state*  
for addr *link\_address* nt *network ID*

長構文: DLS.449 unexpected sdlc contacted\_rcv in state  
*state* for address *link\_address* net *network ID*

説明: 指定の SDLC リンク・ステーションに対して、  
予期しない contacted\_rcv 事象を受信しました。

---

**DLS.450**

レベル: U-INFO

短構文: DLS.450 SDLC, link role secondary, start\_dl  
not honored, for *source\_mac\_address*-> *dest\_mac\_address*,  
sap *source\_sap*-> *dest\_sap*

長構文: DLS.450 SDLC, link role secondary, start\_dl  
not honored, for *source\_mac\_address*-> *dest\_mac\_address*,  
sap *source\_sap*-> *dest\_sap*



**説明:** SDLC ステーションのリンク役割が 2 次であるために、DLS から SDLC インターフェース・モジュールへの DL 開始要求が受諾されませんでした。これはエラーではありません。これは、SDLC が不平衡プロトコルで、2 次ステーションが 1 次ステーションにポーリングされなければ、アクションへの応答またはアクションの開始ができないために起こります。

---

#### DLS.452

**レベル:** C-INFO

**短構文:** DLS.452 nego sdlc pu 5 sta; lcl role set prim for addr *link\_address* nt *network ID*

**長構文:** DLS.452 negotiable pu 5 link being set secondary for address *link\_address* net *network ID*

**説明:** PU 5 に構成された折衝可能リンクが、2 次リンクに指定変更中です。

---

#### DLS.454

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** DLS.454 DLSw disabled no mem for appnim struct

**長構文:** DLS.454 DLSw forwarder disabled no memory for appnim structures

**説明:** 必要な APPNIM データ構造を作成するための記憶域が十分になかったため、データ・リンク交換転送機能が使用不可にされました。

---

#### DLS.455

**レベル:** C-INFO

**短構文:** DLS.455 DLSw, Created a new transport record for neighbor *ip\_address*

**長構文:** DLS.455 DLSw, A new Transport record was created successfully for a previously unknown Neighbor at IP address *ip\_address*

**説明:** 以前は確認できなかった近隣に対して、DLSw が新規制御ブロックを割り振りました。この近隣は、グループ探索またはコンソール定義のいずれかによって確認されました。

---

#### DLS.457

**レベル:** C-INFO

**短構文:** DLS.457 DLSw, Deleted transport record for Neighbor *ip\_address*

**長構文:** DLS.457 DLSw, A Transport record was

deleted successfully for a Neighbor at IP address *ip\_address*

**説明:** 既知の近隣に対する tran\_man エントリーを、DLSw が削除しました。このエントリーが削除されたのは、動的近隣の TCP 接続が失われたか、またはコンソールで明示的に削除されたためです。

---

#### DLS.458

**レベル:** C-INFO

**短構文:** DLS.458 TCP connection to Neighbor *ip\_address* has closed!

**長構文:** DLS.458 The TCP connection to the Neighbor at IP address *ip\_address* has closed

**説明:** DLSw が、近隣への TCP 接続をクローズされました。これは、外部ホストが接続を終了したか、接続が失われたことが原因です。また、TCP 接続がアイドル状態になったときに、非活動近隣終了タイマーが満了したことが原因である場合もあります。

---

#### DLS.459

**レベル:** C-INFO

**短構文:** DLS.459 DLSw, Adding a Dynamic transport record for Neighbor *ip\_address*

**長構文:** DLS.459 DLSw, A new Dynamic Transport record was added successfully for a previously unknown Neighbor at IP address *ip\_address*

**説明:** 未知の近隣に対して、DLSw が動的トランスポート・エントリーを新規に割り振りました。この近隣は、動的近隣が使用可能になったときに TCP 接続が開始されることによって確認されます。この近隣は、動的近隣 TCP パラメーターを使用して構成されます。

---

#### DLS.460

**レベル:** C-INFO

**短構文:** DLS.460 Sent Unicast Capex Request to *ip\_address*

**長構文:** DLS.460 A Unicast Capabilities Exchange Request has been sent to the DLSw neighbor at *ip\_address*

**説明:** DLSw UDP インターフェース・モジュールは、DLSw 近隣にユニキャスト機能交換要求メッセージを送信しました。これは、TCP 接続を確立せずに、近隣との情報交換を実現する目的で行われます。受動近隣および受動グループ・メンバーが、このメッセージを送信します。

---

**DLS.461**

レベル: C-INFO

短構文: DLS.461 Received Unicast Capex Request from *ip\_address*

長構文: DLS.461 A Unicast Capabilities Exchange Request has been received from the DLSw neighbor at *ip\_address*

説明: DLSw UDP インターフェース・モジュールが、DLSw 近隣からユニキャスト機能交換メッセージを受信しました。構文解析モジュールは、メッセージ・タイプが要求であると判断しました。

---

**DLS.462**

レベル: C-INFO

短構文: DLS.462 Sent Unicast Capex Response to *ip\_address*

長構文: DLS.462 A Unicast Capabilities Exchange Response has been sent to the DLSw neighbor at *ip\_address*

説明: DLSw UDP インターフェース・モジュールは、DLSw 近隣にユニキャスト機能交換応答メッセージを送信しました。これは、ユニキャスト機能交換要求に対する応答として行われます。

---

**DLS.463**

レベル: C-INFO

短構文: DLS.463 Received Unicast Capex Response from *ip\_address*

長構文: DLS.463 A Unicast Capabilities Exchange Response has been received from the DLSw neighbor at *ip\_address*

説明: DLSw UDP インターフェース・モジュールが、DLSw 近隣からユニキャスト機能交換メッセージを受信しました。構文解析モジュールは、メッセージ・タイプが応答であると判断しました。

---

**DLS.464**

レベル: C-INFO

短構文: DLS.464 ICANREACH-ex rcvd *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address, sap source\_sap-> dest\_sap lfsize largest\_frame\_size*

長構文: DLS.464 ICANREACH-ex received for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address, sap source\_sap-> dest\_sap lfsize largest\_frame\_size*

説明: DLS が指定の回線について ICANREACH-ex を受信しました。

---

**DLS.465**

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.465 DLSw disabled no mem for group struct

長構文: DLS.465 DLSw forwarder disabled no memory for group protocol structures

説明: 必要なグループ・プロトコル・データ構造を作成するための記憶域が十分になかったため、データ・リンク・スイッチ転送機能が使用不可にされました。

---

**DLS.466**

レベル: C-INFO

短構文: DLS.466 DLS, udpim did not create transport control block for *ip\_address*

長構文: DLS.466 DLS, udpim did not create transport control block for *ip\_address*

説明: DLS UDPIM モジュールが、着信 IP アドレスに関して、トランスポート制御ブロックを作成しませんでした。記憶域の不足、または動的近隣が使用不可であったことが原因である可能性があります。

---

**DLS.467**

レベル: C-INFO

短構文: DLS.467 DLS, udpim received an invalid unicast/multicast packet from *ip\_address*

長構文: DLS.467 DLS, udpim received an invalid unicast/multicast packet from *ip\_address*

説明: DLS UDPIM モジュールが、着信 IP アドレスから、無効なユニキャスト・パケットまたはマルチキャスト・パケットを受信しました。パケットは廃棄されました。

---

**DLS.468**

レベル: C-INFO

短構文: DLS.468 DLS, udpim attempted to send an invalid unicast/multicast packet

長構文: DLS.468 DLS, udpim attempted to send an invalid unicast/multicast packet

説明: DLS UDPIM モジュールが、無効なユニキャスト・パケットまたはマルチキャスト・パケットを送信しようとした。パケットは廃棄されました。

---

**DLS.469**

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.469 QLLC config error: *error\_msg*

長構文: DLS.469 QLLC configuration error: *error\_msg*

説明: DLSw QLLC 構成情報に、表示のとおりエラーがあります。DLSw は、無効な情報をスキップして実行を継続します。ユーザーはこの構成を訂正して、ルーターを再始動すれば、この問題を解決できます。

---

**DLS.470**

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.470 QLLC init error: *error\_msg*

長構文: DLS.470 QLLC initialization error: *error\_msg*

説明: DLSw QLLC サポートの初期化の際に、表示のとおりエラーが生じました。これらのエラーは重大で、通常はソフトウェア・サービスを使用して訂正する必要があります。

---

**DLS.471**

レベル: C-INFO

短構文: DLS.471 QLLC, *event\_id* for intf *interface result\_msg*

長構文: DLS.471 QLLC, *event\_id* for interface *interface result\_msg*

説明: 指定のインターフェースに対して、インターフェース・レベルの事象が発生しました。一般には、これらは DLSw を下位の QLLC プロトコル・レイヤーおよび X.25 プロトコル・レイヤーへリンクし、リンク解除する、通常の事象です。

---

**DLS.472**

レベル: C-INFO

短構文: DLS.472 QLLC, *event\_id* for *station\_id* in state *state more\_info*

長構文: DLS.472 QLLC, *event\_id* for *station\_id* in state *state more\_info*

説明: DLS が、DLS の QLLC インターフェース・モジュールに指定の要求を渡しました。これは、通常は DLSw パートナーから受信した SSP メッセージへの応答、または DLS タイマー事象への応答として行われず。

---

**DLS.473**

レベル: C-INFO

短構文: DLS.473 QLLC, *event\_id* for *station\_id* in state *state more\_info*

長構文: DLS.473 QLLC, *event\_id* for *station\_id* in state *state more\_info*

説明: QLLC が、DLSw に指定の指示または確認を渡しました。指示とは、非同期事象 (通常、QLLC へのパケットの到着) の通知で、確認とは、DLSw が前に QLLC に出した要求が遅れて成功または失敗したことを報告するものです。

---

**DLS.474**

レベル: C-INFO

短構文: DLS.474 QLLC, *event\_id* for *station\_id* in state *state more\_info*

長構文: DLS.474 QLLC, *event\_id* for *station\_id* in state *state more\_info*

説明: DLSw が、指定の要求または応答を QLLC に渡しました。要求とは、QLLC からのサービスを求めるコマンドで、応答とは、QLLC が前に DLSw に与えた指示に対する DLSw の答えです。通常、コマンドの発行後に DLSw に制御が戻ると、続いて要求が記録されるため、QLLC からの戻りコードが ELS メッセージに含まれる場合があることに注意してください。

---

**DLS.475**

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.475 QLLC, *event\_id* for *station\_id* in unexp state *state more\_info*

長構文: DLS.475 QLLC, *event\_id* for *station\_id* in unexpected state *state more\_info*

説明: DLSw QLLC インターフェース・モジュールが、予期しない状態において DLS または QLLC から事象の通知を受信しました。このことが正常な動作を妨害しない場合もありますが、妨害した場合はサービスに連絡してください。

---

**DLS.476**

レベル: C-INFO

短構文: DLS.476 QLLC, Call Ind from net *interface dte addr dte\_address*

長構文: DLS.476 QLLC, Call Indicate from net *interface dte address dte\_address*

---

**説明:** QLLC がコール・リクエスト・パケットをネットワークから受信し、DLSw にコールを受け入れる機会を与えています。このメッセージに続いて、DLSw の応答を示す別のメッセージが出るはずですが。

---

#### DLS.477

**レベル:** C-INFO

**短構文:** DLS.477 QLLC, Call from net interface dte dte\_address refused: reason

**長構文:** DLS.477 QLLC, Call from net interface dte dte\_address refused: reason

**説明:** QLLC は、表示された理由により着信コールを拒否しています。DLSw がコールの受信側となっていた場合、これはユーザー構成のエラーを示している場合があります。QLLC を使用する他のもの (例: APPN) がコールの受信側となっていた場合、DLSw がコールを拒否するのは正常です。

---

#### DLS.478

**レベル:** C-INFO

**短構文:** DLS.478 QLLC, Call accept pend for net interface dte dte\_address, call\_type

**長構文:** DLS.478 QLLC, Call accept pending for net interface dte dte\_address, call\_type

**説明:** QLLC が着信コールの所有権を獲得中で、関連したあて先資源を検索するためにリモート DLSw パートナーに接触を始めています。この検索が正常に行われた場合は、DLSw はその後コールを完全に受け入れません。call\_type パラメーターは、このコールが構成済み QLLC 装置から DLSw へのものか、または動的なものかを示します。

---

#### DLS.479

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** DLS.479 QLLC, role conflict for station\_id: reason

**長構文:** DLS.479 QLLC, role conflict for station\_id: reason

**説明:** QLLC リンク・ステーションの役割 (1 次または 2 次) を示す事象が発生し、構成された、または事前に分かっていた情報と矛盾しています。このメッセージの "理由" の部分に、矛盾について正確に記述されています。

---

#### DLS.480

**レベル:** C-INFO

**短構文:** DLS.480 QLLC, event\_id for station\_id in state state more\_info

**長構文:** DLS.480 QLLC, event\_id for station\_id in state state more\_info

**説明:** 他のステーション・レベルのメッセージでは記述できない内部事象が発生しました。これは通常の事象であり、このメッセージの "event\_id" の部分に記述されています。

---

#### DLS.481

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** DLS.481 QLLC, event\_id for station\_id in state state more\_info

**長構文:** DLS.481 QLLC, event\_id for station\_id in state state more\_info

**説明:** 他のステーション・レベルのメッセージでは記述できないエラー事象が発生しました。これらは、回線の確立に障害を引き起こす可能性のある異常な事象で、サービスに報告する必要があります。

---

#### DLS.482

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** DLS.482 QLLC, no dest MAC/SAP defined for station\_id, search aborted

**長構文:** DLS.482 QLLC, no destination MAC/SAP defined for station\_id, search aborted

**説明:** 通常、QLLC ステーション用に定義されたあて先 MAC/SAP への接続を DLSw に探索させ、開始させる事象が発生しました。あて先 MAC/SAP の組みをユーザーが構成していなかったため、このあて先を探索することは不可能です。この事象は無視されます。

---

#### DLS.483

**レベル:** C-INFO

**短構文:** DLS.483 QLLC, event\_id rcvd for source\_mac\_addr-> dest\_mac\_addr, sap source\_sap-> dest\_sap

**長構文:** DLS.483 QLLC, event\_id received for source\_mac\_addr-> dest\_mac\_addr, sap source\_sap-> dest\_sap

**説明:** DLS が、DLS の QLLC インターフェース・モジュールに指定の事象を渡しました。

---

**DLS.484**

レベル: C-INFO

短構文: DLS.484 DLC, *station\_id* mtu reduced *old\_mtu* to *new\_mtu* per rcvd *XID\_xid\_format*

長構文: DLS.484 DLC, station *station\_id* mtu reduced from *old\_mtu* to *new\_mtu* per received *XID\_xid\_format*

説明: 指定のステーションから、構成された MTU サイズのフレームの受信をそのステーションが処理できないことを示す SNA XID を、DLSw が受信しました。したがって、DLSw はこのステーションについての有効 MTU サイズを減らします。このメッセージは、DLSw がサポートしている DLC に共通のもので、ステーション ID は関係している DLC のタイプを示しています。

---

**DLS.485**

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.485 QLLC, *station\_id* automatically disabled by Register Req failure

長構文: DLS.485 QLLC, *station\_id* automatically disabled by Register Req failure

説明: DLSw が、構成された PVC を X.25 スタックに登録しようと試みましたが、X.25 はこの要求を拒否しました。この障害がいつまでも繰り返されないように、DLSw はその PVC 定義を自動的に使用不可にします。この問題の原因としては、PVC が X.25 内で構成されていなかったか、構成されていても DLS 以外のプロトコル用の構成であったことが考えられます。X.25 構成を修正して、ルーターを再始動してください。再始動すれば、DLSw 内で PVC を使用不可にしたことは無効になります。

---

**DLS.486**

レベル: C-INFO

短構文: DLS.486 QLLC, XID FSM for *station\_id*: *event\_id* in *xid* state *old\_state*, role *role*; action= *action*, new state= *new\_state*

長構文: DLS.486 QLLC, XID FSM for *station\_id*: *event\_id* in *xid* state *old\_state*, role *role*; action= *action*, new state= *new\_state*

説明: DLSw QLLC インターフェースは、DLS および QLLC 装置への XID の流れを制御するために XID 状態管理機構を管理しています。このメッセージは、FSM が呼び出されたことを示し、FSM の入出力を表示します。

---

---

**DLS.487**

レベル: C-INFO

短構文: DLS.487 LLC, *frame\_type* frame sent, *source\_mac\_address*-> *dest\_mac\_address*, sap *source\_sap*-> *dest\_sap*

長構文: DLS.487 LLC, *frame\_type* frame sent, *source\_mac\_address*-> *dest\_mac\_address*, sap *source\_sap*-> *dest\_sap*

説明: TEST または XID フレームがチャンネルに正常に送信されました。

---

**DLS.488**

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.488 No mem to create LLC address map for Channel mac address *dest\_mac\_address*

長構文: DLS.488 No mem to create LLC address map for Channel mac address *dest\_mac\_address*

説明: 記憶域不足状態が原因で、LLCIM は、指定された MAC アドレスに関してアドレス・マップ・エントリを作成することができませんでした。DLSw は、この MAC アドレスを割り当てられたチャンネルにトラフィックを転送することができません。

---

**DLS.489**

レベル: C-INFO

短構文: DLS.489 LLC, *frame\_type* frame send failed, *source\_mac\_address*-> *dest\_mac\_address*, sap *source\_sap*-> *dest\_sap*

長構文: DLS.489 LLC, *frame\_type* frame send failed, *source\_mac\_address*-> *dest\_mac\_address*, sap *source\_sap*-> *dest\_sap*

説明: LLC はチャンネルへの TEST フレームまたは XID フレームの送信を正常に行うことができませんでした。この状態が生じるのは、DLSw 構成またはチャンネル構成、あるいはその両方に誤りがある結果である可能性があります。

---

**DLS.490**

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.490 DLS Dropping an unsupported SSP version packet received from *ip\_addr*!

長構文: DLS.490 DLS Dropping an unsupported SSP version packet received from *ip\_addr*!

説明: DLSw 近隣から SSP バージョンのパケットを受



信しましたが、サポートされないものであったので、廃棄されました。

---

#### DLS.491

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.491 DLSw disabled no mem for MAC list struct

長構文: DLS.491 DLSw forwarder disabled no memory for MAC list structures

説明: 記憶域が不足していて必要な MAC リスト・データ構造が作成できなかったため、データ・リンク・スイッチ転送機能が使用不可にされていました。

---

#### DLS.492

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.492 DLS, FAILED to send DATAFRAME to *ip\_address* for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, *sap source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.492 DLS, FAILED to send DATAFRAME to *ip\_address* for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, *sap source\_sap-> dest\_sap*

説明: バッファ不足か、DLSw パートナーが DLSw 機能交換 SAP リスト内の発信元 SAP をサポートしないかのいずれかの原因で、DATAFRAME SSP 制御メッセージを送信できませんでした。

---

#### DLS.493

レベル: C-INFO

短構文: DLS.493 DLS, Broadcast DATAFRAME sent for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, *sap source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.493 DLS, Broadcast DATAFRAME sent for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, *sap source\_sap-> dest\_sap*

説明: 特定のあて先に関する UI フレームの処理中に、DLS がマルチキャスト UDP を介して同報通信 DATAFRAME を送り出しました。

---

#### DLS.494

レベル: C-INFO

短構文: DLS.494 DLS, Broadcast DATAFRAME unsuccessful for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, *sap source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.494 DLS, Broadcast DATAFRAME

unsuccessful for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, *sap source\_sap-> dest\_sap*

説明: ルーターはどの DLSw パートナーにも DATAFRAME を送信することができませんでした。トランスポート接続が適正な状態の DLSw パートナー、要求された SAP に関して回線をサポートする DLSw パートナーがなかったか、ルーターが DATAFRAME を送信するためのバッファを割り振ることができなかったか、どちらかです。

---

#### DLS.495

レベル: C-INFO

短構文: DLS.495 DLS, Broadcast NETBIOS\_NQ\_ex sent for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, *sap source\_sap-> dest\_sap lfsize largest\_frame\_size*

長構文: DLS.495 DLS, Broadcast NETBIOS\_NQ\_ex sent for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, *sap source\_sap-> dest\_sap lfsize largest\_frame\_size*

説明: 特定のあて先に関する UI フレームの処理中に、DLS がマルチキャスト UDP を介して同報通信 NETBIOS\_NQ\_ex を送り出しました。

---

#### DLS.496

レベル: C-INFO

短構文: DLS.496 DLS, Broadcast NETBIOS\_ANQ sent for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, *sap source\_sap-> dest\_sap*

長構文: DLS.496 DLS, Broadcast NETBIOS\_ANQ sent for *source\_mac\_address-> dest\_mac\_address*, *sap source\_sap-> dest\_sap*

説明: 特定のあて先に関する UI フレームの処理中に、DLS がマルチキャスト UDP を介して同報通信 NETBIOS\_ANQ を送り出しました。

---

#### DLS.497

レベル: UE-ERROR

短構文: DLS.497 DLSw disabled no mem for circuit priority overrides

長構文: DLS.497 DLSw forwarder disabled no memory for circuit priority overrides

説明: 記憶域が不足していて必要な回線優先順位指定変更構造が作成できなかったため、データ・リンク・スイッチ転送機能が使用不可にされていました。

---

**DLS.498**

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.498 DLS, SSP msg rcvd from *ip\_address*, msg\_length too large, frame dropped

長構文: DLS.498 DLS, SSP message received from *ip\_address* has a msg\_length greater than the largest packet size which can be processed. It has been dropped.

説明: DLS 転送機能は、TCP を介してスイッチ間プロトコル・メッセージを受け取りましたが、メッセージの長さが、処理できる最大パケット・サイズを超えています。フレームは廃棄されました。指定の近隣ノードの PACKET-SIZE のシステム設定を検討する必要があります。

---

**DLS.499**

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.499 DLSw SDLC link non-switched, SDLC link nt *network ID* switched

長構文: DLS.499 DLSw SDLC link is configured at non-switched, but SDLC link net *network ID* is configured as switched

説明: DLSw が、無効な構成状態を検出しました。DLSw SDLC リンク・ステーションは非交換として構成されています。同じインターフェースで、SDLC が交換として構成されていました。構成を修正し、ルーターを再始動してください。

---

**DLS.500**

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.500 DLSw SDLC link switched, SDLC link nt *network ID* non-switched

長構文: DLS.500 DLSw SDLC link is configured at switched, but SDLC link net *network ID* is configured as non-switched

説明: DLSw が、無効な構成状態を検出しました。DLSw SDLC リンク・ステーションは非交換として構成されています。同じインターフェースで、SDLC が交換として構成されていました。構成を修正し、ルーターを再始動してください。

---

**DLS.501**

レベル: UI-ERROR

短構文: DLS.501 Invalid interface number *interface* in Interface/SAP List record

長構文: DLS.501 Invalid interface number *interface* in Interface/SAP List record

説明: DLSw は、始動時に無効な構成パラメーターを検出しました。DLSw が LLC SAP リストをオープンするインターフェースが、ルーター上に存在しません。構成を変更して、ルーターを再始動してください。

---

**DLS.502**

レベル: C-INFO

短構文: DLS.502 PU1e frame rcvd addr *link\_address* nt *network ID* from PU *pu\_type*: *data*

長構文: DLS.502 PU1E frame received for SDLC station address *link\_address* net *network ID* from PU *pu\_type*: *data*

説明: SDLC PU1 (PU2.0 としてエミュレートされる)ステーションは、PU1 装置またはリモート PU4/5 装置からフレームを正常に受信しました。

---

**DLS.503**

レベル: C-INFO

短構文: DLS.503 PU1e frame sent addr *link\_address* nt *network ID* to PU *pu\_type*: *data*

長構文: DLS.503 PU1E frame sent for SDLC station address *link\_address* net *network ID* to PU *pu\_type*: *data*

説明: SDLC PU1 (PU2.0 としてエミュレートされる)ステーションは、PU1 装置またはリモート PU4/5 装置へフレームを正常に送信しました。

---

**DLS.504**

レベル: C-INFO

短構文: DLS.504 PU1e frame disc addr *link\_address* nt *network ID* from PU *pu\_type* to PU *pu\_type2*

長構文: DLS.504 PU1E frame discarded for SDLC station address *link\_address* net *network ID* from PU *pu\_type* to PU *pu\_type2*

説明: SDLC PU1 (PU2.0 としてエミュレートされる)ステーションは、PU1 装置からリモート PU4/5 装置に、あるいはリモート PU4/5 装置から PU1 装置にフレームを転送しませんでした。



---

## 第29章 デフォルト・ゲートウェイ (DGW)

この章では、デフォルト・ゲートウェイ (DGW) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### DGW.001

レベル: C-INFO

短構文: DGW.001 cfg ent fnd on nt *net\_no*

長構文: DGW.001 found a configuration entry for a gateway on net *net\_no*

説明: このメッセージが生成されるのは、インターフェースがアップになり、ゲートウェイがインターフェース上に構成されたときです。

---

### DGW.002

レベル: C-INFO

短構文: DGW.002 dgw gw\_ip\_address crtd on nt *net\_no*

長構文: DGW.002 created gateway gw\_ip\_address on net *net\_no*

説明: このメッセージが生成されるのは、インターフェースがアップになり、デフォルト・ゲートウェイが正常に作成されたときです。

---

### DGW.003

レベル: C-INFO

短構文: DGW.003 sent arp rply on nt *net\_no* for gw\_ip\_address

長構文: DGW.003 sent an automatic arp reply for a gateway on net *net\_no* for gw\_ip\_address

説明: このメッセージが生成されるのは、ゲートウェイ・コードによって ARP 応答が自動的に送信されたときです。この応答が送信されることで、ブリッジ・ポートはゲートウェイの発信元を確認することができます。

---

### DGW.004

レベル: C-INFO

短構文: DGW.004 activated gw gw\_ip\_address on nt *net\_no*

長構文: DGW.004 activated gateway gw\_ip\_address on net *net\_no*

説明: このメッセージが生成されるのは、ゲートウェイがインターフェース上で起動されたときです。これで、インターフェースは、ゲートウェイの MAC アドレスおよび IP アドレスをあて先とするパケットを受信することができるようになります。

---

### DGW.005

レベル: C-INFO

短構文: DGW.005 de-activated gw *net\_no* on nt

長構文: DGW.005 de-activated gateway *net\_no* on net

説明: このメッセージが生成されるのは、ゲートウェイがインターフェース上で停止されたときです。これで、インターフェースは、ゲートウェイの MAC アドレスおよび IP アドレスをあて先とするパケットを受信することができなくなります。

---

### DGW.006

レベル: C-INFO

短構文: DGW.006 de-activated all gw on nt *net\_no*

長構文: DGW.006 de-activated all gateway on net *net\_no*

説明: このメッセージが生成されるのは、ゲートウェイがインターフェース上ですべて停止されたときです。これで、インターフェースは、インターフェース上のどのゲートウェイの MAC アドレスおよび IP アドレスをあて先とするパケットも受信することができなくなります。

---

### DGW.007

レベル: C-INFO

短構文: DGW.007 prm gw MAC query on nt *net\_no*

長構文: DGW.007 a mac address was found to be a primary gateway on net *net\_no*

説明: このメッセージが生成されるのは、別のサブシステムが、MAC アドレスが 1 次ゲートウェイのものであるかどうかを判断するために、ゲートウェイに照会したときです。

---

**DGW.008**

レベル: C-INFO

短構文: DGW.008 bk gw MAC query on nt *net\_no*

長構文: DGW.008 a mac address was found to be a backup gateway on net *net\_no*

説明: このメッセージが生成されるのは、別のサブシステムが、MAC アドレスがバックアップ・ゲートウェイのものであるかどうか判断するために、ゲートウェイに照会したときです。

---

**DGW.009**

レベル: C-INFO

短構文: DGW.009 gw IP *gw\_ip\_address* query on nt *net\_no*

長構文: DGW.009 an IP address *gw\_ip\_address* was found to be a gateway on net *net\_no*

説明: このメッセージが生成されるのは、別のサブシステムが、IP アドレスがゲートウェイのものであるかどうか判断するために、ゲートウェイに照会したときです。

---

**DGW.010**

レベル: C-INFO

短構文: DGW.010 max gws on nt *net\_no* reached

長構文: DGW.010 greater than maximum number of gateways configured on net *net\_no*

説明: 指定された LEC インターフェース上で、冗長デフォルト・ゲートウェイの最大数を超えるゲートウェイが構成されています。

---

## 第30章 DHCP サービス

この章では、DHCP サービス・メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### DHCP.001

レベル: P-TRACE

短構文: DHCP.001 Sent DHCP packet to server  
*destination giaddr giaddr haddr haddr*

長構文: DHCP.001 Sent DHCP packet to server  
*destination giaddr giaddr haddr haddr*

説明: プロキシ DHCP がパケットを送信しました。

---

### DHCP.002

レベル: CI-ERROR

短構文: DHCP.002 Error Sending Dhcp Packet: Bad  
Dest Address *destination*

長構文: DHCP.002 Error Sending Dhcp Packet: Bad  
Dest Address *destination*

説明: DHCP パケットの送信でエラーが発生しました。これが発生するのは、構成された DHCP サーバーの 1 つへの経路が現在ない場合です。

---

### DHCP.003

レベル: C-TRACE

短構文: DHCP.003 Option: tag= *tag* len= *len*

長構文: DHCP.003 Option: tag= *tag* len= *len*

説明: DHCP オプションを処理しました。タグと長さがここで報告されます。

---

### DHCP.004

レベル: UI-ERROR

短構文: DHCP.004 removed

長構文: DHCP.004 removed

説明: なし。

---

### DHCP.005

レベル: C-TRACE

短構文: DHCP.005 Proxy DHCP Closing on net  
*network ID cid clientid state state*

長構文: DHCP.005 Proxy DHCP Closing on network  
*network ID clientid clientid state state*

説明: このメッセージが生じるのは、IPCP が正常にクローズするか、または何らかの理由による伝送路の切断または終了によって、IPCP にクローズによる以外の停止が生じた場合のいずれです。

---

### DHCP.006

レベル: C-TRACE

短構文: DHCP.006 Proxy DHCP state transition from  
*oldstate to newstate on net network ID cid clientid*

長構文: DHCP.006 Proxy DHCP state transition from  
*oldstate to newstate on network network ID clientid clientid*

説明: プロキシ DHCP の状態遷移が生じました (状態は RFC 2131 に定義されています)。

---

### DHCP.007

レベル: C-TRACE

短構文: DHCP.007 Proxy DHCP Reset on net *network ID cid clientid*

長構文: DHCP.007 Proxy DHCP Reset on network  
*network ID clientid clientid*

説明: プロキシ DHCP の状態管理機構のリセットが生じました。

---

### DHCP.008

レベル: C-TRACE

短構文: DHCP.008 Proxy DHCP IP Address Retry on  
net *network ID cid clientid state state*

長構文: DHCP.008 Proxy DHCP IP Address Retry on  
network *network ID clientid clientid state state*

説明: プロキシ DHCP Get IP アドレスの再試行。これが生じるのは、DHCP サーバーからの応答が特定の時間にわたって受信されなかった場合です。

---

**DHCP.009**

レベル: C-TRACE

短構文: DHCP.009 Initiate Proxy DHCP Get IP Address on network *network ID state state*

長構文: DHCP.009 Initiate Proxy DHCP Get IP Address on network *network ID state state*

説明: 初期のプロキシ DHCP Get IP アドレス

---

**DHCP.010**

レベル: UE-ERROR

短構文: DHCP.010 Could not find DHCP Option *option*

長構文: DHCP.010 Could not find DHCP Option *option*

説明: DHCP オプションを探索したが、受信パケット内で見つけることができませんでした。これが起こる可能性があるのは、サーバーから送信されたオプションが認識できない場合、またはパケットが破壊されている場合です。事象 DHCP\_25 も参照してください。

---

**DHCP.011**

レベル: C-TRACE

短構文: DHCP.011 Processing DHCP NAK on net *network ID cid clientid state state*

長構文: DHCP.011 Processing DHCP NAK on network *network ID clientid clientid state state*

説明: DHCP NAK の処理

---

**DHCP.012**

レベル: C-TRACE

短構文: DHCP.012 Processing DHCP ACK on net *network ID cid clientid state state*

長構文: DHCP.012 Processing DHCP ACK on network *network ID clientid clientid state state*

説明: DHCP ACK の処理 - BOUND 状態に移る前に DHCP サーバーから受信する最終メッセージです。

---

**DHCP.013**

レベル: UI-ERROR

短構文: DHCP.013 ERROR: *desc* on net *network ID cid clientid state state*

長構文: DHCP.013 ERROR: *desc* on network *network ID clientid clientid state state*

説明: 一般エラー

---

---

**DHCP.014**

レベル: UI-ERROR

短構文: DHCP.014 WARNING: *desc* on net *network ID cid clientid state state*

長構文: DHCP.014 WARNING: *desc* on network *network ID clientid clientid state state*

説明: 一般警告

---

**DHCP.015**

レベル: C-TRACE

短構文: DHCP.015 Option DHCP\_MESSAGE\_TYPE = *message\_type* ( *message\_text*) on net *network ID cid clientid state state*

長構文: DHCP.015 Option DHCP\_MESSAGE\_TYPE = *message\_type* ( *message\_text*) on network *network ID clientid clientid state state*

説明: このタイプの DHCP オプションを処理しました。

---

**DHCP.016**

レベル: C-TRACE

短構文: DHCP.016 Option DHCP\_REQUESTED\_IP = *ipaddr* on net *network ID cid clientid state state*

長構文: DHCP.016 Option DHCP\_REQUESTED\_IP = *ipaddr* on network *network ID clientid clientid state state*

説明: このタイプの DHCP オプションを処理しました。

---

**DHCP.017**

レベル: C-TRACE

短構文: DHCP.017 Option DHCP\_LEASE\_TIME = *time* on net *network ID cid clientid state state*

長構文: DHCP.017 Option DHCP\_LEASE\_TIME = *time* on network *network ID clientid clientid state state*

説明: このタイプの DHCP オプションを処理しました。

---

**DHCP.018**

レベル: C-TRACE

短構文: DHCP.018 Option DHCP\_HOSTNAME on net *network ID cid clientid state state*

長構文: DHCP.018 Option DHCP\_HOSTNAME on network *network ID clientid clientid state state*

---

説明: 現在認識されてはいるが、この情報をクライアントに送信する手段がないので、サポートされていません。プロキシ DHCP クライアントが実際に HOSTNAME を DHCP サーバーに送信する、動的 DNS ではないことに注意してください。

---

#### DHCP.019

レベル: C-TRACE

短構文: DHCP.019 Option DHCP\_DOMAINNAME on net network ID cid clientid state state

長構文: DHCP.019 Option DHCP\_DOMAINNAME on network network ID clientid clientid state state

説明: 現在認識はされているが、やはり、この情報も IPCP を通してクライアントに送信することはできないので、サポートされません。

---

#### DHCP.020

レベル: C-TRACE

短構文: DHCP.020 Option DHCP\_SERVER\_ID = server on net network ID cid clientid state state

長構文: DHCP.020 Option DHCP\_SERVER\_ID = server on network network ID clientid clientid state state

説明: このタイプのオプションを受信しました。

---

#### DHCP.021

レベル: C-TRACE

短構文: DHCP.021 MESSAGE FROM DHCP SERVER: (len = length) message on net network ID cid clientid state state

長構文: DHCP.021 MESSAGE FROM DHCP SERVER: (len = length) message on network network ID clientid clientid state state

説明: DHCP サーバーからメッセージが送られてきました。人間が読むことのできる ASCII テキスト・ストリングのはずです。

---

#### DHCP.022

レベル: C-TRACE

短構文: DHCP.022 Option DHCP\_RENEWAL\_TIME = time on net network ID cid clientid state state

長構文: DHCP.022 Option DHCP\_RENEWAL\_TIME = time on network network ID clientid clientid state state

説明: このタイプの DHCP オプションを処理しました。

---

#### DHCP.023

レベル: C-TRACE

短構文: DHCP.023 Option DHCP\_REBIND\_TIME = time on net network ID cid clientid state state

長構文: DHCP.023 Option DHCP\_REBIND\_TIME = time on network network ID clientid clientid state state

説明: このタイプの DHCP オプションを処理しました。

---

#### DHCP.024

レベル: C-TRACE

短構文: DHCP.024 Option DHCP\_CLIENT\_ID = clientid on network network ID state state

長構文: DHCP.024 Option DHCP\_CLIENT\_ID = clientid on network network ID state state

説明: このタイプの DHCP オプションを処理しました。

---

#### DHCP.025

レベル: CE-ERROR

短構文: DHCP.025 Unknown option type option on net network ID state state

長構文: DHCP.025 Unknown option type option on network network ID state state

説明: 不明のオプションを受信しました。これが生じるのは、DHCP サーバーから認識できないオプションが送信されてきたときです。オプションを単に無視するだけになります (プロキシ DHCP 用として使用することはできない可能性が非常に高いと思われます)。クライアントが追加オプションを必要とする場合は、それを入力するために IP リンクが確立された後で、DHCPINFORM を発行する必要があります。

---

#### DHCP.026

レベル: P-TRACE

短構文: DHCP.026 Processing DHCP OFFER on net network ID clientid clientid state state

長構文: DHCP.026 Processing DHCP OFFER on network network ID clientid clientid state state

説明: サーバーから受信した DHCP OFFER の処理

---

### DHCP.027

レベル: P-TRACE

短構文: DHCP.027 Received DHCP PACKET on net *network ID state state*

長構文: DHCP.027 Received DHCP PACKET on network *network ID state state*

説明: プロキシ DHCP をあて先とする DHCP PACKET をサーバーから受信しました。

---

### DHCP.028

レベル: P-TRACE

短構文: DHCP.028 DHCP Release Sent on net *network ID cid clientid state state*

長構文: DHCP.028 DHCP Release Sent on network *network ID clientid clientid state state*

説明: DHCP Release を送信して、リースを解放しました。これが生じるのは、DHCP サーバーからの IP アドレスを使用していた IP 接続が終了したときのみです。

---

### DHCP.029

レベル: P-TRACE

短構文: DHCP.029 DHCP Decline Sent on net *network ID cid clientid state state*

長構文: DHCP.029 DHCP Decline Sent on network *network ID clientid clientid state state*

説明: DHCP Decline を送信しました。これが生じるのは、DHCP サーバーによって提供されたパラメーターを、何らかの理由で必要としない場合のみです。

---

### DHCP.030

レベル: P-TRACE

短構文: DHCP.030 DHCP Discover Sent on net *network ID cid clientid state state*

長構文: DHCP.030 DHCP Discover Sent on network *network ID clientid clientid state state*

説明: DHCP Discover を送信しました。これは最初に送信されるメッセージです。構成された DHCP サーバーのそれぞれについて 1 つずつ送信する必要があります。

---

---

### DHCP.031

レベル: P-TRACE

短構文: DHCP.031 DHCP Request Sent on net *network ID cid clientid state state*

長構文: DHCP.031 DHCP Request on network *network ID clientid clientid state state*

説明: DHCP Request を送信しました。これは、DHCP サーバーからの DHCP Offer に対する応答として送信します。

---

### DHCP.032

レベル: P-TRACE

短構文: DHCP.032 DHCP Request Retry on net *network ID cid clientid state state*

長構文: DHCP.032 DHCP Request Retry on network *network ID clientid clientid state state*

説明: DHCP Request Retry を送信しました。これが生じるのは、DHCP サーバーからの応答を受信しなかった場合で、特定の時間が経過した後です。

---

### DHCP.033

レベル: P-TRACE

短構文: DHCP.033 Received DHCP Packet: claddr=  
&bpkt->btp\_claddr.i\_lwrdr yraddr=  
&bpkt->btp\_yraddr.i\_lwrdr svaddr=  
&bpkt->btp\_svaddr.i\_lwrdr gwaddr=  
&bpkt->btp\_gwaddr.i\_lwrdr

長構文: DHCP.033 claddr= &bpkt->btp\_claddr.i\_lwrdr  
yraddr= &bpkt->btp\_yraddr.i\_lwrdr svaddr=  
&bpkt->btp\_svaddr.i\_lwrdr gwaddr=  
&bpkt->btp\_gwaddr.i\_lwrdr

説明: DHCP パケットを受信しました。

---

### DHCP.034

レベル: C-TRACE

短構文: DHCP.034 Option DHCP\_CLIENT\_FQDN =  
*clientid* on network *network ID state state*

長構文: DHCP.034 Option DHCP\_CLIENT\_FQDN =  
*clientid* on network *network ID state state*

説明: このタイプの DHCP オプションを処理しました。

---



---

**DHCP.035**

レベル: P-TRACE

短構文: DHCP.035 DHCP Renewal Request *network ID*  
int *minutes/ seconds* cid *clientid* state *state*

長構文: DHCP.035 DHCP Renewal Request *network ID*  
interface *minutes/ seconds* clientid *clientid* state *state*

説明: DHCP Renewal Request を送信しました。

---

**DHCP.036**

レベル: P-TRACE

短構文: DHCP.036 DHCP Rebind Request *network ID*  
int *minutes/ seconds* cid *clientid* state *state*

長構文: DHCP.036 DHCP Rebind Request *network ID*  
interface *minutes/ seconds* clientid *clientid* state *state*

説明: DHCP Rebind Request を送信しました。

---

**DHCP.037**

レベル: UI-ERROR

短構文: DHCP.037 Received DHCP Packet on network  
*network ID* while DHCP Not Enabled!!

長構文: DHCP.037 Received DHCP Packet on network  
*network ID* while DHCP Not Enabled!!

説明: DHCP が使用可能でないとき、DHCP パケットを受信しました。

---

**DHCP.038**

レベル: P-TRACE

短構文: DHCP.038 DHCP Request Denial Notification  
Sent from network *network ID* clientid *clientid* state *state*

長構文: DHCP.038 DHCP Request Denial Notification  
Sent from network *network ID* clientid *clientid* state *state*

説明: DHCP Request Denial Notification を送信しました。別のサーバーをすでに選択した後で、アドレスを提供したサーバーに送信されます。

---

**DHCP.039**

レベル: CE-ERROR

短構文: DHCP.039 Unable to contact DHCP server with  
successive retries, giving up on network *network ID*

長構文: DHCP.039 Unable to contact DHCP server with  
successive retries, giving up on network *network ID*

説明: プロキシ DHCP の放棄。ユーザーがここに至

る前に、IPCP がタイムアウトになっているものと考えられます。

---

**DHCP.040**

レベル: CE-ERROR

短構文: DHCP.040 DHCP server offered address not  
equal to current address, closing IPCP on *network ID*

長構文: DHCP.040 DHCP server offered address not  
equal to current address, closing IPCP on *network ID*

説明: 再バインドの後、別のアドレスを受信しました。これを処理することができないので、IPCP をクローズします。

---

**DHCP.041**

レベル: UI-ERROR

短構文: DHCP.041 ERROR: *desc*

長構文: DHCP.041 ERROR: *desc*

説明: 一般エラー - 使用可能なインターフェース情報がありません。

---

**DHCP.042**

レベル: UI-ERROR

短構文: DHCP.042 WARNING: *desc*

長構文: DHCP.042 WARNING: *desc*

説明: 一般警告 - 使用可能なインターフェース情報がありません。

---

**DHCP.043**

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.043 DHCP server has been reset by user

長構文: DHCP.043 DHCP server has been reset by user

説明: ユーザーが DHCP サーバーを初期化するために、コマンド DHCP reset を呼び出しました。

---

**DHCP.044**

レベル: UI-ERROR

短構文: DHCP.044 Failed to initialize server, DHCP is  
not active

長構文: DHCP.044 Failed to initialize server, DHCP is  
not active

説明: DHCP の初期化プロセスがプロファイル初期化またはアドレス・マップで失敗したため、DHCP はアクティブではありません。



---

**DHCP.045**

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.045 Cannot initialize profile repository

長構文: DHCP.045 Cannot initialize profile repository

説明: DHCP の初期化プロセスが、アドレス構成の初期化時に失敗しました。

---

**DHCP.046**

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.046 Produced zero-length opt of type *type*

長構文: DHCP.046 Produced zero-length option of type *type*

説明: オプションの変換ルーチンが、タイプ %S のゼロ長オプションを生成しました。

---

**DHCP.047**

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.047 Decoupling a client which has no coupled address

長構文: DHCP.047 Decoupling a client which has no coupled address

説明: 結合されたアドレスのないクライアントを結合解除しようとした。

---

**DHCP.048**

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.048 Decoupling an address which has no coupled client

長構文: DHCP.048 Decoupling an address which has no coupled client

説明: クライアントに関連がないアドレスを結合解除しようとした。

---

**DHCP.049**

レベル: UI-ERROR

短構文: DHCP.049 index *index* to *type\_of\_record* is too large

長構文: DHCP.049 index *index* to *type\_of\_record* is too large

説明: アドレスまたはクライアント・レコードへのインデックスが、結合から外れています。

---

---

**DHCP.050**

レベル: UE-ERROR

短構文: DHCP.050 Request packet is too short. Size *size\_of\_packet*

長構文: DHCP.050 Request packet is too short. Size *size\_of\_packet*

説明: 要求パケットのサイズが、最小サイズより短くなりました。

---

**DHCP.051**

レベル: UE-ERROR

短構文: DHCP.051 Option field is too short. Size *size\_of\_option\_field*

長構文: DHCP.051 Option field is too short. Size *size\_of\_option\_field*

説明: オプション・フィールドのサイズが、BOOTP ベンダーの最小フィールド・サイズより短くなりました。

---

**DHCP.052**

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.052 Validity of network location undetermined--reply none

長構文: DHCP.052 Validity of network location undetermined--reply none

説明: ネットワーク・アドレスについての照会が戻ってきましたが、情報が付いていません。このアドレスの妥当性が不明なので、応答は送り出しません。

---

**DHCP.053**

レベル: UE-ERROR

短構文: DHCP.053 Clnt is configured for hostname *configured\_hostname* on server but requested hostname *requested\_hostname*

長構文: DHCP.053 Client is configured for hostname *configured\_hostname* on server but requested hostname *requested\_hostname*

説明: クライアント・ホスト名の検査が失敗しました。サーバー上で構成されたホスト名が、クライアントから要求されたホスト名 (オプション 12) と異なっています。

---

---

**DHCP.054**

レベル: UE-ERROR

短構文: DHCP.054 Unknown opcode *opcode* in header of dhcp packet

長構文: DHCP.054 Unknown opcode *opcode* in the header of dhcp packet

説明: ヘッダーに認識されない命令コードが入った DHCP パケットを受信しました。

---

**DHCP.055**

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.055 Decoupling address mapping of a NAKed client

長構文: DHCP.055 Decoupling address mapping of a NAKed client

説明: クライアントを否定応答したばかりです。これから、クライアントのアドレス・マッピングを結合解除します。

---

**DHCP.056**

レベル: UE-ERROR

短構文: DHCP.056 Bad format for option in packet - dropped

長構文: DHCP.056 Bad format for option in packet - dropped

説明: パケットを妥当性検査しようとしたのですが、オプション検査のために失敗しました。

---

**DHCP.057**

レベル: UI-ERROR

短構文: DHCP.057 Cannot hook the UDP entry point for DHCP to receive packets

長構文: DHCP.057 Cannot hook the UDP entry point for DHCP Server and/or DHCP Proxy to receive packets.

説明: BOOTP サーバー・ポートに接続するための UDP への登録が失敗しました。DHCP サーバーまたは DHCP プロキシ、あるいはその両方はパケットを受信できません。

---

**DHCP.058**

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.058 Replyblock indicates no message is to be generated

長構文: DHCP.058 Replyblock indicates no message is to be generated

説明: 応答ブロック内の応答タイプは、クライアントにメッセージが生成されて送り出されないことを示しています。

---

**DHCP.059**

レベル: UE-ERROR

短構文: DHCP.059 Overload Option of received packet contains bad data( *bad\_data* )

長構文: DHCP.059 Overload Option of received packet contains bad data( *bad\_data* )

説明: 受信されたパケットのオプション・フィールドに、不良データが含まれています。

---

**DHCP.060**

レベル: UE-ERROR

短構文: DHCP.060 Aborting ACK due to discrepancy in hostname in request and offer

長構文: DHCP.060 Aborting ACK due to discrepancy in hostname in request and offer

説明: サーバーはクライアントにホスト名を提供しましたが、クライアントが要求パケットを送信してきたとき、ホスト名が異なっていたので、DHCPACK を打ち切りました。

---

**DHCP.061**

レベル: UE-ERROR

短構文: DHCP.061 Request packet is not legible, ignored

長構文: DHCP.061 Request packet is not legible, ignored

説明: DHCP ブート・パケットが形式検査に失敗しました。サーバーはこのパケットを認識しないので、このパケットは処理しません。

---

**DHCP.062**

レベル: UE-ERROR

短構文: DHCP.062 Packet opcode *opcode* is not BOOTREQUEST

長構文: DHCP.062 Packet opcode *opcode* is not BOOTREQUEST

説明: サーバーは、タイプ BOOTREQUEST の DHCP パケットだけを処理できます。パケットがそれ以外の場

合は、パケットを廃棄する必要があります。

---

#### DHCP.063

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.063 Relay agent *relay\_net\_address* is *number\_of\_hops* hop away from client

長構文: DHCP.063 Relay agent *relay\_net\_address* is *number\_of\_hops* hop away from the client

説明: クライアントからのリレー・エージェントのホップ数

---

#### DHCP.064

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.064 All client records are *action*, look for a *action*

長構文: DHCP.064 All client records are *action*, look for a *action*

説明: 空きクライアント・レコードを、マップされていないものから始めて、解放されたものまで検索します。

---

#### DHCP.065

レベル: UE-ERROR

短構文: DHCP.065 Unknown DHCP message type *message\_type*

長構文: DHCP.065 Unknown DHCP message type *message\_type*

説明: 受信されたパケット内に未知の DHCP メッセージ・タイプ (オプション 53) があります。

---

#### DHCP.066

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.066 ReplyBlock contains no message to build BOOTREPLY

長構文: DHCP.066 ReplyBlock contains no message to build BOOTREPLY

説明: 応答ブロックが空なので、応答メッセージを生成できません。

---

#### DHCP.067

レベル: UI-ERROR

短構文: DHCP.067 Buffer for reply message is not supplied in the replyblock

長構文: DHCP.067 Buffer for reply message is not supplied in the replyblock

説明: 応答ブロック内に応答メッセージ用のバッファが提供されていないので、応答メッセージを生成できません。

---

#### DHCP.068

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.068 Ping completes, reprocessing packet

長構文: DHCP.068 Ping completes, reprocessing packet

説明: PING 応答が戻ってきたので、DHCP パケットを処理するためにコードが再入されます。

---

#### DHCP.069

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.069 No DHCP message type in req pkt - pkt comes fr a BOOTP clnt

長構文: DHCP.069 No DHCP message type in request - packet comes from a BOOTP client

説明: 要求パケット内に DHCP メッセージ・タイプがありませんが、BOOTP クライアントから送信されてくるはずです。

---

#### DHCP.070

レベル: UE-ERROR

短構文: DHCP.070 *packet\_type* without magic cookie field

長構文: DHCP.070 *packet\_type* without magic cookie field

説明: BOOTP パケットまたは DHCP パケットにマジック・クッキー・フィールドが付いていません。BOOTP の場合は正常ですが、DHCP の場合はエラーです。

---

#### DHCP.071

レベル: UE-ERROR

短構文: DHCP.071 *packet\_type* without End option

長構文: DHCP.071 *packet\_type* without End option

説明: BOOTP パケットまたは DHCP パケットにエンド・オプションが付いていません。BOOTP の場合は正常ですが、DHCP の場合はエラーです。

---

**DHCP.072**

レベル: UE-ERROR

短構文: DHCP.072 *packet\_type* with unrecognized option *option*

長構文: DHCP.072 *packet\_type* with unrecognized option *option*

説明: BOOTP パケットまたは DHCP パケットを受信しましたが、認識できないオプションが付いています。

---

**DHCP.073**

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.073 Option cookie in string format is *vendor\_string*

長構文: DHCP.073 Option cookie in string format is *vendor\_string*

説明: オプション・クッキーは、ASCII スtringで読み取ります。

---

**DHCP.074**

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.074 DHCP option Client-id is specified in request block

長構文: DHCP.074 DHCP option Client-identifier is specified in request block

説明: 要求ブロックで指定されたオプションのクライアント識別子があります。

---

**DHCP.075**

レベル: UE-ERROR

短構文: DHCP.075 Length *length* of Client-id option is more than max of 64 bytes

長構文: DHCP.075 Length *length* of Client-id option is more than max of 64 bytes

説明: 受信されたパケットで指定されているクライアント ID オプションの長さが、許容最大値の 64 バイトより長くなりました。

---

**DHCP.076**

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.076 No clnt-id opt, use htype, hlen and chaddr to identify client

長構文: DHCP.076 No clnt-id option, use htype, hlen and chaddr to identify client instead

説明: オプション 61 でクライアントが識別されない場合、サーバーはクライアントのハードウェア・タイプ、ハードウェア長さ、およびハードウェア・アドレス・フィールドを使用して、クライアントを識別します。

---

**DHCP.077**

レベル: UE-ERROR

短構文: DHCP.077 Hardware address field is too large *length*

長構文: DHCP.077 Hardware address field is too large *length*

説明: BOOT パケット内のクライアントのハードウェア・アドレス・フィールドが長過ぎます。

---

**DHCP.078**

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.078 A requesting client did not identify itself, *idtype= id\_type*, *idlen= id\_length*

長構文: DHCP.078 A requesting client did not identify itself, *idtype= id\_type*, *idlen= id\_length* \

説明: ハードウェア・アドレスで識別されなかったクライアントの IP タイプと ID LEN を表示します。

---

**DHCP.079**

レベル: UI-ERROR

短構文: DHCP.079 dhcp server cant xmit pkt via net *network ID*

長構文: DHCP.079 dhcp server cant transmit packet via via net *network ID*

説明: ダウンしたインターフェースを介して DHCP サーバーがパケットを送信しようとしています。

---

**DHCP.080**

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.080 Request from *lsa\_client\_type* type Client is received

長構文: DHCP.080 Request from *lsa\_client\_type* type Client is received

説明: DHCP パケットが、クライアントの LSA タイプから受信されました。

---

**DHCP.081**

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.081 If LSA2 option also indicated LSA1 rules will override

長構文: DHCP.081 If LSA2 option also indicated LSA1 rules will override

説明: LSA2 オプションは、LSA1 規則が指定変更されることも示していました。

---

**DHCP.082**

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.082 Client access denied

長構文: DHCP.082 Client access denied

説明: ユーザー・サイト・クラス (オプション 77) を検査した後、クライアント・アクセスが否認されました。

---

**DHCP.083**

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.083 DHCP packet type *Message\_type* received

長構文: DHCP.083 DHCP packet type *Message\_type* received

説明: 要求ブロックは、受信されたタイプ %S のパケットを示しています。

---

**DHCP.084**

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.084 No reply is generated

長構文: DHCP.084 No reply is generated

説明: このメッセージは、パケットの各シーケンスの処理の後に追加され、応答を生成する必要があるかどうかを判別します。

---

**DHCP.085**

レベル: UI-ERROR

短構文: DHCP.085 *position* Filename *Filename* has error *action* error code is *errcode*

長構文: DHCP.085 *position* Filename *Filename* has error *action* error code is *errcode*

説明: 指定されたファイル名はクローズまたはオープン時にエラーがあり、エラー・コードが表示されます。

---

**DHCP.086**

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.086 *position\_of\_binder* Configured client inside binder showing client record

長構文: DHCP.086 *position\_of\_binder* Configured client inside binder showing client record

説明: バインダー内で指定されたクライアントを検索し、サーバー・プロファイルで構成を検出しました。

---

**DHCP.087**

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.087 IndexAddressRecord returned Null address record

長構文: DHCP.087 IndexAddressRecord returned Null address record

説明: 情報を得るためにアドレス・レコードを検索しようとしたのですが、インデックスは範囲内になかったので、ヌル・レコードを返しました。

---

**DHCP.088**

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.088 DHCP Server is initialized

長構文: DHCP.088 DHCP Server is initialized

説明: DHCP は、初期化プロセスをすべて終了したので、アクティブになりました。

---

**DHCP.089**

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.089 Server is not configured to support BOOTP client, *action\_string*

長構文: DHCP.089 Server is not configured to support BOOTP client, *action\_string*

説明: サーバーは BOOTP クライアントをサポートするように構成されていないので、応答を送信しないか、結び付けを解放するか、予約を取り消します。

---

**DHCP.090**

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.090 Generates no reply waiting for ping to complete

長構文: DHCP.090 Generates no reply waiting for ping to complete

説明: 応答を生成するルーチンが終了中で、PING の結果が戻るのを待っているので、応答ブロックを作成しません。

---

#### DHCP.091

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.091 Address manager receives command *command\_type*

長構文: DHCP.091 Address manager receives command *command\_type*

説明: アドレス・マネージャーが、アドレスにアクセスするか更新するコマンドを受信しました。

---

#### DHCP.092

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.092 Function *functionname* entered

長構文: DHCP.092 Function *functionname* entered

説明: このメッセージが表示されるのは、ルーチン %S が入力されるときです。

---

#### DHCP.093

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.093 There is no outstanding exchange for this client, return

長構文: DHCP.093 There is no outstanding exchange for this client, return

説明: このクライアントについて未処理の交換はないので、戻ります。

---

#### DHCP.094

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.094 Match on *groupstype* list

長構文: DHCP.094 Match on *groupstype* list

説明: 平衡リストまたは順序リストで一致が見つかりました。

---

#### DHCP.095

レベル: UI-ERROR

短構文: DHCP.095 An option is too big to fit into the option block

長構文: DHCP.095 An option is too big to fit into the option block

説明: サーバーは、オプション・ブロック (発信パケッ

ト用) にオプションを入れようとしたのですが、大き過ぎました。

---

#### DHCP.096

レベル: UI-ERROR

短構文: DHCP.096 Option block is overflown

長構文: DHCP.096 Option block is overflown

説明: 発信パケットについて、オプション・ブロックがオーバーフローしました。

---

#### DHCP.097

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.097 Checking if the client is configured in the server, found *true\_or\_false*

長構文: DHCP.097 Checking if the client is configured in the server, found *true\_or\_false*

説明: クライアントがサービスされるかどうかを検査するルーチン。アドレスを構成と突き合わせて検査し、クライアントがそこで指定されているかどうか調べます。

---

#### DHCP.098

レベル: UI-ERROR

短構文: DHCP.098 End option in between options of outgoing message

長構文: DHCP.098 End option in between options of outgoing message

説明: 応答メッセージを作成しようとしているときに、エンド・オプションが他のオプションに混じって表示されます。

---

#### DHCP.099

レベル: UI-ERROR

短構文: DHCP.099 Cannot allocate memory for *data\_structure*

長構文: DHCP.099 Cannot allocate Memory for *data\_structure*

説明: 記憶域に実行時構造を割り振りことができませ

原因: ルーター記憶域が小さ過ぎて、この構成が入り

処置: 構成サイズを小さくするか、さらにメモリーを



原因: 記憶域の漏れのため、ルーターの記憶域の空きがなくなりました。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

#### DHCP.100

レベル: UI-ERROR

短構文: DHCP.100 Sub *subnet\_address* with subgrp name *subnet\_group\_name* not added to list. Dup sub diff subgrp.

長構文: DHCP.100 Subnet *subnet\_address* with subnet group name *subnet\_group\_name* was not added to the list. It is a duplicate subnet with a different subnet group name

説明: サブネット・アドレスが同じだが、サブネット・グループ名が異なるサブネットがすでに存在しています。

---

#### DHCP.101

レベル: UE-ERROR

短構文: DHCP.101 options field is too short *option\_field\_size* for a magic cookie

長構文: DHCP.101 options field is too short *option\_field\_size* for a magic cookie

説明: 受信されたパケット内のオプション・フィールドが短過ぎます。

---

#### DHCP.102

レベル: UE-ERROR

短構文: DHCP.102 no magic cookie in options field of size *option\_field\_size*

長構文: DHCP.102 no magic cookie in options field of size *option\_field\_size*

説明: 受信されたパケット内にオプション・フィールドがありません。

---

#### DHCP.103

レベル: UE-ERROR

短構文: DHCP.103 Dropping a packet due to bad format in magic cookie field

長構文: DHCP.103 Dropping a packet due to bad format in magic cookie field

説明: マジック・クッキー・フィールドの形式が間違っているため、受信されたパケットが廃棄されました。

---

#### DHCP.104

レベル: UE-ERROR

短構文: DHCP.104 Options field does not contain ANY option

長構文: DHCP.104 Options field does not contain ANY option

説明: 受信されたパケットのオプション・フィールドにオプションが含まれていません。

---

#### DHCP.105

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.105 Renewing an *actionstring* lease, *action*

長構文: DHCP.105 Renewing an *actionstring* lease, *action*

説明: このメッセージでは、未使用のリースまたは満了したリースを更新しているかを示します。前者では応答を送信せず、後者では応答します。

---

#### DHCP.106

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.106 Option: *optioncode*, length: *optionlen* value: *optiondata\_decimal* (0x *optiondata\_hex*)

長構文: DHCP.106 Option: *optioncode*, length: *optionlen* value: *optiondata\_decimal* (0x *optiondata\_hex*)

説明: オプション・コード、オプションの長さ、および DHCP パケット内のオプションの値を記述します。

---

#### DHCP.107

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.107 Offer not accepted by client - no reply

長構文: DHCP.107 Offer not accepted by client - no reply

説明: クライアントが別のサーバーを使用したことを、要求パケットが示しています。したがって、応答は送信しません。

---

#### DHCP.108

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.108 Option: *option*, length: *length\_of\_option*



長構文: DHCP.108 Option: *option*, length: *length\_of\_option*

説明: クライアントが要求するオプション

---

#### DHCP.109

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.109 Option: Parameter Request List, length *length*

長構文: DHCP.109 Option: Parameter Request List, length *length*

説明: オプション・パラメーターの要求リスト、長さ

---

#### DHCP.110

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.110 Option *option* requested under parameter request list (opt 55)

長構文: DHCP.110 Option *option* requested under parameter request list (option 55)

説明: 要求されたオプション内部パラメーター要求リスト (オプション 55)

---

#### DHCP.111

レベル: UE-ERROR

短構文: DHCP.111 Undefined option *option* requested, ignored

長構文: DHCP.111 Undefined option *option* requested, ignored

説明: パラメーター要求リストで未定義のオプションが指定されていましたが、無視されます。

---

#### DHCP.112

レベル: UE-ERROR

短構文: DHCP.112 Option: *option*,length *length* value: <no conversion defined for value>

長構文: DHCP.112 Option: *option*,length *length* value: <no conversion defined for value>

説明: このオプションは有効です (命令コードが最大オプションより小さくなります) が、コードで定義されている変換ルーチンはありません。

---

#### DHCP.113

レベル: UE-ERROR

短構文: DHCP.113 Option: *option* not valid

長構文: DHCP.113 Option: *option* not valid

説明: オプション番号が最大値の 255 を超えているので認識されません。

---

#### DHCP.114

レベル: UE-ERROR

短構文: DHCP.114 size of opt *option\_code* exceeds max size of opt in received pkt

長構文: DHCP.114 size of option *option\_code* exceeds field boundary in the received packet

説明: 受信パケット内のオプション・フィールドのサイズが、オプションが取る範囲の最大値を超えています。

---

#### DHCP.115

レベル: UE-ERROR

短構文: DHCP.115 There is no End Option in field with size *option\_size*

長構文: DHCP.115 There is no End Option in field with size *option\_size*

説明: 受信されたパケット内にエンド・オプションがありません。

---

#### DHCP.116

レベル: C-INFO

説明: 認定、結び付け、または取り消し時にアドレス・マネージャーがエラーを検出しました。

---

#### DHCP.117

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.117 No more free or reusable client record

長構文: DHCP.117 No more free or reusable client record

説明: アドレスをマップするための空きクライアント・レコードを探していますが、使用できるクライアント・レコードがありません。

---

---

**DHCP.118**

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.118 No addr available with class info, ignore the class and try again

長構文: DHCP.118 No address available with class info, ignore the class and try again

説明: クラス情報が付いたアドレスが使用できないので、クラスを無視し、再実行します。

---

**DHCP.119**

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.119 First check for class match in global classes

長構文: DHCP.119 First check for class match in global classes

説明: 要求されたクラスをグローバル・レベルで検索します。

---

**DHCP.120**

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.120 Searching all the classes at this subnet level

長構文: DHCP.120 Searching all the classes at this subnet level

説明: グローバル・レベルでクラスを検索しましたが、要求されたクラスに一致するものが見付からなかったため、サブネット・レベルの検索を開始しません。

---

**DHCP.121**

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.121 Not doing MSSW because of client statement

長構文: DHCP.121 Not doing MSSW because of client statement

説明: このサーバー上でクライアントは特定の構成をもたないため、同じ回線上で複数のサブネットを検査しません。

---

**DHCP.122**

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.122 Requested address not in address pool - no reply

長構文: DHCP.122 Requested address not in address pool - no reply

説明: 要求されたアドレスがプール内がないので、サーバーはそのアドレスを所有していません。応答を送信しません。

---

**DHCP.123**

レベル: UI-ERROR

短構文: DHCP.123 Neither client nor address was specified in query mapper

長構文: DHCP.123 Neither client nor address was specified in query mapper

説明: 照会 mapper\r\n でクライアントもアドレスも指定されていません。

---

**DHCP.124**

レベル: UI-ERROR

短構文: DHCP.124 Client record has a bad address index

長構文: DHCP.124 Client record has a bad address index

説明: クライアント・レコードに、マップされたアドレスへのインデックスがありますが、インデックスが間違っています。

---

**DHCP.125**

レベル: UI-ERROR

短構文: DHCP.125 Query both address and client at the same time is not supported

長構文: DHCP.125 Query both address and client at the same time is not supported

説明: 同時にアドレスとクライアントの両方の照会は、サポートされていません。

---

**DHCP.126**

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.126 Bad mapping for address *address*

長構文: DHCP.126 Bad mapping for address *address*

説明: アドレスのインデックスは、クライアント・レコード内の *addressIndex* に一致していません。

---

---

**DHCP.127**

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.127 MSSW list has wrapped, no more to check

長構文: DHCP.127 MSSW list has wrapped, no more to check

説明: 同じ回線上のサブネットをすべて検索し終わりました。

---

**DHCP.128**

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.128 Turning twiddle on due to request type

長構文: DHCP.128 Turning twiddle on due to request type

説明: 要求タイプにより TWIDDLE をオンにします。

---

**DHCP.129**

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.129 We will remain silent server doesn't own the address

長構文: DHCP.129 We will remain silent server doesn't own the address

説明: サーバーがアドレスを所有していないので、沈黙したままになります。

---

**DHCP.130**

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.130 Received request to index into address record 0

長構文: DHCP.130 Received request to index into address record 0

説明: アドレス・レコード 0 を索引する要求を受信しました。

---

**DHCP.131**

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.131 Out of bounds for this subnet, trying next subnet

長構文: DHCP.131 Out of bounds for this subnet, trying next subnet

説明: このサブネットの範囲から外れているので、次

のサブネットを試してみます。

---

**DHCP.132**

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.132 client *client\_id* authentication failed - no reply

長構文: DHCP.132 client *client\_id* authentication failed - no reply

説明: 間違った認証をクライアントが指定したので、サーバーは応答を送信しません。

---

**DHCP.133**

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.133 Client requested addr *address\_string*, but addr already in use

長構文: DHCP.133 Client requested addr *address\_string*, but address is already in use

説明: 別のステーションがすでに使用しているアドレスをクライアントが要求しました。

---

**DHCP.134**

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.134 Removing old addr record for addr *address\_string*

長構文: DHCP.134 Removing old address record for address *address\_string*

説明: クライアント用の古いアドレス・レコードを見付けたので、クライアントに別のアドレスを割り当てました。

---

**DHCP.135**

レベル: UI-ERROR

短構文: DHCP.135 Client statement found but add in use - REPLY NONE

長構文: DHCP.135 Client statement found but address in use - REPLY NONE

説明: クライアントがサーバー上の特定のアドレスに構成されていますが、そのアドレスは別のステーションによってすでに使用されています。これは構成に問題があることを示しています。

---

---

**DHCP.136**

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.136 Address *ipaddress* has been *action*

長構文: DHCP.136 Address *ipaddress* has been *action*

説明: アドレスがクライアント用に予約されました。

---

**DHCP.137**

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.137 Offering *type\_of\_request* address to the client - REPLY OFFER

長構文: DHCP.137 Offering *type\_of\_request* address to the client - REPLY OFFER

説明: 希望の、または予約されたタイプのアドレスを応答 OFFER パケットに入れてクライアントに提供します。

---

**DHCP.138**

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.138 Binder status *status\_string*

長構文: DHCP.138 Binder status *status\_string*

説明: アドレス・マネージャーによって返されたとおりのバインダーの状況

---

**DHCP.139**

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.139 Failed to *action* addr for clnt *client\_string* - no reply

長構文: DHCP.139 Failed to *action* an address for client *client\_string* - no reply

説明: アドレスをクライアント用に予約させるか、結び付けさせるのに失敗したので、応答を送信しません。

---

**DHCP.140**

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.140 client access validated

長構文: DHCP.140 client access validated

説明: クライアントは、アクセス妥当性検査を通過しました。

---

---

**DHCP.141**

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.141 Lease was reserved but no outstanding exchange

長構文: DHCP.141 Lease was reserved but no outstanding exchange

説明: リースが予約済み状態にあることが分かりましたが、このクライアントについての未処理の交換情報はありません。

---

**DHCP.142**

レベル: CE-ERROR

短構文: DHCP.142 DISCOVER from client *client\_id* already bound with *ipaddress*

長構文: DHCP.142 DISCOVER from client *client\_id* already bound with *ipaddress*

説明: クライアントからの DISCOVER メッセージは、すでにアドレスにバインド済みです。

---

**DHCP.143**

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.143 Previously bound/no address available for client - NO REPLY

長構文: DHCP.143 Previously bound/no address available for client - NO REPLY

説明: アドレスは以前にバインド済みですが、クライアントには使用できません。

---

**DHCP.144**

レベル: CE-ERROR

短構文: DHCP.144 Client *client\_string* sent a repeated DISCOVER

長構文: DHCP.144 Client *client\_string* sent a repeated DISCOVER

説明: クライアントについてすでに交換された情報があるので、このクライアントは繰り返し DISCOVER を送信しました。

---

**DHCP.145**

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.145 Expired/released address not available for the client - NO REPLY

長構文: DHCP.145 Previously bound/no addr available for clnt - NO REPLY

説明: クライアント用に使用できないアドレスが満了/解放されました。応答はありません。

---

#### DHCP.146

レベル: UI-ERROR

短構文: DHCP.146 Missing global *record\_type* record *record\_index*

長構文: DHCP.146 Missing global *record\_type* record *record\_index*

説明: レコード・インデックスに対応するレコードが欠落しています。

原因: 構成が破壊されました。

処置: このタイプのグローバル・レコードをすべて削除し、再入してください。

---

#### DHCP.147

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.147 Client id matches an active exchange

長構文: DHCP.147 Client id matches an active exchange

説明: 交換された待ち行列内にクライアント ID が見付かりました。

---

#### DHCP.148

レベル: UI-ERROR

短構文: DHCP.148 Number of outstanding exchanges reached high threshold *xThresholdHigh*

長構文: DHCP.148 Number of outstanding exchanges reached high threshold *xThresholdHigh*

説明: 未処理の交換回数が上限値 64 に到達しました。

---

#### DHCP.149

レベル: UI-ERROR

短構文: DHCP.149 Number of outstanding exchanges decreased to the low threshold *xThresholdLow*

長構文: DHCP.149 Number of outstanding exchanges decreased to the low threshold *xThresholdLow*

説明: 未処理の交換回数が下限値 8 まで減少しました。

---

#### DHCP.150

レベル: UI-ERROR

短構文: DHCP.150 Failed to address client *client\_string*

長構文: DHCP.150 Failed to address client *client\_string*

説明: アドレスとマップするためにクライアント・レコードを割り振るのに失敗しました。

---

#### DHCP.151

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.151 Cant locate client *client\_string*, no IP address supplied

長構文: DHCP.151 Cannot locate client *client\_string*, no IP address supplied

説明: 構成されたクライアントの IP アドレスを見付けようとしたが、このクライアントについての情報が存在しないので、IP アドレスは提供されません。

---

#### DHCP.152

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.152 Found match for client id *client\_hardware\_address* in *type\_pf\_scope*

長構文: DHCP.152 Found match for client id *client\_hardware\_address* in *type\_pf\_scope*

説明: `locateConfiguredClient` により、クライアント ID がグローバル・スコープまたはサブネット・スコープで一致していることを検出しました。

---

#### DHCP.153

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.153 Check sub move, clue *IpAddressClue* vs. req IP *ReqIpAddress*

長構文: DHCP.153 Check client subnet movement is comparing addr clue of *IpAddressClue*, with requested IP address *ReqIpAddress*

説明: インターフェースの IP アドレスをクライアントから要求された IP アドレスと比較して、クライアントがあるサブネットから別のサブネットに移動したかどうかを検査します。

---

#### DHCP.154

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.154 Cant find addr *ipaddress* in addr records, instance *position*

長構文: DHCP.154 Cant find addr *ipaddress* in addr records, instance *position*

説明: IP アドレスを検索するよう要求したモジュールに関してこのメッセージの位置を表示します。

---

#### DHCP.155

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.155 No client info found in profile

長構文: DHCP.155 No client information found in profile

説明: プロファイル内にこのクライアントについての情報を見付けることができませんでした。

---

#### DHCP.156

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.156 Comparing requested ip address *requested\_ip\_address* with subnet *subnet\_ip\_address*

長構文: DHCP.156 Comparing requested ip address *requested\_ip\_address* with subnet *subnet\_ip\_address*

説明: 要求された IP アドレスをサブネットの IP アドレスと比較して、クライアントがサブネット間で移動したかどうか検査します。

---

#### DHCP.157

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.157 Checking multiple subnet on same wire *temp\_subnet\_label* against *inorder\_label*

長構文: DHCP.157 Checking multiple subnet on same wire *temp\_subnet\_label* against *inorder\_label*

説明: 同じ回線上に複数のサブネットがあるか検査します。

---

#### DHCP.158

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.158 *MsgString*

長構文: DHCP.158 *MsgString*

説明: 任意のメッセージ・ストリング

---

#### DHCP.159

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.159 Checking *TypeofSubnet* addr *SubnetLabel1* against *SubnetLabel2*

長構文: DHCP.159 Checking *TypeofSubnet* addr

*SubnetLabel1* against *SubnetLabel2*

説明: アドレス *Subnet1* をもつサブネットのタイプを *subnet2* と照らし合わせて検査します。

---

#### DHCP.160

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.160 Client requested classname matched in *scope* scope name = *classname*

長構文: DHCP.160 Client requested class name matched in *scope* scope name = *classname*

説明: クライアントの要求されたクラス名のうち、*global/regexec/regexec* の部分スコープ名 = %S 内のクラス名に一致するものを検索します。

---

#### DHCP.161

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.161 Address manager got unrecognized command *command*

長構文: DHCP.161 Address manager got unrecognized command *command*

説明: アドレス・マネージャーがコールされましたが、アドレス用のコマンドは認識されませんでした。

---

#### DHCP.162

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.162 Query portfolio for *ipaddress* failed

長構文: DHCP.162 Query portfolio for *ipaddress* failed

説明: ポートフォリオ内のアドレスを照会しましたが、失敗が返されました。

---

#### DHCP.163

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.163 Address *ipaddress* has no profile in this server, instance: *position*

長構文: DHCP.163 Address *ipaddress* has no profile in this server, instance: *position*

説明: 指定されたアドレスのプロファイルがこのサーバー内にありません。

---

#### DHCP.164

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.164 Finding clnt to map w/ addr *binder\_ip\_address* of subn *binder\_subnet*



**長構文:** DHCP.164 Trying to locate client from pool or creating new one to map with address *binder\_ip\_address* of subnet *binder\_subnet*

**説明:** 指定のクライアントのクライアント・プールを検索します。クライアント・プールが見付からない場合は、アドレスと指定のサブネットのマッピングを用意するための、新規クライアント・レコードが作成されます。

---

#### DHCP.165

**レベル:** C-INFO

**短構文:** DHCP.165 Found client id *client\_string* in client records

**長構文:** DHCP.165 Found client id *client\_string* requested in client records

**説明:** クライアント・レコード内でクライアント ID の一致を検出しました。

---

#### DHCP.166

**レベル:** C-INFO

**短構文:** DHCP.166 Query prof for addr *binder\_address* for subn *binder\_subnet* mssw *mssw*

**長構文:** DHCP.166 Query profile about address *binder\_address* for subnet *binder\_subnet* mssw *mssw*

**説明:** サブネットのアドレスについての am\_addressClient 照会プロファイル・リポジトリ

---

#### DHCP.167

**レベル:** C-INFO

**短構文:** DHCP.167 Server doesnt own requested IP address *ipaddress* will ignore the suggestion

**長構文:** DHCP.167 Server does not own the requested IpAddr *ipaddress* will ignore the suggestion

**説明:** サーバーは要求された IP アドレスを所有していないので、提案を無視します。

---

#### DHCP.168

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** DHCP.168 client *client\_string* had address *ipaddress* mapped previously

**長構文:** DHCP.168 client *client\_string* had address *ipaddress* mapped previously

**説明:** 指定されたクライアントに、すでに別のアドレスがマップされていました。

---

#### DHCP.169

**レベル:** C-INFO

**短構文:** DHCP.169 Req might come fr (sub)net which this srvr isnt cfg to managed

**長構文:** DHCP.169 Request might have come from (sub)net for which this server is not configured to managed

**説明:** インターフェース・アドレスが要求されたアドレスと一致しないので、このサーバーが管理することになっていなかったサブ(ネット) から届いた可能性があります。

---

#### DHCP.170

**レベル:** C-INFO

**短構文:** DHCP.170 Clnt *client\_string* suggested addr *ipaddress* is in range

**長構文:** DHCP.170 Client *client\_string* suggested address *ipaddress* is in range

**説明:** クライアントが提案したアドレスが範囲内にあります。

---

#### DHCP.171

**レベル:** C-INFO

**短構文:** DHCP.171 Clnt *client\_string* req addr *ipaddress* is out of range

**長構文:** DHCP.171 Client *client\_string* requested address *ipaddress* is out of range

**説明:** クライアントが提案したアドレスが範囲外にあります。

---

#### DHCP.172

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** DHCP.172 *String*

**長構文:** DHCP.172 *String*

**説明:** タイプ・エラーのメッセージ

---

#### DHCP.173

**レベル:** C-INFO

**短構文:** DHCP.173 Client *client\_string* moved from addr1 *strAddr1* to addr2 *strAddr2*

**長構文:** DHCP.173 Client *client\_string* moved from addr1 *strAddr1* to addr2 *strAddr2*



説明: 指定されたクライアントがあるアドレスから別のアドレスに移動しました。

---

#### DHCP.174

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.174 Client *client\_string* had no previous mapping, getting one

長構文: DHCP.174 Client *client\_string* had no previous mapping, getting one

説明: 指定されたクライアントにまだマッピングがなかったため、マッピングを入手します。

---

#### DHCP.175

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.175 *position* Net *ipaddress* has no more available addresses

長構文: DHCP.175 *position* Net *ipaddress* has no more available addresses

説明: 指定されたネットワークに、サービスするアドレスがそれ以上ありません。

---

#### DHCP.176

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.176 Curr sub *subnet* is out of addr, trying next sub *next\_sub*

長構文: DHCP.176 Current subnet *subnet* is out of addresses, trying next subnet *next\_sub*

説明: 現行のサブネット内のアドレスを入手しようとしたのですが、アドレスが尽きたため、同じ回線上の別のサブネットを試してみます。

---

#### DHCP.177

レベル: UE-ERROR

短構文: DHCP.177 All new client records *index* are filled by previous clients

長構文: DHCP.177 All new client records *index* are filled by previous clients

説明: 前のクライアントによって記入された最高のクライアント・レコードのインデックス

---

#### DHCP.178

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.178 Subnet *subnet* with mask *subnetmask* is removed due to overlapping

長構文: DHCP.178 Subnet *subnet* with mask *subnetmask* is removed due to overlapping

説明: 指定されたマスクをもつサブネットが、オーバーラップのため除去されます。

---

#### DHCP.179

レベル: UE-ERROR

説明: 使用できるアドレス・レコードを、使用可能、ストック、解放、満了の順に探します。

---

#### DHCP.180

レベル: UE-ERROR

短構文: DHCP.180 Bad subnet mask

長構文: DHCP.180 Bad subnet mask

説明: サブネット・マスクに誤りがあります。マスク内に 0 の数字が 25 桁以上あります。

---

#### DHCP.181

レベル: UE-ERROR

短構文: DHCP.181 No expired address is available, nothing left to try on

長構文: DHCP.181 No expired address is available, nothing left to try on

説明: 有効期限が切れたアドレスはありません。試してみるアドレスは何もありません。

---

#### DHCP.182

レベル: UI-ERROR

短構文: DHCP.182 Cannot find client *client\_string* to *action* its reservation

長構文: DHCP.182 Cannot find client *client\_string* to *action* its reservation

説明: 予約を確定するか、取り消すクライアントを見付けることができません。

---

**DHCP.183**

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.183 To *action* an address *binder\_address* other than the reserved *record\_address*

長構文: DHCP.183 To *action* an address *binder\_address* other than the reserved *record\_address*

説明: 予約されたアドレスと異なるアドレスをクライアントが確定または取り消そうとしました。

---

**DHCP.184**

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.184 Received packet of type *opcode* sz *request\_size* option sz *option\_size*

長構文: DHCP.184 Received a packet of type *opcode* size *request\_size* option size *option\_size*

説明: 命令コード、サイズ、およびオプション・サイズをもつ新規 DHCP パケットを受信しました。

---

**DHCP.185**

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.185 To release an address *ipaddress* other than the bound *boundaddress*

長構文: DHCP.185 To release an address *ipaddress* other than the bound *boundaddress*

説明: バインド済みアドレス以外のアドレスをクライアントが解放しようとしています。

---

**DHCP.186**

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.186 Clnt *client\_string* not known to addr mapr, ask clientele

長構文: DHCP.186 Client *client\_string* is not known to address mapper, ask clientele

説明: 指定されたクライアントにマップされたアドレスがまだありません。クライアントにアドレスをマップする必要があるか調べてください。

---

**DHCP.187**

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.187 Clnt *client\_string* known to addr mapr, stat = *status*

長構文: DHCP.187 Client *client\_string* is known to address mapper, status = *status*

説明: クライアントがアドレス・マップパー内で、有効な状態で検出されました。

---

**DHCP.188**

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.188 *modulename* failed when queried about client *client\_string*

長構文: DHCP.188 *modulename* failed when queried about client *client\_string*

説明: クライアントについて照会するモジュール名を表示します。

---

**DHCP.189**

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.189 Address *ipaddress* is not known to address mapper, status *status*

長構文: DHCP.189 Address *ipaddress* is not known to address mapper, status *status*

説明: 状態およびアドレス・マップパーに未知のアドレスを表示します。

---

**DHCP.190**

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.190 Address mapper failed when queried about address *ipaddress*

長構文: DHCP.190 Address mapper failed when queried about address *ipaddress*

説明: アドレスについて照会されたときに、アドレス・マップパーに障害が起きました。

---

**DHCP.191**

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.191 Responding with client info - REPLY ACK, client *ipaddress ipaddress*

長構文: DHCP.191 Responding with client information - REPLY ACK, client *ipaddress ipaddress*

説明: 指定されたクライアントからのパケットを通知するために応答します。

---

**DHCP.192**

レベル: UI-ERROR

短構文: DHCP.192 Error adding client subnet to list

長構文: DHCP.192 Error adding client subnet to list

説明: クライアント用に作成されたサブネットをサブネット・リストに追加しているときにエラーが発生しました。

---

#### DHCP.193

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.193 Client *client\_string* sent REQUEST without previous binding with this svr

長構文: DHCP.193 Client *client\_string* sent REQUEST without previous binding with this server

説明: クライアントは、事前にこのサーバーとバインドせずに REQUEST を送信しました。

---

#### DHCP.194

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.194 Client *client\_string* specified another server *server\_ipaddress* in renew REQUEST

長構文: DHCP.194 Client *client\_string* specified another server *server\_ipaddress* in renew REQUEST

説明: 更新 REQUEST でクライアントは別のサーバーを指定しました。

---

#### DHCP.195

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.195 Client *client\_string* didn't specify a server in REQUEST

長構文: DHCP.195 Client *client\_string* didn't specify a server in REQUEST

説明: REQUEST パケット内でクライアントはサーバーを指定しませんでした。

---

#### DHCP.196

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.196 Previous mapped files not removed. Try to accommodate w/in new config

長構文: DHCP.196 Previous mapped files not removed. Try to accommodate w/in new config

説明: 直前のマップ・ファイルが取り外されていません。新規構成に合わせてください。

---

#### DHCP.197

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.197 Client *client\_string* requests an unavailable address - NO REPLY

長構文: DHCP.197 Client *client\_string* requests an unavailable address - NO REPLY

説明: アドレス・マネージャーは、クライアントにアドレスをバインドしなかったため、応答を送信しません。

---

#### DHCP.198

レベル: UI-ERROR

短構文: DHCP.198 State of exchange is out of sync with address manager

長構文: DHCP.198 State of exchange is out of sync with address manager

説明: アドレス・マネージャーが記録するアドレスの状態は、交換ブロックにあるものと異なっています。

---

#### DHCP.199

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.199 Requesting an existing lease - REPLY ACK

長構文: DHCP.199 Requesting an existing lease - REPLY ACK

説明: 既存のリースを要求します。確認応答を応答します。

---

#### DHCP.200

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.200 Failed to renew for client *client\_string* - reply nak

長構文: DHCP.200 Failed to renew for client *client\_string* - reply nak

説明: アドレス・マネージャーは、クライアント用にリースを更新せず、否定応答を送信します。

---

#### DHCP.201

レベル: UE-ERROR

短構文: DHCP.201 Client *client\_string* tries to renew *type\_of\_lease* lease

長構文: DHCP.201 Client *client\_string* tries to renew *type\_of\_lease* lease

説明: クライアントが、解放されたリースまたは満了したリースを更新しようとしています。

---

#### DHCP.202

レベル: CI-ERROR

短構文: DHCP.202 Failed to bind for client *client\_string* while *action*

長構文: DHCP.202 Failed to bind for client *client\_string* while *action*

説明: 解放または満了時にクライアントをバインドしませんでした。

---

#### DHCP.203

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.203 Offer was selected by client *client\_string*

長構文: DHCP.203 Offer was selected by client *client\_string*

説明: 指定されたクライアントが選択したオファーをサーバーが送信します。

---

#### DHCP.204

レベル: UE-ERROR

短構文: DHCP.204 Client *client\_string* REQUESTed lease ( *lease*) differ from reserved ( *reserved\_lease*)

長構文: DHCP.204 Client *client\_string* REQUESTed lease ( *lease*) differ from reserved ( *reserved\_lease*)

説明: 予約済みの時間と異なるリース時間をクライアントが要求しました。

---

#### DHCP.205

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.205 Addr *ipaddress* has been bound to client *client\_string*

長構文: DHCP.205 Address *ipaddress* has been bound to client *client\_string*

説明: クライアントにバインドされたアドレスを表示します。

---

#### DHCP.206

レベル: UI-ERROR

短構文: DHCP.206 Reserved *address1* but committed *address2* for client *client\_string*

長構文: DHCP.206 Reserved *address1* but committed *address2* for client *client\_string*

説明: クライアントに予約済みのアドレスが 1 つありますが、サーバーはそのアドレスではなく、別のアドレスをコミットしています。

---

#### DHCP.207

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.207 Requesting an unavailable reserved address - REPLY NAK

長構文: DHCP.207 Requesting an unavailable reserved address - REPLY NAK

説明: 使用できない予約済みアドレスを要求しているので、REPLY NAK (否定応答) を送信します。

---

#### DHCP.208

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.208 OFFER was not selected by client *client\_string*

長構文: DHCP.208 OFFER was not selected by client *client\_string*

説明: OFFER をクライアントが選択しませんでした。

---

#### DHCP.209

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.209 Address reservation has been canceled

長構文: DHCP.209 Address reservation has been canceled

説明: アドレス予約が取り消されました。

---

#### DHCP.210

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.210 Client *client\_string* did not id any server in response to an offer

長構文: DHCP.210 Client *client\_string* did not id any server in response to an offer

説明: クライアントはオファーに応答してサーバーを識別しませんでした。

---

### DHCP.211

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.211 Client *client\_string* may have recvd addr from another srvr - REPLY NONE

長構文: DHCP.211 Client *client\_string* may have received address from another server - REPLY NONE

説明: クライアントは別のサーバーからアドレスを受信していた可能性があります。REPLY NONE (何も応答しません。)

---

### DHCP.212

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.212 Client *client\_string* moved to another subnet -- REPLY NAK

長構文: DHCP.212 Client *client\_string* moved to another subnet -- REPLY NAK

説明: クライアントが別のサブネットに移動しました。-- REPLY NAK (否定応答)

---

### DHCP.213

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.213 NO REPLY - clnt *client\_string* req diff addr *requested\_ipaddress* fr what avail on srvr *available\_ipaddress*

長構文: DHCP.213 NO REPLY generated because client *client\_string* requested a different address *requested\_ipaddress* from what we have on the server *available\_ipaddress*

説明: クライアントがサーバー上にあるアドレスと異なるアドレスを要求したので、NO REPLY (応答なし) が生成されました。

---

### DHCP.214

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.214 Received a *type\_of\_packet* from client *client\_string* who failed authentication

長構文: DHCP.214 Received a *type\_of\_packet* from client *client\_string* who failed authentication

説明: 認証に失敗したクライアントからパケットを受信しました。

---

---

### DHCP.215

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.215 Client *client\_string* declined a non-existing lease

長構文: DHCP.215 Client *client\_string* declined a non-existing lease

説明: 存在しないリースをクライアントが拒否しました。

---

### DHCP.216

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.216 Clnt *client\_string action* non-existing lease in another srvr *server\_string* - no action

長構文: DHCP.216 Client *client\_string* attempts to *action* non-existing lease in another server *server\_string* - no action

説明: クライアントから別のサーバーに存在していないリースを拒否するか解放する旨の通知を受信したので、応答しません。

---

### DHCP.217

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.217 Client *client\_string* sends a *action* pkt but didn't specify srvr

長構文: DHCP.217 Client *client\_string* sends a *action* packet but didn't specify server

説明: クライアントはパケットの解放または拒否を送信しますが、サーバーを指定しないので、応答を送信しません。

---

### DHCP.218

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.218 Client *client\_string* has *action* a reserved lease for address *lease\_ipaddress*

長構文: DHCP.218 Client *client\_string* has *action* a reserved lease for address *lease\_ipaddress*

説明: クライアントの ID ストリングに指定されたクライアントが、IP アドレスについて予約済みのリースを拒否するか、解放しました。

---

---

**DHCP.219**

レベル: UE-ERROR

短構文: DHCP.219 Client *client\_string* *server\_string* a reserved lease in this srvr but specified another srvr *server\_ip*

長構文: DHCP.219 Client *client\_string* *server\_string* a reserved lease in this srvr but specified another srvr *server\_ip*

説明: クライアントは、このサーバー内の予約済みリースを拒否するか、解放しましたが、オプション・サーバー ID で別のサーバーを指定しました。

---

**DHCP.220**

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.220 Client *client\_string* Action a binding for address *ipaddress*

長構文: DHCP.220 Client *client\_string* Action a binding for address *ipaddress*

説明: 指定されたアドレスの結び付けをクライアントが拒否するか、解放しました。

---

**DHCP.221**

レベル: UE-ERROR

短構文: DHCP.221 Client *client\_string* action a lease in this srvr but has another srvr's id *server\_ipaddress*

長構文: DHCP.221 Client *client\_string* action a running lease in this srvr but has another srvr's id *server\_ipaddress*

説明: クライアントは、このサーバー内の実行中のリースを拒否するか、解放しましたが、別のサーバーの ID をもっています。

---

**DHCP.222**

レベル: UE-ERROR

短構文: DHCP.222 Client *client\_string* sends a decline after release - send no reply

長構文: DHCP.222 Client *client\_string* sends a decline after release - do not reply

説明: 指定されたクライアントは、リースを解放した後で、拒否パケットを送信するので、応答は送信しません。

---

**DHCP.223**

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.223 Client *client\_string* action after lease has expired - no reply

長構文: DHCP.223 Client *client\_string* action after lease has expired - no reply

説明: リースの有効期限が切れた後、指定のクライアントはアドレスを拒否または解放しました。

---

**DHCP.224**

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.224 Failed to cancel after declined by client *client\_string*

長構文: DHCP.224 Failed to cancel after declined by client *client\_string*

説明: クライアントによって拒否された後、取り消しませんでした。

---

**DHCP.225**

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.225 Client *client\_string* has released a non-existing lease

長構文: DHCP.225 Client *client\_string* has released a non-existing lease

説明: クライアントは、存在しないリースを解放するよう要求しました。

---

**DHCP.226**

レベル: UE-ERROR

短構文: DHCP.226 Client *client\_string* RELEASEs a lease that has been released

長構文: DHCP.226 Client *client\_string* RELEASEs a lease that has been released

説明: クライアントが、すでに解放されたリースを解放するよう要求しました。

---

**DHCP.227**

レベル: UI-ERROR

短構文: DHCP.227 Address manager returned unknown status *status*

長構文: DHCP.227 Address manager returned unknown status *status*



説明: アドレス・マネージャーが未知の状況を返しました。

---

#### DHCP.228

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.228 Failed to release a lease for client *client\_string*

長構文: DHCP.228 Failed to release a lease for client *client\_string*

説明: アドレス・マネージャーが、指定のクライアントについてリースを解放するよう要求しません。

---

#### DHCP.229

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.229 BOOTP client *client\_string* is authenticated

長構文: DHCP.229 BOOTP client *client\_string* is authenticated

説明: BOOTP クライアントは認証にパスしました。

---

#### DHCP.230

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.230 DHCP client *client\_string* has address *ipaddress* reserved, then became BOOTP

長構文: DHCP.230 DHCP client *client\_string* has address *ipaddress* reserved, then became BOOTP

説明: DHCP クライアントはアドレスを予約したうえで、DHCP から BOOTP に変更されました。

---

#### DHCP.231

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.231 BOOTP client *client\_string* has an infinite lease

長構文: DHCP.231 BOOTP client *client\_string* has an infinite lease

説明: BOOTP クライアントは、無期限のリースをもちます。

---

#### DHCP.232

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.232 Client *client\_string* has a previously *action* address

長構文: DHCP.232 Client *client\_string* has a previously *action* address

説明: クライアントは以前にアドレスを解放していたか、アドレスの有効期限が切れました。

---

#### DHCP.233

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.233 Offering a BOOTP client a permanent lease *addr ipaddress* - REPLY OFFER

長構文: DHCP.233 Offering a BOOTP client a permanent lease *addr ipaddress* - REPLY OFFER

説明: BOOTP クライアントに永続リース・アドレスを提供します。REPLY OFFER (オファーを応答)

---

#### DHCP.234

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.234 Failed to allocate buffer for *type\_of\_buffer*, size *size*

長構文: DHCP.234 Failed to allocate buffer for *type\_of\_buffer*, size *size*

説明: 応答パケットにバッファを割り当てなかったか、バッファを伝送しませんでした。

---

#### DHCP.235

レベル: UI-ERROR

短構文: DHCP.235 Cannot find client *client\_string* in client record

長構文: DHCP.235 Cannot find client *client\_string* in client record

説明: クライアント・レコード内にクライアントを検索できません。

---

#### DHCP.236

レベル: UI-ERROR

短構文: DHCP.236 Address record has a bad client index *index*

長構文: DHCP.236 Address record has a bad client index *index*

説明: アドレス・レコードにクライアント用のマッピングがありますが、インデックスが間違っています。



---

**DHCP.237**

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.237 Clnt *client\_string* ( *status*) has no addr mapped to it

長構文: DHCP.237 Client *client\_string* (*status status*) has no address mapped to it

説明: クライアントについて照会マッパーを通じて要求が行なわれましたが、クライアントに関連するアドレスがないことが判明し、そのクライアントの状況を表示します。

---

**DHCP.238**

レベル: UI-ERROR

短構文: DHCP.238 Address *ipaddress* has no mapped client but in mapped state *state*

長構文: DHCP.238 Address *ipaddress* has no mapped client but in mapped state *state*

説明: アドレスにマップされたクライアントはありませんが、状況はクライアントがマップされていることを示しています。

---

**DHCP.239**

レベル: UI-ERROR

短構文: DHCP.239 Address *ipaddress* has a running lease for no client

長構文: DHCP.239 Address *ipaddress* has a running lease for no client

説明: 指定のアドレスには有効なリースがありますが、そのアドレスに関連するクライアントはありません。

---

**DHCP.240**

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.240 No move check since addr *ipaddress1* is mapped to clnt and clue is *ipaddress2*

長構文: DHCP.240 No check for movement since Address *ipaddress1* is mapped to client and clue is *ipaddress2*

説明: クライアントには、以前にマップされたアドレスがあり、それは手掛かりと同じサブネットに所属しています。したがって、サブネットの移動を検査する必要はありません。

---

**DHCP.241**

レベル: UI-ERROR

短構文: DHCP.241 Unable to copy *numbytes* bytes of options due to not enough room

長構文: DHCP.241 Unable to copy *numbytes* bytes of options due to not enough room

説明: 十分な記憶域がないため、オプションのバイト数をコピーできません。

---

**DHCP.242**

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.242 Generating a *DHCPTtype* reply

長構文: DHCP.242 Generating a *DHCPTtype* reply

説明: 指定のタイプの応答を生成中です。

---

**DHCP.243**

レベル: UI-ERROR

短構文: DHCP.243 Failed to allocate block of memory of *block\_size* bytes

長構文: DHCP.243 Failed to allocate block of memory of *block\_size* bytes

説明: 交換ブロックまたはアドレス・レコードかクライアント・レコードに記憶域を割り振りませんでした。

---

**DHCP.244**

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.244 Client *client\_string* is action *clientele* list

長構文: DHCP.244 Client *client\_string* is action *clientele* list

説明: 指定のクライアントが、CLIENTEL リストによって認証または拒否されました。

---

**DHCP.245**

レベル: UI-ERROR

短構文: DHCP.245 Failed to initialize the address pool

長構文: DHCP.245 Failed to initialize the address pool

説明: 記憶域の割り振り、プロファイル内のアドレスとクライアントの妥当性検査などのさまざまな理由から、アドレス・プールの初期化に失敗しました。

---

**DHCP.246**

レベル: UI-ERROR

短構文: DHCP.246 Number of pool size is *num\_of\_addresses*, number of actual addr is *valid\_addresses*

長構文: DHCP.246 Number of pool size is *num\_of\_addresses*, number of actual addresses is *valid\_addresses*

説明: プール・サイズを示す数が、各アドレスの初期化を終えたときのアドレスの実際の数より大きくなりました。

---

**DHCP.247**

レベル: UI-ERROR

短構文: DHCP.247 Cannot allocate buffer for *num\_of\_client\_records* client records, size *client\_record\_size*

長構文: DHCP.247 Cannot allocate buffer for *num\_of\_client\_records* client records, size *client\_record\_size*

説明: クライアント・レコードにバッファを割り振ることができません。

---

**DHCP.248**

レベル: UI-ERROR

短構文: DHCP.248 Failed to alloc buffer for addr pool of *num\_of\_addresses* address records

長構文: DHCP.248 Failed to allocate buffer for addr pool of *num\_of\_addresses* address records

説明: アドレス・レコードの数のアドレス・プールにバッファを割り振りませんでした。

---

**DHCP.249**

レベル: UI-ERROR

短構文: DHCP.249 Cannot *action* address records from profile

長構文: DHCP.249 Cannot *action* address records from profile

説明: プロファイルからのアドレス・レコードを充てんまたは分類できません。

---

**DHCP.250**

レベル: UI-ERROR

短構文: DHCP.250 Network tree has *records* addr while *numRecords* recs were asked to fill

長構文: DHCP.250 Network tree found *records* addresses while *numRecords* records were asked to fill

説明: 初期化ルーチンが、サブネット・ツリーにあるアドレスの数と異なる数のレコードを充てんするよう求めます。

---

**DHCP.251**

レベル: UI-ERROR

短構文: DHCP.251 No subnet specified thru config, no addr record can be initialized

長構文: DHCP.251 No subnet specified thru configuration, no address record can be initialized

説明: 構成を通じてサブネットが指定されないので、アドレス・レコードを初期化できません。

---

**DHCP.252**

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.252 No subnet specified thru config; number of IP addresses is 0

長構文: DHCP.252 No subnet specified thru config; number of IP addresses is 0

説明: 構成でサブネットが指定されていないので、アドレスの数を数えるルーチンが 0 を返しました。

---

**DHCP.253**

レベル: UI-ERROR

短構文: DHCP.253 Failed to initialize the address mapper, cannot proceed

長構文: DHCP.253 Failed to initialize the address mapper, cannot proceed

説明: DHCP の初期化プロセスが、アドレスの初期化に失敗しました。

---

**DHCP.254**

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.254 Client address index *client\_address\_index*

長構文: DHCP.254 Client address index *client\_address\_index*

説明: クライアントにマップされた指定のアドレス・インデックスを表示します。

---

#### DHCP.255

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.255 No client with status *status* is available, *action*

長構文: DHCP.255 No client with status *status* is available, *action*

説明: 空きクライアントおよび空きレコードを探し、空きクライアントおよび空きレコードを通じて検索し、解放し、満了する。

---

#### DHCP.256

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.256 Client requested address lease from wrong server - REPLY NAK

長構文: DHCP.256 Client requested address lease from wrong server - REPLY NAK

説明: クライアントが間違ったサーバーからアドレス・リースを要求しました。REPLY NAK (否定応答)

---

#### DHCP.257

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.257 failed to address client *client\_id*

長構文: DHCP.257 failed to address client *client\_id*

説明: 指定のクライアントにアドレス指定しませんでした。

---

#### DHCP.258

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.258 Cannot find client record *client\_string* to release it's lease

長構文: DHCP.258 Cannot find client record *client\_string* to release it's lease

説明: アドレス・マネージャーから、レコードに存在しないクライアントについてリースを解放するよう求めるコマンドを受信しました。

---

#### DHCP.259

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.259 *position*: find next *find\_next*, *cntl*: *cntl\_number*

長構文: DHCP.259 *position*: find next *find\_next*, *cntl*: *cntl\_number*

説明: 平衡処理および順序処理に使用される *find\_next* および制御番号の値を表示します。

---

#### DHCP.260

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.260 using first label in list *cntl*: *cntl\_number*

長構文: DHCP.260 using first label in list *cntl*: *cntl\_number*

説明: 平衡または順序のリストの最初のラベル・メンバーを使用して、制御番号を表示します。

---

#### DHCP.261

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.261 returning *return\_subnet*, *cntl*: *cntl\_number*

長構文: DHCP.261 returning *return\_subnet*, *cntl*: *cntl\_number*

説明: 戻りサブネットおよび *cntl\_number* を表示します。

---

#### DHCP.262

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.262 Using first label in list, subnet is *return\_subnet*

長構文: DHCP.262 Using first label in list, subnet is *return\_subnet*

説明: リスト内の最初のラベルのサブネット番号を表示します。

---

#### DHCP.263

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.263 Using subnet *return\_subnet* *cntl*: *cntl\_number*

長構文: DHCP.263 Using subnet *return\_subnet* *cntl*: *cntl\_number*

説明: 使用中のサブネットを表示します。

---

**DHCP.264**

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.264 Switching back to 1st subnet  
*return\_subnet cntl: cntl\_number*

長構文: DHCP.264 Switching back to first subnet  
*return\_subnet cntl: cntl\_number*

説明: 最初のサブネットにスイッチバックします。

---

**DHCP.265**

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.265 returning twiddled subnet  
*twiddled\_subnet*

長構文: DHCP.265 returning twiddled subnet  
*twiddled\_subnet*

説明: twiddled サブネットを戻します。

---

**DHCP.266**

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.266 MSSW client of subnet  
*mssw\_subnet\_ip*

長構文: DHCP.266 MSSW client of subnet  
*mssw\_subnet\_ip*

説明: MSSW ネットワーク上のクライアントのサブネット番号を表示します。

---

**DHCP.267**

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.267 Check if address is in class returns  
*return\_code*

長構文: DHCP.267 Return code from routine check if  
an address is in a class returns *return\_code*

説明: アドレスがクラス内で定義されているか調べる  
ためにそのクラス全体を通じて検査する戻りコードをルー  
ーチンから表示します。

---

**DHCP.268**

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.268 returning subnet\_to\_use  
*subnet\_to\_use, cntl\_no cntl\_number*

長構文: DHCP.268 returning subnet\_to\_use  
*subnet\_to\_use, cntl\_no cntl\_number*

説明: 指定の戻り値を表示します。

---

---

**DHCP.269**

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.269 No address is available for client  
(unknown error) - no reply

長構文: DHCP.269 No address is available for client  
(unknown error) - no reply

説明: クライアントに使用できるアドレスがありません  
(不明のエラー) - 応答なし

---

**DHCP.270**

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.270 Renewing a lease on another server  
- NO REPLY

長構文: DHCP.270 Renewing a lease on another server  
- NO REPLY

説明: 別のサーバー上のリースを更新します - 応答な  
し

---

**DHCP.271**

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.271 Call to pr\_query\_subnetlabel returned  
subnet *mssw\_subnet*

長構文: DHCP.271 Call to pr\_query\_subnetlabel returned  
subnet *mssw\_subnet*

説明: 指定の戻り値を表示します。

---

**DHCP.272**

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.272 Previous map files did not exist or  
has been removed; new mapping

長構文: DHCP.272 Previous map files did not exist or  
has been removed; new mapping

説明: 直前のマップ・ファイルが初期化のために存在  
していませんでした。新規にマッピングしてください。

---

**DHCP.273**

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.273 Previous map Address: Client  
dropped with status *status*

長構文: DHCP.273 Previous map Address: Client  
dropped with status *status*

説明: クライアントに対する直前のマップ・アドレス

---

がこの状況での初期化中に除去されました。

---

#### DHCP.274

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.274 Override *srvr lease (recommended\_lease\_duration* secs) w/ infinite lease for bootp clnts

長構文: DHCP.274 Server is overriding the server recommended lease ( *recommended\_lease\_duration* seconds) with an INFINITE lease since BOOTP clients are supported

説明: BOOTP クライアントがサポートされているので、サーバーは、指定のサーバーに推奨されているリースを無期限のリースに指定変更中です。

---

#### DHCP.275

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.275 Clnt req INFINITE lease instead of *srvr rec lease (recommended\_lease\_duration* seconds), this will only be honored if BOOTP clnts are supported

長構文: DHCP.275 Client requested INFINITE lease instead of the server recommended lease ( *recommended\_lease\_duration* seconds), this will only be honored if BOOTP clients are supported

説明: サーバーについて推奨されるリースの代わりに無期限のリースをクライアントが要求しました。これが受け入れられるのは、BOOTP クライアントがサポートされている場合だけです。

---

#### DHCP.276

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.276 stall exchange block with state ( *exchange\_block\_state*)

長構文: DHCP.276 stall exchange block with state ( *exchange\_block\_state*)

説明: 指定の交換ブロックが停止されます。

---

#### DHCP.277

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.277 Previous mapped *Address: Client* has been adopted

長構文: DHCP.277 Previous mapped *Address: Client* has been adopted

説明: クライアントに対して直前にマッピングされた

アドレスが新規のサーバー初期化で採用されました。

---

#### DHCP.278

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.278 DHCP client *binder\_client\_id* became BOOTP

長構文: DHCP.278 DHCP client *binder\_client\_id* became BOOTP

説明: 指定の DHCP クライアントが BOOTP クライアントになりました。

---

#### DHCP.279

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.279 About to generate a reply with Unknown reply type *reply\_type*

長構文: DHCP.279 About to generate a reply with Unknown reply type *reply\_type*

説明: 不明の応答タイプの値を表示します。

---

#### DHCP.280

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.280 Using subnet from list *return\_subnet* (twiddled) cntl: *twiddled\_cntl\_number*

長構文: DHCP.280 Using subnet from list *return\_subnet* (twiddled) cntl: *twiddled\_cntl\_number*

説明: 使用中の twiddled サブネットを表示します。

---

#### DHCP.281

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.281 Address *ipaddress* for client *client\_string* has just expired

長構文: DHCP.281 Address *ipaddress* for client *client\_string* has just expired

説明: クライアントにマップされたアドレスの有効期限が切れたところです。

---

#### DHCP.282

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.282 Cannot locate mapped client for address *ipaddress*

長構文: DHCP.282 Cannot locate mapped client for address *ipaddress*

説明: アドレスにマップされたクライアントを見付けられません。

---

#### DHCP.283

レベル: UI-ERROR

短構文: DHCP.283 Not enough mem to alloc for hostname or domainname str

長構文: DHCP.283 Not enough memory to allocate for host name or domainname string

説明: ホスト名またはドメイン名のストリングに割り振る十分な記憶域がボックス内にありません。

---

#### DHCP.284

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.284 No *type* specified

長構文: DHCP.284 No *type* specified in requested packet

説明: ドメイン名またはホスト名が指定されていないので、DNS 更新の検査に取りかかる必要はありません。

---

#### DHCP.285

レベル: UE-ERROR

短構文: DHCP.285 Invalid hostname [ *hostname* ] or domainname [ *domainname* ] entered, no update

長構文: DHCP.285 Invalid hostname [ *hostname* ] or domainname [ *domainname* ] is entered, ignore the update

説明: ユーザーが与えたホスト名またはドメイン名が無効だったので、それ以上の処理を無視します。

---

#### DHCP.286

レベル: UE-ERROR

短構文: DHCP.286 Option 81 DHCP-DDNS specified with len ( *length* ) less than 4 bytes

長構文: DHCP.286 Option 81 DHCP-DDNS is specified with length less than 4 bytes, length = *length*

説明: パケット内のオプション DHCP-DDNS が、4 バイトより短い長さで指定されています。

---

#### DHCP.287

レベル: UE-ERROR

短構文: DHCP.287 Invalid char detected in *typeofname* name, char = [ *character* ]

長構文: DHCP.287 Invalid character detected in *typeofname* name, char = [ *character* ]

説明: ホスト名またはドメイン名の中に無効文字が含まれています。

---

#### DHCP.288

レベル: UE-ERROR

短構文: DHCP.288 *typeofname* name exceeds 63 char, name = [ *name* ]

長構文: DHCP.288 *typeofname* name exceeds 63 characters, name = [ *name* ]

説明: ホスト名またはドメイン名が 63 文字を超えています。

---

#### DHCP.289

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.289 Pinging addr *ipaddress* ( *am\_addr\_status* )

長構文: DHCP.289 Pinging addr *ipaddress* (status = *am\_addr\_status* )

説明: アドレスを送り出す前に、サーバーはアドレス・レコード状況を検査し、PING する必要があるか調べます。

---

#### DHCP.290

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.290 Addr to be pinged *ipaddress* is not in server profile

長構文: DHCP.290 Address to be pinged *ipaddress* does not belong to server profile

説明: PING されるアドレスの状況を検索しようとしたのですが、そのアドレスがサーバー・プロファイルに含まれていません。

---

#### DHCP.291

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.291 Ping processing completes ( *rping\_return\_code* ), *ipaddress* is *isuse*

長構文: DHCP.291 Ping processing completes ( *rping\_return\_code* ), address *ipaddress* is *isuse*

説明: アドレスが他のステーションによって使用中であるか検査する際に戻りコードを PING します。戻りコードは、アドレスが使用中であるかどうかを示します。



---

**DHCP.292**

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.292 Found a match for subnet group name [ *mssw\_label*] in *string* list

長構文: DHCP.292 A subnet with a group name of [ *mssw\_label*] has been found to be configured within the *string* list

説明: BALANCE または INORDER リスト内の特定のサブネットのグループ名で一致を検出しました。

---

**DHCP.293**

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.293 No match for subn gr name [ *mssw\_label*] in BALANCE or INORDER list

長構文: DHCP.293 A subnet with a group name of [ *mssw\_label*] has not been found to be configured within the BALANCE or INORDER list

説明: BALANCE または INORDER リスト内の特定のサブネットのグループ名で一致を検出ませんでした。

---

**DHCP.294**

レベル: UI-ERROR

短構文: DHCP.294 Could not transmit DHCP to *dest*

長構文: DHCP.294 A DHCP packet could not be transmitted to destination *dest*

説明: 指定のあて先にパケットを送送できません。これは、DHCP インターフェース上の IP 構成が正しくない結果である場合があります。

---

**DHCP.295**

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.295 Previous address *Address* has been *action*

長構文: DHCP.295 Previous address *Address* has been *action*

説明: いかなるクライアントにもマッピングされていない直前のアドレスが新規のサーバー初期化に採用/除去されました。

---

**DHCP.296**

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.296 All new client records *numrecords* are filled by previous clients

長構文: DHCP.296 All new client records *numrecords* are filled by previous clients

説明: プール内の全新規クライアント・レコードは直前のクライアントで充てんされます。

---

**DHCP.297**

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.297 *numrecords* address records are dropped because not enough client records

長構文: DHCP.297 *numrecords* address records are dropped because not enough client records

説明: これらの多数のアドレス・レコードは新規初期化中に一致する十分なクライアント・レコードがないために除外されます。

---

**DHCP.298**

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.298 No previous mapping to adopt

長構文: DHCP.298 No previous mapping to adopt

説明: 採用すべき直前のマッピングがありません。

---

**DHCP.299**

レベル: C-INFO

説明: ファイルを作成することができません。サーバーを再起セットしてください。引き続き問題が発生する場合は、ハード・ディスクに問題があります。

---

**DHCP.300**

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.300 Failed writing *Filename* to file *typeofdata*, initialization fails

長構文: DHCP.300 Failed writing *Filename* to file *typeofdata*, initialization fails

説明: ファイル名に対するヘッダーまたはデータの書き込みに失敗し、初期化ができません。

---

**DHCP.301**

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.301 Recover from *TypeOfFile* backup failed, error code *errcode*

長構文: DHCP.301 Recover from *TypeOfFile* backup failed, error code *errcode*

説明: アドレス回復またはクライアント・バックアッ



プ・ファイルが失敗し、指定されたエラー・コードが戻されました。

---

### DHCP.302

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.302 Cannot create directory DHCP.  
*errstring*

長構文: DHCP.302 Cannot create directory DHCP.  
*errstring*

説明: DHCP のディレクトリーを作成できません。エラー・コードは示されたとおりです。

---

### DHCP.303

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.303 Failure while copying *RecordFile* to  
*RecordFileBKP*

長構文: DHCP.303 Failure while copying *RecordFile* to  
*RecordFileBKP*

説明: 1 時間ごとのバックアップ作成時における、アドレス/クライアント・レコード・ファイルのバックアップ・ファイルへのコピー中の、ファイル・システム上の障害。

---

### DHCP.304

レベル: CI-ERROR

短構文: DHCP.304 No subnets defined for net *network ID*

長構文: DHCP.304 No subnets are defined for network  
*network ID*

説明: このインターフェースのためのいずれかの IP アドレスと一致する、定義された DHCP サブネットがありません。

---

### DHCP.305

レベル: CI-ERROR

短構文: DHCP.305 Requested IP addr *address* no good,  
no matching IP ifc addr

長構文: DHCP.305 Requested IP address *address* is no  
good, no matching IP interface address

説明: このインターフェースのためのいずれかの IP アドレスと一致する、定義された DHCP サブネットがありません。

---

### DHCP.306

レベル: UI-ERROR

短構文: DHCP.306 Warning: Wrote *numrecs/ totalrecs*  
recs to *filename* file, dhcp will operate in memory mode

長構文: DHCP.306 Warning: Wrote *numrecs/ totalrecs*  
recs to *filename* file, dhcp will operate in memory mode

説明: ハード・ディスクへの新規メモリー・マッピングの書き込み中の初期化コード障害。ファイル・システム上のスペース不足が原因です。dhcp は初期化されませんが、メモリー・モードでのみ動作します。

---

### DHCP.307

レベル: UI-ERROR

短構文: DHCP.307 Warning! Cannot write ar or cr file.  
DHCP will operate in memory mode

長構文: DHCP.307 Warning! Cannot write ar or cr file.  
DHCP will operate in memory mode

説明: ファイル・システムの満杯またはファイル・システム上のエラーにより、ar または cr ファイルの書き込みができませんでした。この状態が訂正されないと dhcp はディスク・モードで動作しません。

---

### DHCP.308

レベル: C-INFO

短構文: DHCP.308 Lease time offered limited to a  
short lease due to option (6)

長構文: DHCP.308 The lease time offered has been  
overriden with a short lease due to DNS option (6)

説明: オプション 6 は DNS アドレスを ISP から検索するために構成されています。ISP との接続が使用不可能のため、DNS は使用不可能です。提供されるリース時間は「ショート・リース」に限定されるため、クライアントは DNS が認識されるまで通常ベースでの再試行が強いられます。

---

## 第31章 ダイヤル回線 (DIAL)

本章ではダイヤル回線 (DIAL) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### DIAL.001

レベル: C-TRACE

短構文: DIAL.001 CML X31 DSIO: pkt xmted nt  
*network ID*

長構文: DIAL.001 CML X31 DSIO transmitted a packet  
on network *network ID*

説明: ISDN D チャネルを介するダイヤル回線の発信  
X.25 パケットのメッセージをトレースします。

---

### DIAL.002

レベル: C-TRACE

短構文: DIAL.002 CML X31 RCV: pkt rcved nt  
*network ID*

長構文: DIAL.002 CML X31 RCV received a packet  
on network *network ID*

説明: ISDN D チャネルを介するダイヤル回線の着信  
X.25 パケットのメッセージをトレースします。

---

### DIAL.003

レベル: UI-ERROR

短構文: DIAL.003 No cnfg nt *network ID*

長構文: DIAL.003 No configuration found for net  
*network ID*

説明: SR\_VRTBLK レコードが SR\_VNET ブロック内  
で見付かりませんでした。

原因: 構成が未完了

処置: このネットワークの構成を再検討してくださ  
い。

---

### DIAL.004

レベル: UI-ERROR

短構文: DIAL.004 bd dl net on nt *network ID*

長構文: DIAL.004 Bad dial network specified in config,  
net *network ID*

説明: 構成された基本ネットが存在しないか、ISDN  
BRI ネットではないかのどちらかです。

原因: 構成エラー

処置: 有効な基本ネットを構成してください。

---

### DIAL.005

レベル: U-INFO

短構文: DIAL.005 Caller id *clid* match found in  
Authentication list, but no ANY\_INBOUND found

長構文: DIAL.005 Caller Id *clid* match found on  
Authentication list but no net with ANY\_INBOUND  
configured

説明: コールバック・テーブルのエントリで発呼者  
ID を検査しています。

原因: Q931 コール設定を受信し、発呼者 ID を認証リ  
ストのエントリと突き合わせましたが、使用可能なイ  
ンバウンドはありませんでした。

処置: なし。

---

### DIAL.009

レベル: UI-ERROR

説明: ソフトウェアに問題があります。

原因: ソフトウェア・エラー

処置: サポートに連絡してください。

---

### DIAL.010

レベル: UI-ERROR

短構文: DIAL.010 X.31 TEI mismatch: rcv=  
*rcvTEI*,cfg/negot= *cfg\_ngotTEI* on nt int /

長構文: DIAL.010 X.31 TEI mismatch: received *tei*=  
*rcvTEI*,configured or negotiated *tei*= *cfg\_ngotTEI* on net  
interface /

説明: ダイヤル回線の構成の誤りです。

原因: 構成エラー

処置: このダイヤル回線の構成を再検討してくださ  
い。

---

**DIAL.011**

レベル: C-TRACE

短構文: DIAL.011 CML state *state\_string*, event *event\_string*, nt *network ID*

長構文: DIAL.011 CML state *state\_string*, event *event\_string*, net *network ID*

説明: FSM トレース事象

---

**DIAL.012**

レベル: UI-ERROR

短構文: DIAL.012 X.31 bad TEI state: *tei= rcvTEI* on nt int /

長構文: DIAL.012 X.31 TEI state is not multi frame for *tei= rcvTEI*, on net interface /

説明: ダイヤル回線の自己テストが正常に行われていません。

原因: ネットワーク/構成エラー

処置: このダイヤル回線の構成を再検討してください。

---

**DIAL.013**

レベル: U-INFO

短構文: DIAL.013 Query Caller id table for *clid* from ISDN/ *interface*

長構文: DIAL.013 A setup was received with Calling Party number *clid* on interface *interface*

説明: コールバック・テーブルのエントリーで発呼者 ID を検査しています。

原因: Q931 設定を受信

処置: なし。

---

**DIAL.014**

レベル: U-INFO

短構文: DIAL.014 Found Caller id match for *clid* for callback on net *interface*

長構文: DIAL.014 Caller Id matched in the table *clid* for dial circuit interface *interface*

説明: 発呼者 ID がそのあて先のコールバック ID と一致しました。

原因: Q931 設定を受信

処置: なし。

---

---

**DIAL.016**

レベル: U-INFO

短構文: DIAL.016 No match found Caller id *clid* for callback on specific net

長構文: DIAL.016 Caller Id not matched in the table *clid* for dial circuit interface

説明: 発呼者 ID がそのあて先のコールバック ID に一致しません。

原因: Q931 設定を受信

処置: なし。

---

**DIAL.017**

レベル: U-INFO

短構文: DIAL.017 Caller id *clid* no match found in Authentication list,

長構文: DIAL.017 Caller Id *clid* no match found on Authentication list to callback

説明: コールバック・テーブルのエントリーで発呼者 ID を検査しています。

原因: Q931 設定を受信

処置: なし。

---

**DIAL.018**

レベル: U-INFO

短構文: DIAL.018 Caller id callback on net *interface*

長構文: DIAL.018 Caller Id callback on interface *interface*

説明: あて先にコールバックします。

原因: コールバック・タイマーが満了

処置: なし。

---

**DIAL.019**

レベル: U-INFO

短構文: DIAL.019 Caller id callback on any\_inbound net *interface*

長構文: DIAL.019 Caller Id callback on any inbound interface *interface*

説明: あて先にコールバックします。

原因: コールバック・タイマーが満了

処置: なし。

---

---

**DIAL.020**

レベル: U-INFO

短構文: DIAL.020 Caller id *clid* - Call blocked on net ISDN/ *net*

長構文: DIAL.020 Caller Id *clid* match found on call block table for net *net*

説明: コール・ブロック・テーブルのエントリーで発呼者 ID を検査しています。

原因: Q931 設定を受信

処置: なし。

---

**DIAL.021**

レベル: C-TRACE

短構文: DIAL.021 CML state *state\_string*, event *event\_string*, nt *network ID*

長構文: DIAL.021 CML state *state\_string*, event *event\_string*, net *network ID*

説明: FSM トレース事象

---

**DIAL.022**

レベル: UI\_ERROR

短構文: DIAL.022 LID no bf, *message\_type*, not snt nt *network ID*

長構文: DIAL.022 LID no buffer, *message\_type*, msg not sent on net *network ID*

説明: ライン ID コードが、メッセージを送信するためのバッファを割り振ることができませんでした。

---

**DIAL.023**

レベル: UE\_ERROR

短構文: DIAL.023 LID NAK rcv nt *network ID*

長構文: DIAL.023 LID NAK received net *network ID*

説明: 交換回線の相手側は、こちら側が送信した LINE ID を受け入れず、NAK を戻してきました。

処置: 両側の構成を検査してください。リモート側はこちら側からコールする必要があると考えていません。

---

**DIAL.024**

レベル: C-INFO

短構文: DIAL.024 LID ACK rcv nt *network ID*

長構文: DIAL.024 LID ACK received net *network ID*

---

説明: 交換回線の相手側が、こちら側のライン ID を受け入れました。

---

**DIAL.025**

レベル: UE\_ERROR

短構文: DIAL.025 LID tmo on mdm sgs nt *network ID*

長構文: DIAL.025 LID timeout waiting for modem signals to come up on net *network ID*

説明: インバウンド・コールまたはアウトバウンド・コールのいずれかで、接続完了後に V.25bis モデム信号がアップになりませんでした。

処置: ラインとモデムを検査してください。ラインの品質が不十分である可能性があります。

---

**DIAL.026**

レベル: UE\_ERROR

短構文: DIAL.026 LID tmo on id nt *network ID*

長構文: DIAL.026 LID timeout waiting for line ID from other side, net *network ID*

説明: 相手側からのライン ID を待っているときにタイムアウトになりました。

処置: このルーターへの発呼者の構成を調べてください。発呼者はライン ID メッセージを送信していません。非互換ルーターである可能性があります。

---

**DIAL.027**

レベル: UE\_ERROR

短構文: DIAL.027 LID unkn id [ *bad\_lineid\_string*]; nk snt, nt *network ID*

長構文: DIAL.027 LID unknown line ID [ *bad\_lineid\_string*] received; NAK sent, net *network ID*

説明: コールを受け付けたくない電話番号 (すなわち、存在しない電話番号、または存在するがインバウンド・コール用に構成されていない番号) に対応する ID メッセージを受信しました。

処置: 両側のルーターの構成を検査してください。

---

**DIAL.028**

レベル: UE\_ERROR

短構文: DIAL.028 LID no dflt circ; data ign nt *network ID*

長構文: DIAL.028 LID no default circuit; received data was ignored, net *network ID*

---

**説明:** 相手側からデータ (ライン ID ではなく) を受信しましたが、このデータを割り当てるデフォルト回線がありませんでした。

**処置:** このルーターへの発呼者の構成を調べてください。発呼者はライン ID メッセージを送信していません。非互換ルーターである可能性があります。

---

#### DIAL.029

**レベル:** C-INFO

**短構文:** DIAL.029 No dl crct inc call on nt *switched network ID*

**長構文:** DIAL.029 No dial circuit configured for inbound calls on switched network *switched network ID*

**説明:** 交換網を介してインバウンド・コールを受信しましたが、これを受け入れるように構成されたダイヤル回線がありません。

**原因:** 構成の誤り

**処置:** インバウンド・コールを受け入れるためのダイヤル回線を構成する必要があります。

**原因:** 番号違い

**処置:** これが引き続き発生する場合は、セキュリティ一侵害を識別する手段を講じてみるができます。

---

#### DIAL.030

**レベル:** C-TRACE

**短構文:** DIAL.030 nt *dial network ID* st *cml\_state*; cnt acpt call on nt *switched network ID*

**長構文:** DIAL.030 net *dial network ID* is in state *cml\_state*; can't acpt call on network *switched network ID*

**説明:** インバウンド・コールを受け入れようとしているダイヤル回線が見付かりましたが、このダイヤル回線はそれを行える状態にありません。

---

#### DIAL.031

**レベル:** C-TRACE

**短構文:** DIAL.031 Inbnd dsbl nt *dial network ID*; cnt acpt call on nt *switched network ID*

**長構文:** DIAL.031 Inbound calls disabled on net *dial network ID*; can't acpt call on network *switched network ID*

**説明:** ネットワークは、指定された発呼者からのコールを受け入れようとしていますが、インバウンド・コールを受け入れる構成になっていません。

---

#### DIAL.032

**レベル:** C-TRACE

**短構文:** DIAL.032 LID st *old\_state*,-> *new\_state*, nt *network ID*

**長構文:** DIAL.032 Line ID state *old\_state*, changed to *new\_state*,, net *network ID*

**説明:** FSM トレース事象

---

#### DIAL.033

**レベル:** C-TRACE

**短構文:** DIAL.033 LID ID rcv: *line\_id\_string* nt *network ID*

**長構文:** DIAL.033 Line ID received: *line\_id\_string*, net *network ID*

**説明:** 指定されたアドレスが含まれているライン ID メッセージを受信しました。注: 有効なのは数字 0 ~ 9 だけなので、印刷されるのはこれらの数字だけです。

---

#### DIAL.034

**レベル:** C-TRACE

**短構文:** DIAL.034 nt *dial network ID* acptd call on nt *switched network ID*

**長構文:** DIAL.034 net *dial network ID* accepted call on network *switched network ID*

**説明:** 指定のネットワークがインバウンド・コールを受け入れました。

---

#### DIAL.035

**レベル:** C-TRACE

**短構文:** DIAL.035 No avl net for inbound call on nt *switched network ID*

**長構文:** DIAL.035 No available net for call on network *switched network ID*

**説明:** インバウンド・コールを受け入れることができるネットワークがありません。

---

#### DIAL.036

**レベル:** C-TRACE

**短構文:** DIAL.036 ISDN inb Caller Id addr [ *address*] nt *switched network ID*

**長構文:** DIAL.036 ISDN inbound address [ *address*] network *switched network ID*

説明: ルーターは ISDN 設定メッセージにある、指定の発呼者のアドレスとサブアドレスを渡しました。

---

#### DIAL.037

レベル: C-TRACE

短構文: DIAL.037 LID ID snt: *line\_id\_string* nt *network ID*

長構文: DIAL.037 Line ID sent: *line\_id\_string*, net *network ID*

説明: 指定のライン ID メッセージをあて先に送信しました。

---

#### DIAL.038

レベル: C-INFO

短構文: DIAL.038 Too many circuits nt *base network ID*

長構文: DIAL.038 Too many circuits on net *base network ID*

説明: アクティブのバーチャル回線数が、そのインターフェース・タイプがサポートする数を超過しています。

---

#### DIAL.039

レベル: C-INFO

短構文: DIAL.039 Higher pri conn nt *preempted network ID* preempts nt *higher-priority network ID*

長構文: DIAL.039 Higher priority connection request for net *preempted network ID* preempts net *higher-priority network ID*

説明: 高優先順位のダイヤル回線の接続要求のために、指定の低優先順位の回線が打ち切られました。

---

#### DIAL.040

レベル: C-INFO

短構文: DIAL.040 Disc ind on pri conn nt *network ID*; retry

長構文: DIAL.040 Disconnect indication received for priority connection network *network ID*; retry

説明: ルーターは指定のネットワークの切断指示を受信しましたが、実際に基本ネットワークは接続を試みていませんでした。基本ネットワークの準備ができていなかったため、ルーターは接続を拒否しました。ルーターはしばらくして接続を再試行します。

---

#### DIAL.041

レベル: C-INFO

短構文: DIAL.041 outbound call denied, configed inbound nt *network ID*

長構文: DIAL.041 Outbound calls denied network *network ID*

説明: ルーターはアウトバウンド・コールを発信しようとしていますが、発信できないように構成されています。

---

#### DIAL.042

レベル: C-INFO

短構文: DIAL.042 idle exp nt *network ID*

長構文: DIAL.042 idle timer expired and call cleared, net *network ID*

説明: 要求時ベースのネットのアイドル・タイマーが満了し、コールが切断されました。

---

#### DIAL.043

レベル: C-TRACE

短構文: DIAL.043 Match dial addr [ *dial\_address*] to nt *switched network ID*

長構文: DIAL.043 Matched inbound destination dial address [ *dial\_address*] to network *switched network ID*

説明: インバウンド・コールが到着し、指定のネットワークはそれに一致するように構成されています。16進数の *dial\_address* アドレス・ストリングと一致しています。空ストリングはワイルドカードで、*any\_inbound* に設定されたネットワークに一致します。

---

#### DIAL.044

レベル: C-TRACE

短構文: DIAL.044 No usbl match dial addr [ *dial\_address*]

長構文: DIAL.044 No useable match dial addr [ *dial\_address*]

説明: インバウンド・アドレスに一致するダイヤル回線は、それ以上ありません。

---

#### DIAL.045

レベル: C-TRACE

短構文: DIAL.045 Dialing dest < *dest\_name*>, DTE number [ *dte\_addr*], nt *network ID*



**長構文:** DIAL.045 Dialing destination < *dest\_name*>, DTE number [ *dte\_addr*], net *network ID*

**説明:** 接続管理ライブラリー (CML) は、指定の DTE 番号を使用して、指定のあて先エンドポイントをダイヤル呼び出ししています。CML が実際にダイヤルする各 DTE 番号ごとに、このメッセージが出ます。

---

#### DIAL.046

**レベル:** C-TRACE

**短構文:** DIAL.046 CMLB net # *net\_num*, dest < *dest*>, indest < *in\_dest*>, net *network ID*

**長構文:** DIAL.046 CMLB dump: net # *net\_num*, dest < *dest*>, indest < *in\_dest*>, net *network ID*

**説明:** 接続管理ライブラリー制御ブロック (CMLB) チェーンの内容を、インバウンド接続ベクトルとして、正しい CMLB までトレースします。

---

#### DIAL.047

**レベル:** C-TRACE

**短構文:** DIAL.047 Source DTE addr # *index*: [ *addr\_str*]

**長構文:** DIAL.047 Source DTE address # *index*: [ *addr\_str*]

**説明:** ルーターは、CMLB の *src\_addrs* で見付かった各 DTE アドレス・ストリングを 1 回ずつ呼び出しました。

---

#### DIAL.048

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** DIAL.048 Bad MP config nt *network ID*

**長構文:** DIAL.048 Bad MP config for net *network ID*

**説明:** 構成されている MP ネットは無効であるか、リンク上に BRS が存在します。

**原因:** 構成エラー

**処置:** 有効な MP ネットを構成するか、リンク上の BRS をオフにします。

---

#### DIAL.049

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** DIAL.049 Invalid destination addr on nt *network ID*

**長構文:** DIAL.049 Bad dialer destination name specified in config, net *network ID*

**説明:** "add address" コマンドを用いて指定のあて先名が追加されていませんでした。

**原因:** 構成エラー

**処置:** "add address" コマンドを使用して、あて先名を構成してください。

---

#### DIAL.050

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** DIAL.050 Swcthd net ( *switched network ID*) rjctd rgstrtn for nt *network ID*

**長構文:** DIAL.050 The switched network (network *switched network ID*) rejected the registration request for this dial circuit: net *network ID*

**説明:** ダイヤル回線の構成の誤りです。

**原因:** 構成エラー

**処置:** このダイヤル回線の構成を再検討してください。



---

## 第32章 ダイアルアウト (DOUT)

この章では、ダイアルアウト (DOUT) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### DOUT.001

レベル: U-INFO

短構文: DOUT.001 Schedule a Listen for TCP open on tcp port *portnum*

長構文: DOUT.001 Schedule a Listen for TCP open on tcp port *portnum*

説明: DIALOUT: 表示されている各ダイアルアウト回線ごとに、Telnet が TCP に登録して、TCP ポート 1000 上でオープン要求を listen します。

---

### DOUT.002

レベル: U-INFO

短構文: DOUT.002 A TCP connection to the telnet modem server has been opened

長構文: DOUT.002 A TCP connection to the telnet modem server has been opened

説明: DIALOUT: Telnet モデム・サーバーへの TCP 接続がオープンされています。次のステップでは、使用可能なバーチャル・ネットがあれば、バーチャル・ネットに登録します。

---

### DOUT.003

レベル: UE-ERROR

短構文: DOUT.003 Initializing telnet queues failed, can't open telnet modem connection

長構文: DOUT.003 Initializing telnet queues failed, can't open telnet modem connection

説明: DIALOUT: `tel_qinit()` が失敗しました。Telnet モデム・サーバーは、このセッションに対応する待ち行列の初期化を試みました。待ち行列を割り振ることができなかった結果、この試みは失敗しました。

処置: 記憶域不足を生じている場合があるので、記憶域統計をチェックします。このエラーをサービス技術員に報告してください。

---

### DOUT.004

レベル: UE-ERROR

短構文: DOUT.004 Telnet read buffer allocation failed, can't open telnet modem conn

長構文: DOUT.004 Telnet read buffer allocation failed, can't open telnet modem conn

説明: DIALOUT: 読み取りバッファの割り振りができなかった結果、`tel_start_init` が失敗しました。

処置: 記憶域不足を生じている場合があるので、記憶域統計をチェックします。このエラーをサービス技術員に報告してください。

---

### DOUT.005

レベル: UE-ERROR

短構文: DOUT.005 Telnet couldn't register with a virtual net

長構文: DOUT.005 Telnet couldn't register with a virtual net

説明: Telnet モデム・サーバーは、バーチャル・ネットに登録できませんでした。この理由となる可能性が非常に高いのは、ダイアルアウト回線が構成されている基本ネットがすべて使用中である場合です。

処置: ダイアルアウト回線およびそれに対応する基本ネットが共に使用可能であることを確認した上で、再度試行します。

---

### DOUT.006

レベル: C-INFO

短構文: DOUT.006 Dialout server registered new session with net number *netnum*

長構文: DOUT.006 Dialout server registered new session with net number *netnum*

説明: 新規 Telnet セッションは、バーチャル・ネットに正常に登録されました。この Telnet セッションに到着するデータはすべて、リストされたバーチャル・ネットに送信されます。

---

**DOUT.010**

レベル: UE-ERROR

短構文: DOUT.010 Dialout server session closing

長構文: DOUT.010 Dialout server session closing

説明: ダイアルアウト・サーバー・セッションがクローズされました。バーチャル・ネットに登録できなかった結果である可能性が非常に高いと思われます。

処置: ダイアルアウト回線およびそれに対応する基本ネットが共に使用可能であることを確認した上で、再度試行します。

---

**DOUT.011**

レベル: C-INFO

短構文: DOUT.011 Dialout server session on net *netnum* closing

長構文: DOUT.011 Dialout server session on net *netnum* closing

説明: ダイアルアウト・サーバー・セッションがクローズされました。クライアントがセッションを終了した結果である可能性が非常に高いと思われます。

---

**DOUT.012**

レベル: C-INFO

短構文: DOUT.012 Dialout server rcvd *count* byte(s) from modem on net *netnum*

長構文: DOUT.012 Dialout server rcvd *count* byte(s) from modem on net *netnum*

説明: ダイアルアウト・サーバーが、データ転送状態で、モデムからバイトを受信しました。

---

**DOUT.013**

レベル: UE-ERROR

短構文: DOUT.013 Dialout server rcvd packet from modem with errors on net *netnum*

長構文: DOUT.013 Dialout server rcvd packet from modem with errors on net *netnum*

説明: ダイアルアウト・サーバーがモデムからバイトを受信し、パケットにエラーがありました。

処置: このエラーが生じたのは、ネット・ハンドラーまたはドライバーの中の何らかの事象のせいです。監視コンソールで、このネットに関するエラー統計を調べます。引き続き問題が発生する場合は、この問題をサービス技術員に報告してください。

---

**DOUT.014**

レベル: UE-ERROR

短構文: DOUT.014 Dialout server could not xmit packet, net *netnum* was down

長構文: DOUT.014 Dialout server could not xmit packet, net *netnum* was down

説明: ダイアルアウト・サーバーが Telnet からのバイトの送信を試みたが、V34 ハンドラーからの報告により、ネットがダウンしていて、バイトを送信しなかったことが分かりました。

処置: このエラーが生じたのは、ネット・ハンドラーまたはドライバーの中の何らかの事象のせいです。監視コンソールで、このネットに関するエラー統計を調べます。引き続き問題が発生する場合は、この問題をサービス技術員に報告してください。

---

**DOUT.015**

レベル: C-INFO

短構文: DOUT.015 Dialout server received *bytes* data bytes via the *name* interface

長構文: DOUT.015 Dialout server received *bytes* data bytes via the *name* interface

説明: ダイアルアウト・サーバーが、Telnet と DIAL アプリケーションのいずれかを介して、x 個のバイトを受信しました。

処置: 処置は必要なく、通知だけです。

---

**DOUT.016**

レベル: UE-ERROR

短構文: DOUT.016 Dialout server could not xmit packet, problem with net *netnum*

長構文: DOUT.016 Dialout server could not xmit packet, problem with net *netnum*

説明: ダイアルアウト・サーバーがパケットの送信を試みたが、ドライバーに何らかのエラーがあったため、送信できませんでした。

処置: このエラーが生じたのは、ネット・ハンドラーまたはドライバーの中の何らかの事象のせいです。監視コンソールで、このネットに関するエラー統計を調べます。引き続き問題が発生する場合は、この問題をサービス技術員に報告してください。

---

**DOUT.017**

レベル: C-INFO

短構文: DOUT.017 Dialout server received a telnet option for *command option* packet

長構文: DOUT.017 Dialout server received a telnet option for *command option* packet

説明: ダイヤルアウト・サーバーが Telnet コマンド・オプションを受信しました。

処置: 処置は必要なく、通知だけです。

---

**DOUT.018**

レベル: UE-ERROR

短構文: DOUT.018 Dialout server did not receive an end of Suboption

長構文: DOUT.018 Dialout server did not receive an end of Suboption

説明: ダイヤルアウト・サーバーが Telnet サブオプション・コマンドを受信したが、サブオプション終了バイトをまったく受信しませんでした。

処置: これは、ダイヤルアウト・サーバーの同期が外れる原因になる場合があるエラーです。動作は継続しますが、予期しない結果を伴います。引き続きこの問題が発生する場合は、サービス技術員に連絡してください。

---

**DOUT.019**

レベル: UE-ERROR

短構文: DOUT.019 Dialout server, net *netnum*, failure during CML init

長構文: DOUT.019 Dialout server, net *netnum*, failure during CML init

説明: *cml\_init* 中のエラーのため、ダイヤルアウト・サーバーが正しくインストールされませんでした。これは構成の問題である可能性が非常に高いと思われます。

処置: 構成が正しいかどうか確認検査してください。すべてが正しく構成されているという感触を得た場合は、サービス技術員に連絡してください。

---

**DOUT.020**

レベル: UE-ERROR

短構文: DOUT.020 Dialout server *timer\_type* timer expired, net *netnum* going down

長構文: DOUT.020 Dialout server *timer\_type* timer expired, net *netnum* going down

---

説明: ダイヤルアウト・サーバー上のキープアライブ・タイマーと非活動タイマーのいずれかが満了しました。満了したのが非活動タイマーの場合は、構成された時間内に、データが送信または受信されなかったことを意味しています。満了したのがキープアライブ・タイマーの場合は、4 分間というタイムアウト期間中に、ダイヤルアウト・クライアントがキープアライブ・パケットを送信しなかったことを意味しています。2 分ごとに送信されるはずのものです。Shiva クライアントが正しく作動しているかどうか確認検査してください。

処置: これがクライアントにとって問題を生じている場合は、非活動タイマーを増やします。キープアライブ・タイマーの満了の場合は、クライアントが正しく動作していることを確認してください。引き続きこの問題が発生する場合は、購入先に連絡してください。

---

**DOUT.021**

レベル: C-INFO

短構文: DOUT.021 Dialout server received keepalive pkt on net *netnum*

長構文: DOUT.021 Dialout server received keepalive pkt on net *netnum*

説明: 通知 - ネットワーク・インターフェース上でキープアライブ・パケットを受信しました。

処置: 処置は必要なく、通知だけです。

---

**DOUT.022**

レベル: C\_INFO

短構文: DOUT.022 *buffer*

長構文: DOUT.022 *buffer*

説明: 通知 - 問題が生じる場合は、このメッセージを購入先に連絡してください。

処置: 問題に関して、このメッセージを購入先に報告してください。

---

**DOUT.023**

レベル: CE\_ERROR

短構文: DOUT.023 Dialout server could not xmt *numbytes* bytes from modem to TCP on net *netnum*

長構文: DOUT.023 Dialout server could not xmt *numbytes* bytes from modem to TCP on net *netnum*

説明: エラー - ダイヤルアウト・サーバーがモデムから受信したバイトを TCP に送信できませんでした。この理由は、TCP バッファがいっぱいになっており、その結果、ダイヤルアウト・サーバーがこのバッファ

---

にさらにデータを書き込むことができないことにあります。ダイヤルアウト・クライアントが遅いか、ネットワークが輻輳（ふくそう）しているか、またはルーターが重負荷にある結果である可能性が非常に高いと思われます。サービス技術員に連絡して、さらに援助を依頼してください。

**処置:** 問題に関して、このメッセージをサービス技術員に報告してください。

---

#### **DOUT.024**

**レベル:** UE\_ERROR

**短構文:** DOUT.024 Could not add modem pool tcp session, maximum number of *num* exceeded

**長構文:** DOUT.024 Could not add modem pool tcp session, maximum number of *num* exceeded

**説明:** エラー - 許可されている数より多くのダイヤルアウト・ネットを追加しました。このエラーは、なにも障害を起こしませんが、利用できる数は MAXTNMDMS だけです。この数は、装置内の物理モデムの個数までに制限されています。VL3 プラットフォームの場合、この数は 12 で、VL プラットフォームの場合は、この数は 2 です。

**処置:** 余分なダイヤルアウト・ネットを削除してください。

---

## 第33章 デジタル・モデム・アダプター

この章では、デジタル・モデム・アダプター・メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### MDM.001

レベル: C-INFO

短構文: MDM.001 *indication* indication from modem on port *port* chan *channel* nt *network ID*

長構文: MDM.001 *indication* indication from modem on port *port* channel *channel* net *network ID*

説明: デジタル・モデム・アダプターは、モデムから簡潔な指示を受信しました。

---

### MDM.002

レベル: C-INFO

短構文: MDM.002 Init strng *init\_string* rcvd response OK frm TRIPAC *port* DSP *channel* nt *network ID*

長構文: MDM.002 Init string *init\_string* received a response of OK from TRIPAC *port* DSP *channel* net *network ID*

説明: デジタル・モデム・アダプターは、上記の指示をモデムから受信しました。

---

### MDM.003

レベル: C-INFO

短構文: MDM.003 CONNECT from modem on port *port* chan *channel* nt *network ID*

長構文: MDM.003 CONNECT from modem on port *port* channel *channel* net *network ID*

説明: デジタル・モデム・アダプターは、上記の指示をモデムから受信しました。

---

### MDM.004

レベル: C-INFO

短構文: MDM.004 RING from modem on port *port* chan *channel* nt *network ID*

長構文: MDM.004 RING from modem on port *port* channel *channel* net *network ID*

説明: デジタル・モデム・アダプターは、上記の指示をモデムから受信しました。

---

### MDM.005

レベル: C-INFO

短構文: MDM.005 NO CARRIER from modem on port *port* chan *channel* nt *network ID*

長構文: MDM.005 NO CARRIER from modem on port *port* channel *channel* net *network ID*

説明: デジタル・モデム・アダプターは、上記の指示をモデムから受信しました。

---

### MDM.006

レベル: C-INFO

短構文: MDM.006 Init string *init\_string* received a response of ERROR from modem on tripac *port* dsp *channel* nt *network ID*

長構文: MDM.006 Init string *init\_string* received a response of ERROR from modem on tripac *port* dsp *channel* net *network ID*

説明: デジタル・モデム・アダプターは、上記の指示をモデムから受信しました。

---

### MDM.007

レベル: C-INFO

短構文: MDM.007 NO DIALTONE from modem on port *port* chan *channel* nt *network ID*

長構文: MDM.007 NO DIALTONE from modem on port *port* channel *channel* net *network ID*

説明: デジタル・モデム・アダプターは、上記の指示をモデムから受信しました。

---

### MDM.008

レベル: C-INFO

短構文: MDM.008 BUSY from modem on port *port* chan *channel* nt *network ID*

長構文: MDM.008 BUSY from modem on port *port* channel *channel* net *network ID*

説明: デジタル・モデム・アダプターは、上記の指示をモデムから受信しました。

---

**MDM.009**

レベル: C-INFO

短構文: MDM.009 NO ANSWER from modem on port *port chan channel nt network ID*

長構文: MDM.009 NO ANSWER from modem on port *port channel channel net network ID*

説明: デジタル・モデム・アダプターは、上記の指示をモデムから受信しました。

---

**MDM.010**

レベル: C-INFO

短構文: MDM.010 CARRIER *baud* from modem on port *port chan channel nt network ID*

長構文: MDM.010 CARRIER *baud* from modem on port *port channel channel net network ID*

説明: デジタル・モデム・アダプターは、上記の指示をモデムから受信しました。

---

**MDM.011**

レベル: C-INFO

短構文: MDM.011 COMPRESSION: CLASS 5 from modem on port *port chan channel nt network ID*

長構文: MDM.011 COMPRESSION: CLASS 5 from modem on port *port channel channel net network ID*

説明: デジタル・モデム・アダプターは、上記の指示をモデムから受信しました。

---

**MDM.012**

レベル: C-INFO

短構文: MDM.012 COMPRESSION: V.42 bis from modem on port *port chan channel nt network ID*

長構文: MDM.012 COMPRESSION: V.42 bis from modem on port *port channel channel net network ID*

説明: デジタル・モデム・アダプターは、上記の指示をモデムから受信しました。

---

**MDM.013**

レベル: C-INFO

短構文: MDM.013 COMPRESSION: NONE from modem on port *port chan channel nt network ID*

長構文: MDM.013 COMPRESSION: NONE from modem on port *port channel channel net network ID*

説明: デジタル・モデム・アダプターは、上記の指示をモデムから受信しました。

---

**MDM.014**

レベル: C-INFO

短構文: MDM.014 PROTOCOL: NONE from modem on port *port chan channel nt network ID*

長構文: MDM.014 PROTOCOL: NONE from modem on port *port channel channel net network ID*

説明: デジタル・モデム・アダプターは、上記の指示をモデムから受信しました。

---

**MDM.015**

レベル: C-INFO

短構文: MDM.015 PROTOCOL: LAPM from modem on port *port chan channel nt network ID*

長構文: MDM.015 PROTOCOL: LAPM from modem on port *port channel channel net network ID*

説明: デジタル・モデム・アダプターは、上記の指示をモデムから受信しました。

---

**MDM.016**

レベル: C-INFO

短構文: MDM.016 Digital modem adapter load starting for slot *slot*.

長構文: MDM.016 Digital modem adapter load starting for slot *slot*.

説明: システムは、指定のスロットにデジタル・モデム・アダプターのロードを開始しています。

---

**MDM.017**

レベル: C-INFO

短構文: MDM.017 Digital modem adapter load completed successfully for slot *slot*.

長構文: MDM.017 Digital modem adapter load completed successfully for slot *slot*.

説明: システムは、指定のスロットにアダプターのロードを正常に完了しました。

---

**MDM.018**

レベル: ALWAYS

短構文: MDM.018 Digital modem adapter load failed for slot *slot*, reason

長構文: MDM.018 Digital modem adapter load failed for slot *slot*, reason

説明: アダプターが指定のスロットでロードに失敗しました。

---

#### MDM.019

レベル: C-INFO

短構文: MDM.019 No modems available to accept the call for port *port* chan *channel* nt *network ID*

長構文: MDM.019 No modems available to accept the call for port *port* chan *channel* nt *network ID*

説明: 使用できるモデムがなかったので、コールを受け入れることができませんでした。

---

#### MDM.020

レベル: ALWAYS

短構文: MDM.020 Error: Dbl rcv buf rtn to dgtl mdm adap slot *slot* chan *channel* nt *network ID*

長構文: MDM.020 Double receive buffer return to digital modem adapter slot *slot* channel *channel* net *network ID*

説明: プロトコルは、プライベート受信バッファを2回戻しました(誤り)。これは、一般にはコードの問題です。このインターフェースは、ルーターが再始動されるまで、非活動です。

---

#### MDM.021

レベル: C-INFO

短構文: MDM.021 CONNECT str *string* rcvd from mdm *modem* on port *port* chan *channel* nt *network ID*

長構文: MDM.021 CONNECT string *string* received from modem *modem* on port *port* channel *channel* net *network ID*

説明: モデムが調整を終えたときに、Tripac から接続ストリングを受信しました。





---

## 第34章 デジタル・ネットワーク・アーキテクチャー・フェーズ IV (DN)

この章では、デジタル・ネットワーク・アーキテクチャー・フェーズ IV (DN) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### DN.001

レベル: UE-ERROR

短構文: DN.001 event 4.0: Aged pkt loss; *source\_area*. *source\_node* -> *destination\_area*. *destination\_node*

長構文: DN.001 event 4.0: Aged packet loss; packet from *source\_area*. *source\_node* to *destination\_area*. *destination\_node*

説明: 指定されたノード間にわたるルーターを通じて、1つのパケットが行った VISIT の回数が多すぎます。送信側への戻りが要求された場合、パケットは発信元に戻されます。それ以外の場合、そのパケットは除去されます。

原因: ルーターの EXECUTOR MAXIMUM VISITS が小さ過ぎます。

処置: EXECUTOR MAXIMUM VISITS を増やして、ネットワーク内で最も距離の離れた2つのノード間のホップの数が増えるようにします。

原因: 到達不可能なノードがあるために、一時的なルーティング・ループがあります。

処置: 問題が継続する場合を除き、訂正処置は必要ありません。ルーティング・ループは、通常、ノードがダウンすると1分以内に解消されます。

---

### DN.002

レベル: CE-ERROR

短構文: DN.002 event 4.1: Node unreach pkt loss; *source\_area*. *source\_node* -> *destination\_area*. *destination\_node*, *cir number* net *network\_name*

長構文: DN.002 event 4.1: Node unreachable packet loss; packet from *source\_area*. *source\_node* to *destination\_area*. *destination\_node*, *circuit number* network *network\_name*

説明: 指定されたネットワーク上で、到達不可能なあて先へ向けられたパケットが受信されました。送信側への戻りが要求された場合、パケットは発信元に戻されず。それ以外の場合、そのパケットは除去されます。

原因: 発信元が、存在しないノードとのコンタクトを試みています。

処置: 発信元がホスト・アドレスを提供している場合は、そのアドレスを訂正する必要があります。発信元がホスト名を提供している場合は、アドレス変換へのノード名が古くなっています。発信元 (起点) ノードに対して DEFINE NODE "name" ADDRESS コマンドを使用して、永続データベースを訂正します。

原因: ルーティング・データベース内にあて先ノードへの経路がありません。

処置: SHOW ACTIVE NODES を行って、そのあて先ノードが到達可能であるかどうかを確認します。このノードへ到達するために使用できる回線をチェックします。

原因: ルーティング・データベース内にあて先区域への経路がありません。

処置: SHOW ACTIVE AREA を行って、あて先ノードの区域が到達可能であるかどうかを確認します。このノードへ到達するために使用できる回線をチェックします。

---

### DN.003

レベル: UI-ERROR

短構文: DN.003 event 4.2: Node out-of-range pkt loss; *source\_area*. *source\_node* -> *destination\_area*. *destination\_node*, *cir number* net *network\_name*

長構文: DN.003 event 4.2: Node out-of-range packet loss; packet from *source\_area*. *source\_node* to *destination\_area*. *destination\_node*, *circuit number* network *network\_name*

説明: 指定されたネットワーク上で、ノード・アドレスが EXECUTOR MAXIMUM ADDRESS を超えているパケットが受信されました。送信側への戻りが要求された場合、パケットは発信元に戻されます。それ以外の場合、そのパケットは除去されます。

原因: EXECUTOR MAXIMUM ADDRESS の設定が低過ぎます。

**処置:** EXECUTOR MAXIMUM ADDRESS の設定を高くします。

**原因:** あて先ノードの EXECUTOR NODE ADDRESS の設定が高過ぎます。

**処置:** あて先ノードの EXECUTOR NODE ADDRESS を低くします。

**原因:** 発信元が、存在せず、なおかつそのアドレスが高過ぎるノードとのコンタクトを試みています。

**処置:** 発信元がホスト・アドレスを提供している場合は、そのアドレスを訂正する必要があります。発信元がホスト名を提供している場合は、アドレス変換へのノード名が古くなっています。発信元 (起点) ノードに対して DEFINE NODE "name" ADDRESS コマンドを使用して、永続データベースを訂正します。

---

#### DN.004

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** DN.004 event 4.3: Ovsized pkt loss;  
*source\_area. source\_node -> destination\_area.  
destination\_node, cir number net network\_name*

**長構文:** DN.004 event 4.3: Oversized packet loss;  
packet from *source\_area. source\_node* to *destination\_area.  
destination\_node, circuit number network network\_name*

**説明:** そのあて先に対して選択された出力回線のブロック・サイズより大きいパケットが受信されました。パケットは除去されます。

**原因:** 発信元のホストが、受信側ホストが受け入れられるサイズより大きい EXECUTOR BUFFER SIZE をもっています。

**処置:** 発信元ホスト上の EXECUTOR BUFFER SIZE を訂正します。

**原因:** 介入回線に、サイズの小さ過ぎるパケットがあります。

**処置:** 発信元ホストの EXECUTOR BUFFER SIZE が、最もサイズの小さいパケットを含む回線より小さくなっていることを確認してください。(イーサネットの場合はブロック・サイズが最も小さいため、これは該当しません。)

---

#### DN.005

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** DN.005 event 4.4: Pkt format err; data packet  
*source\_area. source\_node -> destination\_area.  
destination\_node, cir number net network\_name*

**長構文:** DN.005 event 4.4: Packet format error; long

data packet from *source\_area. source\_node* to *destination\_area. destination\_node, circuit number network network\_name*

**説明:** 指定された回線上で、無効なヘッダー・データを含む長データ・パケットが受信されました。パケットは除去されます。

**原因:** 発信元またはあて先 ID の最初の 4 バイトが HIORD ではありません。

**処置:** 送信側ノード内のプログラミング・エラーを訂正するか、データ汚損の原因を突き止めます。

**原因:** 長データ・パケットの予約済み D-AREA または S-AREA フィールドがゼロではありません。

**処置:** 送信側ノード内のプログラミング・エラーを訂正するか、データ汚損の原因を突き止めます。

---

#### DN.006

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** DN.006 event 4.4: Pkt format err; endnode  
hello from *source\_area. source\_node, cir number net network\_name*

**長構文:** DN.006 event 4.4: Packet format error; endnode  
hello message from *source\_area. source\_node, circuit number network network\_name*

**説明:** 指定された回線上で、無効なヘッダー・データを含むエンド・ノード・ハロー・メッセージが受信されました。パケットは除去されます。

**原因:** IINFO フィールド内のノード・タイプがエンド・ノードでないか、ID フィールドの最初の 4 バイトが HIORD ではありません。

**処置:** 送信側ノード内のプログラミング・エラーを訂正するか、データ汚損の原因を突き止めます。

---

#### DN.007

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** DN.007 event 4.4: Pkt format err; lvl  
*router\_level route from source\_area. source\_node, cir number net network\_name*

**長構文:** DN.007 event 4.4: Packet format error; level  
*router\_level routing message from source\_area.  
source\_node circuit number network network\_name*

**説明:** ルーティング・データ内にフォーマット・エラーがある、レベル 1 または 2 のルーティング・メッセージが受信されました。パケットは除去されます。ルーティング・データ内にエラーがある場合は、そのエラーまでのデータが処理されます。

**原因:** パケットが、COUNT クレームの数と異なる数の RTGINFO 項目を含んでいる SEGMENT によって終了しました。

**処置:** 送信側ノード内のプログラミング・エラーを訂正するか、データ汚損の原因を突き止めます。

---

#### DN.008

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** DN.008 event 4.4: Pkt format err; short pkt from *source\_area*. *source\_node*, *cir number* net *network\_name*

**長構文:** DN.008 event 4.4: Packet format error; packet too short from *source\_area*. *source\_node*, *circuit number* network *network\_name*

**説明:** そのヘッダーを含むには短過ぎるパケットが受信されました。パケットは除去されます。

**原因:** 長データ・パケットが 21 バイトより短い (埋め込みは除く)。

**原因:** エンド・ノード・ハロー・メッセージが 31 バイトより短い。

**原因:** エンド・ノード・ハロー・メッセージの長さが、テスト・データ内のバイト・カウントによって示されている量のテスト・データを含むには不十分です。

**原因:** ルーター・ハロー・メッセージが 27 バイトより短い。

**原因:** ルーティング・メッセージが 6 バイトより短い。

**処置:** 送信側ノード内のプログラミング・エラーを訂正するか、データ汚損の原因を突き止めます。

---

#### DN.009

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** DN.009 event 4.4: Pkt format err; router hello from *source\_area*. *source\_node* *cir number* net *network\_name*

**長構文:** DN.009 event 4.4: Packet format error; router hello message from *source\_area*. *source\_node* *circuit number* network *network\_name*

**説明:** 無効なヘッダー・データを含むルーター・ハロー・メッセージが受信されました。パケットは除去されます。

**原因:** INFO フィールド内のノード・タイプがレベル 1 または 2 のルーターではないか、あるいは ID フィールドの最初の 4 バイトが HIORD ではありません。

**処置:** 送信側ノード内のプログラミング・エラーを訂

正するか、データ汚損の原因を突き止めます。

---

#### DN.010

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** DN.010 event 4.4: Pkt format err; unkn typ, *cir number* net *network\_name*, *hdr first 21 bytes*

**長構文:** DN.010 event 4.4: Packet format error; unknown type, *circuit number* network *network\_name*, header *first 21 bytes*

**説明:** 無効なフラグ・フィールドまたはサポートされていないフラグ・フィールドを含むパケットが受信されました。ヘッダーの最初の 21 バイトがダンプされています。

**原因:** メッセージの最初のバイトが、長データ・パケット、エンド・ノード・ハロー、ルーター・ハロー、レベル 1 ルーティング、またはレベル 2 ルーティングのいずれでもありません。

**処置:** 送信側ノード内のプログラミング・エラーを訂正するか、データ汚損の原因を突き止めます。

---

#### DN.012

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** DN.012 event 4.4: Pkt format err; vers skew, flags *FLAGS*, *cir number* net *network\_name*

**長構文:** DN.012 event 4.4: Packet format error; version skew in long data packet, flags *FLAGS*, *circuit number* network *network\_name*

**説明:** フラグ・フィールド内にバージョン・ビットが設定されている長形式データ・パケットが受信されました。パケットは除去されます。

**原因:** 送信側ノード内のプログラミング・エラーまたはデータ汚損。

---

#### DN.013

**レベル:** CI-ERROR

**短構文:** DN.013 event 4.5: Part rting upd loss; area *area\_number* from *source\_area*. *source\_node*, *cir number* net *network\_name*

**長構文:** DN.013 event 4.5: Partial routing update loss; area *area\_number* in level 2 routing message from *source\_area*. *source\_node*, *circuit number* network *network\_name*

**説明:** レベル 2 ルーティング・メッセージに、このルーターの EXECUTOR MAXIMUM AREA より高い区域への到達可能経路が含まれていました。最も高い到達可

能区域だけがログに記録されます。到達不可能 (無限コスト) 区域への経路については、問題にされていません。

**原因:** このルーターの EXECUTOR MAXIMUM AREA が、ネットワーク内で最も高い到達可能区域より低い。

**処置:** EXECUTOR MAXIMUM AREA を訂正するか、誤りのある区域の区域番号を変更します。

---

#### DN.014

**レベル:** CI-ERROR

**短構文:** DN.014 event 4.5: Part rting upd loss; node *node\_number* from *source\_area*. *source\_node*, *cir number* net *network\_name*

**長構文:** DN.014 event 4.5: Partial routing update loss; node *node\_number* in level 1 routing message from *source\_area*. *source\_node*, *circuit number* network *network\_name*

**説明:** レベル 1 ルーティング・メッセージに、このルーターの EXECUTOR MAXIMUM ADDRESS より高いノードへの到達可能経路が含まれていました。最も高い到達可能ノードだけがログに記録されます。到達不可能 (無限コスト) ノードへの経路については、問題にされていません。

**原因:** このルーターの EXECUTOR MAXIMUM ADDRESS が、ネットワーク内で最も高い到達可能ノードより低い。

**処置:** EXECUTOR MAXIMUM ADDRESS を訂正するか、誤りのあるノードのノード番号を変更します。

---

#### DN.015

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** DN.015 event 4.11: Init fail; inval data from *source\_area*. *source\_node* *cir number* net *network\_name*

**長構文:** DN.015 event 4.11: Initialization failure, line fault; adjacent node listener received invalid data from node *source\_area*. *source\_node* *circuit number* network *network\_name*

**説明:** エンド・ノード・ハロー・メッセージ内の (任意選択) テスト・データが、予期されていたテスト・パターンの 252 (8 進数) と異なっており、有効ではありませんでした。隣接は受け入れられません。

**原因:** ネットワーク上のデータ汚損

---

#### DN.016

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** DN.016 event 4.13: Init fail; endnode *source\_area*. *source\_node* out of range, *cir number* net *network\_name*

**長構文:** DN.016 event 4.13: Initialization failure, operator initiated; adjacent endnode *source\_area*. *source\_node* out of range, *circuit number* network *network\_name*

**説明:** 指定されたノードからエンド・ノード・ハロー・メッセージが受信されましたが、そのノードのアドレスが、EXECUTOR MAXIMUM ADDRESS を超えています。隣接は行われません。

**原因:** エンド・ノードのノード・アドレスが高過ぎます。

**処置:** エンド・ノード・ノード・アドレスを訂正します。

**原因:** ルーターの EXECUTOR MAXIMUM ADDRESS が低過ぎます。

**処置:** ルーターの EXECUTOR MAXIMUM ADDRESS を高くします。

---

#### DN.017

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** DN.017 event 4.13: Init fail; router *area*. *node* out of range, *cir number* net *network\_name*

**長構文:** DN.017 event 4.13: Initialization failure, operator initiated; adjacent router *area*. *node* out of range, *circuit number* network *network\_name*

**説明:** 指定されたノードからルーター・ハロー・メッセージが受信されましたが、そのノードのアドレスに問題があります。そのノード・アドレスが EXECUTOR MAXIMUM ADDRESS を超えている、区域アドレスが EXECUTOR MAXIMUM AREA を超えている、あるいはそのノードまたは区域の番号がゼロです。隣接は行われません。

**原因:** 発信元ルーターのノード・アドレスが高過ぎます。

**処置:** 発信元ルーターのノード・アドレスを訂正します。

**原因:** このルーターの EXECUTOR MAXIMUM ADDRESS が低過ぎます。

**処置:** このルーターの EXECUTOR MAXIMUM ADDRESS を高くします。

**原因:** 発信元ルーターの区域アドレスが高過ぎます。

**処置:** 発信元ルーターの区域アドレスを訂正します。

**原因:** このルーターの EXECUTOR MAXIMUM AREA が低過ぎます。

**処置:** このルーターの EXECUTOR MAXIMUM AREA を高くします。

**原因:** リモート・ルーターがノードまたは区域 0 を使用しています。

**処置:** リモート・ノード上のプログラミング・エラーを訂正します。

---

#### DN.018

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** DN.018 event 4.13: Init fail; blk sz *size* too sm frm *area. node*, cir *number* net *network\_name*

**長構文:** DN.018 event 4.13: Initialization failure, operator initiated; adjacent node block size *size* too small from router *area. node*, circuit *number* network *network\_name*

**説明:** ルーター・ハローが提供しているブロック・サイズが、区域のルーティングをサポートするには小さ過ぎます。ブロック・サイズは、63 個の区域をすべて含むレベル 2 ルーティング・メッセージを受信することができます大ききでなければなりません。隣接は拒否されます。

**原因:** 隣接ルーターに 80 より小さいブロック・サイズがあります。

**処置:** 隣接ルーター上のブロック・サイズを訂正します。

**原因:** 隣接ルーター内のソフトウェア・エラー

**処置:** ソフトウェア・エラーを訂正します。

**原因:** 回線エラーがデータ汚損の原因となっています。

**処置:** ネットワーク・エラー・カウンターを調べます。

---

#### DN.019

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** DN.019 event 4.13: Init fail; vers skew ( *Version\_number. ECO\_number. user\_ECO\_number*) node *area. node*, cir *number* net *network\_name*

**長構文:** DN.019 event 4.13: Initialization failure; version skew ( *Version\_number. ECO\_number. user\_ECO\_number*) node *area. node*, cir *number* net *network\_name*

**説明:** バージョン番号が 2.0.0 より低いルーティング・レイヤーを含むルーター・ハロー・メッセージが受信されました。隣接は行われません。(2.0.0 より以降のバージョン番号を含むメッセージは、DECnet の指定により、通知なしに除去されています。)

**原因:** フェーズ III ルーターとの隣接を行う試みが行われました。

**処置:** フェーズ III ルーターとの隣接はサポートされていません。ネットワークを再構成します。

---

#### DN.020

**レベル:** U-INFO

**短構文:** DN.020 event 4.14: Node reach change; node *area. node* reachable

**長構文:** DN.020 event 4.14: Node reachability change; node *area. node* reachable

**説明:** 指定されたノードが、そのノードとのエンド・ノード隣接により、あるいは、レベル 1 ルーティング・メッセージに組み込まれていることによって、現在到達可能となっています。

---

#### DN.021

**レベル:** U-INFO

**短構文:** DN.021 event 4.14: Node reach change; node *area. node* unreachable

**長構文:** DN.021 event 4.14: Node reachability change; node *area. node* unreachable

**説明:** 指定されたノードが現在到達不可能です。

**原因:** ダウンになっているノードへの回線がありません。

**処置:** 以前のメッセージが回線ダウン (事象 5.0) であったかどうかを確認します。

**原因:** エンド・ノード隣接がダウンになっています。

**処置:** 以前のメッセージが隣接ダウン (事象 4.18) であったかどうかを確認します。ノードのダウン、またはその機械上のネットワーク接続の障害が原因の可能性がります。

**原因:** 介入ノードがダウンになっています。

**処置:** 必要なルーターが到達可能であるかどうかを確認します。

**原因:** ノードがダウンになっています。

**処置:** ノードがアップになっているかどうかを確認します。



**原因:** ノードへのコストが EXECUTOR MAXIMUM COST を超えている。

**処置:** ネットワークをスパンするために、EXECUTOR MAXIMUM COST の大きさが十分であるかどうかを調べます。

**原因:** ノードへのコストが EXECUTOR MAXIMUM HOPS を超えています。

**処置:** ネットワークをスパンするために、EXECUTOR MAXIMUM HOPS の大きさが十分であるかどうかを調べます。

---

## DN.022

**レベル:** C-INFO

**短構文:** DN.022 event 4.15: Adj up; new endnode *area. node* *cir number net network\_name*

**長構文:** DN.022 event 4.15: Adjacency up; new endnode *area. node* *circuit number network network\_name*

**説明:** 指定されたネットワーク上で、現在、指定されたエンド・ノードとの隣接が行われています。

**原因:** 有効なエンド・ノード・ハロー・メッセージが受信されました。

---

## DN.023

**レベル:** C-INFO

**短構文:** DN.023 event 4.15: Adj up; new router *area. node* *cir number net network\_name*

**長構文:** DN.023 event 4.15: Adjacency up; new router *area. node* *circuit number network network\_name*

**説明:** 直接接続ネットワークの 1 つで、現在、指定されたルーターとの隣接が行われています。レベル 1 (および 2) ルーティング・メッセージが、このノードから受け入れられるようになります。

**原因:** R/S-LIST 内にこのルーターのノード ID を含む、有効なルーター・ハロー・メッセージが受信されました。

---

## DN.024

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** DN.024 event 4.16: Adj rej; table full for endnode *area. node*, *cir number net network\_name*

**長構文:** DN.024 event 4.16: Adjacency rejected; table too full for endnode *area. node*, *circuit number network network\_name*

**説明:** エンド・ノード・ハロー・メッセージが新しい

エンド・ノードから受信されましたが、エンド・ノード隣接の数が多過ぎて、テーブルがいっぱいになっています。別のエンド・ノード隣接がタイムアウトになるまでは隣接は行われません。

**原因:** このルーターへの隣接を持つエンド・ノードが、EXECUTOR MAXIMUM BROADCAST NONROUTERS より多い。

**処置:** EXECUTOR MAXIMUM BROADCAST NONROUTERS の値を大きくします。

---

## DN.025

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** DN.025 event 4.16: Adj rej; table full for rtr *source*, *cir number net network\_name*

**長構文:** DN.025 event 4.16: Adjacency rejected; table too full for router *source*, *circuit number network network\_name*

**説明:** ルーター・ハロー・メッセージが新しいルーターから受信されましたが、ルーター隣接の数が多過ぎて、テーブルがいっぱいになっています。別のルーター隣接がタイムアウトになるまでは隣接は行われません。隣接がないために、このルーターからの経路は受け入れられません。

**原因:** このルーターへの隣接を持つエンド・ノードが、EXECUTOR MAXIMUM BROADCAST ROUTERS より多い。

**処置:** EXECUTOR MAXIMUM BROADCAST ROUTERS の値を大きくします。

---

## DN.026

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** DN.026 event 4.16: Adj rej; too many rtrs for node *source*, *cir number net network\_name*

**長構文:** DN.026 event 4.16: Adjacency rejected; too many routers for node *source*, *circuit number network network\_name*

**説明:** 指定された回線上で、ルーター・ハロー・メッセージが新しいルーターから受信されましたが、この回線上のルーター隣接の数が多過ぎて、テーブルがいっぱいになっています。この回線上の別のルーター隣接がタイムアウトになるまでは隣接は行われません。隣接がないために、このルーターからの経路は受け入れられません。

**原因:** このルーターへの隣接を持つエンド・ノードが、CIRCUIT MAXIMUM ROUTERS より多い。



処置: CIRCUIT MAXIMUM ROUTERS の値を大きくします。

---

#### DN.027

レベル: U-INFO

短構文: DN.027 event 4.17: Area reach change; area *area* reachable

長構文: DN.027 event 4.17: Area reachability change; area *area* reachable

説明: 指定された区域が、レベル 2 ルーティング・メッセージに組み込まれているために、現在到達可能となっています。

---

#### DN.028

レベル: U-INFO

短構文: DN.028 event 4.17: Area reach change; area *area* unreachable

長構文: DN.028 event 4.17: Area reachability change; area *area* unreachable

説明: 回線がダウン状態になっている、ルーター隣接がタイムアウトとなっている、エンド・ノード隣接がタイムアウトとなっている、そのノードへのコストが EXECUTOR MAXIMUM COST を超えている、のいずれかの原因で、指定された区域が現在到達不可能となっています。現在到達不可能となっています。直前のメッセージがその原因を示しているはずです。

原因: その区域への回線がダウンしています。

処置: 以前のメッセージが回線ダウン (事象 5.0) であったかどうかを確認します。

原因: 隣接ルーターがダウンになっています。

処置: その区域へのルーターに関し、前のメッセージが隣接ダウン (事象 4.18) であったかどうかを確認します。

原因: 介入ルーターがダウンになっています。

処置: 必要なルーターが到達可能であるかどうかを確認します。

原因: その区域へのコストが EXECUTOR AREA MAXIMUM COST を超えています。

処置: ネットワークをスパンするために、EXECUTOR AREA MAXIMUM COST の大きさが十分であるかどうかを調べます。

原因: 区域へのホップが、EXECUTOR AREA MAXIMUM HOPS を超えています。

処置: ネットワークをスパンするために、EXECUTOR

AREA MAXIMUM HOPS の大きさが十分であるかどうかを調べます。

---

#### DN.029

レベル: UE-ERROR

短構文: DN.029 event 4.18: Adj dwn; invalid data from *area. node cir number net network\_name*

長構文: DN.029 event 4.18: Adjacency down, line fault; adjacent node listener received invalid data from node *area. node circuit number network network\_name*

説明: エンド・ノード・ハロー・メッセージ内の (任意選択) テスト・データが、予期されていたテスト・パターンの 252 (8 進数) と異なっており、有効ではありませんでした。隣接は、ダウンとなります。

原因: ネットワーク上のデータ汚損、またはリモート・ノード内のソフトウェア・エラー

---

#### DN.030

レベル: UE-ERROR

短構文: DN.030 event 4.18: Adj dwn: node *area. node* chng to endnode, cir *number* net *network\_name*

長構文: DN.030 event 4.18: Adjacency down: node *area. node* changed to endnode, circuit *number* network *network\_name*

説明: エンド・ノード・ハロー・メッセージが、前にルーター隣接であったノードから受信されました。現在あるルーター隣接はダウンとなり、エンド・ノード隣接が行われます。

原因: これは、隣接ノードのタイプの変更が早過ぎる場合に起こります。

処置: ノード・タイプは、最初にそれをダウンしてからでなければ変更してはなりません。

原因: タイプの異なる 2 台のノードが同じアドレスを持っています。

処置: ノードの ID が固有であることを確認します。

---

#### DN.031

レベル: UE-ERROR

短構文: DN.031 event 4.18: Adj dwn: router *area. node* chng type, cir *number* net *network\_name*

長構文: DN.031 event 4.18: Adjacency down: router *area. node* changed type, cir *number* net *network\_name*

説明: あるノードからルーター・ハロー・メッセージが受信されましたが、そのノードの既存の隣接が他のタ

IPのルーター (レベル 1 または レベル 2) 用のものです。現在あるルーター隣接はダウンとなり、新しいルーター隣接が行われます。

**原因:** 隣接ノードのタイプが即時に変更されました。

**処置:** ノード・タイプは、最初にそれをダウンしてからでなければ変更してはなりません。

**原因:** タイプの異なる 2 台のノードが同じアドレスを持っています。

**処置:** ノードの ID が固有であることを確認します。

---

### DN.032

**レベル:** C-INFO

**短構文:** DN.032 event 4.18: Adj dwn; cir *number* net *network\_name* down to node *area. node*

**長構文:** DN.032 event 4.18: Adjacency down; circuit *number* network *network\_name* down to node *area. node*

**説明:** 指定された隣接がダウンとなっています。この隣接を通るすべての経路は削除されます。

**原因:** 関連の回線がダウンとなっています。

**処置:** 以前のメッセージが回線ダウン (事象 5.0) であったかどうかを確認します。

**原因:** 優先順位の高いルーターからルーター・ハロー・メッセージが受信されました。

**処置:** 以前のメッセージが隣接拒否 (事象 4.16) であったかどうかを確認します。

---

### DN.033

**レベル:** C-INFO

**短構文:** DN.033 event 4.18: Adj dwn; node *area. node*, cir *number* net *network\_name* timed out

**長構文:** DN.033 event 4.18: Adjacency down; node *area. node*, circuit *number* network *network\_name* timed out

**説明:** 隣接内のルーター・ハロー・メッセージ内に示されているハロー・タイム (隣接の CIRCUIT HELLO TIMER) の 3 倍の時間、隣接からルーター・ハロー・メッセージが来なかったために、指定された隣接がダウンしました。この隣接を通るすべての経路は削除されます。

**原因:** ノードがダウンになっています。

**処置:** ノードの状況をチェックします。

**原因:** ノードがネットワークから切断されています。

**処置:** ノード上の回線および伝送路の状況をチェックします。

---

### DN.034

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** DN.034 event 4.18: Adj dwn; lvl 1 route from *area. node*, cir *number* net *network\_name*, cksum *received\_checksum*, expct *correct\_checksum*

**長構文:** DN.034 event 4.18: Adjacency down; lvl 1 route from *area. node*, circuit *number* network *network\_name*, checksum *received\_checksum*, expected *correct\_checksum*

**説明:** 無効なチェックサムを含むレベル 1 ルーティング・メッセージが受信されました。そのパケットは除去され、ルーターとの隣接はダウンになります。

**原因:** データ汚損エラー

**処置:** ネットワーク・エラー・カウンターをチェックします。

**原因:** リモート・ノードでのプログラム・エラー

**処置:** エラーが特定のノードからの場合に決まって起こるのかを調べます。

---

### DN.035

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** DN.035 event 4.18: Adj dwn; lvl 2 route from *area. node*, cir *number* net *network\_name*, cksum *received\_checksum*, expct *correct\_checksum*

**長構文:** DN.035 event 4.18: Adjacency down; lvl 2 route from *area. node*, circuit *number* network *network\_name*, checksum *received\_checksum*, expected *correct\_checksum*

**説明:** 無効なチェックサムを含むレベル 2 ルーティング・メッセージが受信されました。そのパケットは除去され、ルーターとの隣接はダウンになります。

**原因:** データ汚損エラー

**処置:** ネットワーク・エラー・カウンターをチェックします。

**原因:** リモート・ノードでのプログラム・エラー

**処置:** エラーが特定のノードからの場合に決まって起こるのかを調べます。

---

**DN.036**

レベル: C-INFO

短構文: DN.036 event 4.19: Adj dwn: dropped by rtr *area. node*, *cir number net network\_name*

長構文: DN.036 event 4.19: Adjacency down, operator initiated: dropped by router *area. node*, *circuit number network network\_name*

説明: こちらと隣接を持っているルーターからルーター・ハロー・メッセージが受信されましたが、そのメッセージのルーター状態リスト内にこちら側のアドレスが含まれていません。隣接はダウンとなり、こちら側のアドレスがそのルーター状態リストに入れられるまでアップしません。

原因: 隣接ルーターが再始動しました。

原因: 単方向通信。すなわち、このルーターは隣接ルーターからのパケットを受信できるが、隣接ルーターはこのルーターからパケットを受信できません。

処置: 回線上に両方向通信があることを確認します。

---

**DN.037**

レベル: U-INFO

短構文: DN.037 event 5.0: Circ dwn; *cir number net network\_name*

長構文: DN.037 event 5.0: Circuit down; *cir number net network\_name*

説明: 回線がダウンしました。この回線を経由するすべての隣接はダウンとなります。

原因: 自己検査の失敗

処置: 自己検査エラー・メッセージを探し、インターフェースの状況をチェックします。

原因: CGWCON を通じて、SET CIRCUIT STATE OFF コマンドによって、あるいは SET EXECUTOR STATE OFF コマンドによって、回線が使用不可にされました。

---

**DN.038**

レベル: U-INFO

短構文: DN.038 event 5.0: Circ up; *cir number net network\_name*

長構文: DN.038 event 5.0: Circuit up; *cir number net network\_name*

説明: CGWCON を通じて回線が使用可能にされた、自己検査が成功した、NCP SET CIRCUIT STATE ON コマンドまたは NCP SET EXECUTOR STATE ON コマ

ンドが使用された、のいずれかによって回線がアップ状態となりました。ルーターは、その回線上でルーター・ハローを送信して始動します。

---

**DN.039**

レベル: UI-ERROR

短構文: DN.039 event 5.14: Send fail; *rsn reason\_code, source -> destination cir number net network\_name*

長構文: DN.039 event 5.14: Send failure on line; *reason reason\_code, packet from source to destination cir number net network\_name*

説明: 転送するパケットの送信が失敗しました。*reason\_code* は、障害の内部エラー・コードです。

原因: 各種のハンドラー・エラー (理由コード 1)

処置: ハンドラーからのエラー・メッセージを検査して、*network\_name* を調べてください。

原因: 出力待ち行列オーバーフローまたはその他のフロー制御 (理由コード 2)

処置: 輻輳 (ふくそう) を緩和してください。

原因: ネットワークがダウン (理由コード 3)

処置: ネットワークがダウンしているとハンドラーが判断した理由を調べてください。

原因: ループまたはよくない同報通信を回避するために、ハンドラーによって除去されました (理由コード 4)。

処置: 構成を検査してください。

原因: ホストがダウン (理由コード 5)

処置: ホストがダウンしているとハンドラーが判断した理由を調べてください。

---

**DN.040**

レベル: P-TRACE

短構文: DN.040 *source -> destination*

長構文: DN.040 Forwarding packet from *source* to *destination*

説明: あるノードから別のノードにパケットを転送中です。

---

**DN.041**

レベル: P-TRACE

短構文: DN.041 MOP Req ID pkt rcvd frm *MAC\_address cir number net network\_name*

長構文: DN.041 MOP Request ID packet received from

node *MAC\_address* circuit *number* network *network\_name*

**説明:** DECnet 保守操作プロトコル MOP 要求システム ID パケットが、指定されたノードから受信されました。MOP システム ID パケットは、リクエスターのアドレスに送信されます。

---

#### DN.042

**レベル:** P-TRACE

**短構文:** DN.042 MOP Sys ID pkt rcvd frm *MAC\_address* cir *number* net *network\_name*

**長構文:** DN.042 MOP System ID packet received from node *MAC\_address* circuit *number* network *network\_name*

**説明:** DECnet MOP システム ID パケットが、指定されたノードから受信されました。

---

#### DN.043

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** DN.043 MOP pkt rcvd unk opc *opcode* frm *MAC\_address* cir *number* net *network\_name*

**長構文:** DN.043 MOP packet received unknown opcode *opcode* from node *MAC\_address* cir *number* net *network\_name*

**説明:** サポートされていない opcode を含む DECnet MOP (保守操作プロトコル) パケットが、指定されたノードから受信されました。パケットは無視されます。

**原因:** リモート・ノード上のプログラミング・エラー

**原因:** データ汚損

---

#### DN.045

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** DN.045 acc cnt bad rec, cir *number* net *network\_name*, purge

**長構文:** DN.045 Access control bad SRAM record, circuit *number* network *network\_name*, purge

**説明:** この回線の永続データベース内に、障害のあるアクセス制御レコードがあります。

**処置:** PURGE MODULE ACCESS CONTROL CIRCUIT を実行します。

---

#### DN.046

**レベル:** C-INFO

**短構文:** DN.046 acc cont fail *source* -> *destination* cir *number* net *network\_name*

**長構文:** DN.046 Access control failed, packet from *source* to *destination* circuit *number* network *network\_name*

**説明:** アクセス制御の制限のために、2つのホスト間でパケットが転送されませんでした。ヘッダー内に「送信側への戻り要求」が設定されている場合、パケットは送信側に戻りますが、そうでなければそのパケットは除去されます。

**原因:** ユーザーのホストへのコンタクトの試みがアクセス制御によって制限されています。

---

#### DN.047

**レベル:** C-INFO

**短構文:** DN.047 desig router chng frm *old\_router* to *new\_router*, cir *number* net *network\_name*

**長構文:** DN.047 Designated router changed from *old\_router* to *new\_router*, circuit *number* network *network\_name*

**説明:** この回線の指定ルーターが変更されました。

**原因:** 回線上で優先順位の高いルーターとの新しいルーター隣接、または同じルーター優先順位で、高いノード・アドレス

---

#### DN.048

**レベル:** C-INFO

**短構文:** DN.048 desig router *address* select, cir *number* net *network\_name*

**長構文:** DN.048 Designated router *address* selected, circuit *number* network *network\_name*

**説明:** 以前には指定ルーターがなかった回線に、現在指定ルーターがあります。

---

#### DN.049

**レベル:** P-TRACE

**短構文:** DN.049 endnode hello len *packet\_length* from *node*, cir *number* net *network\_name*

**長構文:** DN.049 endnode hello length *packet\_length* from *node*, circuit *number* network *network\_name*

**説明:** 指定されたエンド・ノードからエンド・ノード・ハロー・メッセージが受信されました。

---

**DN.050**

レベル: ALWAYS

短構文: DN.050 executor node address *area*. *node* exceeds MAX ADDRESS *max\_address*

長構文: DN.050 executor node address *area*. *node* exceeds EXECUTOR MAX ADDRESS *max\_address*

説明: 永続データベース内に格納されている EXECUTOR ADDRESS が、その永続データベース内に格納されている EXECUTOR MAXIMUM ADDRESS を超えています。DECnet は停止されますが、データベースは割り振られます。

処置: EXECUTOR ADDRESS または EXECUTOR MAX ADDRESS のいずれかを訂正します。

---

**DN.051**

レベル: ALWAYS

短構文: DN.051 executor node address *area*. *node* exceeds MAX AREA *max\_node*

長構文: DN.051 executor node address *area*. *node* exceeds EXECUTOR MAX AREA *max\_node*

説明: 永続データベース内に格納されている EXECUTOR ADDRESS の区域が、その永続データベース内に格納されている EXECUTOR MAXIMUM AREA を超えています。DECnet は停止されますが、データベースは割り振られます。

処置: EXECUTOR ADDRESS または EXECUTOR MAX AREA のいずれかを訂正します。

---

**DN.053**

レベル: CI-ERROR

短構文: DN.053 inp que overflow data *source* -> *destination* cir *number* net *network\_name*

長構文: DN.053 Input queue overflow data packet from *source* to *destination* circuit *number* network *network\_name*

説明: 着信長形式データ・パケットの DECnet 入力待ち行列がオーバーフローしました。パケットは除去されます。

原因: トラフィックが多すぎて、転送機能が転送できません。

処置: パスとパスの間のトラフィックのバランスをとるように、回線コストを調整します。ネットワークを再構成してください。ルーターの速度を上げてください。

原因: バッファ資源が不十分です。

処置: GWCON 内の記憶域統計を調べてください。DECnet 構成に余分な隣接記憶域が割り振られないようにすれば、利用可能なバッファの量を多くすることができます。

処置: 記憶域の量を増やしてください。

---

**DN.054**

レベル: CI-ERROR

短構文: DN.054 inp que overflow multicast from *source* cir *number* net *network\_name*

長構文: DN.054 Input queue overflow multicast from *source* circuit *number* network *network\_name*

説明: 着信ルーティングまたはハロー・マルチキャスト・パケットの DECnet 入力待ち行列がオーバーフローしました。パケットは除去されます。

原因: トラフィックが多すぎて、転送機能が転送できません。

処置: パスとパスの間のトラフィックのバランスをとるように、回線コストを調整します。ネットワークを再構成してください。ルーターの速度を上げてください。

原因: バッファ資源が不十分です。

処置: GWCON 内の記憶域統計を調べてください。DECnet 構成に余分な隣接記憶域が割り振られないようにすれば、利用可能なバッファの量を多くすることができます。

処置: 記憶域の量を増やしてください。

---

**DN.055**

レベル: U-TRACE

短構文: DN.055 lvl 1 rte pkt from *source* ign, cir *number* net *network\_name*, no adjacency

長構文: DN.055 Level 1 routing message from *source* ignored, circuit *number* network *network\_name*, no adjacency with router

説明: このルーターとの活動隣接を持っていないルーターから、レベル 1 ルーティング・メッセージが受信されました。ルーティング・パケットは処理されません。

原因: これは、このルーターが隣接を確立する前に、他のルーターがこのルーターとの隣接を確立する場合に、時折発生します。

処置: このメッセージが続いて出される場合を除き、処置は必要ありません。

---



---

**DN.056**

レベル: P-TRACE

短構文: DN.056 lvl 1 rte pkt len *received\_length* from *source*, cir *number* net *network\_name*

長構文: DN.056 Level 1 routing packet length *received\_length* from *source*, circuit *number* network *network\_name*

説明: レベル 1 ルーティング・メッセージが指定されたルーターから受信されました。

---

**DN.057**

レベル: U-TRACE

短構文: DN.057 lvl 2 rte pkt from *source* ign, cir *number* net *network\_name*, no adjacency

長構文: DN.057 Level 2 routing message from *source* ignored, circuit *number* network *network\_name*, no adjacency with router

説明: このルーターとの活動隣接を持っていないルーターから、レベル 2 ルーティング・ルーティング・パケットは処理されません。

原因: これが時として発生するのは、このルーターが隣接を確立する前に、他のルーターがこのルーターとの隣接を確立した場合です。

処置: このメッセージが続いて出される場合を除き、処置は必要ありません。

原因: レベル 2 ルーティング・メッセージが、レベル 1 ルーターによって送信されました。

処置: 送信側ルーターのソフトウェア・エラーを訂正します。

---

**DN.058**

レベル: P-TRACE

短構文: DN.058 lvl 2 rte pkt len *received\_length* from *source*, cir *number* net *network\_name*

長構文: DN.058 Level 2 routing packet length *received\_length* from *source*, circuit *number* network *network\_name*

説明: レベル 2 ルーティング・メッセージが指定されたルーターから受信されました。

---

**DN.059**

レベル: UI-ERROR

短構文: DN.059 no buffer for hello on cir *number* net *network\_name*

長構文: DN.059 No buffer to build hello packet to send on circuit *number* network *network\_name*

説明: ルーター・ハロー・メッセージを構築、送信するために使用できるパケット・バッファがありません。

原因: 重大なパケット・バッファの不足

処置: GWCON 内の記憶域統計を検査して、パケット・バッファ・レベルを確認してください。可能なら、ルーティング・テーブルを小さくします。DECnet においては、これは、許容隣接数を最小限に抑えることによって実行できます。(該当の値を最小にするように、EXECUTOR MAXIMUM BROADCAST ROUTERS と EXECUTOR MAXIMUM BROADCAST NONROUTERS を構成します。) ルーティング・テーブルを小さくできない場合は、記憶域サイズを大きくします。

原因: トラフィック・ピークで、利用可能なバッファがすべて使われています。

処置: このメッセージが非常にまれに出る場合は問題です。

---

**DN.060**

レベル: UI-ERROR

短構文: DN.060 no buffer for lvl 1 rte on cir *number* net *network\_name*

長構文: DN.060 No buffer to build level 1 routing message to send on circuit *number* network *network\_name*

説明: レベル 1 ルーティング・メッセージを構築、送信するために使用できるパケット・バッファがありません。

原因: 重大なパケット・バッファの不足

処置: GWCON 内の記憶域統計を検査して、パケット・バッファ・レベルを確認してください。可能なら、ルーティング・テーブルを小さくします。DECnet においては、これは、許容隣接数を最小限に抑えることによって実行できます。(該当の値を最小にするように、EXECUTOR MAXIMUM BROADCAST ROUTERS と EXECUTOR MAXIMUM BROADCAST NONROUTERS を構成します。) ルーティング・テーブルを小さくできない場合は、記憶域サイズを大きくします。

原因: トラフィック・ピークで、利用可能なバッファがすべて使われています。

**処置:** このメッセージが非常にまれに出る場合は問題です。

---

#### DN.061

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** DN.061 no buffer for lvl 2 rte on cir *number* net *network\_name*

**長構文:** DN.061 No buffer to build level 2 routing message to send on circuit *number* network *network\_name*

**説明:** レベル 2 ルーティング・メッセージを構築、送信するために使用できるパケット・バッファがありません。

**原因:** 重大なパケット・バッファの不足

**処置:** GWCON 内の記憶域統計を検査して、パケット・バッファ・レベルを確認してください。可能なら、ルーティング・テーブルを小さくします。DECnet においては、これは、許容隣接数を最小限に抑えることによって実行できます。(該当の値を最小にするように、EXECUTOR MAXIMUM BROADCAST ROUTERS と EXECUTOR MAXIMUM BROADCAST NONROUTERS を構成します。) ルーティング・テーブルを小さくできない場合は、記憶域サイズを大きくします。

**原因:** トラフィック・ピークで、利用可能なバッファがすべて使われています。

**処置:** このメッセージが非常にまれに出る場合は問題です。

---

#### DN.062

**レベル:** ALWAYS

**短構文:** DN.062 no memory for NCP circuit name table

**長構文:** DN.062 No memory for building NCP circuit name table

**説明:** 始動時に、NCP の回線名テーブルを作成するために使用可能な記憶域がありませんでした。

**原因:** 何らかの構成エラーがあって、そのために重大な記憶域不足が生じています。

**処置:** ルーティング・テーブルを小さくして必要な記憶域量を減らすか、もっと多くの記憶域を獲得します。

---

#### DN.063

**レベル:** ALWAYS

**短構文:** DN.063 no memory for routing tables (*number* bytes req), DECnet disabled

**長構文:** DN.063 No Memory for building routing tables

(*number* bytes required), DECnet disabled

**説明:** ルーティング・テーブルが、使用可能な量より多くの記憶域を必要としています。DECnet が使用不可となっています。

**原因:** ルーティング・データベースのサイズを決定するパラメーターが、実際のネットワーク構成には大き過ぎます。

**処置:** DEFINE コマンドを使用して、次のパラメーターを適宜小さい値に変更すると、ゲートウェイが再始動します。EXECUTOR MAXIMUM BROADCAST ROUTERS、EXECUTOR MAXIMUM BROADCAST NONROUTERS、CIRCUIT MAXIMUM ROUTERS、EXECUTOR MAXIMUM ADDRESS、EXECUTOR MAXIMUM AREA

**原因:** 記憶域サイズが不十分です。

**処置:** 記憶域の量を増やすようにアップグレードします。

---

#### DN.064

**レベル:** CI-ERROR

**短構文:** DN.064 packet received on down cir *number* net *network\_name*, dropped

**長構文:** DN.064 Packet received on down circuit *number* network *network\_name*, packet dropped

**説明:** DECnet が使用可能になっていない回線またはルーター上で、データ・パケットを受信しました。パケットは除去されます。

---

#### DN.066

**レベル:** U-TRACE

**短構文:** DN.066 returning packet to sender *sender* <- *original\_destination*

**長構文:** DN.066 returning packet to sender *sender* from *original\_destination*

**説明:** データ・パケットがあて先に到達することができず、ヘッダー内に「送信側への戻り要求」ビットが設定されていました。そのパケットは送信側に戻されています。

**原因:** 前のメッセージによって説明されているはずでず (事象 4.1、4.2、および 4.3 など)。

**処置:** 原因を示すメッセージの中の処置を参照してください。



---

**DN.067**

レベル: P-TRACE

短構文: DN.067 router hello len *received\_length* from *source*, cir *number* net *network\_name*

長構文: DN.067 Router hello length *received\_length* received from *source*, circuit *number* network *network\_name*

説明: 指定されたルーターからルーター・ハロー・メッセージが受信されました。

---

**DN.068**

レベル: P-TRACE

短構文: DN.068 sending desig rtr hello on cir *number* net *network\_name*

長構文: DN.068 Sending designated router hello on circuit *number* network *network\_name*

説明: このルーターは指定された回線上の指定ルーターであるため、ALLENODES アドレスにルーター・ハロー・メッセージが送信されています。

---

**DN.069**

レベル: P-TRACE

短構文: DN.069 sending hello on cir *number* net *network\_name*

長構文: DN.069 Sending router hello on circuit *number* network *network\_name*

説明: 指定された回線上で ALLROUTERS アドレスにルーター・ハロー・メッセージが送信されています。

---

**DN.070**

レベル: P-TRACE

短構文: DN.070 sending lvl 1 rte on cir *number* net *network\_name*

長構文: DN.070 Sending level 1 routing message on circuit *number* network *network\_name*

説明: 指定された回線上で、ALLROUTERS アドレスに、レベル 1 ルーティング・メッセージが送信されています。

---

**DN.071**

レベル: P-TRACE

短構文: DN.071 sending lvl 2 rte on cir *number* net *network\_name*

長構文: DN.071 Sending level 2 routing message on circuit *number* network *network\_name*

説明: 指定された回線上で、ALLROUTERS アドレスに、レベル 2 ルーティング・メッセージが送信されています。

---

**DN.072**

レベル: ALWAYS

短構文: DN.072 too many router adjacencies *total\_adjacencies*, NBRA = *maximum\_adjacencies*

長構文: DN.072 Too many router adjacencies configured, sum = *total\_adjacencies*, NBRA = *maximum\_adjacencies*

説明: 永続データベースが、すべての回線の CIRCUIT MAXIMUM ROUTERS の合計が EXECUTOR MAXIMUM BROADCAST ROUTERS を超えるように構成されました。このエラーは致命的ではありませんが、新しい値を定義する必要があります。それによりゲートウェイは再始動します。

原因: CIRCUIT MAXIMUM ROUTERS が大きすぎます。

処置: これは、特に、ルーター隣接が 1 つしかないシリアル・ライン・インターフェースでは一般的な問題です。

原因: EXECUTOR MAXIMUM BROADCAST ROUTERS が小さすぎます。

処置: 省略時値が 32 で、かなり大きな値であるため、これは通常は問題になりません。

---

**DN.073**

レベル: C-INFO

短構文: DN.073 new 1-way adj *sender* cir *number* net *network\_name*

長構文: DN.073 new 1-way adjacency with node *sender* on circuit *number* network *network\_name*

説明: 指定されたルーターからルーター・ハロー・メッセージを受信したところですが、こちらのアドレスがそのハロー・メッセージのルーター/状態リスト内にありません。このルーターとの単一方向隣接はありますが、この隣接は、こちらのアドレスがルーター/状態リストに入れられるまでは両方向とはなりません。

原因: 新しいノードがアップ状態になりました。

処置: 隣接が両方向とならない場合を除いて処置は必要ありません。間もなく、両方向となるはずですが、両方向とならない場合、こちらのアドレスが他のルーターの

EXECUTOR MAXIMUM ADDRESS を超えています。

---

#### DN.074

レベル: C-INFO

短構文: DN.074 1-way adj *sender* timed out cir *number* net *network\_name*

長構文: DN.074 1-way adjacency with node *sender* timed out on circuit *number* network *network\_name*

説明: こちらのノード・アドレスをルーター/状態リストに含んでいない、指定されたルーターからのルーター・ハローの受信を停止しました。タイムアウトは、このルーターからの最後のルーター・ハローに指定されたハロー・タイマーの 3 倍です。このルーターとの部分隣接は除去されます。

原因: 新しいノードが、完全にアップ状態になりません。

---

#### DN.075

レベル: P-TRACE

短構文: DN.075 Pkt for me frm *sender*

長構文: DN.075 Packet for me from node *sender*

説明: こちらにアドレス指定されたパケットが受信されました。このパケットは、どのトランスポート・プロトコル用のものであるかをチェックされます。

---

#### DN.076

レベル: U-TRACE

短構文: DN.076 NSP unsupp msg type *msgflg* frm *sender*

長構文: DN.076 NSP unsupported message type *msgflg* from node *sender*

説明: こちらでは処理されないメッセージ・タイプの NSP パケットを受信しました。接続開始メッセージのみが処理されます。

---

#### DN.077

レベル: CE-ERROR

短構文: DN.077 Unk trans type *msgflg* from *sender*

長構文: DN.077 Unknown transport protocol type *msgflg* from node *sender*

説明: NSP トランスポート・プロトコル用ではないデータ・パケットを受信しました。

---

#### DN.078

レベル: C-INFO

短構文: DN.078 NSP conn init from *sender*, reject

長構文: DN.078 NSP Connect Initiate Message received from node *sender*, rejecting

説明: 指定されたノードから、NSP 接続開始メッセージまたは接続開始再送信メッセージが受信されました。それに対し、切断開始メッセージが、セッション拒否エラー・コード 4 (あて先エンド・ユーザーが存在しない) と一緒に送信されます。

原因: リモート機械上のユーザーが、NSP 接続の開始を試みましたが、ルーター内にサポートされているセッション・クライアントがありません。

---

#### DN.079

レベル: UE-ERROR

短構文: DN.079 endnode hello from *sender* cir *number* net *network\_name* dup addr w/self, ign

長構文: DN.079 endnode hello from node *sender* circuit *number* network *network\_name*, duplicate address with self, ignoring

説明: このルーターと同じ DECnet アドレスを持つノードから、エンド・ノード・ハロー・メッセージが受信されました。重複ノード・アドレスは許容されておらず、このルーターの方がより重要であるために、そのハロー・メッセージは無視されます。

原因: ユーザーの構成の誤り

処置: DECnet ノード・アドレスを変更します。

---

#### DN.080

レベル: P-TRACE

短構文: DN.080 MOP Req Cnt pkt rcvd frm *MAC\_address* cir *number* net *network\_name*

長構文: DN.080 MOP Request Counters packet received from node *MAC\_address* circuit *number* network *network\_name*

説明: 指定されたノードから、DECnet 保守操作プロトコル (MOP) 要求カウンター・パケットが受信されました。MOP カウンター・パケットは、リクエストのアドレスに送信されます。

---

**DN.081**

レベル: P-TRACE

短構文: DN.081 MOP Cnt pkt snt to *MAC\_address* cir  
*number* net *network\_name*

長構文: DN.081 MOP Counters packet sent to node  
*MAC\_address* circuit *number* network *network\_name*

説明: DECnet 保守操作プロトコル (MOP) カウンター・パケットが、指定されたアドレスに送信されています。

---

**DN.082**

レベル: P-TRACE

短構文: DN.082 MOP Sys ID pkt snt to *MAC\_address*  
cir *number* net *network\_name*

長構文: DN.082 MOP System ID packet sent to node  
*MAC\_address* circuit *number* network *network\_name*

説明: DECnet 保守操作システム ID パケットが、指定されたアドレスに送信されています。

---

**DN.083**

レベル: P-TRACE

短構文: DN.083 MOP Sys ID pkt snt to MOP cir  
*number* net *network\_name*

長構文: DN.083 MOP System ID packet sent to MOP  
circuit *number* network *network\_name*

説明: DECnet 保守操作プロトコル・システム ID パケットが、MOP マルチキャスト・アドレス AB-00-00-02-00-00 に送信されています。

---

**DN.084**

レベル: UI-ERROR

短構文: DN.084 MOP Cnt Req frm *MAC\_address* not  
supp on cir *number* net *network\_name*

長構文: DN.084 MOP Cnt Req from node  
*MAC\_address* not supported on circuit *number* network  
*network\_name*

説明: DECnet 保守操作プロトコル (MOP) 要求カウンターが指定されたホストから受信されましたが、この回線では、MOP カウンターに関するサポートはありません。

---

**DN.085**

レベル: UI-ERROR

短構文: DN.085 Ph IV rtr hlo wo bilingual rtr frm  
*node\_number* on cir *number* net *network\_name*

長構文: DN.085 Ph IV router hello without bilingual  
router from *node\_number* on circuit *number* network  
*network\_name*

説明: フェーズ IV' 専用に構成された回線上で、DECnet フェーズ IV 同報通信ルーター・ハローが受信されました。

原因: ルーターが、フェーズ IV' パケットだけを受け入れることができるネットワーク上で、フェーズ IV 同報通信ルーター・ハロー・パケットを受信しています。

処置: フェーズ IV ルーターから同報通信ルーター・ハロー・パケットを受信するには、フェーズ IV とフェーズ IV' の両方にルーターを構成しなければなりません。

---

**DN.086**

レベル: UI-ERROR

短構文: DN.086 Ph IV ennd hlo wo bilingual rtr frm  
*node\_number* on cir *circuit\_number* net *node\_name*

長構文: DN.086 Ph IV endnode hello without bilingual  
router from *node\_number* on circuit *circuit\_number*  
network *node\_name*

説明: フェーズ IV' 専用に構成された回線上で、DECnet フェーズ IV 同報通信エンド・ノード・ハローが受信されました。

原因: ルーターが、フェーズ IV' パケットだけを受け入れることができるネットワーク上で、フェーズ IV 同報通信エンド・ノード・ハロー・パケットを受信しています。

処置: フェーズ IV エンド・ノードから同報通信エンド・ノード・ハロー・パケットを受信するには、フェーズ IV とフェーズ IV' の両方にルーターを構成しなければなりません。

---

**DN.087**

レベル: UI-ERROR

短構文: DN.087 Ph IV' rtr hlo wo bilingual or ama rtr  
frm *node\_number* on cir *circuit\_number* net *node\_name*

長構文: DN.087 Ph IV' router hello without bilingual  
or ama router from *node\_number* on circuit *circuit\_number*  
network *node\_name*

---

**説明:** フェーズ IV 専用に構成された回線上で、DECnet フェーズ IV' 同報通信ルーター・ハローが受信されました。

**原因:** ルーターが、フェーズ IV パケットだけを受け入れることができるネットワーク上で、フェーズ IV' 同報通信ルーター・ハロー・パケットを受信していません。

**処置:** フェーズ IV' エンド・ノードから同報通信エンド・ノード・ハロー・パケットを受信するには、ルーターをフェーズ IV' 要求に構成しなければなりません。

---

#### DN.088

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** DN.088 Ph IV' ennd hlo wo bilingual or ama rtr frm *node\_number* on cir *circuit\_number* net *node\_name*

**長構文:** DN.088 Ph IV' endnode hello without bilingual or ama router from *node\_number* on circuit *circuit\_number* network *node\_name*

**説明:** フェーズ IV 専用に構成された回線上で、DECnet フェーズ IV' 同報通信エンド・ノード・ハローが受信されました。

**原因:** ルーターが、フェーズ IV パケットだけを受け入れることができるネットワーク上で、フェーズ IV' 同報通信エンド・ノード・ハロー・パケットを受信しています。

**処置:** フェーズ IV' エンド・ノードから同報通信エンド・ノード・ハロー・パケットを受信するには、ルーターをフェーズ IV' 要求に構成しなければなりません。

---

#### DN.089

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** DN.089 Unkn ennd hlo format frm *node\_number* on cir *circuit\_number* net *node\_name*

**長構文:** DN.089 Unknown endnode hello message format from *node\_number* on circuit *circuit\_number* network *node\_name*

**説明:** ルーターが、未知の形式のエンド・ノード・ハロー・メッセージを受信しました。

**原因:** あるステーションが、この形式のメッセージを送信しています。

**処置:** このメッセージから誤りのあるノードを判別し、メーカーに、このノードが未知の形式のハロー・メッセージを送信していることを知らせます。

---

#### DN.090

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** DN.090 Cannot bld lvl 1 rte on cir *number* net *network\_name*, blk sz too small - *block\_size*

**長構文:** DN.090 Cannot build level 1 routing message on circuit *number*, network *network\_name*, block size too small - *block\_size*

**説明:** 回線の最小ブロック・サイズが小さ過ぎるために、レベル 1 ルーティング・メッセージを作成できません。

---

#### DN.091

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** DN.091 Send fail for hello, rsn *reason\_code*, cir *number* net *network\_name*

**長構文:** DN.091 Send failed for router hello packet, reason *reason\_code*, on circuit *number* network *network\_name*

**説明:** ルーター・ハロー・パケットの伝送が、指定された回線上でエラーとなりました。理由番号は *reason\_code* に示されています。このエラーが時折発生する場合はプロトコルが破壊されることはありませんが、継続的に発生する場合には、プロトコルが破壊されます。

**原因:** 各種のハンドラー・エラー (理由コード 1)

**処置:** ハンドラーからのエラー・メッセージを検査して、*network\_name* を調べてください。

**原因:** 出力待ち行列オーバーフローまたはその他のフロー制御 (理由コード 2)

**処置:** 輻輳 (ふくそう) を緩和してください。

**原因:** ネットワークがダウン (理由コード 3)

**処置:** ネットワークがダウンしているとハンドラーが判断した理由を調べてください。

**原因:** ループまたはよくない同報通信を回避するために、ハンドラーによって除去されました (理由コード 4)。

**処置:** 構成を検査してください。

**原因:** ホストがダウン (理由コード 5)

**処置:** ホストがダウンしているとハンドラーが判断した理由を調べてください。

---

**DN.092**

レベル: UI-ERROR

短構文: DN.092 Send fail for lvl 1 rte, rsn  
*reason\_code, cir number net network\_name*

長構文: DN.092 Send failed for level 1 routing  
message, reason *reason\_code*, on circuit *number* network  
*network\_name*

説明: レベル 1 ルーティング・メッセージの伝送が、指定された回線上でエラーとなりました。この理由番号は *reason\_code* に示されています。このエラーが時折発生する場合はプロトコルが破壊されることはありませんが、継続的に発生する場合には、プロトコルが破壊されます。

原因: 各種のハンドラー・エラー (理由コード 1)

処置: ハンドラーからのエラー・メッセージを検査して、*network\_name* を調べてください。

原因: 出力待ち行列オーバーフローまたはその他のフロー制御 (理由コード 2)

処置: 輻輳 (ふくそう) を緩和してください。

原因: ネットワークがダウン (理由コード 3)

処置: ネットワークがダウンしているとハンドラーが判断した理由を調べてください。

原因: ループまたはよくない同報通信を回避するために、ハンドラーによって除去されました (理由コード 4)。

処置: 構成を検査してください。

原因: ホストがダウン (理由コード 5)

処置: ホストがダウンしているとハンドラーが判断した理由を調べてください。

---

**DN.093**

レベル: UI-ERROR

短構文: DN.093 Send fail for lvl 2 rte, rsn  
*reason\_code, cir number net network\_name*

長構文: DN.093 Send failed for level 2 routing  
message, reason *reason\_code*, on circuit *number* network  
*network\_name*

説明: レベル 2 ルーティング・メッセージの伝送が、指定された回線上でエラーとなりました。この理由番号は *reason\_code* に示されています。このエラーが時折発生する場合はプロトコルが破壊されることはありませんが、継続的に発生する場合には、プロトコルが破壊されます。

原因: 各種のハンドラー・エラー (理由コード 1)

処置: ハンドラーからのエラー・メッセージを検査して、*network\_name* を調べてください。

原因: 出力待ち行列オーバーフローまたはその他のフロー制御 (理由コード 2)

処置: 輻輳 (ふくそう) を緩和してください。

原因: ネットワークがダウン (理由コード 3)

処置: ネットワークがダウンしているとハンドラーが判断した理由を調べてください。

原因: ループまたはよくない同報通信を回避するために、ハンドラーによって除去されました (理由コード 4)。

処置: 構成を検査してください。

原因: ホストがダウン (理由コード 5)

処置: ホストがダウンしているとハンドラーが判断した理由を調べてください。

---

**DN.094**

レベル: UI-ERROR

短構文: DN.094 Send fail for MOP *message\_type*, rsn  
*reason\_code, cir number net network\_name*

長構文: DN.094 Send failed for MOP *message\_type*  
message, reason *reason\_code*, on circuit *number* network  
*network\_name*

説明: MOP メッセージの伝送が、指定された回線上でエラーとなりました。この理由番号は *reason\_code* 内に示されています。*message\_type* は、“システム ID” または “カウンター” の 1 つです。このエラーが時折発生する場合はプロトコルが破壊されることはありませんが、継続的に発生する場合には、プロトコルが破壊されます。

原因: 各種のハンドラー・エラー (理由コード 1)

処置: ハンドラーからのエラー・メッセージを検査して、*network\_name* を調べてください。

原因: 出力待ち行列オーバーフローまたはその他のフロー制御 (理由コード 2)

処置: 輻輳 (ふくそう) を緩和してください。

原因: ネットワークがダウン (理由コード 3)

処置: ネットワークがダウンしているとハンドラーが判断した理由を調べてください。

原因: ループまたはよくない同報通信を回避するために、ハンドラーによって除去されました (理由コード 4)。

処置: 構成を検査してください。



**原因:** ホストがダウン (理由コード 5)

**処置:** ホストがダウンしているとハンドラーが判断した理由を調べてください。

---

### Check dnroudtype

**短構文:** Unknown circuit router type.

**説明:** 回線ルーター・タイプが未知のものです。

**原因:** データ汚損。おそらくコーディング・エラーによる。

---

### Check dnrfgtl

**短構文:** DN routes() called with first > last

**説明:** 無効なノード・アドレス範囲を持つ dnroute ルーチンがコールされました。

**原因:** 内部整合性エラー

**処置:** サービス技術員に連絡してください。できればメモリー・ダンプを一緒に知らせてください。

---

### Check dnrbear

**短構文:** DN routes() BEA optimization failed

**説明:** dnroute ルーチンが、ルーターまたはエンド・ノードではなく、同報通信回線を介した経路を計算しました。

**原因:** 内部整合性エラー

**処置:** サービス技術員に連絡してください。できればメモリー・ダンプを一緒に知らせてください。

---

### Check dnarfgtl

**短構文:** DN Aroutes() called with first > last

**説明:** 無効な区域範囲を持つ dnAroute ルーチンがコールされました。

**原因:** 内部整合性エラー

**処置:** サービス技術員に連絡してください。できればメモリー・ダンプを一緒に知らせてください。

---

### Check dnmembug

**短構文:** DN no memory for table

**説明:** ルーティング・テーブルの記憶域割り振りに失

敗しましたが、空き記憶域のチェックが、十分な記憶域量があることを示していました。

**原因:** 内部整合性チェック

**処置:** サービス技術員に連絡してください。できればメモリー・ダンプを一緒に知らせてください。

---

### Fatal dnadbarg

**短構文:** DN bad arg to dnadjdown()

**説明:** dnadjdown ルーチンが、ルーターまたはエンド・ノードではない隣接を除去するように依頼されました。

**原因:** 内部整合性エラー

**処置:** サービス技術員に連絡してください。できればメモリー・ダンプを一緒に知らせてください。

---

### Fatal dnacnmr

**短構文:** DN no mem to read acc cntl

**説明:** 永続データベースからアクセス制御リストを読み取るために使用可能な記憶域がありません。

**原因:** 重大な記憶域不足

**処置:** ルーティング・テーブルのサイズを小さくしてより少ない量の記憶域を使用するようにするか、記憶域を追加します。

---

### Fatal dnacnmsac

**短構文:** DN no mem to store acc cntl

**説明:** 使用目的でアクセス制御リストを格納しておくために使用可能な記憶域がありません。

**原因:** 重大な記憶域不足

**処置:** ルーティング・テーブルのサイズを小さくしてより少ない量の記憶域を使用するようにするか、記憶域を追加します。

---

### Fatal dnacnmcac

**短構文:** DN no mem for acc cntl

**説明:** アクセス制御リストを作成するために使用可能な記憶域がありません。

**原因:** 重大な記憶域不足

**処置:** ルーティング・テーブルのサイズを小さくしてより少ない量の記憶域を使用するようにするか、記憶域を追加します。



---

## Fatal dncnmrfi

**短構文:** DN no mem for dnrfin

**説明:** 回線入力ルーティング・フィルター・テーブルを作成するために使用可能な記憶域がありません。

**原因:** 重大な記憶域不足

**処置:** ルーティング・テーブルのサイズを小さくしてより少ない量の記憶域を使用するようにするか、記憶域を追加します。

---

## Fatal dncnmrfo

**短構文:** DN no mem for dnrfout

**説明:** 回線出力ルーティング・フィルター・テーブルを作成するために使用可能な記憶域がありません。

**原因:** 重大な記憶域不足

**処置:** ルーティング・テーブルのサイズを小さくしてより少ない量の記憶域を使用するようにするか、記憶域を追加します。

---

## Fatal dncnmci

**短構文:** DN no mem for dnccti init

**説明:** 回線揮発性データベースを作成するために使用可能な記憶域がありません。

**原因:** 重大な記憶域不足

**処置:** ルーティング・テーブルのサイズを小さくしてより少ない量の記憶域を使用するようにするか、記憶域を追加します。

---

## Panic dnrtcrtos

**短構文:** DN routing table corrupt: routes to self

**説明:** ルーティング・データベース整合性チェッカーが、ルーティング・テーブル内に不整合を検出しました。ルーターは再始動します。

**原因:** 記憶域破壊

**処置:** メモリー・ダンプを構成し、サービス技術員に報告します。

**原因:** 内部ソフトウェア・エラー

**処置:** メモリー・ダンプを構成し、サービス技術員に報告します。

---

---

## Panic dnrtcars

**短構文:** DN routing table corrupt: area routes to self

**説明:** ルーティング・データベース整合性チェッカーが、ルーティング・テーブル内に不整合を検出しました。ルーターは再始動します。

**原因:** 記憶域破壊

**処置:** メモリー・ダンプを構成し、サービス技術員に報告します。

**原因:** 内部ソフトウェア・エラー

**処置:** メモリー・ダンプを構成し、サービス技術員に報告します。

---

## Panic dnrtcrths

**短構文:** DN routing table corrupt: routes through self

**説明:** ルーティング・データベース整合性チェッカーが、ルーティング・テーブル内に不整合を検出しました。ルーターは再始動します。

**原因:** 記憶域破壊

**処置:** メモリー・ダンプを構成し、サービス技術員に報告します。

**原因:** 内部ソフトウェア・エラー

**処置:** メモリー・ダンプを構成し、サービス技術員に報告します。

---

## Panic dnrtcrtas

**短構文:** DN routing table corrupt: route to area self

**説明:** ルーティング・データベース整合性チェッカーが、ルーティング・テーブル内に不整合を検出しました。ルーターは再始動します。

**原因:** 記憶域破壊

**処置:** メモリー・ダンプを構成し、サービス技術員に報告します。

**原因:** 内部ソフトウェア・エラー

**処置:** メモリー・ダンプを構成し、サービス技術員に報告します。

---

## Panic dnrtcartas

**短構文:** DN routing table corrupt: area route to area self

**説明:** ルーティング・データベース整合性チェッカーが、ルーティング・テーブル内に不整合を検出しました。ルーターは再始動します。

**原因:** 記憶域破壊

**処置:** メモリー・ダンプを構成し、サービス技術員に報告します。

**原因:** 内部ソフトウェア・エラー

**処置:** メモリー・ダンプを構成し、サービス技術員に報告します。

---

#### DN.095

**レベル:** CI-ERROR

**短構文:** DN.095 inp que overflow data *source* -> *destination* cir *number* net *network\_name*

**長構文:** DN.095 Input queue overflow data packet from *source* to *destination* circuit *number* network *network\_name*

**説明:** 着信短形式データ・パケットの DECnet 入力待ち行列がオーバーフローしました。転送機能は、このパケットを除去します。

**原因:** トラフィックが過剰で、転送機能が追い付きません。

**処置:** パスとパスの間のトラフィックのバランスをとるよう、回線コストを調整します。ネットワークを再構成してください。ルーターの速度を上げてください。

**原因:** バッファ資源が不十分です。

**処置:** GWCON 内の記憶域統計を調べてください。利用可能なバッファを増やすために、DECnet 構成で過剰な隣接記憶域を割り振っていないことを確認してください。

**処置:** 記憶域の量を増やしてください。

---

#### DN.096

**レベル:** CI-ERROR

**短構文:** DN.096 inp que overflow Init Msg *source* cir *number* net *network\_name*

**長構文:** DN.096 Input queue overflow Initialization Message from *source* circuit *number* network *network\_name*

**説明:** 着信初期化メッセージの DECnet 入力待ち行列がオーバーフローしました。転送機能は、このパケットを除去します。

**原因:** トラフィックが過剰で、転送機能が追い付きません。

**処置:** パスとパスの間のトラフィックのバランスをとるよう、回線コストを調整します。ネットワークを再構成してください。ルーターの速度を上げてください。

**原因:** バッファ資源が不十分です。

**処置:** GWCON 内の記憶域統計を調べてください。利用可能なバッファを増やすために、DECnet 構成で過剰な隣接記憶域を割り振っていないことを確認してください。

**処置:** 記憶域の量を増やしてください。

---

#### DN.097

**レベル:** CI-ERROR

**短構文:** DN.097 inp que overflow Verif Msg *source* cir *number* net *network\_name*

**長構文:** DN.097 Input queue overflow Verification Message from *source* circuit *number* network *network\_name*

**説明:** 着信検証メッセージの DECnet 入力待ち行列がオーバーフローしました。転送機能は、このパケットを除去します。

**原因:** トラフィックが過剰で、転送機能が追い付きません。

**処置:** パスとパスの間のトラフィックのバランスをとるよう、回線コストを調整します。ネットワークを再構成してください。ルーターの速度を上げてください。

**原因:** バッファ資源が不十分です。

**処置:** GWCON 内の記憶域統計を調べてください。利用可能なバッファを増やすために、DECnet 構成で過剰な隣接記憶域を割り振っていないことを確認してください。

**処置:** 記憶域の量を増やしてください。

---

#### DN.098

**レベル:** CI-ERROR

**短構文:** DN.098 inp que overflow Hlo/Tst Msg *source* cir *number* net *network\_name*

**長構文:** DN.098 Input queue overflow Hello/Test Message from *source* circuit *number* network *network\_name*

**説明:** 着信ハロー/テスト・メッセージの DECnet 入力待ち行列がオーバーフローしました。転送機能は、このパケットを除去します。

**原因:** トラフィックが多すぎて、転送機能が転送できません。

**処置:** パスとパスの間のトラフィックのバランスをとるように、回線コストを調整します。ネットワークを再構成してください。ルーターの速度を上げてください。

**原因:** バッファ資源が不十分です。

**処置:** GWCON 内の記憶域統計を調べてください。利用可能なバッファを増やすために、DECnet 構成で過剰な隣接記憶域を割り振っていないことを確認してください。

**処置:** 記憶域の量を増やしてください。

---

#### DN.099

**レベル:** ALWAYS

**短構文:** DN.099 max rcls rchd cir *number* net *network\_name*

**長構文:** DN.099 Maximum recalls attempts reached on circuit *number* network *network\_name*

**説明:** 発信回線が、リモート・ノードへの X.25 パーチャル・サーキットを設定するための最大許容再試行回数に達しました。ユーザーが必要な処置を講じるまでは、この回線がさらにコールを発信することはありません。

**処置:** X.25 スイッチへの接続を検査してください。その後で、いったん回線を使用不可にしてから使用可能にし、コールを再度試みてください。

---

#### DN.100

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** DN.100 Init Msg err; cir *number* net *network\_name*

**長構文:** DN.100 Initialization Message format error; circuit *number* network *network\_name*

**説明:** ルーターが、無効なヘッダー情報をもつ初期化メッセージを受け取りました。転送機能は、このパケットを除去します。

---

#### DN.101

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** DN.101 Init Msg err - wrq ver; *source\_node*, cir *number* net *network\_name*

**長構文:** DN.101 Received Initialization Message specifying unsupported version; from *source\_node*, circuit *number* network *network\_name*

**説明:** ルーターが受信した初期化メッセージは、サポートされていないバージョン番号を指定するものでした。転送機能は、このパケットを除去します。

---

#### DN.102

**レベル:** ALWAYS

**短構文:** DN.102 Init Msg rcvd; *source\_node*, cir *number* net *network\_name*

**長構文:** DN.102 Received Initialization Message; from *source\_node*, circuit *number* network *network\_name*

**説明:** ルーターが初期化メッセージを受け取りました。

---

#### DN.103

**レベル:** ALWAYS

**短構文:** DN.103 Verif Msg rcvd; *source\_node*, cir *number* net *network\_name*

**長構文:** DN.103 Received Verification Message; from *source\_node*, circuit *number* network *network\_name*

**説明:** ルーターが検証メッセージを受け取りました。

---

#### DN.104

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** DN.104 Verif fail; *source\_node*, cir *number* net *network\_name*

**長構文:** DN.104 Verification failure; from *source\_node*, circuit *number* network *network\_name*

**説明:** 検証の障害。ルーターが、検証メッセージにエラーを検出しました。

---

#### DN.105

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** DN.105 Hlo/tst fail; *source\_node*, cir *number* net *network\_name*

**長構文:** DN.105 Error detected in processing Hello/Test Message; from *source\_node*, circuit *number* network *network\_name*

**説明:** ルーターは、ハロー/テスト・メッセージの処理にエラーを検出しました。転送機能は、このパケットを除去します。

---

#### DN.106

**レベル:** ALWAYS

**短構文:** DN.106 Hlo/Tst Msg rcvd; *source\_node*, cir *number* net *network\_name*

**長構文:** DN.106 Received Hello/Test Message; from *source\_node*, circuit *number* network *network\_name*

**説明:** ルーターは、近隣からハロー/テスト・メッセージを受信しました。

---

**DN.107**

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** DN.107 no buffer for Init Msg on cir *number* net *network\_name*

**長構文:** DN.107 No buffer to build Initialization Message to send on circuit *number* network *network\_name*

**説明:** 初期化メッセージを構築、送信するために使用できるパケット・バッファがありません。

**原因:** 重大なパケット・バッファの不足

**処置:** GWCON 内の記憶域統計を検査して、パケット・バッファ・レベルを確認してください。可能なら、ルーティング・テーブルを小さくします。DECnetでこれを行うには、許容隣接数を最小限に抑えます。(該当の値を最小にするように、EXECUTOR MAXIMUM BROADCAST ROUTERS と EXECUTOR MAXIMUM BROADCAST NONROUTERS を構成します。) ルーターがルーティング・テーブルを小さくできない場合は、記憶域のサイズを大きくしてください。

**原因:** トラフィック・ピークで、利用可能なバッファがすべて使われています。

**処置:** このメッセージが時折出る場合、問題はこれです。

---

**DN.108**

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** DN.108 Snd fail for Init Msg; cir *number* net *network\_name*

**長構文:** DN.108 Send failed for Initialization Message on circuit *number* network *network\_name*

**説明:** 指定された回線上で、ルーター初期化メッセージの伝送が正常に行われませんでした。このエラーが時折発生する場合はプロトコルが破壊されることはありませんが、継続的に発生する場合には、プロトコルが破壊されます。

---

**DN.109**

**レベル:** ALWAYS

**短構文:** DN.109 snd Init Msg; cir *number* net *network\_name*

**長構文:** DN.109 Sending Initialization Message on circuit *number* network *network\_name*

**説明:** ルーターは、メッセージに示されている回線上で初期化メッセージを送信中です。

---

**DN.110**

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** DN.110 Snd fail for Verif Msg; cir *number* net *network\_name*

**長構文:** DN.110 Send failed for Verification Message on circuit *number* network *network\_name*

**説明:** 指定の回線で、ルーター検証メッセージの伝送が失敗しました。

---

**DN.111**

**レベル:** ALWAYS

**短構文:** DN.111 snd Verif Msg; cir *number* net *network\_name*

**長構文:** DN.111 Sending Verification Message on circuit *number* network *network\_name*

**説明:** ルーターは、メッセージに示されている回線上で検証メッセージを送信中です。

---

**DN.112**

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** DN.112 Snd fail for Hlo/TstMsg; cir *number* net *network\_name*

**長構文:** DN.112 Send failed for Hello/Test Message on circuit *number* network *network\_name*

**説明:** 指定の回線で、ルーターのハロー/テスト・メッセージの伝送が失敗しました。

---

**DN.113**

**レベル:** ALWAYS

**短構文:** DN.113 snd Hlo/Tst Msg; cir *number* net *network\_name*

**長構文:** DN.113 Sending Hello/Test Message on circuit *number* network *network\_name*

**説明:** ルーターは、メッセージに示されている回線上でハロー/テスト・メッセージを送信中です。

---

**DN.114**

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** DN.114 x25 reg fail

**長構文:** DN.114 Registration with X25 service failed

説明: インターフェースで、転送機能が X.25 サービスを登録できませんでした。

---

#### **DN.115**

レベル: UI-ERROR

短構文: DN.115 call req to x25 fail; intf *number* net  
*network\_name*

長構文: DN.115 Call request to X25 service failed on  
interface *number* network *network\_name*

説明: X.25 サービスに対する転送機能のコール・リクエストは、示されているネットワーク上で失敗しました。

---

## 第35章 デジタル・ネットワーク・アーキテクチャー・フェーズ V (DNAV)

この章では、デジタル・ネットワーク・アーキテクチャー・フェーズ V (DNAV) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### DNAV.001

レベル: P-TRACE

短構文: DNAV.001 DNA pkt forwarded via OSI at level *rtg\_lvl*

長構文: DNAV.001 DNA packet forwarded via OSI at level *rtg\_lvl*

説明: DNA パケットが受信され、それを転送するために OSI に渡されました。

---

### DNAV.002

レベル: P-TRACE

短構文: DNAV.002 DNA pkt translated to OSI pkt *source\_NSAP -> destination\_NSAP*

長構文: DNAV.002 DNA pkt translated to OSI pkt: *source\_NSAP -> destination\_NSAP*

説明: DNA データ・パケットが、OSI データ・パケットに正しく変換されました。

---

### DNAV.003

レベル: P-TRACE

短構文: DNAV.003 Translation of DNA pkt to OSI pkt failed

長構文: DNAV.003 Translation of DNA pkt to OSI pkt failed

説明: DNA データ・パケットの OSI データ・パケットへの変換の試みに失敗しました。

---

### DNAV.004

レベル: P-TRACE

短構文: DNAV.004 OSI pkt translated to DNA pkt *src -> dst*

長構文: DNAV.004 OSI pkt translated to DNA pkt: *src -> dst*

説明: OSI データ・パケットが、DNA データ・パケットに正しく変換されました。

---

### DNAV.005

レベル: P-TRACE

短構文: DNAV.005 Translation of OSI pkt to DNA pkt failed

長構文: DNAV.005 Translation of OSI pkt to DNA pkt failed

説明: OSI データ・パケットの DNA データ・パケットへの変換の試みに失敗しました。

---

### DNAV.006

レベル: P-TRACE

短構文: DNAV.006 OSI pkt forwarded via DNA at level *rtg\_lvl*

長構文: DNAV.006 OSI packet forwarded via DNA at level *rtg\_lvl*

説明: OSI パケットを受信し、それを転送するために DNA に渡しました。

---

### DNAV.007

レベル: UE-ERROR

短構文: DNAV.007 timed out route to DNA IV ES reactivated *src\_area. src\_node*

長構文: DNAV.007 timed out route to DNA IV ES reactivated *src\_area. src\_node*

説明: OSI データベース内で以前にタイムアウトになっている経路を含む DNA エンド・ノード・ハロー・パケットが受信されました。

---

### DNAV.008

レベル: P-TRACE

短構文: DNAV.008 ISIS hello from distance vector router funnelled to DNA

長構文: DNAV.008 ISIS hello from distance vector router funnelled to DNA

説明: 距離ベクトルを実行しているルーターから ISIS



ハローが受信されました - このハローはルーター隣接を確立するために DNA IV に渡されました。

---

#### DNAV.009

レベル: C-INFO

短構文: DNAV.009 new 1-way adj w/ phase V dist vect router *sender* cir *number* net *network\_name*

長構文: DNAV.009 new 1-way adjacency with phase V distance vector router *sender* on circuit *number* network *network\_name*

説明: 指定されたルーターから ISIS ハロー・メッセージを受信したところですが、こちらのアドレスがそのハロー・メッセージの IS 近隣リスト内にありません。このルーターとの単方向隣接はありますが、この隣接は、こちらのアドレスが IS 近隣リストに入れられるまでは両方向とはなりません。

---

#### DNAV.010

レベル: C-INFO

短構文: DNAV.010 Adj up; new phase V dist vect rtr *area*. *node* cir *number* net *network\_name*

長構文: DNAV.010 Adjacency up; new phase V distance vector router *area*. *node* circuit *number* network *network\_name*

説明: 直接接続ネットワークの 1 つで、現在、指定されたルーターとの隣接が行われています。レベル 1 (および 2) ルーティング・メッセージが、このノードから受け入れられるようになります。

---

#### DNAV.011

レベル: C-INFO

短構文: DNAV.011 Adj dwn: dropped by phase V dist vect rtr *area*. *node*, cir *number* net *network\_name*

長構文: DNAV.011 Adjacency down, operator initiated: dropped by phase V distance vector router *area*. *node*, circuit *number* network *network\_name*

説明: こちらとの隣接があるルーターから ISIS ハロー・メッセージを受信したが、その IS 近隣リストにこちらのアドレスが含まれていません。隣接はダウンとなり、こちら側のアドレスがその IS 近隣リストに入れられるまでアップしません。

原因: 隣接ルーターが再始動しました。

原因: 単方向通信。すなわち、このルーターは隣接ルーターからのパケットを受信できるが、隣接ルーターはこのルーターからパケットを受信できません。

処置: 回線上に両方向通信があることを確認します。

---

#### DNAV.012

レベル: UE-ERROR

短構文: DNAV.012 pkt trans V to IV err - segmentation needed but not permitted

長構文: DNAV.012 packet translation V to IV error - segmentation needed but not permitted

説明: OSI データ・パケットが、セグメント化を必要としているために DNA IV データ・パケットに変換できませんでした。そのセグメント化は許可されていません。

---

#### DNAV.013

レベル: UE-ERROR

短構文: DNAV.013 pkt trans V to IV err - src or dst addr not translatable

長構文: DNAV.013 packet translation V to IV error - source or destination address not translatable

説明: OSI データ・パケットが、発信元または宛先アドレスがフェーズ IV 変換可能ではないために、DNA IV データ・パケットに変換できませんでした。

---

#### DNAV.014

レベル: UE-ERROR

短構文: DNAV.014 Validation of phase IV info in ISIS hello PDU failed

長構文: DNAV.014 Validation of phase IV info in ISIS hello PDU failed

説明: 無効なフェーズ IV 情報オプションを含む ISIS ハロー PDU が受信されました。

---

#### DNAV.015

レベル: UE-ERROR

短構文: DNAV.015 Phase IV hello from Phase V system dropped

長構文: DNAV.015 Phase IV hello from Phase V system dropped

説明: フェーズ IV ハロー PDU が、フェーズ V システムによって送信されたために除去されました - フェーズ V システムとの隣接は、フェーズ V ハローを使用して確立されます。

---

**DNAV.016**

レベル: UE-ERROR

短構文: DNAV.016 L1 LSP from DNA system dropped - running dist vect at level 1

長構文: DNAV.016 L1 LSP from DNA system dropped - running dist vect at level 1

説明: DNA システムから受信されたレベル 1 リンク状態パケットが、このルーターがレベル 1 で距離ベクトルを実行しているために除去されました。

---

**DNAV.017**

レベル: UE-ERROR

短構文: DNAV.017 L2 LSP from DNA system dropped - running dist vect at level 2

長構文: DNAV.017 L2 LSP from DNA system dropped - running dist vect at level 2

説明: DNA システムから受信されたレベル 2 リンク状態パケットが、このルーターがレベル 2 で距離ベクトルを実行しているために除去されました。

---

**DNAV.018**

レベル: UE-ERROR

短構文: DNAV.018 ISIS hello dropped - nonmatching Phase IV areas

長構文: DNAV.018 ISIS hello dropped - nonmatching Phase IV areas

説明: ISIS ハロー PDU が、区域アドレス・オプション内のフェーズ IV 区域アドレスがこのルーターのフェーズ IV 区域アドレスと一致しないために除去されました。

---

**DNAV.019**

レベル: C-INFO

短構文: DNAV.019 Adj up; new DNA V endnode *area.node cir number net network\_name*

長構文: DNAV.019 Adjacency up; new DNA V endnode *area.node circuit number network network\_name*

説明: 現在、指定されたネットワーク上で、指定された DNA フェーズ V エンド・ノードとの隣接がありません。

原因: 有効な ISO ISIS ハロー・メッセージが受信されました。

---

**DNAV.020**

レベル: UE-ERROR

短構文: DNAV.020 Trans DNIV pkt not forwarded - mapping of out adj ID *area.node* to SNPA add failed

長構文: DNAV.020 Translated DECnet IV packet not forwarded - mapping of output adjacency's Phase IV ID *area.node* to an OSI SNPA address failed.

説明: DECnet IV パケットの DECnet V パケットへの変換が、出力隣接の DECnet IV ID と OSI SNPA アドレスとの間にマッピングが見付からなかったために失敗しました。

原因: エンド・システム隣接が、ネクスト・ホップ・システムの OSI データベース内に存在しません。

---

**DNAV.021**

レベル: UE-ERROR

短構文: DNAV.021 verify fail on cir (*routing-circuit*)

長構文: DNAV.021 verification failure on circuit (*routing-circuit*)

説明: 回線上のリンクの初期化中に、検証エラーがありました。

---

**DNAV.022**

レベル: UE-ERROR

短構文: DNAV.022 link init timeout on cir (*routing-circuit*)

長構文: DNAV.022 link initialization timeout on circuit (*routing-circuit*)

説明: ルーターがリンクの初期化を正常に完了する前に、リンク初期化タイマーが満了となりました。

---

**DNAV.023**

レベル: UE-ERROR

短構文: DNAV.023 init min timeout on cir(*routing-circuit*)

長構文: DNAV.023 Initial Minimum Timer expired on circuit (*routing-circuit*)

説明: ルーターがリンクの初期化を正常に完了する前に、初期最小タイマーが満了となりました。

---

---

#### DNAV.024

レベル: UE-ERROR

短構文: DNAV.024 link init fail on cir (  
*routing-circuit*)

長構文: DNAV.024 link initialization failure on circuit (  
*routing-circuit*)

説明: 回線上のリンク初期化が失敗しました。

---

#### DNAV.025

レベル: C-INFO

短構文: DNAV.025 Adj up; new DNA IV VAXcluster  
alias *area. node cir number net network\_name*

長構文: DNAV.025 Adjacency up; new DNA IV  
VAXcluster alias *area. node circuit number network  
network\_name*

説明: 現在、指定されたネットワーク上で VAXcluster  
別名アドレスを表している DNA フェーズ IV エンド・  
ノード隣接があります。

原因: ルーターは有効な DNA IV レベル 1 ルーティ  
ング・メッセージを受信しましたが、これが VAXcluster  
別名アドレスを公示しています。

---

#### DNAV.026

レベル: C-INFO

短構文: DNAV.026 Adj dwn; DNA IV VAXcluster  
alias *area. node cir number net network\_name*

長構文: DNAV.026 Adjacency down; DNA IV  
VAXcluster alias *area. node circuit number network  
network\_name*

説明: VAXcluster 別名アドレスを表している DNA フ  
ェーズ IV エンド・ノード隣接がダウンしました。

原因: 別名アドレスがタイムアウトになったことを公  
示している DNA IV ルーターへの隣接。

原因: ルーターが有効な DNA IV レベル 1 ルーティ  
ング・メッセージを受信したルーターは、別名アドレ  
スを公示していました。隣接は現在別の別名アドレ  
スを公示しているか、または別名アドレスをまったく  
公示していません。

---

## 第36章 距離ベクトル・マルチキャスト・ルーティング・プロトコル (DVM)

この章では、距離ベクトル・マルチキャスト・ルーティング・プロトコル (DVM) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### DVM.001

レベル: UE-ERROR

短構文: DVM.001 Unknown DVMRP code from *IP\_source*, code= *message\_code*

長構文: DVM.001 Received unknown DVMRP code from *IP\_source*, code= *message\_code*

説明: 指定の発信元から DVMRP メッセージを受信しましたが、認識できない IGMP コード値が入っています。パケットは廃棄されます。

---

### DVM.002

レベル: UE-ERROR

短構文: DVM.002 No matching VIF for pkt from *IP\_source*, code = *message\_code*

長構文: DVM.002 No matching DVMRP interface for packet from *IP\_source*, code= *message\_code*

説明: 指定の発信元から DVMRP メッセージを受信しましたが、一致する DVMRP インターフェースが見つかりませんでした。これは、(発信元とログ・ルーターのどちらかに) 構成エラーがあることを示していると考えられます。パケットは廃棄されます。

---

### DVM.003

レベル: P-TRACE

短構文: DVM.003 Rcvd DVMRP Report from *IP\_source*

長構文: DVM.003 Received DVMRP Report from *IP\_source*

説明: 指定の発信元から DVMRP レポート (ルーティング更新) を受信しました。これは正常な定期的事象であり、これによって DVMRP ルーティング・テーブルへの追加が行われる可能性があります。

---

### DVM.004

レベル: U-TRACE

短構文: DVM.004 Rcvd DVMRP probe from *IP\_source*

長構文: DVM.004 Received DVMRP probe from *IP\_source*

説明: 指定の発信元から DVMRP プローブを受信しました。これは幾分異常であり、これが発生するのは、インターフェース上での DVMRP 会話が開始されたばかりのときだけに限られるはずですが。

---

### DVM.005

レベル: UE-ERROR

短構文: DVM.005 Rcvd bad DVMRP update from *IP\_source*

長構文: DVM.005 Received bad DVMRP update from *IP\_source*

説明: 指定の発信元から DVMRP 更新を受信しました。この更新はフォーマットが不適正であり、その内容の少なくとも一部が廃棄されました。

---

### DVM.006

レベル: U-TRACE

短構文: DVM.006 Add phyint *IP\_interface\_address* cost thresh *threshold*

長構文: DVM.006 Add physical interface *IP\_interface\_address* cost *cost* thresh *threshold*

説明: 示されているコストおよび限界値パラメーターで、指定の物理インターフェースにおいて DVMRP が使用可能にされています。

---

### DVM.007

レベル: U-TRACE

短構文: DVM.007 Add tunnel *tunnel\_source->tunnel\_destination* cost *cost* thresh *threshold*

長構文: DVM.007 Add tunnel *tunnel\_source->tunnel\_destination* cost *cost* thresh *threshold*

説明: 示されているコストおよび限界値パラメーターで、指定の発信元とあて先の間、DVMRP トンネルが構成されています。

---

**DVM.008**

レベル: U-TRACE

短構文: DVM.008 Add MOSPF cost *cost* thresh  
*threshold*

長構文: DVM.008 Add MOSPF cost *cost* thresh  
*threshold*

説明: 示されているコストおよび限界値パラメーターで、MOSPF ネットワークを通る DVMRP のトンネル伝送が使用可能にされています。

---

**DVM.009**

レベル: U-TRACE

短構文: DVM.009 Add/update route to *source\_network*  
via *neighbor\_IP\_address*

長構文: DVM.009 Add route to source *source\_network*  
via neighbor *neighbor\_IP\_address*

説明: DVMRP 更新を処理中であるか、インターフェースがアップになったという事実によって、特定の発信元に関するルーティング・テーブル項目の作成または改訂を行うことになりました。

---

**DVM.010**

レベル: U-TRACE

短構文: DVM.010 Delete route to *source\_network*

長構文: DVM.010 Delete route to source  
*source\_network*

説明: 発信元が到達不可能であることを、近隣が通知してきました。

---

**DVM.011**

レベル: U-TRACE

短構文: DVM.011 Add neighbor *neighbor\_IP\_address*

長構文: DVM.011 Add neighbor *neighbor\_IP\_address*

説明: プロブまたは更新メッセージの受信によって、新規 DVMRP 近隣が発見されました。

---

**DVM.012**

レベル: U-TRACE

短構文: DVM.012 Delete neighbor *neighbor\_IP\_address*

長構文: DVM.012 Delete neighbor *neighbor\_IP\_address*

説明: 近隣は到達不可能になっています。タイムアウト

になったか、関連インターフェースがダウンしたかのいずれかです。

---

**DVM.013**

レベル: C-TRACE

短構文: DVM.013 Sending DVMRP probe to  
*neighbor\_IP\_address*, VIF: *VIF\_index*

長構文: DVM.013 Sending probe to  
*neighbor\_IP\_address*, VIF: *VIF\_index*

説明: DVMRP 近隣プロブを、指定のアドレスに送信しました。

---

**DVM.014**

レベル: C-TRACE

短構文: DVM.014 Sending DVMRP update to  
*neighbor\_IP\_address*, VIF: *VIF\_index*

長構文: DVM.014 Sending probe to  
*neighbor\_IP\_address*, VIF: *VIF\_index*

説明: DVMRP ルーティング更新を、指定のアドレスに送信しました。

---

**DVM.015**

レベル: U-TRACE

短構文: DVM.015 Route to *source\_network* timed out

長構文: DVM.015 Route to source *source\_network*  
timed out

説明: 特定の発信元への経路がタイムアウトになりました。

---

**DVM.016**

レベル: U-TRACE

短構文: DVM.016 Neighbor *neighbor\_IP\_address* timed  
out

長構文: DVM.016 Neighbor *neighbor\_IP\_address* has  
timed out

説明: 近隣がタイムアウトになっています。最近ここから更新を入手していませんでした。

---

**DVM.017**

レベル: UI-ERROR

短構文: DVM.017 No mem for source *source\_network*

長構文: DVM.017 No memory for source network  
*source\_network*

説明: a) ヒープ記憶域が不足していて、DVMP ルーティング・テーブルを割り振ることができないか、b) IP ルーティング・テーブルがオーバーフローしているか、いずれかです。いずれにしても、新規の発信元が認識できません。この発信元が直接接続サブネットの場合は、サブネット上で IGMP を実行することもできません。

---

#### DVM.018

レベル: U-TRACE

短構文: DVM.018 Added MOSPF route *source\_network*

長構文: DVM.018 Added MOSPF route *source\_network*

説明: DVMP を介した MOSPF 経路の公示が開始されました。

---

#### DVM.019

レベル: U-TRACE

短構文: DVM.019 Deleted MOSPF route *source\_network*

長構文: DVM.019 Deleted MOSPF route *source\_network*

説明: DVMP を介した MOSPF 経路の公示が停止しました。

---

#### DVM.020

レベル: UI-ERROR

短構文: DVM.020 No room for neighbor *neighbor\_IP\_address*

長構文: DVM.020 No room for neighbor *neighbor\_IP\_address*

説明: 新しい近隣用のデータ構造を割り振る余地がありませんでした。近隣からの DVMP 経路は無視されます。

---

#### DVM.021

レベル: P-TRACE

短構文: DVM.021 Packet rcvd from mis/unconfigured tunnel *source\_IP\_address*

長構文: DVM.021 Packet received from mis/unconfigured tunnel *source\_IP\_address*

説明: プロトコル 4 (IP カプセル化) を介してパケットを受信しました。このパケットは、トンネルの他端によってソース・ルーティングされるはずですが、トンネルが未構成であるか、あるいは、トンネルがカプセル化ではなくソース・ルーティング用に構成されているかのいずれかです。

---

#### DVM.022

レベル: C-INFO

短構文: DVM.022 Snt PRUNE (src= *source\_net* grp= *group\_address* life= *prune\_lifetime*) to *neighbor\_IP\_address*, VIF= *VIF\_index*

長構文: DVM.022 Sent PRUNE (source= *source\_net* group= *group\_address*, lifetime= *prune\_lifetime*) to *neighbor\_IP\_address*, VIF= *VIF\_index*

説明: 指定のバーチャル・インターフェース上の指定されたアドレスに DVMP PRUNE メッセージを送信しました。パケットには、示されている発信元ネットワーク、グループ・アドレス、および PRUNE 存続時間 (秒) が入っていました。PRUNE が送信されている理由は、ルーターはこのトラフィックを受信しても廃棄するだけなので無駄であると判断したためです。PRUNE は、このグループ・アドレスあてにこの発信元ネットワークから送信されたマルチキャスト・トラフィックは次の *prune\_lifetime* 秒数の間このルーターに転送してはならないことを、インターフェース上の近隣に通知します。マルチキャスト DVMP インターネットを形成するルーター間で PRUNE 情報が交換することにより、大量の無駄なマルチキャスト・トラフィックを防止することができます。

---

#### DVM.023

レベル: U-INFO

短構文: DVM.023 Snt GRAFT (src= *source\_net* grp= *group\_address*) to *neighbor\_IP\_address*, VIF= *VIF\_index*

長構文: DVM.023 Sent GRAFT (source= *source\_net* group= *group\_address*) to *neighbor\_IP\_address*, VIF= *VIF\_index*

説明: 指定のバーチャル・インターフェース上の指定されたアドレスに DVMP GRAFT メッセージを送信しました。パケットには、示されている発信元ネットワークとグループ・アドレスが入っていました。GRAFT が送信されている理由は、以前に無駄と判断されたこのマルチキャスト・トラフィックはもう無駄ではなくなったと、このルーターが判断したからです。GRAFT は、このルーターから指定されたグループ・アドレスと発信元ネットワークに対して近隣ノードが有効にしている以前の PRUNE (もしあれば) を取り消すように、インターフェース上の近隣ノードに通知します。

---

#### DVM.024

レベル: C-TRACE

短構文: DVM.024 Snt GRAFT ACK (src= *source\_net*



grp= *group\_address*) to *neighbor\_IP\_address*, VIF=  
*VIF\_index*

**長構文:** DVM.024 Sent GRAFT ACK (source=  
*source\_net* group= *group\_address*) to *neighbor\_IP\_address*,  
VIF= *VIF\_index*

**説明:** 指定のバーチャル・インターフェース上の指定  
されたアドレスに DVMRP GRAFT ACK メッセージを  
送信しました。パケットには、指定の発信元ネットワ  
ークとグループ・アドレスが入っていました。GRAFT  
ACK メッセージは、GRAFT メッセージを確認するた  
めに使用されます。

---

### DVM.025

**レベル:** C-INFO

**短構文:** DVM.025 Rec PRUNE (src= *source\_net* grp=  
*group\_address* life= *prune\_lifetime*) frm  
*neighbor\_IP\_address*, VIF= *VIF\_index*, act= *action\_taken*

**長構文:** DVM.025 Rec PRUNE (source= *source\_net*  
group= *group\_address* lifetime= *prune\_lifetime*) frm  
*neighbor\_IP\_address*, VIF= *VIF\_index* action=  
*action\_taken*

**説明:** バーチャル・インターフェース上の IP 近隣か  
ら、表示されている発信元、グループ、および存続時間  
の値が入っている PRUNE を受信しました。この  
PRUNE は受け入れられました。取られるアクションの  
唯一の可能な値は (1) "accepted" で、これは PRUNE が  
受け入れられたことを意味します。

---

### DVM.026

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** DVM.026 Rec PRUNE (src= *source\_net* grp=  
*group\_address* life= *prune\_lifetime*) frm  
*neighbor\_IP\_address*, VIF= *VIF\_index*, rej= *action\_taken*

**長構文:** DVM.026 Rec PRUNE (source= *source\_net*  
group= *group\_address* lifetime= *prune\_lifetime*) frm  
*neighbor\_IP\_address*, VIF= *VIF\_index* reject= *action\_taken*

**説明:** バーチャル・インターフェース上の IP 近隣か  
ら、表示されている発信元、グループ、および存続時間  
の値が入っている PRUNE を受信しました。この  
PRUNE は、表示されている理由で、受け入れられませ  
んでした。取られるアクションの可能な値は、次のとお  
りです。(1) "pkt trunc" - PRUNE パケットが短すぎ  
た。(2) "unknown nbr" - 送信側が既知の DVMRP 近隣  
でなかった。(3) "unreach src net" - ルーターは  
*source\_net* に転送できない。(4) "no mem for Mfcache" -  
ルーターにマルチキャスト転送エントリを作成するた  
めの記憶域がなかった。(5) "no DVMRP rte" - ルータ

ーはこの *source\_net* への DVMRP 経路を持っていな  
い。(6) "not from dependent nbr" - *source\_net* はルータ  
ーの転送先のダウンストリームの近隣でなかった。(7)  
"no mem for group" - ルーターにグループ・エントリ  
を作成するための記憶域がなかった。(8) "no mem for  
prune" - ルーターに *prune* エントリを作成するための  
記憶域がなかった。

---

### DVM.027

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** DVM.027 No mem for prune mgnt, grp  
*neighbor\_IP\_address*

**長構文:** DVM.027 No memory for prune management,  
group *neighbor\_IP\_address*

**説明:** 指定されたグループの PRUNE および GRAFT  
を管理するためのグループまたは PRUNE データ構造を  
割り振るための余地がありませんでした。記憶域を割り  
振ることができるようになるまで、PRUNE および  
GRAFT 論理の一部の機能が失われます。このメッセ  
ージが続かない場合は、状態は回復しています。そうで  
ない場合は、DVMRP 機能が失われます。

---

### DVM.028

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** DVM.028 No buf for msg *message\_code*, frm  
*src\_IP*

**長構文:** DVM.028 No buffer for message *message\_code*,  
frm *src\_IP*

**説明:** DVMRP メッセージを送信するために利用可能  
なバッファが得られませんでした。これは、送信する  
必要があった DVMRP メッセージが送信されていない  
ことを意味しています。このメッセージが続かない場合  
は、状態は回復しています。そうでない場合は、  
DVMRP の機能が失われます。

---

### DVM.029

**レベル:** C-INFO

**短構文:** DVM.029 Rec GRAFT (src= *source\_net* grp=  
*group\_address*) frm *neighbor\_IP\_address*, VIF=  
*VIF\_index*, act= *action\_taken*

**長構文:** DVM.029 Rec GRAFT (source= *source\_net*  
group= *group\_address*) frm *neighbor\_IP\_address*, VIF=  
*VIF\_index* action= *action\_taken*

**説明:** バーチャル・インターフェース上の IP 近隣か  
ら、表示されている発信元とグループの値が入っている  
GRAFT を受信しました。取られるアクションの可能な

値は、次のとおりです。(1) "accepted" - GRAFT がルーターの prune データベース内の PRUNE と一致した。(2) "pkt trunc" - PRUNE パケットが短すぎた。(3) "unknown nbr" - 送信側が既知の DVMRP 近隣でない。(4) "unreach src net" - ルーターは source\_net に転送できない。(5) "no mem for Mfcache" - ルーターにマルチキャスト転送エントリーを作成するための記憶域がなかった。(6) "no DVMRP rte" - ルーターはこの source\_net への DVMRP 経路を持っていない。(7) "not from dependent nbr" - source\_net はルーターの転送先のダウンストリーム近隣でなかった。(8) "no group found" - ルーターはこのグループのグループ・エントリーを見付けることができなかった。(9) "no prune found" - ルーターは prune エントリー内に一致する prune を見付けることができなかった。これらの多くは正常でないように思えますが、"pkt trunc" と "unknown nbr" を除くすべてに対して GRAFT ACK が送信されます。

---

### DVM.030

レベル: C-INFO

**短構文:** DVM.030 Rec GRAFT ACK (src= *source\_net* grp= *group\_address*) frm *neighbor\_IP\_address*, VIF= *VIF\_index*, act= *action\_taken*

**長構文:** DVM.030 Rec GRAFT ACK (source= *source\_net* group= *group\_address*) frm *neighbor\_IP\_address*, VIF= *VIF\_index* action= *action\_taken*

**説明:** バーチャル・インターフェース上の IP 近隣から、表示されている発信元と値が入っている GRAFT ACK を受信しました。取られるアクションの可能な値は、次のとおりです。(1) "accepted" - GRAFT ACK は確認を必要としているルーター上の GRAFT と一致した。(2) "pkt trunc" - GRAFT ACK が短すぎた。(3) "unknown nbr" - 送信側が既知の DVMRP 近隣でなかった。(4) "unreach src net" - ルーターは source\_net への経路を持っていない。(5) "no mem for Mfcache" - ルーターにマルチキャスト転送エントリーを作成するための記憶域がなかった。(6) "no DVMRP rte" - ルーターはこの source\_net への DVMRP 経路を持っていない。(7) "no group found" - ルーターはこのグループのグループ・エントリーを見付けることができなかった。(8) "not upstream nbr" - GRAFT ACK はアップストリーム近隣からのものでなかった。正常な場合は受け入れられますが、テーブルは動的に変更されるので、他の値が出されるのが通常です。このメッセージのアクションが受け入れられない状態が続く場合は、プロトコルに問題がある可能性があります。おそらく GRAFT ACK を送信するルーターに問題があるものと思われます。

---

### DVM.031

レベル: C-TRACE

**短構文:** DVM.031 Unsupported Default Route from *neighbor\_IP\_address*, VIF= *VIF\_index*

**長構文:** DVM.031 Received a default route entry, which is not supported, from *neighbor\_IP\_address*, VIF= *VIF\_index*

**説明:** ルーターは指定されたバーチャル・インターフェース上でデフォルトの経路公示を受信しました。この DVMRP では、マルチキャストに対してはデフォルトの経路をサポートしていません。



---

## 第37章 DS

この章では、DS メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### DS.001

レベル: C-INFO

短構文: DS.001 Initializing DS; status= *init\_status*.

長構文: DS.001 Initializing DS function; result status is *init\_status*.

説明: 初期化機能を実行するために、DS 初期化ルーチンがコールされました。結果の状態 (NOT CONFIGURED、STARTED、CONFIG ERROR) が表示されています。

---

### DS.002

レベル: C-INFO

短構文: DS.002 DS stopped at clock *time\_now*.

長構文: DS.002 DS function is stopped by operator at system clock *time\_now*.

説明: オペレーターが `op-console` コマンドを使用して DS 機能を停止しました。

---

### DS.003

レベル: U-INFO

短構文: DS.003 DS Init

長構文: DS.003 DS initialization

説明: このメッセージは、DiffServe が使用可能になったときに印刷されます。

---

### DS.004

レベル: U-INFO

短構文: DS.004 DS Int up; net: *net\_number*; net-type: *net-type* speed: *net\_speed*

長構文: DS.004 DiffServ interface up on on net *net\_number* of type *net-type* with speed *net\_speed*

説明: このメッセージは、インターフェース上で DiffServe が初期化される時に印刷されます。

---

### DS.005

レベル: U-INFO

短構文: DS.005 DS net dn; net *net\_number*

長構文: DS.005 DiffServ interface down on net *net\_number*

説明: このメッセージは、DiffServe インターフェースがダウンするときに印刷されます。

---

### DS.006

レベル: U-INFO

短構文: DS.006 in *net\_number*, out *net\_number*, *strm\_id* *stream\_id*, Got Neg Pol Ptr

長構文: DS.006 in net *net\_number*, out net *net\_number*, stream id *stream\_id*. Got Negotiated Policy pointer in Decision Object.

説明: このメッセージは、Decision Object が Negotiated Policy ポインターをもつときに印刷されます。

---

### DS.007

レベル: UI-ERROR

短構文: DS.007 in *net\_number*, out *net\_number*, NULL Decision pntnr from CPE

長構文: DS.007 in net *net\_number*, out net *net\_number*. NULL Decision pointer returned from CPE

説明: このメッセージは、CPE が NULL 決定ポインターと一緒に OK を返すときに印刷されます。

---

### DS.008

レベル: UI-ERROR

短構文: DS.008 Run out buckets in free pools

長構文: DS.008 Run out buckets in istream, ostream or timer fbl's.

説明: このメッセージは、`ds_add_xxx` ルーチンで印刷されます。

---

### DS.009

レベル: UI-ERROR

短構文: DS.009 Delete fixed streams

長構文: DS.009 Delete fixed streams such as control, resv and best-effort.

説明: このメッセージは、ds\_delete\_xxx ルーチンで印刷されます。

---

#### DS.010

レベル: UI-ERROR

短構文: DS.010 Fail to add an istream id net

長構文: DS.010 Fail to add an istream id net

説明: このメッセージは、ds\_add\_istream() ルーチンで印刷されます。

---

#### DS.011

レベル: UI-ERROR

短構文: DS.011 Fail to add an ostream net

長構文: DS.011 Fail to add an ostream net

説明: このメッセージは、ds\_add\_ostream() ルーチンで印刷されます。

---

#### DS.012

レベル: UI-ERROR

短構文: DS.012 Fail to chain an istream id net and an ostream net

長構文: DS.012 Fail to chain an istream id net and an ostream net

説明: このメッセージは、ds\_io\_chain() ルーチンで印刷されます。

---

#### DS.013

レベル: UI-ERROR

短構文: DS.013 Fail to add a timer entry net

長構文: DS.013 Fail to add a timer entry net

説明: このメッセージは、ds\_reg\_timer() ルーチンで印刷されます。

---

#### DS.014

レベル: UI-ERROR

短構文: DS.014 Fail to un-chain an istream net and an ostream net

長構文: DS.014 Fail to un-chain an istream net and an ostream net

説明: このメッセージは、ds\_io\_unchain() ルーチンで印刷されます。

---

#### DS.015

レベル: UI-ERROR

短構文: DS.015 Fail to delete a timer entry net

長構文: DS.015 Fail to delete a timer entry net

説明: このメッセージは、ds\_reg\_timer() ルーチンで印刷されます。

---

#### DS.016

レベル: UI-ERROR

短構文: DS.016 Fail to delete an istream id net

長構文: DS.016 Fail to delete an istream id net

説明: このメッセージは、ds\_del\_istream() ルーチンで印刷されます。

---

#### DS.017

レベル: UI-ERROR

短構文: DS.017 Fail to delete an ostream net

長構文: DS.017 Fail to delete an ostream net

説明: このメッセージは、ds\_del\_ostream() ルーチンで印刷されます。

---

#### DS.018

レベル: UI-ERROR

短構文: DS.018 Inconsistent qid during stream checks net

長構文: DS.018 The new stream has a different queue id with the existing one net

説明: このメッセージは、ds\_check\_spec() ルーチンで印刷されます。

---

#### DS.019

レベル: UI-ERROR

短構文: DS.019 Net q no out buff need curr max

長構文: DS.019 Net queue has no output buffer needed current alloc max alloc

説明: このメッセージは、ds\_check\_spec() ルーチンおよび ds\_add\_ostream\_buf ルーチンで印刷されます。

---

---

**DS.020**

レベル: UI-ERROR

短構文: DS.020 Unknown service type

長構文: DS.020 Unknown service type for the new sessions

説明: このメッセージは、ds\_check\_spec() ルーチンで印刷されます。

---

**DS.021**

レベル: UI-ERROR

短構文: DS.021 Net q no in buff need curr max

長構文: DS.021 Net Queue has no input buffer needed current alloc max alloc

説明: このメッセージは、ds\_check\_spec() ルーチンおよび ds\_add\_istream\_buf ルーチンで印刷されます。

---

**DS.022**

レベル: UI-ERROR

短構文: DS.022 Bad stream type during timer checking

長構文: DS.022 Bad stream type (that is, not a regular one) during timer checking

説明: このメッセージは、ds\_check\_timeout() ルーチンで印刷されます。

---

**DS.023**

レベル: UI-ERROR

短構文: DS.023 Bad stream status during timer checking

長構文: DS.023 Bad stream type (that is, not full nor idle) during timer checking

説明: このメッセージは、ds\_check\_timeout() ルーチンで印刷されます。

---

**DS.024**

レベル: U-INFO

短構文: DS.024 dsact: QPri= que\_pri, RateT= rate\_type, Rate= rate

長構文: DS.024 DiffServ action: Queue Priority= que\_pri, Rate Type= rate\_type and Rate= rate

説明: このメッセージは、Decision Object から DiffServ アクションを構文解析するときに印刷されます。

---

**DS.025**

レベル: UI-ERROR

短構文: DS.025 Init DS, net net\_number: dlcid: init\_status; status= .

長構文: DS.025 Initializing DS function on net net\_number, dlcid init\_status; result status is .

説明: このメッセージは、インターフェース上で DiffServe が初期化されるときに印刷されます。

---

**DS.026**

レベル: U-INFO

短構文: DS.026 DS Int dn; net net\_number; not enabled.

長構文: DS.026 DiffServ interface on net net\_number; not PPP/FR or not enabled or not configured.

説明: このメッセージは、インターフェース上で DiffServe が初期化されるときに印刷されます。

---

**DS.027**

レベル: UI-ERROR

短構文: DS.027 Bad rc return\_code from CPE

長構文: DS.027 Return Code from CPE is not CPE\_OK, rc = return\_code

説明: このメッセージは、CPE がよくない戻りコードを付けて戻るときに印刷されます。

---

**DS.028**

レベル: UI-ERROR

短構文: DS.028 dsapi: in net\_number, out net\_number. error\_msg.

長構文: DS.028 DiffServ API: Error from DS API functions; input net net\_number, output net net\_number; status = error\_msg.

説明: このメッセージは、DSAPI 機能に誤りがあるときに印刷されます。

---

**DS.029**

レベル: UI-ERROR

短構文: DS.029 dsapi: out net\_number. error\_msg

長構文: DS.029 DiffServ API: Error from DS API functions; output net net\_number; status = error\_msg.



説明: このメッセージは、DSAPI 機能に誤りがあるときに印刷されます。

---

#### DS.030

レベル: U-INFO

短構文: DS.030 dsapi: in *net\_number*, out *net\_number*. Added Stream *stream\_ptr*

長構文: DS.030 DiffServ API: Stream added from in net *net\_number* to out net *net\_number*. Stream id *stream\_ptr*.

説明: このメッセージは、DS ストリームが追加される時に印刷されます。

---

#### DS.031

レベル: UI-ERROR

短構文: DS.031 ds\_get\_vif: *value*;; reason= *reason*

長構文: DS.031 ds\_get\_vif: failed to get vif; frntry or dcli: *value*;; reason= *reason*

説明: このメッセージは、ストリーム・インスタンス化がストリームの FR vif を入手することに失敗したときに表示されます。

---

#### DS.032

レベル: U-INFO

短構文: DS.032 ds\_fr\_nget: dcli *dcli*, pkt lgt *lgt*, q weight *weight* Xmitting pkt..

長構文: DS.032 ds\_fr\_nget: Xmitting packet from DLCI *dcli*, length *lgt*, from q weight *weight*.

説明: このメッセージは、フレーム・リレー・トラフィック・シェーパがパケットにゴーアヘッドを与えるときに印刷されます。

---

#### DS.033

レベル: U-INFO

短構文: DS.033 ds\_fr\_nget: dcli *dcli*, CIR *cir*, Not Xmitting pkt..

長構文: DS.033 ds\_fr\_nget: Packet from dcli *dcli*, CIR *cir* (Bytes/s) did not pass FR traffic shaping.

説明: このメッセージは、フレーム・リレー・トラフィック・シェーパがパケット上で障害を起こすときに印刷されます。

---

#### DS.034

レベル: UI-ERROR

短構文: DS.034 ds\_update\_stream: neg alloc\_buff *alloc\_buff*, last *last-change* sp *streamptr* type *stream-type* reset

長構文: DS.034 ds\_update\_stream: negative alloc\_buff amount *alloc\_buff* last change *last-change* *streamptr* type *stream-type* reset to zero.

説明: このメッセージは、割り振りバッファの量がマイナスになるときに印刷されます。

---

#### DS.035

レベル: U-INFO

短構文: DS.035 ds\_nout: In stream: in\_shr\_buf *in\_shr\_buf*, in\_extra *in\_extra*

長構文: DS.035 ds\_nout: Input stream: in\_shr\_buf *in\_shr\_buf*, in\_extra *in\_extra*.

説明: *diffserv\_out* または *ds\_fr\_nout* が、パケット D\_OVFL インストリームを廃棄しました。

---

#### DS.036

レベル: U-INFO

短構文: DS.036 ds\_nout: Output stream: out\_max\_buf *out\_max\_buf*, out\_curr\_buff *out\_curr\_buf*, lgt *lgt*

長構文: DS.036 ds\_nout: Output stream: out\_max\_buf *out\_max\_buf*, out\_curr\_buff *out\_curr\_buf*, length *lgt*

説明: *diffserv\_out* または *ds\_fr\_nout* が、使用されたパケット D\_OVFL *out\_max\_buf* を廃棄しました。

---

#### DS.037

レベル: U-INFO

短構文: DS.037 ds\_nout: Output stream: out\_shr\_buf *out\_max\_buf*, out\_extra *out\_extra*, buff\_diff *buff\_diff*

長構文: DS.037 ds\_nout: Output stream: out\_shr\_buf *out\_max\_buf*, out\_extra *out\_extra*, buff\_diff *buff\_diff*

説明: *diffserv\_out* または *ds\_fr\_nout* が、使用されたパケット D\_OVFL *out\_share\_buf* を廃棄しました。

---

#### DS.038

レベル: UI-ERROR

短構文: DS.038 dsapi: istr *istream\_number* buff *curr\_buff*: *error\_msg*.

長構文: DS.038 DiffServ API: Error from DS API

functions; istream *istream\_number*, curr\_buff *curr\_buff*;  
status = *error\_msg*.

**説明:** このメッセージは、istream 削除時に未処理のバッファが存在するときに印刷されます。

---

### DS.039

**レベル:** U-INFO

**短構文:** DS.039 ds\_api: Sid: *StreamId Queue* Policer:  
rate: *averageRate* peak: *peakRate* token: *TokenBucketSize*  
action: *PolicerAction*

**長構文:** DS.039 ds\_api: Stream ID: *StreamId Queue*  
Policer: avg rate: *averageRate* peak rate: *peakRate* token  
bucket (B): *TokenBucketSize* action: *PolicerAction*

**説明:** policer パラメーターおよびアクションを報告します。

---

### DS.040

**レベル:** U-INFO

**短構文:** DS.040 DS MLPPP clkset; net: *net\_number*;  
clk\_rate: *clk\_rate*

**長構文:** DS.040 DiffServ MLPPP interface up on on net  
*net\_number* with clk\_rate *clk\_rate*

**説明:** このメッセージは、DiffServe MLPPP clk 率が初期化されたときに表示されます。



---

## 第38章 動的ホスト構成プロトコル (IPv6 リレー・エージェント用) (DHCPv6)

この章では、動的ホスト構成プロトコル (IPv6 リレー・エージェント用) (DHCPv6) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### DHC6.001

レベル: U-INFO

短構文: DHC6.001 DHCPv6 Relay Agent Enabled

長構文: DHC6.001 The DHCPv6 Relay Agent has been enabled

説明: このメッセージが生成されるのは、IPv6 用の近隣発見プロトコルで Stateful Configuration オプションを使用したため、DHCPv6 リレー・エージェント・サブシステムが使用可能になるときです。

---

### DHC6.002

レベル: U-INFO

短構文: DHC6.002 DHCPv6 Relay Agent Disabled

長構文: DHC6.002 The DHCPv6 Relay Agent has been disabled

説明: このメッセージが生成されるのは、IPv6 用の近隣発見プロトコルで Stateful Configuration オプションの使用を中断したため、DHCPv6 リレー・エージェント・サブシステムが使用不可になるときです。

---

### DHC6.003

レベル: UI-ERROR

短構文: DHC6.003 pkt rcvd, bad nt, src *Packet\_source\_address*

長構文: DHC6.003 The DHCPv6 Relay Agent received a pkt internally, src *Packet\_source\_address*

説明: DHCPv6 リレー・エージェントが、指定していないインターフェースからパケットを受信しました。リレー・エージェントは、パケットが処理される前に、受信側のインターフェースに通知するよう要求します。

---

### DHC6.004

レベル: U-INFO

短構文: DHC6.004 rcv Sol from host *Packet\_source\_address*

長構文: DHC6.004 The DHCPv6 Relay Agent received

a Solicit Message from *Packet\_source\_address*

説明: DHCPv6 リレー・エージェントは、指定されたクライアントから送信請求メッセージを受信しました。示されるアドレスは、要求を行っているクライアントの IPv6 リンク・ローカル・アドレスです。

---

### DHC6.005

レベル: U-INFO

短構文: DHC6.005 fwd Sol, *Packet\_source\_address* --> *Packet\_dest\_address*

長構文: DHC6.005 The DHCPv6 Relay Agent forwarded a Solicit Message from *Packet\_source\_address* to *Packet\_dest\_address*

説明: DHCPv6 リレー・エージェントは、指定されたクライアントから送信請求メッセージを転送しました。

---

### DHC6.006

レベル: U-INFO

短構文: DHC6.006 rcv Adv from server *Packet\_source\_address*

長構文: DHC6.006 The DHCPv6 Relay Agent received an Advertisement Message from *Packet\_source\_address*

説明: DHCPv6 リレー・エージェントは、指定されたサーバーから公示メッセージを受信しました。

---

### DHC6.007

レベル: U-INFO

短構文: DHC6.007 fwd Adv, *Packet\_source\_address* --> *Packet\_dest\_address*

長構文: DHC6.007 The DHCPv6 Relay Agent forwarded an Advertisement Message from *Packet\_source\_address* to *Packet\_dest\_address*

説明: DHCPv6 リレー・エージェントは、指定されたサーバーから指定されたクライアントに公示メッセージを転送しました。

---

**DHC6.008**

レベル: U-INFO

短構文: DHC6.008 rcv Req from host  
*Packet\_source\_address*

長構文: DHC6.008 The DHCPv6 Relay Agent received a Request Message from *Packet\_source\_address*

説明: DHCPv6 リレー・エージェントは、指定されたクライアントから要求メッセージを受信しました。

---

**DHC6.009**

レベル: UI-ERROR

短構文: DHC6.009 dsc Req from  
*Packet\_source\_address*, not link local

長構文: DHC6.009 The DHCPv6 Request Message from *Packet\_source\_address* did not use a link local address

説明: DHCPv6 リレー・エージェントは、リンク・ローカル・アドレスを IPv6 ヘッダー内で発信元アドレスとして使用しなかった要求メッセージを廃棄しました。

---

**DHC6.010**

レベル: UI-ERROR

短構文: DHC6.010 dsc Req, hdr *Packet\_source\_address*  
!= data *Packet\_data\_address*

長構文: DHC6.010 The DHCPv6 Request Message from *Packet\_source\_address* had a bad client address  
*Packet\_data\_address*

説明: DHCPv6 リレー・エージェントは、要求のクライアント・アドレス・フィールドで IPv6 ヘッダーの発信元アドレスと同じリンク・ローカル・アドレスを指定しなかった要求メッセージを廃棄しました。

---

**DHC6.011**

レベル: UI-ERROR

短構文: DHC6.011 dsc Req, pkt rcv wrong net  
*IPv6\_interface* for relay *Packet\_data\_address*

長構文: DHC6.011 The DHCPv6 Request Message was received on the wrong net ( *IPv6\_interface* ) for relay  
*Packet\_data\_address*

説明: DHCPv6 リレー・エージェントは、要求で指定されたリレー・エージェント・アドレスについて間違ったインターフェースで受信された要求メッセージを廃棄しました。

---

**DHC6.012**

レベル: UI-ERROR

短構文: DHC6.012 dsc Req, srvr not specified

長構文: DHC6.012 The DHCPv6 Request Message did not have the Server Address Present bit on

説明: DHCPv6 リレー・エージェントは、要求で Server Address Present ビットがオンにされていなかったために受信された要求メッセージを廃棄しました。

---

**DHC6.013**

レベル: U-INFO

短構文: DHC6.013 fwd Req, *Packet\_source\_address* -->  
*Packet\_dest\_address*

長構文: DHC6.013 The DHCPv6 Relay Agent forwarded a Request Message from *Packet\_source\_address* to *Packet\_dest\_address*

説明: DHCPv6 リレー・エージェントは、要求メッセージを指定されたクライアントから指定されたサーバーへと転送しました。

---

**DHC6.014**

レベル: U-INFO

短構文: DHC6.014 rcv Rpl from srvr  
*Packet\_source\_address*

長構文: DHC6.014 The DHCPv6 Relay Agent received a Reply Message from *Packet\_source\_address*

説明: DHCPv6 リレー・エージェントは、指定されたサーバーから応答メッセージを受信しました。

---

**DHC6.015**

レベル: UI-ERROR

短構文: DHC6.015 dsc Rpl, link local addr not present

長構文: DHC6.015 The DHCPv6 Reply Message did not have the Link Local Address Present bit on

説明: DHCPv6 リレー・エージェントは、応答で Link Local Address Present ビットがオンにされていなかったために受信された応答メッセージを廃棄しました。

---

**DHC6.016**

レベル: UI-ERROR

短構文: DHC6.016 dsc Rpl, clnt addr not link local ( *Packet\_data\_address* )

長構文: DHC6.016 The DHCPv6 Reply did not have a

link local address in the client field (  
*Packet\_data\_address*)

**説明:** DHCPv6 リレー・エージェントは、パケット内で指定されたクライアント・アドレスがリンク・ローカル・アドレスでなかったために受信された応答メッセージを廃棄しました。

**説明:** このメッセージが生成されるのは、ユーザーが DHCPv6 リレー・エージェント・サブシステムを使用可能にしようとするが、構成された IPv6 アドレスがないときです。

---

#### DHC6.017

**レベル:** U-INFO

**短構文:** DHC6.017 fwd Rpl, *Packet\_source\_address* -->  
*Packet\_dest\_address*

**長構文:** DHC6.017 The DHCPv6 Relay Agent forwarded a Reply Message from *Packet\_source\_address* to *Packet\_dest\_address*

**説明:** DHCPv6 リレー・エージェントは、応答メッセージを指定されたサーバーから指定されたクライアントへと転送しました。

---

#### DHC6.018

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** DHC6.018 dsc pkt, unknown msg *msg\_type*  
from *Packet\_data\_address*

**長構文:** DHC6.018 The DHCPv6 Relay Agent received an unrecognized message ( *msg\_type* ) from *Packet\_data\_address*

**説明:** DHCPv6 リレー・エージェントは、未知のメッセージ・タイプをもつメッセージを廃棄しました。

---

#### DHC6.019

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** DHC6.019 No mem for DHCPv6 servers

**長構文:** DHC6.019 There is not enough memory to allocate storage for the list of DHCPv6 servers

**説明:** このメッセージが生成されるのは、構成された DHCPv6 サーバーのリストを保管するのに十分な記憶域を割り振ることができないときです。ボックスは、マルチキャスト・モードで作動します。

---

#### DHC6.020

**レベル:** U-INFO

**短構文:** DHC6.020 DHCPv6 Relay Agent not Enabled,  
IPv6 unavailable

**長構文:** DHC6.020 The DHCPv6 Relay Agent has not been enabled, no IPv6 addresses configured





---

## 第39章 イージー・スタート機能 (EZ)

この章では、イージー・スタート機能 (EZ) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### EZ.001

レベル: ALWAYS

短構文: EZ.001 Starting.

長構文: EZ.001 Starting.

説明: EasyStart 処理が始まりました。

---

### EZ.002

レベル: ALWAYS

短構文: EZ.002 Changed one or more cfg params.

長構文: EZ.002 Changed one or more configuration parameters.

説明: EasyStart がデータ・リンクを (たとえば、PPP から FR へ) 変更したか、永続構成内のデータ・リンク・パラメーターを変更しました。EasyStart を再始動しないと、変更は有効になりません。

---

### EZ.003

レベル: ALWAYS

短構文: EZ.003 Bootp failed.

長構文: EZ.003 Called bootp client and it failed

説明: EasyStart が BOOTP をコールして、エラーとなりました。理由は、BOOTP サーバーが接続 (作動中) セグメント上にないか、あるいは BOOTP サーバーが正しく構成されていなかったことです。

---

### EZ.004

レベル: ALWAYS

短構文: EZ.004 Rcvd boot info: ipAddr *ipAddr*, ipMask *ipMask* on intf *interfaceNumber*

長構文: EZ.004 Received boot info: IPaddr: *ipAddr*, mask: *ipMask* on interface: *interfaceNumber*

説明: EasyStart が BOOTP をコールして、必須構成パラメーターの TFTP ダウンロードを行うために必要な情報を受け取りました。EasyStart は、IP アドレスおよびマスクで IP 構成を更新します。その上で、EasyStart は、変更が有効になるようにするために、システムをリブートします。

---

### EZ.005

レベル: ALWAYS

短構文: EZ.005 TFTP failed. Backing up to device configuration step.

長構文: EZ.005 TFTP failed. Backing up to device configuration step.

説明: EasyStart TFTP 転送が正常に行われませんでした。EasyStart は入出力装置構成ステップに戻って、再度試行します。

---

### EZ.006

レベル: ALWAYS

短構文: EZ.006 All dlinks/parameters tried but failed; resetting to def values.

長構文: EZ.006 All datalinks and parameters tried but failed; resetting; restarting.

説明: ルーターはすべてのデータ・リンクおよびパラメーターを試行したが、正常に行われませんでした。EasyStart が構成をリセットして、最初から開始します。

---

### EZ.007

レベル: ALWAYS

短構文: EZ.007 Waiting up to *seconds* seconds for devices to pass self-test.

長構文: EZ.007 Waiting up to *seconds* seconds for devices to pass self-test.

説明: EasyStart は装置の自己検査合格待ちの状態です。その結果で、その装置をアップまたはダウン状態にします。装置によっては、即時にアップするものがあるので、待たなくて済むようにするための可変タイマーがあります。

---

### EZ.008

レベル: ALWAYS

短構文: EZ.008 TFTP transfer completed successfully.  
\*\*\* EasyStart Completed Successfully \*\*\*

長構文: EZ.008 TFTP transfer completed successfully.

**説明:** EasyStart が正しく行われました。ルーターは、ダウンロードされた作動可能構成に合わせて再始動中です。

---

**EZ.009**

**レベル:** ALWAYS

**短構文:** EZ.009 \*\*\* Restarting Router \*\*\*

**長構文:** EZ.009 Restarting router

**説明:** パラメーターが変更されました。これらを有効なものとするために、EasyStart が再始動中です。

---

## 第40章 終端システム - 中間システム間プロトコル Protocol (ESIS)

この章では、終端システム - 中間システム間プロトコル (ESIS) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### ESIS.001

レベル: UE-ERROR

短構文: ESIS.001 ESIS input que ovflw

長構文: ESIS.001 ESIS input queue overflow

説明: ESIS タスク入力待ち行列がオーバーフローしているので、パケットは除去されます。

---

### ESIS.002

レベル: UE-ERROR

短構文: ESIS.002 rcvd incmplt pkt

長構文: ESIS.002 received incomplete packet

説明: ESIS パケットとして認識されるパケット・フラグメントを受信しました。

---

### ESIS.003

レベル: UE-ERROR

短構文: ESIS.003 rcvd pkt bad chksm= *pkt\_chksm*

長構文: ESIS.003 received packet with a bad checksum = *pkt\_chksm*

説明: 不適正なチェックサムを含む ESIS パケットを受信しました。

---

### ESIS.004

レベル: UE-ERROR

短構文: ESIS.004 rcvd pkt bad vers # = *version\_number*

長構文: ESIS.004 received packet with a bad version number (vers = *version\_number*)

説明: ESIS パケットを受信しましたが、そのバージョン番号が不適正またはサポートされていないものでした。

---

### ESIS.005

レベル: UE-ERROR

短構文: ESIS.005 rcvd pkt bad typ # = *type\_field*

長構文: ESIS.005 received packet with a bad type field (vers = *type\_field*)

説明: ESIS パケットを受信しましたが、そのタイプ・フィールドが不適正またはサポートされていないものでした。

---

### ESIS.006

レベル: UE-ERROR

短構文: ESIS.006 no iob avail to snd hello

長構文: ESIS.006 no i/o buffer available to send hello

説明: システム入出力バッファの不足のため、ESIS ハローの送信の試みが失敗しました。

---

### ESIS.007

レベル: UE-ERROR

短構文: ESIS.007 cnnt snt hello pkt hndlr err

長構文: ESIS.007 cannot send a hello packet, handler error

説明: ハンドラー・エラーのため、ESIS ハロー・パケットが送信できませんでした。

---

### ESIS.008

レベル: P-TRACE

短構文: ESIS.008 sent hello *source\_NSAP* on int *interface\_#*

長構文: ESIS.008 sent hello packet with source nsap *source\_NSAP* on int *interface\_#*

説明: インターフェース上で、ESIS ハロー・パケットを送信しました。

---

**ESIS.009**

レベル: UE-ERROR

短構文: ESIS.009 rcvd hello packet with a bad header

長構文: ESIS.009 rcvd hello packet with a bad header

説明: 保留時間フィールドまたは予約フィールドがあるハロー・パケットを受信しました。

---

**ESIS.010**

レベル: UE-ERROR

短構文: ESIS.010 rcvd hello bad nsap *source\_NSAP*

長構文: ESIS.010 received hello with bad nsap *source\_NSAP*

説明: ESIS ハロー・パケットを受信しましたが、NSAP が不適正であったか、パケットをオーバーランさせるものでした。

---

**ESIS.011**

レベル: UE-ERROR

短構文: ESIS.011 rcvd hello pkt bad opt

長構文: ESIS.011 received packet with a bad optional parameter

説明: 不適正なオプション・パラメーターを含む ESIS CLNP データ・パケットを受信しました。

---

**ESIS.012**

レベル: P-TRACE

短構文: ESIS.012 rcvd hello from *source\_NSAP* int *interface* net *network\_name*

長構文: ESIS.012 rcvd hello packet with source nsap *source\_NSAP* on int *interface*, net *network\_name*

説明: 指定されたインターフェース上で、ESIS ハロー・パケットを受信しました。

---

**ESIS.013**

レベル: UE-ERROR

短構文: ESIS.013 rcvd hello unsp dom src *source\_NSAP*

長構文: ESIS.013 rcvd hello packet unsupported domain *source\_NSAP*

説明: 認識できない IDI を含む ESIS ハロー・パケットを受信しました。

---

---

**ESIS.016**

レベル: UE-ERROR

短構文: ESIS.016 tmd out rte reac *source\_NSAP*

長構文: ESIS.016 timed out route reactivated *source\_NSAP*

説明: 以前にタイムアウトになった経路を含む ESIS ハロー・パケットを受信しました。

---

**ESIS.017**

レベル: UE-ERROR

短構文: ESIS.017 no rsrc to snd rdrct

長構文: ESIS.017 no resources to send redirect

説明: 資源不足のために、ESIS 転送パケットを送信できませんでした。

---

**ESIS.018**

レベル: UE-ERROR

短構文: ESIS.018 rdrct nt snt hndlr err

長構文: ESIS.018 redirect not sent, handler error

説明: ハンドラー・エラーのために、ESIS 転送パケットを送信できませんでした。

---

**ESIS.019**

レベル: P-TRACE

短構文: ESIS.019 sent rdrct to: *dest\_NSAP*

長構文: ESIS.019 sent redirect packet to: *dest\_NSAP*

説明: インターフェース上で ESIS 転送パケットを送信しました。

---

**ESIS.020**

レベル: UE-ERROR

短構文: ESIS.020 tmd out rte *source\_NSAP*

長構文: ESIS.020 timed out route *source\_NSAP*

説明: ESIS ハロー経路がタイムアウトになりました。

---

**ESIS.021**

レベル: UI\_ERROR

短構文: ESIS.021 Unable to allocate resources for a new ES adjacency

長構文: ESIS.021 Unable to allocate resources for a new ES adjacency

---

説明: 新しい終端システム隣接のための隣接構造を取得することができませんでした。

---

#### ESIS.022

レベル: UE\_ERROR

短構文: ESIS.022 hello PDU dropped, rcvd over p-to-p cir *cct\_num*

長構文: ESIS.022 hello PDU dropped, received over point-to-point circ *cct\_num*

説明: ESIS ハロー PDU をポイント・ポイント回線を通して受信しましたが、ESIS はポイント・ポイント回線では稼働しないため、そのパケットは除去されました。

---

#### ESIS.023

レベル: UE\_ERROR

短構文: ESIS.023 hello PDU dropped, no matching area address

長構文: ESIS.023 ESIS hello PDU dropped, no matching area address

説明: ESIS ハロー PDU が、その発信元 NSAP の区域アドレス部分がルーターの手動区域アドレスの 1 つと一致しなかったために、除去されました。

---

#### ESIS.024

レベル: P-TRACE

短構文: ESIS.024 dropped hello from *source\_NSAP* int *interface* net *network\_name* manual ES adjacency exists

長構文: ESIS.024 dropped hello packet with source nsap *source\_NSAP* on int *interface*, net *network\_name* - manual ES adjacency exists

説明: ES 用の手動隣接が存在しているために、ESIS ハロー・パケットが指定されたインターフェース上で除去されました。





---

## 第41章 環境機能 (ENV)

この章では、環境機能 (ENV) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### ENV.001

レベル: C-TRACE

短構文: ENV.001 current temp *temperature\_celsiusC*  
(*temperature\_fahrenheitF*)

長構文: ENV.001 Current ambient temperature:  
*temperature\_celsiusC* ( *temperature\_fahrenheitF*)

説明: ルーターは、現行周辺温度の再計算を行うと必ず、このメッセージを生成します。

---

### ENV.002

レベル: U-TRACE

短構文: ENV.002 hi temp thresh active:  
*threshold\_temperature\_celsiusC*  
(*threshold\_temperature\_fahrenheitF*)

長構文: ENV.002 High temperature threshold is active.  
Threshold: *threshold\_temperature\_celsiusC*  
(*threshold\_temperature\_fahrenheitF*)

説明: ルーターが高温度しきい値を超えたこと、およびその高温度しきい値が活動状態であることを示しているトレース・メッセージ。ルーターは、現行周辺温度の再計算を行い、その現行周辺温度が高温度しきい値を超えた場合には必ずこのメッセージを生成します。

---

### ENV.003

レベル: U-TRACE

短構文: ENV.003 low temp thresh active:  
*threshold\_temperature\_celsiusC*  
(*threshold\_temperature\_fahrenheitF*)

長構文: ENV.003 Low temperature threshold is active.  
Threshold: *threshold\_temperature\_celsiusC*  
(*threshold\_temperature\_fahrenheitF*)

説明: ルーターが低温度しきい値を超えたこと、およびその低温度しきい値が活動状態であることを示しているトレース・メッセージ。ルーターは、現行周辺温度を再計算し、現行周辺温度が低温度しきい値より低くなると、そのつどこのメッセージを生成します。

---

### ENV.004

レベル: UE-ERROR

短構文: ENV.004 hi temp thresh exceeded:  
*threshold\_temperature\_celsiusC*  
(*threshold\_temperature\_fahrenheitF*)

長構文: ENV.004 High temperature threshold has been exceeded. Threshold: *threshold\_temperature\_celsiusC*  
(*threshold\_temperature\_fahrenheitF*)

説明: ルーターが高温度しきい値を超えたこと、およびその高温度しきい値が活動状態であることを示しているトレース・メッセージ。ルーターは、高温度状態が活動状態であることを最初に検出したときにこのメッセージを生成します。ルーターの周辺温度がその指定稼働時最大値 (構成された高温度しきい値に関係なく、製造時に設定されている) を超えた場合は、周辺温度がその指定稼働時 (温度) 範囲に戻るまで、ルーターは自動的にシャットダウンします。これによって、ルーターおよびデータ・フローへの損傷が防止されます。

原因: 高温度しきい値の値の設定が、設置場所の平均稼働時周辺温度に対して低過ぎる構成になっています。

処置: 高温度しきい値が、特定の設置場所の通常周辺温度範囲を考慮して、希望する正しい温度に設定されているかどうか確認します。

原因: ルーターの内蔵ファンに障害がある可能性があります。

処置: ルーターの内蔵ファンの作動を確認します。内蔵ファンが作動可能でなければ、サービス技術員に連絡します。

原因: ルーターが設置されている場所の環境制御システムに障害があると考えられます。

処置: その設置場所の環境制御システムの作動を確認します。

---

### ENV.005

レベル: UE-ERROR

短構文: ENV.005 low temp thresh exceeded:  
*threshold\_temperature\_celsiusC*  
(*threshold\_temperature\_fahrenheitF*)

長構文: ENV.005 Low temperature threshold has been

exceeded. Threshold: *threshold\_temperature\_celsiusC*  
(*threshold\_temperature\_fahrenheitF*)

**説明:** ルーターが低温度しきい値を超えたこと、およびその低温度しきい値が活動状態であることを示しているトレース・メッセージ。ルーターは、低温度状態が活動状態であることを最初に検出したときにこのメッセージを生成します。

**原因:** 低温度しきい値の値が、その設置場所の平均稼働時周辺温度に対して高過ぎる構成になっています。

**処置:** 低温度しきい値が、その設置場所の通常の周辺温度範囲を考慮した、希望どおりの正しい値に設定されていることを確認します。

**原因:** ルーターが設置されている場所の環境制御システムに障害があると考えられます。

**処置:** その設置場所の環境制御システムの作動を確認します。

---

## 第42章 ESCON ネットワーク・インターフェース (ESC)

この章では、ESCON ネットワーク・インターフェース (ESC) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### ESC.001

レベル: ALWAYS

短構文: ESC.001 bd frm LANtype *lan\_type* LANnum *lan\_num* on nt *network*

長構文: ESC.001 frame received for unknown LAN type *lan\_type*, LAN number *lan\_num* on network *network*

説明: チャンネルからフレームを受信しましたが、そのあて先が不明の LAN タイプまたは LAN 番号になっています。

---

### ESC.002

レベル: ALWAYS

短構文: ESC.002 bd not *not\_id* on nt *network*

長構文: ESC.002 unknown notification *not\_id* received from device driver on network *network*

説明: 装置ドライバーから通知を受信しましたが、確認できませんでした。

---

### ESC.003

レベル: UE-ERROR

短構文: ESC.003 bd 8232 cmd *cmd* on nt *network*

長構文: ESC.003 unknown 8232 command *cmd* received on network *network*

説明: 8232 コマンドを受信しましたが、確認できませんでした。

---

### ESC.004

レベル: ALWAYS

短構文: ESC.004 bd cmd *cmd* on nt *network*

長構文: ESC.004 unknown IORB command *cmd* received on network *network*

説明: IORB を受信しましたが、不明のコマンドが含まれていました。

---

### ESC.005

レベル: ALWAYS

短構文: ESC.005 no subch on nt *network*

長構文: ESC.005 no subchannels are defined on network *network*, cannot pass self-test

説明: ESCON 基本ネットに関してサブチャンネルが定義されていないので、ネットワークは起動する (自己試験に合格する) ことができません。

原因: この基本ネット・ハンドラーのバーチャル・ネット・ハンドラーが正しく定義されていませんでした。

処置: この ESCON アダプター上でバーチャル・ネット・ハンドラーに関するサブチャンネルを定義します。

---

### ESC.006

レベル: UI-ERROR

短構文: ESC.006 STOP: no IORB on nt *network*

長構文: ESC.006 network *network* was unable to send a STOP command to the device driver because an IORB was not available

説明: ネットワークは停止を完了することができませんでした。装置ドライバーに STOP コマンドを送信する場合に使用する IORB が使用可能でなかったためです。

---

### ESC.007

レベル: P-TRACE

短構文: ESC.007 frm sent to lt *lantype* ln *lannumber* on nt *network*

長構文: ESC.007 A frame was sent to LAN type *lantype*, LAN number *lannumber* on network *network*

説明: チャンネル上でフレームを受信し、バーチャル・ネット・ハンドラーに送信しました。

---

### ESC.008

レベル: P-TRACE

短構文: ESC.008 data frm rcvd from nt *network*

長構文: ESC.008 A data frame was received from network *network*

説明: チャンネルに送信するデータ・フレームをバーチャル・ネット・ハンドラーから受信しました。

---

#### ESC.009

レベル: P-TRACE

短構文: ESC.009 cmd *cmd\_code* in frm rcvd from nt *network*

長構文: ESC.009 command *cmd\_code* in frame received from network *network*

説明: チャンネルに送信するコマンド・フレームをバーチャル・ネット・ハンドラーから受信しました。

---

#### ESC.010

レベル: P-TRACE

短構文: ESC.010 notif *notif\_code* rcvd on nt *network*

長構文: ESC.010 notification *notif\_code* received from device driver on network *network*

説明: 装置ドライバーから通知を受信しました。

---

#### ESC.011

レベル: P-TRACE

短構文: ESC.011 8232 cmd *cmd\_code* rcvd on nt *network*

長構文: ESC.011 8232 command *cmd\_code* received on network *network*

説明: 基本ネット・ハンドラーが 8232 コマンドを受信しました。

---

#### ESC.012

レベル: C-TRACE

短構文: ESC.012 nt *virtual\_net\_number* reg on nt *network*

長構文: ESC.012 Network number *virtual\_net\_number* registering on base network *network*

説明: バーチャル・ネット・ハンドラーが ESCON 基本ネット・ハンドラーに登録中です。

---

#### ESC.013

レベル: P-TRACE

短構文: ESC.013 Cmd *cmd\_code* fail stat *cmd\_status* on nt *network*

長構文: ESC.013 Command *cmd\_code* to device driver failed with status *cmd\_status* on network *network*

説明: 基本ネット・ハンドラーから装置ドライバーにコマンドが送信されましたが、これが失敗でした。

---

#### ESC.014

レベル: P-TRACE

短構文: ESC.014 Cmd *cmd\_code* sent to DD on nt *network* (sub locaddr *locaddr* devaddr *devaddr* logpath *logpath* )

長構文: ESC.014 Commands *cmd\_code* was sent to the device driver on network *network* (subchannel local address *locaddr*, device address *devaddr*, logical path *logpath*)

説明: 装置ドライバーにコマンドが送信されました。

---

#### ESC.015

レベル: P-TRACE

短構文: ESC.015 Snd 8232 resp *cmd\_code* (rc *retcode*) on nt *network* (sub locaddr *locaddr* devaddr *devaddr* logpath *logpath* )

長構文: ESC.015 Sending 8232 response for command *cmd\_code* with return code *retcode* on network *network* (subchannel local address *locaddr*, device address *devaddr*, logical path *logpath*)

説明: 8232 応答がホストに送信されました。

---

#### ESC.016

レベル: P-TRACE

短構文: ESC.016 Snd not *notification\_id* to net *virt\_net\_number* on nt *network*

長構文: ESC.016 Sending notification *notification\_id* to net *virt\_net\_number* on network *network*

説明: 基本ネット・ハンドラーからバーチャル・ネット・ハンドラーに通知が送信されました。

---

#### ESC.017

レベル: U-TRACE

短構文: ESC.017 circdn for nt *net\_num* on nt *network*

長構文: ESC.017 circdown for net *net\_num* called on network *network*

説明: ネットワークに関する回線ダウン・ルーチンがコールされました。

---

**ESC.018**

レベル: U-TRACE

短構文: ESC.018 circup for nt *net\_num* on nt *network*

長構文: ESC.018 circup for net *net\_num* called on network *network*

説明: ネットワークに関する回線アップ・ルーチンがコールされました。

---

**ESC.019**

レベル: U-TRACE

短構文: ESC.019 net up for nt *net\_num* on nt *network*

長構文: ESC.019 net up for net *net\_num* called on network *network*

説明: バーチャル・ネットワークに関するネットアップ・ルーチンがコールされました。

---

**ESC.020**

レベル: U-TRACE

短構文: ESC.020 net dn for nt *net\_num* on nt *network*

長構文: ESC.020 net down for net *net\_num* called on network *network*

説明: バーチャル・ネットワークに関するネットダウン・ルーチンがコールされました。

---

**ESC.021**

レベル: UE\_ERROR

短構文: ESC.021 *file( line)*: input *fsminput* curr *ste* *curr\_state* new *ste* *new\_state* actn *action* subchan *network()*

長構文: ESC.021 *file( line)*: input *fsminput* current state *curr\_state* new state *new\_state* action *action* subchannel *network()*

説明: メッセージに示されている FSM に入力を示します。

---

**ESC.022**

レベル: UI-ERROR

短構文: ESC.022 ESCON DD(slot *slot* adapter): Transmit List full threshold= *count*.

長構文: ESC.022 ESCON DD(slot *slot* adapter): Transmit List full threshold= *count*.

説明: デバイス・ドライバーは、データをアダプター

に送信するために送信リスト項目が必要です。初期化中に項目を獲得することができない場合は、アダプターは再始動します。それ以外の時点でも、アダプターが項目を獲得できない場合は、内部ソフトウェアが回復を試みます。このエラーは LSA の実際の問題のみを生じません。

処置: 引き続きこの問題が発生する場合は、ソフトウェア・サポートに連絡してください。

---

**ESC.028**

レベル: UI-ERROR

短構文: ESC.028 ESCON DD asked to free private buffer 0x *iob* twice for adapter in slot *slot*.

長構文: ESC.028 ESCON DD asked to free private buffer 0x *iob* twice for adapter in slot *slot*.

説明: 装置ドライバーはアダプターに同じプライベート・バッファを 2 回解放しました。これが原因で、データ汚染が生じる場合があります。

処置: 引き続きこの問題が発生する場合は、ソフトウェア・サポートに連絡してください。

---

**ESC.029**

レベル: UI\_ERROR

短構文: ESC.029 Unable to create dump file for ESCON adapter in slot *slot*. RC=0x *rc*

長構文: ESC.029 Unable to create dump file for ESCON adapter in slot *slot*. RC=0x *rc*

説明: 致命的エラーを ESCON アダプターが検出しましたが、装置ドライバーはダンプ・ファイルを作成できませんでした。このエラーが、ファイバーを除去したために発生したのではない場合は、ソフトウェア・サポートに連絡してください。

---

**ESC.030**

レベル: UI\_ERROR

短構文: ESC.030 Dump file '*filename*' created for the ESCON adapter in slot *slot*.

長構文: ESC.030 Dump file '*filename*' created for the ESCON adapter in slot *slot*.

説明: 致命的エラーを、ESCON アダプター・マイクロコードが検出し、障害情報を含むダンプ・ファイルが作成されました。このエラーが、ファイバーを除去したために発生したのではない場合は、ソフトウェア・サポートに連絡してください。

---



---

**ESC.031**

レベル: C-INFO

短構文: ESC.031 ESCON DD rcvd Logical Path Removed notif from slot *slot*, link addr=0x *link*, LPAR=0x *lpar*, cu-num=0x *cu\_num*.

長構文: ESC.031 ESCON DD received a Logical Path Removed notification from slot *slot* ESCON adapter, link addr=0x *link*, LPAR=0x *lpar*, cu-num=0x *cu\_num*.

説明: ESCON アダプターは、構成されたサブチャネル・パスの 1 つを介して、ホストへの接続を除去しました。

---

**ESC.032**

レベル: UE-ERROR

短構文: ESC.032 Unknown ESCON adapter CCA error, nt *network*, subchan= *subchan*, cca0=0x *cca0*, cca1=0x *cca1*, rc=0x *rc*.

長構文: ESC.032 Unknown ESCON adapter CCA error, network *network*, subchan= *subchan*, cca0=0x *cca0*, cca1=0x *cca1*, rc=0x *rc*.

説明: これは、ESCON アダプターが報告中の不明の CCA エラー・メッセージです。

処置: 一般的には、処置は必要ありません。引き続きこの問題が発生する場合は、ソフトウェア・サポートに連絡してください。詳細については、資料を参照してください。

---

**ESC.033**

レベル: UE-ERROR

短構文: ESC.033 ESCON adapter CCA error, nt *network*, ccams, subchan= *subchan*, cca0=0x *cca0*, cca1=0x *cca1*, rc=0x *rc*.

長構文: ESC.033 ESCON adapter CCA error, network *network*, ccams, subchan= *subchan*, cca0=0x *cca0*, cca1=0x *cca1*, rc=0x *rc*.

説明: ESCON アダプターは ESCON 装置ドライバーに CCA エラーを報告中です。

処置: 一般的には、処置は必要ありません。引き続きこの問題が発生する場合は、ソフトウェア・サポートに連絡してください。詳細については、資料を参照してください。

---

**ESC.034**

レベル: ALWAYS

短構文: ESC.034 ESCON in slot *slot*. AIB FLASH mismatch: code at 0x *codelev*, adapter at 0x *adaplev*

長構文: ESC.034 ESCON adapter in slot *slot*. AIB FLASH mismatch: code at 0x *codelev*, adapter at 0x *adaplev*

説明: ESCON アダプターは、現行のロード・イメージで使用可能なレベルとは異なる FLASH コードを持っています。

処置: ソフトウェア・サポートに連絡して、アダプターの FLASH コードを更新する必要があるかどうかを調べてください。

---

**ESC.035**

レベル: C-INFO

短構文: ESC.035 ESCON adapter in slot *slot* is operational.

長構文: ESC.035 ESCON adapter in slot *slot* is operational.

説明: ESCON アダプターは作動可能です。アダプターはホストへの接続をまだ行っていません。

---

**ESC.036**

レベル: UI-ERROR

短構文: ESC.036 ESCON adapter error, slot= *slot*, subchan= *subchan*, rc= *rc*, origcmd= *origcmd*, sev= *sev*, correl=0x *correl*.

長構文: ESC.036 ESCON DD received an Error notif from slot *slot* ESCON adapter; subchan= *subchan*, rc = *rc*, origcmd= *origcmd*, severity= *sev*, correl=0x *correl*.

説明: ESCON アダプターは ESCON 装置ドライバーにエラーを報告中です。

処置: 一般的には、処置は必要ありません。引き続きこの問題が発生する場合は、ソフトウェア・サポートに連絡してください。詳細については、資料を参照してください。

---

**ESC.037**

レベル: UI-ERROR

短構文: ESC.037 ESCON adapter in slot= *slot* is offline to the host.

長構文: ESC.037 ESCON adapter in slot= *slot* is offline to the host.

**説明:** ESCON アダプターは、ホストに対してオフラインにあることを報告中です。アダプターは自動的に再始動します。アダプターが再始動に失敗した場合は、診断が起動します。

**処置:** アダプターが診断には合格しても、やはり始動しない場合は、ソフトウェア・サポートに連絡してください。

---

#### ESC.038

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** ESC.038 ESCON DD received i960 Processor Fault notif from slot= *slot* ESCON adapter, Fault Type=0x *ft*.

**長構文:** ESC.038 ESCON DD received an i960 Processor Fault notif from slot *slot* ESCON adapter with Fault Type=0x *ft*.

**説明:** ESCON アダプターは、i960 プロセッサに障害があったことを報告中です。アダプターは自動的に再始動します。アダプターが始動に失敗した場合は、診断が起動します。

**処置:** ソフトウェア・サポートに連絡してください。

---

#### ESC.039

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** ESC.039 ESCON DD received SLC2 NMI Detected notif from slot= *slot* ESCON adapter.

**長構文:** ESC.039 ESCON DD received an SLC2 NMI Detected notif from slot *slot* ESCON adapter.

**説明:** ESCON アダプターは、SLC2 NMI エラーを検出したことを報告中です。アダプターは自動的に再始動します。アダプターが再始動に失敗した場合は、診断が起動します。

**原因:** これは、ESCON ファイバーを ESCON アダプターから切断し、後で再接続した結果である場合があります。

**処置:** ソフトウェア・サポートに連絡してください。

---

#### ESC.040

**レベル:** U-INFO

**短構文:** ESC.040 ESCON adapter in slot *slot* had an unexpected interrupt.

**長構文:** ESC.040 ESCON DD received an Unexpected Interrupt notification from slot *slot* ESCON adapter.

**説明:** ESCON アダプターに予期しない割り込みがありました。引き続きこの問題が発生する場合は、ソフトウ

ェア・サポートに連絡してください。

---

#### ESC.041

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** ESC.041 ESCON adapter in slot *slot* had a serial engine failure, dump is *log\_stat*.

**長構文:** ESC.041 ESCON DD received a Serial Engine Failure notification from slot *slot* ESCON adapter, dump is *log\_stat*.

**説明:** ESCON アダプターは、シリアル・エンジン障害があったことを報告中です。アダプターは自動的に再始動します。アダプターが再始動に失敗した場合は、診断が起動します。

**原因:** これは、ESCON ファイバーを ESCON アダプターから切断し、後で再接続した結果である場合があります。

**処置:** アダプターが再始動に失敗した場合は、ソフトウェア・サポートに連絡してください。

---

#### ESC.042

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** ESC.042 Slot *slot* ESCON adapter microcode aborted with rc=0x *rc*.

**長構文:** ESC.042 ESCON DD received a Microcode Aborted notification from slot *slot* ESCON adapter, rc=0x *rc*.

**説明:** ESCON は、マイクロコードが強制終了したことを報告中です。アダプターは自動的に再始動します。アダプターが再始動に失敗した場合は、診断が起動します。

**原因:** これは、ESCON ファイバーを ESCON アダプターから切断し、後で再接続した結果である場合があります。

**処置:** アダプターが再始動に失敗した場合は、ソフトウェア・サポートに連絡してください。

---

#### ESC.043

**レベル:** C-INFO

**短構文:** ESC.043 ESCON DD rcvd Logical Path Estbl notif from slot *slot*,link addr=0x *link*, LPAR=0x *lpar*,cu-num=0x *cu\_num*.

**長構文:** ESC.043 ESCON DD received a Logical Path Established notification from slot *slot* ESCON adapter, link addr=0x *link*, LPAR=0x *lpar*, cu-num=0x *cu\_num*.

**説明:** ESCON アダプターは、構成されたサブチャネ

ル・パスの 1 つを介して、ホストへの接続を行いました。

---

#### ESC.044

レベル: UI-ERROR

短構文: ESC.044 ESCON adapter in slot *slot* had a POST error, error = 0x *error*.

長構文: ESC.044 ESCON adapter in slot *slot* has a POST error, error = 0x *error*.

説明: ESCON に POST エラーがありました。アダプターは自動的に再始動します。アダプターが再始動に失敗した場合は、診断が起動します。

処置: アダプターが再始動に失敗した場合は、ソフトウェア・サポートに連絡してください。

---

#### ESC.045

レベル: UI-ERROR

短構文: ESC.045 ESCON adapter in slot *slot* had a POST error, CBSP value=0x *error*.

長構文: ESC.045 ESCON adapter in slot *slot* had a POST error, CBSP value=0x *error*.

説明: ESCON に POST エラーがありました。アダプターは自動的に再始動します。アダプターが再始動に失敗した場合は、診断が起動します。

処置: アダプターが再始動に失敗した場合は、ソフトウェア・サポートに連絡してください。

---

#### ESC.046

レベル: UI-ERROR

短構文: ESC.046 ESCON adapter in slot *slot* did not complete POST.

長構文: ESC.046 ESCON adapter in slot *slot* did not complete POST.

説明: ESCON は POST を完了しませんでした。アダプターは自動的に再始動します。アダプターが再始動に失敗した場合は、診断が起動します。

処置: アダプターが診断には合格しても、やはり再始動しない場合は、ソフトウェア・サポートに連絡してください。

---

#### ESC.047

レベル: UI-ERROR

短構文: ESC.047 ESCON adapter in slot *slot* had a PrePOST error = 0x *error*.

長構文: ESC.047 ESCON adapter in slot *slot* had a PrePOST error = 0x *error*.

説明: ESCON アダプターに PrePOST エラーがありました。アダプターは自動的に再始動します。アダプターが再始動に失敗した場合は、診断が起動します。

処置: アダプターが再始動しない場合は、ソフトウェア・サポートに連絡してください。

---

#### ESC.048

レベル: UI-ERROR

短構文: ESC.048 Slot *slot* does not contain an ESCON card, identifier = *id*.

長構文: ESC.048 Slot *slot* does not contain an ESCON card, identifier = *id*.

説明: スロットに ESCON カードが収まっていませんが、ソフトウェアは、このスロットに ESCON アダプターが入っている場合用として構成されています。

処置: 構成を訂正してください。再構成後も問題が生じる場合は、ソフトウェア・サポートに連絡してください。

---

#### ESC.049

レベル: UI-ERROR

短構文: ESC.049 Slot *slot* ESCON Adapter timed-out during initialization, cmd=0x *cmd*.

長構文: ESC.049 Slot *slot* ESCON Adapter timed-out during initialization, cmd=0x *cmd*.

説明: アダプターは自動的に再始動します。

処置: アダプターが再始動しない場合は、ソフトウェア・サポートに連絡してください。

---

#### ESC.050

レベル: UI-ERROR

短構文: ESC.050 Slot *slot* ESCON Control Unit table did not load correctly, rc=0x *rc*, tbl=0x *tbl\_num*.

長構文: ESC.050 Slot *slot* ESCON Control Unit table did not load correctly, rc=0x *rc*, tbl=0x *tbl\_num*.

説明: これらのテーブルなしでは、ESCON アダプターは始動できません。アダプターは自動的に再始動します。

処置: アダプターが再始動しない場合は、ソフトウェア・サポートに連絡してください。

---

**ESC.051**

レベル: UI-ERROR

短構文: ESC.051 ESCON DD could not obtain a Control Buffer from slot *slot* adapter.

長構文: ESC.051 ESCON DD could not obtain a Control Buffer from adapter in slot *slot*.

説明: 装置ドライバーはアダプターからのバッファを必要とします。このバッファを提供できない場合、アダプターは適正に機能していないことになります。アダプターは自動的に再始動します。

処置: 引き続きこの問題が発生する場合は、ソフトウェア・サポートに連絡してください。

---

**ESC.052**

レベル: UI\_ERROR

短構文: ESC.052 *file( line)*: ESCON DD encountered an internal error for slot *slot*. Identifier = *id*.

長構文: ESC.052 *file( line)*: ESCON DD encountered an internal error for slot *slot*. Identifier = *id*.

説明: ESCON 装置ドライバーは、適正に処理することができない状態を検出しました。

処置: 引き続きこの問題が発生する場合は、ソフトウェア・サポートに連絡してください。

---

**ESC.053**

レベル: UI-ERROR

短構文: ESC.053 ESCON DD detected a CRC error in CU Table *tbl\_num* for slot *slot*.

長構文: ESC.053 ESCON DD detected a CRC error in CU Table *tbl\_num* for slot *slot*.

説明: アダプターは自動的に再始動します。

処置: 引き続きこの問題が発生する場合は、ソフトウェア・サポートに連絡してください。

---

**ESC.054**

レベル: UI-ERROR

短構文: ESC.054 ESCON DD could not obtain system memory; slot=0x *slot*, identifier= *id*.

長構文: ESC.054 ESCON DD could not obtain system memory; slot=0x *slot*, identifier= *id*.

説明: このエラーが初期化中に発生した場合は、アダプターは再始動します。

処置: 引き続きこの問題が発生する場合は、ソフトウ

エア・サポートに連絡してください。

---

**ESC.055**

レベル: UI-ERROR

短構文: ESC.055 ESCON DD could not open dump files on harddrive. Dumps not available for slot *slot* adapter.

長構文: ESC.055 ESCON DD could not open the dump files on the harddrive. The dumps are not available for slot *slot* adapter

説明: 装置ドライバーはハード・ディスクのファイルのオープンを試みましたが、これが正常に行われませんでした。ESCON アダプターのダンプが利用不可能です。

処置: アダプターの問題が引き続き発生する場合は、ソフトウェア・サポートに連絡してください。

---

**ESC.056**

レベル: UI-ERROR

短構文: ESC.056 ESCON DD could not dump all slot *slot* ESCON adapter *data\_type* data to the dump file.

長構文: ESC.056 ESCON DD could not dump all of the slot *slot* ESCON adapter *data\_type* data to the dump file on the harddrive.

説明: 装置ドライバーは、ハード・ディスク上のファイルへの ESCON アダプター・データのダンプを試みましたが、IRAM ダンプは、c:\ESCONIx.DMP (ただし、x はスロット番号) で部分的に使用可能な場合があります。DRAM ダンプは、c:\ESCONDx.DMP (ただし、x はスロット番号) で部分的に使用可能な場合があります。

処置: ソフトウェア・サポートに連絡してください。

---

**ESC.057**

レベル: C-INFO

短構文: ESC.057 ESCON DD received a reset subchannel notif for subchannel 0x *sc*, slot= *slot*.

長構文: ESC.057 ESCON DD received a reset subchannel notification for subchannel 0x *sc*, slot= *slot*.

説明: 装置ドライバーはサブチャネル・リセット通知を受信しました。

---

---

**ESC.058**

レベル: C-INFO

短構文: ESC.058 Incorrect subchannel configuration detected for slot *slot* ESCON adapter.

長構文: ESC.058 Incorrect subchannel configuration detected for slot *slot* ESCON adapter.

説明: 装置ドライバーは、サブチャネル構成に誤りがあることを検出しました。構成が正しいサブチャネルであれば、この問題による影響を受けるはずがありません。

処置: 構成を訂正してください。

---

**ESC.059**

レベル: UI-ERROR

短構文: ESC.059 ESCON DD(slot *slot* adapter): Command FIFO full threshold= *count*.

長構文: ESC.059 ESCON DD(slot *slot* adapter): Command FIFO full threshold= *count*.

説明: アダプターとの通信のために、装置ドライバーにはコマンド FIFO 項目が必要です。初期化中に項目を獲得することができない場合は、アダプターは再始動します。それ以外の時点でも、アダプターが項目を獲得できない場合は、内部ソフトウェアが回復を試みます。このエラーは LSA の実際の問題のみを生じます。

処置: 引き続きこの問題が発生する場合は、ソフトウェア・サポートに連絡してください。

---

**ESC.060**

レベル: P-TRACE

短構文: ESC.060 ESCON DD sending frame from slot= *slot*., subchan= *subchan*., LT= *lantype*., LN= *lanum*, to base net.

長構文: ESC.060 ESCON DD rcvd frame from slot *slot*, ESCON, subchan= *subchan*., LanType= *lantype*., and LanNum= *lanum*; sending it to base net.

説明: フレームがチャネルによって受信され、ESCON 基本ネット・ハンドラーに送信されました。

---

**ESC.061**

レベル: P-TRACE

短構文: ESC.061 ESCON DD rcvd frame from net handler for slot= *slot*., subchan= *subchan*., LT= *lantype*., LN= *lanum*.,PDU-hdr= *pdu\_len*

長構文: ESC.061 ESCON DD received a frame from a

net handler destined for slot *slot*, ESCON adapter, subchan= *subchan*., LanType= *lantype*., and LanNum= *lanum*., PDU-header len= *pdu\_len*.

説明: ESCON 関連ネット・ハンドラーが、伝送するためのフレームを ESCON DD に送信しました。

---

**ESC.062**

レベル: P-TRACE

短構文: ESC.062 ESCON DD rcvd *cmd*, cmd from net handler for slot *slot* ESCON.

長構文: ESC.062 ESCON DD received *cmd*, command from net handler for slot *slot* ESCON adapter.

説明: ESCON 関連ネット・ハンドラーが ESCON DD にコマンドを送信しました。

---

**ESC.063**

レベル: P-TRACE

短構文: ESC.063 ESCON DD rcvd *cmd*, cmd from nethandler for slot *slot*, ESCON, subchan= *subchan*.

長構文: ESC.063 ESCON DD received *cmd*, command from a nethandler for slot *slot*, ESCON adapter, subchan= *subchan*.

説明: ESCON 関連ネット・ハンドラーが ESCON DD にコマンドを送信しました。

---

**ESC.064**

レベル: P-TRACE

短構文: ESC.064 ESCON DD sent *notif*, notif for slot *slot*, ESCON, subchan= *subchan*., LT= *lantype*., LN= *lanum*, to nethandler.

長構文: ESC.064 ESCON DD sent *notif*, notif for slot *slot*, ESCON adapter, subchan= *subchan*., LT= *lantype*., LN= *lanum*, to nethandler.

説明: ESCON 装置ドライバーが ESCON 関連ネット・ハンドラーに通知を送信しました。

---

**ESC.065**

レベル: U-INFO

短構文: ESC.065 ESCON adapter ran out of rcv buffers, LCS frame discarded, slot= *slot*, local sc= *subchan*

長構文: ESC.065 ESCON adapter ran out of receive buffers and discarded an LCS frame; slot= *slot* local subchan= *subchan*.



**説明:** ESCON アダプターは、受信バッファを獲得できなかったため、LCS フレームを廃棄したことを報告中です。

**処置:** 一般的には、処置は必要ありません。引き続きこの問題が発生する場合は、この ESCON アダプター用の受信バッファの数を増やしてください。

---

### ESC.066

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** ESC.066 ESCON adapter ran out of rcv buffers, LSA frame discarded, slot= *slot*, local sc= *subchan*

**長構文:** ESC.066 ESCON adapter ran out of receive buffers and discarded an LSA frame; slot= *slot* local subchan= *subchan*.

**説明:** ESCON アダプターは、受信バッファを獲得できなかったため、LSA フレームを廃棄したことを報告中です。

**処置:** この ESCON アダプター用の受信バッファの数を増やしてください。

---

### ESC.067

**レベル:** U-INFO

**短構文:** ESC.067 ESCON adapter ran out of rcv buffers, MPC+ frame discarded, slot= *slot*, local sc= *subchan*

**長構文:** ESC.067 ESCON adapter ran out of receive buffers and discarded an MPC+ frame; slot= *slot* local subchan= *subchan*.

**説明:** ESCON アダプターは、受信バッファを獲得できなかったため、MPC+ フレームを廃棄したことを報告中です。

**処置:** 一般的には、処置は必要ありません。引き続きこの問題が発生する場合は、この ESCON アダプター用の受信バッファの数を増やしてください。

---

### Panic escnomem

**短構文:** escnomem: ESCON handler no memory

**説明:** ESCON ハンドラーが、制御ブロック (複数の場合もある) 用として記憶域を割り振ることができません。

**処置:** サービス技術員に連絡してください。

---

### Panic escnsram

**短構文:** escnsram: ESCON SRAM not found

**説明:** ESCON ハンドラーに関する SRAM レコードが見付かりませんでした。

**処置:** サービス技術員に連絡してください。

---

### Panic escbprt

**短構文:** escbprt: bad prot init

**説明:** サポートされないネットワーク・レイヤー・プロトコルが ESCON ハンドラーの初期化を試行しました。

**処置:** サービス技術員に連絡してください。

---

### Panic escdreg

**短構文:** escdreg: virt net already reg

**説明:** ESCON バーチャル・ネット・ハンドラーが基本ネット・ハンドラーにすでに登録しています。

**処置:** サービス技術員に連絡してください。

---

### Panic escbreq

**短構文:** escbreq: bad xmit rqst

**説明:** 伝送のために ESCON ハンドラーに渡されたプロトコル・パケットが、サポートされないものでした。

**処置:** サービス技術員に連絡してください。

---

### Panic escnosub

**短構文:** escnosub: subch not found

**説明:** 要求された論理経路および装置アドレスが、ESCON 基本ハンドラー・サブチャネル・テーブル内に見付かりませんでした。

**処置:** サービス技術員に連絡してください。

---

### Panic escbcall

**短構文:** escbcall: bad call to routine.

**説明:** ルーチンに対して無効のコールが行われました。

**処置:** サービス技術員に連絡してください。



---

## **Panic escbprd**

**短構文:** escbprt: bad prot down

**説明:** サポートされないネットワーク・レイヤー・プロトコルが ESCON ハンドラーを消去しようとした。

**処置:** サービス技術員に連絡してください。

---

## 第43章 イーサネット・ネットワーク・インターフェース (ETH)

この章では、イーサネット・ネットワーク・インターフェース (ETH) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### ETH.001

レベル: P-TRACE

短構文: ETH.001 brd rcv unkwn typ *packet\_type* *source\_Ethernet\_address* -> *destination\_Ethernet\_address* nt network

長構文: ETH.001 broadcast packet received with unknown Ethernet type *packet\_type* from host *source\_Ethernet\_address* to *destination\_Ethernet\_address* network network

説明: 同報通信パケットを受信しましたが、イーサネット・タイプ・フィールドが不明であるか、サポートされていません。

---

### ETH.002

レベル: UE-ERROR

短構文: ETH.002 rcv unkwn typ *packet\_type* *source\_Ethernet\_address* -> *destination\_Ethernet\_address* nt network

長構文: ETH.002 packet received with unknown Ethernet type field *packet\_type* from *source\_Ethernet\_address* to *destination\_Ethernet\_address* network network

説明: 非同報通信パケットを受信しましたが、イーサネット・タイプ・フィールドが不明であるか、サポートされていません。

---

### ETH.003

レベル: P-TRACE

短構文: ETH.003 brd 802.3 bd ln *actual\_length* *claimed\_length* *source\_Ethernet\_address* -> *destination\_Ethernet\_address* nt network

長構文: ETH.003 broadcast packet received with a bad 802.3 length field actual *actual\_length* claimed *claimed\_length* from *source\_Ethernet\_address* to *destination\_Ethernet\_address* network network

説明: タイプ・フィールド 802.3 を示す同報通信パケットを受信しましたが、802.3 ヘッダーに示されているデータ長より短くなっていました。

---

### ETH.004

レベル: UE-ERROR

短構文: ETH.004 802.3 bd ln *actual\_length* *claimed\_length* *source\_Ethernet\_address* -> *destination\_Ethernet\_address* nt network

長構文: ETH.004 packet received with a bad 802.3 length field actual *actual\_length* claimed *claimed\_length* from *source\_Ethernet\_address* to *destination\_Ethernet\_address* network network

説明: タイプ・フィールド 802.3 を示す非同報通信パケットを受信しましたが、802.3 ヘッダーに示されているデータ長より短くなっていました。

---

### ETH.005

レベル: UE-ERROR

短構文: ETH.005 DN bd ln *actual\_length* *claimed\_length* *source\_Ethernet\_address* -> *destination\_Ethernet\_address* nt network

長構文: ETH.005 DECnet packet received with a bad length actual *actual\_length* claimed *claimed\_length* from *source\_Ethernet\_address* to *destination\_Ethernet\_address* network network

説明: DECnet パケットを受信しましたが、長さフィールドが実際のパケット長より長くなっていました。

---

### ETH.006

レベル: ALWAYS

短構文: ETH.006 Eth *adaptererror\_condition* *adapdiag\_code* nt network

長構文: ETH.006 Ethernet adapter: *adaptererror\_condition*, *diag adapdiag\_code* network network

説明: 高速イーサネット・ポートでエラーが検出されました。原因は、"CAUTION: DUPLEX MAY BE DIFFERENT ON SWITCH PORT" および "Fatal Error. Disable and run internal diagnostics for adapter" です。

原因: メッセージ "CAUTION: DUPLEX MAY BE DIFFERENT ON SWITCH PORT" は、二重モードでミスマッチの可能性があることをユーザーに警告するため

に表示されます。ハブなどの非折衝装置に接続するときにも表示されます。二重モードでミスマッチがあると、重大な性能低下が生じる可能性があります。

**処置:** インターフェースがスイッチに接続されているときは、スイッチ・ポート用の構成がインターフェース用の構成と一致していることを確認してください。さらに詳しくは、“10/100 Mbps イーサネット・ネットワーク・インターフェースの構成と監視”の章を参照してください。

**原因:** エラー “Fatal Error. Disable and run internal diagnostics for adapter” は、アダプターとの通信時にソフトウェアに予期しないエラーが発生したことを示します。

**処置:** これは、アダプターのハードウェア障害の可能性を示します。Talk 2 において記録された情報を取り込み、保管します。インターフェースを使用不可にし、診断を実行します。

---

#### ETH.007

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** ETH.007 DIX V2 bd ln *actual\_length* *claimed\_length* *source\_Ethernet\_address* -> *destination\_Ethernet\_address* nt *network*

**長構文:** ETH.007 packet received with a bad length field *actual* *actual\_length* *claimed* *claimed\_length* from *source\_Ethernet\_address* to *destination\_Ethernet\_address* *network* *network*

**説明:** DIX V2 パケットを受信しましたが、タイプ・フィールドは 0x80D5 (IBM SNA または Netbios) で、長さフィールドが実際のパケットの長さより大きくなっていました。

---

#### ETH.009

**レベル:** C-INFO

**短構文:** ETH.009 Can't Find Multicast Address

**長構文:** ETH.009 Can't find the Multicast address in the filter list

**説明:** フィルター・リストから不明なマルチキャスト・アドレスが参照されるとき。

---

#### ETH.010

**レベル:** C-INFO

**短構文:** ETH.010 LLC unk SAP *DSAP* *source\_Ethernet\_address* -> *destination\_Ethernet\_address* nt *network*

**長構文:** ETH.010 802.2 LLC packet received with unknown *DSAP* *DSAP* from host *source\_Ethernet\_address* to *destination\_Ethernet\_address* *network* *network*

**説明:** ネットワークから 802.2 LLC パケットを受信しましたが、非活動状態の（認識できない）*DSAP* をもっています。

---

#### ETH.011

**レベル:** C-INFO

**短構文:** ETH.011 LLC nt typ 1 *LLC\_control\_type* nt *network*

**長構文:** ETH.011 802.2 LLC packet received, not Type 1 *LLC\_control\_type* *network* *network*

**説明:** ネットワークから受信したパケットには、LLC はありますが、タイプ 1 LLC ではありません。

---

#### ETH.012

**レベル:** C-INFO

**短構文:** ETH.012 LLC RSP *LLC\_SSAP* nt *network*

**長構文:** ETH.012 LLC RESPONSE packet received *LLC\_SSAP* *network* *network*

**説明:** ネットワークから LLC 応答を受信しました。

---

#### ETH.013

**レベル:** C-INFO

**短構文:** ETH.013 LLC XID *LLC\_SSAP* nt *network*

**長構文:** ETH.013 LLC XID packet received *LLC\_SSAP* *network* *network*

**説明:** ネットワークから LLC XID パケットを受信しました。

---

#### ETH.014

**レベル:** C-INFO

**短構文:** ETH.014 LLC TEST *LLC\_SSAP* nt *network*

**長構文:** ETH.014 LLC TEST packet received *LLC\_SSAP* *network* *network*

**説明:** ネットワークから LLC TEST パケットを受信しました。

---

#### ETH.015

**レベル:** U-INFO

**短構文:** ETH.015 unrec ctl *LLC\_control\_field* nt *network*

**長構文:** ETH.015 packet received with unrecognized

control field *LLC\_control\_field* network *network*

説明: ネットワークからパケットを受信しましたが、無効な制御フィールドまたは UI が含まれています。

---

#### ETH.017

レベル: P-TRACE

短構文: ETH.017 LOOP rcv *source\_Ethernet\_address* -> *destination\_Ethernet\_address*, nt *network*

長構文: ETH.017 Loopback Protocol frame received from *source\_Ethernet\_address* to *destination\_Ethernet\_address*, network *network*

説明: イーサネット・ループバック・プロトコル (構成試験プロトコル) パケットを受信しました。

---

#### ETH.018

レベル: UE-ERROR

短構文: ETH.018 LOOP odd skip *count*, *source\_Ethernet\_address* -> *destination\_Ethernet\_address*, nt *network*

長構文: ETH.018 Loopback Protocol, odd skipCount *count* from *source\_Ethernet\_address* to *destination\_Ethernet\_address*, network *network*

説明: イーサネット・ループバック・プロトコル (構成試験プロトコル) パケット内に、奇数の skipCount が含まれていました。パケットは廃棄されます。

原因: リモート・ノードでのプログラム・エラー

---

#### ETH.019

レベル: UE-ERROR

短構文: ETH.019 LOOP func *function* not forw, *source\_Ethernet\_address* -> *destination\_Ethernet\_address*, nt *network*

長構文: ETH.019 Loopback Protocol, function *function* not Forward Data from *source\_Ethernet\_address* to *destination\_Ethernet\_address*, network *network*

説明: イーサネット・ループバック・プロトコル (構成試験プロトコル) パケットに、転送 (2) の機能コードが入っていませんでした。パケットは廃棄されます。

原因: ここは、このパケットの最終あて先なので、機能コードは応答 (1) でした。

処置: なし。

原因: リモート・ノードのプログラム・エラーによる未定義機能コード

---

#### ETH.020

レベル: UE-ERROR

短構文: ETH.020 LOOP mc fwd dst *forward\_Ethernet\_address*, *source\_Ethernet\_address* -> *destination\_Ethernet\_address*, nt *network*

長構文: ETH.020 Loopback Protocol, multicast forward address *forward\_Ethernet\_address* from *source\_Ethernet\_address* to *destination\_Ethernet\_address*, network *network*

説明: イーサネット・ループバック・プロトコル (構成試験プロトコル) パケットに、マルチキャストの転送アドレスが入っています。パケットは廃棄されます。

原因: リモート・ノードでのプログラム・エラー

---

#### ETH.021

レベル: P-TRACE

短構文: ETH.021 LOOP fwd *source\_Ethernet\_address* -> *forward\_Ethernet\_address*, nt *network*

長構文: ETH.021 Loopback Protocol, forwarding from *source\_Ethernet\_address* to *forward\_Ethernet\_address*, network *network*

説明: イーサネット・ループバック・プロトコル (構成試験プロトコル) パケットを、指定のネクスト・ホップに転送中です。

---

#### ETH.022

レベル: UI-ERROR

短構文: ETH.022 LOOP fwd to *forward\_Ethernet\_address* dsc, rsn *code*, nt *network*

長構文: ETH.022 Loopback protocol, forward to *forward\_Ethernet\_address* discarded, for reason *code*, network *network*

説明: コードで示されている理由により、イーサネット・ループバック・プロトコル (構成試験プロトコル) パケットが指定のアドレスに転送できませんでした。

---

#### ETH.023

レベル: UI-ERROR

短構文: ETH.023 LLC RSP to *destination\_Ethernet\_address* dsc, rsn *code*, nt *network*

長構文: ETH.023 LLC response to *destination\_Ethernet\_address* discarded, for reason *code*, network *network*

説明: コードで示されている理由により、LLC 応答

(XID または TEST) が指定のアドレスに送信できませんでした。

---

#### ETH.024

レベル: UE-ERROR

短構文: ETH.024 MOP bd ln *actual\_length*  
*claimed\_length* *source\_Ethernet\_address* ->  
*destination\_Ethernet\_address* nt *network*

長構文: ETH.024 DECnet MOP packet received with a  
bad length actual *actual\_length* claimed *claimed\_length*  
from *source\_Ethernet\_address* to  
*destination\_Ethernet\_address* network *network*

説明: DECnet MOP パケットを受信しましたが、長さ  
フィールドが実際のパケットの長さより大きくなって  
いました。

---

#### ETH.025

レベル: UE-ERROR

短構文: ETH.025 LOOP bd skp *count*,  
*source\_Ethernet\_address* -> *destination\_Ethernet\_address*,  
nt *network*

長構文: ETH.025 Loopback Protocol, bad skipCount  
*count* from *source\_Ethernet\_address* to  
*destination\_Ethernet\_address*, network *network*

説明: イーサネット・ループバック・プロトコル (構成  
試験プロトコル) パケットに、パケットの終わりより先  
を指す skipCount が入っていました。パケットは廃棄さ  
れます。

原因: リモート・ノードでのプログラム・エラー

---

#### ETH.042

レベル: UI-ERROR

短構文: ETH.042 Unable to get buf for ethernet packet.

長構文: ETH.042 Unable to get buffer for ethernet  
packet.

説明: バッファ不足のため、イーサネット・アドレ  
スを設定するための、またはイーサネット・パケットを  
コピーするためのバッファが取得できませんでした。

---

#### ETH.043

レベル: ALWAYS

短構文: ETH.043 CMD596 Command Timeout. Interface  
*network* being restarted.

長構文: ETH.043 CMD596 Command Timeout. Interface  
*network* being restarted.

説明: インターフェース・カード上の 82596 チップ  
は、このインターフェースに関するコマンド・フィール  
ドのクリアに失敗しました。インターフェースは再初期  
化されます。

---

#### ETH.044

レベル: ALWAYS

短構文: ETH.044 I5IOCTL Bad Command *network*  
being restarted.

長構文: ETH.044 I5IOCTL Bad Command *network*  
being restarted.

説明: 正しくないコマンド・フィールドが、ドライバ  
ーに送信されました。インターフェースは再初期化さ  
れます。

---

#### ETH.045

レベル: UI-ERROR

短構文: ETH.045 Eth self-test *selftest\_phase* fld  
*error\_condition* nt *network*

長構文: ETH.045 Ethernet self-test phase *selftest\_phase*  
failed: *error\_condition*, network *network*

説明: イーサネット・カードの自己検査によって、自  
己検査中のエラーが報告されました。フェーズには、"  
ボードのリセット"、"遅延のリセット"、"リセット検査  
の実行"、"リセット検査の遅延"、"SCB の初期化"、  
"SCB の初期化遅延"、"SCB の初期化完了"、"ハードウ  
ェア・アドレスの読み取り"、"バス・スロットル・タイ  
マーの設定"、"内部ループバック"、"ハードウェア・ア  
ドレスの設定"、"受信の使用可能化"、"内部ループバッ  
ク (出力)"、"内部ループバック・データの検査"、"外部  
ループバック"、"外部ループバックの遅延"、"外部ルー  
プバック (出力)"、"外部ループバック・データの検査  
"、"ネットワーク・ループバック"、"ネットワーク・ル  
ープバックの遅延"、"ネットワーク・ループバック (出  
力)"、"ネットワーク・ループバック・データの検査"、"  
ループバックのクリア"、および "操作テスト" がありま  
す。

原因: "ボードのリセット" フェーズでは、エラー  
"Packetsize of < 1500 bytes" は、インターフェースにバ  
ッファが提供されているが、それが小さ過ぎることを  
示します。

処置: パケット・サイズを 1500 バイトというイーサ  
ネット要件未満に人為的に落としているシステムの構成  
を訂正します。

原因: すべてのフェーズで、エラー "No buffers" は、

ルーターにパケット・バッファの重大な不足があることを示します。

**処置:** バッファ記憶域サイズを増やすか、構成可能ネットワーク上のバッファ・サイズを減らします。

**原因:** "SCB の初期化完了" フェーズでは、エラー "ISCP busy not 0" は、CA 信号の送信後、82596 中間システム構成ポインター (ISCP) の BUSY バイトがクリアしなかったことを示します。

**処置:** これは、インターフェースまたはルーターにハードウェア障害がある可能性を示します。診断プログラムを実行します。

**原因:** エラー "Unexpected receive pkt" は、インターフェースがパケットを受信したのが自己検査状態であったが、この状態では、パケットの受信が予期されていなかったことを示します。

**処置:** これは、インターフェースのハードウェア障害の可能性を示します。診断プログラムを実行します。

**原因:** エラー "Loop back count error" は、受信したループバック・パケットの長さが送信されたものと同じでなかったことを示します。

**処置:** これは、インターフェースのハードウェア障害の可能性を示します。診断プログラムを実行します。

**原因:** エラー "Loop back stat error" は、ループバック・パケットの受信に、正常に行われないエラー状況があったことを示します。

**処置:** これは、インターフェースのハードウェア障害の可能性を示します。診断プログラムを実行します。

**原因:** エラー "Loop back data error" は、ループバック・パケットにデータ・ミスマッチがあったことを示します。

**処置:** これは、インターフェースのハードウェア障害の可能性を示します。診断プログラムを実行します。

**原因:** "操作テスト"フェーズでは、エラー "maintenance failure" は、インターフェースが保守テストを正常に実行できなかったことを示します。(保守テストは 1 パケットを送信し、キャリア・センスについて検査します。)

**処置:** トランシーバーのケーブル配線およびハードウェアを検査します。

**原因:** すべてのフェーズで、エラー "timeout" は、自己検査全体が 8 分の 1 秒以内に完了しなかったことを示します。

---

## ETH.046

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** ETH.046 IPX pkt in *received\_encapsulation* encap ign, using *configured\_encapsulation* encaps, nt *network*

**長構文:** ETH.046 IPX pkt in *encapsulation* *received\_encapsulation* ignored, using *encapsulation* *configured\_encapsulation* on *network* *network*

**説明:** このメッセージは、インターフェースの IPX 用に構成されたフレーム以外のデータ・リンク・カプセル (フレーム) に入った IPX パケットを受信すると生成されます。パケットは無視されます。

*received\_encapsulation* および *configured\_encapsulation* は、

"ETHERNET\_802.3"、"ETHERNET\_II"、"ETHERNET\_802.2"、または "ETHERNET\_SNAP" のうちのいずれか 1 つです。ETHERNET\_802.3 は、"Novell" という名前でも知られ、ETHERNET\_II は、"Ethernet" という名前でも知られています。

**原因:** このネットワークで 1 つだけのカプセル化が使用されている場合、このノードのカプセルは、ネットワーク上の他のすべての IPX ノードと同じではありません。

**処置:** ネットワーク上のすべてのノードが同一のカプセルを使用するように構成してください。

**原因:** このネットワークで複数のカプセルが使用されている場合、パケットは、このノードとは異なるカプセルを使用しているノードから受信されています。

---

## ETH.047

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** ETH.047 Eth self-test *selftest\_phase* fld *error\_condition* nt *network*

**長構文:** ETH.047 Ethernet port self-test phase *selftest\_phase* failed: *error\_condition*, *network* *network*

**説明:** SCC イーサネット・ポートの自己検査は、自己検査時にエラーを報告しました。フェーズとしては、"ポートのリセット"、"媒体選択の設定"、"ハードウェア・アドレスの設定"、"ネットワーク・ループバック"、"受信の使用可能化"、"ネットワーク・ループバック (出力)"、"ネットワーク・ループバック・データの検査"、"ループバックのクリア"、"マルチキャスト・アドレスの設定"、および "操作テスト" があります。

**原因:** "ポートのリセット" フェーズでは、エラー "Packetsize of < 1500 bytes" は、インターフェースにバ



ッファーが提供されているが、それが小さ過ぎることを示します。

**処置:** パケット・サイズを 1500 バイトというイーサネット要件未満に人為的に落としているシステムの構成を訂正します。

**原因:** すべてのフェーズで、エラー "No buffers" は、ルーターにパケット・バッファの重大な不足があることを示します。

**処置:** 記憶域サイズを増やすか、ルーティング・テーブルのサイズを減らすか、ネットワークへのバッファ割り振りを減らすか、構成可能ネットワークでのバッファ・サイズを減らします。

**原因:** エラー "Loop back data error" は、ループバック・パケットにデータ・ミスマッチがあったことを示します。

**処置:** これは、インターフェースのハードウェア障害の可能性を示します。診断プログラムを実行します。

**原因:** エラー "Loop back count error" は、受信したループバック・パケットの長さが送信されたものと同じでなかったことを示します。

**処置:** これは、インターフェースのハードウェア障害の可能性を示します。診断プログラムを実行します。

**原因:** エラー "Loop back status error" は、ループバック・パケットの受信に、正常に行われないエラー状況があったことを示します。

**処置:** これは、インターフェースのハードウェア障害の可能性を示します。診断プログラムを実行します。

**原因:** すべてのフェーズで、エラー "Timeout" は、自己検査全体が 8 分の 1 秒以内に完了しなかったことを示します。

**処置:** これは、インターフェースのハードウェア障害の可能性を示します。診断プログラムを実行します。

**原因:** "操作テスト"フェーズでは、エラー "maintenance failure" は、インターフェースが保守テストを正常に実行できなかったことを示します。(保守テストは 1 パケットを送信し、キャリア・センスについて検査します。)

**処置:** トランシーバーのケーブル配線およびハードウェアを検査します。おそらくルーターがイーサネットに正しく接続されていないか、ハードウェア障害があります。

---

## ETH.048

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** ETH.048 Eth Error *adapterror\_condition adapdiag\_code nt network*

**長構文:** ETH.048 Ethernet adapter error:

*adapterror\_condition, diag adapdiag\_code network network*

**説明:** 高速イーサネット・ポートでエラーが検出されました。原因は、"Error status from TB"、"Invalid counter from TB"、"Timeout waiting for valid link status"、"Timeout waiting for auto negotiation"、"Link partner does not support auto negotiation"、"Address parity error detected on bus"、"Unable to set multicast address. State = "、"Burnt-in UAA is used due to illegitimate LAA"、"Lost connection to link partner. phy reg01 = "、and "Incorrect ID read from PHY chip on adapter. ID = "。

**原因:** "Error status from TB" は、インターフェース上の透過ブリッジ論理が初期化時にエラー状態を通知したことを示しています。

**処置:** インターフェースに対してテスト・コマンドを出してください。再びメッセージが表示される場合は、システムの電源をいったん切ってから、電源を入れてください。それでもメッセージが表示される場合は、インターフェース上で診断を実行してください。診断で同様の問題が示された場合は、インターフェース・カードの交換が必要と考えられます。

**原因:** "Invalid counter from TB" は、透過ブリッジ論理の初期化時に 'frames filtered' カウンター・テストが失敗したことを示しています。

**処置:** インターフェースに対してテスト・コマンドを出してください。再びメッセージが表示される場合は、システムの電源をいったん切ってから、電源を入れてください。それでもメッセージが表示される場合は、インターフェース上で診断を実行してください。診断で同様の問題が示された場合は、インターフェース・カードの交換が必要と考えられます。

**原因:** "Timeout waiting for valid link status" は、インターフェースがリンクの相手側から有効なリンク・シグナルを受信していないことを示しています。インターフェースはそれ以上、リンク・シグナルを待ちません。代わりに、インターフェースをリセットして、有効なリンク・シグナルの listen を再開します。この状態は、以下の原因で起きる可能性があります。1) インターフェースからリンク相手側へのケーブルが不良、または長さが正しくない。2) リンク相手側のポートが使用不可にされているか、誤動作している。3) ケーブルのコネクタが不良、またはポートに正しく差し込まれていない。4) インターフェースに構成されている速度または二重モードが、リンク相手側によってサポートされない。

**処置:** 1) の場合、ケーブルに不連続がないか検査してください。パッチ・パネルを通じて接続されている場合は、長さが 100 m 以下の直接のカテゴリ 5 のケーブルを試してください。2) の場合、リンク相手側で別のポ

ートを試してください。また、使用不可にされていないことも確認してください。3) の場合、ケーブルの両端が双方のポートに完全に差し込まれていることを確認してください。また、ケーブルが交差ケーブルでないことも確認してください。4) の場合、リンク相手側の機能をチェックし、それに応じてインターフェースを構成してください。さらに詳しくは、“10/100 Mbps イーサネット・ネットワーク・インターフェースの構成と監視” の章を参照してください。

**原因:** “Timeout waiting for auto negotiation” は、インターフェースはリンク相手側から有効なリンク・シグナルを受信していますが、自動折衝機能に障害があることを示しています。

**処置:** リンク相手側の機能をチェックし、それに応じてインターフェースを構成してください。それでも自動折衝が正常に行なわれない場合は、ケーブルの長さが 100 m 以下であることを確認してください。パッチ・パネルを通じて接続されている場合は、長さが 100 m 未満の直接ケーブルを使用してみてください。さらに詳しくは、“10/100 Mbps イーサネット・ネットワーク・インターフェースの構成と監視” の章を参照してください。

**原因:** “Link partner does not support auto negotiation” は、インターフェースはリンク相手側が自動折衝を実行する機能を備えていないことを検出したことを示しています。

**処置:** リンク相手側の機能をチェックし、それに応じてインターフェースを構成してください。

**原因:** “Address parity error detected on bus” は、インターフェースがパリティ・エラーを検出したことを示しています。

**処置:** このメッセージが二度以上出る場合は、インターフェースに対してテスト・コマンドを出してください。再びメッセージが表示される場合は、システムの電源をいったん切ってから、電源を入れてください。それでもメッセージが表示される場合は、インターフェース上で診断を実行してください。診断で同様の問題が示された場合は、インターフェース・カードの交換が必要と考えられます。

**原因:** “Unable to set multicast address” は、インターフェースが、特定のマルチキャスト・アドレスあてのフレームの受信を許可するフィルターを設定できなかったことを示しています。この状態は、インターフェースが操作を実行するためにハードウェアを中断させることができないときに起こる可能性があります。

**処置:** このインターフェースに対して “Test” コマンドを出すか、インターフェースをいったん使用不可にした後、再び使用可能にしてください。これにより、このインターフェースのハードウェアがリセットされ、マルチ

キャスト・フィルター・マスクを保管できるようになります。

**原因:** “Burnt-in UAA is used due to illegitimate LAA” は、ユーザーが指定したローカル管理 MAC アドレスが無効であることを示しています。代わりに、インターフェースに割り当てられた汎用アドレスが使用されます。

**処置:** このインターフェースでローカル管理アドレスを使用する必要がある場合は、構成を変更して正しいローカル管理 MAC アドレスを提供し、システムを再始動してください。

**原因:** “Lost connection to link partner” は、インターフェースがリンク相手側から有効なリンク・シグナルが得られないことを検出したことを示しています。これは、次の状態のときに起きる可能性があります。1) ケーブル・コネクタが取り外されている、または両側に正しく挿入されていない。2) ケーブルが損傷している。3) リンク相手側が有効なリンク・シグナルを送信していない。(これは、リンク相手側の一時的な状態の場合もあります。)

**処置:** 1) の場合、両方のコネクタが正しく差し込まれていることを確認してください。2) ケーブルが損傷していないことを確認してください。3) リンク相手側が正常に機能していることを確認してください。

**原因:** “Incorrect ID read from PHY chip on adapter” は、インターフェースのためのアダプター上の PHY チップが不良の可能性のあることを示します。

**処置:** インターフェースを使用不可にし、このメッセージが表示されたインターフェースに関連するポートについて診断を実行します。アダプターの交換が必要となる場合があります。

---

## ETH.049

**レベル:** C-INFO

**短構文:** ETH.049 Eth Info. *adaptinfo\_condition adaptinfo\_data nt network*

**長構文:** ETH.049 Ethernet adapter info: *adaptinfo\_condition, Data: adaptinfo\_data network network*

**説明:** 高速イーサネット・インターフェースの情報通知。理由は、“Performing Unicast frame filtering in software. State = ”、“TB has been enabled. State = ”、“Auto Negotiation is complete. RC = ”、“Interface operating at speed (Mbps) = ”、“Interface operating at half duplex. RC = ”、“Interface operating at full duplex. RC = ”、“Configured speed does not match neg speed. RC = ”、“Configured duplex does not match neg duplex. RC = ”、“Resetting the interface. State = ”、“Issued -purge all entries- command to TB. State = ”、“Issued -age- command to TB. Current Age = ”、“Interface close

command received. State = ", "Add multicast address command received. State = ", "Set LAA MAC address command received. State = ", "Setting new age for TB. New age = ", および "CAM is full. State = " です。

**原因:** "Performing Unicast frame filtering in software" は、アダプターが透過ブリッジングを実行するのに加えて、デバイス・ドライバもローカル MAC アドレスに一致するあて先 MAC アドレスを持っていないすべての受信ユニキャスト・フレームを廃棄することを示しています。システムのブリッジング機能がこのインターフェースをブロック・モードに置いたので、フィルター処理はデバイス・ドライバによって行なわれています。

**処置:** なし。

**原因:** "TB has been enabled" は、インターフェース上の透過ブリッジング・サポートが使用可能にされたことを示しています。これで、インターフェースは着信パケットをフィルターに掛けるようになります。

**処置:** なし。

**原因:** "Auto Negotiation is complete" は、インターフェースがリンク相手側との自動折衝を正常に完了したことを示しています。

**処置:** なし。

**原因:** "Interface operating at speed (Mbps) " は、インターフェースがリンク相手側と動作している速度を示しています。

**処置:** なし。

**原因:** "Interface operating at half duplex" は、インターフェースがリンク相手側と半二重モードで動作していることを示しています。

**処置:** なし。

**原因:** "Interface operating at full duplex" は、インターフェースがリンク相手側と全二重モードで動作していることを示しています。

**処置:** なし。

**原因:** "Configured speed does not match hub speed" は、インターフェースが、システムに構成された速度とは異なる速度で動作していることを示しています。

**処置:** 動作速度が望ましくない場合は、構成で指定した速度の値を変更してください。さらに詳しくは、"10/100 Mbps イーサネット・ネットワーク・インターフェースの構成と監視" の章を参照してください。

**原因:** "Configured duplex does not match hub duplex" は、インターフェースがシステムに構成されたモードとは異なるモードで動作していることを示しています。

**処置:** 動作モードが望ましくない場合は、構成で指定したモードの値を変更してください。さらに詳しくは、

"10/100 Mbps イーサネット・ネットワーク・インターフェースの構成と監視" の章を参照してください。

**原因:** "Resetting the interface" は、インターフェースがリセット操作を実行中であることを示しています。これは、インターフェースが使用可能にされたとき、または自動的に使用可能になろうとしているときに必ず行なわれます。インターフェースが自動的に使用可能になろうとするのは、リンクの接続の切断を検出した場合、または入出力障害のためにシステムがリンクに自己テストを実行するように要求した場合です。

**処置:** なし。

**原因:** "Issued -purge all entries- command to TB" は、インターフェースのテーブル内の確認されたアドレスはすべて削除されることを示しています。インターフェースは、フレームを受信すると再びMAC アドレスの確認を開始します。ブリッジはトポロジーを確認して、経過時間値を更新するので、これは正常な動作です。

**処置:** なし。

**原因:** "Issued -age- command to TB. Current Age = " は、インターフェースは前回の経過時間切れ処理以降に確認されなかったすべての MAC アドレスをテーブルから削除することを示しています。経過時間値は、ブリッジング・プロトコルに対して構成された値に一致しています。

**処置:** なし。

**原因:** "Interface close command received" は、インターフェースがすべての操作を終了するように要求されたことを示しています。送受信機能は、インターフェースが再起動されるまで中断されます。

**処置:** なし。

**原因:** "Add multicast address command received" は、フレームをフィルターするのに使用するマルチキャスト・アドレスがインターフェースに与えられたことを示しています。指定されたマルチキャスト・アドレスに等しいあて先アドレスをもつすべてのフレームがフィルターに掛けられて、廃棄されます。

**処置:** なし。

**原因:** "Set LAA MAC address command received" は、インターフェースが、割り当てられた汎用 MAC アドレスを、構成から入手したローカル管理アドレスでオーバーライドすることを示しています。

**処置:** なし。

**原因:** "Setting new age for TB. New age = " は、テーブルの古い MAC アドレスを経過時間切れ処理して除去するための新しい値がインターフェースに提供されたことを示しています。示されている新しい経過時間値は 16 進値です。

処置: なし。

原因: "CAM is full" は、インターフェースのアドレス・テーブルがいっぱいで、新しい発信元アドレスを確認する余地がないことを示しています。この状態になると、インターフェースは自動的に古い項目を経過時間切れ処理して除去し、新しいアドレスを追加するための余地を作ります。

処置: なし。

原因: "Burnt-in UAA is used due to illegitimate LAA" は、ユーザーが指定したローカル管理 MAC アドレスが無効であることを示しています。代わりに、インターフェースに割り当てられた汎用アドレスが使用されます。

処置: このインターフェースでローカル管理アドレスを使用する必要がある場合は、構成を変更して正しいローカル管理 MAC アドレスを提供し、システムを再始動してください。

---

## ETH.050

レベル: UI-ERROR

短構文: ETH.050 Eth Diag, *related\_msg\_index diag1\_desc diag1\_val diag2\_desc diag2\_val diag3\_desc diag3\_val* nt network

長構文: ETH.050 Ethernet adapter diagnostics: *related\_msg\_index diag1\_desc diag1\_val diag2\_desc diag2\_val diag3\_desc diag3\_val* network network

説明: 直前のイーサネット・ポート・メッセージの診断情報。

処置: なし。

---

## Panic ethbdtbl

短構文: ethbdtbl: eth\_llc tbl out of date

説明: イーサネット LLC テーブルが古くなっています。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

## Panic ethintm

短構文: ethintm: net intf mismtch

説明: イーサネット・データ構造 "ネット" がイーサネットに関連していません。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

## Panic ethbprt

短構文: ethbprt: bad prot init

説明: サポートされないネットワーク・レイヤー・プロトコルがイーサネット・ハンドラーの初期化を試行しました。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

## Panic ethbipx

短構文: ethbipx: bad IPX rqst shd be 8137

説明: 伝送のためにイーサネット・ハンドラーに渡された IPX パケットが、サポートされないものでした。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

## Panic ethbreq

短構文: ethbreq: bad xmit rqst

説明: 伝送のためにイーサネット・ハンドラーに渡されたプロトコル・パケットが、サポートされないものでした。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

## Panic ethtbig

短構文: ethtbig: bad xmit rqst pkt too lg

説明: 伝送のためにイーサネット・ハンドラーに渡されたパケットが、大き過ぎました。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

## Panic ethnbuf

短構文: ethnbuf: no buf to set addr

説明: イーサネット・アドレスを設定するためのバッファを割り振ることができませんでした。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

## Panic ethsrtmcr

短構文: ethsrtmcr: multicast address previously reserved

説明: このインターフェースで使用可能にされているマルチキャスト・アドレスの 1 つは、01-80-C2-00-00-

00 ~ 01-80-C2-00-00-0F の範囲のマルチキャスト・アドレスの 1 つです。

**原因:** ユーザーがマルチキャスト・アドレスを選択できるプロトコル (ISO の ES-IS および IS-IS プロトコルなど) によって、これらのアドレスの 1 つが使用されている可能性があります。

**処置:** 予約済みのアドレスは、使用しないでください。

---

### **Panic ethsrtnm**

**短構文:** ethsrtnm: no memory to register own MAC addr

**説明:** 確認データベースが小さすぎて、このインターフェースのアドレスを確認するための十分な空き項目がありません。

**処置:** 確認データベースのサイズを大きくしてください。

---

### **Panic ethsrtnmm**

**短構文:** ethsrtnmm: no memory to register mutlicast address

**説明:** 確認データベースが小さすぎて、このインターフェースのマルチキャスト・アドレスの 1 つを入れるだけの十分な空き項目がありません。

**処置:** 確認データベースのサイズを大きくしてください。

---

### **Fatal ethsrtun**

**短構文:** ethsrtun: unsupported command

**説明:** サポートされないコマンドが SRT によって与えられました。



---

## 第44章 事象ログ (EVL)

この章では、事象ログ (EVL) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### EVL.001

レベル: ALWAYS

短構文: EVL.001 EventLog() software error: type= *event type*, action= *action needed*, id= *event id*, sev= *severity*, rc= *return code*, filename= *file name*, lineno= *line number*, msg= *message*

長構文: EVL.001 EventLog() software error: type= *event type*, action= *action needed*, id= *event id*, sev= *severity*, rc= *return code*, filename= *file name*, lineno= *line number*, msg= *message*

説明: ソフトウェアが EventLog() を用いてエラーをログに記録しました。





---

## 第45章 ファイバー分散データ・インターフェース (FDDI)

この章では、ファイバー分散データ・インターフェース (FDDI) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### FDDI.001

レベル: UI-ERROR

短構文: FDDI.001 *setup\_phase* fld - bff unav nt *network*

長構文: FDDI.001 *setup\_phase* failed, no buffer available net *network*

説明: 自己検査の開始または統計の更新などのような IOCTL タイプの機能で使用可能な IORB がありませんでした。ネットはダウンとマークされる場合があります。

---

### FDDI.002

レベル: UI-ERROR

短構文: FDDI.002 PLL error nt *network*

長構文: FDDI.002 Elasticity buffer error detected net *network*

説明: 弾性バッファのオーバーランまたはアンダーランが検出され、回復手順が開始されました。

---

### FDDI.003

レベル: CI-ERROR

短構文: FDDI.003 tx fld nt *network*

長構文: FDDI.003 Transmit failed on network *network*

説明: このメッセージが生成されるのは、FDDI パケットが送信待ち行列に追加され、伝送が正常に行われなかった場合です。

原因: ネットワーク接続がない場合は、正常です。

処置: ネットワーク接続を検査してください。

---

### FDDI.004

レベル: CI-ERROR

短構文: FDDI.004 rx fld nt *network*

長構文: FDDI.004 Receive failed on network *network*

説明: このメッセージが生成されるのは、FDDI パケットが受信され、それが受信待ち行列に追加できなかった場合です。

---

### FDDI.005

レベル: C-INFO

短構文: FDDI.005 *setup\_phase*, nt *network*

長構文: FDDI.005 *setup\_phase*, network *network*

説明: FDDI アダプターの初期化が進行中です。実行フェーズ以前です。

---

### FDDI.008

レベル: P-TRACE

短構文: FDDI.008 Trace FDDI frame

長構文: FDDI.008 Trace FDDI frame

説明: FDDI パケット・トレース

---

### FDDI.009

レベル: P-TRACE

短構文: FDDI.009 Rcvd pkt *source\_MAC* -> *destination\_MAC* nt *network* wi RIF ln *RIF\_length*

長構文: FDDI.009 Received packet from *source\_MAC* to *destination\_MAC* network *network* with RIF length *RIF\_length*

説明: このメッセージが生成されるのは、ソース・ルーティング情報が入っている FDDI パケットを受信した場合です。

---

### FDDI.010

レベル: P-TRACE

短構文: FDDI.010 Txd pkt *source\_MAC* -> *destination\_MAC* nt *network* ln

長構文: FDDI.010 Transmitted packet from *source\_MAC* to *destination\_MAC* network *network* length

説明: このメッセージが生成されるのは、FDDI パケットが送信された場合です。

---

### FDDI.011

レベル: P-TRACE

短構文: FDDI.011 Rxd pkt *source\_MAC* ->

*destination\_MAC nt network ln*

**長構文:** FDDI.011 Received packet from *source\_MAC* to *destination\_MAC* network *network* length

**説明:** このメッセージが生成されるのは、FDDI パケットが受信された場合です。

---

#### FDDI.012

**レベル:** U-TRACE

**短構文:** FDDI.012 unkn SNAP type *type\_code* *source\_MAC* -> *destination\_MAC* nt network

**長構文:** FDDI.012 Unknown SNAP type *type\_code* from *source\_MAC* to *destination\_MAC* net network

**説明:** このメッセージは、不明の SNAP タイプ (編成コード 000000 内の) をもつフレームを受信したときに生成されます。

**原因:** ホストが、SNAP を使用して、不明のイーサネット・タイプに関するパケットを送信しています。

---

#### FDDI.013

**レベル:** U-TRACE

**短構文:** FDDI.013 unkn SNAP mfr cd *number* *source\_MAC* -> *destination\_MAC* nt network

**長構文:** FDDI.013 Unknown SNAP manufacturer code *number* from *source\_MAC* to *destination\_MAC* net network

**説明:** このメッセージが生成されるのは、SNAP ヘッダー内の編成コードが不明のフレームを受信した場合です。

**原因:** ホストが、SNAP を使用して、不明の固有プロトコルに関するパケットを送信しています。

---

#### FDDI.014

**レベル:** U-TRACE

**短構文:** FDDI.014 unexp type frm *LLC\_control* ssap *source\_SAP* dsap *dest\_SAP* *source\_MAC* -> *destination\_MAC* nt network

**長構文:** FDDI.014 Unexpected type frame *LLC\_control*, ssap *source\_SAP*, dsap *dest\_SAP*, from *source\_MAC* to *destination\_MAC* net network

**説明:** このメッセージは、予期しない 802.2 LLC フレーム・タイプを受信したときに生成されます。タイプは、I (情報転送) または S (監視) です。

**原因:** ホストが、ルーターへの 802.2 タイプ 2 接続を試みています。

---

#### FDDI.015

**レベル:** U-TRACE

**短構文:** FDDI.015 unexp U frm *LLC\_control* ssap *source\_SAP* dsap *dest\_SAP* *source\_MAC* -> *destination\_MAC* nt network

**長構文:** FDDI.015 Unexpected U frame *LLC\_control*, ssap *source\_SAP*, dsap *dest\_SAP*, from *source\_MAC* to *destination\_MAC* net network

**説明:** このメッセージは、予期しない 802.2 LLC U (非番号制) フレーム・タイプを受信したときに生成されます。(UI、XID、および TEST のみがサポートされます。)

---

#### FDDI.016

**レベル:** U-TRACE

**短構文:** FDDI.016 unkn SAP *sap\_number* *source\_MAC* -> *destination\_MAC* nt network

**長構文:** FDDI.016 Unknown SAP *sap\_number* from *source\_MAC* to *destination\_MAC* net network

**説明:** このメッセージは、不明のあて先 SAP をもつパケットを受信したときに生成されます。

**原因:** ホストは、不明のプロトコル識別子 (SAP) に関するパケットを送信しています。

---

#### FDDI.017

**レベル:** U-TRACE

**短構文:** FDDI.017 xid pkt *source\_MAC* src sap *source\_sap* nt network

**長構文:** FDDI.017 XID packet received from *source\_MAC* source sap *source\_sap* net network

**説明:** ハンドラーが xid メッセージを受信しました。

---

#### FDDI.018

**レベル:** UL\_ERROR

**短構文:** FDDI.018 FC typ *frame\_control* unexp *source\_MAC* -> *destination\_MAC* nt network

**長構文:** FDDI.018 Frame Control type *frame\_control* unexpected from *source\_MAC* to *destination\_MAC* network network

**説明:** このメッセージが生成されるのは、予期しない FDDI FC (フレーム制御) を受信した場合です。(LLC のみがネット・ハンドラーによってサポートされます。)

---

**FDDI.019**

レベル: U-TRACE

短構文: FDDI.019 odd RIF len *source\_MAC* -> *destination\_MAC*; pkt drpd nt *network*

長構文: FDDI.019 odd RIF length from *source\_MAC* to *destination\_MAC*; packet dropped on net *network*

説明: RIF ヘッダー内の長さバイトが奇数でした。これは無効です。パケットは除去されました。

---

**FDDI.020**

レベル: U-TRACE

短構文: FDDI.020 drop IPX pkt w/ *encap\_seen* encaps - using *encap\_used* encaps on int *intnum*

長構文: FDDI.020 dropped IPX pkt with encaps *encap\_seen* using *encap\_used* on interface *intnum*

説明: このメッセージが生成されるのは、カプセル化がこのインターフェースの場合に選択されているものの以外の IPX パケットを受信した場合です。

原因: 単一回線で複数のカプセル化を使用しているネットワークの場合、これは正常です。

処置: 何も必要ありません。

---

**FDDI.021**

レベル: U-TRACE

短構文: FDDI.021 DN bd ln *actual\_length* *claimed\_length* *source\_MAC* -> *destination\_MAC* nt *network*

長構文: FDDI.021 DECnet packet received with a bad length actual *actual\_length* claimed *claimed\_length* from *source\_MAC* to *destination\_MAC* network *network*

説明: DECnet パケットを受信しましたが、長さフィールドが実際のパケット長より長くなっていました。

---

**FDDI.022**

レベル: C-TRACE

短構文: FDDI.022 test pkt *source\_MAC* src sap *source\_sap* nt *network*

長構文: FDDI.022 Test packet from *source\_MAC* source sap *source\_sap* net *network*

説明: ハンドラーがテスト・メッセージを受信しました。

---

---

**FDDI.023**

レベル: C-TRACE

短構文: FDDI.023 Rsp pkt *source\_MAC* src sap *source\_sap* nt *network*

長構文: FDDI.023 RESPONSE packet received from *source\_MAC* source sap *source\_sap* net *network*

説明: ハンドラーが応答メッセージを受信しました。

---

**Panic fddialp**

短構文: fddialp: Can't allocate fddi pernet structure

説明: ネットワーク固有の FDDI 構造を割り振ることができません。

---

**Panic fddibprt**

短構文: fddibprt: bad prot init

説明: サポートされないネットワーク・レイヤー・プロトコルが FDDI ハンドラーの初期化を試行しました。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

**Panic fddibreq**

短構文: fddibreq: bad xmit rqst

説明: サポートされないプロトコル・パケットが、転送のために FDDI ハンドラーに渡されました。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---



---

## 第46章 フレーム・リレー境界アクセス・ノード (BAN)

この章では、フレーム・リレー境界アクセス・ノード (BAN) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### BAN.001

レベル: C-INFO

短構文: BAN.001 T *direction*:I-FRM port= *bridge\_port* len= *len* *src\_mac*-> *dest\_mac* *src\_sap*-> *dest\_sap* rif data

長構文: BAN.001 T *direction*:I-FRAME port= *bridge\_port* len= *len* *src\_mac*-> *dest\_mac* *src\_sap*-> *dest\_sap* rif data

説明: I フレーム・パケット。方向は、ルーターに対して "イン" または "アウト" です。ブリッジ・ポート番号を表示します。パケットの RIF (ルーティング情報フィールド) を全部表示します。パケットの SSAP フィールドの後に続く最高 20 バイトまでを表示します。パケットの SSAP フィールドの後に続くパケット内データの量が長さです。

---

### BAN.002

レベル: P-TRACE

短構文: BAN.002 T *direction*:RR port= *bridge\_port* len= *len* *src\_mac*-> *dest\_mac* *src\_sap*-> *dest\_sap* rif data

長構文: BAN.002 T *direction*:RR port= *bridge\_port* len= *len* *src\_mac*-> *dest\_mac* *src\_sap*-> *dest\_sap* rif data

説明: RR パケット

---

### BAN.003

レベル: UI-ERROR

短構文: BAN.003 prt *bridge\_port* not a bdg prt

長構文: BAN.003 port *bridge\_port* is not a bridge port

説明: 構成された BAN ブリッジ・ポートはブリッジ・ポートではありません。

原因: これは構成の矛盾です。

処置: 構成を訂正してください。

---

### BAN.004

レベル: CI-ERROR

短構文: BAN.004 prt *bridge\_port* initialized

長構文: BAN.004 port *bridge\_port* initialized

説明: 構成された BAN ブリッジ・ポートは、BAN の見地で初期化されています。

---

### BAN.005

レベル: UI-ERROR

短構文: BAN.005 frm drp *source\_mac*-> *dest\_mac*, not BNI src addr *bni\_mac*, prt *bridge\_port*

長構文: BAN.005 frame dropped *source\_mac*-> *dest\_mac*, not BNI source address *bni\_mac*, port *bridge\_port*

説明: NCP によって送信された各フレームは、いずれも構成された境界ノード識別子 (BNI) の MAC アドレスに一致する必要があります。

原因: これは、NCP とルーター間の NCP アドレス構成の矛盾です。

処置: NCP とルーターのいずれかで構成を訂正します。

原因: この BAN ブリッジ・ポートは NCP に接続されていません。

処置: ブリッジ構成を検査します。フレーム・リレー DLCI の接続および構成を検査します。ケーブル接続を検査します。

原因: BAN はこのポートで誤って構成されています。

処置: BAN 構成からこのポートを除去します。

---

### BAN.006

レベル: UI-ERROR

短構文: BAN.006 prt *bridge\_port* not a FR bdg prt

長構文: BAN.006 port *bridge\_port* is not a Frame Relay bridge port

説明: 構成された BAN ブリッジ・ポートはフレーム・リレー DLCI ブリッジ・ポートではありません。

原因: これは構成の矛盾です。BAN ポートは、フレーム・リレー DLCI ブリッジ・ポートだけにおくことができます。

処置: 構成を訂正してください。



---

**BAN.008**

レベル: U-INFO

短構文: BAN.008 frm flt, prt *bridge\_port* ,OUI br type *oui\_type*

長構文: BAN.008 frm flt, prt *bridge\_port* ,OUI br type *oui\_type*

説明: 発信フレームは、BAN によってフィルターされました。OUI タイプ 9 で、保持された FCS のない、RFC 1490 のブリッジされたトークンリング・フレームではなかったためです。これは NCP により期待される唯一のフレーム・タイプです。別のブリッジ・タイプが送信中です。1 および 7 はイーサネット、2 および 8 は 802.4、3 はトークンリング (FCS 付き)、4 および 10 は FDDI、11 は 802.6、14 は 802.1d Hello BPDU、15 は SRB Hello BPDU です。

原因: これは発生が予期されていません。透過的振る舞いおよびスパンニング・ツリーは、BAN ポートでは常に強制的にオフにされるためです。

処置: なし。これは無害です。

---

**BAN.009**

レベル: C-TRACE

短構文: BAN.009 frm flt *src\_addr-> dest\_addr*, prt *bridge\_port*, da not BAN DCLI addr *ban\_dcli\_addr*

長構文: BAN.009 frm flt *src\_addr-> dest\_addr*, prt *bridge\_port*, da not BAN DCLI addr *ban\_dcli\_addr*

説明: 発信フレームは BAN によってフィルターされました。フレームのあて先アドレスが BAN DLCI アドレスに等しくなかったためです。これは、NCP を保護するために行われます。

原因: 通常のブリッジ論理は、すべてのポートに対する送信を試行します。

処置: なし。これは無害です。

---

**BAN.010**

レベル: C-INFO

短構文: BAN.010 prt *bridge\_port* forcing: TB,STP off

長構文: BAN.010 port *bridge\_port* forcing: TB,STP off

説明: BAN ブリッジ・ポートの振る舞いは、透過ブリッジングをオフにし、スパンニング・ツリーをオフにするよう、動的に強制されています。これは BAN にとり必須です。

原因: これは構成の利便として動的に行われます。

---

**BAN.011**

レベル: UI-ERROR

短構文: BAN.011 prt *bridge\_port* DLSw term but DLSw is not in the build

長構文: BAN.011 port *bridge\_port* DLSw term but DLSw is not in the build

説明: BAN ブリッジ・ポートの構成が、DLSw 終了になっています。ただし、DLSw はこのビルドに入っていません。

原因: これは構成の矛盾です。

処置: 構成を訂正して BAN ポートでの DLSw スイッチの代わりにブリッジングを行なうか、DLSw を含むビルドを入手するかいずれかです。

---

**BAN.013**

レベル: C-TRACE

短構文: BAN.013 frm flt *src\_addr-> dest\_addr*, prt *bridge\_port*, DLSw snbn *dls\_snb* not in RIF *rif*

長構文: BAN.013 frm flt *src\_addr-> dest\_addr*, prt *bridge\_port*, DLSw snbn *dls\_snb* not in RIF *rif*

説明: 発信フレームは BAN によってフィルターされました。BAN ポートの設定が、DLSw スイッチであるためです。ただし、フレームは DLSw フレームではありませんでした。DLSw ソース・ルーティング・セグメントおよびブリッジ番号がフレームの RIF (ルーティング情報フィールド) になかったからです。これは、NCP を保護するために行われます。

原因: これが時々発生するのは、標準 DLSw 論理は、SNA フレームの一部について、DLSw スイッチおよびブリッジを試行するからです。たとえば、TEST コマンド・フレームの場合は、これが発生します。

処置: なし。これは無害です。

---

**BAN.014**

レベル: P-TRACE

短構文: BAN.014 T *direction*:RNR port= *bridge\_port* len= *len* *src\_mac-> dest\_mac* *src\_sap-> dest\_sap* *rif* *data*

長構文: BAN.014 T *direction*:RNR port= *bridge\_port* len= *len* *src\_mac-> dest\_mac* *src\_sap-> dest\_sap* *rif* *data*

説明: RNR パケット

---

---

**BAN.015**

レベル: P-TRACE

短構文: BAN.015 T *direction:REJ port= bridge\_port*  
len= len src\_mac-> dest\_mac src\_sap-> dest\_sap rif data

長構文: BAN.015 T *direction:REJ port= bridge\_port*  
len= len src\_mac-> dest\_mac src\_sap-> dest\_sap rif data

説明: REJ パケット

---

**BAN.016**

レベル: CI-ERROR

短構文: BAN.016 T *direction:TST\_C port= bridge\_port*  
len= len src\_mac-> dest\_mac src\_sap-> dest\_sap rif data

長構文: BAN.016 T *direction:TST\_C port= bridge\_port*  
len= len src\_mac-> dest\_mac src\_sap-> dest\_sap rif data

説明: TEST\_C (テスト・コマンド) パケット

---

**BAN.017**

レベル: CI-ERROR

短構文: BAN.017 T *direction:TST\_R port= bridge\_port*  
len= len src\_mac-> dest\_mac src\_sap-> dest\_sap rif data

長構文: BAN.017 T *direction:TST\_R port= bridge\_port*  
len= len src\_mac-> dest\_mac src\_sap-> dest\_sap rif data

説明: TEST\_R (テスト応答) パケット

---

**BAN.018**

レベル: CI-ERROR

短構文: BAN.018 T *direction:XID\_C port= bridge\_port*  
len= len src\_mac-> dest\_mac src\_sap-> dest\_sap rif data

長構文: BAN.018 T *direction:XID\_C port= bridge\_port*  
len= len src\_mac-> dest\_mac src\_sap-> dest\_sap rif data

説明: XID\_C (XID コマンド) パケット

---

**BAN.019**

レベル: CI-ERROR

短構文: BAN.019 T *direction:XID\_R port= bridge\_port*  
len= len src\_mac-> dest\_mac src\_sap-> dest\_sap rif data

長構文: BAN.019 T *direction:XID\_R port= bridge\_port*  
len= len src\_mac-> dest\_mac src\_sap-> dest\_sap rif data

説明: XID\_R (XID 応答) パケット

---

---

**BAN.020**

レベル: CI-ERROR

短構文: BAN.020 T *direction:SABME port= bridge\_port*  
len= len src\_mac-> dest\_mac src\_sap-> dest\_sap rif data

長構文: BAN.020 T *direction:SABME port= bridge\_port*  
len= len src\_mac-> dest\_mac src\_sap-> dest\_sap rif data

説明: SABME パケット

---

**BAN.021**

レベル: CI-ERROR

短構文: BAN.021 T *direction:UA port= bridge\_port*  
len= len src\_mac-> dest\_mac src\_sap-> dest\_sap rif data

長構文: BAN.021 T *direction:UA port= bridge\_port*  
len= len src\_mac-> dest\_mac src\_sap-> dest\_sap rif data

説明: UA パケット

---

**BAN.022**

レベル: CI-ERROR

短構文: BAN.022 T *direction:DM port= bridge\_port*  
len= len src\_mac-> dest\_mac src\_sap-> dest\_sap rif data

長構文: BAN.022 T *direction:DM port= bridge\_port*  
len= len src\_mac-> dest\_mac src\_sap-> dest\_sap rif data

説明: DM パケット

---

**BAN.023**

レベル: CI-ERROR

短構文: BAN.023 T *direction:DISC port= bridge\_port*  
len= len src\_mac-> dest\_mac src\_sap-> dest\_sap rif data

長構文: BAN.023 T *direction:DISC port= bridge\_port*  
len= len src\_mac-> dest\_mac src\_sap-> dest\_sap rif data

説明: DISC パケット

---

**BAN.024**

レベル: CI-ERROR

短構文: BAN.024 T *direction:FRMR port= bridge\_port*  
len= len src\_mac-> dest\_mac src\_sap-> dest\_sap rif data

長構文: BAN.024 T *direction:FRMR port= bridge\_port*  
len= len src\_mac-> dest\_mac src\_sap-> dest\_sap rif data

説明: FRMR パケット

---

---

## BAN.025

レベル: CI-ERROR

短構文: BAN.025 T direction:OTHER port= *bridge\_port*  
len= *len* src\_mac-> *dest\_mac* src\_sap-> *dest\_sap* rif data

長構文: BAN.025 T direction:OTHER port= *bridge\_port*  
len= *len* src\_mac-> *dest\_mac* src\_sap-> *dest\_sap* rif data

説明: 以上に具体的に明示されているもの以外のパケット。表示されているデータを見て、フレームのタイプを正確に判別します。

---

## BAN.026

レベル: UI-ERROR

短構文: BAN.026 frm drp, prt *bridge\_port*, port is  
DLSw term, but DLSw not intialized

長構文: BAN.026 frame dropped, port *bridge\_port*, port  
is DLSw terminated, but DLSw not intialized

説明: 全フレームが除去されます。ポートは DLSw 終了用に構成されていますが、DLSw は実行されていません。

原因: DLSw は構成されなかったか、部分的にしか構成されていませんでした。

処置: DLSw を構成します。

原因: DLSw がソフトウェア・ロードにありません。

処置: DLSw を伴うソフトウェア・ロードを新たに入手してください。

---

## BAN.027

レベル: UI-ERROR

短構文: BAN.027 prt *bridge\_port* not a source routing  
bdg prt

長構文: BAN.027 port *bridge\_port* is not a source  
routing bridge port

説明: 構成された BAN ブリッジ・ポートはソース・ルーティング・ブリッジ・ポートではありません。

原因: これは構成の矛盾です。BAN ポートが構成できるのは、ソース・ルーティング・フレーム・リレー DLCI ブリッジ・ポート上だけです。

処置: 構成を訂正してください。

---

## BAN.028

レベル: UI-ERROR

短構文: BAN.028 frm drp, prt *bridge\_port*, port is not  
intialized

長構文: BAN.028 frame dropped, port *bridge\_port*, port  
is not intialized

説明: ブリッジされたフレームは、インもアウトもすべて除去されています。BAN ポートは初期化されませんでした。

原因: ある種の構成の矛盾です。

処置: BAN ELS メッセージをオンにして、ルーターを再始動し、このポートで BAN が初期化されなかった理由を探します。

---

## BAN.029

レベル: UI-ERROR

短構文: BAN.029 prt *bridge\_port*, BAN DLCI addr  
*ban\_dlc\_addr* is a duplicate with SR-TB enabled.

長構文: BAN.029 port *bridge\_port*, BAN DLCI address  
*ban\_dlc\_addr* is a duplicate with SR-TB enabled.

説明: SR-TB 変換がブリッジ上で使用可能のときは、ブリッジング DLCI の BAN DLCI MAC アドレスは固有である必要があります。SR-TB が使用不可の場合は、この制限は該当しません。

原因: この BAN ブリッジング DLCI の BAN DLCI MAC アドレスは、別の BAN DLCI 上で使用されるものと同じであり、SR-TB が使用可能です。

処置: 代替解決策としては、以下に挙げるものが考えられます。(1) 必要であれば、SR-TB をオフにする。(2) ブリッジング・モードではなく、DLCI 上での DLSw 終了モードを使用する。(3) 必要であれば、複数の DLCI は使用しない。(4) DLCI 上で固有の BAN DLCI MAC アドレスを使用する。

---

## 第47章 フレーム・リレー・ネットワーク・インターフェース (FRL)

この章では、フレーム・リレー・ネットワーク・インターフェース (FRL) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### FR.001

レベル: C-INFO

短構文: FR.001 Frame rcvd, circuit *name* DLCI *circuit* prtcl *protocol* nt *network ID*

長構文: FR.001 Frame received, circuit *name* DLCI = *circuit* protocol type = *protocol*, on network *network ID*

説明: FR インターフェースで、LAPD フレームが受信されました。

---

### FR.002

レベル: C-INFO

短構文: FR.002 Frame xmitted circuit *name* DLCI *circuit* prtcl *protocol* nt *network ID*

長構文: FR.002 Frame transmitted circuit *name* DLCI = *circuit* protocol type = *protocol*, on network *network ID*

説明: FR インターフェースで、LAPD フレームが送信されました。

---

### FR.003

レベル: UI-ERROR

短構文: FR.003 Voice fwd disabled circuit *name* DLCI *dcli*, *reason*, nt *network ID*

長構文: FR.003 Error detected in the voice forwarding configuration. Voice forwarding disabled for circuit *name* DLCI *dcli*, *reason* on network *network ID*

説明: 音声転送回線構成で誤りが検出されました。

---

### FR.004

レベル: C-INFO

短構文: FR.004 Circuit outbound congest circuit *name* DLCI *circuit* nt *network ID*

長構文: FR.004 Circuit outbound congestion circuit *name* DLCI = *circuit*, on network *network ID*

説明: 回線は現在、アウトバウンド方向が輻輳 (ふくそう) しています。

---

### FR.005

レベル: C-INFO

短構文: FR.005 Circuit outbound uncongest circuit *name* DLCI *circuit* nt *network ID*

長構文: FR.005 Circuit outbound uncongested circuit *name* DLCI = *circuit* on network *network ID*

説明: 回線のアウトバウンド方向の輻輳 (ふくそう) は、現在は解消しています。

---

### FR.006

レベル: C-INFO

短構文: FR.006 Circuit active circuit *name* DLCI *circuit* nt *network ID*

長構文: FR.006 Circuit enters active state circuit *name* DLCI = *circuit*, on network *network ID*

説明: 回線は活動状態に入ります。

---

### FR.007

レベル: C-INFO

短構文: FR.007 Orphan circuit joins net DLCI *circuit* nt *network ID*

長構文: FR.007 An orphan circuit not statically configured has joined the network DLCI = *circuit*, on network *network ID*

説明: このインターフェースに孤立回線が作成されました。

---

### FR.008

レベル: C-INFO

短構文: FR.008 Circuit becomes inactive circuit *name* DLCI *circuit* nt *network ID*

長構文: FR.008 Circuit enters inactive state circuit *name* DLCI = *circuit*, on network *network ID*

説明: 回線は非活動状態に入ります。

原因: 回線のリモート側がダウンしているか、使用不

可であるかのいずれかです。

---

**FR.009**

レベル: C-INFO

短構文: FR.009 Circuit becomes unavailable circuit name DLCI circuit nt network ID

長構文: FR.009 Circuit is unavailable circuit name DLCI = circuit, on network network ID

説明: 回線はもうネットワーク上で利用不可能になっています。

原因: LMI メッセージでは、フレーム・リレー・スイッチによって、回線が現在はまだネットワーク上に構成されていないことが示されます。

---

**FR.010**

レベル: C-INFO

短構文: FR.010 Circuit becomes available circuit name DLCI circuit nt network ID

長構文: FR.010 Circuit is available circuit name DLCI = circuit, on network network ID

説明: 回線は現在、ネットワーク上で利用可能です。

---

**FR.011**

レベル: C-INFO

短構文: FR.011 LMI seq exchange req rcv seq = rcvseq xmt seq = xmtseq nt network ID

長構文: FR.011 LMI sequence number exchange requested, last received sequence = rcvseq current transmit sequence = xmtseq, on network network ID

説明: LMI 順序番号交換が要求されました。

---

**FR.012**

レベル: C-INFO

短構文: FR.012 LMI Status Enquiry req rcv seq = rcvseq xmt seq = xmtseq nt network ID

長構文: FR.012 LMI Status Enquiry requested, last received sequence = rcvseq current transmit sequence = xmtseq, on network network ID

説明: LMI 全状況照会が要求されました。

---

**FR.013**

レベル: C-INFO

短構文: FR.013 LMI solicited Status Enquiry response received nt network ID

長構文: FR.013 LMI solicited Status Enquiry response had been received on network network ID

説明: 送信請求 LMI 状況照会応答を受信しました。

---

**FR.014**

レベル: C-INFO

短構文: FR.014 LMI rcvseq response xmitted, rcv seq = xmtseq xmt seq = network ID

長構文: FR.014 LMI rcvseq number response transmitted, last received sequence = xmtseq current transmit sequence = network ID

説明: LMI 順序番号交換が要求されました。

---

**FR.015**

レベル: C-INFO

短構文: FR.015 Modem status change, DCD = dcd CTS = cts nt network ID

長構文: FR.015 Modem status changed DCD = dcd CTS = cts on network network ID

説明: モデム状況の変更が発生しました。現在の状態が記述されています。

---

**FR.016**

レベル: C-INFO

短構文: FR.016 Multicast frm xmitted circuit name DLCI circuit prtcl = protocol nt network ID

長構文: FR.016 Multicast frame transmitted circuit name DLCI = circuit protocol type = protocol, on network network ID

説明: FR インターフェースで、LAPD フレームが送信されました。

---

**FR.017**

レベル: C-INFO

短構文: FR.017 Circuit remains outbound congest circuit name DLCI circuit nt network ID

長構文: FR.017 Circuit remains congested in the outbound direction circuit name DLCI = circuit, on network network ID

説明: 回線は、ネットワークに向かうアウトバウンド方向が輻輳(ふくそう)状態のままです。

---

**FR.018**

レベル: C-INFO

短構文: FR.018 LMI seq *rcvseq* enquiry received, rcv seq = *xmtseq* xmt seq = *network ID*

長構文: FR.018 LMI *rcvseq* number enquiry received, last received sequence = *xmtseq* current transmit sequence = *network ID*

説明: LMI 順序番号交換が要求されました。

---

**FR.019**

レベル: C-INFO

短構文: FR.019 Orphan circuit ignored DLCI *circuit* nt *network ID*

長構文: FR.019 An disallowed orphan circuit not statically configured has been ignored DLCI = *circuit*, on network *network ID*

説明: LMI が、静的に構成されていないか、許されていない回線が活動状態で存在していることを知らせました。

---

**FR.020**

レベル: C-INFO

短構文: FR.020 Circuits exceeded, orphan circuit discarded DLCI *circuit* nt *network ID*

長構文: FR.020 The total circuits allowed has been exceeded, an orphan circuit has been ignored DLCI = *circuit*, on network *network ID*

説明: LMI が、インターフェースに結合できない回線が活動状態で存在していることを知らせました。最大の回線数を超過しています。

---

**FR.021**

レベル: C-INFO

短構文: FR.021 No memory for orphan, circuit discarded DLCI *circuit* nt *network ID*

長構文: FR.021 No available memory for orphan circuit, the circuit has been ignored DLCI = *circuit*, on network *network ID*

説明: LMI メッセージにおいては、フレーム・リレー・スイッチが、回線が存在し、使用可能であることを知らせています。しかし、その回線をサポートするには

記憶域が足りないために、回線はインターフェースに結合できません。

---

**FR.022**

レベル: UE-ERROR

短構文: FR.022 Unsupported LMI IE, type = 0x *type* on nt *network ID*

長構文: FR.022 Unsupported LMI information element, type = 0x *type* on network *network ID*

説明: サポートされない管理情報要素が検出されました。

原因: ソフトウェアが古いものです。サービス技術員に連絡してください。

---

**FR.023**

レベル: UE-ERROR

短構文: FR.023 Unsupported LMI *msg\_type* type = 0x *type\_val* nt *network ID*

長構文: FR.023 Unsupported LMI *msg\_type* type encountered = 0x *type\_val*, on network *network ID*

説明: サポートされない管理 LMI メッセージ・タイプまたはレポート・タイプが検出されました。

原因: ソフトウェアが古いものです。サービス技術員に連絡してください。

---

**FR.024**

レベル: C-INFO

短構文: FR.024 LMI asynch status *stat* reported for circuit *dcli* DLCI *network ID*/

長構文: FR.024 A LMI asynchronous status message indicating a status of *stat* was transmitted for *dcli* DLCI *network ID*/

説明: 非同期状況送信

---

**FR.025**

レベル: UE-ERROR

短構文: FR.025 No LIV received, nt *network ID*

長構文: FR.025 LIV not received on network *network ID*

説明: LIV 状況が受信されません。



---

**FR.026**

レベル: UE-ERROR

短構文: FR.026 Unsupported NLPID, type = 0x *type*, circuit name DLCI = *circuit* on nt *network ID*

長構文: FR.026 Unsupported Network Layer Protocol ID, type = 0x *type* from circuit name DLCI = *circuit* on network *network ID*

説明: サポートされないネットワーク・レイヤー・プロトコル NLPID が検出されました。

原因: ソフトウェアが古いものであるか、適合していません。サービス技術員に連絡してください。

---

**FR.027**

レベル: UE-ERROR

短構文: FR.027 Unsupported ethertype = 0x *etype* for NLPID = 0x *nlpid*, circuit name DLCI = *circuit* on nt *network ID*

長構文: FR.027 Unsupported ethernet type = 0x *etype* for NLPID = 0x *nlpid* from circuit name DLCI = *circuit* on network *network ID*

説明: サポートされないイーサネット・タイプが検出されました。

原因: ソフトウェアが古いものであるか、適合していません。サービス技術員に連絡してください。

---

**FR.028**

レベル: UE-ERROR

短構文: FR.028 Unsupported OUI = 0x *oui* with NLPID = 0x80, circuit name DLCI *circuit* on nt *network ID*

長構文: FR.028 Unsupported organization unique identifier (OUI) = 0x *oui* with NLPID = 0x80 from circuit name DLCI = *circuit* on network *network ID*

説明: サポートされない編成固有識別子 (OUI) が、SNAP NLPID (すなわち 0x80) を使用してカプセル化されたフレーム内に検出されました。

原因: ソフトウェアが古いものであるか、適合していません。サービス技術員に連絡してください。

---

**FR.029**

レベル: UE-ERROR

短構文: FR.029 Received data on invalid circuit, DLCI *circuit* on nt *network ID*

長構文: FR.029 Data received on invalid or nonconfigured circuit, DLCI = *circuit* on network *network ID*

説明: 未構成の回線、または動的に確認されたがネットワーク上でまだ活動状態になっていない回線で、データが受信されました。

原因: ネットワークの構成の誤り、またはタイミングの誤り。

---

**FR.030**

レベル: C-INFO

短構文: FR.030 LMI seq exchange received rcv seq = *rcvseq* xmt seq = *xmtseq* nt *network ID*

長構文: FR.030 LMI sequence number exchange received, last received sequence = *rcvseq* current transmit sequence = *xmtseq*, on network *network ID*

説明: LMI 順序番号交換が受信されました。

---

**FR.031**

レベル: C-INFO

短構文: FR.031 LMI unsolicited PVC Status Update received nt *network ID*

長構文: FR.031 LMI unsolicited single Status Update had been received on network *network ID*

説明: LMI 非送信請求単一状況更新メッセージを受信しました。

---

**FR.032**

レベル: UE-ERROR

短構文: FR.032 Circuit address length too short nt *network ID*

長構文: FR.032 Circuit address length less than the 2 octet minimum received on network *network ID*

説明: ルーターが、フレーム・リレー・インターフェースで、2 オクテットより短いアドレス・フィールドを持つフレームを検出しました。ルーターがフレーム・リレー・インターフェースでサポートしているアドレス・フィールドは、2 オクテットのもののみです。

---

**FR.033**

レベル: UE-ERROR

短構文: FR.033 Circuit address length too large nt *network ID*

長構文: FR.033 Circuit address length greater than the

2 octet maximum received on network *network ID*

**説明:** ルーターが、フレーム・リレー・インターフェースで、2 オクテットより長いアドレス・フィールドを持つフレームを検出しました。ルーターがフレーム・リレー・インターフェースでサポートしているアドレス・フィールドは、2 オクテットのもののみです。

---

#### FR.034

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** FR.034 Circuit status message using reserved address, DLCI *circuit* nt *network ID*

**長構文:** FR.034 Circuit status update message contained a reserved management channel address, DLCI = *circuit*, on network *network ID*

**説明:** LMI 状況メッセージに、予約済みの管理チャンネル・アドレスが含まれていました。

---

#### FR.035

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** FR.035 Unsupported control frame, type = 0x *type*, circuit *name* DLCI *circuit* on nt *network ID*

**長構文:** FR.035 Unsupported Link Layer control frame encountered, type = 0x *type* from circuit *name* DLCI = *circuit* on network *network ID*

**説明:** サポートされないリンク・レイヤー制御フレームが検出されました。

**原因:** ソフトウェアが古いものであるか、適合していません。サービス技術員に連絡してください。

---

#### FR.036

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** FR.036 Unsupported management protocol descriptor, type = 0x *type* on nt *network ID*

**長構文:** FR.036 Unsupported layer management protocol descriptor encountered, type = 0x *type* on network *network ID*

**説明:** サポートされないネットワーク・レイヤー・プロトコル記述子が検出されました。

**原因:** ソフトウェアが古いものであるか、適合していません。サービス技術員に連絡してください。

---

#### FR.037

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** FR.037 Unsupported management call reference encountered on nt *network ID*

**長構文:** FR.037 Unsupported layer management call reference encountered on network *network ID*

**説明:** サポートされないネットワーク・レイヤー・コール参照フィールドが検出されました。

**原因:** ソフトウェアが古いものであるか、適合していません。サービス技術員に連絡してください。

---

#### FR.038

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** FR.038 No lock shift encountered in ANSI LMI message on nt *network ID*

**長構文:** FR.038 No lock shift encountered in received ANSI LMI message on network *network ID*

**説明:** 受信した ANSI 管理フレームに、必要なロック・シフト情報要素が含まれていませんでした。

**原因:** ネットワーク交換管理フレームのエラー。現場管理責任者に連絡してください。

---

#### FR.039

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** FR.039 Incorrect formatted information element encountered on nt *network ID*

**長構文:** FR.039 Incorrectly formatted information element encountered on network *network ID*

**説明:** 受信した管理フレーム情報要素が、正しく形式設定されていませんでした。

**原因:** ネットワーク交換管理フレームのエラー。現場管理責任者に連絡してください。

---

#### FR.040

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** FR.040 LMI rcv seq number in error seq = *rcvseq* expected seq = *xmtseq* nt *network ID*

**長構文:** FR.040 LMI receive sequence number in error, receive sequence = *rcvseq* expected sequence = *xmtseq*, on network *network ID*

**説明:** 正しくない LMI 受信順序番号を受信しました。

---

**FR.041**

レベル: C-INFO

短構文: FR.041 Circuit leaves net circuit *name* DLCI *circuit* nt *network ID*

長構文: FR.041 A circuit has been removed from the network circuit *name* DLCI = *circuit*, on network *network ID*

説明: 前回出された LMI 全状況メッセージにあった回線が、フレーム・リレー・スイッチに含まれていません。この回線は、ネットワークから取り外されたものと想定されます。

---

**FR.042**

レベル: C-INFO

短構文: FR.042 Circuit inbound congest circuit *name* DLCI *circuit* nt *network ID*

長構文: FR.042 Circuit experiencing inbound congestion circuit *name* DLCI = *circuit*, on network *network ID*

説明: 回線は現在、インバウンド方向が輻輳（ふくそう）しています。

---

**FR.043**

レベル: UE-ERROR

短構文: FR.043 Incorrect formatted addr hdr for LMI packet encountered on nt *network ID*

長構文: FR.043 Incorrect formatted address header for LMI packet encountered on network *network ID*

説明: 受信した管理フレームのアドレス・ヘッダーには、BECN、FECN、DE、または CR ビットがセットされていました。

原因: ネットワーク交換管理フレームのエラー。現場管理責任者に連絡してください。

---

**FR.044**

レベル: UE-ERROR

短構文: FR.044 Unsolicited LMI LIV received rcv seq = *xseq* xmt seq = *rseq* nt *network ID*

長構文: FR.044 Unsolicited LMI Link Integrity Verification received receive seq number = *xseq* transmit seq number = *rseq* on network *network ID*

説明: ルーターによるポーリングなしに、ネットワークから LMI リンク健全性検査メッセージを受信しました。

原因: 重複パケットが送信された可能性があります。LMI リンクを監視して、現場管理責任者に連絡してください。

---

**FR.045**

レベル: UE-ERROR

短構文: FR.045 Unsolicited LMI FULL STATUS received rcv seq = *xseq* xmt seq = *rseq* nt *network ID*

長構文: FR.045 Unsolicited LMI FULL STATUS response received receive seq number = *xseq* transmit seq number = *rseq* on network *network ID*

説明: ルーターによるポーリングなしに、ネットワークから LMI 全状況メッセージを受信しました。

原因: 重複パケットが送信された可能性があります。LMI リンクを監視して、現場管理責任者に連絡してください。

---

**FR.046**

レベル: UE-ERROR

短構文: FR.046 DROP: Bridging not enabled on circuit *name* DLCI *circuit*, nt *network ID*

長構文: FR.046 DROP: Bridging not enabled on circuit *name* DLCI = *circuit*, network *network ID*

説明: RFC 1490 で定義されているブリッジ・タイプのフレームが受信されました。しかし、ブリッジングがこの回線で使用可能にされていなかったために、フレームは廃棄されます。

原因: ポイント・ポイント WAN 接続では、これはブリッジングが一方のエンドポイント・ルーターでは使用可能にされ、他方では使用不可にされていることを示しています。この構成は無効です。

処置: 回線の両端で適切なブリッジング動作を使用可能にするか、またはこの回線に接続されたブリッジ・ポート上のブリッジングを使用不可にします。言い換えれば、回線の両端でブリッジングを使用可能または使用不可にする必要があります。

---

**FR.047**

レベル: C-INFO

短構文: FR.047 DROP: Bridge port not fwding on circuit *name* DLCI *circuit*, nt *network ID*

長構文: FR.047 DROP: Bridge port not forwarding on circuit *name* DLCI = *circuit*, network *network ID*

説明: ブリッジ・フレームは、ブリッジ・ポートが転送状態でないために、廃棄されます。

**原因:** ポートがアップ状態になった直後で、ブロック化、listen、確認、転送の各状態に進行中であるか、またはスパンニング・ツリー・プロトコルがこのポートをバックアップ・ポートとしてブロック状態に留まらせるように決定した可能性があります。

---

#### FR.048

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** FR.048 DROP: *source\_mac* to *dest\_mac*, Frame to bdg port behav mismatch on circuit name DLCI circuit, nt network ID

**長構文:** FR.048 DROP: *source\_mac* to *dest\_mac*, Frame to bridge port behavior mismatch on circuit name DLCI = *circuitu*, network network ID

**説明:** ブリッジされたフレームが受信されましたが、フレーム・タイプとブリッジ・ポートの動作とが合致しないために、廃棄されます。

**原因:** ソース・ルーティングされたフレームが、ソース・ルーティングが使用不可になっているブリッジ・ポートで受信されたか、または透過フレームが、透過ブリッジングが使用不可になっているブリッジ・ポートで受信されました。

**処置:** 回線の両端で適切なブリッジング動作を使用可能にするか、またはこの回線に接続されたブリッジ・ポート上のブリッジングを使用不可にします。

---

#### FR.049

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** FR.049 Unsupported bdg frame type = 0x *type*, circuit name DLCI circuit on nt network ID

**長構文:** FR.049 Unsupported bridge frame type = 0x *type* from circuit name DLCI = *circuit* on network network ID

**説明:** サポートされないブリッジ・フレーム・タイプが検出され、フレームは廃棄されました。

**原因:** 802.4 ブリッジ・フレーム、802.6 ブリッジ・フレーム、または RFC 1490 でサポートされないブリッジ・プロトコル ID を持つブリッジ・フレームのいずれかが受信されました。

**処置:** 互換性のあるブリッジング動作が回線の両端で構成されていることを確認して、それでも問題が起こる場合はサービス技術員に連絡してください。

---

#### FR.050

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** FR.050 Unrecgnz outgoing bdg frame type = *type* on circuit name DLCI circuit on nt network ID

**長構文:** FR.050 Unrecognized outgoing bridge frame type = *type* on circuit name DLCI = *circuit* on network network ID

**説明:** 発信ブリッジ・フレーム・タイプが認識できません。ブリッジがフレーム・リレー・インターフェースに送信を要求したフレームのタイプは、RFC 1490 で定義されているカプセル化に変換できないタイプです。

**原因:** ソフトウェアの問題

**処置:** サービス技術員に連絡してください。

---

#### FR.051

**レベル:** C-INFO

**短構文:** FR.051 Xmit frame rej: *rsn* = *reason*, circuit name DLCI circuit, prtcl = *protocol*, nt network ID

**長構文:** FR.051 Transmit frame rejected with reason = *reason* for circuit name DLCI = *circuit* protocol type = *protocol* on network network ID

**説明:** プロトコル・フレームが廃棄されました。伝送に備えて待ち行列に入れることができなかつたためです。

**原因:** バッファ不足があるか、帯域幅予約待ち行列が最大長に達しているか、またはインターフェースがダウンしています。

---

#### FR.052

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** FR.052 LMI rcv seq = 0, prev rcv = *prevrcv\_seq*, xmt seq = *xmt\_seq* nt network ID

**長構文:** FR.052 LMI receive sequence number = 0, previous receive sequence number = *prevrcv\_seq*, current transmit sequence number = *xmt\_seq* on network network ID

**説明:** LMI 送信順序番号 0 を受信しました。

---

#### FR.053

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** FR.053 DN bd ln *actual\_length* *claimed\_length*, circuit name DLCI circuit nt network id

**長構文:** FR.053 DECnet packet received with a bad

length actual *actual\_length* claimed *claimed\_length* on circuit *name* DLCI = *circuit*, network *network id*

説明: DECnet パケットを受信しましたが、長さフィールドが実際のパケット長より長くなっていました。

---

#### FR.054

レベル: UE-ERROR

短構文: FR.054 Rqd PVC *required\_pvc* unavail nt *network id*; continue testing

長構文: FR.054 Required PVC *required\_pvc* unavailable on network *network id*; continue testing interface

説明: ルーターとフレーム・リレー・スイッチとの間で、LMI メッセージの交換が正常に行われました。しかし、必須 PVC が活動状態であることをスイッチがルーターに通知していなかったために、ルーターは必須 PVC がすべて活動状態になるまでインターフェースのテストを続けます。

原因: 少なくとも 1 つの必須 PVC が活動状態でありません。

---

#### FR.055

レベル: UE-ERROR

短構文: FR.055 Rqd PVC *required\_pvc* removed nt *network id*; start testing

長構文: FR.055 Required PVC *required\_pvc* removed from network *network id*; start testing interface

説明: 必須 PVC が現在は活動状態でないことを示す LMI メッセージを、ルーターがフレーム・リレー・スイッチから受信しました。ルーターは、必須 PVC が再び活動状態になるまでインターフェースをダウンにしました。

原因: 必須 PVC が非活動状態になりました。

---

#### FR.056

レベル: UE-ERROR

短構文: FR.056 No PVCs present nt *network id*; testing

長構文: FR.056 No PVCs present on network *network id*; testing interface

説明: ルーターは、LMI メッセージを FR スイッチと正常に交換しましたが、活動状態にある回線がないことを LMI メッセージが示しています。NO-PVC 構成オプションがインターフェースで使用可能になっているため、ルーターは 1 つまたは複数の回線が活動状態になるまでインターフェースをテストします。

原因: インターフェース上のどの回線も活動状態ではありません。

---

#### FR.057

レベル: UE-ERROR

短構文: FR.057 No rpt type in LMI msg nt *network ID*

長構文: FR.057 No report type encountered in received LMI message on network *network ID*

説明: 受信された LMI が、必須のレポート・タイプの情報要素を含んでいませんでした。

原因: FR ネットワーク・スイッチ管理フレームのエラー。現場管理責任者に連絡してください。

---

#### FR.059

レベル: UE-ERROR

短構文: FR.059 Frame dropped: APPN or DLSw not enabled on circuit *name* DLCI *circuit*, nt *network ID*

長構文: FR.059 Frame dropped: APPN or DLSw not enabled on circuit *name* DLCI = *circuit*, network *network ID*

説明: RFC 1490 で定義されている APPN カプセル化または SNA カプセル化を使用したフレームを受信しましたが、APPN または DLSw のどちらもこの回線で使用可能になっていないため、フレームは廃棄されます。

原因: このことは、APPN および SNA のトラフィックが回線の一方で使用可能になっており、もう一方で使用不可になっていることを示しています。この構成は無効です。

処置: APPN トラフィックまたは SNA トラフィックを、回線の両端で使用可能にするか、使用不可にしてください。

---

#### FR.060

レベル: UE-ERROR

短構文: FR.060 Unsupported L2/L3 PIDs = 0x *l2pid*/0x *l3pid*, circuit *name* DLCI *circuit* on nt *network ID*

長構文: FR.060 Unsupported L2 and/or L3 protocol ids = 0x *l2pid*/0x *l3pid* when NLPID = 0x08, circuit *name* DLCI = *circuit* on network *network ID*

説明: NLPID 値が 0x08 のフレームを受信しましたが、レイヤー 2 またはレイヤー 3 (またはその両方) のプロトコル ID が APPN および SNA のトラフィックではサポートされていません。

原因: ソフトウェアが古いものであるか、適合していません。サービス技術員に連絡してください。



---

**FR.061**

レベル: C-TRACE

短構文: FR.061 Info rate changed from *cur\_vir* to *new\_vir*, circuit *name* DLCI *circuit* on nt *network ID*

長構文: FR.061 Information rate changed from *cur\_vir* to *new\_vir* for circuit *name* DLCI = *circuit* on network *network ID*

説明: 輻輳 (ふくそう) が発生している (BECN セットを持つフレームが受信された) か、輻輳 (ふくそう) が終了している (BECN セットを持たないフレームが受信されたか、フレームがしばらくの間受信されていない) ために、情報速度が変更されています。

---

**FR.062**

レベル: UE-ERROR

短構文: FR.062 Frame len of *length* too short for circuit *name* DLCI *circuit* on nt *network ID*

長構文: FR.062 Frame length of *length* is too short for frame received on circuit *name* DLCI *circuit* on network *network ID*

説明: アドレス・フィールド、制御フィールド、および RFC 1490 カプセル化ヘッダーの合計の長さより短い長さのフレームを受信しました。

原因: ソフトウェアが古いものであるか、適合していません。サービス技術員に連絡してください。

---

**FR.063**

レベル: UE-ERROR

短構文: FR.063 FH circuit *name* DLCI *dlci* inactivated, *reason*, nt *network ID*

長構文: FR.063 Error detected in the frame handler circuit configuration. Circuit *name* DLCI *dlci* inactivated, *reason* on network *network ID*

説明: 音声転送回線構成で誤りが検出されました。

---

**FR.064**

レベル: UE-ERROR

短構文: FR.064 Config info missing for required group *groupname* on nt *network ID*

長構文: FR.064 Configuration information missing for required PVC group *groupname* on network *network ID*

説明: 必須 PVC が、必須 PVC グループに属するものと定義されていますが、SRAM グループ情報レコードが見つかりません。

原因: ソフトウェア (レコードが書かれていない) またはハードウェア。サービス技術員に連絡してください。

---

**FR.065**

レベル: UE-ERROR

短構文: FR.065 All PVCs in reqd group *groupname* unavail nt *network id*; continue testing

長構文: FR.065 All PVCs in required PVC group *groupname* unavailable on network *network id*; continue testing interface

説明: ルーターとフレーム・リレー・スイッチとの間で、LMI メッセージの交換が正常に行われました。しかし、必須 PVC グループの中の PVC のいずれかが活動状態であることをスイッチがルーターに通知していなかったために、ルーターは必須 PVC が少なくとも 1 つ活動状態になるまでインターフェースのテストを続けます。

原因: 必須 PVC グループ内のすべての回線が非活動状態です。

---

**FR.066**

レベル: UE-ERROR

短構文: FR.066 All PVCs in reqd group *groupname* removed nt *network id*; start testing

長構文: FR.066 All PVCs in required PVC group *groupname* removed from network *network id*; start testing interface

説明: 必須 PVC グループの中の最後の必須 PVC が現在は活動状態でないことを示す LMI メッセージを、ルーターがフレーム・リレー・スイッチから受信しました。ルーターは、グループの中の PVC が少なくとも 1 つ再び活動状態になるまでインターフェースをダウンにします。

原因: 必須 PVC グループ内のすべての回線が非活動状態になりました。

---

**FR.067**

レベル: UE-ERROR

短構文: FR.067 Net down due to *type* of *n2evnc N2* LMI errors nt *network id*; start testing

長構文: FR.067 Frame relay LMI detected *type* errors out of *n2evnc N2* consecutive events on network *network id*; start testing interface

説明: フレーム・リレー LMI エラーが過剰のため、インターフェースはダウンとマークされました。



原因: 過剰フレーム・リレー LMI エラー

---

#### FR.068

レベル: UE-ERROR

短構文: FR.068 Asynchronous status message with LIV IE received on nt *network ID*

長構文: FR.068 Asynchronous status message with LIV IE received on network *network ID*

説明: LIV IE 付き非同期状況メッセージをネットワークから受信しました。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

#### FR.069

レベル: C-INFO

短構文: FR.069 CLLM cause *cv* rcvd for PVCs *elsstring* on nt *network ID*

長構文: FR.069 A CLLM message was received with cause value *cv* for PVCs *elsstring* on network *network ID*

説明: 有効な CLLM メッセージを受信して処理しました。

---

#### FR.070

レベル: UE-ERROR

短構文: FR.070 Compress frame disc (bad header) circuit *name* DLCI *circuit* on nt *network ID*

長構文: FR.070 Circuit *name* DLCI *circuit* discarded a compression frame (bad header) on network *network ID*

説明: FR 圧縮フレームが、ヘッダーの不良を理由に、受信側で廃棄されました。

---

#### FR.071

レベル: UE-ERROR

短構文: FR.071 Compress frame disc (not oper) circuit *name* DLCI *circuit* on nt *network ID*

長構文: FR.071 Circuit *name* DLCI *circuit* discarded a compression frame (not oper) - network *network ID*

説明: FR 圧縮フレームが受信側で廃棄されました。作動不可能です。

---

#### FR.072

レベル: UE-ERROR

短構文: FR.072 Frame discarded (decompress err) circuit *name* DLCI *circuit* rc= *returncode* on nt *network ID*

長構文: FR.072 Circuit *name* DLCI *circuit* had a decompression error (rc = *returncode*) on network *network ID*

説明: FR 圧縮フレームが、圧縮解除エラーのため廃棄されました。

原因: 圧縮解除エラー

---

#### FR.073

レベル: C-INFO

短構文: FR.073 DCP retry limit exhausted for circuit *name* DLCI *circuit* on nt *network ID*

長構文: FR.073 DCP retries exhausted for circuit *name* DLCI *circuit* on network *network ID*

説明: FR 圧縮折衝再試行限界に達しています。

---

#### FR.074

レベル: UE-ERROR

短構文: FR.074 Circuit *name* DLCI *circuit* rcvd DCP control PDU out of seq on nt *network ID*

長構文: FR.074 Circuit *name* DLCI *circuit* received DCP ctl PDU out of sequence on network *network ID*

説明: FR 圧縮制御フレームの受信順序が誤っています。

---

#### FR.075

レベル: C-INFO

短構文: FR.075 DCP R-R mode started for circuit *name* DLCI *circuit* on nt *network ID*

長構文: FR.075 DCP R-R mode started for circuit *name* DLCI *circuit* on network *network ID*

説明: FR 圧縮リセット要求 (R-R) モードが開始されています。

---

#### FR.076

レベル: UE-ERROR

短構文: FR.076 Compress not done (no resources) for circuit *name* DLCI *circuit* on nt *network ID*

長構文: FR.076 Compression not done (no resources) for circuit *name* DLCI *circuit* on network *network ID*

説明: 圧縮が実行されませんでした。資源が利用不可能です。

原因: 圧縮機能を使用するためのバッファが利用不可能です。

---

**FR.077**

レベル: UE-ERROR

短構文: FR.077 Compress frame disc by non-comp circuit *name* DLCI *circuit* on nt *network ID*

長構文: FR.077 Compression frame discarded by non-comp circuit *name* DLCI *circuit* on network *network ID*

説明: 圧縮フレームが非圧縮回線によって廃棄されました。

---

**FR.078**

レベル: UE-ERROR

短構文: FR.078 Compress failed for circuit *name* DLCI *circuit* (rc = *returncode*) on nt *network ID*

長構文: FR.078 Compression failed for circuit *name* DLCI *circuit* with rc = *returncode* on network *network ID*

説明: 圧縮が失敗しました。

原因: データ圧縮アルゴリズムが負の戻りコードを戻しました。

---

**FR.079**

レベル: UE-ERROR

短構文: FR.079 Compress frame disc (R-R mode) circuit *name* DLCI *circuit* on nt *network ID*

長構文: FR.079 Circuit *name* DLCI *circuit* discarded a compression frame (in R-R mode) on network *network ID*

説明: FR 圧縮フレームが受信側によって廃棄されました (R-R モード)。

原因: 圧縮再同期 (R-R) モードのときに、データ・フレームを受信しました。

---

**FR.080**

レベル: UE-ERROR

短構文: FR.080 Compress frame disc (seq err) circuit *name* DLCI *circuit* on nt *network ID* - *seq\_numbers*

長構文: FR.080 Compression frame discarded (seq num err) by circuit *name* DLCI *circuit* on network *network ID* - *seq\_numbers*

説明: 圧縮フレームが、順序番号エラーのため廃棄されました。

原因: 正しくない順序番号を持つ圧縮データ・フレームを受信しました。

---

**FR.081**

レベル: C-INFO

短構文: FR.081 Compress frame disc (LCB err) by circuit *circuit* DLCI *network ID*/ *LCBs* -

長構文: FR.081 Compression frame discarded (LCB err) by circuit *circuit* DLCI *network ID*/ *LCBs* -

説明: 圧縮フレームが、LCB エラーのため廃棄されました。

---

**FR.082**

レベル: C-INFO

短構文: FR.082 DCP R-R mode ended for circuit *name* DLCI *circuit* on nt *network ID*

長構文: FR.082 DCP R-R mode ended for circuit *name* DLCI *circuit* on network *network ID*

説明: FR 圧縮リセット要求 (R-R) モードが終了しています。

---

**FR.083**

レベル: C-INFO

短構文: FR.083 Data compress oper circuit *name* DLCI *circuit* on nt *network ID*

長構文: FR.083 Data compression operational for circuit *name* DLCI *circuit* on network *network ID*

説明: FR データ圧縮が作動可能です。

---

**FR.084**

レベル: UE-ERROR

短構文: FR.084 Data compress stop circuit *name* DLCI *circuit* on nt *network ID*

長構文: FR.084 Data compression stopped for circuit *name* DLCI *circuit* on network *network ID*

説明: FR データ圧縮が停止しています。

原因: ネットワークがダウンしているか、圧縮折衝が中断しました。

---

**FR.085**

レベル: CE-ERROR

短構文: FR.085 Circuit *name* DLCI *circuit* on nt *network ID* wait for a compress context

長構文: FR.085 Circuit *name* DLCI *circuit* on network *network ID* is waiting for a compression context

説明: 回線がデータ圧縮コンテキストを待機中です。

原因: 圧縮コンテキストが利用不可能です。

---

#### FR.086

レベル: CE-ERROR

短構文: FR.086 Circuit *name* DLCI *circuit* on nt *network ID* wait for compress limit to reduce

長構文: FR.086 Circuit *name* DLCI *circuit* on network *network ID* waiting for circuit compression limit to reduce

説明: 回線は回線圧縮限界が下がるのを待っています。

原因: インターフェース圧縮 PVC 限界に達しました。

---

#### FR.087

レベル: C-INFO

短構文: FR.087 Compress neg suspended circuit *name* DLCI *circuit* on nt *network ID*

長構文: FR.087 Compression negotiation suspended for circuit *name* DLCI *circuit* on network *network ID*

説明: データ圧縮折衝が中断しています。

---

#### FR.088

レベル: CE-ERROR

短構文: FR.088 Compression internally disabled for dynamic actv'ed nt *network ID*

長構文: FR.088 Compression internally disabled for dynamically activated network *network ID*

説明: データ圧縮が、動的に起動したインターフェースでは内部的に使用不可になっています。

原因: バッファー・ヘッダーまたはトレーラー・サイズが圧縮には不十分です。

---

#### FR.089

レベル: UE-ERROR

短構文: FR.089 CLLM msg *elsstring* fmt error offset = *erroffset* on nt *network ID*

長構文: FR.089 A format error in the header of CLLM message *elsstring* was detected at offset *erroffset* (starting from 1) on network *network ID*

説明: 無効の CLLM メッセージを受信して廃棄しました。

原因: ソフトウェアが古いものであるか、適合してい

ません。サービス技術員に連絡してください。

---

#### FR.090

レベル: UE-ERROR

短構文: FR.090 Xmit frame rej: prtcl *protocol* rsn *reason* data *data* nt *network ID*

長構文: FR.090 Transmit frame rejected for protocol *protocol*, reason code = *reason*, associated data = *data* network *network ID*

説明: 内部エラーまたはルーティング・エラーのため、フレームが転送できませんでした。

原因: 無効な制御ブロックまたは DLCI ポインター

---

#### FR.091

レベル: UE-ERROR

短構文: FR.091 Xmit frame rej: inactive or removed circuit DLCI *pvc* prtcl *protocol* nt *network ID*

長構文: FR.091 Transmit frame rejected for inactive or removed circuit DLCI *pvc* for protocol *protocol* network *network ID*

説明: 関連した回線が非活性であったか、除去されていたか、いずれかであったので、フレームが送信できませんでした。これがマルチキャスト・パケットであった場合は、回線番号はゼロになります。

原因: 非活性または除去された回線で伝送が試行されました。

---

#### FR.092

レベル: UE-ERROR

短構文: FR.092 Encrypt frame disc circ *name* DLCI *circuit* on nt *network ID* - multi-encryption not allowed

長構文: FR.092 Encrypt frame disc circ *name* DLCI *circuit* on nt *network ID* - multi-encryption not allowed

説明: 暗号化フレームが、暗号化が複数回試みられたため廃棄されました。

原因: 暗号化が 2 回試みられました。

処置: 暗号化が複数回試みられることがないよう、ユーザーは IP/SEC または PPP/FR を再構成する必要があります。

---

#### FR.093

レベル: C-INFO

短構文: FR.093 DCP frm sent circuit *name* DLCI *circuit* (len *length*, seq *seqnum*, lcb *lcb*) - nt *network ID*

**長構文:** FR.093 DCP frame sent for circuit *name* DLCI *circuit* (len = *length*, seq = *seqnum*, lcb = *lcb*) - network *network ID*

**説明:** データが圧縮されている DCP フレームが送信されています。

---

#### FR.094

**レベル:** C-INFO

**短構文:** FR.094 DCP frm w/uncomp data sent circuit *name* DLCI *circuit* (len *length*, seq *seqnum*) - nt *network ID*

**長構文:** FR.094 DCP frame with uncompressed data sent for circuit *name* DLCI *circuit* (len = *length*, seq = *seqnum*) - network *network ID*

**説明:** データが圧縮されていない DCP フレームが送信されています。

---

#### FR.095

**レベル:** C-INFO

**短構文:** FR.095 DCP frm rcv'd circuit *name* DLCI *circuit* (len *length*, seq *seqnum*, lcb *lcb*) - nt *network ID*

**長構文:** FR.095 DCP frame received for circuit *name* DLCI *circuit* (len = *length*, seq = *seqnum*, lcb = *lcb*) - network *network ID*

**説明:** データが圧縮されている DCP フレームが受信されています。

---

#### FR.096

**レベル:** C-INFO

**短構文:** FR.096 DCP frm w/uncomp data rcv'd circuit *name* DLCI *circuit* (len *length*, seq *seqnum*) - nt *network ID*

**長構文:** FR.096 DCP frame with uncompressed data received for circuit *name* DLCI *circuit* (len = *length*, seq = *seqnum*) - network *network ID*

**説明:** データが圧縮されていない DCP フレームが受信されています。

---

#### FR.097

**レベル:** CE-ERROR

**短構文:** FR.097 MTU = *mtu* too small for P1 = *p1*, MTU = *b* req on nt *network ID*

**長構文:** FR.097 The MTU defined for the interface of *mtu* is too small to hold a LMI full status message

containing P1 *p1* PVCs - MTU of *b* bytes required - network *network ID*

**説明:** LMI エラーが発生するのは、P1 PVC が LMI フレームに組み込まれている場合であり、受信できないからです。

**原因:** MTU サイズが、P1 PVC を含む LMI 状態メッセージ全体を入れるのには小さ過ぎます。

**処置:** MTU を増やすか、P1 パラメーターを減らします。

---

#### FR.098

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** FR.098 Encrypt frame disc circuit *name* DLCI *circuit* on nt *network ID* - *discard\_reason*

**長構文:** FR.098 Encryption frame discarded by circuit *name* DLCI *circuit* on network *network ID* - *discard\_reason*

**説明:** 暗号化フレームが廃棄されました。

---

#### FR.099

**レベル:** C-INFO

**短構文:** FR.099 DEP retry limit exhausted circuit *name* DLCI *circuit* on nt *network ID*

**長構文:** FR.099 DEP retries exhausted for circuit *name* DLCI *circuit* on network *network ID*

**説明:** FR 暗号化折衝再試行限界に達しました。

---

#### FR.100

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** FR.100 Data encrypt stop circuit *name* DLCI *circuit* on nt *network ID*

**長構文:** FR.100 Data encryption stopped for circuit *name* DLCI *circuit* on network *network ID*

**説明:** FR データ暗号化が停止しました。

**原因:** ネットワークがダウンしているか、データ暗号化折衝が中断しています。

---

#### FR.101

**レベル:** C-INFO

**短構文:** FR.101 Encrypt neg suspended circuit *name* DLCI *circuit* on nt *network ID*

**長構文:** FR.101 Encryption negotiation suspended for circuit *name* DLCI *circuit* on network *network ID*

説明: データ暗号化折衝が中断しました。

---

**FR.102**

レベル: C-INFO

短構文: FR.102 Data encrypt oper circuit *name* DLCI *circuit* on nt *network ID*

長構文: FR.102 Data encryption operational for circuit *name* DLCI *circuit* on network *network ID*

説明: FR データ暗号化が運用可能です。

---

**FR.103**

レベル: UE-ERROR

短構文: FR.103 Circuit *name* DLCI *circuit* rcvd DEP control PDU out of seq nt *network ID*

長構文: FR.103 Circuit *name* DLCI *circuit* received DEP control PDU out of sequence on network *network ID*

説明: FR 暗号化制御フレームの受信順序が誤っています。

---

**FR.104**

レベル: UE-ERROR

短構文: FR.104 Frame discarded, *reason*, circuit *name* DLCI *circuit* on nt *network ID*

長構文: FR.104 Frame discarded, *reason*, by circuit *name* DLCI *circuit* on network *network ID*

説明: 非暗号化フレームが暗号化回路によって廃棄されました。

---

**FR.105**

レベル: C-INFO

短構文: FR.105 DEP frm rcvd circuit *name* DLCI *circuit* (len *length*, seq *seqnum*, lcb *lcb*) - nt *network ID*

長構文: FR.105 DEP frame received for circuit *name* DLCI *circuit* (len = *length*, seq = *seqnum*, lcb = *lcb*) - network *network ID*

説明: DEP フレームを受信しました。

---

**FR.106**

レベル: C-INFO

短構文: FR.106 DEP R-R mode started circuit *name* DLCI *circuit* on nt *network ID*

長構文: FR.106 DEP R-R mode started for circuit *name*

DLCI *circuit* on network *network ID*

説明: FR 暗号化リセット要求 (R-R) モードが開始しました。

---

**FR.107**

レベル: UE-ERROR

短構文: FR.107 Encrypt not done (no resources) circuit *name* DLCI *circuit* on nt *network ID*

長構文: FR.107 Encryption not done (no resources) for circuit *name* DLCI *circuit* on network *network ID*

説明: 暗号化は実行されませんでした。資源が利用不可能です。

原因: データ暗号化機能を使用するためのバッファが利用不可能です。

---

**FR.108**

レベル: C-INFO

短構文: FR.108 DEP frm sent circuit *name* DLCI *circuit* (len *length*, seq *seqnum*, lcb *lcb*) - nt *network ID*

長構文: FR.108 DEP frame sent for circuit *name* DLCI *circuit* (len = *length*, seq = *seqnum*, lcb = *lcb*) - network *network ID*

説明: DEP フレームが送信されました。

---

**FR.109**

レベル: UE-ERROR

短構文: FR.109 Xmit frame rej: encrypt not oper circuit *name* DLCI *circuit* prtcl *protocol* nt *network ID*

長構文: FR.109 Protocol xmit request rejected: secure connection not operational yet - circuit *name* DLCI *circuit* *protocol protocol* network *network ID*

説明: プロトコル伝送要求が拒否されました。保護接続がまだ運用可能ではありません。

原因: 暗号化が運用可能になる前に、保護回線で伝送が試行されました。

---

**FR.110**

レベル: UE-ERROR

短構文: FR.110 No memory for circuit during reset int, disc circuit *circuit* nt *network ID*

長構文: FR.110 No available memory for a circuit during a DR reset interface, the circuit has been ignored circuit *circuit*, on network *network ID*

説明: 動的再構成のリセット・インターフェース操作時に、制御ブロックの記憶域割り振りに失敗しました。回線は作成されませんでした。

原因: DR のリセット・インターフェース操作時に、制御ブロックのメモリ割り振りに失敗しました。

---

#### FR.111

レベル: UE-ERROR

短構文: FR.111 Buffer not available on nt *network ID* for *transmission\_reason*

長構文: FR.111 Buffer not available on network *network ID* for *transmission\_reason*

説明: バッファが利用不可能のために、伝送が失敗するか、遅れました。

---

#### FR.112

レベル: C-INFO

短構文: FR.112 SVC call-in ignored, *reason* nt *network ID*

長構文: FR.112 An incoming call for a switched virtual circuit was ignored, *reason* on network *network ID*

説明: 着信コールは受け入れられませんでした。

---

#### FR.113

レベル: C-INFO

短構文: FR.113 SVC call-in accept, SVC *name*, DLCI *num* nt *network ID*

長構文: FR.113 An incoming call for a switched virtual circuit was accepted, SVC = *name*, DLCI = *num* on network *network ID*

説明: 着信コールが受け入れられました。

---

#### FR.114

レベル: C-INFO

短構文: FR.114 SVC call-out ignored, *reason* nt *network ID*

長構文: FR.114 An outgoing call for a switched virtual circuit was ignored, *reason* on network *network ID*

説明: 発信コールは行われませんでした。

---

#### FR.115

レベル: C-INFO

短構文: FR.115 SVC call-out accept, SVC *name* call state = *state* nt *network ID*

長構文: FR.115 An outgoing call for a switched virtual circuit was accepted, SVC = *name* call state = *state* on network *network ID*

説明: 発信コールが受け入れられました。

---

#### FR.116

レベル: C-INFO

短構文: FR.116 SVC call-out complete, SVC *name*, DLCI *num* nt *network ID*

長構文: FR.116 An outgoing call for a switched virtual circuit was completed, SVC = *name*, DLCI = *num* on network *network ID*

説明: 発信コールが完了しました。

---

#### FR.117

レベル: C-INFO

短構文: FR.117 SVC disconnect, *reason*, SVC *name* nt *network ID*

長構文: FR.117 A switched virtual circuit was disconnected, *reason*, SVC = *name* on network *network ID*

説明: コールは切断されます。

---

#### FR.118

レベル: C-INFO

短構文: FR.118 Establish sent to q922 layer, nt *network ID*

長構文: FR.118 Establish sent to q922 layer, network *network ID*

説明: コールは切断されます。

---

#### FR.119

レベル: UE-ERROR

短構文: FR.119 SVC call-out failed, *reason*, SVC *name* nt *network ID*

長構文: FR.119 A switched virtual circuit call-out attempt failed, *reason*, SVC = *name* on network *network ID*



説明: コールは切断されます。

---

**FR.120**

レベル: C-INFO

短構文: FR.120 SVC *name* connected number *num*,  
connected subaddress *sub*, nt *network ID*

長構文: FR.120 An outgoing call for a switched virtual circuit was completed, SVC = *name*, with a different connected number *num* and/or subaddress *sub* than was called on network *network ID*

説明: 発信コールが受け入れられました。

---

**FR.121**

レベル: UE-ERROR

短構文: FR.121 Net down due to failure of Q.922 on  
nt *network id*; start testing

長構文: FR.121 Frame relay detected a failure of the Q.922 data link layer on network *network id*; start testing interface

説明: Q.922 障害のため、インターフェースはダウンとしてマークされました。

---

**FR.122**

レベル: UE-ERROR

短構文: FR.122 Invalid Q.922 message. Unknown data received on nt *network id*

長構文: FR.122 An invalid Q.922 message was received and could not be processed on network *network id*

説明: このメッセージは無視されます。

---

**FR.123**

レベル: C-INFO

短構文: FR.123 Establish confirm received on nt  
*network id*

長構文: FR.123 Establish confirm received by the q933 layer for network *network id*

説明: Q922 レイヤーがアップになりました。

---

**FR.124**

レベル: UE-ERROR

短構文: FR.124 Out of sequence numbers Vr *Vr.*, Vs  
*Vs.*, Nr *Nr.*, Ns *Ns.Va.*, Va *network id/*

長構文: FR.124 Out of sequence numbers Vr *Vr.*,Vs

*Vs.*,Nr *Nr.*,Ns *Ns.Va.*,Va *network id/*

説明: データ・フレーム内のシーケンス番号の誤り。  
Q922 セッションはリセットされます。

---

**FR.125**

レベル: UE-ERROR

短構文: FR.125 Invalid Q.933 message, *reason*, nt  
*network ID*

長構文: FR.125 An invalid Q.933 message was received and ignored, *reason*, on network *network ID*

説明: このメッセージは無視されます。

---

**FR.126**

レベル: CI-ERROR

短構文: FR.126 Frame rcvd, circuit *name* DLCI *circuit*  
not ready for prtcl *protocol* nt *network ID*

長構文: FR.126 Frame received, circuit *name* DLCI =  
*circuit* not ready for protocol type = *protocol*, on network  
*network ID*

説明: IPX フレームを受信していますが、対応する回線が、受信の準備が整っていないというマークが付いているか、存在しないかのいずれかです。

原因: フレームを受信しているが、IPX 回線が使用不可にされている。

処置: IPX 回線を使用可能にしてください。

原因: フレームを受信しているが、インターフェース上に IPX が構成されていない。

処置: インターフェース上に IPX 回線を構成してください。

---

**FR.127**

レベル: P\_TRACE

短構文: FR.127 LMI frame transmitted, nt *network ID*

長構文: FR.127 LMI frame transmitted on network  
*network ID*

説明: LMI パケット・トレース情報

---

**FR.128**

レベル: P\_TRACE

短構文: FR.128 LMI frame received, nt *network ID*

長構文: FR.128 LMI frame received on network  
*network ID*

説明: LMI パケット・トレース情報

---

#### FR.129

レベル: P\_TRACE

短構文: FR.129 Q.922 frame transmitted, nt *network ID*

長構文: FR.129 Q.922 frame transmitted on network *network ID*

説明: Q.922 パケット・トレース情報

---

#### FR.130

レベル: P\_TRACE

短構文: FR.130 Q.922 frame received, nt *network ID*

長構文: FR.130 Q.922 frame received on network *network ID*

説明: Q.922 パケット・トレース情報

---

#### FR.131

レベル: P\_TRACE

短構文: FR.131 Q.933 frame forwarded, nt *network ID*

長構文: FR.131 Q.933 frame forwarded on network *network ID*

説明: Q.933 パケット・トレース情報

---

#### FR.132

レベル: P\_TRACE

短構文: FR.132 Q.933 frame received, nt *network ID*

長構文: FR.132 Q.933 frame received on network *network ID*

説明: Q.933 パケット・トレース情報

---

#### FR.133

レベル: P\_TRACE

短構文: FR.133 DATA frame received, nt *network ID*

長構文: FR.133 DATA frame received on network *network ID*

説明: DATA パケット・トレース情報

---

#### FR.134

レベル: P\_TRACE

短構文: FR.134 CLLM frame received, nt *network ID*

長構文: FR.134 CLLM frame received on network *network ID*

説明: CLLM パケット・トレース情報

---

#### FR.135

レベル: UE-ERROR

短構文: FR.135 SVC call collision, *reason*, *SVC name* nt *network ID*

長構文: FR.135 A switched virtual circuit setup was received for an SVC that had a call setup in progress, *reason*, *SVC = name* on network *network ID*

説明: ローカル側番号の低い方の SVC は、発信コールを取り消して着信コールを受け入れます。

---

#### FR.136

レベル: UE-ERROR

短構文: FR.136 Invalid fragmentation header received on nt *network id*

長構文: FR.136 An invalid fragmentation header was received in an incoming fragmented frame *network id*

説明: このフレームは廃棄されます。

---

#### FR.137

レベル: UE-ERROR

短構文: FR.137 Fragmentation problem, reason *reason*, *dcli dcli*, nt *network ID*

長構文: FR.137 A problem has been encountered by the fragmentation code, reason *reason*, *dcli dcli* on network *network ID*

説明: 着信バッファまたは発信バッファの断片化が行なわれません。

---

#### FR.138

レベル: UE-ERROR

短構文: FR.138 Encryption not started on network *network ID - reason*

長構文: FR.138 Encryption not started on network *network ID - reason*

説明: 資源の不足で暗号化が開始されませんでした。

原因: 資源の不足で暗号化が開始されませんでした。

---

---

**FR.139**

レベル: UE-ERROR

短構文: FR.139 Compression not started on network *network ID* - *reason*

長構文: FR.139 Compression not started on network *network ID* - *reason*

説明: 資源の不足で圧縮が開始されませんでした。

原因: 資源の不足で圧縮が開始されませんでした。

---

**FR.140**

レベル: P\_TRACE

短構文: FR.140 FR fragment forwarded, nt *network ID*

長構文: FR.140 FR fragment forwarded on network *network ID*

説明: FR 断片パケット・トレース情報

---

**FR.141**

レベル: P\_TRACE

短構文: FR.141 FR fragment received, nt *network ID*

長構文: FR.141 FR fragment received on network *network ID*

説明: FR 断片パケット・トレース情報

---

**FR.142**

レベル: C-INFO

短構文: FR.142 DE frame disc: rsn = *reason*, circuit name DLCI *circuit*, prtcl = FRFH, nt *network ID*

長構文: FR.142 A queued discard eligible frame was discarded with reason = *reason* for circuit name DLCI = *circuit* protocol type = FRFH on network *network ID*

説明: 待ち行列 FH 回線フレームが廃棄されました。

原因: バッファが不足しているか、FH 待ち行列がその最大の長さに達したか、あるいは FH 回線の入力 CIR が超過しました。

---

**FR.143**

レベル: UE-ERROR

短構文: FR.143 Circ name dlci *circuit* ignored, currently orphan on base intf - nt *network ID*

長構文: FR.143 Can't add circ name dlci *circuit* to a subintf, it's an orphan on base intf - nt *network ID*

説明: ベース・インターフェース上で孤立しているサ

---

**370** ELS メッセージの手引き

ブインターフェースへの回線の追加を試みています。

---

**FR.144**

レベル: UI-ERROR

短構文: FR.144 Configuration error, subinterface disabled, nt *network ID*

長構文: FR.144 Configuration error, subinterface disabled, *network ID*

説明: サブインターフェースの構成内にエラーが検出され、構成が訂正されるまでは使用不可能となります。

---

**FR.145**

レベル: C-INFO

短構文: FR.145 Net *updown* nt *network ID*

長構文: FR.145 Network status changed to *updown* network *network ID*

説明: FR がネットワーク状況変更を検出しました。

---

**Panic frimem**

短構文: Frame Relay interface initialization failed - no memory

説明: フレーム・リレー・インターフェースは、初期化を完了できる十分な記憶域を割り振ることができませんでした。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

**Panic friprt**

短構文: FR: unsupported protocol during initialization

説明: フレーム・リレー・ネットワーク・ハンドラーは、初期化時にサポートされないプロトコルを検出しました。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

**Panic frfrprt**

短構文: FR: unsupported protocol during frame forward

説明: フレーム・リレー・ネットワーク・ハンドラーは、プロトコル・フレーム転送フェーズで、サポートされないプロトコルを検出しました。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

---

## **Panic frcompmem**

**短構文:** Frame Relay interface compression initialization failed, no memory.

**説明:** フレーム・リレー・インターフェースは、圧縮の初期化を完了できる十分な記憶域を割り振ることができませんでした。

**処置:** サービス技術員に連絡してください。

---

## **Panic frencmem**

**短構文:** Frame Relay interface encryption initialization failed, no memory.

**説明:** フレーム・リレー・インターフェースは、暗号化の初期化を完了できる十分な記憶域を割り振ることができませんでした。

**処置:** サービス技術員に連絡してください。



---

## 第48章 ゲートウェイ (GW)

この章では、ゲートウェイ (GW) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### GW.001

レベル: ALWAYS

短構文: GW.001 Copyright 1984 Massachusetts Institute of Technology, Copyright 1989 The Regents of the University of California

長構文: GW.001 Copyright 1984 Massachusetts Institute of Technology, Copyright 1989 The Regents of the University of California

**説明:** このシステムの基礎になっているオリジナルのコードの部分には、次のような著作権表示があります。任意の目的のために無償で本プログラムを使用、複製、修正、および配布することが許可される。ただし、すべての複製およびサポート文書にこの著作権表示および許可通告を明記すること、事前に特別に許可を得ることなくプログラムの配布に関する宣伝広告に M.I.T. の名前を使用しないこと、および複製および配布は M.I.T. の許可に基づいて行われていることをサポート文書に明記するものとする。M.I.T. は、いかなる用途に対しても本ソフトウェアの適合性を明示するものではない。本プログラムは、“現状のまま” 提供され、明示・黙示のいかなる保証も伴わない。著作権 (c) 1989 年、カリフォルニア大学評議委員会。すべての権限を保有する。ソース形式およびバイナリー形式での再配布および使用 (修正の有無にかかわらず) が許可される。ただし、以下の条件に適合しなければならない。1. ソース・コードの再配布には、上記の著作権表示、本項の条件のリスト、および下記の免責表示を保持しなければならない。2. バイナリー形式での再配布では、配布時に提供される文書または資料、あるいは、その両方に、上記の著作権表示、本項の条件のリスト、および下記の免責表示を転載しなければならない。3. 本ソフトウェアの機能または使用に言及するすべての宣伝材料には、「本製品には、カリフォルニア大学バークレー校およびその寄稿者によって開発されたソフトウェアが含まれている」旨の謝辞を明記しなければならない。4. 事前に文書による特別許可を得ることなく、本ソフトウェアから派生した製品の保証または販売促進のために、上記の大学の名前やその寄稿者の名前を使用してはならない。本ソフトウェアは、評議委員会および寄稿者によって、「現状のまま」提供されるものであり、市場可能性および特定の目的への適合性に対する暗黙の保証を含めて (ただし、これだけには限らない)、明示・黙示を問わず一切の保証

を行わない。いかなる場合も、本ソフトウェアの使用によって発生した直接的、間接的、特殊、典型的、または結果的な損傷 (代替の商品またはサービスの調達、使用、データ、または利益の損失、あるいは事業への障害が含まれるが、これだけに限らない) に対して、たとえそのような損傷の可能性を忠告していたとしても、評議委員会または寄稿者は、その発生の原因や契約、無過失責任、または不法行為 (過失、その他による) などの責任原理に関係なく、一切の責任を負わない。

---

### GW.002

レベル: ALWAYS

短構文: GW.002 Portable CGW router name Rel release level strtid

長構文: GW.002 Portable C Gateway router name Release release level started

**説明:** ルーターの名前 (ルーター内に示されている)、およびルーターで開始された搭載ソフトウェアのリリース・レベルを印刷します。

---

### GW.003

レベル: ALWAYS

短構文: GW.003 Unus pkt len unused\_length nt network ID

長構文: GW.003 Unused packet length unused\_length net network ID

**説明:** ルーターは、最大サイズのパケットの最後の [unused length] バイトを送信または受信することはできません。

**原因:** ルーターの構成では、ソフトウェアが処理する最大パケット・サイズが指定されていますが、その値が、ネットワークの最大伝送単位 (MTU) より小さくなっています。

**処置:** ルーター上のバッファ・サイズ設定値が手動で設定されている場合は、ルーターのバッファ・サイズ設定値を変更または除去してください。メッセージが引き続き出の場合は、サービス技術員に連絡してください。



---

**GW.004**

レベル: ALWAYS

短構文: GW.004 Sys queue type q adv alloc advisable queue length excd actual queue length

長構文: GW.004 System queue type queue advisory allocation of advisable queue length exceeded actual queue length

説明: バッファの数が不十分と考えられるので、最適動作ができないことを、システムが検出しました。始動時に、永久装置入力待ち行列または一時装置出力待ち行列に割り振られたバッファの最大数が、全バッファ・プールの推奨割り振りを超過しました。

原因: ルーターの構成で、一部のプロトコル用のルーティング・テーブルが過度に大きくなっています。

処置: 各プロトコルのルーティング・テーブルが、ネットワーク構成にとって妥当なサイズになるようにしてください。ルーティング・テーブルに割り振られた記憶域は、パケット・バッファには使用できません。

原因: 問題のルーターは、利用可能なバッファ記憶域の容量に対して、ネットワーク・インターフェースの数が多過ぎます。

処置: ルーター上のネットワーク・インターフェースの数を減らしてください。ルーター上には妥当な数のインターフェースしかない場合、または (バッファ) 記憶域のアップグレードが使用可能な場合は、ルーター上の記憶域の量の拡張を考慮してください。メッセージが引き続き出る場合は、サービス技術員に連絡してください。

原因: バッファ数が手動で低い値に設定されています。

処置: ルーターに設定されているバッファの数を変更または除去してください。メッセージが引き続き出る場合は、サービス技術員に連絡してください。

---

**GW.005**

レベル: ALWAYS

短構文: GW.005 Bffrs: total created avail initially free idle fair fair share amount low high water mark

長構文: GW.005 Buffers: total created available initially free idle fair share fair share amount low water high water mark

説明: メッセージは、初期化手順によって作成されたバッファ数に関する情報、およびバッファ割り振りシステムによって使用されるパラメーターに関する情報を提供します。ルーター内で現在空いているバッファの数が最低水準点より上である限り、ユーザーは誰もが

バッファを割り振って構いません。最低水準点より下であれば、数が '公平シェア' 未満である限り、ユーザーは誰もバッファを割り振ることができます。

---

**GW.006**

レベル: C-INFO

短構文: GW.006 Pkt frm nt network ID for uninit prt, disc

長構文: GW.006 Packet from net network ID for uninitialized protocol discarded

説明: 着信パケットが使用しているプロトコルは、認知されましたが、ハンドラーがロードされて使用可能にされていませんでした。

---

**GW.007**

レベル: C-INFO

短構文: GW.007 Ip err error\_code nt network ID

長構文: GW.007 Input error error\_code net network ID

説明: 装置入力操作によって、装置固有のエラー・コードと共に、エラーが戻されました。そのネットワークに関する入力エラー・カウンターの増分が行われ、そのエラーに関連したパケットがあれば、廃棄されたと思われる。

処置: 該当するインターフェースのもののルーター・ハードウェア資料を参照して、このタイプのインターフェースに関する固有のエラー・コードの意味を確認してください。

---

**GW.009**

レベル: UI-ERROR

レベル: METER

短構文: GW.009 Nt dwn ip rstt nt network ID

長構文: GW.009 Net down for input restart net network ID

説明: ルーターがネットワークの追加の入力操作を待ち行列に入れようとしたときに、ネットワークは入力を使用不可になっていました。

原因: これは、ルーターの内部操作におけるタイミング・ウィンドウが原因です。入力再始動操作が要求されましたが、それを実行するときに、インターフェース上の入力が内部で使用不可になっていました。この状態が検出されても、無害です。

処置: メッセージが引き続き出る場合は、サービス技術員に連絡してください。

---

**GW.010**

レベル: UI-ERROR

レベル: METER

短構文: GW.010 Ip q len *queue\_length* no ip buf nt *network ID*

長構文: GW.010 Input queue length *queue\_length* no input buffer net *network ID*

説明: ルーターがネットワークの追加入力操作を待ち行列に入れようとしたときに、入力待ち行列を希望のレベルまで補充するために利用可能な十分な空きバッファがありませんでした。補充できた実際のレベルがリストされます。

原因: このメッセージがときどき出る場合は、トラフィック・ピークが原因で、ルーターのバッファが不足しています。

処置: 処置は必要ありません。

原因: ルーターが、何らかの理由でバッファ不足になっています。ルーターの記憶域が不十分であるために、十分なバッファを提供できない可能性があります。

処置: バッファ用の記憶域が不足している場合は、ルーターの記憶域を追加するか、ルーター上のネットワーク・インターフェースの数を減らしてください。メッセージが引き続き出る場合は、サービス技術員に連絡してください。

原因: バッファの数が手動で低く設定されている可能性があります。

処置: ルーターに設定されているバッファの数を変更または除去してください。メッセージが引き続き出る場合は、サービス技術員に連絡してください。

---

**GW.014**

レベル: UI-ERROR

レベル: METER

短構文: GW.014 Nt dwn op rstrt nt *network ID*

長構文: GW.014 Net down for output restart net *network ID*

説明: ルーターがネットワークの追加の出力操作を待ち行列に入れようとしたときに、ネットワークは出力が使用不可になっていました。

原因: これはルーターの内部操作のタイミング・ウィンドウが原因です。出力再始動操作が要求されましたが、それを実行するときに、インターフェースの出力が

内部で使用不可になっていました。この状態が検出されても、無害です。

処置: メッセージが引き続き出る場合は、サービス技術員に連絡してください。

---

**GW.017**

レベル: UE-ERROR

短構文: GW.017 Intfc hdw mssng nt *network ID*

長構文: GW.017 Interface hardware missing net *network ID*

説明: ルーター・ソフトウェアがネットワーク・インターフェースの初期化を初めて試みたとき、インターフェースのアダプターのプラグが差し込まれていないことを発見しました。

原因: アダプターのプラグが差し込まれていません。

処置: 手順に従って該当するアダプターを挿入してください。

原因: インターフェースのアダプターが壊れています。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

**GW.018**

レベル: U-TRACE

短構文: GW.018 Strt nt slf tst nt *network ID*

長構文: GW.018 Start network self test network *network ID*

説明: ネットワーク自己検査 (自己検査の詳細については、ソフトウェア操作員資料を参照してください) が要求されていました。

---

**GW.019**

レベル: C-INFO

短構文: GW.019 Slf tst nt *network ID*

長構文: GW.019 Self test network *network ID*

説明: ネットワーク自己検査 (自己検査の詳細については、ソフトウェア操作員資料を参照してください) が開始されていました。

---

**GW.020**

レベル: U-TRACE

短構文: GW.020 Nt pss slf tst nt *network ID*

長構文: GW.020 Network passed self test network *network ID*

**説明:** 自己検査の対象となっているネットワーク (自己検査の詳細については、ソフトウェア操作員資料を参照してください) は自己検査に合格していました。

---

#### GW.021

**レベル:** C-INFO

**短構文:** GW.021 Nt up nt *network ID*

**長構文:** GW.021 Network up network *network ID*

**説明:** 自己検査 (自己検査の詳細については、ソフトウェア操作員資料を参照してください) に合格後、以前ダウンしていたネットワークがアップになっています。

---

#### GW.022

**レベル:** U-TRACE

**短構文:** GW.022 Nt fld slf tst nt *network ID*

**長構文:** GW.022 Network failed self test network *network ID*

**説明:** 自己検査の対象となっているネットワーク (自己検査の詳細については、ソフトウェア操作員資料を参照してください) は自己検査に不合格になっていました。

**原因:** 正確な原因はネットワークに応じて異なります。ネットワーク・ハンドラーによって印刷されたトラップ・メッセージがあれば、CGWCON インターフェース・コマンドによって明らかにされているネットワーク固有の情報と共に使用して、問題を分離してください。

---

#### GW.023

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** GW.023 Nt dwn nt *network ID*

**長構文:** GW.023 Network down network *network ID*

**説明:** 自己検査 (自己検査の詳細については、ソフトウェア操作員資料を参照してください) に不合格後、以前アップであったネットワークがダウンしています。

---

#### GW.024

**レベル:** U-TRACE

**短構文:** GW.024 Processing pending disable for nt *network ID*

**長構文:** GW.024 Processing pending disable for network *network ID*

**説明:** ユーザーは、ネットワークの使用不可を要求した (たとえば、GWCON disable コマンドを用いて) が、ネットワークが自己検査の最中でした。自己検査がやっ

と完了したので、保留となっていた disable コマンドがここで実行されます。

---

#### GW.025

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** GW.025 Nt fld mnt nt *network ID*

**長構文:** GW.025 Network failed maintenance network *network ID*

**説明:** 特定の時間間隔で正常に行われなかった保守検査 (保守の詳細については、ソフトウェア操作員資料を参照してください) の回数が許容限界を超えています (それぞれのインターフェースごとの正確な回数の詳細については、該当するルーター・ハードウェア資料を参照してください)。該当するインターフェースで自己検査 (保守の詳細については、ソフトウェア操作員資料を参照してください) が開始されます。自己検査に不合格の場合は、そのインターフェースにダウンのマークが付けられます。

**原因:** 正確な原因はネットワークに応じて異なります。ネットワーク・ハンドラーによって印刷されたトラップ・メッセージがあれば、CGWCON インターフェース・コマンドによって明らかにされているネットワーク固有の情報と共に使用して、問題を分離してください。ネットワークの自己検査から追加情報が得られることもあります。

---

#### GW.026

**レベル:** C-TRACE

**短構文:** GW.026 Mnt nt *network ID*

**長構文:** GW.026 Maintenance network *network ID*

**説明:** 示されているインターフェースに関して、保守検査 (保守の詳細については、ソフトウェア操作員資料を参照してください) が開始されています。

---

#### GW.027

**レベル:** CI-ERROR

**短構文:** GW.027 No pkt fr mnt nt *network ID*

**長構文:** GW.027 No packet for maintenance network *network ID*

**説明:** ネットワーク保守で必要とされた時点で、バッファを割り振ることができませんでした。

**原因:** 一時的なトラフィックの負荷が原因であることがあります。その他にも多くの原因が考えられます。

**処置:** メッセージが引き続き出の場合は、サービス技術員に連絡してください。

---

**GW.028**

レベル: U-INFO

短構文: GW.028 Snk dsc pkt prt *protocol to next\_hop\_host*

長構文: GW.028 Sink network discarding packet *protocol protocol to host next\_hop\_host*

説明: 受信側ネットワークにバッファを送信しましたが、転送機能にエラーを示さずにバッファを廃棄しました。

---

**GW.029**

レベル: U-INFO

短構文: GW.029 Int dis nt *network ID*

長構文: GW.029 Interface disabled in configuration net *network ID*

説明: 問題のインターフェースは構成上使用不可にされていて、アップになりません。テストすることによって、いつでも始動することができます。

---

**GW.030**

レベル: U-INFO

短構文: GW.030 *heap\_bytes* bytes reserved by *subsystem*

長構文: GW.030 *heap\_bytes* bytes of heap reserved by *subsystem subsystem*

説明: 始動時に、ルーターのサブシステムの 1 つによって、ヒープ記憶域の非常に多くのバイト数が予約されています。これをルーターの空き記憶域から差し引いた上で、残りがパケット・バッファとして配分されません。

---

**GW.031**

レベル: ALWAYS

短構文: GW.031 IP q alloc fl nt *network ID* avl *number of buffers*

長構文: GW.031 Input queue allocation failed net *network ID* available *number of buffers*

説明: バッファの数が不十分と考えられるので、最適動作ができないことを、システムが検出しました。始動時に、高速装置のそれぞれに一定数のバッファが割り振られます。これらのバッファが利用可能でない場合、特定インターフェースは正常に作動できない場合があります。

---

**GW.033**

レベル: U-INFO

短構文: GW.033 Slf tst req rejected for nt *network ID*

長構文: GW.033 Self-test request rejected for net *network ID*

説明: インターフェースに関して、自己検査が開始されたが、そのインターフェースが使用できない状態であり、自己検査は実行できません。GWCON configuration コマンドを使用して、自己検査の実行を妨げているインターフェースの状態を判別します。

原因: インターフェースの状態が "Not Present" の場合は、アダプターのプラグが差し込まれていません。

処置: 手順に従って該当するアダプターを挿入してください。

原因: インターフェースの状態が "HW Mismatch" の場合は、ハードウェアのミスマッチがあります。ハードウェアのミスマッチが生じるのは、構成されたアダプター・タイプが、実際にスロットに収まっているアダプター・タイプに一致しない場合です。

処置: 手順に従って、該当するアダプターを挿入するか、インターフェースを構成し直してください。

原因: インターフェースの状態が "HW Failure" の場合は、インターフェースのアダプターが壊れています。

処置: サービス技術員に連絡してください。

原因: インターフェースの状態が "Diagnostics" の場合は、インターフェースのアダプターの診断中です。

処置: 診断の完了を待ってから、別の自己検査を開始してください。

---

**GW.034**

レベル: U-TRACE

短構文: GW.034 Nt disabled: nt *network ID*

長構文: GW.034 Network disabled: net *network ID*

説明: ネットワークが使用不可になっています。

---

**GW.035**

レベル: UI-ERROR

レベル: METER

短構文: GW.035 Nt dwn to hst *next\_hop\_host* nt *network ID*

長構文: GW.035 Net down transmitting to host *next\_hop\_host* net *network ID*

説明: ルーターが特定のホストへのパケットの送信を



行おうとしたとき、パケットの送信先として指示されていたネットワーク・インターフェースがアップになっていませんでした。そのネットワークの出力廃棄カウンターが増分され、パケットはプロトコル転送機能のアテンション用に戻されました。通常、`next_hop_host` は、このパケットの送信先のネクスト・ホップ・ルーターまたはホストの MAC レイヤー・アドレスです。この MAC アドレスの形式は、ネットワーク・タイプによって異なります。`next_hop_host` が @ (単価記号) で始まっている場合、そのネットワークの MAC アドレスは定様式表示ではなく、後続の数字はネクスト・ホップ・ホスト・アドレスが保管されているルーター記憶域内の 16 進数アドレスです。

**原因:** これは、ルーターの内部操作におけるタイミング・ウィンドウが原因です。パケットは出力用の待ち行列に入れられましたが、それを送信するときに、インターフェースがダウンしていました。この状態が検出されても、無害です。

**処置:** メッセージが引き続き出る場合は、サービス技術員に連絡してください。

---

#### GW.036

**レベル:** U-INFO

**短構文:** GW.036 Op ovfl to hst *next\_hop\_host* nt *network ID*

**長構文:** GW.036 Output overflow when transmitting to host *next\_hop\_host* net *network ID*

**説明:** ルーターが特定のホストへのパケットの送信を行おうとしたとき、ネットワークの出力待ち行列がいっぱいになり過ぎていて、そのパケットは廃棄せざるを得ませんでした。そのネットワークの出力オーバーフロー・カウンターが増分され、パケットはプロトコル転送機能のアテンション用に戻されました。通常、`next_hop_host` は、このパケットの送信先のネクスト・ホップ・ルーターまたはホストの MAC レイヤー・アドレスです。この MAC アドレスの形式は、ネットワーク・タイプによって異なります。`next_hop_host` が @ (単価記号) で始まっている場合、そのネットワークの MAC アドレスは定様式表示ではなく、後続の数字はネクスト・ホップ・ホスト・アドレスが保管されているルーター記憶域内の 16 進数アドレスです。

**原因:** これは、ネットワークに加わる負荷が、出力ネットワークで利用可能な帯域幅を超えていることが原因です。ルーター自体はトラフィックに対応していますが、ルーターにできる処置はほとんどありません。単に、トラフィックを生成しているホストが、出力ネットワークの収容能力を超えるデータ量を送信しているだけです。

**処置:** 問題のネットワークの速度を上げる (特に、低速専用線の場合) か、ネットワークに対する負荷を制限する措置を講じてください。

---

#### GW.037

**レベル:** C-INFO

**短構文:** GW.037 Nt dwn, disc pkt to hst *next\_hop\_host* nt *network ID*

**長構文:** GW.037 Network down, discarding packet to host *next\_hop\_host* network *network ID*

**説明:** 問題のネットワーク上で伝送を待っていたパケットは、ネットワークがダウンしたときに廃棄されました。問題のネットワークの廃棄カウンターが増分されません。通常、`next_hop_host` は、このパケットの送信先のネクスト・ホップ・ルーターまたはホストの MAC レイヤー・アドレスです。この MAC アドレスの形式は、ネットワーク・タイプによって異なります。`next_hop_host` が @ (単価記号) で始まっている場合、そのネットワークの MAC アドレスは定様式表示ではなく、後続の数字はネクスト・ホップ・ホスト・アドレスが保管されているルーター記憶域内の 16 進数アドレスです。

---

#### GW.038

**レベル:** C-INFO

**短構文:** GW.038 User *default name* has logged on

**長構文:** GW.038 User *default name* has logged on

**説明:** 新しいユーザーが、システムにログオンしました。

---

#### GW.039

**レベル:** CE-ERROR

**短構文:** GW.039 Failed logon: ID = *default name*

**長構文:** GW.039 A logon attempt has failed: user ID = *default name*

**説明:** 誰かがシステムにログオンしようとしたのですが、正しいユーザー名とパスワードを入力しませんでした。

---

#### GW.048

**レベル:** U-INFO

**短構文:** GW.048 Int rsvd for rst nt *network ID*

**長構文:** GW.048 Interface reserved for WAN restoral in configuration net *network ID*

**説明:** 問題のインターフェースは、構成内で WAN 復

元用に予約されており、WAN 復元処理で必要になるまでは操作可能になりません。

---

**GW.049**

レベル: U-INFO

短構文: GW.049 Patched *variable\_name* to *new\_value*

長構文: GW.049 Variable *variable\_name* has been patched to value *new\_value*

説明: ユーザーは、指示どおりにルーターのデータ項目の 1 つの値をパッチしました。

---

**GW.050**

レベル: U-INFO

短構文: GW.050 Patch to *variable\_name* failed

長構文: GW.050 Attempt to patch variable *variable\_name* has failed

説明: ユーザーは、ルーターのデータ項目の 1 つの値をパッチしようと試みましたが、パッチは失敗しました。

---

**GW.051**

レベル: UI\_ERROR

短構文: GW.051 Wrt SRAM failed blk *block\_num*, typ *rec\_type\_num*

長構文: GW.051 Attempt to write block *block\_num*, record type *rec\_type\_num* to SRAM has failed

説明: コンソール・メッセージを出すことができないコード (通常は、始動時) が、SRAM の書き出しを試みて失敗しました。

---

**GW.052**

レベル: UI\_ERROR

短構文: GW.052 No UDP port avail to sync time

長構文: GW.052 No UDP port available to send time sync request

説明: `udp_notify` が 0 を戻しました。おそらく、IP が未構成です。

---

**GW.053**

レベル: UI\_ERROR

短構文: GW.053 No UDP port avail to srcv time req

長構文: GW.053 No UDP port available to receive time sync requests

説明: `udp_notify` が 0 を戻しました。IP が構成されていないか、そうでなければ、ソフトウェア・エラーであると考えられます。

---

**GW.054**

レベル: U-INFO

短構文: GW.054 Ip ovfl nt *network ID*, count pkts disc

長構文: GW.054 Input overflow net *network ID*, count packets discarded

説明: 示されているインターフェースにパケットが速く到着し過ぎて、ルーターの転送機能が処理しきれません。過負荷のために、ルーターのソフトウェアによって検査される前に、パケットは廃棄されます。パケットのカウントは、前回このメッセージのログが試みられた時点以降に、この事象が生じたパケットの数です。このネットワーク ID の入力オーバーフロー・カウンターが増分されています。

原因: これは、“同報通信ストーム” が原因になっていることがあります。同報通信ストームとは、ネットワーク・ホスト上でバグのある、または古くなった、あるいはその両方のソフトウェアの組み合わせが実行されていることが原因で生じ、連鎖反応で広がって、一般的には、数秒間、または時折は 1 ~ 2 分間、バックツーパーク・パケット (しばしば、同報通信) によってネットワークが占拠される原因となる、ネットワーク事象です。

処置: 同報通信ストームが起こっている場合は、問題のホストを修正するか、使用不可にしてください。

原因: 単に負荷が非常に大きいことが原因で生じる場合もあります。

処置: 負荷が大きいことが原因であり、このメッセージが頻繁に出る場合は、製品ラインで相対的に低速のルーターを使用している可能性があります。使用しているルーターに利用可能なより高速の CPU オプションがある場合は、アップグレードを考慮してください。

---

**GW.055**

レベル: UI-ERROR

短構文: GW.055 Nt dwn trans on nt *network ID*

長構文: GW.055 Net down transmitting on net *network ID*

説明: ルーターがパケットの送信を行おうとしたとき、パケットの送信先として指示されていたネットワーク・インターフェースがアップになっていませんでした。そのネットワークの出力廃棄カウンターが増分され、パケットはプロトコル転送機能のアテンション用に戻されました。



**原因:** これは、ルーターの内部操作におけるタイミ  
ング・ウィンドウが原因です。パケットは出力用の待ち行  
列に入れられましたが、それを送信するときに、インタ  
ーフェースがダウンしていました。この状態が検出され  
ても、無害です。

**処置:** メッセージが引き続き出る場合は、サービ  
ス技術員に連絡してください。

---

#### GW.056

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** GW.056 Nt out dis trans on nt *network ID*

**長構文:** GW.056 Net output disabled, transmitting on  
net *network ID*

**説明:** ルーターがパケットの送信を行おうとしたと  
き、パケットの送信先として指示されていたネットワ  
ーク・インターフェースが、パケット伝送使用不可にな  
っていました。このネットワークの出力廃棄カウンターが  
増分されました。

**原因:** これは、ルーターの内部操作におけるタイミ  
ング・ウィンドウが原因です。パケットは出力用の待ち行  
列に入れられましたが、それを送信するときに、インタ  
ーフェースの出力が使用不可になっていました。この状  
態が検出されても、無害です。

**処置:** メッセージが引き続き出る場合は、サービ  
ス技術員に連絡してください。

---

#### GW.057

**レベル:** U-INFO

**短構文:** GW.057 Op ovfl nt *network ID*

**長構文:** GW.057 Output overflow when transmitting on  
net *network ID*

**説明:** ルーターがパケットの送信を行おうとしたと  
き、出力待ち行列がいっぱいになり過ぎていて、そのパ  
ケットは廃棄せざるを得ませんでした。そのネットワ  
ークの出力オーバーフロー・カウンターが増分され、パケ  
ットはプロトコル転送機能のアテンション用に戻されま  
した。

**原因:** これは、ネットワークに加わる負荷が、出力ネ  
ットワークで利用可能な帯域幅を超えていることが原因  
です。ルーター自体はトラフィックに対応していますが、  
ルーターにできる処置はほとんどありません。単  
に、トラフィックを生成しているホストが、出力ネット  
ワークの収容能力を超えるデータ量を送信しているだけ  
です。

**処置:** 問題のネットワークの速度を上げる (特に、低速

専用線の場合) か、ネットワークに対する負荷を制限す  
る措置を講じてください。

---

#### GW.058

**レベル:** U-INFO

**短構文:** GW.058 Op err hst *next\_hop\_host* nt *network ID*

**長構文:** GW.058 Output error transmitting to host  
*next\_hop\_host* net *network ID*

**説明:** パケットが正常に再送されませんでした。その  
ネットワークの出力エラー・カウンターが増分され、パ  
ケットは廃棄されます。通常、*next\_hop\_host* は、この  
パケットの送信先のネクスト・ホップ・ルーターまたは  
ホストの MAC レイヤー・アドレスです。この MAC  
アドレスの形式は、ネットワーク・タイプによって異な  
ります。*next\_hop\_host* が @ (単価記号) で始まってい  
る場合は、そのネットワークの MAC アドレスは定様式  
表示ではなく、その後続く数は、ネクスト・ホップ・  
ホスト・アドレスが格納されているルーター記憶域内の  
16 進アドレスです。

**原因:** このメッセージがまれに出るのでない場合、お  
そらく該当のネットワークにハードウェア伝送問題があ  
ることを示しています。

**処置:** Tokenview (リングの場合) または Time Domain  
Reflectometer (イーサネットの場合) など、適切なレベル  
2 ネットワーク管理ツールを使用して、問題を分離およ  
び修正してください。

---

#### GW.059

**レベル:** C-INFO

**短構文:** GW.059 Alloc buff with min *global\_buffers*  
*global, private\_buffers* per net

**長構文:** GW.059 Allocating buffers with minimum of  
*global\_buffers* global buffers, and *private\_buffers* buffers  
per fast input network

**説明:** ルーターは、指定された制約付きのバッファー  
割り振りを行おうとしています。

**原因:** ルーターの始動時には、これは正常です。

---

#### GW.060

**レベル:** C-INFO

**短構文:** GW.060 Buffs alloc with reduction *reduction*

**長構文:** GW.060 Buffers allocated with reduction by  
*reduction* of private buffers

**説明:** ルーターがバッファーの割り振りを完了しまし

た。入力ネットワークが、要求したバッファを完全には得られなかった場合、`reduction` は非ゼロの値です。

**原因:** このメッセージは、常に、ルーターの始動時に出されます。ただし、削減値が非ゼロの場合は、ルーターがバッファ記憶域不足になりやすい状態にあることを示しています。削減値が大きくなるほど、バッファ記憶域の不足が重大になります。ただし、この不足はそれほど重大ではないので、ルーターが作動しなくなることはありませんが、パフォーマンスは阻害される場合があります。

**処置:** バッファ記憶域のサイズを拡張してください。構成可能な場合は、次の装置 (トークンリング、シリアル・ライン) で、より小さいバッファ・サイズを選択してください。

---

### GW.061

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** GW.061 Priv buff alloc failed, nt *network ID*

**長構文:** GW.061 Private buffer allocation failed, network *network ID*

**説明:** 指定のネットワークの私用バッファのバッファ割り振りが失敗しました。このネットワークは、予定より 1 つ少ないバッファ数になります。このメッセージが重大なのは、何回も出る場合だけです。

**原因:** バッファ記憶域の不足 (特に、この前に ELS メッセージ GW.064 が出ている場合)

**処置:** バッファ記憶域のサイズを拡張してください。

**処置:** 構成可能な場合は、次の装置 (トークンリング、シリアル・ライン) で、より小さいバッファ・サイズを選択してください。

**原因:** ヒープ記憶域の不足 (特に、この前に ELS メッセージ GW.063 が出ている場合)

**処置:** ルーティング・テーブル・サイズを小さくしてください。データ記憶域のサイズを大きくしてください。

**原因:** バッファ割り振りルーチンが、割り振り可能なバッファ数を正確に予測しませんでした。

**処置:** 構成によっては、バッファ記憶域の幾つかの部分を使用することができません。事前割り振りプログラムがこれを考慮しないと、幾つかのバッファ割り振りが失敗する可能性があります。

---

### GW.062

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** GW.062 Global buff alloc failed after *count*

**長構文:** GW.062 Global buffer allocation failed after *count* allocated

**説明:** 大域バッファのバッファ割り振りが失敗しました。ルーターは、予定より 1 つ少ない大域バッファをもつこととなります。このメッセージが重大なのは、低いカウント値から始めて何回も出る場合だけです。

**原因:** バッファ記憶域の不足 (特に、この前に ELS メッセージ GW.064 が出ている場合)

**処置:** バッファ記憶域のサイズを拡張してください。

**処置:** 構成可能な場合は、次の装置 (トークンリング、シリアル・ライン) で、より小さいバッファ・サイズを選択してください。

**原因:** ヒープ記憶域の不足 (特に、この前に ELS メッセージ GW.063 が出ている場合)

**処置:** ルーティング・テーブル・サイズを小さくしてください。データ記憶域のサイズを大きくしてください。

**原因:** バッファ割り振りルーチンが、割り振り可能なバッファ数を正確に予測しませんでした。

**処置:** 構成によっては、バッファ記憶域の幾つかの部分を使用することができません。事前割り振りプログラムがこれを考慮しないと、幾つかのバッファ割り振りが失敗する可能性があります。

---

### GW.063

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** GW.063 Alloc of iorb failed

**長構文:** GW.063 Allocation of I/O request block failed

**説明:** ルーター内のコードが、入出力要求ブロックおよびバッファを割り振っていましたが、入出力要求ブロックの割り振りが失敗しました。

**原因:** ヒープ記憶域の不足

**処置:** ルーティング・テーブル・サイズを小さくしてください。データ記憶域のサイズを大きくしてください。

---

**GW.064**

レベル: UI-ERROR

短構文: GW.064 Alloc of buffer failed

長構文: GW.064 Allocation of buffer failed

説明: ルーター内のコードが、入出力要求ブロックおよびバッファを割り振っていましたが、バッファの割り振りが失敗しました。

原因: バッファ記憶域の不足

処置: バッファ記憶域のサイズを拡張してください。

処置: 構成可能な場合は、次の装置 (トークンリング、シリアル・ライン) で、より小さいバッファ・サイズを選択してください。

---

**GW.065**

レベル: U-INFO

短構文: GW.065 *heap\_bytes* bytes buff reserved by *subsystem*

長構文: GW.065 *heap\_bytes* bytes of buffer memory reserved by subsystem *subsystem*

説明: 始動時に、ルーターのサブシステムの 1 つによって、バッファ記憶域の非常に多くのバイト数が予約されています。これをルーターの空きバッファ記憶域から差し引いた上で、残りがパケット・バッファとして配分されます。

---

**GW.073**

レベル: UI-ERROR

短構文: GW.073 Rcv buffs increased to *configured\_buffers*, exceeds max of *maximum\_buffers*, nt *network ID*

長構文: GW.073 Receive buffers increased to *configured\_buffers*, exceeds maximum of *maximum\_buffers*, net *network ID*

説明: ユーザーが構成した受信バッファ数が、このインターフェース・タイプに許される最大数を超過しています。バッファの数が、最大数まで削減されます。

原因: Config>SET RECEIVE-BUFFERS コマンドに指定したバッファ数が超過しています。

処置: 受け入れ可能なバッファ数になるように構成してください。

---

**GW.074**

レベル: C-INFO

短構文: GW.074 Rcv buffs increased from *configured\_buffers* to *default\_buffers*, nt *network ID*

長構文: GW.074 Receive buffers increased from *configured\_buffers* to *default\_buffers*, net *network ID*

説明: ユーザーの構成は、このインターフェースの受信バッファ数を、省略時値から構成された値に増やしています。

---

**GW.075**

レベル: U-INFO

短構文: GW.075 Rcv buffs decreased from *default\_buffers* to *configured\_buffers*, nt *network ID*

長構文: GW.075 Receive buffers decreased from *default\_buffers* to *configured\_buffers*, net *network ID*

説明: ユーザーの構成は、このインターフェースの受信バッファ数を、省略時値から構成された値に減らしています。これは、このインターフェースのパフォーマンスの低下を招くことがあります。

---

**GW.078**

レベル: U-INFO

短構文: GW.078 Rcv low water changed from *default\_low\_water* to *configured\_low\_water*, nt *network ID*

長構文: GW.078 Receive low water level changed from *default\_low\_water* to *configured\_low\_water*, net *network ID*

説明: ユーザー構成によって、このインターフェース上での受信最低水準をデフォルトから構成済みの値に変更中です。こうすることによって、このインターフェース上で受信されたパケットのフロー制御の振る舞いが変更されます。

---

**GW.079**

レベル: UI-ERROR

短構文: GW.079 Int hw err nt *network ID*

長構文: GW.079 Hardware failure detected for net *network ID*

説明: ルーターが、問題になっているインターフェースのハードウェア障害を検出しました。インターフェースは動作しません。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

**GW.080**

レベル: C\_INFO

短構文: GW.080 Ext Slt: *String supplied by external device*

長構文: GW.080 External Slot device is: *String supplied by external device*

説明: これは、外部スロットの状況の識別に役立ちます。

---

**GW.083**

レベル: C-TRACE

短構文: GW.083 LID st *old\_state,-> new\_state, nt network ID*

長構文: GW.083 Line ID state *old\_state, changed to new\_state,, net network ID*

説明: FSM トレース事象です。

---

**GW.089**

レベル: C-TRACE

短構文: GW.089 Match dial addr [ *dial\_address*] to nt *switched network ID*

長構文: GW.089 Matched inbound destination dial address [ *dial\_address*] to network *switched network ID*

説明: インバウンド・コールが到着し、指定のネットワークはそれに一致するように構成されています。16進数の *dial\_address* アドレス・ストリングと一致しています。空ストリングはワイルドカードで、*any\_inbound* に設定されたネットワークに一致します。

---

**GW.096**

レベル: CI-ERROR

短構文: GW.096 DialRec: bad addr rec: smaller than hdr (name= *parent\_name*)

長構文: GW.096 DialRec: bad address record: smaller than header (name= *parent\_name*)

説明: ルーターは、アドレス・レコード・ヘッダーより短い *SR\_DCADDR* (ダイヤル回線アドレス) を、表示されているあて先名のもとの *SRAM* から読み取りました。このエラーをサービス技術員に報告してください。

---

**GW.099**

レベル: C-TRACE

短構文: GW.099 Dropped lnk due to encaps slftst errors nt *switched network ID*

長構文: GW.099 Dropped link due to encapsulator self-test errors network *switched network ID*

説明: カプセル化機能の自己検査エラーが連続して発生した時間が、ユーザーが設定した *SET IDLE nnn* インターバルを超えたので、*CML* がリンクを除去しました。

---

**GW.100**

レベル: UI-ERROR

短構文: GW.100 Bad MP config nt *network ID*

長構文: GW.100 Bad MP config for net *network ID*

説明: 構成されている MP ネットが無効か、または *BRS* がリンク上にあります。

原因: 構成エラー

処置: 有効な MP ネットを構成するか、リンク上の *BRS* をオフにします。

---

**GW.101**

レベル: UE-ERROR

短構文: GW.101 Intfc hdw mismtch nt *network ID*

長構文: GW.101 Interface hardware mismatch net *network ID*

説明: ルーター・ソフトウェアが最初にネットワーク・インターフェースを初期化しようとしたとき、ハードウェア・ミスマッチを発見しました。ハードウェアのミスマッチが生じるのは、インターフェースの構成されたアダプター・タイプが、実際にスロット内にあるアダプター・タイプに一致しない場合です。

原因: ハードウェア・ミスマッチがあります。

処置: 手順に従って構成済みアダプター・タイプを挿入するか、該当する資料を参照して、インターフェースの構成の検査および訂正を行うか、いずれかです。

原因: インターフェースのアダプターが壊れています。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

## GW.102

レベル: DEBUG

短構文: GW.102 bufget() failed. No more global buffers.

長構文: GW.102 bufget() failed. No more global buffers.

説明: ルーターのグローバル・バッファの空きがなくなりました。このメッセージが使用可能の場合、バッファが使い尽くされると、このボックスが表示されません。

---

## GW.103

レベル: C-INFO

短構文: GW.103 Tech support bypass login by [ user]

長構文: GW.103 Technical Support id bypassed remote authentication: user

説明: テクニカル・サポート id によるコンソール・ログインがリモート認証をう回しました。

処置: テクニカル・サポート・バイパスが望ましくない場合には、それを使用不可にします。

---

## GW.104

レベル: C-INFO

短構文: GW.104 Login Last Resort was used by: user

長構文: GW.104 Login Last Resort was used by: user

説明: リモート認証がタイムアウトとなり、ローカル・ログインが使用されました。

処置: Last Resort が望ましくない場合には、それを使用不可にします。

---

## Panic gwbadhd

短構文: GW: Bd cnf inf nt hdr lngths

説明: 無効な構成情報がロードされているのが検出されました。

原因: 手動で構成された最大ヘッダー・サイズおよびトレーラー・サイズが、ルーター内の少なくとも 1 つのネットワークの実際の長さより短くなっています。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

## Panic gwbdntv

短構文: GW: incompatible net table vers

説明: 2 進モジュールの非互換バージョンがロードされているのが検出されました。

原因: ネットワーク構成テーブルのバージョン番号が、コンパイル済みコードのバージョン番号と一致しません。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

## Panic gwbdpm

短構文: GW: incompatible P\_MAX

説明: 2 進モジュールの非互換バージョンがロードされているのが検出されました。

原因: 構成情報内のプロトコルの最大数が、コードのコンパイル時に使用された最大数と一致していません。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

## Panic gwbdtm

短構文: GW: incompatible T\_MAX

説明: 2 進モジュールの非互換バージョンがロードされているのが検出されました。

原因: 構成情報内のネットワーク・タイプの最大数が、コンパイラ・コード内のネットワーク・タイプの最大数と一致しません。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

## Panic gwbdim

短構文: GW: incompatible I\_MAX

説明: 2 進モジュールの非互換バージョンがロードされているのが検出されました。

原因: 構成情報内のインターフェース・タイプの最大数が、コンパイル済みコード内のインターフェース・タイプの最大数と一致しません。

処置: サービス技術員に連絡してください。



---

## Panic gwnmp

**短構文:** GW: no mem for prot tbl

**説明:** クリティカル・システム・テーブル用に利用可能な記憶域がありません。

**原因:** 初期化時に、導入済みまたは完全なプロトコル・テーブル、あるいはネットワーク・プロトコル別の上位呼のいずれかを割り振るための十分な記憶域がありませんでした。

**処置:** サービス技術員に連絡してください。

---

## Panic gwfrfr

**短構文:** GW: freeing free buffer

**説明:** バッファ解放ルーチンは、システム内のソフトウェアがすでに解放されているバッファを解放しようとしているのを検出しました。

**原因:** 同じバッファを二度解放するというソフトウェア問題。これは重大なエラーです。

**処置:** この障害のダンプを取って、サービス技術員に送ってください。

---

## Panic gwggtg

**短構文:** GW: alloc busy buffer

**説明:** バッファ解放ルーチンは、システム内のソフトウェアが、すでに使用中のバッファを割り振ろうとしているのを検出しました。

**原因:** ソフトウェアの問題

**処置:** この障害のダンプを取って、サービス技術員に送ってください。

---

## Panic gwifdrv

**短構文:** GW: net with multiple i\_fdrv requests

**説明:** バッファ割り振りルーチンは、1 つのバッファに対して複数のタイプの記憶域を必要とするネットワークを検出しました。

**原因:** ソフトウェアの問題

**処置:** この障害のダンプを取って、サービス技術員に送ってください。

---

---

## Panic gwlgwc

**短構文:** GW: leading buffer guard word corrupted

**説明:** パケット・バッファを監視するコードは、バッファの前の保護ワードが破壊されているのを検出しました。

**原因:** ソフトウェアの問題

**原因:** ハードウェア障害

**処置:** この障害のダンプを取って、サービス技術員に送ってください。

---

## Panic gwtgwc

**短構文:** GW: trailing buffer guard word corrupted

**説明:** パケット・バッファを監視するコードは、バッファの終わりの後の保護ワードが破壊されているのを検出しました。

**原因:** ソフトウェアの問題

**原因:** ハードウェア障害

**処置:** この障害のダンプを取って、サービス技術員に送ってください。

---

## Panic gwnhifdrv

**短構文:** GW: no heap mem for i\_fdrv

**説明:** バッファ・キャッシュ・データ・ブロック用に利用可能なヒープ記憶域がありません。

**原因:** ヒープ記憶域の不足

**処置:** ルーティング・テーブル・サイズを小さくしてください。データ記憶域のサイズを大きくしてください。

**処置:** この障害のダンプを取って、サービス技術員に送ってください。

---

## Panic gwnbifdrv

**短構文:** GW: no buff mem for i\_fdrv

**説明:** バッファ・キャッシュ・データ・ブロック用に利用可能なバッファ記憶域がありません。

**原因:** バッファ記憶域の不足

**処置:** バッファ記憶域のサイズを拡張してください。

**処置:** より小さいバッファ・サイズが構成可能な装

---



置 (トークンリング、シリアル・ライン) では、より小さいバッファ・サイズを選択してください。

**処置:** この障害のダンプを取って、サービス技術員に送ってください。

---

### **Fatal gwtfb**

**短構文:** GW: too little buffer memory

**説明:** バッファ割り振りコードは、単に各ネットワークに対して十分な入力バッファを割り振ることができないだけであり、ルーティング・プロトコル用としてはまだかなりの数の空きバッファが残されています。(これらの制約は、ELS メッセージ GW.059 によって示されます。)

**原因:** 利用可能なバッファ記憶域の量に対して、装置の数が多過ぎるか、バッファ・サイズが大き過ぎます。

**処置:** 一部の装置を構成解除 (または、除去) してください。バッファ記憶域のサイズを拡張してください。より小さいバッファ・サイズが構成可能な装置 (トークンリング、シリアル・ライン) では、より小さいバッファ・サイズを選択してください。

---

## 第49章 汎用パケット・フィルター (FLT)

この章では、汎用パケット・フィルター (FLT) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### FLT.001

レベル: UI-ERROR

短構文: FLT.001 no free mem to create *structure\_type*

長構文: FLT.001 No free memory to create a *structure\_type*

説明: このメッセージが生成されるのは、フィルター・サブシステムが、フィルター情報を保持するためのデータ構造を収める記憶域を割り振ることができない場合です。その結果、フィルターは作成されません。

---

### FLT.002

レベル: U-TRACE

短構文: FLT.002 cant apply fltr (offset *filter\_offset*), pkt too shrt (ln *packet\_offset*)

長構文: FLT.002 Cannot apply filter (offset *filter\_offset*), to packet of length *packet\_offset*

説明: このメッセージは、フィルター内の最大オフセットがパケット長を超えている場合に生成されます。フィルターはパケットに適用されません。

---

### FLT.003

レベル: U-TRACE

短構文: FLT.003 no mem to cache pkt (max *cache\_entries\_allocated*)

長構文: FLT.003 No memory to cache packet (maximum *cache\_entries\_allocated*)

説明: このメッセージは、フィルターがキャッシュ項目を作成しようとしたのですが、ヒープ上に利用可能な記憶域がないために作成できない場合に生成されます。代わりに、フィルターから既存の項目が再利用されます。

---

### FLT.004

レベル: C-INFO

短構文: FLT.004 crtng flt, sys *system\_name*

長構文: FLT.004 Creating filter for system *system\_name*

説明: *system\_name* によって識別されているルーター・

システム用として、フィルターが作成されている最中では、

---

### FLT.005

レベル: C-INFO

短構文: FLT.005 flt che hit, sys *system\_name*

長構文: FLT.005 Filter cache hit, system *system\_name*

説明: フィルターがキャッシュ・ヒットを作成しました。*system\_name* は、以前に作成されたフィルターのシステム名です。

---

### FLT.006

レベル: C-INFO

短構文: FLT.006 flt match, sys *system\_name*

長構文: FLT.006 Filter match, system *system\_name*

説明: フィルターが合致しましたが、キャッシュ・ヒットはありません。*system\_name* は、以前に作成されたフィルターのシステム名です。

---

### FLT.007

レベル: C-INFO

短構文: FLT.007 flt miss, sys *system\_name*

長構文: FLT.007 Filter miss, system *system\_name*

説明: フィルターがデータ・ブロックに適用されましたが、一致は見付かりませんでした。*system\_name* は、以前に作成されたフィルターのシステム名です。



---

## 第50章 LAN エミュレーション・クライアント機能 (ILEC)

この章では、LAN エミュレーション・クライアント機能 (ILEC) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### ILEC.001

レベル: C-INFO

短構文: ILEC.001 ILEC function entry/exit tracing

長構文: ILEC.001 ILEC function entry/exit tracing

説明: ユーザーは、このメッセージの表示をオン/オフにするだけで、ILEC の機能の開始および終了のトレースを使用可能/使用不可にすることができます。

---

### ILEC.002

レベル: C-INFO

短構文: ILEC.002 nt network entry\_exit log\_point

長構文: ILEC.002 network network: ilec trace log: entry\_exit log\_point

説明: ILEC 汎用機能の開始/終了

---

### ILEC.003

レベル: C-INFO

短構文: ILEC.003 nt network entry\_exit log\_point, D1= arg1

長構文: ILEC.003 network network: ilec trace log: entry\_exit log\_point, D1= arg1

説明: 引き数を 1 つ指定した ILEC 汎用機能の開始/終了

---

### ILEC.004

レベル: C-INFO

短構文: ILEC.004 nt network entry\_exit log\_point, D1= arg1, D2= arg2

長構文: ILEC.004 network network: ilec trace log: entry\_exit log\_point, D1= arg1, D2= arg2

説明: 引き数を 2 つ指定した ILEC 汎用機能の開始/終了

---

### ILEC.005

レベル: C-INFO

短構文: ILEC.005 nt network entry\_exit log\_point, D1= arg1, D2= arg2, D3= arg3

長構文: ILEC.005 network network: ilec trace log: entry\_exit log\_point, D1= arg1, D2= arg2, D3= arg3

説明: 引き数を 3 つ指定した ILEC 汎用機能の開始/終了

---

### ILEC.007

レベル: UI-ERROR

短構文: ILEC.007 Inbound call rejected, on nt network ID, rsn= reason, hndl= conn\_handle, d1= debug1, d2= debug2

長構文: ILEC.007 Inbound call rejected, on network network ID, reason = reason, conn handle = conn\_handle, debug1 = debug1, debug2 = debug2

説明: インバウンド・コールが拒否されました。

---

### ILEC.011

レベル: P\_TRACE

短構文: ILEC.011 Trace ILEC data packet

長構文: ILEC.011 Trace ILEC data packet

説明: ILEC データ・パケットのトレース

---

### ILEC.012

レベル: P\_TRACE

短構文: ILEC.012 Trace ILEC control packet

長構文: ILEC.012 Trace ILEC control packet

説明: ILEC 制御パケットのトレース

---

### ILEC.020

レベル: UE-ERROR

短構文: ILEC.020 nt network error\_lvl log\_point

長構文: ILEC.020 network *network*: ilec error log:  
*error\_lvl log\_point*

説明: ILEC 総称エラー

---

#### ILEC.021

レベル: UE-ERROR

短構文: ILEC.021 nt *network error\_lvl log\_point*, D1=  
*arg1*

長構文: ILEC.021 network *network*: ilec error log:  
*error\_lvl log\_point*, D1= *arg1*

説明: 引き数が 1 つの ILEC 総称エラー

---

#### ILEC.022

レベル: UE-ERROR

短構文: ILEC.022 nt *network error\_lvl log\_point*, D1=  
*arg1*, D2= *arg2*

長構文: ILEC.022 network *network*: ilec error log:  
*error\_lvl log\_point*, D1= *arg1*, D2= *arg2*

説明: 引き数が 2 つの ILEC 総称エラー

---

#### ILEC.023

レベル: UE-ERROR

短構文: ILEC.023 nt *network error\_lvl log\_point*, D1=  
*arg1*, D2= *arg2*, D3= *arg3*

長構文: ILEC.023 network *network*: ilec error log:  
*error\_lvl log\_point*, D1= *arg1*, D2= *arg2*, D3= *arg3*

説明: 引き数が 3 つの ILEC 総称エラー

---

#### ILEC.024

レベル: UI-ERROR

短構文: ILEC.024 open frame SAP failed on nt *n\_net*,  
rc= *retcd*

長構文: ILEC.024 open frame SAP failed on network  
*n\_net*, rc = *retcd*

説明: フレーム SAP のオープンに失敗しました。

---

#### ILEC.025

レベル: UI-ERROR

短構文: ILEC.025 open call SAP failed on nt *n\_net*,  
rc= *retcd*

長構文: ILEC.025 open call SAP failed on network  
*n\_net*, rc = *retcd*

説明: コール SAP のオープンに失敗しました。

---

#### ILEC.026

レベル: UI-ERROR

短構文: ILEC.026 open data path failed for outgoing  
call, on nt *n\_net*, rc= *retcd*

長構文: ILEC.026 open data path failed for outgoing  
call, on network *n\_net*, rc = *retcd*

説明: 発信コールに対するデータ・パスのオープンに  
失敗しました。

---

#### ILEC.027

レベル: UI-ERROR

短構文: ILEC.027 open data path failed for incoming  
call, on nt *n\_net*, rc= *retcd*

長構文: ILEC.027 open data path failed for incoming  
call, on network *n\_net*, rc = *retcd*

説明: 着信コールに対するデータ・パスのオープンに  
失敗しました。

---

#### ILEC.028

レベル: C-INFO

短構文: ILEC.028 Function *function\_name* called, nt  
*network ID*

長構文: ILEC.028 Function *function\_name* called, on  
network *network ID*

説明: ATM ILEC 機能がコールされました。

---

#### ILEC.029

レベル: UI-ERROR

短構文: ILEC.029 Start failed, on nt *network ID*, rc=  
*retcd*

長構文: ILEC.029 Start failed, on network *network ID*,  
rc = *retcd*

説明: ILEC オブジェクトに関して、開始に失敗しまし  
た。

---

#### ILEC.030

レベル: UI-ERROR

短構文: ILEC.030 create ILEC object failed, on nt  
*network ID*, rc= *retcd*

長構文: ILEC.030 create ILEC object failed, on network  
*network ID*, rc = *retcd*

説明: ILEC オブジェクトを作成できませんでした。

---

#### ILEC.031

レベル: UI-ERROR

短構文: ILEC.031 usr reg failed, on nt *network ID*, rc=  
*retcd*

長構文: ILEC.031 user registration failed, on network  
*network ID*, rc = *retcd*

説明: ILEC が登録できませんでした。

---

#### ILEC.032

レベル: UI-ERROR

短構文: ILEC.032 nt *network ID*, ATM nt *network ID*  
nt *nblid*

長構文: ILEC.032 on network *network ID*, ATM  
network *network ID* not enabled

説明: ATM インターフェースが使用可能になっていま  
せん。

---

#### ILEC.033

レベル: UI-ERROR

短構文: ILEC.033 ILEC activate failed, on nt *network*  
*ID*, rc= *retcd*

長構文: ILEC.033 ILEC activate failed, on network  
*network ID*, rc = *retcd*

説明: ILEC の起動に失敗しました。

---

#### ILEC.034

レベル: UI-ERROR

短構文: ILEC.034 ILEC activate complete, on nt  
*network ID*, rc= *retcd*

長構文: ILEC.034 ILEC activate complete, on network  
*network ID*, rc = *retcd*

説明: ILEC の起動に失敗しました。

---

#### ILEC.035

レベル: UI-ERROR

短構文: ILEC.035 Outbound frame freed, on nt *network*  
*ID*

長構文: ILEC.035 Outbound frame freed, on network  
*network ID*

説明: アウトバウンド・フレームが解放されました。

---

#### ILEC.036

レベル: UI-ERROR

短構文: ILEC.036 Outbound frame queued, on nt  
*network ID*

長構文: ILEC.036 Outbound frame queued, on network  
*network ID*

説明: アウトバウンド・フレームが待ち行列に入れら  
れました。

---

#### ILEC.037

レベル: UI-ERROR

短構文: ILEC.037 Transmit failed, on nt *network ID*,  
rc= *retcd*

長構文: ILEC.037 Transmit failed, on network *network*  
*ID*, rc = *retcd*

説明: 送信に失敗しました。

---

#### ILEC.042

レベル: UI-ERROR

短構文: ILEC.042 SRAM nt *fnid* on *dsbl*, on nt *network*  
*ID*

長構文: ILEC.042 SRAM not found after disable, on  
network *network ID*

説明: ユーザーが ILEC インターフェースを使用不可  
にした後、一致する SRAM ブロックが見付かりません  
でした。

---

#### ILEC.044

レベル: UI-ERROR

短構文: ILEC.044 Outbnd frm *dscr*, on nt *net\_no*,frm  
sz ( *frame\_size*) *xcds cnfgd frm sz ( config\_frame\_size)*

長構文: ILEC.044 Outbound frame discarded, on  
network *net\_no*, frame size ( *frame\_size*) exceeds  
configured frame size ( *config\_frame\_size*)

説明: アウトバウンド・フレームが廃棄されました。  
フレームのサイズが、構成されたフレーム・サイズより  
大きかったためです。

---

#### ILEC.045

レベル: UI-ERROR

短構文: ILEC.045 Inbnd frm *dscr*, on nt *net\_no*,frm  
sz ( *frame\_size*) *xcds cnfgd frm sz ( config\_frame\_size)*

長構文: ILEC.045 Inbound frame discarded, on network



*net\_no*, frame size ( *frame\_size*) exceeds configured frame size ( *config\_frame\_size*)

**説明:** インバウンド・フレームが廃棄されました。フレームのサイズが、構成されたフレーム・サイズより大きかったためです。

---

#### **ILEC.046**

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** ILEC.046 ILEC inbnd fr dscrld, bad FC, on nt *network ID*, *word1 word2 word3 word4 word5*

**長構文:** ILEC.046 ILEC inbnd fr dscrld, bad FC, on network *network ID*, *word1 word2 word3 word4x word5*

**説明:** ILEC インバウンド・データ・フレームが廃棄されました。FC アドレスの誤りです。

---

#### **ILEC.047**

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** ILEC.047 nt *network ID*:ILEC inbnd fr dscrld, bad frame type ( *frame\_type*)

**長構文:** ILEC.047 nt *network ID*:ILEC inbnd fr dscrld, bad frame type ( *frame\_type*)

**説明:** ILEC インバウンド・データ・フレームが廃棄されました。フレーム・タイプの誤りです。

---

#### **ILEC.048**

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** ILEC.048 nt *network ID*:ILEC inbnd fr dscrld, bad frame type ( *frame\_type*)

**長構文:** ILEC.048 nt *network ID*:ILEC inbnd fr dscrld, bad frame type ( *frame\_type*)

**説明:** ILEC インバウンド・データ・フレームが廃棄されました。フレーム・タイプの誤りです。

---

#### **ILEC.049**

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** ILEC.049 nt *network ID*:ILEC Inbnd frm dscrld, dst = *dest\_addr* src = *src\_addr*, rsn = *reason*

**長構文:** ILEC.049 nt *network ID*:ILEC Inbound frame discarded, dest = *dest\_addr* source = *src\_addr*, reason = *reason*

**説明:** インバウンド・フレームが廃棄されました。

---

## 第51章 サービス総合デジタル網 (ISDN)

この章では、サービス総合デジタル網 (ISDN) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### ISDN.001

レベル: CE-ERROR

短構文: ISDN.001 I\_ERR (0x *status*) len( *msglen*) on rcv nt *network ID*

長構文: ISDN.001 Packet received with I\_ERR set (status = 0x *status*) or bad length( *msglen*), on network *network ID*

説明: YDC ISDN: *isdny\_rx()* が、ドライバーからエラー・フラグがセットされた、または長さが最小値より短いバッファーを受信しました。

処置: この事象をサービス技術員に報告してください。

---

### ISDN.002

レベル: UE-ERROR

短構文: ISDN.002 RX bad type (0x *type*) on nt *network ID*

長構文: ISDN.002 Received an unrecognized packet type (0x *type*), on network *network ID*

説明: YDC ISDN: *isdny\_rx()* がパケットを受信しましたが、そのタイプが認識できないものでした。

処置: この事象をサービス技術員に報告してください。

---

### ISDN.003

レベル: C-INFO

短構文: ISDN.003 ConnID 0x *ConnID* Status msg cause (0x *cause0*:0x *cause1*) message on nt *network ID*

長構文: ISDN.003 ConnID (0x *ConnID*) Received a status message from the ISDNcard: Cause field 0x *cause0*:0x *cause1* ( *message*) on network *network ID*

説明: *isdny\_rx()* が ISDN カードから状況メッセージを受信しました。

---

### ISDN.004

レベル: C-INFO

短構文: ISDN.004 ConnID 0x *ConnID* message

*displaystring* (cause 0x *cause0*:0x *cause1*) on nt *network ID*

長構文: ISDN.004 ConnID (0x *ConnID*) received a message ( *displaystring*) from the ISDNcard: Cause field 0x *cause0*:0x *cause1* on network *network ID*

説明: *isdny\_rx()* が ISDN カードから NLS 表示情報の状況メッセージを受信しました。これは、ネットワーク・インターフェースでのエラー状態を示す場合があります。

処置: ネットワーク・インターフェースがアップにならない場合は、サービス技術員、または最寄りのサービス提供者、あるいはその両方に連絡してください。

---

### ISDN.005

レベル: UE-ERROR

短構文: ISDN.005 ConnID 0x *ConnID* Bad msg (0x *message*) in stt *state*, sts 0x *status*, len *length*, cse(0x *cause1*:0x *cause2*) nt *network ID*

長構文: ISDN.005 ConnID 0x *ConnID* received an unexpected message (0x *message*) in state *state*, status 0x *status*, length *length*, cause (0x *cause1*:0x *cause2*) on network *network ID*

説明: *isdny\_rx()* がパケットを受信しましたが、現在の状態では予期しないものでした。

処置: この事象をサービス技術員に報告してください。

---

### ISDN.006

レベル: UE-ERROR

短構文: ISDN.006 Bad Config nt *network ID*

長構文: ISDN.006 The ISDN network interface configuration for network *network ID* is bad.

説明: このポートに対する ISDN ネットワークの構成は、不完全であるか、脱落、または矛盾があります。

処置: このインターフェースの ISDN 構成が少なくともローカル・アドレスを含んでいるか確認してください。

---

### ISDN.007

レベル: UE-ERROR

短構文: ISDN.007 Download failed (0x *dlstat*), PUD status(0x *pudstat*) nt *network ID*

長構文: ISDN.007 Download of the ISDN network interface card failed with status 0x *dlstat*, Power-Up Diagnostics code 0x *pudstat* for network *network ID*.

説明: パワーアップ診断の結果がダウンロード禁止か、ダウンロード・イメージ自体が破壊されたか、いずれかです。

処置: この事象をサービス技術員に報告してください。

---

### ISDN.008

レベル: C-INFO

短構文: ISDN.008 Download OK, PUD status (0x *pudstat*) nt *network ID*

長構文: ISDN.008 Download of the ISDN network interface card succeeded, Power-Up Diagnostics returned 0x *pudstat* for network *network ID*.

説明: ISDN スマート・カードのダウンロードが正常に完了しました。

---

### ISDN.009

レベル: UE-ERROR

短構文: ISDN.009 Config bad st (0x *cfgstat*) nt *network ID*

長構文: ISDN.009 The ISDN network interface card rejected configuration with the status 0x *cfgstat* for network *network ID*.

説明: ISDN スマート・カードの構成の一部が矛盾または脱落しています。

処置: この事象をサービス技術員に報告してください。

---

### ISDN.010

レベル: C-INFO

短構文: ISDN.010 Config ok nt *network ID*

長構文: ISDN.010 Configuration of the ISDN network interface card succeeded for network *network ID*.

説明: ISDN スマート・カードの構成が正常に完了しました。

---

### ISDN.011

レベル: UE-ERROR

短構文: ISDN.011 Board Down DCT flags in (0x *idctst*) out (0x *odctst*) nt *network ID*

長構文: ISDN.011 INIDEV of the ISDN network interface card failed, DCT flags for input and output are 0x *idctst* and 0x *odctst* respectively for network *network ID*.

説明: ISDN カードがドライバー初期化の試みに応答していません。

処置: ネットワーク・インターフェースをテストします。これで問題が修正されない場合は、ルーターを再始動します。このエラーをサービス技術員に報告してください。

---

### ISDN.012

レベル: UE-ERROR

短構文: ISDN.012 Dead Board nt *network ID*

長構文: ISDN.012 The ISDN network interface card for network *network ID* is dead.

説明: ISDN インターフェース・カードがまったく応答しません。ルーターの再始動が(最小限)必須です。

処置: 装置の構成で正しいスロットが指定されていることを確認し、カードを再始動します。それでもカードが正常に働かない場合は、カードをルーターに入れ直します。最後は、サービス技術員に連絡し、ハードウェア障害を報告します。

---

### ISDN.013

レベル: U-INFO

短構文: ISDN.013 Board reset complete nt *network ID*

長構文: ISDN.013 The ISDN network interface card for network *network ID* has been reset. Attempting download.

説明: ボードが破損しています。回復のための最初のステップとして、ボードをリセットします。

処置: この事象をサービス技術員に報告してください。

---

### ISDN.014

レベル: UE-ERROR

短構文: ISDN.014 Unexpected state ( *state1*) instead of *state2* nt *network ID*

長構文: ISDN.014 ISDN handler state ( *state1*) is

different from that expected ( *state2*) for internal event on network *network ID*.

**説明:** 事象が発生した状態が、FSM の設計に矛盾しています。

**処置:** この事象をサービス技術員に報告してください。

---

#### ISDN.015

**レベル:** C-INFO

**短構文:** ISDN.015 Chn *channel* FSM st *state1* ev *event* -> *state2* nt *network ID*

**長構文:** ISDN.015 Channel *channel* FSM transition occurred: old state *state1*, event *event*, new state *state2* on network *network ID*.

**説明:** FSM 遷移が生じました。

---

#### ISDN.016

**レベル:** U-INFO

**短構文:** ISDN.016 Chn *channel* ConnID 0x *ConnID* FSM odd stt *state1* ev *event* -> *state2* nt *network ID*

**長構文:** ISDN.016 Channel *channel* ConnID 0x *ConnID* unusual FSM state transition occurred: old state *state1*, event *event*, new state *state2* on network *network ID*.

**説明:** 資源不足、またはインターフェース・カードとルーターの間の同期上の問題のため、正常なパスに反して、ISDN ハンドラーのチャンネル FSMに遷移が生じました。

**処置:** この事象をサービス技術員に報告してください。

---

#### ISDN.017

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** ISDN.017 Chn *channel* N-CONN-RQ bad iostat 0x *status* nt *network ID*

**長構文:** ISDN.017 An N-CONN-RQ I/O request for channel *channel* completed with status 0x *status* network *network ID*.

**説明:** ISDN ハンドラーが N-CONN-RQ をインターフェース・カードに送信しましたが、転送は正常に完了しませんでした。

**処置:** この事象をサービス技術員に報告してください。

---

#### ISDN.018

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** ISDN.018 No Hchn *channel* A-DISC-RQ nt *network ID*

**長構文:** ISDN.018 A client issued a disconnect request for a connection ( *channel*) unrecognized by the handler on network *network ID*.

**説明:** ISDN ハンドラーのクライアントが、ハンドラーの知らない接続について切断要求 (isdny\_client\_DR) を出しました。ハンドラーとそのクライアントの間に重大な同期上の問題があることを示しています。

**処置:** この事象をサービス技術員に報告してください。

---

#### ISDN.019

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** ISDN.019 Bd stats cmp sts 0x *status* nt *network ID*

**長構文:** ISDN.019 A statistics request to the interface card was returned with a bad status (0x *status*) for network *network ID*.

**説明:** CNX YDC ISDN カードのハンドラーは、ISDN カードに対して、定期的に統計要求を出していますが、この要求上での状況が不良でした。これは、ルーターとカードの間に制御待ち行列に関して幾分幅轄 (ふくそう) の問題があることを示している可能性があり、また、この問題が引き続き発生する場合は、カードに問題があることを示している可能性があります。

**処置:** 引き続きこの問題が発生する場合は、ネットワーク・インターフェースをテストしてください。問題がさらに引き続き起こる場合は、事象をサービス技術員に連絡してください。

---

#### ISDN.020

**レベル:** U-TRACE

**短構文:** ISDN.020 Chn *channel* ConnID 0x *ConnID* Rxd Dt Pkt ln *msglen* bd stt *state* nt *network ID*

**長構文:** ISDN.020 Channel *channel* ConnID 0x *ConnID* : received a Data Packet of length ( *msglen*) in wrong state ( *state*) from network *network ID*.

**説明:** CNX YDC ISDN カードのハンドラーは指示されたチャンネルについてデータ・パケットを受信しましたが、チャンネルはデータ転送状態にありませんでした。これは、接続でのシリアル・リンクの確立を数秒間遅らせる場合があります。通常は、ネットワーク・インターフ

エースからの信号パケットおよびデータ・パケットの受信順序に誤りがあることを示しています。

**処置:** この事象をサービス技術員に報告してください。

---

#### ISDN.021

**レベル:** P-TRACE

**短構文:** ISDN.021 Chn *channel* ConnID 0x *ConnID*  
RxD Pkt ln *msglen* nt *network ID*

**長構文:** ISDN.021 Channel *channel* ConnID 0x *ConnID*  
received a Data Packet of length ( *msglen*) from network  
*network ID*.

**説明:** CNX YDC ISDN カードのハンドラーはデータ転送状態にある、指示されたチャネルのデータ・パケットを受信しました。

---

#### ISDN.022

**レベル:** U-TRACE

**短構文:** ISDN.022 ConnID 0x *ConnID* Rxd *msgtype* Pkt  
ln *msglen* bd stt *state* nt *network ID*

**長構文:** ISDN.022 ConnID 0x *ConnID* received a  
*msgtype* Packet of length ( *msglen*) in wrong state ( *state*)  
from network *network ID*.

**説明:** CNX YDC ISDN カードのハンドラーは指示されたチャネルについて制御パケットを受信しましたが、チャネルは適切な状態にありませんでした。

**処置:** この事象をサービス技術員に報告してください。

---

#### ISDN.023

**レベル:** C-TRACE

**短構文:** ISDN.023 ConnID 0x *ConnID* Rxd  
N\_STAT\_IN ln *msglen* cause 0x *cause1*:0x *cause2* nt  
*network ID*

**長構文:** ISDN.023 ConnID 0x *ConnID* received a  
N\_STAT\_IN message of length ( *msglen*) cause 0x  
*cause1*:0x *cause2* from network *network ID*.

**説明:** CNX YDC ISDN カードのハンドラーは指示された接続についての状態表示を受信しました。

---

#### ISDN.024

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** ISDN.024 Start Rq bd st (0x *startstatus*) nt  
*network ID*

**長構文:** ISDN.024 The ISDN network interface card rejected a N\_START\_RQ with the status 0x *startstatus* for network *network ID*.

**説明:** ISDN インターフェース・カードの状態がハンドラーに整合していません。

**処置:** この事象をサービス技術員に報告してください。

---

#### ISDN.025

**レベル:** C-INFO

**短構文:** ISDN.025 Start ok nt *network ID*

**長構文:** ISDN.025 Start of the ISDN network interface card succeeded for network *network ID*.

**説明:** ISDN スマート・カードの開始が正常に完了しました。

---

#### ISDN.026

**レベル:** C-INFO

**短構文:** ISDN.026 Hndlr inidev() st *state* nt *network ID*

**長構文:** ISDN.026 Handler inidev() from state *state* for network *network ID*.

**説明:** 装置ハンドラーによる装置接続機構の初期化

---

#### ISDN.027

**レベル:** C-INFO

**短構文:** ISDN.027 Hndlr N\_START\_RQ nt *network ID*

**長構文:** ISDN.027 Handler sent N\_START\_RQ for network *network ID*.

**説明:** N\_START\_RQ が装置接続機構に送信されました。

---

#### ISDN.028

**レベル:** C-INFO

**短構文:** ISDN.028 Can't N\_START\_RQ DCT i/o flg  
(0x *istatus*:0x *ostatus*) nt *network ID*

**長構文:** ISDN.028 Either the device status (0x *istatus*:0x *ostatus*) or the lack of a buffer prevented an N\_START\_RQ to the ISDN CNX YDC port for network *network ID*.

**説明:** ハンドラーは N\_START\_RQ を送信して、転送を開始する必要があるのに、これできません。

---

**ISDN.029**

レベル: UE-ERROR

短構文: ISDN.029 Brd Crsh -- rstrng: nt *network ID*

長構文: ISDN.029 Interface software crash, attempting restart nt *network ID*

説明: ISDN CNX YDC ボード・ソフトウェアが破損しています。

処置: この事象をサービス技術員に報告してください。

---

**ISDN.030**

レベル: UE-ERROR

短構文: ISDN.030 Tx Frm too long (*frame* > *configsize*) nt *network ID*

長構文: ISDN.030 The size of the frame (*frame*) passed to the ISDN handler for transmission exceeded the maximum size configured (*configsize* -- less one) net *network ID*

説明: ISDN CNX YDC カードは、送信サイズを構成された最大値よりも小さいサイズに制限し、この長さを超えるフレームをいずれも廃棄します。カプセル化パケット・サイズを検査します。これは、ISDN フレーム・サイズから 1 を引き、カプセル化ヘッダーがあれば、それも引いた数よりも小さいことが必要です。

---

**ISDN.031**

レベル: U-INFO

短構文: ISDN.031 Cll rfsd frm *FromAddress: FromSubAddress* to *ToAddress: ToSubAddress* on nt *network ID*

長構文: ISDN.031 Incoming Call Refused from *FromAddress: FromSubAddress* to *ToAddress: ToSubAddress* on net *network ID*

説明: N\_CONN\_IND が ISDN ネットワークから受信されましたが、どの登録済みクライアントもそれを受け入れませんでした。

処置: これらの構成済みのものについて報告されたアドレスを検査します。これは、リモート・ルーターの構成のエラーか、ISDN ネットワーク上の装置が誤番号を呼び出している可能性があります。

---

**ISDN.032**

レベル: C-INFO

短構文: ISDN.032 Chn *Channel* ConnID 0x *ConnID* Cll Txcmp on nt *network ID*

長構文: ISDN.032 Channel *Channel* ConnID 0x *ConnID*: transfer of N\_CONN\_RQ to ISDN smart card completed on net *network ID*

説明: 接続が正常に開始されました。

---

**ISDN.033**

レベル: C-INFO

短構文: ISDN.033 Chn *Channel* ConnID 0x *ConnID* FSM st *state1* ev *event* -> *state2* nt *network ID*

長構文: ISDN.033 Channel *Channel* ConnID 0x *ConnID* FSM transition: old state *state1*, event *event*, new state *state2* on network *network ID*.

説明: FSM 遷移が生じました。

---

**ISDN.034**

レベル: U-INFO

短構文: ISDN.034 Chn UN ConnID UNAS callout rfsd (no chnl/destrsp) nt *network ID*

長構文: ISDN.034 Channel (unassigned) ConnID (unassigned) call out refused (no channel available, or destination not responding) on network *network ID*.

説明: 接続設定が正常に行われませんでした。予備チャンネルが使用可能でなかったためか、あて先がタイムアウト期間内に前のコールを拒否した (再試行カウント) ためか、いずれかです。後者の場合は、タイムアウトが満了すると、後続の試みが行われます。

処置: ダイヤル回線用に構成されたアドレスが正しいか、また、2 チャンネル (ローカルに、およびあて先で) のうち少なくとも 1 チャンネルが現在未割り当てであることを確認します。

---

**ISDN.035**

レベル: U-INFO

短構文: ISDN.035 Inv Chn (0x *Channel*) ConnID 0x *ConnID* ev *message* nt *network ID*

長構文: ISDN.035 Invalid Channel (0x *Channel*) ConnID 0x *ConnID* in message *message* on network *network ID*.

説明: インターフェース・カードから受信されたメッセージ内のチャンネル・タイプは無効です。メッセージは



無視またはリジェクトされました。

**処置:** これは、インターフェース・カードが接続されている ISDN スイッチが、ソフトウェアが認識できないチャンネルで接続を初期化しようとしていることを示す場合があります。注意したいのは、未割り当て値 (0xFF) として報告されているが、実際は (0x0) の場合で、この値が続くと、接続はいずれも妨げられます。サービス技術員に連絡してください。

---

### ISDN.036

**レベル:** ALWAYS

**短構文:** ISDN.036 Bad drct Tx prot *Protocol*, remap to dial circuit on nt *network ID*

**長構文:** ISDN.036 Some forwarder ( *Protocol*) has attempted to transmit directly over the ISDN network *network ID*

**説明:** ISDN ネットワークでの送信は、関連ダイヤル回線を介して行なわれるよう想定されています。これは適切なカプセル化を実行します。この事象は、送信元の構成の間違いが原因でした。送信元が ISDN ネットワークを使用するよう構成するべきではありません。これらメッセージの多数をまとめて、実際の事象の一部だけがログに記録されます。

**原因:** 送信元 (IP、IPX、など) アドレスが ISDN インターフェースに割り当てられていました。

**処置:** アドレスを削除し、それをダイヤル回線 (それ自体は ISDN ネットワークにマップされる) に (おそらく) 再割り当てします。

**原因:** ブリッジまたは他の転送元が ISDN インターフェースを使用するよう構成されています。

**処置:** ブリッジまたは転送元によりポートとして使用される ISDN インターフェースを取り外します。

---

### ISDN.037

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** ISDN.037 Stat Rq bd st (0x *startstatus*) nt *network ID*

**長構文:** ISDN.037 The ISDN network interface card rejected a N\_STAT\_RQ (parameter download) with the status 0x *startstatus* for network *network ID*.

**説明:** ISDN インターフェース・カードは、ルーターから送られてきた構成パラメーターを受け入れ、適正に初期化することができませんでした。

**処置:** この事象をサービス技術員に報告してください。

---

### ISDN.038

**レベル:** C-INFO

**短構文:** ISDN.038 Parameter download ok nt *network ID*

**長構文:** ISDN.038 Parameter download for the ISDN network interface card succeeded for network *network ID*.

**説明:** ISDN カードは、ルーターから渡された構成パラメーターを受けて正しく、初期化されました。

---

### ISDN.039

**レベル:** C-INFO

**短構文:** ISDN.039 Hndlr N\_STAT\_RQ nt *network ID*

**長構文:** ISDN.039 Handler sent N\_STAT\_RQ for network *network ID*.

**説明:** N\_STAT\_RQ が装置接続機構に送信されました。

---

### ISDN.040

**レベル:** C-INFO

**短構文:** ISDN.040 Can't N\_STAT\_RQ DCT i/o flg (0x *istatus*:0x *ostatus*) nt *network ID*

**長構文:** ISDN.040 Either the device status (0x *istatus*:0x *ostatus*) or the lack of a buffer prevented an N\_STAT\_RQ to the ISDN CNX port for network *network ID*.

**説明:** ハンドラーは、構成パラメーターのダウンロードのために、N\_STAT\_RQ を送信する必要があるのに、それができません。

---

### ISDN.041

**レベル:** U-INFO

**短構文:** ISDN.041 Too many non-resp, will try later nt *network ID*

**長構文:** ISDN.041 Too many non-responses, will try later on network *network ID*.

**説明:** あて先が、タイムアウト期間内に前のコールを (再試行カウントを) 拒否しました。これ以降の試みは、タイムアウトが満了した段階で実行されます。

**処置:** ダイヤル回線用に構成されたアドレスが正しいか、また、2 チャンネル (ローカルに、およびあて先で) のうち少なくとも 1 チャンネルが現在未割り当てであることを確認します。

---

**ISDN.042**

レベル: C-TRACE

短構文: ISDN.042 *event nt network ID*

長構文: ISDN.042 *event on network network ID.*

説明: 物理レイヤー事象のトレース

---

**ISDN.043**

レベル: C-TRACE

短構文: ISDN.043 *packet*

長構文: ISDN.043 *packet.*

説明: ISDN パケット・トレース

---

**Panic isdnym**

短構文: YDC ISDN: mem alloc fld

説明: YDC ISDN ネットワーク・ハンドラーが、初期化フェーズで、十分な記憶域を割り振ることができませんでした。

処置: サービス技術員に連絡してください。



---

## 第52章 中間システム間プロトコル (ISIS)

この章では、中間システム間プロトコル (ISIS) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### ISIS.001

レベル: UE-ERROR

短構文: ISIS.001 OSI protocol does not run over *nettype/ n\_int*

長構文: ISIS.001 OSI protocol does not run over *nettype/ n\_int*

説明: OSI が、現在 OSI をサポートしていないネットワーク・タイプで稼働するように構成されました。

---

### ISIS.002

レベル: UE-ERROR

短構文: ISIS.002 received incomplete isis pdu

長構文: ISIS.002 received incomplete isis packet

説明: ISIS パケットとして認識されるパケット・フラグメントを受信しました。

---

### ISIS.003

レベル: UE-ERROR

短構文: ISIS.003 received isis pdu with a bad version # = *version\_number*

長構文: ISIS.003 received packet with a bad version number, vers = *version\_number*

説明: ISIS パケットを受信しましたが、そのバージョン番号が不適正またはサポートされていないものでした。

---

### ISIS.004

レベル: UE-ERROR

短構文: ISIS.004 received isis pdu with a bad id length = *id\_length*

長構文: ISIS.004 received packet with a bad ID length = *id\_length*

説明: ISIS パケットに不適正な長さの ID があったために、そのパケットが除去されました。

---

### ISIS.005

レベル: P\_TRACE

短構文: ISIS.005 *pdu\_type* rcvd on int *interface* source id *source\_id*

長構文: ISIS.005 *pdu\_type* received on interface *interface* source id *source\_id*

説明: ISIS パケットを受信しました。

---

### ISIS.006

レベル: UE-ERROR

短構文: ISIS.006 received isis pdu *pdu\_type* with bad header length = *hdr\_length*

長構文: ISIS.006 received packet, type= *pdu\_type*, with a bad header length = *hdr\_length* bytes

説明: 不適正な長さのヘッダーを含む ISIS パケットが除去されました。

---

### ISIS.007

レベル: UE-ERROR

短構文: ISIS.007 received pdu *pdu\_type* with out of range area address, length = *add\_length*

長構文: ISIS.007 received packet, type= *pdu\_type*, with an out of range area address length = *add\_length*

説明: 範囲外の区域アドレスを含む IS-IS パケットが除去されました。

---

### ISIS.008

レベル: UE-ERROR

短構文: ISIS.008 isis pdu *pdu\_type* received with a bad option *opt\_code* length = *opt\_length*

長構文: ISIS.008 received packet, type= *pdu\_type*, with a bad option, code= *opt\_code*, length = *opt\_length*

説明: 不明の PDU タイプを含む ISIS パケットが除去されました。

---

**ISIS.009**

レベル: UE-ERROR

短構文: ISIS.009 received isis pdu *pdu\_type* with invalid option *opt\_code*

長構文: ISIS.009 received packet *pdu\_type* with an invalid option = *opt\_code*

説明: 無効なオプションを含む ISIS パケットが除去されました。

---

**ISIS.010**

レベル: UE-ERROR

短構文: ISIS.010 received isis pdu *pdu\_type* with multiple authentication fields

長構文: ISIS.010 received packet, type= *pdu\_type*, with multiple authentication fields

説明: 複数の認証フィールドを含む ISIS パケットが除去されました。

---

**ISIS.011**

レベル: UE-ERROR

短構文: ISIS.011 isis pdu *pdu\_type* dropped - unsupported password type = *pwd\_type*

長構文: ISIS.011 received packet, type= *pdu\_type*, with unsupported password type = *pwd\_type*

説明: サポートされていないパスワード・タイプを含む ISIS パケットが除去されました。

---

**ISIS.012**

レベル: UE-ERROR

短構文: ISIS.012 isis pdu *pdu\_type* dropped - authentication failure

長構文: ISIS.012 received packet, type= *pdu\_type* - authentication failure

説明: ISIS パケットが認証に失敗し、パケットは除去されました。

---

**ISIS.013**

レベル: UE-ERROR

短構文: ISIS.013 isis pdu *pdu\_type* dropped - bad pdu length = *pdu\_length*

長構文: ISIS.013 received packet, type= *pdu\_type*, with a bad pdu length = *pdu\_length* bytes

説明: 不適正な長さのヘッダーを含む ISIS パケットが除去されました。

---

**ISIS.014**

レベル: UE-ERROR

短構文: ISIS.014 isis pdu *pdu\_type* dropped - out of order options

長構文: ISIS.014 received packet, type= *pdu\_type*, has out of order options

説明: オプションの順番が間違っている ISIS パケットが除去されました。

---

**ISIS.015**

レベル: UE-ERROR

短構文: ISIS.015 isis pdu *pdu\_type* dropped - out of range prefix address, length = *add\_length*

長構文: ISIS.015 received packet, type= *pdu\_type*, with an out of range prefix address length = *add\_length*

説明: プレフィックスが範囲外の IS-IS パケットが除去されました。

---

**ISIS.016**

レベル: UE\_ERROR

短構文: ISIS.016 mismatch between subnet type and net type on *nettype/ n\_int*

長構文: ISIS.016 mismatch between subnet type and net type on *nettype/ n\_int*

説明: ネットワークの起動中に、ISIS サブネット・タイプとネットワーク・タイプとの間に矛盾があることが判明しました。

---

**ISIS.017**

レベル: UE\_ERROR

短構文: ISIS.017 invalid subnet type on *nettype/ n\_net*

長構文: ISIS.017 invalid subnet type on *nettype/ n\_net*

説明: ISIS サブネットが無効なサブネット・タイプであったために、それを起動できませんでした。

---

**ISIS.018**

レベル: UE\_ERROR

短構文: ISIS.018 isis turned off on lan - not started on *nettype/ n\_int*

長構文: ISIS.018 ISIS turned off on lan, ISIS not started on *nettype/ n\_int*

説明: ISIS がオフになるように構成されているため、LAN 上で ISIS を始動できませんでした。

---

### ISIS.019

レベル: UE\_ERROR

短構文: ISIS.019 adjacency not established - no common area

長構文: ISIS.019 Adjacency rejected because it doesn't have a matching area address

説明: 隣接に、ルーターの区域アドレス・セット内の区域アドレスと一致するアドレスがないために、その隣接が拒否されました。

---

### ISIS.020

レベル: UE\_ERROR

短構文: ISIS.020 no free IS adjacencies

長構文: ISIS.020 No free IS adjacency structures

説明: フリー・リストから、IS 隣接構造を獲得できません。

---

### ISIS.021

レベル: UE\_ERROR

短構文: ISIS.021 adjacency not established - system type mismatch

長構文: ISIS.021 Adjacency rejected due to a system type mismatch

説明: リモート・システムとルーター IS タイプの間のミスマッチのため、隣接がリジェクトされました。

---

### ISIS.022

レベル: UE\_ERROR

短構文: ISIS.022 send of isis pkt failed on *nettype/ n\_int*

長構文: ISIS.022 Send of an ISIS packet on *nettype/ n\_int* failed

説明: 指定されたインターフェース上での ISIS パケットの送信の試みに失敗しました。

---

### ISIS.024

レベル: P\_TRACE

短構文: ISIS.024 iiph pdu sent on *nettype/ n\_int*

長構文: ISIS.024 ISIS point-to-point hello packet sent on *nettype/ n\_int*

説明: 指定されたインターフェース上で、ISIS ポイント・ポイント (2 地点) 間パケットが正しく送信されました。

---

### ISIS.025

レベル: UE\_ERROR

短構文: ISIS.025 no memory for lsu

長構文: ISIS.025 No memory available for the link state update

説明: リンク状態の更新に使用可能な記憶域がなく、待ち状態に入っています。

---

### ISIS.026

レベル: UE\_ERROR

短構文: ISIS.026 isis pdu not prcssd - sbnt not cnfg'd on *nettype/ n\_int*

長構文: ISIS.026 ISIS pkt not processed - subnet not configured on *nettype/ n\_int*

説明: ISIS パケットが、サブネットがインターフェース上に存在しない、または非活動状態であるために、処理されませんでした。

---

### ISIS.027

レベル: UE\_ERROR

短構文: ISIS.027 isis pdu not processed - pvc not configured

長構文: ISIS.027 ISIS pkt not processed over X25 interface - PVC not configured

説明: ISIS パケットが指定の X25 インターフェースを通して処理されませんでした。PVC が見付かりませんでした。

---

### ISIS.028

レベル: UE\_ERROR

短構文: ISIS.028 isis pdu not processed - isis turned off on *nettype/ n\_int*

長構文: ISIS.028 ISIS packet not processed - ISIS turned off on *nettype/ n\_int*



説明: ISIS が指定されたインターフェース上でオフになるように構成されたために、ISIS パケットが処理されませんでした。

---

#### ISIS.029

レベル: UE\_ERROR

短構文: ISIS.029 isis pdu not processed - external domain on *nettype/ n\_int*

長構文: ISIS.029 ISIS packet not processed - external domain defined on *nettype/ n\_int*

説明: ISIS が外部ドメインになるように構成されたために、ISIS パケットが処理されませんでした。

---

#### ISIS.030

レベル: UE\_ERROR

短構文: ISIS.030 L2 PDU dropped (type = *pdu\_type*) - IS type is L1 only

長構文: ISIS.030 Level 2 PDU dropped (type = *pdu\_type*), IS type is level 1 only

説明: このルーターはレベル 1 の IS タイプだけで構成されているために、レベル 2 の ISIS PDU が除去されました。

---

#### ISIS.032

レベル: P\_TRACE

短構文: ISIS.032 *pdu\_type* sent on int *interface* source id *source\_id*

長構文: ISIS.032 *pdu\_type* sent on interface *interface* source id *source\_id*

説明: ISIS パケットが送信されました。

---

#### ISIS.033

レベル: UE\_ERROR

短構文: ISIS.033 no iob avail to send ISIS packet

長構文: ISIS.033 no i/o buffer available to send isis packet

説明: システム入出力バッファの不足のため、ISIS パケットの送信の試みが失敗しました。

---

#### ISIS.034

レベル: P\_TRACE

短構文: ISIS.034 LSU queued on circuit *circuit* type *type*

長構文: ISIS.034 A link state update was queued on LAN circuit *circuit* type *type*

説明: 伝送制約が最大数に達したため、リンク状態更新が LAN 回線上で待ち行列入りとなりました。

---

#### ISIS.035

レベル: UE\_ERROR

短構文: ISIS.035 Transmission failed

長構文: ISIS.035 Transmission failed

説明: 伝送を試みたのに対して、ハンドラーがエラーを戻しました。

---

#### ISIS.036

レベル: UE\_ERROR

短構文: ISIS.036 Link State database *type* entering wait state

長構文: ISIS.036 Link State database *type* entering wait state

説明: リンク状態データベースの 1 つが待ち状態に入りました。

---

#### ISIS.037

レベル: P\_TRACE

短構文: ISIS.037 Link State database *type* leaving wait state

長構文: ISIS.037 Link State database *type* leaving wait state

説明: リンク状態データベースの 1 つが待ち状態のままになっています。

---

#### ISIS.038

レベル: P\_TRACE

短構文: ISIS.038 Dijkstra run on level *type*

長構文: ISIS.038 The decision process (Dijkstra) is being run on level *type*

説明: 決定処理 (Dijkstra) が、レベルの 1 つで実行されています。

---

#### ISIS.040

レベル: UE\_ERROR

短構文: ISIS.040 Verification of LSP checksum failed, checksum should be *checksum*

長構文: ISIS.040 Verification of LSP checksum failed,

checksum should be *checksum*

**説明:** 受信したチェックサムの検証に失敗し、しかるべきチェックサムのありようがユーザーに示されます。

---

#### ISIS.043

**レベル:** U\_INFO

**短構文:** ISIS.043 Level *level* adj with IS *sysid* is now 2-way

**長構文:** ISIS.043 Level *level* adj with IS *sysid* is now 2-way.

**説明:** IS 隣接が単一方向から両方向に移行し、現在は UP 状態にあります。

---

#### ISIS.044

**レベル:** U\_INFO

**短構文:** ISIS.044 Level *level* adj with IS *sysid* gone from two-way to one-way

**長構文:** ISIS.044 Level *level* adj with IS *sysid* has gone from being two-way to one-way.

**説明:** IS 隣接が両方向から単一方向に移行しました。ルーターは、指定ルーター選択処理を再実行し、それが指定ルーターである場合は、疑似ノード LSU を再作成します。

---

#### ISIS.045

**レベル:** U\_INFO

**短構文:** ISIS.045 A new level *level* adj with IS *sysid* has been created

**長構文:** ISIS.045 A new level *level* adj with IS *sysid* has been created.

**説明:** 新しい IS 隣接が確立され、初期化状態に置かれました。

---

#### ISIS.046

**レベル:** U\_INFO

**短構文:** ISIS.046 This router has been elected as the level *level* DR on circuit *cct*

**長構文:** ISIS.046 This router has been elected as the level *level* DR on circuit *cct*

**説明:** このルーターは、指定された回線で指定ルーターとして選ばれました。

---

#### ISIS.047

**レベル:** U\_INFO

**短構文:** ISIS.047 This router has resigned as the level *level* DR on circuit *cct*

**長構文:** ISIS.047 This router has resigned as the level *level* DR on circuit *cct*

**説明:** このルーターは、指定された回線上で指定ルーターではなくなりました。

---

#### ISIS.048

**レベル:** U\_INFO

**短構文:** ISIS.048 System *lanid* has been elected as the level *level* DR on circuit *cct*

**長構文:** ISIS.048 System *lanid* has been elected as the level *level* DR on circuit *cct*.

**説明:** 指定されたシステムが、指定された回線上で指定ルーターとして選ばれました。

---

#### ISIS.050

**レベル:** UE\_ERROR

**短構文:** ISIS.050 L1 IS-IS Hello dropped - circuit *cct\_id* is L2 only

**長構文:** ISIS.050 Level 1 IS-IS Hello dropped, circuit *cct\_id* is level 2 only

**説明:** その回線はレベル 2 専用として構成されているために、レベル 1 の ISIS ハロー・パケットが除去されました。

---

#### ISIS.051

**レベル:** UE\_ERROR

**短構文:** ISIS.051 LSP dropped - received from non-adjacent system

**長構文:** ISIS.051 LSP dropped, received from non-adjacent system

**説明:** リンク状態パケットが除去されました。"アップ"状態の隣接が現在存在していないシステムから受信されたためか、隣接は存在しているにもかかわらず、レベルが間違っているためか、いずれかです。

---

#### ISIS.052

**レベル:** UE\_ERROR

**短構文:** ISIS.052 SNP dropped - received from non-adjacent system

**長構文:** ISIS.052 SNP dropped, received from non-adjacent system

**説明:** シーケンス番号パケットが除去されました。"アップ"状態の隣接が現在存在していないシステムから受信されたためか、隣接は存在していても、レベルが間違っているためか、いずれかです。

---

#### ISIS.053

**レベル:** UE\_ERROR

**短構文:** ISIS.053 LSP buffer size (*lspbfsz*) > datalink block size (*datalinkblksz*) on int *interface* net *nettype/* *netinstance*

**長構文:** ISIS.053 LSP buffer size (*lspbfsz*) is greater than the datalink block size (*datalinkblksz*) on cir *interface* net *nettype/* *netinstance*

**説明:** 回線のデータ・リンク・ブロック・サイズが、ISIS LSP の送信を受け入れるには不十分な大きさです。

---

#### ISIS.054

**レベル:** C\_INFO

**短構文:** ISIS.054 Level *level* PSNP rcvd on ifc *network* dropped - not DR

**長構文:** ISIS.054 Level *level* Partial Sequence Number PDU received on interface *network* was dropped because this IS is not the designated router.

**説明:** 部分シーケンス番号 PDU が、この中間システムが指定ルーターではないために除去されました。指定ルーターだけが、部分シーケンス番号 PDU を処理します。

---

#### ISIS.055

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** ISIS.055 ISIS input que ovflw

**長構文:** ISIS.055 ISIS input queue overflow

**説明:** ISO ISIS 入力パケット待ち行列がオーバーフローしました。パケットは除去されます。

---

#### ISIS.057

**レベル:** UE\_ERROR

**短構文:** ISIS.057 Dropped LAN ISIS Hello pkt rcvd on a PTPT link (*n\_int*)

**長構文:** ISIS.057 Dropped LAN ISIS Hello packet received on point-point link (*n\_int*)

**説明:** ポイント・ポイント・リンク上で受信された LAN ISIS ハロー・パケットを、ルーターは処理することができないので、転送機能がこのパケットを除去しました。

---

#### ISIS.058

**レベル:** UE\_ERROR

**短構文:** ISIS.058 Dropped PTPT ISIS Hello pkt rcvd on a LAN link (*n\_int*)

**長構文:** ISIS.058 Dropped PTPT ISIS Hello packet received on a LAN link (*n\_int*)

**説明:** LAN リンク上で受信された、ポイント・ポイント ISIS ハロー・パケットをルーターが処理できず、転送機能はこのパケットを除去しました。

---

## 第53章 インターネット制御メッセージ・プロトコル (ICMP)

この章では、インターネット制御メッセージ・プロトコル (ICMP) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### ICMP.001

レベル: UE-ERROR

短構文: ICMP.001 bd cks 0x *received\_checksum* (exp 0x *good\_checksum*) *source\_IP\_address* -> *destination\_IP\_address*

長構文: ICMP.001 bad ICMP checksum 0x *received\_checksum* received (expected 0x *good\_checksum*) in packet from *source\_IP\_address* to *destination\_IP\_address*

説明: 着信 ICMP メッセージで、正しくない ICMP チェックサムが検出されました。受信したチェックサムが表示され、チェックサムの本来あるべき値も一緒に表示されます。受信したパケットは廃棄されます。

原因: これはおそらく、発信元ホストのエラーが原因です。

処置: 発信元ホストの製造元に連絡して、問題を報告してください。

---

### ICMP.002

レベル: C-INFO

短構文: ICMP.002 ech *source\_IP\_address* -> *destination\_IP\_address*

長構文: ICMP.002 echo request packet received from *source\_IP\_address* to *destination\_IP\_address*

説明: ルーターが発信元ホストから ICMP エコー要求を受信しました。

---

### ICMP.003

レベル: U-INFO

短構文: ICMP.003 ech rp *source\_IP\_address* -> *destination\_IP\_address*

長構文: ICMP.003 echo reply packet received from *source\_IP\_address* to *destination\_IP\_address*

説明: ルーターが発信元ホストからの ICMP エコー応答を受信しました。ルーターは通常 ICMP エコー要求を送信しないので、これはいくぶん疑わしい事象です。

---

### ICMP.004

レベル: CI-ERROR

短構文: ICMP.004 unhnd typ *ICMP\_type* *ICMP\_code* *source\_IP\_address* -> *destination\_IP\_address*

長構文: ICMP.004 unhandled message type *ICMP\_type* *ICMP\_code* from *source\_IP\_address* to *destination\_IP\_address*

説明: ICMP メッセージが着信しましたが、そのタイプはルーター・ソフトウェアでは処理されません。

---

### ICMP.005

レベル: U-TRACE

短構文: ICMP.005 unhnd brd typ *ICMP\_type* *ICMP\_code* *source\_IP\_address* -> *destination\_IP\_address*

長構文: ICMP.005 unhandled broadcast message type *ICMP\_type* *ICMP\_code* from *source\_IP\_address* to *destination\_IP\_address*

説明: 同報通信 ICMP メッセージが着信しましたが、そのタイプはルーター・ソフトウェアでは処理されません。

---

### ICMP.006

レベル: UE-ERROR

短構文: ICMP.006 bd typ *ICMP\_type* *ICMP\_code* *source\_IP\_address* -> *destination\_IP\_address*

長構文: ICMP.006 bad message type *ICMP\_type* *ICMP\_code* from *source\_IP\_address* to *destination\_IP\_address*

説明: ICMP メッセージが着信しましたが、タイプが無効です。

---

### ICMP.007

レベル: C-INFO

短構文: ICMP.007 addr msk *source\_IP\_address* -> *destination\_IP\_address*

長構文: ICMP.007 address mask request received from *source\_IP\_address* to *destination\_IP\_address*

説明: ルーターは発信元ホストから ICMP アドレス・マスク要求を受信しました。

---

#### ICMP.008

レベル: C-TRACE

短構文: ICMP.008 addr msk rep *source\_IP\_address* -> *destination\_IP\_address*

長構文: ICMP.008 address mask reply received from *source\_IP\_address* to *destination\_IP\_address*

説明: ルーターは発信元ホストから ICMP アドレス・マスク応答を受信しました。

---

#### ICMP.009

レベル: UI-ERROR

短構文: ICMP.009 no pkt or mem

長構文: ICMP.009 heap memory or packet buffer not available

説明: ルーターが着信メッセージに応答するために必要な内部資源が利用不可能でした。

原因: 一時的にトラフィックが増大したか、構成された記憶域が不十分です。

処置: このメッセージが引き続き出て、ルーターの記憶域またはバッファの不足を示す他のメッセージを伴っている場合は、この構成をサポートするにはルーターの記憶域が不十分である可能性があります。ゲートウェイ・コンソールで記憶域の統計値を表示して、ヒープ記憶域および大域バッファの状態を検査してください。記憶域を増やすか、または不要な転送機能、プロトコルおよびネットワークを使用不可にして記憶域の必要量を減らすようにしてください。

---

#### ICMP.010

レベル: UE-ERROR

短構文: ICMP.010 amb addr msk *source\_IP\_address* -> *destination\_IP\_address*

長構文: ICMP.010 ambiguous address mask request received from *source\_IP\_address* to *destination\_IP\_address*

説明: インターフェースに複数の IP 発信元アドレスをもつアドレス・マスク要求が着信しましたが、そのあて先アドレスが、アドレスのうちの 1 つに特定できないために、応答を生成できませんでした。

---

#### ICMP.011

レベル: UI-ERROR

短構文: ICMP.011 err *code* sndng pkt to nt *network ID*

長構文: ICMP.011 error *code* sending packet to net *network ID*

説明: ルーターに何らかの問題があるために、出力応答パケットが廃棄されました。

原因: この問題の原因としては、出力待ち行列の過負荷やネットワークのダウンなど、さまざまなものが考えられます。

処置: 該当するネットワーク・サブシステムからのログ出力を調べて、さらに詳しい情報を入手してください。

---

#### ICMP.012

レベル: C-INFO

短構文: ICMP.012 rdr *source\_IP\_address* -> *destination\_IP\_address* to *new\_next\_hop\_IP\_address*

長構文: ICMP.012 sending redirect for packet from *source\_IP\_address* to *destination\_IP\_address* to use router *new\_next\_hop\_IP\_address*

説明: ルーターは ICMP 転送メッセージを送信して、このトラフィックにはより良い最初のホップ・ルーターがあることを、直接接続されているネットワーク上の発信元ホストに知らせています。

---

#### ICMP.013

レベル: U-INFO

短構文: ICMP.013 bd prm off *problem\_offset* *source\_IP\_address* -> *destination\_IP\_address*

長構文: ICMP.013 sending parameter problem message problem offset *problem\_offset* for packet from *source\_IP\_address* to *destination\_IP\_address*

説明: ルーターは、指定のオフセットにある問題（示されていません）のために、ICMP Parameter Problem（パラメーター問題）メッセージを送信しています。

---

#### ICMP.014

レベル: U-TRACE

短構文: ICMP.014 snd *ICMP\_type* *ICMP\_code* pkt *source\_IP\_address* -> *destination\_IP\_address*

長構文: ICMP.014 sending packet type *ICMP\_type* code *ICMP\_code* for packet from *source\_IP\_address* to *destination\_IP\_address*

**説明:** 発信元ホストからあて先へのパケットについて、ルーターは指定のタイプの ICMP パケットを送信しています。

---

#### ICMP.015

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** ICMP.015 shrtp ICMP hdr *header\_length* src *source\_ip\_address*

**長構文:** ICMP.015 short ICMP packet *header\_length* received in packet from *source\_ip\_address*

**説明:** このメッセージは、ICMP パケットの指摘されているヘッダー長が、ICMP パケットに許される最小長より短い場合に生成されます。

**原因:** おそらく、パケットが損傷しています。別のノードが、正しくないヘッダーを作成している可能性があります。

**処置:** 問題が引き続き起こる場合は、回線トレースを調べて、パケットが損傷する箇所を判別してください。

---

#### ICMP.016

**レベル:** U-TRACE

**短構文:** ICMP.016 *current\_next\_hop* rdr dest *IP\_destination* to *better\_next\_hop*

**長構文:** ICMP.016 *current\_next\_hop* has redirected traffic for *IP\_destination* to *better\_next\_hop*

**説明:** 指定のあて先のネクスト・ホップを変更する、転送パケットを受信しました。転送は、ホスト・モードで動作している場合にのみ処理されます。

---

#### ICMP.017

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** ICMP.017 Bad rdr from *gateway\_address*, rsn: *reason*

**長構文:** ICMP.017 Redirect received from *gateway\_address* was bad for the reason: *reason*

**説明:** ルーターから転送を受信しましたが、指定の理由で拒否されました。

---

#### ICMP.018

**レベル:** U-TRACE

**短構文:** ICMP.018 Router advertisement received from *router\_address*

**長構文:** ICMP.018 Router advertisement received from *router\_address*

**説明:** 指定のルーターから ICMP ルーター公示 (ゲートウェイ探索) メッセージを受信しました。

---

#### ICMP.019

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** ICMP.019 Bad router adv from *gateway\_address*, rsn: *reason*

**長構文:** ICMP.019 Router advertisement received from *gateway\_address* was bad for the reason: *reason*

**説明:** 指定のルーターから ICMP ルーター公示 (ゲートウェイ探索) メッセージを受信しましたが、指定の理由により拒否されました。

---

#### ICMP.020

**レベル:** U-INFO

**短構文:** ICMP.020 rcvdp typ *ICMP\_type* *ICMP\_code* *source\_IP\_address* -> *destination\_IP\_address*

**長構文:** ICMP.020 received message type *ICMP\_type* *ICMP\_code* from *source\_IP\_address* to *destination\_IP\_address*

**説明:** ルーターが発信元ホストから指定されたタイプの ICMP メッセージを受信しました。

---

#### ICMP.021

**レベル:** C-INFO

**短構文:** ICMP.021 Dropping ech *source\_IP\_address* -> *destination\_IP\_address*

**長構文:** ICMP.021 Dropping echo request packet received from *source\_IP\_address* to *destination\_IP\_address*

**説明:** ルーターが発信元ホストから ICMP エコー要求を受信しました。ルーターはこの要求に応答せずに廃棄するように構成されています。





---

## 第54章 インターネット制御メッセージ・プロトコル IPv6 (ICM6)

この章では、インターネット制御メッセージ・プロトコル IPv6 (ICM6) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### ICM6.001

レベル: UE-ERROR

短構文: ICM6.001 Bad checksum 0x *received\_checksum* (expected 0x *good\_checksum*) *source\_IP\_address* -> *destination\_IP\_address*

長構文: ICM6.001 Bad ICMP6 checksum 0x *received\_checksum* received (expected 0x *good\_checksum*) in packet from *source\_IP\_address* to *destination\_IP\_address*

説明: 着信 ICMP6 メッセージで、正しくない ICMP6 チェックサムが検出されました。受信したチェックサムが表示され、チェックサムの本来あるべき値も一緒に表示されます。受信したパケットは廃棄されます。

原因: これはおそらく、発信元ホストのエラーが原因です。

処置: 発信元ホストの製造元に連絡して、問題を報告してください。

---

### ICM6.002

レベル: C-INFO

短構文: ICM6.002 Echo request received *source\_IP\_address* -> *destination\_IP\_address*

長構文: ICM6.002 Echo request packet received from *source\_IP\_address* to *destination\_IP\_address*

説明: ルーターが発信元ホストから ICMP6 エコー要求を受信しました。

---

### ICM6.003

レベル: C-INFO

短構文: ICM6.003 Echo reply received *source\_IP\_address* -> *destination\_IP\_address*

長構文: ICM6.003 Echo reply packet received from *source\_IP\_address* to *destination\_IP\_address*

説明: ルーターが発信元ホストから ICMP6 エコー応答を受信しました。

---

### ICM6.004

レベル: CI-ERROR

短構文: ICM6.004 Msg type not handled *ICMP6\_type ICMP6\_code source\_IP\_address* -> *destination\_IP\_address*

長構文: ICM6.004 Message type not handled *ICMP6\_type ICMP6\_code* from *source\_IP\_address* to *destination\_IP\_address*

説明: ICMP6 メッセージが着信しましたが、そのタイプはルーター・ソフトウェアでは処理されません。

---

### ICM6.005

レベル: U-TRACE

短構文: ICM6.005 Multicast type not handled *ICMP6\_type ICMP6\_code source\_IP\_address* -> *destination\_IP\_address*

長構文: ICM6.005 Multicast message type not handled *ICMP6\_type ICMP6\_code* from *source\_IP\_address* to *destination\_IP\_address*

説明: マルチキャスト ICMP6 メッセージが着信しましたが、そのタイプはルーター・ソフトウェアでは処理されません。

---

### ICM6.006

レベル: UE-ERROR

短構文: ICM6.006 Bad type *ICMP6\_type ICMP6\_code source\_IP\_address* -> *destination\_IP\_address*

長構文: ICM6.006 Bad message type *ICMP6\_type ICMP6\_code* from *source\_IP\_address* to *destination\_IP\_address*

説明: ICMP6 メッセージが着信しましたが、そのタイプは無効です。

---

### ICM6.007

レベル: U-INFO

短構文: ICM6.007 Received msg type *ICMP6\_type ICMP6\_code source\_IP\_address* -> *destination\_IP\_address*

長構文: ICM6.007 Received message type *ICMP6\_type*

*ICMP6\_code* from *source\_IP\_address* to *destination\_IP\_address*

**説明:** ルーターが発信元ホストから指定のタイプの ICMP6 メッセージを受信しました。

---

#### ICM6.008

**レベル:** C-INFO

**短構文:** ICM6.008 Dropping echo *source\_IP\_address* -> *destination\_IP\_address*

**長構文:** ICM6.008 Dropping echo request packet received from *source\_IP\_address* to *destination\_IP\_address*

**説明:** ルーターが発信元ホストから ICMP6 エコー要求を受信しました。ルーターはこの要求に応答せずに廃棄するように構成されています。

---

#### ICM6.009

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** ICM6.009 No mem available

**長構文:** ICM6.009 Heap memory or packet buffer not available

**説明:** ルーターが着信メッセージに回答するために必要な内部資源が利用不可能でした。

**原因:** 一時的にトラフィックが増大したか、構成された記憶域が不十分です。

**処置:** このメッセージが引き続き出て、ルーターの記憶域またはバッファの不足を示す他のメッセージを伴っている場合は、この構成をサポートするにはルーターの記憶域が不十分である可能性があります。ゲートウェイ・コンソールで記憶域の統計値を表示して、ヒープ記憶域および大域バッファの状態を検査してください。記憶域を増やすか、または不要な転送機能、プロトコルおよびネットワークを使用不可にして記憶域の必要量を減らすようにしてください。

---

#### ICM6.010

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** ICM6.010 ICMP packet ( *sourceaddress*) send *destaddress* -> *network ID* with rc *reasoncode*

**長構文:** ICM6.010 Sending an ICMP packet ( *sourceaddress*) via direct n\_send from *destaddress* to *network ID* failed for reason *reasoncode*

**説明:** あて先アドレスがリンク・ローカル・アドレスである ICMP パケットの送信が、ルーター内の何らかの問題が原因で失敗しました。理由コード (*reason\_code*) に原因が示されています。

**原因:** 各種のハンドラー・エラー (理由コード 1)

**処置:** ハンドラーからのエラー・メッセージを検査して、*network\_name* を調べてください。

**原因:** 出力待ち行列オーバーフローまたはその他のフロー制御 (理由コード 2)

**処置:** 輻輳 (ふくそう) を緩和してください。

**原因:** ネットワークがダウン (理由コード 3)

**処置:** ネットワークがダウンしているとハンドラーが判断した理由を調べてください。

**原因:** ループまたはよくない同報通信を回避するためにハンドラーによって廃棄された (理由コード 4)。

**処置:** 構成を検査してください。

**原因:** ホストがダウン (理由コード 5)

**処置:** ホストがダウンしているとハンドラーが判断した理由を調べてください。

---

#### ICM6.011

**レベル:** U-TRACE

**短構文:** ICM6.011 Received packet too big for *destination\_address*, *pmtu mtu*

**長構文:** ICM6.011 Packet Too Big ICMP message received for *destination\_address*, path MTU is *mtu*

**説明:** このルーターが発信したパケットに対して、パケットが大き過ぎるというメッセージを受信しました。このあて先アドレスのパス MTU ディスカバリーが開始されます。

---

#### ICM6.012

**レベル:** U-INFO

**短構文:** ICM6.012 Sending Pkt Too Big, next hop *mtu next\_hop\_mtu source\_IP\_address* -> *destination\_IP\_address*

**長構文:** ICM6.012 Sending Packet Too Big message, *next\_hop\_mtu next\_hop\_mtu* for packet from *source\_IP\_address* to *destination\_IP\_address*

**説明:** ネクスト・ホップ MTU がパケット・サイズより小さいので、ルーターは ICMP6 Packet Too Big (パケットが大き過ぎる) メッセージを送信しています。

---

#### ICM6.013

**レベル:** U-INFO

**短構文:** ICM6.013 Sending bad parm msg, offset *problem\_offset source\_IP\_address* -> *destination\_IP\_address*

**長構文:** ICM6.013 Sending parameter problem message - offset *problem\_offset* for packet from *source\_IP\_address* to *destination\_IP\_address*

**説明:** ルーターは、指定のオフセットにある問題（示されていません）のために、ICMP6 Parameter Problem（パラメーター問題）メッセージを送信しています。

---

#### ICM6.014

**レベル:** U-TRACE

**短構文:** ICM6.014 Sending *ICMP6\_pkt\_type ICMP6\_type ICMP6\_code* pkt *source\_IP\_address -> destination\_IP\_address*

**長構文:** ICM6.014 Sending ( *ICMP6\_pkt\_type*) packet type *ICMP6\_type* code *ICMP6\_code* for packet from *source\_IP\_address* to *destination\_IP\_address*

**説明:** 発信元ホストからあて先へのパケットについて、ルーターは指定のタイプの ICMP6 パケットを送信しています。

---

#### ICM6.015

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** ICM6.015 Short ICMP6 hdr *header\_length* src *source\_ip\_address*

**長構文:** ICM6.015 Short ICMP6 header *header\_length* received in packet from *source\_ip\_address*

**説明:** このメッセージは、ICMP6 パケットの指摘されているヘッダー長が、ICMP6 パケットの可能な最小長より短い場合に生成されます。

**原因:** おそらく、パケットが損傷しています。別のノードが、正しくないヘッダーを作成している可能性があります。

**処置:** 問題が引き続き起こる場合は、回線トレースを調べて、パケットが損傷する箇所を判別してください。

---

#### ICM6.016

**レベル:** U-TRACE

**短構文:** ICM6.016 Path *destination\_address* aged, pmtu *mtu*

**長構文:** ICM6.016 Path *destination\_address* aged out of table, path MTU *mtu*

**説明:** 指定のあて先アドレスのパス MTU 経時タイマーが満了しました。パス MTU は出力ネット MTU にリセットされ、そのあて先アドレスへの次のパケットでパス MTU ディスカバリーが開始されます。

---

#### ICM6.017

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** ICM6.017 Rcvd pkt too big from *destination\_address* pmtu *mtu*, pmtu disc disabled

**長構文:** ICM6.017 Received packet too big message from *destination\_address* pmtu *mtu*, path MTU discovery is disabled

**説明:** パス MTU ディスカバリーは使用不可にされているのに、Packet Too Big（パケットが大き過ぎる）ICMP メッセージを受信しました。パス MTU ディスカバリーが使用不可にされたのが最近であれば、これは問題ではありません。しかし、パス MTU ディスカバリーがしばらく前から使用不可にされていた場合は、この ICMP メッセージは受け取らないはずで、パス MTU ディスカバリーが使用不可にされている場合、生成される最大サイズのパケットは 1280 バイトになるからです。すべての IPV6 ルーターは、このパケット・サイズをサポートできなければなりません。

---

#### ICM6.018

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** ICM6.018 No mem for pmtu disc for *destination\_address*

**長構文:** ICM6.018 There is no memory available to perform Path MTU Discovery for *destination\_address*

**説明:** ルーターは、指定のアドレスへのパケットのパス MTU ディスカバリーに必要な制御ブロックを割り振るための十分な記憶域がありません。



---

## 第55章 インターネット・パケット交換 (IPX)

この章では、インターネット・パケット交換 (IPX) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### IPX.002

レベル: UI-ERROR

短構文: IPX.002 q ovf *source\_net/ source\_node* -> *dest\_net/ dest\_node*, cir *IPX\_circuit* nt *network ID*

長構文: IPX.002 Queue overflow, *source\_net/ source\_node* -> *dest\_net/ dest\_node*, circ *IPX\_circuit* net *network ID*

説明: IPX 転送機能の入力待ち行列がオーバーフローしました。

原因: 転送機能の伝送能力を超える数のパケットを受信しています。

---

### IPX.003

レベル: UE-ERROR

短構文: IPX.003 bad hst chksum frm *source\_net/ source\_node*

長構文: IPX.003 Bad host checksum from *source\_net/ source\_node*

説明: このメッセージは、このホストに到着したパケットが無効なチェックサムをもっている場合に生成されます。

---

### IPX.004

レベル: U-INFO

短構文: IPX.004 err pkt *error\_type* frm *source\_net/ source\_node*

長構文: IPX.004 Error packet, errno *error\_type*, received from *source\_net/ source\_node*

説明: このメッセージは、エラー・パケットを受信した場合に生成されます。

---

### IPX.005

レベル: U-TRACE

短構文: IPX.005 no hndlr for skt *destination\_socket* typ *packet\_type* frm *source\_net/ source\_node*

長構文: IPX.005 No handler for socket

*destination\_socket* type *packet\_type* from *source\_net/ source\_node*

説明: 不明またはサポートされないソケットまたはタイプをもつパケットが到着しました。パケットは同報通信パケットでした。

---

### IPX.006

レベル: UE-ERROR

短構文: IPX.006 no hndlr for skt *destination\_socket* typ *packet\_type* frm *source\_net/ source\_node*

長構文: IPX.006 No handler for socket *destination\_socket* type *packet\_type* from *source\_net/ source\_node*

説明: 不明またはサポートされないソケットまたはタイプをもつパケットが到着しました。パケットは、ルーターに送信されました。

---

### IPX.007

レベル: UI-ERROR

短構文: IPX.007 no hst addr set for cir *IPX\_circuit* nt *network ID*, not enabled

長構文: IPX.007 no host address set for circ *IPX\_circuit* net *network ID*, not enabled

説明: 転送機能は指定の IPX 回線を起動していましたが、ホスト・アドレスが設定されていなかったため、IPX 回線を使用可能にすることができませんでした。

原因: IPX 回線が、ホスト・アドレスを設定せずに使用可能にされています。

処置: IPX ホスト・アドレスを設定してください。

---

### IPX.008

レベル: UE-ERROR

短構文: IPX.008 SAP bad typ *packet\_type* frm *source\_net/ source\_node*

長構文: IPX.008 SAP bad type *packet\_type* from *source\_net/ source\_node*

説明: このメッセージは、無効な SAP タイプをもつパケットを受信した場合に生成されます。



---

**IPX.009**

レベル: C-TRACE

短構文: IPX.009 SAP gen rply frm *source\_net/*  
*source\_node*

長構文: IPX.009 SAP general reply from *source\_net/*  
*source\_node*

説明: SAP は、指定のホストから一般応答パケットを受信しました。パケット内のデータは、SAP データベースの更新に使用されます。

---

**IPX.010**

レベル: UI-ERROR

短構文: IPX.010 SAP tbl ovrfll, dsc type *service\_type*  
nm [ *service\_name*]

長構文: IPX.010 SAP table overflow, discarded type  
*service\_type* name [ *service\_name*]

説明: SAP テーブルがいっぱいなので、新しいエントリーをテーブルに追加することができません。新しいエントリーは廃棄されます。

原因: SAP テーブルが、IPX インターネット上のサービスの数より小さくなっています。

処置: SAP テーブルのサイズを大きくしてください。

---

**IPX.011**

レベル: UE-ERROR

短構文: IPX.011 SAP srvc typ *service\_type* nm [ *service\_name*]  
mvd to *new\_net/ new\_node*

長構文: IPX.011 SAP service type *service\_type* name [ *service\_name*]  
moved to *new\_net/ new\_node*

説明: 現在 SAP データベース内に存在するのとは異なるネットワーク/アドレスの組み合わせをもつ一般応答を受信しました。

原因: サービスに重複する名前が割り当てられています。

処置: 重複する名前を除去してください。

原因: サービスが物理的に SAP タイムアウトより高速で移動しています。

処置: サービスの移動速度を下げてください。

---

**IPX.012**

レベル: U-INFO

短構文: IPX.012 SAP del typ *service\_type* nm [ *service\_name*]

**416** ELS メッセージの手引き

長構文: IPX.012 SAP deleted type *service\_type* name [ *service\_name*]

説明: SAP テーブル・エントリーが、非活動状態になったことが宣言されました。これから 60 秒間、到達不可能であるとして公示された後、SAP テーブルから除去されます。

原因: このサービスのタイプ/名前のペアに関するデータが入っている SAP 一般応答が、240 秒間、まったく受信されていません。

処置: サービスを操作可能にする必要がない場合は、処置をとる必要はありません。

---

**IPX.013**

レベル: UE-ERROR

短構文: IPX.013 SAP bd nearest qry frm *source\_net/*  
*source\_node* ln *length*

長構文: IPX.013 SAP bad length Nearest Service Query  
from *source\_net/ source\_node*, len *length*

説明: 無効な長さをもつ SAP 最近隣サービス照会を受信しました。

原因: リモート・ノードでのプログラム・エラー

---

**IPX.014**

レベル: C-TRACE

短構文: IPX.014 SAP nearest qry frm *source\_net/*  
*source\_node*

長構文: IPX.014 SAP nearest query from *source\_net/*  
*source\_node*

説明: 指定のノードから SAP 最近隣サービス照会を受信しました。状況に応じて応答されます。

---

**IPX.015**

レベル: C-TRACE

短構文: IPX.015 SAP gen qry frm *source\_net/*  
*source\_node*

長構文: IPX.015 SAP general query from *source\_net/*  
*source\_node*

説明: 指定のノードから SAP 一般サービス照会を受信しました。状況に応じて応答されます。

---

**IPX.016**

レベル: U-TRACE

短構文: IPX.016 SAP qry sent, cir *IPX\_circuit* nt  
*network ID*

**長構文:** IPX.016 SAP General Service Query sent, circ *IPX\_circuit* net *network ID*

**説明:** 指定の IPX 回線で SAP 一般サービス照会が送信されました。アップになると、IPX 回線上で送信されます。

---

#### IPX.017

**レベル:** UI-ERROR

**レベル:** OOM

**短構文:** IPX.017 No mem fr SAP bcst, cir *IPX\_circuit* nt *network ID*, *count* pkts snt

**長構文:** IPX.017 No memory for SAP General Service Query or Reply, circ *IPX\_circuit* net *network ID*, *count* packets sent

**説明:** このメッセージは、SAP 一般サービス照会または応答パケットを送信するために利用可能なバッファがない場合に生成されます。一般サービス応答は複数のパケットを必要とする場合があるので、メッセージは、バッファが使いきれる前に送信されたパケット数を示しています。

---

#### IPX.018

**レベル:** C-TRACE

**短構文:** IPX.018 SAP gen rply sent, cir *IPX\_circuit* nt *network ID*, *count* pkts

**長構文:** IPX.018 SAP General Service Reply sent, circ *IPX\_circuit* net *network ID*, *count* packets

**説明:** 指定の IPX 回線で SAP 一般サービス応答が送信されたところです。全 SAP データベースを送信するために、指定されているパケット数を使用しました。

---

#### IPX.019

**レベル:** P-TRACE

**短構文:** IPX.019 NB brd *source\_net/ source\_node* -> *dest\_net/ dest\_node*, cir *IPX\_circuit* nt *network ID*, *hop\_count* hops

**長構文:** IPX.019 NETBIOS broadcast *source\_net/ source\_node* -> *dest\_net/ dest\_node*, circ *IPX\_circuit* net *network ID*, *hop\_count* hops

**説明:** 他の IPX 回線に転送するために、NETBIOS エミュレーション・マルチネットワーク同報通信パケットを受信しました。IPX ホップ・カウントに、経由したルーターの数が示されています。

---

#### IPX.020

**レベル:** U-TRACE

**短構文:** IPX.020 NB too many hops frm *source\_net/ source\_node*, cir *IPX\_circuit* nt *network ID*, ign

**長構文:** IPX.020 NETBIOS too many hops from *source\_net/ source\_node* circ *IPX\_circuit* net *network ID*, ignored

**説明:** NETBIOS エミュレーション同報通信パケットが経由したルーターが 8 つを超えています。パケットは除去されます。

**原因:** 同報通信パケットの発信元からの複数経路による通常のループ

**処置:** なし。これは、使用プロトコルの正常な結果です。

**原因:** IPX NETBIOS トラフィックが発信元とあて先の間で経路を試みているホップ (ネットワーク) が、8 つを超えています。

**処置:** ネットワークを再構成してください。

---

#### IPX.021

**レベル:** C-TRACE

**短構文:** IPX.021 NB frm *source\_net/ source\_node*, cir *IPX\_circuit* nt *network ID*, already on *connected\_network*, ign

**長構文:** IPX.021 NETBIOS from *source\_net/ source\_node* circ *IPX\_circuit* net *network ID*, already on *connected\_network*, ignored

**説明:** この IPX NETBIOS エミュレーション同報通信パケットは、直接接続された IPX 回線の 1 つにすでにあったものです。転送すると重複を生じるので、転送されることはありません。

**原因:** プロトコルの使用による正常な副次作用です。

---

#### IPX.022

**レベル:** UI-ERROR

**レベル:** OOM

**短構文:** IPX.022 NB frm *source\_net/ source\_node*, no mem to cpy

**長構文:** IPX.022 NETBIOS from *source\_net/ source\_node*, no memory to copy

**説明:** 使用可能な記憶域がなくて、この NETBIOS エミュレーション・パケットの作業用コピーを作って、それを複数の IPX 回線の外に送信することができません。

---

### IPX.023

レベル: CI-ERROR

短構文: IPX.023 NB frm *source\_net/ source\_node*, non-brd cir *IPX\_circuit* nt *network ID* unsupp

長構文: IPX.023 NETBIOS from *source\_net/ source\_node*, non-broadcast circ *IPX\_circuit* net *network ID* unsupported

説明: 同報通信をサポートしない IPX 回線上で、NETBIOS エミュレーション・パケットの送信を試みています。パケットは、そのネットワークでは送信されません。

---

### IPX.024

レベル: UI-ERROR

短構文: IPX.024 NB frm *source\_net/ source\_node*, un-numbrd cir *IPX\_circuit* nt *network ID* unsupp

長構文: IPX.024 NETBIOS from *source\_net/ source\_node*, un-numbered circ *IPX\_circuit* net *network ID* unsupported

説明: ネットワーク番号のない IPX 回線上で、NETBIOS エミュレーション・パケットの送信を試みています。パケットは、その IPX 回線では送信されません。

原因: ネットワーク番号なしでシリアル・ライン・ネットワークを動作。

処置: シリアル・ライン・ネットワークを通して NETBIOS エミュレーションを実行したい場合は、ネットワーク番号が必要です。

---

### IPX.025

レベル: UI-ERROR

レベル: OOM

短構文: IPX.025 NB frm *source\_net/ source\_node*, no buf to cpy

長構文: IPX.025 NETBIOS from *source\_net/ source\_node*, no buffer to copy

説明: 使用可能なパケット・バッファがなくて、この NETBIOS エミュレーション同報通信をコピーして、IPX 回線上で送信することができません。

---

### IPX.026

レベル: UI-ERROR

短構文: IPX.026 NB snd dsc, cir *IPX\_circuit* nt *network ID*, rsn *reason\_code*

長構文: IPX.026 NETBIOS send discarded, circ *IPX\_circuit* net *network ID*, reason *reason\_code*

説明: エラー・コードによって示されている理由により、出力 NETBIOS エミュレーション同報通信パケットを正常に送信できませんでした。

原因: 各種のハンドラー・エラー (理由コード 1)

処置: ハンドラーからのエラー・メッセージを検査して、ネットワーク ID を調べてください。

原因: 出力待ち行列オーバーフローまたはその他のフロー制御 (理由コード 2)

処置: 輻輳 (ふくそう) を緩和してください。

原因: ネットワークがダウン (理由コード 3)

処置: ネットワークがダウンしているとハンドラーが判断した理由を調べてください。

原因: ループまたはよくない同報通信を回避するために、ハンドラーによって除去された (理由コード 4)。

処置: 構成を検査してください。

原因: ホストがダウン (理由コード 5)

処置: ホストがダウンしているとハンドラーが判断した理由を調べてください。

---

### IPX.027

レベル: UE-ERROR

短構文: IPX.027 bad RIP typ *RIP\_opcode* frm *source\_net/ source\_node*

長構文: IPX.027 Bad RIP type *RIP\_opcode* from *source\_net/ source\_node*

説明: RIP パケットを受信しましたが、要求でも応答でもありませんでした。

原因: リモート・ノードでのプログラム・エラー

---

### IPX.028

レベル: C-TRACE

短構文: IPX.028 RIP resp frm *source\_net/ source\_node*

長構文: IPX.028 RIP response from *source\_net/ source\_node*

説明: このメッセージは、RIP 応答パケットを受信した場合に生成されます。パケットが解析され、データがルーティング・テーブルに組み込まれます。

---

**IPX.029**

レベル: UE-ERROR

短構文: IPX.029 bad net *network* in RIP frm *source\_net/ source\_node*

長構文: IPX.029 Bad network *network* in RIP from *source\_net/ source\_node*

説明: RIP 応答を受信しましたが、ネットワーク番号が 00000000 または FFFFFFFF のエントリーが含まれています。そのエントリーは無視されます。

原因: リモート・ノードでのプログラム・エラー

---

**IPX.030**

レベル: UI-ERROR

短構文: IPX.030 net route table ovrfl, dscrld *network*

長構文: IPX.030 Network routing table overflow, discarding *network*

説明: このメッセージは、ルーティング・テーブルがいっぱいのために、新しいネットワークをルーティング・テーブルに追加できない場合に生成されます。エントリーは廃棄されます。

原因: ルーティング・テーブルが小さ過ぎます。

処置: IPX プロトコルを再構成して、ルーティング・テーブルを大きくしてください。

---

**IPX.031**

レベル: C-INFO

短構文: IPX.031 *type* route to *network* now via *router\_net/ router\_node, hop\_count* hops

長構文: IPX.031 *type* route to *network network* now via *router\_net/ router\_node, hop\_count* hops

説明: このメッセージは、ネットワークへの経路が変更された場合に生成されます。指定の *router\_net/router\_node* は、現在のこのネットワークへの最良の経路であり、示されている数のホップがあります。新規経路のタイプも報告されます (RIP または STATIC)。

原因: 新規に到達可能になったネットワーク (このメッセージの前にメッセージ IPX.055 が出ている場合)

原因: ネットワーク・トポロジーの変更によって、ネットワークへの最良の経路が変更されました。これは、ネットワークがアップ状態になったり、ダウンしたりした場合に起こります。

処置: ネットワーク・トポロジーにどのような変更が起こったのかを調べてください。

---

---

**IPX.032**

レベル: U-INFO

短構文: IPX.032 RIP route to *network* aged away

長構文: IPX.032 RIP route to *network* aged away

説明: このメッセージが生成されるのは、ルーティング更新が 240 秒間受信されなかったため、ネットワークが到達不可能と宣言された場合です。さらに 60 秒間、到達不可能として公示された後、ルーティング・テーブルから削除されます。

原因: このネットワークを公示していた公示ルーターが破損しました。

---

**IPX.033**

レベル: C-TRACE

短構文: IPX.033 Rspnd to RIP rqst frm *source\_net/ source\_node*

長構文: IPX.033 Responding to RIP Request from *source\_net/ source\_node*

説明: このメッセージは、応答のために RIP 要求パケットが解析されている場合に生成されます。

---

**IPX.034**

レベル: UE-ERROR

短構文: IPX.034 RIP rqst frm *source\_net/ source\_node* shrt, ln *packet\_length*

長構文: IPX.034 RIP Request from *source\_net/ source\_node* too short, len *packet\_length*

説明: RIP 要求パケットを受信しましたが、短過ぎて 1つの RIP エントリーが入りません。パケットは廃棄されます。

原因: リモート・ノードでのプログラム・エラー

---

**IPX.035**

レベル: U-TRACE

短構文: IPX.035 RIP qry sent, cir *IPX\_circuit* nt *network ID*

長構文: IPX.035 RIP Query sent, circ *IPX\_circuit* net *network ID*

説明: 指定の IPX 回線で RIP 照会が送信されました。照会は、アップになった各 IPX 回線上で送信されます。

---

---

**IPX.036**

レベル: UI-ERROR

レベル: OOM

短構文: IPX.036 No mem for RIP pkt, cir *IPX\_circuit* nt *network ID*, *packet\_count* pkts snt

長構文: IPX.036 No memory for RIP packet, circ *IPX\_circuit* net *network ID*, *packet\_count* packets sent

説明: このメッセージは、RIP 照会または応答パケットを送信するために利用可能なバッファがない場合に生成されます。

---

**IPX.037**

レベル: C-TRACE

短構文: IPX.037 RIP resp sent, cir *IPX\_circuit* nt *network ID*, *packet\_count* pkts

長構文: IPX.037 RIP Response sent circ *IPX\_circuit* net *network ID*, *packet\_count* packets

説明: このメッセージは、RIP 応答が送信されると生成されます。応答は、指定の数のパケットに入れて送信されました。

---

**IPX.038**

レベル: U-TRACE

短構文: IPX.038 *source\_net/ source\_node -> dest\_net/ dest\_node* ign

長構文: IPX.038 Packet from *source\_net/ source\_node* for *dest\_net/ dest\_node* ignored

説明: このメッセージは、IPX パケットがネットワークに到着したが、そのネットワーク上の IPX 転送機能がアクティブになっていない場合に生成されます。

---

**IPX.039**

レベル: C-TRACE

短構文: IPX.039 RIP delta resp sent, cir *IPX\_circuit* nt *network ID*, *packet\_count* pkts

長構文: IPX.039 RIP delta Response sent circ *IPX\_circuit* net *network ID*, *packet\_count* packets

説明: このメッセージは、RIP デルタ応答が送信されると生成されます。この応答には、最後の更新期間中にデータが変更されたネットワークだけが入れられます。応答は、指定の数のパケットに入れて送信されました。

---

**IPX.040**

レベル: UI-ERROR

短構文: IPX.040 RIP resp snd dsc, cir *IPX\_circuit* nt *network ID*, *rsn reason\_code*

長構文: IPX.040 RIP Response send discarded, circ *IPX\_circuit* net *network ID*, *reason reason\_code*

説明: エラー・コードで示されている理由により、出力 RIP 応答パケットを正常に送信できませんでした。

原因: 各種のハンドラー・エラー (理由コード 1)

処置: ハンドラーからのエラー・メッセージを検査して、ネットワーク ID を調べてください。

原因: 出力待ち行列オーバーフローまたはその他のフロー制御 (理由コード 2)

処置: 輻輳 (ふくそう) を緩和してください。

原因: ネットワークがダウン (理由コード 3)

処置: ネットワークがダウンしているとハンドラーが判断した理由を調べてください。

原因: ループまたはよくない同報通信を回避するために、ハンドラーによって除去された (理由コード 4)。

処置: 構成を検査してください。

原因: ホストがダウン (理由コード 5)

処置: ホストがダウンしているとハンドラーが判断した理由を調べてください。

---

**IPX.041**

レベル: UI-ERROR

短構文: IPX.041 RIP query snd dsc, cir *IPX\_circuit* nt *network ID*, *rsn reason\_code*

長構文: IPX.041 RIP Query send discarded, circ *IPX\_circuit* net *network ID*, *reason reason\_code*

説明: エラー・コードによって示されている理由により、出力 RIP 照会パケットを正常に送信できませんでした。

原因: 各種のハンドラー・エラー (理由コード 1)

処置: ハンドラーからのエラー・メッセージを検査して、ネットワーク ID を調べてください。

原因: 出力待ち行列オーバーフローまたはその他のフロー制御 (理由コード 2)

処置: 輻輳 (ふくそう) を緩和してください。

原因: ネットワークがダウン (理由コード 3)

処置: ネットワークがダウンしているとハンドラーが判断した理由を調べてください。



**原因:** ループまたはよくない同報通信を回避するために、ハンドラーによって除去された (理由コード 4)。

**処置:** 構成を検査してください。

**原因:** ホストがダウン (理由コード 5)

**処置:** ホストがダウンしているとハンドラーが判断した理由を調べてください。

---

#### IPX.042

**レベル:** C-TRACE

**短構文:** IPX.042 SAP GNS reply typ *service\_type* nm [ *service\_name*] to *source\_net/ source\_node*, cir *IPX\_circuit* nt *network ID*

**長構文:** IPX.042 SAP giving Nearest Server Reply of type *service\_type* name [ *service\_name*] to *source\_net/ source\_node*, circ *IPX\_circuit* net *network ID*

**説明:** SAP 最近隣サービス応答が、指定のノードに送信されます。 *service\_type* がサービスのタイプであり、 *service\_name* がサービスの名前です。

**原因:** ノードが最近隣サーバー要求を送信し、そのタイプの最近隣サーバーが、このルーターを通して到達可能です。

---

#### IPX.043

**レベル:** C-TRACE

**短構文:** IPX.043 SAP nearest qry for typ *service\_type* frm *source\_net/ source\_node*, cir *IPX\_circuit* nt *network ID*

**長構文:** IPX.043 SAP Nearest Query for service type *service\_type* from *source\_net/ source\_node*, circ *IPX\_circuit* net *network ID*

**説明:** 指定の IPX 回線を介して、指定のノードから SAP 最近隣サービス照会を受信しました。このルーターが、指定された *service\_type* の最近隣サーバーへの最良の経路である場合は、このルーターは応答します。

**原因:** 新規の IPX ノードが接続 LAN 上でブートし、最初のファイル・サーバー (*service\_type* が 4) を探しています。

**原因:** ノードが、通信サーバーやデータベース・サーバーのようなサービス・タイプによって、特定サーバーを見付けようとしています。

---

#### IPX.044

**レベル:** C-TRACE

**短構文:** IPX.044 SAP delta gen rply, cir *IPX\_circuit* nt *network ID*, count pkts

**長構文:** IPX.044 SAP delta General Service Reply sent, circ *IPX\_circuit* net *network ID*, count packets

**説明:** 指定の IPX 回線で SAP デルタ一般サービス応答が送信されたところです。この応答には、最後の更新期間中にデータが変更されたサービスのみが入れられています。SAP データベース内の変更を送信するのに、指定された数のパケットを要しました。

---

#### IPX.045

**レベル:** U-INFO

**短構文:** IPX.045 *type* new serv typ *service\_type* nm [ *service\_name*] via *via\_net/ via\_node*, *hop\_count* hops, cir *IPX\_circuit* nt *network ID*

**長構文:** IPX.045 *type* new service route to service type *service\_type* name [ *service\_name*] via *via\_net/ via\_node*, *hop\_count* hops, circ *IPX\_circuit* net *network ID*

**説明:** このメッセージは、新しいサービスが SAP テーブルに追加された場合に生成されます。指定の *via\_net/via\_node* は、このサービスへの経路であり、示されている数のホップがあります。

**原因:** IPX インターネットワークで、新しいサービスが開始されました。

**原因:** ネットワーク接続が変更されたために、既存のサービスが到達可能になりました。

---

#### IPX.046

**レベル:** U-TRACE

**短構文:** IPX.046 SAP nearest qry frm *source\_net/ source\_node* ignored, cir *IPX\_circuit* nt *network ID*

**長構文:** IPX.046 SAP Nearest Query from *source\_net/ source\_node* ignored, circ *IPX\_circuit* net *network ID*

**説明:** 指定の IPX 回線を介して、指定のノードから SAP 最近隣サービス照会を受信しましたが、このネットワークでは、これらのパケットの処理が管理上使用不可にされています。照会は無視されます。

**原因:** ユーザーが IPX Config コマンド DISABLE REPLY-TO-GET-NEAREST-SERVER を使用しました。

**処置:** この処置を希望している場合は、何も必要ありません。応答を使用可能 (デフォルト) にする場合は、IPX Config コマンドの ENABLE REPLY-TO-GET-NEAREST-SERVER を使用してください。



---

## IPX.047

レベル: UI-ERROR

短構文: IPX.047 SAP query snd dsc, cir *IPX\_circuit* nt *network ID*, rsn *reason\_code*

長構文: IPX.047 SAP Query send discarded, circ *IPX\_circuit* net *network ID*, reason *reason\_code*

説明: エラー・コードによって示されている理由により、出力 SAP 照会パケットを正常に送信できませんでした。

原因: 各種のハンドラー・エラー (理由コード 1)

処置: ハンドラーからのエラー・メッセージを検査して、ネットワーク ID を調べてください。

原因: 出力待ち行列オーバーフローまたはその他のフロー制御 (理由コード 2)

処置: 輻輳 (ふくそう) を緩和してください。

原因: ネットワークがダウン (理由コード 3)

処置: ネットワークがダウンしているとハンドラーが判断した理由を調べてください。

原因: ループまたはよくない同報通信を回避するために、ハンドラーによって除去された (理由コード 4)。

処置: 構成を検査してください。

原因: ホストがダウン (理由コード 5)

処置: ホストがダウンしているとハンドラーが判断した理由を調べてください。

原因: ループまたはよくない同報通信を回避するために、ハンドラーによって除去された (理由コード 4)。

処置: 構成を検査してください。

原因: ホストがダウン (理由コード 5)

処置: ホストがダウンしているとハンドラーが判断した理由を調べてください。

---

## IPX.049

レベル: U-TRACE

短構文: IPX.049 SAP no serv typ *service\_type* for *source\_net/ source\_node*, cir *IPX\_circuit* nt *network ID*

長構文: IPX.049 SAP no server of type *service\_type* for Query from *source\_net/ source\_node*, circ *IPX\_circuit* net *network ID*

説明: SAP 最近隣サービス照会を *source\_net/source\_node* から受信しましたが、SAP データベースには、必要な *service\_type* のサービスが何も登録されていません。応答は送信されません。

原因: 必要な *service\_type* のサービスがダウンしているか、到達不可能になっています。

処置: サービスがダウンまたは到達不可能になっている理由を調べてください。

原因: ワークステーションが、存在しない *service\_type* を探しています。

処置: ワークステーション上の照会を訂正してください。

---

## IPX.048

レベル: UI-ERROR

短構文: IPX.048 SAP resp snd dsc, cir *IPX\_circuit* nt *network ID*, rsn *reason\_code*

長構文: IPX.048 SAP Response send discarded, circ *IPX\_circuit* net *network ID*, reason *reason\_code*

説明: エラー・コードで示されている理由により、出力 SAP 応答パケットを正常に送信できませんでした。

原因: 各種のハンドラー・エラー (理由コード 1)

処置: ハンドラーからのエラー・メッセージを検査して、ネットワーク ID を調べてください。

原因: 出力待ち行列オーバーフローまたはその他のフロー制御 (理由コード 2)

処置: 輻輳 (ふくそう) を緩和してください。

原因: ネットワークがダウン (理由コード 3)

処置: ネットワークがダウンしているとハンドラーが判断した理由を調べてください。

---

## IPX.050

レベル: U-INFO

短構文: IPX.050 SAP dead serv typ *service\_type* nm [ *service\_name*] from *via\_net/ via\_node*, cir *IPX\_circuit* nt *network ID*

長構文: IPX.050 SAP dead service route to service type *service\_type* name [ *service\_name*] reported by *via\_net/ via\_node* has become unreachable, circ *IPX\_circuit* net *network ID*

説明: このメッセージは、以前に到達可能であったサービスが到達不可能になり、SAP テーブルに非活動状態としてのマークが付けられる場合に生成されます。指定の *via\_net/via\_node* は、サービスが到達不能であることを公示したサーバーまたはルーターです。

原因: :DOWN コマンドが出された場合のように、サービスが管理上使用不可にされている。

処置: なし。

**原因:** サーバーが破損した。

**処置:** サーバーが破損した理由を調べてください。

**原因:** サービスを提供するネットワークが到達不能になっている。

**処置:** IPX コンソール DUMP コマンドを使用して、ネットワークが到達可能かどうかを調べてください。

---

#### IPX.051

**レベル:** U-INFO

**短構文:** IPX.051 RIP route died to *network* from *router\_net/ router\_node*

**長構文:** IPX.051 RIP route died to network *network* from router *router\_net/ router\_node*

**説明:** このメッセージは、以前に到達可能であったサービスが到達不能になり、RIP テーブルに非活動状態としてのマークが付けられている場合に生成されます。指定の *router\_net/router\_node* は、ネットワークが到達不能であることを公示したルーターです。

**原因:** リモート・ネットワーク、または介在するネットワークがダウンした。

**処置:** リモート・ネットワークがダウンした理由を調べてください。

**原因:** ネットワークが、ダウンしたルーター上にある。

**処置:** リモート・ルーターがダウンした理由を調べてください。

**原因:** ネットワークが、管理上ダウンになったファイル・サーバーを介して接続されている。

---

#### IPX.052

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** IPX.052 RIP resp frm wrong net *source\_net/ source\_node* not *local\_net*, cir *IPX\_circuit* nt *network ID*

**長構文:** IPX.052 RIP response from wrong network *source\_net/ source\_node* not local network *local\_net*, circ *IPX\_circuit* net *network ID*

**説明:** このメッセージは、RIP 応答パケットを受信したが、その発信元ネットワーク番号がこの IPX 回線のネットワーク番号と同じでない場合に生成されます。パケットは無視されます。

**原因:** このネットワーク上のルーターの構成の誤り

**処置:** 構成を修正してください。

---

#### IPX.053

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** IPX.053 SAP resp frm wrong net *source\_net/ source\_node* not *local\_net*, cir *IPX\_circuit* nt *network ID*

**長構文:** IPX.053 SAP response from wrong network *source\_net/ source\_node* not local network *local\_net*, circ *IPX\_circuit* net *network ID*

**説明:** このメッセージは、SAP 応答パケットを受信したが、その発信元ネットワーク番号がこの IPX 回線のネットワーク番号と同じでない場合に生成されます。パケットは無視されます。

**原因:** このネットワーク上のルーターの構成の誤り

**処置:** 構成を修正してください。

---

#### IPX.054

**レベル:** C-INFO

**短構文:** IPX.054 *type* serv typ *service\_type* nm [ *service\_name*] now via *via\_net/ via\_node*, *hop\_count* hops, cir *IPX\_circuit* nt *network ID*

**長構文:** IPX.054 *type* service route to service type *service\_type* name [ *service\_name*] is now via *via\_net/ via\_node*, *hop\_count* hops, circ *IPX\_circuit* net *network ID*

**説明:** このメッセージは、SAP テーブル内のサービスへの経路が変更される場合に生成されます。指定の *via\_net/via\_node* は、このサービスへの新しい経路であり、示されている数のホップがあります。経路のタイプ (RIP または STATIC) も報告されます。

**原因:** 新たに到達可能になったサービス (メッセージ IPX.045 が先行している場合)

**原因:** ネットワーク・トポロジーの変更によって、ネットワークへの最良の経路が変更された。これは、ネットワークがアップ状態になったり、ダウンしたりした場合に起こります。

**処置:** ネットワーク・トポロジーにどのような変更が起こったのかを調べてください。

---

#### IPX.055

**レベル:** U-INFO

**短構文:** IPX.055 new *network* net *router\_net* via *router\_node/ hop\_count*, hops

**長構文:** IPX.055 New *network* network number *router\_net* via *router\_node/ hop\_count*, hops

**説明:** このメッセージは、新しいネットワークが RIP

ルーティング・テーブルに追加された場合に生成されま  
す。新しいネットワークは `router_net/router_node` によ  
って公示されます。これが現在、このネットワークへの新  
しい経路になっており、示されている数のホップがあり  
ます。

---

#### IPX.056

レベル: U-TRACE

短構文: IPX.056 RIP route to *network* garbage coll

長構文: IPX.056 RIP route to *network* garbage collected

説明: このメッセージが生成されるのは、ルーティン  
グ更新が 300 秒間受信されなかったため、ネットワ  
ークが RIP ルーティング・テーブルから除去された場  
合です。これは通常、同じサービスについての IPX.012  
メッセージが出されてから 60 秒後に出されます。

原因: このネットワークを公示していた介在ルーター  
がダウンした。

---

#### IPX.057

レベル: U-INFO

短構文: IPX.057 SAP del typ *service\_type* nm [  
*service\_name*], cir *IPX\_circuit* nt *network ID* down

長構文: IPX.057 SAP deleted type *service\_type* name [  
*service\_name*], circ *IPX\_circuit* net *network ID* down

説明: 指定の IPX 回線がダウンし、その IPX 回線  
上に最初のホップを置くこの SAP サービスは、非活動  
状態に入れます。これから 60 秒間、到達不能である  
として公示された後、SAP テーブルから除去されま  
す。ただし、同じサービスへの代替経路が存在する場  
合は、60 秒以内に通知されます。

原因: このサービスに到達するために経由しているネ  
ットワークがダウンした。

処置: ネットワークをアップ状態にしてください。

---

#### IPX.058

レベル: U-TRACE

短構文: IPX.058 SAP typ *service\_type* nm [  
*service\_name*] garbage coll

長構文: IPX.058 SAP type *service\_type* name [  
*service\_name*] garbage collected

説明: このメッセージは、この 300 秒間に SAP 応答  
が受信されなかったため、ネットワークが SAP ルーテ  
ィング・テーブルから除去された場合に生成されます。

原因: このネットワークを公示していた介在ルーター  
がダウンした。

---

#### IPX.059

レベル: CE-ERROR

短構文: IPX.059 SAP unreachable serv typ *service\_type* nm  
[ *service\_name*] at *service\_net/ service\_node* from *via\_net/*  
*via\_node*, cir *IPX\_circuit* nt *network ID*

長構文: IPX.059 SAP unreachable service type  
*service\_type* name [ *service\_name*] at *service\_net/*  
*service\_node* from *via\_net/ via\_node*, circ *IPX\_circuit* net  
*network ID*

説明: このメッセージが生成されるのは、サービスに  
関する公示を受信したが、そのサービスがある IPX ネット  
ワーク (*service\_net*) への経路が、このルーターから  
ない場合です。この公示は無視されます。

原因: ノード *service\_net/service\_node* での構成エラー

処置: 構成を訂正してください。

原因: 何らかの新規サービスに関するサービス情報  
が、関連するルーティング情報よりも速く伝達された。

処置: *service\_net* が間もなく到達可能になり、このメ  
ッセージが繰り返されなければ、何も必要ありません。

---

#### IPX.065

レベル: U-INFO

短構文: IPX.065 routing cache cleared

長構文: IPX.065 routing cache cleared

説明: おそらくルーティング・テーブルの変更が原因  
で、IPX ルーティング・キャッシュが消去されました。

---

#### IPX.066

レベル: U-INFO

短構文: IPX.066 routing cache garbage collecting...

長構文: IPX.066 routing cache garbage collecting...

説明: IPX ルーティング・キャッシュが無意味なデー  
タを収集しています。これには数回のパスを要し、これ  
が行われるのは、キャッシュがオーバーフローし始めた  
場合だけです。

---

#### IPX.068

レベル: UI-ERROR

短構文: IPX.068 no memory left for IPX local  
*network/node* cache entries

長構文: IPX.068 no memory left for IPX local  
*network/node* cache entries

説明: IPX ルーティング・ローカル・ネットワーク/ノ

ード・キャッシュは、記憶域を入手してからでないと、新しいローカル・ネットワークおよびそのテーブルを IPX キャッシュに追加することができません。

---

### IPX.070

レベル: UI-ERROR

短構文: IPX.070 *rte ovrf, dst destination\_net*

長構文: IPX.070 *route overflow, destination destination\_net*

説明: このメッセージが生成されるのは、特定の経路用の代替エントリー・スペースがすでにいっぱいのため、ルーティング・テーブルに新規の代替エントリーが記入できない場合です。

原因: あて先ネットワーク当りの最大経路数が少な過ぎます。

処置: このプロトコルのあて先ネットワーク当りの最大ルーティング・エントリー数を増やしてください。

---

### IPX.072

レベル: UI-ERROR

短構文: IPX.072 *Error building IPXWAN iw\_pkttype on cir IPX\_circuit nt network ID*

長構文: IPX.072 *Error building IPXWAN iw\_pkttype on cir IPX\_circuit net network ID*

説明: 要求から IPXWAN 応答が作成されました。要求がないのに応答を作成しようとしてしました。

---

### IPX.073

レベル: UI-ERROR

短構文: IPX.073 *Name and Node ID must be config'd before IPXWAN can operate*

長構文: IPX.073 *Router name and Node ID must be configured before IPXWAN can operate*

説明: IPX 構成パラメーターの Name および Node ID が構成されていない場合、どの IPX 回線でも IPXWAN を操作することはできません。

---

### IPX.076

レベル: UE-ERROR

短構文: IPX.076 *IPXWAN iw\_pkttype pkt dropped, rcv'd on cir IPX\_circuit nt network ID, unsupported int type*

長構文: IPX.076 *IPXWAN iw\_pkttype packet dropeed because it was received on an unsupported interface type,*

*circ IPX\_circuit net network ID*

説明: IPXWAN パケットが、サポートされないインターフェース・タイプで受信されたので、廃棄されました。

---

### IPX.077

レベル: UI-ERROR

短構文: IPX.077 *IPXWAN iw\_pkttype pkt dropped, rcv'd on disabled cir IPX\_circuit nt network ID*

長構文: IPX.077 *IPXWAN iw\_pkttype packet dropped - it was received on cir IPX\_circuit net network ID which is disabled for IPXWAN traffic*

説明: IPXWAN が使用不可に構成されている IPX 回線上で IPXWAN パケットが受信されたので、廃棄されました。

---

### IPX.078

レベル: UE-ERROR

短構文: IPX.078 *IPXWAN iw\_pkttype pkt rejected on cir IPX\_circuit nt network ID, confid id chk failed*

長構文: IPX.078 *IPXWAN iw\_pkttype packet received on cir IPX\_circuit net network ID was rejected due to the confidence ID check failing*

説明: 信頼 ID 検査が失敗したので、IPXWAN パケットが拒否されました。

---

### IPX.079

レベル: UI-ERROR

短構文: IPX.079 *IPXWAN iw\_pkttype pkt rejected on cir IPX\_circuit nt network ID, non-unique node id*

長構文: IPX.079 *IPXWAN iw\_pkttype packet received on cir IPX\_circuit net network ID was rejected because its node id is identical to the local node id*

説明: IPXWAN パケットがリジェクトされました。その中で報告されているノード ID がローカル・ノード ID と同一であったためです。

処置: 固有の値を用いて、ローカル IPX ノード ID を再構成してください。

---

### IPX.080

レベル: UI-ERROR

短構文: IPX.080 *No memory to build IPXWAN packet*

長構文: IPX.080 *Not able to get a buffer to build an IPXWAN packet*

説明: IPXWAN パケットを作成するためのバッファーを入手する試みが、失敗しました。

---

#### IPX.081

レベル: UI-ERROR

短構文: IPX.081 Failed to send an IPXWAN *iw\_pkttype* pkt on cir *IPX\_circuit* nt *network ID*

長構文: IPX.081 An attempt to send an IPXWAN *iw\_pkttype* packet on circ *IPX\_circuit* net *network ID* failed

説明: IPXWAN パケットを送信する試みが失敗しました。

---

#### IPX.082

レベル: UI-ERROR

短構文: IPX.082 IPXWAN *iw\_pkttype*, pkt rejected on cir *IPX\_circuit* nt *network ID*, seq num mismatch

長構文: IPX.082 IPXWAN *iw\_pkttype*, packet received on circ *IPX\_circuit* net *network ID* was rejected due to a sequence number mismatch

説明: シーケンス番号が不一致のために、IPXWAN パケットが廃棄されました。

---

#### IPX.083

レベル: UE-ERROR

短構文: IPX.083 IPXWAN *iw\_pkttype* rejected on cir *IPX\_circuit* nt *network ID* - *opt\_type* opt not accepted

長構文: IPX.083 IPXWAN *iw\_pkttype* rejected on circ *IPX\_circuit* net *network ID* - *opt\_type* option not accepted

説明: オプションがリンクの反対側で受け入れられなかったため、IPXWAN パケットがリジェクトされました。

---

#### IPX.084

レベル: U-INFO

短構文: IPX.084 IPXWAN connection to be retried on cir *IPX\_circuit* nt *network ID*

長構文: IPX.084 IPXWAN connection to be retried on circ *IPX\_circuit* net *network ID*

説明: 以前にタイムアウトになった IPXWAN 接続を再試行します。

---

#### IPX.085

レベル: U-INFO

短構文: IPX.085 IPXWAN connection on cir *IPX\_circuit* nt *network ID* timed-out

長構文: IPX.085 IPXWAN connection on circ *IPX\_circuit* net *network ID* timed-out

説明: IPXWAN 接続の試行がタイムアウトになりました。

---

#### IPX.086

レベル: C-INFO

短構文: IPX.086 IPXWAN *iw\_pkttype* pkt rcvd on cir *IPX\_circuit* nt *network ID*

長構文: IPX.086 IPXWAN *iw\_pkttype* packet received on circ *IPX\_circuit* net *network ID*

説明: IPXWAN パケットが正常に受信され、受け入れられ、処理されました。

---

#### IPX.087

レベル: C-INFO

短構文: IPX.087 IPXWAN *iw\_pkttype* pkt sent on cir *IPX\_circuit* nt *network ID*

長構文: IPX.087 IPXWAN *iw\_pkttype* packet sent on circ *IPX\_circuit* net *network ID*

説明: 指定の IPX 回線で、IPXWAN パケットが正常に送信されました。

---

#### IPX.088

レベル: C-INFO

短構文: IPX.088 IPXWAN connection up on cir *IPX\_circuit* nt *network ID*

長構文: IPX.088 IPXWAN connection has come up on circ *IPX\_circuit* net *network ID*

説明: 指定の IPX 回線で、IPXWAN 接続がアップ状態になっています。

---

#### IPX.089

レベル: U-INFO

短構文: IPX.089 IPXWAN connection down on cir *IPX\_circuit* nt *network ID*

長構文: IPX.089 IPXWAN connection has gone down on circ *IPX\_circuit* net *network ID*



**説明:** 指定の IPX 回線で、IPXWAN 接続がダウンしています。これが起こる可能性があるのは、リンクがダウンした場合、プロトコルがリンク上でダウンした (IPXCP がダウンした) 場合、またはタイマー要求パケットを受信した場合です。

---

#### IPX.090

**レベル:** U-TRACE

**短構文:** IPX.090 SAP no server reply required for typ *service\_type* for *source\_net/ source\_node*, cir *IPX\_circuit* nt *network ID*

**長構文:** IPX.090 SAP no server reply required for type *service\_type* for Query from *source\_net/ source\_node*, circ *IPX\_circuit* net *network ID*

**説明:** ルーターが、*source\_net/source\_node* から SAP 最近隣サービス照会を受信しました。SAP データベースは、サーバーが、クライアントと同一ネットワーク上にあることを示しています。サーバーは、自分自身のために応答することが許可されています。

**原因:** 自分自身のために応答することができる、という資格を有するサーバーが、クライアントのネットワーク上にあります。

**処置:** 処置は必要ありません。

---

#### IPX.091

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** IPX.091 short NB frm *source\_net/ source\_node*, cir *IPX\_circuit* nt *network ID*, ign

**長構文:** IPX.091 short NETBIOS frame from *source\_net/ source\_node* circ *IPX\_circuit* net *network ID*, ignored

**説明:** NETBIOS タイプ 20 パケットは、少なくとも 62 バイトの長さでなければなりません。転送機能は、このパケットを廃棄します。

**原因:** 不明。

**処置:** なし。パケットを送信している Novell アプリケーションを修正してください。

---

#### IPX.092

**レベル:** U-INFO

**短構文:** IPX.092 Add kpalv proxy *source\_net/ source\_node. source\_socket <-> dest\_net/ dest\_node. dest\_socket*

**長構文:** IPX.092 Add KeepAlive proxy connection

*source\_net/ source\_node. source\_socket <-> dest\_net/ dest\_node. dest\_socket*

**説明:** 新しい 1 対のステーションがプロキシ・キープアライブ・テーブルに追加されました。

---

#### IPX.093

**レベル:** U-INFO

**短構文:** IPX.093 Del kpalv proxy *source\_net/ source\_node. source\_socket <-> dest\_net/ dest\_node. dest\_socket*

**長構文:** IPX.093 Delete KeepAlive proxy connection *source\_net/ source\_node. source\_socket <-> dest\_net/ dest\_node. dest\_socket*

**説明:** 1 対のステーションがプロキシ・キープアライブ・テーブルから除去されました。

---

#### IPX.094

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** IPX.094 no memory for IPX kpalv proxy tbl

**長構文:** IPX.094 no memory for IPX KeepAlive Proxy connection table

**説明:** IPX キープアライブ・プロキシ初期化ルーチンが、その接続テーブルに記憶域を割り振ることができませんでした (IPX キープアライブ・プロキシ・フィルターは使用可能になりません)。

---

#### IPX.095

**レベル:** U-INFO

**短構文:** IPX.095 Serial pkt dropped *source\_net/ source\_node -> dest\_net/ dest\_node*, filt cir *IPX\_circuit* nt *network ID*

**長構文:** IPX.095 Serial packet dropped *source\_net/ source\_node -> dest\_net/ dest\_node*, filtered circ *IPX\_circuit* net *network ID*

**説明:** 出力 IPX 回線で IPX キープアライブ・フィルターが使用可能にされているので、逐次化パケットが除去されました。

---

#### IPX.096

**レベル:** UI-ERROR

**レベル:** OOM

**短構文:** IPX.096 No mem fr prxy kpalv req/rsp

**長構文:** IPX.096 No memory for proxy keepalive request or response



**説明:** このメッセージが生成されるのは、使用可能なバッファがなくて、IPX キープアライブ・メッセージを送信できない場合です。

---

#### IPX.097

**レベル:** U-INFO

**短構文:** IPX.097 Proxy kpalv type source\_net/  
source\_node. source\_socket -> dest\_net/ dest\_node.  
dest\_socket

**長構文:** IPX.097 Sent proxy keepalive type source\_net/  
source\_node. source\_socket -> dest\_net/ dest\_node.  
dest\_socket

**説明:** このメッセージは、プロキシー・キープアライブ・パケットが送信されたときに生成されます。

---

#### IPX.098

**レベル:** P-TRACE

**短構文:** IPX.098 RIP RTR flt PASS pkt frm  
source\_net/ source\_node, cir IPX\_circuit nt network ID

**長構文:** IPX.098 RIP Router filter PASS packet from  
source\_net/ source\_node, circ IPX\_circuit net network ID

**説明:** RIP パケットが、指定の IPX 回線上の RIP ルーター・フィルタを正常に通過 (PASS) しました。RIP ルーター・フィルタは、メッセージに表示されている、IPX パケット・ヘッダー内の source\_node に基づいています。

---

#### IPX.099

**レベル:** P-TRACE

**短構文:** IPX.099 RIP RTR flt DROP pkt frm  
source\_net/ source\_node, cir IPX\_circuit nt network ID

**長構文:** IPX.099 RIP Router filter DROP packet from  
source\_net/ source\_node, circ IPX\_circuit net network ID

**説明:** RIP パケットが、指定の IPX 回線上の RIP ルーター・フィルタによって除去されました。RIP ルーター・フィルタは、メッセージに表示されている、IPX パケット・ヘッダー内の source\_node に基づいています。

---

#### IPX.100

**レベル:** P-TRACE

**短構文:** IPX.100 RIP iodir flt PASS IPX net  
ipx\_network , cir IPX\_circuit nt network ID

**長構文:** IPX.100 RIP iodir filter PASS IPX network  
number ipx\_network, circ IPX\_circuit net network ID

**説明:** 指定の IPX ネットワーク番号の RIP ルーティング情報エントリーが、示されたフィルタ処理方向 (インバウンドまたはアウトバウンド) で、指定の IPX 回線上の RIP フィルタを正常に通過 (PASS) しました。

---

#### IPX.101

**レベル:** P-TRACE

**短構文:** IPX.101 RIP iodir flt DROP net ipx\_network ,  
cir IPX\_circuit nt network ID

**長構文:** IPX.101 RIP iodir filter DROP network  
ipx\_network, circ IPX\_circuit net network ID

**説明:** 指定の IPX ネットワーク番号の RIP ルーティング情報エントリーが、示されたフィルタ処理方向 (インバウンドまたはアウトバウンド) で、指定の IPX 回線上の RIP フィルタによって除去されました。

---

#### IPX.102

**レベル:** P-TRACE

**短構文:** IPX.102 SAP iodir flt PASS typ service\_type  
nm [ service\_name], service\_hops hops, cir IPX\_circuit nt  
network ID

**長構文:** IPX.102 SAP iodir filter PASS type  
service\_type name [ service\_name], hops service\_hops,  
circ IPX\_circuit net network ID

**説明:** 指定の IPX ネットワーク番号の SAP ルーティング情報エントリーが、示されたフィルタ処理方向 (インバウンドまたはアウトバウンド) で、指定の IPX 回線上の SAP フィルタを正常に通過 (PASS) しました。

---

#### IPX.103

**レベル:** P-TRACE

**短構文:** IPX.103 SAP iodir flt DROP typ service\_type  
nm [ service\_name], service\_hops hops, cir IPX\_circuit nt  
network ID

**長構文:** IPX.103 SAP iodir filter DROP type  
service\_type name [ service\_name], hops service\_hops,  
circ IPX\_circuit net network ID

**説明:** 指定の IPX ネットワーク番号の SAP ルーティング情報エントリーが、示されたフィルタ処理方向 (インバウンドまたはアウトバウンド) で、指定の IPX 回線上の SAP フィルタによって除去されました。

---

**IPX.104**

レベル: P-TRACE

短構文: IPX.104 IPX *iodir* flt PASS typ *packet\_type* *source\_net/ source\_node. source\_socket -> dest\_net/ dest\_node. dest\_socket, service\_hops* hops, cir *IPX\_circuit* nt *network ID*

長構文: IPX.104 IPX *iodir* filter PASS type *packet\_type, source\_net/ source\_node. source\_socket -> dest\_net/ dest\_node. dest\_socket, service\_hops* hops, circ *IPX\_circuit* net *network ID*

説明: IPX パケットが、示されたフィルター処理方向 (インバウンドまたはアウトバウンド) で、指定の IPX 回線上の IPX フィルターを通過 (PASS) しました。

---

**IPX.105**

レベル: P-TRACE

短構文: IPX.105 IPX *iodir* flt DROP typ *packet\_type* *source\_net/ source\_node. source\_socket -> dest\_net/ dest\_node. dest\_socket, service\_hops* hops, cir *IPX\_circuit* nt *network ID*

長構文: IPX.105 IPX *iodir* filter DROP type *packet\_type, source\_net/ source\_node. source\_socket -> dest\_net/ dest\_node. dest\_socket, service\_hops* hops, circ *IPX\_circuit* net *network ID*

説明: IPX パケットが、示されたフィルター処理方向 (インバウンドまたはアウトバウンド) で、指定の IPX 回線上の IPX フィルターによって除去されました。

---

**IPX.106**

レベル: U-INFO

短構文: IPX.106 rcvd ping *packet\_type* pkt *source\_net/ source\_node -> destination\_net/ destination\_node*

長構文: IPX.106 received IPXPING *packet\_type* packet from *source\_net/ source\_node* to *destination\_net/ destination\_node*

説明: このメッセージは、IPXPING パケットを受信したときに生成されます。

---

**IPX.107**

レベル: UI-ERROR

短構文: IPX.107 IPXWAN *iw\_pkttype* pkt rcvd on cir *IPX\_circuit* nt *network ID* has common net zero

長構文: IPX.107 IPXWAN *iw\_pkttype* packet received on circ *IPX\_circuit* net *network ID* has a common network number of zero

説明: リンク・マスターによって割り当てられた共通のネットワーク番号がゼロであることを、受信した IPXWAN パケットが示しています。このリンクで使用するよう交渉で決められたルーティング・タイプは番号制 RIP なので、ネットワーク番号は非ゼロであることが必要です。これは、リンク・マスターが非番号制 RIP を選択しており、番号制 RIP を受け入れることはできても、共通のネットワーク番号の割り当て方法がリンク・マスターに分かっていない場合に発生する可能性があります。

処置: このルーターがリンク・マスターであり、共通のネットワーク番号を割り当てることを保証するために、リモート IPX ノード ID より大きい値にローカル IPX ノード ID を再構成してください。

---

**IPX.108**

レベル: UI-ERROR

短構文: IPX.108 IPXWAN circ *IPX\_circuit* configd on ifc *IPX\_interface\_number*, invalid IPX network number

長構文: IPX.108 IPXWAN circuit *IPX\_circuit* attempting to be configured on interface *IPX\_interface\_number*, invalid IPX network number

説明: IPX が指定の IPX 回線上で使用可能になりました。IPX ネットワーク番号に無効値があったためです。

原因: 無効な IPX ネットワーク番号が構成された。

処置: IPX 回線に有効な IPX ネットワーク番号を構成してください。

---

**IPX.109**

レベル: UI-ERROR

短構文: IPX.109 IPXWAN stat rte for cir *IPX\_circuit* nt *network ID*, but stat rte glob disabled

長構文: IPX.109 IPXWAN static routing enabled on circ *IPX\_circuit* net *network ID*, but static routes and services are globally disabled

説明: 静的経路および静的サービスがグローバルに使用不可にされているのに、IPXWAN ルーティング・タイプが指定の IPX 回線上で静的に設定されています。

原因: 構成エラー

処置: 静的経路および静的サービスをグローバルに使用可能にするか、静的以外のルーティング・タイプを使用するように IPXWAN を構成するか、いずれかです。

---

### IPX.110

レベル: UI-ERROR

短構文: IPX.110 stat rte invalid on cir *IPX\_circuit* nt *network ID*

長構文: IPX.110 Static route cannot be configured on circ *IPX\_circuit* net *network ID*

説明: このタイプのインターフェースには、静的経路は構成できません。

原因: 構成エラー

処置: このタイプのインターフェース上で静的経路を構成しないようにします。

---

### IPX.111

レベル: UI-ERROR

短構文: IPX.111 no memory left for *ipx\_structure*

長構文: IPX.111 no memory left for *ipx\_structure*

説明: 指示された IPX 構造を割り振るために利用可能な記憶域が不十分でした。この構造を必要とする IPX コンポーネントは使用可能にされません。

---

### IPX.112

レベル: C\_INFO

短構文: IPX.112 use IPX reset cmd to activate or reset *ipx\_component*

長構文: IPX.112 use IPX reset cmd to activate or reset *ipx\_component*

説明: 構成変更をアクティブにするためには、指示された IPX コンポーネントを IPX リセット・コマンドを使用してリセットする必要があります。

原因: 指示された IPX コンポーネントが、起動またはリセットされた IPX 回線上に構成された。

処置: IPX リセット・コマンドを使用して、指示された IPX コンポーネントに対して行なわれた構成変更を起動またはリセットしてください。

---

### IPX.113

レベル: UI-ERROR

短構文: IPX.113 IPX cir *IPX\_circuit* configd on ifc *IPX\_interface\_number*, ifc > nnets

長構文: IPX.113 IPX circ *IPX\_circuit* configured on interface *IPX\_interface\_number*, interface is greater than the maximum number of interfaces

説明: 回線が構成されていると思われるインターフェ

ースが無効です。最大インターフェース番号より大きくなっています。

原因: この原因は分かりません。

処置: 有効なインターフェース番号を使用して回線を再構成してください。

---

### IPX.114

レベル: UI-ERROR

短構文: IPX.114 IPX cir *IPX\_circuit* configd on ifc *IPX\_interface\_number*, ifc type not supported

長構文: IPX.114 IPX circ *IPX\_circuit* configured on interface *IPX\_interface\_number*, interface type is not supported

説明: 回線が構成されていると思われるインターフェースが、IPX をサポートしないタイプのものです。

原因: インターフェース上に回線を構成した後でインターフェースのタイプが変更されて、IPX をサポートしないものになっています。

処置: 回線を、IPX をサポートするインターフェース上に構成し直すか、インターフェース・タイプを、IPX をサポートするものに構成し直すかしてください。

---

### IPX.115

レベル: UI-ERROR

短構文: IPX.115 IPX cir *IPX\_circuit* configd on ifc *IPX\_interface\_number*, too many bcst circs on ifc

長構文: IPX.115 IPX circ *IPX\_circuit* configured on interface *IPX\_interface\_number*, too many broadcast circs on interface.

説明: 1 つのインターフェースにつき 1 つの同報通信回線しか構成できません。このインターフェースにはすでに 1 つ構成されています。

原因: この原因は分かりません。

処置: 回線を別のインターフェース上に構成し直すか、元の同報通信回線を削除するかしてください。

---

### IPX.116

レベル: UI-ERROR

短構文: IPX.116 IPXWAN cir *IPX\_circuit* configd on ifc *IPX\_interface\_number*, too many IPX circs on PPP ifc

長構文: IPX.116 IPXWAN circ *IPX\_circuit* configured on interface *IPX\_interface\_number*, too many IPX circs on PPP interface

説明: PPP インターフェース上には、同報通信または

IPXWAN 回線のどちらかが存在できます。この場合は、すでに IPXWAN 回線が定義されています。

**原因:** この原因は分かりません。

**処置:** IPXWAN 回線を別のインターフェース上に構成し直すか、元の IPXWAN 回線を削除するかしてください。

---

#### IPX.117

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** IPX.117 IPXWAN cir *IPX\_circuit* configd on ifc *IPX\_interface\_number*, not allowed on RLAN ifc

**長構文:** IPX.117 IPXWAN circ *IPX\_circuit* configured on interface *IPX\_interface\_number*, IPXWAN not allowed on RLAN interface

**説明:** IPXWAN 回線が RLAN インターフェース上に構成されました。IPXWAN は、RLAN インターフェース上ではサポートされません。

**原因:** この原因は分かりません。

**処置:** 回線を非 RLAN インターフェース上に構成し直すか、回線を同報通信回線として構成してください。

---

#### IPX.118

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** IPX.118 non-PPP IPXWAN cir *IPX\_circuit* configd on PPP ifc *IPX\_interface\_number*

**長構文:** IPX.118 non-PPP IPXAWN circ *IPX\_circuit* configured on a PPP interface *IPX\_interface\_number*

**説明:** 回線タイプが PPP として構成された IPXWAN 回線が、非 PPP タイプのインターフェース上に構成されています。

**原因:** PPP タイプの IPXWAN 回線を構成した後で、基本インターフェースのデータ・タイプが非 PPP 値に変更されました。

**処置:** インターフェースを PPP インターフェースとして再定義するか、IPXWAN 回線タイプをインターフェースに合致するように定義し直してください。

---

#### IPX.119

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** IPX.119 non-FR IPXWAN cir *IPX\_circuit* configd on FR ifc *IPX\_interface\_number*

**長構文:** IPX.119 non-FR IPXAWN circ *IPX\_circuit* configured on a FR interface *IPX\_interface\_number*

**説明:** 回線タイプが FR として構成された IPXWAN

回線が、非 FR タイプのインターフェース上に構成されています。

**原因:** FR タイプの IPXWAN 回線を構成した後で、基本インターフェースのデータ・タイプが非 FR 値に変更されました。

**処置:** インターフェースを FR インターフェースとして再定義するか、IPXWAN 回線タイプをインターフェースに合致するように定義し直してください。

---

#### IPX.120

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** IPX.120 IPXWAN cir *IPX\_circuit* configd on ifc *IPX\_interface\_number*, invalid circuit type

**長構文:** IPX.120 IPXWAN circ *IPX\_circuit* configured on interface *IPX\_interface\_number*, invalid circuit type

**説明:** IPXWAN 回線が、無効な回線タイプ値を使用して構成されました。

**原因:** この原因は分かりません。

**処置:** 有効な回線タイプを使用して回線を再構成してください。

---

#### IPX.121

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** IPX.121 IPXWAN cir *IPX\_circuit* nt *network ID*, n\_cirreg failed rc: *reason\_code*

**長構文:** IPX.121 IPXWAN circ *IPX\_circuit* net *network ID*, n\_cirreg failed reason code: *reason\_code*

**説明:** IPXWAN 回線が FR 回線への登録を試みていましたが、指摘されている理由で登録に失敗しました。

**原因:** 記憶域がない。

**処置:** ルーターのダンプを取り、サービス技術員に連絡してください。

**原因:** 回線が不明

**処置:** 有効な FR 回線番号を使用して、IPXWAN 回線を再構成してください。

---

#### IPX.122

**レベル:** P-TRACE

**短構文:** IPX.122 NB brd pkt drop, cir *IPX\_circuit* nt *network ID*, NB brd not enabled

**長構文:** IPX.122 NETBIOS broadcast packet dropped, circ *IPX\_circuit* net *network ID*, NETBIOS broadcast not enabled

**説明:** この回線では NETBIOS 同報通信は使用不可にされているので、すべての NETBIOS 同報通信パケット (着信または発信) が廃棄されます。

---

### **IPX.123**

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** IPX.123 IPX cir *IPX\_circuit* configd on ifc *IPX\_interface\_number*, IPX not supported on ifc

**長構文:** IPX.123 IPX circ *IPX\_circuit* configured on interface *IPX\_interface\_number*, IPX is not supported

**説明:** 回線が構成されていると思われるインターフェースが、IPX をサポートしません。

**原因:** インターフェースはおそらくメンバー・インターフェースです (すなわち、LAG、PPP 多重リンク)。

**処置:** 集合インターフェース上で IPX を構成します。



---

## 第56章 インターネット・プロトコル (IP)

この章では、インターネット・プロトコル (IP) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### IP.001

レベル: U-INFO

短構文: IP.001 q ovrf *source\_ip\_address* ->  
*destination\_ip\_address* nt *network ID*

長構文: IP.001 Queue overflow on packet from  
*source\_ip\_address* for *destination\_ip\_address* from net  
*network ID*

説明: このメッセージは、入力待ち行列オーバーフローのために、転送機能が IP キャッシュを介して転送されなかったパケットを廃棄しなければならない場合に生成されます。この事象は ELS ではカウントされず、IP コンソールでカウントされます。IP>COUNTERS コマンドを使用して、カウンター（各入力ネットワーク別に維持されている）を読み取ることができます。

原因: 入力待ち行列オーバーフローは、バッファが不足しているインターフェースからパケットを受信し、着信先が IP キャッシュではなく、しかも IP 待ち行列の長さが公平シェアより大きい場合に発生します。原因は、バースト状態または定常状態で、IP 転送機能の伝送能力より速くトラフィックが到着していることが考えられます。

処置: トラフィックのバーストを減らしてください。より高速なルーターにアップグレードしてください。

原因: 過度の IP ルーティング・キャッシュ・ミスにより、ほとんどの IP パケットがキャッシュ・ミス転送機能を通じています。

処置: IP キャッシュのサイズを大きくしてください。

---

### IP.002

レベル: UE-ERROR

短構文: IP.002 not V4 hdr *version\_number* nt *network ID*

長構文: IP.002 Not version 4 header ( *version\_number* )  
in packet from net *network ID*

説明: このメッセージは、パケットが正しいバージョン番号をもっているときに生成されます。

原因: 別のバージョンの IP は実行されていないはずなので、おそらくパケットが損傷しています。

処置: 問題が引き続き起こる場合は、回線トレースを調べて、パケットが損傷する箇所を判別してください。

---

### IP.003

レベル: UE-ERROR

短構文: IP.003 shrt hdr *header\_length* pkt ln  
*packet\_length* nt *network ID*

長構文: IP.003 Header too short ( *header\_length* bytes )  
in *packet\_length* byte packet from net *network ID*

説明: このメッセージは、パケットの指摘されているヘッダー長が、可能な最小長より短い場合に生成されます。

原因: おそらく、パケットが損傷しています。別のノードが、正しくないヘッダーを作成している可能性があります。

処置: 問題が引き続き起こる場合は、回線トレースを調べて、パケットが損傷する箇所を判別してください。

---

### IP.004

レベル: UE-ERROR

短構文: IP.004 bd hdr cks 0x *checksum* (exp 0x  
*expected\_checksum*) *source\_ip\_address* ->  
*destination\_ip\_address*

長構文: IP.004 Bad header checksum 0x *checksum*  
(expected 0x *expected\_checksum*) in packet from  
*source\_ip\_address* for *destination\_ip\_address*

説明: このメッセージは、パケットが無効なチェックサムをもっているときに生成されます。受信したチェックサムが、正しいチェックサムと共に表示されます。

原因: おそらく、パケットが損傷しています。別のノードが、正しくないヘッダーを作成している可能性があります。

処置: 問題が引き続き起こる場合は、回線トレースを調べて、パケットが損傷する箇所を判別してください。

---

### IP.005

レベル: UE-ERROR

短構文: IP.005 pkt trunc *specified\_length* pkt ln



*true\_length source\_ip\_address -> destination\_ip\_address*

**長構文:** IP.005 Packet truncated from *specified\_length* to *true\_length* bytes from *source\_ip\_address* for *destination\_ip\_address*

**説明:** このメッセージは、ヘッダーに指定されているパケット長が、パケット・バッファ長より大きい場合に生成されます。

**原因:** 転送時のパケットの破壊

**処置:** 問題が引き続き起こる場合は、ネットワークおよびルーターを検査してください。

**原因:** リモート・ノードでのプログラム・エラー

---

#### IP.006

**レベル:** CI-ERROR

**短構文:** IP.006 pkt *source\_ip\_address -> destination\_ip\_address* dsc rsn *reason\_code*, nt *Network ID*

**長構文:** IP.006 Packet from *source\_ip\_address* for *destination\_ip\_address* discarded for reason *reason\_code*, network *Network ID*

**説明:** 指定のネットワークでパケットを送信しようとしたが、そのネットワークでの転送は受け入れられませんでした。reason\_code に、パケットが受け入れられなかった理由が示されています。理由がフロー制御の場合、ICMP 発信元抑制が送信側に送られます。それ以外の場合は、ICMP あて先到達不可能が送られます。

**原因:** 各種のハンドラー・エラー (理由コード 1)

**処置:** ハンドラーからのエラー・メッセージを検査して、network\_name を調べてください。

**原因:** 出力待ち行列オーバーフローまたはその他のフロー制御 (理由コード 2)

**処置:** 輻輳 (ふくそう) を緩和してください。

**原因:** ネットワークがダウン (理由コード 3)

**処置:** ネットワークがダウンしているとハンドラーが判断した理由を調べてください。

**原因:** ループまたはよくない同報通信を回避するためにハンドラーによって廃棄されました (理由コード 4)。

**処置:** 構成を検査してください。

**原因:** ホストがダウン (理由コード 5)

**処置:** ホストがダウンしているとハンドラーが判断した理由を調べてください。

---

#### IP.007

**レベル:** P-TRACE

**短構文:** IP.007 *source\_ip\_address -> destination\_ip\_address*

**長構文:** IP.007 Accepting packet from *source\_ip\_address* for *destination\_ip\_address*

**説明:** このメッセージは、第 1 レベル合理性検査に合格した各パケットに対して生成されます。

---

#### IP.008

**レベル:** U-INFO

**短構文:** IP.008 no rte *source\_ip\_address -> destination\_ip\_address* dsc

**長構文:** IP.008 No route for packet from *source\_ip\_address* for *destination\_ip\_address*; packet discarded

**説明:** このメッセージは、あて先への経路が存在しないために、パケットが廃棄された場合に生成されます。

---

#### IP.009

**レベル:** CE-ERROR

**短構文:** IP.009 TTL zero *source\_ip\_address -> destination\_ip\_address*

**長構文:** IP.009 Time-to-live expired on packet from *source\_ip\_address* for *destination\_ip\_address*

**説明:** このメッセージは、活動時間が満了したためにパケットが廃棄された場合に生成されます。

**原因:** パケットは、発信元が IP ヘッダーの活動時間フィールドに入れた初期値よりも多くのルーターを経由しました。旧型システムの多くは 15 または 30 の値を使用していますが、これは標準に適合しておらず、現行ネットワークには小さ過ぎることがしばしばあります。

**処置:** 活動時間の初期値を大きくしてください。

**原因:** パケットはルーティング・ループに入ってしまった、活動時間が満了するまで、一連のルーターを何回も巡回しています。

**処置:** パケットの発信元からあて先までのルーティングを検査して、ループがないかどうかを調べてください。ただし、一部のルーティング・プロトコルでは、経路のタイマー満了により、一時的なループは避けられません。

---

**IP.011**

レベル: C-INFO

レベル: PARAM

短構文: IP.011 *unsup mcast source\_ip\_address -> destination\_ip\_address*

長構文: IP.011 Unsupported multicast from *source\_ip\_address* for *destination\_ip\_address*

説明: このメッセージは、サポートされないマルチキャスト・パケットを受信した場合に生成されます。

---

**IP.012**

レベル: UE-ERROR

レベル: PARAM

短構文: IP.012 *bd nt cl source\_ip\_address -> destination\_ip\_address*

長構文: IP.012 Bad network class from *source\_ip\_address* for *destination\_ip\_address*

説明: このメッセージは、パケットがクラス A、B、C、または D ではないネットワークをあて先に行っている場合に生成されます。

原因: 示されている発信元ノードが、ネットワーク・クラスがサポートされないためにルーターが転送できないパケットを送信しました。

---

**IP.013**

レベル: C-INFO

レベル: PARAM

短構文: IP.013 *unsup bcst source\_ip\_address -> destination\_ip\_address*

長構文: IP.013 Unsupported broadcast from *source\_ip\_address* for *destination\_ip\_address*

説明: このメッセージは、サポートされない同報通信パケットを受信した場合に生成されます。

---

**IP.017**

レベル: UI-ERROR

レベル: PARAM

短構文: IP.017 *nt network\_address add fail, tbl ovrfll*

長構文: IP.017 Add failed for net *network\_address*; routing table overflow

説明: このメッセージは、テーブルがいっぱいであるために、ネットワークをルーティング・テーブルに追加

できない場合に生成されます。

原因: IP ルーティング・テーブルのもつ項目数が最大になっています。

処置: サブネットワーキングによって、システム管理者がテーブルのサイズを減らします。

---

**IP.018**

レベル: UI-ERROR

レベル: PARAM

短構文: IP.018 *nt network\_address add fail, bd nt*

長構文: IP.018 Add failed for net *network\_address*; bad network number

説明: このメッセージは、ネットワーク番号が無効であるために、ネットワークをルーティング・テーブルに追加できない場合に生成されます。

原因: ソフトウェアは、上記のネットワークを無効であるものと見なします。

処置: ネットワークが有効である場合は、サービス技術員に連絡してください。

---

**IP.019**

レベル: U-INFO

短構文: IP.019 *re-add stat rt to network*

長構文: IP.019 Re-adding static route to net *network*

説明: このメッセージは、ネットワークへの静的経路が再び使用されるようになった場合に生成されます。

---

**IP.020**

レベル: UI-ERROR

レベル: PARAM

短構文: IP.020 *int for network add fail, dup addr*

長構文: IP.020 Add of interface for net *network* failed; duplicate address

説明: このメッセージは、アクセスが拒否されたために、ネットワークをルーティング・テーブルに追加できない場合に生成されます。

原因: 同一のネットワークにアクセスするように構成されたインターフェース・アドレスが複数あります。ソフトウェアは 1 つしか認めていません。

処置: インターフェース・アドレスおよびマスクを、それぞれ唯一のネットワークを定義するように再構成してください。

---

**IP.022**

レベル: U-INFO

短構文: IP.022 add nt *net\_ip\_address* int *int\_ip\_address* nt *network ID*

長構文: IP.022 Added network *net\_ip\_address* to interface *int\_ip\_address* on net *network ID*

説明: このメッセージは、新しい直接接続ネットワークがルーティング・テーブルに追加された場合に生成されます。

---

**IP.024**

レベル: CE-ERROR

短構文: IP.024 ign stat rt to *network*, mask *mask*

長構文: IP.024 Ignoring bad static route/filter to *network*, mask *mask*

説明: このメッセージは、無効な静的経路または IP フィルターが検出された場合に生成されます。

---

**IP.025**

レベル: U-INFO

短構文: IP.025 add nt *network* rt via *network* nt *network ID*

長構文: IP.025 Added network *network* with route via *network* on net *network ID*

説明: このメッセージは、新しい間接接続ネットワークがルーティング・テーブルに追加された場合に生成されます。

---

**IP.031**

レベル: ALWAYS

短構文: IP.031 Unnum addr rej, nt *network ID*

長構文: IP.031 Unnumbered address rejected, net *network ID*

説明: インターフェースを非番号制として構成しようとしたが、インターフェースがシリアル・ラインでないか、インターフェースにすでに IP アドレスが割り当てられているかのいずれかです。非番号制の構成要求は無視されます。

---

**IP.032**

レベル: CI-ERROR

短構文: IP.032 fq ovf *source\_ip\_address* -> *destination\_ip\_address* nt *network ID*

長構文: IP.032 Fragment queue overflow from *source\_ip\_address* for *destination\_ip\_address* on net *network ID*

説明: このメッセージは、断片待ち行列のオーバーフローのために、着信断片が廃棄された場合に生成されません。

---

**IP.033**

レベル: CE-ERROR

短構文: IP.033 cant frg *source\_ip\_address* -> *destination\_ip\_address* nt *network ID*

長構文: IP.033 Cannot fragment packet from *source\_ip\_address* for *destination\_ip\_address* net *network ID*

説明: このメッセージは、発信パケットを断片化する必要があるのに、“don't fragment” ビットがセットされている場合に生成されます。

---

**IP.034**

レベル: CE-ERROR

短構文: IP.034 bd frg *source\_ip\_address* -> *destination\_ip\_address* foff *offset*

長構文: IP.034 Bad fragment from *source\_ip\_address* for *destination\_ip\_address* with fragment offset *offset*

説明: このメッセージは、発信パケットの断片オフセットの長さが無効である場合に生成されます。

---

**IP.035**

レベル: CI-ERROR

短構文: IP.035 cant alloc for frg nt *network ID*

長構文: IP.035 Cannot allocate buffer for fragment for net *network ID*

説明: このメッセージは、パケットを断片化するために利用可能なバッファがない場合に生成されます。

---

**IP.036**

レベル: P-TRACE

短構文: IP.036 rcv pkt prt *protocol* frm *source\_ip\_address*

長構文: IP.036 Received packet for protocol *protocol* from *source\_ip\_address*

説明: このメッセージは、ルーターあてに各パケットが送信されるたびに生成されます。

---

**IP.037**

レベル: C-TRACE

短構文: IP.037 brd pkt *source\_ip\_address* ->  
*destination\_ip\_address* prot *protocol* no srvr

長構文: IP.037 Broadcast packet from  
*source\_ip\_address*, for *destination\_ip\_address*, protocol  
*protocol*; no server

説明: このメッセージは、不明のプロトコルの同報通信パケットが到着した場合に生成されます。

---

**IP.038**

レベル: U-INFO

短構文: IP.038 pkt *source\_ip\_address* ->  
*destination\_ip\_address* prt *protocol* no srvr

長構文: IP.038 Packet from *source\_ip\_address*, for  
*destination\_ip\_address*, protocol *protocol*; no server

説明: このメッセージは、不明のプロトコルのパケットが到着した場合に生成されます。パケットはルーターに送信されました。

---

**IP.042**

レベル: CE-ERROR

短構文: IP.042 illgl ARP sbnt req *source\_ip\_address* ->  
*destination\_ip\_address*

長構文: IP.042 Illegal ARP subnet request in packet  
from *source\_ip\_address* for *destination\_ip\_address*

説明: このメッセージは、ARP パケットの発信元またはあて先 IP アドレスが無効であるために、ARP サブネット要求が受け入れられなかった場合に生成されます。

原因: 要求されたサブネットへの経路がありません。

処置: サブネットが到達不可能である理由を調べてください。

原因: 要求のあて先が、発信元アドレスと異なる IP ネットワークになっています。

処置: ARP サブネット・ルーティングは、ホストのネットワークのサブネットに対してのみ行われます。ホストのルーティング・コードを訂正してください。

原因: IP ネットワークがサブネット化されていません。

処置: ARP サブネット・ルーティングは、サブネットでのみサポートされます。

---

**IP.043**

レベル: P-TRACE

短構文: IP.043 rcvd ARP sbnt rqst *source\_ip\_address* ->  
*destination\_ip\_address*

長構文: IP.043 Received ARP subnet route request from  
*source\_ip\_address* for *destination\_ip\_address*

説明: このメッセージは、ARP サブネット要求を受信した場合に生成されます。

---

**IP.044**

レベル: C-TRACE

短構文: IP.044 ARP sbnt rqst ign *source\_ip\_address* ->  
*destination\_ip\_address*

長構文: IP.044 ARP subnet request ignored from  
*source\_ip\_address* for *destination\_ip\_address*

説明: このメッセージは、あて先サブネットへの経路が発信元と同じ物理ネットワーク上の別のルーターを経由しているために、ARP サブネット要求が応答されない場合に生成されます。

原因: ARP サブネット・ルーティング・コードは、このルーターがあて先サブネットへの最良の経路である場合にのみ応答します。

処置: 最良ルーターが ARP サブネット要求に応答するようにしなければなりません。

---

**IP.045**

レベル: C-INFO

短構文: IP.045 snt ARP rte *source\_ip\_address* ->  
*destination\_ip\_address*

長構文: IP.045 Sent ARP route from *source\_ip\_address*  
for *destination\_ip\_address*

説明: このメッセージは、ARP サブネット要求が応答される場合に生成されます。

---

**IP.046**

レベル: C-INFO

短構文: IP.046 unkn opt *option* frm *source\_ip\_address*

長構文: IP.046 Unknown option *option* from  
*source\_ip\_address*

説明: このメッセージは、パケットの IP ヘッダーに不明のオプションが指定されている場合に生成されます。

---

**IP.047**

レベル: UE-ERROR

短構文: IP.047 opt *option* bd fmt frm *source\_ip\_address*

長構文: IP.047 Bad format for option *option* from *source\_ip\_address*

説明: このメッセージは、IP ヘッダー内のオプションが正しく形式設定されていない場合に生成されます。

---

**IP.048**

レベル: UE-ERROR

短構文: IP.048 strict src rt bd nxt hop *source\_ip\_address* -> *destination\_ip\_address*

長構文: IP.048 Bad next hop in strict source route from *source\_ip\_address* for *destination\_ip\_address*

説明: このメッセージは、厳密ソース経路に指定されているネクスト・ホップが無効である場合に生成されます。

---

**IP.049**

レベル: UE-ERROR

短構文: IP.049 bd tmstamp fmt *timestamp* frm *source\_ip\_address*

長構文: IP.049 Bad timestamp format *timestamp* from *source\_ip\_address*

説明: このメッセージは、時刻スタンプ・オプションの形式が無効である場合に生成されます。

---

**IP.050**

レベル: CE-ERROR

短構文: IP.050 tmstamp ovrf, *source\_ip\_address* -> *destination\_ip\_address*

長構文: IP.050 Timestamp list overflow in packet from *source\_ip\_address* for *destination\_ip\_address*

説明: このメッセージは、時刻スタンプ・リストがいっぱいであるために、新しい時刻スタンプを追加できない場合に生成されます。

---

**IP.051**

レベル: UI-ERROR

短構文: IP.051 rs ovfl, port *port\_number* frm *source\_ip\_address*

長構文: IP.051 Too many re-assembly buffers active; port *port\_number* from *source\_ip\_address*

**438** ELS メッセージの手引き

説明: このメッセージは、新しいパケットの再組み立てが必要であるが、最大数の再組み立てバッファがすでに割り当てられている場合に生成されます。

原因: 断片化されたデータグラムの再組み立てを、ソフトウェアが同時に処理可能な数を超えて処理しようとしています。これは、時折発生する場合は許されます。

処置: 頻繁に発生する場合は、発信元で TCP 最大セグメント・サイズを変更して断片化を減らすようにするか、あるいはサービス技術員に連絡してください。

---

**IP.052**

レベル: UI-ERROR

レベル: OOM

短構文: IP.052 no stor for rs, port *port\_number* frm *source\_ip\_address*

長構文: IP.052 Insufficient storage for packet re-assembly; port *port\_number* from *source\_ip\_address*

説明: このメッセージは、新しいパケットの再組み立てが必要であるが、再組み立てバッファを割り振るための十分な記憶域がない場合に生成されます。

原因: この構成およびトラフィックをサポートできる十分な記憶域がありません。

処置: GWCON 内の記憶域統計を検査して、パケット・バッファ・レベルを確認してください。メモリーをアップグレードして増やすか、不要な転送機能/プロトコルを使用不可にして、記憶域を獲得してください。

---

**IP.053**

レベル: UE-ERROR

短構文: IP.053 reas pkt too big ( *packet\_size* byt), port *port\_number* frm *source\_ip\_address*

長構文: IP.053 Re-assembled packet too large ( *packet\_size* bytes); port *port\_number* from *source\_ip\_address*

説明: このメッセージは、新しいパケットの再組み立てが必要であるが、再組み立てバッファの最大サイズを超えている場合に生成されます。*packet\_size* は、この断片を追加した後のパケットの大きさであり、この後さらに断片が続く場合もあります。

---

**IP.054**

レベル: U-INFO

短構文: IP.054 rs TTL exp, port *port\_number* frm *source\_ip\_address*

長構文: IP.054 Re-assembly TTL expired; port



*port\_number* from *source\_ip\_address*

**説明:** このメッセージは、再組み立てされているパケットの活動時間が満了したときに生成されます。

---

#### IP.055

**レベル:** P-TRACE

**短構文:** IP.055 rs free, port *port\_number* frm *source\_ip\_address*

**長構文:** IP.055 Re-assembly buffer free; port *port\_number* from *source\_ip\_address*

**説明:** このメッセージは、再組み立てバッファが割り振り解除された場合に生成されます。

---

#### IP.056

**レベル:** U-INFO

**短構文:** IP.056 add dflt nt gw *ip\_address* nt *network ID*

**長構文:** IP.056 Added default gateway *ip\_address* net *network ID*

**説明:** このメッセージは、省略時ゲートウェイを使用するインターフェースがアップ状態になった場合に生成されます。

---

#### IP.057

**レベル:** U-INFO

**短構文:** IP.057 del dflt nt gw *ip\_address*

**長構文:** IP.057 Deleted default gateway *ip\_address*

**説明:** このメッセージは、省略時ゲートウェイが削除された場合に生成されます。

---

#### IP.058

**レベル:** U-INFO

**短構文:** IP.058 del nt *network* rt via *gateway* nt *network ID*

**長構文:** IP.058 Deleted net *network* route via *gateway* net *network ID*

**説明:** このメッセージは、ネットワークがダウンした場合に生成されます。

---

#### IP.059

**レベル:** U-INFO

**短構文:** IP.059 sbnt *network* dfnd

**長構文:** IP.059 Subnet *network* defined

**説明:** このメッセージは、新しいサブネット化ネットワークが定義された場合に生成されます。

---

#### IP.060

**レベル:** U-INFO

**短構文:** IP.060 del sbntd nt *network*

**長構文:** IP.060 Deleting subnetted network *network*

**説明:** このメッセージは、サブネット化ネットワークが削除された場合に生成されます。削除されるのは、そのネットワークへのインターフェースがなくなったときです。

---

#### IP.061

**レベル:** C-TRACE

**短構文:** IP.061 add lcl pkt to ip op q

**長構文:** IP.061 Added locally generated packet to IP output queue

**説明:** このメッセージは、ローカル生成パケットが IP 出力待ち行列に入れられるたびに生成されます。

---

#### IP.062

**レベル:** C-TRACE

**短構文:** IP.062 rcvd ip frg frm *source\_ip\_address*

**長構文:** IP.062 Received IP fragment from *source\_ip\_address*

**説明:** このメッセージは、再組み立てが必要な IP 断片を受信した場合に生成されます。

---

#### IP.063

**レベル:** C-TRACE

**短構文:** IP.063 rasmd pkt frm *source\_ip\_address*

**長構文:** IP.063 Successfully re-assembled packet from *source\_ip\_address*

**説明:** このメッセージは、IP パケットが正常に再組み立てされた場合に生成されます。

---

#### IP.064

**レベル:** C-TRACE

**短構文:** IP.064 frg pkt *source\_ip\_address* -> *destination\_ip\_address*

**長構文:** IP.064 Packet from *source\_ip\_address* for *destination\_ip\_address* requires fragmentation

**説明:** このメッセージは、伝送するために IP パケット



を断片化する必要がある場合に生成されます。

---

#### IP.065

レベル: C-TRACE

短構文: IP.065 add frg to op frg q *source\_ip\_address*  
-> *destination\_ip\_address*

長構文: IP.065 Added fragment to output fragment  
queue from *source\_ip\_address* for *destination\_ip\_address*

説明: このメッセージは、IP パケットの断片が出力断  
片待ち行列に入れられた場合に生成されます。

---

#### IP.066

レベル: P-TRACE

短構文: IP.066 dsc pkt *source\_ip\_address* ->  
*destination\_ip\_address* nt *Network ID* no IP on int

長構文: IP.066 Discarded packet from *source\_ip\_address*  
for *destination\_ip\_address* net *Network ID*, no IP on  
interface

説明: このメッセージは、IP が使用可能にされていな  
いインターフェースでパケットが受信されるたびに、ス  
タブ IP 転送機能によって生成されます。

---

#### IP.067

レベル: UE-ERROR

短構文: IP.067 RIPv1 subnet mismatch  
*interface\_ip\_address/ interface\_ip\_mask* vs  
*interface\_ip\_address/ interface\_ip\_mask*

長構文: IP.067 RIP version 1 subnets with different  
masks for interface *interface\_ip\_address/ interface\_ip\_mask*  
and *interface\_ip\_address/ interface\_ip\_mask*

説明: 同一のネットワーク上に可変長サブネット・マ  
スクを指定して、ルーターが構成されています。RIP バ  
ージョン 1 では、この構成を用いてこれらのサブネッ  
トを公示しません。

---

#### IP.068

レベル: U-INFO

短構文: IP.068 routing cache cleared

長構文: IP.068 routing cache cleared

説明: IP ルーティング・キャッシュがクリアされてい  
ます。ルーティング・テーブルの変更の結果であろうと  
思われます。

---

#### IP.069

レベル: U-INFO

短構文: IP.069 routing cache garbage collecting...

長構文: IP.069 routing cache garbage collecting...

説明: IP ルーティング・キャッシュが無意味なデー  
タを収集しています。これには数回のバスを要し、これ  
が行われるのは、キャッシュがオーバーフローし始めた場  
合だけです。

---

#### IP.070

レベル: U-INFO

短構文: IP.070 cache entry *ip\_destination* cleared

長構文: IP.070 routing cache entry for destination  
*ip\_destination* cleared

説明: リストされているあて先に関する IP ルーティン  
グ・キャッシュ項目がクリアされました。

---

#### IP.072

レベル: UE-ERROR

短構文: IP.072 LL broadcast *source\_ip\_address* ->  
*destination\_ip\_address*, discarded

長構文: IP.072 Received link level broadcast from  
*source\_ip\_address* for *destination\_ip\_address*, discarded

説明: このメッセージが生成されるのは、リンク・レ  
ベルの同報通信/マルチキャストとして受信した IP パケ  
ットの送信を試みた場合です。そのようなパケットは送  
信されることなく、ICMP メッセージを発信元に送り返  
すことさえしないで、廃棄されます。

---

#### IP.073

レベル: UI-ERROR

短構文: IP.073 can't copy *source\_ip\_address* ->  
*destination\_ip\_address*, discarded

長構文: IP.073 Can't copy packet from  
*source\_ip\_address* for *destination\_ip\_address*, discarded

説明: このメッセージは、ルーターの内部アプリケー  
ションの 1 つへのパケットをコピーしようとした  
が (たとえば、マルチキャスト転送時)、ルーターがパ  
ッファーを入手できない場合に生成されます。要求され  
たサービスは失敗します。

原因: この構成およびトラフィックをサポートできる  
十分な記憶域がありません。

処置: GWCON 内の記憶域統計を検査して、パケッ

ト・バッファ・レベルを確認してください。メモリーをアップグレードして増やすか、不要な転送機能/プロトコルを使用不可にして、記憶域を獲得してください。

---

#### IP.078

レベル: C-TRACE

短構文: IP.078 AcCtl miss drop: *source\_ip\_address* -> *destination\_ip\_address*, *tos tos\_byte*, *prot protocol*, *net networkID*: *direction*

長構文: IP.078 Access control miss dropped, packet from *source\_ip\_address* to *destination\_ip\_address*, *tos tos\_byte*, protocol number *protocol*, net *networkID*, direction *direction*

説明: このメッセージは、IP パケットがアクセス制御レコードのどれとも合致しない場合に生成されます。パケットは廃棄されます。

---

#### IP.079

レベル: C-TRACE

短構文: IP.079 AcCtl miss drop: *source\_ip\_address* -> *destination\_ip\_address*, *tos tos\_byte*, *protocol port source\_port* -> *destination\_port*, *net networkID*: *direction*

長構文: IP.079 Access control miss dropped, packet from *source\_ip\_address* to *destination\_ip\_address*, *tos tos\_byte*, protocol port number *source\_port* to *destination\_port*, net *networkID*, direction *direction*

説明: このメッセージは、IP パケットがアクセス制御レコードのどれとも合致しない場合に生成されます。パケットは廃棄されます。

---

#### IP.080

レベル: U-TRACE

短構文: IP.080 new router *router\_address*

長構文: IP.080 new router *router\_address* has been discovered

説明: 静的構成、ICMP 着信転送、RIP または ICMP のルーター探索のいずれかにより、新しいルーターが発見されました。このメッセージは、IP ホストとして作動している場合 (すなわち、IP ルーティングが使用不可にされている場合) にのみ生成されます。

---

#### IP.081

レベル: UE-ERROR

短構文: IP.081 IP ds nt rn on *nettype/ n\_net*

長構文: IP.081 IP protocol does not run over *nettype/ n\_net*

説明: IP アドレスが、現在 IP をサポートしていないネットワーク・タイプに対して構成されました。

---

#### IP.082

レベル: UE-ERROR

短構文: IP.082 shrt pkt ln *packet\_length*, *source\_ip\_address* -> *destination\_ip\_address*

長構文: IP.082 IP length of *packet\_length* in packet from *source\_ip\_address* -> *destination\_ip\_address* is too short

説明: このメッセージは、パケットの指摘されている長さが、可能な最小長より短い場合に生成されます。パケットは廃棄されます。

原因: 最も考えられる原因は、発信元によってこのパケットが正しく形式設定されていないことです。

---

#### IP.083

レベル: C-TRACE

短構文: IP.083 AcCtl # *record\_number* drop: *cache\_status*, *source\_ip\_address* -> *destination\_ip\_address*, *tos tos\_byte*, *prot protocol\_number*, *net networkID*: *direction*

長構文: IP.083 Access control number *record\_number* dropped, *cache\_status*, packet from *source\_ip\_address* to *destination\_ip\_address*, *tos tos\_byte*, IP protocol number *protocol\_number*, net *networkID*, direction *direction*

説明: このメッセージは、IP パケットが排他的アクセス制御項目の 1 つに合致している場合に生成されます。パケットは廃棄されます。*record\_number* は、合致したアクセス制御レコードの番号、またはレコードがない場合 (リストの終わり) はゼロです。*cache\_status* は、"cache-hit" または "cache-miss" です。

---

#### IP.084

レベル: C-TRACE

短構文: IP.084 AcCtl # *record\_number* pass: *cache\_status*, *source\_ip\_address* -> *destination\_ip\_address*, *tos tos\_byte*, *prot protocol\_number*, *net networkID*: *direction*

長構文: IP.084 Access control number *record\_number* passed, *cache\_status*, packet from *source\_ip\_address* to *destination\_ip\_address*, *tos tos\_byte*, IP protocol number *protocol\_number*, net *networkID*, direction *direction*

**説明:** このメッセージは、IP パケットが包括的アクセス制御項目の 1 つに合致している場合に生成されず。パケットはおそらく転送されず。record\_number は、合致したアクセス制御レコードの番号です。cache\_status は、"cache-hit" または "cache-miss" です。

---

#### IP.085

**レベル:** C-TRACE

**短構文:** IP.085 AcCtl # record\_number drop:  
cache\_status, source\_ip\_address -> destination\_ip\_address,  
tos tos\_byte, protocol port source\_port ->  
destination\_port, net networkID: direction

**長構文:** IP.085 Access control number record\_number dropped, cache\_status, packet from source\_ip\_address to destination\_ip\_address, tos tos\_byte, protocol port number source\_port to destination\_port, net networkID, direction direction

**説明:** このメッセージは、IP パケットが TCP または UDP 排他的アクセス制御項目の 1 つに合致している場合に生成されます。パケットは廃棄されます。record\_number は、合致したアクセス制御レコードの番号、またはレコードがない場合 (リストの終わり) はゼロです。cache\_status は、"cache-hit" または "cache-miss" です。

---

#### IP.086

**レベル:** C-TRACE

**短構文:** IP.086 AcCtl # record\_number pass:  
cache\_status, source\_ip\_address -> destination\_ip\_address,  
tos tos\_byte, protocol port source\_port ->  
destination\_port, net networkID: direction

**長構文:** IP.086 Access control number record\_number passed, cache\_status, packet from source\_ip\_address to destination\_ip\_address, tos tos\_byte, protocol port number source\_port to destination\_port, net networkID, direction direction

**説明:** このメッセージは、IP パケットが TCP または UDP 包括的アクセス制御項目の 1 つに合致している場合に生成されます。パケットはおそらく転送されます。record\_number は、合致したアクセス制御レコードの番号です。cache\_status は、"cache-hit" または "cache-miss" です。

---

#### IP.087

**レベル:** U-INFO

**短構文:** IP.087 Host svcs not instld; no IP addr

**長構文:** IP.087 Host services is not installed as there is no IP address

**説明:** このメッセージは、ホスト・サービスが使用可能になっているときに生成されますが、IP アドレスが構成されていないか、あるいはゼロです。

---

#### IP.088

**レベル:** INFO

**短構文:** IP.088 Autocnfg IP addr for host svcs

**長構文:** IP.088 IP host address, and default gateway are being autoconfigured

**説明:** このメッセージは、ホスト・サービスが使用可能になっているときに生成されますが、IP アドレスが構成されていないか、あるいはゼロです。IP アドレスと省略時解釈ゲートウェイ (構成済みでない場合は、以前のブート情報があれば、その情報から自動構成されます)。

---

#### IP.089

**レベル:** C-TRACE

**短構文:** IP.089 AcCtl # rule\_number rule\_type:  
source\_ip\_address -> destination\_ip\_address, tos tos\_byte,  
protocol\_name port source\_port\_number ->  
destination\_port\_number, frg fragment\_offset  
more\_fragments, net networkID: direction (SYSLOG  
syslog\_level)

**長構文:** IP.089 Access control number rule\_number type rule\_type, matched packet from source\_ip\_address to destination\_ip\_address, tos tos\_byte, protocol\_name port number source\_port\_number to destination\_port\_number, fragment fragment\_offset more\_fragments, net networkID, direction direction (SYSLOG level syslog\_level)

**説明:** IP パケット (プロトコル TCP または UDP) は、SYSLOG 長形式ログが使用可能にされているアクセス制御規則に合致しました。規則のタイプに応じて、パケットは転送または廃棄されます。

---

#### IP.090

**レベル:** C-TRACE

**短構文:** IP.090 AcCtl # rule\_number rule\_type:  
source\_ip\_address -> destination\_ip\_address, tos tos\_byte,  
prot protocol\_number, frg fragment\_offset more\_fragments,

net networkID: direction (SYSLOG syslog\_level)

**長構文:** IP.090 Access control number rule\_number type rule\_type, matched packet from source\_ip\_address to destination\_ip\_address, tos tos\_byte, protocol number protocol\_number, fragment fragment\_offset more\_fragments, net networkID, direction direction (SYSLOG level syslog\_level)

**説明:** IP パケット (プロトコル TCP または UDP でない) は、SYSLOG 長形式ログが使用可能にされているアクセス制御規則に合致しました。規則のタイプに応じて、パケットは転送または廃棄されます。

---

### IP.091

**レベル:** C-TRACE

**短構文:** IP.091 AcCtl # rule\_number rule\_type: source\_ip\_address -> destination\_ip\_address, tos tos\_byte, prot protocol\_number (SYSLOG syslog\_level)

**長構文:** IP.091 Access control number rule\_number type rule\_type, matched packet from source\_ip\_address to destination\_ip\_address, tos tos\_byte, protocol number protocol\_number (SYSLOG level syslog\_level)

**説明:** IP パケットは、SYSLOG 短形式ログが使用可能にされているアクセス制御規則に合致しました。規則のタイプに応じて、パケットは転送または廃棄されます。

---

### IP.092

**レベル:** C-TRACE

**短構文:** IP.092 AcCtl # rule\_number pass: source\_ip\_address -> destination\_ip\_address, tos tos\_byte, prot protocol\_number protocol\_name, frg fragment\_offset more\_fragments, net networkID: direction

**長構文:** IP.092 Access control number rule\_number action pass, matched packet from source\_ip\_address to destination\_ip\_address, tos tos\_byte, protocol number protocol\_number protocol\_name, fragment offset fragment\_offset more\_fragments, net networkID, direction direction

**説明:** IP パケットは、SNMP ログが使用可能にされている包括的アクセス制御規則に合致しました。パケットは転送されます。

---

### IP.093

**レベル:** C-TRACE

**短構文:** IP.093 AcCtl # rule\_number drop: source\_ip\_address -> destination\_ip\_address, tos tos\_byte, prot protocol\_number protocol\_name, frg fragment\_offset

more\_fragments, net networkID: direction

**長構文:** IP.093 Access control number rule\_number action drop, matched packet from source\_ip\_address to destination\_ip\_address, tos tos\_byte, protocol number protocol\_number protocol\_name, fragment offset fragment\_offset more\_fragments, net networkID, direction direction

**説明:** IP パケットが、SNMP ログが使用可能にされている排他的アクセス制御規則に合致しました。パケットは廃棄されます。

---

### IP.094

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** IP.094 Add appl prot protocol\_number port local\_port adr local\_ip\_address adp adapter\_number conflicts adp adapter\_number

**長構文:** IP.094 Add application protocol protocol\_number local port local\_port local IP address local\_ip\_address on adapter adapter\_number conflicts with application on adapter adapter\_number

**説明:** 最初に指定されたアダプターに指定の IP プロトコル番号、ローカル TCP または UDP ポート番号、およびローカル IP アドレスを使用するアプリケーションを追加しようという試みが、2 番目に指定されたアダプター上の同じパラメーターを使用するアプリケーションと競合しています。アプリケーションは、2 番目に指定されたアダプター上に残ります。

**原因:** ソフトウェア・エラー

**処置:** サービス技術員に連絡してください。

---

### IP.095

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** IP.095 Add appl prot protocol\_number port local\_port adr local\_ip\_address adp adapter\_number replaces adp adapter\_number

**長構文:** IP.095 Add application protocol protocol\_number local port local\_port local IP address local\_ip\_address on adapter adapter\_number replaces application on adapter adapter\_number

**説明:** 最初に指定されたアダプターに指定の IP プロトコル番号、ローカル TCP または UDP ポート番号、およびローカル IP アドレスを使用するアプリケーションを追加しようという試みが、2 番目に指定されたアダプター上の同じパラメーターを使用するアプリケーションと競合しています。最初に指定されたアダプター上のアプリケーションが取って代わっています。

原因: ソフトウェア・エラー

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

#### IP.096

レベル: UI-ERROR

短構文: IP.096 Del appl prot *protocol\_number* port *local\_port* adr *local\_ip\_address* adp *adapter\_number* conflicts adp *adapter\_number*

長構文: IP.096 Delete application protocol *protocol\_number* local port *local\_port* local IP address *local\_ip\_address* from adapter *adapter\_number* conflicts with application on adapter *adapter\_number*

説明: 最初に指定されたアダプターから指定の IP プロトコル番号、ローカル TCP または UDP ポート番号、およびローカル IP アドレスを使用するアプリケーションを削除しようという試みが、2 番目に指定されたアダプター上の同じパラメーターを使用するアプリケーションと競合しています。アプリケーションは、2 番目に指定されたアダプター上に残ります。

原因: ソフトウェア・エラー

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

#### IP.097

レベル: U-TRACE

短構文: IP.097 Route *destination\_ip\_address/ mask status*

長構文: IP.097 Route for *destination\_ip\_address* with mask *mask status*

説明: 経路は、IP 経路テーブルからフィルターされたか、または経路テーブル・フィルター・ポリシーのせいで、隠れた経路としてインストールされました。

---

#### IP.098

レベル: ALWAYS

短構文: IP.098 Route filter *destination\_ip\_address/ mask/ mask\_definition/ exclude\_include* not added due to *problem*

長構文: IP.098 The route filter for Dest: *destination\_ip\_address* mask: *mask* Designation: *mask\_definition* and policy: *exclude\_include* not added due to *problem*.

説明: 経路テーブル・フィルターは追加できませんでした。

原因: 重複テーブル・フィルターであるか、経路テーブル・フィルター用として記憶域を割り振ることができ

なかったか、いずれかです。

処置: 十分な記憶域を確保して、経路フィルター・ポリシーをインストールできるようにします。

---

#### IP.099

レベル: U-TRACE

短構文: IP.099 Dropped src rt pkt *source\_ip\_address* -> *destination\_ip\_address*

長構文: IP.099 Dropped source routed packet from *source\_ip\_address* to *destination\_ip\_address*

説明: パケットがソース経路 IP オプションを持っていますが、ユーザーが IP ソース・ルーティングを使用不可にしているため、転送機能がパケットを廃棄しました。

---

#### IP.101

レベル: C-TRACE

短構文: IP.101 Frg offset chk drop, *source\_ip\_address* -> *destination\_ip\_address*, net *networkID*

長構文: IP.101 Fragment offset check dropped packet from *source\_ip\_address* to *destination\_ip\_address*, received from net *networkID*

説明: IP パケット (プロトコル TCP) は、断片オフセットが 1 であるために廃棄されました。

---

#### IP.102

レベル: C-TRACE

短構文: IP.102 Src adr chk drop, *source\_ip\_address* -> *destination\_ip\_address*, prot *protocol\_number*, net *networkID*

長構文: IP.102 Source address check dropped packet from from *source\_ip\_address* to *destination\_ip\_address*, protocol number *protocol\_number*, received from net *networkID*

説明: ルーターは、受信したパケットの発信元 IP アドレスに達するためにパケットを送信するのに使用しないネットワーク・インターフェースから受信したために、IP パケットを廃棄しました。

---

#### IP.103

レベル: C-TRACE

短構文: IP.103 Rcrd Rt opt drop, *source\_ip\_address* -> *destination\_ip\_address*

長構文: IP.103 Packet with record route option dropped,



from *source\_ip\_address* to *destination\_ip\_address*

**説明:** レコード経路オプションを含んでいるパケットの転送が使用不可にされているために、レコード経路オプションを含んでいる IP パケットが廃棄されました。

---

#### IP.104

**レベル:** C-TRACE

**短構文:** IP.104 Tmstmp opt drop, *source\_ip\_address* -> *destination\_ip\_address*

**長構文:** IP.104 Packet with timestamp option dropped, from *source\_ip\_address* to *destination\_ip\_address*

**説明:** タイム・スタンプ・オプションを含んでいるパケットの転送が使用不可にされているために、タイム・スタンプ・オプションを含んでいる IP パケットが廃棄されました。

---

#### IP.105

**レベル:** C-TRACE

**短構文:** IP.105 AcCtl # *rule\_number rule\_type*: *source\_ip\_address* -> *destination\_ip\_address*, tos *tos\_byte*, *protocol\_name* port *source\_port\_number* -> *destination\_port\_number*, frg *fragment\_offset* *more\_fragments*, net *networkID*: *direction*

**長構文:** IP.105 Access control number *rule\_number* type *rule\_type*, matched packet from *source\_ip\_address* to *destination\_ip\_address*, tos *tos\_byte*, *protocol\_name* port number *source\_port\_number* to *destination\_port\_number*, fragment *fragment\_offset* *more\_fragments*, net *networkID*, direction *direction*

**説明:** IP パケット (プロトコル TCP または UDP) は、ELS 長形式ログが使用可能にされているアクセス制御規則に合致しました。規則のタイプに応じて、パケットは転送または廃棄されます。

---

#### IP.106

**レベル:** C-TRACE

**短構文:** IP.106 AcCtl # *rule\_number rule\_type*: *source\_ip\_address* -> *destination\_ip\_address*, tos *tos\_byte*, prot *protocol\_number*, frg *fragment\_offset* *more\_fragments*, net *networkID*: *direction*

**長構文:** IP.106 Access control number *rule\_number* type *rule\_type*, matched packet from *source\_ip\_address* to *destination\_ip\_address*, tos *tos\_byte*, protocol number *protocol\_number*, fragment *fragment\_offset* *more\_fragments*, net *networkID*, direction *direction*

**説明:** IP パケット (プロトコル TCP または UDP で

ない) は、ELS 長形式ログが使用可能にされているアクセス制御規則に合致しました。規則のタイプに応じて、パケットは転送または廃棄されます。

---

#### IP.107

**レベル:** C-TRACE

**短構文:** IP.107 AcCtl # *rule\_number rule\_type*: *source\_ip\_address* -> *destination\_ip\_address*, tos *tos\_byte*, prot *protocol\_number*

**長構文:** IP.107 Access control number *rule\_number* type *rule\_type*, matched packet from *source\_ip\_address* to *destination\_ip\_address*, tos *tos\_byte*, protocol number *protocol\_number*

**説明:** IP パケットは、ELS 短形式ログが使用可能にされているアクセス制御規則に合致しました。規則のタイプに応じて、パケットは転送または廃棄されます。

---

#### IP.108

**レベル:** C-TRACE

**短構文:** IP.108 AcCtl miss frg *action*: *source\_ip\_address* -> *destination\_ip\_address*, tos *tos\_byte*, prot *protocol*, frg *fragment\_offset* *more\_fragments*, net *networkID*: *direction*

**長構文:** IP.108 Access control miss fragment *action*, from *source\_ip\_address* to *destination\_ip\_address*, tos *tos\_byte*, protocol number *protocol*, fragment *fragment\_offset* *more\_fragments*, net *networkID*, direction *direction*

**説明:** IP 断片は、どのアクセス制御規則にも合致しませんでした。パケットは廃棄されるか、後で処理するために保管されます。

---

#### IP.109

**レベル:** P-TRACE

**短構文:** IP.109 Pkt drop/held by *function*, *source\_ip\_address* -> *destination\_ip\_address*, dir *direction*

**長構文:** IP.109 Packet dropped or held by *function*, packet from *source\_ip\_address* to *destination\_ip\_address*, direction *direction*

**説明:** このメッセージは、アクセス制御がパケットを変換する必要があることを示しており、変換機能の NAT がそのパケットを廃棄または保持する場合に生成されます。



---

**IP.110**

レベル: U-INFO

短構文: IP.110 *packet\_filter\_name* AcCtl # *rule\_number* changed: *change\_description*

長構文: IP.110 *packet\_filter\_name* access control number *rule\_number* changed at installation: *change\_description*

説明: アクセス制御規則の導入時に、規則に矛盾が検出され、その矛盾を解決するために規則の一部が変更されました。

処置: アクセス制御規則を再構成して、矛盾を訂正してください。

---

**IP.111**

レベル: C-INFO

短構文: IP.111 *common\_event*: id=x *ip\_id* src=*source\_ip\_address*

長構文: IP.111 *common\_event*: id=x *ip\_id* src=*source\_ip\_address*

説明: このメッセージは、正常な事象が発生したときに、断片キャッシュ処理によって生成されます。

---

**IP.112**

レベル: C-INFO

短構文: IP.112 *common\_event* for frg *fragment\_offset* *more\_fragments*: id=x *ip\_id* src=*source\_ip\_address*

長構文: IP.112 *common\_event* for frg *fragment\_offset* *more\_fragments*: id=x *ip\_id* src=*source\_ip\_address*

説明: このメッセージは、正常な事象が発生したときに、断片キャッシュ処理によって生成されます。

---

**IP.113**

レベル: U-INFO

短構文: IP.113 *unusual\_event*: id=x *ip\_id* src=*source\_ip\_address*

長構文: IP.113 *unusual\_event*: id=x *ip\_id* src=*source\_ip\_address*

説明: このメッセージは、異常な事象が発生したときに、断片キャッシュ処理によって生成されます。

---

**IP.114**

レベル: UI-ERROR

短構文: IP.114 *error\_event*: id=x *ip\_id* src=*source\_ip\_address*

長構文: IP.114 *error\_event*: id=x *ip\_id* src=*source\_ip\_address*

説明: このメッセージは、エラー事象が発生したときに、断片キャッシュ処理によって生成されます。

---

**IP.115**

レベル: U-INFO

短構文: IP.115 nt *network* int *change/unchanged/old-mtu* mtu *new-mtu* from to

長構文: IP.115 Network *network* interface *change/unchanged/old-mtu* MTU *new-mtu* from to

説明: このメッセージは、ネットワークのアップ処理時に IP mtu が変更されたときに出されます。レイヤー 2 MTU が構成された IP より小さい場合は、変更されないままになります。

---

**IP.116**

レベル: UE-ERROR

短構文: IP.116 rcvd pkt len *ip\_datagram\_length* too short for GRE *source\_ip\_address-> destination\_ip\_address*

長構文: IP.116 Received packet length *ip\_datagram\_length* too short for GRE, from *source\_ip\_address* to *destination\_ip\_address*

説明: 汎用ルーター・カプセル化 (GRE) プロトコル用に受信した IP データグラムが短過ぎて、最小の GRE ヘッダーが入りません。データグラムは廃棄されます。

---

**IP.117**

レベル: UE-ERROR

短構文: IP.117 bd GRE cks 0x *checksum* (exp 0x *expected\_checksum*) lcl *local\_ip\_address* rmt *remote\_ip\_address* prot 0x

長構文: IP.117 Bad GRE checksum 0x *checksum* (expected 0x *expected\_checksum*) in packet to *local\_ip\_address* from *remote\_ip\_address* GRE protocol 0x

説明: 汎用ルーター・カプセル化 (GRE) プロトコル用に受信した IP データグラムに、無効な GRE チェックサムが入っています。データグラムは廃棄されます。

---

**IP.118**

レベル: UE-ERROR

短構文: IP.118 GRE src rtng not supported lcl *local\_ip\_address* rmt *remote\_ip\_address* prot 0x *gre\_protocol\_type*

**長構文:** IP.118 GRE source routing not supported, local address *local\_ip\_address*, remote address *remote\_ip\_address*, GRE protocol 0x *gre\_protocol\_type*

**説明:** 汎用ルーター・カプセル化 (GRE) プロトコル用に受信した IP データグラムが GRE ソース・ルーティングを指定していますが、ローカル・ルーターは GRE ソース・ルーティングをサポートしていません。データグラムは廃棄されます。

**原因:** GRE ソース経路は、リモート・ルーターで構成されます。

**処置:** リモート・ルーターの構成から GRE ソース経路を除去してください。

---

### IP.119

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** IP.119 rcvd GRE pkt for inactive tnl lcl *local\_ip\_address* rmt *remote\_ip\_address* prot 0x *gre\_protocol\_type*

**長構文:** IP.119 Received GRE packet for inactive tunnel, local address *local\_ip\_address*, remote address *remote\_ip\_address*, GRE protocol 0x *gre\_protocol\_type*

**説明:** 汎用ルーター・カプセル化 (GRE) プロトコル用に受信した IP データグラムが、このルーターでアクティブでない GRE トンネル用であるか、このルーターでこの GRE トンネルを使用するように構成されていない GRE ペイロード・プロトコル用です。データグラムは廃棄されます。

**原因:** ローカル・ルーターとリモート・ルーター間の GRE トンネルは、ローカル・ルーターではなくローカル・ルーターで構成されます。

**処置:** GRE トンネルをローカル・ルーターに追加するか、リモート・ルーターから除去します。

**原因:** ローカル・ルーターでこの GRE トンネル用に構成されたローカル IP アドレスまたはリモート IP アドレスが、リモート・アドレスで構成されたリモート IP アドレスまたはローカル IP アドレスに一致しません。

**処置:** ローカル・ルーターまたはリモート・ルーターでこの GRE トンネル用の構成を訂正します。

**原因:** GRE ペイロード・プロトコルは、この GRE トンネルを、ローカル・ルーターではなく、リモート・ルーターで使用するよう構成されています。

**処置:** ペイロード・プロトコルをローカル・ルーター内の GRE トンネルで構成するか、リモート・ルーター上の GRE トンネルから除去します。

---

### IP.120

**レベル:** U-INFO

**短構文:** IP.120 bfr unavl, GRE pkt dropped, lcl *local\_ip\_address* rmt *remote\_ip\_address* prot 0x *gre\_protocol\_type*

**長構文:** IP.120 Buffer unavailable, GRE packet dropped, local address *local\_ip\_address*, remote address *remote\_ip\_address*, GRE protocol 0x *gre\_protocol\_type*

**説明:** 汎用ルーター・カプセル化 (GRE) プロトコル用に受信した IP データグラムに利用可能なバッファがありません。データグラムは廃棄されます。

---

### IP.121

**レベル:** P-TRACE

**短構文:** IP.121 GRE rcvd lcl *local\_ip\_address* rmt *remote\_ip\_address* prot 0x *gre\_protocol\_type*

**長構文:** IP.121 GRE packet received, local address *local\_ip\_address*, remote address *remote\_ip\_address*, GRE protocol 0x *gre\_protocol\_type*

**説明:** 汎用ルーター・カプセル化 (GRE) プロトコル用に受信された IP データグラムが GRE ペイロード・プロトコルに渡されています。

---

### IP.122

**レベル:** U-INFO

**短構文:** IP.122 No mem for GRE tnl lcl *local\_ip\_address* rmt *remote\_ip\_address* prot 0x *gre\_protocol\_type*

**長構文:** IP.122 No memory for GRE tunnel, local address *local\_ip\_address*, remote address *remote\_ip\_address*, GRE protocol 0x *gre\_protocol\_type*

**説明:** 指定された汎用ルーター・カプセル化 (GRE) に記憶域を割り振ることができません。

---

### IP.123

**レベル:** P-TRACE

**短構文:** IP.123 GRE sent lcl *local\_ip\_address* rmt *remote\_ip\_address* prot 0x *gre\_protocol\_type*

**長構文:** IP.123 GRE packet sent, local address *local\_ip\_address*, remote address *remote\_ip\_address*, GRE protocol 0x *gre\_protocol\_type*

**説明:** 汎用ルーター・カプセル化 (GRE) プロトコル用の IP データグラムが、伝送に備えて IP に渡されました。

---

## IP.124

レベル: C-TRACE

短構文: IP.124 DScache *action: source\_ip\_address-> destination\_ip\_address tos= tos\_byte prot= protocol\_number info= protocol\_info inNet= in\_net\_number*

長構文: IP.124 DiffServ cache *action, matched packet from source\_ip\_address to destination\_ip\_address, tos tos\_byte, protocol number protocol\_number info protocol\_info inbound net number in\_net\_number*

説明: IP パケットは、IP DiffServ キャッシュ内のエントリーに一致していました。パケットは、エントリーの処置に応じて、渡されるか、廃棄されます。

---

## IP.125

レベル: P\_TRACE

短構文: IP.125 Trace IP datagram.

長構文: IP.125 Trace IP datagram.

説明: IP データグラムをトレースしています。

---

## Panic ininitnomem

短構文: IP: no mem for init

説明: ルーターが IP 初期化中に記憶域不足になりました。

処置: 記憶域を追加するか、あるいは再構成して記憶域の使用量を減らしてください (たとえば、IP ルーティング・テーブルのサイズを小さくしたり、IP アドレスの数を減らします)。

---

## 第57章 次世代インターネット・プロトコル (IP V6)

この章では、次世代インターネット・プロトコル (IP V6) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### IPV6.001

レベル: U-INFO

短構文: `IPV6.001 q ovrf source_ipv6_address -> destination_ipv6_address nt network ID`

長構文: `IPV6.001 Queue overflow on packet from source_ipv6_address for destination_ipv6_address from net network ID`

説明: このメッセージは、入力待ち行列オーバーフローのために、転送機能が IPv6 キャッシュを介して転送されなかったパケットを廃棄しなければならない場合に生成されます。この事象は ELS ではカウントされず、IPv6 コンソールでカウントされます。

IPV6>COUNTERS コマンドを使用して、カウンター（各入力ネットワーク別に維持されている）を読み取ることができます。

原因: 入力待ち行列オーバーフローは、バッファが不足しているインターフェースからパケットを受信し、着信先が IPv6 キャッシュではなく、しかも IP 待ち行列の長さが公平シェアより大きい場合に発生します。原因は、バースト状態または定常状態で、IPv6 転送機能の伝送能力より速くトラフィックが到着していることが考えられます。

処置: トラフィックのバーストを減らしてください。より高速のルーターにアップグレードしてください。

原因: 過度の IPv6 ルーティング・キャッシュ・ミスにより、ほとんどの IPv6 パケットがキャッシュ・ミス転送機能を通過しています。

処置: IPv6 キャッシュのサイズを大きくしてください。

---

### IPV6.002

レベル: UE-ERROR

短構文: `IPV6.002 not V6 hdr version_number nt network ID`

長構文: `IPV6.002 Not version 6 header (version_number) in packet from net network ID`

説明: このメッセージは、パケットが正しくないバージョン番号を持っているときに生成されます。

原因: IPv6 転送機能では他のバージョンの IP パケッ

トを受信するはずはないので、おそらくこのパケットが損傷しています。

処置: 問題が引き続き起こる場合は、回線トレースを調べて、パケットが損傷する箇所を判別してください。

---

### IPV6.003

レベル: UE-ERROR

短構文: `IPV6.003 shrt hdr packet_length_just_header pkt ln packet_length nt network ID`

長構文: `IPV6.003 Packet too short (packet_length_just_header bytes) in packet_length byte packet from net network ID`

説明: このメッセージは、パケットの指摘されているヘッダー長が、可能な最小長より短い (IPv6 ヘッダーのサイズより短い) 場合に生成されます。

原因: おそらく、パケットが損傷しています。別のノードが、正しくないヘッダーを作成している可能性があります。

処置: 問題が引き続き起こる場合は、回線トレースを調べて、パケットが損傷する箇所を判別してください。

---

### IPV6.004

レベル: U-INFO

短構文: `IPV6.004 pkt source_ipv6_address -> destination_ipv6_address dsc, mcst src addr`

長構文: `IPV6.004 Invalid source IP6 address (multicast or anycast) source_ipv6_address for destination_ipv6_address; packet discarded`

説明: このメッセージは、無効な発信元 IPv6 アドレスのために、パケットが廃棄された場合に生成されません。

---

### IPV6.005

レベル: UE-ERROR

短構文: `IPV6.005 pkt trunc specified_length pkt ln true_length source_ipv6_address -> destination_ipv6_address`

長構文: `IPV6.005 Packet len too short: IP len`

*specified\_length* bytes Buffer len *true\_length* bytes, from *source\_ipv6\_address* for *destination\_ipv6\_address*; packet discard

**説明:** このメッセージは、ヘッダーに指定されているパケット長が、パケット・バッファ長より大きい場合に生成されます。

**原因:** 転送時のパケットの破壊

**処置:** 問題が引き続き起こる場合は、ネットワークおよびルーターを検査してください。

**原因:** リモート・ノードでのプログラム・エラー

---

#### IPV6.006

**レベル:** CI-ERROR

**短構文:** IPV6.006 pkt *source\_ipv6\_address* -> *destination\_ipv6\_address* dsc rsn *reason\_code*, nt *Network ID*

**長構文:** IPV6.006 Packet from *source\_ipv6\_address* for *destination\_ipv6\_address* discarded for reason *reason\_code*, network *Network ID*

**説明:** 指定のネットワークでパケットを送信しようとしたが、そのネットワークでの転送は受け入れられませんでした。reason\_code に、パケットが受け入れられなかった理由が示されています。理由がオーバーフローの場合、パケットは廃棄されます。その他の理由コードの場合には、ICMP 着信先到達不可能メッセージが送信されます。

**原因:** 各種のハンドラー・エラー (理由コード 1)

**処置:** ハンドラーからのエラー・メッセージを検査して、network\_name を調べてください。

**原因:** 出力待ち行列オーバーフローまたはその他のフロー制御 (理由コード 2)

**処置:** 輻輳 (ふくそう) を緩和してください。

**原因:** ネットワークがダウン (理由コード 3)

**処置:** ネットワークがダウンしているとハンドラーが判断した理由を調べてください。

**原因:** ループまたはよくない同報通信を回避するために、ハンドラーによって除去された (理由コード 4)。

**処置:** 構成を検査してください。

**原因:** ホストがダウン (理由コード 5)

**処置:** ホストがダウンしているとハンドラーが判断した理由を調べてください。

---

#### IPV6.007

**レベル:** P-TRACE

**短構文:** IPV6.007 *source\_ipv6\_address* -> *destination\_ipv6\_address* next\_header location

**長構文:** IPV6.007 Accepting packet from *source\_ipv6\_address* for *destination\_ipv6\_address* next header next\_header at location

**説明:** このメッセージは、第 1 レベル合理性検査に合格した各パケットに対して生成されます。

---

#### IPV6.008

**レベル:** U-INFO

**短構文:** IPV6.008 no rte *source\_ipv6\_address* -> *destination\_ipv6\_address* dsc

**長構文:** IPV6.008 No route for packet from *source\_ipv6\_address* for *destination\_ipv6\_address*; packet discarded

**説明:** このメッセージは、あて先への経路が存在しないために、パケットが廃棄された場合に生成されます。

---

#### IPV6.009

**レベル:** CE-ERROR

**短構文:** IPV6.009 hop limit zero *source\_ipv6\_address* -> *destination\_ipv6\_address*

**長構文:** IPV6.009 Hop limit reaches zero from *source\_ipv6\_address* for *destination\_ipv6\_address*

**説明:** このメッセージは、ホップ限界がゼロに達したために、パケットが廃棄された場合に生成されます。

**原因:** パケットは、発信元が IPV6 ヘッダーのホップ限界フィールドに入れた初期値よりも多くのルーターを経由しました。旧型システムの多くは 15 または 30 の値を使用していますが、これは標準に適合しておらず、現行ネットワークには小さ過ぎることがしばしばあります。

**処置:** 初期ホップ限界値を増やしてください。

**原因:** パケットはルーティング・ループに入ってしまった、ホップ限界がゼロに達するまで、一連のルーターを何回も巡回しています。

**処置:** パケットの発信元からあて先までのルーティングを検査して、ループがないかどうかを調べてください。ただし、一部のルーティング・プロトコルでは、経路のタイムアウトの結果としての一時的なループは避けられません。



---

**IPV6.010**

レベル: U-INFO

短構文: IPV6.010 dsc pkt *source\_IPV6\_address* -> *destination\_IPV6\_address*, dst lnk-lcl addr not ours, nt *Network ID*

長構文: IPV6.010 Discarded packet from *source\_IPV6\_address* for *destination\_IPV6\_address* net *Network ID*

説明: このメッセージは、受信したパケットのあて先アドレスが、このインターフェースのリンク・ローカル・アドレスと一致しないリンク・ローカル・アドレスである場合に生成されます。

原因: このパケットの送信元の問題

処置: このパケットの送信元を検査してください。

---

**IPV6.011**

レベル: C-INFO

レベル: PARAM

短構文: IPV6.011 unsup mcst *source\_ipv6\_address* -> *destination\_ipv6\_address*

長構文: IPV6.011 Unsupported multicast from *source\_ipv6\_address* for *destination\_ipv6\_address*

説明: このメッセージは、サポートされないマルチキャスト・パケットを受信した場合に生成されます。

---

**IPV6.012**

レベル: U-INFO

短構文: IPV6.012 Disc. pkt *source\_ipv6\_address* -> *destination\_ipv6\_address* nhd *nextheader*

長構文: IPV6.012 Packet from *source\_ipv6\_address* for *destination\_ipv6\_address* discarded for protocol *nextheader*

説明: 受信したパケットは、ゼロの発信元アドレスを持っています。パケットは廃棄されます。

原因: 上位プロトコルが、ゼロの発信元アドレスをもつパケットを送信しています。

処置: プロトコル・ヘッダーを見て、このプロトコルを追跡し、パケットの発信元の識別してください。

---

**IPV6.013**

レベル: C-INFO

レベル: PARAM

短構文: IPV6.013 unsup best/link local address *source\_ipv6\_address* -> *destination\_ipv6\_address*

長構文: IPV6.013 Unsupported broadcast or link local address from *source\_ipv6\_address* for *destination\_ipv6\_address*

説明: このメッセージは、サポートされない同報通信パケットまたはリンク・ローカル・パケットを受信した場合に生成されます。

---

**IPV6.014**

レベル: C-TRACE

短構文: IPV6.014 Acc cont # *record\_number*, *packet\_status*, from *source\_ip\_address* -> *destination\_ip\_address*, dir *direction*, net *networkID*

長構文: IPV6.014 Access control number *record\_number* matched, *packet\_status*, packet from *source\_ip\_address* to *destination\_ip\_address*, direction *direction*, net *networkID*

説明: このメッセージは、IPv6 パケットがアクセス制御エントリーの 1 つに一致している場合に生成されます。パケットは、フィルター規則に応じて、転送または廃棄されます。*record\_number* は、合致したアクセス制御レコードの番号です。

---

**IPV6.015**

レベル: UI\_ERROR

短構文: IPV6.015 rtg hdr ind but not fnd, *source\_address* -> *destination\_address*

長構文: IPV6.015 A packet was received that indicates a routing header is present, but was not found from *source\_address* to *destination\_address*

説明: このメッセージは、パケットの処理時に、ルーティング・ヘッダーが存在することが示されているのに見付からなかった場合に生成されます。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

**IPV6.016**

レベル: UI\_ERROR

短構文: IPV6.016 can't get memory for frag, *source\_address* -> *destination\_address*

長構文: IPV6.016 Can't get memory for fragmenting a packet from *source\_address* to *destination\_address*, packet discarded

説明: このメッセージは、断片化のためのパケットの処理時に、処理を完了させるための十分な記憶域が得られない場合に生成されます。

原因: この構成およびトラフィックをサポートできる十分な記憶域がない。

---



**処置:** GWCON 内の記憶域統計を検査して、パケットの記憶域の量を確認してください。アップグレードして記憶域を増やすか、不要な転送機能/プロトコルを使用不可にして記憶域を入手するかしてください。

---

#### IPV6.017

**レベル:** UI-ERROR

**レベル:** PARAM

**短構文:** IPV6.017 nt *network\_address* add fail, tbl ovrfll

**長構文:** IPV6.017 Add failed for net *network\_address*; routing table overflow

**説明:** このメッセージは、テーブルが満ぱいであるために、ネットワークをルーティング・テーブルに追加できない場合に生成されます。

**原因:** IPV6 ルーティング・テーブルに最大数のエントリが含まれている。

**処置:** サブネットワーク化することによってテーブルのサイズを減らすことができるかどうか、システム管理者と相談してください。

---

#### IPV6.018

**レベル:** UI-ERROR

**レベル:** PARAM

**短構文:** IPV6.018 nt *network\_address* add fail, bd nt

**長構文:** IPV6.018 Add failed for net *network\_address*; bad network number

**説明:** このメッセージは、ネットワーク番号が無効であるために、ネットワークをルーティング・テーブルに追加できない場合に生成されます。

**原因:** ソフトウェアが上記のネットワークを無効と見なしている。

**処置:** ネットワークが有効である場合は、サービス技術員に連絡してください。

---

#### IPV6.019

**レベル:** U-INFO

**短構文:** IPV6.019 re-add stat rt to *network*

**長構文:** IPV6.019 Re-adding static route to net *network*

**説明:** このメッセージは、ネットワークへの静的経路が再び使用されるようになった場合に生成されます。

---

#### IPV6.020

**レベル:** UI-ERROR

**レベル:** PARAM

**短構文:** IPV6.020 int for *network* add fail, dup addr

**長構文:** IPV6.020 Add of interface for net *network* failed; duplicate address

**説明:** このメッセージは、アクセスが拒否されたために、ネットワークをルーティング・テーブルに追加できない場合に生成されます。

**原因:** 同一のネットワークにアクセスするように構成されたインターフェース・アドレスが複数ある。ソフトウェアは 1 つしか認めません。

**処置:** 構成を変更して、インターフェース・アドレスとプレフィックス長が固有のネットワークを定義するようにしてください。

---

#### IPV6.021

**レベル:** C-INFO

**短構文:** IPV6.021 pkt rcvd with no nxt hdr *source\_address* -> *destination\_address*

**長構文:** IPV6.021 A packet was received that contains a No Next Header from *source\_address* -> *destination\_address*

**説明:** このメッセージは、受信したパケット内で No Next Header が検出された場合に生成されます。パケットは廃棄されます。

---

#### IPV6.022

**レベル:** U-INFO

**短構文:** IPV6.022 add nt *net\_ipv6\_address* int *int\_ipv6\_address* nt *network ID*

**長構文:** IPV6.022 Added network *net\_ipv6\_address* to interface *int\_ipv6\_address* on net *network ID*

**説明:** このメッセージは、新しい直接接続ネットワークがルーティング・テーブルに追加された場合に生成されます。

---

#### IPV6.023

**レベル:** UE\_ERROR

**短構文:** IPV6.023 mltcst addr fnd in rtng hdr info from *source\_address* to *destination\_address*, *next\_hop*

**長構文:** IPV6.023 A multi-cast address was found in the routing header information from *source\_address* to

*destination\_address*, next hop is *next\_hop*

**説明:** このメッセージは、ルーティング・ヘッダー・ネクスト・ホップ情報内で、またはルーティング・ヘッダーを持つパケットのあて先アドレス・フィールド内で、マルチキャスト・アドレスが見付かった場合に生成されます。このパケットは廃棄され、ICMP エラー・メッセージが生成されます。

**処置:** パケットの発信元のマシンのサポート技術員に連絡してください。

---

#### IPv6.024

**レベル:** CE-ERROR

**短構文:** IPv6.024 ign stat rt to *network*, masksize *mask*

**長構文:** IPv6.024 Ignoring bad static route/filter to *network*, masksize *mask*

**説明:** このメッセージは、無効な静的経路または IPv6 フィルターが検出された場合に生成されます。

---

#### IPv6.025

**レベル:** U-INFO

**短構文:** IPv6.025 add nt *network* rt via *network* nt *network ID*

**長構文:** IPv6.025 Added network *network* with route via *network* on net *network ID*

**説明:** このメッセージは、新しい間接接続ネットワークがルーティング・テーブルに追加された場合に生成されます。

---

#### IPv6.026

**レベル:** UE\_ERROR

**短構文:** IPv6.026 hop-by-hop options fnd not imm after IPv6 hdr *source\_address* -> *destination\_address*

**長構文:** IPv6.026 A Hop-by-Hop Options header was found not immediately following the IPv6 header from *source\_address* to *destination\_address*

**説明:** このメッセージは、IPv6 ヘッダーの直後でない位置に Hop-by-Hop Options ヘッダーが見付かった場合に生成されます。これは IPv6 アーキテクチャーに違反しています。このパケットは廃棄され、ICMP エラー・メッセージが生成されます。

**処置:** パケットの発信元のマシンのサポート技術員に連絡してください。

---

#### IPv6.027

**レベル:** C-INFO

**短構文:** IPv6.027 pkt type *type* code *code* *source\_ipv4\_address* -> *destination\_ipv4\_address* unable to gen icmpv6 pkt

**長構文:** IPv6.027 Insufficient data in the ICMPV4 packet received from the IPv6 over IPv4 tunnel (type *type* code *code* from *source\_ipv4\_address* to *destination\_ipv4\_address*) to build an ICMPV6 packet back to the original source.

**説明:** このメッセージは、ICMPV4 メッセージをトンネルから受信し、このメッセージを生成したルーターがエラーのあるパケットに、元の IPv6 発信元アドレスを検索できるだけの十分な情報を組み込んでいなかった場合に生成されます。この ICMPV4 パケットは廃棄されます。

**処置:** IPv4 ICMP メッセージをオンにして、IPv4 ネットワークで生成されたエラーを調べてください。

---

#### IPv6.028

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** IPv6.028 unhdlded icmpv4 pkt rcv'd type *type* code *code* *source\_ipv4\_address* -> *destination\_ipv4\_address*

**長構文:** IPv6.028 An ICMPV4 packet has been received from the IPv6 over IPv4 tunnel that is not understood/handled by the router, type *type*, code *code*, from *source\_ipv4\_address* to *destination\_ipv4\_address*

**説明:** このメッセージは、ソフトウェアが IPv4 ネットワークから、理解できない ICMP メッセージを受信した場合に生成されます。

**処置:** サービス技術員に連絡してください。

---

#### IPv6.029

**レベル:** P-TRACE

**短構文:** IPv6.029 pkt *ip4src* -> *ip4dest*, *ip6src* -> *ip6dest* rcvd on *tuntype* tun( *tunint*)

**長構文:** IPv6.029 Packet from IPv4 *ip4src* to *ip4dest*, IPv6 *ip6src* to *ip6dest* was received on *tuntype* tunnel(interface *tunint*)

**説明:** 指定のトンネル・インターフェース上で、IPv4 ヘッダー内にカプセル化された IPv6 パケットを受信しました。

---

### IPV6.030

レベル: P-TRACE

短構文: IPV6.030 *source\_ipv6\_address -> destination\_ipv6\_address* tned over *source\_ipv4\_address -> destination\_ipv4\_address*

長構文: IPV6.030 Forwarding packet from *source\_ipv6\_address* for *destination\_ipv6\_address* over tunnel *source\_ipv4\_address* to *destination\_ipv4\_address*

説明: このメッセージは、各パケットが IPV4 トンネルを介して IPV6 に転送するための準備が整うたびに生成されます。

---

### IPV6.031

レベル: ALWAYS

短構文: IPV6.031 Unnum addr rej, nt *network ID*

長構文: IPV6.031 Unnumbered address rejected, net *network ID*

説明: インターフェースを非番号制として構成しようとしたが、インターフェースがシリアル・ラインでないか、インターフェースにすでに IPV6 アドレスが割り当てられているかのいずれかです。非番号制の構成要求は無視されます。

---

### IPV6.032

レベル: CI-ERROR

短構文: IPV6.032 fq ovf *source\_ipv6\_address -> destination\_ipv6\_address* nt *network ID*

長構文: IPV6.032 Fragment queue overflow from *source\_ipv6\_address* for *destination\_ipv6\_address* on net *network ID*

説明: このメッセージは、断片待ち行列のオーバーフローのために、着信断片が廃棄された場合に生成されません。

---

### IPV6.033

レベル: UE-ERROR

短構文: IPV6.033 reas pkt too big ( *packet\_size* byt), frm *source\_ipv6\_address*

長構文: IPV6.033 Re-assembled packet too large ( *packet\_size* bytes); from *source\_ipv6\_address*

説明: このメッセージは、再組み立て中の新しいパケットが、断片化に許容される最大サイズ (65535 バイト) を超えてしまう場合に生成されます。 *packet\_size* は、この断片を追加した後のパケットの大きさであり、この後

さらに断片が続く場合もあります。

---

### IPV6.034

レベル: CE-ERROR

短構文: IPV6.034 bd frg *source\_ipv6\_address -> destination\_ipv6\_address* foff *offset*

長構文: IPV6.034 Bad fragment from *source\_ipv6\_address* for *destination\_ipv6\_address* with fragment offset *offset*

説明: このメッセージは、着信パケット断片の長さが 8 の倍数ではなく、断片ヘッダー内の More ビットが 1 にセットされている場合に生成されます。

---

### IPV6.035

レベル: CI-ERROR

短構文: IPV6.035 cant alloc for frg nt *network ID*

長構文: IPV6.035 Cannot allocate buffer for fragment for net *network ID*

説明: このメッセージは、パケットを断片化するために利用可能なバッファがない場合に生成されます。

---

### IPV6.036

レベル: P-TRACE

短構文: IPV6.036 rcv pkt nxt hdr *next\_header* frm *source\_ipv6\_address*

長構文: IPV6.036 Received packet with next header *next\_header* from *source\_ipv6\_address*

説明: このメッセージは、ルーターあてに各パケットが送信されるたびに生成されます。

---

### IPV6.037

レベル: C-TRACE

短構文: IPV6.037 brd pkt *source\_ipv6\_address -> destination\_ipv6\_address* prot *protocol* no srvr

長構文: IPV6.037 Broadcast packet from *source\_ipv6\_address*, for *destination\_ipv6\_address*, protocol *protocol*; no server

説明: このメッセージは、不明のプロトコルの同報通信パケットが到着した場合に生成されます。

---

**IPv6.038**

レベル: U-INFO

短構文: IPv6.038 pkt *source\_ipv6\_address* -> *destination\_ipv6\_address* prt protocol no srvr

長構文: IPv6.038 Packet from *source\_ipv6\_address*, for *destination\_ipv6\_address*, protocol *protocol*; no server

説明: このメッセージは、不明のプロトコルのパケットが到着した場合に生成されます。パケットはルーターあてに送信されたものです。

---

**IPv6.039**

レベル: C-INFO

短構文: IPv6.039 pkt size = *packet\_size* needs frag, tnl *tunnel\_addr*, frag *frag\_state*

長構文: IPv6.039 A *packet\_size* byte IPv6 packet will be fragmented over an IPv4 tunnel *tunnel\_addr* with a configured fragmentation of *frag\_state*

説明: このメッセージは、断片化が必要な IPv6 パケットをトンネル伝送するときに生成されます。断片化が使用可能にされているか、トンネル MTU が 1300 バイト以下の場合、DNF ビットはセットされず、トンネル内で断片化が行われる可能性があります。断片化が許されず、トンネル MTU が 1300 バイトを超えている場合、Packet Too Big (パケットが大き過ぎる) というメッセージが IPv6 発信元に戻され、パケットは廃棄されます。

---

**IPv6.040**

レベル: UI-ERROR

短構文: IPv6.040 Tnl endpnts not found for *ipsrc*-> *ipdest*

長構文: IPv6.040 Tunnel endpoints were not found in table for IPv4 source address *ipsrc* and dest address *ipdest*

説明: このメッセージは、IPv4 経由 IPv6 トンネル伝送コードがカプセル化 IPv6 パケットを受信しましたが、構成済みのどのトンネルを経由してパケットが到着したのかを判別できない場合に生成されます。

処置: ネットワークのトンネル構成パラメーターを検査して、IPv4 発信元アドレスとあて先アドレスが、それぞれのエンドポイントで矛盾がないことを確認してください。

---

**IPv6.041**

レベル: UI-ERROR

短構文: IPv6.041 rs ovfl, frm *source\_ipv6\_address*

長構文: IPv6.041 Too many re-assembly buffers active; from *source\_ipv6\_address*

説明: このメッセージは、新しいパケットの再組み立てが必要であるが、最大数の再組み立てバッファがすでに割り当てられてしまっている場合に生成されます。

原因: ソフトウェアが、同時に処理できる数を超える断片化データグラムを再組み立てしようとしている。これは、時折発生する場合は許されます。

処置: 頻繁に発生する場合は、発信元で MSS を変更して断片化を減らすようにするか、あるいはサービス技術員に連絡してください。

---

**IPv6.042**

レベル: UI-ERROR

短構文: IPv6.042 no stor for rs, frm *source\_ipv6\_address*

長構文: IPv6.042 Insufficient storage for packet re-assembly; from *source\_ipv6\_address*

説明: このメッセージは、新しいパケットの再組み立てが必要であるが、再組み立てバッファを割り振るための十分な記憶域がない場合に生成されます。

原因: この構成およびトラフィックをサポートできる十分な記憶域がない。

処置: GWCON 内の記憶域統計を検査して、パケット・バッファ・レベルを確認してください。記憶域をアップグレードして増やすか、不要な転送機能/プロトコルを使用不可にして、記憶域を獲得してください。

---

**IPv6.043**

レベル: UE-ERROR

短構文: IPv6.043 reas pkt too big ( *packet\_size* byt), frm *source\_ipv6\_address*

長構文: IPv6.043 Re-assembled packet too large ( *packet\_size* bytes); from *source\_ipv6\_address*

説明: このメッセージは、新しいパケットの再組み立てが必要であるが、再組み立てバッファの最大サイズを超えている場合に生成されます。*packet\_size* は、この断片を追加した後のパケットの大きさであり、この後さらに断片が続く場合もあります。

---

**IPV6.044**

レベル: U-INFO

短構文: IPV6.044 rs TTL exp, frm *source\_ipv6\_address*

長構文: IPV6.044 Re-assembly TTL expired; from *source\_ipv6\_address*

説明: このメッセージは、再組み立てされているパケットの活動時間が満了したときに生成されます。

---

**IPV6.045**

レベル: P-TRACE

短構文: IPV6.045 rs free, frm *source\_ipv6\_address*

長構文: IPV6.045 Re-assembly buffer free; from *source\_ipv6\_address*

説明: このメッセージは、再組み立てバッファが割り振り解除された場合に生成されます。

---

**IPV6.046**

レベル: U-INFO

短構文: IPV6.046 del nt *network* rt via *gateway* nt *network ID*

長構文: IPV6.046 Deleted net *network* route via *gateway* net *network ID*

説明: このメッセージは、ネットワークがダウンした場合に生成されます。

---

**IPV6.047**

レベル: U-INFO

短構文: IPV6.047 sbnt *network* dfnd

長構文: IPV6.047 Subnet *network* defined

説明: このメッセージは、新しいサブネット化ネットワークが定義された場合に生成されます。

---

**IPV6.048**

レベル: U-INFO

短構文: IPV6.048 del sbntd nt *network*

長構文: IPV6.048 Deleting subnetted network *network*

説明: このメッセージは、サブネット化ネットワークが削除された場合に生成されます。削除されるのは、そのネットワークへのインターフェースがなくなったときです。

---

---

**IPV6.049**

レベル: C-TRACE

短構文: IPV6.049 add lcl pkt to ipv6 op q

長構文: IPV6.049 Added locally generated packet to IPV6 output queue

説明: このメッセージは、ローカル生成パケットがIPV6 出力待ち行列に入れられるたびに生成されます。

---

**IPV6.050**

レベル: C-TRACE

短構文: IPV6.050 rcvd IPV6 frg frm *source\_IPV6\_address*, frg id *frag\_id*, frg off *frag\_off*

長構文: IPV6.050 Received IPV6 fragment from *source\_IPV6\_address*, fragment id *frag\_id*, fragment offset *frag\_off*

説明: このメッセージは、再組み立てが必要な IPV6 断片を受信した場合に生成されます。

---

**IPV6.051**

レベル: C-TRACE

短構文: IPV6.051 rasmd pkt frm *source\_IPV6\_address*

長構文: IPV6.051 Successfully re-assembled packet from *source\_IPV6\_address*

説明: このメッセージは、IPV6 パケットが正常に再組み立てされた場合に生成されます。

---

**IPV6.052**

レベル: C-TRACE

短構文: IPV6.052 frg pkt *source\_IPV6\_address* -> *destination\_IPV6\_address*

長構文: IPV6.052 Packet from *source\_IPV6\_address* for *destination\_IPV6\_address* requires fragmentation

説明: このメッセージは、伝送するために IPV6 パケットを断片化する必要がある場合に生成されます。

---

**IPV6.053**

レベル: C-TRACE

短構文: IPV6.053 add frg to op frg q *source\_IPV6\_address* -> *destination\_IPV6\_address*

長構文: IPV6.053 Added fragment to output fragment queue from *source\_IPV6\_address* for *destination\_IPV6\_address*

---



説明: このメッセージは、IPV6 パケット断片が出力断片待ち行列に入れられた場合に生成されます。

---

#### IPV6.054

レベル: P-TRACE

短構文: IPV6.054 dsc pkt *source\_IPV6\_address* -> *destination\_IPV6\_address* nt *Network ID* no IPV6 on int

長構文: IPV6.054 Discarded packet from *source\_IPV6\_address* for *destination\_IPV6\_address* net *Network ID*, no IPV6 on interface

説明: このメッセージは、IPV6 が使用可能にされていないインターフェースでパケットが受信されるたびに、スタブ IPV6 転送機能によって生成されます。

---

#### IPV6.055

レベル: UE-ERROR

短構文: IPV6.055 RIP6 disabld on int *interface\_IPV6\_address* var len sbnt msk

長構文: IPV6.055 RIP6 disabled on *interface\_IPV6\_address* variable length subnet masks

説明: 同一のネットワーク上に可変長サブネット・マスクを指定してルーターが構成されています。これは、RIP は処理できません。そのため、インターフェース上の RIP6 は使用不可にされます。

---

#### IPV6.056

レベル: U-INFO

短構文: IPV6.056 routing cache cleared for IPV6

長構文: IPV6.056 routing cache cleared for IPV6

説明: おそらくルーティング・テーブルの変更が原因で、IPV6 ルーティング・キャッシュが消去されました。

---

#### IPV6.057

レベル: U-INFO

短構文: IPV6.057 routing cache garbage collecting for IPV6

長構文: IPV6.057 Routing cache garbage collecting for IPV6.

説明: IPV6 ルーティング・キャッシュが無意味なデータを収集しています。これには数回のパスを要し、これが行われるのは、キャッシュがオーバーフローし始めた場合だけです。

---

#### IPV6.058

レベル: U-INFO

短構文: IPV6.058 cache entry *IPV6\_destination* cleared

長構文: IPV6.058 routing cache entry for destination *IPV6\_destination* cleared

説明: リストされているあて先の IPV6 ルーティング・キャッシュ・エントリーが消去されました。

---

#### IPV6.059

レベル: UE-ERROR

短構文: IPV6.059 LL broadcast *source\_ipv6\_address* -> *destination\_ipv6\_address*, discarded

長構文: IPV6.059 Received link level broadcast from *source\_ipv6\_address* for *destination\_ipv6\_address*, discarded

説明: このメッセージは、リンク・レベルの同報通信/マルチキャストとして受信した IPV6 パケットを転送しようとした場合に生成されます。そのようなパケットは転送されず、ICMP メッセージを発信元に送り返すこともせず、廃棄されます。

---

#### IPV6.060

レベル: UI-ERROR

短構文: IPV6.060 can't copy *source\_ipv6\_address* -> *destination\_ipv6\_address*, discarded

長構文: IPV6.060 Can't copy packet from *source\_ipv6\_address* for *destination\_ipv6\_address*, discarded

説明: このメッセージは、ルーターの内部アプリケーションの 1 つへのパケットをコピーしようとしたが (たとえば、マルチキャスト転送時)、ルーターがバッファを入手できない場合に生成されます。要求されたサービスは失敗します。

原因: この構成およびトラフィックをサポートできる十分な記憶域がない。

処置: GWCON 内の記憶域統計を検査して、パケット・バッファ・レベルを確認してください。記憶域をアップグレードして増やすか、不要な転送機能/プロトコルを使用不可にして、記憶域を獲得してください。

---

#### IPV6.061

レベル: C-TRACE

短構文: IPV6.061 Acc cont miss dropped, *source\_ipv6\_address* -> *destination\_ipv6\_address*, dir



*direction, autotunnnet networkID*

**長構文:** IPv6.061 Access control miss dropped, packet from *source\_ipv6\_address* to *destination\_ipv6\_address*, direction *direction, autotunnnet networkID*

**説明:** このメッセージは、IPv6 パケットがアクセス制御レコードのどれとも合致しない場合に生成されます。パケットは廃棄されます。

---

#### IPv6.062

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** IPv6.062 IPv6 ds nt rn on *nettype/ n\_net*

**長構文:** IPv6.062 IPv6 protocol does not run over *nettype/ n\_net*

**説明:** IPv6 アドレスが、現在 IPv6 をサポートしていないネットワーク・タイプに対して構成されました。

---

#### IPv6.063

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** IPv6.063 shrt pkt ln *packet\_length, source\_ipv6\_address -> destination\_ipv6\_address*

**長構文:** IPv6.063 IPv6 length of *packet\_length* in packet from *source\_ipv6\_address -> destination\_ipv6\_address* is too short

**説明:** このメッセージは、IPv6 ヘッダー内のパケットの長さが、受信したパケットに示されている長さより短い場合に生成されます。パケットは廃棄されます。

**原因:** 最も考えられる原因は、発信元によってこのパケットが正しくフォーマットされていないことです。

---

#### IPv6.064

**レベル:** C-TRACE

**短構文:** IPv6.064 Acc cont # *record\_number* dropped, *cache\_status, source\_ipv6\_address -> destination\_ipv6\_address, dir direction, autotunnnet networkID*

**長構文:** IPv6.064 Access control number *record\_number* dropped, *cache\_status*, packet from *source\_ipv6\_address* to *destination\_ipv6\_address*, direction *direction, autotunnnet networkID*

**説明:** このメッセージは、IPv6 パケットが排他的アクセス制御エントリーの 1 つに合致している場合に生成されます。パケットは廃棄されます。*record\_number* は、合致したアクセス制御レコードの番号、またはレコードがない場合 (リストの終わり) はゼロです。

*cache\_status* は、"cache-hit" または "cache-miss" です。

---

#### IPv6.065

**レベル:** C-TRACE

**短構文:** IPv6.065 Acc cont # *record\_number* passed, *cache\_status, source\_ipv6\_address -> destination\_ipv6\_address, dir direction, autotunnnet networkID*

**長構文:** IPv6.065 Access control number *record\_number* passed, *cache\_status*, packet from *source\_ipv6\_address* to *destination\_ipv6\_address*, direction *direction, autotunnnet networkID*

**説明:** このメッセージは、IPv6 パケットが排他的アクセス制御エントリーの 1 つに合致している場合に生成されます。パケットはおそらく転送されます。*record\_number* は、合致したアクセス制御レコードの番号です。*cache\_status* は、"cache-hit" または "cache-miss" です。

---

#### IPv6.066

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** IPv6.066 LinkAddr *source\_ipv6\_address -> destination\_ipv6\_address*, discarded

**長構文:** IPv6.066 Received link local address from *source\_ipv6\_address* for *destination\_ipv6\_address*, discarded

**説明:** ルーターは、リンク・ローカル発信元またはあて先アドレスを持つ IPv6 を中継することは決してありません。

---

#### IPv6.067

**レベル:** U-INFO

**短構文:** IPv6.067 Route *destination\_ip\_address/ mask status*

**長構文:** IPv6.067 Route for *destination\_ip\_address* with mask *mask status*

**説明:** この経路は、IP 経路テーブルからフィルターされたか、あるいは経路テーブル・フィルター・ポリシーにより隠れた経路としてインストールされています。

---

#### IPv6.068

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** IPv6.068 mtu < 1280 for nt *network ID*

**長構文:** IPV6.068 The MTU is less than 1280 bytes for net *network ID*

**説明:** このネットの MTU は、IPV6 を実行するために必要な最小サイズ (1280 バイト) を下回っています。

**処置:** ネットの構成を訂正して MTU を最小 1280 バイトにするか、このネットには IPV6 を構成しないようにしてください。

---

#### IPV6.069

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** IPV6.069 tnl *tunnel\_id*, int *interface* is not IP64

**長構文:** IPV6.069 Tunnel *tunnel\_id* has a virtual interface *interface* which is not an IP64 tunnel

**説明:** 構成されたトンネルが指しているインターフェースは、IP64 トンネルではありません。これは、IP64 トンネル・インターフェースが定義されているボックスに、以前のリリースをロードしたのが原因です。このトンネルはインストールされません。

**処置:** トンネル定義をいったん削除した上で、トンネルを再構成してください。

---

#### IPV6.070

**レベル:** P\_TRACE

**短構文:** IPV6.070 Trace IPV6 datagram.

**長構文:** IPV6.070 Trace IPV6 datagram.

**説明:** IPV6 データグラムをトレースしています。

---

#### IPV6.071

**レベル:** P\_TRACE

**短構文:** IPV6.071 Trace in IPV6 datagram at DLC.

**長構文:** IPV6.071 Trace incoming IPV6 datagram at DLC.

**説明:** 着信 IPV6 データグラム DLC をトレースしています。

---

#### IPV6.072

**レベル:** C-TRACE

**短構文:** IPV6.072 Acc cont # *record\_number* dropped, *cache\_status*, *source\_ipv6\_address* -> *destination\_ipv6\_address*, sport port *dport* -> *direction*, dir *autotunn*, *networkIDnet*

**長構文:** IPV6.072 Access control number *record\_number* dropped, *cache\_status*, packet from *source\_ipv6\_address* to *destination\_ipv6\_address*, sport port *dport* -> *direction*,

*direction* *autotunn*, *networkIDnet*

**説明:** このメッセージは、IPV6 パケットが排他的アクセス制御エントリーの 1 つに合致している場合に生成されます。パケットは廃棄されます。*record\_number* は、合致したアクセス制御レコードの番号、またはレコードがない場合 (リストの終わり) はゼロです。*cache\_status* は、"cache-hit" または "cache-miss" です。

---

#### IPV6.073

**レベル:** C-TRACE

**短構文:** IPV6.073 Acc cont # *record\_number* passed, *cache\_status*, *source\_ipv6\_address* -> *destination\_ipv6\_address*, sport port *dport* -> *direction*, dir *autotunn*, *networkIDnet*

**長構文:** IPV6.073 Access control number *record\_number* passed, *cache\_status*, packet from *source\_ipv6\_address* to *destination\_ipv6\_address*, sport port *dport* -> *direction*, *direction* *autotunn*, *networkIDnet*

**説明:** このメッセージは、IPV6 パケットが排他的アクセス制御エントリーの 1 つに合致している場合に生成されます。パケットはおそらく転送されます。*record\_number* は、合致したアクセス制御レコードの番号です。*cache\_status* は、"cache-hit" または "cache-miss" です。

---

#### IPV6.074

**レベル:** U-INFO

**短構文:** IPV6.074 pkt *ip4src* -> *ip4dest*, *ip6src* -> *ip6dest* dsc on tun( *tunint*): *reason*

**長構文:** IPV6.074 Packet from IPv4 *ip4src* to *ip4dest*, IPv6 *ip6src* to *ip6dest* was discarded on tunnel(interface *tunint*): *reason*

**説明:** 指定のトンネル・インターフェース上で、IPv6 ヘッダー内にカプセル化された IPv4 パケットが、指定された理由により廃棄されました。

---

#### IPV6.075

**レベル:** U-INFO

**短構文:** IPV6.075 bad rtr alert ( *rtr\_alrt*) from *source\_ipv6\_address*

**長構文:** IPV6.075 An unknown router alert ( *rtr\_alrt*) was received from *source\_ipv6\_address*; option skipped

**説明:** このメッセージは、不明なルーター・アラート値をもつパケットを受信した場合に生成されます。

---

## Panic in6initnomem

**短構文:** IPV6: no mem for init

**説明:** ルーターが IPV6 初期化中に記憶域不足になりました。

**処置:** 記憶域を追加するか、あるいは再構成して記憶域の使用量を減らしてください (たとえば、IPV6 ルーティング・テーブルのサイズを小さくしたり、IPV6 アドレスの数を減らします)。

---

## 第58章 IP プロトコル・ネットワーク (IPPN)

この章では、IP プロトコル・ネットワーク (IPPN) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### IPPN.002

レベル: U-INFO

短構文: IPPN.002 SRT *src\_IP*-> *dst\_IP* (UDP *src\_port*-> *dst\_port*) ign, no bdg on tunnel

長構文: IPPN.002 SRT packet from *src\_IP* to *dst\_IP* (from UDP socket *src\_port* to *dst\_port*) ignored, no bridging on tunnel

説明: SRT トンネルの UDP ポートの 1 つに向けられた IP パケットを受信しましたが、このトンネルではブリッジングが使用可能になっていません。パケットは廃棄されます。

原因: 別のブリッジで、このブリッジを SRT ブリッジ・トンネルに含めるように構成していますが、このブリッジはそうように構成されていません。

処置: 構成に矛盾がないようにしてください。

原因: IP ネットワーク上の他のアプリケーションが、このルーター上の SRT トンネル UDP ポートの 1 つにパケットを送信しています。

処置: アプリケーションを変更するか、このメッセージを無視するか、いずれかにします。

---

### IPPN.003

レベル: P-TRACE

短構文: IPPN.003 SRT *src\_IP*-> *dst\_IP* (UDP *src\_port*-> *dst\_port*) ign, port blocked

長構文: IPPN.003 SRT packet from *src\_IP* to *dst\_IP* (from UDP socket *src\_port* to *dst\_port*) ignored, port blocked

説明: SRT トンネルの UDP ポートの 1 つに向けられた IP パケット (BPDU ではなかった) を受信しましたが、そのポートは "閉そく" または "listen" 状態です。パケットは廃棄されます。

原因: トンネルへのポートの 1 つが閉そくの場合は、まったく正常な状態です。ただし、トンネルへのポートは、トンネルに平行する代替ブリッジ・パスがない限り、通常は閉そくしません。

---

### IPPN.004

レベル: P-TRACE

短構文: IPPN.004 Old SRB *src\_IP*-> *dst\_IP* (UDP *src\_port*-> *dst\_port*), compat mode

長構文: IPPN.004 Old SRB packet from *src\_IP* to *dst\_IP* (from UDP socket *src\_port* to *dst\_port*), in compatibility mode

説明: リリース 12.0 より前に使用されていた SRB トンネルのカプセル化を使用している IP トンネルに参加しているノードから、パケットを受信しました。このパケットは正常に処理されますが、トンネルは以後も古いカプセル化と互換性のあるモードのままになります。これは、そのトンネルにおいて 802.5 フレーム用に FCS が維持されない、ということを示します。

原因: ノードでリリース 12.0 より前からの SRB トンネル・ソフトウェアが稼働しています。

処置: トンネルに参加しているすべてをリリース 12.0 に更新すれば、このメッセージが出ることはなくなり、トンネル全体にわたって 802.5 FCS を維持することができます。

---

### Panic ippnudpregfail

短構文: IPPN UDP socket registration failure

説明: IPPN プロトコル・ネットは、必要な UDP ソケットの 1 つを UDP プロトコルに登録することができませんでした。

原因: ソフトウェアのバグです。

処置: サービス技術員に連絡してください。



---

## 第59章 IP セキュリティー・プロトコル (IPsec)

この章では、IP セキュリティー・プロトコル (IPsec) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### IPSP.001

レベル: U-INFO

短構文: IPSP.001 IPsec init

長構文: IPSP.001 IPsec initialization

説明: このメッセージは、IPsec が初期化中に印刷されます。

---

### IPSP.002

レベル: UI-ERROR

短構文: IPSP.002 IPsec unable to get mem

長構文: IPSP.002 IPsec unable to get memory

説明: IPsec は、必要な記憶域を割り振ることができませんでした。そのため、IPsec を実行することができません。

原因: ヒープ記憶域が不足しています。おそらく記憶域を大量に必要とする実行中の転送機能/プロトコルの数が多過ぎるためです。

処置: 不必要な転送機能/プロトコルを使用不可にするか、記憶域を増やしてください。

---

### IPSP.003

レベル: U-INFO

短構文: IPSP.003 q ovrf *source\_ip\_address* -> *destination\_ip\_address* nt *network ID*

長構文: IPSP.003 Queue overflow on packet from *source\_ip\_address* for *destination\_ip\_address* from net *network ID*

説明: このメッセージは、IPsec 入力待ち行列オーバーフローのために、IP 転送機能が保護する必要のあるパケットを廃棄しなければならなかった場合に生成されます。

原因: IPsec 入力待ち行列オーバーフローは、バッファが不足しているインターフェースからパケットを受信した場合に発生します。IPsec 待ち行列が、適正な長さを超えています。この原因は、バースト状態または定常状態で、IP 転送機能のカプセル化 (保護) 能力より速くトラフィックが到着していることが考えられます。

処置: トラフィックのバーストを減らしてください。より高速のルーターにアップグレードしてください。

---

### IPSP.004

レベル: P-TRACE

短構文: IPSP.004 rcv pkt for encaps *source\_ip\_address* -> *destination\_ip\_address* with tid *tunnel\_id*

長構文: IPSP.004 Accepting packet for encapsulation from *source\_ip\_address* to *destination\_ip\_address* with *tunnel\_id* *tunnel\_id*

説明: このメッセージは、IPsec カプセル化モジュールを通過する各 IP パケットに対して生成されます。

---

### IPSP.005

レベル: P-TRACE

短構文: IPSP.005 msg *source\_ip\_address* -> *destination\_ip\_address* prt *protocol* len *length*

長構文: IPSP.005 msg *source\_ip\_address* to *destination\_ip\_address* proto *protocol* length *length*

説明: IPsec パケットの送信および受信。

---

### IPSP.006

レベル: U-INFO

短構文: IPSP.006 dsc IPsec pkt *source\_ip\_address* -> *destination\_ip\_address* nt *Network ID* no IPsec

長構文: IPSP.006 Discarded IPsec packet from *source\_ip\_address* for *destination\_ip\_address* net *Network ID*, IPsec not enabled.

説明: このメッセージは、IPsec プロトコル・ヘッダーが入っている IP パケットを受信したが、IPsec が使用可能にされていない場合に生成されます。IPsec パケットの内容をカプセル解除するのに利用可能な活動状態の IPsec トンネルがないために、パケットは廃棄されます。

原因: IPsec プロトコル・パケットを受信しましたが、IPsec が使用可能にされていません。



---

**IPSP.007**

レベル: UI-ERROR

短構文: IPSP.007 IPsec *function\_name*: tid *tunnel\_id* not active

長構文: IPSP.007 IPsec *function\_name*: tunnel *tunnel\_id* is not active.

説明: 指定されたトンネルが活動状態でないために、IP パケットを保護できませんでした。パケットは廃棄されました。

---

**IPSP.008**

レベル: UE-ERROR

短構文: IPSP.008 addr msmatch IP src *pkt\_src\_addr* tunl src *tunl\_src\_addr* IP dst *pkt\_dst\_addr* tunl dst *tunl\_dst\_addr* tid *tunnel\_id*

長構文: IPSP.008 address mismatch for transport mode tunnel - IP packet source address *pkt\_src\_addr*, tunnel source address *tunl\_src\_addr*, IP packet destination address *pkt\_dst\_addr*, tunnel destination address *tunl\_dst\_addr*, tunnel *tunnel\_id*

説明: トランスポート・モードで、IP パケット・アドレスと保護トンネル IP アドレスが合致していません。

---

**IPSP.009**

レベル: CI-ERROR

短構文: IPSP.009 *error\_message* tid *tunnel\_id*

長構文: IPSP.009 Error: *error\_message* tunnel *tunnel\_id*

説明: エラー・メッセージで指摘されているエラーがあります。

---

**IPSP.010**

レベル: UE-ERROR

短構文: IPSP.010 pkt too short: pkt len *length* hdr len *header\_len*

長構文: IPSP.010 Packet too short: packet len *length* header len *header\_len*

説明: 長さが 8 バイト未満のペイロードを持つ IPsec パケットを受信しました。

---

**IPSP.011**

レベル: P-TRACE

短構文: IPSP.011 *msg* in *mode* mode alg *algorithm* tid *tunnel\_id*

長構文: IPSP.011 *msg* in *mode* mode *algorithm* *algorithm* tunnel *tunnel\_id*

説明: IPsec カプセル化セキュリティー・ペイロード (ESP) を使用して、IP パケットをカプセル化中です。

---

**IPSP.012**

レベル: P-TRACE

短構文: IPSP.012 ESP encap len *length* pad *pad\_length* spi *SPI* seq *sequence* iv *IV\_1* *IV\_2*

長構文: IPSP.012 ESP encap length *length* pad length *pad\_length* security parameter index *SPI* sequence *sequence* initialization vector *IV\_1* *IV\_2*

説明: IPsec ESP パケットが構成されました。

---

**IPSP.013**

レベル: P-TRACE

短構文: IPSP.013 Module *trc\_msg*

長構文: IPSP.013 Module *trc\_msg*

説明: このメッセージは内部情報用です。

---

**IPSP.014**

レベル: P-TRACE

短構文: IPSP.014 ESP decap len *length* spi *spi* seq *sequence* iv *IV\_1* *IV\_2*

長構文: IPSP.014 ESP decap length *length* spi *spi* sequence *sequence* iv *IV\_1* *IV\_2*

説明: IPsec カプセル化セキュリティー・ペイロード (ESP) が入っている IP パケットを受信しました。

---

**IPSP.015**

レベル: UE-ERROR

短構文: IPSP.015 ESP decap: bad payload len *payload\_length* tid *tunnel\_id*

長構文: IPSP.015 ESP decapsulation: bad payload length *payload\_length* tunnel *tunnel\_id*

説明: 無効なペイロード長を持つ (正しいペイロード埋め込みが欠落している) IPsec ESP パケットを受信しました。

---

**IPSP.016**

レベル: UE-ERROR

短構文: IPSP.016 ESP decap: bad payload len *payload\_len* - pad len *padding\_length* tid *tunnel\_id*

長構文: IPSP.016 ESP decapsulation: bad payload length *payload\_len* for padding length *padding\_length* tunnel *tunnel\_id*

説明: IPsec ESP パケットのペイロード長が、埋め込み長さ以下であるので正しくありません。

---

#### IPSP.017

レベル: P-TRACE

短構文: IPSP.017 AH encap *mode mode* alg *algorithm* tid *tunnel\_id* len *length* spi *spi* seq *sequence*

長構文: IPSP.017 AH encapsulation *mode mode* algorithm *algorithm* tunnel *tunnel\_id* length *length* spi *spi* sequence *sequence*

説明: IPsec 認証ヘッダー (AH) を使用して、IP パケットをカプセル化中です。

---

#### IPSP.018

レベル: P-TRACE

短構文: IPSP.018 AH decap *mode mode* alg *algorithm* tid *tunnel\_id* len *length* spi *spi* seq *sequence*

長構文: IPSP.018 AH decapsulation *mode mode* algorithm *algorithm* tunnel *tunnel\_id* length *length* spi *spi* sequence *sequence*

説明: IPsec 認証ヘッダー (AH) が入っている IP パケットを受信しました。

---

#### IPSP.019

レベル: UE-ERROR

短構文: IPSP.019 AH decap: bad packet len *payload\_len* tid *tunnel\_id*

長構文: IPSP.019 AH decapsulation: bad packet length *payload\_len* tunnel *tunnel\_id*

説明: 無効なペイロード長を持つ IPsec AH パケットを受信しました。

---

#### IPSP.020

レベル: UI-ERROR

短構文: IPSP.020 Module Decap: no tunl for src *src\_addr* dst *dst\_addr* spi *spi*

長構文: IPSP.020 Module Decap: no active tunnel list entry for source address *src\_addr*, destination address *dst\_addr*, and security parameter index *spi*

説明: 受信した IPsec パケットのアクティブ・トンネル・リスト・エントリーがありませんでした。

---

#### IPSP.021

レベル: UI-ERROR

短構文: IPSP.021 Init: init error for tunn ID *tunnel\_id*, errcode= *error\_code*

長構文: IPSP.021 IPsec initialization: initialization error for tunnel ID *tunnel\_id*, error code = *error\_code*.

説明: IPsec 初期化エラーが発生しました。構成ファイルを保管し、エラー・コードを記録して、サービス技術員に連絡してください。

---

#### IPSP.022

レベル: U-INFO

短構文: IPSP.022 tunl list add tid *tunnel\_id* - *reason*

長構文: IPSP.022 An active tunnel list entry was added for tunnel ID *tunnel\_id* - reason is *reason*.

説明: アクティブ・トンネル・リストにエントリーが追加されました。

---

#### IPSP.023

レベル: U-INFO

短構文: IPSP.023 tunl list del tid *tunnel\_id* - *reason*

長構文: IPSP.023 An active tunnel list entry was deleted for tunnel ID *tunnel\_id* - reason is *reason*.

説明: アクティブ・トンネル・リストのエントリーが削除されました。

---

#### IPSP.024

レベル: U-INFO

短構文: IPSP.024 IPsec enabled from console

長構文: IPSP.024 The IPsec feature was enabled from the console.

説明: コンソールからの ENABLE IPSEC コマンドによって、IPsec 機能が使用可能にされました。

---

#### IPSP.025

レベル: U-INFO

短構文: IPSP.025 IPsec disabled from console - *disable\_mode* mode

長構文: IPSP.025 The IPsec feature was disabled from the console. Disable mode is *disable\_mode*.

説明: コンソールからの DISABLE IPSEC コマンドによって、IPsec 機能が使用不可にされました。

---

**IPSP.026**

レベル: UI-ERROR

短構文: IPSP.026 IPsec Encryption Algorithm *which\_esp* is not allowed on this tun id *tun\_id*.

長構文: IPSP.026 IPsec Encryption Algorithm *which\_esp* is not allowed on this tunnel id *tun\_id*.

説明: 構成された ESP アルゴリズムは、このルーター・ライブラリーでは利用不可能です。

---

**IPSP.027**

レベル: P-TRACE

短構文: IPSP.027 rcv pkt for encap *source\_ip\_address* -> *destination\_ip\_address* with tid *tunnel\_id*

長構文: IPSP.027 Accepting packet for encapsulation from *source\_ip\_address* to *destination\_ip\_address* with tunnel id *tunnel\_id*

説明: このメッセージは、IPsec カプセル化モジュールを通過する各 IPv6 パケットごとに生成されます。

---

**IPSP.028**

レベル: UE-ERROR

短構文: IPSP.028 addr msmtch IP src *pkt\_src\_addr* tunl src *tunl\_src\_addr* IP dst *pkt\_dst\_addr* tunl dst *tunl\_dst\_addr* tid *tunnel\_id*

長構文: IPSP.028 address mismatch for transport mode tunnel - IP packet source address *pkt\_src\_addr*, tunnel source address *tunl\_src\_addr*, IP packet destination address *pkt\_dst\_addr*, tunnel destination address *tunl\_dst\_addr*, tunnel *tunnel\_id*

説明: トランスポート・モードで、IPv6 パケット・アドレスと保護トンネル IP アドレスが一致していません。

---

**IPSP.029**

レベル: UI-ERROR

短構文: IPSP.029 Module Decap: no tunl for src *src\_addr* dst *dst\_addr* spi *spi*

長構文: IPSP.029 Module Decap: no active tunnel list entry for source address *src\_addr*, destination address *dst\_addr*, and security parameter index *spi*

説明: 受信した IPsec パケットのアクティブ・トンネル・リスト・エントリーがありませんでした。

---

**IPSP.030**

レベル: U-INFO

短構文: IPSP.030 q ovrf *source\_ip\_address* -> *destination\_ip\_address* nt *network ID*

長構文: IPSP.030 Queue overflow on packet from *source\_ip\_address* for *destination\_ip\_address* from net *network ID*

説明: このメッセージは、IPsec 入力待ち行列オーバーフローのために、IP 転送機能が保護する必要のあるパケットを廃棄しなければならなかった場合に生成されます。

原因: IPsec 入力待ち行列オーバーフローは、バッファが不足しているインターフェースからパケットを受信した場合に発生します。IPsec 待ち行列の長さが、適正な長さを超えています。この原因は、バースト状態または定常状態で、IP 転送機能のカプセル化 (保護) 能力より速くトラフィックが到着していることが考えられます。

処置: トラフィックのバーストを減らしてください。より高速のルーターにアップグレードしてください。

---

**IPSP.031**

レベル: U-INFO

短構文: IPSP.031 dsc IPsec pkt *source\_ip\_address* -> *destination\_ip\_address* nt *Network ID* no IPsec

長構文: IPSP.031 Discarded IPsec packet from *source\_ip\_address* for *destination\_ip\_address* net *Network ID*, IPsec not enabled.

説明: このメッセージは、IPsec プロトコル・ヘッダーが含まれている IPsec パケットを受信したが、IPsec が使用可能にされていない場合に生成されます。IPsec パケットの内容をカプセル化解除するのに利用可能なアクティブの IPsec トンネルがないために、パケットは廃棄されます。

原因: IPsec プロトコル・パケットを受信しましたが、IPsec が使用可能にされていません。

---

**IPSP.032**

レベル: P-TRACE

短構文: IPSP.032 rcv pkt for decap *source\_ip\_address* -> *destination\_ip\_address*

長構文: IPSP.032 Accepting packet for decapsulation from *source\_ip\_address* to *destination\_ip\_address*

説明: このメッセージは、IPsec カプセル化解除モジュールを通過する各 IPv6 パケットごとに生成されます。

---

**IPSP.033**

レベル: U-INFO

短構文: IPSP.033 pkt bigger than PMTU  
*source\_ip\_address* -> *destination\_ip\_address*, pmtu *pmtu*,  
pkt size *pktsize*

長構文: IPSP.033 Packet bigger than PMTU from  
*source\_ip\_address* to *destination\_ip\_address*, pmtu is  
*pmtu*, packet size is *pktsize*

説明: このメッセージは、保護トンネル・モードのトンネルを介して送信される IPv6 パケットが、そのトンネルの MTU より大きい場合に生成されます。ICMP "packet too big" メッセージが生成され、ホストに戻されます。

---

**IPSP.034**

レベル: U-TRACE

短構文: IPSP.034 tunnel *tunnel\_id* aged, pmtu *mtu*

長構文: IPSP.034 Tunnel *tunnel\_id* aged out of table,  
path MTU *mtu*

説明: 指定されたトンネルのパス MTU 経時タイマーが満了しました。パス MTU は最大 MTU 値にリセットされ、次のパケットがこのトンネルを通過するときにパス MTU ディスカバリーが開始されます。

---

**IPSP.035**

レベル: U-TRACE

短構文: IPSP.035 pkt too big for tunnel *tunnel\_id*, pmtu  
*mtu*

長構文: IPSP.035 Packet Too Big ICMP message  
received for tunnel *tunnel\_id*, path MTU is *mtu*

説明: 指定のトンネルでこのルーターによって発信されたパケットに対して、パケットが大き過ぎるというメッセージを受信しました。このトンネルに対するパス MTU ディスカバリーが開始されます。

---

**IPSP.036**

レベル: UI-ERROR

短構文: IPSP.036 Path MTU: no tunl for src *src\_addr*  
dst *dst\_addr* spi *spi*

長構文: IPSP.036 Path MTU: no active tunnel list entry  
for source address *src\_addr*, destination address *dst\_addr*,  
and security parameter index *spi*

説明: 受信した ICMP "Packet Too Big" (パケットが大き過ぎる) パケットのアクティブ・トンネル・リスト・

エントリーがありませんでした。

---

**IPSP.037**

レベル: UI-ERROR

短構文: IPSP.037 no mem for pmtu disc for *tunnel\_id*

長構文: IPSP.037 There is no memory available to  
perform Path MTU Discovery for *tunnel\_id*

説明: ルーターには、指定のトンネル上のパケットのパス MTU ディスカバリーのために必要な制御ブロックを割り振るための十分な記憶域がありません。

---

**IPSP.038**

レベル: UI-ERROR

短構文: IPSP.038 Path MTU: no tunl for src *src\_addr*  
dst *dst\_addr* spi *spi*

長構文: IPSP.038 Path MTU: no active tunnel list entry  
for source address *src\_addr*, destination address *dst\_addr*,  
and security parameter index *spi*

説明: 受信した ICMP "Packet Too Big" パケットのアクティブ・トンネル・リスト・エントリーがありませんでした。

---

**IPSP.039**

レベル: U-INFO

短構文: IPSP.039 pkt bigger than PMTU  
*source\_ip\_address* -> *destination\_ip\_address*, pmtu *pmtu*,  
pkt size *pktsize*

長構文: IPSP.039 Packet bigger than PMTU from  
*source\_ip\_address* to *destination\_ip\_address*, pmtu is  
*pmtu*, packet size is *pktsize*

説明: このメッセージは、保護トンネル・モードのトンネルを介して送信される IPv4 パケットが、そのトンネルのパス MTU より大きく、外部ヘッダーに DF ビットがセットされている場合に生成されます。ICMP "packet too big" メッセージが生成され、ホストに戻されます。

---

**IPSP.040**

レベル: U-INFO

短構文: IPSP.040 df bit not copied/set, sec pkt bigger  
than minimum, *source\_ip\_address* ->  
*destination\_ip\_address*, tnl *tunnel*

長構文: IPSP.040 df bit in the outer header cannot be  
copied/set, the secured packet is greater than the  
minimum MTU, *source\_ip\_address* to

*destination\_ip\_address, tunnel tunnel*

**説明:** このメッセージは、保護トンネル・モードのトンネルを介して送信される IPv4 パケットに対して生成されます。パケットを保護した後は、そのトンネルのパス MTU を超えてしまいますが、着信パケットは MTU の最小値である 576 以下であったので、ICMP エラー・メッセージが出ても、着信パケットのサイズは小さくされません。このトンネルの構成では、外部ヘッダーの DF ビットが内部ヘッダーからコピーされるか、セットされることになっていますが、パケットを断片化する必要があるため、これは行われません。外部ヘッダーの DF ビットはセットされません。

---

#### IPSP.041

**レベル:** P-TRACE

**短構文:** IPSP.041 *str\_message mode mode alg algorithm tid tunnel\_id len length*

**長構文:** IPSP.041 *str\_message mode mode algorithm algorithm tunnel tunnel\_id length length*

**説明:** パケットに対する ESP 認証を行っています。

---

#### IPSP.042

**レベル:** P-TRACE

**短構文:** IPSP.042 Add P2 tid *tunnel\_id* by IKE is *msg*

**長構文:** IPSP.042 Add phase 2 tunnel *tunnel\_id* by IKE is *msg*

**説明:** ISAKMP によってフェーズ 2 のトンネルを追加した結果

---

#### IPSP.043

**レベル:** P-TRACE

**短構文:** IPSP.043 tid *tunnel\_id* SA *msg* thrhld rchd. Strt rfrsh.

**長構文:** IPSP.043 Tunnel *tunnel\_id* SA *msg* threshold reached. Start refreshing.

**説明:** 条件が満たされました。SA の最新表示を開始します。

---

#### IPSP.044

**レベル:** CI-ERROR

**短構文:** IPSP.044 *error\_message*

**長構文:** IPSP.044 Error: *error\_message*

**説明:** エラー・メッセージで指摘されているエラーがあります。

---

#### IPSP.045

**レベル:** P-TRACE

**短構文:** IPSP.045 Rfrshng SA for P2 tid *tunnel\_id* by IKE is *msg*

**長構文:** IPSP.045 Refreshing SA for phase 2 tunnel *tunnel\_id* by IKE is *msg*

**説明:** ISAKMP がフェーズ 2 のトンネルについて SA を最新表示した結果

---

#### IPSP.046

**レベル:** P-TRACE

**短構文:** IPSP.046 *msg tunnel\_id*

**長構文:** IPSP.046 *msg tunnel\_id*

**説明:** 一般のトレース・メッセージ

---

#### IPSP.047

**レベル:** CI-ERROR

**短構文:** IPSP.047 Conformance check failed from *from\_addr* to *to\_addr* tunn *tunn\_id*

**長構文:** IPSP.047 Conformance check failed from *from\_addr* to *to\_addr* tunn *tunn\_id*

**説明:** パケットの受信についての適合性検査に失敗しました。

---

#### IPSP.048

**レベル:** P-TRACE

**短構文:** IPSP.048 IP Comp *msg1* mode bf *size1* af *size2* algo *ipcomp\_algo* on tunn *tunn\_id*

**長構文:** IPSP.048 *msg1* mode before *size1* after *size2* algorithm *ipcomp\_algo* on tunnel *tunn\_id*

**説明:** IP ペイロード圧縮パケットの追跡中。

---

#### IPSP.049

**レベル:** P-TRACE

**短構文:** IPSP.049 IP DeComp bf *size1* af *size2* algo *ipcomp\_algo* on tunn *tunn\_id*

**長構文:** IPSP.049 IP DeComp before *size1* after *size2* algorithm *ipcomp\_algo* on tunnel *tunn\_id*

**説明:** IP ペイロード圧縮解除パケットの追跡中。

---

**IPSP.050**

レベル: P-TRACE

短構文: IPSP.050 IPComp: pkt siz *pkt\_siz* less than min *min\_siz* siz reqr by tunn *tun\_id*

長構文: IPSP.050 IPCompression: packet size *pkt\_siz* less than minimum *min\_siz* require by tunnel *tun\_id*

説明: パケット・サイズが圧縮を行うには小さ過ぎます。

---

**IPSP.051**

レベル: P-TRACE

短構文: IPSP.051 *msg* *HASH\_1* *HASH\_2* *HASH\_2*

長構文: IPSP.051 *msg* *HASH\_1* *HASH\_2* *HASH\_2*

説明: 認証ハッシュ結果





---

## 第60章 ISAKMP

この章では、ISAKMP メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### IKE.001

レベル: P\_TRACE

短構文: IKE.001 Trace IKE packet *string* *ipaddress*

長構文: IKE.001 Trace IKE packet *string* *ipaddress*

説明: ISAKMP パケットをトレース中です。

---

### IKE.002

レベル: P\_TRACE

短構文: IKE.002 Trace IKE payload *string* Peer: *ipaddress*

長構文: IKE.002 Trace IKE payload *string* Peer: *ipaddress*

説明: ISAKMP パケットをトレース中です。

---

### IKE.003

レベル: U-INFO

短構文: IKE.003 Processing *messageID*

長構文: IKE.003 Processing *messageID*

説明: どのメッセージを処理中かを示します。

---

### IKE.004

レベル: UI-ERROR

短構文: IKE.004 Error *errorMessage*

長構文: IKE.004 Error *errorMessage*

説明: エラー・メッセージ

---

### IKE.005

レベル: UI-ERROR

短構文: IKE.005 Error *errorMessage* *integer*

長構文: IKE.005 Error *errorMessage* *integer*

説明: 1つの整数パラメーターをもつエラー・メッセージ

---

### IKE.006

レベル: UI-ERROR

短構文: IKE.006 Error *errorMessage* *integer* *integer*

長構文: IKE.006 Error *errorMessage* *integer* *integer*

説明: 2つの整数パラメーターをもつエラー・メッセージ

---

### IKE.007

レベル: UI-ERROR

短構文: IKE.007 IKE unable to get mem: *location*

長構文: IKE.007 IKE unable to get memory: *location*

説明: IKE は必要な記憶域を割り振ることができなかったため、IKE は実行できません。

原因: ヒープ記憶域が不足しています。おそらく稼働中の記憶域を大量に必要とする実行中の転送機能/プロトコルの数が多過ぎるためです。

処置: 不必要な転送機能/プロトコルを使用不可にするか、記憶域を増やしてください。

---

### IKE.008

レベル: U-INFO

短構文: IKE.008 Load *direction* SA: Alg= *algorithm* Prot= *protocol* Sec= *lifeSeconds* KB= *lifeSize* SPI= *spi*

長構文: IKE.008 Load Isec *direction* SA: Alg= *algorithm* Proto= *protocol* LifeSec= *lifeSeconds* LifeKB= *lifeSize* SPI= *spi*

説明: IKE による IPSEC SA の注入の通知

---

### IKE.009

レベル: U-INFO

短構文: IKE.009 Begin

長構文: IKE.009 Begin

説明: どの状態または機能を開始中かを示します。

---

**IKE.010**

レベル: U-INFO

短構文: IKE.010 Finished

長構文: IKE.010 Finished

説明: どの状態を終了中かを示します。

---

**IKE.011**

レベル: U-INFO

短構文: IKE.011 Message

長構文: IKE.011 Message

説明: 1 つのストリング・パラメーターをもつ通知メッセージ

---

**IKE.012**

レベル: UI-ERROR

短構文: IKE.012 Error *errorMessage long*

長構文: IKE.012 Error *errorMessage long*

説明: 1 つの長いパラメーターをもつエラー・メッセージ

---

**IKE.013**

レベル: U-INFO

短構文: IKE.013 *Info*

長構文: IKE.013 *Info*

説明: ストリング変数についての通知メッセージ

---

**IKE.014**

レベル: U-INFO

短構文: IKE.014 *Message address*

長構文: IKE.014 *Message address*

説明: 1 つのアドレス・パラメーターをもつ通知メッセージ

---

**IKE.015**

レベル: U-INFO

短構文: IKE.015 *Info Message*

長構文: IKE.015 *Info Message*

説明: 1 つの整数パラメーターをもつ通知メッセージ

---

---

**IKE.016**

レベル: UI-ERROR

短構文: IKE.016 *Info Message*

長構文: IKE.016 *Info Message*

説明: 1 つのストリング・パラメーターをもつ通知メッセージ

---

**IKE.017**

レベル: U-INFO

短構文: IKE.017 *Info message long*

長構文: IKE.017 *Info message long*

説明: 2 つの長いパラメーターをもつ通知メッセージ

---

**IKE.018**

レベル: U-INFO

短構文: IKE.018 IKE Public Key module init *status*.  
Exit point: *fun\_name code*

長構文: IKE.018 IKE Public Key module init *status*.  
Exit point: *fun\_name code*

説明: IKE 公開キー・モジュール初期化の状況

---

**IKE.019**

レベル: U-INFO

短構文: IKE.019 IKE signature private key signing  
*status*

長構文: IKE.019 IKE signature private key signing  
*status*

説明: IKE シグニチャー秘密キー署名の状況

---

**IKE.020**

レベル: U-INFO

短構文: IKE.020 IKE signature public key verification  
*status*

長構文: IKE.020 IKE signature public key verification  
*status*

説明: IKE シグニチャー公開キーの検証の状況

---

**IKE.021**

レベル: U-INFO

短構文: IKE.021 IKE signature *status*

長構文: IKE.021 IKE signature *status*

---

説明: IKE シグニチャー突き合わせの状況

---

#### **IKE.022**

レベル: U-INFO

短構文: IKE.022 *Info message string integer string integer*

長構文: IKE.022 *Info message string integer string integer*

説明: 通知メッセージ

---

#### **IKE.023**

レベル: U-INFO

短構文: IKE.023 *Info message integer*

長構文: IKE.023 *Info message integer*

説明: 2 つの整数パラメーターをもつ通知メッセージ

---

#### **IKE.024**

レベル: UI-ERROR

短構文: IKE.024 *errorMessage address*

長構文: IKE.024 *errorMessage address*

説明: 1 つのアドレス・パラメーターをもつエラー・メッセージ

---

#### **IKE.025**

レベル: U-INFO

短構文: IKE.025 *Info message*

長構文: IKE.025 *Info message*

説明: 1 つの長いパラメーターをもつ通知メッセージ

---

#### **IKE.026**

レベル: U-INFO

短構文: IKE.026 Received *Info* notify message from Peer: *message*

長構文: IKE.026 Received *Info* notify message from Peer: *message*

説明: 通知メッセージが受信され、そのタイプをリストすることを示す情報メッセージです。



---

## 第61章 ISDN 調整および管理エンティティ (CEME)

この章では、ISDN 調整および管理エンティティ (CEME) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### CEME.001

レベル: U-INFO

短構文: CEME.001 START\_RQ recvd switch type =  
*switch* on *isdn/ intf*

長構文: CEME.001 Request to initiate L2 for switch  
*switch* on network *intf*

説明: このインターフェースの L2 および TEI 要求を開始するための要求。

処置: なし。

---

### CEME.003

レベル: U-INFO

短構文: CEME.003 RELEASE Layer 3 prim=0x *prim*  
on nt *isdn/ intf*

長構文: CEME.003 layer 3 Release received  
primitive=0x *prim* on ISDN/ *intf*

説明: このインターフェースに対するすべてのコールを解放し、L2 を通知します。

処置: なし。

---

### CEME.004

レベル: U-INFO

短構文: CEME.004 Establish request received, primitive  
0x *prim* on *isdn/ intf*

長構文: CEME.004 Establish layer 3 primitive value (0x  
*prim*) on network *intf*

説明: レイヤー 3 開始 D チャネル通信を確立します。

処置: なし。

---

### CEME.005

レベル: U-INFO

短構文: CEME.005 TEI *tei* REMOVED no response  
from network on *isdn/ intf*

長構文: CEME.005 *tei* time out, no network response  
for *tei* on *isdn intf*

説明: TEI を除去します。

処置: なし。

---

### CEME.006

レベル: U-INFO

短構文: CEME.006 TEI *tei* REMOVED by request on  
*isdn/ intf*

長構文: CEME.006 *tei tei* has been removed by request  
on *isdn intf*

説明: TEI を除去します。

処置: なし。

---

### Panic cemeym

短構文: YDC ISDN: mem alloc fld

説明: YDC ISDN ネットワーク・ハンドラーは、初期化フェーズで十分な記憶域を割り振ることができませんでした。

処置: サービス技術員に連絡してください。





---

## 第62章 ISDN レイヤー 2 リンク・アクセス手順 D チャネル (LAPD)

この章では、ISDN レイヤー 2 リンク・アクセス手順 D チャネル (LAPD) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### LAPD.001

レベル: U-INFO

短構文: LAPD.001 SABME rcvcd on isdn/ *intf*

長構文: LAPD.001 Request to initiate Asynchronous balanced mode on isdn/ *intf*

説明: コネクション型のレイヤー 2 サービスを開始します。

処置: なし。

---

### LAPD.002

レベル: U-INFO

短構文: LAPD.002 SABME sent on isdn/ *intf*

長構文: LAPD.002 Request to initiate Asynchronous balanced mode on isdn/ *intf*

説明: コネクション型のレイヤー 2 サービスを開始します。

処置: なし。

---

### LAPD.003

レベル: U-INFO

短構文: LAPD.003 UA rcvcd on isdn/ *intf*

長構文: LAPD.003 Response to SABME/ DISC initiate/terminate Asynchronous balanced mode on isdn/ *intf*

説明: コネクション型のレイヤー 2 サービスを開始/停止します。

処置: なし。

---

### LAPD.004

レベル: U-INFO

短構文: LAPD.004 UA sent on isdn/ *intf*

長構文: LAPD.004 Respond to request to initiate/terminate Asynchronous balanced mode on isdn/ *intf*

説明: コネクション型のレイヤー 2 サービスを開始/停止します。

処置: なし。

---

### LAPD.005

レベル: U-INFO

短構文: LAPD.005 L2-DISC rcvcd on isdn/ *intf*

長構文: LAPD.005 Layer 2 disconnect received to terminate Asynchronous balanced mode on isdn/ *intf*

説明: コネクション型のレイヤー 2 サービスを停止します。

処置: なし。

---

### LAPD.006

レベル: U-INFO

短構文: LAPD.006 DM rcvcd on isdn/ *intf*

長構文: LAPD.006 Disconnect Mode (DM) rcvcd terminate Asynchronous balanced mode on isdn/ *intf*

説明: コネクション型のレイヤー 2 サービスを停止します。

処置: なし。

---

### Panic lapdym

短構文: YDC ISDN: mem alloc fld

説明: YDC ISDN ネットワーク・ハンドラーは、初期化フェーズで十分な記憶域を割り振ることができませんでした。

処置: サービス技術員に連絡してください。



---

## 第63章 ISO OSI コネクションレス・ネットワーク・レイヤー (ISO)

この章では、ISO OSI コネクションレス・ネットワーク・レイヤー (ISO) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### ISO.001

レベル: UE-ERROR

短構文: ISO.001 rcvd incmplt pkt

長構文: ISO.001 received incomplete packet

説明: ISO CLNP データ・パケットとして認識されるパケット・フラグメントを受信しました。

---

### ISO.002

レベル: UE-ERROR

短構文: ISO.002 rcvd pkt bad NSAP len (= *length*)

長構文: ISO.002 received packet with a bad NSAP length (= *length*)

説明: イリーガルな NSAP 長を含む ISO CLNP データ・パケットを受信しました。

---

### ISO.003

レベル: UE-ERROR

短構文: ISO.003 rcvd pkt bad chksum = *pkt\_chksum*

長構文: ISO.003 received packet with a bad checksum = *pkt\_chksum*

説明: ISO CLNP データ・パケットを受信しましたが、無効なチェックサムを含んでいました。

---

### ISO.004

レベル: UE-ERROR

短構文: ISO.004 rcvd pkt bad vers # = *version\_number*

長構文: ISO.004 received packet with a bad version number (vers = *version\_number*)

説明: ISO CLNP データ・パケットを受信しましたが、無効な、あるいはサポートされていないバージョン番号を含んでいました。

---

### ISO.005

レベル: UE-ERROR

短構文: ISO.005 rcvd pkt bad typ # = *type\_field*

長構文: ISO.005 received packet with a bad type field (vers = *type\_field*)

説明: ISO CLNP データ・パケットを受信しましたが、無効な、あるいはサポートされていないタイプ・フィールドを含んでいました。

---

### ISO.006

レベル: UE-ERROR

短構文: ISO.006 rcvd pkt life exp *source\_NSAP* -> *destination\_NSAP*

長構文: ISO.006 received packet with an expired lifetime *source\_NSAP* -> *destination\_NSAP*

説明: ISO CLNP データ・パケットを受信しましたが、無効なチェックサムを含んでいました。

---

### ISO.007

レベル: UE-ERROR

短構文: ISO.007 rcvd pkt bad opt *source\_NSAP* -> *destination\_NSAP*

長構文: ISO.007 received packet with a bad optional parameter *source\_NSAP* -> *destination\_NSAP*

説明: 無効な任意選択パラメーターを含む ISO CLNP データ・パケットを受信しました。

---

### ISO.008

レベル: UE-ERROR

短構文: ISO.008 rcvd pkt dest unkwn *source\_NSAP* -> *destination\_NSAP*

長構文: ISO.008 received packet - destination unknown *source\_NSAP* -> *destination\_NSAP*

説明: ISO CLNP データ・パケットを受信しましたが、あて先に関するルーティング・テーブル・エントリ

ーがないために、そのパケットを経路指定できません。

---

#### ISO.009

レベル: UE-ERROR

短構文: ISO.009 rcvd pkt no seg prmit *source\_NSAP* -> *destination\_NSAP*

長構文: ISO.009 received packet-no segmentation permitted *source\_NSAP* -> *destination\_NSAP*

説明: セグメント化の必要な ISO CLNP データ・パケットを受信しましたが、セグメント化許可フラグが設定されていませんでした。

---

#### ISO.010

レベル: UE-ERROR

短構文: ISO.010 rcvd pkt cnnt fwd *source\_NSAP* -> *destination\_NSAP* hndlr err (= *error\_code*)

長構文: ISO.010 received packet cannot forward, handler error *source\_NSAP* -> *destination\_NSAP* (err= *error\_code*)

説明: ISO CLNP データ・パケットを受信し、経路指定しましたが、ハンドラー・エラーのために転送できませんでした。

---

#### ISO.011

レベル: UE-ERROR

短構文: ISO.011 CLNP input que ovflw *source\_NSAP* -> *destination\_NSAP*

長構文: ISO.011 CLNP input queue overflow *source\_NSAP* -> *destination\_NSAP*

説明: ISO CLNP 入力パケット待ち行列がオーバーフローしました。パケットは除去されます。

---

#### ISO.012

レベル: UE-ERROR

短構文: ISO.012 no iob avail to snd err pkt

長構文: ISO.012 no i/o buffer available to send error packet

説明: ISO CLNP エラー・パケットを送信しようとしたのですが、システム入出力バッファがないために失敗しました。

---

#### ISO.014

レベル: P-TRACE

短構文: ISO.014 rcvd pkt *source\_NSAP* -> *destination\_NSAP*

長構文: ISO.014 received packet *source\_NSAP* -> *destination\_NSAP*

説明: ISO CLNP データ・パケットが受信され、エラー検査に合格しました。

---

#### ISO.015

レベル: UE-ERROR

短構文: ISO.015 cnnt fwd err pkt hndlr err (= *error\_code*) *source\_NSAP* -> *destination\_NSAP*

長構文: ISO.015 cannot forward an error packet, handler error (err= *error\_code*) *source\_NSAP* -> *destination\_NSAP*

説明: ハンドラー・エラーのために、ISO CLNP エラー・パケットを転送できませんでした。

---

#### ISO.017

レベル: UE-ERROR

短構文: ISO.017 OSI unknwn init prot id

長構文: ISO.017 OSI unknown initial protocol identifier

説明: 初期プロトコル識別子が不明か、またはサポートされていない ISO CLNP パケットを受信しました。

---

#### ISO.018

レベル: P-TRACE

短構文: ISO.018 rcvd ERR pkt *source\_NSAP* -> *destination\_NSAP* cd= *error\_code*

長構文: ISO.018 received Error packet *source\_NSAP* -> *destination\_NSAP* code = *error\_code*

説明: このルーターに関する ISO CLNP エラー・パケットを受信しました。

---

#### ISO.019

レベル: UE-ERROR

短構文: ISO.019 rcvd DT loc *source\_NSAP* -> *destination\_NSAP*

長構文: ISO.019 received Data Packet Local *source\_NSAP* -> *destination\_NSAP*

説明: あて先 NSAP がルーターの NSAP の 1 つを示

している ISO CLNP データ・パケットを受信しました。

---

#### ISO.020

レベル: P-TRACE

短構文: ISO.020 sent ERR pkt *destination\_NSAP*

長構文: ISO.020 sent Error packet *destination\_NSAP*

説明: 無効なパケットの受信時に、ISO CLNP エラー・パケットを送信しました。

---

#### ISO.021

レベル: UE-ERROR

短構文: ISO.021 SRAM err-no NSAP for sbnet

長構文: ISO.021 SRAM error-no NSAP for subnet

説明: サブネットまたはドメインに NSAP が定義されていないサブネットが定義されました。

---

#### ISO.022

レベル: UE-ERROR

短構文: ISO.022 SRAM err-unconcted sbnet

長構文: ISO.022 SRAM error- unconnected subnet

説明: サブネットまたはドメインに NSAP が定義されていないサブネットが定義されました。

---

#### ISO.023

レベル: UE-ERROR

短構文: ISO.023 SRAM err-rte not insrted err=*error\_code* Rt *Destination*

長構文: ISO.023 SRAM error- route not intserted error code = *error\_code* Route to *Destination*

説明: 静的に構成された経路を、ルーティング・テーブルに挿入できませんでした。

---

#### ISO.024

レベル: UE-ERROR

短構文: ISO.024 SRAM err-no adj structs

長構文: ISO.024 SRAM error-no adjacency structures available

説明: 構成された隣接構造が十分ではありません。

---

#### ISO.025

レベル: UE-ERROR

短構文: ISO.025 SRAM err-bad ES rte no sub dom = *domain* int= *interface*

長構文: ISO.025 SRAM error-bad static encoded ES route- no subnet domain = *domain* int = *interface*

説明: 存在しないサブネットのコード化エンド・システム経路が定義されました。

---

#### ISO.027

レベル: UE-ERROR

短構文: ISO.027 SRAM err-bad glbl conf

長構文: ISO.027 SRAM error-bad global configuration

説明: OSI 転送機能が使用可能にされましたが、定義されているドメインがないか、あるいは経路または隣接の数が 0 に設定されています。

---

#### ISO.028

レベル: UE-ERROR

短構文: ISO.028 SRAM err-not enough mem

長構文: ISO.028 SRAM error-not enough memory

説明: OSI 転送機能が、稼働するために必要な記憶域を獲得できませんでした。

---

#### ISO.029

レベル: UE-ERROR

短構文: ISO.029 OSI configured to be disabled

長構文: ISO.029 OSI forwarder is configured to be disabled

説明: OSI 転送機能が、グローバル情報が入力されなかったか、あるいはその転送機能が明示的に使用不可にされていたために、使用可能になっていませんでした。

---

#### ISO.030

レベル: UE-ERROR

短構文: ISO.030 OSI not starting - check config

長構文: ISO.030 OSI forwarder not starting - check configuration

説明: OSI 転送機能が、その構成方法が原因で始動していません。



---

**ISO.031**

レベル: UE-ERROR

短構文: ISO.031 rcvd echo dest unkwn *source\_NSAP* -> *destination\_NSAP*

長構文: ISO.031 received echo packet - destination unknown *source\_NSAP* -> *destination\_NSAP*

説明: ISO CLNP エコー・パケットを受信しましたが、あて先に関する経路指定テーブル・エントリがないために経路指定できません。

---

**ISO.032**

レベル: UE-ERROR

短構文: ISO.032 no iob avail to snd echo pkt

長構文: ISO.032 no i/o buffer available to send echo packet

説明: ISO CLNP エコー・パケットを送信しようとしたのですが、システム入出力バッファがないために失敗しました。

---

**ISO.033**

レベル: UE-ERROR

短構文: ISO.033 cnnt fwd echo pkt hndlr err (= *error\_code*) *source\_NSAP* -> *destination\_NSAP*

長構文: ISO.033 cannot send an echo packet, handler error (err= *error\_code*) *source\_NSAP* -> *destination\_NSAP*

説明: ハンドラー・エラーのために、ISO CLNP エコー・パケットを送信できませんでした。

---

**ISO.034**

レベル: P-TRACE

短構文: ISO.034 sent ECHO rply pkt *destination\_NSAP*

長構文: ISO.034 sent ECHO reply packet *destination\_NSAP*

説明: 無効なパケットの受信時に、ISO CLNP ECHO 応答パケットを送信しました。

---

**ISO.035**

レベル: P-TRACE

短構文: ISO.035 sent ECHO pkt rqst *destination\_NSAP*

長構文: ISO.035 sent ECHO request packet *destination\_NSAP*

説明: 無効なパケットの受信時に、ISO CLNP ECHO

要求パケットを送信しました。

---

**ISO.036**

レベル: P-TRACE

短構文: ISO.036 rcvd ECHO rqst *source\_NSAP* -> *destination\_NSAP*

長構文: ISO.036 received Echo Requet *source\_NSAP* -> *destination\_NSAP*

説明: ISO CLNP エコー・パケットを受信しました。

---

**ISO.037**

レベル: P-TRACE

短構文: ISO.037 rcvd ECHO rply *source\_NSAP* -> *destination\_NSAP*

長構文: ISO.037 received ECHO reply *source\_NSAP* -> *destination\_NSAP*

説明: ISO CLNP ECHO 応答を受信しました。

---

**ISO.038**

レベル: P-TRACE

短構文: ISO.038 DNA pkt forwarded via OSI at level *rtg\_lvl*

長構文: ISO.038 DNA packet forwarded via OSI at level *rtg\_lvl*

説明: DNA パケットが受信され、それを転送するために OSI に渡されました。

---

**ISO.039**

レベル: P-TRACE

短構文: ISO.039 DNA pkt translated to OSI pkt *source\_NSAP* -> *destination\_NSAP*

長構文: ISO.039 DNA pkt translated to OSI pkt: *source\_NSAP* -> *destination\_NSAP*

説明: DNA データ・パケットが、OSI データ・パケットに正しく変換されました。

---

**ISO.040**

レベル: P-TRACE

短構文: ISO.040 Translation of DNA pkt to OSI pkt failed

長構文: ISO.040 Translation of DNA pkt to OSI pkt failed

説明: DNA データ・パケットの OSI データ・パケッ

トへの変換の試みに失敗しました。

---

**ISO.041**

レベル: P-TRACE

短構文: ISO.041 OSI pkt translated to DNA pkt *src -> dst*

長構文: ISO.041 OSI pkt translated to DNA pkt: *src -> dst*

説明: OSI データ・パケットが、DNA データ・パケットに正しく変換されました。

---

**ISO.043**

レベル: P-TRACE

短構文: ISO.043 OSI pkt forwarded via DNA at level *rtg\_lvl*

長構文: ISO.043 OSI packet forwarded via DNA at level *rtg\_lvl*

説明: OSI パケットを受信し、それを転送するために DNA に渡しました。

---

**ISO.044**

レベル: UE-ERROR

短構文: ISO.044 Can't send echo message to local router

長構文: ISO.044 Can't send an echo message to the local router.

説明: エコー・メッセージをローカル・ルーターに送信しようとした。この試みは、ユーザーがあて先アドレスとしてローカル・ルーターの NSAP を指定した送信コマンドをコンソールから入力すると行われます。

---

**ISO.045**

レベル: UE-ERROR

短構文: ISO.045 Error PDU rcvd from *src\_nsap* on nt *network ID* dropped - SP, MS or E/R flag set

長構文: ISO.045 Error PDU received from *src\_nsap* on network *network ID* dropped because either the segmentation permitted, more segments, or error report flag was set

説明: エラー報告 PDU を受信しましたが、それは、セグメント化が許可されている、もっと多くのセグメントを含んでいる、あるいはエラー報告フラグが設定されているものでした。これらのフラグは、エラー PDU の

場合は常にゼロであることになっています。エラー PDU は除去されます。

---

**ISO.046**

レベル: UE-ERROR

短構文: ISO.046 max SVC adj reached on cir (*routing-circuit*)

長構文: ISO.046 maximum SVC adjacencies reached on circuit *routing-circuit*

説明: DA 回線がすでに許容最大隣接数に達しているために、ルーターがその回線上でデータを転送できません。

---

**ISO.047**

レベル: UE-ERROR

短構文: ISO.047 no usable DTEs on cir (*routing-circuit*)

長構文: ISO.047 no usable DTEs on DA circuit (*routing-circuit*)

説明: コール障害、および DA 回線へのすべてのリモート DTE が、リコール・タイマーより新しいタイム・スタンプを持っています。

---

**ISO.048**

レベル: UE-ERROR

短構文: ISO.048 call tmplt not found for cir (*routing-circuit*)

長構文: ISO.048 call template not found for circuit (*routing-circuit*)

説明: コール障害、ルーターがその回線のコール・テンプレートを見付けられません。

---

**ISO.049**

レベル: C-TRACE

短構文: ISO.049 rcvd clr on cir (*routing-circuit*)

長構文: ISO.049 received Clear on circuit (*routing-circuit*)

説明: ルーターが回線上で切断指示を受信しました。

---

**ISO.050**

レベル: C-TRACE

短構文: ISO.050 recall timeout on cir (*routing-circuit*)

長構文: ISO.050 recall timeout on DA circuit (*routing-circuit*)

説明: DA 回線上のリコール・タイマーが満了となりました。

---

#### ISO.051

レベル: C-TRACE

短構文: ISO.051 rsrv timeout on cir ( *routing-circuit* )

長構文: ISO.051 reserve timeout on DA circuit ( *routing-circuit* )

説明: DA SVC 上の予約タイマーが満了となりました。

---

#### ISO.052

レベル: C-TRACE

短構文: ISO.052 idle timeout on cir ( *routing-circuit* )

長構文: ISO.052 idle timeout on DA circuit ( *routing-circuit* )

説明: DA SVC 上のアイドル・タイマーが満了となりました。

---

#### ISO.053

レベル: C-TRACE

短構文: ISO.053 calling on cir ( *routing-circuit* )

長構文: ISO.053 calling on circuit ( *routing-circuit* )

説明: ルーターが、回線に関するコールを発信しました。

---

#### ISO.054

レベル: UE-ERROR

短構文: ISO.054 max calls on cir ( *routing-circuit* )

長構文: ISO.054 maximum call attempts made on circuit ( *routing-circuit* )

説明: ルーターが、回線上でコール障害を起こし、最大コール試行回数に達しました。

---

#### ISO.055

レベル: UE-ERROR

短構文: ISO.055 cnnt reg with WAN ser on intf *interface*

長構文: ISO.055 cannot register with WAN services on interface *interface*

説明: プロトコルがインターフェース上で WAN サービスに登録できません。

---

#### ISO.056

レベル: UE-ERROR

短構文: ISO.056 op on non-exist cir ( *routing-circuit* )

長構文: ISO.056 attempt to operate on a non-existent circuit ( *routing-circuit* )

説明: ルーターが、構成されていない回線上で操作 (使用可能化/使用不可化) を試みました。

---

#### ISO.057

レベル: UE-ERROR

短構文: ISO.057 cnnt get X.121 from NSAP

長構文: ISO.057 cannot extract the X.121 address from the NSAP given

説明: あて先 NSAP が X.121 抽出可能形式になっていません。

---

#### ISO.058

レベル: UE-ERROR

短構文: ISO.058 que ovflw on cir ( *routing-circuit* )

長構文: ISO.058 buffer queue overflow on DA circuit ( *routing-circuit* )

説明: ISO CLNP 出力パケット待ち行列がオーバーフローしました。転送機能がこのパケットを除去しました。

---

## 第64章 LAN エミュレーション・クライアント機能 (LEC)

この章では、LAN エミュレーション・クライアント機能 (LEC) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### LEC.001

レベル: C-INFO

短構文: LEC.001 LEC function entry/exit tracing

長構文: LEC.001 LEC function entry/exit tracing

説明: ユーザーは、このメッセージの表示をオン/オフにするだけで、LEC の機能の開始および終了のトレースを使用可能/使用不可にすることができます。

---

### LEC.002

レベル: C-INFO

短構文: LEC.002 nt network entry\_exit log\_point

長構文: LEC.002 network network: lec trace log: entry\_exit log\_point

説明: LEC 汎用機能の開始/終了

---

### LEC.003

レベル: C-INFO

短構文: LEC.003 nt network entry\_exit log\_point, D1= arg1

長構文: LEC.003 network network: lec trace log: entry\_exit log\_point, D1= arg1

説明: 引き数を 1 つ指定した LEC 汎用機能の開始/終了

---

### LEC.004

レベル: C-INFO

短構文: LEC.004 nt network entry\_exit log\_point, D1= arg1, D2= arg2

長構文: LEC.004 network network: lec trace log: entry\_exit log\_point, D1= arg1, D2= arg2

説明: 引き数を 2 つ指定した LEC 汎用機能の開始/終了

---

### LEC.006

レベル: C-INFO

短構文: LEC.006 nt network trace\_type log\_point, conn\_handle= conn\_handle

長構文: LEC.006 network network: lec trace log: trace\_type log\_point, conn\_handle= conn\_handle

説明: 引き数 (接続ハンドル) を 1 つ含む、LEC の総称トレース・メッセージ

---

### LEC.007

レベル: C-INFO

短構文: LEC.007 nt network trace\_type log\_point, client\_state= client\_state

長構文: LEC.007 network network: lec trace log: trace\_type log\_point, client\_state= client\_state

説明: 引き数 (クライアント状態) を 1 つ含む、LEC の総称トレース・メッセージ

---

### LEC.008

レベル: UE-ERROR

短構文: LEC.008 LEC inbnd fr dscrdr, bad FC, on nt network ID, word1 word2 word3 word4

長構文: LEC.008 LEC inbnd fr dscrdr, bad FC, on network network ID, word1 word2 word3 word4

説明: LEC インバウンド・データ・フレームが廃棄されました。FC バイトが不良です。

---

### LEC.009

レベル: U-INFO

短構文: LEC.009 nt network LEC state chng from old\_state to new\_state

長構文: LEC.009 network network LEC client state machine changed from old\_state to new\_state

説明: LEC クライアント状態マシン (CLSM) が現在の LEC の状態を追跡しています。状態として可能なものには、IDLE、LECS\_SETUP、CONFIGURE、LES\_SETUP、JOINING、ARPING FOR BUS、BUS\_SETUP、

および OPERATIONAL があります。

---

#### LEC.010

レベル: U-INFO

短構文: LEC.010 nt *network* dest state chng from *old\_state* to *new\_state*

長構文: LEC.010 network *network* LEC destination state machine changed from *old\_state* to *new\_state*

説明: LEC あて先マシン (DSM) が ARP エントリーの状態を追跡しています。状態として可能なものは、UNKNOWN、ARPING、CYCLING、KNOWN、FLUSHING、および CONNECTED です。

---

#### LEC.011

レベル: P\_TRACE

短構文: LEC.011 Trace LEC data packet

長構文: LEC.011 Trace LEC data packet

説明: トレース LEC データ・パケット

---

#### LEC.012

レベル: P\_TRACE

短構文: LEC.012 Trace LEC control packet

長構文: LEC.012 Trace LEC control packet

説明: トレース LEC 制御パケット

---

#### LEC.013

レベル: C-TRACE

短構文: LEC.013 nt *network* Rcvd *ctrl\_frame* on conn handle *conn\_handle* with xid *xid*

長構文: LEC.013 network *network* Received *ctrl\_frame* control frame on conn handle *conn\_handle* with tran id of *xid*

説明: LEC が ATM ネットワークから制御フレームを受信しました。

---

#### LEC.014

レベル: C-TRACE

短構文: LEC.014 nt *network* Sent *ctrl\_frame* on conn handle *conn\_handle* with xid *xid*

長構文: LEC.014 network *network* Sent *ctrl\_frame* control frame on conn handle *conn\_handle* with tran id of *xid*

説明: LEC が ATM ネットワーク上に制御フレームを送信しました。

---

#### LEC.015

レベル: U-INFO

短構文: LEC.015 nt *network* trace\_type log\_point

長構文: LEC.015 network *network*: lec trace log: trace\_type log\_point

説明: LEC 一般情報

---

#### LEC.017

レベル: U-INFO

短構文: LEC.017 nt *network* trace\_type log\_point, D1= *arg1*, D2= *arg2*

長構文: LEC.017 network *network*: lec trace log: trace\_type log\_point, D1= *arg1*, D2= *arg2*

説明: 2 つの引き数を含む LEC 一般情報

---

#### LEC.020

レベル: UE-ERROR

短構文: LEC.020 nt *network* error\_lvl log\_point

長構文: LEC.020 network *network*: lec error log: error\_lvl log\_point

説明: LEC 総称エラー

---

#### LEC.021

レベル: UE-ERROR

短構文: LEC.021 nt *network* error\_lvl log\_point, D1= *arg1*

長構文: LEC.021 network *network*: lec error log: error\_lvl log\_point, D1= *arg1*

説明: 1 つの引き数を含む LEC 総称エラー

---

#### LEC.022

レベル: UE-ERROR

短構文: LEC.022 nt *network* error\_lvl log\_point, D1= *arg1*, D2= *arg2*

長構文: LEC.022 network *network*: lec error log: error\_lvl log\_point, D1= *arg1*, D2= *arg2*

説明: 2 つの引き数を含む LEC 総称エラー

---

**LEC.024**

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.024 open frame SAP failed on nt *n\_net*, rc= *retcd*

長構文: LEC.024 open frame SAP failed on network *n\_net*, rc = *retcd*

説明: フレーム SAP のオープンに失敗しました。

---

**LEC.025**

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.025 open call SAP failed on nt *n\_net*, rc= *retcd*

長構文: LEC.025 open call SAP failed on network *n\_net*, rc = *retcd*

説明: コール SAP のオープンに失敗しました。

---

**LEC.026**

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.026 open data path failed for outgoing call, on nt *n\_net*, rc= *retcd*

長構文: LEC.026 open data path failed for outgoing call, on network *n\_net*, rc = *retcd*

説明: 発信コールのためのデータ・パスのオープンに失敗しました。

---

**LEC.027**

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.027 open data path failed for incoming call, on nt *n\_net*, rc= *retcd*

長構文: LEC.027 open data path failed for incoming call, on network *n\_net*, rc = *retcd*

説明: 着信コールのためのデータ・パスのオープンに失敗しました。

---

**LEC.028**

レベル: C-INFO

短構文: LEC.028 Function *function\_name* called, nt *network ID*

長構文: LEC.028 Function *function\_name* called, on network *network ID*

説明: ATM の LEC 機能がコールされました。

---

---

**LEC.029**

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.029 Start failed, on nt *network ID*, rc= *retcd*

長構文: LEC.029 Start failed, on network *network ID*, rc = *retcd*

説明: LEC オブジェクトの開始に失敗しました。

---

**LEC.030**

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.030 create LEC object failed, on nt *network ID*, rc= *retcd*

長構文: LEC.030 create LEC object failed, on network *network ID*, rc = *retcd*

説明: LEC オブジェクトを作成できませんでした。

---

**LEC.031**

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.031 usr reg failed, on nt *network ID*, rc= *retcd*

長構文: LEC.031 user registration failed, on network *network ID*, rc = *retcd*

説明: LEC が登録できませんでした。

---

**LEC.032**

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.032 nt *network ID*, ATM nt *network ID* nt *nblid*

長構文: LEC.032 on network *network ID*, ATM network *network ID* not enabled

説明: ATM インターフェースが使用可能になっていません。

---

**LEC.033**

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.033 LEC activate failed, on nt *network ID*, rc= *retcd*

長構文: LEC.033 LEC activate failed, on network *network ID*, rc = *retcd*

説明: LEC の活動化に失敗しました。

---



---

**LEC.034**

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.034 LEC activate complete, on nt *network ID*, rc= *retcd*

長構文: LEC.034 LEC activate complete, on network *network ID*, rc = *retcd*

説明: LEC の活動化に失敗しました。

---

**LEC.035**

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.035 Outbound frame freed, on nt *network ID*

長構文: LEC.035 Outbound frame freed, on network *network ID*

説明: アウトバウンド・フレームが解放されました。

---

**LEC.036**

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.036 Outbound frame queued, on nt *network ID*

長構文: LEC.036 Outbound frame queued, on network *network ID*

説明: アウトバウンド・フレームが待ち行列に入れられました。

---

**LEC.037**

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.037 Transmit failed, on nt *network ID*, rc= *retcd*

長構文: LEC.037 Transmit failed, on network *network ID*, rc = *retcd*

説明: 送信に失敗しました。

---

**LEC.038**

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.038 Outbound frame discarded, on nt *network ID*, rsn= *reason*, state= *state*, hndl= *conn\_handle*

長構文: LEC.038 Outbound frame discarded, on network *network ID*, reason = *reason*, DSM state = *state*, conn handle = *conn\_handle*

説明: アウトバウンド・フレームが廃棄されました。

---

---

**LEC.039**

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.039 LEC inbnd fr dscrd, size *size*, on nt *network ID*

長構文: LEC.039 LEC inbound frame discarded, size *size*, on network *network ID*

説明: LEC インバウンド・データ・フレームが、フレームが小さ過ぎるために廃棄されました。

---

**LEC.040**

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.040 LEC inbnd fr dscrd, mcast addr, on nt *network ID*

長構文: LEC.040 LEC inbnd fr dscrd, mcast address, on network *network ID*

説明: LEC インバウンド・データ・フレームが、マルチキャスト・データがデータ・ダイレクト上に受信されたために廃棄されました。

---

**LEC.041**

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.041 LEC inbnd fr dscrd, bad mac, on nt *network ID*

長構文: LEC.041 LEC inbnd fr dscrd, bad mac address, on network *network ID*

説明: LEC インバウンド・データ・フレームが、MAC アドレスが不適切であるために廃棄されました。

---

**LEC.042**

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.042 SRAM nt fnd on dsbl, on nt *network ID*

長構文: LEC.042 SRAM not found after disable, on network *network ID*

説明: ユーザーが LEC インターフェースを使用不可にした後に、合致する SRAM ブロックが検出できませんでした。

---

**LEC.043**

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.043 cancel alarm, on nt *net\_no* rc = *rcode*, num *num*

長構文: LEC.043 Bad return from cancel alarm, on

---

network *net\_no*, rc = *rcode*, num = *num*

説明: タイマーを停止しましたが、よくない戻りコードが返されました。

---

#### LEC.044

レベル: C-TRACE

短構文: LEC.044 nt *network* Rcvd Topology on conn handle *conn\_handle* with xid *xid*

長構文: LEC.044 network *network* Received Topology control frame on conn handle *conn\_handle* with tran id of *xid*

説明: LEC は ATM ネットワークからトポロジー制御フレームを受信しました。

---

#### LEC.045

レベル: C-TRACE

短構文: LEC.045 nt *network* Sent Topology on conn handle *conn\_handle* with xid *xid*

長構文: LEC.045 network *network* Sent Topology control frame on conn handle *conn\_handle* with tran id of *xid*

説明: LEC は ATM ネットワークを通してトポロジー制御フレームを送信しました。

---

#### LEC.046

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.046 nt *net\_no* LEC QoS object addresses unavailable

長構文: LEC.046 nt *net\_no* LEC QoS object addresses unavailable

説明: LEC QoS オブジェクトが LEC のオブジェクト・アドレスを獲得できません。

---

#### LEC.047

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.047 nt *net\_no* LEC QoS invld parms, entity:( *maxReservedBW*, *trafficType*, *pcr*, *scr*, *qosClass*, *maxBurstSize*),rc= *rcode*

長構文: LEC.047 nt *net\_no* LEC QoS invalid parms, entity(max= *maxReservedBW* kbps,type= *trafficType*.pcr= *pcr* kbps,scr= *scr* kbps,class= *qosClass*,busrt= *maxBurstSize*),rc= *rcode*

説明: エンティティーに関する LEC QoS の QoS パラメーターが無効です。

---

#### LEC.048

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.048 nt *net\_no* LEC QoS invld TLV rcvd, entity:type= *tlvType*

長構文: LEC.048 nt *net\_no* LEC QoS invalid TLV received, entity,type= *tlvType*

説明: LEC QoS の無効の TLV が、*tlvType* の制御フレーム (エンティティー) に入って受信されました。

---

#### LEC.049

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.049 nt *net\_no* LEC QoS error updating statistics, invld type = *statisticType*

長構文: LEC.049 nt *net\_no* LEC QoS error updating statistics, invld type = *statisticType*

説明: LEC QoS の無効のタイプが、統計の更新中に指定されました。

---

#### LEC.050

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.050 nt *net\_no* LEC QoS error obtaining config parm *configParm* = *value1*

長構文: LEC.050 nt *net\_no* LEC QoS error obtaining configuration parameter *configParm* = *value1*

説明: SRAM から構成パラメーターを獲得中に、LEC QoS エラーが生じました。

---

#### LEC.051

レベル: U-INFO

短構文: LEC.051 nt *net\_no* lec *tableId*: incr tbl sz frm *prevMaxConnEnties* to *newMaxConnEntries* : *statusString*

長構文: LEC.051 nt *net\_no* lec *tableId*: increase table size from *prevMaxConnEnties* to *newMaxConnEntries* : Status *statusString*

説明: LEC 構成要素によって、テーブルのサイズが拡大され、動作状況は SUCCESSFULL と FAILED のいずれかです。

---

#### LEC.052

レベル: U-INFO

短構文: LEC.052 nt *net\_no* lec *tableId*: decr tbl sz frm *prevMaxConnEnties* to *newMaxConnEntries* : *statusString*

長構文: LEC.052 nt *net\_no* lec *tableId*: decrease table

size from *prevMaxConnEnties* to *newMaxConnEntries* :  
Status *statusString*

説明: LEC 構成要素によって、テーブルのサイズが縮小され、動作状況は SUCCESSFULL と FAILED のいずれかです。

---

#### LEC.053

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.053 Outbnd frm dscrd, on nt *net\_no*,frm sz ( *frame\_size*) xcds cnfgd frm sz ( *config\_frame\_size*)

長構文: LEC.053 Outbound frame discarded, on network *net\_no*, frame size ( *frame\_size*) exceeds configured frame size ( *config\_frame\_size*)

説明: アウトバウンド・フレームが廃棄されました。フレームのサイズが、構成されたフレーム・サイズより大きかったためです。

---

#### LEC.054

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.054 Inbnd frm dscrd, on nt *net\_no*,frm sz ( *frame\_size*) xcds cnfgd frm sz ( *config\_frame\_size*)

長構文: LEC.054 Inbound frame discarded, on network *net\_no*, frame size ( *frame\_size*) exceeds configured frame size ( *config\_frame\_size*)

説明: インバウンド・フレームが廃棄されました。フレームのサイズが、構成されたフレーム・サイズより大きかったためです。

---

#### LEC.055

レベル: C-INFO

短構文: LEC.055 FLUSH msg prcssd by Redun IP Gtwy on nt *net\_no*

長構文: LEC.055 The LEC received a FLUSH msg that was processed by a Redundant IP Gateway on net *net\_no*

説明: LEC が冗長 IP ゲートウェイで処理された FLUSH メッセージを受信しました。このメッセージは、1 次ゲートウェイが起動を試みていることを、バックアップ・ゲートウェイに通知します。

---

#### LEC.057

レベル: DEBUG

短構文: LEC.057 nt *net\_no*:ntrng fn: *function\_name*:  
*parameters*

長構文: LEC.057 nt *net\_no*:entering function:  
*function\_name*: *parameters*

説明: 名前を指定された機能が開始されました。

---

#### LEC.058

レベル: DEBUG

短構文: LEC.058 nt *net\_no*:xtng fn: *function\_name*:  
*parameters*

長構文: LEC.058 nt *net\_no*:exiting function:  
*function\_name*: *parameters*

説明: 名前を指定された機能が終了しました。

---

#### LEC.059

レベル: UE-ERROR

短構文: LEC.059 nt *net\_no*:fn: *function\_name*:ntry entry  
unkwn dest st *dest\_state*

長構文: LEC.059 nt *net\_no*:function *function\_name*:entry  
entry unknown destination state *dest\_state*

説明: 指定の機能で、処理中のエントリーが無効の状態です。

---

#### LEC.060

レベル: CE-ERROR

短構文: LEC.060 nt *net\_no*:Mx LE\_ARP rtry cnt ( *retry\_cnt*)  
excd fr *arp\_entry*

長構文: LEC.060 nt *net\_no*:Max LE\_ARP retry count ( *retry\_cnt*)  
exceeded from *arp\_entry*

説明: 最大 ARP エントリー・カウントを超えました。待ち行列に入っているフレームはすべて廃棄され、該当の ARP エントリーは削除されます。

---

#### LEC.061

レベル: C-INFO

短構文: LEC.061 nt *net\_no*:ARP cycl tmr xprd:ntry  
*arp\_entry* st *state*

長構文: LEC.061 nt *net\_no*:ARP cycle timer  
expired:entry *arp\_entry* state *state*

説明: 指定のエントリーの ARP サイクル・タイマーが満了しました。該当の ARP エントリーは解放されません。

---

**LEC.062**

レベル: C-INFO

短構文: LEC.062 nt *net\_no*:Flsh tmr xprd:ntry *arp\_entry* st state

長構文: LEC.062 nt *net\_no*:Flush timer expired:entry *arp\_entry* state state

説明: 指定のエントリーのフラッシュ・タイマーが満了しました。指定の状態が FLUSHING の場合、待ち行列に入っているフレームはすべて廃棄され、別のフラッシュ要求が送信されます。

---

**LEC.063**

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.063 nt *net\_no*:Orphnd Flsh tmr xprd:ntry *arp\_entry* st state

長構文: LEC.063 nt *net\_no*:Orphaned Flush timer expired:entry *arp\_entry* state state

説明: 指定のエントリーの孤立フラッシュ・タイマーが満了しました。指定された状態では、フラッシュ・タイマーがアクティブであるはずはありません。

---

**LEC.064**

レベル: C-INFO

短構文: LEC.064 nt *net\_no*:PSD tmr xprd:ntry *arp\_entry* st state

長構文: LEC.064 nt *net\_no*:PSD timer expired:entry *arp\_entry* state state

説明: 指定のエントリーのパス・スイッチ遅延タイマーが満了しました。指定された状態が FLUSHING の場合、待ち行列に入っているフレームはすべて転送されません。

---

**LEC.065**

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.065 nt *net\_no*:Orphnd PSD tmr xprd:ntry *arp\_entry* st state

長構文: LEC.065 nt *net\_no*:Orphaned PSD timer expired:entry *arp\_entry* state state

説明: 指定のエントリーの孤立 PSD タイマーが満了しました。指定された状態では、PSD タイマーはアクティブであるはずはありません。

---

**LEC.066**

レベル: C-INFO

短構文: LEC.066 nt *net\_no*:Rdy rtry cnt eqls mx rdy rtries ( *max\_rdy\_retries*), ntry *art\_entry*

長構文: LEC.066 nt *net\_no*:Ready retry count equals max ready retries( *max\_rdy\_retries*), entry *art\_entry*

説明: レディー再試行カウントが定義された最大レディー再試行回数に等しく、エントリーの状態は CALL PENDING です。コールはハングアップされます。

---

**LEC.067**

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.067 nt *net\_no*:xmt ctrl frm, rdy qry fld,ntry *art\_entry*

長構文: LEC.067 nt *net\_no*:xmit control frame, ready query failed, entry *art\_entry*

説明: レディー照会の送信中に、エラーが発生しました。

---

**LEC.068**

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.068 nt *net\_no*:Orphnd Rdy tmr xprd:ntry *art\_entry* st state

長構文: LEC.068 nt *net\_no*:Orphaned Ready timer expired:entry *art\_entry* state state

説明: 指定のエントリーの孤立レディー・タイマーが満了しました。指定された状態では、レディー・タイマーはアクティブであるはずはありません。

---

**LEC.069**

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.069 nt *net\_no*:Plc cll fld:out of rsrc, addr *atm\_addr*

長構文: LEC.069 nt *net\_no*:Place call failed:out of resource, address *atm\_addr*

説明: 資源の不足のため、アウトバウンド・データ・ダイレクト・コネクションのコールの発信に失敗しました。

---

**LEC.070**

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.070 nt *net\_no*:fn *function\_name*:ntry entry unknwn cll st *call\_state*

長構文: LEC.070 nt *net\_no*:function *function\_name*:entry  
entry unknown call state *call\_state*

説明: 指定の機能で、処理中のエントリーが無効の状態です。

---

#### LEC.071

レベル: UE-ERROR

短構文: LEC.071 nt *net\_no*:Mltpl cnnctns exst to cllr  
addr *caller\_addr*

長構文: LEC.071 nt *net\_no*:Multiple connections exist to  
caller address *caller\_addr*

説明: インバウンド・データ・ダイレクト・コールを受信しました。発呼側への接続が複数存在するため、このコールは拒否されます。

---

#### LEC.072

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.072 nt *net\_no*:Rcv cll fld:out of rsrc, conn  
hdl *conn\_handle*

長構文: LEC.072 nt *net\_no*:Receive call failed:out of  
resource,conn handle *conn\_handle*

説明: 資源の不足のため、インバウンド・データ・ダイレクト接続のコールの受信に失敗しました。

---

#### LEC.073

レベル: C-INFO

短構文: LEC.073 nt *net\_no*:Rdy Indct rcvd,ntry  
*art\_entry* st state

長構文: LEC.073 nt *net\_no*:Ready Indicate received,entry  
*art\_entry* state state

説明: レディー表示フレームを受信しました。

---

#### LEC.074

レベル: UE-ERROR

短構文: LEC.074 nt *net\_no*:Rdy Indct rcvd,cll st err  
,ntry *art\_entry* st state

長構文: LEC.074 nt *net\_no*:Ready Indicate received,call  
state error, entry *art\_entry* state state

説明: レディー表示フレームは、この状態の接続上で受信されるはずはありません。

---

#### LEC.075

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.075 nt *net\_no*:Rdy Indct rcvd,unkwn  
conn, conn hndl *conn\_handle*

長構文: LEC.075 nt *net\_no*:Ready Indicate  
received,unknown connection, conn handle *conn\_handle*

説明: LEC が認識できない接続上でレディー表示フレームを受信しました。

---

#### LEC.076

レベル: C-INFO

短構文: LEC.076 nt *net\_no*:Plc Cll Ack rcvd,ntry  
*art\_entry* st state

長構文: LEC.076 nt *net\_no*:Place Call Ack  
Received,entry *art\_entry* state state

説明: 発信コール ACK を受信しました。

---

#### LEC.077

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.077 nt *net\_no*:xmt ctrl frm,rdy indct  
fld,addr *atm\_addr*

長構文: LEC.077 nt *net\_no*:xmit control frame,ready  
indicate failed, address *atm\_addr*

説明: レディー表示制御フレームを送信できません。

---

#### LEC.078

レベル: UE-ERROR

短構文: LEC.078 nt *net\_no*:Plc Cll Ack rcvd,cll st err  
,ntry *art\_entry* st state

長構文: LEC.078 nt *net\_no*:Place Call Ack received,call  
state error, entry *art\_entry* state state

説明: 発信コール ACK が、この状態の接続上で受信されるはずはありません。

---

#### LEC.079

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.079 nt *net\_no*:Plc Cll Ack rcvd,unkwn  
conn, conn hndl *conn\_handle*

長構文: LEC.079 nt *net\_no*:Place Call Ack  
received,unknown connection, conn handle *conn\_handle*

説明: LEC が確認できない接続上で、発信コール ACK を受信しました。

---

**LEC.080**

レベル: C-INFO

短構文: LEC.080 nt *net\_no*:Rtrng cll estblshmnt, ntry *art\_entry*

長構文: LEC.080 nt *net\_no*:Retrying call establishment, entry *art\_entry*

説明: コールの切断中で、接続の再確立を試みます。

---

**LEC.081**

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.081 nt *net\_no*:Dscnct rcvd,unkwn conn, conn hndl *conn\_handle*

長構文: LEC.081 nt *net\_no*:Disconnect received,unknown connection, conn handle *conn\_handle*

説明: LEC が確認できない接続について、切断を受信しました。

---

**LEC.082**

レベル: C-INFO

短構文: LEC.082 nt *net\_no*:HngUp cll rcvd,ntry *art\_entry* st *state*

長構文: LEC.082 nt *net\_no*:HangUp call received,entry *art\_entry* state *state*

説明: HangUp コールを受信しました。

---

**LEC.083**

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.083 nt *net\_no*:HngUp cll rcvd,unkwn conn, conn hndl *conn\_handle*

長構文: LEC.083 nt *net\_no*:HangUp call received,unknown connection, conn handle *conn\_handle*

説明: LEC が認識できない接続について、HangUp コールを受信しました。

---

**LEC.084**

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.084 nt *net\_no*:fn *function\_name*:unkwn clnt st *client\_state*

長構文: LEC.084 nt *net\_no*:function *function\_name*:unknown client state *client\_state*

説明: 名前を指定された機能内で、LEC が無効の状態です。

---

---

**LEC.085**

レベル: UE-ERROR

短構文: LEC.085 nt *net\_no*:Plc Cll Ack for Cfg Drct rcvd,clnt st err ,st *state*

長構文: LEC.085 nt *net\_no*:Place Call Ack for Cfg Direct received,client state error, state *state*

説明: 構成ダイレクト VCC に関する発信コール ACK は、LEC がこの状態の場合に受信されるはずはありません。

---

**LEC.086**

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.086 nt *net\_no*:Unbl to strt jn rqst tmr

長構文: LEC.086 nt *net\_no*:Unable to start join request timer

説明: この LEC に関して、結合要求タイマーが開始できませんでした。

---

**LEC.087**

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.087 nt *net\_no*:xmt ctrl frm,jn rqst fld

長構文: LEC.087 nt *net\_no*:xmit control frame,join request failed

説明: 結合要求制御フレームを送信できません。

---

**LEC.088**

レベル: UE-ERROR

短構文: LEC.088 nt *net\_no*:Plc Cll Ack for Ctrl Drct rcvd,clnt st err ,st *state*

長構文: LEC.088 nt *net\_no*:Place Call Ack for Control Direct received,client state error, state *state*

説明: コントロール・ダイレクト VCC に関する発信コール ACK は、LEC がこの状態の場合に受信されるはずはありません。

---

**LEC.089**

レベル: UE-ERROR

短構文: LEC.089 nt *net\_no*:Plc Cll Ack for Mcst Snd rcvd,clnt st err ,st *state*

長構文: LEC.089 nt *net\_no*:Place Call Ack for Mcast Send received,client state error, state *state*

説明: マルチキャスト・SEND VCC に関する発信コ

---



ール ACK は、LEC がこの状態の場合に受信されるはずはありません。

---

#### LEC.090

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.090 nt *net\_no*:PVC stup to LECS fld

長構文: LEC.090 nt *net\_no*:PVC setup to LECS failed

説明: LECS (VPI 0,VCI 17) に関する PVC の設定の試みが失敗しました。

---

#### LEC.091

レベル: UE-ERROR

短構文: LEC.091 nt *net\_no*:Dscnct for Cnfg Drct rcvd,clnt st err ,st state

長構文: LEC.091 nt *net\_no*:Disconnect for Config Direct received,client state error, state state

説明: 構成ダイレクト VCC に関する切断は、LEC がこの状態の場合に受信されるはずはありません。

---

#### LEC.092

レベル: UE-ERROR

短構文: LEC.092 nt *net\_no*:Dscnct for Ctrl Drct rcvd,clnt st err ,st state

長構文: LEC.092 nt *net\_no*:Disconnect for Control Direct received,client state error, state state

説明: コントロール・ダイレクト VCC に関する切断は、LEC がこの状態の場合に受信されるはずはありません。

---

#### LEC.093

レベル: UE-ERROR

短構文: LEC.093 nt *net\_no*:Dscnct for Ctrl Dstrbt rcvd,clnt st err ,st state

長構文: LEC.093 nt *net\_no*:Disconnect for Control Distribute received,client state error, state state

説明: コントロール・ディストリビュート VCC に関する切断は、LEC がこの状態の場合に受信されるはずはありません。

---

#### LEC.094

レベル: C-INFO

短構文: LEC.094 nt *net\_no*:Rtryng Mcst Snd conn to BUS

長構文: LEC.094 nt *net\_no*:Retrying Mcst Send connection to BUS

説明: BUS へのマルチキャスト・センド・接続の設定を試行します。

---

#### LEC.095

レベル: UE-ERROR

短構文: LEC.095 nt *net\_no*:Dscnct for Mcst Snd rcvd,clnt st err ,st state

長構文: LEC.095 nt *net\_no*:Disconnect for Mcast Send received,client state error, state state

説明: マルチキャスト・センド VCC に関する切断は、LEC がこの状態の場合に受信されるはずはありません。

---

#### LEC.096

レベル: UE-ERROR

短構文: LEC.096 nt *net\_no*:Dscnct for Mcst Fwd rcvd,clnt st err ,st state

長構文: LEC.096 nt *net\_no*:Disconnect for Mcast Fwd received,client state error, state state

説明: マルチキャスト・フォワード VCC に関する切断は、LEC がこの状態の場合に受信されるはずはありません。

---

#### LEC.097

レベル: UE-ERROR

短構文: LEC.097 nt *net\_no*:Cnfg Rsp err, trans id (x *trans\_id*) not eql rsp trans id (x *rsp\_trans\_id*)

長構文: LEC.097 nt *net\_no*:Config Rsp error,trans id (x *trans\_id*) not equal response trans id (x *rsp\_trans\_id*)

説明: トランザクション ID が構成要求と構成応答とで等しくありませんでした。トランザクション ID は要求と応答とで同じであることが必要です。

---

#### LEC.098

レベル: UE-ERROR

短構文: LEC.098 nt *net\_no*:Cnfg Rsp err, st status

長構文: LEC.098 nt *net\_no*:Config Rsp error, status status

説明: 構成応答が、明記されているエラー状況を戻しました。

---

**LEC.099**

レベル: UE-ERROR

短構文: LEC.099 nt *net\_no*:Vldtn of cnfg parms frm LECS fld

長構文: LEC.099 nt *net\_no*:Validation of config parms from LECS failed

説明: LECS からの LEC の構成パラメーターの検証に失敗しました。

---

**LEC.101**

レベル: UE-ERROR

短構文: LEC.101 nt *net\_no*:Jn Rsp err, st *status*

長構文: LEC.101 nt *net\_no*:Jn Rsp error, status *status*

説明: 結合応答が、明記されているエラー状況を戻しました。

---

**LEC.102**

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.102 nt *net\_no*:xmt ctrl frm,arp rqst fld, dst *dest\_mac*

長構文: LEC.102 nt *net\_no*:xmit control frame,arp request failed, dest *dest\_mac*

説明: ARP 要求制御フレームを送信できません。

---

**LEC.103**

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.103 nt *net\_no*:Unbl to strt arp rqst tmr

長構文: LEC.103 nt *net\_no*:Unable to start arp request timer

説明: この LEC の ARP 要求タイマーを開始できませんでした。

---

**LEC.104**

レベル: UE-ERROR

短構文: LEC.104 nt *net\_no*:Jn rsp rcvd,clnt st err ,st *state*

長構文: LEC.104 nt *net\_no*:Join response received,client state error, state *state*

説明: 結合応答が、この状態の LEC によって受信されるはずはありません。

---

**LEC.105**

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.105 nt *net\_no*:Flsh rsp rcvd,no ARP ntry ,st *state*

長構文: LEC.105 nt *net\_no*:Flush response received,no ARP entry, state *state*

説明: フラッシュ応答を受信しましたが、関連する ARP エントリーが見付かりませんでした。

---

**LEC.106**

レベル: UE-ERROR

短構文: LEC.106 nt *net\_no*:Flsh rsp rcvd,src addr *src\_addr*, LEC addr *lec\_addr* msmtch

長構文: LEC.106 nt *net\_no*:Flush response received,source addr *src\_addr*, LEC addr *lec\_addr* mismatch

説明: フラッシュ応答を受信しましたが、フレームの発信元アドレスが LEC のアドレスに一致しません。

---

**LEC.107**

レベル: UE-ERROR

短構文: LEC.107 nt *net\_no*:LE ARP Rsp err, st *status*, dst *dest\_mac*

長構文: LEC.107 nt *net\_no*:LE ARP Rsp error, status *status*, dest *dest\_mac*

説明: LE ARP 応答が、明記されているエラー状況を戻しました。

---

**LEC.108**

レベル: UE-ERROR

短構文: LEC.108 nt *net\_no*:Invld tag( *tag*), LE ARP Rsp, st *state*

長構文: LEC.108 nt *net\_no*:Invalid tag ( *tag*) LE ARP Rsp, state *state*

説明: LE ARP 応答に無効のタグが含まれています。

---

**LEC.109**

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.109 nt *net\_no*:LE ARP Rsp rcvd,no ARP ntry, dest *dest\_mac* st *state*

長構文: LEC.109 nt *net\_no*:LE ARP Rsp received,no ARP entry, dest *dest\_mac* state *state*

説明: LE ARP 応答を受信しましたが、関連する ARP エントリーが見付かりませんでした。

---

#### LEC.110

レベル: UE-ERROR

短構文: LEC.110 nt *net\_no*:Invlid tag( *tag*), LE NARP Rqst, *st state*

長構文: LEC.110 nt *net\_no*:Invalid tag ( *tag*) LE ARP Rqst, *state state*

説明: LE NARP 要求に無効のタグが含まれています。

---

#### LEC.111

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.111 nt *net\_no*:Jn timeout exceeded

長構文: LEC.111 nt *net\_no*:Join timeout exceeded

説明: 結合タイムアウトを超過しました。

---

#### LEC.112

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.112 nt *net\_no*:Cnfg rqst tmout (*config\_timeout*) excds cntrl tmout( *control\_timeout*)

長構文: LEC.112 nt *net\_no*:Config request timeout (*config\_timeout*) exceeds control timeout ( *control\_timeout*)

説明: 構成要求タイムアウトが制御タイムアウトを超えています。

---

#### LEC.113

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.113 nt *net\_no*:Cnfg Req tmr xprd,clnt st err ,*st state*

長構文: LEC.113 nt *net\_no*:Config Request timer expired,client state error, *state state*

説明: 構成要求タイマーは、LEC がこの状態の場合に満了するはずはありません。

---

#### LEC.114

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.114 nt *net\_no*:LE ARP rtry cnt (*arp\_retry\_cnt*) fr BUS eqls mx rtries

長構文: LEC.114 nt *net\_no*:LE ARP retry count (*arp\_retry\_cnt*) for BUS equals max retries

説明: LE ARP 再試行カウントが最大再試行カウントに等しくなっています。

---

#### LEC.115

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.115 nt *net\_no*:LE ARP fr BUS tmr xprd,clnt st err ,*st state*

長構文: LEC.115 nt *net\_no*:LE ARP for BUS timer expired,client state error, *state state*

説明: LE ARP 要求タイマーは、LEC がこの状態の場合に満了するはずはありません。

---

#### LEC.116

レベル: UE-ERROR

短構文: LEC.116 nt *net\_no*:Cnfg Rsp cntrl frm err,src (*src\_dest*) not LEC's ( *lec\_mac*)

長構文: LEC.116 nt *net\_no*:Config Response control frame error, source ( *src\_dest*) not LEC's ( *lec\_mac*)

説明: 構成応答制御フレームを受信しました。発信元 MAC アドレスが LEC の MAC アドレスに等しくありません。

---

#### LEC.117

レベル: UE-ERROR

短構文: LEC.117 nt *net\_no*:Cnfg Rsp cntrl frm err, invld eln nm sz ( *name\_size*)

長構文: LEC.117 nt *net\_no*:Config Response control frame error,invalid ELAN name size ( *name\_size*)

説明: 構成応答制御フレームを受信しました。ELAN の名前サイズが無効です。

---

#### LEC.118

レベル: UE-ERROR

短構文: LEC.118 nt *net\_no*:Cnfg Rsp cntrl frm err, invld frm sz ( *frame\_size*)

長構文: LEC.118 nt *net\_no*:Config Response control frame error,invalid frame size ( *frame\_size*)

説明: 構成応答制御フレームを受信しました。最大フレーム・サイズが無効です。

---

#### LEC.119

レベル: UE-ERROR

短構文: LEC.119 nt *net\_no*:Cnfg Rsp cntrl frm err, invld prmtr *config\_parm*

長構文: LEC.119 nt *net\_no*:Config Response control frame error,invalid parameter *config\_parm*

説明: 構成応答制御フレームを受信しました。指定された構成パラメーターが無効、または範囲外です。

---

#### LEC.120

レベル: UE-ERROR

短構文: LEC.120 nt *net\_no*:Jn Rsp cntrl frm err, invld frm sz ( *frame\_size*)

長構文: LEC.120 nt *net\_no*:Join Response control frame error,invalid frame size ( *frame\_size*)

説明: 結合応答制御フレームを受信しました。最大フレーム・サイズが無効です。

---

#### LEC.121

レベル: UE-ERROR

短構文: LEC.121 nt *net\_no*:Jn Rsp cntrl frm err, lan typ ( *lan\_type*) not eql to LEC ( *lec\_lan\_type*)

長構文: LEC.121 nt *net\_no*:Join Response control frame error,lan type ( *lan\_type*) not equal to LEC ( *lec\_lan\_type*)

説明: 結合応答制御フレームを受信しました。応答の中の LAN タイプが LEC の LAN タイプに一致しません。

---

#### LEC.122

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.122 nt *net\_no*:Unbl to strt cnfg rqst tmr

長構文: LEC.122 nt *net\_no*:Unable to start cnfg request timer

説明: この LEC の構成要求タイマーを開始できませんでした。

---

#### LEC.123

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.123 nt *net\_no*:xmt cntrl frm,cnfg rqst fld

長構文: LEC.123 nt *net\_no*:xmit control frame,cnfg request failed

説明: 構成要求制御フレームを送信できません。

---

#### LEC.124

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.124 nt *net\_no*:Jn Req tmr xprd,clnt st err ,st state

長構文: LEC.124 nt *net\_no*:Join Request timer

expired,client state error, state state

説明: 結合要求タイマーは、LEC がこの状態の場合に満了するはずはありません。

---

#### LEC.125

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.125 nt *net\_no*:set alm tmr rtn null pntr, fn *function\_name*, alm type *alarm\_type*

長構文: LEC.125 nt *net\_no*:Set Alarm timer returned a null pointer, function *function\_name*, alarm type *alarm\_type*

説明: 警報タイマーを割り振ることができません。

---

#### LEC.126

レベル: C-INFO

短構文: LEC.126 nt *net\_no*:Regstrd lan dest/RD *lan\_dest* w/LES

長構文: LEC.126 nt *net\_no*:Registered lan destination/Route Descriptor *lan\_dest* with LES

説明: LEC が LES に LAN あて先記述子または経路記述子を登録しました。

---

#### LEC.127

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.127 nt *net\_no*:Fld to reg lan dest/RD *lan\_dest* w/LES

長構文: LEC.127 nt *net\_no*:Failed to register lan destination/Route Descriptor *lan\_dest* with LES

説明: LES に LAN あて先記述子または経路記述子を登録する試みが失敗しました。

---

#### LEC.128

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.128 nt *net\_no*:fn *function\_name*:unkwn RSM st *rsm\_state*

長構文: LEC.128 nt *net\_no*:function *function\_name*:unknown RSM state *rsm\_state*

説明: 名前を指定された機能内で、LEC RSM が無効の状態です。

---

**LEC.129**

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.129 nt *net\_no*:Fld to reg lan dest/RD *dest\_addr* (atm addr *dest\_atm\_addr*) w/LES

長構文: LEC.129 nt *net\_no*:Failed to register lan destination/Route Descriptor *dest\_addr* (atm address *dest\_atm\_addr*) with LES

説明: LES に LAN あて先記述子または経路記述子を登録する試みが失敗しました。

---

**LEC.130**

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.130 nt *net\_no*:fn *function\_name*:lec fld to get reg req timr

長構文: LEC.130 nt *net\_no*:function *function\_name*:lec failed to get register request timer

説明: 指定の機能で、LEC は登録要求タイマーを入手するのに失敗しました。

---

**LEC.131**

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.131 nt *net\_no*:fn *function\_name*:lec reg xmit join req fld

長構文: LEC.131 nt *net\_no*:function *function\_name*:lec register transmit join request failed

説明: 指定の機能で、LEC は結合要求を送信するのに失敗しました。

---

**LEC.132**

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.132 nt *net\_no*:fn *function\_name*: unxpctd rsp rcvd, st *rsm\_state*, rsp *rsp OpCode*

長構文: LEC.132 nt *net\_no*:function *function\_name*:unexpected response received, state *rsm\_state*, response *rsp OpCode*

説明: 名前を指定された機能内で、特定の RSM 状態に関して予期しない応答を受信しました。

---

**LEC.133**

レベル: U-INFO

短構文: LEC.133 nt *net\_no*:LEC nt oprtnl, st *state*

長構文: LEC.133 nt *net\_no*:LEC not operational, state *state*

説明: LEC は作動不可能です。

---

**LEC.134**

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.134 nt *net\_no*:Outbnd frm dscrtd, dst = *dest\_addr* src = *src\_addr*, rsn = *reason*

長構文: LEC.134 nt *net\_no*:Outbound frame discarded, dest = *dest\_addr* source = *src\_addr*, reason = *reason*

説明: アウトバウンド・フレームが廃棄されました。

---

**LEC.135**

レベル: DEBUG

短構文: LEC.135 nt *net\_no*:Snd frm on Mcast Snd VCC, dst = *dest\_addr* src = *src\_addr*

長構文: LEC.135 nt *net\_no*:Send frame on Multicast Send VCC, dest = *dest\_addr* source = *src\_addr*

説明: フレームがマルチキャスト・センド VCC 上で送信されました。

---

**LEC.136**

レベル: U-INFO

短構文: LEC.136 nt *net\_no*:No cnmctn to BUS

長構文: LEC.136 nt *net\_no*:No connection to BUS

説明: LEC には BUS への接続がありません。

---

**LEC.137**

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.137 nt *net\_no*:No ARP entrs avlbl,hngup lst usd conn fld

長構文: LEC.137 nt *net\_no*:No ARP entires available, hangup least used connection failed

説明: LEC の ARP テーブルがいっぱいです。

---

**LEC.138**

レベル: DEBUG

短構文: LEC.138 nt *net\_no*:Snd Drctd frm, dst = *dest\_addr* src = *src\_addr*

長構文: LEC.138 nt *net\_no*:Send Directed frame, dest = *dest\_addr* source = *src\_addr*

説明: 方向を指定されたフレームが送信されました。

---

**LEC.139**

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.139 nt *net\_no*:Inbnd frm dscrd, dst = *dest\_addr* src = *src\_addr*, rsn = *reason*

長構文: LEC.139 nt *net\_no*:Inbound frame discarded, dest = *dest\_addr* source = *src\_addr*, reason = *reason*

説明: インバウンド・フレームが廃棄されました。

---

**LEC.140**

レベル: DEBUG

短構文: LEC.140 nt *net\_no*:Rcvd *frame\_type* cntrl frm,trans id x *trans\_id*, conn hndl *conn\_handle*

長構文: LEC.140 nt *net\_no*:Received *frame\_type* control frame, trans id x *trans\_id*, connection handle *conn\_handle*

説明: 指定された制御フレームが LEC によって受信されました。

---

**LEC.141**

レベル: U-INFO

短構文: LEC.141 nt *net\_no*:Dscrd LE\_ARP Rqst. *str\_port* prt nt in fwding st. Prt st *str\_state*(0x *port\_state*)

長構文: LEC.141 nt *net\_no*:Discarded LE\_ARP Request. *str\_port* port not in forwarding state. Port state is *str\_state*(0x *port\_state*)

説明: ローカルまたはリモート・ポートが転送状態にない場合は、LEC が LE\_ARP 要求に応答するはずはありません。

---

**LEC.142**

レベル: UI\_ERROR

短構文: LEC.142 nt *net\_no*:Get LEC's cnfg prms fld

長構文: LEC.142 nt *net\_no*:Get LEC's config parameters failed

説明: LEC の構成パラメーターの読み取りに失敗しました。

---

**LEC.143**

レベル: UI\_ERROR

短構文: LEC.143 nt *net\_no*:Create objct *LEC\_object* fld

長構文: LEC.143 nt *net\_no*:Create object *LEC\_object* failed

---

説明: 指定された LEC オブジェクトが作成できませんでした。

---

**LEC.144**

レベル: UI\_ERROR

短構文: LEC.144 nt *net\_no*:Rgstr dest *dest\_addr* fld, rsn *reason*

長構文: LEC.144 nt *net\_no*:Register destination *dest\_addr* failed, rsn *reason*

説明: 指定されたあて先が LES に登録できませんでした。

---

**LEC.145**

レベル: UI\_ERROR

短構文: LEC.145 nt *net\_no*:ATM addr actvtd, invld st *client\_state*

長構文: LEC.145 nt *net\_no*:ATM address activated, invalid state *client\_state*

説明: LEC がこの状態にあるときは、ATM アドレスを活性化してはなりません。

---

**LEC.146**

レベル: UI\_ERROR

短構文: LEC.146 nt *net\_no*:ATM addr actvtd, ILMI fld

長構文: LEC.146 nt *net\_no*:ATM address activated, ILMI failure

説明: ILMI 障害が生じました。

---

**LEC.147**

レベル: UE\_ERROR

短構文: LEC.147 nt *net\_no*:Get LECS addr fld

長構文: LEC.147 nt *net\_no*:Get LECS address failed

説明: LEC は LECS アドレスを入手できませんでした。

---

**LEC.148**

レベル: UE\_ERROR

短構文: LEC.148 nt *net\_no*:Cntrl Drcet setup fld

長構文: LEC.148 nt *net\_no*:Control Direct setup failed

説明: LEC は LES へのコントロール・ダイレクト VCC を設定することができませんでした。

---



---

**LEC.149**

レベル: UE\_ERROR

短構文: LEC.149 nt *net\_no*:Cnfg Drct setup fld

長構文: LEC.149 nt *net\_no*:Config Direct setup failed

説明: LEC は LECS への構成ダイレクト VCC を設定することができませんでした。

---

**LEC.150**

レベル: U\_INFO

短構文: LEC.150 nt *net\_no*:Unslctd Cnfg Rsp rcvd

長構文: LEC.150 nt *net\_no*:Unsolicited Config Response received

説明: LEC は非勧誘型構成応答フレームを受信しました。

---

**LEC.151**

レベル: DEBUG

短構文: LEC.151 nt *net\_no*:xmt ctrl frm *frame\_type*,trans id x *trans\_id*, conn hndl *conn\_handle*

長構文: LEC.151 nt *net\_no*:xmit control frame *frame\_type*, trans id x *trans\_id*, connection handle *conn\_handle*

説明: 指定された制御フレームが送信されました。

---

**LEC.152**

レベル: UE-ERROR

短構文: LEC.152 nt *net\_no*:Invlld LE ARP Rsp,rsn *status*

長構文: LEC.152 nt *net\_no*:Invalid LE ARP Response, reason *status*

説明: 明記されている理由により、LE ARP 応答は無効です。

---

**LEC.153**

レベル: UE-ERROR

短構文: LEC.153 nt *net\_no*:Place call ack for unknwn conn, st *client\_state*

長構文: LEC.153 nt *net\_no*:Place call ack for unknown connection, state *client\_state*

説明: 確認不能の接続に関して、発信コール ACK を受信しました。

---

---

**LEC.154**

レベル: UE-ERROR

短構文: LEC.154 nt *net\_no*:lec\_cmgr has conn\_tbl/freelist inconsistency, index = *index*

長構文: LEC.154 nt *net\_no*:lec\_mgr has conn\_tbl/freelist inconsistency, index = *index*

説明: 新規接続ブロックの獲得時に不整合が見付かりました。

---

**LEC.155**

レベル: UE-ERROR

短構文: LEC.155 nt *net\_no*:lec\_cmgr:decrTblSz err: tblSz= *max\_conn\_handles*, connEntries= *non\_null\_entries*, flstAvl= *freelist\_available*

長構文: LEC.155 nt *net\_no*:lec\_cmgr:decrTblSz error: tblSz= *max\_conn\_handles*, connEntries= *non\_null\_entries*, flstAvl= *freelist\_available*

説明: LEC 接続テーブルの縮小時に不整合が見付かりました。

---

**LEC.156**

レベル: U-INFO

短構文: LEC.156 nt *net\_no*:lec\_cmgr:decrTblSz check OK: tblSz= *max\_conn\_handles*, flstAvl= *freelist\_available*

長構文: LEC.156 nt *net\_no*:lec\_cmgr:decrTblSz check OK: tblSz= *max\_conn\_handles*, flstAvl= *freelist\_available*

説明: lec\_cmgr:decrease\_conn\_tbl で整合性検査は OK でしたが、テーブルは縮小されていません。

---

**LEC.157**

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.157 nt *net\_no*:Unbl to allct ART entry

長構文: LEC.157 nt *net\_no*:Unable to allocate ART entry

説明: ART エントリーを割り振ることができませんでした。

---

**LEC.158**

レベル: DEBUG

短構文: LEC.158 nt *net\_no*:Snt frm to BUS on conn hndl *conn\_handle*, frm cnt *frame\_cnt*

長構文: LEC.158 nt *net\_no*:Sent frame to BUS on conn handle *conn\_handle*, frame count *frame\_cnt*

---

説明: あて先へのデータ・ダイレクトがまだ存在していないため、LEC は BUS にフレームを送信しました。

---

#### LEC.159

レベル: UE-ERROR

短構文: LEC.159 nt *net\_no*:ARP Rsp err, trans id (x *trans\_id*) not eql rsp trans id (x *rsp\_trans\_id*)

長構文: LEC.159 nt *net\_no*:ARP Rsp error,trans id (x *trans\_id*) not equal response trans id (x *rsp\_trans\_id*)

説明: トランザクション ID が ARP 要求と ARP 応答とで等しくありませんでした。トランザクション ID は要求と応答とで同じであることが必要です。

---

#### LEC.160

レベル: C-INFO

短構文: LEC.160 nt *net\_no*:LEC rcvd mltpl ARP rsp

長構文: LEC.160 nt *net\_no*:LEC received multiple ARP responses

説明: LEC は 1 つの ARP 要求に対して複数の ARP 応答を受信しました。

---

#### LEC.161

レベル: UE-ERROR

短構文: LEC.161 nt *net\_no*:fn: *function\_name*:ntry entry invld dest st *dest\_state*

長構文: LEC.161 nt *net\_no*:function *function\_name*:entry entry invalid destination state *dest\_state*

説明: 指定の機能で、処理中のエントリが無効の状態です。

---

#### LEC.162

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.162 nt *net\_no*:Dscrd *frame\_cnt* queued frms, st *dest\_state*, conn hndl *conn\_hndl*

長構文: LEC.162 nt *net\_no*:Discarded *frame\_cnt* queued frames, state *dest\_state*, conn handle *conn\_hndl*

説明: LEC は明記されている数の待ち行列入りフレームを廃棄しました。

---

#### LEC.163

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.163 nt *net\_no*:Purge queued frms fld

長構文: LEC.163 nt *net\_no*:Purge queued frames failed

説明: LEC が待ち行列に入っているフレームの解放を試みている間に、エラーが発生しました。

---

#### LEC.164

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.164 nt *net\_no*:Err purging queued frms, queue not empty

長構文: LEC.164 nt *net\_no*:Error purging queued frames, queue not empty

説明: 待ち行列からフレームをすべて除去しておく必要がありました。

---

#### LEC.165

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.165 nt *net\_no*:Snd queued frms fld,queue empty

長構文: LEC.165 nt *net\_no*:Send queued frames failed, queue empty

説明: LEC が待ち行列に入っているフレームの送信を試みている間に、エラーが発生しました。

---

#### LEC.166

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.166 nt *net\_no*:Err snding queued frms, queue not empty

長構文: LEC.166 nt *net\_no*:Error sending queued frames, queue not empty

説明: フレームをすべて送信しておく必要がありました。

---

#### LEC.167

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.167 nt *net\_no*:xmt ctrl frm,flsh rqst fld, dst *dest\_mac*

長構文: LEC.167 nt *net\_no*:xmit control frame,flush request failed, dest *dest\_mac*

説明: フラッシュ要求制御フレームを送信できません。

---

#### LEC.168

レベル: DEBUG

短構文: LEC.168 nt *net\_no*:srch tbl *table*, addr *address*

長構文: LEC.168 nt *net\_no*:search tbl *table*, address *address*

説明: 指定されたテーブルでアドレスを探索しました。

---

#### LEC.169

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.169 nt *net\_no*:Unbl to add *database\_type* dtbs entry, *entry*

長構文: LEC.169 nt *net\_no*:Unable to add *database\_type* database entry, *entry*

説明: 指定のデータベースにエントリーを追加できませんでした。

---

#### LEC.170

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.170 nt *net\_no*:ARP tbl full, No ARP entrs avlbl

長構文: LEC.170 nt *net\_no*:ARP table full, No ARP entries available

説明: LEC の ARP テーブルがいっぱいです。

---

#### LEC.171

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.171 nt *net\_no*:No entrs in tbl

長構文: LEC.171 nt *net\_no*:No entries in table

説明: LEC の ARP テーブルが空です。

---

#### LEC.172

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.172 nt *net\_no*:Invld tag( *tag*), rls arp entry

長構文: LEC.172 nt *net\_no*:Invalid tag ( *tag*),release arp entry

説明: 無効のタグを持つ ARP エントリーの解放を試みています。

---

#### LEC.173

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.173 nt *net\_no*:ntry *arp\_entry*, xmit queue nt empty ( *xmit\_queue\_count*), rls arp entry

長構文: LEC.173 nt *net\_no*:Entry *arp\_entry*, xmit queue not empty ( *xmit\_queue\_count*),release arp entry

説明: 空でない送信待ち行列を持つ ARP エントリーの解放を試みています。

---

#### LEC.174

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.174 nt *net\_no*:fn *function*, unbl to allct memry

長構文: LEC.174 nt *net\_no*:Function *function*, unable to allocate memory

説明: 指定された機能では、記憶域を割り振ることができませんでした。

---

#### LEC.175

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.175 nt *net\_no*:Invld LEC or ART ptr

長構文: LEC.175 nt *net\_no*:Invalid LEC or ART pointer

説明: LEC または ART ポインターが無効です。

---

#### LEC.176

レベル: UE-ERROR

短構文: LEC.176 nt *net\_no*:Invld AAL parms( *AAL\_parms*), cll rjctd

長構文: LEC.176 nt *net\_no*:Invalid AAL parms( *AAL\_parms*), call rejected

説明: AAL パラメーターが無効のため、通信は拒否されます。

---

#### LEC.177

レベル: U-INFO

短構文: LEC.177 nt *net\_no*:Invld PID in rev cll

長構文: LEC.177 nt *net\_no*:Invalid PID in receive call

説明: PID が無効のコールを受信しました。

---

#### LEC.178

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.178 nt *net\_no*:place call fld, rsn *reason*

長構文: LEC.178 nt *net\_no*:place call failed, reason *reason*

説明: 以下の理由により、発信コールに失敗しました。

---

**LEC.179**

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.179 nt *net\_no*:get ART cnfg parms fld

長構文: LEC.179 nt *net\_no*:get ART config parms failed

説明: ART 構成パラメーターを入手することができません。

---

**LEC.180**

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.180 nt *net\_no*:ART tbl full, No ART entrs avlbl

長構文: LEC.180 nt *net\_no*:ART table full, No ART entries available

説明: LEC の ART テーブルがいっぱいです。

---

**LEC.181**

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.181 nt *net\_no*:ART entry alrdy freed

長構文: LEC.181 nt *net\_no*:ART entry already freed

説明: ART はすでに解放されています。

---

**LEC.182**

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.182 nt *net\_no*:ART entry aging suspnd

長構文: LEC.182 nt *net\_no*:ART entry aging suspended

説明: ART エントリーは経過時間切れになりません。

---

**LEC.183**

レベル: U-INFO

短構文: LEC.183 nt *network ID*:Old llh in func name dscrding: arp\_ptr=0x *arp\_entry\_ptr* arp\_ts= *arp\_time\_stamp* vcc\_ptr=0x *vcc\_handle* vcc\_ts= *vcc\_time\_created*

長構文: LEC.183 nt *network ID*:Old llh in function name discarding:arp\_ptr=0x *arp\_entry\_ptr* arp\_ts= *arp\_time\_stamp* vcc\_ptr=0x *vcc\_handle* vcc\_ts= *vcc\_time\_created*

説明: 古い LLH が LEC 高速パスで使用されました。新しい LLH が作成されます。

---

---

**LEC.186**

レベル: UE-ERROR

短構文: LEC.186 nt *net\_no*:Jn Rsp cntrl frm err, invld prmtr *config\_parm*

長構文: LEC.186 nt *net\_no*:Join Response control frame error,invalid parameter *config\_parm*

説明: 結合応答制御フレームを受信しました。指定された結合パラメーターが無効、または範囲外です。

---

**LEC.187**

レベル: C-INFO

短構文: LEC.187 nt *net\_no*:MUF tmr xprd:ntry *arp\_entry* st state

長構文: LEC.187 nt *net\_no*:MUF timer expired:entry *arp\_entry* state state

説明: 指定のエントリーの最大不明フレーム・タイマーが満了しました。指定された状態が CONNECTED または FLUSHING でない場合は、最大不明フレーム・カウントまでの待ち行列フレームが転送されます。

---

**LEC.188**

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.188 nt *net\_no*:Orphnd MUF tmr xprd:ntry *arp\_entry* st state

長構文: LEC.188 nt *net\_no*:Orphaned MUF timer expired:entry *arp\_entry* state state

説明: 指定のエントリーの孤立 MUF タイマーが満了しました。指定された状態では、MUF タイマーがアクティブであるはずはありません。

---

**LEC.189**

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.189 nt *net\_no*:Fwd Dscn tmr xprd,clnt st err ,st state

長構文: LEC.189 nt *net\_no*:Forward disconnect timer expired,client state error, state state

説明: 転送切断タイマーは、LEC がこの状態のときには満了するはずはありません。

---

**LEC.190**

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.190 nt *net\_no*:Unbl to strt fwd dscn tmr

長構文: LEC.190 nt *net\_no*:Unable to start forward disconnect timer

説明: この LEC の転送切断タイマーを開始できませんでした。

---

#### LEC.191

レベル: UE-ERROR

短構文: LEC.191 nt *net\_no*:Reg Rsp err, trans id (x *trans\_id*) not eql rsp trans id (x *rsp\_trans\_id*)

長構文: LEC.191 nt *net\_no*:Register Rsp error,trans id (x *trans\_id*) not equal response trans id (x *rsp\_trans\_id*)

説明: 登録要求と登録応答の中のトランザクション ID が等しくありませんでした。トランザクション ID は要求と応答とで同じである必要があります。

---

#### LEC.192

レベル: UE-ERROR

短構文: LEC.192 nt *net\_no*:Unsuccsfl reg rsp rcvd, LEC trmtd

長構文: LEC.192 nt *net\_no*:Unsuccessful register response received, LEC will be terminated

説明: 失敗の登録応答を受け取りました。LEC の ELAN メンバーシップは終了します。

---

#### LEC.193

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.193 nt *net\_no*:Regstrtn tmr exceeded, LEC trmtd

長構文: LEC.193 nt *net\_no*:Registration timer exceeded, LEC will be terminated

説明: 登録タイマーが超過しました。LEC の ELAN メンバーシップは終了します。

---

#### LEC.194

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.194 nt *net\_no*:Unbl to xmit reg req, LEC trmtd

長構文: LEC.194 nt *net\_no*:Unable to xmit register request, LEC will be terminated

説明: LEC は登録要求を送信できませんでした。LEC の ELAN メンバーシップは終了します。

---

#### LEC.195

レベル: U-INFO

短構文: LEC.195 nt *net\_no*:in\_use\_flag set to TRUE for ARP entry *arp\_entry*

長構文: LEC.195 nt *net\_no*:in\_use\_flag set to TRUE for ARP entry *arp\_entry*

説明: LAN スイッチからのドメイン・メンバー応答メッセージに基づいて、この経路記述子の *in\_use\_flag* が TRUE に設定されます。

---

#### LEC.196

レベル: U-INFO

短構文: LEC.196 nt *net\_no*:switch domain member *arp\_entry*, not found in ARP table

長構文: LEC.196 nt *net\_no*:switch domain member *arp\_entry*, not found in ARP table

説明: スイッチ・ドメイン・メンバーが ARP テーブル内で見つかりませんでした。

---

#### LEC.197

レベル: U-INFO

短構文: LEC.197 nt *net\_no* xmit queue hgh wtr mrk, Strt ARP Sweep Timer *timer\_status*

長構文: LEC.197 nt *net\_no* xmit queue high water mark, Start ARP Sweep Timer *timer\_status*

説明: LEC は、検証またはトポロジー・スイープ・タイマー時に LE\_ARP 要求の送信を試みているときに、送信バッファ待ち行列の最高水準点に達しました。アウトスタンディング LE\_ARP の残りの送信を終了させるために、ARP スイープ・タイマーが開始していません。

---

#### LEC.198

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.198 nt *network ID*:LEC at hgh wtr mrk on xmit buf queue *iorbs opfair*

長構文: LEC.198 nt *network ID*:LEC at high water mark on xmit buffer queue *iorbs opfair*

説明: LEC は、制御フレームの送信を試みているときに、ATM 送信バッファ待ち行列の最高水準点に達しました。

---

**LEC.199**

レベル: C-INFO

短構文: LEC.199 nt *net\_no*:LE ARP Rqst snt, for  
LES/BUS tmout, cnt *dest\_mac*, dst count st state

長構文: LEC.199 nt *net\_no*:LE ARP Request sent, for  
LES/BUS timeout, count *dest\_mac*, dest count state state

説明: LES/BUS アクティビティ・タイムアウトのための LE ARP 要求が送信されました。

*dest\_mac*, dest count state state

説明: LE ARP 要求の送信時に、応答を受信しませんでした。LES/BUS がダウンしていると想定して、LEC をリセットします。リセットすることにより、LEC は新しい LES/BUS を検出できます。

---

**LEC.200**

レベル: C-INFO

短構文: LEC.200 nt *net\_no*:LE ARP Rsp rcvd, for  
LES/BUS tmout, dest *dest\_mac* st state

長構文: LEC.200 nt *net\_no*:LE ARP Rsp received, for  
LES/BUS timeout, dest *dest\_mac* state state

説明: LES/BUS アクティビティ・タイムアウトに対する LE ARP 応答を受信しました。

---

**LEC.201**

レベル: C\_INFO

短構文: LEC.201 nt *net\_no*:updtcd cnfgtrn for fld '*field\_name*'

長構文: LEC.201 nt *net\_no*:updated configuration for  
field '*field\_name*'

説明: 初期化時に、古くて使われなくなった構成レコードが検出されました。LEC インターフェースの構成内の所定パラメーターが、新しい機能を反映するように更新されました。新しいコード・リリースに移行した後は、この事象が生じるのは通常です。

---

**LEC.202**

レベル: DEBUG

短構文: LEC.202 nt *net\_no*:Inbnd frm dscrdr, dst =  
*dest\_addr* src = *src\_addr*, rsn = *reason*

長構文: LEC.202 nt *net\_no*:Inbound frame discarded,  
dest = *dest\_addr* source = *src\_addr*, reason = *reason*

説明: インバウンド・フレームが廃棄されました。

---

**LEC.203**

レベル: UI-ERROR

短構文: LEC.203 nt *net\_no*:LES/BUS tmout, cnt  
*dest\_mac*, dst count st state

長構文: LEC.203 nt *net\_no*:LES/BUS timeout, count





---

## 第65章 LAN エミュレーション構成サーバー (LECS)

この章では、LAN エミュレーション構成サーバー (LECS) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### LECS.001

レベル: UE\_ERROR

短構文: LECS.001 LECS: crt fld: dplct LECS

長構文: LECS.001 LECS: create failed: duplicate LECS

説明: LECS がすでに存在するので、別のものを作成することはできません。

---

### LECS.002

レベル: UI\_ERROR

短構文: LECS.002 LECS: crt fld: mem alloc err

長構文: LECS.002 LECS: create failed: memory allocation error

説明: LECS を作成しようとしているときに、記憶域割り振りエラーが発生しました。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

### LECS.003

レベル: U\_INFO

短構文: LECS.003 LECS: starting operation

長構文: LECS.003 LECS: starting operation

説明: LECS 初期化手順が開始しています。

---

### LECS.004

レベル: UE\_ERROR

短構文: LECS.004 LECS: doesn't exist: *descrip\_string*

長構文: LECS.004 LECS: does not exist: *descrip\_string*

説明: ユーザーが LECS の資源を追加、削除、または変更しようとしていますが、LECS はまだ作成されていません。無効なアクションは、パラメーターによって示されています。

---

### LECS.005

レベル: UE\_ERROR

短構文: LECS.005 LECS: inactv state: *descrip\_string*

長構文: LECS.005 LECS: inactive state: *descrip\_string*

説明: ユーザーが LECS を追加、削除、または変更しようとしていますが、LECS はこのアクションを実行できない状態にあります。無効なアクションは、パラメーターによって示されています。

---

### LECS.006

レベル: UE\_ERROR

短構文: LECS.006 LECS: dlt fld: no LECS

長構文: LECS.006 LECS: delete failed: no LECS

説明: LECS を削除しようとしたのですが、LECS が存在しません。

---

### LECS.007

レベル: U\_INFO

短構文: LECS.007 LECS: dltd

長構文: LECS.007 LECS: deleted

説明: LECS は削除されました。

---

### LECS.008

レベル: UE\_ERROR

短構文: LECS.008 LECS: stp fld: no LECS

長構文: LECS.008 LECS: stop failed: no LECS

説明: LECS を停止しようとしたのですが、LECS が存在しません。

---

### LECS.009

レベル: UI\_ERROR

短構文: LECS.009 LECS: stp fld: invld ctl blk

長構文: LECS.009 LECS: stop failed: invalid control block

説明: 制御ブロックへの無効なポインターを使用して、LECS を停止しようとした。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

**LECS.010**

レベル: U\_INFO

短構文: LECS.010 LECS: stopped

長構文: LECS.010 LECS: stopped

説明: LECS 操作が停止しました。

---

**LECS.011**

レベル: U\_INFO

短構文: LECS.011 LECS: restarting

長構文: LECS.011 LECS: restarting

説明: LECS 動作がリスタート中です。

---

**LECS.012**

レベル: UE\_ERROR

短構文: LECS.012 LECS: set fld: no LECS

長構文: LECS.012 LECS: set failed: no LECS

説明: LECS のパラメーターを設定しようとした  
が、LECS が存在しません。

---

**LECS.013**

レベル: UE\_ERROR

短構文: LECS.013 LECS: set fld: invld parm

長構文: LECS.013 LECS: set failed: invalid parameter

説明: 無効なパラメーター識別子を使用して、LECS の  
パラメーターを設定しようとした。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

**LECS.014**

レベル: UE\_ERROR

短構文: LECS.014 LECS: crt ELAN 'elan\_name' fld:  
dplct ELAN nm

長構文: LECS.014 LECS: create ELAN 'elan\_name'  
failed: duplicate ELAN name

説明: ユーザーは LECS で ELAN を作成しようとし  
ましたが、使用された ELAN 名はすでに LECS に存在  
しています。

---

**LECS.015**

レベル: UI\_ERROR

短構文: LECS.015 LECS: crt ELAN 'elan\_name' fld:  
mem alloc err

**508** ELS メッセージの手引き

長構文: LECS.015 LECS: create ELAN 'elan\_name'  
failed: memory allocation error

説明: LECS で ELAN を作成しようとしているとき  
に、記憶域割り振りエラーが発生しました。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

**LECS.016**

レベル: UI\_ERROR

短構文: LECS.016 LECS: invld crlptr on upcall '  
upcall\_descriptor\_string'

長構文: LECS.016 LECS: invalid correlator on upcall '  
upcall\_descriptor\_string'

説明: ATM インターフェースは LECS へのアップコ  
ールを発信しましたが、使用されているユーザー相関係  
数が無効です。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

**LECS.017**

レベル: U\_INFO

短構文: LECS.017 LECS: ELAN 'elan\_name' crt'd

長構文: LECS.017 LECS: ELAN 'elan\_name' created

説明: LECS で、指定の ELAN が作成されました。

---

**LECS.018**

レベル: U\_INFO

短構文: LECS.018 LECS: ELAN 'elan\_name' dlt'd

長構文: LECS.018 LECS: ELAN 'elan\_name' deleted

説明: LECS で、指定の ELAN が削除されました。

---

**LECS.019**

レベル: UE\_ERROR

短構文: LECS.019 LECS: crt pley fld: invld pley type  
x policy\_type

長構文: LECS.019 LECS: create policy failed: invalid  
policy type x policy\_type

説明: ユーザーはポリシーを作成しようとした  
が、ポリシー・タイプが無効です。

---

**LECS.020**

レベル: UE\_ERROR

短構文: LECS.020 LECS: crt pley fld: invld pley prty  
policy\_priority

長構文: LECS.020 LECS: create policy failed: invalid policy priority *policy\_priority*

説明: ユーザーはポリシーを作成しようとしたが、ポリシー優先順位が無効です。

---

#### LECS.021

レベル: UI\_ERROR

短構文: LECS.021 LECS: crt pley fld: mem alloc err: tp x *policy\_type* prty *policy\_priority*

長構文: LECS.021 LECS: create policy failed: memory allocation error: type x *policy\_type* priority *policy\_priority*

説明: LECS は、ポリシーを作成するために必要な記憶域を割り振ることができませんでした。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

#### LECS.022

レベル: C\_INFO

短構文: LECS.022 LECS: pley x *policy\_type* crtd at prty *policy\_priority*

長構文: LECS.022 LECS: policy x *policy\_type* created at priority *policy\_priority*

説明: LECS で、指定のポリシーが指定の優先順位で作成されました。

---

#### LECS.023

レベル: C\_INFO

短構文: LECS.023 LECS: pley x *policy\_type* dltd at prty *policy\_priority*

長構文: LECS.023 LECS: policy x *policy\_type* deleted at priority *policy\_priority*

説明: LECS から、指定のポリシーが指定の優先順位で削除されました。

---

#### LECS.024

レベル: UI\_ERROR

短構文: LECS.024 LECS: crt pley val fld: mem alloc err: *pol\_value\_type\_description* *pol\_value*

長構文: LECS.024 LECS: create policy value failed: memory allocation error: *pol\_value\_type\_description* *pol\_value*

説明: LECS は、指定のポリシー値を作成するために必要な記憶域を割り振ることができませんでした。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

#### LECS.025

レベル: UE\_ERROR

短構文: LECS.025 LECS: crt pley val fld: val exists: *pol\_value\_type\_description* *pol\_value*

長構文: LECS.025 LECS: create policy value failed: value already exists: *pol\_value\_type\_description* *pol\_value*

説明: 指定のポリシー値は、すでに LECS に存在しています。

---

#### LECS.026

レベル: UI\_ERROR

短構文: LECS.026 LECS: crt pley val fld: dbase err: *pol\_value\_type\_description* *pol\_value*

長構文: LECS.026 LECS: create policy value failed: database error: *pol\_value\_type\_description* *pol\_value*

説明: 内部データベース・エラーのために、LECS はポリシー値を作成できませんでした。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

#### LECS.027

レベル: UE\_ERROR

短構文: LECS.027 LECS: crt pley val fld: incompat val: *pol\_val\_type\_description* *pol\_value*

長構文: LECS.027 LECS: create policy value failed: incompatible value: *pol\_val\_type\_description* *pol\_value*

説明: 指定された値が LECS と互換性がないので、LECS はポリシー値を作成できませんでした。示されている ELAN タイプが指定の ELAN のタイプと矛盾しているか、示されているフレーム・サイズが指定の ELAN の最大フレーム・サイズと矛盾しています。

---

#### LECS.028

レベル: C\_INFO

短構文: LECS.028 LECS: crtd ATM pref pol val: x *atm\_prefix\_pv* => x *les\_atm\_addr*

長構文: LECS.028 LECS: created ATM prefix policy value: x *atm\_prefix\_pv* => x *les\_atm\_addr*

説明: LECS は、指定されたポリシー値を正常に作成し、それを指定の LES にバインドしました。

---

**LECS.029**

レベル: C\_INFO

短構文: LECS.029 LECS: crtd MAC addr pol val: x *mac\_address\_pv* => x *les\_atm\_addr*

長構文: LECS.029 LECS: created MAC address policy value: x *mac\_address\_pv* => *les\_atm\_addr*

説明: LECS は、指定されたポリシー値を正常に作成し、それを指定の LES にバインドしました。

---

**LECS.030**

レベル: C\_INFO

短構文: LECS.030 LECS: crtd rte desc pol val: x *rte\_descriptor\_pv* => x *les\_atm\_addr*

長構文: LECS.030 LECS: created route descriptor policy value: x *rte\_descriptor\_pv* => x *les\_atm\_addr*

説明: LECS は、指定されたポリシー値を正常に作成し、それを指定の LES にバインドしました。

---

**LECS.031**

レベル: C\_INFO

短構文: LECS.031 LECS: crtd LAN type pol val: *lan\_type\_pv* => x *les\_atm\_addr*

長構文: LECS.031 LECS: created LAN type policy value: *lan\_type\_pv* => x *les\_atm\_addr*

説明: LECS は、指定されたポリシー値を正常に作成し、それを指定の LES にバインドしました。

---

**LECS.032**

レベル: C\_INFO

短構文: LECS.032 LECS: crtd max frm sz pol val: *frame\_size\_pv* => x *les\_atm\_addr*

長構文: LECS.032 LECS: created maximum frame size policy value: *frame\_size\_pv* => x *les\_atm\_addr*

説明: LECS は、指定されたポリシー値を正常に作成し、それを指定の LES にバインドしました。

---

**LECS.033**

レベル: C\_INFO

短構文: LECS.033 LECS: crtd ELAN nm pol val: ' *elan\_name\_pv*' => x *les\_atm\_addr*

長構文: LECS.033 LECS: created ELAN name policy value: ' *elan\_name\_pv*' => x *les\_atm\_addr*

---

説明: LECS は、指定されたポリシー値を正常に作成し、それを指定の LES にバインドしました。

---

**LECS.034**

レベル: UE\_ERROR

短構文: LECS.034 LECS: dltd ATM pref pol val: val not exst x *atm\_prefix\_pv* => x *les\_atm\_addr*

長構文: LECS.034 LECS: deleted ATM prefix policy value: value did not exist x *atm\_prefix\_pv* => x *les\_atm\_addr*

説明: 指定のポリシー値が LECS に存在しないので、LECS はそのポリシー値と LES とのバインドを正常に削除しました。

---

**LECS.035**

レベル: UE\_ERROR

短構文: LECS.035 LECS: dltd ATM pref pol val: bad LES addr x *atm\_prefix\_pv* => x *les\_atm\_addr*

長構文: LECS.035 LECS: deleted ATM prefix policy value: bad LES address x *atm\_prefix\_pv* => x *les\_atm\_addr*

説明: 指定されたポリシー値は指定の LES 以外にバインドされているので、LECS はそのポリシー値と LES とのバインドを正常に削除しました。

---

**LECS.036**

レベル: C\_INFO

短構文: LECS.036 LECS: dltd ATM pref pol val: x *atm\_prefix\_pv* => x *les\_atm\_addr*

長構文: LECS.036 LECS: deleted ATM prefix policy value: x *atm\_prefix\_pv* => x *les\_atm\_addr*

説明: LECS は、ポリシー値と指定の LES とのバインドを正常に削除しました。

---

**LECS.037**

レベル: UE\_ERROR

短構文: LECS.037 LECS: dltd MAC addr pol val: val not exst x *mac\_address\_pv* => x *les\_atm\_addr*

長構文: LECS.037 LECS: deleted MAC address policy value: value did not exist x *mac\_address\_pv* => x *les\_atm\_addr*

説明: 指定のポリシー値が LECS に存在しないので、LECS はそのポリシー値と LES とのバインドを正常に削除しました。

---

---

**LECS.038**

レベル: UE\_ERROR

短構文: LECS.038 LECS: dlted MAC addr pol val: bad LES addr x *mac\_address\_pv* => x *les\_atm\_addr*

長構文: LECS.038 LECS: deleted MAC address policy value: bad LES address x *mac\_address\_pv* => x *les\_atm\_addr*

説明: 指定されたポリシー値は指定の LES 以外にバインドされているので、LECS はそのポリシー値と LES とのバインドを正常に削除しました。

---

**LECS.039**

レベル: C\_INFO

短構文: LECS.039 LECS: dlted MAC addr pol val: x *mac\_address\_pv* => x *les\_atm\_addr*

長構文: LECS.039 LECS: deleted MAC address policy value: x *mac\_address\_pv* => x *les\_atm\_addr*

説明: LECS は、ポリシー値と指定の LES とのバインドを正常に削除しました。

---

**LECS.040**

レベル: UE\_ERROR

短構文: LECS.040 LECS: dlted rte desc pol val: val not exst x *rte\_descriptor\_pv* => x *les\_atm\_addr*

長構文: LECS.040 LECS: deleted route descriptor policy value: bad LES addr x *rte\_descriptor\_pv* => x *les\_atm\_addr*

説明: 指定のポリシー値が LECS に存在しないので、LECS はそのポリシー値と LES とのバインドを正常に削除しました。

---

**LECS.041**

レベル: UE\_ERROR

短構文: LECS.041 LECS: dlted rte desc pol val: bad LES addr x *rte\_descriptor\_pv* => x *les\_atm\_addr*

長構文: LECS.041 LECS: deleted route descriptor policy value: bad LES address x *rte\_descriptor\_pv* => x *les\_atm\_addr*

説明: 指定されたポリシー値は指定の LES 以外にバインドされているので、LECS はそのポリシー値と LES とのバインドを正常に削除しました。

---

---

**LECS.042**

レベル: C\_INFO

短構文: LECS.042 LECS: dlted rte desc pol val: x *rte\_descriptor\_pv* => x *les\_atm\_addr*

長構文: LECS.042 LECS: deleted route descriptor policy value: x *rte\_descriptor\_pv* => x *les\_atm\_addr*

説明: LECS は、ポリシー値と指定の LES とのバインドを正常に削除しました。

---

**LECS.043**

レベル: C\_INFO

短構文: LECS.043 LECS: dlted LAN type pol val: *lan\_type\_pv* => x *les\_atm\_addr*

長構文: LECS.043 LECS: deleted LAN type policy value: *lan\_type\_pv* => x *les\_atm\_addr*

説明: LECS は、ポリシー値と指定の LES とのバインドを正常に削除しました。

---

**LECS.044**

レベル: C\_INFO

短構文: LECS.044 LECS: dlted max frm sz pol val: *frame\_size\_pv* => x *les\_atm\_addr*

長構文: LECS.044 LECS: deleted maximum frame size policy value: *frame\_size\_pv* => x *les\_atm\_addr*

説明: LECS は、ポリシー値と指定の LES とのバインドを正常に削除しました。

---

**LECS.045**

レベル: UE\_ERROR

短構文: LECS.045 LECS: dlted ELAN nm pol val: val not exst ' *elan\_name\_pv*' => x *les\_atm\_addr*

長構文: LECS.045 LECS: deleted ELAN name policy value: value did not exist ' *elan\_name\_pv*' => x *les\_atm\_addr*

説明: 指定のポリシー値が LECS に存在しないので、LECS はそのポリシー値と LES とのバインドを正常に削除しました。

---

**LECS.046**

レベル: UE\_ERROR

短構文: LECS.046 LECS: dlted ELAN nm pol val: bad LES addr ' *elan\_name\_pv*' => x *les\_atm\_addr*

長構文: LECS.046 LECS: deleted ELAN name policy



value: bad LES address 'elan\_name\_pv' => x  
les\_atm\_addr

説明: 指定されたポリシー値は指定の LES 以外にバインドされているので、LECS はそのポリシー値と LES とのバインドを正常に削除しました。

---

#### LECS.047

レベル: C\_INFO

短構文: LECS.047 LECS: dlttd ELAN nm pol val: 'elan\_name\_pv' => x les\_atm\_addr

長構文: LECS.047 LECS: deleted ELAN name policy value: 'elan\_name\_pv' => x les\_atm\_addr

説明: LECS は、ポリシー値と指定の LES とのバインドを正常に削除しました。

---

#### LECS.048

レベル: UE\_ERROR

短構文: LECS.048 LECS: operation\_descrip\_string: ELAN nm 'elan\_name' not exist

長構文: LECS.048 LECS: operation\_descrip\_string: ELAN name 'elan\_name' does not exist

説明: 示されている操作時に、指定の ELAN 名の探索が失敗しました。

---

#### LECS.049

レベル: UI\_ERROR

短構文: LECS.049 LECS: crt TLV failed: tp x tlv\_type len tlv\_length val tlv\_value: for ELAN 'elan\_name': mem alloc err

長構文: LECS.049 LECS: create TLV failed: type x tlv\_type length tlv\_length value tlv\_value: for ELAN 'elan\_name': memory allocation error

説明: LECS は、TLV 用の記憶域の割り振りに失敗しました。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

#### LECS.050

レベル: C\_INFO

短構文: LECS.050 LECS: crttd TLV: tp x tlv\_type len tlv\_length val x tlv\_value: for ELAN 'elan\_name'

長構文: LECS.050 LECS: created TLV: type x tlv\_type length tlv\_length value x tlv\_value: for ELAN 'elan\_name'

説明: LECS は、指定の ELAN 用の指定された TLV を作成しました。

---

#### LECS.051

レベル: C\_INFO

短構文: LECS.051 LECS: dlttd TLV: tp x tlv\_type len tlv\_length val tlv\_value: for ELAN 'elan\_name'

長構文: LECS.051 LECS: deleted TLV: type x tlv\_type length tlv\_length value tlv\_value: for ELAN 'elan\_name'

説明: LECS は、指定の TLV を ELAN から削除しました。

---

#### LECS.052

レベル: UI\_ERROR

短構文: LECS.052 LECS: trmntng error\_string ( error\_code)

長構文: LECS.052 LECS: terminating error\_string ( error\_code)

説明: 指定の理由で、LECS が終了中です。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

#### LECS.053

レベル: U\_INFO

短構文: LECS.053 LECS: rlsng idle vccs

長構文: LECS.053 LECS: releasing idle vccs

説明: LECS が、VCC の最大数を超過したので、最近使用していない VCC を解放しようとしています。

---

#### LECS.054

レベル: UI\_ERROR

短構文: LECS.054 LECS: rls idle vccs fld: error\_string ( error\_code)

長構文: LECS.054 LECS: release idle vccs failed: error\_string ( error\_code)

説明: LECS は、ATM 装置から現行時間を入手しようとしたのですが、失敗しました。アイドル状態の VCC を解放できませんでした。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

#### LECS.055

レベル: C\_INFO

短構文: LECS.055 LECS: rlsd idle vcc to x atm\_address

長構文: LECS.055 LECS: released idle vcc to x  
*atm\_address*

説明: LECS は、指定の ATM アドレスへの接続はアイドル状態であることを判別し、それを解放しました。

---

#### LECS.056

レベル: UI\_ERROR

短構文: LECS.056 LECS: ATM user reg fld:  
*error\_string ( error\_code)*

長構文: LECS.056 LECS: ATM user registration failed:  
*error\_string ( error\_code)*

説明: LECS は、ATM のユーザーとして登録できませんでした。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

#### LECS.057

レベル: U\_INFO

短構文: LECS.057 LECS: wtng for ATM net up

長構文: LECS.057 LECS: waiting for ATM net up

説明: ATM インターフェースはダウンしており、ネットワークが利用可能になるのを待っています。

---

#### LECS.058

レベル: U\_INFO

短構文: LECS.058 LECS: wtng for ATM addr act

長構文: LECS.058 LECS: waiting for ATM address  
activation

説明: ATM アドレス活動化がまだ完了していません。

---

#### LECS.059

レベル: UI\_ERROR

短構文: LECS.059 LECS: ATM addr act fld:  
*error\_string ( error\_code)*

長構文: LECS.059 LECS: ATM address activation  
failed: *error\_string ( error\_code)*

説明: LECS の ATM アドレス活動化が失敗しました。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

#### LECS.060

レベル: UI\_ERROR

短構文: LECS.060 LECS: unbl to get ATM addr:  
*error\_string ( error\_code)*

長構文: LECS.060 LECS: unable to get ATM address:  
*error\_string ( error\_code)*

説明: LECS はその ATM アドレスを入手できませんでした。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

#### LECS.061

レベル: U\_INFO

短構文: LECS.061 LECS: ATM addr: x *atm\_address*

長構文: LECS.061 LECS: ATM address: x *atm\_address*

説明: LECS がその ATM アドレスを検索しました。

---

#### LECS.062

レベル: U\_INFO

短構文: LECS.062 LECS: wtng for UNI vrsn rpt

長構文: LECS.062 LECS: waiting for UNI version  
report

説明: LECS は、UNI バージョンが報告されるのを待っています。

---

#### LECS.063

レベル: U\_INFO

短構文: LECS.063 LECS: UNI vrsn *uni\_version* rptd

長構文: LECS.063 LECS: UNI version *uni\_version*  
reported

説明: LECS は、指定の UNI バージョンのもとで動作中です。

---

#### LECS.064

レベル: UI\_ERROR

短構文: LECS.064 LECS: unbl to open frame SAP:  
*error\_string ( error\_code)*

長構文: LECS.064 LECS: unable to open frame SAP:  
*error\_string ( error\_code)*

説明: LECS は、フレーム SAP のオープンに失敗しました。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

**LECS.065**

レベル: UI\_ERROR

短構文: LECS.065 LECS: unbl to open call SAP:  
*error\_string ( error\_code)*

長構文: LECS.065 LECS: unable to open call SAP:  
*error\_string ( error\_code)*

説明: LECS は、コール SAP のオープンに失敗しました。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

**LECS.066**

レベル: U\_INFO

短構文: LECS.066 LECS: cmpltd intzltm

長構文: LECS.066 LECS: completed initialization

説明: LECS は初期化を完了し、完全に操作可能になっています。

---

**LECS.067**

レベル: UE\_ERROR

短構文: LECS.067 LECS: frm dscrdd: *discard\_reason*

長構文: LECS.067 LECS: frame discarded:  
*discard\_reason*

説明: LECS は、指定の理由で、着信フレームを廃棄しました。

---

**LECS.068**

レベル: UE\_ERROR

短構文: LECS.068 LECS: invld lecid: *lecid*

長構文: LECS.068 LECS: invalid lecid: *lecid*

説明: 着信フレームに無効な LEC-ID 値が入っていました。

---

**LECS.069**

レベル: UE\_ERROR

短構文: LECS.069 LECS: invld src LAN dest: x  
*source\_lan\_dest\_string*

長構文: LECS.069 LECS: invalid source LAN  
destination: x *source\_lan\_dest\_string*

説明: 着信フレームに無効な発信元 LAN あて先が入っていました。

---

---

**LECS.070**

レベル: UE\_ERROR

短構文: LECS.070 LECS: invld src ATM addr: x  
*source\_atm\_addr\_string*

長構文: LECS.070 LECS: invalid source ATM address:  
x *source\_atm\_addr\_string*

説明: 着信フレームに無効な発信元 ATM アドレスが入っていました。

---

**LECS.071**

レベル: UE\_ERROR

短構文: LECS.071 LECS: invld ELAN typ:  
*requested\_lan\_type*

長構文: LECS.071 LECS: invalid ELAN type:  
*requested\_lan\_type*

説明: 着信フレームに無効な ELAN タイプ・フィールドがありました。

---

**LECS.072**

レベル: UE\_ERROR

短構文: LECS.072 LECS: invld max frm sz:  
*requested\_mfs*

長構文: LECS.072 LECS: invalid maximum frame size:  
*requested\_mfs*

説明: 着信フレームに無効な最大フレーム・サイズ・フィールドがありました。

---

**LECS.073**

レベル: C\_INFO

短構文: LECS.073 LECS: frm pssd vldtn chcks

長構文: LECS.073 LECS: frame passed validation  
checks

説明: 着信フレームは、すべてのフレーム妥当性検査テストに合格しました。

---

**LECS.074**

レベル: C\_INFO

短構文: LECS.074 LECS: LEC x *lec\_atm\_addr* assgnd  
to LES x *les\_atm\_addr* at priority usng  
*policy\_descript\_string*

長構文: LECS.074 LECS: LEC x *lec\_atm\_addr* assigned  
to LES x *les\_atm\_addr* at priority *priority* using policy  
*policy\_descript\_string*

---

説明: 指定のポリシーに基づいて、LEC が指定の LES に割り当てられました。

---

#### LECS.075

レベル: C\_INFO

短構文: LECS.075 LECS: unbl to assign rqst frm x *source\_atm\_address*

長構文: LECS.075 LECS: unable to assign request from x *source\_atm\_address*

説明: LECS は、指定の発信元 ATM アドレスからの構成要求を LES に割り当てることができませんでした。

---

#### LECS.076

レベル: UE\_ERROR

短構文: LECS.076 LECS: ATM net down

長構文: LECS.076 LECS: ATM net down

説明: 現在 ATM ネットワークはダウンしています。

---

#### LECS.077

レベル: U\_INFO

短構文: LECS.077 LECS: ATM net up

長構文: LECS.077 LECS: ATM net up

説明: 現在 ATM ネットワークは利用可能になっています。

---

#### LECS.078

レベル: U\_INFO

短構文: LECS.078 LECS: ATM addr actvtd

長構文: LECS.078 LECS: ATM address activated

説明: LECS の ATM アドレスが活動化されました。

---

#### LECS.079

レベル: UE\_ERROR

短構文: LECS.079 LECS: ATM addr actvtn tmd out: retrying

長構文: LECS.079 LECS: ATM address activation timed out: retrying

説明: LECS の ATM アドレス活動化がタイムアウトになっています。活動化が再試行されます。

---

#### LECS.080

レベル: UE\_ERROR

短構文: LECS.080 LECS: ATM addr rjctd

長構文: LECS.080 LECS: ATM address rejected

説明: LECS の ATM アドレスが拒否されました。ATM アドレスを活性化するために、別の試みがなされます。

---

#### LECS.081

レベル: UE\_ERROR

短構文: LECS.081 LECS: ATM addr dctvtd: reactivating

長構文: LECS.081 LECS: ATM address deactivated: reactivating

説明: LECS の ATM アドレスが非活動化されました。LECS は再活動化を試行中です。

---

#### LECS.082

レベル: U\_INFO

短構文: LECS.082 LECS: UNI vrsn rptd

長構文: LECS.082 LECS: UNI version reported

説明: UNI バージョンが報告されました。

---

#### LECS.083

レベル: UI\_ERROR

短構文: LECS.083 LECS: invld upcall: *upcall\_descriptor\_string*

長構文: LECS.083 LECS: invalid upcall from ATM: *upcall\_descriptor\_string*

説明: ATM が無効な、または予期しない LECS 手順を呼び出しました。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

#### LECS.084

レベル: UE\_ERROR

短構文: LECS.084 LECS: rfsd cfgtn drct: invld parms

長構文: LECS.084 LECS: refused configuration direct: invalid parameters

説明: 無効なパラメーターのために、LECS は着信構成ダイレクト VCC を拒否しました。

---

**LECS.085**

レベル: UE\_ERROR

短構文: LECS.085 LECS: rfsd cfgtn drct frm x  
*calling\_atm\_address*: invld parms

長構文: LECS.085 LECS: refused configuration direct  
from x *calling\_atm\_address*: invalid parameters

説明: パラメーターが無効であるために、LECS は指定の ATM アドレスからの着信構成ダイレクト VCC を拒否しました。VCC が拒否された理由の詳細を知るためには、LES ELS メッセージの表示が必要です。関係のある LES ELS メッセージに該当するのは、LES.002 ~ LES.040 です。

---

**LECS.086**

レベル: UE\_ERROR

短構文: LECS.086 LECS: rfsd cfgtn drct frm x  
*calling\_atm\_address*: at max VCCs

長構文: LECS.086 LECS: refused configuration direct  
from x *calling\_atm\_address*: at maximum VCCs

説明: すでに VCC が最大数に達しているため、LECS は指定の ATM からの着信構成ダイレクト VCC を拒否しました。LECS はアイドル状態の VCC を見つけて解放しようとしたのですが、失敗しました。

---

**LECS.087**

レベル: UI\_ERROR

短構文: LECS.087 LECS: rfsd cfgtn drct frm x  
*calling\_atm\_address*: mem alloc err

長構文: LECS.087 LECS: refused configuration direct  
from x *calling\_atm\_address*: memory allocation error

説明: 記憶域割り振りエラーのために、LECS は指定の ATM からの着信構成ダイレクト VCC を拒否しました。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

**LECS.088**

レベル: UI\_ERROR

短構文: LECS.088 LECS: rfsd cfgtn drct frm x  
*calling\_atm\_address*: unble to get time

長構文: LECS.088 LECS: refused configuration direct  
from x *calling\_atm\_address*: unable to get time

説明: 時間を判別できないために、LECS は指定の ATM からの着信構成ダイレクト VCC を拒否しました。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

**LECS.089**

レベル: UI\_ERROR

短構文: LECS.089 LECS: rfsd cfgtn drct frm x  
*calling\_atm\_address*: opn data path err: no ATM mem

長構文: LECS.089 LECS: refused configuration direct  
from x *calling\_atm\_address*: open data path error: no  
ATM memory

説明: 発呼者へのデータ・パスをオープンできないために、LECS は指定の ATM からの着信構成ダイレクト VCC を拒否しました。ATM の記憶域の不足が、データ・パスの障害の原因でした。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

**LECS.090**

レベル: UI\_ERROR

短構文: LECS.090 LECS: rfsd cfgtn drct frm x  
*calling\_atm\_address*: opn data path err: *error\_code\_string*  
( *error\_code* )

長構文: LECS.090 LECS: refused configuration direct  
from x *calling\_atm\_address*: open data path error:  
*error\_code\_string* ( *error\_code* )

説明: 発呼者へのデータ・パスをオープンできないために、LECS は指定の ATM からの着信構成ダイレクト VCC を拒否しました。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

**LECS.091**

レベル: UI\_ERROR

短構文: LECS.091 LECS: rfsd cfgtn drct frm x  
*calling\_atm\_address*: rcv ack err: no SVC mem

長構文: LECS.091 LECS: refused configuration direct  
from x *calling\_atm\_address*: receive ack error: no SVC  
memory

説明: コールを受信確認できないために、LECS は指定の ATM からの着信構成ダイレクト VCC を拒否しました。SVC の記憶域の不足が、受信確認の障害の原因でした。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

**LECS.092**

レベル: UI\_ERROR

短構文: LECS.092 LECS: rfsd cfgtn drct frm x  
*calling\_atm\_address*: rcv ack err: *error\_code\_string* (  
*error\_code*)

長構文: LECS.092 LECS: refused configuration direct  
from x *calling\_atm\_address*: rcv ack error:  
*error\_code\_string* (*error\_code*)

説明: コールを受信確認できないために、LECS は指定  
の ATM からの着信構成ダイレクト VCC を拒否しまし  
た。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

**LECS.093**

レベル: C\_INFO

短構文: LECS.093 LECS: cfgtn drct frm x  
*calling\_atm\_address* estblshd

長構文: LECS.093 LECS: configuration direct from x  
*calling\_atm\_address* established

説明: LECS は、指定の発呼者から構成ダイレクトを確  
立しました。

---

**LECS.094**

レベル: C\_INFO

短構文: LECS.094 LECS: cfgtn drct frm x  
*calling\_atm\_address* dscnctd

長構文: LECS.094 LECS: configuration direct from x  
*calling\_atm\_address* disconnected

説明: 指定の ATM からの構成ダイレクト VCC が切  
断されました。

---

**LECS.095**

レベル: C\_INFO

短構文: LECS.095 LECS: sent config response to x  
*source\_atm\_address*

長構文: LECS.095 LECS: sent configuration response to  
x *source\_atm\_address*

説明: LECS は、指定の発信元 ATM アドレスを使用  
して、構成応答を送信しました。

---

---

**LECS.096**

レベル: UI\_ERROR

短構文: LECS.096 LECS: invld state ( *state*) for upcall  
' *upcall\_descriptor\_string*'

長構文: LECS.096 LECS: invalid state ( *state*) for  
upcall ' *upcall\_descriptor\_string*'

説明: ATM インターフェースは LECS へのアップコ  
ールを発信しましたが、使用されているユーザー関係  
数が無効です。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

**LECS.097**

レベル: UE\_ERROR

短構文: LECS.097 LECS: *operation\_descrip\_string*: LES  
addr *les\_atm\_addr* not exist

長構文: LECS.097 LECS: *operation\_descrip\_string*: LES  
ATM address *les\_atm\_addr* does not exist

説明: 示されている操作時に、指定の LES ATM アド  
レスの探索が失敗しました。

---

**LECS.098**

レベル: UI\_ERROR

短構文: LECS.098 LECS: crt LES *les\_atm\_addr* fld:  
mem alloc err

長構文: LECS.098 LECS: create LES *les\_atm\_addr*  
failed: memory allocation error

説明: LECS で LES を作成しようとしているときに、  
記憶域割り振りエラーが発生しました。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

**LECS.099**

レベル: UE\_ERROR

短構文: LECS.099 LECS: crt LES *les\_atm\_addr* fld:  
dplct LES addr

長構文: LECS.099 LECS: create LES *les\_atm\_addr*  
failed: duplicate LES ATM address

説明: ユーザーは LES を作成しようとしたますが、使  
用された LES ATM アドレスはすでに存在していま  
す。

---



---

**LECS.100**

レベル: UI\_ERROR

短構文: LECS.100 LECS: crt LES *les\_atm\_addr* fld: dbase err

長構文: LECS.100 LECS: create LES *les\_atm\_addr* failed: database error

説明: LES アドレスを LECS データベースに追加しようとしているときに、データベース・エラーが発生しました。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

**LECS.101**

レベル: U\_INFO

短構文: LECS.101 LECS: LES crt'd x *les\_atm\_addr* => '*elan\_name*'

長構文: LECS.101 LECS: LES created x *les\_atm\_addr* => '*elan\_name*'

説明: 指定の LES が作成され、指定の ELAN にバインドされました。

---

**LECS.102**

レベル: UE\_ERROR

短構文: LECS.102 LECS: dlt'd LES: val not exist x *les\_atm\_addr* => '*elan\_name*'

長構文: LECS.102 LECS: deleted LES: value did not exist x *les\_atm\_addr* => '*elan\_name*'

説明: 指定の LES ATM アドレスが LECS に存在しないので、LECS はそのポリシー値と ELAN とのバインドを正常に削除しました。

---

**LECS.103**

レベル: UE\_ERROR

短構文: LECS.103 LECS: dlt LES *les\_atm\_addr* fld: bad ELAN nm '*elan\_name*'

長構文: LECS.103 LECS: delete of LES *les\_atm\_addr* failed: bad ELAN name '*elan\_name*'

説明: ユーザーは LES を ELAN から削除しようとしたのですが、その LES はその ELAN に関連付けられていませんでした。

---

---

**LECS.104**

レベル: U\_INFO

短構文: LECS.104 LECS: LES dlt'd: x *les\_atm\_addr* => '*elan\_name*'

長構文: LECS.104 LECS: LES deleted: x *les\_atm\_addr* => '*elan\_name*'

説明: LECS で、指定の LES が指定の ELAN から削除されました。

---

**LECS.105**

レベル: UI\_ERROR

短構文: LECS.105 LECS: crt ELAN '*elan\_name*' fld: dbase err

長構文: LECS.105 LECS: create ELAN '*elan\_name*' failed: database error

説明: ELAN を LECS データベースに追加しようとしているときに、データベース・エラーが発生しました。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

**LECS.106**

レベル: C\_INFO

短構文: LECS.106 LECS: incmng call: *local\_or\_wk\_address*

長構文: LECS.106 LECS: incoming call: *local\_or\_wk\_address*

説明: LECS は、ローカル・アドレス、または LAN エミュレーション仕様に指定されている LECS アドレスの着信コールを受信しました。

---

**LECS.107**

レベル: C\_INFO

短構文: LECS.107 LECS: addng LEC addr to mem: *lec\_atm\_addr*: LES *les\_atm\_addr* time *current\_time*

長構文: LECS.107 LECS: adding LEC ATM address to memory: *lec\_atm\_addr*: LES *les\_atm\_addr* current time *current\_time*

説明: LEC ATM アドレスが LECS 一時記憶域に追加されました。示されている時間に、LEC は指定の LES に割り当てられました。

---

---

**LECS.108**

レベル: C\_INFO

短構文: LECS.108 LECS: dltng LEC addr frm mem: *lec\_atm\_addr* time *current\_time*

長構文: LECS.108 LECS: deleting LEC ATM address from memory: *lec\_atm\_addr* current time *current\_time*

説明: 示されている時間に、LEC ATM アドレスが LECS 一時記憶域から削除されました。

---

**LECS.109**

レベル: C\_INFO

短構文: LECS.109 LECS: updtng LEC addr in mem: *lec\_atm\_addr* LES *les\_atm\_addr* time *current\_time*

長構文: LECS.109 LECS: updating LEC ATM address in memory: *lec\_atm\_addr*: LES *les\_atm\_addr* current time *current\_time*

説明: LECS 一時記憶域内の LEC ATM アドレスが更新されました。この LES は、示されている時間に指定の LES に最後に割り当てられたものです。

---

**LECS.110**

レベル: UI\_ERROR

短構文: LECS.110 LECS: mem add fld: unbl to get time: *lec\_atm\_addr*

長構文: LECS.110 LECS: memory add failed: unable to get time: *lec\_atm\_addr*

説明: 現行時間を入手できなかったため、LECS は記憶域に LEC ATM アドレスを追加できませんでした。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

**LECS.111**

レベル: UI\_ERROR

短構文: LECS.111 LECS: mem updt fld: unbl to get time: *lec\_atm\_addr*

長構文: LECS.111 LECS: memory update failed: unable to get time: *lec\_atm\_addr*

説明: 現行時間を入手できなかったため、LECS は記憶域内の LEC ATM アドレスを更新できませんでした。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

**LECS.112**

レベル: UI\_ERROR

短構文: LECS.112 LECS: mem lkup fld: unbl to get time: *lec\_atm\_addr*

長構文: LECS.112 LECS: memory lookup failed: unable to get time: *lec\_atm\_addr*

説明: 現行時間を入手できなかったため、LECS は記憶域内の LEC ATM アドレスを探索できませんでした。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

**LECS.113**

レベル: UI\_ERROR

短構文: LECS.113 LECS: mem add fld: mem alloc err: *lec\_atm\_addr*

長構文: LECS.113 LECS: memory add failed: memory allocation error: *lec\_atm\_addr*

説明: 記憶域割り振りエラーのために、LECS は記憶域に LEC ATM アドレスを追加できませんでした。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

**LECS.114**

レベル: C\_INFO

短構文: LECS.114 LECS: mem lkup success: *lec\_atm\_addr* prim LES *primary\_les\_atm\_addr*: last LES *last\_les\_atm\_addr*

長構文: LECS.114 LECS: memory lookup success: *lec\_atm\_addr* primary LES *primary\_les\_atm\_addr*: last LES *last\_les\_atm\_addr*

説明: LECS はその一時記憶域内で LEC ATM アドレスを検出しました。この LEC は、データベース内で指定の 1 次 LES と関連付けられており、前回に LEC が LECS に接続されたときに、LES が指定した LES アドレスが与えられました。

---

**LECS.115**

レベル: C\_INFO

短構文: LECS.115 LECS: mem lkup fld: *lec\_atm\_addr*

長構文: LECS.115 LECS: memory lookup failed: *lec\_atm\_addr*

説明: LECS は記憶域で LEC ATM アドレスを検出できませんでした。1 次 LES ATM アドレスは、構成応答で使用されます。

---

**LECS.116**

レベル: U\_INFO

短構文: LECS.116 LECS: mvd to nrml state

長構文: LECS.116 LECS: moved to normal state

説明: LECS は、すべての着信コールを拒否する状態から通常の作動状態に移行しました。

---

**LECS.117**

レベル: U\_INFO

短構文: LECS.117 LECS: mvd to rjct calls state

長構文: LECS.117 LECS: moved to reject calls state

説明: LECS は、すべての着信コールを拒否する状態に移行しました。

---

**LECS.118**

レベル: C\_INFO

短構文: LECS.118 LECS: rfsd cfgtn drct frm x *calling\_atm\_address* rjct calls state

長構文: LECS.118 LECS: refused configuration direct from x *calling\_atm\_address* in reject call state

説明: LECS は、すべての VCC を拒否する状態にあるので、指定の ATM アドレスから着信構成ダイレクト VCC を拒否しました。

---

**LECS.119**

レベル: UI\_ERROR

短構文: LECS.119 LECS: ELAN ' *elan\_name*': set fld: dbase err: *set\_fail\_reason*

長構文: LECS.119 LECS: ELAN ' *elan\_name*': set failed: database error: *set\_fail\_reason*

説明: ELAN のパラメーターを設定しようとしたのですが、データベース・エラーのために失敗しました。LECS で、失敗した ELAN の資源が解放されました。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

**LECS.120**

レベル: UI\_ERROR

短構文: LECS.120 LECS: LES x *les\_atm\_addr*: set fld: dbase err: *set\_fail\_reason*

長構文: LECS.120 LECS: LES x *les\_atm\_addr*: set failed: database error: *set\_fail\_reason*

説明: LES のパラメーターを設定しようとした

が、データベース・エラーのために失敗しました。

LECS で、失敗した LES が解放されました。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

**LECS.121**

レベル: C\_INFO

短構文: LECS.121 LECS: lcl LES addr for ELAN ' *elan\_name*' mapped to LES: *actual\_les\_atm\_addr*

長構文: LECS.121 LECS: local LES address for ELAN: ' *elan\_name*' mapped to LES: *actual\_les\_atm\_addr*

説明: ローカル LES ATM アドレスが、指定された実 ATM アドレスにマップされました。実 ATM アドレスは、指定された ELAN にサービスを提供する、このルーター上に配置されている LES/BUS から獲得されました。

---

**LECS.122**

レベル: U\_INFO

短構文: LECS.122 LECS: unbl to find local LES for ELAN ' *elan\_name*' for LEC: *lec\_atm\_addr*

長構文: LECS.122 LECS: unable to find local LES for ELAN ' *elan\_name*' for LEC: *lec\_atm\_addr*

説明: 指定された LEC はローカル LES に割り当てられるはずでしたが、そのローカル LES がルーター上に存在していません。この LEC に関する構成要求は拒否されます。

---

**LECS.123**

レベル: U\_INFO

短構文: LECS.123 LECS: *wka\_anycast* rgstrtn: success

長構文: LECS.123 LECS: *wka\_anycast* address registration: success

説明: LECS の事前割り当てアドレスまたは LECS 任意アドレスを ATM スイッチに登録するための ILMI による試みが成功しました。

---

**LECS.124**

レベル: U\_INFO

短構文: LECS.124 LECS: *wka\_anycast* rgstrtn: no success

長構文: LECS.124 LECS: *wka\_anycast* address registration: no success

説明: LECS の事前割り当てアドレスまたは LECS 任意アドレスをスイッチに登録するための ILMI による試

みが、失敗したか、まだ成功していないかのいずれかです。LECS は、事前割り当てアドレスまたは任意アドレスの状況を再度ポーリングします。

---

### LECS.125

レベル: U\_INFO

短構文: LECS.125 LECS: *wka\_anycast* rgstrtn: gvng up

長構文: LECS.125 LECS: *wka\_anycast* address registration: giving up

説明: LECS の事前割り当てアドレスまたは LECS 任意アドレスをスイッチに登録するための ILMI による試みが、失敗したか、まだ成功していないかのいずれかです。LECS は、事前割り当てアドレスまたは任意アドレスの状況を再度ポーリングしません。

---

### LECS.126

レベル: UI\_ERROR

短構文: LECS.126 LECS: *wka\_anycast* rgstrtn err: *error\_string* ( *error\_code* )

長構文: LECS.126 LECS: *wka\_anycast* address registration error: *error\_string* ( *error\_code* )

説明: LECS が、LECS 事前割り当てアドレスまたは LECS 任意アドレスの登録の状況のポーリングを試みた結果、エラーになりました。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

### LECS.127

レベル: UI\_ERROR

短構文: LECS.127 LECS: *wka\_anycast* actvtn err: *error\_string* ( *error\_code* )

長構文: LECS.127 LECS: *wka\_anycast* address activation error: *error\_string* ( *error\_code* )

説明: LECS が、LECS 事前割り当てアドレスまたは LECS 任意アドレスの活動化を試みた結果、エラーになりました。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

### LECS.128

レベル: P\_TRACE

短構文: LECS.128 Trace LECS control frames

長構文: LECS.128 Trace LAN Emulation Configuration Server control frames

説明: パケットは、LECS との間でやり取りされる制御フレームをトレース中です。

---

### LECS.129

レベル: C\_INFO

短構文: LECS.129 LECS: *secrty req rejected for LEC lec\_atm\_addr* and LES *les\_atm\_addr: rejection\_reason*

長構文: LECS.129 LECS: security request rejected for LEC *lec\_atm\_addr* and LES *les\_atm\_addr: rejection\_reason*

説明: LECS は、指定の LEC と LES に関するセキュリティ要求を処理した結果、この要求は拒否されました。セキュリティ要求を拒否した理由は、以下のとおりです。1) "reqstng LES not last assgnd LES" - LEC は LECS の一時記憶域内に見付かりましたが、それが最後に割り当てられた LES は要求元の LES ではありません。2) "LES assgnmnt fld" - LECS には、自らに接続している LEC について認識がなく、LECS は、提供された情報を基にして、LEC の LES を見付けることができません。3) "requestng LES not assgnd LES" - LECS には、自らに接続している LEC について認識がなく、LECS は LEC を LES に割り当てることができませんでしたが、要求元の LES は、LECS によって割り当てられる LES ではありません。

---

### LECS.130

レベル: C\_INFO

短構文: LECS.130 LECS: *secrty req apprvd for LEC lec\_atm\_addr* and LES *les\_atm\_addr*

長構文: LECS.130 LECS: security request approved for LEC *lec\_atm\_addr* and LES *les\_atm\_addr*

説明: LECS は、指定の LEC と LES に関するセキュリティ要求を処理した結果、この要求は承認されました。

---

### LECS.132

レベル: C\_INFO

短構文: LECS.132 LECS: *snding LEC: lec\_atm\_addr to primary\_or\_backup* LES: *les\_atm\_addr*

長構文: LECS.132 LECS: sending LEC: *lec\_atm\_addr* to *primary\_or\_backup* LES: *les\_atm\_addr*

説明: 指定されたクライアントは、指定された 1 次またはバックアップ LES に送信されている最中です。

---

### LECS.133

レベル: UE\_ERROR

短構文: LECS.133 LECS: *err error\_location: invld ATM addr mask atm\_addr\_mask*

**長構文:** LECS.133 LECS: error *error\_location*: invalid ATM address mask *atm\_addr\_mask*

**説明:** 特定の ATM アドレス・マスクが無効です。現在使用できる唯一のタイプのアドレス・マスクは、ATM アドレスのプレフィックスを指定するものです。したがって、マスクは非ゼロ個の 0xff オクテットの後に、すべて 0x00 オクテットが続くものである必要があります。ユーザーが ATM アドレス・ポリシー値の作成または削除を試みたとき、エラーが発生しました。

---

#### LECS.134

**レベル:** C\_INFO

**短構文:** LECS.134 LECS: crt'd ESI/Sel pol val: x *esi\_selector* => x *les\_atm\_addr*

**長構文:** LECS.134 LECS: created ESI/Selector policy value: x *esi\_selector* => x *les\_atm\_addr*

**説明:** LECS は、指定されたポリシー値を正常に作成し、それを指定の LES にバインドしました。

---

#### LECS.135

**レベル:** UE\_ERROR

**短構文:** LECS.135 LECS: dlt'd ESI/Sel pol val: val not exist x *esi\_selector\_pv* => x *les\_atm\_addr*

**長構文:** LECS.135 LECS: deleted ESI/Selector policy value: value did not exist x *esi\_selector\_pv* => x *les\_atm\_addr*

**説明:** 指定のポリシー値が LECS に存在しないので、LECS はそのポリシー値と LES とのバインドを正常に削除しました。

---

#### LECS.136

**レベル:** UE\_ERROR

**短構文:** LECS.136 LECS: dlt'd ESI/Sel pol val: bad LES addr x *esi\_selector\_pv* => x *les\_atm\_addr*

**長構文:** LECS.136 LECS: deleted ESI/Selector policy value: bad LES address x *esi\_selector\_pv* => x *les\_atm\_addr*

**説明:** 指定されたポリシー値は指定の LES 以外にバインドされているので、LECS はそのポリシー値と LES とのバインドを正常に削除しました。

---

#### LECS.137

**レベル:** C\_INFO

**短構文:** LECS.137 LECS: dlt'd ESI/Sel pol val: x *esi\_selector\_pv* => x *les\_atm\_addr*

**長構文:** LECS.137 LECS: deleted ESI/Selector policy value: x *esi\_selector\_pv* => x *les\_atm\_addr*

**説明:** LECS は、ポリシー値と指定の LES とのバインドを正常に削除しました。

---

#### LECS.138

**レベル:** UI\_ERROR

**短構文:** LECS.138 LECS: crt sus ATM Addr fld: mem alloc err: *suspect\_atm\_address\_description\_string*

**長構文:** LECS.138 LECS: create suspect ATM Addr failed: memory allocation error: *suspect\_atm\_address\_description\_string*

**説明:** LECS は、指定された suspect ATM アドレスの作成に必要な記憶域を割り振ることができませんでした。

**処置:** サービス技術員に連絡してください。

---

#### LECS.139

**レベル:** UE\_ERROR

**短構文:** LECS.139 LECS: crt sus ATM Addr fld: val exsts: *suspect\_ATM\_Address\_description*

**長構文:** LECS.139 LECS: create suspect ATM Address failed: value already exists: *suspect\_ATM\_Address\_description*

**説明:** 指定されたサスペクト ATM アドレスは、LECS にすでに存在しています。

---

#### LECS.140

**レベル:** UI\_ERROR

**短構文:** LECS.140 LECS: crt sus ATM Addr fld: dbase err: *suspect\_ATM\_Address\_description*

**長構文:** LECS.140 LECS: create suspect ATM Address failed: database error: *suspect\_ATM\_Address\_description*

**説明:** 内部データベース・エラーのため、LECS はサスペクト ATM アドレスを作成することができませんでした。

**処置:** サービス技術員に連絡してください。

---

#### LECS.141

**レベル:** U\_INFO

**短構文:** LECS.141 LECS: sus ATM Addr dlt'd: *suspect\_ATM\_Address\_description*

**長構文:** LECS.141 LECS: suspect ATM Address deleted: *suspect\_ATM\_Address\_description*



説明: 指定されたサスペクト ATM アドレスは LECS から削除されました。

---

#### LECS.142

レベル: C\_INFO

短構文: LECS.142 LECS: suspect src ATM addr: x *source\_atm\_addr\_string*

長構文: LECS.142 LECS: suspect source ATM address: x *source\_atm\_addr\_string*

説明: 着信フレームにサスペクト発信元 ATM アドレスがありました。この構成またはセキュリティー要求は、原因 "Access Denied" で拒否されました。

---

#### LECS.143

レベル: C\_INFO

短構文: LECS.143 LECS: updtcd cnfgtrn for fld: '*field\_name*'

長構文: LECS.143 LECS: updated configuration for field: '*field\_name*'

説明: 初期化中に、古くて使われなくなった構成レコードが検出されました。LECS の特定の構成パラメータは更新されて、新しいコード・リリースが反映されています。これは普通に生じる事象であり、新しいリリースの操作コードへの更新後は、生じることが予期される事象です。

---

#### LECS.144

レベル: C\_INFO

短構文: LECS.144 LECS: rfsd cfgtn drct frm x *calling\_atm\_address* suspect ATM address

長構文: LECS.144 LECS: refused configuration direct from x *calling\_atm\_address* in reject call state

説明: LECS が特定の ATM アドレスからの着信構成ダイレクト VCC を拒否しました。このアドレスがアクセス制御データベース内にサスペクト ATM アドレスとして構成されているためです。

---

#### LECS.145

レベル: UE\_ERROR

短構文: LECS.145 LECS: frm contains bad TLV info

長構文: LECS.145 LECS: frame contains incorrect no bytes in TLV data.

説明: 着信フレームに含まれている TLV データのバイト数が間違っています。

---

#### LECS.146

レベル: U\_INFO

短構文: LECS.146 LECS: LEC x *lec\_atm\_addr* last assgnd to unkwn LES, occrrd *count* times

長構文: LECS.146 LECS: LEC x *lec\_atm\_addr* last assigned to unknown LES, has occurred *count* times

説明: 指定された LEC は LECS の記憶域に入っているが、ごく最近、1 次でもバックアップでもない LES に割り当てられました。LEC または LECS での構成変更の結果である可能性もあれば複数の LEC を構成する場合には、エッジ装置が同一の発信元 ATM アドレスを誤って使用していることを示している可能性もあります。このメッセージが同じ LEC について複数回発生して、カウントが増える場合は、後者の説明が該当する可能性が高くなります。

---

#### LECS.147

レベル: C\_INFO

短構文: LECS.147 LECS: crtd LEC TLV: tp x *tlv\_type* len *tlv\_length* val x *tlv\_value*: for *policy\_value\_type* *policy\_value*

長構文: LECS.147 LECS: created LEC TLV: type x *tlv\_type* length *tlv\_length* value x *tlv\_value*: for *policy\_value\_type* *policy\_value*

説明: LECS は、指定のポリシー値の指定の TLV を作成しました。

---

#### LECS.148

レベル: C\_INFO

短構文: LECS.148 LECS: dltd LEC TLV: tp x *tlv\_type* len *tlv\_length* val *tlv\_value*: for *policy\_value\_type* *policy\_value*

長構文: LECS.148 LECS: deleted LEC TLV: type x *tlv\_type* length *tlv\_length* value *tlv\_value*: for *policy\_value\_type* *policy\_value*

説明: LECS は、指定のポリシー値から指定の TLV を削除しました。

---

#### LECS.149

レベル: UI\_ERROR

短構文: LECS.149 LECS: crt LEC TLV failed: tp x *tlv\_type* len *tlv\_length* val *tlv\_value*

長構文: LECS.149 LECS: create LEC TLV failed: type x *tlv\_type* length *tlv\_length* value *tlv\_value*



説明: LECS は、TLV 用の記憶域の割り振りに失敗しました。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

#### LECS.150

レベル: C\_INFO

短構文: LECS.150 LECS: crt sus ATM Addr  
*suspect\_ATM\_Address\_*

長構文: LECS.150 LECS: create suspect ATM Address  
*suspect\_ATM\_Address\_*

説明: LECS で疑わしい ATM アドレスが作成されました。

---

#### LECS.151

レベル: UI\_ERROR

短構文: LECS.151 LECS: crt TLV failed: type x  
*tlv\_type len tlv\_length*

長構文: LECS.151 LECS: create TLV failed: type x  
*tlv\_type length tlv\_length*

説明: LECS は、データベース同期の一部としてリモート LECS に送信する符号化 LECS SRAM レコードが入っている TLV のために記憶域を割り振ろうとしましたが、失敗しました。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

#### LECS.152

レベル: UI\_ERROR

短構文: LECS.152 LECS: error alloc mem for Dbase  
Sync ATM addr: *dbase\_sync\_atm\_address\_string*

長構文: LECS.152 LECS: error allocating memory for  
Dbase Sync ATM addr: *dbase\_sync\_atm\_address\_string*

説明: LECS は、データベース同期の指定のリモート LECS ATM アドレスを作成するために必要な記憶域を割り振ることができませんでした。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

#### LECS.153

レベル: UE\_ERROR

短構文: LECS.153 LECS: remote LECS ATM addr  
already exists: *dbase\_sync\_ATM\_Address\_string*

長構文: LECS.153 LECS: remote LECS ATM addr  
already exists: *dbase\_sync\_ATM\_Address\_string*

説明: LECS データベース同期の指定のリモート LECS

ATM アドレスは、すでに LECS に存在しています。

---

#### LECS.154

レベル: UI\_ERROR

短構文: LECS.154 LECS: dbase err for Dbase Sync  
ATM address: *dbase\_sync\_ATM\_Address\_string*

長構文: LECS.154 LECS: dbase err for Dbase Sync  
ATM address: *dbase\_sync\_ATM\_Address\_string*

説明: LECS は、内部データベース・エラーのために、データベース同期 ATM アドレスを作成することができませんでした。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

#### LECS.155

レベル: C\_INFO

短構文: LECS.155 LECS: create Dbase Sync Addr:  
*dbase\_sync\_ATM\_Address\_string*

長構文: LECS.155 LECS: create Dbase Sync Addr:  
*dbase\_sync\_ATM\_Address\_string*

説明: LECSで、LECS データベース同期 ATM アドレスが作成されました。

---

#### LECS.156

レベル: U\_INFO

短構文: LECS.156 LECS: dbase sync ATM Addr  
deleted: *dbase\_sync\_ATM\_Address\_string*

長構文: LECS.156 LECS: dbase sync ATM Addr  
deleted: *dbase\_sync\_ATM\_Address\_string*

説明: 指定の LECS データベース同期 ATM アドレスが LECS から削除されました。

---

#### LECS.157

レベル: C\_INFO

短構文: LECS.157 LECS: attempting Dbase Sync VCC  
to: *dbase\_sync\_ATM\_Address\_string*

長構文: LECS.157 LECS: attempting setup of Dbase  
Sync VCC to: *dbase\_sync\_ATM\_Address\_string*

説明: 指定のリモート LECS ATM アドレスへの  
LECS データベース同期 VCC を試行中です。

---

**LECS.158**

レベル: UE\_ERROR

短構文: LECS.158 LECS: *error\_message*, rc=x  
*error\_code*: err in Dbase Sync VCC to:  
*dbase\_sync\_ATM\_Address\_string*

長構文: LECS.158 LECS: *error\_message*, rc=x  
*error\_code*: err in Dbase Sync VCC to:  
*dbase\_sync\_ATM\_Address\_string*

説明: 指摘されているエラーのため、指定のリモート LECS ATM アドレスへの LECS データベース同期 VCC を設定することができません。

---

**LECS.159**

レベル: UI\_ERROR

短構文: LECS.159 LECS: error alloc mem for Dbase Sync frame, rc=x *error\_code*:  
*dbase\_sync\_atm\_address\_string*

長構文: LECS.159 LECS: error alloc mem for Dbase Sync frame, rc=x *error\_code*:  
*dbase\_sync\_atm\_address\_string*

説明: LECS は、データベース同期の指定のリモート LECS ATM アドレスを作成するために必要な記憶域を割り振ることができませんでした。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

**LECS.160**

レベル: UE\_ERROR

短構文: LECS.160 LECS: reject Dbase Sync VCC (not allowed) from: *calling\_atm\_address*

長構文: LECS.160 LECS: reject Dbase Sync VCC (not allowed) from: *calling\_atm\_address*

説明: この LECS はリモート構成を許さないように構成されているために、LECS は指定の LECS ATM アドレスから着信 LECS データベース同期 VCC を拒否しました。

---

**LECS.161**

レベル: UE\_ERROR

短構文: LECS.161 LECS: reject Dbase Sync VCC (already exists) from: *calling\_atm\_address*

長構文: LECS.161 LECS: reject Dbase Sync VCC (already exists) from: *calling\_atm\_address*

説明: 別のデータベース同期 VCC がすでに存在し、一度に 1 つしか許されないために、LECS は指定の

LECS ATM から着信 LECS データベース同期 VCC を拒否しました。

---

**LECS.162**

レベル: UI\_ERROR

短構文: LECS.162 LECS: rfsd dbase sync frm x *calling\_atm\_address*: rcv ack err: *error\_code\_string* (*error\_code*)

長構文: LECS.162 LECS: refused database sync vcc from x *calling\_atm\_address*: rcv ack error: *error\_code\_string* (*error\_code*)

説明: コールを受信確認できないために、LECS は指定の ATM から着信 LECS データベース同期 VCC を拒否しました。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

**LECS.163**

レベル: C\_INFO

短構文: LECS.163 LECS: dbase sync vcc setup from remote LECS: *calling\_atm\_address*

長構文: LECS.163 LECS: dbase sync vcc setup from remote LECS: *calling\_atm\_address*

説明: 指定の ATM アドレスを持つリモート LECS から、LECS データベース同期 VCC を確立するのに成功しました。

---

**LECS.164**

レベル: UI\_ERROR

短構文: LECS.164 LECS: rfsd dbase sync frm x *calling\_atm\_address*: open data path err: *error\_code\_string* (*error\_code*)

長構文: LECS.164 LECS: refused database sync vcc from x *calling\_atm\_address*: open data path error: *error\_code\_string* (*error\_code*)

説明: 発呼者へのデータ・パスをオープンできないために、LECS は指定の ATM から着信 LECS データベース同期 VCC を拒否しました。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

**LECS.165**

レベル: UI\_ERROR

短構文: LECS.165 LECS: dbase sync call fail: open data path err: *error\_code\_string* (*error\_code*)

長構文: LECS.165 LECS: database sync call failed:

open data path err: *error\_code\_string* ( *error\_code* )

説明: 発呼者へのデータ・パスをオープンできないために、LECS は LECS データベース同期 VCC を設定できませんでした。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

#### LECS.166

レベル: C\_INFO

短構文: LECS.166 LECS: dbase sync vcc setup to remote LECS

長構文: LECS.166 LECS: dbase sync vcc setup to remote LECS

説明: リモート LECS への LECS データベース同期 VCC が正常に確立されました。

---

#### LECS.167

レベル: CE\_ERROR

短構文: LECS.167 LECS: Dbase Sync call failed: cause *cause\_code*

長構文: LECS.167 LECS: Dbase Sync call failed: cause code = *cause\_code*

説明: 示されている原因コードにより、LECS データベース同期 VCC の確立に失敗しました。

---

#### LECS.168

レベル: UE\_ERROR

短構文: LECS.168 LECS: Dbase Sync call failed: net down

長構文: LECS.168 LECS: Dbase Sync call failed: net down

説明: ネットワークへの接続がダウンしているために、LECS データベース同期 VCC の確立に失敗しました。

---

#### LECS.169

レベル: UE\_ERROR

短構文: LECS.169 LECS: Dbase Sync VCC released: cause *cause\_code*

長構文: LECS.169 LECS: Dbase Sync VCC released: cause *cause\_code*

説明: 示されている原因コードにより、LECS データベース同期 VCC が解放されました。

---

#### LECS.170

レベル: UE\_ERROR

短構文: LECS.170 LECS: Dbase Sync VCC released: net down

長構文: LECS.170 LECS: Dbase Sync VCC released: net down

説明: ネットワークへの接続がダウンしているために、LECS データベース同期 VCC が解放されました。

---

#### LECS.171

レベル: UI\_ERROR

短構文: LECS.171 LECS: SRAM error: *reason\_string*

長構文: LECS.171 LECS: SRAM error: *reason\_string*

説明: LECS データベース同期手順で、LECS SRAM 構成を正しく読み取ることができませんでした。詳細については、エラー・メッセージを参照してください。

---

#### LECS.172

レベル: UE\_ERROR

短構文: LECS.172 LECS: Dbase Sync VCC rx bad frame: *frame\_opcode\_string*

長構文: LECS.172 LECS: Dbase Sync VCC received bad frame type: *frame\_opcode\_string*

説明: LECS データベース同期 VCC で、指摘されている無効なフレーム・タイプを受信しました。

---

#### LECS.173

レベル: U\_INFO

短構文: LECS.173 LECS: Dbase Sync retry timer expiration num= *num\_call\_failures*

長構文: LECS.173 LECS: Dbase Sync retry timer expiration num= *num\_call\_failures*

説明: LECS データベース同期 VCC 再試行タイマーが満了し、改めてデータベース同期 VCC を試行する必要があることを示しています。

---

#### LECS.174

レベル: C\_INFO

短構文: LECS.174 LECS: Config Req sent on Dbase Sync VCC

長構文: LECS.174 LECS: Config Req sent on Dbase Sync VCC

説明: LECS データベース同期 VCC で、構成要求フレームが符号化 LECS SRAM データとともに正常に送信されました。

---

#### LECS.175

レベル: UI\_ERROR

短構文: LECS.175 LECS: error writing config from Dbase Sync VCC

長構文: LECS.175 LECS: error writing config from Dbase Sync VCC

説明: LECS データベース同期 VCC 上で受信した LECS SRAM レコードを保管するときにエラーが発生しました。

---

#### LECS.176

レベル: C\_INFO

短構文: LECS.176 LECS: Config Request received on Dbase Sync VCC

長構文: LECS.176 LECS: Config Request received on Dbase Sync VCC

説明: LECS データベース同期 VCC 上で、構成要求フレームを正常に受信しました。

---

#### LECS.177

レベル: C\_INFO

短構文: LECS.177 LECS: Config Response received on Dbase Sync VCC: status= *status*

長構文: LECS.177 LECS: Config Response received on Dbase Sync VCC: status= *status*

説明: LECS データベース同期 VCC 上で、構成応答フレームを正常に受信しました。

---

#### LECS.178

レベル: UI\_ERROR

短構文: LECS.178 LECS: not ready for Config Response on Dbase Sync VCC

長構文: LECS.178 LECS: not ready for Config Response on Dbase Sync VCC

説明: LECS データベース同期 VCC で構成応答の受信中にエラーが生じました。現行データベース同期制御ブロックへのポインターが無効 (NULL) です。



---

## 第66章 LAN エミュレーション・サーバーおよび同報通信確認不可能サーバー (LES/BUS)

この章では、LAN エミュレーション・サーバーおよび同報通信確認不可能サーバー (LES/BUS) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### LES.001

レベル: UI\_ERROR

短構文: LES.001 LES/BUS:' *ELAN\_name*':trmntng:  
*error\_string* ( *error\_code* )

長構文: LES.001 LES/BUS:' *ELAN\_name*':terminating:  
*error\_string* ( *error\_code* )

説明: ELAN が終了中です。

---

### LES.002

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.002 LE:Cell Rate IE:Fwd PCR(CLP=0+1)  
excds ln rt *fwd\_peak\_rate*

長構文: LES.002 LE:Cell Rate IE:Forward Peak Cell  
Rate(CLP=0+1) exceeds line rate *fwd\_peak\_rate*

説明: 低優先順位データの順方向ピーク・セル速度が  
ライン速度を超えています。

---

### LES.003

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.003 LE:Cell Rate IE:Fwd SCR(CLP=0+1)  
excds max *fwd\_sustainable\_rate*

長構文: LES.003 LE:Cell Rate IE:Forward Sustainable  
Cell Rate(CLP=0+1) exceeds maximum  
*fwd\_sustainable\_rate*

説明: 低優先順位データの順方向持続可能セル速度  
が、予約済みの最大セル速度を超えています。

---

### LES.004

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.004 LE:Cell Rate IE:Fwd SCR(CLP=0)  
excds max *fwd\_sustainable\_rate*

長構文: LES.004 LE:Cell Rate IE:Forward Sustainable  
Cell Rate(CLP=0) exceeds maximum *fwd\_sustainable\_rate*

説明: 高優先順位データの順方向持続可能セル速度  
が、予約済みの最大セル速度を超えています。

---

### LES.005

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.005 LE:Cell Rate IE:Fwd PCR(CLP=0+1)  
excds max *fwd\_peak\_rate*

長構文: LES.005 LE:Cell Rate IE:Forward Peak Cell  
Rate(CLP=0+1) exceeds maximum *fwd\_peak\_rate*

説明: 低優先順位データの順方向ピーク・セル速度  
が、予約済みの最大セル速度を超えています。

---

### LES.006

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.006 LE:Cell Rate IE:Bak SCR(CLP=0+1)  
excds max *bak\_sustainable\_rate*

長構文: LES.006 LE:Cell Rate IE:Backward Sustainable  
Cell Rate(CLP=0+1) exceeds maximum  
*bak\_sustainable\_rate*

説明: 低優先順位データの逆方向持続可能セル速度  
が、予約済みの最大セル速度を超えています。

---

### LES.007

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.007 LE:Cell Rate IE:Bak SCR(CLP=0)  
excds max *bak\_sustainable\_rate*

長構文: LES.007 LE:Cell Rate IE:Backward Sustainable  
Cell Rate(CLP=0) exceeds maximum *bak\_sustainable\_rate*

説明: 高優先順位データの逆方向持続可能セル速度  
が、予約済みの最大セル速度を超えています。

---

### LES.008

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.008 LE:Cell Rate IE:Bak PCR(CLP=0+1)  
excds max *bak\_peak\_rate*

長構文: LES.008 LE:Cell Rate IE:Backward Peak Cell  
Rate(CLP=0+1) exceeds maximum *bak\_peak\_rate*

説明: 低優先順位データの逆方向ピーク・セル速度



が、予約済みの最大セル速度を超えています。

---

**LES.009**

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.009 LE:Bearer IE:Invl'd class (x *bearer\_class*)

長構文: LES.009 LE:Bearer IE:Invalid class (x *bearer\_class*)

説明: 無効なベアラー・クラス。ベアラー・クラスは、クラス C またはクラス X でなければなりません。

---

**LES.010**

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.010 LE:Bearer IE:Invl'd conn type (x *conn\_type*)

長構文: LES.010 LE:Bearer IE:Invalid connection type (x *conn\_type*)

説明: 無効な接続タイプ。接続タイプは、ポイント・ポイントでなければなりません。

---

**LES.011**

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.011 LE:QOS IE:Invl'd fwd QOS class (x *fwd\_QOS*)

長構文: LES.011 LE:QOS IE:Invalid forward QOS class (x *fwd\_QOS*)

説明: 接続はベストエフォート・サービスであり、順方向のサービス品質は QOS クラス 0 でなければなりません。

---

**LES.012**

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.012 LE:QOS IE:Invl'd bak QOS class (x *bak\_QOS*)

長構文: LES.012 LE:QOS IE:Invalid backward QOS class (x *bak\_QOS*)

説明: 接続はベストエフォートであり、逆方向のサービス品質は QOS クラス 0 でなければなりません。

---

**LES.013**

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.013 LE:Calling Party addr IE not prsnt

長構文: LES.013 LE:Calling Party address IE not present

説明: 発呼側アドレス IE は、存在しません。

---

**LES.014**

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.014 LE:Calling Party Addr IE:Invl'd ATM addr lngth ( *remote\_addr\_length*)

長構文: LES.014 LE:Calling Party Addr IE:Invalid ATM address length ( *remote\_addr\_length*)

説明: 発呼側アドレス IE は、無効な ATM アドレス長です。

---

**LES.015**

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.015 LE:Calling Party Addr IE:ATM addr fld scrn

長構文: LES.015 LE:Calling Party Addr IE:ATM address failed screening

説明: ATM アドレスが検査され、スクリーニングに不合格でした。

---

**LES.016**

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.016 LE:Calling Party Addr IE:Invl'd ATM addr

長構文: LES.016 LE:Calling Party Address IE:Invalid ATM address

説明: ATM アドレスの形式が誤りです。私用 ATM アドレス形式しかサポートされません。

---

**LES.017**

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.017 LE:AAL IE:Not prsnt, or Invl'd AAL type (x *AAL\_type*)

長構文: LES.017 LE:AAL IE:Not present, or Invalid AAL type (x *AAL\_type*)

説明: 無効な AAL タイプ。AAL タイプは AAL5 でなければなりません。

---

**LES.018**

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.018 LE:AAL IE:Invld fwd max SDU sz (*fwd\_max\_SDU\_size*)

長構文: LES.018 LE:AAL IE:Invalid forward maximum SDU size (*fwd\_max\_SDU\_size*)

説明: 順方向の最大 SDU サイズが無効です。

---

**LES.019**

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.019 LE:AAL IE:Invld bak max SDU sz for P2P call (*bak\_max\_SDU\_size*)

長構文: LES.019 LE:AAL IE:Invalid backward maximum SDU size for Point-to-Point Call (*bak\_max\_SDU\_size*)

説明: ポイント・ポイント間のコールの場合、逆方向の最大 SDU サイズが無効です。

---

**LES.020**

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.020 LE:AAL IE:Invld bak max SDU sz for P2MP call (*bak\_max\_SDU\_size*)

長構文: LES.020 LE:AAL IE:Invalid backward maximum SDU size for Point-to-MultiPoint Call (*bak\_max\_SDU\_size*)

説明: ポイント・マルチポイント間のコールの場合、逆方向の最大 SDU サイズが無効です。これは、ゼロまたは 1 でなければなりません。

---

**LES.022**

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.022 LE:AAL IE:Invld mode (x *data\_transport\_mode*)

長構文: LES.022 LE:AAL IE:Invalid mode (x *data\_transport\_mode*)

説明: UNI バージョン 3.0 の場合、データ転送モードが無効です。データ転送モードは、メッセージ・モードでなければなりません。

---

**LES.023**

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.023 LE:AAL IE:Mode spcfd in UNI 3.1 x *data\_transport\_mode*

長構文: LES.023 LE:AAL IE:Mode specified in UNI 3.1 x *data\_transport\_mode*

説明: UNI 3.1 の場合、データ転送モードを指定してはなりません。

---

**LES.024**

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.024 LE:AAL IE:Invld SSCS type (x *SSCS\_type*)

長構文: LES.024 LE:AAL IE:Invalid SSCS type (x *SSCS\_type*)

説明: 無効の SSCS タイプです。SSCS タイプは空白である必要があります。この検査は、すでに LE サービスでは実行されなくなりました。

---

**LES.025**

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.025 LE:BLLI IE:Invld L2 prtcl (x *l2prot*)

長構文: LES.025 LE:BLLI IE:Invalid Layer 2 protocol (x *l2prot*)

説明: BLLI IE に無効のレイヤー 2 プロトコルが含まれています。レイヤー 2 プロトコルは、指定しないことが必要です。

---

**LES.026**

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.026 LE:BLLI IE:Invld L2 mode (x *l2mode*)

長構文: LES.026 LE:BLLI IE:Invalid Layer 2 mode (x *l2mode*)

説明: 無効のレイヤー 2 モードです。レイヤー 2 モードは、指定しないことが必要です。

---

**LES.027**

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.027 LE:BLLI IE:Invld L2 wndw sz ( *l2wndw\_size*)

長構文: LES.027 LE:BLLI IE:Invalid Layer 2 window size ( *l2wndw\_size*)

説明: BLLI IE に無効のレイヤー 2 ウィンドウ・サイズが含まれています。レイヤー 2 ウィンドウ・サイズは、指定しないことが必要です。

---

---

**LES.028**

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.028 LE:BLLI IE:Invlid L2 prtcl info (x *l2info*)

長構文: LES.028 LE:BLLI IE:Invalid Layer 2 protocol info (x *l2info*)

説明: 無効のレイヤー 2 プロトコル情報です。レイヤー 2 プロトコル情報は、指定しないことが必要です。

---

**LES.029**

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.029 LE:BLLI IE:L3 prtcl not spcfd

長構文: LES.029 LE:BLLI IE:Layer 3 protocol not specified

説明: レイヤー 3 プロトコルは指定してはなりません。ISO/IEC TR 9577 (x0B) でなければなりません。

---

**LES.030**

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.030 LE:BLLI IE:Invlid L3 prtcl (x *l3prtcl*)

長構文: LES.030 LE:BLLI IE:Invalid Layer 3 protocol (x *l3prtcl*)

説明: 無効なレイヤー 3 プロトコル。ISO/IEC TR9577 (x0B) でなければなりません。

---

**LES.031**

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.031 LE:BLLI IE:Invlid L3 mode (x *l3mode*)

長構文: LES.031 LE:BLLI IE:Invalid Layer 3 mode (x *l3mode*)

説明: 無効のレイヤー 3 モードです。レイヤー 3 モードは、指定しないことが必要です。

---

**LES.032**

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.032 LE:BLLI IE:Invlid L3 dflt pkt sz (x *l3dflt\_pkt\_sz*)

長構文: LES.032 LE:BLLI IE:Invalid Layer 3 default packet size (x *l3dflt\_pkt\_sz*)

説明: 無効のレイヤー 3 デフォルト・パケット・サイ

ズです。レイヤー 3 パケット・サイズは、指定しないことが必要です。

---

**LES.033**

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.033 LE:BLLI IE:Invlid L3 pkt wndw sz x *l3pkt\_wndw\_sz*

長構文: LES.033 LE:BLLI IE:Invalid Layer 3 packet window size x *l3pkt\_wndw\_sz*

説明: 無効のレイヤー 3 パケット・ウィンドウ・サイズです。レイヤー 3 パケット・ウィンドウ・サイズは、指定しないことが必要です。

---

**LES.034**

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.034 LE:BLLI IE:Invlid L3 prtcl info (x *l3info*)

長構文: LES.034 LE:BLLI IE:Invalid Layer 3 protocol info (x *l3info*)

説明: 無効のレイヤー 3 プロトコル情報です。レイヤー 3 プロトコル情報は、指定しないことが必要です。

---

**LES.035**

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.035 LE:BLLI IE:L3 IPI not spcfd

長構文: LES.035 LE:BLLI IE:Layer 3 Initial Protocol Identifier not specified

説明: レイヤー 3 初期プロトコル識別子が指定されていません。レイヤー 3 IPI は x80 であるはずですが。

---

**LES.036**

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.036 LE:BLLI IE:Invlid L3 IPI (x *IPI*)

長構文: LES.036 LE:BLLI IE:Invalid Layer 3 Initial Protocol Identifier (x *IPI*)

説明: 無効なレイヤー 3 初期プロトコル識別子。レイヤー 3 IPI は x80 でなければなりません。

---

**LES.037**

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.037 LE:BLLI IE:SNAP OUI not spcfd

長構文: LES.037 LE:BLLI IE:SNAP OUI not specified

説明: BLLI IE, SNAP OUI が指定されていません。

---

**LES.038**

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.038 LE:BLLI IE:invld SNAP OUI x  
SNAP\_OUI

長構文: LES.038 LE:BLLI IE:Invalid SNAP OUI x  
SNAP\_OUI

説明: 無効な SNAP OUI。SNAP OUI は x00 xA0  
x3E でなければなりません。

---

**LES.039**

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.039 LE:BLLI IE:SNAP PID not spcfd

長構文: LES.039 LE:BLLI IE:SNAP PID not specified

説明: BLLI IE, SNAP PID が指定されていません。

---

**LES.040**

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.040 LE:BLLI IE:Invld SNAP PID (x  
SNAP\_PID)

長構文: LES.040 LE:BLLI IE:Invalid SNAP PID (x  
SNAP\_PID)

説明: BLLI IE、無効な SNAP PID

---

**LES.041**

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.041 LES/BUS:' ELAN\_name':crt fld:dplct  
ELAN name

長構文: LES.041 LES/BUS:' ELAN\_name':create failed:  
duplicate ELAN name

説明: LES/BUS は作成できません。指定の ELAN 名  
をもつ LES/BUS がすでに存在しています。

---

**LES.042**

レベル: UI\_ERROR

短構文: LES.042 LES/BUS:' ELAN\_name':crt fld:mem  
alloc err

長構文: LES.042 LES/BUS:' ELAN\_name':create failed  
memory allocation error

説明: LES/BUS を作成しようとしているときに、記憶  
域割り振りエラーが発生しました。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

**LES.043**

レベル: UI\_ERROR

短構文: LES.043 LES/BUS:' ELAN\_name':crt fld:dtbs  
err

長構文: LES.043 LES/BUS:' ELAN\_name':create  
failed:database error

説明: この LES/BUS を ELAN データベースに追加で  
きません。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

**LES.044**

レベル: U\_INFO

短構文: LES.044 LES/BUS:' ELAN\_name':STARTING

長構文: LES.044 LES/BUS:' ELAN\_name':STARTING

説明: LES/BUS が開始しました。

---

**LES.045**

レベル: U\_INFO

短構文: LES.045 LES/BUS:' ELAN\_name':releasing  
redun\_typeRedundancy VCC

長構文: LES.045 LES/BUS:' ELAN\_name':releasing  
redun\_typeRedundancy VCC

説明: 冗長 VCC が解放されました。

---

**LES.046**

レベル: U\_INFO

短構文: LES.046 LES/BUS:' ELAN\_name':DELETED

長構文: LES.046 LES/BUS:' ELAN\_name':DELETED

説明: LES/BUS が削除されました。

---

**LES.047**

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.047 LES/BUS:' ELAN\_name':rfsd  
redun\_typeRdndncy Call Calling ATM addr = x  
calling\_address

長構文: LES.047 LES/BUS:' ELAN\_name':refused  
redun\_typeRedundancy Call, Calling ATM address = x  
calling\_address

説明: 冗長コールがリジェクトされました。

---

**LES.048**

レベル: U\_INFO

短構文: LES.048 LES/BUS:'  
*ELAN\_name*':RESTARTING

長構文: LES.048 LES/BUS:'  
*ELAN\_name*':RESTARTING

説明: LES/BUS が再始動しました。

---

**LES.049**

レベル: UI\_ERROR

短構文: LES.049 LES/BUS:'  
*ELAN\_name*':rfsd  
*redun\_type*Rdndncy call:ack fld:no mem Calling ATM  
addr = x *calling\_address*

長構文: LES.049 LES/BUS:'  
*ELAN\_name*':refused  
*redun\_type*Redundancy Call:ack failed:no memory, Calling  
ATM address = x *calling\_address*

説明: 資源が不十分であるために、冗長コールがリジ  
ェクトされました。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

**LES.050**

レベル: U\_INFO

短構文: LES.050 LES/BUS:'  
*ELAN\_name*':STOPPED

長構文: LES.050 LES/BUS:'  
*ELAN\_name*':STOPPED

説明: LES/BUS が停止しました。

---

**LES.051**

レベル: UI\_ERROR

短構文: LES.051 LES/BUS:'  
*ELAN\_name*':=>DOWN:err  
acking *redun\_type*Rdndncy call: *error\_string* ( *error\_code*)

長構文: LES.051 LES/BUS:'  
*ELAN\_name*':=>DOWN:error acking  
*redun\_type*Redundancy call: *error\_string* ( *error\_code*)

説明: 冗長コールを受け付けているときに、エラーが  
発生しました。ELAN は終了します。

---

**LES.052**

レベル: U\_INFO

短構文: LES.052 LES/BUS:'  
*ELAN\_name*':  
*redun\_type*Redundancy VCC estblshd Calling Atm addr =  
x *calling\_address*

長構文: LES.052 LES/BUS:'  
*ELAN\_name*':

---

*redun\_type*Redundancy VCC established, Calling ATM  
address = x *calling\_address*

説明: 冗長 VCC が確立されました。

---

**LES.053**

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.053 LES/BUS:'  
*ELAN\_name*':rfsd Ctrl Dir  
call to redundant LES Calling ATM addr = x  
*calling\_address*

長構文: LES.053 LES/BUS:'  
*ELAN\_name*':refused  
Control Direct call to redundant LES, Calling ATM  
address = x *calling\_address*

説明: LES は冗長で、パートナーの LES/BUS に制御  
が渡っているので、コントロール・ダイレクト・コール  
はリジェクトされました。

---

**LES.054**

レベル: U\_INFO

短構文: LES.054 LES/BUS:'  
*ELAN\_name*':  
*redun\_type*Redundancy VCC estblshd Called ATM addr =  
x *called\_address*

長構文: LES.054 LES/BUS:'  
*ELAN\_name*':  
*redun\_type*Redundancy VCC established, Called ATM  
address = x *called\_address*

説明: 冗長 VCC が確立済みです。

---

**LES.055**

レベル: C\_INFO

短構文: LES.055 LES/BUS:'  
*ELAN\_name*': *VCC\_type*  
rlsd:nrml

長構文: LES.055 LES/BUS:'  
*ELAN\_name*': *VCC\_type*  
released:normal

説明: 正常な理由で、VCC が解放されました。

---

**LES.056**

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.056 LES/BUS:'  
*ELAN\_name*':  
*redun\_type*Rdndncy call fld:cause *cause\_code* Called ATM  
addr = x *called\_address*

長構文: LES.056 LES/BUS:'  
*ELAN\_name*':  
*redun\_type*Redundancy call failed:cause *cause\_code*, Called  
ATM address = x *called\_address*

説明: 冗長コールが失敗しました。

---

---

**LES.057**

レベル: UI\_ERROR

短構文: LES.057 LES/BUS:'  
*ELAN\_name'*:=>DOWN:ATM user reg fld: *error\_string* (  
*error\_code*)

長構文: LES.057 LES/BUS:'  
*ELAN\_name'*:=>DOWN:ATM user registration failed:  
*error\_string* (*error\_code*)

説明: ATM ユーザーの登録が失敗しました。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

**LES.058**

レベル: U\_INFO

短構文: LES.058 LES/BUS:'  
*ELAN\_name'*:waiting for  
ATM Net Up

長構文: LES.058 LES/BUS:'  
*ELAN\_name'*:waiting for  
ATM Net Up

説明: ATM インターフェースはダウンしており、ネット  
ワークが利用可能になるのを待っています。

---

**LES.059**

レベル: U\_INFO

短構文: LES.059 LES/BUS:'  
*ELAN\_name'*:waiting for  
ATM addr actvn

長構文: LES.059 LES/BUS:'  
*ELAN\_name'*:waiting for  
ATM address activation

説明: ATM アドレス活動化がまだ完了していません。

---

**LES.060**

レベル: UI\_ERROR

短構文: LES.060 LES/BUS:'  
*ELAN\_name'*:=>DOWN:ATM addr actvn fld: *error\_string*  
(*error\_code*)

長構文: LES.060 LES/BUS:'  
*ELAN\_name'*:=>DOWN:ATM address activation failed:  
*error\_string* (*error\_code*)

説明: ATM アドレス活動化が失敗しました。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

**LES.061**

レベル: UI\_ERROR

短構文: LES.061 LES/BUS:'  
*ELAN\_name'*:=>DOWN:err  
reading ATM addr: *error\_string* (*error\_code*)

長構文: LES.061 LES/BUS:'  
*ELAN\_name'*:=>DOWN:err  
reading ATM address: *error\_string* (*error\_code*)

説明: ATM アドレスの読み取り時のエラー

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

**LES.062**

レベル: U\_INFO

短構文: LES.062 LES/BUS:'  
*ELAN\_name'*:waiting for  
UNI Vrsn rpt

長構文: LES.062 LES/BUS:'  
*ELAN\_name'*:waiting for  
UNI Version report

説明: UNI バージョン報告がまだ完了していません。

---

**LES.063**

レベル: UI\_ERROR

短構文: LES.063 LES/BUS:'  
*ELAN\_name'*:=>DOWN:err  
reading UNI Vrsn: *error\_string* (*error\_code*)

長構文: LES.063 LES/BUS:'  
*ELAN\_name'*:=>DOWN:error reading UNI Version:  
*error\_string* (*error\_code*)

説明: UNI バージョンの読み取り時のエラー

---

**LES.064**

レベル: UI\_ERROR

短構文: LES.064 LES/BUS:'  
*ELAN\_name'*:=>DOWN:err  
opening ATM Adptr Frame SAP: *error\_string* (  
*error\_code*)

長構文: LES.064 LES/BUS:'  
*ELAN\_name'*:=>DOWN:error opening ATM Adapter  
Frame SAP: *error\_string* (*error\_code*)

説明: ATM アダプター・フレーム SAP のオープン時  
のエラー

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

**LES.065**

レベル: UI\_ERROR

短構文: LES.065 LES/BUS:'  
*ELAN\_name'*:=>DOWN:err  
opening Call SAP: *error\_string* (*error\_code*)



長構文: LES.065 LES/BUS:'  
*ELAN\_name'*:=>DOWN:error opening Call SAP:  
*error\_string* ( *error\_code*)

説明: コール SAP のオープン時のエラー

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

#### LES.066

レベル: UI\_ERROR

短構文: LES.066 LES/BUS:' *ELAN\_name'*:=>DOWN:err  
opening Ctrl Dist Grp: *error\_string* ( *error\_code*)

長構文: LES.066 LES/BUS:'  
*ELAN\_name'*:=>DOWN:error opening Control Distribute  
Group: *error\_string* ( *error\_code*)

説明: コントロール・ディストリビュート・グループ  
のオープン時のエラー

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

#### LES.067

レベル: UI\_ERROR

短構文: LES.067 LES/BUS:' *ELAN\_name'*:=>DOWN:err  
opening Mcast Fwd Grp: *error\_string* ( *error\_code*)

長構文: LES.067 LES/BUS:'  
*ELAN\_name'*:=>DOWN:error opening Multicast Forward  
Group: *error\_string* ( *error\_code*)

説明: マルチキャスト・フォワード・グループのオー  
プン時のエラー

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

#### LES.068

レベル: UI\_ERROR

短構文: LES.068 LES/BUS:' *ELAN\_name'*:BCM init fld

長構文: LES.068 LES/BUS:' *ELAN\_name'*:BCM  
initialization failed

説明: ブロードキャスト・マネージャーの初期化に失  
敗しました。

---

#### LES.069

レベル: UI\_ERROR

短構文: LES.069 LES/BUS:' *ELAN\_name'*:err starting IP  
BCM

長構文: LES.069 LES/BUS:' *ELAN\_name'*:error starting  
IP BCM

説明: IP ブロードキャスト・マネージャーを開始しよ

うとしているときに、エラーが発生しました。

---

#### LES.070

レベル: UI\_ERROR

短構文: LES.070 LES/BUS:' *ELAN\_name'*:err starting  
IPX BCM

長構文: LES.070 LES/BUS:' *ELAN\_name'*:error starting  
IPX BCM

説明: IPX ブロードキャスト・マネージャーを開始し  
ようとしているときに、エラーが発生しました。

---

#### LES.071

レベル: UI\_ERROR

短構文: LES.071 LES/BUS:' *ELAN\_name'*:err starting  
NetBIOS BCM

長構文: LES.071 LES/BUS:' *ELAN\_name'*:error starting  
NetBIOS BCM

説明: NetBIOS ブロードキャスト・マネージャーを開  
始しようとしているときに、エラーが発生しました。

---

#### LES.072

レベル: UE\_ERROR

短構文: LES.072 LES/BUS:' *ELAN\_name'*:ATM Net  
DOWN

長構文: LES.072 LES/BUS:' *ELAN\_name'*:ATM Net  
DOWN

説明: ATM インターフェースは操作不可能の状態  
です。

---

#### LES.073

レベル: U\_INFO

短構文: LES.073 LES/BUS:' *ELAN\_name'*:ATM Net UP

長構文: LES.073 LES/BUS:' *ELAN\_name'*:ATM Net UP

説明: ATM インターフェースは操作可能な状態  
です。

---

#### LES.074

レベル: U\_INFO

短構文: LES.074 LES/BUS:' *ELAN\_name'*:ATM addr  
actvted

長構文: LES.074 LES/BUS:' *ELAN\_name'*:ATM address  
activated

説明: ATM アドレスが正常に活動化されました。

---

**LES.075**

レベル: UE\_ERROR

短構文: LES.075 LES/BUS:' *ELAN\_name*':ATM addr  
actvtn tmd out: retrying

長構文: LES.075 LES/BUS:' *ELAN\_name*':ATM address  
activation timed out:retrying

説明: ATM アドレスの活動化がタイムアウトになりました。活動化は再試行されます。

---

**LES.076**

レベル: UE\_ERROR

短構文: LES.076 LES/BUS:' *ELAN\_name*':ATM addr  
rjctd by switch

長構文: LES.076 LES/BUS:' *ELAN\_name*':ATM address  
rejected by switch

説明: ATM アドレスがスイッチによってリジェクトされました。ATM アドレスを活性化するために、別の試みがなされます。

---

**LES.077**

レベル: UE\_ERROR

短構文: LES.077 LES/BUS:' *ELAN\_name*':ATM Addr  
deactvtd: reactvtng

長構文: LES.077 LES/BUS:' *ELAN\_name*':ATM address  
deactivated: reactivating

説明: ATM アドレスがスイッチによって非活動化されました。アドレスは再活動化されます。

---

**LES.078**

レベル: U\_INFO

短構文: LES.078 LES/BUS:' *ELAN\_name*':UNI Vrsn  
rprtd

長構文: LES.078 LES/BUS:' *ELAN\_name*':UNI Version  
reported

説明: UNI バージョンが報告されました。

---

**LES.079**

レベル: UI\_ERROR

短構文: LES.079 Unexpected LECS addr lst rprtd

長構文: LES.079 Unexpected LECS address list reported

説明: 予期しない LECS ATM アドレス・リストが報告されました。

---

---

**LES.080**

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.080 LES/BUS:' *ELAN\_name*':rfsd Ctrl Dir  
call

長構文: LES.080 LES/BUS:' *ELAN\_name*':refused  
Control Direct call

説明: コントロール・ダイレクト VCC の要求の妥当性検査が失敗しました。

---

**LES.081**

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.081 LES/BUS:' *ELAN\_name*':rfsd Ctrl Dir  
Call, Calling ATM addr = x *calling\_address*

長構文: LES.081 LES/BUS:' *ELAN\_name*':refused  
Control Direct Call, Calling ATM address = x  
*calling\_address*

説明: コントロール・ダイレクト VCC の要求の妥当性検査が失敗しました。

---

**LES.082**

レベル: UI\_ERROR

短構文: LES.082 LES/BUS:' *ELAN\_name*':rfsd Ctrl Dir  
Call:mem alloc err, Calling ATM addr = x  
*calling\_address*

長構文: LES.082 LES/BUS:' *ELAN\_name*':refused  
Control Direct Call:memory allocation error, Calling ATM  
address = x *calling\_address*

説明: コントロール・ダイレクト VCC の要求が失敗しました。記憶域を割り振ることができません。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

**LES.083**

レベル: UI\_ERROR

短構文: LES.083 LES/BUS:' *ELAN\_name*':rfsd Ctrl Dir  
Call:dt pth opn err:no mem, Calling ATM addr = x  
*calling\_address*

長構文: LES.083 LES/BUS:' *ELAN\_name*':refused  
Control Direct Call:data path open error:no memory,  
Calling ATM address = x *calling\_address*

説明: コントロール・ダイレクト VCC のデータ・パスをオープンするための資源が不十分です。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

---

**LES.084**

レベル: UI\_ERROR

短構文: LES.084 LES/BUS:' ELAN\_name':=>DOWN:Ctrl Dir dt pth opn err: *error\_string* ( *error\_code*)

長構文: LES.084 LES/BUS:' ELAN\_name':=>DOWN:Control Direct data path open error: *error\_string* ( *error\_code*)

説明: コントロール・ダイレクト VCC のデータ・パスをオープンしようとしているときに、エラーが発生しました。ELAN は終了します。

---

**LES.085**

レベル: UI\_ERROR

短構文: LES.085 LES/BUS:' ELAN\_name':rfsd Ctrl Dir Call:ack fld:no mem, Calling ATM addr = x *calling\_address*

長構文: LES.085 LES/BUS:' ELAN\_name':refused Control Direct Call:ack failed:no memory, Calling ATM address = x *calling\_address*

説明: 資源が不十分であるために、コントロール・ダイレクト・コールを受け付けることができません。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

**LES.086**

レベル: UI\_ERROR

短構文: LES.086 LES/BUS:' ELAN\_name':=>DOWN:error acking Ctrl Dir call: *error\_string* ( *error\_code*)

長構文: LES.086 LES/BUS:' ELAN\_name':=>DOWN:error acking Control Direct call: *error\_string* ( *error\_code*)

説明: コントロール・ダイレクト・コールを受け付けているときに、エラーが発生しました。ELAN は終了します。

---

**LES.087**

レベル: C\_INFO

短構文: LES.087 LES/BUS:' ELAN\_name':Ctrl Dir estblshd, Calling ATM addr = x *calling\_address*

長構文: LES.087 LES/BUS:' ELAN\_name':=>Control Direct established, Calling ATM address = x *calling\_address*

説明: コントロール・ダイレクト VCC が確立されました。

---

**LES.088**

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.088 LES/BUS:' ELAN\_name':rfsd Mcast Send call

長構文: LES.088 LES/BUS:' ELAN\_name':refused Multicast Send call

説明: マルチキャスト・センド VCC の要求の妥当性検査が失敗しました。

---

**LES.089**

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.089 LES/BUS:' ELAN\_name':rfsd Mcast Send call, Calling ATM addr = x *calling\_address*

長構文: LES.089 LES/BUS:' ELAN\_name':refused Multicast Send call, Calling ATM addr = x *calling\_address*

説明: マルチキャスト・センド VCC の要求の妥当性検査が失敗しました。

---

**LES.090**

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.090 LES/BUS:' ELAN\_name':rfsd Mcast Send call:unkwn ATM addr, calling ATM addr = x *calling\_address*

長構文: LES.090 LES/BUS:' ELAN\_name':refused Multicast Send Call:unknown ATM address,calling ATM address = x *calling\_address*

説明: マルチキャスト・センド・コールがリジェクトされました。ATM アドレスが不明です。

---

**LES.091**

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.091 LES/BUS:' ELAN\_name':rfsd Mcast Send call:JOIN incmpl, LEC ATM addr = x *LEC\_address*

長構文: LES.091 LES/BUS:' ELAN\_name':refused Multicast Send call:join incomplete, LEC ATM address = x *LEC\_address*

説明: マルチキャスト・センド・コールがリジェクトされました。JOIN フェーズが完了していません。

---

**LES.092**

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.092 LES/BUS:' ELAN\_name':rfsd Mcast  
Send call:VCC alrdy actv, LEC ATM addr = x  
LEC\_address

長構文: LES.092 LES/BUS:' ELAN\_name':refused  
Multicast Send call:VCC already active, LEC ATM  
address = x LEC\_address

説明: LEC はすでに BUS への接続をもっています。

---

**LES.093**

レベル: UI\_ERROR

短構文: LES.093 LES/BUS:' ELAN\_name':rfsd Mcast  
Send call:dt pth opn err:no mem, LEC ATM addr = x  
LEC\_address

長構文: LES.093 LES/BUS:' ELAN\_name':refused  
Multicast Send call:data path open error:no memory, LEC  
ATM address = x LEC\_address

説明: マルチキャスト・センド VCC のデータ・パス  
をオープンするための資源が不十分です。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

**LES.094**

レベル: UI\_ERROR

短構文: LES.094 LES/BUS:'  
ELAN\_name':=>DOWN:Mcast Send dt pth opn err:  
error\_string ( error\_code)

長構文: LES.094 LES/BUS:'  
ELAN\_name':=>DOWN:Multicast Send data path open  
error: error\_string ( error\_code)

説明: マルチキャスト・センド VCC のデータ・パス  
をオープンしようとしているときに、エラーが発生しま  
した。ELAN は終了します。

---

**LES.095**

レベル: UI\_ERROR

短構文: LES.095 LES/BUS:' ELAN\_name':rfsd Mcast  
Send call:ack fld:no mem, LEC ATM addr = x  
LEC\_address

長構文: LES.095 LES/BUS:' ELAN\_name':refused  
Multicast Send call:ack failed:no memory, LEC ATM  
address = x LEC\_address

説明: 資源が不十分であるために、マルチキャスト・  
センド・コールを受け付けることができません。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

**LES.096**

レベル: UI\_ERROR

短構文: LES.096 LES/BUS:' ELAN\_name':=>DOWN:err  
ackng Mcast Send call: error\_string ( error\_code)

長構文: LES.096 LES/BUS:'  
ELAN\_name':=>DOWN:error acknowledging Multicast  
Send call: error\_string ( error\_code)

説明: マルチキャスト・センド・コールを受け付けて  
いるときに、エラーが発生しました。ELAN は終了しま  
す。

---

**LES.097**

レベル: C\_INFO

短構文: LES.097 LES/BUS:' ELAN\_name':Mcast Send  
estblshd, LEC ATM addr = x LEC\_address

長構文: LES.097 LES/BUS:' ELAN\_name':Multicast  
Send established, LEC ATM address = x LEC\_address

説明: マルチキャスト・センド VCC が確立されまし  
た。

---

**LES.098**

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.098 LES/BUS:' ELAN\_name':trmntng  
LEC:ngttd VCC\_type parms, LEC ATM addr = x  
LEC\_address

長構文: LES.098 LES/BUS:' ELAN\_name':terminating  
LEC:negotiated VCC\_type parms, LEC ATM addr = x  
LEC\_address

説明: AAL および BLLI パラメーターは折衝不可能で  
す。

---

**LES.099**

レベル: UI\_ERROR

短構文: LES.099 LES/BUS:' ELAN\_name':=>DOWN:  
VCC\_type dt pth opn err: error\_string ( error\_code)

長構文: LES.099 LES/BUS:' ELAN\_name':=>DOWN:  
VCC\_type data path open error: error\_string ( error\_code)

説明: VCC のデータ・パスをオープンしようとしてい  
るときに、エラーが発生しました。ELAN は終了しま  
す。

---

**LES.100**

レベル: UI\_ERROR

短構文: LES.100 LES/BUS:' *ELAN\_name*':trmtng LEC: *VCC\_type* dt pth opn err:no mem, LEC ATM addr = x *LEC\_address*

長構文: LES.100 LES/BUS:' *ELAN\_name*':terminating LEC: *VCC\_type* data path open error:no memory, LEC ATM address = x *LEC\_address*

説明: VCC のデータ・パスをオープンするための資源が不十分です。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

**LES.101**

レベル: C\_INFO

短構文: LES.101 LES/BUS:' *ELAN\_name*': *VCC\_type* estblshd, LEC ATM addr = x *LEC\_address*

長構文: LES.101 LES/BUS:' *ELAN\_name*': *VCC\_type* established, LEC ATM address = x *LEC\_address*

説明: 指定のタイプの VCC が確立されました。

---

**LES.102**

レベル: UI\_ERROR

短構文: LES.102 LES/BUS:' *ELAN\_name*':=>DOWN:err adding to Ctrl Dist Grp: *error\_string* ( *error\_code*)

長構文: LES.102 LES/BUS:' *ELAN\_name*':=>DOWN:error adding to Control Distribute Group: *error\_string* ( *error\_code*)

説明: コントロール・ディストリビュート・グループに VCC を追加しようとしているときに、エラーが発生しました。

---

**LES.103**

レベル: UI\_ERROR

短構文: LES.103 LES/BUS:' *ELAN\_name*':=>DOWN:err adding to Mcast Fwd Grp: *error\_string* ( *error\_code*)

長構文: LES.103 LES/BUS:' *ELAN\_name*':=>DOWN:error adding to Multicast Forward Group: *error\_string* ( *error\_code*)

説明: マルチキャスト・フォワード・グループに VCC を追加しようとしているときに、エラーが発生しました。ELAN は終了します。

---

---

**LES.104**

レベル: C\_INFO

短構文: LES.104 LES/BUS:' *ELAN\_name*': *VCC\_type* leaf estblshd, LEC ATM addr = x *LEC\_address*

長構文: LES.104 LES/BUS:' *ELAN\_name*': *VCC\_type* leaf established, LEC ATM address = x *LEC\_address*

説明: 指定の VCC タイプの場合、ポイント・マルチポイント間のコールに通話者が追加されました。

---

**LES.105**

レベル: C\_INFO

短構文: LES.105 LES/BUS:' *ELAN\_name*':trmtng LEC:Ctrl Dir rlsd:nrml, LEC ATM addr = x *LEC\_address*

長構文: LES.105 LES/BUS:' *ELAN\_name*':terminating LEC:Control Direct released:normal, LEC ATM address = x *LEC\_address*

説明: 正常な理由で、コントロール・ダイレクト・コールが解放されました。LEC の ELAN メンバーシップは終了します。

---

**LES.106**

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.106 LES/BUS:' *ELAN\_name*':trmtng LEC:Ctrl Dir rlsd:cause *cause\_code*, LEC ATM addr = x *LEC\_address*

長構文: LES.106 LES/BUS:' *ELAN\_name*':terminating LEC:Control Direct released:cause *cause\_code*, LEC ATM address = x *LEC\_address*

説明: 示されている原因で、コントロール・ダイレクト・コールが解放されました。LEC の ELAN メンバーシップは終了します。

---

**LES.107**

レベル: UE\_ERROR

短構文: LES.107 LES/BUS:' *ELAN\_name*':trmtng LEC:Ctrl Dir rlsd:nt dwn, LEC ATM addr = x *LEC\_address*

長構文: LES.107 LES/BUS:' *ELAN\_name*':terminating LEC:Control Direct released:net down, LEC ATM address = x *LEC\_address*

説明: ネットワークへの接続がダウンしたために、コントロール・ダイレクト・コールが解放されました。LEC の ELAN メンバーシップは終了します。

---

**LES.108**

レベル: C\_INFO

短構文: LES.108 LES/BUS:' ELAN\_name': VCC\_type  
call fld:retrying with Bearer Class C, LEC ATM addr = x  
LEC\_address

長構文: LES.108 LES/BUS:' ELAN\_name': VCC\_type  
call failed:retrying with Bearer Class C, LEC ATM  
address = x LEC\_address

説明: 指定のタイプのコールが失敗しました。このコ  
ールは、ベアラー・クラス C で再試行されます。

---

**LES.109**

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.109 LES/BUS:' ELAN\_name':trmtng LEC:  
VCC\_type call fld:cause cause\_code, LEC ATM addr = x  
LEC\_address

長構文: LES.109 LES/BUS:' ELAN\_name':terminating  
LEC: VCC\_type call failed:cause cause\_code, LEC ATM  
address = x LEC\_address

説明: 示されている原因で、コールが失敗しました。  
LEC の ELAN メンバーシップは終了します。

---

**LES.110**

レベル: UE\_ERROR

短構文: LES.110 LES/BUS:' ELAN\_name':trmtng LEC:  
VCC\_type call fld:net dwn, LEC ATM addr = x  
LEC\_address

長構文: LES.110 LES/BUS:' ELAN\_name':terminating  
LEC: VCC\_type call failed:net down, LEC ATM address  
= x LEC\_address

説明: ネットワークへの接続がダウンしていたた  
めに、コールが失敗しました。LEC の ELAN メンバーシ  
ップは終了します。

---

**LES.111**

レベル: UE\_ERROR

短構文: LES.111 LES/BUS:' ELAN\_name': VCC\_type  
rlsd:cause cause\_code

長構文: LES.111 LES/BUS:' ELAN\_name': VCC\_type  
released:cause cause\_code

説明: 示されている原因で、VCC が解放されました。

---

---

**LES.112**

レベル: UE\_ERROR

短構文: LES.112 LES/BUS:' ELAN\_name': VCC\_type  
rlsd:net dwn

長構文: LES.112 LES/BUS:' ELAN\_name': VCC\_type  
released:net down

説明: ネットワークへの接続がダウンしたために、  
VCC が解放されました。

---

**LES.113**

レベル: C\_INFO

短構文: LES.113 LES/BUS:' ELAN\_name':Mcast Send  
rlsd:nrml, LEC ATM addr = x LEC\_address

長構文: LES.113 LES/BUS:' ELAN\_name':Multicast  
Send released:normal, LEC ATM address = x  
LEC\_address

説明: 正常な理由で、マルチキャスト・SEND・コ  
ールが解放されました。

---

**LES.114**

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.114 LES/BUS:' ELAN\_name':Mcast Send  
rlsd:cause cause\_code, LEC ATM addr = x LEC\_address

長構文: LES.114 LES/BUS:' ELAN\_name':Multicast  
Send released:cause cause\_code, LEC ATM address = x  
LEC\_address

説明: 示されている原因で、マルチキャスト・SEN  
D・コールが解放されました。

---

**LES.115**

レベル: UE\_ERROR

短構文: LES.115 LES/BUS:' ELAN\_name':Mcast Send  
rlsd:net dwn, LEC ATM addr = x LEC\_address

長構文: LES.115 LES/BUS:' ELAN\_name':Multicast  
Send released:net down, LEC ATM address = x  
LEC\_address

説明: ネットワークへの接続が現在ダウンしているた  
めに、マルチキャスト・SEND・コールが解放されまし  
た。

---



---

**LES.116**

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.116 LES/BUS:' ELAN\_name':trmntng  
LEC:err adding VCC\_type leaf:cause cause\_code, LEC  
ATM addr = x LEC\_address

長構文: LES.116 LES/BUS:' ELAN\_name':terminating  
LEC:error adding VCC\_type leaf:cause cause\_code, LEC  
ATM address = x LEC\_address

説明: リーフを追加しているときに、エラーが発生しました。LEC の ELAN メンバーシップは終了します。

---

**LES.118**

レベル: C\_INFO

短構文: LES.118 LES/BUS:' ELAN\_name':trmntng LEC:  
VCC\_type leaf rlsd:nrml, LEC ATM addr = x  
LEC\_address

長構文: LES.118 LES/BUS:' ELAN\_name':terminating  
LEC: VCC\_type leaf released:normal, LEC ATM address  
= x LEC\_address

説明: 正常な理由で、リーフが解放されました。LEC の ELAN メンバーシップは終了します。

---

**LES.119**

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.119 LES/BUS:' ELAN\_name':trmntng LEC:  
VCC\_type leaf rlsd:cause cause\_code, LEC ATM addr =  
x LEC\_address

長構文: LES.119 LES/BUS:' ELAN\_name':terminating  
LEC: VCC\_type leaf released:cause cause\_code, LEC  
ATM address = x LEC\_address

説明: 示された理由で、リーフが解放されました。LEC の ELAN メンバーシップは終了します。

---

**LES.120**

レベル: UE\_ERROR

短構文: LES.120 LES/BUS:' ELAN\_name':trmntng LEC:  
VCC\_type leaf rlsd:net dwn, LEC ATM addr = x  
LEC\_address

長構文: LES.120 LES/BUS:' ELAN\_name':terminating  
LEC: VCC\_type leaf released:net down, LEC ATM  
address = x LEC\_address

説明: ネットワークへの接続がダウンしたために、リーフが解放されました。LEC の ELAN メンバーシップは終了します。

---

---

**LES.121**

レベル: C\_INFO

短構文: LES.121 LES/BUS:' ELAN\_name': VCC\_type  
leaf rlsd:normal, LEC ATM addr = x LEC\_address

長構文: LES.121 LES/BUS:' ELAN\_name': VCC\_type  
leaf released:normal, LEC ATM address = x LEC\_address

説明: 正常な理由で、リーフが解放されました。

---

**LES.122**

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.122 LES/BUS:' ELAN\_name': VCC\_type  
leaf rlsd:cause cause\_code, LEC ATM addr = x  
LEC\_address

長構文: LES.122 LES/BUS:' ELAN\_name': VCC\_type  
leaf released:cause cause\_code, LEC ATM address = x  
LEC\_address

説明: 示されている原因で、リーフが解放されました。

---

**LES.123**

レベル: UE\_ERROR

短構文: LES.123 LES/BUS:' ELAN\_name': VCC\_type  
leaf rlsd:net dwn, LEC ATM addr = x LEC\_address

長構文: LES.123 LES/BUS:' ELAN\_name': VCC\_type  
leaf released:net down, LEC ATM address = x  
LEC\_address

説明: ネットワークへの接続がダウンしたために、リーフが解放されました。

---

**LES.124**

レベル: C\_INFO

短構文: LES.124 LES/BUS:' ELAN\_name':dscrd OAM  
frm, PTI (x pti)

長構文: LES.124 LES/BUS:' ELAN\_name':discarded  
OAM frame, PTI (x pti)

説明: OAM フレームが廃棄されました。

---

**LES.125**

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.125 LES/BUS:' ELAN\_name':dscrd cntrl  
frm:invld mrkr (x marker), LEC ATM addr = x  
LEC\_address

長構文: LES.125 LES/BUS:' ELAN\_name':discarded

---

control frame:invalid Marker (x *marker*), LEC ATM addr = x *LEC\_address*

**説明:** マーカーが無効であるために、制御フレームが廃棄されました。マーカーは xFF00 でなければなりません。

---

#### LES.126

**レベル:** CE\_ERROR

**短構文:** LES.126 LES/BUS:'*ELAN\_name*':dscrd cntrl frm:invld prtcl (x *protocol*), LEC ATM addr = x *LEC\_address*

**長構文:** LES.126 LES/BUS:'*ELAN\_name*':discarded control frame:invalid prtcl (x *protocol*), LEC ATM addr = x *LEC\_address*

**説明:** プロトコルが無効であるために、制御フレームが廃棄されました。プロトコルは x01 でなければなりません。

---

#### LES.127

**レベル:** CE\_ERROR

**短構文:** LES.127 LES/BUS:'*ELAN\_name*':dscrd cntrl frm:invld Vrsn (x *version*), LEC ATM addr = x *LEC\_address*

**長構文:** LES.127 LES/BUS:'*ELAN\_name*':discarded control frame:invalid Version (x *version*), LEC ATM addr = x *LEC\_address*

**説明:** バージョンが無効であるために、制御フレームが廃棄されました。バージョンは x01 でなければなりません。

---

#### LES.128

**レベル:** CE\_ERROR

**短構文:** LES.128 LES/BUS:'*ELAN\_name*':dscrd ARP RSP:src JOIN incmplt, Src LEC ATM addr = x *source\_LEC\_address*

**長構文:** LES.128 LES/BUS:'*ELAN\_name*':discarded ARP Response:source JOIN incomplete, Source LEC ATM address = x *source\_LEC\_address*

**説明:** 発信元 LEC の JOIN フェーズが完了していないために、ARP 応答が廃棄されました。

---

#### LES.129

**レベル:** CE\_ERROR

**短構文:** LES.129 LES/BUS:'*ELAN\_name*':dscrd ARP

RSP:unkwn LECID (x *LECID*), Src LEC ATM addr = x *source\_LEC\_address*

**長構文:** LES.129 LES/BUS:'*ELAN\_name*':discarded ARP Response:unknown LECID (x *LECID*), Source LEC ATM address = x *source\_LEC\_address*

**説明:** LECID が不明であるために、ARP 応答が廃棄されました。

---

#### LES.130

**レベル:** CE\_ERROR

**短構文:** LES.130 LES/BUS:'*ELAN\_name*':dscrd ARP RSP:trgt JOIN incmplt, Src LEC ATM addr = x *source\_LEC\_address*, Trgt LEC ATM addr = x *target\_LEC\_address*

**長構文:** LES.130 LES/BUS:'*ELAN\_name*':discarded ARP Response:target JOIN incomplete, Source LEC ATM address = x *source\_LEC\_address*, Target ATM address = x *target\_LEC\_address*

**説明:** あて先 LEC の JOIN フェーズが完了していないために、ARP 応答が廃棄されました。

---

#### LES.131

**レベル:** CE\_ERROR

**短構文:** LES.131 LES/BUS:'*ELAN\_name*':dscrd FLUSH RSP:src JOIN incmplt, Src LEC ATM addr = x *source\_LEC\_address*

**長構文:** LES.131 LES/BUS:'*ELAN\_name*':discarded FLUSH Response:source JOIN incomplete, Source LEC ATM address =x *source\_LEC\_address*

**説明:** 発信元 LEC の JOIN フェーズが完了していないために、FLUSH 応答が廃棄されました。

---

#### LES.132

**レベル:** C\_INFO

**短構文:** LES.132 LES/BUS:'*ELAN\_name*':flooded FLUSH RSP:unkwn LECID (x *LECID*), Src LEC ATM addr = x *source\_LEC\_address*

**長構文:** LES.132 LES/BUS:'*ELAN\_name*':flooded FLUSH Response:unknown LECID (x *LECID*), Source LEC ATM address =x *source\_LEC\_address*

**説明:** FLUSH 応答がすべてのクライアントにフラッディングされました。その LECID が LES には確認不能であったためです。この事象が生じる一般的な理由としては、ショートカット・ブリッジングの使用がありません。

---

**LES.133**

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.133 LES/BUS:'ELAN\_name':dscrd FLUSH RSP:trgt JOIN incmplt, Src LEC ATM addr = x *source\_LEC\_address*, Trgt LEC ATM addr = x *target\_LEC\_address*

長構文: LES.133 LES/BUS:'ELAN\_name':discarded FLUSH Response:target JOIN incomplete, Source LEC ATM address = x *source\_LEC\_address*, Target ATM address = x *target\_LEC\_address*

説明: あて先 LEC の JOIN フェーズが完了していないために、FLUSH 応答が廃棄されました。

---

**LES.134**

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.134 LES/BUS:'ELAN\_name':dscrd NARP REQ:JOIN incmplt, LEC ATM address = x *LEC\_address*

長構文: LES.134 LES/BUS:'ELAN\_name':discarded NARP Request:JOIN incomplete, LEC ATM address = x *LEC\_address*

説明: JOIN フェーズが完了していないために、NARP 要求が廃棄されました。

---

**LES.135**

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.135 LES/BUS:'ELAN\_name':dscrd NARP REQ:invld LECID (x *LECID*), LEC ATM address = x *LEC\_address*

長構文: LES.135 LES/BUS:'ELAN\_name':discarded NARP Request:invalid LECID (x *LECID*), LEC ATM address = x *LEC\_address*

説明: LECID が不明であるために、NARP 要求が廃棄されました。

---

**LES.136**

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.136 LES/BUS:'ELAN\_name':dscrd TPLGY REQ:JOIN incmplt, LEC ATM addr = x *LEC\_address*

長構文: LES.136 LES/BUS:'ELAN\_name':discarded TOPOLOGY Request:JOIN incomplete, LEC ATM address = x *LEC\_address*

説明: JOIN フェーズが完了していないために、TOPOLOGY 要求が廃棄されました。

---

**LES.137**

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.137 LES/BUS:'ELAN\_name':dscrd TPLGY REQ:invld LECID (x *LECID*), LEC ATM addr = x *LEC\_address*

長構文: LES.137 LES/BUS:'ELAN\_name':discarded TOPOLOGY Request:invalid LECID (x *LECID*), LEC ATM address = x *LEC\_address*

説明: LECID が不明であるために、TOPOLOGY 要求が廃棄されました。

---

**LES.138**

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.138 LES/BUS:'ELAN\_name':dscrd cntrl frm:invld Opcode (x *opcode*), LEC ATM addr = x *LEC\_address*

長構文: LES.138 LES/BUS:'ELAN\_name':discarded control frame:invalid Opcode (x *opcode*), LEC ATM address = x *LEC\_address*

説明: 操作コードが無効であるために、制御フレームが廃棄されました。

---

**LES.139**

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.139 LES/BUS:'ELAN\_name':dscrd Mcast Snd frm:Bus cnnct incmplt, LEC ATM addr = x *LEC\_address*

長構文: LES.139 LES/BUS:'ELAN\_name':discarded Multicast Send frame:Bus connect incomplete, LEC ATM address = x *LEC\_address*

説明: 発信元 LEC が BUS 接続フェーズを完了していないために、マルチキャスト・センド・フレームが廃棄されました。

---

**LES.140**

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.140 LES/BUS:'ELAN\_name':dscrd Mcast Snd frm:invld prtcl (x *protocol*), LEC ATM addr = x *LEC\_address*

長構文: LES.140 LES/BUS:'ELAN\_name':discarded Multicast Send Frame:invalid protocol (x *protocol*), LEC ATM address = x *LEC\_address*

説明: プロトコルが無効であるために、マルチキャスト・センド・フレームが廃棄されました。プロトコルは

x01 でなければなりません。

---

**LES.141**

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.141 LES/BUS:' *ELAN\_name*':dscrd Mcast Snd frm:invld Vrsn (x *version*), LEC ATM addr = x *LEC\_address*

長構文: LES.141 LES/BUS:' *ELAN\_name*':discarded Multicast Send frame:invalid Version (x *version*), LEC ATM address = x *LEC\_address*

説明: バージョンが無効であるために、マルチキャスト・SEND・フレームが廃棄されました。バージョンは x01 でなければなりません。

---

**LES.142**

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.142 LES/BUS:' *ELAN\_name*':dscrd Mcast Snd frm:invld Opcode (x *opcode*), LEC ATM addr = x *LEC\_address*

長構文: LES.142 LES/BUS:' *ELAN\_name*':discarded Multicast Send frame:invalid Opcode (x *opcode*), LEC ATM address = x *LEC\_address*

説明: 操作コードが無効であるために、マルチキャスト・SEND・フレームが廃棄されました。

---

**LES.144**

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.144 LES/BUS:' *ELAN\_name*':dscrd FLUSH REQ:trgt Bus Cnct incmplt, Src LEC ATM addr = x *source\_LEC\_address*, Trgt LEC ATM addr = x *target\_LEC\_address*

長構文: LES.144 LES/BUS:' *ELAN\_name*':discarded FLUSH Request:target Bus Connect incomplete, Source LEC ATM address = x *source\_LEC\_address*, Target LEC ATM address = x *target\_LEC\_address*

説明: あて先 LEC が BUS 接続フェーズを完了していないために、FLUSH 応答が廃棄されました。

---

**LES.146**

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.146 LES/BUS:' *ELAN\_name*':dscrd dt frm:invld sz (x *frame\_size*), LEC ATM addr = x *LEC\_address*

長構文: LES.146 LES/BUS:' *ELAN\_name*':discarded data

frame:invalid size (x *frame\_size*), LEC ATM address = x *LEC\_address*

説明: フレーム・サイズが無効であるために、データ・フレームが廃棄されました。

---

**LES.147**

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.147 LES/BUS:' *ELAN\_name*':dscrd dt frm:trgt Bus cnct incmplt, Src LEC ATM addr = x *source\_LEC\_address*, Trgt LEC ATM addr = x *target\_LEC\_address*

長構文: LES.147 LES/BUS:' *ELAN\_name*':discarded data frame:target Bus connect incomplete, Source LEC ATM address = x *source\_LEC\_address*, Target LEC ATM address = x *target\_LEC\_address*

説明: あて先 LEC が BUS 接続フェーズを完了していないために、データ・フレームが廃棄されました。

---

**LES.148**

レベル: UI\_ERROR

短構文: LES.148 LES/BUS:' *ELAN\_name*':=>BUS tx err: *error\_string* ( *error\_code*)

長構文: LES.148 LES/BUS:' *ELAN\_name*':=>BUS transmit error: *error\_string* ( *error\_code*)

説明: BUS 送信エラーが発生しました。エラーの重大度に応じて、ELAN が終了することがあります。

---

**LES.149**

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.149 LES/BUS:' *ELAN\_name*':trmntng LEC:JOIN parms chngd, LEC ATM addr = x *LEC\_address*

長構文: LES.149 LES/BUS:' *ELAN\_name*':terminating LEC:JOIN parms changed, LEC ATM address = x *LEC\_address*

説明: JOIN パラメーターが変更されました。LEC の ELAN メンバーシップは終了します。

---

**LES.150**

レベル: C\_INFO

短構文: LES.150 LES/BUS:' *ELAN\_name*':dscrd dplct JOIN REQ, LEC ATM addr = x *LEC\_address*

長構文: LES.150 LES/BUS:' *ELAN\_name*':discard

duplicate JOIN Request, LEC ATM address = x  
*LEC\_address*

説明: 重複する JOIN 要求を受信し、廃棄しました。

---

### LES.151

レベル: C\_INFO

短構文: LES.151 LES/BUS:'*ELAN\_name*':resndng JOIN  
RSP, LEC ATM addr = x *LEC\_address*

長構文: LES.151 LES/BUS:'*ELAN\_name*':resending  
JOIN Response, LEC ATM address = x *LEC\_address*

説明: JOIN 応答が再送されました。

---

### LES.152

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.152 LES/BUS:'*ELAN\_name*':JOIN  
fld:invld LECID (x *LECID*), LEC ATM addr = x  
*LEC\_address*

長構文: LES.152 LES/BUS:'*ELAN\_name*':JOIN  
failed:invalid LECID (x *LECID*), LEC ATM address = x  
*LEC\_address*

説明: LECID が無効であるために、JOIN が失敗しま  
した。LECID は x00 でなければなりません。

---

### LES.153

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.153 LES/BUS:'*ELAN\_name*':JOIN  
fld:invld MAC addr (x *MAC\_address*), LEC ATM addr =  
x *LEC\_address*

長構文: LES.153 LES/BUS:'*ELAN\_name*':JOIN  
failed:invalid MAC address (x *MAC\_address*), LEC ATM  
address = x *LEC\_address*

説明: MAC アドレスが無効であるために、JOIN が失  
敗しました。

---

### LES.154

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.154 LES/BUS:'*ELAN\_name*':JOIN fld:dplct  
MAC addr (x *MAC\_address*), LEC ATM addr = x  
*LEC\_address*

長構文: LES.154 LES/BUS:'*ELAN\_name*':JOIN  
failed:duplicate MAC address (x *MAC\_address*), LEC  
ATM address = x *LEC\_address*

説明: MAC アドレスが固有でないために、JOIN が失  
敗しました。

---

### LES.156

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.156 LES/BUS:'*ELAN\_name*':JOIN  
fld:invld LAN Dest Tag (x *LAN\_dest\_tag*), LEC ATM  
addr = x *LEC\_address*

長構文: LES.156 LES/BUS:'*ELAN\_name*':JOIN  
failed:invalid LAN Destination Tag (x *LAN\_dest\_tag*),  
LEC ATM address = x *LEC\_address*

説明: LAN あて先タグが無効であるために、JOIN が  
失敗しました。

---

### LES.157

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.157 LES/BUS:'*ELAN\_name*':JOIN  
fld:ATM addr msmtch, Calling ATM addr = x  
*calling\_address*, Src ATM addr = x *source\_address*

長構文: LES.157 LES/BUS:'*ELAN\_name*':Join  
failed:ATM address mismatch, Calling ATM address = x  
*calling\_address*, Source ATM address = x *source\_address*

説明: 発信元 ATM アドレスが発呼側アドレスと一致  
しないために、JOIN が失敗しました。

---

### LES.158

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.158 LES/BUS:'*ELAN\_name*':JOIN  
fld:invld Src ATM addr frmt, LEC ATM addr = x  
*LEC\_address*, Src ATM addr = x *source\_address*

長構文: LES.158 LES/BUS:'*ELAN\_name*':Join  
failed:invalid Source ATM address format, LEC ATM  
address = x *LEC\_address*, Source ATM address = x  
*source\_address*

説明: 発信元 ATM アドレス形式が無効であるため  
に、JOIN が失敗しました。

---

### LES.159

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.159 LES/BUS:'*ELAN\_name*':JOIN fld:dplct  
ATM addr, LEC ATM addr = x *LEC\_address*

長構文: LES.159 LES/BUS:'*ELAN\_name*':JOIN  
failed:duplicate ATM address, LEC ATM address = x  
*LEC\_address*

説明: ATM アドレスが固有でないために、JOIN が失  
敗しました。



---

**LES.160**

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.160 LES/BUS:' *ELAN\_name*':JOIN  
fld:invld LAN Type (x *LAN\_type*), LEC ATM addr = x  
*LEC\_address*

長構文: LES.160 LES/BUS:' *ELAN\_name*':JOIN  
failed:invalid LAN Type (x *LAN\_type*), LEC ATM  
address = x *LEC\_address*

説明: LAN タイプが無効であるために、JOIN が失敗  
しました。

---

**LES.161**

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.161 LES/BUS:' *ELAN\_name*':JOIN  
fld:invld frm sz (x *frame\_size*), LEC ATM addr = x  
*LEC\_address*

長構文: LES.161 LES/BUS:' *ELAN\_name*':JOIN  
failed:invalid frame size (x *frame\_size*), LEC ATM  
address =x *LEC\_address*

説明: フレーム・サイズが無効であるために、JOIN が  
失敗しました。

---

**LES.162**

レベル: UI\_ERROR

短構文: LES.162 LES/BUS:' *ELAN\_name*':JOIN  
fld:ATM addr CB alloc err, LEC ATM addr = x  
*LEC\_address*

長構文: LES.162 LES/BUS:' *ELAN\_name*':JOIN  
failed:ATM address Control Block allocation error, LEC  
ATM address =x *LEC\_address*

説明: ATM アドレス制御ブロック用の記憶域を割り振  
ろうとしているときにエラーが発生したために、JOIN  
が失敗しました。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

**LES.163**

レベル: UI\_ERROR

短構文: LES.163 LES/BUS:' *ELAN\_name*':JOIN  
fld:MAC addr CB alloc err, LEC ATM addr = x  
*LEC\_address*

長構文: LES.163 LES/BUS:' *ELAN\_name*':JOIN  
failed:MAC address Control Block allocation error, LEC  
ATM address =x *LEC\_address*

説明: MAC アドレス制御ブロック用の記憶域を割り振

ろうとしているときにエラーが発生したために、JOIN  
が失敗しました。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

**LES.164**

レベル: UI\_ERROR

短構文: LES.164 LES/BUS:' *ELAN\_name*':JOIN  
fld:LECID CB alloc err, LEC ATM addr = x  
*LEC\_address*

長構文: LES.164 LES/BUS:' *ELAN\_name*':JOIN  
failed:LECID Control Block allocation error, LEC ATM  
address =x *LEC\_address*

説明: LECID 制御ブロック用の記憶域を割り振ろうと  
しているときにエラーが発生したために、JOIN が失敗  
しました。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

**LES.165**

レベル: U\_INFO

短構文: LES.165 LES/BUS:' *ELAN\_name*':JOIN fld:all  
LECIDs in use, LEC ATM addr = x *LEC\_address*

長構文: LES.165 LES/BUS:' *ELAN\_name*':JOIN  
failed:all LECIDs in use , LEC ATM address =x  
*LEC\_address*

説明: すべての LECID が使用中であるために、JOIN  
が失敗しました。

---

**LES.166**

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.166 LES/BUS:' *ELAN\_name*':trmntng  
LEC:JOIN time-out, LEC ATM addr = x *LEC\_address*

長構文: LES.166 LES/BUS:' *ELAN\_name*':terminating  
LEC:JOIN time-out, LEC ATM address = x *LEC\_address*

説明: タイマーが満了する前に、JOIN フェーズが完了  
しませんでした。LEC の ELAN メンバーシップは終了  
します。

---

**LES.167**

レベル: UI\_ERROR

短構文: LES.167 LES/BUS:'  
*ELAN\_name*':=>DOWN:LECID DB add err: *error\_string* (  
*error\_code*)

長構文: LES.167 LES/BUS:'



*ELAN\_name*:DOWN:LECID DataBase add error:  
*error\_string* ( *error\_code*)

**説明:** LECID データベースにエントリーを追加しようとしているときに、エラーが発生しました。ELAN は終了します。

**処置:** サービス技術員に連絡してください。

---

#### LES.168

**レベル:** C\_INFO

**短構文:** LES.168 LES/BUS:' *ELAN\_name*':plcng  
*VCC\_type* call, LEC ATM addr = x *LEC\_address*

**長構文:** LES.168 LES/BUS:' *ELAN\_name*':placing  
*VCC\_type* call, LEC ATM address = x *LEC\_address*

**説明:** 指定の VCC タイプのコールを確立中です。

---

#### LES.169

**レベル:** UI\_ERROR

**短構文:** LES.169 LES/BUS:' *ELAN\_name*':JOIN fld:err  
plcng *VCC\_type* call: *error\_string* ( *error\_code*), LEC  
ATM addr = x *LEC\_address*

**長構文:** LES.169 LES/BUS:' *ELAN\_name*':JOIN  
failed:error placing *VCC\_type* call: *error\_string* (  
*error\_code*), LEC ATM address = x *LEC\_address*

**説明:** 記憶域の不足でコールを発信できないために、  
JOIN が失敗しました。

**処置:** サービス技術員に連絡してください。

---

#### LES.170

**レベル:** UI\_ERROR

**短構文:** LES.170 LES/BUS:' *ELAN\_name*':=>DOWN:err  
plcng *VCC\_type* call: *error\_string* ( *error\_code*)

**長構文:** LES.170 LES/BUS:'  
*ELAN\_name*':=>DOWN:error placing *VCC\_type* call:  
*error\_string* ( *error\_code*)

**説明:** コールの発信を試みているときに、エラーが発生  
しました。

---

#### LES.171

**レベル:** C\_INFO

**短構文:** LES.171 LES/BUS:' *ELAN\_name*':wtng to add  
*VCC\_type* leaf, LEC ATM addr = x *LEC\_address*

**長構文:** LES.171 LES/BUS:' *ELAN\_name*':waiting to  
add *VCC\_type* leaf,LEC ATM address = x *LEC\_address*

**説明:** コール信号が進行中で、完了を待っています。

---

#### LES.172

**レベル:** C\_INFO

**短構文:** LES.172 LES/BUS:' *ELAN\_name*':adding  
*VCC\_type* leaf, LEC ATM addr = x *LEC\_address*

**長構文:** LES.172 LES/BUS:' *ELAN\_name*':adding  
*VCC\_type* leaf,LEC ATM address = x *LEC\_address*

**説明:** リーフを追加中です。

---

#### LES.173

**レベル:** UI\_ERROR

**短構文:** LES.173 LES/BUS:' *ELAN\_name*':JOIN fld:err  
adding *VCC\_type* leaf: *error\_string* ( *error\_code*), LEC  
ATM addr = x *LEC\_address*

**長構文:** LES.173 LES/BUS:' *ELAN\_name*':JOIN  
failed:error adding *VCC\_type* leaf: *error\_string* (  
*error\_code*),LEC ATM address = x *LEC\_address*

**説明:** リーフの追加中にエラーが発生したために、  
JOIN が失敗しました。

---

#### LES.174

**レベル:** UI\_ERROR

**短構文:** LES.174 LES/BUS:' *ELAN\_name*':=>DOWN:err  
adding *VCC\_type* leaf: *error\_string* ( *error\_code*)

**長構文:** LES.174 LES/BUS:'  
*ELAN\_name*':=>DOWN:error adding *VCC\_type* leaf:  
*error\_string* ( *error\_code*)

**説明:** リーフを追加しているときに、エラーが発生し  
ました。ELAN は終了します。

---

#### LES.175

**レベル:** C\_INFO

**短構文:** LES.175 LES/BUS:' *ELAN\_name*':dscrd FLUSH  
REQ:trgtd for BUS, LEC ATM addr = x *LEC\_address*

**長構文:** LES.175 LES/BUS:' *ELAN\_name*':discarded  
FLUSH Request:targeted for BUS, LEC ATM address =  
x *LEC\_address*

**説明:** BUS をあて先にしていたために、FLUSH 要求  
が廃棄されました。

---

**LES.176**

レベル: UI\_ERROR

短構文: LES.176 LES/BUS:' ELAN\_name':trmntng  
LEC:err plcng VCC\_type call: error\_string ( error\_code),  
LEC ATM addr = x LEC\_address

長構文: LES.176 LES/BUS:' ELAN\_name':terminating  
LEC:error placing VCC\_type call: error\_string (  
error\_code), LEC ATM address = x LEC\_address

説明: 記憶域の不足のために、コールを発信できません。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

**LES.177**

レベル: UI\_ERROR

短構文: LES.177 LES/BUS:' ELAN\_name':trmntng  
LEC:err adding VCC\_type leaf: error\_string ( error\_code),  
LEC ATM addr = x LEC\_address

長構文: LES.177 LES/BUS:' ELAN\_name':terminating  
LEC:error adding VCC\_type leaf: error\_string (  
error\_code), LEC ATM address = x LEC\_address

説明: リーフの追加中にエラーが発生しました。

---

**LES.178**

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.178 LES/BUS:' ELAN\_name':dscrd REG  
REQ:JOIN incmplt, LEC ATM addr = x LEC\_address

長構文: LES.178 LES/BUS:' ELAN\_name':discarded  
Register Request:JOIN incomplete, LEC ATM addr = x  
LEC\_address

説明: JOIN フェーズが完了していないために、登録要求が廃棄されました。

---

**LES.179**

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.179 LES/BUS:' ELAN\_name':REG fld:invld  
LECID ( LECID), LEC ATM addr = x LEC\_address

長構文: LES.179 LES/BUS:' ELAN\_name':Registration  
failed:invalid LECID ( LECID), LEC ATM addr = x  
LEC\_address

説明: LECID が無効であるために、登録が失敗しました。

---

---

**LES.180**

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.180 LES/BUS:' ELAN\_name':REG fld:invld  
Src ATM addr frmt, LEC ATM addr = x LEC\_address,  
Source ATM addr = x source\_address

長構文: LES.180 LES/BUS:' ELAN\_name':Registration  
failed:invalid Source ATM address format, LEC ATM  
addr = x LEC\_address, Source ATM address = x  
source\_address

説明: 発信元 ATM アドレス形式が無効であるために、登録が失敗しました。

---

**LES.181**

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.181 LES/BUS:' ELAN\_name':REG fld:invld  
MAC addr (x MAC\_address), LEC ATM addr = x  
LEC\_address

長構文: LES.181 LES/BUS:' ELAN\_name':Registration  
failed:invalid MAC address (x MAC\_address), LEC ATM  
addr = x LEC\_address

説明: MAC アドレスが無効であるために、登録が失敗しました。

---

**LES.182**

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.182 LES/BUS:' ELAN\_name':REG fld:dplct  
MAC addr (x MAC\_address), LEC ATM addr = x  
LEC\_address

長構文: LES.182 LES/BUS:' ELAN\_name':Registration  
failed:duplicate MAC address (x MAC\_address), LEC  
ATM addr = x LEC\_address

説明: MAC アドレスが固有でないために、登録が失敗しました。

---

**LES.183**

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.183 LES/BUS:' ELAN\_name':REG fld:dplct  
Src ATM addr, LEC ATM addr = x LEC\_address, Src  
ATM addr = x source\_address

長構文: LES.183 LES/BUS:' ELAN\_name':Registration  
failed:duplicate Source ATM address, LEC ATM addr =  
x LEC\_address, Source ATM address = x source\_address

説明: 発信元 ATM アドレスが固有でないために、登録が失敗しました。

---

---

**LES.184**

レベル: UI\_ERROR

短構文: LES.184 LES/BUS:' *ELAN\_name*':REG fld:ATM addr CB alloc err, LEC ATM addr = x *LEC\_address*

長構文: LES.184 LES/BUS:' *ELAN\_name*':Registration failed:ATM address Control Block allocation error, LEC ATM address =x *LEC\_address*

説明: ATM アドレス制御ブロック用の記憶域を割り振ろうとしているときにエラーが発生したために、登録が失敗しました。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

**LES.185**

レベル: UI\_ERROR

短構文: LES.185 LES/BUS:' *ELAN\_name*':REG fld:MAC addr CB alloc err, LEC ATM addr = x *LEC\_address*

長構文: LES.185 LES/BUS:' *ELAN\_name*':Registration failed:MAC address Control Block allocation error, LEC ATM address =x *LEC\_address*

説明: MAC アドレス制御ブロック用の記憶域を割り振ろうとしているときにエラーが発生したために、登録が失敗しました。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

**LES.186**

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.186 LES/BUS:' *ELAN\_name*':REG fld:RD on Eth ELAN, LEC ATM addr = x *LEC\_address*

長構文: LES.186 LES/BUS:' *ELAN\_name*':Registration failed:Route Descriptor on Ethernet ELAN, LEC ATM address = x *LEC\_address*

説明: 経路記述子がイーサネット ELAN では認められないために、登録が失敗しました。

---

**LES.187**

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.187 LES/BUS:' *ELAN\_name*':REG fld:dplct RD (x *route\_descriptor*), LEC ATM addr = x *LEC\_address*

長構文: LES.187 LES/BUS:' *ELAN\_name*':Registration failed:duplicate Route Descriptor (x *route\_descriptor*), LEC ATM address = x *LEC\_address*

---

**550** ELS メッセージの手引き

説明: 経路記述子が固有でないために、登録が失敗しました。

---

**LES.188**

レベル: UI\_ERROR

短構文: LES.188 LES/BUS:' *ELAN\_name*':REG fld:RD CB alloc err, LEC ATM addr = x *LEC\_address*

長構文: LES.188 LES/BUS:' *ELAN\_name*':Registration failed:Route Descriptor Control Block allocation error, LEC ATM address =x *LEC\_address*

説明: 経路記述子制御ブロック用の記憶域を割り振ろうとしているときにエラーが発生したために、登録が失敗しました。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

**LES.189**

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.189 LES/BUS:' *ELAN\_name*':REG fld:invl LAN Dest Tag (x *LAN\_dest\_tag*), LEC ATM addr = x *LEC\_address*

長構文: LES.189 LES/BUS:' *ELAN\_name*':Registration failed:invalid LAN Destination Tag (x *LAN\_dest\_tag*), LEC ATM address = x *LEC\_address*

説明: LAN あて先タグが無効であるために、登録が失敗しました。

---

**LES.190**

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.190 LES/BUS:' *ELAN\_name*':dscrd UNREG REQ:JOIN incmpl, LEC ATM addr = x *LEC\_address*

長構文: LES.190 LES/BUS:' *ELAN\_name*':discarded Unregister Request:JOIN incomplete, LEC ATM address = x *LEC\_address*

説明: JOIN フェーズが完了していないために、登録抹消要求が廃棄されました。

---

**LES.191**

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.191 LES/BUS:' *ELAN\_name*':UNREG fld:invl LECID ( *LECID*), LEC ATM addr = x *LEC\_address*

長構文: LES.191 LES/BUS:' *ELAN\_name*':Unregister

failed:invalid LECID ( *LECID*), LEC ATM addr = x *LEC\_address*

説明: LECID が無効であるために、登録抹消が失敗しました。

---

### LES.192

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.192 LES/BUS:' *ELAN\_name*':UNREG fld:invld Src ATM addr frmt, LEC ATM addr = x *LEC\_address*, Source ATM addr = x *source\_address*

長構文: LES.192 LES/BUS:' *ELAN\_name*':Unregister failed:invalid Source ATM address format, LEC ATM addr = x *LEC\_address*, Source ATM address = x *source\_address*

説明: 発信元 ATM アドレス形式が無効であるために、登録抹消が失敗しました。

---

### LES.193

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.193 LES/BUS:' *ELAN\_name*':UNREG fld:invld MAC addr (x *MAC\_address*), LEC ATM addr = x *LEC\_address*

長構文: LES.193 LES/BUS:' *ELAN\_name*':Unregister failed:invalid MAC address (x *MAC\_address*), LEC ATM addr = x *LEC\_address*

説明: MAC アドレスが無効であるために、登録抹消が失敗しました。

---

### LES.194

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.194 LES/BUS:' *ELAN\_name*':UNREG fld:RD on Eth ELAN, LEC ATM addr = x *LEC\_address*

長構文: LES.194 LES/BUS:' *ELAN\_name*':Unregister failed:Route Descriptor on Ethernet ELAN, LEC ATM address = x *LEC\_address*

説明: 経路記述子が Ethernet ELAN では認められないために、登録抹消が失敗しました。

---

### LES.195

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.195 LES/BUS:' *ELAN\_name*':UNREG fld:invld LAN Dest Tag (x *LAN\_dest\_tag*), LEC ATM addr = x *LEC\_address*

長構文: LES.195 LES/BUS:' *ELAN\_name*':Unregister

failed:invalid LAN Destination Tag (x *LAN\_dest\_tag*), LEC ATM address = x *LEC\_address*

説明: LAN あて先タグが無効であるために、登録抹消が失敗しました。

---

### LES.196

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.196 LES/BUS:' *ELAN\_name*':dscrd ARP REQ:JOIN incmpl, LEC ATM addr = x *LEC\_address*

長構文: LES.196 LES/BUS:' *ELAN\_name*':discarded ARP Request:JOIN incomplete, LEC ATM address = x *LEC\_address*

説明: JOIN フェーズが完了していないために、ARP 要求が廃棄されました。

---

### LES.197

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.197 LES/BUS:' *ELAN\_name*':ARP fld:invld LECID ( *LECID*), LEC ATM addr = x *LEC\_address*

長構文: LES.197 LES/BUS:' *ELAN\_name*':ARP failed:invalid LECID ( *LECID*), LEC ATM address = x *LEC\_address*

説明: LECID が無効であるために、ARP が失敗しました。

---

### LES.198

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.198 LES/BUS:' *ELAN\_name*':ARP fld:mcast MAC addr (x *MAC\_address*), LANEv1 LEC ATM addr = x *LEC\_address*

長構文: LES.198 LES/BUS:' *ELAN\_name*':ARP failed:multicast MAC address (x *MAC\_address*), LANEv1 LEC ATM address = x *LEC\_address*

説明: MAC アドレスがマルチキャストであり、LEC が LANEv1 であるために、ARP が失敗しました。

---

### LES.199

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.199 LES/BUS:' *ELAN\_name*':dscrd ARP REQ:trgt JOIN incmpl,Src LEC ATM addr = x *source\_LEC\_address*, Trgt LEC ATM addr = x *target\_LEC\_address*

長構文: LES.199 LES/BUS:' *ELAN\_name*':discarded ARP Request:target JOIN incomplete, Source LEC ATM

address = x *source\_LEC\_address*, Target LEC ATM  
address = x *target\_LEC\_address*

説明: あて先 LEC の JOIN フェーズが完了していないために、ARP 要求が廃棄されました。

---

### LES.200

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.200 LES/BUS:' *ELAN\_name*':ARP fld:RD  
on Eth ELAN, LEC ATM addr = x *LEC\_address*

長構文: LES.200 LES/BUS:' *ELAN\_name*':ARP  
failed:Route Descriptor on Ethernet ELAN, LEC ATM  
address = x *LEC\_address*

説明: 経路記述子がイーサネット ELAN では認められないために、ARP が失敗しました。

---

### LES.201

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.201 LES/BUS:' *ELAN\_name*':dscrd FLUSH  
REQ:no Proxy Mcast Fwd, Src LEC ATM addr = x  
*source\_LEC\_address*, Trgt LEC ATM addr = x  
*target\_LEC\_address*

長構文: LES.201 LES/BUS:' *ELAN\_name*':discarded  
Flush Request:no Proxy Multicast Forward, Source LEC  
ATM address = x *source\_LEC\_address*, Target LEC  
ATM addr = x *target\_LEC\_address*

説明: プロキシ・マルチキャスト・フォワード VCC  
が操作不能のために、フラッシュ要求が廃棄されまし  
た。

---

### LES.202

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.202 LES/BUS:' *ELAN\_name*':dscrd ARP  
REQ:invld LAN Dest Tag (x *LAN\_dest\_tag*), LEC ATM  
addr = x *LEC\_address*

長構文: LES.202 LES/BUS:' *ELAN\_name*':discarded  
ARP Request:invalid LAN Dest Tag (x *LAN\_dest\_tag*),  
LEC ATM address = x *LEC\_address*

説明: LAN あて先タグが無効であるために、ARP 要  
求が廃棄されました。

---

### LES.203

レベル: UI\_ERROR

短構文: LES.203 LES/BUS:' *ELAN\_name*':=>LES tx err:  
*error\_string* ( *error\_code* )

長構文: LES.203 LES/BUS:' *ELAN\_name*':=>LES  
transmit error: *error\_string* ( *error\_code* )

説明: LES 送信エラーが発生しました。エラーの重大  
度に応じて、ELAN が終了することがあります。

---

### LES.204

レベル: UI\_ERROR

短構文: LES.204 LES/BUS:'  
*ELAN\_name*':=>DOWN:ATM addr DB add err:  
*error\_string* ( *error\_code* )

長構文: LES.204 LES/BUS:' *ELAN\_name*':DOWN:ATM  
address DataBase add error: *error\_string* ( *error\_code* )

説明: ATM アドレスをデータベースに追加しようと  
しているときに、エラーが発生しました。ELAN は終了し  
ます。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

### LES.205

レベル: UI\_ERROR

短構文: LES.205 LES/BUS:'  
*ELAN\_name*':=>DOWN:MAC addr DB add err:  
*error\_string* ( *error\_code* )

長構文: LES.205 LES/BUS:' *ELAN\_name*':DOWN:MAC  
address DataBase add error: *error\_string* ( *error\_code* )

説明: MAC アドレスをデータベースに追加しようと  
しているときに、エラーが発生しました。ELAN は終了し  
ます。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

### LES.206

レベル: UI\_ERROR

短構文: LES.206 LES/BUS:' *ELAN\_name*':=>DOWN:RD  
DB add err: *error\_string* ( *error\_code* )

長構文: LES.206 LES/BUS:' *ELAN\_name*':DOWN:Route  
Descriptor DataBase add error: *error\_string* ( *error\_code* )

説明: 経路記述子をデータベースに追加しようと  
しているときに、エラーが発生しました。ELAN は終了しま  
す。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

### LES.209

レベル: C\_INFO

短構文: LES.209 LES/BUS:' *ELAN\_name*': VCC\_type



call fld:retrying temp failure, LEC ATM addr = x  
*LEC\_address*

長構文: LES.209 LES/BUS:' *ELAN\_name*': *VCC\_type*  
call failed:retrying temporary failure, LEC ATM address =  
x *LEC\_address*

説明: 一時的な状態が原因で、コールが失敗しまし  
た。このコールは再試行されます。

---

#### LES.211

レベル: C\_INFO

短構文: LES.211 LES/BUS:' *ELAN\_name*':err adding  
*VCC\_type* leaf:cause *cause\_code*, LEC ATM addr = x  
*LEC\_address*

長構文: LES.211 LES/BUS:' *ELAN\_name*':error adding  
*VCC\_type* leaf:cause *cause\_code*, LEC ATM address = x  
*LEC\_address*

説明: リーフの追加中にエラーが発生しました。

---

#### LES.213

レベル: U\_INFO

短構文: LES.213 BCM:' *ELAN\_name*':initlzd

長構文: LES.213 BCM:' *ELAN\_name*':initialized

説明: この ELAN の BCM が初期化されました。

---

#### LES.214

レベル: U\_INFO

短構文: LES.214 BCM:' *ELAN\_name*':HALTED

長構文: LES.214 BCM:' *ELAN\_name*':HALTED

説明: この ELAN の BCM が停止しました。活動状態  
になっているプロトコルがありません。

---

#### LES.215

レベル: U\_INFO

短構文: LES.215 BCM:'  
*ELAN\_name*':STARTED/RESTARTED prtcl *protocol\_name*

長構文: LES.215 BCM:'  
*ELAN\_name*':STARTED/RESTARTED protocol  
*protocol\_name*

説明: 指定のプロトコルについて、この ELAN の  
BCM が開始 (または、再始動) されました。

---

#### LES.216

レベル: U\_INFO

短構文: LES.216 BCM:' *ELAN\_name*':STOPPED prtcl  
*protocol\_name*

長構文: LES.216 BCM:' *ELAN\_name*':STOPPED  
protocol *protocol\_name*

説明: 指定のプロトコルについて、この ELAN の  
BCM が停止されました。既存のプロトコル・エントリ  
ーは経過時間が過ぎると除去されるので、フレームは、  
このプロトコルについて BCM によって処理されること  
はありません。

---

#### LES.217

レベル: C\_INFO

短構文: LES.217 BCM:' *ELAN\_name*':notfd of LEC  
actvn, ATM addr = x *LEC\_address*

長構文: LES.217 BCM:' *ELAN\_name*':notified of LEC  
activation, ATM address = x *LEC\_address*

説明: BCM は、この ELAN 上で LEC が活動状態に  
なることを通知されました。

---

#### LES.218

レベル: C\_INFO

短構文: LES.218 BCM:' *ELAN\_name*':dlted all prtcls  
from MAC addr x *MAC\_address* due to *cause\_string*

長構文: LES.218 BCM:' *ELAN\_name*':deleted all  
protocols from MAC address x *MAC\_address* due to  
*cause\_string*

説明: 示されている原因で、BCM が指定の MAC ア  
ドレスから、すべてのキャッシュされたプロトコルを削  
除しました。

---

#### LES.219

レベル: C\_INFO

短構文: LES.219 BCM:' *ELAN\_name*':notfd of LEC  
term, ATM addr = x *LEC\_address*

長構文: LES.219 BCM:' *ELAN\_name*':notified of LEC  
termination, ATM address = x *LEC\_address*

説明: BCM は、この ELAN 上で LEC が終了中であ  
ることを通知されました。



---

**LES.220**

レベル: C\_INFO

短構文: LES.220 BCM:' *ELAN\_name*':notfd of MAC rgstrn, MAC addr = x *MAC\_address* ATM addr = x *LEC\_address*

長構文: LES.220 BCM:' *ELAN\_name*':notified of MAC registration, MAC address = x *MAC\_address* ATM address = x *LEC\_address*

説明: BCM は、この ELAN で MAC アドレスが登録中であることを通知されました。

---

**LES.221**

レベル: C\_INFO

短構文: LES.221 BCM:' *ELAN\_name*':dlted Lrnd MAC addr x *MAC\_address* due to *cause\_string*

長構文: LES.221 BCM:' *ELAN\_name*':deleted Learned MAC address x *MAC\_address* due to *cause\_string*

説明: 示されている原因で、BCM は確認した MAC アドレスをキャッシュから削除しました。

---

**LES.222**

レベル: U\_INFO

短構文: LES.222 BCM:' *ELAN\_name*':SHUT DOWN BCM for prtcl *protocol\_name*

長構文: LES.222 BCM:' *ELAN\_name*':SHUT DOWN BCM for protocol *protocol\_name*

説明: 指定のプロトコルについて、この ELAN の BCM がシャットダウンされました。既存のプロトコル・エントリがすべて削除されたので、フレームはこのプロトコルについて BCM により処理されません。

---

**LES.223**

レベル: UI\_ERROR

短構文: LES.223 BCM:' *ELAN\_name*':net hndlr err on Opn Grp VCC: *error\_string* ( *error\_code*)

長構文: LES.223 BCM:' *ELAN\_name*':net handler error on Open Group VCC: *error\_string* ( *error\_code*)

説明: グループ VCC をオープンするための ATM 装置ドライバーのコールが、正常に行われませんでした。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

**LES.224**

レベル: UI\_ERROR

短構文: LES.224 BCM:' *ELAN\_name*':SHUT DOWN BCM for prtcl IPX. net hndlr err: *error\_string* ( *error\_code*)

長構文: LES.224 BCM:' *ELAN\_name*':SHUT DOWN BCM for protocol IPX. net handler error: *error\_string* ( *error\_code*)

説明: グループ VCC に追加するための ATM 装置ドライバーのコールが、正常に行われませんでした。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

**LES.225**

レベル: C\_INFO

短構文: LES.225 BCM:' *ELAN\_name*':added VCC to grp VCC for prtcl *protocol\_name*, LEC ATM addr = x *LEC\_address*

長構文: LES.225 BCM:' *ELAN\_name*':added VCC to group VCC for protocol *protocol\_name*, LEC ATM address = x *LEC\_address*

説明: 指定のプロトコルについて、BCM がグループ VCC に VCC を追加しました。

---

**LES.226**

レベル: UI\_ERROR

短構文: LES.226 BCM:' *ELAN\_name*':SHUT DOWN BCM for prtcl IPX. warn: excd max *ipx\_cutoff* in IPX grp VCC.

長構文: LES.226 BCM:' *ELAN\_name*':SHUT DOWN BCM for protocol IPX. Warning: exceeded maximum *ipx\_cutoff* in IPX group VCC.

説明: BCM IPX はそれ自体が自動的に使用不可になりました。この保護機構が起動するのは、この ELAN が含まれている IPX ネットワーク内で、指定された数を超える固有の IPX ルーターおよびサーバーが検出された場合です。その理由は、以下のとおりです。BCM が ELAN 内に N 個の固有の IPX ルーター/サーバーを確認したとします。BUS によって受信された各 IPX 同報通信フレームは、各 IPX ルーター/サーバーごとに 1 回ずつ、N 個のユニキャスト・フレームに変換され、マルチキャスト・センド VCC 上をあて先まで送信されます。N が大きいと、この結果は再送過剰となり、システムおよびネットワークのパフォーマンスを低下させる可能性があります。この時点で BCM IPX が自動的に使用不可になると、BUS は通常どおり、単一の同報通信フレームを処理することができることとなります。

**処置:** 考えられる処置の 1 つは、IPX の BCM をオフにすることです。こうすれば、将来は IPX の BCM がデータ・パスから除去されます。別の処置として、BCM 静的ターゲットを使用する方法が考えられます。少数の LEC の背後に多数の IPX ルーター/サーバーが配置されている場合は、LEC を BCM 静的ターゲットとして定義することができます。IPX 同報通信フレームは、各 BCM 静的ターゲットにそれぞれ 1 回だけ送信されま  
す。IPX の BCM は、他の LEC の背後にある追加の固有 IPX ルーター/サーバーを、最大限このメッセージに指定されている数まで、さらに確認することができます。BCM 静的ターゲット数の現行の限界は 3 です。3 番目の処置として考えられるのは、送信リスト内の BCM IPX エントリーの最大数として、さらに大きい値を構成する方法です。この 3 番目の処置の採用には注意が必要です。ネットワークのパフォーマンスおよびこの装置に影響が生じるからです。

---

#### LES.227

レベル: C\_INFO

**短構文:** LES.227 BCM:'ELAN\_name':added MAC to grp VCC for prtcl *protocol\_name*, MAC addr = x *MAC\_address* LEC ATM addr = x *LEC\_address*

**長構文:** LES.227 BCM:'ELAN\_name':added MAC to group VCC for protocol *protocol\_name*, MAC address = x *MAC\_address* LEC ATM address = x *LEC\_address*

**説明:** 指定のプロトコルについて、BCM は MAC アドレスをグループ VCC に追加しました。

---

#### LES.228

レベル: U\_INFO

**短構文:** LES.228 BCM:'ELAN\_name':cant add VCC to grp VCC for prtcl *protocol\_name*, LEC ATM addr = x *LEC\_address*

**長構文:** LES.228 BCM:'ELAN\_name':can not add VCC to group VCC for protocol *protocol\_name*, LEC ATM address = x *LEC\_address*

**説明:** 指定のプロトコルについて、BCM はグループ VCC に VCC を追加できません。グループ VCC が無効であるか、LEC が BUS からは操作不能であるかのいずれかです。

---

#### LES.229

レベル: C\_INFO

**短構文:** LES.229 BCM:'ELAN\_name':dlt MAC from grp VCC for prtcl *protocol\_name*, MAC addr = x *MAC\_address* LEC ATM addr = x *LEC\_address*

**長構文:** LES.229 BCM:'ELAN\_name':deleted MAC from group VCC for protocol *protocol\_name*, MAC address = x *MAC\_address* LEC ATM address = x *LEC\_address*

**説明:** 指定のプロトコルについて、BCM はグループ VCC から MAC アドレスを削除しました。

---

#### LES.230

レベル: C\_INFO

**短構文:** LES.230 BCM:'ELAN\_name':dlt VCC from grp VCC for prtcl *protocol\_name*, LEC ATM addr = x *LEC\_address*

**長構文:** LES.230 BCM:'ELAN\_name':deleted VCC from group VCC for protocol *protocol\_name*, LEC ATM address = x *LEC\_address*

**説明:** 指定のプロトコルについて、BCM はグループ VCC から VCC アドレスを削除しました。

---

#### LES.231

レベル: U\_INFO

**短構文:** LES.231 BCM:'ELAN\_name':grp VCC for prtcl *protocol\_name* mssng MAC x *MAC\_address* or VCC (ATM addr x *LEC\_address*) Code 'error\_string' (*error\_code*) due to abnrm1 LEC term?

**長構文:** LES.231 BCM:'ELAN\_name':group VCC for protocol *protocol\_name* is missing MAC x *MAC\_address* or VCC (to LEC ATM address x *LEC\_address*). Code 'error\_string' (*error\_code*) may be due to abnormal LEC termination.

**説明:** 指定のプロトコルについて、MAC アドレスをグループ VCC からマップ解除しようとしているときに、BCM が予期しない戻りコードを受け取りました。これは LEC の異常終了が原因と考えられ、ログにも記録されているはずですが、MAC、LEC の ATM アドレス、および予期しない戻りコードが示されています。

---

#### LES.232

レベル: U\_INFO

**短構文:** LES.232 BCM:'ELAN\_name':Rst lcl IPX net info

**長構文:** LES.232 BCM:'ELAN\_name':Reset local IPX network information

**説明:** この ELAN の IPX グループ VCC 上の最後のあて先が除去されたところです。BCM は、ローカル IPX ネットワーク情報をリセットしました。

---

**LES.233**

レベル: U\_INFO

短構文: LES.233 BCM:' *ELAN\_name*':NetBIOS  
NAME\_IN\_CONFLICT rcvd. dltd name *protocol\_address*

長構文: LES.233 BCM:' *ELAN\_name*':NetBIOS  
NAME\_IN\_CONFLICT received. deleted name  
*protocol\_address*

説明: NetBIOS BCM は NAME\_IN\_CONFLICT を検出しました。この ELAN が属しているネットワークで、重複する NetBIOS 名が使用されていました。この状態が生じる可能性があるのは、ネットワークの故障が修復されたばかりのときです。(BCM は、この NetBIOS 名をキャッシュから削除しました。)

---

**LES.234**

レベル: U\_INFO

短構文: LES.234 BCM:' *ELAN\_name*':dltd all Lrnd  
MAC addr

長構文: LES.234 BCM:' *ELAN\_name*':deleted all  
Learned MAC addresses

説明: すべての確認した MAC アドレスが削除されました。

---

**LES.235**

レベル: U\_INFO

短構文: LES.235 BCM:' *ELAN\_name*':dltd all  
*protocol\_name* prtcl entries

長構文: LES.235 BCM:' *ELAN\_name*':deleted all entries  
for protocol *protocol\_name*

説明: 特定のプロトコルのすべてのプロトコル・エントリが削除されました。

---

**LES.236**

レベル: UI\_ERROR

短構文: LES.236 BCM:' *ELAN\_name*':add to cache fld.  
prtcl CB alloc err

長構文: LES.236 BCM:' *ELAN\_name*':add to cache  
failed. protocol control block allocation error

説明: プロトコル制御ブロック用の記憶域を割り振ろうとしているときにエラーが発生したために、BCM は新しいプロトコル・アドレスを追加できませんでした。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

**LES.237**

レベル: UI\_ERROR

短構文: LES.237 BCM:' *ELAN\_name*':add to cache fld.  
MAC addr CB alloc err

長構文: LES.237 BCM:' *ELAN\_name*':add to cache  
failed. MAC address control block allocation error

説明: MAC 制御ブロック用の記憶域を割り振ろうとしているときにエラーが発生したために、BCM は新規の確認した MAC アドレスを追加できませんでした。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

**LES.238**

レベル: UE\_ERROR

短構文: LES.238 BCM:' *ELAN\_name*':rcvd frm from  
MAC x *MAC\_address*, LEC ATM addr = x  
*LEC\_address*. conflicts with rgstrn by LEC ATM addr =  
x *LEC\_address*

長構文: LES.238 BCM:' *ELAN\_name*':received frame  
from MAC x *MAC\_address*, LEC ATM address = x  
*LEC\_address*. conflicts with registration by LEC ATM  
address = x *LEC\_address*

説明: BCM はこの ELAN で、指定の MAC アドレスが登録されている LEC とは異なる LEC から、指定の MAC アドレスからのフレームを受信しました。LEC によって登録された MAC アドレスは、固有であるものと見なされています。おそらく重複する MAC アドレスが、ネットワークに存在しています。この MAC アドレスをもつフレームを幾つ受信したかに関係なく、このメッセージは MAC が登録されている間に 1 回だけログに記録されます。

処置: ネットワーク内の MAC アドレスが固有であることを確認してください。

---

**LES.239**

レベル: C\_INFO

短構文: LES.239 BCM:' *ELAN\_name*':added  
*protocol\_type\_string protocol\_address* on MAC addr x  
*MAC\_address*

長構文: LES.239 BCM:' *ELAN\_name*':added  
*protocol\_type\_string protocol\_address* on MAC address x  
*MAC\_address*

説明: BCM は、指定の MAC アドレス上に指定のプロトコル・アドレスを確認しました。

---

**LES.240**

レベル: C\_INFO

短構文: LES.240 BCM:' *ELAN\_name*':added Lrnd MAC addr x *MAC\_address*, LEC ATM addr = x *LEC\_address*

長構文: LES.240 BCM:' *ELAN\_name*':added Learned MAC address x *MAC\_address*, LEC ATM address = x *LEC\_address*

説明: BCM は、指定の MAC アドレスを確認しました。この MAC アドレスは、どの LEC によっても指定の ELAN に登録されていません。

---

**LES.241**

レベル: C\_INFO

短構文: LES.241 BCM:' *ELAN\_name*':aged *protocol\_type\_string protocol\_address* on MAC addr x *MAC\_address* from cache

長構文: LES.241 BCM:' *ELAN\_name*':aged *protocol\_type\_string protocol\_address* on MAC address x *MAC\_address* from cache

説明: BCM は、指定の MAC アドレスで、経過時間が過ぎた指定の *protocol*・アドレスを除去しました。

---

**LES.242**

レベル: U\_INFO

短構文: LES.242 BCM:' *ELAN\_name*':stpd rapid aging

長構文: LES.242 BCM:' *ELAN\_name*':stopped rapid aging

説明: この ELAN で、スパンニング・ツリー・トポロジーが変更された後、順方向遅延タイマーが満了しました。BCM は、経過時間が過ぎたすべての非ローカル・*protocol*・アドレスおよび確認した MAC アドレスを除去しました。

---

**LES.243**

レベル: U\_INFO

短構文: LES.243 BCM:' *ELAN\_name*':strtd rapid aging

長構文: LES.243 BCM:' *ELAN\_name*':started rapid aging

説明: この ELAN で、スパンニング・ツリー・トポロジーの変更が検出されました。順方向遅延タイマーが満了すると、BCM は、経過時間が過ぎたすべての非ローカル・*protocol*・アドレスおよび確認した MAC アドレスを除去します。

---

---

**LES.244**

レベル: C\_INFO

短構文: LES.244 BCM:' *ELAN\_name*':set *protocol\_type\_string protocol\_address* age to *age*

長構文: LES.244 BCM:' *ELAN\_name*':set *protocol\_type\_string protocol\_address* age to *age*

説明: 指定の *protocol*・アドレスの経過時間が、示されている経過時間に設定されました。

---

**LES.245**

レベル: C\_INFO

短構文: LES.245 BCM:' *ELAN\_name*':dlt *protocol\_type\_string protocol\_address* from MAC addr x *MAC\_address*

長構文: LES.245 BCM:' *ELAN\_name*':deleted *protocol\_type\_string protocol\_address* from MAC address x *MAC\_address*

説明: BCM は、指定の MAC アドレスから *protocol*・アドレスを削除しました。

---

**LES.246**

レベル: C\_INFO

短構文: LES.246 SRM:' *ELAN\_name*':added route *Route\_string*, LEC ATM addr = x *LEC\_address*

長構文: LES.246 SRM:' *ELAN\_name*':added route *Route\_string*, LEC ATM address = x *LEC\_address*

説明: SRM は、指定の経路を指定の LEC ATM アドレスに追加しました。

---

**LES.247**

レベル: C\_INFO

短構文: LES.247 SRM:' *ELAN\_name*':rplcd route *Route\_string*, LEC ATM addr = x *LEC\_address*

長構文: LES.247 SRM:' *ELAN\_name*':replaced route *Route\_string*, LEC ATM address = x *LEC\_address*

説明: SRM は、現在キャッシュされている経路より良いと思われるので、指定の LEC ATM アドレスで指定の経路を置き換えました。

---

**LES.248**

レベル: U\_INFO

短構文: LES.248 SRM:' *ELAN\_name*':WRNG: SRM out of resources.

**長構文:** LES.248 SRM:'ELAN\_name':WARNING:  
Source Route Management out of resources.

**説明:** この ELAN の SRM が、資源切れ状態を検出しました。SRM はシャットダウンされていません。この状態が続く場合、エントリーは経過時間が過ぎると除去されます。

---

#### LES.249

**レベル:** C\_INFO

**短構文:** LES.249 SRM:'ELAN\_name':dlt route  
Route\_string LEC ATM addr = x LEC\_address due to  
cause\_string

**長構文:** LES.249 SRM:'ELAN\_name':deleted route  
Route\_string, LEC ATM address = x LEC\_address due to  
cause\_string

**説明:** 示されている原因で、SRM は指定の LEC ATM  
アドレスで、指定の経路を削除しました。

---

#### LES.250

**レベル:** C\_INFO

**短構文:** LES.250 SRM:'ELAN\_name':aged rte  
Route\_string on LEC ATM addr x LEC\_address from  
cache

**長構文:** LES.250 SRM:'ELAN\_name':aged route  
Route\_string on LEC ATM address x LEC\_address from  
cache

**説明:** SRM は、指定の LEC アドレスで、経過時間が  
過ぎた指定の経路を除去しました。

---

#### LES.251

**レベル:** CE\_ERROR

**短構文:** LES.251 LES/BUS:'ELAN\_name':dscrd data  
frm:no Proxy Mcast Fwd, Src LEC ATM addr = x  
source\_LEC\_address,

**長構文:** LES.251 LES/BUS:'ELAN\_name':discarded  
Flush Request:no Proxy Multicast Forward, Source LEC  
ATM address = x source\_LEC\_address

**説明:** プロキシ・マルチキャスト・フォワード VCC  
が操作不能であるために、データ・フレームが廃棄され  
ました。

---

#### LES.252

**レベル:** CE\_ERROR

**短構文:** LES.252 LES/BUS:'ELAN\_name':dscrd

frameType frm:no Proxy Ctrl Dist, Src LEC ATM addr =  
x source\_LEC\_address,

**長構文:** LES.252 LES/BUS:'ELAN\_name':discarded  
frameType frame:no Proxy Control Distribute, Source LEC  
ATM address = x source\_LEC\_address

**説明:** 指定されたタイプのフレームが廃棄されまし  
た。プロキシ・コントロール・ディストリビュート  
VCC を介して転送されるはずでしたが、プロキシ・  
コントロール・ディストリビュート VCC が運用不可で  
す。この原因として非常に可能性が高いのは、ELAN に  
加入しているプロキシ・クライアントがない場合で  
す。

---

#### LES.253

**レベル:** U\_INFO

**短構文:** LES.253 LES/BUS:'ELAN\_name':dscrd  
protocol\_name frm due to cause\_string, Src LEC ATM  
addr = x LEC\_address,

**長構文:** LES.253 LES/BUS:'ELAN\_name':discarded  
protocol\_name frame due to cause\_string, Source LEC  
ATM address = x LEC\_address

**説明:** 示されている理由で、指定のプロトコル・タイ  
プのデータ・フレームが廃棄されました。

---

#### LES.254

**レベル:** CE\_ERROR

**短構文:** LES.254 LES/BUS:'ELAN\_name':dscrd cntrl  
frm:invld sz (x frame\_size), LEC ATM addr = x  
LEC\_address

**長構文:** LES.254 LES/BUS:'ELAN\_name':discarded  
control frame:invalid size (x frame\_size), LEC ATM addr  
= x LEC\_address

**説明:** 実際のサイズが無効であったために、LES に送  
信された制御フレームが廃棄されました。

---

#### LES.255

**レベル:** CE\_ERROR

**短構文:** LES.255 LES/BUS:'ELAN\_name':dscrd Mcast  
Snd frm:invld sz (x frame\_size), LEC ATM addr = x  
LEC\_address

**長構文:** LES.255 LES/BUS:'ELAN\_name':discarded  
Multicast Send frame:invalid size (x frame\_size), LEC  
ATM addr = x LEC\_address

**説明:** 実際のサイズが無効であったために、BUS に送  
信された制御フレームが廃棄されました。



---

**LES.256**

レベル: P\_TRACE

短構文: LES.256 Trace LAN Emulation Control frame.

長構文: LES.256 Trace LAN Emulation Control frame.

説明: LAN エミュレーション制御フレーム・パケットのトレース

---

**LES.257**

レベル: P\_TRACE

短構文: LES.257 Trace LAN Emulation Data frame.

長構文: LES.257 Trace LAN Emulation Data frame.

説明: LAN エミュレーション・データ・フレーム・パケットのトレース

---

**LES.258**

レベル: UE\_ERROR

短構文: LES.258 LES/BUS:' *ELAN\_name*':  
*redun\_type*Rdndncy call fld:net down, Called ATM addr =  
x *called\_address*

長構文: LES.258 LES/BUS:' *ELAN\_name*':  
*redun\_type*Redundancy call failed:net down,Called ATM  
address = x *called\_address*

説明: ネットワークへの接続がダウンしているため  
に、冗長コールが失敗しました。

---

**LES.259**

レベル: UE\_ERROR

短構文: LES.259 LES/BUS:' *ELAN\_name*':  
*redun\_type*Rdndncy VCC rlsd:cause *cause\_code*

長構文: LES.259 LES/BUS:' *ELAN\_name*':  
*redun\_type*Redundancy VCC released:cause *cause\_code*

説明: 冗長 VCC が解放されました。

---

**LES.260**

レベル: UE\_ERROR

短構文: LES.260 LES/BUS:' *ELAN\_name*':  
*redun\_type*Rdndncy VCC rlsd:net down

長構文: LES.260 LES/BUS:' *ELAN\_name*':  
*redun\_type*Redundancy VCC released:net down

説明: ネットワークへの接続がダウンしているため  
に、冗長 VCC が解放されました。

---

---

**LES.261**

レベル: C\_INFO

短構文: LES.261 LES/BUS:' *ELAN\_name*':plcng  
*redun\_type*Rdndncy call Called ATM addr = x  
*called\_address*

長構文: LES.261 LES/BUS:' *ELAN\_name*':placing  
*redun\_type*Redundancy call, Called ATM address = x  
*called\_address*

説明: 冗長コールが確立されました。

---

**LES.262**

レベル: UI\_ERROR

短構文: LES.262 LES/BUS:' *ELAN\_name*':err plcng  
*redun\_type*Rdndncy call: *error\_string* ( *error\_code*) Called  
ATM addr = x *called\_address*

長構文: LES.262 LES/BUS:' *ELAN\_name*':error placing  
*redun\_type*Redundancy call: *error\_string* ( *error\_code*),  
Called ATM address = x *called\_address*

説明: 冗長コールの確立中にエラーが発生しました。

---

**LES.263**

レベル: UI\_ERROR

短構文: LES.263 LES/BUS:' *ELAN\_name*':=>DOWN:err  
plcng *redun\_type*Rdndncy call: *error\_string* ( *error\_code*)

長構文: LES.263 LES/BUS:'  
*ELAN\_name*':=>DOWN:error placing  
*redun\_type*Redundancy call: *error\_string* ( *error\_code*)

説明: 冗長コールの確立中にエラーが発生しました。  
ELAN は終了します。

---

**LES.264**

レベル: UI\_ERROR

短構文: LES.264 LES/BUS:' *ELAN\_name*':JOIN  
fld:frame buff alloc err LEC ATM addr = x *LEC\_address*

長構文: LES.264 LES/BUS:' *ELAN\_name*':JOIN  
failed:frame buffer allocation error, LEC ATM address =  
x *LEC\_address*

説明: フレーム・バッファを割り振ることができな  
いために、JOIN が失敗しました。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---



---

**LES.265**

レベル: UI\_ERROR

短構文: LES.265 LES/BUS:' ELAN\_name':=>DOWN:frm  
buff alloc err: *error\_string* ( *error\_code* )

長構文: LES.265 LES/BUS:'  
*ELAN\_name*':=>DOWN:frame buffer allocation error:  
*error\_string* ( *error\_code* )

説明: フレーム・バッファを割り振ることができません。ELAN は終了します。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

**LES.266**

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.266 LES/BUS:' ELAN\_name':JOIN  
fld:access denied LEC ATM addr = x *LEC\_address*

長構文: LES.266 LES/BUS:' ELAN\_name':JOIN  
failed:access denied, LEC ATM address = x *LEC\_address*

説明: JOIN 妥当性検査が失敗しました。LEC が  
ELAN へのアクセスをリジェクトされます。

---

**LES.267**

レベル: UE\_ERROR

短構文: LES.267 LES/BUS:' ELAN\_name':JOIN  
fld:LECS Intf err LEC ATM addr = x *LEC\_address*

長構文: LES.267 LES/BUS:' ELAN\_name':JOIN  
failed:LECS Interface error, LEC ATM address = x  
*LEC\_address*

説明: LECS インターフェースは、妥当性検査要求を  
LECS に送ることができません。

---

**LES.268**

レベル: P\_TRACE

短構文: LES.268 Trace LECS Security Interface frame.

長構文: LES.268 Trace LECS Security Intervace frame.

説明: LECS セキュリティー・インターフェース・フレ  
ーム・パケットのトレース

---

**LES.269**

レベル: U\_INFO

短構文: LES.269 LECS Intf:dev  
*device\_number*:STARTING

長構文: LES.269 LECS Intf:dev  
*device\_number*:STARTING

説明: LECS インターフェースが開始しました。

---

**LES.270**

レベル: U\_INFO

短構文: LES.270 LECS Intf:dev  
*device\_number*:DELETED

長構文: LES.270 LECS Intf:dev  
*device\_number*:DELETED

説明: LECS インターフェースが削除されました。

---

**LES.271**

レベル: U\_INFO

短構文: LES.271 LECS Intf:dev  
*device\_number*:RESTARTING

長構文: LES.271 LECS Intf:dev  
*device\_number*:RESTARTING

説明: LECS インターフェースが再始動しました。

---

**LES.272**

レベル: U\_INFO

短構文: LES.272 LECS Intf:dev  
*device\_number*:STOPPED

長構文: LES.272 LECS Intf:dev  
*device\_number*:STOPPED

説明: LECS インターフェースが停止しました。

---

**LES.273**

レベル: UI\_ERROR

短構文: LES.273 LECS Intf:dev  
*device\_number*:=>DOWN:ATM user reg fld: *error\_string* (  
*error\_code* )

長構文: LES.273 LECS Intf:dev  
*device\_number*:=>DOWN:ATM user reg failed:  
*error\_string* ( *error\_code* )

説明: ATM ユーザー登録が失敗しました。LECS イン  
ターフェースは終了します。

---

**LES.274**

レベル: U\_INFO

短構文: LES.274 LECS Intf:dev *device\_number*:wtng for  
ATM Net Up

長構文: LES.274 LECS Interface:dev  
device\_number:waiting for ATM NetUp

説明: LECS インターフェースは、ATM インターフェースが利用可能な状態になるのを待っています。

---

#### LES.275

レベル: U\_INFO

短構文: LES.275 LECS Intf:dev device\_number:wtnng for ATM addr actvtn

長構文: LES.275 LEC Intf:dev device\_number:waiting for ATM address activation

説明: LECS インターフェースは、ATM アドレスの活動化が完了するのを待っています。

---

#### LES.276

レベル: UI\_ERROR

短構文: LES.276 LECS Intf:dev  
device\_number:=>DOWN:ATM addr actvtn fld:  
error\_string ( error\_code)

長構文: LES.276 LECS Intf:dev  
device\_number:=>DOWN:ATM address activation failed:  
error\_string ( error\_code)

説明: ATM アドレスの活動化が失敗しました。LECS インターフェースは終了します。

---

#### LES.277

レベル: UI\_ERROR

短構文: LES.277 LECS Intf:dev  
device\_number:=>DOWN:err reading ATM addr:  
error\_string ( error\_code)

長構文: LES.277 LECS Intf:dev  
device\_number:=>DOWN:error reading ATM address:  
error\_string ( error\_code)

説明: ATM アドレスの読み取り中にエラーが発生しました。LECS インターフェースは終了します。

---

#### LES.278

レベル: U\_INFO

短構文: LES.278 LECS Intf:dev device\_number:wtnng for UNI Vrsn rprr

長構文: LES.278 LECS Intf:dev device\_number:waiting for UNI Version report

説明: LECS インターフェースは、UNI バージョンの報告を待っています。

---

#### LES.279

レベル: UI\_ERROR

短構文: LES.279 LECS Intf:dev  
device\_number:=>DOWN:err reading UNI Vrsn:  
error\_string ( error\_code)

長構文: LES.279 LECS Intf:dev  
device\_number:=>DOWN:error reading UNI Version  
Report: error\_string ( error\_code)

説明: UNI バージョンの読み取り中にエラーが発生しました。LECS インターフェースは終了します。

---

#### LES.280

レベル: UI\_ERROR

短構文: LES.280 LECS Intf:dev  
device\_number:=>DOWN:err opening ATM Adptr Frm  
SAP: error\_string ( error\_code)

長構文: LES.280 LECS Intf:dev  
device\_number:=>DOWN:error opening ATM Adapter  
Frame SAP: error\_string ( error\_code)

説明: ATM アダプター・フレーム SAP のオープン中にエラーが発生しました。LECS インターフェースは終了します。

---

#### LES.281

レベル: UI\_ERROR

短構文: LES.281 LECS Intf:dev  
device\_number:=>DOWN:err opening Call SAP:  
error\_string ( error\_code)

長構文: LES.281 LECS Intf:dev  
device\_number:=>DOWN:error opening Call SAP:  
error\_string ( error\_code)

説明: コール SAP のオープン中にエラーが発生しました。LECS インターフェースは終了します。

---

#### LES.282

レベル: U\_INFO

短構文: LES.282 LECS Intf:dev device\_number:wtnng for LECS addr rprr

長構文: LES.282 LECS Intf:dev device\_number:waiting for LECS address report

説明: LECS インターフェースは、LECS ATM アドレスのリストを待っています。

---

**LES.283**

レベル: UI\_ERROR

短構文: LES.283 LECS Intf:dev

*device\_number*:=>DOWN:err reading LECS addr:  
*error\_string* ( *error\_code* )

長構文: LES.283 LECS Intf:dev

*device\_number*:=>DOWN:error reading LECS address:  
*error\_string* ( *error\_code* )

説明: LECS アドレスの読み取り中にエラーが発生しました。LECS インターフェースは終了します。

---

**LES.284**

レベル: UE\_ERROR

短構文: LES.284 LECS Intf:dev *device\_number*:ATM  
Net DOWN

長構文: LES.284 LECS Intf: dev *device\_number*:ATM  
Net DOWN

説明: ATM インターフェースは操作不能の状態です。  
LECS インターフェースの資源が解放されます。

---

**LES.285**

レベル: U\_INFO

短構文: LES.285 LECS Intf:dev *device\_number*:ATM  
Net UP

長構文: LES.285 LECS Intf:dev *device\_number*:ATM  
Net UP

説明: ATM インターフェースは操作可能な状態です。  
LECS インターフェースは再始動されます。

---

**LES.286**

レベル: U\_INFO

短構文: LES.286 LECS Intf:dev *device\_number*:ATM  
addr actvtd

長構文: LES.286 LECS Intf:dev *device\_number*:ATM  
address activated

説明: ATM アドレスが正常に活動化されました。

---

**LES.287**

レベル: UE\_ERROR

短構文: LES.287 LECS Intf:dev *device\_number*: ATM  
addr actvtn timed out:retrying

長構文: LES.287 LECS Intf:dev *device\_number*: ATM  
address activation timed out: retrying

説明: ATM アドレスの活動化がタイムアウトになりました。  
アドレスの活動化は再試行されます。

---

**LES.288**

レベル: UE\_ERROR

短構文: LES.288 LECS Intf:dev *device\_number*:ATM  
addr rjctd by switch

長構文: LES.288 LECS Intf:dev *device\_number*:ATM  
address rejected by switch

説明: ATM アドレスがスイッチによってリジェクト  
されました。ATM アドレスを活性化するために、別の試  
みがなされます。

---

**LES.289**

レベル: UE\_ERROR

短構文: LES.289 LECS Intf:dev *device\_number*:ATM  
addr deactvtd:reactvtng

長構文: LES.289 LECS Intf:dev *device\_number*:ATM  
address deactivated:reactivating

説明: ATM アドレスが非活動化されました。アドレス  
の再活動化が試みられます。

---

**LES.290**

レベル: U\_INFO

短構文: LES.290 LECS Intf:dev *device\_number*:UNI  
Vrsn rprtd

長構文: LES.290 LECS Intf:dev *device\_number*:UNI  
Version reported

説明: UNI バージョンが報告されました。

---

**LES.291**

レベル: U\_INFO

短構文: LES.291 LECS Intf:dev *device\_number*:LECS  
addr list rprtd

長構文: LES.291 LECS Intf:dev *device\_number*:LECS  
address list reported

説明: LECS ATM アドレスのリストが報告されまし  
た。

---

**LES.292**

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.292 LECS Intf:dev *device\_number*:rfsd  
unexpctd call Calling ATM addr = x *calling\_address*

長構文: LES.292 LECS Intf:dev *device\_number*:refused unexpected call, Calling ATM address = x *calling\_address*

説明: 予期しないコールを受信しました。このコールは解放されます。

---

### LES.293

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.293 LECS Intf:dev *device\_number*:Config Dir call fld:LECS negotiated parms LECS ATM addr = x *LECS\_address*

長構文: LES.293 LECS Intf:dev *device\_number*:Config Dir call failed:LECS negotiated parms, LECS ATM address = x *LECS\_address*

説明: LAN エミュレーション・コールの AAL および BLLI パラメーターは折衝不能です。LECS はこれらのパラメーターの折衝を試みたために、コールは失敗しました。

---

### LES.294

レベル: UI\_ERROR

短構文: LES.294 LECS Intf:dev *device\_number*:=>DOWN:Config Dir data path open err: *error\_string* ( *error\_code* )

長構文: LES.294 LECS Intf:dev *device\_number*:=>DOWN:Config Direct data path open error: *error\_string* ( *error\_code* )

説明: VCC のデータ・パスをオープンしようとしているときに、エラーが発生しました。LECS は終了します。

---

### LES.295

レベル: UI\_ERROR

短構文: LES.295 LECS Intf:dev *device\_number*:Config Dir call fld:data path open err:no mem

長構文: LES.295 LECS Intf:dev *device\_number*:Config Direct call failed:data path open error:no memory

説明: VCC のデータ・パスをオープンするための資源が不十分です。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

### LES.296

レベル: C\_INFO

短構文: LES.296 LECS Intf:dev *device\_number*:Config Dir estblshd LECS ATM addr = x *LECS\_address*

長構文: LES.296 LECS Intf:dev *device\_number*:Config Dir esatblshd, LECS ATM address = x *LECS\_address*

説明: 構成ダイレクト VCC が操作可能です。

---

### LES.297

レベル: UI\_ERROR

短構文: LES.297 LECS Intf:unexpctd add leaf ack

長構文: LES.297 LECS Intf:unexpected add leaf acknowledgement

説明: 予期しないリーフ追加確認応答を受信しました。

---

### LES.298

レベル: C\_INFO

短構文: LES.298 LECS Intf:dev *device\_number*:Config Dir call fld:rtryng temp failure LECS ATM addr = x *LECS\_address*

長構文: LES.298 LECS Intf:dev *device\_number*:Config Direct call failed:retrying temporary failure, LECS ATM address = x *LECS\_address*

説明: 一時的な状態が原因で、構成ダイレクト・コールの再試行が失敗しました。

---

### LES.299

レベル: C\_INFO

短構文: LES.299 LECS Intf:dev *device\_number*:Config Dir call fld:rtryng with Bearer Class C LECS ATM addr = x *LECS\_address*

長構文: LES.299 LECS Intf:dev *device\_number*:Config Direct call failed:retrying with Bearer Class C, LECS ATM address = x *LECS\_address*

説明: コントロール・ダイレクト・コールが失敗しました。ベアラー・クラス C を用いて再試行されます。

---

### LES.300

レベル: C\_INFO

短構文: LES.300 LECS Intf:dev *device\_number*:Config Dir call fld:trying lower PCR ( *PCR* Kbps) LECS ATM addr = x *LECS\_address*

長構文: LES.300 LECS Intf:dev *device\_number*:Config  
Direct call failed:trying lower PCR ( *PCR* Kbps), LECS  
ATM addr = x *LECS\_address*

説明: ユーザー・セル速度が選択不可能なため、構成  
ダイレクト・コールに失敗しました。ピーク・セル速度  
を落として、コールが再試行されます。

---

### LES.301

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.301 LECS Intf:dev *device\_number*:Config  
Dir call fld:cause *cause\_code* LECS ATM addr = x  
*LECS\_address*

長構文: LES.301 LECS Intf:dev *device\_number*:Config  
Direct call failed:cause *cause\_code*, LECS ATM address  
= x *LECS\_address*

説明: 示されている理由のために、構成ダイレクト・  
コールが失敗しました。

---

### LES.302

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.302 LECS Intf:dev *device\_number*:Config  
Dir call fld:net down LECS ATM addr = x  
*LECS\_address*

長構文: LES.302 LECS Intf:dev *device\_number*:Config  
Direct call failed:net down, LECS ATM address = x  
*LECS\_address*

説明: ネットワークがダウンしているために、構成ダ  
イレクト・コールが失敗しました。

---

### LES.303

レベル: UI\_ERROR

短構文: LES.303 LECS Intf:unexptd leaf rlse

長構文: LES.303 LECS INTF:unexpected leaf release

説明: 予期せずにリーフが解放されました。

---

### LES.304

レベル: C\_INFO

短構文: LES.304 LECS Intf:dev *device\_number*:dscrdd  
OAM frm

長構文: LES.304 LECS Intf:dev *device\_number*:discarded  
OAM frame

説明: OAM フレームが廃棄されました。

---

### LES.305

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.305 LECS Intf:dev *device\_number*:dscrdd  
frm:invld size (x *frame\_size*)

長構文: LES.305 LECS Intf:dev *device\_number*:discarded  
frame:invalid size (x *frame\_size*)

説明: サイズが無効であったために、フレームが廃棄  
されました。

---

### LES.306

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.306 LECS Intf:dev *device\_number*:dscrdd  
frm:invld marker (x *marker*)

長構文: LES.306 LECS Intf:dev *device\_number*:discarded  
frame:invalid marker (x *marker*)

説明: マーカーが無効であったために、フレームが廃  
棄されました。マーカーは xFF00 でなければなりません。

---

### LES.307

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.307 LECS Intf:dev *device\_number*:dscrdd  
frm:invld prtcl (x *protocol*)

長構文: LES.307 LECS Intf:dev *device\_number*:discarded  
frame:invalid protocol (x *protocol*)

説明: プロトコルが無効であったために、フレームが  
廃棄されました。プロトコルは x01 でなければなりません。

---

### LES.308

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.308 LECS Intf:dev *device\_number*:dscrdd  
frm:invld vrsn (x *version*)

長構文: LES.308 LECS Intf:dev *device\_number*:discarded  
frame:invalid version (x *version*)

説明: バージョンが無効であったために、フレームが  
廃棄されました。バージョンは x01 でなければなりません。

---

### LES.309

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.309 LECS Intf:dev *device\_number*:dscrdd  
frm:invld opcode (x *opcode*)

長構文: LES.309 LECS Intf.dev *device\_number*:discarded  
frame:invalid opcode (x *opcode*)

説明: 操作コードが無効であったために、フレームが廃棄されました。操作コードは x0101 でなければなりません。

---

### LES.310

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.310 LECS Intf.dev *device\_number*:dscrdded  
frm:invld number-TLVs (x *number\_TLVs*)

長構文: LES.310 LECS Intf.dev *device\_number*:discarded  
frame:invalide number-TLVs (x *number\_TLVs*)

説明: TLV 数フィールドが無効であったために、フレームが廃棄されました。TLV 数フィールドは x01 でなければなりません。

---

### LES.311

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.311 LECS Intf.dev *device\_number*:dscrdded  
frm:invld TLV, Type = x *TLV\_type*, Length = x  
*TLV\_length*

長構文: LES.311 LECS Intf.dev *device\_number*:discarded  
frame:invalid TLV, Type = x *TLV\_type*, Length = x  
*TLV\_length*

説明: TLV のタイプまたは長さが無効であったため、フレームが廃棄されました。

---

### LES.312

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.312 LECS Intf.dev *device\_number*:dscrdded  
frm:invld ELAN name size in TLV (x *ELAN\_name\_size*)

長構文: LES.312 LECS Intf.dev *device\_number*:discarded  
frame:invalid ELAN name size in TLV (x  
*ELAN\_name\_size*)

説明: ELAN 名のサイズが無効であったために、フレームが廃棄されました。

---

### LES.313

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.313 LECS Intf.dev *device\_number*:dscrdded  
frm:unknwn ELAN name in TLV, ELAN name =  
*ELAN\_name*

長構文: LES.313 LECS Intf.dev *device\_number*:discarded

frame:unknown ELAN name in TLV, ELAN name = x  
*ELAN\_name*

説明: TLV 値フィールド内の ELAN 名が不明であるために、フレームが廃棄されました。

---

### LES.314

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.314 LECS Intf.dev *device\_number*:dscrdded  
frm:unknwn LEC ATM addr, ELAN name = *ELAN\_name*  
LEC ATM addr = x *LEC\_address*

長構文: LES.314 LECS Intf.dev *device\_number*:discarded  
frame:unknown LEC ATM address, ELAN name = x  
*ELAN\_name*, LEC ATM address = x *LEC\_address*

説明: LEC ATM アドレスが不明であったために、フレームが廃棄されました。

---

### LES.315

レベル: C\_INFO

短構文: LES.315 LECS Intf.dev *device\_number*:plcng  
Config Dir call LECs ATM addr = x *LECS\_address*

長構文: LES.315 LECS Intf.dev *device\_number*:placing  
Config Direct call, LECs ATM address = x  
*LECS\_address*

説明: LECS への構成ダイレクト VCC を確立するためのコールが行われました。

---

### LES.316

レベル: UI\_ERROR

短構文: LES.316 LECS Intf.dev *device\_number*:err plcng  
Config Dir call: *error\_string* ( *error\_code*) LECs ATM  
addr = x *LECS\_address*

長構文: LES.316 LECS Intf.dev *device\_number*:error  
placing Config Direct call: *error\_string* ( *error\_code*),  
LECS ATM address = x *LECS\_address*

説明: 構成ダイレクト VCC を確立するためのコール中にエラーが発生しました。

---

### LES.317

レベル: UI\_ERROR

短構文: LES.317 LECS Intf.dev  
*device\_number*:=>DOWN:err plcng Config Dir call:  
*error\_string* ( *error\_code*)

長構文: LES.317 LECS Intf.dev



*device\_number:=>DOWN:error placing Config Direct call:  
error\_string ( error\_code)*

**説明:** 構成ダイレクト VCC を確立するためのコール中にエラーが発生しました。LECS インターフェースは終了します。

---

### LES.318

**レベル:** UI\_ERROR

**短構文:** LES.318 LECS Intf:dev *device\_number*:rlsng  
Config Dir:local LES err

**長構文:** LES.318 LECS Intf:dev *device\_number*:releasing  
Config Direct:local LES error

**説明:** ローカル LES エラーのために、構成ダイレクト VCC が解放されました。

---

### LES.319

**レベル:** UI\_ERROR

**短構文:** LES.319 LECS Intf:dev *device\_number*:frm buff  
alloc err

**長構文:** LES.319 LECS Intf:dev *device\_number*:frame  
buffer allocation error

**説明:** フレーム・バッファを割り振ることができません。

---

### LES.320

**レベル:** UI\_ERROR

**短構文:** LES.320 LECS Intf:dev  
*device\_number:=>DOWN:frm buff alloc err: error\_string ( error\_code)*

**長構文:** LES.320 LECS Intf:dev  
*device\_number:=>DOWN:frame buffer allocation error:  
error\_string ( error\_code)*

**説明:** フレーム・バッファを割り振ることができません。LECS インターフェースは終了します。

---

### LES.321

**レベル:** UI\_ERROR

**短構文:** LES.321 LECS Intf:dev  
*device\_number:=>DOWN:tx err: error\_string ( error\_code)*

**長構文:** LES.321 LECS Intf:dev  
*device\_number:=>DOWN:transmit error: error\_string ( error\_code)*

**説明:** LECS にフレームを送信中にエラーが発生しました。エラーの重大度に応じて、LECS インターフェース

が終了することがあります。

---

### LES.322

**レベル:** UI\_ERROR

**短構文:** LES.322 LECS Intf:dev *device\_number*:trmntng:  
*error\_string ( error\_code)*

**長構文:** LES.322 LECS Intf:dev  
*device\_number*:terminating: *error\_string ( error\_code)*

**説明:** 示されている理由により、LECS インターフェースが終了しました。

---

### LES.323

**レベル:** UE\_ERROR

**短構文:** LES.323 LECS Intf:dev *device\_number*:Config  
Dir rlsd:cause *cause\_code* LECS ATM addr = x  
*LECS\_address*

**長構文:** LES.323 LECS Intf:dev *device\_number*:Config  
Direct released:cause *cause\_code*, LECS ATM address =  
x *LECS\_address*

**説明:** 示されている理由により、構成ダイレクト VCC が解放されました。

---

### LES.324

**レベル:** UE\_ERROR

**短構文:** LES.324 LECS Intf:dev *device\_number*:Config  
Dir rlsd:net down LECS ATM addr = x *LECS\_address*

**長構文:** LES.324 LECS Intf:dev *device\_number*:Config  
Direct released:net down, LECS ATM address = x  
*LECS\_address*

**説明:** ネットワークがダウンしているために、構成ダイレクトが解放されました。

---

### LES.325

**レベル:** U\_INFO

**短構文:** LES.325 BMON:' *ELAN\_name*':initlzd

**長構文:** LES.325 BMON:' *ELAN\_name*':initialized

**説明:** この ELAN の BMON が初期化されました。

---

### LES.326

**レベル:** U\_INFO

**短構文:** LES.326 BMON:' *ELAN\_name*':halted

**長構文:** LES.326 BMON:' *ELAN\_name*':halted

**説明:** この ELAN の BMON が停止しました。

---

**LES.327**

レベル: UI\_ERROR

短構文: LES.327 LES/BUS:' *ELAN\_name*':BMON init fld

長構文: LES.327 LES/BUS:' *ELAN\_name*':BMON initialization failed

説明: 記憶域の不足のために、BUS モニターの初期化が失敗しました。ELAN の操作は続行されます。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

**LES.328**

レベル: UI\_ERROR

短構文: LES.328 BMON:' *ELAN\_name*':topN mem alloc fld

長構文: LES.328 BMON:' *ELAN\_name*':Top N memory allocation failed

説明: BUS モニターは、最新のサンプル間隔について上位 N 個のユーザーを記録するための記憶域を割り振ることができませんでした。BUS モニターは、次のサンプル間隔で再試行します。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

**LES.329**

レベル: U\_INFO

短構文: LES.329 LES/BUS:' *ELAN\_name*':ATM dev Inspeed - *VCC\_type* VCC PCR ( *peak\_rate* Kbps) mismatch:PCR chngd to Inspeed ( *linespeed* Kbps)

長構文: LES.329 LES/BUS:' *ELAN\_name*':ATM device linespeed - *VCC\_type* VCC PCR ( *peak\_rate* Kbps) mismatch:PCR changed to linespeed ( *linespeed* Kbps)

説明: ATM 装置の回線速度が変更されました。指定の VCC の PCR は、ATM 装置の以前の回線速度に等しい値になっていました。VCC の PCR が変更され、現在は ATM 装置の現行の回線速度に等しくなっています。

---

**LES.330**

レベル: C\_INFO

短構文: LES.330 LES/BUS:' *ELAN\_name*':ATM dev Inspeed is *linespeed* Kbps, *VCC\_type* VCC PCR = *peak\_rate* Kbps

長構文: LES.330 LES/BUS:' *ELAN\_name*':ATM device linespeed is *linespeed* Kbps, *VCC\_type* VCC PCR = *peak\_rate* Kbps

説明: 指定の VCC のピーク速度が、ATM 装置の回線速度に等しくありません。

---

**LES.331**

レベル: C\_INFO

短構文: LES.331 LES/BUS:' *ELAN\_name*':ATM dev Inspeed is *linespeed* Kbps, *VCC\_type* VCC PCR = *peak\_rate* Kbps, SCR = *sustained\_rate* Kbps

長構文: LES.331 LES/BUS:' *ELAN\_name*':ATM device linespeed is *linespeed* Kbps, *VCC\_type* VCC PCR = *peak\_rate* Kbps, SCR = *sustained\_rate* Kbps

説明: 指定の VCC のピーク速度が、ATM 装置の回線速度に等しくありません。

---

**LES.332**

レベル: UI\_ERROR

短構文: LES.332 LES/BUS:' *ELAN\_name*':Create fld: *VCC\_type* VCC PCR ( *peak\_rate* Kbps) excds ATM dev Inspeed ( *linespeed* Kbps)

長構文: LES.332 LES/BUS:' *ELAN\_name*':Create failed: *VCC\_type* VCC PCR ( *peak\_rate* Kbps) exceeds ATM device linespeed ( *linespeed* Kbps)

説明: ピーク・セル速度が ATM 装置の回線速度を超えているために、LES/BUS を作成できませんでした。

---

**LES.333**

レベル: UI\_ERROR

短構文: LES.333 LES/BUS:' *ELAN\_name*':Rstrt fld: *VCC\_type* VCC PCR ( *peak\_rate* Kbps) excds ATM dev Inspeed ( *linespeed* Kbps)

長構文: LES.333 LES/BUS:' *ELAN\_name*':Restart failed: *VCC\_type* VCC PCR ( *peak\_rate* Kbps) exceeds ATM device linespeed ( *linespeed* Kbps)

説明: ピーク・セル速度が ATM 装置の回線速度を超えているために、LES/BUS を再始動できませんでした。

---

**LES.334**

レベル: U\_INFO

短構文: LES.334 LECS Intf:dev *device\_number*:ATM dev Inspeed - Config Dir VCC PCR ( *peak\_rate* Kbps) mismatch:PCR chngd to Inspeed ( *linespeed* Kbps)

長構文: LES.334 LECS Intf:dev *device\_number*:ATM device linespeed - Config Direct VCC PCR ( *peak\_rate*

Kbps) mismatch:PCR changed to linespeed ( *linespeed* Kbps)

**説明:** ATM 装置の回線速度が変更されました。構成ダイレクト VCC の PCR は、ATM 装置の以前の回線速度に等しい値になっていました。VCC の PCR が変更され、現在は ATM 装置の現行の回線速度に等しくなっています。

---

### LES.335

**レベル:** C\_INFO

**短構文:** LES.335 LECS Intf:dev *device\_number*:ATM dev Inspeed is *linespeed* Kbps, Config Dir VCC PCR = *peak\_rate* Kbps

**長構文:** LES.335 LECS Intf:dev *device\_number*:ATM device linespeed is *linespeed* Kbps, Config Direct VCC PCR = *peak\_rate* Kbps

**説明:** 構成ダイレクト VCC のピーク速度が、ATM 装置の回線速度に等しくありません。

---

### LES.336

**レベル:** C\_INFO

**短構文:** LES.336 LECS Intf:dev *device\_number*:ATM dev Inspeed is *linespeed* Kbps, Config Dir VCC PCR = *peak\_rate* Kbps, SCR = *sustained\_rate* Kbps

**長構文:** LES.336 LECS Intf:dev *device\_number*:ATM device linespeed is *linespeed* Kbps, Config Direct VCC PCR = *peak\_rate* Kbps, SCR = *sustained\_rate* Kbps

**説明:** 構成ダイレクト VCC のピーク速度が、ATM 装置の回線速度に等しくありません。

---

### LES.337

**レベル:** UI\_ERROR

**短構文:** LES.337 LECS Intf:dev *device\_number*:Create fld:Config Dir VCC PCR ( *peak\_rate* Kbps) excds ATM dev Inspeed ( *linespeed* Kbps)

**長構文:** LES.337 LECS Intf:dev *device\_number*:Create failed:Config Direct VCC PCR ( *peak\_rate* Kbps) exceeds ATM device linespeed ( *linespeed* Kbps)

**説明:** ピーク・セル速度が ATM 装置の回線速度を超えているために、LECS インターフェースを作成できませんでした。

---

### LES.338

**レベル:** UI\_ERROR

**短構文:** LES.338 LECS Intf:dev *device\_number*:Rstrtd fld:Config Dir VCC PCR ( *peak\_rate* Kbps) excds ATM dev Inspeed ( *linespeed* Kbps)

**長構文:** LES.338 LECS Intf:dev *device\_number*:Restart failed:Config Direct VCC PCR ( *peak\_rate* Kbps) exceeds ATM device linespeed ( *linespeed* Kbps)

**説明:** ピーク・セル速度が ATM 装置の回線速度を超えているために、LECS インターフェースを再始動できませんでした。

---

### LES.339

**レベル:** C\_INFO

**短構文:** LES.339 LES/BUS:' *ELAN\_name*':updttd cnfgtrtn for fld ' *field\_name*'

**長構文:** LES.339 LES/BUS:' *ELAN\_name*':updated configuration for field ' *field\_name*'

**説明:** 初期化中に、古くて使われなくなった構成レコードが検出されました。LES/BUS の構成内の特定のパラメーターが更新されて、新しい機能が反映されています。新規コード・リリースに移行後は、この事象が生じるのは普通です。

---

### LES.340

**レベル:** UI\_ERROR

**短構文:** LES.340 LES/BUS:' *ELAN\_name*': *frame\_type* fld, *reason*

**長構文:** LES.340 LES/BUS:' *ELAN\_name*': *frame\_type* failed, *reason*

**説明:** TLV の処理中にエラーが発生したために、結合または登録要求がリジェクトされました。

---

### LES.341

**レベル:** UI\_ERROR

**短構文:** LES.341 LES/BUS:' *ELAN\_name*':rfsd Mcast Send VCC splice to Mcast Fwrd VCC, LEC ATM addr = x *LEC\_address*

**長構文:** LES.341 LES/BUS:' *ELAN\_name*':refused Multicast Send VCC splice to Multicast Forward VCC, LEC ATM address = x *LEC\_address*

**説明:** BUS のマルチキャスト・フォワード VCC へのクライアントのマルチキャスト・SEND VCC の接続を試みている最中に、エラーが発生しました。

**処置:** 即時の処置は必要ありません。このクライアントについては、BUS のピーク・パフォーマンスは不可能ですが、指定された ELAN への参加に影響はありません。問題判別がさらに必要な場合は、サービス技術員に連絡してください。

---

### LES.342

**レベル:** UI\_ERROR

**短構文:** LES.342 LES/BUS:' ELAN\_name':rfsd Mcast Send VCC unsplice from Mcast Fwrdd VCC, LEC ATM addr = x LEC\_address

**長構文:** LES.342 LES/BUS:' ELAN\_name':refused Multicast Send VCC unsplice from Multicast Forward VCC, LEC ATM address = x LEC\_address

**説明:** BUS のマルチキャスト・フォワード VCC へのクライアントのマルチキャスト・センド VCC の接続の切断を試みている最中に、エラーが発生しました。

**処置:** 即時の処置は必要ありません。このクライアントから受信したパケットはトレースできません。問題判別がさらに必要な場合は、サービス技術員に連絡してください。

---

### LES.343

**レベル:** UI\_ERROR

**短構文:** LES.343 LES/BUS:' ELAN\_name':Incompatible hardware for VCC-splice operation, LEC ATM addr = x LEC\_address

**長構文:** LES.343 LES/BUS:' ELAN\_name':Incompatible hardware for VCC-splice operation, LEC ATM address = x LEC\_address

**説明:** インストールされている ATM アダプターのハードウェア・レベルでは、VCC 接続がサポートされていません。クライアントのマルチキャスト・センド VCC は、BUS のマルチキャスト・フォワード VCC に接続されていません。

**処置:** 即時の処置は必要ありません。このクライアントについては、BUS のピーク・パフォーマンスは不可能ですが、指定された ELAN への参加に影響はありません。ATM アダプターをアップグレードして、VCC 接続機構をサポートできるようにする必要がある場合もあります。さらに援助が必要な場合は、サービス技術員に連絡してください。

---

### LES.344

**レベル:** U\_INFO

**短構文:** LES.344 SUPER ELAN:Super ELAN spans multiple ATM interfaces, ID= super\_elan\_id.

**長構文:** LES.344 SUPER ELAN:Super ELAN spans multiple ATM interfaces, ID= super\_elan\_id.

**説明:** 各 ATM アダプターがそれぞれ別々の交換ネットワークに接続されている場合があるので、異なる ELAN のクライアント間にデータ・ダイレクト VCC を確立する試みが失敗する可能性があります。

**処置:** 両方の ATM アダプターが同一の交換ネットワークに接続されている場合は、処置は必要ありません。ATM アダプターが異なる交換網に接続されている場合は、一方または両方のインターフェース上のスーパー ELAN 機能を使用不可にするか、または各 ATM アダプター上の論理インターフェースを異なるスーパー ELAN に割り当てます。

---

### LES.345

**レベル:** UI\_ERROR

**短構文:** LES.345 SUPER ELAN:Super ELAN is supported for STB enabled ports only, net net\_1.

**長構文:** LES.345 SUPER ELAN:Super ELAN is supported for STB enabled ports only, net net\_1.

**説明:** スーパー ELAN は、STB 使用可能のブリッジ・ポート上でサポートされます。トークンリングとイーサネットが両方ともサポートされますが、ブリッジングの動作がソース経路専用のブリッジ・ポートはサポートされません。

**処置:** 指定されたインターフェースに対応するブリッジ・ポート上で、スパンニング・ツリー透過型ブリッジ (STB) サポートを使用可能にします。

---

### LES.346

**レベル:** UI\_ERROR

**短構文:** LES.346 SUPER ELAN:Super ELAN is supported on ATM interfaces only, net net\_1.

**長構文:** LES.346 SUPER ELAN:Super ELAN is supported on ATM interfaces only, net net\_1.

**説明:** スーパー ELAN がサポートされるのは、ATM インターフェース上だけです。

**処置:** 指定されたインターフェースに対応するブリッジ・ポート上で、スーパー ELAN サポートを使用不可にします。

---

**LES.347**

レベル: UI\_ERROR

短構文: LES.347 SUPER ELAN: Intf types cannot be mixed within a Super ELAN, ID= *super\_elan\_id*.

長構文: LES.347 SUPER ELAN: Interface types cannot be mixed within a Super ELAN, ID= *super\_elan\_id*.

説明: スーパー ELAN ID が設定できませんでした。トークンリング・クライアントとイーサネット・クライアントが同一のスーパー ELAN 上に存在することはできないからです。

処置: スーパー ELAN ID を別の値に変更します。

---

**LES.348**

レベル: U\_INFO

短構文: LES.348 BCM: 'ELAN\_name': Warning: MAC addr x *MAC\_address* replaced MAC addr x *MAC\_address* for *protocol\_type\_string protocol\_address*

長構文: LES.348 BCM: 'ELAN\_name': Warning: MAC address x *MAC\_address* replaced MAC address x *MAC\_address* for *protocol\_type\_string protocol\_address*

説明: 2 つの MAC アドレスが同一のプロトコル・アドレスを使用していることが、BCM によって検出されました。最初に表示されている MAC アドレスが新しく検出されたもので、これからはこれがそのプロトコル・アドレスに対応付けられます。

処置: これは、装置の 1 つの構成の誤りである可能性があります。

---

**LES.349**

レベル: U\_INFO

短構文: LES.349 LES/BUS: 'ELAN\_name': delay complete, add LEC to Ctrl Dist, LEC ATM addr = x *LEC\_address*

長構文: LES.349 LES/BUS: 'ELAN\_name': delay complete, now adding LEC to Control Distribute, LEC ATM address = x *LEC\_address*

説明: addPartyDelayTimer が満了したので、コントロール・ディストリビュート VCC 上でこの LEC に関して、ここで Add Leaf (リーフ追加) が試みられます。これが行われるのは、スイッチ信号輻輳 (ふくそう) の判別があった場合だけです。

---

**LES.350**

レベル: U\_INFO

短構文: LES.350 LES/BUS: 'ELAN\_name': delay complete, add LEC to Mcast Fwd, LEC ATM addr = x *LEC\_address*

長構文: LES.350 LES/BUS: 'ELAN\_name': delay complete, now adding LEC to Multicast Forward, LEC ATM address = x *LEC\_address*

説明: addPartyDelayTimer が満了したので、マルチキャスト・フォワード VCC 上でこの LEC に関して、ここで Add Leaf (リーフ追加) が試みられます。これが行われるのは、スイッチ信号輻輳 (ふくそう) の判別があった場合だけです。

---

**LES.351**

レベル: U\_INFO

短構文: LES.351 LES/BUS: 'ELAN\_name': delay add of *VCC\_type* leaf for *delay\_duration* secs, LEC ATM addr = x *LEC\_address*

長構文: LES.351 LES/BUS: 'ELAN\_name': delaying addition of *VCC\_type* leaf for *delay\_duration* seconds, LEC ATM address = x *LEC\_address*

説明: スイッチ信号輻輳 (ふくそう) が検出されたため、LES コントロール・ディストリビュート VCC へのこのリーフの追加が遅延中で、もっと後になります。

---

**LES.352**

レベル: U\_INFO

短構文: LES.352 LES/BUS: 'ELAN\_name': delay add of *VCC\_type* leaf for *delay\_duration* secs, LEC ATM addr = x *LEC\_address*

長構文: LES.352 LES/BUS: 'ELAN\_name': delaying adding of *VCC\_type* leaf for *delay\_duration* seconds, LEC ATM address = x *LEC\_address*

説明: スイッチ信号輻輳 (ふくそう) が検出されたため、BUS マルチキャスト・フォワード VCC へのこのリーフの追加が遅延中で、もっと後になります。

---

**LES.353**

レベル: U\_INFO

短構文: LES.353 LES/BUS: 'ELAN\_name' Temp err adding *VCC\_type* leaf: cause # *cause\_code*: retry later LEC ATM addr = x *LEC\_address*

長構文: LES.353 LES/BUS: 'ELAN\_name': temporary error adding *VCC\_type* leaf: cause code # *cause\_code*:

---



will retry later, LEC ATM address = x *LEC\_address*

**説明:** 一時的な状態が原因で、リーフ追加要求が失敗しました。ランダム遅延後、リーフ追加要求は再試行されます。

---

### LES.354

**レベル:** U\_INFO

**短構文:** LES.354 LES/BUS:' *ELAN\_name*': err adding *VCC\_type* leaf: out of mem, LEC ATM addr = x *LEC\_address*

**長構文:** LES.354 LES/BUS:' *ELAN\_name*': error adding *VCC\_type* leaf: memory exhausted, LEC ATM address = x *LEC\_address*

**説明:** 記憶域の不足のため、リーフを追加することができません。

---

### LES.355

**レベル:** U\_INFO

**短構文:** LES.355 LES/BUS:' *ELAN\_name*' Terminating LEC: err adding *VCC\_type* leaf: no memory, LEC ATM addr = x *LEC\_address*

**長構文:** LES.355 LES/BUS:' *ELAN\_name*': terminating LEC: error adding *VCC\_type* leaf: memory exhausted, LEC AT address = x *LEC\_address*

**説明:** 使用可能な記憶域がないため、リーフは追加されませんでした。LEC の ELAN メンバーシップは終了します。

---

### LES.356

**レベル:** U\_INFO

**短構文:** LES.356 Interface # *interface\_number*: Entering Add Party Delay State

**長構文:** LES.356 Interface # *interface\_number*: Now entering the Add Party Delay state

**説明:** ネットワーク信号輻輳 (ふくそう) が検出された (その証拠に、Add Party (パーティー追加) が一時的原因によってリジェクトされるか、または無視されている) ので、現在は、このインターフェース上のすべての LES/BUS で、Add Party (パーティー追加) メッセージがランダム遅延になる状態に移行中です。

---

### LES.357

**レベル:** U\_INFO

**短構文:** LES.357 LES/BUS:' *ELAN\_name*' *VCC\_type*

leaf: drop LEC: max Add Leaf retries LEC ATM addr = x *LEC\_address*

**長構文:** LES.357 LES/BUS:' *ELAN\_name*': terminating LEC: *VCC\_type* leaf: no more Add Leaf retries, LEC ATM addr = x *LEC\_address*

**説明:** ネットワーク信号輻輳 (ふくそう) のため、別の Add Party (パーティー追加) メッセージの再送が必要ですが、最大再試行回数を超えているので、LEC へのマルチキャスト・センドを切断します。

---

### LES.358

**レベル:** U\_INFO

**短構文:** LES.358 Interface # *interface\_number*: Leaving Add Party Delay State

**長構文:** LES.358 Interface # *interface\_number*: Now leaving the Add Party Delay state

**説明:** 直前の

DELAY\_ADD\_PARTY\_STATE\_CLEARING\_INTERVAL 秒間、ネットワーク信号輻輳 (ふくそう) が LES/BUS によって検出されず、Delay Add Party (パーティー追加遅延) 状態にあったので、Delay Add Party (パーティー追加遅延) 状態を終了します。

---

### LES.359

**レベル:** U\_INFO

**短構文:** LES.359 LES/BUS:' *ELAN\_name*' Temp err adding *VCC\_type* leaf: network down: retry later LEC ATM addr = x *LEC\_address*

**長構文:** LES.359 LES/BUS:' *ELAN\_name*':temporary error adding *VCC\_type* leaf: network down: will retry later, LEC ATM address = x *LEC\_address*

**説明:** NETWORK\_DOWN 状態のため、リーフ追加要求が失敗しました。ランダム遅延後、リーフ追加要求は再試行されます。これは、通常、SAAL がダウンしているか、Add Party (パーティー追加) に応答がなかったか、いずれかを意味します。

---

### LES.360

**レベル:** CE\_ERROR

**短構文:** LES.360 LES/BUS:' *ELAN\_name*':0-hop rings overlap with Rtr mac= *MAC\_address* ( *ring\_number*: *ring\_number*) Req Rtr mac= *MAC\_address* ( *ring\_number*: *ring\_number*)

**長構文:** LES.360 LES/BUS:' *ELAN\_name*':0-hop rings overlap with Router MAC address= *MAC\_address* (range= *ring\_number*: *ring\_number*) Requesting Router MAC



address= MAC\_address(range= ring\_number: ring\_number)

説明: ゼロ・ホップ・ルーターが、オーバーラップしているバーチャル・リング範囲の登録を試行しました。

---

### LES.361

レベル: UI\_ERROR

短構文: LES.361 LES/BUS:' ELAN\_name':refuse Mcast Send call: no mem, LEC ATM addr = x LEC\_address

長構文: LES.361 LES/BUS:' ELAN\_name':refused Multicast Send call: no memory, LEC ATM address = x LEC\_address

説明: マルチキャスト・SEND・コールを受け入れることができません。結合する内部 LEC のバインドされたマルチキャスト・SEND VCC を、対応する LES/BUS 待ち行列に追加するために必要な記憶域が不足しているためです。

---

### LES.362

レベル: U\_INFO

短構文: LES.362 BCM:' ELAN\_name':NetBIOS NAME\_RECOGNIZED not rcvd, deleting Name protocol\_address from MAC addr x MAC\_address

長構文: LES.362 BCM:' ELAN\_name':NetBIOS NAME\_RECOGNIZED not received, deleting Name protocol\_address from MAC addr x MAC\_address

説明: BCM NetBIOS は、指定の名前と MAC アドレスに NAME\_QUERY を送信してから 1 秒以内に NAME\_RECOGNIZED を受信しました。BCM NetBIOS キャッシュ・エントリはもう有効でない可能性があるため、このエントリが削除されています。現在 BCM によって処理されている NAME\_QUERY は同報通信されます。指定の名前に対してネーム・シェアリング機能が使用されている場合は、指定の MAC アドレスを使用するすべてのセッションが使い尽くされている可能性があります。この事象は正常です。

---

### LES.363

レベル: C\_INFO

短構文: LES.363 LECS Intf:dev device\_num:updt d cnfgrtn for fld ' field\_name'

長構文: LES.363 LECS Intf:dev device\_num:updated configuration for field ' field\_name'

説明: 初期化時に、古くて使われなくなった構成レコードが検出されました。LECS インターフェースの構成内の所定パラメーターが、新しい機能が反映するために更新されました。新しいコード・リリースに移行後は、

この事象が生じるのは普通です。

---

### LES.364

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.364 LES/BUS:' ELAN\_name':JOIN fld:invld flags (x flags), LEC ATM addr = x LEC\_address

長構文: LES.364 LES/BUS:' ELAN\_name':JOIN failed:invalid flags (x flags), LEC ATM address = x LEC\_address

説明: フラグ・フィールドが無効であるために、JOIN が失敗しました。これは LEC が、LUNiv2 フラグを設定する LUNiv2 LEC でないことが原因と考えられます。

---

### LES.365

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.365 LES/BUS:' ELAN\_name':JOIN fld:dplct RD (x route\_descriptor), LEC ATM addr = x LEC\_address

長構文: LES.365 LES/BUS:' ELAN\_name':JOIN failed:duplicate route descriptor (x route\_descriptor), LEC ATM address = x LEC\_address

説明: 経路記述子アドレスが固有でなかったために、JOIN が失敗しました。

---

### LES.366

レベル: UI\_ERROR

短構文: LES.366 LES/BUS:' ELAN\_name':JOIN fld:RD CB alloc err, LEC ATM addr = x LEC\_address

長構文: LES.366 LES/BUS:' ELAN\_name':JOIN failed:Route Descriptor Control Block allocation error, LEC ATM address =x LEC\_address

説明: 経路記述子制御ブロック用の記憶域を割り振ろうとしているときにエラーが発生したために、JOIN が失敗しました。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

### LES.367

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.367 LES/BUS:' ELAN\_name':dscrd VRFY REQ:JOIN incmplt, LEC ATM addr = x LEC\_address

長構文: LES.367 LES/BUS:' ELAN\_name':discarded

Verify Request:JOIN incomplete, LEC ATM addr = x  
*LEC\_address*

説明: JOIN フェーズが完了していなかったため、検証  
要求が廃棄されました。

---

### LES.368

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.368 LES/BUS:' *ELAN\_name*':VRFY  
fld:invld LECID ( *LECID*), LEC ATM addr = x  
*LEC\_address*

長構文: LES.368 LES/BUS:' *ELAN\_name*':Verify  
failed:invalid LECID ( *LECID*), LEC ATM addr = x  
*LEC\_address*

説明: LECID が無効であるために、検証が失敗しまし  
た。

---

### LES.369

レベル: C\_INFO

短構文: LES.369 LES/BUS:' *ELAN\_name*':VRFY  
fld:invld ATM addr (x *atm\_addr\_to\_verify*), LEC ATM  
addr = x *LEC\_address*

長構文: LES.369 LES/BUS:' *ELAN\_name*':Verify  
failed:invalid ATM address (x *atm\_addr\_to\_verify*), LEC  
ATM addr = x *LEC\_address*

説明: ATM アドレスが BUS の ATM アドレスでない  
ために、検証が失敗しました。

---

### LES.370

レベル: C\_INFO

短構文: LES.370 LES/BUS:' *ELAN\_name*':VRFY ok for  
ATM addr x *atm\_addr\_to\_verify*, LEC ATM addr = x  
*LEC\_address*

長構文: LES.370 LES/BUS:' *ELAN\_name*':Verify ok for  
ATM address x *atm\_addr\_to\_verify*, LEC ATM addr = x  
*LEC\_address*

説明: 検証が成功しました。指定された ATM アドレ  
スは、実際に BUS の ATM アドレスでした。

---

### LES.371

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.371 LES/BUS:' *ELAN\_name*':trmntng  
LEC:Mcast Send dscnctd time-out, LEC ATM addr = x  
*LEC\_address*

長構文: LES.371 LES/BUS:' *ELAN\_name*':terminating

LEC:Mcast Send disconnected time-out, LEC ATM  
address = x *LEC\_address*

説明: マルチキャスト送信切断時間を示すマルチキャ  
スト・SEND VCC が LEC から BUS に送られなかつ  
たために、LEC が終了しました。

---

### LES.372

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.372 LES/BUS:' *ELAN\_name*':dscrd data  
frm:bad RIF lngth x *rif\_length*, Src LEC ATM addr = x  
*source\_LEC\_address*,

長構文: LES.372 LES/BUS:' *ELAN\_name*':discarded data  
frame:invalid RIF length x *rif\_length*, Source LEC ATM  
address = x *source\_LEC\_address*

説明: RIF の長さが無効であるために、データ・フレ  
ームが廃棄されました。

---

### LES.373

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.373 LES/BUS:' *ELAN\_name*':dscrd FLUSH  
REQ:trgt msmth, Src LEC ATM addr = x  
*source\_LEC\_address*, Trgt LEC ATM addr = x  
*target\_LEC\_address*, Trgt MAC addr = x *target\_MAC*

長構文: LES.373 LES/BUS:' *ELAN\_name*':discarded  
Flush request:target mismatch, Source LEC ATM address  
= x *source\_LEC\_address*, Target LEC ATM addr = x  
*target\_LEC\_address* Target MAC address = x *target\_MAC*

説明: ターゲット MAC とターゲット ATM アドレス  
が異なる LEC を示していたために、フラッシュ要求が  
廃棄されました。

---

### LES.374

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.374 LES/BUS:' *ELAN\_name*':dscrd FLUSH  
REQ:trgt msmth, Src LEC ATM addr = x  
*source\_LEC\_address*, Trgt LEC ATM addr = x  
*target\_LEC\_address*, Trgt RD = x *target\_RD*

長構文: LES.374 LES/BUS:' *ELAN\_name*':discarded  
Flush request:target mismatch, Source LEC ATM address  
= x *source\_LEC\_address*, Target LEC ATM addr = x  
*target\_LEC\_address* Target RD = x *target\_RD*

説明: ターゲット RD とターゲット ATM アドレスが  
異なる LEC を示していたために、フラッシュ要求が廃  
棄されました。

---

**LES.375**

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.375 LES/BUS:'ELAN\_name':dscrd FLUSH REQ:invld tag (x lan\_dest\_tag), Src LEC ATM addr = x source\_LEC\_address, Trgt LEC ATM addr = x target\_LEC\_address,

長構文: LES.375 LES/BUS:'ELAN\_name':discarded Flush request:invalid tag (x lan\_dest\_tag), Source LEC ATM address = x source\_LEC\_address, Target LEC ATM addr = x target\_LEC\_address

説明: ターゲット LAN あて先フィールドが無効であるために、フラッシュ要求が廃棄されました。LANEv2 LE クライアントの場合は、1 または 2 でなければなりません。

---

**LES.376**

レベル: UI\_ERROR

短構文: LES.376 LECS Intf:dev device\_number:mem alloc err: src ATM addrx lec\_atm\_addr

長構文: LES.376 LECS Intf:dev device\_number:memory allocation error: source ATM address x lec\_atm\_addr

説明: LECS インターフェースが必要な記憶域を割り振ることができなかったために、セキュリティ要求の検証は失敗しました。

---

**LES.377**

レベル: UE\_ERROR

短構文: LES.377 LECS Intf:dev device\_number:cpy TLVs for scrtly fld: src ATM addrx lec\_atm\_addr

長構文: LES.377 LECS Intf:dev device\_number:copy TLVs for security request failed: source ATM address x lec\_atm\_addr

説明: LECS インターフェースは、セキュリティ要求に結合 TLV を付加できませんでした。結合内の TLV が破壊されていたか、セキュリティ TLV の追加によってフレームが大きくなり過ぎて LECS に送信できなくなったかのいずれかです。

---

**LES.378**

レベル: U\_INFO

短構文: LES.378 BCM:'ELAN\_name':added IPX Server Farm (reached ipx\_threshold Srvrs/Rtrs), LEC ATM addr = x LEC\_address

長構文: LES.378 BCM:'ELAN\_name':added IPX Server

Farm (reached ipx\_threshold Servers/Routers), LEC ATM address = x LEC\_address

説明: BCM IPX は、指定の LEC の背後でサーバー・ファームを検出しました。LEC の背後で動的に検出された IPX サーバー/ルーターの数が、指定のサーバー・ファーム限界値に達しました。

---

**LES.379**

レベル: U\_INFO

短構文: LES.379 BCM:'ELAN\_name':removed IPX Server Farm (less than ipx\_threshold Srvrs/Rtrs), LEC ATM addr = x LEC\_address

長構文: LES.379 BCM:'ELAN\_name':removed IPX Server Farm (less than ipx\_threshold Servers/Routers), LEC ATM address = x LEC\_address

説明: BCM IPX は、前に指定の LEC の背後で検出されたサーバー・ファームを除去しました。LEC の背後で動的に検出された IPX サーバー/ルーターの数は、指定のサーバー・ファーム限界値より低下しました。

---

**LES.380**

レベル: UI\_ERROR

短構文: LES.380 LES/BUS:Receive frame bad vcc correlator 0x vcc\_corr, atm user 0x atm\_user\_corr

長構文: LES.380 LES/BUS:Receive frame bad vcc correlator 0x vcc\_corr, atm user 0x atm\_user\_corr

説明: サポートされない接続タイプ上でフレームを受信しました。受信したフレームは廃棄されました。

---

**LES.381**

レベル: U\_INFO

短構文: LES.381 LES/BUS:'ELAN\_name':v2 Lec->v1 Lec:frame buff alloc err LEC ATM addr = x LEC\_address

長構文: LES.381 LES/BUS:'ELAN\_name':v2 Lec->v1 Lec:frame buffer allocation error, LEC ATM address = x LEC\_address

説明: フレーム・バッファを割り振ることができなかったため、LUNI v2 制御フレームを v1 LEC に送信するために変換することができませんでした。フレームは LUNI v2 フォーマットで v1 LEC に送信されました。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

**LES.382**

レベル: C\_INFO

短構文: LES.382 LES/BUS:' *ELAN\_name*':dscrd  
*frameType* frm:no V2 Proxy Ctrl Dist, Src LEC ATM  
addr = x *source\_LEC\_address*,

長構文: LES.382 LES/BUS:' *ELAN\_name*':discarded  
*frameType* frame:no V2 Proxy Control Distribute, Source  
LEC ATM address = x *source\_LEC\_address*

説明: 指定されたタイプのフレームが廃棄されました。これは V2 プロキシ・コントロール・ディストリビュート VCC を介して転送されるはずでしたが、V2 プロキシ・コントロール・ディストリビュート VCC が運用可ではありません。この原因として非常に可能性が高いのは、ELAN に接続しているプロキシ・クライアントがない場合です。

---

**LES.383**

レベル: C\_INFO

短構文: LES.383 LES/BUS:' *ELAN\_name*':dscrd  
*frameType* frm:no V1 or V2 Proxy Ctrl Dist, Src LEC  
ATM addr = x *source\_LEC\_address*,

長構文: LES.383 LES/BUS:' *ELAN\_name*':discarded  
*frameType* frame:no V1 or V2 Proxy Control Distribute,  
Source LEC ATM address = x *source\_LEC\_address*

説明: 指定されたタイプのフレームが廃棄されました。これはプロキシ・コントロール・ディストリビュート VCC を介して転送されるはずでしたが、V1 プロキシ・コントロール・ディストリビュート VCC も、V2 プロキシ・コントロール・ディストリビュート VCC も運用不可です。この原因として非常に可能性が高いのは、ELAN に接続しているプロキシ・クライアントがない場合です。

---

**LES.384**

レベル: UI\_ERROR

短構文: LES.384 LES/BUS:' *ELAN\_name*':Unable to  
allocate memory for configuration

長構文: LES.384 LES/BUS:' *ELAN\_name*':Unable to  
allocate memory for configuration

説明: LE /BUS 構成の移行または作成のために記憶域を割り振ることができませんでした。構成ツールを使用して、構成を移行してください。おそらく、この構成は無効で、使用できません。

---

**LES.385**

レベル: U\_INFO

短構文: LES.385 LES/BUS:' *ELAN\_name*':yielding to  
Partner, # LEC's terminated= *num\_lecs* *reason* Partner  
Atm addr = x *les\_address*

長構文: LES.385 LES/BUS:' *ELAN\_name*':yielding to  
Partner, # LEC's terminated= *num\_lecs*. *reason*, Partner  
Atm addr = x *les\_address*

説明: LES/BUS は、指摘されている理由でパートナーの LES/BUS に制御を渡すために、すべての LEC を終了中です。

---

**LES.386**

レベル: U\_INFO

短構文: LES.386 LES/BUS:' *ELAN\_name*':now acptng  
LEC's, taking over Partner *reason* Partner Atm addr = x  
*les\_address*

長構文: LES.386 LES/BUS:' *ELAN\_name*':now accepting  
LEC's, taking over Partner *reason*, Partner Atm addr = x  
*les\_address*

説明: LES/BUS は、指摘されている理由でパートナーの LES/BUS から制御を引き継ぐために、現在新規の LE クライアントを受け入れ中です。

---

**LES.387**

レベル: UI\_ERROR

短構文: LES.387 LES/BUS:'  
*ELAN\_name*':=>DOWN:Enhncd Rndncy Call dt pth opn  
err: *error\_string* ( *error\_code*)

長構文: LES.387 LES/BUS:'  
*ELAN\_name*':=>DOWN:Enhanced Redundancy Call data  
path open error: *error\_string* ( *error\_code*)

説明: 拡張冗長 VCC のためのデータ・パスのオープンを試みているときにエラーが発生しました。ELAN は終了します。

---

**LES.388**

レベル: UI\_ERROR

短構文: LES.388 LES/BUS:' *ELAN\_name*':rlsd Enhncd  
Rndncy Call:dt pth opn err:no mem

長構文: LES.388 LES/BUS:' *ELAN\_name*':released  
Enhanced Redundancy Call:data path open error:no  
memory

説明: 拡張冗長 VCC のデータ・パスをオープンする

ための資源が不十分です。拡張冗長 VCC は解放され、後で再試行されます。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

### LES.389

レベル: P\_TRACE

短構文: LES.389 Trace LES/BUS Enhncd Rndncy Status Message.

長構文: LES.389 Trace LES/BUS Enhanced Redundancy Status Message.

説明: LES/BUS 拡張冗長状態メッセージ・パケットをトレース中です。

---

### LES.390

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.390 LES/BUS:'ELAN\_name':dscrdrndncy status msg:invld sz (x frame\_size)

長構文: LES.390 LES/BUS:'ELAN\_name':discarded redundancy status message:invalid size (x frame\_size)

説明: 実際のサイズが無効であったために、LES に送信された冗長状態メッセージが廃棄されました。

---

### LES.391

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.391 LES/BUS:'ELAN\_name':dscrdrndncy status msg:invld mrkr (x marker)

長構文: LES.391 LES/BUS:'ELAN\_name':discarded redundancy status message:invalid Marker (x marker)

説明: マーカーが無効であったために、冗長状態メッセージが廃棄されました。マーカーは xFF00 でなければなりません。

---

### LES.392

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.392 LES/BUS:'ELAN\_name':dscrdrndncy status msg:invld prtcl (x protocol)

長構文: LES.392 LES/BUS:'ELAN\_name':discarded redundancy status message:invalid prtcl (x protocol)

説明: プロトコルが無効であったために、冗長状態メッセージが廃棄されました。プロトコルは x01 でなければなりません。

---

### LES.393

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.393 LES/BUS:'ELAN\_name':dscrdrndncy status msg:invld Vrsn (x version)

長構文: LES.393 LES/BUS:'ELAN\_name':discarded redundancy status message:invalid Version (x version)

説明: バージョンが無効であったために、冗長状態メッセージが廃棄されました。バージョンは x01 でなければなりません。

---

### LES.394

レベル: CE\_ERROR

短構文: LES.394 LES/BUS:'ELAN\_name':dscrdrndncy status msg:invld opcode (x opcode)

長構文: LES.394 LES/BUS:'ELAN\_name':discarded redundancy status message:invalid opcode (x opcode)

説明: 命令コードが無効であったために、冗長状態メッセージが廃棄されました。

---

### LES.395

レベル: U\_INFO

短構文: LES.395 LES/BUS:'ELAN\_name':rndncy status msg frame buff alloc err

長構文: LES.395 LES/BUS:'ELAN\_name':redundancy status message frame buffer allocation error

説明: フレーム・バッファを割り振ることができなかったため、冗長状態メッセージ・フレームをパートナー LES/BUS に送信できませんでした。

---

### LES.396

レベル: U\_INFO

短構文: LES.396 LES/BUS:'ELAN\_name':takeover req. sent to backup Partner Atm addr = x les\_address

長構文: LES.396 LES/BUS:'ELAN\_name':takeover request sent to backup. Partner Atm addr = x les\_address

説明: ユーザーがアクティブのバックアップ LES/BUS から、この LES/BUS の引き継ぎを要求しました。バックアップ LES/BUS が制御を引き渡すまでは、1 次 LES/BUS は新規の LE の受け入れを開始しません。



---

**LES.397**

レベル: C\_INFO

短構文: LES.397 BUSFILTER:' *ELAN\_name*':initlzd

長構文: LES.397 BUSFILTER:' *ELAN\_name*':initialized

説明: この ELAN の BUS FILTER が初期化されました。

---

**LES.398**

レベル: U\_INFO

短構文: LES.398 BUSPOLICE:' *ELAN\_name*':initlzd

長構文: LES.398 BUSPOLICE:' *ELAN\_name*':initialized

説明: この ELAN の BUS POLICE が初期化されました。

---

**LES.399**

レベル: UI\_ERROR

短構文: LES.399 BUSFILTER:' *ELAN\_name*':init fld

長構文: LES.399 BUSFILTER:'  
*ELAN\_name*':initialization failed

説明: BUS FILTER の初期化に失敗しました。記憶域  
割り振りエラー。ELAN の動作は続行されます。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

**LES.400**

レベル: UI\_ERROR

短構文: LES.400 BUSPOLICE:' *ELAN\_name*':init fld

長構文: LES.400 BUSPOLICE:'  
*ELAN\_name*':initialization failed

説明: 記憶域の不足のために、BUS POLICE の初期化  
が失敗しました。ELAN の動作は続行されます。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

**LES.401**

レベル: U\_INFO

短構文: LES.401 BUSFILTER:' *ELAN\_name*':Rmv'd  
filter items

長構文: LES.401 BUSFILTER:' *ELAN\_name*':Removed  
all filter items

説明: このバス・フィルターのすべてのフィルター項  
目が除去され、対応する記憶域が解放されました。

---

**LES.402**

レベル: U\_INFO

短構文: LES.402 BUSPOLICE:' *ELAN\_name*':Rmv'd  
filter items

長構文: LES.402 BUSPOLICE:' *ELAN\_name*':Removed  
all filter items

説明: このバス・ポリース (Bus Police) のすべてのフ  
ィルター項目が除去され、対応する記憶域が解放されま  
した。

---

**LES.403**

レベル: UE\_ERROR

短構文: LES.403 BUSPOLICE:' *ELAN\_name*':threshold  
exc'd Src mac addr = *SOURCE\_address*

長構文: LES.403 BUSPOLICE:' *ELAN\_name*':Threshold  
has been exceeded. SOURCE mac address = x  
*SOURCE\_address*

説明: 定義された BUS POLICE 限界値を超えました。

---

**LES.404**

レベル: U\_INFO

短構文: LES.404 BUSPOLICE:' *ELAN\_name*':Not added  
to Filter List. On immunity list Src mac addr =  
*SOURCE\_address*

長構文: LES.404 BUSPOLICE:' *ELAN\_name*':Mac  
address not added to Filter list. Already on immunity list.  
SOURCE mac address = x *SOURCE\_address*

説明: この Mac アドレスは Immunity リストに含まれ  
ているので、フィルター・リストに追加されませんでした。

---

**LES.405**

レベル: UI\_ERROR

短構文: LES.405 BUSPOLICE:' *ELAN\_name*':Not put  
on Filter List. Mem alloc error. src mac addr = x  
*SOURCE\_address*

長構文: LES.405 BUSPOLICE:' *ELAN\_name*':Address  
was not put on Filter List. Mem Allocation error.  
SOURCE mac address = x *SOURCE\_address*

説明: Mac アドレスはフィルター・リストに入れられ  
ませんでした。十分な記憶域がありません。

処置: サービス技術員に連絡してください。



---

**LES.406**

レベル: U\_INFO

短構文: LES.406 BUSPOLICE:' *ELAN\_name*':Added to Filter List. Src mac addr = *SOURCE\_address*

長構文: LES.406 BUSPOLICE:' *ELAN\_name*':Mac address was added to Filter list. SOURCE mac address = x *SOURCE\_address*

説明: Mac アドレスはフィルター・リストに正常に追加されました。

---

**LES.407**

レベル: C\_INFO

短構文: LES.407 BUSFILTER:' *ELAN\_name*':Match Exclude List. cmp value = 0x *Item\_string*

長構文: LES.407 BUSFILTER:' *ELAN\_name*':Frame matched filter on Exclude list. Compare Value = 0x *Item\_string*.

説明: フレームは、バス・フィルターの除外リストにあるフィルターに一致します。このフレームはフィルターに掛けられました。

---

**LES.408**

レベル: C\_INFO

短構文: LES.408 BUSFILTER:' *ELAN\_name*':Match Include List. cmp value = 0x *Item\_string*

長構文: LES.408 BUSFILTER:' *ELAN\_name*':Frame matched filter on Include list. Compare Value = 0x *Item\_string*.

説明: フレームは、バス・フィルターの組み込みリストにあるフィルターに一致します。このフレームは転送されました。

---

**LES.409**

レベル: C\_INFO

短構文: LES.409 BUSFILTER:' *ELAN\_name*':No Match. Dflt performed-EXCLUDE.

長構文: LES.409 BUSFILTER:' *ELAN\_name*':No Match on filter. Default action was performed. Frame was filtered.

説明: フレームはどちらのフィルター・リストにあるフィルターにも一致しませんでした。EXCLUDE のデフォルト・アクションが実行されました。このフレームはフィルターに掛けられました。

---

---

**LES.410**

レベル: C\_INFO

短構文: LES.410 BUSFILTER:' *ELAN\_name*':No Match. Dflt performed-INCLUDE.

長構文: LES.410 BUSFILTER:' *ELAN\_name*':No Match on filter. Default action was performed. Frame was forwarded.

説明: フレームはどちらのフィルター・リストにあるフィルターにも一致しませんでした。INCLUDE のデフォルト・アクションが実行されました。このフレームは転送されました。

---

**LES.411**

レベル: C\_INFO

短構文: LES.411 BUSPOLICE:' *ELAN\_name*':Frame filtered. Src mac addr = *SOURCE\_address*

長構文: LES.411 BUSPOLICE:' *ELAN\_name*':Frame was filtered by Bus Police. Source mac address = 0x *SOURCE\_address*

説明: この MAC アドレスからのフレームが Bus Police によってフィルターに掛けられました。

---

---

## 第67章 LAN ネットワーク・マネージャー (LNM)

この章では、LAN ネットワーク・マネージャー (LNM) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### LNM.001

レベル: C-INFO

短構文: LNM.001 Configuring port *port\_number*

長構文: LNM.001 Configuring port *port\_number*

説明: LNM が指定されたポートの構成を開始しています。

が、SRT 構成の SRB ポートとして構成されていません。

原因: ユーザーの構成の誤り

処置: LNM または SRT を再構成します。

---

### LNM.002

レベル: C-INFO

短構文: LNM.002 Configuration complete port *port\_number* nt *network*

長構文: LNM.002 Configuration complete port *port\_number* network *network*

説明: LNM が指定されたポートの構成を完了しました。

---

### LNM.005

レベル: U-INFO

短構文: LNM.005 LNM configured for port *port\_number*, is not token ring

長構文: LNM.005 LNM configured for port *port\_number*, is not a token ring interface

説明: ポートは LNM 構成内で構成されていますが、インターフェースがトークンリング・インターフェースではありません。

原因: ユーザーの構成の誤り

処置: LNM またはインターフェースを再構成します。

---

### LNM.003

レベル: U-INFO

短構文: LNM.003 LNM configured for port *port\_number*, port does not exist in Bridge Configuration

長構文: LNM.003 LNM configured for port *port\_number*, but the port is not configured in the Bridge Configuration

説明: ポートは LNM 構成として構成されていますが、SRT 構成ではありません。

原因: ユーザーの構成の誤り

処置: LNM または SRT を再構成します。ブリッジが使用可能であることを確かめます。

---

### LNM.006

レベル: UI-ERROR

短構文: LNM.006 No iorb to transmit packet

長構文: LNM.006 No buffer available to copy one or more packets

説明: LLC を通じて送信するために 1 つまたは複数のパケットをコピーできるバッファがありません。

原因: 重大なパケット・バッファの不足

処置: GWCON 内の記憶域統計を検査して、パケット・バッファ・レベルを確認してください。

原因: トラフィック・ピークで、利用可能なバッファがすべて使われています。

処置: このメッセージが非常にまれに出る場合は問題です。

---

### LNM.004

レベル: U-INFO

短構文: LNM.004 LNM configured for port *port\_number*, is not SRB port

長構文: LNM.004 LNM configured for port *port\_number*, is not configured for SRB

説明: ポートは LNM 構成として構成されています

---

### LNM.007

レベル: C-INFO

短構文: LNM.007 Initializing port *port\_number* nt *network*

長構文: LNM.007 Initializing port *port\_number* network *network*

説明: LNM は指定されたポートの初期化を開始しています。

---

#### LNM.008

レベル: C-INFO

短構文: LNM.008 Initialization complete port *port\_number* nt *network*

長構文: LNM.008 Initialization complete port *port\_number* network *network*

説明: LNM は指定されたポートの初期化を完了しました。

---

#### LNM.009

レベル: C-INFO

短構文: LNM.009 Activating LLC for port *port\_number* nt *network*

長構文: LNM.009 Activating LLC for port *port\_number* network *network*

説明: LNM は指定されたポートに対する LLC への接続を活動化しています。

---

#### LNM.010

レベル: C-INFO

短構文: LNM.010 Activating REM for port *port\_number* nt *network*

長構文: LNM.010 Activating REM for port *port\_number* network *network*

説明: LNM は指定されたポートのリング・エラー・モニターを活動化しています。

---

#### LNM.011

レベル: C-INFO

短構文: LNM.011 Activating RPS for port *port\_number* nt *network*

長構文: LNM.011 Activating RPS for port *port\_number* network *network*

説明: LNM は指定されたポートのリング・パラメーター・サーバーを活動化しています。

---

#### LNM.012

レベル: C-INFO

短構文: LNM.012 Activating CRS for port *port\_number* nt *network*

長構文: LNM.012 Activating CRS for port *port\_number* network *network*

説明: LNM は指定されたポートの構成報告書サーバーを活動化しています。

---

#### LNM.013

レベル: C-INFO

短構文: LNM.013 Activating LRM for port *port\_number* nt *network*

長構文: LNM.013 Activating LRM for port *port\_number* network *network*

説明: LNM は指定されたポートの LAN 報告機構を活動化しています。

---

#### LNM.014

レベル: C-INFO

短構文: LNM.014 Activating MAC frame int for port *port\_number* nt *network*

長構文: LNM.014 Activating MAC frame interface for port *port\_number* network *network*

説明: LNM は、指定されたポートとの間での MAC フレームの転送のために、トークンリングとのインターフェースを起動中です。

---

#### LNM.015

レベル: C-INFO

短構文: LNM.015 Proc net up ind for port *port\_number* nt *network*

長構文: LNM.015 Processing network up indication for port *port\_number* network *network*

説明: LNM は、LNM が使用可能にされているインターフェースが現在アップ状態である旨の指示を受信しました。LNM は、そのインターフェースとの間で送受信する要求の処理を開始するために必要な処置を実行します。

---

**LNM.016**

レベル: C-INFO

短構文: LNM.016 Proc net dwn ind for port *port\_number* nt *network*

長構文: LNM.016 Processing network down indication for port *port\_number* network *network*

説明: LNM は、LNM が使用可能にされているインターフェースが現在ダウン状態である旨の指示を受信しました。LNM はインターフェースを往来する処理要求を終了します。

---

**LNM.017**

レベル: UI-ERROR

短構文: LNM.017 No memory to queue event

長構文: LNM.017 No memory available to create an LNM event queue block

説明: LNM 事象待ち行列ブロックを作成するために使用可能な記憶域はありません。これは致命的な状態であり、あらゆる可能性に照らして記憶域漏れを示すものです。

---

**LNM.018**

レベル: C-INFO

短構文: LNM.018 Rem cn req refused port *port\_number* nt *network*

長構文: LNM.018 Remote connection request refused for port *port\_number* network *network*

説明: LNM は、リモート・ステーションにより開始された接続要求が受信されたという指示を受信しました。LNM は遠隔接続要求を受け入れないため、接続要求は拒否されます。

---

**LNM.019**

レベル: C-INFO

短構文: LNM.019 cn cnfm rcvld but not cnctg link *link* port *port\_number* nt *network*

長構文: LNM.019 A connect confirm indication was received but the link is not in connecting state for link *link* port *port\_number* network *network*

説明: LNM は、直前に発行された接続要求が LLC により確認されたという指示を受信しましたが、リンクの状態は、どの接続要求も解決済みであることを示しています。

原因: 未処理の接続要求は、ネットダウン状態のため、取り消されてしまった可能性があります。

---

め、取り消されてしまった可能性があります。

---

**LNM.020**

レベル: C-INFO

短構文: LNM.020 disc rcvld when cnctg link *link* port *port\_number* nt *network*

長構文: LNM.020 A disconnect indication was received while the link is in connecting state for link *link* port *port\_number* network *network*

説明: LNM は、直前に発行された接続要求が未処理である一方、切断指示を受信しました。

---

**LNM.021**

レベル: C-INFO

短構文: LNM.021 disc rcvld but conn not act port *port\_number* nt *network*

長構文: LNM.021 A disconnect indication was received but the connection is not active on port *port\_number* network *network*

説明: LNM は、指定されたリンクが切断されたという指示を受信しましたが、リンクの状態は、接続が活動状態ではないことを示しています。

原因: 接続は、ネットダウン状態のため、クローズされてしまった可能性があります。

---

**LNM.022**

レベル: C-INFO

短構文: LNM.022 reset rcvld link *link* port *port\_number* nt *network*

長構文: LNM.022 A reset indication was received for link *link* port *port\_number* network *network*

説明: LNM は、指定されたリンクに対するリセット指示を受信しました。LNM はリセット応答を戻します。

---

**LNM.023**

レベル: C-INFO

短構文: LNM.023 cannot open conn SAP clsd port *port\_number* nt *network*

長構文: LNM.023 Cannot open a connection SAP closed on port *port\_number* network *network*

説明: LNM は接続をオープンしようとしてみましたが、LNM SAP がクローズされていると判明しました。

原因: SAP は、ネットダウン状態のため、クローズされてしまった可能性があります。

---

**LNM.024**

レベル: C-INFO

短構文: LNM.024 cannot open conn lnk in use lnk link port *port\_number* nt network

長構文: LNM.024 Cannot open a connection link in use link link port *port\_number* network network

説明: LNM は接続をオープンしようと試みましたが、要求されたリンクがすでに使用中であると判明しました。

---

**LNM.025**

レベル: C-INFO

短構文: LNM.025 open sta fld rtn = *retval* lnk link port *port\_number* nt network

長構文: LNM.025 Open station failed return = *retval* link link port *port\_number* network network

説明: LNM はステーションをオープンしようと試みましたが、LLC はその操作を拒否しました。

---

**LNM.026**

レベル: C-INFO

短構文: LNM.026 conn req fld rtn = *retval* lnk link port *port\_number* nt network

長構文: LNM.026 Connect req failed return = *retval* link link port *port\_number* network network

説明: LNM は接続をオープンしようと試みましたが、LLC はその操作を拒否しました。

---

**LNM.027**

レベル: C-INFO

短構文: LNM.027 disc req fld rtn = *retval* lnk link port *port\_number* nt network

長構文: LNM.027 Disconnect req failed return = *retval* link link port *port\_number* network network

説明: LNM は接続を切断しようと試みましたが、LLC はその操作を拒否しました。

---

**LNM.028**

レベル: C-INFO

短構文: LNM.028 netdwn rcvd clsg LNM SAP port *port\_number* nt network

長構文: LNM.028 Netdown received closing LNM SAP port *port\_number* network network

説明: LNM は指定されたポートのネットワークダウンの指示を受信しました。その結果、LNM は LNM SAP X'F4' をクローズしています。

---

**LNM.029**

レベル: C-INFO

短構文: LNM.029 netup rcvd opening LNM SAP port *port\_number* nt network

長構文: LNM.029 Netup received, opening LNM SAP port *port\_number* network network

説明: LNM は指定されたポートのネットワークアップの指示を受信しました。LNM はその結果、LNM SAP X'F4' をオープンしています。

---

**LNM.030**

レベル: C-INFO

短構文: LNM.030 No rsrc for open LNM SAP port *port\_number* nt network

長構文: LNM.030 No resources for opening LNM SAP port *port\_number* network network

説明: LLC は、LNM SAP X'F4' をオープンするための資源の量が不足していることを示しました。この結果、LNM は使用可能になりません。

---

**LNM.031**

レベル: C-INFO

短構文: LNM.031 LNM UI frm not sent rsn = *reason* port *port\_number* nt network

長構文: LNM.031 LNM UI LLC frame not sent reason = *reason* port *port\_number* network network

説明: LNM は LLC を介して UI フレームを送信しようと試みましたが、フレームは指示された理由により送信できませんでした。

---

**LNM.032**

レベル: C-INFO

短構文: LNM.032 LNM UI frm not sent net dwn port *port\_number* nt network

長構文: LNM.032 LNM UI LLC frame not sent network down port *port\_number* network network

説明: LNM は LLC を介して UI フレームを送信しようと試みましたが、フレームはネットワーク・インターフェースがダウンしているため、送信できませんでした。

---

**LNM.033**

レベル: C-INFO

短構文: LNM.033 LNM I frm not sent conn clsd port  
*port\_number nt network*

長構文: LNM.033 LNM I frame not sent connection  
closed port *port\_number network network*

説明: LNM は LLC を介して I フレームを送信しようと試みましたが、フレームは接続がクローズされているため、送信できませんでした。

原因: 接続は、ネットワーク・インターフェースのダウン状態によりクローズされている場合があります。

---

**LNM.034**

レベル: C-INFO

短構文: LNM.034 LNM I frm not sent rsn = *reason*  
*link link port port\_number nt network*

長構文: LNM.034 LNM I frame not sent reason =  
*reason link link port port\_number network network*

説明: LNM は LLC を介して I フレームを送信しようと試みましたが、フレームは指示された理由により送信できませんでした。

---

**LNM.035**

レベル: C-INFO

短構文: LNM.035 packet rcvd but no connection on  
*link link port port\_number nt network*

長構文: LNM.035 An LLC packet was received but no  
connection exists for link number: *link port port\_number*  
*network network*

説明: LNM は非活動リンクについて LLC パケットを受信しました。おそらく、直前に活動化されたリンクが使用不可になったことを示しています。

原因: 直前の接続要求は、ネットダウン状態のため、取り消されてしまった可能性があります。

---

**LNM.036**

レベル: C-INFO

短構文: LNM.036 *server* PARSE error, code = *error*  
*port port nt network msgptr*

長構文: LNM.036 *server* LLC parsing error, code =  
*error port port network network msgptr*

説明: LNM は LLC パケットを受信しましたが、体系構文エラーが含まれていて、適正に構文解析することが

できませんでした。このコードは、特定の構文解析障害を定義します。

原因: 実行エラー

---

**LNM.037**

レベル: C-INFO

短構文: LNM.037 *server* EXECUTION error, code =  
*error port port nt network msgptr*

長構文: LNM.037 *server* EXECUTION error, code =  
*error port port network network msgptr*

説明: LNM は LLC パケットを受信しましたが、構文的には正しいのに、実行することができませんでした。

原因: パケットの要求は実行できないか、サポートされません。

---

**LNM.038**

レベル: C-INFO

短構文: LNM.038 *server* PCK\_ALLOC error, code =  
*error port port nt network msgptr*

長構文: LNM.038 *server* packet allocation error, code =  
*error port port network network msgptr*

説明: 指定されたサーバー構成要素はパケット・バッファを割り振ることができませんでした。

原因: システムが繁忙状態か、さらに多くのパケット・バッファを割り振る必要があるかのいずれかです。

---

**LNM.039**

レベル: C-INFO

短構文: LNM.039 *server* GET\_CHAR error, code =  
*error port port nt network msgptr*

長構文: LNM.039 *server* error, code = *error port port*  
*network network msgptr*

説明: 示されているサーバー構成要素が LLC パケットから次の文字を獲得できませんでした。

原因: 実行エラー

---

**LNM.040**

レベル: C-INFO

短構文: LNM.040 *server* error, code = *error port port*  
*nt network msgptr*

長構文: LNM.040 *server* error, code = *error port port*  
*network network msgptr*



説明: 指定されたサーバー構成要素はパケット文字操作を行うことができませんでした。

原因: 実行エラー

---

#### LNM.041

レベル: C-INFO

短構文: LNM.041 *server error, code = error port port nt network msgptr*

長構文: LNM.041 *server error, code = error port port network network msgptr*

説明: 指定されたサーバー構成要素はバッファ操作を実行することができませんでした。

原因: 実行エラー

---

#### LNM.042

レベル: C-INFO

短構文: LNM.042 *server error, code = error port port nt network msgptr*

長構文: LNM.042 *server error, code = error port port network network msgptr*

説明: 指定されたサーバー構成要素はタイマー操作を実行することができませんでした。

原因: 実行エラー

---

#### LNM.043

レベル: C-INFO

短構文: LNM.043 *server error, code = error port port nt network msgptr*

長構文: LNM.043 *server error, code = error port port network network msgptr*

説明: 指定されたサーバー構成要素はソケット操作を実行することができませんでした。

原因: 実行エラー

---

#### LNM.044

レベル: C-INFO

短構文: LNM.044 *server error, code = error port port nt network msgptr*

長構文: LNM.044 *server error, code = error port port network network msgptr*

説明: 指定されたサーバー構成要素は記憶域のリストを実行することができませんでした。

原因: 実行エラー

---

#### LNM.045

レベル: C-INFO

短構文: LNM.045 *server error, code = error port port nt network msgptr*

長構文: LNM.045 *server error, code = error port port network network msgptr*

説明: 指定されたサーバー構成要素は LSS 構文解析操作を実行することができませんでした。

原因: TRD によって不良パケットが送信されました。

---

#### LNM.046

レベル: C-INFO

短構文: LNM.046 *server error, code = error port port nt network msgptr*

長構文: LNM.046 *server error, code = error port port network network msgptr*

説明: 示されているサーバー構成要素が LLC2 からエラー戻り状況を受信しました。

原因: 実行エラー

---

#### LNM.047

レベル: C-INFO

短構文: LNM.047 *server error, code = error port port nt network msgptr*

長構文: LNM.047 *server error, code = error port port network network msgptr*

説明: 指定されたサーバー構成要素は LSCM 操作を実行することができませんでした。

原因: 構成エラー

---

#### LNM.048

レベル: C-INFO

短構文: LNM.048 *server error, code = error port port nt network msgptr*

長構文: LNM.048 *server error, code = error port port network network msgptr*

説明: 指定されたサーバー構成要素は LRM からエラー戻り状況を受信しました。

原因: 実行エラー

---

---

**LNM.049**

レベル: C-INFO

短構文: LNM.049 *server error, code = error port port nt network msgptr*

長構文: LNM.049 *server error, code = error port port network network msgptr*

説明: 指定されたサーバー構成要素は LBS からエラー戻り状況を受信しました。

原因: 実行エラー

---

**LNM.050**

レベル: C-INFO

短構文: LNM.050 *server error, code = error port port nt network msgptr*

長構文: LNM.050 *server error, code = error port port network network msgptr*

説明: 指定されたサーバー構成要素は CRS からエラー戻り状況を受信しました。

原因: 実行エラー

---

**LNM.051**

レベル: C-INFO

短構文: LNM.051 *server error, code = error port port nt network msgptr*

長構文: LNM.051 *server error, code = error port port network network msgptr*

説明: 指定されたサーバー構成要素は REM からエラー戻り状況を受信しました。

原因: 実行エラー

---

**LNM.052**

レベル: C-INFO

短構文: LNM.052 *server error, code = error port port nt network msgptr*

長構文: LNM.052 *server error, code = error port port network network msgptr*

説明: 指定されたサーバー構成要素は RPS からエラー戻り状況を受信しました。

原因: 実行エラー

---

---

**LNM.053**

レベル: C-INFO

短構文: LNM.053 *server error, code = error port port nt network msgptr*

長構文: LNM.053 *server error, code = error port port network network msgptr*

説明: 指定されたサーバー構成要素は TRD からエラー戻り状況を受信しました。

原因: 実行エラー

---

**LNM.054**

レベル: C-INFO

短構文: LNM.054 *server error, code = error port port nt network msgptr*

長構文: LNM.054 *server error, code = error port port network network msgptr*

説明: 指定されたサーバー構成要素はシステム・エラー戻り状況を受信しました。

原因: 実行エラー

---

**LNM.055**

レベル: C-INFO

短構文: LNM.055 *packet rcvd but no connection nt network*

長構文: LNM.055 *An LLC packet was received but no connection exists for network network*

説明: LNM は不活性リンクに関する LLC パケットを受信しました。以前活性化されたリンクが不活性になったことを示している可能性があります。データは廃棄されました。

原因: 直前の接続要求は、ネットダウン状態のため、取り消されてしまった可能性があります。

---

**LNM.056**

レベル: C-INFO

短構文: LNM.056 *packet rcvd but SAP not open nt network*

長構文: LNM.056 *AN IIC packet was received but the LNM SAP is not open for network network*

説明: LNM は LLC パケットを受信しましたが、LNM SAP はオープンされていません。おそらく、インターフェースがダウンしたことを示しています。データは廃棄されました。

---

原因: LNM SAP は、ネットダウン状態のため、クローズされてしまった可能性があります。

---

#### LNM.057

レベル: U-INFO

短構文: LNM.057 This LNM release supports only one LAN to one WAN bridge

長構文: LNM.057 This LNM release supports only one LAN to one WAN bridge

説明: LNM の最初のリリース (14.0a) は、DNX 300 の LAN から WAN だけのサポートに限定されます。

原因: ユーザーの構成の誤り

処置: WAN に対する LAN となるようブリッジを再構成するか、後続リリース版を使用します。

---

#### LNM.058

レベル: C-TRACE

短構文: LNM.058 LNM- *major-vector direction*, link *link*, port *port*, nt *network*

長構文: LNM.058 LNM protocol message *major-vector direction*, link *link*, port *port*, network *network*

説明: このメッセージは、すべての着信および発信 IBM LAN ネットワーク・マネージャー・プロトコル・メッセージをトレースします。major-vectors 値については、IBM トークンリング・アーキテクチャーの資料 SC30-3374 で説明しています。メッセージの direction は、rcvd または sent で、メッセージに示されています。link 値は、LINK が確立されている場合は、0 ~ 3 で、非 LINK メッセージ (UNITDATA メッセージ) の場合は、242 です。

---

#### LNM.059

レベル: C-TRACE

短構文: LNM.059 MAC- *MAC-vector direction*, port *port*, nt *network*

長構文: LNM.059 MAC protocol message *MAC-vector direction*, port *port*, network *network*

説明: このメッセージは、すべての着信および発信 MAC メッセージをトレースします。MAC-vector 値については、IBM トークンリング・アーキテクチャーの資料 SC30-3370 で説明しています。メッセージの direction は、rcvd または sent で、メッセージに示されています。

---

#### LNM.060

レベル: UI-ERROR

短構文: LNM.060 Drp LNM frm, len *frame-length*, nt *network*

長構文: LNM.060 Dropping LNM frame, length *frame-length*, network *network*

説明: 以下に挙げる 2 つのうちいずれか 1 つの理由により、ルーターが着信メッセージを除去中です。(1) フレームの長さがゼロで、LNM は防御上パケットを廃棄するか、(2) LNM が内部 LNM バッファを獲得できない (これは、発生がまったく予期できない)。フレームの長さは表示されるので、理由が (1) であるか (2) であるかは分かります。理由が (1) であるか (2) であるかを、サービス技術員に通知する必要があります。

---

#### LNM.061

レベル: U-INFO

短構文: LNM.061 LNM support *action* in LAN Switch: domain *domain-index* net *network*

長構文: LNM.061 LNM support *action* in LAN Switch: domain *domain-index* network *network*

説明: LAN スイッチ上のポートに関連するネットワークに対して、LNM サポートが構成されました。LAN スイッチ上の対応するドメインがリストされています。要求された処置は正常に行なわれました。

原因: なし。

処置: なし。

---

#### LNM.062

レベル: U-INFO

短構文: LNM.062 LNM support failed for domain *domain-index* net *network* action *action* error code *rc*

長構文: LNM.062 LNM support failed for domain *domain-index* network *network* action *action* error code *rc*

説明: LAN スイッチ上のポートに関連するネットワークに対して、LNM サポートが構成されました。LAN スイッチ上の対応するドメインがリストされています。このサポートの要求された処置は、以下のエラー・コードの 1 つによって示される理由で、失敗しました。1 - 無効なドメイン番号 2 - ドメインに複数の物理ポートが構成されている 3 - ドメインにポートが構成されていない 4 - ポートに機能アドレスを設定できない 5 - スイッチのマクロコードが下位レベルである 6 - 互換性のない ARI/FCI オプション (非経路指定にのみ設定) 7 - 互換性のないハードウェア (MPC 3.0)

**原因:** ユーザーの構成の誤り

**処置:** 戻されたエラー・コードを調べて、該当する装置の構成をやり直してください。



---

## 第68章 LAN スイッチ統合 (LSI)

この章では、LAN スイッチ統合 (LSI) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### LSI.001

レベル: U-INFO

短構文: LSI.001 Rcv *packet\_type* *len* *length* *dom*  
*domain* *from* *from\_hw\_add* *to* *to\_hw\_add* *net* *network* *ID*

長構文: LSI.001 Received a packet type: *packet\_type*  
*length* *length* on logical port *domain* *from* *from\_hw\_add*  
*to* *to\_hw\_add* *to* *net* *network* *ID*

説明: LAN スイッチからフレームを受信しました。

原因: LAN スイッチからフレームを受信しました。

---

### LSI.002

レベル: U-INFO

短構文: LSI.002 Snd *type* *len* *length* *dom* *domain* *from*  
*from\_hw\_add* *to* *to\_hw\_add* *net* *network* *ID*

長構文: LSI.002 Sending a packet type *type* of length  
*length* on domain *domain* *from* *from\_hw\_add* *to*  
*to\_hw\_add* *from* *net* *network* *ID*

説明: LAN スイッチにフレームを送信中です。

原因: LAN スイッチにフレームを送信中です。

---

### LSI.003

レベル: U-INFO

短構文: LSI.003 Frame rcv too big for net Max: *max*  
Len: *length* Elp: *elp* *from* *from\_hw\_add* *to* *to\_hw\_add* *net*  
*network* *ID*

長構文: LSI.003 Frame received too large for net Max:  
*max* Len: *length* Elp: *elp* *from* *from\_hw\_add* *to*  
*to\_hw\_add* *net* *network* *ID*

説明: パケットを受信しましたが、大き過ぎてネット・インターフェースで処理できません。

原因: パケットを受信しましたが、大き過ぎてネット・インターフェースで処理できません。

---

### LSI.004

レベル: U-INFO

短構文: LSI.004 Disc frame *type* *len* *length* *from* *dom*:

*domain* *from* *from\_hw\_add* *to* *to\_hw\_add* *type*: *elptype*

長構文: LSI.004 Discard frame *type* *length* *length* *from*  
*domain* *domain* *from* *from\_hw\_add* *to* *to\_hw\_add* *type*:  
*elptype*

説明: パケットを受信しましたが、関連のネットのアドレスと一致していません。

原因: このドメインの関連のネットとそれらに構成されたプロトコルにとっては必要のないパケットを受信しました。

---

### LSI.005

レベル: U-INFO

短構文: LSI.005 RIF Walk post bdg Dom: *domain*  
DestSeg: *sseg* SrcSeg *pseg* ret:

長構文: LSI.005 RIF Walk post bdg Domain: *domain*  
DestSeg: *sseg* SrcSeg *pseg* ret:

説明: ブリッジ機能からパケットを受信しましたが、正しい発信元セグメントに転送する必要があります。発信元ブリッジ・セグメント。

原因: ブリッジの後でパケットを受信しました。

---

### LSI.006

レベル: P-TRACE

短構文: LSI.006 Trace LSI packet

長構文: LSI.006 Trace LSI packet

説明: 入力または出力パケットをトレースします。

---

### LSI.007

レベル: U-INFO

短構文: LSI.007 VCC Handle: *txId* added for lcd: *vcc*  
*domain*: *domain*

長構文: LSI.007 VCC Handle: *txId* added for lcd: *vcc*  
*domain*: *domain*

説明: ハードウェア・パスのために、VCC ハンドルがこの LCD に追加されました。



---

**LSI.008**

レベル: U-INFO

短構文: LSI.008 TxID: *txId* added for VCC Handle: *vcc*  
domain: *domain*

長構文: LSI.008 TxID: *txId* added for VCC Handle: *vcc*  
domain: *domain*

説明: LAN スイッチ送信チャネルが作成されました。

---

**LSI.009**

レベル: U-INFO

短構文: LSI.009 mac addr *mac* assigned TxID: *txId*  
domain: *domain*

長構文: LSI.009 mac addr *mac* assigned TxID: *txId*  
domain: *domain*

説明: MAC アドレスが *txid* に関連付けられ、そのアドレスあてのパケットはハードウェアによって LAN スイッチから ATM ネットワークに切り替えられるようになります。

---

**LSI.010**

レベル: U-INFO

短構文: LSI.010 Route Desc *rd* assigned TxID: *txId*  
domain: *domain*

長構文: LSI.010 Route Desc *rd* assigned TxID: *txId*  
domain: *domain*

説明: 経路記述子が *txid* に関連付けられ、その経路記述子あてのパケットはハードウェアによって LAN スイッチから ATM ネットワークに切り替えられるようになります。

---

**LSI.011**

レベル: U-INFO

短構文: LSI.011 HwPath VCC deleted *vcc\_id*: *vcc*  
*lcd\_p*: *lcd\_p*

長構文: LSI.011 HwPath VCC deleted *vcc\_id*: *vcc*  
*lcd\_p*: *lcd\_p*

説明: VCC が、ブリッジされたハードウェア・パスから削除されました。

---

**LSI.012**

レベル: U-INFO

短構文: LSI.012 TxId deleted id: *txid*

長構文: LSI.012 TxId deleted id: *txid*

説明: *txid* は、関連の VCC が削除されたときに、ブリッジされたハードウェア・パスから削除されました。

---

**LSI.014**

レベル: U-INFO

短構文: LSI.014 mac addr *mac* reassigned *txId*: *txId*  
domain: *domain* sw *pth*

長構文: LSI.014 mac addr *mac* reassigned *txId*: *txId*  
domain: *domain* sw *pth*

説明: *txid* に関連付けられた MAC アドレスが再割り当てされており、そのアドレスあてのパケットは、ソフトウェアによって処理されて、ATM ネットワークに送られるようになります。

---

**LSI.015**

レベル: U-INFO

短構文: LSI.015 Route Desc *rd* reassigned *txId*: *txId*  
domain: *domain* sw *pth*

長構文: LSI.015 Route Desc *rd* reassigned *txId*: *txId*  
domain: *domain* sw *pth*

説明: *txid* に関連付けられた経路記述子が再割り当てされており、その経路記述子あてのパケットは、ソフトウェアによって処理されて、ATM ネットワークに送られるようになります。

---

**LSI.016**

レベル: U-INFO

短構文: LSI.016 Packet Disc bad RIF len: *len* domain:  
*domain* Intf: *intf*

長構文: LSI.016 Packet Disc bad RIF len: *len* domain:  
*domain* Intf: *intf*

説明: ソフトウェア・ブリッジから LAN スイッチに送信されたパケットが、パケット内の RIF フィールドが正しくないために廃棄されました。

原因: 内部ソフトウェア・エラー

---

**LSI.017**

レベル: U-INFO

短構文: LSI.017 Packet Disc bad *txid*: *txid* len: *len*

長構文: LSI.017 Packet Disc bad *txid*: *txid* len: *len*

説明: LAN スイッチから受信したパケットが、無効な *txchannel* のために廃棄されました。

原因: 内部ソフトウェア・エラー

---

**LSI.018**

レベル: U-INFO

短構文: LSI.018 Snd Pkt Disc no mimic buffer dom:  
*dom*, len: *len*

長構文: LSI.018 Send Packet Disc no mimic buffers  
dom: *dom*, len: *len*

説明: LAN スイッチに転送するパケットをコピーするために使用可能な疑似バッファがないために、パケットが廃棄されました。

原因: 内部ソフトウェア・エラー

---

**LSI.019**

レベル: U-INFO

短構文: LSI.019 Get Domain Members Request issued  
for domain: *domain*

長構文: LSI.019 Get Domain Members Request issued  
for domain: *domain*

説明: LAN スイッチに対して、ドメイン・メンバー獲得要求が出されました。

---

**LSI.020**

レベル: U-INFO

短構文: LSI.020 Get Domain Members Response  
received for domain: *domain*

長構文: LSI.020 Get Domain Members Response  
received for domain: *domain*

説明: LAN スイッチから、ドメイン・メンバー獲得応答を受信しました。

---

**LSI.021**

レベル: U-INFO

短構文: LSI.021 function:feCrfMembersResponse, LEC  
Net pointer for domain: *domain* is 0

長構文: LSI.021 Net pointer for domain: *domain* is 0

説明: プロキシ LEC に関連したネット・ポインターが無効です。

---

**LSI.022**

レベル: UE-ERROR

短構文: LSI.022 VCC Handle not available for lcd: *vcc*  
domain: *domain*

長構文: LSI.022 VCC Handle not available for lcd: *vcc*  
domain: *domain*

説明: ハードウェア・パス用に利用可能な VCC ハンドルはもうありません。

---

**LSI.023**

レベル: UE-ERROR

短構文: LSI.023 TxID not available for VCC Handle:  
*vcc* domain: *domain*

長構文: LSI.023 TxID not available for VCC Handle:  
*vcc* domain: *domain*

説明: ハードウェア・パス用に利用可能な送信チャンネル ID はもうありません。

---

**LSI.024**

レベル: U-INFO

短構文: LSI.024 MPOA mac addr *mac* was NOT  
assigned to TxID: *txId* domain: *domain*

長構文: LSI.024 MPOA mac addr *mac* was NOT  
assigned to TxID: *txId* domain: *domain*

説明: MAC アドレスは MPOA アドレスであり、TxID には関連付けられません。

---

**LSI.025**

レベル: UE-ERROR

短構文: LSI.025 net *bdg* and net *rtr* are both SRB  
bridged on domain *dom*, net *network ID* disabled

長構文: LSI.025 net *bdg* and net *rtr* are both SRB  
bridged on domain *dom*, net *network ID* disabled

説明: 2 つのブリッジ・セグメントをもつ 2 つの SRB インターフェースが、同じドメインに割り当てられました。これは無効な構成であり、2 つのインターフェースのうちの 2 番目のものが強制的に使用不可状態にされました。

---

**LSI.026**

レベル: U-INFO

短構文: LSI.026 A packet was discarded because the  
destined net was down

長構文: LSI.026 A packet was discarded because the  
destined net was down

説明: パケットは、あて先のネットが使用不可であるか、ダウンしているために廃棄されました。

---

**LSI.027**

レベル: UE-ERROR

短構文: LSI.027 The hw path received a null pointer on rx

長構文: LSI.027 The hw path received a null pointer on rx

説明: ハードウェア・ブリッジはネットワーク・インターフェースから事象を受信しましたが、ヌル・パケット・ポインターを持っていました。

---

**LSI.028**

レベル: UE-ERROR

短構文: LSI.028 The hw path detected a PCI error

長構文: LSI.028 The hw path detected a PCI error

説明: ハードウェア・パスが PCI エラーを検出しました。詳細を示した追加のメッセージが続いて出される場合もあります。

---

**LSI.029**

レベル: UE-ERROR

短構文: LSI.029 The hw path detected a PCI DMA error

長構文: LSI.029 The hw path detected a PCI DMA error

説明: ハードウェア・パスが PCI DMA エラーを検出しました。詳細を示した追加のメッセージが続いて出される場合もあります。

---

**LSI.030**

レベル: UE-ERROR

短構文: LSI.030 The hw path detected a PCI DMA error on the transmit path

長構文: LSI.030 The hw path detected a PCI DMA error on the transmit path

説明: ハードウェア・パスが PCI DMA エラーを検出しました。詳細を示した追加のメッセージが続いて出される場合もあります。

---

**LSI.031**

レベル: UE-ERROR

短構文: LSI.031 The hw path detected a PCI DMA error on the receive path

長構文: LSI.031 The hw path detected a PCI DMA error on the receive path

説明: ハードウェア・パスが PCI DMA エラーを検出しました。詳細を示した追加のメッセージが続いて出される場合もあります。

---

**LSI.032**

レベル: UE-ERROR

短構文: LSI.032 The hw path detected an error in a packet that was received from the LAN Switch

長構文: LSI.032 The hw path detected an error in a packet that was received from the LAN Switch

説明: ハードウェア・パスは、LAN スイッチから受信したネットワーク・インターフェースあてのパケットの制御ブロック・ヘッダー内にエラーを検出しました。

---

**LSI.033**

レベル: UE-ERROR

短構文: LSI.033 The hw path detected target abort signal on the PCI bus.

長構文: LSI.033 The hw path detected target abort signal on the PCI bus.

説明: ハードウェア・パスは、ネットワーク・インターフェースとの間でパケットの転送を試みているときにエラーを検出しました。

---

**LSI.034**

レベル: UE-ERROR

短構文: LSI.034 The hw path detected master abort signal on the PCI bus.

長構文: LSI.034 The hw path detected master abort signal on the PCI bus.

説明: ハードウェア・パスは、ネットワーク・インターフェースとの間でパケットの転送を試みているときにエラーを検出しました。

---

**LSI.035**

レベル: UE-ERROR

短構文: LSI.035 The hw path received a parity error signal from a target.

長構文: LSI.035 The hw path received a parity error signal from a target.

説明: ハードウェア・パスは、ネットワーク・インターフェースへのパケットの転送を試みているときにエラ

ーを検出しました。このエラーは、パケットを記憶スペースに入れるために DMA (直接メモリー・アクセス) しているときに、ネットワーク側で検出されました。

---

#### LSI.036

レベル: UE-ERROR

短構文: LSI.036 The hw path received a detected a parity on the pci bus.

長構文: LSI.036 The hw path received a detected a parity on the pci bus.

説明: ハードウェア・パスは、ネットワーク・インターフェースからのパケットの転送を試みているときにエラーを検出しました。これは、パケットを記憶スペースに入れるために DMA しているときに、ハードウェア・パス側で検出されました。

---

#### LSI.037

レベル: UE-ERROR

短構文: LSI.037 The hw path DMA was unexpectedly halted.

長構文: LSI.037 The hw path DMA was unexpectedly halted.

説明: ハードウェア・パス DMA エンティティーが、予期せずに停止しました。リスタートが試みられますが、ハードウェア・パスを回復できない可能性があります。

---

#### LSI.038

レベル: UE-ERROR

短構文: LSI.038 An inv int was reg net *network ID*/ *dom* on dom:

長構文: LSI.038 An inv int was reg net *network ID*/ *dom* on dom:

説明: 無効なネットワークが LSI クライアントに登録されました。おそらく、これは無効な構成、または破壊された構成が原因と考えられます。

---

#### LSI.039

レベル: UE-ERROR

短構文: LSI.039 A hw path reset timed out.

長構文: LSI.039 A hw path reset timed out.

説明: HW パスに対してリセットが出され、正しい状態が達成される前にタイムアウトになりました。これは PCI エラーの結果、またはその他の問題が考えられます。

す。システムはまだ作動可能である場合もあります。

---

#### LSI.040

レベル: UE-ERROR

短構文: LSI.040 A hw path looped packet failed.

長構文: LSI.040 A hw path looped packet failed.

説明: スイッチへのループ・パケットを正常に受信できませんでした。この結果、リセットを必要とするような重大なエラーがシステム上に発生する可能性があります。システムはまだ作動可能である場合もあります。

---

#### LSI.041

レベル: UI-ERROR

短構文: LSI.041 nt *network error\_lvl log\_point*

長構文: LSI.041 network *network*: lsi error log: *error\_lvl log\_point*

説明: LSI 一般エラー

---

#### LSI.042

レベル: UI-ERROR

短構文: LSI.042 improper looped frame *type len length* from dom: *domain* from *from\_hw\_add* to *to\_hw\_add* type: *elptype*

長構文: LSI.042 improper looped frame *type len length* from dom: *domain* from *from\_hw\_add* to *to\_hw\_add* type: *elptype*

説明: 不適切なループバックが行われたフレームが受信されました。これは、スイッチ・マイクロコードのバック・レベル・バージョンの結果である場合があります。

---

#### LSI.043

レベル: U-INFO

短構文: LSI.043 loop Snd *type len length dom domain* from *from\_hw\_add* to *to\_hw\_add* net *network ID*

長構文: LSI.043 looping a packet *type type* of length *length* on domain *domain* from *from\_hw\_add* to *to\_hw\_add* from net *network ID*

説明: フレームをループバックさせるために、LAN スイッチへとフレームを送信中です。

---

**LSI.044**

レベル: U-INFO

短構文: LSI.044 Disc frm out inl: t type dom length len domain from\_hw\_add -> to\_hw\_add n network ID

長構文: LSI.044 Disc frame out when in\_low set:type type dom length length domain from from\_hw\_add to to\_hw\_add net network ID

説明: 発信元インターフェースがバッファーを使いきった状態にあったため、LAN スイッチに送信されるはずだったフレームが廃棄されました。

---

**LSI.045**

レベル: U-INFO

短構文: LSI.045 Buff not avail for cpy pkt: type: type length length dom domain from from\_hw\_add to to\_hw\_add net network ID

長構文: LSI.045 Buff not avail for cpy pkt: type: type length length dom domain from from\_hw\_add to to\_hw\_add net network ID

説明: LAN スイッチから受信されたフレームは、このドメイン上で構成される 2 番目のネットにコピーされることになっていました。LAN スイッチ・インターフェースのバッファーが不足していたため、バッファーのコピーを 2 番目のインターフェースに送信することができませんでした。この事象が頻繁に発生する場合は、次のようにすることをお勧めします。できれば、2 番目のインターフェースをそれ自体のドメインに移動するか、あるいはインターフェースがボックス管理にのみ使用されている場合は、代わりに IPHOST を使用します。

---

**LSI.046**

レベル: U-INFO

短構文: LSI.046 LAN Switch Out queue overflow

長構文: LSI.046 LAN Switch Out queue overflow

説明: LAN スイッチはこの時点で受信可能なものより多くの通信量を送信しています。指定されていない数のパケットが、廃棄された可能性があります。この事象はエラーとは見なされませんが、この事象を高い率で受け取る場合は、ネットワークが使用状況を示している可能性があります。ネットワークを再構成するか、不適切なトラフィックをフィルターに掛けると、このエラーが減る場合があります。

---

## 第69章 レイヤー 2 トンネル伝送 (L2)

この章では、レイヤー 2 トンネル伝送 (L2) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### L2.001

レベル: UI\_ERROR

短構文: L2.001 ERROR: *errorString*

長構文: L2.001 ERROR: *errorString*

説明: 一般エラー - このエラーが生じた場合は、重大な障害があります。何が起きたか、またはそれが起きた場所 (あるいは、その両方) についての簡単な説明が、このメッセージに付属しています。

---

### L2.002

レベル: CI\_ERROR

短構文: L2.002 WARNING: *warningString*

長構文: L2.002 WARNING: *warningString*

説明: 一般警告 - これは、通常の状態では資源 (バッファ、ネット、コール、トンネルなど) が不足したとき、あるいはピアが何か予期しないことを行なったときに出力されます。何が起きたか、またはそれが起きた場所 (あるいは、その両方) についての簡単な説明が、このメッセージに付属しています。

---

### L2.003

レベル: C-INFO

短構文: L2.003 L2 Slf Tst net *net*

長構文: L2.003 Performing Self Test on L2 network *net*

説明: l2tp\_slftst に入っています。

---

### L2.004

レベル: C-INFO

短構文: L2.004 L2 init net *net*

長構文: L2.004 Intitalizing L2 network *net*

説明: l2tp\_init に入っています。

---

### L2.005

レベル: C-INFO

短構文: L2.005 L2 install net *net*

長構文: L2.005 Installing L2 network *net*

説明: l2tp\_install に入っています。

---

### L2.006

レベル: C-INFO

短構文: L2.006 LCP start net *net* cause= *cause*

長構文: L2.006 Renegotiate LCP-L2 net *net*, cause= *cause*

説明: リストされている原因により、L2 ネットワーク上で LCP がリスタートされました。

---

### L2.007

レベル: C-INFO

短構文: L2.007 LNS action L2 net *net*

長構文: L2.007 LNS action L2 network *net*

説明: LNS 上の L2 ネットワークを割り振り/解放 (アクション) しました。

---

### L2.008

レベル: P\_TRACE

短構文: L2.008 Call Make AVPtype AVP,attr=*attributeNo*,val= *value*,len= *length*,flag= *flags*

長構文: L2.008 Call Make AVPtype AVP,attr=*attributeNo*,val= *value*,len= *length*,flag= *flags*

説明: コールは、指定された属性をもつ AVP を作成しています。値 0 は、その値が長過ぎてメッセージに表示できないことを示します。

---

### L2.009

レベル: P\_TRACE

短構文: L2.009 Call Rcv AVPtype AVP,attr=*attributeNo*,val= *value*,len= *length*,flag= *flags*

長構文: L2.009 Call Rcv AVPtype AVP,attr=*attributeNo*,value= *value*,len= *length*,flags= *flags*

説明: コールは、指定された属性をもつ AVP を受信しています。値 0 は、その値が長過ぎてメッセージに



表示できないか、ローカルでサポートされないことを示します。

---

#### L2.010

レベル: C\_TRACE

短構文: L2.010 Start Call LAC net *net*,speed=*speed*,btype= *bearer*,frame= *framing*,auth= *proxy\_auth*

長構文: L2.010 Start Call LAC net *net*,speed=*speed*,btype= *bearer*,ftype= *framing*,auth= *proxy\_auth*

説明: LAC から FSM のコールを開始しています。リストされているパラメーターは、速度 (ビット/秒)、ベアラー・タイプ、フレーム・タイプ、およびプロキシー認証タイプです。

---

#### L2.011

レベル: C\_TRACE

短構文: L2.011 Stopping Call id= *callid*, net *net* int /

長構文: L2.011 Stopping Call id= *callid*, net *net* int /

説明: コールを停止しています。

---

#### L2.012

レベル: C-INFO

短構文: L2.012 Local Term net *net*

長構文: L2.012 Local Terminate L2 network *net*

説明: ローカル終了は、安全な切り離し、または何らかの理由での物理的なダウン事象を意味しています。

---

#### L2.013

レベル: C-INFO

短構文: L2.013 *type* Call *id* State Changed *old* -> *new*

長構文: L2.013 *type* Call *id* State Changed *old* -> *new*

説明: コールの状態が変更されました。

---

#### L2.014

レベル: C\_TRACE

短構文: L2.014 *CallORTunnel* from net *net*

長構文: L2.014 *CallORTunnel* from net *net*

説明: これは L2 システムへの入り口です。コールを開始しています (トンネルも開始する必要がある可能性があります)。

---

#### L2.015

レベル: C\_TRACE

短構文: L2.015 Call Established- *Type*,net= *net*,speed=*speed*,flags= *sendFlags*

長構文: L2.015 Call Established- *Type*,net= *net*,speed=*speed*,flags= *sendFlags*

説明: FSM のコールが確立状態に達しました。

---

#### L2.016

レベル: C\_TRACE

短構文: L2.016 Forcing intial CHAP challenge

長構文: L2.016 Forcing intial CHAP challenge

説明: ピアはプロキシー CHAP を送信しましたが、ユーザーはセキュリティー上の理由から、初期 CHAP 再チャレンジを強制するように構成しました。

---

#### L2.017

レベル: C\_TRACE

短構文: L2.017 Using Proxy- *authType* AUTH on net *net*

長構文: L2.017 Using Proxy- *authType* AUTH on net *net*

説明: LNS は、ピアから示されたプロキシー認証タイプを受け入れています。

---

#### L2.018

レベル: C\_TRACE

短構文: L2.018 Aborting Call, callid= *callid*, net= *net*

長構文: L2.018 Aborting Call, callid= *callid*, net= *net*

説明: コールを強制終了しています。

---

#### L2.019

レベル: C\_TRACE

短構文: L2.019 Cleaning up *type* Call id= *callid*

長構文: L2.019 Cleaning up *type* Call id= *callid*

説明: コールの構造と状態を終結処理しています。

---

#### L2.020

レベル: P\_TRACE

短構文: L2.020 RCV *type*, callid= *callid*, net= *net*

長構文: L2.020 RCV *type*, callid= *callid*, net= *net*

説明: 示されているコール制御メッセージを受信します。資源の状態の場合は、ネットは 0 です。

---

#### L2.021

レベル: P\_TRACE

短構文: L2.021 SEND *type*, callid= *callid*, net= *net*

長構文: L2.021 SEND *type*, callid= *callid*, net= *net*

説明: 示されているコール制御メッセージを送信します。資源の状態の場合は、ネットは 0 です。

---

#### L2.022

レベル: P\_TRACE

短構文: L2.022 *protocol* PAYLOAD RCVD *bytes* bytes, net *net*, callid= *cid*

長構文: L2.022 *protocol* PAYLOAD RCVD *bytes* bytes, net *net*, callid= *cid*

説明: LAC/LNS または PAC/PNS 上で PAYLOAD パケットを受信しました。

---

#### L2.023

レベル: P\_TRACE

短構文: L2.023 Send *type* Zero Len Body (ZLB), tid= *tid*, cid= *cid*

長構文: L2.023 Send *type* Zero Len Body (ZLB), tid= *tid*, cid= *cid*

説明: ACK のために ZLB をピアに送信しようとしています。

---

#### L2.024

レベル: P\_TRACE

短構文: L2.024 *protocol* PAYLOAD SEND *byte* bytes, net= *net*, callid= *cid*

長構文: L2.024 *protocol* PAYLOAD SEND *byte* bytes, net= *net*, callid= *cid*

説明: L2TP/PPTP ペイロードを送信します。

---

#### L2.025

レベル: P\_TRACE

短構文: L2.025 LNS Rcvd Proxy-Lcp *type* updating *local\_remote*

長構文: L2.025 LNS Rcvd Proxy-Lcp *type* updating *local\_remote*

説明: LNS は LAC から proxy-lcp を受信しました。

---

#### L2.026

レベル: P\_TRACE

短構文: L2.026 LNS Forcing LCP MRU= *mru*

長構文: L2.026 LNS Forcing LCP MRU= *mru*

説明: LNS は LAC からの proxy-mru を処理しています。

---

#### L2.027

レベル: P\_TRACE

短構文: L2.027 LNS Forcing LCP ACCM= *accm*

長構文: L2.027 LNS Forcing LCP ACCM= *accm*

説明: LNS は LAC からの proxy-accm を処理しています。

---

#### L2.028

レベル: P\_TRACE

短構文: L2.028 LNS Forcing LCP Auth= *auth\_type*

長構文: L2.028 LNS Forcing LCP Auth= *auth\_type*

説明: LNS は LAC からの proxy-lcp 認証を処理しています。

---

#### L2.029

レベル: P\_TRACE

短構文: L2.029 LNS Forcing LCP Magic Number= *auth\_type*

長構文: L2.029 LNS Forcing LCP Magic Number= *auth\_type*

説明: LNS は LAC からの proxy-magic-number を処理しています。

---

#### L2.030

レベル: P\_TRACE

短構文: L2.030 LNS Forcing LCP option *option*

長構文: L2.030 LNS Forcing LCP option *option*

説明: LNS は LAC からの proxy-lcp オプションを処理しています。

---

#### L2.031

レベル: P\_TRACE

短構文: L2.031 LNS Forcing LCP Quality prot= *prot*, period= *period*

長構文: L2.031 LNS Forcing LCP Quality prot= *prot*,  
period= *period*

説明: LNS は LAC からの proxy-lcp 品質を処理しています。

---

### L2.032

レベル: P\_TRACE

短構文: L2.032 LNS Forcing LCP MRRU= *MRRU*

長構文: L2.032 LNS Forcing LCP MRRU= *MRRU*

説明: LNS は LAC からの proxy-mrru を処理しています。

---

### L2.033

レベル: P\_TRACE

短構文: L2.033 LNS Forcing LCP Endpt Disc cls=  
*class*, addr= *address*

長構文: L2.033 LNS Forcing LCP Endpt Disc cls=  
*class*, addr= *address*

説明: LNS は LAC からの proxy-endpt-discriminator を処理しています。

---

### L2.034

レベル: P\_TRACE

短構文: L2.034 LNS Forcing LCP Link-Discriminator=  
*ld*

長構文: L2.034 LNS Forcing LCP Link-Discriminator=  
*ld*

説明: LNS は LAC からの proxy-link-discriminator を処理しています。

---

### L2.035

レベル: P\_TRACE

短構文: L2.035 Tunnel Auth Create type, Tid= *tid/ len*,  
Len=

長構文: L2.035 Tunnel Auth Create type, Tid= *tid/ len*,  
Len=

説明: トンネル認証 AVP を作成しています。

---

### L2.036

レベル: P\_TRACE

短構文: L2.036 Create Result Code AVP:rslt=  
*result*,err= *error*

長構文: L2.036 Create Result Code AVP:rslt=  
*result*,err= *error*

説明: 結果コード AVP を作成しています。

---

### L2.037

レベル: C\_INFO

短構文: L2.037 l2tp\_conf init L2-tunneling maxcalls=  
*maxcalls* maxtunnels= *maxtunnels*

長構文: L2.037 l2tp\_conf init L2-tunneling maxcalls=  
*maxcalls* maxtunnels= *maxtunnels*

説明: レイヤー 2 トンネル伝送の初期化を行なっています。

---

### L2.038

レベル: CE\_ERROR

短構文: L2.038 PPP Discard packet - setting up tunnel,  
net *net*

長構文: L2.038 PPP Discard packet - setting up tunnel,  
net *net*

説明: トンネル/コールが確立されていないため、クライアントからの PPP パケットを廃棄しています。

---

### L2.039

レベル: C\_INFO

短構文: L2.039 NOTE: *note\_msg*

長構文: L2.039 NOTE: *note\_msg*

説明: 一般的な注釈

---

### L2.040

レベル: P\_TRACE

短構文: L2.040 RCV protocol:F= *flags*,L= *length*,Tid=  
*tunnelid*,Cid= *callid*,NS= *ns*,NR= *nr*,O= *offset*

長構文: L2.040 RCV protocol:F= *flags*,L= *length*,Tid=  
*tunnelid*,Cid= *callid*,NS= *ns*,NR= *nr*,O= *offset*

説明: レイヤー 2 トンネル伝送コンポーネントが、トンネル伝送されたパケットを受信しました。表示されたフィールドのいくつかを受信していない可能性があるので注意が必要です。"flags" マスクを使用して、受信したフィールドを見つけてください。

---

**L2.041**

レベル: P\_TRACE

短構文: L2.041 SND *protocol*:F= *flags*,L= *length*,Tid= *tunnelid*,Cid= *callid*,NS= *ns*,NR= *nr*,O= *offset*

長構文: L2.041 SND *protocol*:F= *flags*,L= *length*,Tid= *tunnelid*,Cid= *callid*,NS= *ns*,NR= *nr*,O= *offset*

説明: レイヤー 2 トンネル伝送コンポーネントが、トンネル伝送されたパケットを送信しています。表示されたフィールドの一部のものが送信されていない可能性があるため、注意が必要です。"flags" マスクを使用して、どのフィールドが送信されたのかを確認してください。

---

**L2.042**

レベル: P\_TRACE

短構文: L2.042 Rcvd pkt udp\_len= *WUDP\_LEN*,  
L2\_len= *L2\_LEN*

長構文: L2.042 Rcvd pkt udp\_len= *WUDP\_LEN*,  
L2\_len= *L2\_LEN*

説明: UDP パケットの長さが、L2 パケットの長さに一致していません。

---

**L2.043**

レベル: P\_TRACE

短構文: L2.043 RCV *type* Zero Len Body (ZLB), tid=  
*tid*,cid= *cid*

長構文: L2.043 RCV *type* Zero Len Body (ZLB), tid=  
*tid*,cid= *cid*

説明: ピアから ZLB を受信しました。

---

**L2.044**

レベル: C\_INFO

短構文: L2.044 Allocating UDP port *port* for tunnelid=  
*tid*

長構文: L2.044 Allocating UDP port *port* for tunnelid=  
*tid*

説明: トンネル用の UDP 発信元ポートを割り振りました。

---

**L2.045**

レベル: P\_TRACE

短構文: L2.045 *packet* Pkt Queued for delayed *type*  
XMT, id= *id*

長構文: L2.045 *packet* Pkt Queued for delayed *type*  
XMT, id= *id*

説明: レイヤー 2 トンネル伝送システムがビジー (xmt ウィンドウが満ぱい) であるため、このパケットは送信を遅らせるために待ち行列に入れられました。

---

**L2.046**

レベル: C\_INFO

短構文: L2.046 Clearing callid= *callid*, tunnelid=  
*tunnelid*

長構文: L2.046 Clearing callid= *callid*, tunnelid=  
*tunnelid*

説明: コールを解放しています。

---

**L2.047**

レベル: C-INFO

短構文: L2.047 Tunnel *tid*/ *peer-tid* State Changed *old*  
-> *new*

長構文: L2.047 Tunnel *tid*/ *peer-tid* State Changed *old*  
-> *new*

説明: コールの状態が変更されました。

---

**L2.048**

レベル: P\_TRACE

短構文: L2.048 RCV *type*, tid= *tid*/ *peer-tid*

長構文: L2.048 RCV *type*, tid= *tid*/ *peer-tid*

説明: 示されているトンネル制御メッセージを受信します。

---

**L2.049**

レベル: P\_TRACE

短構文: L2.049 SEND *type*, tid= *tid*/ *peer-tid*

長構文: L2.049 SEND *type*, tid= *tid*/ *peer-tid*

説明: 示されているトンネル制御メッセージを送信します。

---

**L2.050**

レベル: C\_INFO

短構文: L2.050 EVENT *event*,tid= *tunnelid*/ *peerid*,state=  
*state*

長構文: L2.050 EVENT *event*,tid= *tunnelid*/ *peerid*,state=  
*state*

説明: トンネル発信側/受信側の事象

---

### L2.051

レベル: C\_INFO

短構文: L2.051 Cleaning up tunnelid *tid*/ *peerid*

長構文: L2.051 Cleaning up tunnelid *tid*/ *peerid*

説明: トンネルを終結処理しています。

---

### L2.052

レベル: C\_INFO

短構文: L2.052 Tunnel *tid*/ *peer-tid* has *seconds* seconds to establish itself

長構文: L2.052 Tunnel *tid*/ *peer-tid* has *seconds* seconds to establish itself

説明: <seconds> 秒後に確立されない場合、トンネルはダウンにされます。

---

### L2.053

レベル: C\_INFO

短構文: L2.053 *tid*/ *peerid* will shutdown in *seconds* seconds

長構文: L2.053 *tid*/ *peerid* will shutdown in *seconds* seconds

説明: <seconds> 秒後に、トンネルは遮断されます。

---

### L2.054

レベル: C\_INFO

短構文: L2.054 Assigning tunnel peer *peer*, tid= *IP*/ *address*

長構文: L2.054 Assigning tunnel peer *peer*, tid= *IP*/ *address*

説明: トンネルを割り当てています。

---

### L2.055

レベル: C\_INFO

短構文: L2.055 Delayed Tunnel clean-up tid= *tid*/ *peer-tid*, already doomed

長構文: L2.055 Delayed Tunnel clean-up tid= *tid*/ *peer-tid* already doomed

説明: トンネルの終結処理を遅らせました。

---

### L2.056

レベル: C\_INFO

短構文: L2.056 Call to kill tunnel *tid*/ now, already doomed, die gracefully

長構文: L2.056 Call to kill tunnel *tid*/ now, already doomed, die gracefully

説明: トンネルを強制終了します。

---

### L2.057

レベル: P\_TRACE

短構文: L2.057 Processing Challenge Response from Peer *peer*

長構文: L2.057 Processing Challenge Response from Peer *peer*

説明: チャレンジ・レスポンスを処理します。

---

### L2.058

レベル: P\_TRACE

短構文: L2.058 Peer *Attribute* = *value*

長構文: L2.058 Peer *Attribute* = *value*

説明: トンネル AVP (値は整数) を処理します。

---

### L2.059

レベル: P\_TRACE

短構文: L2.059 Peer *Attribute* = *value*

長構文: L2.059 Peer *Attribute* = *value*

説明: トンネル AVP (値は16進数) を処理します。

---

### L2.060

レベル: P\_TRACE

短構文: L2.060 Peer *Attribute* = *value*

長構文: L2.060 Peer *Attribute* = *value*

説明: トンネル AVP (値は文字列) を処理します。

---

### L2.061

レベル: C\_INFO

短構文: L2.061 unsuccessful result: code= *result*,error= *error* msg=

長構文: L2.061 unsuccessful result: code= *result*,error= *error* msg=

説明: 制御接続開始要求/応答/接続完了の処理の結果

---

#### L2.062

レベル: C\_INFO

短構文: L2.062 *action* all calls on tunnel *tid*

長構文: L2.062 *action* all calls on tunnel *tid*

説明: トンネル上のすべてのコールの強制終了/解放

---

#### L2.063

レベル: P\_TRACE

短構文: L2.063 Retransmit *msgtype* on tunnel *tid* call *cid*

長構文: L2.063 Retransmit *msgtype* on tunnel *tid* call *cid*

説明: ACK 待機のタイムアウト後に、パケットを再送しています。

---

#### L2.064

レベル: CE\_ERROR

短構文: L2.064 Timeout waiting for ACK call *cid*

長構文: L2.064 Timeout waiting for ACK call *cid*

説明: ACK タイムアウト

---

#### L2.065

レベル: CE\_ERROR

短構文: L2.065 Declaring LOST pkt on call *cid*

長構文: L2.065 Declaring LOST pkt on call *cid*

説明: 損失パケットを宣言します。

---

#### L2.066

レベル: CE\_ERROR

短構文: L2.066 Tunnel Retransmit limit exceeded - killing tunnel *tid*

長構文: L2.066 Tunnel Retransmit limit exceeded - killing tunnel *tid*

説明: トンネル再送が最大

---

#### L2.067

レベル: C\_INFO

短構文: L2.067 Result Code Rx code= *result\_code* error= *error\_code* msg= *message*

長構文: L2.067 Result Code Rx code= *result\_code* error= *error\_code* msg= *message*

説明: 結果コードを受信しました。

---

#### L2.068

レベル: C\_INFO

短構文: L2.068 L2TPSEC: Processing Encoded Key AVP *a b c d e f g h i j k l m n o p*

長構文: L2.068 L2TPSEC: Processing Encoded Key AVP *a b c d e f g h i j k l m n o p*

説明: l2tpsec 符号化キー AVP

---

#### L2.069

レベル: C\_INFO

短構文: L2.069 L2TPSEC: Decoded Key: *a b c d e f g h i j k l m n o p*

長構文: L2.069 L2TPSEC: Decoded Key: *a b c d e f g h i j k l m n o p*

説明: l2tpsec 符号化キー AVP

---

#### L2.070

レベル: C\_INFO

短構文: L2.070 L2TPSEC: Create Encoded Key AVP *a b c d e f g h i j k l m n o p*

長構文: L2.070 L2TPSEC: Create Encoded Key AVP *a b c d e f g h i j k l m n o p*

説明: l2tpsec 符号化キー AVP

---

#### L2.071

レベル: C\_INFO

短構文: L2.071 L2TPSEC: Actual Key is: *a b c d e f g h i j k l m n o p*

長構文: L2.071 L2TPSEC: Actual Key is: *a b c d e f g h i j k l m n o p*

説明: l2tpsec 符号化キー AVP

---

#### L2.072

レベル: C\_INFO

短構文: L2.072 RESET: R Bit rcvd - clear ns= *ns* thru mynr= *nr*

長構文: L2.072 RESET: R Bit rcvd - clear ns= *ns* thru mynr= *nr*



説明: ピアから R ビットを受信しました。

---

#### L2.073

レベル: C\_INFO

短構文: L2.073 *type* Originate Tunnel to peer *peer*

長構文: L2.073 *type* Originate Tunnel to peer *peer*

説明: トンネル・セッションを開始しています。

---

#### L2.074

レベル: C\_INFO

短構文: L2.074 Upcall from AAA subsystem, request *status*

長構文: L2.074 Upcall from AAA subsystem, request *status*

説明: AAA (RADIUS/ローカル・リスト) からのアップコールの結果の出力

---

#### L2.075

レベル: C\_INFO

短構文: L2.075 Idle Timer Expired - Net *net*

長構文: L2.075 Idle Timer Expired - Net *net*

説明: アイドル・タイムアウトのために、デマンド回線がダウンになります。

---

#### L2.076

レベル: C\_INFO

短構文: L2.076 Fixed Outbound L2 circuit - initiate call Nt *net*

長構文: L2.076 Fixed Outbound L2 circuit - initiate call Nt *net*

説明: 固定回線が自己テストを実行中 - コールを開始

---

#### L2.077

レベル: C\_INFO

短構文: L2.077 Demand Outbound L2 circuit - n\_up Nt *net*

長構文: L2.077 Demand Outbound L2 circuit - n\_up Nt *net*

説明: デマンド回線が自己テストを実行中 - プロトコルを起動

---

#### L2.078

レベル: C\_INFO

短構文: L2.078 *protocol callid/ peer\_callid* EVENT *event,state= state*

長構文: L2.078 *protocol callid/ peer\_callid* EVENT *event,state= state*

説明: PPTP/L2F セッション事象

---

#### L2.079

レベル: C-INFO

短構文: L2.079 AVAILABLE

長構文: L2.079 AVAILABLE

説明: AVAILABLE (利用可能)

---

#### L2.080

レベル: P-TRACE

短構文: L2.080 PPTP Send *messageType*, tid=*tunnelid,cid= callid*

長構文: L2.080 PPTP Send *messageType*, tid=*tunnelid,cid= callid*

説明: PPTP はコール制御メッセージを送信します。

---

#### L2.081

レベル: P-TRACE

短構文: L2.081 PPTP Rcv *messageType*, tid=*tunnelid,cid= callid*

長構文: L2.081 PPTP Rcv *messageType*, tid=*tunnelid,cid= callid*

説明: PPTP はコール制御メッセージを受信します。

---

#### L2.082

レベル: P-TRACE

短構文: L2.082 ICRQ: serial num= *sn*, bearer

長構文: L2.082 ICRQ: serial num= *sn*, bearer

説明: PPTP は、コール通し番号の値を指定して着信コール・リクエストを受信します ...

---

#### L2.083

レベル: C-INFO

短構文: L2.083 PPTP Tunnel *id* State Changed -> *newstate*

長構文: L2.083 PPTP Tunnel *id* State Changed ->  
*newstate*

説明: PPTP トンネル状態が変更されました。

---

#### L2.084

レベル: C-INFO

短構文: L2.084 PPTP Tunnel *id/ peer\_id* EVENT  
*event,state= state*

長構文: L2.084 PPTP Tunnel *id/ peer\_id* EVENT  
*event,state= state*

説明: PPTP トンネル事象

---

#### L2.085

レベル: P-TRACE

短構文: L2.085 Rcv PPTP Start-Control-Conn-Req from  
host *remote\_hostname*

長構文: L2.085 Rcv PPTP Start-Control-Conn-Req from  
host *remote\_hostname*

説明: ピアから PPTP 開始制御接続要求を受信しまし  
た。

---

#### L2.086

レベル: P-TRACE

短構文: L2.086 Rcv PPTP Stop-Control-Conn-Req  
*reason reason*

長構文: L2.086 Rcv PPTP Stop-Control-Conn-Req  
*reason reason*

説明: ピアから PPTP 停止制御接続要求を受信しまし  
た。

---

#### L2.087

レベル: P-TRACE

短構文: L2.087 Rcv PPTP Echo-Req *id id*

長構文: L2.087 Rcv PPTP Echo-Req *id id*

説明: PPTP エコー要求を受信しました。

---

#### L2.088

レベル: C\_INFO

短構文: L2.088 Generr in *Function: errorcode*

長構文: L2.088 General error in *Function* with error  
code of *errorcode*

説明: 制御交換時に一般エラーが発生しました。

---

#### L2.089

レベル: C\_INFO

短構文: L2.089 Conn close in *Function: errorcode*

長構文: L2.089 Connection being closed in *Function*  
due to error: *errorcode*

説明: ソケット・エラーが発生し、エラー・コードに  
よってエラーが次のように表示されます。50 ネットワ  
ークがダウン 51 ネットワークに到達不可能 52 リセッ  
ト時にネットワークが接続を廃棄\* 53 ソフトウェアが  
原因で接続を打ち切り 54 ピアが接続をリセット 55 バ  
ッファ・スペースが利用可能 56 ソケットがすでに接  
続されている 57 ソケットが接続されていない 58 ソケ  
ットのシャットダウン後に送信できない 59 参照が多過  
ぎて、接続できない 60 接続が経過時間切れ 61 接続が  
リジェクトされた 62 記号リンクのレベルが多過ぎる  
63 ファイル名が長過ぎる 64 ホストがダウン 65 ホス  
トへの経路がない 66 ディレクトリが空

---

#### L2.090

レベル: P-TRACE

短構文: L2.090 Rcv PPTP Start-CC-Reply from host  
*remote\_hostname,result/error result/ error*

長構文: L2.090 Rcv PPTP Start-CC-Reply from host  
*remote\_hostname,result/error result/ error*

説明: ピアから PPTP 開始制御接続応答を受信しまし  
た。結果コード: 1 - チャネルが正常に確立されました  
2 - 一般エラー -- エラー・コードが問題を示していま  
す 3 - コマンド・チャネルがすでに存在しています 4 -  
リクエストはコマンド・チャネルを確立するには  
許可されていません 5 - リクエストのプロトコル版番  
号はサポートされていません

---

#### L2.091

レベル: P-TRACE

短構文: L2.091 Rcv PPTP OutCall-Reply from host  
*remote\_hostname,result/error result/ error*

長構文: L2.091 Rcv PPTP OutCall-Reply from host  
*remote\_hostname,result/error result/ error*

説明: ピアから PPTP 発信コール応答を受信しまし  
た。結果コード: 1 - 正常な接続 2 - 一般エラー -- エ  
ラー・コードが問題を示しています 3 - 搬送波がありま  
せん 4 - 使用中 5 - ダイヤル音がしません 5 - タイム  
アウト 5 - 受け入れません

---

**L2.092**

レベル: C-INFO

短構文: L2.092 PPTP Tunnel *id/ peer\_id* Send *msg\_type*

長構文: L2.092 PPTP Tunnel *id/ peer\_id* Send *msg\_type*

説明: PPTP トンネルが制御メッセージを送信しました。

---

**L2.093**

レベル: C-INFO

短構文: L2.093 PPTP Session *id/ peer\_id* Send *msg\_type*

長構文: L2.093 PPTP Session *id/ peer\_id* Send *msg\_type*

説明: PPTP セッションが制御メッセージを送信しました。

---

**L2.094**

レベル: P-TRACE

短構文: L2.094 Rcv PPTP InCall-Reply from host *remote\_hostname,result/error result/ error*

長構文: L2.094 Rcv PPTP InCall-Reply from host *remote\_hostname,result/error result/ error*

説明: ピアから PPTP 着信コール応答を受信しました。結果コード: 1 - 正常な接続 2 - 一般エラー -- エラー・コードが問題を示しています 3 - コールを受け入れません

---

**L2.095**

レベル: C\_TRACE

短構文: L2.095 L2F Call Opened- *Type,net= net*

長構文: L2.095 L2F Call Opened- *Type,net= net*

説明: L2F コール FSM が OPENED 状態に達しました。

---

**L2.096**

レベル: P\_TRACE

短構文: L2.096 SEND client *type, cid= cid tid= peer-cid*

長構文: L2.096 SEND client *type, cid= cid tid= peer-cid*

説明: 示されたクライアント制御メッセージを送信します。

---

**604** ELS メッセージの手引き

---

**L2.097**

レベル: P\_TRACE

短構文: L2.097 RCV *protocol/ L2F\_proto:F= flags,L= length,Tid= tunnelid,Cid= callid,NS= ns,O= offset*

長構文: L2.097 RCV *protocol/ L2F\_proto:F= flags,L= length,Tid= tunnelid,Cid= callid,NS= ns,O= offset*

説明: レイヤー 2 トンネル伝送コンポーネントが、トンネル伝送されたパケットを受信しました。表示されたフィールドのいくつかを受信していない可能性があるので注意が必要です。"flags" マスクを使用して、受信したフィールドを見つけてください。

---

**L2.098**

レベル: P\_TRACE

短構文: L2.098 SND *protocol/ L2F\_proto:F= flags,L= length,Tid= tunnelid,Cid= callid,NS= ns,O= offset*

長構文: L2.098 SND *protocol/ L2F\_proto:F= flags,L= length,Tid= tunnelid,Cid= callid,NS= ns,O= offset*

説明: レイヤー 2 トンネル伝送コンポーネントが、トンネル伝送されたパケットを送信しています。表示されたフィールドの一部のものが送信されていない可能性があるため注意が必要です。"flags" マスクを使用して、どのフィールドが送信されたのかを確認してください。

---

**L2.099**

レベル: UE-ERROR

短構文: L2.099 Multi L2 Tunnel - discard nt *netum*

長構文: L2.099 Multiple L2 tunnel - discard network *netum*

説明: 別のレイヤー 2 トンネルでトンネル伝送されるレイヤー 2 トンネルはサポートしていません。

原因: L2 に渡されているパケットは、すでに L2 トンネルを使ってカプセル化されています。

処置: L2 またはルーティング・プロトコルを再構成して、トンネル伝送が再帰される際にトラフィックが引っ掛からないようにしてください。

---

**L2.100**

レベル: UE-ERROR

短構文: L2.100 Process *type L2F\_CLOSE code= code*

長構文: L2.100 Process *type L2F\_CLOSE code= code*

説明: ピアから L2F\_CLOSE を、次のビット・マスク・エラー・コードで受信しました。0x00000001 認証

が失敗しました 0x00000002 資源が不足しています  
0x00000004 管理介入 0x00000008 ユーザー割り当て量  
を超過しました 0x00000010 プロトコル・エラー  
0x00000020 認識不能のユーザー 0x00000040 正しくな  
いパスワード 0x00000080 PPP 構成が非互換  
0x00000100 誤った多重リンク PPP あて先 0xFF000001  
トンネル上でアップ状態のコールがありません

---

### L2.101

レベル: UI\_ERROR

短構文: L2.101 Err: no remote hostname on Out/Both  
nt *net*

長構文: L2.101 Error: Outbound/Both net *net* without  
remote hostname

説明: L2 ネットは、接続方向がアウトバウンドまたは  
両方として構成されており、相手側のホスト名を指定し  
て構成されていません。

処置: L2 ネットをインバウンドとして再構成するか、  
相手側のホスト名を構成します。

---

### L2.102

レベル: UE-ERROR

短構文: L2.102 L2 packet(s) lost in transit tid= *tid* cid=  
*cid* new nr= *nr*

長構文: L2.102 L2 packet(s) lost in transit tid= *tid* cid=  
*cid* new nr= *nr*

説明: 転送中にパケットが失われました - これはロス  
の多いネットワークでは普通の状態です。



---

## 第70章 LCS バーチャル・ネットワーク・インターフェース (LCS)

この章では、LCS バーチャル・ネットワーク・インターフェース (LCS) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### LCS.001

レベル: P-TRACE

短構文: LCS.001 brd rcv unkwn typ *packet\_type*  
*source\_Ethernet\_address* -> *destination\_Ethernet\_address*  
nt network

長構文: LCS.001 broadcast packet received with  
unknown Ethernet type *packet\_type* from host  
*source\_Ethernet\_address* to *destination\_Ethernet\_address*  
network network

説明: 同報通信パケットを受信しましたが、イーサネット・タイプ・フィールドが不明であるか、サポートされていません。

---

### LCS.002

レベル: UE-ERROR

短構文: LCS.002 rcv unkwn typ *packet\_type*  
*source\_Ethernet\_address* -> *destination\_Ethernet\_address*  
nt network

長構文: LCS.002 packet received with unknown  
Ethernet type field *packet\_type* from  
*source\_Ethernet\_address* to *destination\_Ethernet\_address*  
network network

説明: 非同報通信パケットを受信しましたが、イーサネット・タイプ・フィールドが不明であるか、サポートされていません。

---

### LCS.003

レベル: P-TRACE

短構文: LCS.003 brd 802.3 bd ln *actual\_length*  
*claimed\_length* *source\_Ethernet\_address* ->  
*destination\_Ethernet\_address* nt network

長構文: LCS.003 broadcast packet received with a bad  
802.3 length field actual *actual\_length* claimed  
*claimed\_length* from *source\_Ethernet\_address* to  
*destination\_Ethernet\_address* network network

説明: タイプ・フィールド 802.3 を示す同報通信パケットを受信しましたが、802.3 ヘッダーに示されている

データ長より短くなっていました。

---

### LCS.004

レベル: UE-ERROR

短構文: LCS.004 802.3 bd ln *actual\_length*  
*claimed\_length* *source\_Ethernet\_address* ->  
*destination\_Ethernet\_address* nt network

長構文: LCS.004 packet received with a bad 802.3  
length field actual *actual\_length* claimed *claimed\_length*  
from *source\_Ethernet\_address* to  
*destination\_Ethernet\_address* network network

説明: タイプ・フィールド 802.3 を示す非同報通信パケットを受信しましたが、802.3 ヘッダーに示されているデータ長より短くなっていました。

---

### LCS.005

レベル: UI\_ERROR

短構文: LCS.005 MAC frm typ *mac\_frametype* unex  
from *hardware\_address* nt network

長構文: LCS.005 MAC frame type *mac\_frametype*  
unexpected from *hardware\_address* network network

説明: ハンドラーが、予期しないフレーム・タイプをもつフレームを受信しました。

---

### LCS.006

レベル: C-INFO

短構文: LCS.006 LLC unk SAP *DSAP*  
*source\_Ethernet\_address* -> *destination\_Ethernet\_address*  
nt network

長構文: LCS.006 802.2 LLC packet received with  
unknown DSAP *DSAP* from host *source\_Ethernet\_address*  
to *destination\_Ethernet\_address* network network

説明: ネットワークから 802.2 LLC パケットを受信しましたが、非アクティブの（認識できない）DSAP をもっています。



---

**LCS.012**

レベル: ALWAYS

短構文: LCS.012 LCS Eth nt *network* set to *eth\_vers*

長構文: LCS.012 LCS Ethernet network *network* set to Ethernet *eth\_vers*

説明: 示されている形式の ARP フレームを受信しました。LCS ネットは、示されているイーサネット・バージョンを使用して稼働するよう設定されています。

---

**LCS.013**

レベル: UE-ERROR

短構文: LCS.013 ARP rcv bd hdw type on nt *network* *rec\_hdw\_type* *exp\_hdw\_type* *rec\_hdw\_len* *exp\_hdw\_len*

長構文: LCS.013 ARP packet received with bad hardware information on network *network*: type received *rec\_hdw\_type* expected *exp\_hdw\_type*, length received *rec\_hdw\_len* expected *exp\_hdw\_len*

説明: ARP パケットを受信しましたが、ハードウェア・タイプとハードウェア長さのいずれかが、予想されていたものに合致しませんでした。

---

**LCS.014**

レベル: UE-ERROR

短構文: LCS.014 ARP rcv bd prot type on nt *network* *rec\_prot\_type* *exp\_prot\_type* *rec\_prot\_len* *exp\_prot\_len*

長構文: LCS.014 ARP packet received with bad protocol information on network *network*: type received *rec\_prot\_type* expected *exp\_prot\_type*, length received *rec\_prot\_len* expected *exp\_prot\_len*

説明: ARP パケットを受信しましたが、プロトコル・タイプとプロトコル長さのいずれかが、予想されていたものに合致しませんでした。

---

**LCS.015**

レベル: UE-ERROR

短構文: LCS.015 ARP rcv bd dest addr *dest\_address* not *local\_addr* on nt *network*

長構文: LCS.015 ARP packet received for destination address *dest\_address* not *local\_addr* on network *network*

説明: ARP パケットを受信しましたが、あて先 IP アドレスがローカル IP アドレスに合致しませんでした。

---

**LCS.016**

レベル: UE-ERROR

短構文: LCS.016 ARP rcv bd type *arp\_type* on nt *network*

長構文: LCS.016 ARP packet received with unknown type *arp\_type* on network *network*

説明: ARP パケットを受信しましたが、ARP 要求ではありませんでした。

---

**LCS.017**

レベル: UI-ERROR

短構文: LCS.017 LCS frm rcvd when net not op on nt *network*

長構文: LCS.017 LCS frame received when network *network* is not operational

説明: LCS フレームを受信しましたが、そのとき、ネットワークは入力では使用可能になっていませんでした。

---

**LCS.018**

レベル: P-TRACE

短構文: LCS.018 ARP rsp sent on nt *network*

長構文: LCS.018 An ARP response was sent to the host on network *network*

説明: ARP 応答が送信されました。

---

**LCS.019**

レベル: P-TRACE

短構文: LCS.019 Eth frm rcvd on nt *network*

長構文: LCS.019 An Ethernet frame was received on network *network*

説明: イーサネット・フレームを受信しました。

---

**LCS.020**

レベル: P-TRACE

短構文: LCS.020 Tok frm rcvd on nt *network*

長構文: LCS.020 A Token-Ring frame was received on network *network*

説明: トークンリング・フレームを受信しました。

---

---

**LCS.021**

レベル: C-INFO

短構文: LCS.021 nt *network* set to IP *IP\_address*

長構文: LCS.021 network *network* set to IP address *IP\_address*

説明: ネット・ハンドラーは IP アドレスに設定されています。

---

**LCS.022**

レベル: P-TRACE

短構文: LCS.022 IP frm sent on nt *network*

長構文: LCS.022 An IP frame was sent on network *network*

説明: IP フレームが送信されました。

---

**LCS.023**

レベル: P-TRACE

短構文: LCS.023 FDDI frame rcvd on nt *network*

長構文: LCS.023 An FDDI frame was received on network *network*

説明: FDDI フレームを受信しました。

---

**LCS.024**

レベル: C-INFO

短構文: LCS.024 nt *network* IP addr *IP\_address* removed

長構文: LCS.024 network *network* IP address *IP\_address* was reset

説明: ネット・ハンドラーの IP アドレスがリセットされました。

---

**LCS.025**

レベル: C-INFO

短構文: LCS.025 nt *network* IP *IP\_address* was ignored

長構文: LCS.025 network *network* IP address *IP\_address* was ignored.

説明: ネット・ハンドラーは現在、ブリッジング用または異なるローカル IPv4 アドレス用に構成されています。IP アドレスは無視されました。

---

---

**LCS.026**

レベル: C-INFO

短構文: LCS.026 nt *network* Bdg port *bridge\_port* was ignored

長構文: LCS.026 network *network* Bridge port number *bridge\_port* was ignored.

説明: ネット・ハンドラーは IP 用に構成されています。ブリッジ・ポート番号は無視されました。

---

**LCS.028**

レベル: C-INFO

短構文: LCS.028 nt *network* IPV6 *IPV6\_address* was ignored

長構文: LCS.028 network *network* IPV6 address *IPV6\_address* was ignored.

説明: ネット・ハンドラーは現在、ブリッジング用または異なるローカル IPv6 アドレス用に構成されています。IPv6 アドレスは無視されました。

---

**LCS.029**

レベル: C-INFO

短構文: LCS.029 nt *network* set to IPV6 *IPV6\_address*

長構文: LCS.029 network *network* IPV6 address *IPV6\_address* was reset

説明: ネット・ハンドラーの IPv6 アドレスがリセットされました。

---

**LCS.030**

レベル: UE-ERROR

短構文: LCS.030 *file( line) command failed: reason* (nt *network*)

長構文: LCS.030 *file( line) command failed: reason* (network *network*)

説明: 何らかのコマンドが失敗しました。

原因: LCS コマンドを受信したが、リジェクトされた。

処置: 理由を調べてください。

原因: ブリッジ・コードから無効なパケットを受信した。

処置: 理由を調べて、ホスト・メッセージを検査してください。

---

---

**LCS.031**

レベル: C-INFO

短構文: LCS.031 LCS net *netnum* rcvd netup from net *lan\_netnum* (nt *network*)

長構文: LCS.031 LCS net *netnum* received netup from net *lan\_netnum* (network *network*)

説明: LCS ネット・ハンドラーが接続ダウンストリーム LAN からネットアップを受信しました。

---

**LCS.032**

レベル: C-INFO

短構文: LCS.032 LCS net *netnum* MAC addr *macaddr* set (nt *network*)

長構文: LCS.032 LCS net *netnum* MAC address set to *macaddr* (network *network*)

説明: LCS ネット・ハンドラーが接続ダウンストリーム LAN からネットアップを受信しました。

---

**LCS.033**

レベル: CI-ERROR

短構文: LCS.033 LCS frame not sent to LAN - rc *rc* (nt *network*)

長構文: LCS.033 LCS frame not sent to LAN - return code *rc* (network *network*)

説明: LCS ネット・ハンドラーは、ダウンストリーム LAN にフレームを送信できませんでした。

---

**LCS.034**

レベル: CI-ERROR

短構文: LCS.034 LCS Error, frame rcvd from wrong LAN, (nt *network*)

長構文: LCS.034 LCS Error, frame received from wrong LAN, (network *network*)

説明: IP フレームまたは ARP フレームが、間違った LAN から受信されました (3172 エミュレーションのみ)。

---

**LCS.035**

レベル: C-INFO

短構文: LCS.035 LCS net *netnum* netdwn by LAN net *lan\_netnum* netdwn (nt *network*)

長構文: LCS.035 LCS net *netnum* went netdown because LAN net *lan\_netnum* went netdown (nt *network*)

説明: ダウンストリーム LAN アダプターがネットダウンしたため、LCS ネット・ハンドラーはネットダウンしました。

---

## 第71章 LAG

この章では、LAG メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### LAG.001

レベル: UI\_ERROR

短構文: LAG.001 nt *net\_num* lacp\_register failed

長構文: LAG.001 LACP Registration failed on network *net\_num*

説明: LACP 登録機能が障害を起こしました。

---

### LAG.002

レベル: C-INFO

短構文: LAG.002 nt *net\_num* netup called

長構文: LAG.002 LAG network *net\_num* up

説明: LAG ネットワークが自己試験に合格し、アップになります。

---

### LAG.003

レベル: C-INFO

短構文: LAG.003 nt *net\_num* netdwn called

長構文: LAG.003 LAG network *net\_num* down

説明: LAG ネットワークは自己試験に不合格になり、ダウンします。

---

### LAG.004

レベル: C-INFO

短構文: LAG.004 nt *net\_num* discarding LAG frame

長構文: LAG.004 nt *net\_num* discarding LAG frame, LAG net is down

説明: LAG ネットワークは自己試験に不合格になり、ダウンします。

---

### LAG.005

レベル: C-INFO

短構文: LAG.005 nt *net\_num* dstrbtng frame onto nt *net\_num*

長構文: LAG.005 nt *net\_num* distributing frame onto network *net\_num*

説明: LAG はネットワーク/ポートにフレームを伝送しています。

---

### LAG.006

レベル: CI-ERROR

短構文: LAG.006 nt *net\_num* get buffer failed in lacp\_transmit

長構文: LAG.006 nt *net\_num* failed to allocate a buffer in lacp\_transmit

説明: IORB 割り振りが失敗しました。

---

### LAG.007

レベル: CI-ERROR

短構文: LAG.007 nt *net\_num* get mem failed in lacp\_register

長構文: LAG.007 nt *net\_num* get memory failed in lacp\_register

説明: IORB 割り振りが失敗しました。

---

### LAG.008

レベル: CI-ERROR

短構文: LAG.008 nt *net\_num* LAG FDDL Registration failed

長構文: LAG.008 nt *net\_num* failed to successfully register with FDDL

説明: IORB 割り振りが失敗しました。

---

### LAG.009

レベル: CI-ERROR

短構文: LAG.009 nt *net\_num* LAG not found

長構文: LAG.009 nt *net\_num* LAG not found

説明: LAG が見付かりません。

---

### LAG.010

レベル: CI-ERROR

短構文: LAG.010 nt *net\_num* get mem failed in lacp\_addlink

長構文: LAG.010 nt *net\_num* get memory failed in *lacp\_addlink*

説明: IORB 割り振りが失敗しました。

---

#### LAG.011

レベル: CI-ERROR

短構文: LAG.011 nt *net\_num* Link not found

長構文: LAG.011 nt *net\_num* Link not found

説明: リンクが見付かりません。

---

#### LAG.012

レベル: CI-ERROR

短構文: LAG.012 nt *net\_num1* Non-LACP msg rcvd on link *net\_num2*. Discarding

長構文: LAG.012 nt *net\_num1* received Non-LACP message on link *net\_num2*. Discarding

説明: LAG リンクで非 LACP メッセージが受信されました。

---

#### LAG.013

レベル: C-INFO

短構文: LAG.013 nt *net\_num1* rcvd LACP frame on Non-agg-ing link *net\_num2*. Discarding

長構文: LAG.013 nt *net\_num1* received LACP frame on Non-aggregating link *net\_num2*. Discarding

説明: LAG リンクで LACP メッセージを非集合状態で受信しました。

---

#### LAG.014

レベル: C-INFO

短構文: LAG.014 nt *net\_num1* LACP Tt timer popped on link *net\_num2*

長構文: LAG.014 nt *net\_num1* LACP Tt timer popped on link *net\_num2*

説明: LACP Tt タイマーがポップしました。

---

#### LAG.015

レベル: C-INFO

短構文: LAG.015 nt *net\_num1* LACP Tk timer popped on link *net\_num2*

長構文: LAG.015 nt *net\_num1* LACP Tk timer popped on link *net\_num2*

説明: LACP Tk タイマーがポップしました。

---

#### LAG.016

レベル: CI-ERROR

短構文: LAG.016 nt *net\_num1* LACP process event re-entered

長構文: LAG.016 nt *net\_num1* LACP process event re-entered

説明: LACP *process\_event()* に再入しました。

---

#### LAG.017

レベル: C-INFO

短構文: LAG.017 nt *net\_num1* LACP match check failed

長構文: LAG.017 nt *net\_num1* LACP match check failed

説明: LACP LACP LAG ID 突き合わせ検査が失敗しました。

---

#### LAG.018

レベル: CI-ERROR

短構文: LAG.018 nt *net\_num1* *lacp\_distribute*, desired link not found

長構文: LAG.018 nt *net\_num1* *lacp\_distribute*, desired link not found

説明: LACP 配布が、突き合わせリンクを見付けられませんでした。

---

#### LAG.019

レベル: DEBUG

短構文: LAG.019 nt *net\_num1* Snding in frm to *eth\_bdg\_in()*

長構文: LAG.019 nt *net\_num1* Sending inbound frame to *eth\_bdg\_in()*

説明: LAG がデータ・フレームをイーサネット・ブリッジに渡していることを示します。

---

#### LAG.020

レベル: CI-ERROR

短構文: LAG.020 nt *net\_num1* Snding in frm to *eth\_in()*

長構文: LAG.020 nt *net\_num1* Sending inbound frame to *eth\_in()*

説明: LAG がルーチンで、データ・フレームをイーサネットに渡していることを示しています。

---

#### LAG.021

レベル: DEBUG

短構文: LAG.021 nt *net\_num1* link *net\_num2* FDDL  
LAG Add called

長構文: LAG.021 nt *net\_num1* link *net\_num2* FDDL  
LAG Add called

説明: FDDL LAG 追加メッセージが送信されました。

---

#### LAG.022

レベル: DEBUG

短構文: LAG.022 nt *net\_num1* link *net\_num2* FDDL  
LAG Delete called

長構文: LAG.022 nt *net\_num1* link *net\_num2* FDDL  
LAG Delete called

説明: FDDL LAG 削除メッセージが送信されました。

---

#### LAG.023

レベル: DEBUG

短構文: LAG.023 nt *net\_num1* FDDL LAG Update  
called

長構文: LAG.023 nt *net\_num1* FDDL LAG Update  
called

説明: FDDL LAG 更新メッセージが送信されました。

---

#### LAG.024

レベル: C-INFO

短構文: LAG.024 nt *net\_num* netdwn called link speed  
mismatch

長構文: LAG.024 LAG network *net\_num* down because  
of link speed mismatch

説明: LAG リンクがすべて、同じリンク速度で稼働して  
いません。

---

#### LAG.025

レベル: CI-ERROR

短構文: LAG.025 nt *net\_num1* HDX link on LAG  
*net\_num2*, intf

長構文: LAG.025 nt *net\_num1* Half-Duplex link on  
LAG *net\_num2*, interface

説明: これは、LAG 内の指定されたリンクは全二重で  
ないことを示しています。

---

#### LAG.026

レベル: CI-ERROR

短構文: LAG.026 nt *net\_num1* Not used

長構文: LAG.026 nt *net\_num1* Not used

説明: 使用されません。

---

#### LAG.027

レベル: CI-ERROR

短構文: LAG.027 nt *net\_num1* Not used

長構文: LAG.027 nt *net\_num1* Not used

説明: 使用されません。

---

#### LAG.028

レベル: CI-ERROR

短構文: LAG.028 nt *net\_num1* Not used

長構文: LAG.028 nt *net\_num1* Not used

説明: 使用されません。

---

#### LAG.029

レベル: CI-ERROR

短構文: LAG.029 nt *net\_num1* Not used

長構文: LAG.029 nt *net\_num1* Not used

説明: 使用されません。

---

#### LAG.030

レベル: DEBUG

短構文: LAG.030 nt *net\_num1* link *net\_num2* E1 + S1  
--> A3/S2

長構文: LAG.030 nt *net\_num1* link *net\_num2* E1 + S1  
--> A3/S2

説明: LACP 状態メッセージ

---

#### LAG.031

レベル: DEBUG

短構文: LAG.031 nt *net\_num1* link *net\_num2* Going  
into INIT\_S state

長構文: LAG.031 nt *net\_num1* link *net\_num2* Going  
into INIT\_S state



説明: LACP 状態メッセージ

---

#### LAG.032

レベル: DEBUG

短構文: LAG.032 nt *net\_num1* link *net\_num2* (S2 || S3) + E7 --> A5/A1/S1

長構文: LAG.032 nt *net\_num1* link *net\_num2* (S2 || S3) + E7 --> A5/A1/S1

説明: LACP 状態メッセージ

---

#### LAG.033

レベル: DEBUG

短構文: LAG.033 nt *net\_num1* link *net\_num2* ((S2 + E3) --> A4/S3) || (S2 + E4 --> S2))

長構文: LAG.033 nt *net\_num1* link *net\_num2* ((S2 + E3) --> A4/S3) || (S2 + E4 --> S2))

説明: LACP 状態メッセージ

---

#### LAG.034

レベル: DEBUG

短構文: LAG.034 nt *net\_num1* link *net\_num2* Going into COLLECTING\_S state

長構文: LAG.034 nt *net\_num1* link *net\_num2* Going into COLLECTING\_S state

説明: LACP 状態メッセージ

---

#### LAG.035

レベル: DEBUG

短構文: LAG.035 nt *net\_num1* link *net\_num2* Match check failed, Expected= *mac1*, Received= *mac2*

長構文: LAG.035 nt *net\_num1* link *net\_num2* Match check failed, Expected= *mac1*, Received= *mac2*

説明: LACP LAG ID 突き合わせ検査が失敗しました。

---

#### LAG.036

レベル: DEBUG

短構文: LAG.036 nt *net\_num1* link *net\_num2* (S3 + E5) --> A2/S3

長構文: LAG.036 nt *net\_num1* link *net\_num2* (S3 + E5) --> A2/S3

説明: LACP 状態メッセージ

---

#### LAG.037

レベル: DEBUG

短構文: LAG.037 nt *net\_num1* link *net\_num2* (S3 + E6) --> A6/A12/A10/S4

長構文: LAG.037 nt *net\_num1* link *net\_num2* (S3 + E6) --> A6/A12/A10/S4

説明: LACP 状態メッセージ

---

#### LAG.038

レベル: DEBUG

短構文: LAG.038 nt *net\_num1* link *net\_num2* Going into FLUSHING\_ADD\_S state

長構文: LAG.038 nt *net\_num1* link *net\_num2* Going into FLUSHING\_ADD\_S state

説明: LACP 状態メッセージ

---

#### LAG.039

レベル: DEBUG

短構文: LAG.039 nt *net\_num1* link *net\_num2* (S3 + E9) --> S2)

長構文: LAG.039 nt *net\_num1* link *net\_num2* (S3 + E9) --> S2)

説明: LACP 状態メッセージ

---

#### LAG.040

レベル: DEBUG

短構文: LAG.040 nt *net\_num1* link *net\_num2* (S4 + E7) --> A12/A1/A11/S1

長構文: LAG.040 nt *net\_num1* link *net\_num2* (S4 + E7) --> A12/A1/A11/S1

説明: LACP 状態メッセージ

---

#### LAG.041

レベル: DEBUG

短構文: LAG.041 nt *net\_num1* link *net\_num2* Going into UP\_S state

長構文: LAG.041 nt *net\_num1* link *net\_num2* Going into UP\_S state

説明: LACP 状態メッセージ

---

---

**LAG.042**

レベル: DEBUG

短構文: LAG.042 nt *net\_num1* link *net\_num2* (S4 + E5  
--> A3/A12/S2)

長構文: LAG.042 nt *net\_num1* link *net\_num2* (S4 + E5  
--> A3/A12/S2)

説明: LACP 状態メッセージ

---

**LAG.043**

レベル: DEBUG

短構文: LAG.043 nt *net\_num1* link *net\_num2*  
((S3||S4||S5||S6) + E8 --> A7/(S3||S4||S5||S6))

長構文: LAG.043 nt *net\_num1* link *net\_num2*  
((S3||S4||S5||S6) + E8 --> A7/(S3||S4||S5||S6))

説明: LACP 状態メッセージ

---

**LAG.044**

レベル: DEBUG

短構文: LAG.044 nt *net\_num1* link *net\_num2* (S4 + E9)  
--> A2/S6

長構文: LAG.044 nt *net\_num1* link *net\_num2* (S4 + E9)  
--> A2/S6

説明: LACP 状態メッセージ

---

**LAG.045**

レベル: DEBUG

短構文: LAG.045 nt *net\_num1* link *net\_num2* (S5 + E9)  
--> A1/S1

長構文: LAG.045 nt *net\_num1* link *net\_num2* (S5 + E9)  
--> A1/S1

説明: LACP 状態メッセージ

---

**LAG.046**

レベル: DEBUG

短構文: LAG.046 nt *net\_num1* link *net\_num2* (S6 + E7)  
--> A6/A12/A11/S5

長構文: LAG.046 nt *net\_num1* link *net\_num2* (S6 + E7)  
--> A6/A12/A11/S5

説明: LACP 状態メッセージ

---

---

**LAG.047**

レベル: DEBUG

短構文: LAG.047 nt *net\_num1* link *net\_num2* Going  
into FLUSHING\_REMOVE\_S state

長構文: LAG.047 nt *net\_num1* link *net\_num2* Going  
into FLUSHING\_REMOVE\_S state

説明: LACP 状態メッセージ

---

**LAG.048**

レベル: DEBUG

短構文: LAG.048 nt *net\_num1* link *net\_num2* (S6 + E5  
--> A3/A11/A12/S2)

長構文: LAG.048 nt *net\_num1* link *net\_num2* (S6 + E5  
--> A3/A11/A12/S2)

説明: LACP 状態メッセージ

---

**LAG.049**

レベル: DEBUG

短構文: LAG.049 nt *net\_num1* link *net\_num2* Going  
into DOWN\_S state

長構文: LAG.049 nt *net\_num1* link *net\_num2* Going  
into DOWN\_S state

説明: LACP 状態メッセージ

---

**Panic plaginitmemfail**

短構文: plaginitmemfail: lag tbl cannot get memory.

説明: LAG ネットの初期化で記憶域を割り振ることが  
できませんでした。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

**Panic plaglinkbadadd**

短構文: plaglinkbadadd: lag link could not be added.

説明: LAG ネット・リンクの初期化が失敗しました。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---



---

## 第72章 論理リンク制御 (LLC) ELS

この章では、論理リンク制御 (LLC) ELS メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### LLC.001

レベル: C-TRACE

短構文: LLC.001 Sent *frame\_type*, *src\_mac*-> *dst\_mac*,  
*rif saps src\_sap*-> *dst\_sap*, *dcli dcli nt network*

長構文: LLC.001 Sent *frame\_type*, *src\_mac*-> *dst\_mac*,  
*rif saps src\_sap*-> *dst\_sap*, *dcli dcli network network*

説明: LLC はフレームを送信中です。使用できるフレーム・タイプは、次のとおりです。SABME\_C0 または SABME\_C1 (拡張非同期平衡モード設定)、DM\_R0 または DM\_R1 (切断モード)、DISC\_C0 または DISC\_C1 (切断)、RR\_C0 または RR\_C1 または RR\_R0 または RR\_R1 (受信可)、RNR\_C0 または RNR\_C1 または RNR\_R0 または RNR\_R1 (受信不可)、REJ\_C0 または REJ\_C1 または REJ\_R0 または REJ\_R1 (リジェクト)、UA\_R0 または UA\_R1 (非番号制確認)、FRMR\_R0 または FRMR\_R1 (フレーム・リジェクト)、および I\_C0 または I\_C1 または I\_R0 または I\_R1 (情報フレーム)。省略形の接尾部は、C0 (コマンド、ポーリング・ビットがオフ)、C1 (コマンド、ポーリング・ビットがオン)、R0 (応答、ファイナル・ビットがオフ)、および R1 (応答、ファイナル・ビットがオン) です。

---

### LLC.002

レベル: C-TRACE

短構文: LLC.002 *ev= llc\_event* in *st= llc\_state*,  
*llc2\_connection*, *dcli dcli*, *nt network*

長構文: LLC.002 *event= llc\_event* in *state= llc\_state*,  
*llc2\_connection*, *dcli dcli*, *network network*

説明: LLC2 接続で事象が発生しました。LLC2 FSM (有限状態管理機構) が事象処理のためにコールされました。LLC2 接続は、特定ネットワーク上のあて先 MAC アドレス、発信元 MAC アドレス、あて先 SAP、および発信元 SAP の組み合わせによって固有に識別されます。考えられる事象は次のとおりです。SET\_ABME (リモートへ接続するためのユーザー要求)、SET\_ADM (リモートから切断するためのユーザー要求)、SEND\_BTU (データを送信するためのユーザー要求)、FLOW\_REQ\_ON (ローカル・ビジー条件をオフにするためのユーザー要求)、FLOW\_REQ\_OFF (ローカル・ビジー条件をオンにするためのユーザー要求)、T1\_EXP (T1 タイマー満了)、T2\_EXP (T2 タイマー満了)、Ti\_EXP

(Ti タイマー満了)、OS\_I\_C0 または OS\_I\_C1 または OS\_I\_R0 または OS\_I\_R1 (I フレーム上の N がシーケンス誤り)、I\_C0 または I\_C1 または I\_R0 または I\_R1 (有効な I フレームを受信)、RR\_C0 または RR\_C1 または RR\_R0 または RR\_R1 (RR フレームを受信)、RNR\_C0 または RNR\_C1 または RNR\_R0 または RNR\_R1 (RNR フレームを受信)、REJ\_C0 または REJ\_C1 または REJ\_R0 または REJ\_R1 (REJ フレームを受信)、UA\_R0 または UA\_R1 (UA フレームを受信)、DISC\_C0 または DISC\_C1 (DISC フレームを受信)、DM\_R0 または DM\_R1 (DM フレームを受信)、FRMR\_R0 または FRMR\_R1 (FRMR フレームを受信)、BAD\_FRAME\_0 または BAD\_FRAME\_1 (受信フレームが FRMR を生成)、SABME\_C0 または SABME\_C1 (SABME フレームを受信)、および SEND\_I\_POLL (ポーリング・ビットをオンに設定して I フレームを送信)。省略形の接尾部は、C0 (コマンド、ポーリング・ビットがオフ)、C1 (コマンド、ポーリング・ビットがオン)、R0 (応答、ファイナル・ビットがオフ)、および R1 (応答、ファイナル・ビットがオン) です。

---

### LLC.003

レベル: C-INFO

短構文: LLC.003 *llc\_state*-> *llc\_state*, *llc2\_connection*,  
*dcli dcli*, *nt network*

長構文: LLC.003 *llc\_state* to *llc\_state*, *llc2\_connection*,  
*dcli dcli*, *network network*

説明: LLC2 の状態変更があります。可能な状態は、以下のとおりです。DISCONNECTED (初期状態)、LINK\_OPENING (リンク確立中)、DISCONNECTING (DISC を送信、DM を待機中)、FRMR\_SENT (FRMR を送信)、LINK\_OPENED (通常の状態)、LOCAL\_BUSY (ローカルがビジー)、REJECTION (リモートがシーケンス誤りフレームを送信)、CHECKPOINTING (ポーリングを送信、中断状態のデータを送信する応答を待機中)、CKPT\_LB (組み合わせ状態)、CKPT\_REJ (組み合わせ状態)、RESETTING (リセットのためのユーザー応答を待機中)、REMOTE\_BUSY (リモートがビジー)、LB\_RB (組み合わせ状態)、REJ\_LB (組み合わせ状態)、REJ\_RB (組み合わせ状態)、CKPT\_REJ\_LB (組み合わせ状態)、CKPT\_CLR (CKPT\_LB 状態からのクリア)、CKPT\_REJ\_CLR (CKPT\_REJ\_LB 状態からのクリア)、

REJ\_LB\_RB (組み合わせ状態)、FRMR\_RECEIVED (FRMR を受信)。上記で使用されている略語は、CKPT=CHECKPOINTING、CLR=CLEARING、LB=LOCAL BUSY、RB=REMOTE BUSY、REJ=REJECTION です。

---

#### LLC.004

レベル: C-INFO

短構文: LLC.004 Up evt *user\_event* args *user\_value/*  
*event\_reason* on *llc2-conn*

長構文: LLC.004 Upcall user event *user\_event*  
*user\_value* *event\_reason* on *llc2-conn*

説明: LLC2 事象アップコールが行われています。アップコールの一部の引き数が表示されます。ユーザーのクッキーは、LLC サブシステムで実行されているルーター・ソフトウェアに対して意味をもっています。ときには、事象の理由が、さらに事象を指定している場合もあります。考えられる事象は、次のとおりです。

CONN\_IND (クッキー = セッション、理由 = なし)、  
CONN\_IND\_PASS (クッキー = SAP、理由 = なし)、  
CONN\_CONFIRM (クッキー = セッション、理由 = なし)、  
DISC\_IND (クッキー = セッション、考えられる理由: ローカル端末 (切断中)、リモート端末、接続拒否、ローカル端末 (切断))、  
RESET\_IND (クッキー = セッション、考えられる理由: ローカル・リセット、リモート・リセット、FRMR 受信、FRMR 送信)、  
RESET\_CONF (クッキー = セッション、理由 = なし)、  
FLOW\_IND (クッキー = セッション、考えられる理由: フローオフ、フローオン)、および  
DISC\_CONFIRM (クッキー = セッション、理由 = なし)。

---

#### LLC.005

レベル: C-INFO

短構文: LLC.005 prim *user\_primitive* sap *SAP\_value* on  
nt *network*

長構文: LLC.005 user primitive *user\_primitive* sap  
*SAP\_value* on *network network*

説明: SAP 関連の LLC ユーザー・プリミティブが呼び出されました。可能な SAP プリミティブは、以下のとおりです。OPEN\_SAP、CLOSE\_SAP、CLOSE\_SAP\_FORCED、MODIFY\_SAP、OPEN\_STATION、および UNITDATA。

---

#### LLC.006

レベル: C-INFO

短構文: LLC.006 prim *user\_primitive*, *llc2\_connection*,  
dcli *dcli*, nt *network*

長構文: LLC.006 primitive *user\_primitive*,  
*llc2\_connection*, dcli *dcli*, *network network*

説明: LLC2 接続の非データ・ユーザー・プリミティブが呼び出されました。可能なプリミティブは、以下のとおりです。CLOSE\_STATION、CLOSE\_STATION\_FORCED、CONNECT\_REQUEST、CONNECT\_RESPONSE、DISCONNECT\_REQUEST、RESET\_REQUEST、RESET\_RESPONSE、FLOW\_REQ。

---

#### LLC.007

レベル: C-TRACE

短構文: LLC.007 data prim, *llc2\_connection*, dcli *dcli*,  
nt *network*

長構文: LLC.007 data primitive, *llc2\_connection*, dcli  
*dcli*, *network network*

説明: DATA\_REQUEST データ・プリミティブがコールされました。DATA\_REQUEST は、データをバッファロー記憶域に渡します。

---

#### LLC.008

レベル: C-TRACE

短構文: LLC.008 data prim, *llc2\_connection*, dcli *dcli*,  
nt *network*

長構文: LLC.008 data primitive, *llc2\_connection*, dcli  
*dcli*, *network network*

説明: DATA\_LOCAL データ・プリミティブがコールされました。DATA\_LOCAL は、データをデータ記憶域に渡します。

---

#### LLC.009

レベル: C-TRACE

短構文: LLC.009 unitdata prim, sap *SAP\_value*, dcli  
*dcli* nt *network*

長構文: LLC.009 unitdata primitive, sap *SAP\_value* dcli  
*dcli* *network network*

説明: UNITDATA LLC1 データ・プリミティブがコールされました。

---

#### LLC.010

レベル: UI-ERROR

短構文: LLC.010 out q too big, *llc2\_connection*, dcli  
*dcli*, nt *network*

長構文: LLC.010 outboudn queue too big,  
*llc2\_connection*, dcli *dcli*, *network network*

**説明:** アウトバウンド待ち行列が大きくなり過ぎました。LLC2 接続は自動的に終了されます。

**原因:** LLC アプリケーションがフロー制御に応答していません。

**処置:** サービス技術員に連絡してください。

---

#### LLC.011

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** LLC.011 No buf to dup I-frame,  
*llc2\_connection, dlci dlci, nt network*

**長構文:** LLC.011 No buffer available to duplicate  
I-frame, *llc2\_connection, dlci dlci, network network*

**説明:** I フレームを複製するために利用可能なバッファがありません。

**原因:** 重大なパケット・バッファの不足

**処置:** GWCON 内の記憶域統計を検査して、パケット・バッファ・レベルを確認してください。他のルーター・ソフトウェアによるバッファの使用量を減らしてください。LLC の構成を変更して LLC 接続の数を減らすことにより、バッファの使用量を減らしてください。特に、LLC 送受信ウィンドウが通常のサイズであることを確認してください。

---

#### LLC.012

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** LLC.012 No mem to dup I-frame,  
*llc2\_connection, dlci dlci, nt network*

**長構文:** LLC.012 No memory available to duplicate  
I-frame, *llc2\_connection, dlci dlci, network network*

**説明:** I フレームを複製するための記憶域がありません。

**原因:** 記憶域の不足

**処置:** 他のソフトウェアのテーブル数を減らして、記憶域の使用量を削減してください。LLC 構成を変更して LLC の接続数を減らすことにより、記憶域の使用量を減らしてください。特に、LLC 送受信ウィンドウが通常のサイズであることを確認してください。

---

#### LLC.013

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** LLC.013 No buf for LLC frame,  
*llc2\_connection, dlci dlci, nt network*

**長構文:** LLC.013 No buffer for LLC frame,  
*llc2\_connection, dlci dlci, network network*

**説明:** LLC 監視フレームまたは非番号制フレームを作成するためのバッファを入手できませんでした。データの保水性は今のところ失われていませんが、このためのバッファが数秒以内に利用可能にならなければ、LLC2 接続の相手側は、通常の LLC2 プロトコルの一部として、この LLC 接続を終了させる可能性が非常に高くなります。

**原因:** 重大なパケット・バッファの不足

**処置:** GWCON 内の記憶域統計を検査して、パケット・バッファ・レベルを確認してください。

---

#### LLC.014

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** LLC.014 fr type inv, *llc2\_connection, dlci dlci, nt network*

**長構文:** LLC.014 frame type invalid, *llc2\_connection, dlci dlci, network network*

**説明:** LLC が作成しようとしているフレーム・タイプは無効です。

**原因:** ハードウェア障害またはソフトウェア・バグ

**処置:** サービス技術員に連絡してください。

---

#### LLC.015

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** LLC.015 Inv LLC2 ev *event\_code\_number*

**長構文:** LLC.015 Invalid LLC2 FSM event  
*event\_code\_number*

**説明:** LLC2 有限状態遷移関 (FSM) が呼び出されましたが、事象が範囲外です。

**原因:** ハードウェア障害またはソフトウェア・バグ

**処置:** サービス技術員に連絡してください。

---

#### LLC.016

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** LLC.016 inv nt typ *network\_type* on nt *network*

**長構文:** LLC.016 invalid network type *network\_type* on  
*network network*

**説明:** LLC がサポートしていないネットワーク・タイプで、OPEN SAP 操作を試みました。サポートされるネットワーク・タイプは、トークンリング、イーサネット、および FDDI です。

**原因:** ソフトウェア・バグ

**処置:** サービス技術員に連絡してください。



---

**LLC.017**

レベル: UI-ERROR

短構文: LLC.017 dup sap *SAP\_value* on nt *network*

長構文: LLC.017 duplicate sap *SAP\_value* on network *network*

説明: すでにオープンされている SAP で、OPEN SAP 操作を試みました。

原因: ソフトウェア・バグ

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

**LLC.018**

レベル: UI-ERROR

短構文: LLC.018 No mem for sap blk on nt *network*

長構文: LLC.018 No memory for SAP control block on network *network*

説明: SAP 制御ブロック用の記憶域を割り振ることができません。

原因: 重大な記憶域の不足

処置: 他のプロトコルのテーブル・サイズを小さくする、システムで使用するプロトコルの数を減らす、ルーターの記憶域を拡張するなどの処置を取ってください。

---

**LLC.019**

レベル: UI-ERROR

短構文: LLC.019 No mem for stn blk on nt *network*

長構文: LLC.019 No memory for station control block on network *network*

説明: 端末制御ブロック用の記憶域を割り振ることができません。

原因: 重大な記憶域の不足

処置: 他のプロトコルのテーブル・サイズを小さくする、システムで使用するプロトコルの数を減らす、ルーターの記憶域を拡張するなどの処置を取ってください。LLC2 接続の数を減らしてください。

---

**LLC.020**

レベル: UI-ERROR

短構文: LLC.020 UI frm drp *llc2\_connection*, dlc1 *dlci*, nt *network*

長構文: LLC.020 UI frame dropped, *llc2\_connection*, dlc1 *dlci*, network *network*

説明: UI フレームが、ルーター内のローカル・アプリ

ケーションによって拒否されました。

原因: フレームが、ローカル・アプリケーションが処理しようとしたタイプではありません。

処置: なし。

---

**LLC.021**

レベル: UI-ERROR

短構文: LLC.021 TST frm refused *llc2\_connection*, dlc1 *dlci*, nt *network*

長構文: LLC.021 TEST frame refused, *llc2\_connection*, dlc1 *dlci*, network *network*

説明: TEST フレームが、ルーター内のローカル・アプリケーションによって拒否されました。フレームは、ブリッジ・コードなどに渡されます。

原因: フレームが、ローカル・アプリケーションが処理しようとしたタイプではありません。

処置: なし。

---

**LLC.022**

レベル: UI-ERROR

短構文: LLC.022 XID frm refused *llc2\_connection*, dlc1 *dlci*, nt *network*

長構文: LLC.022 XID frame refused, *llc2\_connection*, dlc1 *dlci*, network *network*

説明: XID フレームが、ルーター内のローカル・アプリケーションによって拒否されました。フレームは、ブリッジ・コードなどに渡されます。

原因: フレームが、ローカル・アプリケーションが処理しようとしたタイプではありません。

処置: なし。

---

**LLC.023**

レベル: C-INFO

短構文: LLC.023 Upcall frm *frame\_type*, *src\_mac*-> *dst\_mac*, rif saps *src\_sap*-> *dst\_sap*, dlc1 *dlci*, nt *network*

長構文: LLC.023 Upcall frame *frame\_type*, *src\_mac*-> *dst\_mac*, rif saps *src\_sap*-> *dst\_sap*, dlc1 *dlci*, network *network*

説明: LLC は、アップコールを行って、単位データ・フレームをもつ LLC を提供します。可能な単位データ・フレームは、TEST\_C0 または TEST\_C1 または TEST\_R0 または TEST\_R1 (TEST フレーム)、XID\_C0 または XID\_C1 または XID\_R0 または XID\_R1 (交換識別フレーム)、UI\_C0 または UI\_R0 (非番号制情報)

です。省略形の接尾部は、C0 (コマンド、ポーリング・ビットがオフ)、C1 (コマンド、ポーリング・ビットがオン)、R0 (応答、ファイナル・ビットがオフ)、および R1 (応答、ファイナル・ビットがオン) です。

---

#### LLC.024

レベル: UI-ERROR

短構文: LLC.024 llc2 out drp, rsn *reason\_code*, llc2\_connection, dlc\_i dlc\_i, nt network

長構文: LLC.024 llc2 outbound frame dropped, reason *reason\_code*, llc2\_connection, dlc\_i dlc\_i, network network

説明: LLC2 関連のアウトバウンド・フレームの送信が失敗しました。reason\_code は、障害の内部エラー・コードです。

原因: 各種のハンドラー・エラー (理由コード 1)

処置: ハンドラーからのエラー・メッセージを検査して、network\_name を調べてください。

原因: 出力待ち行列オーバーフローまたはその他のフロー制御 (理由コード 2)

処置: 輻輳 (ふくそう) を緩和してください。

原因: ネットワークがダウン (理由コード 3)

処置: ネットワークがダウンしているとハンドラーが判断した理由を調べてください。

原因: ループまたはよくない同報通信を回避するために、ハンドラーによって除去されました (理由コード 4)。

処置: 構成を検査してください。

原因: ホストがダウン (理由コード 5)

処置: ホストがダウンしているとハンドラーが判断した理由を調べてください。

---

#### LLC.025

レベル: UI-ERROR

短構文: LLC.025 *frame\_type* out frm drp, rsn *reason\_code*, llc2\_connection, dlc\_i dlc\_i, nt network

長構文: LLC.025 *frame\_type* outbound frame dropped, reason *reason\_code*, llc2\_connection, dlc\_i dlc\_i, network network

説明: ユーザーの UNITDATA または LLC が生成した XID または TEST 応答アウトバウンド・フレームの送信が失敗しました。可能なフレーム・テストは、TEST\_C0 または TEST\_C1 または TEST\_R0 または TEST\_R1 (TEST フレーム)、XID\_C0 または XID\_C1 または XID\_R0 または XID\_R1 (交換識別フレーム)、

UI\_C0 または UI\_R0 (非番号制情報フレーム)、および予測不可能 (上記のタイプのいずれでもないもの) です。省略形の接尾部は、C0 (コマンド、ポーリング・ビットがオフ)、C1 (コマンド、ポーリング・ビットがオン)、R0 (応答、ファイナル・ビットがオフ)、および R1 (応答、ファイナル・ビットがオン) です。

原因: LLC.024 を参照してください。

処置: LLC.024 を参照してください。

---

#### LLC.026

レベル: UI-ERROR

短構文: LLC.026 No mem for cfg blk on nt network

長構文: LLC.026 No memory for LLC CONF BLOCK on network network

説明: 初期化時に、LLC\_CONF\_BLOCK 用の記憶域を割り振ることができませんでした。LLC 構成の省略時値が使用されます。

原因: 重大な記憶域の不足

処置: 他のプロトコルのテーブル・サイズを小さくする、システムで使用するプロトコルの数を減らす、ルーターの記憶域を拡張するなどの処置を取ってください。

---

#### LLC.027

レベル: U-INFO

短構文: LLC.027 Read LLC Cfg for nt network

長構文: LLC.027 Read LLC Configuration record for network network

説明: このネットワーク用の LLC 構成レコードが読み取られました。これは、初期化時のみ行われます。LLC 構成レコードの中の値が、ネットワークの省略時値として使用されます。

---

#### LLC.028

レベル: C-TRACE

短構文: LLC.028 Inv acc *access\_priority* for nt network

長構文: LLC.028 Inv access priority *access\_priority* for network network

説明: トークンリング以外のネットワークの *access\_priority* は、使用されないもので、ゼロでなければなりません。

原因: 装置は削除されたり追加されたりするので、非トークンリング LAN インターフェースの LLC 構成レコードの1つに、非ゼロのアクセス優先順位が入っている可能性があります。

処置: なし。このネットワークの LLC 構成をやり直して、このメッセージが出ないようにすることもできます。

---

#### LLC.029

レベル: UI-ERROR

短構文: LLC.029 Inv acc *access\_priority* for nt *network*

長構文: LLC.029 Inv acc *access\_priority* for network *network*

説明: アクセス優先順位が 7 より大きくなっています。省略時値の 0 が使用されます。

原因: 構成記憶域の破壊

処置: このネットワークの LLC を再構成して、このメッセージが出ないようにしてください。

---

#### LLC.030

レベル: C-TRACE

短構文: LLC.030 Inv hw type *hardware\_type* in cfg for nt *network*

長構文: LLC.030 Invalid hardware type *hardware\_type* for network *network*

説明: LAN ハードウェア・タイプをもたないインターフェースの LLC 構成レコードが存在します。

原因: 装置は削除されたり追加されたりするので、LLC 構成レコードの 1 つに、もう LAN インターフェースではなくなっているインターフェースが入っている可能性があります。

処置: なし。この状況は有害ではありません。

---

#### LLC.031

レベル: C-TRACE

短構文: LLC.031 Inv int *interface\_number* in cfg

長構文: LLC.031 Invalid interface *interface\_number* in config

説明: 存在しないインターフェースの LLC 構成レコードがあります。

原因: 装置は削除されたり追加されたりするので、LLC 構成レコードの 1 つに、無効なインターフェース番号が入っている可能性があります。

処置: なし。この状況は有害ではありません。

---

#### LLC.032

レベル: C-INFO

短構文: LLC.032 Sent *frame\_type*, *src\_mac*-> *dst\_mac*, *rif saps src\_sap*-> *dst\_sap*, *dcli dcli*,nt *network*

長構文: LLC.032 Sent *frame\_type*, *src\_mac*-> *dst\_mac*, *rif saps src\_sap*-> *dst\_sap*, *dcli dcli*, *network network*

説明: LLC ユーザーがフレームを送信しているか、LLC 自体が TEST または XID 応答フレームを送信しています。可能なフレーム・タイプは、TEST\_C0 または TEST\_C1 または TEST\_R0 または TEST\_R1 (TEST フレーム)、XID\_C0 または XID\_C1 または XID\_R0 または XID\_R1 (交換識別フレーム)、UI\_C0 または UI\_R0 (非番号制情報フレーム) です。省略形の接尾部は、C0 (コマンド、ポーリング・ビットがオフ)、C1 (コマンド、ポーリング・ビットがオン)、R0 (応答、ファイナル・ビットがオフ)、および R1 (応答、ファイナル・ビットがオン) です。

---

#### LLC.033

レベル: C-INFO

短構文: LLC.033 frm to LLC, frm *frame\_type*, *src\_mac*-> *dst\_mac*, *rif saps src\_sap*-> *dst\_sap*, *dcli dcli*, nt *network*

長構文: LLC.033 frm to LLC, frm *frame\_type*, *src\_mac*-> *dst\_mac*, *rif saps src\_sap*-> *dst\_sap*, *dcli dcli*, *network network*

説明: LLC サブシステム自体が、TEST または XID フレームに回答しています。可能なフレーム・タイプは、TEST\_C0 または TEST\_C1 (TEST フレーム)、および XID\_C0 または XID\_C1 (交換識別フレーム) です。省略形の接尾部は、C0 = (コマンド、ポーリング・ビットがオフ)、および C1 = (コマンド、ポーリング・ビットがオン) です。

---

#### LLC.034

レベル: C-INFO

短構文: LLC.034 LLC loopback invoked *src\_mac*-> *dst\_mac*, *saps src\_sap*-> *dst\_sap*, nt *network*

長構文: LLC.034 LLC loopback invoked, *src\_mac*-> *dst\_mac*, *saps src\_sap*-> *dst\_sap*, *network network*

説明: ルーター内でフレームを経路指定するために、ループバック処理が起動されました。

---

**LLC.035**

レベル: UI-ERROR

短構文: LLC.035 Dest SCB not found *src\_mac->dst\_mac*, saps *src\_sap->dst\_sap*, nt *network*

長構文: LLC.035 Destination SCB not found, *src\_mac->dst\_mac*, saps *src\_sap->dst\_sap*, network *network*

説明: あて先に関するセッション制御ブロックが、処理によって見付かりませんでした。

原因: あて先アプリケーションがオープン・ステーションを行わなかった可能性があります。あて先アプリケーションがダウンしていた可能性があります。

処置: なし。

---

**LLC.036**

レベル: C-INFO

短構文: LLC.036 Loopback CONNECT, *src\_mac->dst\_mac*, saps *src\_sap->dst\_sap*, nt *src\_net*, nt *dst\_net*

長構文: LLC.036 Loopback CONNECT, *src\_mac->dst\_mac*, saps *src\_sap->dst\_sap*, network *src\_net*, network *dst\_net*

説明: 発信元ネットからあて先ネットへコネクトインの送信中です。

---

**LLC.037**

レベル: C-INFO

短構文: LLC.037 Loopback CONNECT Rsp, *src\_mac->dst\_mac*, saps *src\_sap->dst\_sap*, nt *src\_net*, nt *dst\_net*

長構文: LLC.037 Loopback CONNECT Response, *src\_mac->dst\_mac*, saps *src\_sap->dst\_sap*, network *src\_net*, nt *dst\_net*

説明: 発信元ネットからあて先ネットへ接続応答の送信中です。

---

**LLC.038**

レベル: C-INFO

短構文: LLC.038 Loopback DISCONNECT, *src\_mac->dst\_mac*, saps *src\_sap->dst\_sap*, nt *src\_net*, nt *dst\_net*

長構文: LLC.038 Loopback DISCONNECT, *src\_mac->dst\_mac*, saps *src\_sap->dst\_sap*, nt *src\_net*, nt *dst\_net*

説明: 発信元ネットからあて先ネットへ切断の送信中です。

---

---

**LLC.039**

レベル: C-INFO

短構文: LLC.039 Loopback DISCONNECT Rsp, *src\_mac->dst\_mac*, saps *src\_sap->dst\_sap*, nt *src\_net*, nt *dst\_net*

長構文: LLC.039 Loopback DISCONNECT Response, *src\_mac->dst\_mac*, saps *src\_sap->dst\_sap*, nt *src\_net*, nt *dst\_net*

説明: 発信元ネットからあて先ネットへ切断応答の送信中です。

---

**LLC.040**

レベル: C-INFO

短構文: LLC.040 Loopback RESET, *src\_mac->dst\_mac*, saps *src\_sap->dst\_sap*, nt *src\_net*, nt *dst\_net*

長構文: LLC.040 Loopback RESET, *src\_mac->dst\_mac*, saps *src\_sap->dst\_sap*, nt *src\_net*, nt *dst\_net*

説明: 発信元ネットからあて先ネットへリセットの送信中です。

---

**LLC.041**

レベル: C-INFO

短構文: LLC.041 Loopback RESET Rsp, *src\_mac->dst\_mac*, saps *src\_sap->dst\_sap*, nt *src\_net*, nt *dst\_net*

長構文: LLC.041 Loopback RESET Response, *src\_mac->dst\_mac*, saps *src\_sap->dst\_sap*, nt *src\_net*, nt *dst\_net*

説明: 発信元ネットからあて先ネットへリセット応答の送信中です。

---

**LLC.042**

レベル: C-INFO

短構文: LLC.042 Loopback FLOW ON, *src\_mac->dst\_mac*, saps *src\_sap->dst\_sap*, nt *src\_net*, nt *dst\_net*

長構文: LLC.042 Loopback FLOW ON, *src\_mac->dst\_mac*, saps *src\_sap->dst\_sap*, network *src\_net*, nt *dst\_net*

説明: 発信元ネットからあて先ネットへフローオンの送信中です。

---

---

**LLC.043**

レベル: C-INFO

短構文: LLC.043 Loopback FLOW OFF, *src\_mac->dst\_mac*, *saps src\_sap->dst\_sap*, *nt src\_net*, *nt dst\_net*

長構文: LLC.043 Loopback FLOW OFF, *src\_mac->dst\_mac*, *saps src\_sap->dst\_sap*, *network src\_net*, *nt dst\_net*

説明: 発信元ネットからあて先ネットへフローオフの送信中です。

---

**LLC.044**

レベル: C-INFO

短構文: LLC.044 Loopback FLOW OFF Data, *st state*, *busy busy\_flag*, *qnum qnum*, *nt src\_net*

長構文: LLC.044 Loopback FLOW OFF Data, *state state*, *busy busy\_flag*, *tr\_queue\_num qnum*, *network src\_net*

説明: フローオフを送信するアプリケーションの正確な状況を入力するためのフローオフ・データ

---

**LLC.045**

レベル: C-INFO

短構文: LLC.045 Loopback FLOW ON Data, *st state*, *busy busy\_flag*, *qnum qnum*, *nt src\_net*

長構文: LLC.045 Loopback FLOW ON Data, *state state*, *busy busy\_flag*, *tr\_queue\_num qnum*, *network src\_net*

説明: フローオンを送信するアプリケーションの正確な状況を入力するためのフローオン・データ。

---

**LLC.046**

レベル: C-INFO

短構文: LLC.046 LLC Busy No Resource, *st state*, *busy busy\_flag*, *num qnum*, *nt src\_net*

長構文: LLC.046 LLC Busy No Resource, *state state*, *busy busy\_flag*, *num qnum*, *network src\_net*

説明: アプリケーションの正確な状況を入力するためのデータ、待ち行列内の最大 IORB を超えました。

---

**LLC.047**

レベル: C-INFO

短構文: LLC.047 Loopback Net Not Found, *src\_mac->dst\_mac*, *saps src\_sap->dst\_sap*, *nt network*

長構文: LLC.047 Loopback Net Not Found, *src\_mac->dst\_mac*, *saps src\_sap->dst\_sap*, *network network*

説明: ループバックあて先ネットのネット構造が見付かりませんでした。

---

**LLC.048**

レベル: UI-ERROR

短構文: LLC.048 Loopback Dest Matching SAP Not Found, *src\_mac->dst\_mac*, *saps src\_sap->dst\_sap*, *nt network*

長構文: LLC.048 Loopback Dest Matching SAP Not Found, *src\_mac->dst\_mac*, *saps src\_sap->dst\_sap*, *network network*

説明: ループバックあて先 SAP の SAP 構造が見付かりませんでした。

---

**LLC.049**

レベル: C-INFO

短構文: LLC.049 Loopback Connect Data, *st state*, *dest\_st dest\_st*, *nt src\_net*, *nt dst\_net*

長構文: LLC.049 Loopback Connect Data, *state state*, *dest\_st dest\_st*, *network src\_net*, *network dst\_net*

説明: ループバック接続データ

---

**LLC.050**

レベル: UI-ERROR

短構文: LLC.050 Loopback Connect Failed, *st state*, *dest\_st dest\_st*, *nt src\_net*, *nt dst\_net*

長構文: LLC.050 Loopback Connect Failed, *state state*, *dest\_st dest\_st*, *network src\_net*, *network dst\_net*

説明: ループバック接続が失敗しました。

---

**LLC.051**

レベル: UI-ERROR

短構文: LLC.051 Loopback Send Failed, *st state*, *dest\_st dest\_st*, *nt src\_net*, *nt dst\_net*

長構文: LLC.051 Loopback Send Failed, *state state*, *dest\_st dest\_st*, *network src\_net*, *network dst\_net*

説明: ループバック送信が失敗しました。



---

**LLC.053**

レベル: UI-ERROR

短構文: LLC.053 LLC Config Block not found, sap *src\_sap*, nt *network*

長構文: LLC.053 LLC Config Block not found, sap *src\_sap network network*

説明: 記述されている SAP について、オープン・ステーションが失敗しました。

---

**LLC.054**

レベル: UI-ERROR

短構文: LLC.054 LLC Client Registered Fail, sap *src\_sap*, nt *network*

長構文: LLC.054 LLC Client Registered Fail, sap *src\_sap network network*

説明: 記述されている SAP について、オープン・ステーションが失敗しました。

---

**LLC.055**

レベル: C-INFO

短構文: LLC.055 Dynamic Config for Loopback *network\_type* requested, nt *network*

長構文: LLC.055 Dynamic Config for Loopback *network\_type* requested *network network*

説明: ループバックに関する動的構成が要求されました。

---

**LLC.056**

レベル: UI-ERROR

短構文: LLC.056 No mem for loopback net on nt *network*

長構文: LLC.056 No memory for loopback pseudonet on *network network*

説明: ループバック・ネット用として記憶域を割り振ることができません。

---

**LLC.057**

レベル: C-INFO

短構文: LLC.057 LLC init loop addr *loopbk\_addr\_p*, *dest\_net dest\_net\_ptr*, *macaddr macaddr*, nt *network*

長構文: LLC.057 LLC init loop addr *loopbk\_addr\_p*, *dest\_net dest\_net\_ptr*, *macaddr macaddr*, net *network*

---

説明: ループ・ネットの初期化

---

**LLC.058**

レベル: C-INFO

短構文: LLC.058 Frame Numbers Vr *Vr*, Vs *Vs*, Nr *Nr*, Ns *Ns*, scb *scb*, nt *dst\_net*

長構文: LLC.058 Frame Numbers Vr *Vr*, Vs *Vs*, Nr *Nr*, Ns *Ns*, scb *scb*, *network dst\_net*

説明: フレーム番号

---

**LLC.059**

レベル: C-INFO

短構文: LLC.059 LLC FLOW ON, *src\_mac-> dst\_mac*, saps *src\_sap-> dst\_sap*, dlci *dlci*, nt *dst\_net*

長構文: LLC.059 Primitive FLOW ON, *src\_mac-> dst\_mac*, saps *src\_sap-> dst\_sap*, dlci *dlci*, nt *dst\_net*

説明: 発信元からあて先ネットへフローオンの送信中です。

---

**LLC.060**

レベル: C-INFO

短構文: LLC.060 LLC FLOW ON Data, st *state*, busy *busy\_flag*, qnum *qnum*, nt *src\_net*

長構文: LLC.060 LLC FLOW ON Data, *state state*, busy *busy\_flag*, tr\_queue\_num *qnum*, *network src\_net*

説明: フローオンを送信するアプリケーションの正確な状況を入力するためのフローオン・データ。

---

**LLC.061**

レベル: C-INFO

短構文: LLC.061 LLC FLOW OFF, *src\_mac-> dst\_mac*, saps *src\_sap-> dst\_sap*, dlci *dlci*, nt *dst\_net*

長構文: LLC.061 LLC FLOW OFF, *src\_mac-> dst\_mac*, saps *src\_sap-> dst\_sap*, dlci *dlci*, nt *dst\_net*

説明: 発信元からあて先ネットへフローオフの送信中です。

---

**LLC.062**

レベル: C-INFO

短構文: LLC.062 LLC FLOW OFF Data, st *state*, busy *busy\_flag*, qnum *qnum*, nt *src\_net*

長構文: LLC.062 LLC FLOW OFF Data, *state state*, busy *busy\_flag*, tr\_queue\_num *qnum*, *network src\_net*

---



説明: フローオフを送信するアプリケーションの正確な状況を入力するためのフローオフ・データ

---

#### LLC.063

レベル: UE-ERROR

短構文: LLC.063 Invalid LPDU, *src\_mac-> dst\_mac*, *saps src\_sap-> dst\_sap*, *dldci dldci*, *lpdu\_type lpdu\_type* nt *dst\_net*

長構文: LLC.063 Invalid LPDU, *src\_mac-> dst\_mac*, *saps src\_sap-> dst\_sap*, *dldci dldci*, *lpdu\_type lpdu\_type* nt *dst\_net*

説明: 発信元からあて先ネットへ無効の LPDU の送信中です。

---

#### LLC.064

レベル: UE-ERROR

短構文: LLC.064 Dest Matching SAP Not Found, *src\_mac-> dst\_mac*, *saps src\_sap-> dst\_sap*, nt *network*

長構文: LLC.064 Dest Matching SAP Not Found, *src\_mac-> dst\_mac*, *saps src\_sap-> dst\_sap*, *network network*

説明: あて先 SAP の SAP 構造が見付かりませんでした。

---

#### LLC.065

レベル: UE-ERROR

短構文: LLC.065 Validate Sap Failed, *sap src\_sap*, *sap\_pb sap\_pb* nt *network*

長構文: LLC.065 Validate Sap Failed, *sap src\_sap*, *sap parm block sap\_pb network network*

説明: 記述されている SAP について、SAP の検証に失敗しました。

---

#### LLC.066

レベル: UI-ERROR

短構文: LLC.066 Init Sap Failed, *sap src\_sap*, *sap\_pb sap\_pb* nt *network*

長構文: LLC.066 Init Sap Failed, *sap src\_sap*, *sap parm block sap\_pb network network*

説明: 記述されている SAP について、SAP の初期化に失敗しました。

---

#### LLC.067

レベル: UI-ERROR

短構文: LLC.067 Open Station Failed, reason *reason*, *sap src\_sap*, *stn\_pb stn\_pb* nt *network*

長構文: LLC.067 Open Station Failed, reason *reason*, *sap src\_sap*, *station parm block stn\_pb network network*

説明: 記述されている SAP について、オープン・ステーションが失敗しました。

---

#### LLC.068

レベル: UI-ERROR

短構文: LLC.068 SABME frame rejected, *src\_mac-> dest\_mac*, *saps src\_sap-> dst\_sap*, *dldci dldci*, nt *network*

長構文: LLC.068 SABME frame rejected, *src\_mac-> dest\_mac*, *saps src\_sap-> dst\_sap*, *dldci dldci*, *network network*

説明: SABME フレームがルーター内でローカル・アプリケーションによって拒否されました。このフレームは、接続指示受動要求として着信しました。

原因: フレームが、ローカル・アプリケーションが処理しようとしたタイプではありません。

処置: なし。

---

#### LLC.069

レベル: C-INFO

短構文: LLC.069 SAP Added For Frame Relay, *sap sap*, *sap\_cb sap\_cb*, *dldci dldci*, nt *network*

長構文: LLC.069 SAP Added For Frame Relay, *sap sap*, *sap\_cb sap\_cb*, *dldci dldci*, *network network*

説明: フレーム・リレーに関するオープン SAP 処理が正常に行われ、SAP が SAP テーブルに追加されました。

---

#### LLC.070

レベル: C-INFO

短構文: LLC.070 SAP Added, *sap sap*, *sap\_cb sap\_cb*, nt *network*

長構文: LLC.070 SAP Added, *sap sap*, *sap\_cb sap\_cb*, nt *network*

説明: オープン SAP 処理が正常に行われ、SAP が SAP テーブルに追加されました。

---

**LLC.071**

レベル: C-INFO

短構文: LLC.071 SCB Found, scb *scb*, sap *sap*,  
src\_mac *src\_mac*, dest\_mac *dest\_mac*, dlcid *dlci*, nt  
*network*

長構文: LLC.071 SCB Found, scb *scb*, sap *sap*,  
src\_mac *src\_mac*, dest\_mac *dest\_mac*, dlcid *dlci*, network  
*network*

説明: セッション制御ブロックが見つかりました。これは通常の処理です。フレーム・リレーの場合は、DLCID がリストされます。非フレーム・リレー・ネットワークの場合は、DLCID 番号は無意味です。



---

## 第73章 LSA チャンネル・ネットワーク・インターフェース (LSA)

この章では、LSA チャンネル・ネットワーク・インターフェース (LSA) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### LSA.001

レベル: CI-ERROR

短構文: LSA.001 LSA id\_check error *error\_code*, (nt *network*)

長構文: LSA.001 LSA id\_check error *error\_code*, (network *network*)

説明: 応答を送信するための対応する *u\_cep\_id* または *u\_sap\_id* がありません。

---

### LSA.002

レベル: CI-ERROR

短構文: LSA.002 LSA Error, no mem alloc for SAP CB, (nt *network*)

長構文: LSA.002 LSA Error, unable to allocate memory for SAP CB, (network *network*)

説明: SAP CB 用として記憶域を割り振ることができません。

---

### LSA.003

レベル: CI-ERROR

短構文: LSA.003 LSA Error, no room to alloc mem for LSCB *sap\_cb\_ptr*, (nt *network*)

長構文: LSA.003 LSA Error, no room available to allocate memory for LSCB *sap\_cb\_ptr*, (network *network*)

説明: 追加の LSCB を割り振るだけの余地がテーブルにありません。

---

### LSA.004

レベル: CI-ERROR

短構文: LSA.004 LSA dl\_close\_sap error *llc\_rc* from LLC, (nt *network*)

長構文: LSA.004 LSA dl\_close\_sap error *llc\_rc* from LLC, (network *network*)

説明: LSA が SAP のクローズを試みていたとき、LLC がエラーを検出しました。

---

### LSA.005

レベル: CI-ERROR

短構文: LSA.005 LSA dl\_close\_station error *llc\_rc* from LLC, (nt *network*)

長構文: LSA.005 LSA dl\_close\_station error *llc\_rc* from LLC, (network *network*)

説明: LSA がリンク・ステーションのクローズを試みていたとき、LLC がエラーを検出しました。

---

### LSA.006

レベル: CI-ERROR

短構文: LSA.006 LSA dl\_data\_request error *llc\_rc* from LLC, (nt *network*)

長構文: LSA.006 LSA dl\_data\_request error *llc\_rc* from LLC, (network *network*)

説明: LSA がタイプ 2 データ・フレームの送信を試みていたとき、LLC がエラーを検出しました。

---

### LSA.007

レベル: CI-ERROR

短構文: LSA.007 LSA header\_check error *error\_code*, (nt *network*)

長構文: LSA.007 LSA header\_check error *error\_code*, (network *network*)

説明: インバウンド LSA プリミティブのヘッダーの検査中に、エラーが見つかりました。

---

### LSA.008

レベル: CE-ERROR

短構文: LSA.008 LSA stn *p\_cep\_id* on SAP *sap\_value* terminated with rc *vtamrc*, (nt *network*)

長構文: LSA.008 LSA closing link station *p\_cep\_id* on SAP *sap\_value* with rc *vtamrc*, (network *network*)

説明: LSA は、このネットワーク・インターフェースの VTAM SAP 上でリンク・ステーションをクローズしました。

---

**LSA.009**

レベル: C-INFO

短構文: LSA.009 LSA disabling int for VTAM host user *host\_user*, (nt *network*)

長構文: LSA.009 LSA disabling interface for VTAM host user *host\_user*, (network *network*)

説明: LSA は VTAM ユーザー接続を使用不可にしました。サブチャンネルがオフラインのためです。

---

**LSA.010**

レベル: C-INFO

短構文: LSA.010 LSA closing SAP *sap\_value*, (nt *network*)

長構文: LSA.010 LSA closing SAP *sap\_value*, (network *network*)

説明: LSA は、このネットワーク・インターフェースの VTAM SAP をクローズしました。

---

**LSA.011**

レベル: C-INFO

短構文: LSA.011 LSA stn *p\_cep\_id* on SAP *sap\_value* closed by VTAM, (nt *network*)

長構文: LSA.011 LSA link station *p\_cep\_id* on SAP *sap\_value* closed by VTAM, (network *network*)

説明: LSA は、このネットワーク・インターフェースの VTAM SAP 上でリンク・ステーションをクローズしました。

---

**LSA.012**

レベル: C-INFO

短構文: LSA.012 LSA stn *p\_cep\_id* on SAP *sap\_value* terminated with rc *vtamrc*, (nt *network*)

長構文: LSA.012 LSA closing link station *p\_cep\_id* on SAP *sap\_value* with rc *vtamrc*, (network *network*)

説明: LSA は、このネットワーク・インターフェースの VTAM SAP 上でリンク・ステーションをクローズしました。

---

**LSA.013**

レベル: CI-ERROR

短構文: LSA.013 LSA Error, invalid *p\_cep\_id* or *p\_sap\_id cookie*, (nt *network*)

長構文: LSA.013 LSA Error, invalid *p\_cep\_id* or

*p\_sap\_id cookie*, (network *network*)

説明: LLC 事象、つまり "クッキー" が無効のデータ・フレームを受信しました。

---

**LSA.014**

レベル: CI-ERROR

短構文: LSA.014 LSA Error, event rcvd from wrong LAN, (nt *network*)

長構文: LSA.014 LSA Error, event received from wrong LAN, (network *network*)

説明: LLC 事象、つまり間違った LAN からデータ・フレームを受信しました。

---

**LSA.015**

レベル: CI-ERROR

短構文: LSA.015 LSA Error, LLC event *event\_type* received in state *vlan\_status*, (nt *network*)

長構文: LSA.015 LSA Error, LLC event *event\_type* received in state *vlan\_status*, (network *network*)

説明: LLC 事象の発生が、LSA バーチャル・インターフェースがオンラインになる前でした。

---

**LSA.016**

レベル: CI-ERROR

短構文: LSA.016 LSA Error, SABME rcvd for statn *station* in state *status*, (nt *network*)

長構文: LSA.016 LSA Error, SABME received for station *station* in state *status*, (network *network*)

説明: SABME が接続ステーション上で受信されました。

---

**LSA.017**

レベル: CI-ERROR

短構文: LSA.017 LSA Error, unxpctd Conn Confirm rcvd for stn *station* in state *status*, (nt *network*)

長構文: LSA.017 LSA Error, unexpected Connect Confirm received for link station *station* in link state *status*, (network *network*)

説明: 予期しない応答確認 (接続確認) を LLC から受信しました。

---

---

**LSA.018**

レベル: CI-ERROR

短構文: LSA.018 LSA Error, unable to allocate LSCB for SAP *sap\_id*, (nt *network*)

長構文: LSA.018 LSA Error, unable to allocate LSCB for SAP *sap\_id*, (network *network*)

説明: この SAP 用の空き LSCB を見付けることができません。

---

**LSA.019**

レベル: CI-ERROR

短構文: LSA.019 LSA Error, invalid route info len *route\_inf\_len* rcvd, (nt *network*)

長構文: LSA.019 LSA Error, invalid routing information length *route\_inf\_len* received, (network *network*)

説明: 受信したルーティング情報長さが無効でした。

---

**LSA.020**

レベル: CI-ERROR

短構文: LSA.020 LSA Error, event type *event\_type*, invalid cause code *cause\_code* rcvd, (nt *network*)

長構文: LSA.020 LSA Error, event type *event\_type*, unexpected cause code *cause\_code* received, (network *network*)

説明: 受信した原因符号が無効でした。

---

**LSA.021**

レベル: CI-ERROR

短構文: LSA.021 LSA Error, unexpected event type *event\_type* rcvd, (nt *network*)

長構文: LSA.021 LSA Error, unexpected event type *event\_type* received, (network *network*)

説明: LLC から受信した事象タイプが確認できません。

---

**LSA.022**

レベル: CE-ERROR

短構文: LSA.022 LSA Error, invalid LAN type *lan\_type* or LAN num *lan\_num*, (nt *network*)

長構文: LSA.022 LSA Error, invalid LAN type *lan\_type* or LAN number *lan\_num*, (network *network*)

説明: LAN タイプまたは LAN 番号が無効です。

---

**LSA.023**

レベル: CI-ERROR

短構文: LSA.023 LSA Error, virt adapt not init, stat is *virt\_adap\_stat*, (nt *network*)

長構文: LSA.023 LSA Error, virtual adapter not initialized, status is *virt\_adap\_stat*, (network *network*)

説明: バーチャル・アダプターの状況が ENABLED ではありません。

---

**LSA.024**

レベル: CI-ERROR

短構文: LSA.024 LSA Error, frame rcvd with unknown id *identifier*, (nt *network*)

長構文: LSA.024 LSA Error, frame received with unknown identifier *identifier*, (network *network*)

説明: フレームを受信しましたが、*p\_sap\_id* または *p\_cep\_id* が確認できません。

---

**LSA.025**

レベル: CI-ERROR

短構文: LSA.025 LSA Error, cntrlr len *controller\_len* should be *t2\_len*, (nt *network*)

長構文: LSA.025 LSA Error, controller length *controller\_len* should be *t2\_len*, (network *network*)

説明: 制御装置長さが無効です。

---

**LSA.026**

レベル: CI-ERROR

短構文: LSA.026 LSA Error, XID poll/final *cmd\_resp* or *cmd/resp poll\_final* error, (nt *network*)

長構文: LSA.026 LSA Error, XID poll/final *cmd\_resp* or command/response field value *poll\_final* is incorrect, (network *network*)

説明: ポーリング/最終フィールドに無効値または正しくない状態が入っているか、または コマンド/応答フィールドが無効です。

---

**LSA.027**

レベル: CI-ERROR

短構文: LSA.027 LSA Error, invalid routing info len *route\_info\_len*, (nt *network*)

長構文: LSA.027 LSA Error, invalid routing information length of *route\_info\_len*, (network *network*)



説明: ルーティング情報長さが無効です。

---

#### LSA.028

レベル: CI-ERROR

短構文: LSA.028 LSA Error, frame len *frame\_size* exceeded max *frame\_max*, (nt network)

長構文: LSA.028 LSA Error, frame length of *frame\_size* exceeded maximum of *frame\_max*, (network network)

説明: フレーム・サイズが最大値を超えました。

---

#### LSA.029

レベル: CI-ERROR

短構文: LSA.029 LSA Error, invalid SSAP *ssap* for Test/XID, (nt network)

長構文: LSA.029 LSA Error, invalid SSAP *ssap* for Test/XID, (network network)

説明: 発信元 SAP がテスト/XID では無効です。

---

#### LSA.030

レベル: CI-ERROR

短構文: LSA.030 LSA Error, invalid SAP CB ptr *sap\_cb*, (nt network)

長構文: LSA.030 LSA Error, invalid SAP CB pointer *sap\_cb*, (network network)

説明: SAP CB ポインターが無効です。

---

#### LSA.031

レベル: CI-ERROR

短構文: LSA.031 LSA Error, unexpected ret code 0x *ret\_code* from LLC call to *func\_name*, (nt network)

長構文: LSA.031 LSA Error, unexpected return code 0x *ret\_code* from LLC call to *func\_name*, (network network)

説明: LLC が LSA ネット・ハンドラーにエラー・コードを戻しました。

---

#### LSA.032

レベル: CI-ERROR

短構文: LSA.032 LSA Error, prim type *primitive* vtam code *vtam\_code*, parm *parm* (nt network)

長構文: LSA.032 LSA Error, primitive type *primitive* vtam code *vtam\_code*, parameter *parm* (network network)

説明: VTAM 要求/応答の処理でエラーが発生しました。指定されたパラメーターのせいでした。

---

#### LSA.033

レベル: C-INFO

短構文: LSA.033 LSA enabling int for VTAM host user *host\_user*, (nt network)

長構文: LSA.033 LSA enabling interface for VTAM host user *host\_user*, (network network)

説明: LSA は VTAM ユーザー接続を使用可能にしました。

---

#### LSA.034

レベル: C-INFO

短構文: LSA.034 LSA opening SAP *sap\_value*, p\_sap\_id *p\_sap\_id* (nt network)

長構文: LSA.034 LSA opening SAP *sap\_value*, p\_sap\_id *p\_sap\_id* (network network)

説明: LSA は、このネットワーク・インターフェースの VTAM SAP をオープンしました。

---

#### LSA.035

レベル: C-INFO

短構文: LSA.035 LSA stn *p\_cep\_id* on SAP *sap\_value* opened by VTAM, (nt network)

長構文: LSA.035 LSA link station *p\_cep\_id* on SAP *sap\_value* opened by VTAM, (network network)

説明: LSA は、このネットワーク・インターフェースの VTAM SAP 上でリンク・ステーションをオープンしました。

---

#### LSA.036

レベル: CI-ERROR

短構文: LSA.036 LSA Event, prim type *primitive* vtam code *vtam\_code*, (nt network)

長構文: LSA.036 LSA Event, primitive type *primitive* vtam code *vtam\_code*, (network network)

説明: VTAM 要求/応答の処理で非エラー事象が発生しました。

---

#### LSA.037

レベル: CI-ERROR

短構文: LSA.037 LSA Error, MAC adap not enabled, (nt network)

長構文: LSA.037 LSA Error, MAC adapter is not enabled, (network network)

説明: MAC アダプターが使用可能にされていません。

---

#### LSA.038

レベル: CI-ERROR

短構文: LSA.038 LSA Error, out of host user blocks, (nt *network*)

長構文: LSA.038 LSA Error, out of host user blocks, (network *network*)

説明: ホスト・ユーザー・ブロックがそれ以上ありません。

---

#### LSA.039

レベル: CI-ERROR

短構文: LSA.039 LSA Error, unknwn or unexpect req/resp *primitive* rcvd, (nt *network*)

長構文: LSA.039 LSA Error, unknown or unexpected request/response *primitive* received, (network *network*)

説明: プリミティブを受信しましたが、不明または予期しないものでした。

---

#### LSA.040

レベル: CI-ERROR

短構文: LSA.040 LSA Error, invalid req/resp *primitive* for statn *station\_status* stat *network/* )

長構文: LSA.040 LSA Error, invalid request/response *primitive* for station *station\_status* in status *network/* )

説明: 要求/応答がこのステーション状況では無効です。

---

#### LSA.041

レベル: CI-ERROR

短構文: LSA.041 LSA dl\_open\_station error 0x *llc\_rc* from LLC, (nt *network*)

長構文: LSA.041 LSA dl\_open\_station error 0x *llc\_rc* from LLC, (network *network*)

説明: LSA がリンク・ステーションのオープンを試みていたとき、LLC がエラーを検出しました。

---

#### LSA.042

レベル: C-INFO

短構文: LSA.042 LSA stn *p\_cep\_id* on SAP *sap\_value* conn est, (nt *network*)

長構文: LSA.042 LSA link station *p\_cep\_id* on SAP

*sap\_value* connection established, (network *network*)

説明: LSA はリモート・リンク・ステーションとの LLC 接続を確立しました。

---

#### LSA.043

レベル: C-INFO

短構文: LSA.043 LSA stn *p\_cep\_id* on SAP *sap\_value* conn rej by *rej\_end*, (nt *network*)

長構文: LSA.043 LSA link station *p\_cep\_id* on SAP *sap\_value* connection rejected by *rej\_end*, (network *network*)

説明: リモート・リンク・ステーションへの LLC 接続がリジェクトされました。

---

#### LSA.044

レベル: C-INFO

短構文: LSA.044 LSA net *netnum* rcvd netup from net *lan\_netnum* (nt *network*)

長構文: LSA.044 LSA net *netnum* received netup from net *lan\_netnum* (network *network*)

説明: LSA ネット・ハンドラーが接続ダウンストリーム LAN からネットアップを受信しました。

---

#### LSA.045

レベル: C-INFO

短構文: LSA.045 LSA net *netnum* MAC addr *macaddr* set (nt *network*)

長構文: LSA.045 LSA net *netnum* MAC address set to *macaddr* (network *network*)

説明: LSA ネット・ハンドラーが接続ダウンストリーム LAN からネットアップを受信しました。

---

#### LSA.046

レベル: P-TRACE

短構文: LSA.046 LSA user data to base net handler (nt *network*)

長構文: LSA.046 LSA user data sent to the base net handler (network *network*)

説明: LSA ネット・ハンドラーは、基本ネット・ハンドラーにユーザー・データを送信しました。

---

**LSA.047**

レベル: P-TRACE

短構文: LSA.047 LSA user data from base net handler (nt network)

長構文: LSA.047 LSA user data received from the base net handler (network network)

説明: LSA ネット・ハンドラーは、基本ネット・ハンドラーからユーザー・データを受信しました。

---

**LSA.048**

レベル: P-TRACE

短構文: LSA.048 LSA prim *prim\_code* to base net handler (nt network)

長構文: LSA.048 LSA primitive *prim\_code* sent to the base net handler (network network)

説明: LSA ネット・ハンドラーは、基本ネット・ハンドラーにデータを送信しました。このデータは、ホストへの接続の稼働のために LSA が使用するプリミティブが含まれるプリミティブであり、接続を通して実行するユーザー・データではありません。

---

**LSA.049**

レベル: P-TRACE

短構文: LSA.049 LSA prim *prim\_code* from base net handler (nt network)

長構文: LSA.049 LSA primitive *prim\_code* received from the base net handler (network network)

説明: LSA ネット・ハンドラーは、基本ネット・ハンドラーからデータを受信しました。このデータは、ホストへの接続の稼働のために LSA が使用するプリミティブが含まれるプリミティブであり、接続を通して実行するユーザー・データではありません。

---

**LSA.050**

レベル: C-INFO

短構文: LSA.050 *in\_out* flow *on\_off* LSA stn *p\_cep\_id* on SAP *sap\_value*, (nt network)

長構文: LSA.050 *in\_out* flow turned *on\_off* for LSA link station *p\_cep\_id* on SAP *sap\_value*, (network network)

説明: VTAM または LLC が、LSA リンク・ステーションに関して、フロー制御をオン/オフにしました。

---

---

**LSA.051**

レベル: CE-ERROR

短構文: LSA.051 FRMR *in\_out* for LSA stn *p\_cep\_id* on SAP *sap\_value*, (nt network)

長構文: LSA.051 Frame reject *in\_out* for LSA link station *p\_cep\_id* on SAP *sap\_value*, (network network)

説明: フレーム・リジェクトが、LSA リンク・ステーションに関して、送信または受信されました。

---

**LSA.053**

レベル: C-INFO

短構文: LSA.053 LSA rcvd *event* event for SAP/stn *sap\_cep* (nt network)

長構文: LSA.053 LSA received *event* event from LLC for SAP/link station *sap\_cep* (network network)

説明: LSA ネット・ハンドラーは、LLC アプリケーションから事象通知を受信しました。

---

**LSA.054**

レベル: CI-ERROR

短構文: LSA.054 LSA frame not sent to host rc *rc* (nt network)

長構文: LSA.054 LSA frame not sent to host - return code *rc* (network network)

説明: LSA ネット・ハンドラーは、ホストにフレームを送信できませんでした。

---

**LSA.055**

レベル: C-INFO

短構文: LSA.055 APPN Loopback net installed (nt network)

長構文: LSA.055 APPN Loopback net installed (nt network)

説明: LLC ループバック用の APPN ネット・ハンドラーがインストールされました。

---

**LSA.056**

レベル: C-INFO

短構文: LSA.056 APPN Loopback net init complete (nt network)

長構文: LSA.056 APPN Loopback net initialization complete (nt network)

---

説明: LLC ループバック用の APPN ネット・ハンドラーが初期化されました。

---

#### LSA.057

レベル: C-INFO

短構文: LSA.057 LSA net *netnum* disabled by user (nt *network*)

長構文: LSA.057 LSA net *netnum* disabled by user (nt *network*)

説明: LSA ネット・ハンドラー使用不可ルーチンが起動されました。

---

#### LSA.058

レベル: CI-ERROR

短構文: LSA.058 LSA can't get IORB for *cause* (nt *network*)

長構文: LSA.058 LSA unable to get IORB for *cause* (nt *network*)

説明: LSA ネット・ハンドラーは IORB を入手できませんでした。事象が発生した可能性があります、VTAM に報告されることはありません。

---

#### LSA.059

レベル: C-INFO

短構文: LSA.059 LSA net passed self-test (nt *network*)

長構文: LSA.059 LSA net passed self-test (nt *network*)

説明: LSA ネット・ハンドラーは、その自己検査ルーチンを渡しました。チャンネル・アダプターとダウンストリーム LAN アダプターが両方ともネットアップしました。

---

#### LSA.060

レベル: C-INFO

短構文: LSA.060 LSA net *netnum* netdwn by LAN net *lan\_netnum* netdwn (nt *network*)

長構文: LSA.060 LSA net *netnum* went netdown because LAN net *lan\_netnum* went netdown (nt *network*)

説明: ダウンストリーム LAN アダプターがネットダウンしたため、LSA ネット・ハンドラーはネットダウンしました。

---

#### LSA.061

レベル: CI-ERROR

短構文: LSA.061 LSA LLC can't find MAC *macaddr* SAP *sap* for prim *prim* (nt *network*)

長構文: LSA.061 LSA LLC can't find MAC *macaddr* SAP *sap* for VTAM primitive *prim* (nt *network*)

説明: LLC は、MAC アドレスに対してオープン、指定された SAP を見付けることができませんでした。このエラーが発生するのは、LLC ループバックの場合だけです。

---

#### Panic Isanomem

短構文: Isanomem: LSA handler no memory

説明: LSA ハンドラーが、制御ブロック (複数の場合もある) 用として記憶域を割り振ることができません。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

#### Panic Isansram

短構文: Isansram: LSA SRAM not found

説明: LSA ネット・ハンドラーに関する SRAM レコードが見付かりませんでした。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

#### Panic Isanolan

短構文: Isanolan: LSA target LAN not defined

説明: LSA ターゲット LAN が定義されていません。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

#### Panic Isanolsa

短構文: Isanolsa: APPN loopback activated with no LSA net defined

説明: APPN ループバックが起動されましたが、LSA ネットが定義されていません。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

---

## **Panic Isabcall**

**短構文:** Isabcall: bad call to routine

**説明:** ルーチンに対して無効の呼び出しが行われました。

**処置:** サービス技術員に連絡してください。

---

## 第74章 MAC フィルター (MCF)

この章では、MAC フィルター (MCF) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### MCF.001

レベル: P-TRACE

短構文: MCF.001 MCF enbl

長構文: MCF.001 MAC Filtering enabled

説明: MAC フィルター・データベースが使用可能になりました。

---

### MCF.002

レベル: P-TRACE

短構文: MCF.002 MCF dsbl

長構文: MCF.002 MAC Filtering disabled

説明: MAC フィルター・データベースが使用不可になりました。

---

### MCF.003

レベル: UI-ERROR

短構文: MCF.003 MCF init-err no mem

長構文: MCF.003 MAC Filtering no memory for initialization

説明: MAC フィルター・データベースの初期化で、MAC フィルター制御構造用の記憶域の割り振りに失敗しました。

原因: この構成をサポートするには、記憶域が不十分です。

処置: 構成を変更して、記憶域使用量を減らします。追加の物理記憶域が必要になる場合があります。

---

### MCF.004

レベル: UI-ERROR

短構文: MCF.004 MCF init-err bd ifc nmb - *filter\_intf*

長構文: MCF.004 MAC Filtering bad interface number *filter\_intf* given in initialization

説明: MAC フィルター・データベースの初期化で、存在しないインターフェースがフィルターと共に構成されています。

原因: インターフェースが存在していないのに、ユー

ザーがトラップを構成したのです。

処置: 誤ったトラップを削除するか、そのトラップを割り当てるインターフェースを追加します。

---

### MCF.005

レベル: UI-ERROR

短構文: MCF.005 MCF init-err gen flt db

長構文: MCF.005 MAC Filtering database initialization error

説明: MAC フィルター・データベースの初期化で、フィルター・データベースの作成中にエラーを検出しました。

原因: この構成をサポートするには、記憶域が不十分です。

処置: 構成を変更して、記憶域使用量を減らします。追加の物理記憶域が必要になる場合があります。

---

### MCF.006

レベル: U-TRACE

短構文: MCF.006 MCF add filt at *name* ok

長構文: MCF.006 MAC Filtering initialized filter at *name* successfully

説明: 示されている方向およびインターフェースで構成された MAC フィルターが正常に初期化され、有効になっています。

---

### MCF.007

レベル: U-TRACE

短構文: MCF.007 flt *filter* exc frm *source-> dest*, nt *network* int *iname!* *intnum*

長構文: MCF.007 MAC Filter *filter* excludes frame *source-> dest*, network *network* interface *iname!* *intnum*

説明: 指定された MAC フィルターが、示されている方向およびインターフェース上で、あるフレームと一致しました。このフレームは、それ以降の処理から除外されました。



---

**MCF.008**

レベル: U-TRACE

短構文: MCF.008 *flt filter inc frm source-> dest, nt network int inname/ intnum*

長構文: MCF.008 MAC Filter *filter* includes frame *source-> dest, network network interface inname/ intnum*

説明: 指定された MAC フィルターが、示されている方向およびインターフェース上で、あるフレームと一致しました。このフレームは、それ以降の処理に組み込まれました。

---

**MCF.009**

レベル: U-TRACE

短構文: MCF.009 *flt filter tag( tag) frm source-> dest, nt network int inname/ intnum*

長構文: MCF.009 MAC Filter *filter* tags( *tag*) frame *source-> dest, network network interface inname/ intnum*

説明: 指定された MAC フィルターが、示されている方向およびインターフェース上で、あるフレームと一致しました。このフレームは、構成された処置に従って、フィルターされました。

---

**Panic mcfimem**

短構文: MCF init fail, no mem

説明: MAC フィルター初期化は初期化を完了するために十分な記憶域を割り振ることに失敗しました。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

## 第75章 MMC

この章では、MMC メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### MMC.001

レベル: C-INFO

短構文: MMC.001 Dscrd ATM pkt on int *net\_num*, int is dwn.

長構文: MMC.001 Discard ATM packet on interface *net\_num*, because interface is down.

説明: ATM パケットが廃棄されました。

---

### MMC.002

レベル: UI-ERROR

短構文: MMC.002 switch\_receive\_frame. Unsprrted msg (type= *type*) rcvd

長構文: MMC.002 switch\_receive\_frame. Unsupported message type *type* received

説明: switch\_receive\_frame() で、サポートされていないメッセージを受信しました。

---

### MMC.003

レベル: UI-ERROR

短構文: MMC.003 *func\_name*: int *net\_num* is not regstrd

長構文: MMC.003 *func\_name*: interface *net\_num* is not registered

説明: インターフェースは装置ドライバーに登録されていません。

---

### MMC.004

レベル: UI-ERROR

短構文: MMC.004 *func\_name*: int *net\_num* is not open

長構文: MMC.004 *func\_name*: int *net\_num* is not open

説明: 装置内でインターフェースがオープンしていません。

---

### MMC.005

レベル: C-INFO

短構文: MMC.005 Frame ACK timed out seq *seq\_num* for int *net\_num* msg type *msg\_type*

長構文: MMC.005 Frame ACK timed out sequence *seq\_num* for interface *net\_num*, message type *msg\_type*

説明: 装置ドライバー内でフレーム確認タイマーが時間切れになりました。

---

### MMC.006

レベル: DEBUG

短構文: MMC.006 Initializing cpu\_enet\_init()

長構文: MMC.006 Initializing cpu\_enet\_init()

説明: cpu\_enet\_init() ルーチンに入りました。

---

### MMC.007

レベル: DEBUG

短構文: MMC.007 cpu\_enet\_ *type\_dscr\_list*: 0x *addr*

長構文: MMC.007 cpu\_enet\_ *type\_dscr\_list*: 0x *addr*

説明: CPU Enet TX/RX 記述子リストを印刷します。

---

### MMC.008

レベル: C-INFO

短構文: MMC.008 cpu\_enet\_rx\_dequeue: Discrdng rx frame *value*

長構文: MMC.008 cpu\_enet\_rx\_dequeue: Discarding rx frame *value*

説明: cpu\_enet\_rx\_dequeue ルーチンが ATM パケットを廃棄しています。

---

### MMC.009

レベル: DEBUG

短構文: MMC.009 Error dequeuing *type* bufs from enet

長構文: MMC.009 Error dequeuing *type* buffers from enet

説明: 装置ドライバー内のバッファーを誤って待ち行列解除しました。

---

**MMC.010**

レベル: DEBUG

短構文: MMC.010 enet\_receive\_frame: valid *net\_num*  
cell cnt = int , debug , for

長構文: MMC.010 enet\_receive\_frame: valid *net\_num*,  
cell cnt = , i/f , debug , for "

説明: IORB 割り振りが失敗しました。

---

**MMC.011**

レベル: CI-ERROR

短構文: MMC.011 tx frame over enet failed

長構文: MMC.011 transmit frame over enet failed

説明: イーサネット・フレームを送送する試みが失敗  
しました。

---

**MMC.012**

レベル: DEBUG

短構文: MMC.012 ATM VCC INDEX 0x *vcc\_index*  
LECID: *lec\_index*

長構文: MMC.012 ATM VCC INDEX 0x *vcc\_index*  
LECID: *lec\_index*

説明: ATM -> CPU メッセージをデコードします。

---

**MMC.013**

レベル: CI-ERROR

短構文: MMC.013 addAtmConnection failed on *net\_num*

長構文: MMC.013 addAtmConnection failed on *net\_num*

説明: このインターフェース上で addAtmConnection に  
失敗しました。

---

**MMC.014**

レベル: C-INFO

短構文: MMC.014 deleteAtmConnection failed - *rc*  
*connection\_ea* , *rc2* , *connection\_ae*

長構文: MMC.014 deleteAtmConnection failed - *rc*  
*connection\_ea* , *rc2* , *connection\_ae*

説明: deleteAtmConnection に失敗しました。

---

---

**MMC.015**

レベル: CI-ERROR

短構文: MMC.015 *func\_name*: illegal dist type

長構文: MMC.015 *func\_name*: illegal distribution type

説明: 無許可の配布タイプ

---

**MMC.016**

レベル: DEBUG

短構文: MMC.016 *string*

長構文: MMC.016 *string*

説明: これは、MMC から渡された汎用ストリングで  
す。

---

**MMC.017**

レベル: CI-ERROR

短構文: MMC.017 nt *net\_num1* reliable msg buffer  
alloc failed

長構文: MMC.017 nt *net\_num1* reliable msg buffer  
allocation failed

説明: 信頼性のあるメッセージ・バッファ割り振りに  
失敗しました。

---

**MMC.018**

レベル: CI-ERROR

短構文: MMC.018 nt *net\_num1* *func\_name*: unable to  
allocate buffer - dropping frame

長構文: MMC.018 nt *net\_num1* *func\_name*: unable to  
allocate buffer - dropping frame

説明: バッファを割り振ることができません。

---

**MMC.019**

レベル: C-INFO

短構文: MMC.019 nt *net\_num1* Frame ACK timed out  
seq *seq\_num* - bcast msg type *msg\_type*

長構文: MMC.019 nt *net\_num1* Frame ACK timed out  
sequence *seq\_num* - broadcast message type *msg\_type*

説明: このメッセージは、高信頼性の同報通信に関し  
てフレーム確認が失敗したことを示しています。

---

---

**MMC.020**

レベル: CI-ERROR

短構文: MMC.020 nt *net\_num1 func\_name*: msg buf alloc failed

長構文: MMC.020 nt *net\_num1 func\_name*: message buffer allocation failed

説明: フレーム構造の割り振りに失敗しました。

---

**MMC.021**

レベル: C-INFO

短構文: MMC.021 Resetting EPIF *epif\_num*

長構文: MMC.021 Resetting EPIF *epif\_num*

説明: EPIF をリセット中です。

---

**MMC.022**

レベル: CI-ERROR

短構文: MMC.022 Reliable Msg Queue full - dropping msg type: *msg\_type*

長構文: MMC.022 Reliable Msg Queue full - dropping msg type: *msg\_type*

説明: 信頼性のあるメッセージ待ち行列がいっぱいなので、メッセージを除去しています。

---

**MMC.023**

レベル: CI-ERROR

短構文: MMC.023 Reliable Msg Entering Data Discard mode: *num\_messages*

長構文: MMC.023 Reliable Msg Entering Data Discard mode: *num\_messages*

説明: 信頼できるメッセージ待ち行列がデータ廃棄モードに入っています。

---

**MMC.024**

レベル: CI-ERROR

短構文: MMC.024 Reliable Msg Exiting Data Discard mode: *num\_messages*

長構文: MMC.024 Reliable Msg Exiting Data Discard mode: *num\_messages*

説明: 信頼できるメッセージが非輻轉 (ふくそう) 状態となり、通常モードに戻っています。



---

## 第76章 MPC チャネル・ネットワーク・インターフェース (MPC)

この章では、MPC チャネル・ネットワーク・インターフェース (MPC) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### MPC.001

レベル: UE-ERROR

短構文: MPC.001 *file( line)*: No IORB allocated (nt *network*)

長構文: MPC.001 *file( line)*: No IORB could be allocated (network *network*)

説明: MPC+ 処理は IORB を必要としましたが、これが獲得できませんでした。

---

### MPC.002

レベル: P-TRACE

短構文: MPC.002 *file( line)*: netfout did not send data frame (nt *network*)

長構文: MPC.002 *file( line)*: netfout did not send out data frame (network *network*)

説明: MPC+ ネット・ハンドラーは netfout を行いましたが、これがフレームを送り出すことに失敗しました。

---

### MPC.003

レベル: UE-ERROR

短構文: MPC.003 *file( line)*: PDU invalid (nt *network*)

長構文: MPC.003 *file( line)*: PDU received was invalid (network *network*)

説明: MPC+ PDU が無効でした。

原因: MPC+ ネット・ハンドラーが必要とした PDU は、チャネルを通して受信されたものではありませんでした。

処置: ソフトウェア・サポートに連絡してください。

---

### MPC.004

レベル: C-TRACE

短構文: MPC.004 *file( line)*: input *fsminput* curr stte *curr\_state* new stte *new\_state* actn *action* (nt *network*)

長構文: MPC.004 *file( line)*: input *fsminput* current state

*curr\_state* new state *new\_state* action *action* (network *network*)

説明: メッセージに示されている MPC+ FSM に入力を示します。

---

### MPC.005

レベル: UE-ERROR

短構文: MPC.005 *file( line)*: SDU ( *rutype\_string*) invalid (nt *network*)

長構文: MPC.005 *file( line)*: SDU ( *rutype\_string*) was invalid (network *network*)

説明: MPC+ SDU が無効でした。

原因: MPC+ ネット・ハンドラーが必要とした SDU は、チャネルを通して受信された PDU のものではありませんでした。

処置: ソフトウェア・サポートに連絡してください。

---

### MPC.006

レベル: UE-ERROR

短構文: MPC.006 *file( line)*: no *cbtype\_string* CB available (nt *network*)

長構文: MPC.006 *file( line)*: no *cbtype\_string* control block available (network *network*)

説明: 制御ブロックまたはその資源 (たとえば、IORB) 用の記憶域が、MPC+ ネット・ハンドラーの場合に獲得できませんでした。

---

### MPC.007

レベル: UE-ERROR

短構文: MPC.007 *file( line)*: *conntype\_string\_* equal user data (nt *network*)

長構文: MPC.007 *file( line)*: *conntype\_string\_* Virtual Circuit user data was equal (network *network*)

説明: バーチャル・サーキット上の *user\_data* が同じでした。

原因: VTAM と MPC+ ネット・ハンドラーの両方が同じユーザー・データを選出しました。



**処置:** 接続タイプが CM の場合は、再度 MPC+ グループの立ち上げを試みてください。ユーザー・データ内の乱数が次回は異なっていることが期待されます。

**処置:** ユーザー接続の場合は、ユーザー・データの変更を試みてください。APPN 接続にはコントロール・ポイント名が使用されていることに注意してください。

---

#### MPC.008

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** MPC.008 *file( line): cbtype\_string* CB was not found for *cmdtype\_string* (nt network)

**長構文:** MPC.008 *file( line): cbtype\_string* control block could not be located for *cmdtype\_string* (network network)

**説明:** コマンド (プリミティブ/SDU) に関する MPC+ 制御ブロックを見付けることができませんでした。

**原因:** 資源がダウンしたため、制御ブロックはすでに解放されていました。

**処置:** 一般的には、処置は必要ありません。

---

#### MPC.009

**レベル:** U-INFO

**短構文:** MPC.009 *file( line): fsmtype\_string* FSM invalid, input = *input* state = *state* (nt network)

**長構文:** MPC.009 *file( line): fsmtype\_string* FSM had invalid input, input = *input* state = *state* (network network)

**説明:** MPC+ FSM の 1 つが入力を受信しましたが、これは現在の状態で発生するはずがない入力です。

**処置:** 一般的には、処置は必要ありません。問題が引き続き発生する場合は、ソフトウェア・サポートに連絡してください。

---

#### MPC.010

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** MPC.010 *file( line): Primitive ( primtype\_string)* invalid (nt network)

**長構文:** MPC.010 *file( line): Primitive ( primtype\_string)* was invalid (network network)

**説明:** MPC+ プリミティブが無効でした。

**原因:** MPC+ ネット・ハンドラーが必要としたプリミティブは、ボックス内の他の処理から受信したものではありませんでした。

**処置:** ソフトウェア・サポートに連絡してください。

---

#### MPC.011

**レベル:** C-INFO

**短構文:** MPC.011 *file( line): Primitive ( primtype\_string)* was a dup (nt network)

**長構文:** MPC.011 *file( line): Primitive ( primtype\_string)* was a duplicate (network network)

**説明:** MPC+ プリミティブは、すでにアクティブであったか、またはアクティブになる途上にあった資源用でした。

**処置:** 一般的には、処置は必要ありません。問題が引き続き発生する場合は、ソフトウェア・サポートに連絡してください。

---

#### MPC.012

**レベル:** P-TRACE

**短構文:** MPC.012 *file( line): conntype\_string* conn congested (nt network)

**長構文:** MPC.012 *file( line): conntype\_string* connection is congested (network network)

**説明:** MPC+ PDU の受信が行われた接続が輻輳 (ふくそう) していたので、PDU は廃棄されました。

**処置:** 一般的には、処置は必要ありません。問題が引き続き発生する場合は、ソフトウェア・サポートに連絡してください。

---

#### MPC.013

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** MPC.013 *file( line): cmd ( commtype\_string)* was unupp (nt network)

**長構文:** MPC.013 *file( line): command ( commtype\_string)* was unsupported (network network)

**説明:** 装置ドライバーからのコマンドがサポートされていませんでした。

**処置:** ソフトウェア・サポートに連絡してください。

---

#### MPC.015

**レベル:** C-INFO

**短構文:** MPC.015 *file( line): subchnnl ( local\_sc\_num)* not expectng *cmd\_string* cmd (nt network)

**長構文:** MPC.015 *file( line): local subchannel ( local\_sc\_num)* not expecting *cmd\_string* command in current state (network network)

**説明:** MPC+ サブチャネルがコマンドを受信しました

が、その現在の状態では予期されなかったものです。そのコマンドは無視されました。

**原因:** VTAM が再送したコマンドが、そのサブチャンネル用としてすでに処理されていたものでした。

**処置:** 一般的には、処置は必要ありません。問題が引き続き発生する場合は、ソフトウェア・サポートに連絡してください。

---

#### MPC.016

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** MPC.016 *file( line): timer ( timer\_string) popped when not running (nt network)*

**長構文:** MPC.016 *file( line): timer ( timer\_string) popped when it was not currently running (network network)*

**説明:** MPC+ タイマーが稼働中でしたが、処理ではこのタイマーが稼働中とは考えられなかったときでした。

**処置:** ソフトウェア・サポートに連絡してください。

---

#### MPC.017

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** MPC.017 *file( line): XID2( xid2\_type) failed validation (nt network)*

**長構文:** MPC.017 *file( line): XID2( xid2\_type) failed was validation (network network)*

**説明:** 受信された MPC+ XID2 がその妥当性検査に失敗し、不良と見なされます。

**原因:** VTAM は、HPDT MPC ではなく、MPC の下位レベル・バージョンを使用している可能性があります。HPDT MPC (つまり、MPC+) だけがサポートされません。

**処置:** VTAM が HPDT MPC を使用するように構成してください。

**原因:** XID2 交換内の乱数が、MPC+ ネット・ハンドラーおよび VTAM 内と同じものでした。

**処置:** 再度 MPC グループの立ち上げを試みてください。次回は異なる乱数が交換されることが期待されません。

---

#### MPC.018

**レベル:** C-INFO

**短構文:** MPC.018 *file( line): dup. PDU was received (nt network)*

**長構文:** MPC.018 *file( line): A duplicate PDU was received (network network)*

**説明:** MPC+ シーケンス・マネージャーが、受信した重複 PDU を廃棄しました。

**処置:** 処置は必要ありません。

---

#### MPC.019

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** MPC.019 *file( line): conn\_string connection cleaned up by Seq. Manager (nt network)*

**長構文:** MPC.019 *file( line): conn\_string connection was cleaned up by Sequence Manager (network network)*

**説明:** MPC+ シーケンス・マネージャーが接続を終結処理しました。順序制御または確認に問題があったためです。

**原因:** データの順序に誤りがあり、回復できませんでした。

**処置:** 接続は復旧し回復する必要があります。問題が引き続き発生する場合は、その接続のシーケンス・タイマーの値が低過ぎないかどうか調べます。低過ぎる可能性がある場合は、その接続のシーケンス・タイマーの値を大きくしてください。問題の原因は、シーケンス・タイマーの値の大きさが不十分で、トラフィックの遅延にあった可能性があります。

**原因:** VTAM からのデータの受信確認がタイムリーに行われていませんでした。

**処置:** データの流れがなお続いている場合は、その接続のシーケンス・タイマーの値を変更する必要がある可能性があります。

---

#### MPC.020

**レベル:** P-TRACE

**短構文:** MPC.020 *file( line): MPC+ command\_string to base channel (nt network)*

**長構文:** MPC.020 *file( line): MPC+ command\_string sent to base channel (network network)*

**説明:** MPC+ ネット・ハンドラーが、基本チャンネル・ネット・ハンドラーに MPC コマンドまたはデータを送信しました。

---

#### MPC.021

**レベル:** P-TRACE

**短構文:** MPC.021 *file( line): MPC+ command\_string from base channel (nt network)*

**長構文:** MPC.021 *file( line): MPC+ command\_string*  
received from base channel (network network)

**説明:** MPC+ ネット・ハンドラーが、基本チャネル・  
ネット・ハンドラーから MPC コマンドまたはデータを受信しました。

---

### MPC.022

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** MPC.022 *file( line): ru\_string* invalid.  
*err\_string: 0x err\_data* (nt network)

**長構文:** MPC.022 *file( line): ru\_string* validation failed.  
*err\_string: 0x err\_data* (network network)

**説明:** 構成タイプ・パラメーターが妥当性検査に不合格でした。

**原因:** こちら側で構成したデータか、相手側から受信したデータが無効です。

**処置:** 構成を修正します。

---

### MPC.023

**レベル:** ALWAYS

**短構文:** MPC.023 *file( line): Disabled Net( rea\_string).*  
*err\_string: 0x err\_data* (nt network)

**長構文:** MPC.023 *file( line): Error: Disabled Network*  
Interface ( *rea\_string*). *err\_string: 0x err\_data* (network  
network)

**説明:** 重大なエラーのため、ネット・ハンドラー・  
インターフェースが使用不可になりました。

**原因:** 記憶割り振り障害です。

**処置:** 構成済み資源用として十分な記憶域が現在ありません。記憶域が使用可能になる可能性はあります。インターフェースをアップに戻す試みとして、オペレーター・コンソールからテストを出します。

**原因:** 無効のプロトコルによるインターフェースの使用の試み。

**処置:** ソフトウェア・エラーの可能性があるので、構成を検査します。これが OK の場合は、サービス技術員に連絡してください。

---

### MPC.024

**レベル:** C-INFO

**短構文:** MPC.024 *file( line): event\_string* IP Addr  
*IP\_address* MPC+ nt network

**長構文:** MPC.024 *file( line): event\_string* IP Address  
*IP\_address* on MPC+ network network

**説明:** IP アドレスが MPC+ ネット・ハンドラーに追加または削除されました。

---

### MPC.025

**レベル:** P-TRACE

**短構文:** MPC.025 *file( line): MPC+ user data* to base  
channel (nt network)

**長構文:** MPC.025 *file( line): MPC+ user data* sent to  
base channel (network network)

**説明:** MPC+ ネット・ハンドラーが、基本チャネル・  
ネット・ハンドラーにユーザー・データを送信しました。PDU には複数のユーザー・データ・パケットが入っている可能性があります。このメッセージは各 PDU につき 1 回カウントされますが、PDU 内の各パケットごとに表示されます。

---

### MPC.026

**レベル:** P-TRACE

**短構文:** MPC.026 *file( line): MPC+ user data* from base  
channel (nt network)

**長構文:** MPC.026 *file( line): MPC+ user data* received  
from base channel (network network)

**説明:** MPC+ ネット・ハンドラーが、基本チャネル・  
ネット・ハンドラーからユーザー・データを受信しました。PDU には複数のユーザー・データ・パケットが入っている可能性があります。このメッセージは各 PDU につき 1 回カウントされますが、PDU 内の各パケットごとに表示されます。

---

### MPC.027

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** MPC.027 *file( line): Wrong protocol(*  
*protocol1\_string)* tried to use *protocol2\_string* Exclusive  
Use MPC+ Group (nt network)

**長構文:** MPC.027 *file( line): Wrong protocol(*  
*protocol1\_string)* tried to use *protocol2\_string* Exclusive  
Use MPC+ Group (network network)

**説明:** MPC+ グループは、要求元プロトコルでは、構成を基にして使用することができません。

**処置:** 構成 (排他使用が使用可能) が正しかったかどうかを二重にチェックしてください。

---

**MPC.028**

レベル: UE-ERROR

短構文: MPC.028 *file( line): protocol1\_string* Exclusive Use MPC+ Group already in use by *protocol2\_string* (nt *network*)

長構文: MPC.028 *file( line): protocol1\_string* Exclusive Use MPC+ Group already in use by *protocol2\_string* (network *network*)

説明: MPC+ グループは、要求元プロトコルでは、構成およびプロトコルの別のインスタンスが使用中であるという事実を基にして、使用することができません。

処置: 構成 (排他使用が使用可能) が正しかったかどうかをダブル・チェックしてください。

---

**MPC.029**

レベル: UE-ERROR

短構文: MPC.029 *file( line): Subchannel (0x subnum)* READ or WRITE on both sides (nt *network*)

長構文: MPC.029 *file( line): Subchannel (0x subnum)* is coded READ or coded WRITE on both sides (network *network*)

説明: サブチャネル・リストのコーディングは、チャネルの両側での READ とチャネルの両側での WRITE のいずれかとして行われています。

処置: 構成 (READ か WRITE) が正しかったかどうかをダブル・チェックしてください。

---

**MPC.030**

レベル: UE-ERROR

短構文: MPC.030 *file( line): cmdtype\_string* was received for SC 0x *subnum* which is not part of this Net (nt *network*)

長構文: MPC.030 *file( line): cmdtype\_string* was received for subchannel 0x *subnum* which is not part of this MPC+ NET (network *network*)

説明: サブチャネルに関してコマンド・リストを受信しましたが、それがネット・ハンドラーの一部ではないものです。

処置: ソフトウェア・サポートに連絡してください。

---

**MPC.031**

レベル: C-INFO

短構文: MPC.031 *file( line): MPC+ nt network* protocol down for protocol *prtcl*

長構文: MPC.031 *file( line): MPC+ network network* protocol down for protocol *prtcl*

説明: MPC+ ネット・ハンドラーは、プロトコルがダウンであることを受信しました。

---

**MPC.032**

レベル: C-INFO

短構文: MPC.032 *file( line): cmd ( comntype\_string)* was discarded - net is disabled (nt *network*)

長構文: MPC.032 *file( line): command ( comntype\_string)* was discarded - net is disabled (network *network*)

説明: コマンドは、ネットが使用不可にされていたために廃棄されました。

処置: ソフトウェア・サポートに連絡してください。

---

**MPC.033**

レベル: UI-ERROR

短構文: MPC.033 *file( line): MPC+ discarded protocolid\_string* IORB due to no data (nt *network*)

長構文: MPC.033 *file( line): MPC+ discarded protocolid\_string* IORB due to no data (network *network*)

説明: IORB は、データがなにも入っていなかったために廃棄されました。

処置: ソフトウェア・サポートに連絡してください。

---

**MPC.034**

レベル: CE-ERROR

短構文: MPC.034 *file( line): protocol\_string* tried to use a non-Exclusive Use MPC+ Group (nt *network*)

長構文: MPC.034 *file( line): protocol\_string* tried to use a non-Exclusive Use MPC+ Group (network *network*)

説明: 要求元プロトコルは、構成に基づいて MPC+ グループを使用することができません。これはエラーではない可能性があります。一部のホスト・ユーザー (たとえば、TCP/IP) は、意図的に複数の MPC プロトコルに対して要求を送信し、すべてが成功するとは期待していない場合があります。

処置: 構成 (排他使用が使用可能) が正しかったかどうかを二重にチェックしてください。

---

### MPC.035

レベル: C-INFO

短構文: MPC.035 *file( line)*: BF Decide: Loc Conn  
Token=0x *conn\_string* BF= *bf* ThruPut= *thruput*(ms/pack)  
ElapTime= *elaptim*(ms) (nt *network*)

長構文: MPC.035 *file( line)*: Blocking Factor Decision:  
Local Connection Token=0x *conn\_string* Blocking Factor=  
*bf* Thruput= *thruput*(millisec/packet) ElapsedTime=  
*elaptim*(millisec) (network *network*)

説明: この接続に対して MPC+ ブロック・アルゴリズムがどのように作用するかについての情報を提供します。

処置: なし。

---

### MPC.036

レベル: C-INFO

短構文: MPC.036 *file( line)*: Block Push: Loc Conn  
Token=0x *conn\_string* BF= *bf* PushCnt= *pushcnt* (nt  
*network*)

長構文: MPC.036 *file( line)*: Block Push: Local  
Connection Token=0x *conn\_string* Blocking Factor= *bf*  
PushCnt= *pushcnt* (network *network*)

説明: この接続に対して MPC+ ブロック・アルゴリズムがどのように作用するかについての情報を提供します。

処置: なし。

---

### Panic mpcnomem

短構文: mpcnomem: MPC+ Net Handler no memory

説明: MPC+ ネット・ハンドラーは、制御ブロック用の記憶域を割り振ることができません。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

### Panic mpcnsram

短構文: mpcnsram: MPC+ channel SRAM not found

説明: MPC+ チャンネル・ネット・ハンドラーの SRAM レコードが見付かりませんでした。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

### Panic mpcnosub

短構文: mpcnosub: subch not found

説明: 要求された論理パスと装置アドレスが、チャンネル・ハンドラー・サブチャンネル・テーブル内で見付かりませんでした。

処置: サービス技術員に連絡してください。



---

## 第77章 マルチキャスト・アドレス解決プロトコル (MARS)

この章では、マルチキャスト・アドレス解決プロトコル (MARS) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### MARS.001

レベル: U-INFO

短構文: MARS.001 MARS Q ovf (destId= *destQueue*)  
for nt *network*

長構文: MARS.001 MARS Queue overflow (destId=  
*destQueue*) net *network*

説明: 未処理の MARS パケットの待ち行列が長過ぎたため、MARS パケットが待ち行列に追加されないで廃棄されました。これは、MARS パケットの到着が速過ぎて処理できなかったことを意味しています。この事象は、ELS ではカウントされないで、MARS コンソールでカウントされることに注意してください。

MARS>STATISTICS コマンドを使用して、"input packet overflows" セクションのカウンター (入力ネットワーク別に保持) を読み取ることができます。

原因: これは、いわゆる "MARS ストーム" の徴候としてしばしば現れるものです。ホスト (通常は、普通のワークステーション) に到着するパケットによっては、ホストがそのあて先アドレスを認識できないもの (通常は、IP 同報通信) があります。そこで、ホストでは、(ホスト仕様に違反して) パケットの転送を試みますが、そのためには MARS のマッピングが必要になります。すべてのホストが同時に同報通信を受信するので、すべてが同時にパケットの転送を試み、すべてが同時に MARS 要求を行います。

処置: 該当するホストの製造元に、ソフトウェアを仕様に適合させるよう依頼してください。短期的には、そのようなパケットの送信元を使用不可にするなり、パケットの発信元に対して、誤作動するホストが同報通信として認識できるアドレスを使用させるようにすることができます。

---

### MARS.002

レベル: UI-ERROR

短構文: MARS.002 MARS Q dst is NULL (destId=  
*destQueue*) for nt *network ID*

長構文: MARS.002 MARS queue destination is NULL  
(destId= *destQueue*) for net *network ID*

説明: メッセージが内部 MARS 処理ルーチンに送信されましたが、あて先タイプが無効であったか、あて先待

ち行列の初期化が正しく行われませんでした。

---

### MARS.003

レベル: UI-ERROR

短構文: MARS.003 ATM MARS marsSend net not sup  
or NULL channel detected (channel= *chaDest* nt *network ID*)

長構文: MARS.003 ATM MARS marsSend net not  
supported or NULL channel detected (channel= *chaDest*  
net *network ID*)

説明: ネットワークで発信 MARS パケットを受信しましたが、そのネットワークでは、どのプロトコルもアドレス変換のために MARS を使用していないか、パケットが送信されるはずであったチャンネルが NULL です。メッセージに含まれている情報を調べて、障害の原因を判別します。

原因: ゲートウェイの構成が誤っています。

処置: 構成を訂正してください。

---

### MARS.004

レベル: UI-ERROR

短構文: MARS.004 ATM MARS Rqst send failed rsn  
*reason\_code* nt *network ID*

長構文: MARS.004 ATM MARS transmission of request  
failed for reason *reason\_code* net *network ID*

説明: 内部に何らかの問題が生じた結果、発信 MARS 要求パケットが除去されました。理由コード (*reason\_code*) に原因が示されています。

原因: 各種のハンドラー・エラー (理由コード 1)

処置: ハンドラーからのエラー・メッセージを検査して、*network\_name* を調べてください。

原因: 出力待ち行列オーバーフローまたはその他のフロー制御 (理由コード 2)

処置: 輻輳 (ふくそう) を緩和してください。

原因: ネットワークがダウン (理由コード 3)

処置: ネットワークがダウンしているとハンドラーが判断した理由を調べてください。



**原因:** ループまたはよくない同報通信を回避するためにハンドラーによって廃棄されました。(理由コード 4)。

**処置:** 構成を検査してください。

**原因:** ホストがダウン (理由コード 5)

**処置:** ホストがダウンしているとハンドラーが判断した理由を調べてください。

---

### MARS.005

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** MARS.005 ATM MARS marsSendControlList: Invalid input parms (listAddr= *listVal* dataAddr= *DataVal*)

**長構文:** MARS.005 ATM MARS marsSendControlList: Invalid input parms (listAddr= *listVal* dataAddr= *DataVal*)

**説明:** 発信制御リスト上の MARS パケットの送信要求を受信しました。この要求に関する入力パラメーターが無効です。listAddr および dataAddr の値を記録し、問題が引き続き発生する場合は、問題を報告します。

---

### MARS.006

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** MARS.006 ATM MARS *functionCall*: *msgDesc*.

**長構文:** MARS.006 ATM MARS *functionCall*: *msgDesc*.

**説明:** 内部エラーが発生しました。メッセージにエラーが発生した場所と理由が含まれています。

---

### MARS.008

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** MARS.008 ATM MARS marsSendMember: Invalid input parms (nodeAddr= *nodeVal* dataAddr= *DataVal*)

**長構文:** MARS.008 ATM MARS marsSendMember: Invalid input parms (nodeAddr= *nodeVal* dataAddr= *DataVal*)

**説明:** 出力チャンネル上の MARS パケットの送信要求を受信しました。この要求に関する入力パラメーターが無効です。nodeAddr および dataAddr の値を記録し、問題が引き続き発生する場合は、問題を報告します。

---

### MARS.009

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** MARS.009 ATM MARS marsControlListCreate: Invalid input parms (listAddr= *listAddr* nodeAddr= *nodeAddr* dataAddr= *DataAddr*)

**長構文:** MARS.009 ATM MARS marsControlListCreate: Invalid input parms (listAddr= *listAddr* nodeAddr= *nodeAddr* dataAddr= *DataAddr*)

**説明:** 制御リストの作成要求が失敗しました。この要求に関する入力パラメーターが無効です。listAddr、nodeAddr、および dataAddr の値を記録し、問題が引き続き発生する場合は、問題を報告します。

---

### MARS.010

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** MARS.010 ATM MARS PlaceCall Failure (rc= *retCode*): nt *network ID* for ATM addr = *atmAddr*

**長構文:** MARS.010 ATM MARS PlaceCall Failure (rc= *retCode*): net *network ID* for destination ATM address = *atmAddr*

**説明:** SVC の設定を試みているときに、装置ドライバーのサービスが SUCCESS 以外の値を返しました。

---

### MARS.011

**レベル:** U-TRACE

**短構文:** MARS.011 ATM MARS PlaceCall Success: nt *network ID* for ATM addr = *atmAddr*

**長構文:** MARS.011 ATM MARS PlaceCall Success: net *network ID* for ATM addr = *atmAddr*

**説明:** コールは正常に実行されました。このチャンネルは新しいチャンネル・リストの上に現れるはずであり、まだ応答はなされていません。応答されると、ログに PlaceCallAck メッセージが現れます。

---

### MARS.012

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** MARS.012 ATM MARS marsControlListAddMember: Invalid input parms (listAddr= *listAddr* nodeAddr= *nodeAddr* dataAddr= *DataAddr*)

**長構文:** MARS.012 ATM MARS marsControlListAddMember: Invalid input parms (listAddr= *listAddr* nodeAddr= *nodeAddr* dataAddr= *DataAddr*)

**説明:** 制御リストへのメンバーの追加要求が失敗しました。この要求に関する入力パラメーターが無効です。listAddr、nodeAddr、および dataAddr の値を記録し、問題が引き続き発生する場合は、問題を報告します。

---

**MARS.013**

レベル: UI-ERROR

短構文: MARS.013 ATM MARS AddLeaf Failure (rc= *retCode*): nt *network ID* for ATM addr = *atmAddr*

長構文: MARS.013 ATM MARS AddLeaf Failure (rc= *retCode*): net *network ID* for destination ATM address = *atmAddr*

説明: 既存の P2MP VC にリーフの追加を試みているとき、装置ドライバーのサービスが SUCCESS 以外の値を返しました。

---

**MARS.014**

レベル: U-TRACE

短構文: MARS.014 ATM MARS AddLeaf Success: vpi= *vpiVal* vci= *vciVal* nt *network ID* for ATM addr = *atmAddr*

長構文: MARS.014 ATM MARS AddLeaf Success: vpi= *vpiVal* vci= *vciVal* net *network ID* for ATM addr = *atmAddr*

説明: AddLeaf のコールが正常に実行されました。このリーフはチャンネル・リスト上に現れるはずですが、まだ応答はなされていません。応答がなされると、AddLeafAck メッセージがログに現れます。

---

**MARS.015**

レベル: UI-ERROR

短構文: MARS.015 ATM MARS marsControlListRemoveMember: Invalid input parms (listAddr= *listAddr* nodeAddr= *nodeAddr*)

長構文: MARS.015 ATM MARS marsControlListRemoveMember: Invalid input parms (listAddr= *listAddr* nodeAddr= *nodeAddr*)

説明: 制御リストからのメンバーの除去要求が失敗しました。この要求に関する入力パラメーターが無効です。listAddr および nodeAddr の値を記録し、問題が引き続き発生する場合は、問題を報告します。

---

**MARS.016**

レベル: UI-ERROR

短構文: MARS.016 ATM MARS HangupLeaf Failure (rc= *retCode*): vpi= *vpiVal* vci= *vciVal* for ATM addr = *atmAddr*

長構文: MARS.016 ATM MARS HangupLeaf Failure (rc= *retCode*): vpi= *vpiVal* vci= *vciVal* for destination ATM address = *atmAddr*

説明: 既存の P2MP VC からリーフの除去を試みているとき、装置ドライバーのサービスが SUCCESS 以外の値を返しました。

---

**MARS.017**

レベル: U-TRACE

短構文: MARS.017 ATM MARS HangupLeaf Success: vpi= *vpiVal* vci= *vciVal* for ATM addr = *atmAddr*

長構文: MARS.017 ATM MARS HangupLeaf Success: vpi= *vpiVal* vci= *vciVal* for ATM addr = *atmAddr*

説明: HangupLeaf のコールが正常に実行されました。このリーフがチャンネル・リスト上に現れることはもうないはずですが。

---

**MARS.018**

レベル: UE-ERROR

短構文: MARS.018 ATM MARS CloseDataPath failure(rc= *return\_code* vpi= *vpiVal*, vci= *vciVal*) for ATM addr = *atmAddr*.

長構文: MARS.018 ATM MARS CloseDataPath failure(rc= *return\_code* vpi= *vpiVal*, vci= *vciVal*) for ATM address = *atmAddr*.

説明: 指定のパラメーターを用いてデータ・パスのオープンを試みているとき、障害が発生しました。このコールは、該当する原因コードを出して停止します。

---

**MARS.019**

レベル: UI-ERROR

短構文: MARS.019 ATM MARS HangupCall Failure (rc= *retCode*): vpi= *vpiVal* vci= *vciVal* for ATM addr = *atmAddr*

長構文: MARS.019 ATM MARS HangupCall Failure (rc= *retCode*): vpi= *vpiVal* vci= *vciVal* for destination ATM address = *atmAddr*

説明: チャンネルの除去を試みているとき、装置ドライバーのサービスが SUCCESS 以外の値を返しました。

---

**MARS.020**

レベル: U-TRACE

短構文: MARS.020 ATM MARS *functionCall*: *msgDesc*.

長構文: MARS.020 ATM MARS *functionCall*: *msgDesc*.

説明: これは、MARS サーバーが実行中のアクションです。

---

## MARS.021

レベル: UI-ERROR

短構文: MARS.021 ATM MARS

marsMcsCreateP2MPVC: Invalid input parms (mpp=  
marsprt channelp= channel grpaddr= grpaddr mep=  
prtEnt)

長構文: MARS.021 ATM MARS

marsMcsCreateP2MPVC: Invalid input parms (mpp=  
marsprt channelp= channel grpaddr= grpaddr mep=  
prtEnt)

説明: データ VC の作成要求が失敗しました。この要求に関する入力パラメーターが無効です。mpp、channelp、grpaddr、および mep の値を記録し、問題が引き続き発生する場合は、問題を報告します。

---

## MARS.022

レベル: UI-ERROR

短構文: MARS.022 ATM MARS cmdType: Invalid input parms (channelp= channel mnp= marsnode)

長構文: MARS.022 ATM MARS cmdType: Invalid input parms (channelp= channel mnp= marsnode)

説明: データ P2MP VC に対するメンバーの追加/除去要求が失敗しました。この要求に関する入力パラメーターが無効です。channelp および mnp の値を記録し、問題が引き続き発生する場合は、問題を報告します。

---

## MARS.030

レベル: U-INFO

短構文: MARS.030 ATM MARS Net devState (dev num = devNum): ATM addr = atmAddr.

長構文: MARS.030 ATM MARS Net devState (device number = devNum): ATM addr = atmAddr.

説明: このクライアントは、メッセージに示されているように、ネットアップ・コールまたはネットダウン・コールを受信しました。ネットダウン・コールの場合は、チャンネルおよびコールはすべて切断されます。NetUp アップコールを受信すると、インターフェースはすべてのコールの再確立を試みます。

---

## MARS.031

レベル: C-INFO

短構文: MARS.031 ATM MARS AddrStateChg (action): ATM addr = atmAddr.

長構文: MARS.031 ATM MARS AddrStateChg (action): ATM addr = atmAddr.

説明: このクライアントは、スイッチからアドレス状態の変更を受信しました。これは、メッセージの内容に応じて、アドレス ESI および SEL が活性化または非活性化されたことを意味します。活性化された場合は、クライアントは設定を続け、スイッチに対するコールを受信することができます。非活性化された場合は、SVC 接続はすべて切断されますが、PVC は作動可能な状態のままになります。

---

## MARS.032

レベル: UE-ERROR

短構文: MARS.032 ATM MARS AddrStateChg (action): ATM addr = atmAddr.

長構文: MARS.032 ATM MARS AddrStateChg (action): ATM addr = atmAddr.

説明: このクライアントは、スイッチから異常なアドレス状態の変更を受信しました。拒否の場合は、重複する MAC アドレスがすでにスイッチに登録されています。

---

## MARS.033

レベル: C-INFO

短構文: MARS.033 ATM MARS UNI Vers rcved: nt network ID

長構文: MARS.033 ATM MARS UNI Vers rcved: net network ID

説明: この ATM クライアントは、スイッチからサポートされている UNI バージョンを受信しました。

---

## MARS.034

レベル: C-INFO

短構文: MARS.034 ATM MARS Address Activation pending: nt network ID

長構文: MARS.034 ATM MARS Address Activation pending: net network ID

説明: このクライアントは、クライアント ATM アドレスをスイッチに登録するシーケンスを開始していません。登録が完了すると、クライアント ATM アドレスの状況を記述する、別のアドレス状態変更のメッセージがログに記録されます。

処置: 処置は必要ありません。これは通常の処理です。

---

---

**MARS.035**

レベル: C-INFO

短構文: MARS.035 ATM MARS Address Activation success: nt *network ID*

長構文: MARS.035 ATM MARS Address Activation success: net *network ID*

説明: このクライアントは、正常にアドレスを活動化しました。

---

**MARS.036**

レベル: UI-ERROR

短構文: MARS.036 ATM MARS GetAddrByHandle rc=*return\_code*: nt *network ID*

長構文: MARS.036 ATM MARS GetAddrByHandle rc=*return\_code*: net *network ID*

説明: スイッチからアドレスを入手しようとしているときに、エラーが検出されました。

---

**MARS.037**

レベル: UI-ERROR

短構文: MARS.037 ATM MARS LlcOpenCallSap rc=*return\_code*: nt *network ID*

長構文: MARS.037 ATM MARS LlcOpenCallSap rc=*return\_code*: net *network ID*

説明: コール SAP をオープンしようとしているときに、エラーが検出されました。コール SAP は、リモートあて先に ATM コールを発信または受信するために必要です。

---

**MARS.038**

レベル: UI-ERROR

短構文: MARS.038 ATM MARS atmMarsInit Registr failure (rc= *return\_code*): nt *network ID*

長構文: MARS.038 ATM MARS atmMarsInit Registr failure (rc= *return\_code*): net *network ID*

説明: このクライアントは、基礎にある装置ドライバーおよびネットワーク・ハンドラーに対して、ユーザーとして登録するのに失敗しました。このクライアントは、操作不可能になります。

処置: ルーターをリポートし、担当のサービス技術員に連絡してください。

---

**MARS.039**

レベル: C-INFO

短構文: MARS.039 ATM MARS atmMarsInit Registr successfull: nt *network ID*

長構文: MARS.039 ATM MARS atmMarsInit Registr successfull: net *network ID*

説明: このクライアントは、基礎にある装置ドライバーおよびネットワーク・ハンドラーに、正常に登録されました。これは通常の初期化です。

---

**MARS.041**

レベル: UI-ERROR

短構文: MARS.041 ATM MARS atmMarsLecsListReport?:

長構文: MARS.041 ATM MARS atmMarsLecsListReport?:

説明: 内部誤動作です。指定された機能が起動されたのは、クラシカル MARS サーバーに対してでしたが、このサーバーにはそのような機能は定義されていません。

---

**MARS.042**

レベル: U-INFO

短構文: MARS.042 ATM MARS ReceiveCall (vpi=*vpiVal*, vci=*vciVal*) for ATM addr = *atmAddr*.

長構文: MARS.042 ATM MARS ReceiveCall (vpi=*vpiVal*, vci=*vciVal*) for ATM address = *atmAddr*.

説明: コールは、このクライアントによって受信されました。

---

**MARS.044**

レベル: UE-ERROR

短構文: MARS.044 ATM MARS OpenDataPath failr(rc=*return\_code* vpi=*vpiVal*, vci=*vciVal*) for ATM addr = *atmAddr*.

長構文: MARS.044 ATM MARS OpenDataPath failr(rc=*return\_code* vpi=*vpiVal*, vci=*vciVal*) for ATM address = *atmAddr*.

説明: 指定のパラメーターを用いてデータ・パスのオープンを試みているとき、障害が発生しました。このコールは、該当する原因コードを出して停止します。

---

**MARS.045**

レベル: UE-ERROR

短構文: MARS.045 ATM MARS atmRcvCallAck fail(rc= *return\_code* vpi= *vpiVal*, vci= *vciVal*) for ATM addr = *atmAddr*.

長構文: MARS.045 ATM MARS atmRcvCallAck fail(rc= *return\_code* vpi= *vpiVal*, vci= *vciVal*) for ATM address = *atmAddr*.

説明: 着信コールの受信確認をしようとしているときに、障害が発生しました。

原因: 原因は、内部の制御ブロックの問題です。

---

**MARS.046**

レベル: C-INFO

短構文: MARS.046 ATM MARS PlaceCallAck (vpi= *vpiNum*, vci= *vciNum*) for ATM addr = *atmAddr*.

長構文: MARS.046 ATM MARS PlaceCallAck (vpi= *vpiNum*, vci= *vciNum*) for ATM address = *atmAddr*.

説明: 発信したコールが、リモートあて先によって受信され、受信確認されました。リモート側へのデータ・パスをオープンし、VCC での送受信を開始します。

---

**MARS.047**

レベル: UE-ERROR

短構文: MARS.047 ATM MARS PlaceCallAck call parms mod.(vpi= *vpiNum*, vci= *vciNum*) for ATM addr = *atmAddr*.

長構文: MARS.047 ATM MARS PlaceCallAck call parameters modified (vpi= *vpiNum*, vci= *vciNum*) for ATM address = *atmAddr*.

説明: こちらから発信したコールがリモートあて先によって受信および確認されましたが、元のパラメーターが変更されています。MARS サーバーはコール・パラメーターの変更をサポートできません。

---

**MARS.048**

レベル: U-INFO

短構文: MARS.048 ATM MARS atmDisconnectCall: NULL CORRELATOR received

長構文: MARS.048 ATM MARS atmDisconnectCall: NULL CORRELATOR received

説明: コールが、受信する直前に解放されました。

---

**MARS.049**

レベル: U-INFO

短構文: MARS.049 ATM MARS DisconnectCall: (vpi= *vpiNum*, vci= *vciNum* type= *chanType*) for ATM addr = *atmAddr*.

長構文: MARS.049 ATM MARS DisconnectCall: (vpi= *vpiNum*, vci= *vciNum* type= *chanType*) for ATM address = *atmAddr*.

説明: すでに活動状態になっているコール、または現在発信中のコールが解放されました。解放された理由が、追加 ELS メッセージに表示されています。これは、通常の状態です。チャンネルが必要な場合は、再初期化します。たとえば、制御チャンネルは、サーバーに接続されるまで 15 秒ごとに再試行されます。このメッセージの中の情報は、チャンネル VPI/VCI と、切断中のチャンネルのリモート ATM アドレスです。

原因: ネットワークまたはリモート・ユーザーのいずれかが、コールを解放しました。

---

**MARS.050**

レベル: U-INFO

短構文: MARS.050 ATM MARS DisconnectCall: rsn= *reason\_code*, cause= *cause\_code*, diagLen= *diag\_len*, diagData[0]= *diag\_data*

長構文: MARS.050 ATM MARS DisconnectCall: rsn= *reason\_code*, cause= *cause\_code*, diagLen= *diag\_len*, diagData[0]= *diag\_data*

説明: このメッセージに入っている情報は、コールが解放された理由です。

---

**MARS.052**

レベル: U-INFO

短構文: MARS.052 ATM MARS DisconnectLeaf: rsn= *reason\_code*, cause= *cause\_code*, diagLen= *diag\_len*, diagData[0]= *diag\_data* vpi= *vcc\_vpi*, vci= *vcc\_vci*, LeafAtmAddr= *leaf\_remote\_atm\_address*

長構文: MARS.052 ATM MARS DisconnectLeaf: rsn= *reason\_code*, cause= *cause\_code*, diagLen= *diag\_len*, diagData[0]= *diag\_data* vpi= *vcc\_vpi*, vci= *vcc\_vci*, LeafAtmAddr= *leaf\_remote\_atm\_address*

説明: このメッセージに含まれている情報は、リーフが解放された理由です。また、このリーフがメンバーになっていたチャンネル VPI/VCI、ならびにこのリーフの ATM アドレスを示す情報も含まれています。

---



---

**MARS.053**

レベル: U-INFO

短構文: MARS.053 ATM MARS AddLeafAck: vpi=  
vcc\_vpi, vci= vcc\_vci, LeafAtmAddr=  
leaf\_remote\_atm\_address

長構文: MARS.053 ATM MARS AddLeafAck: vpi=  
vcc\_vpi, vci= vcc\_vci, LeafAtmAddr=  
leaf\_remote\_atm\_address

説明: ポイント・マルチポイント (1 地点多地点間) コールへの新規パーティーの追加が正常に行われたことを確認します。

---

**MARS.054**

レベル: UE-ERROR

短構文: MARS.054 ATM MARS RcvFrame: Unknown  
frameType value= protocolNum nt network ID

長構文: MARS.054 ATM MARS RcvFrame: Unknown  
frameType value= protocolNum net network ID

説明: 指定されたネットワーク以外で、不明のプロトコル ID をもつパケットが受信されました。これは予想されたトラフィックである場合も、そうでない場合もあります。いずれの場合も、パケットは廃棄されます。転送はされません。

---

**MARS.055**

レベル: U-INFO

短構文: MARS.055 ATM MARS This message is  
available for use

長構文: MARS.055 ATM MARS This message is  
available for use

説明: これは単にプレースホルダーに過ぎません。

---

**MARS.056**

レベル: U-INFO

短構文: MARS.056 ATM MARS This message is  
available for use

長構文: MARS.056 ATM MARS This message is  
available for use

説明: これは単にプレースホルダーに過ぎません。

---

**MARS.057**

レベル: U-INFO

短構文: MARS.057 ATM MARS This message is  
available for use

長構文: MARS.057 ATM MARS This message is  
available for use

説明: これは単にプレースホルダーに過ぎません。

---

**MARS.058**

レベル: U-INFO

短構文: MARS.058 ATM MARS joinMsg: MARS\_JOIN  
for group *group* ignored. Registration pending.

長構文: MARS.058 ATM MARS joinMsg: MARS\_JOIN  
for group *group* ignored. Registration pending.

説明: 直前の登録に関するリーフの追加からの確認がまだ到着していません。

---

**MARS.059**

レベル: U-INFO

短構文: MARS.059 ATM MARS joinMsg: MARS\_JOIN  
for group *group* ignored. Not registered.

長構文: MARS.059 ATM MARS joinMsg: MARS\_JOIN  
for group *group* ignored. Not registered.

説明: グループに加入する試みですが、ノードが以前に登録されていません。

---

**MARS.060**

レベル: UI-ERROR

短構文: MARS.060 ATM MARS remove\_group:  
Removing a group but number of members =  
*numMembers*

長構文: MARS.060 ATM MARS remove\_group:  
Removing a group but number of members =  
*numMembers*

説明: グループが除去されている最中ですが、メンバーの数はゼロではありません。これは内部エラーで、カウンターに誤りがあることを示しています。グループ除去は続行します。

---

**MARS.061**

レベル: UI-ERROR

短構文: MARS.061 ATM MARS mars\_malloc: calloc of  
*numbytes* bytes failed, errno = *errno*



長構文: MARS.061 ATM MARS mars\_malloc: Attempt to calloc *numbytes* bytes has failed, *errno* = *errno*

説明: 記憶域の獲得の試みが失敗しました。

---

### MARS.062

レベル: UI-ERROR

短構文: MARS.062 ATM MARS mars\_free: Address being freed is NULL

長構文: MARS.062 ATM MARS mars\_free: Address being freed is NULL

説明: 記憶域解放サブルーチンをコール中ですが、アドレスが NULL です。これは内部エラーです。

---

### MARS.063

レベル: UI-ERROR

短構文: MARS.063 ATM MARS add\_member: Adding a member but the group is NULL

長構文: MARS.063 ATM MARS add\_member: Adding a member but the group is NULL

説明: グループへのメンバーの追加を試みしていますが、そのグループが NULL です。これは内部エラーです。

---

### MARS.064

レベル: U-TRACE

短構文: MARS.064 ATM MARS punch\_mbr\_holes: Group *group* needs to be hole punched

長構文: MARS.064 ATM MARS punch\_mbr\_holes: Group *group* needs to be hole punched

説明: ノードがすでにメンバーになっているグループを範囲から除外します。

---

### MARS.065

レベル: U-INFO

短構文: MARS.065 ATM MARS print\_functionCall: 0x *proto* is an unknown protocol

長構文: MARS.065 ATM MARS print\_functionCall: 0x *proto* is an unknown protocol. It is ignored.

説明: プロトコルが定義されましたが、サーバーのプロトコル・テーブル内に見付かりませんでした。そのプロトコルは無視されます。

---

### MARS.066

レベル: U-INFO

短構文: MARS.066 ATM MARS print\_nodes: For protocol 0x *proto*, the number of active members = *mbrcnt*

長構文: MARS.066 ATM MARS print\_nodes: For protocol 0x *proto*, the number of active members = *mbrcnt*

説明: 通知メッセージ

---

### MARS.067

レベル: U-INFO

短構文: MARS.067 ATM MARS print\_nodes: For protocol 0x *proto*, the number of removed members = *mbrcnt*

長構文: MARS.067 ATM MARS print\_nodes: For protocol 0x *proto*, the number of removed members = *mbrcnt*

説明: 通知メッセージ

---

### MARS.068

レベル: U-INFO

短構文: MARS.068 ATM MARS print\_nodes: Server *serverAtmAddr* has joined these groups:

長構文: MARS.068 ATM MARS print\_nodes: Server *serverAtmAddr* has joined these groups:

説明: 通知メッセージ

---

### MARS.069

レベル: U-INFO

短構文: MARS.069 ATM MARS print\_nodes: Host *hostAtmAddr* has joined these groups:

長構文: MARS.069 ATM MARS print\_nodes: Host *hostAtmAddr* has joined these groups:

説明: 通知メッセージ

---

### MARS.070

レベル: U-INFO

短構文: MARS.070 ATM MARS print\_nodes: *group*

長構文: MARS.070 ATM MARS print\_nodes: *group*

説明: 通知メッセージ

---

**MARS.071**

レベル: U-INFO

短構文: MARS.071 ATM MARS print\_nodes: Server *serverAtmAddr* has not joined any groups

長構文: MARS.071 ATM MARS print\_nodes: Server *serverAtmAddr* has not joined any groups

説明: 通知メッセージ

---

**MARS.072**

レベル: U-INFO

短構文: MARS.072 ATM MARS print\_nodes: Host *hostAtmAddr* has not joined any groups

長構文: MARS.072 ATM MARS print\_nodes: Host *hostAtmAddr* has not joined any groups

説明: 通知メッセージ

---

**MARS.073**

レベル: U-INFO

短構文: MARS.073 ATM MARS print\_groups: Protocol = 0x *proto*

長構文: MARS.073 ATM MARS print\_groups: Protocol = 0x *proto*

説明: 通知メッセージ

---

**MARS.074**

レベル: U-INFO

短構文: MARS.074 ATM MARS print\_groups: Group *group* has these servers:

長構文: MARS.074 ATM MARS print\_groups: Group *group* has these servers:

説明: 通知メッセージ

---

**MARS.075**

レベル: U-INFO

短構文: MARS.075 ATM MARS print\_groups: Group *group* has these hosts:

長構文: MARS.075 ATM MARS print\_groups: Group *group* has these hosts:

説明: 通知メッセージ

---

---

**MARS.076**

レベル: U-INFO

短構文: MARS.076 ATM MARS print\_groups: Server *serverAtmAddr*

長構文: MARS.076 ATM MARS print\_groups: Server *serverAtmAddr*

説明: 通知メッセージ

---

**MARS.077**

レベル: U-INFO

短構文: MARS.077 ATM MARS print\_groups: Host *hostAtmAddr*

長構文: MARS.077 ATM MARS print\_groups: Host *hostAtmAddr*

説明: 通知メッセージ

---

**MARS.078**

レベル: U-INFO

短構文: MARS.078 ATM MARS print\_groups: Group *group* has no members

長構文: MARS.078 ATM MARS print\_groups: Group *group* has no members

説明: 通知メッセージ

---

**MARS.079**

レベル: U-INFO

短構文: MARS.079 ATM MARS mservMsg: MARS\_MSERV for group *group* ignored. Registration pending.

長構文: MARS.079 ATM MARS mservMsg: MARS\_MSERV for group *group* ignored. Registration Pending.

説明: 直前の登録に関するリーフの追加確認がまだ到着していません。

---

**MARS.080**

レベル: U-TRACE

短構文: MARS.080 ATM MARS *functionCall*: Hole punched pair = *group*

長構文: MARS.080 ATM MARS *functionCall*: Hole punched pair = *group*

説明: 通知メッセージ

---

---

**MARS.081**

レベル: U-TRACE

短構文: MARS.081 ATM MARS free\_punset: Multi group = *group*

長構文: MARS.081 ATM MARS free\_punset: Multi group = *group*

説明: 通知メッセージ

---

**MARS.082**

レベル: UI-ERROR

短構文: MARS.082 ATM MARS *functionCall*: Illegal ATM address.

長構文: MARS.082 ATM MARS *functionCall*: Illegal ATM address.

説明: サブルーチン *marsChkAtmAddr* は、ATM アドレスがイリーガルなことを示しました。

---

**MARS.083**

レベル: U-INFO

短構文: MARS.083 ATM MARS leaveMsg: MARS\_LEAVE for group *group* ignored.

長構文: MARS.083 ATM MARS leaveMsg: MARS\_LEAVE for group *group* ignored.

説明: コピーがゼロでないか、またはメッセージに <min,max> ペアが 2 つ以上含まれている場合は、通知することなくメッセージを除去する必要があります。

---

**MARS.084**

レベル: UI-ERROR

短構文: MARS.084 ATM MARS leaveMsg: Undefined protocol (0x *proto*) in MARS\_LEAVE, ignored.

長構文: MARS.084 ATM MARS leaveMsg: Undefined protocol (0x *proto*) in MARS\_LEAVE, ignored.

説明: メッセージ内に確認不能のプロトコルがありません。

---

**MARS.085**

レベル: U-INFO

短構文: MARS.085 ATM MARS leaveMsg: MARS\_LEAVE from host *hostAtmAddr* was not registered.

長構文: MARS.085 ATM MARS leaveMsg:

MARS\_LEAVE from host *hostAtmAddr* was not registered.

説明: ノードのテーブル内にホストを見付けることができません。

---

**MARS.086**

レベル: U-TRACE

短構文: MARS.086 ATM MARS leaveMsg: Processing MARS\_LEAVE deregister from host *hostAtmAddr*

長構文: MARS.086 ATM MARS leaveMsg: Processing MARS\_LEAVE deregister from host *hostAtmAddr*

説明: 通知トレース・メッセージ

---

**MARS.087**

レベル: U-TRACE

短構文: MARS.087 ATM MARS leaveMsg: Processing MARS\_LEAVE for group *group*

長構文: MARS.087 ATM MARS leaveMsg: Processing MARS\_LEAVE for group *group*

説明: 通知トレース・メッセージ

---

**MARS.088**

レベル: U-INFO

短構文: MARS.088 ATM MARS leaveMsg: MARS\_LEAVE for group *group* ignored.

長構文: MARS.088 ATM MARS leaveMsg: MARS\_LEAVE for group *group* ignored.

説明: これが MCS であるか、クラスター・メンバーが以前に登録されていない場合は、メッセージは除去します。

---

**MARS.089**

レベル: U-INFO

短構文: MARS.089 ATM MARS leaveMsg: MARS\_LEAVE for group *group* not found.

長構文: MARS.089 ATM MARS leaveMsg: MARS\_LEAVE for group *group* not found.

説明: 離脱ノードは、指定されたグループのメンバーではありません。

---

---

**MARS.090**

レベル: U-TRACE

短構文: MARS.090 ATM MARS cluster\_leave: Group leave = *group*

長構文: MARS.090 ATM MARS cluster\_leave: Group leave = *group*

説明: グループは、MARS\_LEAVE メッセージ内に含まれています。

---

**MARS.091**

レベル: U-TRACE

短構文: MARS.091 ATM MARS make\_newmsg: Hole punched pair *group* to new msg.

長構文: MARS.091 ATM MARS make\_newmsg: Hole punched pair *group* to new msg.

説明: 穿孔 (せんこう) の結果

---

**MARS.092**

レベル: U-TRACE

短構文: MARS.092 ATM MARS multi\_group: Group *group* was MCS holepunched.

長構文: MARS.092 ATM MARS multi\_group: Group *group* was MCS holepunched.

説明: MCS の穿孔 (せんこう) の結果

---

**MARS.093**

レベル: U-TRACE

短構文: MARS.093 ATM MARS multi\_group: Hole punched pair *group* to original msg.

長構文: MARS.093 ATM MARS multi\_group: Hole punched pair *group* to original msg.

説明: トレース・メッセージ

---

**MARS.094**

レベル: U-INFO

短構文: MARS.094 ATM MARS cluster\_join: group *group* gets layer3grp reset.

長構文: MARS.094 ATM MARS cluster\_join: group *group* gets layer3grp reset.

説明: 通知

---

---

**MARS.095**

レベル: U-INFO

短構文: MARS.095 ATM MARS cluster\_join: group *group* is an overlap, ignored.

長構文: MARS.095 ATM MARS cluster\_join: group *group* is an overlap, ignored.

説明: 通知

---

**MARS.096**

レベル: U-TRACE

短構文: MARS.096 ATM MARS *functionCall*: Holepunching produced *ctr* pairs.

長構文: MARS.096 ATM MARS *functionCall*: Holepunching produced *ctr* pairs.

説明: トレース・メッセージ

---

**MARS.097**

レベル: U-TRACE

短構文: MARS.097 ATM MARS *functionCall*: Hole punched pair = *group*

長構文: MARS.097 ATM MARS *functionCall*: Hole punched pair = *group*

説明: トレース・メッセージ

---

**MARS.098**

レベル: U-TRACE

短構文: MARS.098 ATM MARS joinMsg: MARS\_JOIN for group *group* ignored.

長構文: MARS.098 ATM MARS joinMsg: MARS\_JOIN for group *group* ignored.

説明: トレース・メッセージ

---

**MARS.099**

レベル: UI-ERROR

短構文: MARS.099 ATM MARS joinMsg: Undefined protocol (0x *proto*) in MARS\_JOIN, ignored.

長構文: MARS.099 ATM MARS joinMsg: Undefined protocol (0x *proto*) in MARS\_JOIN, ignored.

説明: メッセージ内に確認不能のプロトコルがあります。

---

---

**MARS.100**

レベル: U-INFO

短構文: MARS.100 ATM MARS joinMsg: MARS\_JOIN from host *hostAtmAddr* is duplicate registration.

長構文: MARS.100 ATM MARS joinMsg: MARS\_JOIN from host *hostAtmAddr* is duplicate registration.

説明: 重複加入

---

**MARS.101**

レベル: U-TRACE

短構文: MARS.101 ATM MARS joinMsg: Processing MARS\_JOIN register from host *hostAtmAddr*

長構文: MARS.101 ATM MARS joinMsg: Processing MARS\_JOIN register from host *hostAtmAddr*

説明: トレース・メッセージ

---

**MARS.102**

レベル: U-INFO

短構文: MARS.102 ATM MARS joinMsg: Cluster registration has failed.

長構文: MARS.102 ATM MARS joinMsg: Cluster registration has failed.

説明: 通知メッセージ

---

**MARS.103**

レベル: U-TRACE

短構文: MARS.103 ATM MARS joinMsg: Processing MARS\_JOIN for group *group*

長構文: MARS.103 ATM MARS joinMsg: Processing MARS\_JOIN for group *group*

説明: トレース・メッセージ

---

**MARS.104**

レベル: U-INFO

短構文: MARS.104 ATM MARS joinMsg: MARS\_JOIN for group *group* ignored.

長構文: MARS.104 ATM MARS joinMsg: MARS\_JOIN for group *group* ignored.

説明: 通知メッセージ

---

---

**MARS.105**

レベル: U-INFO

短構文: MARS.105 ATM MARS joinMsg: MARS\_JOIN for group *group* is a duplicate.

長構文: MARS.105 ATM MARS joinMsg: MARS\_JOIN for group *group* is a duplicate.

説明: 通知メッセージ

---

**MARS.106**

レベル: U-TRACE

短構文: MARS.106 ATM MARS multi\_group: No holes were punched in *group*

長構文: MARS.106 ATM MARS multi\_group: No holes were punched in *group*

説明: トレース・メッセージ

---

**MARS.107**

レベル: UI-ERROR

短構文: MARS.107 ATM MARS cluster\_join: No group specified in MARS\_JOIN message

長構文: MARS.107 ATM MARS cluster\_join: No group specified in MARS\_JOIN message

説明: グループに加入する試みですが、グループが指定されていません。

---

**MARS.108**

レベル: U-TRACE

短構文: MARS.108 ATM MARS cluster\_join: Group *group* now has *ctr* members

長構文: MARS.108 ATM MARS cluster\_join: Group *group* now has *ctr* members

説明: トレース・メッセージ

---

**MARS.109**

レベル: UI-ERROR

短構文: MARS.109 ATM MARS cluster\_register: *io\_subroutine\_name* rc = 0x *rc*

長構文: MARS.109 ATM MARS cluster\_register: *io\_subroutine\_name* rc = 0x *rc*

説明: 入出力エラー戻りコード

---

---

**MARS.110**

レベル: U-INFO

短構文: MARS.110 ATM MARS joinMsg: Cluster join has failed.

長構文: MARS.110 ATM MARS joinMsg: Cluster join has failed.

説明: 通知メッセージ

---

**MARS.111**

レベル: U-TRACE

短構文: MARS.111 ATM MARS *functionCall*: Holepunching produced a NULL pair.

長構文: MARS.111 ATM MARS *functionCall*: Holepunching produced a NULL pair.

説明: トレース・メッセージ

---

**MARS.112**

レベル: UI-ERROR

短構文: MARS.112 ATM MARS glrequestMsg: Undefined protocol (0x *proto*) in MARS\_GROUPLIST\_REQUEST, ignored

長構文: MARS.112 ATM MARS glrequestMsg: Undefined protocol (0x *proto*) in MARS\_GROUPLIST\_REQUEST, ignored

説明: メッセージ内に確認不能のプロトコルがあります。

---

**MARS.113**

レベル: U-INFO

短構文: MARS.113 ATM MARS glrequestMsg: MARS\_GROUPLIST\_REQUEST from host *hostAtmAddr* not registered

長構文: MARS.113 ATM MARS glrequestMsg: MARS\_GROUPLIST\_REQUEST from host *hostAtmAddr* not registered

説明: 通知メッセージ

---

**MARS.114**

レベル: U-TRACE

短構文: MARS.114 ATM MARS send\_reply: Sending *ctr* protocol addresses

長構文: MARS.114 ATM MARS send\_reply: Sending *ctr* protocol addresses

---

説明: トレース・メッセージ

---

**MARS.115**

レベル: U-TRACE

短構文: MARS.115 ATM MARS glreply: Group request = *group*

長構文: MARS.115 ATM MARS glreply: Group request = *group*

説明: トレース・メッセージ

---

**MARS.116**

レベル: U-TRACE

短構文: MARS.116 ATM MARS glreply: Group found = *group*

長構文: MARS.116 ATM MARS glreply: Group found = *group*

説明: トレース・メッセージ

---

**MARS.117**

レベル: U-TRACE

短構文: MARS.117 ATM MARS glreply: Group found but member is not Layer 3

長構文: MARS.117 ATM MARS glreply: Group found but member is not Layer 3

説明: トレース・メッセージ

---

**MARS.118**

レベル: U-INFO

短構文: MARS.118 ATM MARS mservMsg: MARS\_MSERV for group *group* ignored

長構文: MARS.118 ATM MARS mservMsg: MARS\_MSERV for group *group* ignored

説明: 通知メッセージ

---

**MARS.119**

レベル: UI-ERROR

短構文: MARS.119 ATM MARS mservMsg: Undefined protocol (0x *proto*) in MARS\_MSERV, ignored.

長構文: MARS.119 ATM MARS mservMsg: Undefined protocol (0x *proto*) in MARS\_MSERV, ignored.

説明: メッセージ内に確認不能のプロトコルがあります。

---



---

**MARS.120**

レベル: U-INFO

短構文: MARS.120 ATM MARS mservMsg: MARS\_MSERV from server *serverAtmAddr* is duplicate registration

長構文: MARS.120 ATM MARS mservMsg: MARS\_MSERV from server *serverAtmAddr* is duplicate registration

説明: 通知メッセージ

---

**MARS.121**

レベル: U-TRACE

短構文: MARS.121 ATM MARS mservMsg: Processing MARS\_MSERV register from server *serverAtmAddr*

長構文: MARS.121 ATM MARS mservMsg: Processing MARS\_MSERV register from server *serverAtmAddr*

説明: 通知メッセージ

---

**MARS.122**

レベル: U-TRACE

短構文: MARS.122 ATM MARS mservMsg: Processing MARS\_MSERV for group *group*

長構文: MARS.122 ATM MARS mservMsg: Processing MARS\_MSERV for group *group*

説明: トレース・メッセージ

---

**MARS.123**

レベル: U-INFO

短構文: MARS.123 ATM MARS mservMsg: MARS\_MSERV for group *group* ignored. Not registered.

長構文: MARS.123 ATM MARS mservMsg: MARS\_MSERV for group *group* ignored. Not registered.

説明: 通知メッセージ

---

**MARS.124**

レベル: U-INFO

短構文: MARS.124 ATM MARS mservMsg: MARS\_MSERV for group *group* is a duplicate

長構文: MARS.124 ATM MARS mservMsg: MARS\_MSERV for group *group* is a duplicate

説明: 通知メッセージ

---

---

**MARS.125**

レベル: U-INFO

短構文: MARS.125 ATM MARS mservMsg: Server registration has failed

長構文: MARS.125 ATM MARS mservMsg: Server registration has failed

説明: 通知メッセージ

---

**MARS.126**

レベル: U-INFO

短構文: MARS.126 ATM MARS unservMsg: MARS\_UNSERV for group *group* is a copy, ignored

長構文: MARS.126 ATM MARS unservMsg: MARS\_UNSERV for group *group* is a copy, ignored

説明: 通知メッセージ

---

**MARS.127**

レベル: UI-ERROR

短構文: MARS.127 ATM MARS unservMsg: Undefined protocol (0x *proto*) in MARS\_UNSERV, ignored

長構文: MARS.127 ATM MARS unservMsg: Undefined protocol (0x *proto*) in MARS\_UNSERV, ignored

説明: メッセージ内に確認不能のプロトコルがあります。

---

**MARS.128**

レベル: U-INFO

短構文: MARS.128 ATM MARS unservMsg: MARS\_UNSERV from server *serverAtmAddr* not registered

長構文: MARS.128 ATM MARS unservMsg: MARS\_UNSERV from server *serverAtmAddr* not registered

説明: 通知メッセージ

---

**MARS.129**

レベル: U-TRACE

短構文: MARS.129 ATM MARS unservMsg: Processing MARS\_UNSERV deregister from server *serverAtmAddr*

長構文: MARS.129 ATM MARS unservMsg: Processing MARS\_UNSERV deregister from server *serverAtmAddr*

説明: トレース・メッセージ

---

---

**MARS.130**

レベル: U-TRACE

短構文: MARS.130 ATM MARS unserv: Processing MARS\_UNSERV for group *group*

長構文: MARS.130 ATM MARS unserv: Processing MARS\_UNSERV for group *group*

説明: トレース・メッセージ

---

**MARS.131**

レベル: UE-ERROR

短構文: MARS.131 ATM MARS msg\_handler: Unrecognized tlv for *mars\_message* message

長構文: MARS.131 ATM MARS msg\_handler: Unrecognized tlv for *mars\_message* message

説明: メッセージを除去して、エラー・メッセージを出します。

---

**MARS.132**

レベル: U-INFO

短構文: MARS.132 ATM MARS msg\_handler: *mars\_message* is an unexpected message, ignored

長構文: MARS.132 ATM MARS msg\_handler: *mars\_message* is an unexpected message, ignored

説明: 通知メッセージ

---

**MARS.133**

レベル: U-TRACE

短構文: MARS.133 ATM MARS send\_bkups: Sending a redirect msg with *ctr* addr

長構文: MARS.133 ATM MARS send\_bkups: Sending a redirect msg with *ctr* addr

説明: トレース・メッセージ

---

**MARS.134**

レベル: U-TRACE

短構文: MARS.134 ATM MARS redirmap: Timer cancelled, all leafs on CCVC are gone

長構文: MARS.134 ATM MARS redirmap: Timer cancelled, all leafs on CCVC are gone

説明: トレース・メッセージ

---

---

**MARS.135**

レベル: UI-ERROR

短構文: MARS.135 ATM MARS requestMsg: Undefined protocol (0x *proto*) in MARS\_REQUEST, ignored

長構文: MARS.135 ATM MARS requestMsg: Undefined protocol (0x *proto*) in MARS\_REQUEST, ignored

説明: メッセージ内に確認不能のプロトコルがありません。

---

**MARS.136**

レベル: U-INFO

短構文: MARS.136 ATM MARS requestMsg: MARS\_REQUEST from unregistered host *hostAtmAddr*

長構文: MARS.136 ATM MARS requestMsg: MARS\_REQUEST from unregistered host *hostAtmAddr*

説明: ホストが以前に登録していません。メッセージは無視します。

---

**MARS.137**

レベル: U-TRACE

短構文: MARS.137 ATM MARS requestMsg: Group = *group*

長構文: MARS.137 ATM MARS requestMsg: Group = *group*

説明: トレース・メッセージ

---

**MARS.138**

レベル: U-TRACE

短構文: MARS.138 ATM MARS *functionCall*: Sending *mars\_opcode* on *vctype*

長構文: MARS.138 ATM MARS *functionCall*: Sending *mars\_opcode* on *vctype*

説明: トレース・メッセージ

---

**MARS.139**

レベル: UI-ERROR

短構文: MARS.139 ATM MARS *functionCall*: *io\_subroutine\_name* rc = 0x *rc*

長構文: MARS.139 ATM MARS *functionCall*: *io\_subroutine\_name* rc = 0x *rc*

説明: 入出力エラー戻りコード

---

---

**MARS.140**

レベル: U-TRACE

短構文: MARS.140 ATM MARS marsTimerInit: Using default of *defaultValue* for redirect timer

長構文: MARS.140 ATM MARS marsTimerInit: Using default of *defaultValue* for redirect timer

説明: トレース・メッセージ

---

**MARS.141**

レベル: U-TRACE

短構文: MARS.141 ATM MARS marsTimerInit: redirect timer from configuration = *timerValue*

長構文: MARS.141 ATM MARS marsTimerInit: redirect timer from configuration = *timerValue*

説明: トレース・メッセージ

---

**MARS.143**

レベル: U-TRACE

短構文: MARS.143 ATM MARS marsListCleanUp: Purge of *typeVc* about to begin

長構文: MARS.143 ATM MARS marsListCleanUp: Purge of *typeVc* about to begin

説明: トレース・メッセージ

---

**MARS.144**

レベル: U-INFO

短構文: MARS.144 ATM MARS marsInstanceCleanUp: Unknown instance

長構文: MARS.144 ATM MARS marsInstanceCleanUp: Unknown instance

説明: 終結処理を停止しました。

---

## 第78章 マルチキャスト・フォワード・キャッシュ (MFC)

この章では、マルチキャスト・フォワード・キャッシュ (MFC) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### MFC.001

レベル: UI-ERROR

短構文: MFC.001 No buf for IGMP poll, ifc  
*IGMP\_interface*

長構文: MFC.001 No buffer to send IGMP Host  
Membership Query on interface *IGMP\_interface*

説明: バッファ不足のため、IGMP ホスト・メンバーシップ照会を指定のインターフェースから送信することができませんでした。次のポーリング時間間隔が経過するまでは、照会の送信は試行されません。

原因: この構成およびトラフィックをサポートできる十分な記憶域がありません。

処置: GWCON 内の記憶域統計を検査して、パケット・バッファ・レベルを確認してください。アップグレードして記憶域を増やすか、不要な転送機能/プロトコルを使用不可にして記憶域を獲得してください。

---

### MFC.002

レベル: UI-ERROR

短構文: MFC.002 IGMP poll fails, ifc *IGMP\_interface*  
*rsn\_failure\_code*

長構文: MFC.002 Can't send IGMP Host Membership  
Query on interface *IGMP\_interface* reason: *failure\_code*

説明: 指定の理由により、IGMP ホスト・メンバーシップ照会を指定のインターフェースから送信することができませんでした。次のポーリング時間間隔が経過するまでは、照会の送信は試行されません。

原因: 示されている理由 (コード) により、指定のインターフェースのネット・ハンドラーがポーリングの送信に失敗しました。

処置: このメッセージと共に出されている理由コードを調べて、問題を訂正してください。

---

### MFC.003

レベル: P-TRACE

短構文: MFC.003 Rcvd IGMP Report *IP\_source* ->  
*IP\_destination*, nt *network ID*

長構文: MFC.003 Received IGMP Host Membership

Report *IP\_source* -> *IP\_destination*, net *network ID*

説明: 指定のインターフェースで、IGMP ホスト・メンバーシップ報告書を受信しました。

---

### MFC.005

レベル: UE-ERROR

短構文: MFC.005 Bad IGMP xsum *IP\_source* ->  
*IP\_destination*, nt *network ID*

長構文: MFC.005 Received bad IGMP checksum,  
*IP\_source* -> *IP\_destination* net *network ID*

説明: 無効な IGMP チェックサムをもつ IGMP メッセージを受信しました。メッセージは廃棄されます。

---

### MFC.007

レベル: UE-ERROR

短構文: MFC.007 Unexp IGMP Query *IP\_source* ->  
*IP\_destination*, nt *network ID*

長構文: MFC.007 Unexpected IGMP Host Membership  
Query, *IP\_source* -> *IP\_destination* net *network ID*

説明: インターフェースで IGMP ホスト・メンバーシップ照会を受信しましたが、そのインターフェースでは受信側ルーター自体がホスト・メンバーシップ照会を送信しています (すなわち、ルーター自体が指定ルーターです)。これは予期しないことです。いずれにしても、ホスト・メンバーシップ照会は無視されます。

---

### MFC.008

レベル: P-TRACE

短構文: MFC.008 Rcvd IGMP Query *IP\_source* ->  
*IP\_destination*, nt *network ID*

長構文: MFC.008 Received IGMP Host Membership  
Query, *IP\_source* -> *IP\_destination* net *network ID*

説明: IGMP ホスト・メンバーシップ照会を受信しましたが、マルチキャスト・ルーターによって無視されました。

---

**MFC.009**

レベル: P-TRACE

短構文: MFC.009 Rcvd dgram *IP\_source* -> *IP\_destination*, from *receiving\_interface*

長構文: MFC.009 Received IP multicast datagram, *IP\_source* -> *IP\_destination*, from *receiving\_interface*

説明: IP データグラムを受信しましたが、これはクラス D アドレスを持っており、IP マルチキャストであることを示しています。データグラムの転送が試みられません。

---

**MFC.010**

レベル: P-TRACE

短構文: MFC.010 Fwrd dgram *IP\_source* -> *IP\_destination*, nt *network ID*

長構文: MFC.010 Forwarded IP multicast datagram, *IP\_source* -> *IP\_destination*, net *network ID*

説明: IP データグラムが、データ・リンク・マルチキャストとして、指定のインターフェースから転送されました。

---

**MFC.011**

レベル: P-TRACE

短構文: MFC.011 Fwrd dgram *IP\_source* -> *IP\_destination*, nbr *IP\_gw\_address*

長構文: MFC.011 Forwarded IP multicast datagram, *IP\_source* -> *IP\_destination*, neighbor *IP\_gw\_address*

説明: IP データグラムが、データ・リンク・ユニキャストとして、指定の近隣に転送されました。

---

**MFC.012**

レベル: P-TRACE

短構文: MFC.012 Local delivery, *IP\_source* -> *IP\_destination*

長構文: MFC.012 Local delivery of multicast datagram, *IP\_source* -> *IP\_destination*

説明: IP データグラムが、ルーターの内部アプリケーションの 1 つに送達されました。

---

**MFC.013**

レベル: UE-ERROR

短構文: MFC.013 Bad IP option, *IP\_source* -> *IP\_destination*

長構文: MFC.013 Multicast datagram discarded due to bad option, *IP\_source* -> *IP\_destination*

説明: IP マルチキャスト・データグラムを受信しましたが、無効な IP オプション (フォーマットが間違っているか、マルチキャストには不適切なオプション) が含まれています。データグラムは廃棄され、ICMP メッセージは戻されません。

---

**MFC.014**

レベル: UE-ERROR

短構文: MFC.014 Can't fwd *IP\_source* -> *IP\_destination*, rsn: *reason*

長構文: MFC.014 Can't forward multicast *IP\_source* -> *IP\_destination*, due to reason : *reason*

説明: 示されている理由により、IP マルチキャスト・データグラムが転送されませんでした。

---

**MFC.015**

レベル: P-TRACE

短構文: MFC.015 Lcl orig *IP\_source* -> *IP\_destination*

長構文: MFC.015 Locally originated multicast, *IP\_source* -> *IP\_destination*

説明: ルーターの内部アプリケーションの 1 つによって、IP データグラムが発信されました。転送が試みられています。このようなデータグラムは、転送に関する他の決定には関係なく、常にパケットの発信元に対応するインターフェース (もしあれば) から転送されます。

---

**MFC.016**

レベル: UI-ERROR

短構文: MFC.016 MARS Local Join failed, ifc *IGMP\_interface* rsn *failure\_code*

長構文: MFC.016 Request to send MARS Join on interface *IGMP\_interface* failed with reason code: *failure\_code*

説明: 指定の理由により、MARS ローカル参加要求を指定されたインターフェースから送信することができませんでした。

原因: 示されている理由 (コード) により、識別されているインターフェースの MARS クライアントが要求の送信に失敗しました。

処置: このメッセージと共に出されている理由コードを調べて、問題を訂正してください。

---

**MFC.017**

レベル: UI-ERROR

短構文: MFC.017 MARS Local Leave failed, ifc  
*IGMP\_interface* rsn *failure\_code*

長構文: MFC.017 Request to send MARS Leave on  
interface *IGMP\_interface* failed with reason code:  
*failure\_code*

説明: 指定の理由により、MARS ローカル離脱要求を  
指定されたインターフェースから送信することができま  
せんでした。

原因: 示されている理由 (コード) により、識別されて  
いるインターフェースの MARS クライアントが要求の  
送信に失敗しました。

処置: このメッセージと共に示されている理由コード  
を調べて、問題を訂正してください。

---

**MFC.018**

レベル: P-TRACE

短構文: MFC.018 Rcvd IGMP Leave *IP\_source* ->  
*IP\_destination*, group *IP\_group* nt *network ID*

長構文: MFC.018 Received IGMP Leave *IP\_source* ->  
*IP\_destination*, group *IP\_group* net *network ID*

説明: 指定のインターフェース上で IGMP Leave メッ  
セージを受信しました。

---

**MFC.019**

レベル: U-INFO

短構文: MFC.019 Rcvd IGMPv2 Query in IGMPv1  
mode *IP\_source* -> *IP\_destination*, nt *network ID*

長構文: MFC.019 Received IGMPv2 Membership Query  
in IGMPv1 mode, *IP\_source* -> *IP\_destination* net  
*network ID*

説明: IGMPv2 ホスト・メンバーシップ照会を受信し  
ましたが、ルーターは IGMPv1 用に構成されていま  
す。

---

**MFC.020**

レベル: U-INFO

短構文: MFC.020 Rcvd IGMPv1 Query in IGMPv2  
mode *IP\_source* -> *IP\_destination*, nt *network ID*

長構文: MFC.020 Received IGMPv1 Membership Query  
in IGMPv2 mode, *IP\_source* -> *IP\_destination* net  
*network ID*

説明: IGMPv1 ホスト・メンバーシップ照会を受信し  
ましたが、ルーターは IGMPv2 用に構成されていま  
す。

---

**MFC.021**

レベル: U-INFO

短構文: MFC.021 Multiple mcast prots on interface  
*IP\_address*

長構文: MFC.021 Multiple multicast routing protocols  
have been configured on interface *IP\_address*

説明: 構成はインターフェース上の多重マルチキャス  
ト・ルーティング・プロトコルを指定します。

---

**MFC.022**

レベル: UI-ERROR

短構文: MFC.022 Bad dp trie key delete, fnc : *function*

長構文: MFC.022 The deletion of a dp trie key failed  
in function : *function*

説明: 機能が dp trie データ構造からキーを削除しよう  
と試みました。

原因: 指定されたキーを dp trie 内で見付けることがで  
きませんでした。

処置: 製品の供給元に連絡してください。

---





---

## 第79章 マルチキャスト・フォワード・キャッシュ v6 (MFC6)

この章では、マルチキャスト・フォワード・キャッシュ v6 (MFC6) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### MFC6.001

レベル: UI-ERROR

短構文: MFC6.001 No buf for MLD poll, ifc  
*MLD\_interface*

長構文: MFC6.001 No buffer to send MLD Query on  
interface *MLD\_interface*

説明: バッファの不足により、MLD 照会を指定のインターフェースから送信することができませんでした。次のポーリング時間間隔が経過するまでは、照会の送信は試行されません。

原因: この構成およびトラフィックをサポートできる十分な記憶域がありません。

処置: GWCON 内の記憶域の統計を検査して、パケット・バッファのレベルを確認してください。アップグレードして記憶域を増やすか、不要な転送機能/プロトコルを使用不可にして記憶域を獲得してください。

---

### MFC6.002

レベル: UI-ERROR

短構文: MFC6.002 MLD poll fails, ifc *MLD\_interface*  
*rsn\_failure\_code*

長構文: MFC6.002 Can't send MLD Query on interface  
*MLD\_interface* reason: *failure\_code*

説明: 指定の理由により、MLD 照会を指定のインターフェースから送信することができませんでした。次のポーリング時間間隔が経過するまでは、照会の送信は試行されません。

原因: 示されている理由 (コード) により、指定のインターフェースのネット・ハンドラーがポーリングの送信に失敗しました。

処置: このメッセージと共に出されている理由コードを調べて、問題を訂正してください。

---

### MFC6.003

レベル: P-TRACE

短構文: MFC6.003 Rcvd MLD Report *IP\_source* ->  
*IP\_destination, nt network ID*

長構文: MFC6.003 Received MLD Report *IP\_source* ->

*IP\_destination, net network ID*

説明: 指定のインターフェースで MLD レポートを受信しました。

---

### MFC6.004

レベル: UE-ERROR

短構文: MFC6.004 Unexp MLD Query *IP\_source* ->  
*IP\_destination, nt network ID*

長構文: MFC6.004 Unexpected MLD Query, *IP\_source*  
-> *IP\_destination net network ID*

説明: インターフェースで MLD 照会を受信しましたが、受信しているルーター自体がホスト・メンバーシップ照会を送信しています (すなわち、ルーター自体が指定ルーターです)。これは予期しないことです。いずれにしても、ホスト・メンバーシップ照会は無視されます。

---

### MFC6.005

レベル: P-TRACE

短構文: MFC6.005 Rcvd MLD Query *IP\_source* ->  
*IP\_destination, nt network ID*

長構文: MFC6.005 Received MLD Query, *IP\_source* ->  
*IP\_destination net network ID*

説明: MLD 照会を受信しましたが、マルチキャスト・ルーターによって無視されました。

---

### MFC6.006

レベル: P-TRACE

短構文: MFC6.006 Rcvd dgram *IP\_source* ->  
*IP\_destination, from receiving\_interface*

長構文: MFC6.006 Received IP multicast datagram,  
*IP\_source* -> *IP\_destination, from receiving\_interface*

説明: IP データグラムを受信しましたが、これはクラス D アドレスを持っており、IP マルチキャストであることを示しています。データグラムの転送が試みられません。

---

**MFC6.007**

レベル: P-TRACE

短構文: MFC6.007 Fwrd dgram *IP\_source* -> *IP\_destination*, nt *network ID*

長構文: MFC6.007 Forwarded IP multicast datagram, *IP\_source* -> *IP\_destination*, net *network ID*

説明: IP データグラムが、データ・リンク・マルチキャストとして、指定のインターフェースから転送されました。

---

**MFC6.008**

レベル: P-TRACE

短構文: MFC6.008 Fwrd dgram *IP\_source* -> *IP\_destination*, nbr *IP\_gw\_address*

長構文: MFC6.008 Forwarded IP multicast datagram, *IP\_source* -> *IP\_destination*, neighbor *IP\_gw\_address*

説明: IP データグラムが、データ・リンク・ユニキャストとして、指定の近隣に転送されました。

---

**MFC6.009**

レベル: P-TRACE

短構文: MFC6.009 Local delivery, *IP\_source* -> *IP\_destination*

長構文: MFC6.009 Local delivery of multicast datagram, *IP\_source* -> *IP\_destination*

説明: IP データグラムが、ルーターの内部アプリケーションの 1 つに送達されました。

---

**MFC6.010**

レベル: UE-ERROR

短構文: MFC6.010 Bad IP option, *IP\_source* -> *IP\_destination*

長構文: MFC6.010 Multicast datagram discarded due to bad option, *IP\_source* -> *IP\_destination*

説明: IP マルチキャスト・データグラムを受信しましたが、無効な IP オプション (フォーマットが間違っているか、マルチキャストには不適切なオプション) が含まれています。データグラムは廃棄され、ICMP メッセージは戻されません。

---

**MFC6.011**

レベル: UE-ERROR

短構文: MFC6.011 Can't fwd *IP\_source* -> *IP\_destination*, rsn: *reason*

長構文: MFC6.011 Can't forward multicast *IP\_source* -> *IP\_destination*, due to reason : *reason*

説明: 示されている理由により、IP マルチキャスト・データグラムが転送されませんでした。

---

**MFC6.012**

レベル: P-TRACE

短構文: MFC6.012 Lcl orig *IP\_source* -> *IP\_destination*

長構文: MFC6.012 Locally originated multicast, *IP\_source* -> *IP\_destination*

説明: ルーターの内部アプリケーションの 1 つによって、IP データグラムが発信されました。転送が試みられています。このようなデータグラムは、転送に関する他の決定には関係なく、常にパケットの発信元に対応するインターフェース (もしあれば) から転送されます。

---

**MFC6.013**

レベル: P-TRACE

短構文: MFC6.013 Rcvd MLD reg for *IP\_source*

長構文: MFC6.013 Received MLD Register Request for group *IP\_source*

説明: 内部アプリケーションから MLD 登録要求を受信しました。

---

**MFC6.014**

レベル: P-TRACE

短構文: MFC6.014 Rcvd MLD Done *IP\_source* -> *IP\_destination*, group *IP\_group* nt *network ID*

長構文: MFC6.014 Received MLD Done *IP\_source* -> *IP\_destination*, group *IP\_group* net *network ID*

説明: 指定のインターフェースで MLD 完了メッセージを受信しました。

---

**MFC6.015**

レベル: UI-ERROR

短構文: MFC6.015 Bad dp trie key delete, fnc : *function*

長構文: MFC6.015 The deletion of a dp trie key failed in function : *function*

**説明:** 機能が dp trie データ構造からキーを削除しようと試みました。

**原因:** 指定されたキーを dp trie 内で見付けることができませんでした。

**処置:** 製品の供給元に連絡してください。



---

## 第80章 マルチリンク PPP (MLP)

この章では、マルチリンク PPP (MLP) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### MLP.001

レベル: P-TRACE

短構文: MLP.001 MP Rcv bytes byt num= *seqno*,M=*M*,BE= *BE\_bits* lng?= *long* nt *network*

長構文: MLP.001 MP Rcv bytes byt num= *seqno*,M=*M*,BE= *BE\_bits* lng?= *long* nt *network*

説明: MP パケットを受信しました。このメッセージで報告されるのは、サイズ (バイト数)、MP ヘッダーに入っている MP シーケンス番号、MP バンドル内の各リンクごとに最後に受信したシーケンス番号の最小値である M 値、BE ビット数 (0 = いずれでもなし、1 = 終了フラグメント、2 = 開始フラグメント、3 = 開始と終了の両方 (全パケット))、長シーケンス番号を受信中かどうかということ (1 = はい)、およびパケットが受信されたネットおよびインターフェースです。

---

### MLP.002

レベル: CI-ERROR

短構文: MLP.002 net *net* DISCARD (sequence less than expected) nrcv= *nrcv*,num= *seq*

長構文: MLP.002 net *net* DISCARD (sequence less than expected) nrcv= *nrcv*,num= *seq*

説明: シーケンス番号が予期していた番号より小さい (nrcv または M より小さい) ために、MP パケットを廃棄中です。これは、このパケットがすでに損失として "宣言" されていたことを示している可能性があります。

---

### MLP.003

レベル: P-TRACE

短構文: MLP.003 BAP Snd REQ= *type* (0=Cll,1=Cllbk,2=Drp)

長構文: MLP.003 BAP Snd REQ= *type* (0=Cll,1=Cllbk,2=Drp)

説明: BAP の送信中です。

---

### MLP.004

レベル: CI-ERROR

短構文: MLP.004 net *net* DISC seq= *seq*,nrcv= *nrcv* due to rcv buff shortage

長構文: MLP.004 net *net* DISC seq= *seq*,nrcv= *nrcv* due to rcv buff shortage

説明: リンク受信バッファの不足により、MP パケットを廃棄中です。

処置: これが頻繁に発生する場合は、リンク受信バッファを増やすことを検討してください。

---

### MLP.005

レベル: P-TRACE

短構文: MLP.005 BAP Send CALL-STATUS= *status* (0=SUCC,255=FAIL)

長構文: MLP.005 BAP Send CALL-STATUS= *status* (0=SUCC,255=FAIL)

説明: リンクが MP バンドルに正常に結合したかどうかを示すために、BAP コール状態表示を送信中です (これには、LCP ネゴシエーションが組み込まれます)。

---

### MLP.006

レベル: CI-ERROR

短構文: MLP.006 BAP: Inbound Req or Status Ind was not Acked

長構文: MLP.006 BAP: Inbound Req or Status Ind was not Acked

説明: 何らかの理由で、BAP がピア (相手) からの着信要求を確認しない選択をしました。これが生じる可能性があるのは、十分な資源がないか、ピア (相手) による帯域幅の追加または除去の決定にこちらが同意しない場合です。

---

### MLP.007

レベル: P-TRACE

短構文: MLP.007 BAP Rcv Req= *theirReq* (0=Cll,1=Cllbk,2=Drp) ->COLLISION favp= *favpeer*



**長構文:** MLP.007 BAP Rcv Req= *theirReq*  
(0=Cll,1=Cllbk,2=Drp) ->COLLISION favp= *favpeer*

**説明:** ピア (相手) からのインバウンド BAP 要求を受信しましたが、すでにその間に別の要求を送信していました。これは正常な衝突であり、BACP 優先ピア (相手) によって解決されます。

---

#### MLP.008

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** MLP.008 BAP bd state-inbnd=  
*theirReq*(0=Cll,1=Cbk,2=Drp,3=CR,4=CBR,5=DR,6=S,7=SR)

**長構文:** MLP.008 BAP bd state-inbnd=  
*theirReq*(0=Cll,1=Cbk,2=Drp,3=CR,4=CBR,5=DR,6=S,7=SR)

**説明:** インバウンド BAP パケットの BAP 状態不良です。

---

#### MLP.009

**レベル:** P-TRACE

**短構文:** MLP.009 BAP RCV RSP=  
*RespType*(0=Ci,1=Cbk,2=Drp,3=St)  
*Response*(0=AK,1=NK,2=RJ,3=FLN)

**長構文:** MLP.009 BAP RCV RSP=  
*RespType*(0=Ci,1=Cbk,2=Drp,3=St)  
*Response*(0=AK,1=NK,2=RJ,3=FLN)

**説明:** インバウンド BAP 応答パケットを対応する応答コードと共に受信しました (ACK は、「要求を推進してください」を意味し、NAK は、「要求を理解し支持するが、今は実行してほしくないので、後で改めて試行してください」を意味し、REJECT は、「要求を理解または支持、あるいはその両方をしない」を意味し、FULLNAK は、「要求を理解し支持するが、ある種の資源条件 (これは構成可能リンクの最大数パラメーターである可能性がある) による制限があるので、MP バンドルの合計帯域幅が変更されるまでは、この要求を再度送信しないでください」を意味します)。

---

#### MLP.010

**レベル:** C-INFO

**短構文:** MLP.010 BOD Aprc= *Add*,ASpd= *AddS*,Dprc=  
*Drop*,DSpd= *DropS*,oSpd= *out*,iSpd= *in*

**長構文:** MLP.010 BOD Aprc= *Add*,ASpd= *AddS*,Dprc=  
*Drop*,DSpd= *DropS*,oSpd= *out*,iSpd= *in*

**説明:** リンクの追加または除去が必要かどうかを判別するために、帯域幅を検査中です。合計帯域幅、追加パーセント、計算追加速度、除去パーセント、計算除去速度、アウトバウンド速度、およびインバウンド速度が表

示されます。除去するためには、iSpd および oSpd を両方とも DSpd 未満に落とす必要があります。追加するためには、iSpd と oSpd のいずれかを ASpd より上まで上げる必要があります。

---

#### MLP.011

**レベル:** C-INFO

**短構文:** MLP.011 BAP BOD Drp lnk net= *net*,rem LD=  
*remLD*,loc LD= *locLD*

**長構文:** MLP.011 BAP BOD Drp lnk net= *net*,rem LD=  
*remLD*,loc LD= *locLD*

**説明:** BAP によるリンクの削除が行われています。リモートおよびローカル・リンク弁別子が表示されます。

---

#### MLP.012

**レベル:** CI-ERROR

**短構文:** MLP.012 BAP BOD - Avail *nettype*  
(0=Drp,1=Out,2=In) nt not found

**長構文:** MLP.012 BAP BOD - Avail *nettype*  
(0=Drp,1=Out,2=In) net not found

**説明:** 十分な資源がないか、ダイヤル回線が直前のアクションからまだリセットしていない場合は、通常のエラーです。

---

#### MLP.013

**レベル:** C-INFO

**短構文:** MLP.013 BAP BOD Adding Net= *net* with  
*type* (0=Cll,1=Cllbk)

**長構文:** MLP.013 BAP BOD Adding Net= *net* with  
*type* (0=Cll,1=Cllbk)

**説明:** BAP がリンクを追加中です。

---

#### MLP.014

**レベル:** CI-ERROR

**短構文:** MLP.014 BAP BOD Can NOT check BOD  
requirements NOW!

**長構文:** MLP.014 BAP BOD Can NOT check BOD  
requirements NOW!

**説明:** BAP プロセスが行われている最中で、帯域幅タイマーがポップする (帯域幅がこの間隔で検査されることはありません) 場合は、通常のエラーです。

---

**MLP.015**

レベル: C-INFO

短構文: MLP.015 BAP Peer wants to Drop our LD=  
LD

長構文: MLP.015 BAP Peer wants to Drop our LD=  
LD

説明: 表示されているリンク弁別子とこちらのリンクの除去を希望する、インバウンド BAP 除去要求です。

---

**MLP.016**

レベル: P-TRACE

短構文: MLP.016 BAP Rcv *theirReq*  
(Cll:1,2;CllBck:3,4;Drp:5,6;St:7,8->Req,Rsp)

長構文: MLP.016 BAP Rcv *theirReq*  
(Cll:1,2;CllBck:3,4;Drp:5,6;St:7,8->Req,Rsp)

説明: インバウンド BAP 要求を受信しました。

---

**MLP.017**

レベル: C-INFO

短構文: MLP.017 BAP - Our Available Phone number  
is *phoneNum*

長構文: MLP.017 BAP - Our Available Phone number  
is *phoneNum*

説明: ピア (相手) に渡すために使用可能な電話番号を見付けました。

---

**MLP.018**

レベル: C-INFO

短構文: MLP.018 BAP cll nt= *net*,olen= *len*,ud=  
ud,sntd= *sent*,offst= *offset*,Ph= *phone*

長構文: MLP.018 BAP cll nt= *net*,olen= *len*,ud=  
ud,sntd= *sent*,offst= *offset*,Ph= *phone*

説明: BAP がコールを発信中です。電話番号が使用されるフィールドが表示されます。電話番号の元の長さ、固有の桁数、ピア (相手) から送信された桁数、コピーを開始するための電話番号内オフセット、および電話番号があります。

---

**MLP.019**

レベル: C-INFO

短構文: MLP.019 MP Nt *net* removed from the bundle

長構文: MLP.019 MP Nt *net* removed from the bundle

説明: MP がバンドルからリンクを除去します。

---

**MLP.020**

レベル: C-INFO

短構文: MLP.020 MP add Nt *net* to the *type*  
(0=old,1=new) bundle

長構文: MLP.020 MP add Nt *net* to the *type*  
(0=old,1=new) bundle

説明: MP がバンドルにリンクを追加します。

---

**MLP.021**

レベル: P-TRACE

短構文: MLP.021 MP Nt *oldnet* XMT shrt?= *short* (  
*bytes* byt) num= *seqnum* on nt *net*

長構文: MLP.021 MP Nt *oldnet* XMT shrt?= *short* (  
*bytes* byt) num= *seqnum* on nt *net*

説明: MP がパケットを XMIT (送信) します。MP 装置、短シーケンス番号を送信中かどうか (1=はい)、バイト数、および移送ネットが表示されます。

---

**MLP.022**

レベル: C-INFO

短構文: MLP.022 BAP OPT: LNK TYPE: spd= *speed*,  
typ= *type* (1=ISDN,4=ANALOG)

長構文: MLP.022 BAP OPT: LNK TYPE: spd= *speed*,  
typ= *type* (1=ISDN,4=ANALOG)

説明: BAP オプション

---

**MLP.023**

レベル: C-INFO

短構文: MLP.023 BAP OPT: PHONE:dig:unique=  
ud,snt= *ds*;num= *delta*,sub= *subaddr*

長構文: MLP.023 BAP OPT: PHONE:dig:unique=  
ud,snt= *ds*;num= *delta*,sub= *subaddr*

説明: BAP オプション

---

**MLP.024**

レベル: C-INFO

短構文: MLP.024 BAP OPT: NO PHONE NUMBER  
NEEDED

長構文: MLP.024 BAP OPT: NO PHONE NUMBER  
NEEDED

説明: BAP オプション

---

**MLP.025**

レベル: C-INFO

短構文: MLP.025 BAP OPT: REASON: *reason*

長構文: MLP.025 BAP OPT: REASON: *reason*

説明: BAP オプション

---

**MLP.026**

レベル: C-INFO

短構文: MLP.026 BAP OPT: LINK DISCRIMINATOR:  
*ld*

長構文: MLP.026 BAP OPT: LINK DISCRIMINATOR:  
*ld*

説明: BAP オプション

---

**MLP.027**

レベル: C-INFO

短構文: MLP.027 BAP OPT:STAT:  
*status(0=SCC,17=BSY,255=FL)act= action(0=NO,1=RTRY)*

長構文: MLP.027 BAP OPT:STAT:  
*status(0=SCC,17=BSY,255=FL)act= action(0=NO,1=RTRY)*

説明: BAP オプション

---

**MLP.028**

レベル: UE-ERROR

短構文: MLP.028 BAP OPTION NOT RECOGNIZED

長構文: MLP.028 BAP OPTION NOT RECOGNIZED

説明: BAP オプションなし

---

**MLP.029**

レベル: UI-ERROR

短構文: MLP.029 BAP error (inbound packet): no  
buffer

長構文: MLP.029 BAP error (inbound packet): no  
buffer

説明: BAP は、応答を送信するためにパケットの生成を試行しましたが、バッファを割り振ることができませんでした。重大な記憶域不足問題がある可能性があります。

---

---

**MLP.030**

レベル: UE-ERROR

短構文: MLP.030 BAP error (inbound packet): length  
mismatch

長構文: MLP.030 BAP error (inbound packet): length  
mismatch

説明: BAP エラー

---

**MLP.031**

レベル: UE-ERROR

短構文: MLP.031 BAP error (inbound packet):  
bap\_check failed

長構文: MLP.031 BAP error (inbound packet):  
bap\_check failed

説明: インバウンド BAP パケット・オプションの処理中に、bap\_check によってエラーが報告されました。

---

**MLP.032**

レベル: P-TRACE

短構文: MLP.032 Sending BAP RESPONSE= *resp*  
(0=Ack)

長構文: MLP.032 Sending BAP RESPONSE= *resp*  
(0=Ack)

説明: インバウンド要求または状態表示に対する BAP 応答です (0=ACK、1=NAK、2=REJ、3=FULLNAK)。

---

**MLP.033**

レベル: UE-ERROR

短構文: MLP.033 BAP error (inbound packet): id  
mismatch

長構文: MLP.033 BAP error (inbound packet): id  
mismatch

説明: 応答または状態表示のインバウンド ID が、初期要求で使用されたものに一致しません。

---

**MLP.034**

レベル: UE-ERROR

短構文: MLP.034 BAP error: unique digits > digits sent

長構文: MLP.034 BAP error: unique digits > digits sent

説明: ダイヤルする電話番号を形成できません。固有の桁数が送信された桁数より大です。

---

---

**MLP.035**

レベル: P-TRACE

短構文: MLP.035 mk favorite peer magic number *magic*

長構文: MLP.035 making favorite peer magic number with value *magic*

説明: bacp\_option によって優先ピア (相手) が作成されました。

---

**MLP.036**

レベル: UI-ERROR

短構文: MLP.036 mk bacp unk option

長構文: MLP.036 making unknown bacp option option

説明: bacp\_option が確認できないオプションを作成しました。

---

**MLP.037**

レベル: C-INFO

短構文: MLP.037 state, routine\_name, nt network ID

長構文: MLP.037 state = state,, called routine\_name,, on nt network ID

説明: 指定の cp ルーチンをコールしました。

---

**MLP.038**

レベル: P-TRACE

短構文: MLP.038 ck favorite peer mag 0x magic\_number

長構文: MLP.038 checking favorite peer magic number with value 0x magic\_number

説明: bacp\_check がマジック・ナンバーを処理しました。

---

**MLP.039**

レベル: P-TRACE

短構文: MLP.039 ck bacp unk option

長構文: MLP.039 checking unknown bacp option option

説明: bacp\_check が確認できないオプションを処理しました。

---

---

**MLP.040**

レベル: UE-ERROR

短構文: MLP.040 Bd bacp req hdr lngth, nt network ID

長構文: MLP.040 Bad BACP request header length, on network network ID

説明: bacp\_req が要求を受信しましたが、ヘッダーの長さが不良です。

---

**MLP.041**

レベル: UE-ERROR

短構文: MLP.041 Bd bacp req opt bacp\_option, shrt, nt network ID

長構文: MLP.041 Bd BACP req opt bacp\_option,, data too short, on net network ID

説明: bacp\_req が要求を入手しましたが、含まれているオプションがデータ不足です。

---

**MLP.042**

レベル: C-TRACE

短構文: MLP.042 bacp req rslt: bacp\_rslt,, opt bacp\_option,, ln opt\_len,, nt network ID

長構文: MLP.042 bacp req rslt: bacp\_rslt,, opt bacp\_option,, ln opt\_len,, nt network ID

説明: ここまでの、1つのオプションの処理の結果

---

**MLP.043**

レベル: UE-ERROR

短構文: MLP.043 lpbk nt network ID

長構文: MLP.043 Excessive bacp magic number collisions on nt network ID

説明: リンクの構成を試行中に、過度のマジック・ナンバー衝突がありました。

---

**MLP.044**

レベル: UE-ERROR

短構文: MLP.044 Bd bacp ack id, exp exp\_id, gt got\_id,, nt network ID

長構文: MLP.044 Bad bacp ack id, exp exp\_id, got got\_id,, on nt network ID

説明: bacp\_ack が構成 ACK を入手しましたが、ID が不良です。

---

---

**MLP.045**

レベル: UE-ERROR

短構文: MLP.045 Bd bacp ack lngth, nt *network ID*

長構文: MLP.045 Bad bacp ack length, on network *network ID*

説明: bacp\_ack が構成 ACK を入手しましたが、長さが不良です。

---

**MLP.046**

レベル: UE-ERROR

短構文: MLP.046 msmtchd bacp ack, nt *network ID*

長構文: MLP.046 mis-matched data in bacp ack, on network *network ID*

説明: bacp\_ack が ACK を入手しましたが、そのデータがこちらの要求に一致しません。

---

**MLP.047**

レベル: UE-ERROR

短構文: MLP.047 Bd bacp nak id, exp *exp\_id*, gt *got\_id*, nt *network ID*

長構文: MLP.047 Bad BACP nak id, expected *exp\_id*, got *got\_id*, on network *network ID*

説明: bacp\_nak が NAK を入手しましたが、ID が不良です。

---

**MLP.048**

レベル: UE-ERROR

短構文: MLP.048 Bd bacp nak lngth, nt *network ID*

長構文: MLP.048 Bad BACP nak length, on network *network ID*

説明: bacp\_nak が NAK を入手しましたが、長さが不良です。

---

**MLP.049**

レベル: UE-ERROR

短構文: MLP.049 Bd bacp nak opt *bacp\_option*, nt *network ID*

長構文: MLP.049 Bad BACP nak option = *bacp\_option*, on network *network ID*

説明: bacp\_nak が NAK を入手しましたが、含まれているオプションが範囲外です。

---

---

**MLP.050**

レベル: UE-ERROR

短構文: MLP.050 out-ordr bacp nak opt *bacp\_option*, nt *network ID*

長構文: MLP.050 Bad BACP nak option = *bacp\_option*, on network *network ID*

説明: bacp\_nak が NAK を入手しましたが、含まれているオプションが順序誤りです。

---

**MLP.051**

レベル: UE-ERROR

短構文: MLP.051 Bd bacp nak opt *bacp\_option*, shrt, nt *network ID*

長構文: MLP.051 Bad BACP nak option = *bacp\_option*, data too short, on network *network ID*

説明: bacp\_nak が NAK を入手しましたが、含まれているオプションがデータ不足です。

---

**MLP.052**

レベル: UE-ERROR

短構文: MLP.052 Bd bacp rej id, exp *exp\_id*, gt *got\_id*, nt *network ID*

長構文: MLP.052 Bad bacp rej id, expected *exp\_id*, got *got\_id*, on network *network ID*

説明: bacp\_ack が構成 ACK を入手しましたが、ID が不良です。

---

**MLP.053**

レベル: UE-ERROR

短構文: MLP.053 Bd bacp rej lngth, nt *network ID*

長構文: MLP.053 Bad BACP reject length, on network *network ID*

説明: bacp\_rej がリジェクトを入手しましたが、長さが不良です。

---

**MLP.054**

レベル: UE-ERROR

短構文: MLP.054 Bd bacp rej opt *bacp\_option*, nt *network ID*

長構文: MLP.054 Bad BACP reject option = *bacp\_option*, on network *network ID*

説明: bacp\_rej がリジェクトを入手しましたが、含まれ

ているオプションが範囲外です。

---

#### MLP.055

レベル: UE-ERROR

短構文: MLP.055 out-ordr bacp rej opt *bacp\_option*, nt *network ID*

長構文: MLP.055 Bad BACP reject option = *bacp\_option*, on network *network ID*

説明: *bacp\_rej* がリジェクトを入手しましたが、含まれているオプションが順序誤りです。

---

#### MLP.056

レベル: C-INFO

短構文: MLP.056 MP bundle removed (Nt *net*)

長構文: MLP.056 MP bundle removed (Nt *net*)

説明: MP がバンドル解除します。残っているリンク (残っているものがある場合) は、すべてダウンにされます。

---

#### MLP.057

レベル: P-TRACE

短構文: MLP.057 MP Nt *oldnet* SLW XMT shrt?= *short frg frag* ( *bytes* *byt*) on nt *net*

長構文: MLP.057 MP Nt *oldnet* SLW XMT shrt?= *short frg frag* ( *bytes* *byt*) on nt *net*

説明: MP 低速 XMIT (送信)。これが使用されるのは、BRS *n\_get* 送信パスの場合です。パラメーターは MLP\_21 の場合と同じです。

---

#### MLP.058

レベル: UI-ERROR

短構文: MLP.058 Bad Dial nt *network ID*

長構文: MLP.058 Bad Dialout MP link for nt *network ID*

説明: 構成されたダイヤルアウト MP リンクが存在していないか、ダイヤルアウト MP 専用リンクではありません。

原因: 構成エラー

処置: ダイヤル回線をダイヤルアウト MP 専用リンクとして構成します。

---

#### MLP.059

レベル: UE-ERROR

短構文: MLP.059 ERROR: Fixed link *link* with wrong MP nt *MPnet* - dropping link

長構文: MLP.059 ERROR: Fixed link *link* with wrong MP nt *MPnet* - dropping link

説明: リンクは MP ONLY であり、バンドルを見付けましたが、これが構成済みバンドルではありませんでした。

原因: 構成エラー

---

#### MLP.060

レベル: UE-ERROR

短構文: MLP.060 ERROR: MaxLinks exceeded MP nt *MPnet* - dropping nt *link*

長構文: MLP.060 ERROR: MaxLinks exceeded MP nt *MPnet* - dropping nt *link*

説明: このバンドルに関するリンクの最大数を超過しました。

原因: 構成エラー

---

#### MLP.061

レベル: UE-ERROR

短構文: MLP.061 ERROR: LCP or Auth on nt *link* mismatch w/ MP nt *MPnet* - dropping link

長構文: MLP.061 ERROR: LCP or Auth on nt *link* mismatch w/ MP nt *MPnet* - dropping link

説明: このリンクの LCP または認証ネゴシエーションが一致しません。

原因: 構成エラー

---

#### MLP.062

レベル: UI-ERROR

短構文: MLP.062 ERROR: link nt *link* not the 1st link in bundle MP nt *MPnet* - dropping link

長構文: MLP.062 ERROR: link nt *link* not the 1st link in bundle MP nt *MPnet* - dropping link

説明: この MP ネットの最初のリンクではありません。

原因: 構成エラー



---

**MLP.063**

レベル: UI-ERROR

短構文: MLP.063 ERROR: No MP bundle Net to use - dropping nt *link*

長構文: MLP.063 ERROR: No MP bundle Net to use - dropping nt *link*

説明: この MP セッション用として使用する MP ネットがありません。

原因: 構成エラー

---

**MLP.064**

レベル: UI-ERROR

短構文: MLP.064 ERROR: Out of MP Buffers on MP nt *MPnet*

長構文: MLP.064 ERROR: Out of MP Buffers on MP nt *MPnet*

説明: この MP ネット上には MP バッファはこれ以上ありません。

原因: もっと記憶域が必要です。

---

**MLP.065**

レベル: UI-ERROR

短構文: MLP.065 ERROR: mp\_netostart is performed on a non-MP net *MPnet*

長構文: MLP.065 ERROR: mp\_netostart is performed on a non-MP net *MPnet*

説明: mp\_netostart (BRS) が非 MP ネットで実行されています。

原因: 構成エラー

---

**MLP.066**

レベル: C-INFO

短構文: MLP.066 >>>>->> mp\_init\_prvq nt *MPnet* w/ *numbuffs* buf, *numbytes* bytes!

長構文: MLP.066 >>>>->> mp\_init\_prvq nt *MPnet* w/ *numbuffs* buf, *numbytes* bytes!

説明: MP 初期化

---

**MLP.067**

レベル: C-INFO

短構文: MLP.067 mp\_slftst : net = *MPnet*

長構文: MLP.067 mp\_slftst : net = *MPnet*

---

**680** ELS メッセージの手引き

説明: MP 自己検査

---

**MLP.068**

レベル: C-INFO

短構文: MLP.068 >>>>->> performing n\_up for DOD nt *MPnet*

長構文: MLP.068 >>>>->> performing n\_up for DOD nt *MPnet*

説明: ダイヤル・オンデマンド MP ネットに関する通常の MP 自己検査

---

**MLP.069**

レベル: C-INFO

短構文: MLP.069 >>>>->> performing n\_down for FIXED INBOUND nt *MPnet*

長構文: MLP.069 >>>>->> performing n\_down for FIXED INBOUND nt *MPnet*

説明: 固定インバウンド MP 回線に関する通常の MP 自己検査

---

**MLP.070**

レベル: UI-ERROR

短構文: MLP.070 MP self test nt *MPnet* - bad state

長構文: MLP.070 MP self test nt *MPnet* - bad state

説明: MP 自己検査が不良です。

---

**MLP.071**

レベル: C-INFO

短構文: MLP.071 >>>>->> performing n\_down since NETDOWN nt *MPnet*

長構文: MLP.071 >>>>->> performing n\_down since NETDOWN nt *MPnet*

説明: MP 自己検査。基本ネットがいまだに NETDOWN 状態です。

---

**MLP.072**

レベル: C-INFO

短構文: MLP.072 >>>>->> performing n\_up for DOD nt *MPnet*

長構文: MLP.072 >>>>->> performing n\_up for DOD nt *MPnet*

説明: ダイヤル・オンデマンド MP ネットに関する通常の MP 自己検査

---

**MLP.073**

レベル: C-INFO

短構文: MLP.073 >>>>->> performing n\_down for  
FIXED INBOUND nt *MPnet*

長構文: MLP.073 >>>>->> performing n\_down for  
FIXED INBOUND nt *MPnet*

説明: 固定インバウンド MP 回線に関する通常の MP  
自己検査

---

**MLP.074**

レベル: C-INFO

短構文: MLP.074 >>>>->> performing n\_down since  
callout failure nt *MPnet*

長構文: MLP.074 >>>>->> performing n\_down since  
callout failure nt *MPnet*

説明: MP 自己検査。ダイヤル回線コールアウトに失敗  
し、再度試行します。

---

**MLP.075**

レベル: C-INFO

短構文: MLP.075 >>>>->> performing n\_down bad link  
state and not calling nt *MPnet*

長構文: MLP.075 >>>>->> performing n\_down bad link  
state and not calling nt *MPnet*

説明: ダイヤル回線ネットが正常状態にないと考えら  
れます。

---

**MLP.076**

レベル: C-TRACE

短構文: MLP.076 Idle timer expired MP nt *MPnet* -  
MP circuit down

長構文: MLP.076 Idle timer expired MP nt *MPnet* -  
MP circuit down

説明: MP 保守。ダイヤル・オンデマンド MP 回線に  
関して、アイドル・タイマーが満了になりました。

---

**MLP.077**

レベル: CI-ERROR

短構文: MLP.077 BAP: NO Available Phone Number

長構文: MLP.077 BAP: NO Available Phone Number

説明: BAP は電話番号を渡すことができません。い  
ずれも入手してくれないからです。資源状態も 1 つ (また

は複数) のダイヤル回線も、まだ直前のアクションから  
リセットしていません。

---

**MLP.078**

レベル: UE-ERROR

短構文: MLP.078 BAP: unknown PHONE DELTA sub  
option

長構文: MLP.078 BAP: unknown PHONE DELTA sub  
option

説明: PHONE DELTA サブオプションが不明です。

---

**MLP.079**

レベル: UE-ERROR

短構文: MLP.079 BAP: unknown BAP option *option*

長構文: MLP.079 BAP: unknown BAP option *option*

説明: BAP オプションが不明です。

---

**MLP.080**

レベル: UE-ERROR

短構文: MLP.080 BAP: FAILED BAP NEGOTIATIONS  
nt *MPnet*

長構文: MLP.080 BAP: FAILED BAP NEGOTIATIONS  
nt *MPnet*

説明: BAP ネゴシエーションが失敗しました (LINK  
TYPE OR PHONE DELTA NOT SUPPLIED)。

---

**MLP.081**

レベル: C-TRACE

短構文: MLP.081 BAP: Place call..tmp\_addr= *temp*,  
dst\_addr= *dst*

長構文: MLP.081 BAP: Place call..tmp\_addr= *temp*,  
dst\_addr= *dst*

説明: コールが発信されました。tmp\_addrs を使用し  
て、コールを発信します。

---

**MLP.082**

レベル: C-TRACE

短構文: MLP.082 BACP OPEN nt *MPnet*: fav= *favpeer*  
(0=N,1=Y) loc= *local*,rem= *remote*

長構文: MLP.082 BACP OPEN nt *MPnet*: fav= *favpeer*  
(0=N,1=Y) loc= *local*,rem= *remote*

説明: MP ネットに関して BACP がオープンされまし  
た。表示されるのは、優先ピア (相手) 値です。

---

**MLP.083**

レベル: UE-ERROR

短構文: MLP.083 ERROR: Unknown BAP pkt type  
type

長構文: MLP.083 ERROR: Unknown BAP pkt type  
type

説明: 不明の BAP パケット・タイプを受信しました。

---

**MLP.084**

レベル: UI-ERROR

短構文: MLP.084 BAP: Unable to drop MP lnk from  
MP nt *MPnet*

長構文: MLP.084 BAP: Unable to drop MP lnk from  
MP nt *MPnet*

説明: リンクをダウンにすることができないうちに、  
リンク除去タイムアウト期間が経過しました。

---

**MLP.085**

レベル: UE-ERROR

短構文: MLP.085 ERROR: No MP on static MP Link  
nt *linkNet*

長構文: MLP.085 ERROR: No MP on static MP Link  
nt *linkNet*

説明: MP ONLY リンク上の MRRU ネゴシエーションが  
正常に行われませんでした。

---

**MLP.086**

レベル: UE-ERROR

短構文: MLP.086 ERROR: bad Endpt Disc on static  
MP Lnk nt *linkNet*

長構文: MLP.086 ERROR: bad Endpt Disc on static  
MP Lnk nt *linkNet*

説明: MP ONLY リンク上のエンドポイント選別子が、  
バンドルと異なっていました。

---

**MLP.087**

レベル: UE-ERROR

短構文: MLP.087 ERROR: nt *linkNet* parameter  
mismatch with MP bundle

長構文: MLP.087 ERROR: nt *linkNet* parameter  
mismatch with MP bundle

説明: リンク・ネットは、MP バンドルと同じパラメー

ターをネゴシエーションしませんでした。

---

**MLP.088**

レベル: UE-ERROR

短構文: MLP.088 ERROR: nt *linkNet* did not neg lnk  
disc on MP nt *MPnet* -BAP

長構文: MLP.088 ERROR: nt *linkNet* did not neg lnk  
disc on MP nt *MPnet* -BAP

説明: リンク・ネットは、BAP を実行するバンドルに  
ついて、リンク識別子をネゴシエーションしませんでした。

---

**MLP.089**

レベル: UE-ERROR

短構文: MLP.089 ERROR: nt *MPnet* rcv BAP packet  
in bapCLOSED state

長構文: MLP.089 ERROR: nt *MPnet* rcv BAP packet  
in bapCLOSED state

説明: BAP パケットが受信されたのが、BAP が稼働し  
ていない回線上でした。

---

**MLP.090**

レベル: UE-ERROR

短構文: MLP.090 ERROR: nt *MPnet* rcvd a BACP pkt  
in CLOSED state

長構文: MLP.090 ERROR: nt *MPnet* rcvd a BACP pkt  
in CLOSED state

説明: BACP パケットがクローズ状態で受信されまし  
た。

---

**MLP.091**

レベル: UI-ERROR

短構文: MLP.091 ERROR: BRS enabled on an MP  
slave net *linkNet*

長構文: MLP.091 ERROR: BRS enabled on an MP  
slave net *linkNet*

説明: BRS が MP リンク・ネット上で使用可能にされ  
ています。パケットは除去されます。

---

**MLP.092**

レベル: C-INFO

短構文: MLP.092 BAP: no subaddress found

長構文: MLP.092 BAP: no subaddress found

説明: BAP: サブアドレスが見つからず、渡そうとしていません。マルチポートがサポートされていないか、現在は使用されていないためと思われます。

---

**MLP.093**

レベル: C-INFO

短構文: MLP.093 BAP - Our Available subaddress is *subAddr*

長構文: MLP.093 BAP - Our Available subaddress is *subAddr*

説明: サブアドレスを見つけたので、こちらの BAP コール・レスポンスまたは BAP コールバック・リクエストの中でそれを渡します。

---

**MLP.094**

レベル: UI-ERROR

短構文: MLP.094 WARNING: *nt link* already added to MP *nt MPnet* - continuing

長構文: MLP.094 WARNING: *nt link* already added to MP *nt MPnet* - continuing

説明: *pppblk* はすでに MP ネットに追加されています。処理を続けます。

原因: おそらく廃棄されたパケットです。

---

**MLP.095**

レベル: UI-ERROR

短構文: MLP.095 Leased MP net with WRS/DOD *nt network ID*

長構文: MLP.095 Leased MP net with WRS/DOD *nt network ID*

説明: MP ネットに専用回線が含まれており、WRS が使用可能になっています。

原因: 構成エラー

処置: WRS を使用不可にしてください。

---

**MLP.096**

レベル: UI-ERROR

短構文: MLP.096 Disabling BAP on Leased MP *nt network ID*

長構文: MLP.096 Disabling BAP on Leased MP *nt network ID*

説明: MP ネットは "専用" (少なくとも 1 つの専用回線を含んでいる) であり、BAP が使用可能にされていま

す。この構成は誤っています。BAP は使用不可になり、BOD は BAP を使用しません。

原因: 構成エラー

処置: 専用 MP 回線上の BAP を使用不可にしてください。

---

**MLP.097**

レベル: UI-ERROR

短構文: MLP.097 Disabling BAP on MP *nt network ID* w/ bad ctrl net

長構文: MLP.097 Disabling BAP on MP *nt network ID* w/ bad ctrl net

説明: BAP は、制御ネットが有効な ISDN ダイヤル回線である (I.430、I.431 でない) 場合にのみ機能します。

原因: 構成エラー

処置: MP 回線上の BAP を使用不可にしてください。

---

**MLP.098**

レベル: UI-ERROR

短構文: MLP.098 Disabling BOD ON INBOUND MP *nt network ID*

長構文: MLP.098 Disabling BOD ON INBOUND MP *nt network ID*

説明: BOD は INBOUND MP 回線上では機能しません (BAP が使用されていない限り)。

原因: BOD を使用不可にする。

処置: MP 回線上の BOD を使用不可にしてください。

---

**MLP.099**

レベル: C-INFO

短構文: MLP.099 BOD: Dropping *nt linknet* from MP *nt mpnet*

長構文: MLP.099 BOD: Dropping *nt linknet* from MP *nt mpnet*

説明: BOD がリンクを除去しました。

---

**MLP.100**

レベル: C-INFO

短構文: MLP.100 BOD: Attempting to Add *nt linknet* to MP *nt mpnet*

**長構文:** MLP.100 BOD: Attempting to Add nt *linknet* to MP nt *mpnet*

**説明:** BOD はリンクを追加しています。

---

#### MLP.101

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** MLP.101 WARNING: slftst Nt *MPnet* - bundle sequences are off

**長構文:** MLP.101 WARNING: slftst Nt *MPnet* - bundle sequences are off

**説明:** バンドル・シーケンス番号がオフです。予期していたより小さい番号の packets を受信したために 30 回連続して除去されたことが原因です。これは回復メカニズムです。

**原因:** バンドル内の 1 つのリンクが、他のリンクがダウンになる前にリスタートしたことが原因で起きた可能性もあります。その結果、1 つのバンドル自体が再確立できなくなり、旧接続からのシーケンス番号を使用しています。

---

#### MLP.102

**レベル:** UI\_ERROR

**短構文:** MLP.102 ERROR: n\_speed is 0 or very small,MP net *MPnet* - dropping net *link*

**長構文:** MLP.102 ERROR: n\_speed is 0 or very small,MP net *MPnet* - dropping net *link*

**説明:** MP バンドルへの結合を試みているリンクの 1 つに n\_speed が構成されていませんでした。

---

#### MLP.103

**レベル:** CI-ERROR

**短構文:** MLP.103 net *net* DISC num= *seqno*,nrcv= *nrcv*,M= *M* due timeout

**長構文:** MLP.103 net *net* DISC num= *seqno*,nrcv= *nrcv*,M= *M* due timeout

**説明:** パケット/断片を待っている間に MP タイムアウト期間が満了したために、MP パケットを廃棄中です。

---

#### MLP.104

**レベル:** CE-ERROR

**短構文:** MLP.104 net *net* DISC (packet dropped in transit) M= *M*,num= *seq*,nr= *nr*

**長構文:** MLP.104 net *net* DISC (packet dropped in transit) M= *M*,num= *seq*,nr= *nr*

**説明:** パケットが除去されたために、MP パケットを廃棄中です。これは M 値 (すべてのリンクの最後に受信されたシーケンス番号の最小値) を計算することによって判別されました。M 値は除去されたパケット数を超えており、それらは決して受信されることがないことを示しています。

---

#### MLP.105

**レベル:** CE-ERROR

**短構文:** MLP.105 packets dropped in transit net *net*, new M= *M*,nrcv= *nrcv*

**長構文:** MLP.105 packets dropped in transit net *net*, new M= *M*,nrcv= *nrcv*

**説明:** M が受信されることがない断片/packets を超えていた (MLP\_104 がログに記録された) ために、少なくとも 1 つの packets が転送中に除去されたか、廃棄されました。この ELS メッセージは、新しい NRCV (次の受信シーケンス番号) を表示しています。

---

#### MLP.106

**レベル:** P-TRACE

**短構文:** MLP.106 MP Nt *oldnet* XMT shrt?= *short* ( bytes byt) num= *seqnum* on nt *net*

**長構文:** MLP.106 MP Nt *oldnet* XMT shrt?= *short* ( bytes byt) num= *seqnum* on nt *net*

**説明:** MP XMIT インターリーブド・パケット。MP 装置、短シーケンス番号を送信中かどうか (1=はい)、バイト数、および移送ネットが表示されます。

---

#### MLP.107

**レベル:** P-TRACE

**短構文:** MLP.107 MP Nt *oldnet* XMT shrt?= *short* ( bytes byt) num= *seqnum* on nt *net*

**長構文:** MLP.107 MP Nt *oldnet* XMT shrt?= *short* ( bytes byt) num= *seqnum* on nt *net*

**説明:** MP XMIT インターリーブド・フラグメント。MP 装置、短シーケンス番号を送信中かどうか (1=はい)、バイト数、および移送ネットが表示されます。

---

#### MLP.108

**レベル:** P-TRACE

**短構文:** MLP.108 MP Nt *oldnet* XMT shrt?= *short* ( bytes byt) num= *seqnum* on nt *net*

**長構文:** MLP.108 MP Nt *oldnet* XMT shrt?= *short* ( bytes byt) num= *seqnum* on nt *net*

説明: MP XMIT パケット。MP ヘッダーおよび インターリーピングを使用可能としないで単一リンクを介するパケット。MP 装置、短シーケンス番号を送信中かどうか (1=はい)、バイト数、および移送ネットが表示されます。

---

**MLP.109**

レベル: P-TRACE

短構文: MLP.109 MP Nt *oldnet* XMT shrt?= *short* (*bytes* byt) num= *seqnum* on nt *net*

長構文: MLP.109 MP Nt *oldnet* XMT shrt?= *short* (*bytes* byt) num= *seqnum* on nt *net*

説明: MP XMIT 非断片化パケット。MP 装置、短シーケンス番号を送信中かどうか (1=はい)、バイト数、および移送ネットが表示されます。





---

## 第81章 ATM 経由マルチプロトコル・クライアント (MPOA)

この章では、ATM 経由マルチプロトコル・クライアント (MPOA) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### MPOA.001

レベル: UI-ERROR

短構文: MPOA.001 Critical memory allocation failure!  
(interface # *net\_number*)

長構文: MPOA.001 Critical memory allocation failure!  
(interface # *net\_number*)

説明: 指摘されているインターフェース番号で、通常の MPC 動作を妨害するような重大な記憶域割り振り失敗が起きました。

原因: ボックスの動的割り振り可能記憶域が不足しています。

---

### MPOA.002

レベル: CI-ERROR

短構文: MPOA.002 Non-critical memory allocation failure!  
(interface # *net\_number*)

長構文: MPOA.002 Non-critical memory allocation failure!  
(interface # *net\_number*)

説明: 指摘されているインターフェース番号で、重大でない記憶域割り振り失敗が起きました。これは MPC 動作は妨害しませんが、パフォーマンスがいくぶん低下する可能性があります。

原因: ボックスの動的割り振り可能記憶域が不足しています。

---

### MPOA.003

レベル: UE-ERROR

短構文: MPOA.003 Unrecog frame recvd (dropped)! (0x *word\_1* 0x *word\_2* 0x *word\_3*)

長構文: MPOA.003 Unrecognized frame received (dropped)! (0x *word\_1* 0x *word\_2* 0x *word\_3*)

説明: 認識できない/サポートされない LLC SNAP 符号化を持つフレームを受信しました (フレームの最初の 3 ワードが印刷されています)。そのため、フレームは廃棄されました。

---

### MPOA.004

レベル: UE-ERROR

短構文: MPOA.004 Bad NHRP/MPOA msg recvd (dropped)! (0x *word\_1* 0x *word\_2* 0x *word\_3*)

長構文: MPOA.004 Bad NHRP/MPOA message received (dropped)! (0x *word\_1* 0x *word\_2* 0x *word\_3*)

説明: 破壊された NHRP/MPOA メッセージを受信しました (ヘッダー・チェックサムなどの検査に基づいて判別) (フレームの最初の 3 ワードが印刷されています)。そのため、フレームは廃棄されました。

---

### MPOA.005

レベル: UE-ERROR

短構文: MPOA.005 NHRP Error ind. msg recvd! (intf # *intf\_num*, code *error\_code*)

長構文: MPOA.005 NHRP Error indication message received! (intf # *intf\_num* code *error\_code*)

説明: NHRP エラー表示メッセージを受信しました。

---

### MPOA.006

レベル: UI-ERROR

短構文: MPOA.006 Internal ATM downcall failed (*function\_name*, return: *error\_string*)

長構文: MPOA.006 Internal ATM downcall failed (*function\_name*, return: *error\_string*)

説明: ATM ドライバーへの内部ダウンコールが失敗しました。通常は起こるはずのないことです。

---

### MPOA.007

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.007 Couldn't send MPOA Ctrl msg to *atm\_address*, rc *return\_code*

長構文: MPOA.007 Couldn't send MPOA Ctrl msg to *atm\_address*, rc *return\_code*

説明: MPOA クライアントは、MPOA 制御フレームを指定の ATM アドレスに送信できませんでした。これ

は、そのアドレスへの使用可能な VCC がないことが原因と考えられます。

---

#### MPOA.008

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.008 Sending MPOA NAK *atm\_address*,  
*cie code cie\_code*

長構文: MPOA.008 Sending MPOA NAK *atm\_address*,  
*cie code cie\_code*

説明: MPOA クライアントは、指定の ATM アドレスの MPOA 装置に、NAK メッセージの送信を開始しています。示されている CIE コードが使用されていません。

---

#### MPOA.009

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.009 Recvd Imposition Rqst on ( *vpi/*  
*vci*)

長構文: MPOA.009 Recvd Imposition Rqst on ( *vpi/*  
*vci*)

説明: MPC は、指定の VCC 上で MPOA キャッシュ組み付け要求メッセージを受信しました。

---

#### MPOA.010

レベル: UE-ERROR

短構文: MPOA.010 Parsing error on recvd msg  
(*error\_string/rc return\_code*)

長構文: MPOA.010 Parsing error on recvd msg  
(*error\_string/rc return\_code*)

説明: 受信した MPOA 制御フレームの構文解析時にエラーが検出されました。

---

#### MPOA.011

レベル: UE-ERROR

短構文: MPOA.011 Imposition rqst failure ( *error\_string/rc return\_code*)

長構文: MPOA.011 Imposition rqst failure ( *error\_string/rc return\_code*)

説明: 受信した MPOA キャッシュ組み付け要求メッセージの処理時に、エラーが発生しました。エラー・ストリングが、詳しい情報を提供しています。

---

#### MPOA.012

レベル: UE-ERROR

短構文: MPOA.012 Recvd Imposition rqst from  
unknown MPS (VCC *vpi/ vci*)

長構文: MPOA.012 Recvd Imposition rqst from  
unknown MPS (VCC *vpi/ vci*)

説明: MPC は、指定の VCC 上で組み付け要求を受信しましたが、現在はまだ送信側が MPS であることが確認されていません。

---

#### MPOA.013

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.013 Free MPOA tag given out ( *tag*)

長構文: MPOA.013 Free MPOA tag given out ( *tag*)

説明: 空き MPOA タグが出側キャッシュ・エントリーに割り当てられました。

---

#### MPOA.014

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.014 MPOA tag value freed ( *tag*)

長構文: MPOA.014 Previously assigned MPOA tag  
value freed back ( *tag*)

説明: 以前に割り当てられた MPOA タグ値が、解放されて戻されました。

---

#### MPOA.015

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.015 New egress cache entry created  
(*ipAddress/ ipAddressMask*, *x cacheID,entryTypeString*)

長構文: MPOA.015 New egress cache entry created  
(*ipAddress/ ipAddressMask*, *x cacheID entryTypeString*)

説明: 指定のプロトコル・アドレスとマスクの組みの新しい出側キャッシュ・エントリーが作成されました。キャッシュ ID とエントリーのタイプも印刷されています。

---

#### MPOA.016

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.016 Cntrl frm too large to send! (type x  
*MPOAFrameType*, max *maxFrameSize*)

長構文: MPOA.016 Control frame too large to send!  
(type x *MPOAFrameType*, max *maxFrameSize*)

**説明:** MPOA クライアントは、送信可能な制御フレームの最大サイズより大きい制御フレームを作成しました。そのため、このフレームは送信できませんでした。最大許容フレーム・サイズと共に MPOA パケット・タイプ・コードも印刷されています。

---

#### MPOA.017

**レベル:** U-INFO

**短構文:** MPOA.017 Imposition rqst unsuccessful (*errString*, *x errCode*)

**長構文:** MPOA.017 Imposition rqst unsuccessful (*errString*, *x errCode*)

**説明:** 受信したキャッシュ組み付け要求は、アクティブの使用可能な出側キャッシュ・エントリーの作成に失敗しました。問題を説明したエラー・ストリングと内部エラー・コードが印刷されています。

---

#### MPOA.018

**レベル:** C-INFO

**短構文:** MPOA.018 Imposn rfrsh for exstng ntry recvd (*ipAddress/ ipAddressMask*, *x cacheID*, *entryTypeString*)

**長構文:** MPOA.018 Imposition refresh for existing entry received (*ipAddress/ ipAddressMask*, *x cacheID*, *entryTypeString*)

**説明:** 出側キャッシュ内の既存のエントリーをリフレッシュするための MPOC キャッシュ組み付け要求を受信しました。あて先プロトコル・アドレス、マスク、キャッシュ ID、およびエントリーのタイプが表示されています。

---

#### MPOA.019

**レベル:** U-INFO

**短構文:** MPOA.019 Recvd imposn rqst had dll mismatch! (*ipAddress/ ipAddressMask*)

**長構文:** MPOA.019 Recvd imposn rqst had dll mismatch! (*ipAddress/ ipAddressMask*)

**説明:** 既存の出側キャッシュ・エントリーに対する組み付け要求を受信しましたが、DLL が前の要求で提供されたものとは異なっていました。MPC は内部の古いエントリーを削除し、新しい情報を入れた新しいエントリーを作成します。

---

#### MPOA.020

**レベル:** C-INFO

**短構文:** MPOA.020 Imposn rqst valid (*ipAddress/ ipAddressMask*, *rqst ID: x requestID*)

**長構文:** MPOA.020 Imposition request valid (*ipAddress/ ipAddressMask*, *rqst ID: x requestID*)

**説明:** 指定のあて先アドレス/マスクの組みに対する有効なキャッシュ組み付け要求を受信しました。メッセージ内の要求 ID も印刷されています。

---

#### MPOA.021

**レベル:** C-INFO

**短構文:** MPOA.021 Processing imposn rqst for new ntry (*ipAddress/ ipAddressMask*, *x cacheID*, *entryTypeString*)

**長構文:** MPOA.021 Processing imposition request for a new entry (*ipAddress/ ipAddressMask*, *x cacheID*, *entryTypeString*)

**説明:** 新しい出側キャッシュ・エントリーのための MPOA キャッシュ組み付け要求を処理中です。あて先プロトコル・アドレス、マスク、キャッシュ ID、およびエントリーのタイプが表示されています。

---

#### MPOA.022

**レベル:** U-INFO

**短構文:** MPOA.022 Recvd imposn rqst, ntry type mismatch (old *ipAddress/ new ipAddressMask*)

**長構文:** MPOA.022 Recvd imposn rqst, entry type mismatch (old *ipAddress/ new ipAddressMask*)

**説明:** 既存の出側キャッシュ・エントリーに対する組み付け要求を受信しましたが、エントリー・タイプが既存のものと異なっています。既存のエントリーは内部で削除され、新しいエントリーが作成されます。

---

#### MPOA.023

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** MPOA.023 Recvd imposn rqst, prtcl addr mismatch (old *oldIpAddressPrefix/ new newIpAddressPrefix*)

**長構文:** MPOA.023 Recvd imposn rqst, prtcl addr mismatch (old *oldIpAddressPrefix/ new newIpAddressPrefix*)

**説明:** 既存の出側キャッシュ・エントリーに対する組み付け要求を受信しましたが、あて先プロトコル・アドレス・プレフィックスが既存のものと異なっています。

既存のエントリーは内部で削除され、新しいエントリーが作成されます。E-MPS 論理のエラーの可能性を示しています。

---

#### MPOA.024

レベル: UE-ERROR

短構文: MPOA.024 Recvd imposn rqst had src atm addr mismatch ( *ipAddress/ ipAddressMask* )

長構文: MPOA.024 Recvd imposn rqst had src atm addr mismatch ( *ipAddress/ ipAddressMask* )

説明: 既存の出側キャッシュ・エントリーに対する組み付け要求を受信しましたが、発信元 ATM アドレスが既存のものと異なっています。既存のエントリーは内部で削除され、新しいエントリーが作成されます。E-MPS 論理のエラーの可能性を示しています。

---

#### MPOA.025

レベル: UI-ERROR

短構文: MPOA.025 Internal error (function: *functionName* )

長構文: MPOA.025 Internal error (function: *functionName* )

説明: 内部エラーが発生しました (指摘されている機能で)。これはデバッグの目的だけのものです。

---

#### MPOA.026

レベル: UE-ERROR

短構文: MPOA.026 Recvd imposn rfrsh for purging ntry ( *ipAddress/ ipAddressMask* )

長構文: MPOA.026 Recvd imposn rfrsh for purging ntry ( *ipAddress/ ipAddressMask* )

説明: エントリーに対する組み付け要求を受信しましたが、そのエントリーは除去処理中でした。E-MPS 論理のエラーの可能性を示しています。

---

#### MPOA.027

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.027 Egress cache entry refreshed ( *ipAddress/ ipAddressMask*, id *x cacheID*, *entryTypeString* )

長構文: MPOA.027 Egress cache entry refreshed ( *ipAddress/ ipAddressMask*, id *x cacheID*, *entryTypeString* )

説明: 指定のプロトコル・アドレスとマスクの組みの既存の出側キャッシュ・エントリーがリフレッシュされ

ました。キャッシュ ID とエントリーのタイプも印刷されています。

---

#### MPOA.028

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.028 Cache id based e-mps purge recvd ( *x cacheID* )

長構文: MPOA.028 Cache id based e-mps purge recvd ( *x cacheID* )

説明: 単一の出側キャッシュ・エントリーに対する e-mps 除去を受信しました。このエントリーのキャッシュ ID が印刷されています。

---

#### MPOA.029

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.029 Prtcl addr based e-mps purge recvd ( *ipAddress/ ipAddressMask* )

長構文: MPOA.029 Prtcl addr based e-mps purge recvd ( *ipAddress/ ipAddressMask* )

説明: 一定の範囲のプロトコル・アドレスに対する e-mps 除去を受信しました。この範囲は、プロトコル・アドレスとアドレス・マスクによって指定されています (範囲には 1 つのアドレスだけを指定することもできます)。

---

#### MPOA.030

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.030 Cache id based e-mps purge. No match! ( *x cacheID* )

長構文: MPOA.030 Cache id based e-mps purge. No match! ( *x cacheID* )

説明: キャッシュ ID が入っている e-mps キャッシュ除去要求に一致するキャッシュ・エントリーが見つかりませんでした。

---

#### MPOA.031

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.031 Emps purge: purging egress cache entry (id *x cacheID* )

長構文: MPOA.031 Emps purge: purging egress cache entry (id *x cacheID* )

説明: e-mps 除去要求を受信したために、出側キャッシュ・エントリーを除去中です。エントリーのキャッシュ ID が表示されています。

---

**MPOA.032**

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.032 Aging out egress cache entry (id x *cacheID*)

長構文: MPOA.032 Aging out egress cache entry (id x *cacheID*)

説明: 保留時間が満了したために、出側キャッシュ・エントリーを経時処理により除去中です。エントリーのキャッシュ ID が表示されています。

---

**MPOA.033**

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.033 Initiating e-mpc purge request (id x *cacheID*)

長構文: MPOA.033 Initiating e-mpc purge request (id x *cacheID*)

説明: 指定の出側キャッシュ・エントリーに対する e-mpc 発信の除去要求手順を開始しています。

---

**MPOA.034**

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.034 Error preparing e-mpc purge request (id x *cacheID*, err code *errorCode*)

長構文: MPOA.034 Error preparing e-mpc purge request (id x *cacheID*, err code *errorCode*)

説明: ローカル・エラー (たとえば、記憶域割り振り失敗) により、e-mpc 発信の除去要求メッセージを作成できませんでした。

---

**MPOA.035**

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.035 Retrying e-mpc purge request (id x *cacheID*)

長構文: MPOA.035 Retrying e-mpc purge request (id x *cacheID*)

説明: 指定の出側キャッシュ・エントリーに対する e-mpc 発信の除去要求手順を再試行中です。これは、以前の要求を送信できなかったか、それに対する有効な応答を受信しなかったためです。

---

**MPOA.036**

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.036 Exhausted e-mpc purge request retries. entry deleted (id x *cacheID*)

長構文: MPOA.036 Exhausted e-mpc purge request retries. entry deleted (id x *cacheID*)

説明: 出側キャッシュ・エントリーに対する e-mpc 発信の除去要求で、複数回の試行に失敗しました。最大再試行時間を超過したので、エントリーをローカルで削除中です。

---

**MPOA.037**

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.037 Received empc purge reply (vpi/vci *vpi/ vci*)

長構文: MPOA.037 Received empc purge reply (vpi/vci *vpi/ vci*)

説明: 指定の VCC 上のこの MPC が empc 除去応答を受信しました。

---

**MPOA.038**

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.038 eMPC purge reply without dll hdr (vpi/vci *vpi/ vci*)

長構文: MPOA.038 eMPC purge reply without dll hdr (vpi/vci *vpi/ vci*)

説明: 指定の VCC 上のこの MPC は empc 除去応答を受信しましたが、MPOA DLL ヘッダー拡張子がありませんでした。パケットはそれ以上処理されずに廃棄されます。

---

**MPOA.039**

レベル: UE-ERROR

短構文: MPOA.039 eMPC purge reply: no match on cache ID (id x *cacheId*)

長構文: MPOA.039 eMPC purge reply: no match on cache ID (id x *cacheId*)

説明: この MPC は empc 除去応答を受信しましたが、メッセージ内のキャッシュ ID (印刷されている) が、同じ MPS によって組み付けられた既存のエントリーのどれにも一致しません。パケットはそれ以上処理されずに廃棄されます。



---

**MPOA.040**

レベル: UE-ERROR

短構文: MPOA.040 eMPC purge reply: mps mismatch (id x *cacheId*)

長構文: MPOA.040 eMPC purge reply: mps mismatch (id x *cacheId*)

説明: この MPC は empc 除去応答を受信しましたが、照合するキャッシュ・エントリーは異なる MPC によって組み付けられたものでした。パケットはそれ以上処理されずに廃棄されます。受信したメッセージのキャッシュ ID が印刷されています。

---

**MPOA.041**

レベル: UE-ERROR

短構文: MPOA.041 eMPC purge reply recvd for non purging entry (id x *cacheId*)

長構文: MPOA.041 eMPC purge reply recvd for non purging entry (id x *cacheId*)

説明: この MPC は empc 除去応答を受信しましたが、照合するキャッシュ・エントリーは今回の除去の対象になっていません。パケットはそれ以上処理されずに廃棄されます。受信したメッセージのキャッシュ ID が印刷されています。

---

**MPOA.042**

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.042 eMPC purge reply deleted entry (id x *cacheId*)

長構文: MPOA.042 eMPC purge reply deleted entry (id x *cacheId*)

説明: MPC は、印刷されているキャッシュ ID を持つエントリーに対する有効な empc 除去応答を受信し、エントリーを削除中です。

---

**MPOA.043**

レベル: UE-ERROR

短構文: MPOA.043 eMPC purge reply recvd as a NAK (vpi/vci *vpi/ vci*)

長構文: MPOA.043 eMPC purge reply recvd as a NAK (vpi/vci *vpi/ vci*)

説明: 指定の VCC 上のこの MPC は empc 除去応答を受信しましたが、応答は NAK を示していました。パケットはそれ以上処理されずに廃棄されます。

---

**MPOA.044**

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.044 eMPC recvd LEC down! (lec *lecIntfNum*)

長構文: MPOA.044 eMPC recvd LEC down! (lec *lecIntfNum*)

説明: empc は、指定の LEC が使用不可にされたことを知らせる (内部) メッセージを受信しました。この LEC を介して組み付けられた出側キャッシュ・エントリーは、使用不可にされるか、除去されます (あるいは、その両方が行われます)。

---

**MPOA.045**

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.045 eMPC recvd LAN destn unreg (lec *lecIntfNum*)

長構文: MPOA.045 eMPC recvd LAN destn unreg (lec *lecIntfNum*)

説明: empc は、指定の LEC が LAN あて先を登録解除したことを知らせる (内部) メッセージを受信しました。この LEC を介して組み付けられたこの LAN あて先の出側キャッシュ・エントリーは、使用不可にされるか、除去されます (あるいは、その両方が行われます)。

---

**MPOA.046**

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.046 eMPC recvd mps down (MPS *mpsAtmAddr*)

長構文: MPOA.046 eMPC recvd mps down (MPS *mpsAtmAddr*)

説明: empc は、MPS がダウンになったことを示す (内部) メッセージを受信しました。MPS の ATM アドレスが印刷されています。この MPS によって組み付けられた出側キャッシュ・エントリーは無効にされ、各エントリーに対してデータ平面除去 (data plane purge) が送信されることがあります。

---

**MPOA.047**

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.047 eMPC recvd mps mac addr invalid (MPS *mpsAtmAddr*) (MAC *macAddr*)

長構文: MPOA.047 eMPC recvd mps mac addr invalid (MPS *mpsAtmAddr*) (MAC *macAddr*)

説明: empc は、MPS MAC アドレス・アソシエーショ

ンが無効になったことを示す (内部) メッセージを受信しました。この MAC アドレスを発信元 MAC アドレスとして持つ、DLL 情報を含む出側キャッシュ・エントリーは無効にされ、各エントリーに対してデータ平面除去 (data plane purge) が送信されることがあります。

---

#### MPOA.048

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.048 eMPC deleting imposed e-cache entry (addr/mask *addr/ addrMask*, cache id x *cacheId*)

長構文: MPOA.048 eMPC deleting imposed e-cache entry (addr/mask *addr/ addrMask*, cache id x *cacheId*)

説明: 外部から組み付けられた出側 MPC キャッシュ・エントリーを削除中です。プロトコル・アドレス、アドレス・マスク、およびキャッシュ ID が印刷されています。

---

#### MPOA.049

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.049 Deleting intern. derived e-cache entry (addr/mask *addr/ addrMask*, cache id x *cacheId*)

長構文: MPOA.049 Deleting intern. derived e-cache entry (addr/mask *addr/ addrMask*, cache id x *cacheId*)

説明: 内部で派生した出側 MPC キャッシュ・エントリーを削除中です。プロトコル・アドレス、アドレス・マスク、およびキャッシュ ID が印刷されています。

---

#### MPOA.050

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.050 eMPC: Nontag 1483 next hop ambiguity! (new entry cache id x *cacheId*)

長構文: MPOA.050 eMPC: Nontag 1483 next hop ambiguity! (new entry cache id x *cacheId*)

説明: この組み付け要求で、ネクスト・ホップがあいまいになる事例が検出されました。これは、同じ発信元 ATM アドレスとあて先プロトコル・アドレスを持つ 2 つの異なる出側キャッシュ・エントリーが生じる結果になります。今回の場合は、既存のエントリーが新しい情報で上書きされます。新しいエントリーのキャッシュ ID が印刷されています。

---

#### MPOA.051

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.051 eMPC purge reply rqst id mismatch! (msg cache id x *cacheId*)

長構文: MPOA.051 eMPC purge reply rqst id mismatch! (msg cache id x *cacheId*)

説明: 除去しようとする照合出側キャッシュ・エントリーに対する E-MPC 発信の除去応答を受信しましたが、応答の中の要求 ID が送信したものと一致していませんでした。応答は無視されます。

---

#### MPOA.052

レベル: UE-ERROR

短構文: MPOA.052 Bad tag in recvd pkt! (*receivedTag*)

長構文: MPOA.052 Bad tag in recvd pkt! (*receivedTag*)

説明: MPOA タグ付きパケットを受信しましたが、無効なタグが付いていました。パケット内のタグが印刷されています。

---

#### MPOA.053

レベル: UE-ERROR

短構文: MPOA.053 Destn prot addr mismatch in recvd pkt! (dstn *pktDstmProtAddr*, entry *entryProtAddr/ entryAddrMask*)

長構文: MPOA.053 Destn prot addr mismatch in recvd pkt! (dstn *pktDstmProtAddr*, entry *entryProtAddr/ entryAddrMask*)

説明: 受信した MPOA タグ付きパケットのタグに基づく検索で一致した出側キャッシュ・エントリーは、あて先プロトコル・アドレス範囲がパケット内のあて先プロトコル・アドレスと異なっていました。パケット内のあて先アドレス、および出側キャッシュ・エントリー内のアドレス/マスクの組みが印刷されています。

---

#### MPOA.054

レベル: UE-ERROR

短構文: MPOA.054 Src atm addr mismatch in recvd pkt! (entry *entryAtmAddr*, vpi/vci *vpi/ vci*)

長構文: MPOA.054 Src atm addr mismatch in recvd pkt! (entry *entryAtmAddr*, vpi/vci *vpi/ vci*)

説明: 受信した MPOA タグ付きパケットのタグに基づく検索で一致した出側キャッシュ・エントリーは、発信元 ATM アドレスがパケットの発信元とは異なっていました。パケット内の src atm アドレスと、パケットを送った VCC の vpi/vci が印刷されています。

---

**MPOA.055**

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.055 Tagged pkt: matching entry inactive! (entry *entryProtAddress/ entryProtAddressMask*, state *entryState*)

長構文: MPOA.055 Tagged pkt: matching entry inactive! (entry *entryProtAddress/ entryProtAddressMask*, state *entryState*)

説明: 受信した MPOA タグ付きパケットのタグに基づく検索で一致した出側キャッシュ・エントリーは、アクティブ状態ではありませんでした。照合するエントリーのプロトコル・アドレスとアドレス・マスクが、エントリーの状態とともに印刷されています。

---

**MPOA.056**

レベル: UI-ERROR

短構文: MPOA.056 Bridge unable to deliver data packet (rc *returnCode*)

長構文: MPOA.056 Bridge unable to deliver data packet (rc *returnCode*)

説明: ブリッジは、受信したデータ・パケットを正常にブリッジすることができませんでした。ブリッジからの戻りコードが印刷されています。

---

**MPOA.057**

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.057 Recvd tagged data pkt! (tag *receivedTag*, vpi/vci / )

長構文: MPOA.057 Recvd tagged data pkt! (tag *receivedTag*, vpi/vci / )

説明: MPOA タグ付きパケットを受信しました。パケット内のタグが印刷されています。

---

**MPOA.058**

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.058 Recvd 1483 IP data pkt! ( *pktDstIpAddr*)

長構文: MPOA.058 Recvd 1483 IP data pkt! ( *pktDstIpAddr*)

説明: MPOA タグなし 1483 IP パケットを受信しました。パケット内のあて先 IP アドレスが印刷されています。

---

**MPOA.059**

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.059 1483 pkt: matching entry inactive! (entry *entryProtAddress/ entryProtAddressMask*, state *entryState*)

長構文: MPOA.059 1483 pkt: matching entry inactive! (entry *entryProtAddress/ entryProtAddressMask*, state *entryState*)

説明: 受信した MPOA タグなし 1483 パケットのタグに基づく検索で一致した出側キャッシュ・エントリーは、アクティブ状態ではありませんでした。照合するエントリーのプロトコル・アドレスとアドレス・マスクが、エントリーの状態とともに印刷されています。

---

**MPOA.060**

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.060 1483 pkt hash cache miss! ( *pktDstIpAddr*)

長構文: MPOA.060 1483 pkt hash cache miss! ( *pktDstIpAddr*)

説明: 受信した MPOA タグなし 1483 IP パケットで、ハッシュ配列の誤りが検出されました。パケット内のあて先 IP アドレスが印刷されています。

---

**MPOA.061**

レベル: P-TRACE

短構文: MPOA.061 mpoa client ATM contrl frame trace

長構文: MPOA.061 mpoa client ATM contrl frame trace

説明: MPOA クライアント ATM 制御フレームのパケット・トレース

---

**MPOA.062**

レベル: P-TRACE

短構文: MPOA.062 mpoa client ATM data frame trace

長構文: MPOA.062 mpoa client ATM data frame trace

説明: MPOA クライアント ATM データ・フレームのパケット・トレース

---

**MPOA.063**

レベル: P-TRACE

短構文: MPOA.063 mpoa client LAN frame trace

長構文: MPOA.063 mpoa client LAN frame trace

説明: MPOA クライアント LAN フレームのパケット・トレース

---

#### MPOA.064

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.064 Bad recvd pkt: sending DPP rqst! (*pktDstIpAddr*)

長構文: MPOA.064 Bad recvd pkt: sending DPP rqst! (*pktDstIpAddr*)

説明: 受信したパケットに一致する出側キャッシュ・エントリが見付からなかったために、データ平面除去要求を送信中です。パケット内のあて先プロトコル・アドレスが印刷されています。

---

#### MPOA.065

レベル: UI-ERROR

短構文: MPOA.065 MPC create failed! (intf *netNum*, rc *returnCode*)

長構文: MPOA.065 MPC create failed! (intf *netNum*, rc *returnCode*)

説明: 指定の ATM インターフェース番号での初期 MPOA クライアント作成プロセスが失敗し、指定の戻りコードが戻されました。これは、記憶域割り振り失敗のような内部エラー、あるいは ATM インターフェースに関連する何らかの障害を示しています。障害の原因が訂正されるまでは、MPOA クライアントはアップになりません。

---

#### MPOA.066

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.066 No MPC sram record. Will use defaults! (*netNum*)

長構文: MPOA.066 No MPC sram record. Will use defaults! (*netNum*)

説明: MPOA クライアントの SRAM 構成レコードが見付かりませんでした。そのため、クライアントはデフォルトのパラメーター設定で起動されます。

---

#### MPOA.067

レベル: UE-ERROR

短構文: MPOA.067 Mismatched MPC sram record. Will use defaults! (*netNum*)

長構文: MPOA.067 Mismatched MPC sram record. Will use defaults! (*netNum*)

---

説明: MPOA クライアントの SRAM 構成レコードが見付かりましたが、起動する ATM インターフェースが異なっています。そのため、既存の SRAM レコード構成パラメーターは無視され、クライアントはデフォルトのパラメーター設定で起動されます。これは、構成の誤りを示している可能性があります。

---

#### MPOA.068

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.068 Matching MPC sram record found, initializing. (*netNum*)

長構文: MPOA.068 Matching MPC sram record found, initializing. (*netNum*)

説明: MPOA クライアントの照合 SRAM 構成レコードが見付かりました。クライアントは、構成済みのパラメーター設定を使用して起動を試みます。

---

#### MPOA.069

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.069 Updated MPC line rate/bw config parms! (*netNum*)

長構文: MPOA.069 Updated MPC line rate/bw config parms! (*netNum*)

説明: MPC 構成レコード内のライン・レートまたは帯域幅 (あるいは、その両方) に関連した構成パラメーターが、MPC を起動する ATM インターフェースのライン・レートに対して誤っています。これらは、インターフェースのライン・レートに対して正しい値に更新されました。これは、ユーザーによる構成の誤りを示している可能性があります。

---

#### MPOA.070

レベル: UE-ERROR

短構文: MPOA.070 Recvd frame too large to bridge! (*lecNetNum*)

長構文: MPOA.070 Recvd frame too large to bridge! (*lecNetNum*)

説明: 受信したフレームは、出側 LEC がブリッジするのに大き過ぎます。出側 LEC のネット番号が印刷されています。これは、出側の外部エラー、あるいは e-mps と e-mpc 間の mtus の構成の誤りが原因と考えられます。

---

---

**MPOA.071**

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.071 eMPC: purge reply from unknown mps ( *vpi*, *vci* )

長構文: MPOA.071 eMPC: purge reply from unknown mps ( *vpi*, *vci* )

説明: 指定の VCC 上で e-mpc 発信の除去応答を受信しましたが、この VCC の反対側は現在 MPS であることが判明していません。

---

**MPOA.072**

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.072 MPC ( *atmIntfNum* ) STARTING

長構文: MPOA.072 MPC ( *atmIntfNum* ) STARTING

説明: MPC インスタンスが動作を開始中です。

---

**MPOA.073**

レベル: UI-ERROR

短構文: MPOA.073 MPC ( *atmIntfNum* )  
TERMINATING: *errString*

長構文: MPOA.073 MPC ( *atmIntfNum* )  
TERMINATING: *errString*

説明: MPC インスタンスは、エラーのために動作を終了中です。

---

**MPOA.074**

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.074 MPC ( *atmIntfNum* ) DELETED

長構文: MPOA.074 MPC ( *atmIntfNum* ) DELETED

説明: MPC インスタンスを削除中です。

---

**MPOA.075**

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.075 MPC ( *atmIntfNum* ) STOPPED

長構文: MPOA.075 MPC ( *atmIntfNum* ) STOPPED

説明: MPC インスタンスの動作を停止中です。

---

**MPOA.076**

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.076 MPC ( *atmIntfNum* ) RESTARTING

長構文: MPOA.076 MPC ( *atmIntfNum* ) RESTARTING

---

説明: MPC インスタンスの動作をリスタート中です。

---

**MPOA.077**

レベル: UI-ERROR

短構文: MPOA.077 MPC ( *atmIntfNum* ) => DOWN:  
ATM user reg failed: *errString*

長構文: MPOA.077 MPC ( *atmIntfNum* ) => DOWN:  
ATM user reg failed: *errString*

説明: ATM インターフェースのユーザーとしての登録に失敗しました。その結果、MPC はダウンになります。

---

**MPOA.078**

レベル: UI-ERROR

短構文: MPOA.078 MPC ( *atmIntfNum* ) => DOWN:  
ATM set user name failed: *errString*

長構文: MPOA.078 MPC ( *atmIntfNum* ) => DOWN:  
ATM set user name failed: *errString*

説明: ユーザー名を設定するための ATM インターフェースのコールに失敗しました。その結果、MPC はダウンになります。

---

**MPOA.079**

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.079 MPC ( *atmIntfNum* ): waiting for  
ATM net UP

長構文: MPOA.079 MPC ( *atmIntfNum* ): waiting for  
ATM net UP

説明: ATM ネットがアップになるまで、MPC 動作が中断されました。

---

**MPOA.080**

レベル: UE-ERROR

短構文: MPOA.080 MPC ( *atmIntfNum* ): ATM net  
DOWN

長構文: MPOA.080 MPC ( *atmIntfNum* ): ATM net  
DOWN

説明: ATM ネットがダウンになりました。ATM ネットがアップに戻るまで、MPC 動作は中断されます。

---



---

**MPOA.081**

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.081 MPC ( *atmIntfNum*): ATM net UP

長構文: MPOA.081 MPC ( *atmIntfNum*): ATM net UP

説明: ATM ネットがアップになりました。MPC 動作が続行されます。

---

**MPOA.082**

レベル: UI-ERROR

短構文: MPOA.082 MPC ( *atmIntfNum*) => DOWN:  
ATM addr activation failed: *errString*

長構文: MPOA.082 MPC ( *atmIntfNum*) => DOWN:  
ATM addr activation failed: *errString*

説明: MPC の ATM アドレスの活性化 (つまり、スイッチへの登録) を開始するための ATM インターフェースの呼び出しに失敗しました。その結果、MPC はダウンになります。

---

**MPOA.083**

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.083 MPC ( *atmIntfNum*): waiting for  
ATM addr activation

長構文: MPOA.083 MPC ( *atmIntfNum*): waiting for  
ATM addr activation

説明: MPC の ATM アドレスの活性化が開始されました。活性化が完了するまで、MPC 動作は中断されません。

---

**MPOA.084**

レベル: UE-ERROR

短構文: MPOA.084 MPC ( *atmIntfNum*): ATM addr  
activation timed out: retrying

長構文: MPOA.084 MPC ( *atmIntfNum*): ATM addr  
activation timed out: retrying

説明: MPC の ATM アドレスを活性化するための要求に対する応答を受信しません。活性化要求が再試行されます。

---

**MPOA.085**

レベル: UE-ERROR

短構文: MPOA.085 MPC ( *atmIntfNum*): ATM addr  
rejected by switch: retry timer started

長構文: MPOA.085 MPC ( *atmIntfNum*): ATM addr

rejected by switch: retry timer started

説明: MPC の ATM アドレスを活性化するための要求が、スイッチによってリジェクトされました。活性化要求は、しばらくしてから再試行されます。

---

**MPOA.086**

レベル: UE-ERROR

短構文: MPOA.086 MPC ( *atmIntfNum*): ATM addr  
deactivated: reactivating

長構文: MPOA.086 MPC ( *atmIntfNum*): ATM addr  
deactivated: reactivating

説明: MPC の ATM アドレスは非活性化されていました。再活性化が開始されます。

---

**MPOA.087**

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.087 MPC ( *atmIntfNum*): timer expired,  
retrying ATM addr activation

長構文: MPOA.087 MPC ( *atmIntfNum*): timer expired,  
retrying ATM addr activation

説明: ATM アドレス活性化再試行タイマーが満了しました。MPC の ATM アドレスを活性化するための要求が、すぐに再試行されます。

---

**MPOA.088**

レベル: UI-ERROR

短構文: MPOA.088 MPC ( *atmIntfNum*): unexpected  
ATM addr activation timer expiration

長構文: MPOA.088 MPC ( *atmIntfNum*): unexpected  
ATM addr activation timer expiration

説明: 予期せずに ATM アドレス活性化再試行タイマーが満了しました。

---

**MPOA.089**

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.089 MPC ( *atmIntfNum*): ATM addr  
activated

長構文: MPOA.089 MPC ( *atmIntfNum*): ATM addr  
activated

説明: MPC の ATM アドレスが活性化されました。MPC 動作が続行されます。

---



---

**MPOA.090**

レベル: UI-ERROR

短構文: MPOA.090 MPC ( *atmIntfNum*) => DOWN: err reading ATM addr: *errString*

長構文: MPOA.090 MPC ( *atmIntfNum*) => DOWN: err reading ATM addr: *errString*

説明: MPC の ATM アドレスを読み取るための ATM インターフェースのコールに失敗しました。その結果、MPC はダウンになります。

---

**MPOA.091**

レベル: UI-ERROR

短構文: MPOA.091 MPC ( *atmIntfNum*) => DOWN: err reading UNI version: *errString*

長構文: MPOA.091 MPC ( *atmIntfNum*) => DOWN: err reading UNI version: *errString*

説明: UNI バージョンを読み取るための ATM インターフェースのコールに失敗しました。その結果、MPC はダウンになります。

---

**MPOA.092**

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.092 MPC ( *atmIntfNum*): waiting for UNI version report

長構文: MPOA.092 MPC ( *atmIntfNum*): waiting for UNI version report

説明: ATM サブシステムによって UNI バージョンが報告されるまで、MPC 動作が中断されました。

---

**MPOA.093**

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.093 MPC ( *atmIntfNum*): UNI version reported

長構文: MPOA.093 MPC ( *atmIntfNum*): UNI version reported

説明: 実行中の UNI のバージョンが、ATM サブシステムによって報告されました。

---

**MPOA.094**

レベル: UI-ERROR

短構文: MPOA.094 MPC ( *atmIntfNum*) => DOWN: err opening LLC Call SAP: *errString*

長構文: MPOA.094 MPC ( *atmIntfNum*) => DOWN: err

opening LLC Call SAP: *errString*

説明: LLC のコールを受信するために SAP をオープンする ATM インターフェース・プリミティブが失敗しました。その結果、MPC はダウンになります。

---

**MPOA.095**

レベル: UI-ERROR

短構文: MPOA.095 MPC ( *atmIntfNum*) => DOWN: err opening LANE Call SAP: *errString*

長構文: MPOA.095 MPC ( *atmIntfNum*) => DOWN: err opening LANE Call SAP: *errString*

説明: LANE のコールを受信するために SAP をオープンする ATM インターフェース・プリミティブが失敗しました。その結果、MPC はダウンになります。

---

**MPOA.096**

レベル: UI-ERROR

短構文: MPOA.096 MPC ( *atmIntfNum*) => DOWN: err opening ATM Frame SAP: *errString*

長構文: MPOA.096 MPC ( *atmIntfNum*) => DOWN: err opening ATM Frame SAP: *errString*

説明: ATM フレームを転送するために SAP をオープンするための、ATM インターフェースのコールに失敗しました。その結果、MPC はダウンになります。

---

**MPOA.097**

レベル: UI-ERROR

短構文: MPOA.097 MPC ( *atmIntfNum*) => DOWN: registration with LEC failed: *errString*

長構文: MPOA.097 MPC ( *atmIntfNum*) => DOWN: registration with LEC failed: *errString*

説明: LEC インターフェースのユーザーとして登録するためのコールが、失敗しました。その結果、MPC はダウンになります。

---

**MPOA.098**

レベル: UI-ERROR

短構文: MPOA.098 MPC ( *atmIntfNum*) => DOWN: egress init failed: *errString*

長構文: MPOA.098 MPC ( *atmIntfNum*) => DOWN: egress init failed: *errString*

説明: 出側 MPC 機能を初期化するためのコールが失敗しました。その結果、MPC はダウンになります。

---

**MPOA.099**

レベル: UI-ERROR

短構文: MPOA.099 MPC: rcv unexpected LECS addr list report

長構文: MPOA.099 MPC: rcv unexpected LECS addr list report

説明: ATM サブシステムから予期しない LECS アドレス・リスト報告を受け取りました。

---

**MPOA.100**

レベル: UI-ERROR

短構文: MPOA.100 MPC: rcv unexpected ATM disconnect leaf message

長構文: MPOA.100 MPC: rcv unexpected ATM disconnect leaf message

説明: ATM サブシステムから予期しないリーフ切断メッセージを受け取りました。

---

**MPOA.101**

レベル: UI-ERROR

短構文: MPOA.101 MPC: rcv unexpected ATM add leaf ack message

長構文: MPOA.101 MPC: rcv unexpected ATM add leaf ack message

説明: ATM サブシステムから予期しないリーフ追加確認メッセージを受け取りました。

---

**MPOA.102**

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.102 MPC ( *atmIntfNum*): LEC ( *lecIntfNum*) UP

長構文: MPOA.102 MPC ( *atmIntfNum*): LEC ( *lecIntfNum*) UP

説明: MPC LEC が動作可能になりました。

---

**MPOA.103**

レベル: UI-ERROR

短構文: MPOA.103 MPC ( *atmIntfNum*): LEC ( *lecIntfNum*) IGNORED: cntrl blk alloc failed

長構文: MPOA.103 MPC ( *atmIntfNum*): LEC ( *lecIntfNum*) IGNORED: cntrl blk alloc failed

説明: 制御ブロック割り振りに失敗したために、動作

可能になった MPC LEC を無視しています。

---

**MPOA.104**

レベル: UI-ERROR

短構文: MPOA.104 MPC ( *atmIntfNum*): LEC ( *lecIntfNum*) IGNORED: ELAN ID database insertion failed

長構文: MPOA.104 MPC ( *atmIntfNum*): LEC ( *lecIntfNum*) IGNORED: ELAN ID database insertion failed

説明: ELAN ID データベース挿入に失敗したために、動作可能になった MPC LEC を無視しています。

---

**MPOA.105**

レベル: UE-ERROR

短構文: MPOA.105 MPC ( *atmIntfNum*): LEC ( *lec1IntfNum*) IGNORED: same ELAN ID as LEC ( *lec2IntfNum*), but different ELAN type

長構文: MPOA.105 MPC ( *atmIntfNum*): LEC ( *lec1IntfNum*) IGNORED: same ELAN ID as LEC ( *lec2IntfNum*), but different ELAN type

説明: LEC は、別の MPC LEC と同じ ELAN ID に対応していますが、それらの LEC は ELAN のタイプが異なっているために、動作可能になった MPC LEC を無視しています。

---

**MPOA.106**

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.106 MPC ( *atmIntfNum*): not accepting shortcuts for ELAN ID *elanId*: multiple Ethernet LECs on same ELAN

長構文: MPOA.106 MPC ( *atmIntfNum*): not accepting shortcuts for ELAN ID *elanId*: multiple Ethernet LECs on same ELAN

説明: ELAN 上に複数のローカル・イーサネット LEC が存在するので、MPC は ELAN のショートカットを受け入れていません。

---

**MPOA.107**

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.107 MPC ( *atmIntfNum*): resuming shortcut acceptance for ELAN ID *elanId*

長構文: MPOA.107 MPC ( *atmIntfNum*): resuming shortcut acceptance for ELAN ID *elanId*

説明: MPC は ELAN のショートカットの受け入れを再開しました。

---

#### MPOA.108

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.108 MPC ( *atmIntfNum*): LEC ( *lecIntfNum*) DOWN

長構文: MPOA.108 MPC ( *atmIntfNum*): LEC ( *lecIntfNum*) DOWN

説明: MPC LEC は動作可能でなくなりました。

---

#### MPOA.109

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.109 MPC ( *atmIntfNum*): LEC ( *lecIntfNum*) registered route descriptor ( *x rd*)

長構文: MPOA.109 MPC ( *atmIntfNum*): LEC ( *lecIntfNum*) registered route descriptor ( *x rd*)

説明: MPC LEC は、LES に経路記述子を登録しました。

---

#### MPOA.110

レベル: UI-ERROR

短構文: MPOA.110 MPC ( *atmIntfNum*): route descriptor ( *x rd*) IGNORED: cntrl blk alloc failed

長構文: MPOA.110 MPC ( *atmIntfNum*): route descriptor ( *x rd*) IGNORED: cntrl blk alloc failed

説明: 制御ブロックの割り振りに失敗したために、MPC は、MPC LEC によって LES に登録された経路記述子を無視しています。

---

#### MPOA.111

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.111 MPC ( *atmIntfNum*): LEC ( *lecIntfNum*) deregistered route descriptor ( *x rd*)

長構文: MPOA.111 MPC ( *atmIntfNum*): LEC ( *lecIntfNum*) deregistered route descriptor ( *x rd*)

説明: MPC LEC は、LES への経路記述子の登録を解除しました。

---

#### MPOA.112

レベル: CE-ERROR

短構文: MPOA.112 MPC ( *atmIntfNum*): ignored bad MPOA Device TLV rcv by LEC ( *lecIntfNum*)

長構文: MPOA.112 MPC ( *atmIntfNum*): ignored bad MPOA Device TLV rcv by LEC ( *lecIntfNum*)

説明: MPC は、LEC を介して受信したよくない MPOA 装置 TLV を無視しました。

---

#### MPOA.113

レベル: UI-ERROR

短構文: MPOA.113 MPC ( *atmIntfNum*): MPS IGNORED: ATM addr database insertion failed: LEC ( *lecIntfNum*): MPS ATM addr = *x mpsAtmAddr*

長構文: MPOA.113 MPC ( *atmIntfNum*): MPS IGNORED: ATM addr database insertion failed: LEC ( *lecIntfNum*): MPS ATM addr = *x mpsAtmAddr*

説明: MPS の ATM アドレスのデータベース・エントリーの挿入に失敗したために、MPC は検出された MPS を無視しています。

---

#### MPOA.114

レベル: UI-ERROR

短構文: MPOA.114 MPC ( *atmIntfNum*): MPS IGNORED: cntrl blk alloc failed: LEC ( *lecIntfNum*): MPS ATM addr = *x mpsAtmAddr*

長構文: MPOA.114 MPC ( *atmIntfNum*): MPS IGNORED: cntrl blk alloc failed: LEC ( *lecIntfNum*): MPS ATM addr = *x mpsAtmAddr*

説明: 制御ブロックの割り振りに失敗したために、MPC は検出された MPS を無視しています。

---

#### MPOA.115

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.115 MPC ( *atmIntfNum*): MPS DISCOVERED: LEC ( *lecIntfNum*): MPS ATM addr = *x mpsAtmAddr*

長構文: MPOA.115 MPC ( *atmIntfNum*): MPS DISCOVERED: LEC ( *lecIntfNum*): MPS ATM addr = *x mpsAtmAddr*

説明: MPC は MPS を検出しました。

---

#### MPOA.116

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.116 MPC ( *atmIntfNum*): MPS DELETED: *reasonString*: MPS ATM addr = *x mpsAtmAddr*

長構文: MPOA.116 MPC ( *atmIntfNum*): MPS

DELETED: *reasonString*: MPS ATM addr = x  
*mpsAtmAddr*

説明: MPC は検出した MPS の制御ブロックを削除しました。

---

#### MPOA.117

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.117 MPC ( *atmIntfNum*): MPS MAC Addr (x *macAddr*) DISCOVERED: LEC ( *lecIntfNum*): MPS ATM addr = x *mpsAtmAddr*

長構文: MPOA.117 MPC ( *atmIntfNum*): MPS MAC Addr (x *macAddr*) DISCOVERED: LEC ( *lecIntfNum*): MPS ATM addr = x *mpsAtmAddr*

説明: MPC は、MPS に対応する MAC アドレスを検出しました。

---

#### MPOA.118

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.118 MPC ( *atmIntfNum*): refreshed MPS MAC addr (x *macAddr*): LEC ( *lecIntfNum*): MPS ATM addr = x *mpsAtmAddr*

長構文: MPOA.118 MPC ( *atmIntfNum*): refreshed MPS MAC Addr (x *macAddr*): LEC ( *lecIntfNum*): MPS ATM addr = x *mpsAtmAddr*

説明: MAC アドレスと MPS とのアソシエーションがリフレッシュされました。

---

#### MPOA.119

レベル: UI-ERROR

短構文: MPOA.119 MPC ( *atmIntfNum*): MPS MAC addr (x *macAddr*) IGNORED: cntrl blk alloc failed: LEC ( *lecIntfNum*): MPS ATM addr = x *mpsAtmAddr*

長構文: MPOA.119 MPC ( *atmIntfNum*): MPS MAC addr (x *macAddr*) IGNORED: cntrl blk alloc failed: LEC ( *lecIntfNum*): MPS ATM addr = x *mpsAtmAddr*

説明: 制御ブロックの割り振りに失敗したために、MPC は MPS に対応する MAC アドレスの検出を無視しました。

---

#### MPOA.120

レベル: UI-ERROR

短構文: MPOA.120 MPC ( *atmIntfNum*): MPS MAC addr (x *macAddr*) IGNORED: bridge reg failed: LEC ( *lecIntfNum*): MPS ATM addr = x *mpsAtmAddr*

長構文: MPOA.120 MPC ( *atmIntfNum*): MPS MAC addr (x *macAddr*) IGNORED: bridge reg failed: LEC ( *lecIntfNum*): MPS ATM addr = x *mpsAtmAddr*

説明: MAC アドレスのブリッジへの登録に失敗したために、MPC は MPS に対応する MAC アドレスの検出を無視しました。

---

#### MPOA.121

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.121 MPC ( *atmIntfNum*): MPS MAC addr (x *macAddr*) DELETED: LEC ( *lecIntfNum*): MPS ATM addr = x *mpsAtmAddr*

長構文: MPOA.121 MPC ( *atmIntfNum*): MPS MAC addr (x *macAddr*) DELETED: LEC ( *lecIntfNum*): MPS ATM addr = x *mpsAtmAddr*

説明: MPC は、MPS に対応する MAC アドレスの制御ブロックを削除しました。

---

#### MPOA.122

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.122 MPC ( *atmIntfNum*): recv ' *tlvString*' config TLV from LECS: LEC ( *lecIntfNum*): value = *parmValue*

長構文: MPOA.122 MPC ( *atmIntfNum*): recv ' *tlvString*' config TLV from LECS: LEC ( *lecIntfNum*): value = *parmValue*

説明: MPC は、LECS から構成 TLV を受信しました。

---

#### MPOA.123

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.123 MPC ( *atmIntfNum*): recv ' *enable\_disable\_string* IP' config TLV from LECS: LEC ( *lecIntfNum*)

長構文: MPOA.123 MPC ( *atmIntfNum*): recv ' *enable\_disable\_string* IP' config TLV from LECS: LEC ( *lecIntfNum*)

説明: MPC は LECS から IP フロー検出を使用可能または使用不可にするのを制御する構成 TLV を受信しました。

---

#### MPOA.124

レベル: CE-ERROR

短構文: MPOA.124 MPC ( *atmIntfNum*): recv invalid '

*tlvString*' config TLV from LECS: LEC ( *lecIntfNum*):  
value = *parmValue*

長構文: MPOA.124 MPC ( *atmIntfNum*): recv invalid '  
*tlvString*' config TLV from LECS: LEC ( *lecIntfNum*):  
value = *parmValue*

説明: MPC は、LECS から無効な構成 TLV を受信しました。

---

#### MPOA.125

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.125 MPC ( *atmIntfNum*): recv config  
TLV for unknown protocol from LECS: LEC ( *lecIntfNum*):  
protocol short = x *shortProtocol*, long = x  
*longProtocol*

長構文: MPOA.125 MPC ( *atmIntfNum*): recv config  
TLV for unknown protocol from LECS: LEC ( *lecIntfNum*):  
protocol short = x *shortProtocol*, long = x  
*longProtocol*

説明: MPC は LECS から不明のプロトコルに対する  
構成 TLV を受信しました。

---

#### MPOA.126

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.126 MPC ( *atmIntfNum*): recv unknown  
config TLV from LECS: LEC ( *lecIntfNum*): type = x  
*tlvType*

長構文: MPOA.126 MPC ( *atmIntfNum*): recv unknown  
config TLV from LECS: LEC ( *lecIntfNum*): type = x  
*tlvType*

説明: MPC は LECS から不明のタイプを持つ構成  
TLV を受信しました。

---

#### MPOA.127

レベル: UE-ERROR

短構文: MPOA.127 MPC ( *atmIntfNum*): recv  
*msgTypeString* with no src ATM addr: Remote ATM addr  
= x *remoteAtmAddr*

長構文: MPOA.127 MPC ( *atmIntfNum*): recv  
*msgTypeString* with no src ATM addr: Remote ATM addr  
= x *remoteAtmAddr*

説明: MPC は、発信元 ATM アドレスが含まれていな  
い制御メッセージを受信しました。

---

#### MPOA.128

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.128 MPC ( *atmIntfNum*): recv MPS  
keep-alive: lifetime = *lifeTime*: MPS ATM addr = x  
*mpsAtmAddr*

長構文: MPOA.128 MPC ( *atmIntfNum*): recv MPS  
keep-alive: lifetime = *lifeTime*: MPS ATM addr = x  
*mpsAtmAddr*

説明: MPC は MPS からキープアライブ・メッセージ  
を受信しました。

---

#### MPOA.129

レベル: UE-ERROR

短構文: MPOA.129 MPC ( *atmIntfNum*): recv keep-alive  
with no extension: MPS ATM addr = x *mpsAtmAddr*

長構文: MPOA.129 MPC ( *atmIntfNum*): recv keep-alive  
with no extension: MPS ATM addr = x *mpsAtmAddr*

説明: MPC は MPS から拡張子のないキープアライ  
ブ・メッセージを受信しました。

---

#### MPOA.130

レベル: UE-ERROR

短構文: MPOA.130 MPC ( *atmIntfNum*): recv invalid  
MPS keep-alive: *errString*: MPS ATM addr = x  
*mpsAtmAddr*: bad value = *badValue*

長構文: MPOA.130 MPC ( *atmIntfNum*): recv invalid  
MPS keep-alive: *errString*: MPS ATM addr = x  
*mpsAtmAddr*: bad value = *badValue*

説明: MPC は MPS から無効なキープアライブ・メッ  
セージを受信しました。

---

#### MPOA.131

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.131 MPC ( *atmIntfNum*): recv keep-alive  
for unknown MPS: MPS ATM addr = x *mpsAtmAddr*

長構文: MPOA.131 MPC ( *atmIntfNum*): recv keep-alive  
for unknown MPS: MPS ATM addr = x *mpsAtmAddr*

説明: MPC は不明の MPS からキープアライブ・メッ  
セージを受信しました。



---

**MPOA.132**

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.132 MPC ( *atmIntfNum*): rcv purge request: previous-hop ATM addr = x *atmAddr*

長構文: MPOA.132 MPC ( *atmIntfNum*): rcv purge request: previous-hop ATM addr = x *atmAddr*

説明: MPC は除去要求メッセージを受信しました。

---

**MPOA.133**

レベル: CE-ERROR

短構文: MPOA.133 MPC ( *atmIntfNum*): initiating err ind: *errString*: next-hop ATM addr = x *atmAddr*

長構文: MPOA.133 MPC ( *atmIntfNum*): initiating err ind: *errString*: next-hop ATM addr = x *atmAddr*

説明: MPC はエラー表示メッセージの転送を開始しています。

---

**MPOA.134**

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.134 MPC ( *atmIntfNum*): cntrl frm not sent: *errString*: next-hop ATM addr = x *atmAddr*

長構文: MPOA.134 MPC ( *atmIntfNum*): cntrl frm not sent: *errString*: next-hop ATM addr = x *atmAddr*

説明: 転送を開始した制御フレームが送信されませんでした。

---

**MPOA.135**

レベル: CE-ERROR

短構文: MPOA.135 MPC ( *atmIntfNum*): invalid CIE in purge req: *errString*: previous-hop ATM addr = x *atmAddr*

長構文: MPOA.135 MPC ( *atmIntfNum*): invalid CIE in purge req: *errString*: previous-hop ATM addr = x *atmAddr*

説明: MPC は無効な CIE が含まれている除去要求を受信しました。

---

**MPOA.136**

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.136 MPC ( *atmIntfNum*): purging IP shortcut: IP addr = *ipAddr*, prefix len = *prefixLength*

長構文: MPOA.136 MPC ( *atmIntfNum*): purging IP shortcut: IP addr = *ipAddr*, prefix len = *prefixLength*

---

説明: MPC は IP ショートカットを除去しました。

---

**MPOA.137**

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.137 MPC ( *atmIntfNum*): initiating purge reply: next-hop ATM addr = x *atmAddr*

長構文: MPOA.137 MPC ( *atmIntfNum*): initiating purge reply: next-hop ATM addr = x *atmAddr*

説明: MPC は除去応答メッセージの転送を開始しています。

---

**MPOA.138**

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.138 MPC ( *atmIntfNum*): rcv trigger for IP addr = *ipAddr*: MPS ATM addr = x *mpsAtmAddr*

長構文: MPOA.138 MPC ( *atmIntfNum*): rcv trigger for IP addr = *ipAddr*: MPS ATM addr = x *mpsAtmAddr*

説明: MPC は IP アドレスに対するトリガー要求を受信しました。

---

**MPOA.139**

レベル: CE-ERROR

短構文: MPOA.139 MPC ( *atmIntfNum*): rcv invalid trigger: *errString*: MPS ATM addr = x *mpsAtmAddr*

長構文: MPOA.139 MPC ( *atmIntfNum*): rcv invalid trigger: *errString*: MPS ATM addr = x *mpsAtmAddr*

説明: MPC は無効なトリガー要求を受信しました。

---

**MPOA.140**

レベル: CE-ERROR

短構文: MPOA.140 MPC ( *atmIntfNum*): rcv trigger for unknown MPS: MPS ATM addr = x *mpsAtmAddr*

長構文: MPOA.140 MPC ( *atmIntfNum*): rcv trigger for unknown MPS: MPS ATM addr = x *mpsAtmAddr*

説明: MPC は不明の MPS に対するトリガー要求を受信しました。

---

**MPOA.141**

レベル: UI-ERROR

短構文: MPOA.141 MPC ( *atmIntfNum*): shortcut cntrl blk alloc failed: IP addr/mask = *ipAddr/ ipMask*

長構文: MPOA.141 MPC ( *atmIntfNum*): shortcut cntrl blk alloc failed: IP addr/mask = *ipAddr/ ipMask*

---



説明: ショートカット制御ブロックの割り振りに失敗しました。

---

#### MPOA.142

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.142 MPC ( *atmIntfNum*): shortcut cntrl blk DELETED: *ipAddr*: IP addr/mask = *ipMask*/

長構文: MPOA.142 MPC ( *atmIntfNum*): shortcut cntrl blk DELETED: *ipAddr*: IP addr/mask = *ipMask*/

説明: MPC はショートカット経路を削除しました。

---

#### MPOA.143

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.143 MPC ( *atmIntfNum*): initiating resolution req: IP addr = *ipAddr*: MPS ATM addr = x *mpsAtmAddr*

長構文: MPOA.143 MPC ( *atmIntfNum*): initiating resolution req: IP addr = *ipAddr*: MPS ATM addr = x *mpsAtmAddr*

説明: MPC は IP アドレス解決要求の転送を開始しています。

---

#### MPOA.144

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.144 MPC ( *atmIntfNum*): rcv resolution reply: IP addr = *ipAddr*/ *ipMask*: MPS ATM addr = x *mpsAtmAddr*

長構文: MPOA.144 MPC ( *atmIntfNum*): rcv resolution reply: IP addr = *ipAddr*/ *ipMask*: MPS ATM addr = x *mpsAtmAddr*

説明: MPC は IP あて先の解決応答を受信しました。

---

#### MPOA.145

レベル: CE-ERROR

短構文: MPOA.145 MPC ( *atmIntfNum*): discarded resolution reply: *reasonString*: MPS ATM addr = x *mpsAtmAddr*

長構文: MPOA.145 MPC ( *atmIntfNum*): discarded resolution reply: *reasonString*: MPS ATM addr = x *mpsAtmAddr*

説明: MPC は受信した解決応答を廃棄しました。

---

#### MPOA.146

レベル: CE-ERROR

短構文: MPOA.146 MPC ( *atmIntfNum*): rcv invalid resolution reply: *errString*: MPS ATM addr = x *mpsAtmAddr*

長構文: MPOA.146 MPC ( *atmIntfNum*): rcv invalid resolution reply: *errString*: MPS ATM addr = x *mpsAtmAddr*

説明: MPC は無効な解決応答を受信しました。

---

#### MPOA.147

レベル: CE-ERROR

短構文: MPOA.147 MPC ( *atmIntfNum*): rcv resolution NAK: *nakString*: IP addr = *ipAddr*: MPS ATM addr = x *mpsAtmAddr*

長構文: MPOA.147 MPC ( *atmIntfNum*): rcv resolution NAK: *nakString*: IP addr = *ipAddr*: MPS ATM addr = x *mpsAtmAddr*

説明: MPC は IP アドレス解決応答で否定応答を受信しました。

---

#### MPOA.148

レベル: CE-ERROR

短構文: MPOA.148 MPC ( *atmIntfNum*): ignored LANE ext: *errString*: IP addr = *ipAddr*: MPS ATM addr = x *mpsAtmAddr*

長構文: MPOA.148 MPC ( *atmIntfNum*): ignored LANE ext: *errString*: IP addr = *ipAddr*: MPS ATM addr = x *mpsAtmAddr*

説明: MPC は IP アドレス解決応答の中の無効な LANE 拡張子を無視しています。

---

#### MPOA.149

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.149 MPC ( *atmIntfNum*): converting route: IP addr/mask *errString*/ *ipAddr1* => *ipMask1*/*ipAddr2*

長構文: MPOA.149 MPC ( *atmIntfNum*): converting route: IP addr/mask *errString*/ *ipAddr1* => *ipMask1*/*ipAddr2*

説明: MPC は受信した IP アドレス解決応答の内容に基づいて、既存の経路を変換しています。変換は、ホスト経路からネットワーク経路へ、またはその逆に行われるものと考えられます。

---

**MPOA.150**

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.150 MPC ( *atmIntfNum*): route conversion failed: *reasonString*

長構文: MPOA.150 MPC ( *atmIntfNum*): route conversion failed: *reasonString*

説明: 既存の経路から新規タイプへの変換が失敗しました。失敗した変換は、ホスト経路からネットワーク経路へ、またはその逆であったと考えられます。

---

**MPOA.151**

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.151 MPC ( *atmIntfNum*): shortcut associated with VCC: IP addr/mask = *ipAddr/ ipMask*

長構文: MPOA.151 MPC ( *atmIntfNum*): shortcut associated with VCC: IP addr/mask = *ipAddr/ ipMask*

説明: MPC はショートカット経路を VCC に対応付けました。

---

**MPOA.152**

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.152 MPC ( *atmIntfNum*): shortcut disassociated from VCC: IP addr/mask = *ipAddr/ ipMask*

長構文: MPOA.152 MPC ( *atmIntfNum*): shortcut disassociated from VCC: IP addr/mask = *ipAddr/ ipMask*

説明: MPC はショートカット経路を VCC から分離しました。

---

**MPOA.153**

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.153 MPC ( *atmIntfNum*): updated shortcut: IP addr/mask *ipAddr/ ipMask*: encapsulation type = *encapsString*: MTU = *mtu*: holding time = *holdingTime* secs: VCC state = *vccTypeString*: dest ATM addr = *x dstAtmAddr*

長構文: MPOA.153 MPC ( *atmIntfNum*): updated shortcut: IP addr/mask *ipAddr/ ipMask*: encapsulation type = *encapsString*: MTU = *mtu*: holding time = *holdingTime* secs: VCC state = *vccTypeString*: dest ATM addr = *x dstAtmAddr*

説明: MPC は IP アドレス解決応答の内容に基づいて、ショートカット経路を更新しました。

---

---

**MPOA.154**

レベル: UI-ERROR

短構文: MPOA.154 MPC ( *atmIntfNum*): IP shortcut=>hold down state: *errString*: IP addr/mask = *ipAddr/ ipMask*

長構文: MPOA.154 MPC ( *atmIntfNum*): IP shortcut=>hold down state: *errString*: IP addr/mask = *ipAddr/ ipMask*

説明: MPC は IP ショートカットを保留状態に置きました。

---

**MPOA.155**

レベル: UI-ERROR

短構文: MPOA.155 MPC ( *atmIntfNum*): VCC cntl blk alloc failed: remote ATM addr = *x remoteAtmAddr*

長構文: MPOA.155 MPC ( *atmIntfNum*): VCC cntl blk alloc failed: remote ATM addr = *x remoteAtmAddr*

説明: 制御ブロックの割り振りに失敗したために、VCC が確立されませんでした。

---

**MPOA.156**

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.156 MPC ( *atmIntfNum*): placing call for *typeOfVccString*: remote ATM addr = *x remoteAtmAddr*

長構文: MPOA.156 MPC ( *atmIntfNum*): placing call for *typeOfVccString*: remote ATM addr = *x remoteAtmAddr*

説明: MPC は ATM VCC を確立するためにコールを発信しました。

---

**MPOA.157**

レベル: UI-ERROR

短構文: MPOA.157 MPC ( *atmIntfNum*): err placing call: *errString*: remote ATM addr = *x remoteAtmAddr*

長構文: MPOA.157 MPC ( *atmIntfNum*): err placing call: *errString*: remote ATM addr = *x remoteAtmAddr*

説明: MPC がコールを発信するために ATM インターフェース・プリミティブを起動したときに、エラーが発生しました。

---

---

**MPOA.158**

レベル: UI-ERROR

短構文: MPOA.158 MPC ( *atmIntfNum*) => DOWN: err placing call: *errString*

長構文: MPOA.158 MPC ( *atmIntfNum*) => DOWN: err placing call: *errString*

説明: MPC がコールを発信するために ATM インターフェイス・プリミティブを起動したときに、致命的エラーが発生しました。

---

**MPOA.159**

レベル: CE-ERROR

短構文: MPOA.159 MPC ( *atmIntfNum*): AAL IE: not present or invalid AAL type (x *aalType*)

長構文: MPOA.159 MPC ( *atmIntfNum*): AAL IE: not present or invalid AAL type (x *aalType*)

説明: MPC は信号メッセージを受信しましたが、AAL IE が含まれていないか、AAL IE 内の AAL タイプが不正であるために無効でした。

---

**MPOA.160**

レベル: CE-ERROR

短構文: MPOA.160 MPC ( *atmIntfNum*): AAL IE: invalid *sduTypeString* max SDU size ( *sduSize*)

長構文: MPOA.160 MPC ( *atmIntfNum*): AAL IE: invalid *sduTypeString* max SDU size ( *sduSize*)

説明: MPC は信号メッセージを受信しましたが、AAL IE 内の最大 SDU サイズが不正であるために無効でした。

---

**MPOA.161**

レベル: CE-ERROR

短構文: MPOA.161 MPC ( *atmIntfNum*): invalid BLLI

長構文: MPOA.161 MPC ( *atmIntfNum*): invalid BLLI

説明: MPC は信号メッセージを受信しましたが、よくない BLLI IE を含んでいるために無効でした。

---

**MPOA.162**

レベル: CE-ERROR

短構文: MPOA.162 MPC ( *atmIntfNum*): cell rate IE: *errString* ( *badVal*)

長構文: MPOA.162 MPC ( *atmIntfNum*): cell rate IE: *errString* ( *badVal*)

説明: MPC は信号メッセージを受信しましたが、セル・レート IE によくない値が入っているために無効でした。

---

**MPOA.163**

レベル: CE-ERROR

短構文: MPOA.163 MPC ( *atmIntfNum*): bearer IE: *errString* (x *badVal*)

長構文: MPOA.163 MPC ( *atmIntfNum*): bearer IE: *errString* (x *badVal*)

説明: MPC は信号メッセージを受信しましたが、広帯域ベアラー IE によくない値が入っているために無効でした。

---

**MPOA.164**

レベル: CE-ERROR

短構文: MPOA.164 MPC ( *atmIntfNum*): QoS IE: *errString* (x *badVal*)

長構文: MPOA.164 MPC ( *atmIntfNum*): QoS IE: *errString* (x *badVal*)

説明: MPC は信号メッセージを受信しましたが、QoS IE によくない値が入っているために無効でした。

---

**MPOA.165**

レベル: CE-ERROR

短構文: MPOA.165 MPC ( *atmIntfNum*): calling party IE: *errString*

長構文: MPOA.165 MPC ( *atmIntfNum*): calling party IE: *errString*

説明: MPC は信号メッセージを受信しましたが、発呼側 IE が誤っているために無効でした。

---

**MPOA.166**

レベル: CE-ERROR

短構文: MPOA.166 MPC ( *atmIntfNum*): releasing placed call: *errString*: remote ATM addr = x *remoteAtmAddr*

長構文: MPOA.166 MPC ( *atmIntfNum*): releasing placed call: *errString*: remote ATM addr = x *remoteAtmAddr*

説明: MPC は、エラーがあったので発信したコールを解放しています。

---

**MPOA.167**

レベル: UI-ERROR

短構文: MPOA.167 MPC ( *atmIntfNum*) => DOWN: err opening VCC data path: *errString*

長構文: MPOA.167 MPC ( *atmIntfNum*) => DOWN: err opening VCC data path: *errString*

説明: VCC データ・パスをオープンするために MPC が ATM インターフェース・プリミティブを起動したときに、致命的エラーが発生しました。

---

**MPOA.168**

レベル: CE-ERROR

短構文: MPOA.168 MPC ( *atmIntfNum*): placed call failed: net down: remote ATM addr = x *remoteAtmAddr*

長構文: MPOA.168 MPC ( *atmIntfNum*): placed call failed: net down: remote ATM addr = x *remoteAtmAddr*

説明: ネットワークへの信号インターフェースがダウンであるために、MPC による発信コールが失敗しました。

---

**MPOA.169**

レベル: CE-ERROR

短構文: MPOA.169 MPC ( *atmIntfNum*): placed call failed: cause # *causeCode*: remote ATM addr = x *remoteAtmAddr*

長構文: MPOA.169 MPC ( *atmIntfNum*): placed call failed: cause # *causeCode*: remote ATM addr = x *remoteAtmAddr*

説明: 示されている原因符号により、MPC による発信コールが失敗しました。

---

**MPOA.170**

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.170 MPC ( *atmIntfNum*): retrying placed call with bearer class C: remote ATM addr = x *remoteAtmAddr*

長構文: MPOA.170 MPC ( *atmIntfNum*): retrying placed call with bearer class C: remote ATM addr = x *remoteAtmAddr*

説明: ベアラー・クラスが原因で MPC による発信コールが失敗したので、ベアラー・クラス C を使用してコールが再試行されています。

---

**MPOA.171**

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.171 MPC ( *atmIntfNum*): placed call established: *typeOfVccString*: remote ATM addr = x *remoteAtmAddr*

長構文: MPOA.171 MPC ( *atmIntfNum*): placed call established: *typeOfVccString*: remote ATM addr = x *remoteAtmAddr*

説明: MPC によるコールが確立されました。

---

**MPOA.172**

レベル: CE-ERROR

短構文: MPOA.172 MPC ( *atmIntfNum*): rejected received call: no calling party ATM addr

長構文: MPOA.172 MPC ( *atmIntfNum*): rejected received call: no calling party ATM addr

説明: MPCは、発呼側 ATM アドレスが提供されていなかったために、受信したコールをリジェクトしました。

---

**MPOA.173**

レベル: CE-ERROR

短構文: MPOA.173 MPC ( *atmIntfNum*): rejected received call: *errString*: remote ATM addr = x *remoteAtmAddr*

長構文: MPOA.173 MPC ( *atmIntfNum*): rejected received call: *errString*: remote ATM addr = x *remoteAtmAddr*

説明: MPC は、指摘されている理由で、受信したコールをリジェクトしました。

---

**MPOA.174**

レベル: UI-ERROR

短構文: MPOA.174 MPC ( *atmIntfNum*) ( *errString*) => DOWN: err acking received call:

長構文: MPOA.174 MPC ( *atmIntfNum*) ( *errString*) => DOWN: err acking received call:

説明: MPC が受信したコールを確認するために ATM インターフェース・プリミティブを起動したときに、致命的エラーが発生しました。

---

**MPOA.175**

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.175 MPC ( *atmIntfNum*): received call:  
*typeOfVccString*: remote ATM addr = x *remoteAtmAddr*

長構文: MPOA.175 MPC ( *atmIntfNum*): received call:  
*typeOfVccString*: remote ATM addr = x *remoteAtmAddr*

説明: MPC は指定のタイプの VCC のコールを受信しました。

---

**MPOA.176**

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.176 MPC ( *atmIntfNum*): call released:  
normal: *typeOfVccString*: remote ATM addr = x  
*remoteAtmAddr*

長構文: MPOA.176 MPC ( *atmIntfNum*): call released:  
normal: *typeOfVccString*: remote ATM addr = x  
*remoteAtmAddr*

説明: 正常な原因符号により、コールがリモートから解放されました。

---

**MPOA.177**

レベル: CE-ERROR

短構文: MPOA.177 MPC ( *atmIntfNum*): call released:  
net down: *typeOfVccString*: remote ATM addr = x  
*remoteAtmAddr*

長構文: MPOA.177 MPC ( *atmIntfNum*): call released:  
net down: *typeOfVccString*: remote ATM addr = x  
*remoteAtmAddr*

説明: ネットワークへの信号インターフェースがダウンになったために、コールが解放されました。

---

**MPOA.178**

レベル: CE-ERROR

短構文: MPOA.178 MPC ( *atmIntfNum*): call released:  
cause # *causeCode*: *typeOfVccString*: remote ATM addr = x  
*remoteAtmAddr*

長構文: MPOA.178 MPC ( *atmIntfNum*): call released:  
cause # *causeCode*: *typeOfVccString*: remote ATM addr = x  
*remoteAtmAddr*

説明: 示されている原因符号により、コールがリモートから解放されました。

---

---

**MPOA.179**

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.179 MPC ( *atmIntfNum*): starting VCC  
timer: *timerTypeString* = *timerValue* secs: remote ATM  
addr = x *remoteAtmAddr*

長構文: MPOA.179 MPC ( *atmIntfNum*): starting VCC  
timer: *timerTypeString* = *timerValue* secs: remote ATM  
addr = x *remoteAtmAddr*

説明: 指定のリモート ATM アドレスへの VCC に対応するタイマーが始動しました。

---

**MPOA.180**

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.180 MPC ( *atmIntfNum*): VCC  
DELETED: *reasonString*: remote ATM addr = x  
*remoteAtmAddr*

長構文: MPOA.180 MPC ( *atmIntfNum*): VCC  
DELETED: *reasonString*: remote ATM addr = x  
*remoteAtmAddr*

説明: 示されている理由により、VCC が削除されました。

---

**MPOA.181**

レベル: UI-ERROR

短構文: MPOA.181 MPC ( *atmIntfNum*): ATM frame  
buf alloc failed: *errString*

長構文: MPOA.181 MPC ( *atmIntfNum*): ATM frame  
buf alloc failed: *errString*

説明: ATM フレーム用のバッファの割り振りに失敗しました。

---

**MPOA.182**

レベル: UI-ERROR

短構文: MPOA.182 MPC ( *atmIntfNum*) => DOWN:  
ATM frame buf alloc failed: *errString*

長構文: MPOA.182 MPC ( *atmIntfNum*) => DOWN:  
ATM frame buf alloc failed: *errString*

説明: MPC が ATM フレーム用のバッファの割り振りを試みているときに、致命的エラーが発生しました。

---

---

**MPOA.183**

レベル: UI-ERROR

短構文: MPOA.183 MPC ( *atmIntfNum*) => DOWN: err reading burned-in MAC addr: *errString*

長構文: MPOA.183 MPC ( *atmIntfNum*) => DOWN: err reading burned-in MAC addr: *errString*

説明: MPC が焼き付け MAC アドレスを読み取るために ATM インターフェース・プリミティブを起動したときに、致命的エラーが発生しました。

---

**MPOA.184**

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.184 MPC ( *atmIntfNum*): opened hardware path for LANE VCC: remote ATM addr = x *remoteAtmAddr*

長構文: MPOA.184 MPC ( *atmIntfNum*): opened hardware path for LANE VCC: remote ATM addr = x *remoteAtmAddr*

説明: MPC は、ハードウェア内の LANE VCC 上で受信したフレームを切り替えるためのパスをオープンしました。

---

**MPOA.185**

レベル: UI-ERROR

短構文: MPOA.185 MPC ( *atmIntfNum*): err opening VCC hardware path: *errString* remote ATM addr = x *remoteAtmAddr*

長構文: MPOA.185 MPC ( *atmIntfNum*): err opening VCC hardware path: *errString* remote ATM addr = x *remoteAtmAddr*

説明: MPC は、ハードウェア内の LANE VCC 上で受信したフレームを切り替えるためのパスをオープンしようとしたときに、エラーが発生しました。

---

**MPOA.186**

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.186 Rcvd LANE data frame (vpi/vci *vpi/ vci*)

長構文: MPOA.186 Rcvd LANE data frame (vpi/vci *vpi/ vci*)

説明: LANE データ・フレームが empc によって受信されました。フレームを受信した VCC の vpi/vci が印刷されています。

---

**MPOA.187**

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.187 Unable to send data plane purge rqst (addr *protocolAddress*, rc *errorCode*)

長構文: MPOA.187 Unable to send data plane purge rqst (addr *protocolAddress*, rc *errorCode*)

説明: empc は、データ平面除去要求メッセージを送信できませんでした。DPP の送信先のプロトコル・アドレスと内部エラー・コードが印刷されています。

---

**MPOA.188**

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.188 LANE pkt rcvcd from invalid vcc, initiating hold down! (vpi/vci *vpi/ vci*)

長構文: MPOA.188 LANE pkt rcvcd from invalid vcc, initiating hold down! (vpi/vci *vpi/ vci*)

説明: LANE vcc からパケットを受信しましたが、この VCC 上で受信することは予想していません。(相手側が誤って LANE ショートカット・パケットから確認を開始し、LANE パケットを送信している場合には、通常 LANE 拡張子が付いています)。受信したパケットは廃棄され、この VCC の ATM アドレスは保留状態に置かれます。

---

**MPOA.189**

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.189 Rcvd lane ready query (vpi/vci *vpi/ vci*)

長構文: MPOA.189 Rcvd lane ready query (vpi/vci *vpi/ vci*)

説明: 指定の VCC 上で LANE Ready-Query (レディー照会) メッセージを受信しました。MPC は LANE Ready-Ind (レディー表示) パケットで応答を試みます。

---

**MPOA.190**

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.190 Rcvd lane encaps NHRP purge rqst (vpi/vci *vpi/ vci*)

長構文: MPOA.190 Rcvd lane encaps NHRP purge rqst (vpi/vci *vpi/ vci*)

説明: 指定の VCC 上で LANE 制御フレームとしてカプセル化された NHRP 除去要求メッセージを受信しました。MPC はこの要求の処理を開始します。



---

**MPOA.191**

レベル: UE-ERROR

短構文: MPOA.191 Recvd invalid lane control frame, dropping! (vpi/vci vpi/ vci)

長構文: MPOA.191 Recvd invalid lane control frame, dropping! (vpi/vci vpi/ vci)

説明: 指定の VCC 上で無効な LANE 制御フレームを受信しました。パケットは廃棄されます。

---

**MPOA.192**

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.192 Exhausted dpp retries (src atm addr entryAtmAddr)

長構文: MPOA.192 Exhausted dpp retries (src atm addr entryAtmAddr)

説明: empc は、エントリーの入側装置に MPOA データ平面除去要求を送信するための最大試行回数を使い尽くしました (データ平面除去応答は IBM MPC からのみ要求されます)。そのエントリーの発信元 ATM アドレス (入側のアドレス) が表示され、エントリーは削除されます。

---

**MPOA.193**

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.193 Recvd lane encaps NHRP purge rply ! (vpi/vci vpi/ vci)

長構文: MPOA.193 Recvd lane encaps NHRP purge rply ! (vpi/vci vpi/ vci)

説明: 指定の VCC 上で LANE 制御フレームとしてカプセル化された NHRP 除去応答メッセージを受信しました。MPC はこのメッセージの処理を開始します。

---

**MPOA.194**

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.194 Recvd bad NHRP purge rply ! (vpi/vci vpi/ vci)

長構文: MPOA.194 Recvd bad NHRP purge rply ! (vpi/vci vpi/ vci)

説明: 指定の VCC 上で NHRP 除去応答メッセージを受信しましたが、フォーマットに問題があるか、必要な情報が欠落しています。パケットは廃棄されます。

---

---

**MPOA.195**

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.195 Sending MPS death dpp rqst! ( destIpAddress/ destIpAddressMask, id cacheId)

長構文: MPOA.195 Sending MPS death dpp rqst! ( destIpAddress/ destIpAddressMask, id cacheId)

説明: エントリーを組み付けた MPS が使用不可になったことが検出されたために、そのエントリーのデータ平面除去要求を送信しています。エントリーのプロトコル・アドレスとマスクおよびキャッシュ ID が表示されています。

---

**MPOA.196**

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.196 Sending MPS MAC invalid dpp rqst! ( destIpAddress/ destIpAddressMask, id cacheId)

長構文: MPOA.196 Sending MPS MAC invalid dpp rqst! ( destIpAddress/ destIpAddressMask, id cacheId)

説明: 対応する MPS MAC アドレスが有効でなくなったために、エントリーのデータ平面除去要求を送信しています。エントリーのプロトコル・アドレスとマスクおよびキャッシュ ID が表示されています。

---

**MPOA.197**

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.197 Recvd local lane frame (atm intf atmIntfNum)

長構文: MPOA.197 Recvd local lane frame (atm intf atmIntfNum)

説明: empc は、ローカルに送達された LANE カプセル化データ・フレームを受信しました。

---

**MPOA.198**

レベル: UE-ERROR

短構文: MPOA.198 Recvd bad frame (x frameBytes)

長構文: MPOA.198 Recvd bad frame (x frameBytes)

説明: empc はよくないフレーム (正しくデコード化できない) を受信しました。フレームは廃棄されます。

---

**MPOA.199**

レベル: UI-ERROR

短構文: MPOA.199 local tagged pkt src atm mismatch (entry: srcAtmAddrInEntry)

**長構文:** MPOA.199 local tagged pkt src atm mismatch (entry: *srcAtmAddrInEntry*)

**説明:** ローカルで送達可能なタグ付きフレームがエントリーに一致しましたが、こちら側の発信元 ATM アドレスとは異なっています。これは、内部エラーにより、入側と出側の MPC が同期していないことを示している可能性があります。

---

#### MPOA.200

**レベル:** U-INFO

**短構文:** MPOA.200 No match for recvd dpp reply (*destIpAddr/ destIpAddrMask*)

**長構文:** MPOA.200 No match for recvd dpp reply (*destIpAddr/ destIpAddrMask*)

**説明:** データ平面除去応答を受信しましたが (IBM MPC 入側装置からのみ有効)、除去処理中のアウトスタンディング・エントリーのどれにも一致しません (除去応答を受信する前に、エントリーが内部で削除されてしまっている可能性があります)。

---

#### MPOA.201

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** MPOA.201 No mem for derived entry (*atmIntfNum*)

**長構文:** MPOA.201 No mem for derived entry (*atmIntfNum*)

**説明:** パケットの受信時に、内部記憶域割り振り ("派生" タイプの出側キャッシュ・エントリーの) に失敗しました。パケットは除去され、データ平面除去要求が開始されます。これは、ボックスの動的割り振り可能記憶域が不足していることを示しています。

---

#### MPOA.202

**レベル:** U-INFO

**短構文:** MPOA.202 No match in Nontag 1483 net routes for pkt ( *destProtAddr*)

**長構文:** MPOA.202 No match in Nontag 1483 net routes for pkt ( *destProtAddr*)

**説明:** タグなし 1483 ネットワーク経路データベース内で、受信パケットのあて先プロトコル・アドレスに一致する出側キャッシュ・エントリーが見付かりませんでした。

---

#### MPOA.203

**レベル:** U-INFO

**短構文:** MPOA.203 No match in Nontag 1483 host routes for pkt ( *destProtAddr*)

**長構文:** MPOA.203 No match in Nontag 1483 host routes for pkt ( *destProtAddr*)

**説明:** タグなし 1483 ホスト経路データベース内で、受信パケットのあて先プロトコル・アドレスに一致する出側キャッシュ・エントリーが見付かりませんでした。

---

#### MPOA.204

**レベル:** C-INFO

**短構文:** MPOA.204 Function *functionNameString()* called

**長構文:** MPOA.204 Function *functionNameString()* called

**説明:** 表示されている (内部) 機能がコールされました (注意: ほとんどの内部機能はこの ELS を印刷しません。印刷するのはほんの少数です)。

---

#### MPOA.205

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** MPOA.205 Dropping LANE data packet (*atmIntfNum*)

**長構文:** MPOA.205 Dropping LANE data packet (*atmIntfNum*)

**説明:** 一致する出側 LEC が存在しなかったか、パケットが正しく作成されていなかったために、MPC は受信した LANE データ・パケットを廃棄しています。これはパケットの送信側のエラーにより、LANE ヘッダー情報が間違っているか、LANE データ・パケットが正しく作成されていないことを示している可能性があります。

---

#### MPOA.206

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** MPOA.206 No matching LEC on imposition (dll: ring 1 x *firstRingNumber* ring 2 x *secondRingNumber* bridge x *bridgeNumber*)

**長構文:** MPOA.206 No matching LEC on imposition (dll: ring 1 x *firstRingNumber* ring 2 x *secondRingNumber* bridge x *bridgeNumber*)

**説明:** MPOA キャッシュ組み付け要求で提供された DLL ヘッダー情報が、現在 MPC が認識している "最初のリング番号、ブリッジ番号、2 番目のリング番号" の 3 要素のいずれにも一致しませんでした。これは、組み付け e-mps によって提供された DLL ヘッダー情

報に誤りがあることを示している可能性があります。

---

#### MPOA.207

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.207 Resetting src atm lane ext lec ptr  
ATM: x *atmAddress*

長構文: MPOA.207 Resetting src atm lane ext lec ptr  
ATM: x *atmAddress*

説明: 指定の発信元 ATM アドレスの LANE 拡張 lec 出側 LEC ptr をリセット中です。この後、この ATM アドレスからの VCC は任意の出側 LEC を使用して、ハードウェア切り替えパスを確立することができます。

---

#### MPOA.208

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.208 Setting src atm lane ext lec ptr  
ATM: x *atmAddress* Lec:

長構文: MPOA.208 Setting src atm lane ext lec ptr  
ATM: x *atmAddress* Lec:

説明: 指定の発信元 ATM アドレスの LANE 拡張 lec 出側 LEC ptr を、表示された LEC へのポイントに設定しています。これで、このリモート ATM アドレスを使用して、VCC 上にハードウェア切り替えパスを確立することができます。

---

#### MPOA.209

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.209 MPC Tag array resized to *newSize*

長構文: MPOA.209 MPC Tag array resized to *newSize*

説明: eMpc の内部タグ配列のサイズが、示されている値に変更されました。これは、出側キャッシュ内のタグ付きキャッシュ・エントリーの数がかかなり大きい場合にのみ行われます。

---

#### MPOA.210

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.210 Bad data pkt dropped w/o dpp  
(dest: *destIpAddr*, vpi/vci *vpi/ vci*)

長構文: MPOA.210 Bad data pkt dropped w/o dpp  
(dest: *destIpAddr*, vpi/vci *vpi/ vci*)

説明: 受信したデータ・パケットは、有効な出側キャッシュ・エントリーのいずれにも一致していませんでしたが、パケットを受信した VCC のリモート ATM アドレスに対する除去レート限界タイマーが有効であったた

めに、データ平面除去を送信せずに廃棄されました。

---

#### MPOA.211

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.211 MPC ( *atmIntfNum*): retrying placed call with pcr 25 MBps: remote ATM addr = x  
*remoteAtmAddr*

長構文: MPOA.211 MPC ( *atmIntfNum*): retrying placed call with pcr 25 MBps: remote ATM addr = x  
*remoteAtmAddr*

説明: MPC によるコールが、セル・レートが高過ぎるために失敗したため、25 MBps のピーク・セル・レートでコールが再試行されています。

---

#### MPOA.212

レベル: UI-ERROR

短構文: MPOA.212 MPC ( *atmIntfNum*): shortcut cntrl blk alloc failed: IPX addr = x *ipxAddr*

長構文: MPOA.212 MPC ( *atmIntfNum*): shortcut cntrl blk alloc failed: IPX addr = x *ipxAddr*

説明: ショートカット制御ブロックの割り振りに失敗しました。

---

#### MPOA.213

レベル: UI-ERROR

短構文: MPOA.213 MPC ( *atmIntfNum*): IPX shortcut=>hold down state: *errString*: IPX addr = x  
*ipxAddrPtr*

長構文: MPOA.213 MPC ( *atmIntfNum*): IPX shortcut=>hold down state: *errString*: IPX addr = x  
*ipxAddrPtr*

説明: MPC は IPX ショートカットを保留状態に置きました。

---

#### MPOA.214

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.214 MPC ( *atmIntfNum*): shortcut disassociated from VCC: IPX addr = x *ipxAddrPtr*

長構文: MPOA.214 MPC ( *atmIntfNum*): shortcut disassociated from VCC: IPX addr = x *ipxAddrPtr*

説明: MPC は IPX ショートカット経路を VCC から分離しました。

---

### MPOA.215

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.215 MPC ( *atmIntfNum*): purging IPX shortcut: IPX addr = x *ipxAddrPtr*

長構文: MPOA.215 MPC ( *atmIntfNum*): purging IPX shortcut: IPX addr = x *ipxAddrPtr*

説明: MPC は IPX ショートカットを除去しました。

---

### MPOA.216

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.216 MPC ( *atmIntfNum*): shortcut associated with VCC: IPX addr = x *ipxAddrPtr*

長構文: MPOA.216 MPC ( *atmIntfNum*): shortcut associated with VCC: IPX addr = x *ipxAddrPtr*

説明: MPC は IPX ショートカット経路を VCC と対応付けました。

---

### MPOA.217

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.217 MPC ( *atmIntfNum*): initiating resolution req: IPX addr = x *ipxAddrPtr*: MPS ATM addr = x *mpsAtmAddr*

長構文: MPOA.217 MPC ( *atmIntfNum*): initiating resolution req: IPX addr = x *ipxAddrPtr*: MPS ATM addr = x *mpsAtmAddr*

説明: MPC は IPX アドレス解決要求の転送を開始しています。

---

### MPOA.218

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.218 MPC ( *atmIntfNum*): shortcut cntrl blk DELETED: *ipxAddrPtr*: IPX addr = x

長構文: MPOA.218 MPC ( *atmIntfNum*): shortcut cntrl blk DELETED: *ipxAddrPtr*: IPX addr = x

説明: MPC は IPX ショートカット経路を削除しました。

---

### MPOA.219

レベル: CE-ERROR

短構文: MPOA.219 MPC ( *atmIntfNum*): ignored LANE ext: *errString*: IPX addr = x *ipxAddrPtr*: MPS ATM addr = x *mpsAtmAddr*

長構文: MPOA.219 MPC ( *atmIntfNum*): ignored LANE

ext: *errString*: IPX addr = x *ipxAddrPtr*: MPS ATM addr = x *mpsAtmAddr*

説明: MPC は IPX アドレス解決応答の中の無効な LANE 拡張子を無視しています。

---

### MPOA.220

レベル: CE-ERROR

短構文: MPOA.220 MPC ( *atmIntfNum*): recv resolution NAK: *nakString*: IPX addr = x *ipxAddrPtr*: MPS ATM addr = x *mpsAtmAddr*

長構文: MPOA.220 MPC ( *atmIntfNum*): recv resolution NAK: *nakString*: IPX addr = x *ipxAddrPtr*: MPS ATM addr = x *mpsAtmAddr*

説明: MPC は IPX アドレス解決応答で否定応答を受信しました。

---

### MPOA.221

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.221 MPC ( *atmIntfNum*): recv resolution reply: IPX addr = x *ipxAddrPtr*: MPS ATM addr = x *mpsAtmAddr*

長構文: MPOA.221 MPC ( *atmIntfNum*): recv resolution reply: IPX addr = x *ipxAddrPtr*: MPS ATM addr = x *mpsAtmAddr*

説明: MPC は IPX あて先の解決応答を受信しました。

---

### MPOA.222

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.222 MPC ( *atmIntfNum*): converting route: IPX addr/prefix x *errString*/ *ipxAddrPtr* => *prefix1*

長構文: MPOA.222 MPC ( *atmIntfNum*): converting route: IPX addr/prefix x *errString*/ *ipxAddrPtr* => *prefix1*

説明: MPC は受信した IPX アドレス解決応答の内容に基づいて、既存の経路を変換しています。変換は、ホスト経路からネットワーク経路へ、またはその逆に行われるものと考えられます。

---

### MPOA.223

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.223 MPC ( *atmIntfNum*): updated shortcut: IPX addr x *ipxAddrPtr*: encapsulation type = *encapsString*: MTU = *mtu*: holding time = *holdingTime* secs: VCC state = *vccTypeString*: dest ATM addr = x *dstAtmAddr*

長構文: MPOA.223 MPC ( *atmIntfNum*): updated shortcut: IPX addr x *ipxAddrPtr*: encapsulation type = *encapsString*: MTU = *mtu*: holding time = *holdingTime* secs: VCC state = *vccTypeString*: dest ATM addr = x *dstAtmAddr*

説明: MPC は IPX アドレス解決応答の内容に基づいて、ショートカット経路を更新しました。

---

#### MPOA.224

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.224 MPC ( *atmIntfNum*): recv trigger for IPX addr = x *ipxAddrPtr*: MPS ATM addr = x *mpsAtmAddr*

長構文: MPOA.224 MPC ( *atmIntfNum*): recv trigger for IPX addr = x *ipxAddrPtr*: MPS ATM addr = x *mpsAtmAddr*

説明: MPC は IPX アドレスに対するトリガー要求を受信しました。

---

#### MPOA.225

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.225 eMPC deleting imposed e-cache entry (IPX networkNo x *ipxNetworkNumber*, cache id x *cacheId*)

長構文: MPOA.225 eMPC deleting imposed e-cache entry (IPX networkNo x *ipxNetworkNumber*, cache id x *cacheId*)

説明: 外部から組み付けられた出側 MPC キャッシュ・エントリー (IPX ネットワーク) を削除中です。

---

#### MPOA.226

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.226 eMPC deleting imposed e-cache entry (IPX address x *ipxAddress*, cache id x *cacheId*)

長構文: MPOA.226 eMPC deleting imposed e-cache entry (IPX address x *ipxAddress*, cache id x *cacheId*)

説明: 外部から組み付けられた出側 MPC キャッシュ・エントリー (おそらく、ネットワーク) を削除中です。

---

#### MPOA.227

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.227 eMPC deleting intern. derived e-cache entry (IPX address x *ipxAddress*, cache id x *cacheId*)

長構文: MPOA.227 eMPC deleting intern. derived e-cache entry (IPX address x *ipxAddress*, cache id x *cacheId*)

説明: 外部から組み付けられた出側 MPC キャッシュ・エントリー (おそらく、ネットワーク) を削除中です。

---

#### MPOA.228

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.228 Sending MPS death dpp rqst! ( *destIpAddress*, id *cacheId*)

長構文: MPOA.228 Sending MPS death dpp rqst! ( *destIpAddress*, id *cacheId*)

説明: エントリーを組み付けた MPS が使用不可になったことが検出されたために、そのエントリーのデータ平面除去要求を送信しています。エントリーのプロトコル・アドレスとキャッシュ ID が表示されています。

---

#### MPOA.229

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.229 Bad data pkt dropped w/o dpp (dest: *destIpAddress*, vpi/vci *vpi/ vci*)

長構文: MPOA.229 Bad data pkt dropped w/o dpp (dest: *destIpAddress*, vpi/vci *vpi/ vci*)

説明: 受信したデータ・パケットは、有効な出側キャッシュ・エントリーのいずれにも一致していませんでしたが、パケットを受信した VCC のリモート ATM アドレスに対して除去レート限界タイマーが有効であったために、データ平面除去を送信せずに廃棄されました。

---

#### MPOA.230

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.230 MPC ( *atmIntfNum*) IP STOPPED

長構文: MPOA.230 MPC ( *atmIntfNum*) IP STOPPED

説明: MPC インスタンスの IP 動作を停止中です。

---

#### MPOA.231

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.231 MPC ( *atmIntfNum*) IPX STOPPED

長構文: MPOA.231 MPC ( *atmIntfNum*) IPX STOPPED

説明: MPC インスタンスの IPX 動作を停止中です。



---

**MPOA.232**

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.232 No MPC protocol sram record. Will use defaults! ( *netNum* )

長構文: MPOA.232 No MPC protocol sram record. Will use defaults! ( *netNum* )

説明: MPOA クライアントの SRAM プロトコル構成レコードが見付かりませんでした。そのため、クライアントはデフォルトのパラメーター設定で起動されます。

---

**MPOA.233**

レベル: UE-ERROR

短構文: MPOA.233 Mismatched MPC protocol sram record. Will use defaults! ( *netNum* )

長構文: MPOA.233 Mismatched MPC protocol sram record. Will use defaults! ( *netNum* )

説明: MPOA クライアントの SRAM プロトコル構成レコードが見付かりましたが、起動する ATM インターフェースが異なっています。そのため、既存の SRAM プロトコル・レコード構成パラメーターは無視され、クライアントはデフォルトのパラメーター設定で起動されます。これは、構成の誤りを示している可能性があります。

---

**MPOA.234**

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.234 Bad recvd pkt: sending DPP rqst! ( *destIpxAddressPtr* )

長構文: MPOA.234 Bad recvd pkt: sending DPP rqst! ( *destIpxAddressPtr* )

説明: 受信した IPX パケットに一致する出側キャッシュ・エントリーが見付からなかったために、データ平面除去要求を送信中です。パケット内のあて先プロトコル・アドレスが印刷されています。

---

**MPOA.235**

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.235 Purge Reply recvd for disabled protocol! ( IP addr/mask = *IpAddress/ IpAddressMask*, *vpi/vci vpi/ vci* )

長構文: MPOA.235 Purge Reply recvd for disabled protocol! ( IP addr/mask = *IpAddress/ IpAddressMask*, *vpi/vci vpi/ vci* )

説明: 指定の VCC 上で NHRP 除去応答メッセージを

受信しましたが、指定されたプロトコルは使用不可にされ、すべてのエントリーが削除されてしまっています。パケットは廃棄されます。

---

**MPOA.236**

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.236 Purge Reply recvd for disabled protocol! ( IPX addr = *ipxAddrPtr*, Prefix = *ipxPrefix*, *vpi/vci vpi/ vci* )

長構文: MPOA.236 Purge Reply recvd for disabled protocol! ( IPX addr = *ipxAddrPtr*, Prefix = *ipxPrefix*, *vpi/vci vpi/ vci* )

説明: 指定の VCC 上で NHRP 除去応答メッセージを受信しましたが、指定されたプロトコルは使用不可にされ、すべてのエントリーが削除されてしまっています。パケットは廃棄されます。

---

**MPOA.237**

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.237 No match for recvd IPX dpp reply ( *ipxAddrPtr/ ipxPrefix* )

長構文: MPOA.237 No match for recvd IPX dpp reply ( *ipxAddrPtr/ ipxPrefix* )

説明: データ平面除去応答を受信しましたが (IBM MPC 入側装置からのみ有効)、除去処理中のアウトスタンディング IPX エントリーのどれにも一致しません (除去応答を受信する前に、エントリーが内部で削除されてしまっている可能性があります)。

---

**MPOA.238**

レベル: UE-ERROR

短構文: MPOA.238 Destn prot addr mismatch in recvd pkt! ( *dstn dstnIpxAddrPtr*, entry *entryIpxAddrPtr*, Prefix = *entryIpxPrefix* )

長構文: MPOA.238 Destn prot addr mismatch in recvd pkt! ( *dstn dstnIpxAddrPtr*, entry *entryIpxAddrPtr*, Prefix = *entryIpxPrefix* )

説明: 受信した MPOA タグ付きパケットのタグに基づく検索で一致した出側キャッシュ・エントリーは、IPX あて先プロトコル・アドレス範囲がパケット内のあて先プロトコル・アドレスと異なっていました。パケット内の IPX あて先アドレスと出側キャッシュ・エントリー内のアドレス/マスクの組みが印刷されています。



---

**MPOA.239**

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.239 Tagged pkt: matching entry inactive! (entry *ipxAddrPtr*, Prefix = *ipxPrefix*, state *entryState*)

長構文: MPOA.239 Tagged pkt: matching entry inactive! (entry *ipxAddrPtr*, Prefix = *ipxPrefix*, state *entryState*)

説明: 受信した MPOA タグ付きパケットのタグに基づく検索で一致した出側キャッシュ・エントリーは、アクティブ状態ではありませんでした。照合エントリーの IPX プロトコル・アドレスとアドレス・マスクが、エントリーの状態とともに印刷されています。

---

**MPOA.240**

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.240 Recvd 1483 IPX data pkt! (*ipxAddrPtr*)

長構文: MPOA.240 Recvd 1483 IPX data pkt! (*ipxAddrPtr*)

説明: MPOA タグなし 1483 IPX パケットを受信しました。パケット内のあて先 IPX アドレスが印刷されています。

---

**MPOA.241**

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.241 1483 pkt hash cache miss! (*ipxAddrPtr*)

長構文: MPOA.241 1483 pkt hash cache miss! (*ipxAddrPtr*)

説明: 受信した MPOA タグなし 1483 IPX パケットで、ハッシュ配列の誤りが検出されました。パケット内のあて先 IPX アドレスが印刷されています。

---

**MPOA.242**

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.242 1483 pkt: matching entry inactive! (entry *ipxAddrPtr*, Prefix = *ipxPrefix*, state *entryState*)

長構文: MPOA.242 1483 pkt: matching entry inactive! (entry *ipxAddrPtr*, Prefix = *ipxPrefix*, state *entryState*)

説明: 受信した MPOA タグなし 1483 パケットのタグに基づく検索で一致した出側キャッシュ・エントリーは、アクティブ状態ではありませんでした。照合エントリーの IPX プロトコル・アドレスとプレフィックスが、

エントリーの状態とともに印刷されています。

---

**MPOA.243**

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.243 Unable to send data plane purge rqst (addr *ipxAddrPtr*, rc *errorCode*)

長構文: MPOA.243 Unable to send data plane purge rqst (addr *ipxAddrPtr*, rc *errorCode*)

説明: empc は、データ平面除去要求メッセージを送信できませんでした。DPP の送信先の IPX プロトコル・アドレスと内部エラー・コードが印刷されています。

---

**MPOA.244**

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.244 No match in Nontag 1483 host routes for IPX pkt ( *ipxAddrPtr*)

長構文: MPOA.244 No match in Nontag 1483 host routes for IPX pkt ( *ipxAddrPtr*)

説明: タグなし 1483 ホスト経路データベース内で、受信パケットのあて先 IPX プロトコル・アドレスに一致する出側キャッシュ・エントリーが見付かりませんでした。

---

**MPOA.245**

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.245 No match in Nontag 1483 net routes for IPX pkt ( *ipxAddrPtr*)

長構文: MPOA.245 No match in Nontag 1483 net routes for IPX pkt ( *ipxAddrPtr*)

説明: タグなし 1483 ネットワーク経路データベース内で、受信パケットのあて先 IPX プロトコル・アドレスに一致する出側キャッシュ・エントリーが見付かりませんでした。

---

**MPOA.246**

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.246 Imposn rqst valid ( *ipxAddrPtr*, Prefix: *ipxPrefix*, rqst ID: x *requestID*)

長構文: MPOA.246 Imposition request valid ( *ipxAddrPtr*, Prefix: *ipxPrefix*, rqst ID: x *requestID*)

説明: 指定のあて先 IPX アドレスとプレフィックスに対する有効なキャッシュ組み付け要求を受信しました。メッセージ内の要求 ID も印刷されています。

---

**MPOA.247**

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.247 Processing imposn rqst for new ntry ( *ipxAddrPtr*, Prefix: *ipxPrefix*, x *cacheID*, *entryTypeString*)

長構文: MPOA.247 Processing imposition request for a new entry ( *ipxAddrPtr*, Prefix: *ipxPrefix*, x *cacheID*, *entryTypeString*)

説明: 新しい出側キャッシュ・エントリーに対する MPOA キャッシュ組み付け要求を処理中です。あて先 IPX プロトコル・アドレス、プレフィックスの長さ、キャッシュ ID、およびエントリーのタイプが表示されています。

---

**MPOA.248**

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.248 New egress cache IPX entry created ( *ipxAddrPtr*, Prefix: *ipxPrefix*, x *cacheID*, *entryTypeString*)

長構文: MPOA.248 New egress cache IPX entry created ( *ipxAddrPtr*, Prefix: *ipxPrefix*, x *cacheID*, *entryTypeString*)

説明: 指定の IPX プロトコル・アドレスとプレフィックスの新しい出側 IPX キャッシュ・エントリーが作成されました。キャッシュ ID とエントリーのタイプも印刷されています。

---

**MPOA.249**

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.249 Imposn rfrsh for exstng IPX ntry recvd ( *ipxAddrPtr*, Prefix: *ipxPrefix*, x *cacheID*, *entryTypeString*)

長構文: MPOA.249 Imposition refresh for existing IPX entry received ( *ipxAddrPtr*, Prefix: *ipxPrefix*, x *cacheID*, *entryTypeString*)

説明: 出側キャッシュ内の既存の IPX エントリーをリフレッシュするための MPOC キャッシュ組み付け要求を受信しました。あて先 IPX プロトコル・アドレス、プレフィックス、キャッシュ ID、およびエントリーのタイプが表示されています。

---

**MPOA.250**

レベル: UE-ERROR

短構文: MPOA.250 Recvd imposn rfrsh for purging ntry ( *ipxAddrPtr*, Prefix: *ipxPrefix*)

長構文: MPOA.250 Recvd imposn rfrsh for purging ntry ( *ipxAddrPtr*, Prefix: *ipxPrefix*)

説明: IPX エントリーに対する組み付け要求を受信しましたが、そのエントリーは除去処理中でした。E-MPS 論理のエラーの可能性を示しています。

---

**MPOA.251**

レベル: UE-ERROR

短構文: MPOA.251 Recvd imposn rqst, IPX network mismatch (old *oldNetwork*/ new *newNetwork*)

長構文: MPOA.251 Recvd imposn rqst, IPX network mismatch (old *oldNetwork*/ new *newNetwork*)

説明: 既存の出側キャッシュ・エントリーに対する組み付け要求を受信しましたが、あて先 IPX ネットワークが既存のものと異なっています。既存のエントリーは内部で削除され、新しいエントリーが作成されます。E-MPS 論理のエラーの可能性を示しています。

---

**MPOA.252**

レベル: UE-ERROR

短構文: MPOA.252 Recvd imposn rqst, IPX address mismatch (old *ipxAddrPtr1*/ new *ipxAddrPtr2*)

長構文: MPOA.252 Recvd imposn rqst, IPX address mismatch (old *ipxAddrPtr1*/ new *ipxAddrPtr2*)

説明: 既存の出側キャッシュ・エントリーに対する組み付け要求を受信しましたが、あて先 IPX アドレスが既存のものと異なっています。既存のエントリーは内部で削除され、新しいエントリーが作成されます。E-MPS 論理のエラーの可能性を示しています。

---

**MPOA.253**

レベル: UE-ERROR

短構文: MPOA.253 Recvd IPX imposn rqst had src atm addr mismatch ( *ipxAddrPtr*, Prefix: *ipxPrefix*)

長構文: MPOA.253 Recvd IPX imposn rqst had src atm addr mismatch ( *ipxAddrPtr*, Prefix: *ipxPrefix*)

説明: 既存の出側キャッシュ・エントリーに対する IPX 組み付け要求を受信しましたが、発信元 ATM アドレスが既存のものと異なっています。既存のエントリーは内部で削除され、新しいエントリーが作成されます。E-MPS 論理のエラーの可能性を示しています。

---

**MPOA.254**

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.254 Recvd IPX imposn rqst had dll mismatch!( *ipxAddrPtr*, Prefix: *ipxPrefix*)

長構文: MPOA.254 Recvd IPX imposn rqst had dll mismatch!( *ipxAddrPtr*, Prefix: *ipxPrefix*)

説明: 既存の出側キャッシュ・エントリーに対する IPX 組み付け要求を受信しましたが、DLL が直前の要求で提供されたものと異なっていました。MPC は内部の古いエントリーを削除し、新しい情報を入れた新規のエントリーを作成します。

---

**MPOA.255**

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.255 Egress IPX cache entry refreshed (*ipxAddrPtr*, Prefix: *ipxPrefix*, x *cacheID*, *entryTypeString*)

長構文: MPOA.255 Egress IPX cache entry refreshed (*ipxAddrPtr*, Prefix: *ipxPrefix*, x *cacheID*, *entryTypeString*)

説明: 指定のプロトコル・アドレスとプレフィックスの組みの既存の出側 IPX キャッシュ・エントリーがリフレッシュされました。キャッシュ ID とエントリーのタイプも印刷されています。

---

**MPOA.256**

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.256 IPX prtcl addr based e-mps purge recvd ( *ipxAddrPtr*, Prefix: *ipxPrefix*)

長構文: MPOA.256 IPX prtcl addr based e-mps purge recvd ( *ipxAddrPtr*, Prefix: *ipxPrefix*)

説明: 一定の範囲の IPX プロトコル・アドレスに対する e-mps 除去を受信しました。この範囲は、プロトコル・アドレスとプレフィックスによって指定されています (範囲は 1 つのアドレスだけでも指定できます)。

---

**MPOA.257**

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.257 MPC ( *atmIntfNum*) IP STARTED

長構文: MPOA.257 MPC ( *atmIntfNum*) IP STARTED

説明: MPC インスタンスの IP 動作を始動中です。

---

**MPOA.258**

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.258 MPC ( *atmIntfNum*) IPX STARTED

長構文: MPOA.258 MPC ( *atmIntfNum*) IPX STARTED

説明: MPC インスタンスの IPX 動作を始動中です。

---

**MPOA.259**

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.259 Sending MPS MAC invalid IPX dpp rqst! ( *ipxAddrPtr*, Prefix: *ipxPrefix*, id *cacheId*)

長構文: MPOA.259 Sending MPS MAC invalid IPX dpp rqst! ( *ipxAddrPtr*, Prefix: *ipxPrefix*, id *cacheId*)

説明: 対応する MPS MAC アドレスが有効でなくなったために、エントリーのデータ平面除去要求を送信しています。エントリーの IPX プロトコル・アドレスとプレフィックス、およびキャッシュ ID が表示されています。

---

**MPOA.260**

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.260 MPC (*atmIntfNum*): recv 'enable\_disable\_string IPX' config TLV from LECS: LEC (*lecIntfNum*)

長構文: MPOA.260 MPC (*atmIntfNum*): recv 'enable\_disable\_string IPX' config TLV from LECS: LEC (*lecIntfNum*)

説明: MPC は LECS から IPX フロー検出を使用可能または使用不可にするのを制御する構成 TLV を受信しました。

---

**MPOA.261**

レベル: UI-ERROR

短構文: MPOA.261 MPC => DOWN: FDDL user reg failed: x *errString*

長構文: MPOA.261 MPC => DOWN: FDDL user reg failed: x *errString*

説明: FDDL インターフェースのユーザーとしての登録が失敗しました。その結果、MPC はダウンになります。

---

**MPOA.262**

レベル: UI-ERROR

短構文: MPOA.262 MPC => DOWN: FDDL user reg failed: x *errString*

長構文: MPOA.262 MPC => DOWN: FDDL user reg failed: x *errString*

説明: FDDL インターフェースの構成設定要求が失敗しました。その結果、MPC はダウンになります。

---

**MPOA.263**

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.263 MPC ( *atmIntfNum*): FDDL add failed MPS MAC addr (x *macAddr*): LEC ( *lecIntfNum*): MPS ATM addr = x *mpsAtmAddr*

長構文: MPOA.263 MPC ( *atmIntfNum*): refreshed MPS MAC Addr (x *macAddr*): LEC ( *lecIntfNum*): MPS ATM addr = x *mpsAtmAddr*

説明: MAC アドレスと MPS とのアソシエーションがリフレッシュされていません。

---

**MPOA.264**

レベル: UI-ERROR

短構文: MPOA.264 MPC: anchor tag cb init failed

長構文: MPOA.264 MPC: anchor tag control block initialization failed.

説明: MPC: アンカー・タグ制御ブロックの初期化に失敗しました。

---

**MPOA.265**

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.265 MPC: FDDL MPS MAC ADDR Update cycle successful

長構文: MPOA.265 MPC: FDDL MPS MAC ADDR Update cycle successful

説明: MPC: FDDL MPS MAC アドレス更新サイクルが正常に行なわれました。

---

**MPOA.266**

レベル: UI-ERROR

短構文: MPOA.266 MPC ( *atmIntfNum*) Egress Cache Tag ( *tagValue*) Deletion from FDDL Failed

長構文: MPOA.266 MPC ( *atmIntfNum*) Egress Cache Tag ( *tagValue*) Deletion from FDDL Failed

---

説明: MPC インスタンスは、FDDL から出側キャッシュ・タグを削除できませんでした。

---

**MPOA.267**

レベル: UI-ERROR

短構文: MPOA.267 MPC ( *atmIntfNum*) Egress Cache Tag ( *tagValue*) Addition to FDDL Failed

長構文: MPOA.267 MPC ( *atmIntfNum*) Egress Cache Tag ( *tagValue*) Addition to FDDL Failed

説明: MPC インスタンスは、FDDL に出側キャッシュ・タグを追加できませんでした。

---

**MPOA.268**

レベル: UE-ERROR

短構文: MPOA.268 Recvd imposn rqst had VEGA Blade/Boxmismatch ( *ipAddress/ ipAddressMask*)

長構文: MPOA.268 Recvd imposn rqst had VEGA Blade/Boxmismatch ( *ipAddress/ ipAddressMask*)

説明: 既存の出側キャッシュ・エントリーに対する組み付け要求を受信しましたが、ブレード/ボックス属性が既存のものと異なっています。既存のエントリーは内部で削除され、新しいエントリーが作成されます。

---

**MPOA.269**

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.269 Recvd IPX imposn rqst had box/blade mismatch!( *ipxAddrPtr*, Prefix: *ipxPrefix*)

長構文: MPOA.269 Recvd IPX imposn rqst had box/blade mismatch!( *ipxAddrPtr*, Prefix: *ipxPrefix*)

説明: 既存の出側キャッシュ・エントリーに対する IPX 組み付け要求を受信しましたが、ボックス/ブレード属性が直前の要求で提供されたものと異なっていました。MPC は内部の古いエントリーを削除し、新しい情報を入れた新しいエントリーを作成します。

---

**MPOA.270**

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.270 MPC: FDDL MPS MAC ADDR Update cycle called

長構文: MPOA.270 MPC: FDDL MPS MAC ADDR Update cycle called

説明: MPC: FDDL MPS MAC アドレス更新サイクルが呼び出されました。

---

---

**MPOA.271**

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.271 MPC ( *atmIntfNum*) Egress Cache Tag ( *tagValue*) Deletion from FDDL Called

長構文: MPOA.271 MPC ( *atmIntfNum*) Egress Cache Tag ( *tagValue*) Deletion from FDDL Called

説明: MPC: FDDL から出側キャッシュ・タグ削除が呼び出されました。

---

**MPOA.272**

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.272 MPC ( *atmIntfNum*) Egress Cache Tag ( *tagValue*) Addition to FDDL Called

長構文: MPOA.272 MPC ( *atmIntfNum*) Egress Cache Tag ( *tagValue*) Addition to FDDL Called

説明: MPC: FDDL への出側キャッシュ・タグ加算がコールされました。

---

**MPOA.273**

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.273 MPC ( *atmIntfNum*): MPS ID ( *mpsId*) MPS MAC addr (x *macAddr*) Add. to FDDL Called

長構文: MPOA.273 MPC ( *atmIntfNum*): MPS ID ( *mpsId*) MPS MAC addr (x *macAddr*) Addition to FDDL Called

説明: MPC: FDDL への MPS MAC アドレス追加がコールされました。

---

**MPOA.274**

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.274 MPC ( *atmIntfNum*): MPS ID ( *mpsId*) MPS MAC addr (x *macAddr*) Add. to FDDL Failed

長構文: MPOA.274 MPC ( *atmIntfNum*): MPS ID ( *mpsId*) MPS MAC addr (x *macAddr*) Addition to FDDL Failed

説明: MPC: FDDL への MPS MAC アドレス追加が失敗しました。

---

**MPOA.275**

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.275 MPC ( *atmIntfNum*): MPS ID ( *mpsId*) MPS MAC addr (x *macAddr*) Del. from FDDL Called

長構文: MPOA.275 MPC ( *atmIntfNum*): MPS ID ( *mpsId*) MPS MAC addr (x *macAddr*) Deletion from FDDL Called

説明: MPC: FDDL からの MPS MAC アドレス削除がコールされました。

---

**MPOA.276**

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.276 MPC ( *atmIntfNum*): MPS ID ( *mpsId*) MPS MAC addr (x *macAddr*) Del. from FDDL Failed.

長構文: MPOA.276 MPC ( *atmIntfNum*): MPS ID ( *mpsId*) MPS MAC addr (x *macAddr*) Deletion from FDDL Failed.

説明: MPC: FDDL への MPS MAC アドレス追加が失敗しました。

---

**MPOA.277**

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.277 MPC ( *atmIntfNum*) Init Failed. Max. possible MPC instances exceeded

長構文: MPOA.277 MPC ( *atmIntfNum*) Init Failed. Max. possible MPC instances exceeded

説明: 最大可能な MPC インスタンスがすでに実行されているので、MPC インスタンスを初期化できませんでした。

---

**MPOA.278**

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.278 MPC ( *atmIntfNum*): SRAM update performed (Addition of MPC\_PROTOCOL SRAM)

長構文: MPOA.278 MPC ( *atmIntfNum*): SRAM update performed (Addition of MPC\_PROTOCOL SRAM)

説明: 共通 SRAM レコードのみが存在します。そこで、構成にプロトコル SRAM レコードが追加されました。



---

**MPOA.279**

レベル: UI-ERROR

短構文: MPOA.279 MPOA: LEC assoc. with MPC instance failed, no MPC on device: ( *atmIntfNum*)

長構文: MPOA.279 MPOA: LEC assoc. with MPC instance failed, no MPC on device: ( *atmIntfNum*)

説明: LEC の起動時に、lecUp メッセージで、LEC が ATM インターフェース上で稼働しているが、そのインターフェースで実行されている MPC がないと、通知されました。

---

**MPOA.280**

レベル: UI-ERROR

短構文: MPOA.280 MPC ( *atmIntfNum*): Loc. shortcut to ( *ipAddress*) is untagged. FDDL Ing cache Add not done

長構文: MPOA.280 MPC ( *atmIntfNum*): Loc. shortcut to ( *ipAddress*) is untagged. FDDL Ing cache Add not done

説明: ローカル・ショートカットのタイプは、必ず "タグ付き" である必要があります。しかし、この場合には、タグなしです。したがって、入側キャッシュ・エントリーを追加するための fddl コールは行なわれません。

---

**MPOA.281**

レベル: UI-ERROR

短構文: MPOA.281 MPC ( *atmIntfNum*): Loc. shortcut to ( *ipAddress*) has bad tag ( *tag*). FDDL Ing cache Add not done

長構文: MPOA.281 MPC ( *atmIntfNum*): Loc. shortcut to ( *ipAddress*) is bad tag ( *tag*). FDDL Ing cache Add not done

説明: ローカル・ショートカットのタグは無効でした。したがって、入側キャッシュ・エントリーを追加するための fddl コールは行なわれません。

---

**MPOA.282**

レベル: UI-ERROR

短構文: MPOA.282 MPC ( *atmIntfNum*): FDDL LAN dest ( *macAddress*) to interface failed.

長構文: MPOA.282 MPC ( *atmIntfNum*): FDDL LAN dest ( *macAddress*) to interface failed.

説明: 示された MAC アドレスが存在する既存のイン

ターフェースを検索する fddl コールは成功しませんでした。

---

**MPOA.283**

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.283 MPC ( *atmIntfNum*): Flow Indication for MPS ( *mpsId*) received.

長構文: MPOA.283 MPC ( *atmIntfNum*): Flow Indication for the MPS ( *mpsId*) received at CPU.

説明: データ・フレームが MPS へとブリッジされました。EPIF が CPU に指示を送信します。

---

**MPOA.284**

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.284 MPOA: MPC( *atmIntfNum*): FDDL Delete Ingress Cache Entry. IP addr = *ipAddr*, prefix len = *prefixLength* int = *intf*

長構文: MPOA.284 MPOA: MPC( *atmIntfNum*): FDDL Delete Ingress Cache Entry. IP addr = *ipAddr*, prefix len = *prefixLength* from interface *intf*

説明: 示されたインターフェースで EPIF 記憶域から入側キャッシュ・エントリーが削除されています。

---

**MPOA.285**

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.285 MPOA: MPC( *atmIntfNum*): FDDL Add Ingress Cache Entry. IP addr = *ipAddr*, prefix len = *prefixLength* int = *intf*

長構文: MPOA.285 MPOA: MPC( *atmIntfNum*): FDDL Add Ingress Cache Entry. IP addr = *ipAddr*, prefix len = *prefixLength* from interface *intf*

説明: 示されたインターフェースで入側キャッシュ・エントリーが EPIF 記憶域に追加されています。

---

**MPOA.286**

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.286 MPC ( *atmIntfNum*): MPS ID ( *mpsId*) Addition to FDDL Called

長構文: MPOA.286 MPC ( *atmIntfNum*): MPS ID ( *mpsId*) Addition to FDDL Called

説明: MPC: FDDL への MPS ID 追加がコールされました。



---

**MPOA.287**

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.287 MPC ( *atmIntfNum*): MPS ID ( *mpsId*) Addition to FDDL Failed!

長構文: MPOA.287 MPC ( *atmIntfNum*): MPS ID ( *mpsId*) Addition to FDDL Failed!

説明: MPC: FDDL への MPS ID 追加が失敗しました。

---

**MPOA.288**

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.288 MPC ( *atmIntfNum*): MPS ID ( *mpsId*) Deletion from FDDL Called

長構文: MPOA.288 MPC ( *atmIntfNum*): MPS ID ( *mpsId*) Deletion from FDDL Called

説明: MPC: FDDL からの MPS ID 削除がコールされました。

---

**MPOA.289**

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.289 MPC ( *atmIntfNum*): MPS ID ( *mpsId*) MPS MAC addr ( *x* ) Del. from FDDL Failed.

長構文: MPOA.289 MPC ( *atmIntfNum*): MPS ID ( *mpsId*) MPS MAC addr ( *x* ) Deletion from FDDL Failed.

説明: MPC: FDDL からの MPS ID 削除が失敗しました。

---

**MPOA.290**

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.290 MPC ( *atmIntfNum*): Flow Indication for IP destination ( *ipAddr*) is processed.

長構文: MPOA.290 MPC ( *atmIntfNum*): Flow Detection Indication for IP destination ( *ipAddr*) is processed.

説明: MPC: 示された IP あて先へのフレームが MPS MAC アドレスにブリッジされます。

---

**MPOA.291**

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.291 MPC ( *atmIntfNum*): Flow Indication for IPX destination ( *x ipxAddr*) is processed.

長構文: MPOA.291 MPC ( *atmIntfNum*): Flow Detection Indication for IPX destination ( *x ipxAddr*) is processed.

説明: MPC: 示された IPX あて先へのフレームが MPS MAC アドレスにブリッジされます。

---

**MPOA.292**

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.292 MPC ( *atmIntfNum*) Init Aborted.EPIF runtime image is not MPOA capable

長構文: MPOA.292 MPC ( *atmIntfNum*) Init Aborted.EPIF runtime image is not MPOA capable

説明: EPIF 実行時イメージは MPOA が使えないので、MPC インスタンスを初期化できませんでした。

---

**MPOA.293**

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.293 MPC ( *atmIntfNum*) Init Aborted because of lack of SRAM record

長構文: MPOA.293 MPC ( *atmIntfNum*) Init Aborted because of lack of SRAM record

説明: MPC インスタンス用の SRAM がなかったため、MPC インスタンスを初期化できませんでした。現在、SRAM レコードが存在する必要があるのは、8371 を初期化する場合のみです。

---

**MPOA.294**

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.294 MPC ( *atmIntfNum*) Init Aborted because of SRAM record being in disabled state

長構文: MPOA.294 MPC ( *atmIntfNum*) Init Aborted because of SRAM record being in disabled state

説明: 対応する SRAM レコードが使用不可の状態にあるため、MPC インスタンスを初期化できませんでした。

---

**MPOA.295**

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.295 MPC ( *atmIntfNum*) Init Aborted because of bridge SRAM record is disabled/absent

長構文: MPOA.295 MPC ( *atmIntfNum*) Init Aborted because of bridge SRAM record is disabled/absent

説明: ブリッジ SRAM レコードが使用不可であるか、存在しないため、MPC インスタンスを初期化できませんでした。

---

**MPOA.296**

レベル: U-INFO

短構文: MPOA.296 MPC ( *atmIntfNum*) Init Aborted  
because of SELF SRAM record is enabled

長構文: MPOA.296 MPC ( *atmIntfNum*) Init Aborted  
because of SELF SRAM record is enabled

説明: SELF SRAM レコードが使用可能であるため、  
MPC インスタンスは初期化できませんでした。

---

**MPOA.297**

レベル: C-INFO

短構文: MPOA.297 MPC ( *atmIntfNum*): Imposition  
Requestion for IP Host ( *ipAddr*) is processed.

長構文: MPOA.297 MPC ( *atmIntfNum*): Imposition  
Requestion for IP Host ( *ipAddr*) is processed.

説明: MPC: 組み付け要求は、内部 IP アドレスをあて  
先とします。



---

## 第82章 NetBIOS サポート・サブシステム (NBS)

この章では、NetBIOS サポート・サブシステム (NBS) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### NBS.001

レベル: C-INFO

短構文: NBS.001 *instance\_str*NetBIOS Add\_Name\_Query received from bridge for *source\_nbname*(*source\_macaddr*)-> *dest\_nbname*(*dest\_macaddr*)

長構文: NBS.001 *instance\_str*NetBIOS Add\_Name\_Query received from bridge for source name(MAC) *source\_nbname* (*source\_macaddr*) -> target name(MAC) *dest\_nbname* (*dest\_macaddr*)

説明: NetBIOS ソフトウェアが、ブリッジで結ばれているネットワークから NetBIOS Add\_Name\_Query フレームを受信しました。

---

### NBS.002

レベル: C-INFO

短構文: NBS.002 *instance\_str*NetBIOS Add\_Group\_Name\_Query received from bridge for *source\_nbname*(*source\_macaddr*)-> *dest\_nbname* (*dest\_macaddr*)

長構文: NBS.002 *instance\_str*NetBIOS Add\_Group\_Name\_Query received from bridge for source name(MAC) *source\_nbname* (*source\_macaddr*) -> target name(MAC) *dest\_nbname* (*dest\_macaddr*)

説明: NetBIOS ソフトウェアが、ブリッジで結ばれているネットワークから、Add\_Group\_Name\_Query フレームを受信しました。

---

### NBS.003

レベル: C-INFO

短構文: NBS.003 *instance\_str*NetBIOS Add\_Name\_Response received from bridge for *source\_nbname* (*source\_macaddr*)-> *dest\_nbname* (*dest\_macaddr*)

長構文: NBS.003 *instance\_str*NetBIOS Add\_Name\_Response received from bridge for source name(MAC) *source\_nbname* (*source\_macaddr*) -> target name(MAC) *dest\_nbname* (*dest\_macaddr*)

説明: NetBIOS ソフトウェアが、ブリッジで結ばれて

いるネットワークから NetBIOS Add\_Name\_Response フレームを受信しました。

---

### NBS.004

レベル: C-INFO

短構文: NBS.004 *instance\_str*NetBIOS Name\_Query received from bridge for *source\_nbname* (*source\_macaddr*)-> *dest\_nbname* (*dest\_macaddr*)

長構文: NBS.004 *instance\_str*NetBIOS Name\_Query received from bridge for source name(MAC) *source\_nbname* (*source\_macaddr*) -> target name(MAC) *dest\_nbname* (*dest\_macaddr*)

説明: NetBIOS ソフトウェアが、ブリッジで結ばれているネットワークから NetBIOS Name\_Query フレームを受信しました。

---

### NBS.005

レベル: C-INFO

短構文: NBS.005 *instance\_str*NetBIOS Name\_Recognized received from bridge for *source\_nbname* (*source\_macaddr*)-> *dest\_nbname* (*dest\_macaddr*)

長構文: NBS.005 *instance\_str*NetBIOS Name\_Recognized received from bridge for source name(MAC) *source\_nbname* (*source\_macaddr*) -> target name(MAC) *dest\_nbname* (*dest\_macaddr*)

説明: NetBIOS ソフトウェアが、ブリッジで結ばれているネットワークから NetBIOS Name\_Recognized フレームを受信しました。

---

### NBS.006

レベル: C-INFO

短構文: NBS.006 *instance\_str*NetBIOS Name\_In\_Conflict received from bridge for *source\_nbname* (*source\_macaddr*)-> *dest\_nbname* (*dest\_macaddr*)

長構文: NBS.006 *instance\_str*NetBIOS Name\_In\_Conflict received from bridge for source name(MAC) *source\_nbname* (*source\_macaddr*) -> target name(MAC) *dest\_nbname* (*dest\_macaddr*)

説明: NetBIOS ソフトウェアが、ブリッジで結ばれて

いるネットワークから NetBIOS Name\_In\_Conflict フレームを受信しました。

---

#### NBS.007

レベル: C-INFO

短構文: NBS.007 *instance\_str*NetBIOS Status\_Query received from bridge for *source\_nbname* (*source\_macaddr*)-> *dest\_nbname* (*dest\_macaddr*)

長構文: NBS.007 *instance\_str*NetBIOS Status\_Query received from bridge for source name(MAC) *source\_nbname* (*source\_macaddr*) -> target name(MAC) *dest\_nbname* (*dest\_macaddr*)

説明: NetBIOS ソフトウェアが、ブリッジで結ばれているネットワークから NetBIOS Status\_Query フレームを受信しました。

---

#### NBS.008

レベル: C-INFO

短構文: NBS.008 *instance\_str*NetBIOS Status\_Response received from bridge for *source\_nbname* (*source\_macaddr*)-> *dest\_nbname* (*dest\_macaddr*)

長構文: NBS.008 *instance\_str*NetBIOS Status\_Response received from bridge for source name(MAC) *source\_nbname* (*source\_macaddr*) -> target name(MAC) *dest\_nbname* (*dest\_macaddr*)

説明: NetBIOS ソフトウェアが、ブリッジで結ばれているネットワークから NetBIOS Status\_Response フレームを受信しました。

---

#### NBS.009

レベル: C-INFO

短構文: NBS.009 *instance\_str*NetBIOS Datagram received from bridge for *source\_nbname* (*source\_macaddr*)-> *dest\_nbname* (*dest\_macaddr*)

長構文: NBS.009 *instance\_str*NetBIOS Datagram received from bridge for source name(MAC) *source\_nbname* (*source\_macaddr*) -> target name(MAC) *dest\_nbname* (*dest\_macaddr*)

説明: NetBIOS ソフトウェアが、ブリッジで結ばれているネットワークから NetBIOS Datagram フレームを受信しました。

---

#### NBS.010

レベル: C-INFO

短構文: NBS.010 *instance\_str*NetBIOS Datagram\_Broadcast received from bridge for *source\_nbname* (*source\_macaddr*)-> *dest\_nbname* (*dest\_macaddr*)

長構文: NBS.010 *instance\_str*NetBIOS Datagram\_Broadcast received from bridge for source name(MAC) *source\_nbname* (*source\_macaddr*) -> target name(MAC) *dest\_nbname* (*dest\_macaddr*)

説明: NetBIOS ソフトウェアが、ブリッジで結ばれているネットワークから、NetBIOS Datagram\_Broadcast フレームを受信しました。

---

#### NBS.011

レベル: C-INFO

短構文: NBS.011 *instance\_str*NetBIOS Terminate\_Trace\_07 received from bridge for *source\_nbname* (*source\_macaddr*)-> *dest\_nbname* (*dest\_macaddr*)

長構文: NBS.011 *instance\_str*NetBIOS Terminate\_Trace\_07 received from bridge for source name(MAC) *source\_nbname* (*source\_macaddr*) -> target name(MAC) *dest\_nbname* (*dest\_macaddr*)

説明: NetBIOS ソフトウェアが、ブリッジで結ばれているネットワークから NetBIOS Terminate\_Trace\_07 フレームを受信しました。

---

#### NBS.012

レベル: C-INFO

短構文: NBS.012 *instance\_str*NetBIOS Terminate\_Trace\_13 received from bridge for *source\_nbname* (*source\_macaddr*)-> *dest\_nbname* (*dest\_macaddr*)

長構文: NBS.012 *instance\_str*NetBIOS Terminate\_Trace\_13 received from bridge for source name(MAC) *source\_nbname* (*source\_macaddr*) -> target name(MAC) *dest\_nbname* (*dest\_macaddr*)

説明: NetBIOS ソフトウェアが、ブリッジで結ばれているネットワークから NetBIOS Terminate\_Trace\_13 フレームを受信しました。

---

**NBS.013**

レベル: C-INFO

短構文: NBS.013 *instance\_strUnrecognized* NetBIOS frame received from bridge for *source\_nbname* (*source\_macaddr*)-> *dest\_nbname*( *dest\_macaddr*)

長構文: NBS.013 *instance\_strUnrecognized* NetBIOS frame received from bridge for source name(MAC) *source\_nbname*( *source\_macaddr*) -> target name(MAC) *dest\_nbname*( *dest\_macaddr*)

説明: NetBIOS ソフトウェアが、ブリッジで結ばれているネットワークから、認識できない NetBIOS フレームを受信しました。

---

**NBS.014**

レベル: C-INFO

短構文: NBS.014 *instance\_strNetBIOS Add\_Name\_Query* received from dlswh for *source\_nbname*( *source\_macaddr*)-> *dest\_nbname*( *dest\_macaddr*)

長構文: NBS.014 *instance\_strNetBIOS Add\_Name\_Query* received from dlswh for source name(MAC) *source\_nbname*( *source\_macaddr*) -> target name(MAC) *dest\_nbname*( *dest\_macaddr*)

説明: NetBIOS ソフトウェアが、DLSw ネットワークから、NetBIOS Add\_Name\_Query フレームを受信しました。

---

**NBS.015**

レベル: C-INFO

短構文: NBS.015 *instance\_strNetBIOS Add\_Group\_Name\_Query* received from dlswh for *source\_nbname*( *source\_macaddr*)-> *dest\_nbname*( *dest\_macaddr*)

長構文: NBS.015 *instance\_strNetBIOS Add\_Group\_Name\_Query* received from dlswh for source name(MAC) *source\_nbname*( *source\_macaddr*) -> target name(MAC) *dest\_nbname*( *dest\_macaddr*)

説明: NetBIOS ソフトウェアが、DLSw ネットワークから、NetBIOS Add\_Group\_Name\_Query フレームを受信しました。

---

**NBS.016**

レベル: C-INFO

短構文: NBS.016 *instance\_strNetBIOS Add\_Name\_Response* received from dlswh for

*source\_nbname*( *source\_macaddr*)-> *dest\_nbname*( *dest\_macaddr*)

長構文: NBS.016 *instance\_strNetBIOS Add\_Name\_Response* received from dlswh for source name(MAC) *source\_nbname*( *source\_macaddr*) -> target name(MAC) *dest\_nbname*( *dest\_macaddr*)

説明: NetBIOS ソフトウェアが、DLSw ネットワークから、NetBIOS Add\_Name\_Response フレームを受信しました。

---

**NBS.017**

レベル: C-INFO

短構文: NBS.017 *instance\_strNetBIOS Name\_Query* received from dlswh for *source\_nbname*( *source\_macaddr*)-> *dest\_nbname*( *dest\_macaddr*)

長構文: NBS.017 *instance\_strNetBIOS Name\_Query* received from dlswh for source name(MAC) *source\_nbname*( *source\_macaddr*) -> target name(MAC) *dest\_nbname*( *dest\_macaddr*)

説明: NetBIOS ソフトウェアが、DLSw ネットワークから、NetBIOS Name\_Query フレームを受信しました。

---

**NBS.018**

レベル: C-INFO

短構文: NBS.018 *instance\_strNetBIOS Name\_Recognized* received from dlswh for *source\_nbname*( *source\_macaddr*)-> *dest\_nbname*( *dest\_macaddr*)

長構文: NBS.018 *instance\_strNetBIOS Name\_Recognized* received from dlswh for source name(MAC) *source\_nbname*( *source\_macaddr*) -> target name(MAC) *dest\_nbname*( *dest\_macaddr*)

説明: NetBIOS ソフトウェアが、DLSw ネットワークから、NetBIOS Name\_Recognized フレームを受信しました。

---

**NBS.019**

レベル: C-INFO

短構文: NBS.019 *instance\_strNetBIOS Name\_In\_Conflict* received from dlswh for *source\_nbname*( *source\_macaddr*)-> *dest\_nbname*( *dest\_macaddr*)

長構文: NBS.019 *instance\_strNetBIOS Name\_In\_Conflict* received from dlswh for source name(MAC) *source\_nbname*( *source\_macaddr*) -> target name(MAC) *dest\_nbname*( *dest\_macaddr*)

説明: NetBIOS ソフトウェアが、DLSw ネットワーク



から、NetBIOS Name\_In\_Conflict フレームを受信しました。

---

#### NBS.020

レベル: C-INFO

短構文: NBS.020 *instance\_str*NetBIOS Status\_Query received from dlsW for *source\_nbname*(*source\_macaddr*)-> *dest\_nbname*(*dest\_macaddr*)

長構文: NBS.020 *instance\_str*NetBIOS Status\_Query received from dlsW for source name(MAC) *source\_nbname*(*source\_macaddr*) -> target name(MAC) *dest\_nbname*(*dest\_macaddr*)

説明: NetBIOS ソフトウェアが、DLSw ネットワークから、NetBIOS Status\_Query フレームを受信しました。

---

#### NBS.021

レベル: C-INFO

短構文: NBS.021 *instance\_str*NetBIOS Status\_Response received from dlsW for *source\_nbname*(*source\_macaddr*)-> *dest\_nbname*(*dest\_macaddr*)

長構文: NBS.021 *instance\_str*NetBIOS Status\_Response received from dlsW for source name(MAC) *source\_nbname*(*source\_macaddr*) -> target name(MAC) *dest\_nbname*(*dest\_macaddr*)

説明: NetBIOS ソフトウェアが、DLSw ネットワークから、NetBIOS Status\_Response フレームを受信しました。

---

#### NBS.022

レベル: C-INFO

短構文: NBS.022 *instance\_str*NetBIOS Datagram received from dlsW for *source\_nbname*(*source\_macaddr*)-> *dest\_nbname*(*dest\_macaddr*)

長構文: NBS.022 *instance\_str*NetBIOS Datagram received from dlsW for source name(MAC) *source\_nbname*(*source\_macaddr*) -> target name(MAC) *dest\_nbname*(*dest\_macaddr*)

説明: NetBIOS ソフトウェアが、DLSw ネットワークから、NetBIOS Datagram フレームを受信しました。

---

#### NBS.023

レベル: C-INFO

短構文: NBS.023 *instance\_str*NetBIOS Datagram\_Broadcast received from dlsW for

*source\_nbname*(*source\_macaddr*)-> *dest\_nbname*(*dest\_macaddr*)

長構文: NBS.023 *instance\_str*NetBIOS Datagram\_Broadcast received from dlsW for source name(MAC) *source\_nbname*(*source\_macaddr*) -> target name(MAC) *dest\_nbname*(*dest\_macaddr*)

説明: NetBIOS ソフトウェアが、DLSw ネットワークから、NetBIOS Datagram\_Broadcast フレームを受信しました。

---

#### NBS.024

レベル: C-INFO

短構文: NBS.024 *instance\_str*NetBIOS Terminate\_Trace\_07 received from dlsW for *source\_nbname*(*source\_macaddr*)-> *dest\_nbname*(*dest\_macaddr*)

長構文: NBS.024 *instance\_str*NetBIOS Terminate\_Trace\_07 received from dlsW for source name(MAC) *source\_nbname*(*source\_macaddr*) -> target name(MAC) *dest\_nbname*(*dest\_macaddr*)

説明: NetBIOS ソフトウェアが、DLSw ネットワークから NetBIOS Terminate\_Trace\_07 フレームを受信しました。

---

#### NBS.025

レベル: C-INFO

短構文: NBS.025 *instance\_str*NetBIOS Terminate\_Trace\_13 received from dlsW for *source\_nbname*(*source\_macaddr*)-> *dest\_nbname*(*dest\_macaddr*)

長構文: NBS.025 *instance\_str*NetBIOS Terminate\_Trace\_13 received from dlsW for source name(MAC) *source\_nbname*(*source\_macaddr*) -> target name(MAC) *dest\_nbname*(*dest\_macaddr*)

説明: NetBIOS ソフトウェアが、DLSw ネットワークから NetBIOS Terminate\_Trace\_13 フレームを受信しました。

---

#### NBS.026

レベル: C-INFO

短構文: NBS.026 *instance\_str*Unrecognized NetBIOS frame received from dlsW for *source\_nbname*(*source\_macaddr*)-> *dest\_nbname*(*dest\_macaddr*)

長構文: NBS.026 *instance\_str*Unrecognized NetBIOS frame received from dlsW for source name(MAC)

*source\_nbname( source\_macaddr) -> target name(MAC)*  
*dest\_nbname( dest\_macaddr)*

**説明:** NetBIOS ソフトウェアが、DLSw ネットワークから、認識できない NetBIOS フレームを受信しました。

---

#### NBS.027

**レベル:** C-INFO

**短構文:** NBS.027 *instance\_str*NetBIOS frame for *source\_nbname-> dest\_nbname* not forwarded to bridge - frame type filter

**長構文:** NBS.027 *instance\_str*NetBIOS frame for source name *source\_nbname -> dest name dest\_nbname* not forwarded to bridge due to frame type filter

**説明:** NetBIOS ソフトウェア・ブリッジ・フレーム・タイプ・フィルターが、ブリッジで結ばれているネットワークに、示されている NetBIOS フレームを転送しませんでした。このフレームは、NetBIOS サポート・ブリッジ・フレーム・タイプ・フィルターによってフィルターされました。

---

#### NBS.028

**レベル:** C-INFO

**短構文:** NBS.028 *instance\_str*NetBIOS frame for *source\_nbname-> dest\_nbname* not forwarded to dlsw - frame type filter

**長構文:** NBS.028 *instance\_str*NetBIOS frame for source name *source\_nbname -> dest name dest\_nbname* not forwarded to DLSw due to frame type filter

**説明:** ルーターは、示されている NetBIOS フレームが、NetBIOS サポート DLSw フレーム・タイプ・フィルターによってフィルターされたために、そのフレームを DLSw ネットワークに転送しませんでした。

---

#### NBS.029

**レベル:** C-INFO

**短構文:** NBS.029 *instance\_str*NetBIOS frame for *source\_nbname-> dest\_nbname* not forwarded to bridge - no name cache entry

**長構文:** NBS.029 *instance\_str*NetBIOS frame for source name *source\_nbname -> dest name dest\_nbname* not forwarded to bridge due to no matching name cache entry created

**説明:** ルーターは、示されている NetBIOS フレームが、対応する名前キャッシュ項目を見付けられなかった、あるいは作成できなかったために、そのフレームを

ブリッジで結ばれているネットワークに転送しませんでした。

---

#### NBS.030

**レベル:** C-INFO

**短構文:** NBS.030 *instance\_str*NetBIOS frame for *source\_nbname-> dest\_nbname* not forwarded to dlsw - no name cache entry

**長構文:** NBS.030 *instance\_str*NetBIOS frame for source name *source\_nbname -> dest name dest\_nbname* not forwarded to dlsw due to no matching name cache entry created

**説明:** ルーターは、示されている NetBIOS フレームが、対応する名前キャッシュ項目を見付けられなかった、あるいは作成できなかったために、そのフレームを DLSw ネットワークに転送しませんでした。

---

#### NBS.031

**レベル:** C-INFO

**短構文:** NBS.031 *instance\_str*NetBIOS frame for *source\_nbname-> dest\_nbname* not forwarded to bridge - command processing

**長構文:** NBS.031 *instance\_str*NetBIOS frame for source name *source\_nbname -> dest name dest\_nbname* not forwarded to bridge due to duplicate command frame processing

**説明:** ルーターは、示されている NetBIOS フレームを、重複 NetBIOS コマンド・フレームとしてフィルターによって除外したために、そのフレームをブリッジで結ばれているネットワークに転送しませんでした。

---

#### NBS.032

**レベル:** C-INFO

**短構文:** NBS.032 *instance\_str*NetBIOS frame for *source\_nbname-> dest\_nbname* not forwarded to dlsw - command processing

**長構文:** NBS.032 *instance\_str*NetBIOS frame for source name *source\_nbname -> dest name dest\_nbname* not forwarded to dlsw due to duplicate command frame processing

**説明:** ルーターは、示されている NetBIOS フレームを、重複 NetBIOS コマンド・フレームとしてフィルターによって除外したために、そのフレームを DLSw ネットワークに転送しませんでした。

---

**NBS.033**

レベル: C-INFO

短構文: NBS.033 *instance\_str*NetBIOS frame for *source\_nbname*-> *dest\_nbname* not forwarded to bridge - response processing

長構文: NBS.033 *instance\_str*NetBIOS frame for source name *source\_nbname* -> dest name *dest\_nbname* not forwarded to bridge due to no command matching this response

説明: ルーターは、そのルーターがこの応答フレームと一致するコマンド・フレームを見付けられなかったために、示されている NetBIOS フレームをブリッジで結ばれているネットワークに転送しませんでした。

---

**NBS.034**

レベル: C-INFO

短構文: NBS.034 *instance\_str*NetBIOS frame for *source\_nbname*-> *dest\_nbname* not forwarded to dlsw - response processing

長構文: NBS.034 *instance\_str*NetBIOS frame for source name *source\_nbname* -> dest name *dest\_nbname* not forwarded to dlsw due to no command matching this response

説明: ルーターは、そのルーターがこの応答フレームと一致するコマンド・フレームを見付けられなかったために、示されている NetBIOS フレームを DLSw ネットワークに転送しませんでした。

---

**NBS.035**

レベル: C-INFO

短構文: NBS.035 *instance\_str*NetBIOS frame for *source\_nbname*-> *dest\_nbname* not forwarded to bridge - checking cache

長構文: NBS.035 *instance\_str*NetBIOS frame for source name *source\_nbname* -> dest name *dest\_nbname* not forwarded to bridge due to name cache processing checks

説明: ルーターは、示されている NetBIOS フレームを転送してはならないということが名前キャッシュ処理で示されたために、そのフレームをブリッジで結ばれているネットワークに転送しませんでした。

---

**NBS.036**

レベル: C-INFO

短構文: NBS.036 *instance\_str*NetBIOS frame for

*source\_nbname*-> *dest\_nbname* not forwarded to dlsw - checking cache

長構文: NBS.036 *instance\_str*NetBIOS frame for source name *source\_nbname* -> dest name *dest\_nbname* not forwarded to dlsw due to name cache processing checks

説明: ルーターは、示されている NetBIOS フレームを転送してはならないということが名前キャッシュ処理で示されたために、そのフレームを DLSw ネットワークに転送しませんでした。

---

**NBS.037**

レベル: C-INFO

短構文: NBS.037 *instance\_str*NetBIOS frame for *source\_nbname*-> *dest\_nbname* not forwarded to bridge - checking other

長構文: NBS.037 *instance\_str*NetBIOS frame for source name *source\_nbname* -> dest name *dest\_nbname* not forwarded to bridge due to other processing checks

説明: ルーターは、示されている NetBIOS フレームをブリッジで結ばれたネットワークに転送しませんでした。ルーターはそのフレームを転送してはならないことが、処理によって示されたためです。

---

**NBS.038**

レベル: C-INFO

短構文: NBS.038 *instance\_str*NetBIOS frame for *source\_nbname*-> *dest\_nbname* not forwarded to dlsw - checking other

長構文: NBS.038 *instance\_str*NetBIOS frame for source name *source\_nbname* -> dest name *dest\_nbname* not forwarded to dlsw due to other processing checks

説明: ルーターは、示されている NetBIOS フレームを転送してはならないということが処理で示されたために、そのフレームを DLSw ネットワークに転送しませんでした。

---

**NBS.039**

レベル: C-INFO

短構文: NBS.039 *instance\_str*Learning new NetBIOS name / MAC and RIF assoc for *source\_nbname* to *source\_macaddr*/ *rif*

長構文: NBS.039 *instance\_str*Learning new NetBIOS name to MAC address and RIF association for NetBIOSname *source\_nbname* to MAC *source\_macaddr* / RIF *rif*

説明: NetBIOS ソフトウェアは、MAC アドレスと RIF を、NetBIOS 名と関連付けています。この関連付けを、NetBIOS Name\_Querys、Name\_Recognizeds、および Datagrams で見付けてください。

---

#### NBS.040

レベル: C-INFO

短構文: NBS.040 *instance\_str*NetBIOS frame for *dest\_nname* modified with new MAC ( *dest\_macaddr*) and RIF ( *rif*)

長構文: NBS.040 *instance\_str*NetBIOS frame for destination name *dest\_nname* was modified with the new MAC ( *dest\_macaddr*) and RIF ( *rif*)

説明: ルーターは、キャッシュされた MAC アドレスとルーティング情報 (これが使用可能な場合) を使用して、ブリッジで結ばれたネットワークに転送されるように、NetBIOS フレームを変更しました。この変更は、NetBIOS Name\_Querys、Status\_Querys、Datagrams で行われます。

---

#### NBS.041

レベル: C-INFO

短構文: NBS.041 *instance\_str*NetBIOS name cache entry created for *nname*

長構文: NBS.041 *instance\_str*NetBIOS name cache entry created for NetBIOS name *nname*

説明: ルーターは、新しい NetBIOS 名前キャッシュ項目を作成しました。これは、一般的に、NetBIOS Name\_Querys、Status\_Querys、Add\_Name\_Querys、Add\_Group\_Name\_Querys、および Datagrams で行われます。

---

#### NBS.042

レベル: C-INFO

短構文: NBS.042 *instance\_str*NetBIOS command/response entry created for *nname*

長構文: NBS.042 *instance\_str*NetBIOS command/response entry created for NetBIOS name *nname*

説明: ルーターは、新しい NetBIOS コマンド/応答項目を作成しました。これは、一般的に、NetBIOS Name\_Querys、Status\_Querys、および Datagrams で行われます。

---

#### NBS.043

レベル: UE-ERROR

短構文: NBS.043 *instance\_str*NetBIOS name cache entry invalid (reason *reason*) for *nname*

長構文: NBS.043 *instance\_str*NetBIOS name cache entry validation error occurred (reason *reason*) for NetBIOS name *nname*

説明: 名前キャッシュ項目の妥当性検査で、その項目が無効であることが示されました。すなわち、ある特定のフィールドに、無効な値または無効な値の組み合わせが含まれている、ということです。示される可能性がある理由コードは、以下のとおりです。01 - *nlist\_search* / *name\_type* の組み合わせが無効。02 - *entry\_type* / *name\_type* の組み合わせが無効。03 - *name\_type* の値が無効。

---

#### NBS.044

レベル: C-INFO

短構文: NBS.044 *instance\_str*NetBIOS name cache entry deleted for *nname*

長構文: NBS.044 *instance\_str*NetBIOS name cache entry deleted for NetBIOS name *nname*

説明: ルーターは、NetBIOS 名前キャッシュ項目を削除しました。これは、一般的に、その項目が経過時間切れした (古くなった) ために行われます。

---

#### NBS.045

レベル: C-INFO

短構文: NBS.045 *instance\_str*NetBIOS Support component is active

長構文: NBS.045 *instance\_str*NetBIOS Support component is active

説明: NetBIOS ソフトウェアが、活動化され初期化されました。

---

#### NBS.046

レベル: UI-ERROR

短構文: NBS.046 no mem to alloc NB flt

長構文: NBS.046 No memory to allocate a NETBIOS Filter

説明: ルーターが、少なくとも 1 つの構成済み NetBIOS フィルターを活動化できなくなります。記憶域が不足しているためです。

原因: 空き記憶域の不足

処置: 記憶域のサイズを増やしてください。

---

#### NBS.047

レベル: U-INFO

短構文: NBS.047 *input\_output* NB flt lst, port *port\_number*, dlted

長構文: NBS.047 *input\_output* NETBIOS filter list, for port *port\_number*, deleted by user. Filter will not be enabled

説明: すでに構成が済んでいるフィルターの一部であるフィルター・リストが削除されました。そのフィルターを使用可能にできません。

原因: ユーザーの構成の誤り

処置: 削除されたフィルター・リストを再構成してください。

---

#### NBS.048

レベル: U-INFO

短構文: NBS.048 *input\_output* NB flt configd for port *port\_number*, port doesnt exist

長構文: NBS.048 *input\_output* NETBIOS filter for port *port\_number* is configured, but that port number is not configured

説明: 特定のポートの NetBIOS フィルターが構成されましたが、そのポート番号が構成されていません。

原因: ユーザーの構成の誤り

処置: NetBIOS フィルターを正しいポート番号用のものに再構成するか、NetBIOS フィルター内で構成したポート番号を SRT 構成に追加します。

---

#### NBS.049

レベル: C-TRACE

短構文: NBS.049 NB outp pkt fltd *source\_mac->dest\_mac*, prt *port*, nt *network*

長構文: NBS.049 NETBIOS Output Packet Filtered - *source\_mac->dest\_mac* , port *port*, network *network*

説明: NetBIOS パケットが、ルーターが NetBIOS フィルター構成レコード内に指定した基準と一致しました。パケットは除去されます。

---

#### NBS.050

レベル: UI-ERROR

短構文: NBS.050 no mem to alloc NB cnsl info

長構文: NBS.050 No memory to allocate information for NETBIOS Filter console display

説明: NetBIOS コンソールの表示を行うルーターの一部が、T 5 処理から完全な表示を行うために十分な記憶域を割り振ることができません。

原因: 空き記憶域の不足

処置: 記憶域のサイズを増やしてください。



---

## 第83章 ネットワーク・アドレス変換 (NAT)

この章では、ネットワーク・アドレス変換 (NAT) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### NAT.001

レベル: P-TRACE

短構文: NAT.001 *source\_ip\_address* ->  
*destination\_ip\_address* - Prot= *protocol* Flg=x *ip\_flags*  
Dir= *direction*

長構文: NAT.001 Translating IP packet from  
*source\_ip\_address* for *destination\_ip\_address*; protocol:  
*protocol* flags: x *ip\_flags* flow: *direction*

説明: NAT によって変換される前の IP パケットのトレース・ポイント

---

### NAT.002

レベル: P-TRACE

短構文: NAT.002 *source\_ip\_address* ->  
*destination\_ip\_address* - Status= *status*

長構文: NAT.002 Translated IP packet from  
*source\_ip\_address* for *destination\_ip\_address*; packet  
status: *status*

説明: NAT によって変換された後の IP パケットのトレース・ポイント

---

### NAT.003

レベル: P-TRACE

短構文: NAT.003 *source\_ip\_address* ->  
*destination\_ip\_address* - ICMP Type= *icmp\_type*,Code=  
*icmp\_code*

長構文: NAT.003 Translating ICMP packet from  
*source\_ip\_address* for *destination\_ip\_address*; ICMP Type  
*icmp\_type* - Code *icmp\_code*

説明: NAT によって変換される前の ICMP パケットのトレース・ポイント

---

### NAT.004

レベル: P-TRACE

短構文: NAT.004 *source\_ip\_address*/ *source\_udp\_port* ->  
*destination\_ip\_address*/ *destination\_udp\_port* - UDP

長構文: NAT.004 Translating UDP packet from

*source\_ip\_address*/port *source\_udp\_port* for  
*destination\_ip\_address*/port *destination\_udp\_port*

説明: NAT によって変換される前の UDP パケットのトレース・ポイント

---

### NAT.005

レベル: P-TRACE

短構文: NAT.005 *source\_ip\_address*/ *source\_tcp\_port* ->  
*destination\_ip\_address*/ *destination\_tcp\_port* - TCP

長構文: NAT.005 Translating TCP packet from  
*source\_ip\_address*/port *source\_tcp\_port* for  
*destination\_ip\_address*/port *destination\_tcp\_port*

説明: NAT によって変換される前の TCP パケットのトレース・ポイント

---

### NAT.006

レベル: P-TRACE

短構文: NAT.006 *source\_ip\_address*/ *source\_port* ->  
*destination\_ip\_address*/ *destination\_port* - *protocol* (x  
*specific\_datax*)

長構文: NAT.006 Translating packet from  
*source\_ip\_address*/port *source\_port* for  
*destination\_ip\_address*/port *destination\_port*, protocol  
*protocol*, data x *specific\_datax*

説明: NAT によって変換される前の高位レイヤー・プロトコル・パケットのトレース・ポイント。FTP の場合、特定データは以前の変換からの現行データ・デルタです。DNS の場合、特定データは、RR の数 (上位ワード) と DNS ヘッダーからのフラグ・フィールド (下位ワード) です。

---

### NAT.007

レベル: UI-ERROR

短構文: NAT.007 *source\_ip\_address*/ *source\_tcp\_port* ->  
*destination\_ip\_address*/ *destination\_tcp\_port* - No mem for  
TCP entry

長構文: NAT.007 No memory available to create new  
TCP session entry from *source\_ip\_address*/port



*source\_tcp\_port* for *destination\_ip\_address/port*  
*destination\_tcp\_port*

**説明:** NAT 用の新しい TCP セッション・エントリーを作成するために利用可能な記憶域がありません。

**原因:** この構成をサポートできる十分な記憶域がありません。

**処置:** アップグレードして記憶域を増やすか、構成を削減してください。

---

#### NAT.008

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** NAT.008 Private= *private\_ip\_address* Public=  
*public\_ip\_address* - TCP entry not deleted

**長構文:** NAT.008 Given TCP entry (PrivateIP=  
*private\_ip\_address*, PublicIP= *public\_ip\_address*) not found  
and deleted from TCP session list

**説明:** 指定の TCP エントリーが見つからず、NAT によって監視されているアクティブ TCP セッションのリストから削除できませんでした。

**原因:** 内部 NAT エラー

**処置:** NAT の構成を検査してください。これが有効である場合は、サービス技術員に連絡してください。

---

#### NAT.009

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** NAT.009 *source\_ip\_address/ sourceftp\_port ->*  
*destination\_ip\_address/ destinationftp\_port* - FTP/TCP not  
tracked

**長構文:** NAT.009 Active FTP session from  
*source\_ip\_address/port sourceftp\_port* for  
*destination\_ip\_address/port destinationftp\_port* not being  
monitored by NAT

**説明:** アクティブ FTP セッションが NAT によって監視されていません。NAPT が使用されている場合、NAT はすべてのアクティブ TCP セッションを監視する必要があります。

**原因:** 内部 NAT エラー

**処置:** NAT の構成を検査してください。これが有効である場合は、サービス技術員に連絡してください。

---

#### NAT.010

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** NAT.010 *source\_ip\_address/ sourceftp\_port ->*  
*destination\_ip\_address/ destinationftp\_port* - FTP

<*host-port*> trans fail - state= *tcp\_state*

**長構文:** NAT.010 Translation of FTP <*host-port*> string  
failed for session from *source\_ip\_address/port*  
*sourceftp\_port* for *destination\_ip\_address/port*  
*destinationftp\_port* - TCP State *tcp\_state*

**説明:** 無効な <*host-port*> 文字列が、FTP PORT または PASV コマンドの中で NAT によって検出されました。

**原因:** IP パケットで、誤動作する FTP アプリケーションまたは破壊された FTP データを受け取りました。

**処置:** ネットワークと FTP アプリケーションの整合性を検査してください。

---

#### NAT.011

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** NAT.011 Bad FTP <*host-port*> string:  
*ftp\_host\_port\_string*

**長構文:** NAT.011 NAT tried to translate an invalid FTP  
<*host-port*> string: *ftp\_host\_port\_string*

**説明:** 無効な <*host-port*> 文字列が、FTP PORT または PASV コマンドの中で NAT によって検出されました。

**原因:** IP パケットで、誤動作する FTP アプリケーションまたは破壊された FTP データを受け取りました。

**処置:** ネットワークと FTP アプリケーションの整合性を検査してください。

---

#### NAT.012

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** NAT.012 *base\_ip\_address- range\_mask* - No  
mem for NAT range entry

**長構文:** NAT.012 No memory available to create new  
Translate Range entry for Base Address *base\_ip\_address*  
Mask *range\_mask*

**説明:** NAT 用の新しい変換範囲エントリーを作成するために利用可能な記憶域がありません。

**原因:** この構成をサポートできる十分な記憶域がありません。

**処置:** アップグレードして記憶域を増やすか、構成を削減してください。

---

### NAT.013

レベル: UE-ERROR

短構文: NAT.013 Bad Reserve Pool: *pool\_name*, *starting\_ip\_address*, *pool\_mask*, *pool\_size*: *error\_msg*

長構文: NAT.013 NAT Reserve Pool *pool\_name* misconfigured: StartAddr= *starting\_ip\_address* Mask= *pool\_mask* Size= *pool\_size*: *error\_msg*

説明: NAT の初期化時に、予約プールの無効な値が検出されました。

原因: NAT 予約プールについて、プール・サイズがない、プール・マスクがない、または重複する予約アドレスが構成されたかのいずれかです。

処置: NAT の構成を訂正してください。

---

### NAT.014

レベル: UE-ERROR

短構文: NAT.014 Multiple NaptAddr ReservePool: *pool\_name*, *napt\_ip\_address*, *napt\_ip\_address*

長構文: NAT.014 NAT Reserve Pool *pool\_name* configured with multiple NAPT addresses: NaptAddr= *napt\_ip\_address* NewNaptAddr= *napt\_ip\_address*

説明: NAT の初期化時に、単一の予約プールに対して複数の NAPT アドレスが検出されました。

原因: NAT に対して複数の NAPT アドレスが構成されました。1 つしか許されません。

処置: NAT の構成を訂正してください。

---

### NAT.015

レベル: UI-ERROR

短構文: NAT.015 *pool\_name* - No mem for Reserve Pool entry

長構文: NAT.015 No memory available to create new Reserve Pool entry for Pool *pool\_name*

説明: NAT 用の新しい予約プール・エントリーを作成するために利用可能な記憶域がありません。

原因: この構成をサポートできる十分な記憶域がありません。

処置: アップグレードして記憶域を増やすか、構成を削減してください。

---

---

### NAT.016

レベル: UI-ERROR

短構文: NAT.016 *pool\_name* - Reserve Pool entry not deleted

長構文: NAT.016 Given Reserve Pool *pool\_name* not found and deleted from Reserve Pool list

説明: 指定の予約プール・エントリーが見つからず、NAT が保管している予約プールのリストから削除できませんでした。

原因: 内部 NAT エラー

処置: NAT の構成を検査してください。これが有効である場合は、サービス技術員に連絡してください。

---

### NAT.017

レベル: UE-ERROR

短構文: NAT.017 *pool\_name* <- *base\_ip\_address* - Assoc Reserve Pool not found for NAT range

長構文: NAT.017 Associated Reserve Pool *pool\_name* not found for configured Translate Range *base\_ip\_address*

説明: NAT の初期化時に変換範囲が検出されましたが、既存の関連付けられた予約プールが含まれていません。

原因: NAT 適格の IP アドレスの範囲が、存在しない関連の予約プールを含めるように構成されました。

処置: NAT の構成を訂正してください。

---

### NAT.018

レベル: CI-ERROR

短構文: NAT.018 *ip\_address* - not removed from Reserve Pool

長構文: NAT.018 Given IP Address *ip\_address* not found and removed from Reserve Pool list

説明: 指定の公衆 IP アドレスが見つからず、NAT が保管している利用可能な予約 IP アドレスのリストから削除できませんでした。

原因: 内部 NAT エラー

処置: NAT の構成を検査してください。これが有効である場合は、サービス技術員に連絡してください。

---

### NAT.019

レベル: CI-ERROR

短構文: NAT.019 *source\_ip\_address* -> *destination\_ip\_address* - NAT not enabled

---

**長構文:** NAT.019 Request to translate IP packet from *source\_ip\_address* for *destination\_ip\_address*, but NAT not enabled

**説明:** おそらく NAT 構成エラーが原因で、NAT が使用可能になりませんでした。そのため、アクセス制御はパケットの変換を指示していましたが、変換は実行されませんでした。

**原因:** おそらく NAT 構成エラー

**処置:** NAT の構成を再検査して、エラー/矛盾を訂正してください。

---

#### NAT.020

**レベル:** U-INFO

**短構文:** NAT.020 Private= *private\_ip\_address* - no BasicNAT addr avail for non-TCP/UDP pkt

**長構文:** NAT.020 Private IP Address *private\_ip\_address* trying to use Basic NAT for a non-TCP/UDP packet, but none available

**説明:** 私設ネットワークから開始された非 TCP/UDP セッションが NAT の使用を試みましたが、利用可能な基本 NAT 公衆 IP アドレスがありませんでした。

**原因:** NAT が利用可能な公衆 IP アドレスがありませんでした。

**処置:** 構成を変更して、NAT が使用できる公衆 IP アドレスを増やしてください。

---

#### NAT.021

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** NAT.021 Private= *private\_ip\_address* - no Assoc Reserve Pool for NAPT

**長構文:** NAT.021 Private IP Address *private\_ip\_address* trying to use NAPT but does not have an associated Reserve Pool

**説明:** 私設ネットワークから開始されたセッションが、NAPT アドレスを使用するために NAT によってマップされましたが、使用する関連の予約プールが指定されていませんでした。

**原因:** 内部 NAT エラー

**処置:** NAT の構成を検査してください。これが有効である場合は、サービス技術員に連絡してください。

---

#### NAT.022

**レベル:** U-INFO

**短構文:** NAT.022 Private= *private\_ip\_address* - no BasicNAT/NAPT addr avail for use

**長構文:** NAT.022 Private IP Address *private\_ip\_address* trying to use Basic NAT or NAPT, but none available

**説明:** 私設ネットワークから受信した IP パケットが NAT の使用を試みましたが、利用可能な基本 NAT または NAPT 公衆 IP アドレスがありませんでした。

**原因:** NAT が利用可能な構成済みの公衆 IP アドレスがありませんでした。

**処置:** 構成を変更して、NAT が使用できる公衆 IP アドレスを増やしてください。

---

#### NAT.023

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** NAT.023 *direction*/Hash= *hash\_value* - no 1st entry to remove

**長構文:** NAT.023 No NAT entry to remove from the *direction* NAT Table at position *hash\_value*

**説明:** 指定の NAT エントリーが見つからず、NAT が保管しているエントリーのリストから削除できませんでした。

**原因:** 内部 NAT エラー

**処置:** NAT の構成を検査してください。これが有効である場合は、サービス技術員に連絡してください。

---

#### NAT.024

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** NAT.024 Private: *private\_ip\_address*/*private\_port*, *private\_pool\_name*<->Public: *public\_ip\_address*/*public\_port*, *public\_pool\_name* - static map failed: *reason*

**長構文:** NAT.024 Static mapping (Private: *private\_ip\_address*/*private\_port*, pool= *private\_pool\_name*<->Public: *public\_ip\_address*/*public\_port*, pool= *public\_pool\_name*) failed: *reason*

**説明:** 失敗した NAT 初期化時に、静的マッピングが検出されました。このマッピングは、マップされる私設 IP アドレスに関連付けられた構成済み予約プールと矛盾している可能性があります。あるいは、指定されたアドレスの 1 つがすでにバインド済みである可能性もあります。

**原因:** NAT に対して無効な静的マッピングが構成されました。

**処置:** NAT の構成を訂正してください。

---

### NAT.025

**レベル:** C-INFO

**短構文:** NAT.025 proxy ARP rsp for NAT: *ip\_address*

**長構文:** NAT.025 Proxy ARP for NAT is responding to an ARP request for IP address *ip\_address*

**説明:** NAT のプロキシ ARP は、NAT が予約した IP アドレスに対する ARP 要求に応答しています。

---

### NAT.026

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** NAT.026 *ip\_address/ port\_number* - duplicate key added *direction*

**長構文:** NAT.026 A duplicate key (IpAddr=*ip\_address*/Port= *port\_number*) has been added to the *direction* NAT Table

**説明:** 重複する NAT エントリーが、NAT によって保管されているエントリーのリストに追加されました。

**原因:** 内部 NAT エラー

**処置:** NAT の構成を検査してください。これが有効である場合は、サービス技術員に連絡してください。

---

### NAT.027

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** NAT.027 *ip\_address/ port\_number* - entry not removed *direction*

**長構文:** NAT.027 Given NAT entry (IpAddr=*ip\_address*/Port= *port\_number*) not removed from the *direction* NAT Table

**説明:** 指定の NAT エントリーが見つからず、NAT が保管しているエントリーのリストから削除できませんでした。

**原因:** 内部 NAT エラー

**処置:** NAT の構成を検査してください。これが有効である場合は、サービス技術員に連絡してください。

---

### NAT.028

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** NAT.028 Private: *private\_ip\_address/*

*private\_port* Public: *public\_ip\_address/ public\_port* - no mem for entry

**長構文:** NAT.028 No memory available to create new NAT entry for Private *private\_ip\_address/port private\_port* - Public *public\_ip\_address/port public\_port*

**説明:** NAT 用の新しい変換エントリーを作成するために利用可能な記憶域がありません。

**原因:** この構成/トラフィック負荷をサポートできる十分な記憶域がありません。

**処置:** アップグレードして記憶域を増やすか、構成/トラフィックを削減してください。

---

### NAT.029

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** NAT.029 No NAT entry given to unbind

**長構文:** NAT.029 No NAT entry given to removed from the NAT Table

**説明:** NAT テーブルから削除するための NAT エントリーが指定されませんでした。

**原因:** 内部 NAT エラー

**処置:** NAT の構成を検査してください。これが有効である場合は、サービス技術員に連絡してください。

---

### NAT.030

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** NAT.030 *ip\_address/ port\_number* - STATIC entry being unbound

**長構文:** NAT.030 Statically defined entry ( *ip\_address*/Port= *port\_number*) is trying to get unbound

**説明:** NAT によって静的マッピングのアンバインドが試行されています。

**原因:** 内部 NAT エラー

**処置:** NAT の構成を検査してください。これが有効である場合は、サービス技術員に連絡してください。

---

### NAT.031

**レベル:** C-INFO

**短構文:** NAT.031 *ip\_address/ port\_number* - unbound *direction*

**長構文:** NAT.031 Given NAT entry (IpAddr=*ip\_address*/Port= *port\_number*) removed from the *direction* NAT Table

**説明:** 指定の NAT エントリーが見つかり、NAT が保

管しているエントリーのリストから削除されました。

---

#### NAT.032

レベル: UI-ERROR

短構文: NAT.032 NAT init failed

長構文: NAT.032 Initialization of NAT failed

説明: NAT が内部データ構造を初期化しているときに障害が起きました。

原因: 構成エラー、または内部 NAT 処理エラー

処置: この前に表示された ELS メッセージを検査して、初期化に障害が起きた理由についての詳しい情報を入手してください。

---

#### NAT.033

レベル: UI-ERROR

短構文: NAT.033 Return of NAT mem failed

長構文: NAT.033 Returning of all NAT memory failed

説明: NAT が記憶域をシステムに戻しているときに障害が起きました。

原因: 内部 NAT 処理エラー

処置: この前に表示された ELS メッセージを検査して、記憶域を戻すときに障害が起きた理由についての詳しい情報を入手してください。

---

#### NAT.034

レベル: UI-ERROR

短構文: NAT.034 No mem for frag chain *fragment\_id*:  
*source\_ip\_address* -> *destination\_ip\_address*

長構文: NAT.034 No memory available to track new IP fragment chain *fragment\_id* from *source\_ip\_address* for *destination\_ip\_address*

説明: NAT 用の新しい IP 断片エントリーを作成するために利用可能な記憶域がありません。

原因: この構成をサポートできる十分な記憶域がありません。

処置: アップグレードして記憶域を増やすか、構成を削減してください。

---

#### NAT.035

レベル: U-INFO

短構文: NAT.035 1st frag lost in chain *fragment\_id*:  
*source\_ip\_address* -> *destination\_ip\_address*

長構文: NAT.035 The first IP fragment packet was assumed to be lost for chain *fragment\_id* from *source\_ip\_address* for *destination\_ip\_address*

説明: 一連の断片の中の最初の IP 断片が消失しました。

原因: ネットワーク内でパケットが消失しています。

処置: ネットワークの性能を検査し、輻輳 (ふくそう) している区域を調べてください。

---

#### NAT.036

レベル: UI-ERROR

短構文: NAT.036 *source\_ip\_address* ->  
*destination\_ip\_address* - Cannot trans pkt using frag  
*fragment\_chain\_key*

長構文: NAT.036 Cannot translate packet from *source\_ip\_address* to *destination\_ip\_address* using tracked IP fragment for *fragment\_chain\_key*

説明: NAT は、追跡した断片チェーンから保管された情報を使用して IP パケットを変換することができませんでした。

原因: 内部 NAT エラー

処置: NAT の構成を検査してください。これが有効である場合は、サービス技術員に連絡してください。

---

#### NAT.037

レベル: C-INFO

短構文: NAT.037 track frag chain *fragment\_id*/  
*source\_ip\_address* -> *destination\_ip\_address*

長構文: NAT.037 NAT is tracking fragment chain *fragment\_id* from *source\_ip\_address* to *destination\_ip\_address*

説明: NAT は、断片チェーンの追跡を開始しています。

---

#### NAT.038

レベル: C-INFO

短構文: NAT.038 saving frag *fragment\_id*/  
*source\_ip\_address* -> *destination\_ip\_address*

長構文: NAT.038 NAT is saving a fragment *fragment\_id* from *source\_ip\_address* to *destination\_ip\_address*

説明: NAT は、最初の断片からの情報が得られないために、現行の断片を処理できません。NAT は現行の断片を保管し、最初の断片の到着を待ちます。



---

**NAT.039**

レベル: C-INFO

短構文: NAT.039 freeing saved frag *fragment\_id/ ip\_address* saved port *saved\_port*

長構文: NAT.039 NAT is freeing saved fragment *fragment\_id* from *ip\_address* saved port *saved\_port*

説明: NAT は、保管した IP 断片を解放しています。

---

**NAT.040**

レベル: C-INFO

短構文: NAT.040 process saved frag *fragment\_id/ ip\_address* saved port *saved\_port*

長構文: NAT.040 NAT is processing saved fragment *fragment\_id* from *ip\_address* saved port *saved\_port*

説明: NAT は、保管した IP 断片を処理しています。

---

**NAT.041**

レベル: C-INFO

短構文: NAT.041 stopped tracking frag chain *fragment\_id/ ip\_address* saved port *saved\_port*

長構文: NAT.041 NAT is stopping tracking of fragment chain *fragment\_id: ip\_address* saved port *saved\_port*

説明: NAT はもう IP 断片チェーンを追跡していません。

---

**NAT.042**

レベル: C-INFO

短構文: NAT.042 *source\_ip\_address* -> *destination\_ip\_address*: modified IP option *x ip\_option*

長構文: NAT.042 NAT modified packet going from *source\_ip\_address* to *destination\_ip\_address* with IP option *x ip\_option*

説明: NAT は、IP ヘッダー・オプション・フィールドに入っている IP アドレスを変更しました。

---

**NAT.043**

レベル: U-INFO

短構文: NAT.043 *source\_ip\_address* -> *destination\_ip\_address*: dropped because of IP option *x ip\_option*

長構文: NAT.043 Packet from *source\_ip\_address* to *destination\_ip\_address* was dropped by NAT because of IP option *x ip\_option*

---

説明: IP オプションを含む IP パケットが NAT の使用を試みましたが、利用可能な基本 NAT 公衆 IP アドレスがありませんでした。

原因: NAT が利用可能な公衆 IP アドレスがありませんでした。

処置: 構成を変更して、NAT が使用できる公衆 IP アドレスを増やしてください。

---

**NAT.044**

レベル: C-INFO

短構文: NAT.044 *source\_ip\_address/ source\_port* -> *destination\_ip\_address/ destination\_port*: delta: *data\_delta*, modified FTP data: *ftp\_data*

長構文: NAT.044 NAT modified FTP data going from *source\_ip\_address/ source\_port* to *destination\_ip\_address/ destination\_port* with delta *data\_delta*, FTP data *ftp\_data*

説明: NAT は、TCP パケット内の FTP データを変更しました。

---

**NAT.045**

レベル: UI-ERROR

短構文: NAT.045 dup 1st pkts in frag chain *fragment\_id( saved\_port): source\_ip\_address* -> *destination\_ip\_address*

長構文: NAT.045 NAT has received duplicate 1st packets in fragment chain *fragment\_id* (saved port *saved\_port*) from *source\_ip\_address* to *destination\_ip\_address*

説明: NAT は、断片チェーン内の最初のパケットを重複して受信しました。

原因: ネットワーク内でパケットが破壊されています。

処置: ネットワークとネットワーク装置を検査してください。

---

**NAT.046**

レベル: C-INFO

短構文: NAT.046 *description: private\_ip\_address* to *public\_ip\_address*

長構文: NAT.046 NAT modified data: *description*: from *private\_ip\_address* to *public\_ip\_address*

説明: NAT は、IP データ内の IP アドレスを変換しました。

---



---

**NAT.047**

レベル: C-INFO

短構文: NAT.047 Private= *private\_ip\_address* Public=  
*public\_ip\_address* - TCP entry deleted

長構文: NAT.047 Given TCP entry (PrivateIP=  
*private\_ip\_address*, PublicIP= *public\_ip\_address*) deleted  
from TCP session list

説明: 指定の TCP エントリーが見つかり、NAT によ  
って監視されているアクティブ TCP セッションのリス  
トから削除されました。

---

**NAT.048**

レベル: C-INFO

短構文: NAT.048 NAT dropping packet: *reason*

長構文: NAT.048 NAT dropping packet: *reason*

説明: NAT は、指摘されている理由で IP パケットを  
廃棄しています。

## 第84章 ネットワーク・ディスパッチャー・ルーター (NDR)

この章では、ネットワーク・ディスパッチャー・ルーター (NDR) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### NDR.001

レベル: P-TRACE

短構文: NDR.001 rcv *source\_ip\_address* ->  
*destination\_ip\_address*

長構文: NDR.001 Receiving packet from  
*source\_ip\_address* for *destination\_ip\_address*

説明: このメッセージは、第 1 レベル合理性検査に合格した各パケットに対して生成されます。

---

### NDR.002

レベル: C-TRACE

短構文: NDR.002 frg pkt *source\_ip\_address* ->  
*destination\_ip\_address*

長構文: NDR.002 Packet from *source\_ip\_address* for  
*destination\_ip\_address* requires fragmentation

説明: このメッセージは、伝送するために IP パケットを断片化する必要がある場合に生成されます。

---

### NDR.003

レベル: UE-ERROR

短構文: NDR.003 LL broadcast *source\_ip\_address* ->  
*destination\_ip\_address*, discarded

長構文: NDR.003 Received link level broadcast from  
*source\_ip\_address* for *destination\_ip\_address*, discarded

説明: このメッセージは、リンク・レベルの同報通信/マルチキャストとして受信した IP パケットを転送しようとした場合に生成されます。そのようなパケットは転送されず、ICMP メッセージを発信元に送り返すこともせずに、廃棄されます。

---

### NDR.004

レベル: CE-ERROR

短構文: NDR.004 TTL zero *source\_ip\_address* ->  
*destination\_ip\_address*

長構文: NDR.004 Time-to-live expired on packet from  
*source\_ip\_address* for *destination\_ip\_address*

説明: このメッセージは、活動時間が満了したために

パケットが廃棄された場合に生成されます。

原因: パケットは、発信元が IP ヘッダーの活動時間フィールドに入れた初期値よりも多くのルーターを経由しました。旧型システムの多くは 15 または 30 の値を使用していますが、これは標準に適合しておらず、現行ネットワークには小さ過ぎることがしばしばあります。

処置: 活動時間の初期値を大きくしてください。

原因: パケットはルーティング・ループに入っており、活動時間が満了するまで、一連のルーターを何回も巡回しています。

処置: パケットの発信元からあて先までの経路を検査して、ループがないかどうかを調べてください。ただし、一部のルーティング・プロトコルでは、経路のタイマー満了により、一時的なループは避けられません。

---

### NDR.005

レベル: CI-ERROR

短構文: NDR.005 pkt *source\_ip\_address* ->  
*destination\_ip\_address* dsc rsn *reason\_code*, nt *Network ID*

長構文: NDR.005 Packet from *source\_ip\_address* for  
*destination\_ip\_address* discarded for reason  
*reason\_code*, network *Network ID*

説明: 指定のネットワークでパケットを送信しようとしたが、そのネットワークでの転送は受け入れられませんでした。reason\_code に、パケットが受け入れられなかった理由が示されています。理由がフロー制御の場合、ICMP 発信元抑制が送信側に送られます。それ以外の場合は、ICMP あて先到達不可能が送られます。

原因: 各種のハンドラー・エラー (理由コード 1)

処置: ハンドラーからのエラー・メッセージを検査して、network\_name を調べてください。

原因: 出力待ち行列オーバーフローまたはその他のフロー制御 (理由コード 2)

処置: 輻輳 (ふくそう) を緩和してください。

原因: ネットワークがダウン (理由コード 3)

処置: ネットワークがダウンしているとハンドラーが判断した理由を調べてください。

**原因:** ループまたはよくない同報通信を回避するためにハンドラーによって廃棄されました。(理由コード 4)。

**処置:** 構成を検査してください。

**原因:** ホストがダウン (理由コード 5)

**処置:** ホストがダウンしているとハンドラーが判断した理由を調べてください。

---

#### NDR.006

**レベル:** C-INFO

**短構文:** NDR.006 New connct rqst r\_a remote\_addr r\_p remote\_port l\_p local\_port nd local\_addr

**長構文:** NDR.006 New connection request r\_a remote\_addr r\_p remote\_port l\_p local\_port node local\_addr

**説明:** 新規の接続要求が確立されました。

---

#### NDR.007

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** NDR.007 no connct r\_a remote\_addr r\_p remote\_port l\_a local\_addr l\_p local\_port flg flags

**長構文:** NDR.007 no connection r\_a remote\_addr r\_p remote\_port l\_a local\_addr l\_p local\_port flg flags

**説明:** このパケットが到着しているのが、NDR に接続レコードがない接続の場合です。

**処置:** エラー・カウンターを増分し、ローカルで処理してください。

---

#### NDR.008

**レベル:** C-TRACE

**短構文:** NDR.008 fwd fr client\_addr cl cluster\_addr pt port\_id srv server\_addr

**長構文:** NDR.008 Forward from client\_addr for cluster cluster\_addr port port\_id to server server\_addr

**説明:** TCP パケットがサーバーに転送されます。

---

#### NDR.009

**レベル:** C-TRACE

**短構文:** NDR.009 found FTP CTRL connection

**長構文:** NDR.009 found FTP CTRL connection

**説明:** FTP CTRL 接続を検出しました。

---

#### NDR.010

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** NDR.010 no srv fnd src remote\_addr clst local\_addr pt local\_port

**長構文:** NDR.010 no server found for source remote\_addr cluster local\_addrI port local\_port

**説明:** このパケットが到着しているのが、NDR に接続レコードがない接続の場合です。

**処置:** エラー・カウンターを増分し、ローカルで処理してください。

---

#### NDR.011

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** NDR.011 unexp SYN src remote\_addr clst local\_addr pt local\_port srv server\_addr

**長構文:** NDR.011 unexpected SYN source remote\_addr cluster local\_addr port local\_port server server\_addr

**説明:** 予期しない SYN ビットがパケット内に設定されています。

**処置:** サーバーにその解決を依頼してください。

---

#### NDR.012

**レベル:** C-TRACE

**短構文:** NDR.012 clean up everything older than the limit.

**長構文:** NDR.012 clean up everything older than the limit

**説明:** 限界より古いものをすべて終結処理します。

---

#### NDR.013

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** NDR.013 bad INCONN rd rtn remote\_addr rmt pt remote\_port

**長構文:** NDR.013 bad INCONN record returned source remote\_addr remote post remote\_port

**説明:** よくない INCONN レコードが戻されました。

**処置:** 実行を続けてください。

---

#### NDR.014

**レベル:** P-TRACE

**短構文:** NDR.014 rcv frg pkt src source\_ip\_address dst destination\_ip\_address

長構文: NDR.014 Receiving fragment packet from source *source\_ip\_address* for destination *destination\_ip\_address*

説明: 断片パケットを受信します。

---

#### NDR.015

レベル: P-TRACE

短構文: NDR.015 last frg pkt src *source\_ip\_address* dst *destination\_ip\_address*

長構文: NDR.015 Last fragment packet from source *source\_ip\_address* for destination *destination\_ip\_address*

説明: 断片パケットを受信します。

---

#### NDR.016

レベル: P-TRACE

短構文: NDR.016 first frg pkt src *source\_ip\_address* dst *destination\_ip\_address*

長構文: NDR.016 First fragment packet from source *source\_ip\_address* for destination *destination\_ip\_address*

説明: 断片パケットを受信します。

---

#### NDR.017

レベル: P-TRACE

短構文: NDR.017 fwd frg pkt pkt src *source\_ip\_address* dst *destination\_ip\_address* srv *server\_addr*

長構文: NDR.017 Forward a fragment packet from source *source\_ip\_address* for destination *destination\_ip\_address* server *server\_addr*

説明: 断片パケットをサーバーに転送します。

---

#### NDR.018

レベル: UI-ERROR

短構文: NDR.018 discd pkt src *source\_ip\_address* dst *destination\_ip\_address*

長構文: NDR.018 discard packet source *source\_ip\_address* destination *destination\_ip\_address*

説明: パケットを廃棄します。

---

#### NDR.019

レベル: P-TRACE

短構文: NDR.019 Rply ARP clst *cluster\_addr*

長構文: NDR.019 Reply ARP request for cluster *cluster\_addr*

説明: ARP 要求のクラスター・アドレスが見付かりました。

---

#### NDR.020

レベル: UI-ERROR

短構文: NDR.020 ARP rqst for clst *cluster\_addr* not fnd

長構文: NDR.020 ARP request for cluster *cluster\_addr* is not found.

説明: ARP 要求のクラスター・アドレスが見付かりません。

---

#### NDR.021

レベル: P-TRACE

短構文: NDR.021 adv *adv\_name* on prt *adv\_port* created.

長構文: NDR.021 advisor *adv\_name* on port *adv\_port* created

説明: アドバイザーが作成されます。

---

#### NDR.022

レベル: P-TRACE

短構文: NDR.022 adv *adv\_name* on prt *adv\_port* destroyed.

長構文: NDR.022 advisor *adv\_name* on port *adv\_port* destroyed

説明: アドバイザーが破棄されます。

---

#### NDR.023

レベル: UI-ERROR

短構文: NDR.023 err adding adv *adv\_name* on prt *adv\_port*

長構文: NDR.023 error in adding advisor *adv\_name* on port *adv\_port*

説明: アドバイザーを追加できません。ポートがすでに使用中であるためか、アドバイザー・テーブルがいっぱいになっているためか、いずれかです。指定されたポート上にアドバイザーが確立できませんでした。

---

#### NDR.024

レベル: UI-ERROR

短構文: NDR.024 err in adv *adv\_name* on prt *adv\_port*

長構文: NDR.024 error in advisor *adv\_name* on port *adv\_port*

説明: アドバイザー上にエラーが発生しています。エラーは、アドバイザーが、ホスト・リスト接続用のソケットの作成に失敗したか、マネージャー・ホスト・リスト・ポートへの接続に失敗したか、ホスト・リスト接続に関して許可の正常な送信に失敗したか、ホスト・リスト・コマンドの書き込みに失敗したか、ホスト・リスト接続に対する許可に失敗したか、ホストのカウントの読み取りに失敗したか、ホストのアドレスの読み取りに失敗したか、いずれかです。

---

#### NDR.025

レベル: P-TRACE

短構文: NDR.025 adv mk cnntn on lcl addr *ip\_addr* prt *port\_number*

長構文: NDR.025 advisor makes connection on addr *ip\_addr* and port *port\_number*

説明: アドバイザーは接続を作成中です。

---

#### NDR.026

レベル: UI-ERROR

短構文: NDR.026 adv: sckt err code *error\_code*

長構文: NDR.026 advisor: socket error code *error\_code*

説明: アドバイザーにソケット・エラーがあります。

---

#### NDR.027

レベル: UI-ERROR

短構文: NDR.027 adv: cnntn fld on prt *port\_number*

長構文: NDR.027 advisor: connection failed on port *port\_number*

説明: アドバイザーは接続の作成に失敗しました。

---

#### NDR.028

レベル: UI-ERROR

短構文: NDR.028 mgr: host not in table

長構文: NDR.028 manager: Tried to get the info on a host that is not in the table

説明: テーブル内にはないホストに関する情報の入手を試行しました。

---

#### NDR.029

レベル: UI-ERROR

短構文: NDR.029 mgr: Error reading metric report

長構文: NDR.029 manager: Error reading metric report.

説明: メトリック・レポート・データ、または送信されたメトリックの数、またはポート番号の読み取りにエラーがあります。

---

#### NDR.030

レベル: C-INFO

短構文: NDR.030 mgr: Metric table has been updated.

長構文: NDR.030 manager: Metric table has been updated.

説明: メトリック・テーブルが更新されました。

---

#### NDR.031

レベル: P-TRACE

短構文: NDR.031 mgr: compute *comp\_type* prop: *host\_name* *host\_weight* *host\_totalweight* *host\_weight\_prop*

長構文: NDR.031 manager: compute *comp\_type* proportions : *host\_name* *host\_weight* *host\_totalweight* *host\_weight\_prop*

説明: 比率の計算中です。

---

#### NDR.032

レベル: P-TRACE

短構文: NDR.032 mgr: Port *port\_number* has been updated

長構文: NDR.032 manager: Port *port\_number* has been updated

説明: ポートが更新されました。

---

#### NDR.033

レベル: P-TRACE

短構文: NDR.033 ha: prev: *prev\_state* evt: *event* cur: *cur\_state*

長構文: NDR.033 High Availability: previous: *prev\_state* event: *event* current: *cur\_state*

説明: 状態変更

---

**NDR.034**

レベル: UI-ERROR

短構文: NDR.034 ha: err in State *backup\_state* Event *event*

長構文: NDR.034 High Availability: error in State *backup\_state* Event *event*

説明: HA のエラー

---

**NDR.035**

レベル: UI-ERROR

短構文: NDR.035 ha: err in State *backup\_state* Event *event*

長構文: NDR.035 High Availability: error in State *backup\_state* Event *event*

説明: HA のエラー

---

**NDR.036**

レベル: C-INFO

短構文: NDR.036 ha: Send Gratuitous ARP for : *vec\_address*

長構文: NDR.036 High Availability: Send Gratuitous ARP for : *vec\_address*

説明: ARP 要求に対する応答

---

**NDR.037**

レベル: C-INFO

短構文: NDR.037 ha: Send pkt *cmd*

長構文: NDR.037 High Availability: Send packet *cmd*

説明: パケットを送信します。

---

**NDR.038**

レベル: C-INFO

短構文: NDR.038 ha: rcv pkt *cmd*

長構文: NDR.038 High Availability: receive packet *cmd*

説明: パケットを受信します。

---

**NDR.039**

レベル: UI-ERROR

短構文: NDR.039 internal IP addr is not set

長構文: NDR.039 internal IP address is not set.

---

説明: アドバイザーがマネージャーとの通信をオープンできるようにするために、内部 IP アドレスを設定する必要があります。

---

**NDR.040**

レベル: UE-ERROR

短構文: NDR.040 err msg: *ec msg*

長構文: NDR.040 error message: *ec msg*

説明: エラー・メッセージが *setuerror* 機能によって設定されました。

---

**NDR.041**

レベル: UE-ERROR

短構文: NDR.041 No mem avail for init.

長構文: NDR.041 No memory available for initialization.

説明: ヒープから割り振るための十分な記憶域がありません。

---

**NDR.042**

レベル: C-INFO

短構文: NDR.042 mgr: Invld mtrc rpt rcvd.

長構文: NDR.042 manager: Invalid metric report received. Report ignored.

説明: アドバイザーから受信したメトリック・レポートは、有効とはみなされません。メトリック・レポートは無視されました。

---

**NDR.043**

レベル: UE-ERROR

短構文: NDR.043 Total no. of unique srvr IP addr. exceeds *max\_unique\_servers*. Disabling the NDR

長構文: NDR.043 Total no. of unique server IP addresses exceeds *max\_unique\_servers*. Disabling the NDR

説明: 構成された物理サーバー (それぞれ固有なサーバー IP アドレスを持っています) が多過ぎます。これらの物理サーバーはそれぞれ、多くのクラスターとポートのもとで構成できることに注意してください。また、このような状況が検出されるたびにネットワーク・ディスパッチャーが使用不可にされることにも注意してください。

処置: 構成を変更し、物理サーバー (各サーバーに固有なサーバー IP アドレスが付いています) の合計数が、示されたプラットフォームに許可される最大数を超えて

---



いないことを確認してください。

---

#### **NDR.044**

レベル: UE-ERROR

短構文: NDR.044 Total no. of srvr for port no. *port\_no* exceeds *max\_servers\_per\_port*. Disabling the NDR

長構文: NDR.044 Total no. of server for port number *port\_no* exceeds *max\_servers\_per\_port*. Disabling the NDR

説明: 特定のポート番号に構成されたサーバーが多過ぎました。固有の物理サーバー (固有のサーバー IP アドレスが付いています) を、複数のクラスター上の特定のポートのもとで構成できること、各インスタンスは、示されたプラットフォームに許可される最大限度に向かってカウントされることに注意してください。また、このような状況が検出されるたびにネットワーク・ディスパッチャーが使用不可にされることにも注意してください。

処置: 構成を変更してください。

---

#### **NDR.045**

レベル: UE-ERROR

短構文: NDR.045 Error:Srvr addr *server\_ip\_address* is same as cluster address. Disabling the NDR

長構文: NDR.045 Error:Server address *server\_ip\_address* is same as cluster address. Disabling the NDR

説明: サーバー・アドレスとクラスター・アドレスが固有ではありません。

処置: 構成を変更してください。

---

## 第85章 IPv6 用の近隣発見プロトコル (NDP6)

この章では、IPv6 用の近隣発見プロトコル (NDP6) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### NDP6.001

レベル: P-TRACE

短構文: NDP6.001 unknown dest protocol address net network ID

長構文: NDP6.001 Unknown destination protocol address net network ID

説明: このメッセージは、近隣発見要求が不明のプロトコル・アドレスを指定している場合 (すなわち、このルーターに対する要求でない場合) に生成されます。

原因: このネットワーク上の、このルーター以外のホストに対する近隣発見要求

処置: 何も必要ありません。要求は廃棄されます。

---

### NDP6.002

レベル: UI-ERROR

短構文: NDP6.002 Send request failed reason reason\_code net network ID

長構文: NDP6.002 Transmission of request failed for reason reason\_code net network ID

説明: ルーターに何らかの問題があるために、発信された近隣発見要求パケットが廃棄されました。理由コードに原因が示されています。

原因: 各種のハンドラー・エラー (理由コード 1)

処置: ハンドラーからのエラー・メッセージを検査して、network\_name を調べてください。

原因: 出力待ち行列オーバーフローまたはその他のフロー制御 (理由コード 2)

処置: 輻輳 (ふくそう) を緩和してください。

原因: ネットワークがダウン (理由コード 3)

処置: ネットワークがダウンしているとハンドラーが判断した理由を調べてください。

原因: ループまたはよくない同報通信を回避するためにハンドラーによって廃棄されました。(理由コード 4)。

処置: 構成を検査してください。

原因: ホストがダウン (理由コード 5)

処置: ホストがダウンしているとハンドラーが判断した理由を調べてください。

---

### NDP6.003

レベル: U-INFO

短構文: NDP6.003 Unknown hdwe space hardware\_address\_space net network ID

長構文: NDP6.003 Unknown hardware space hardware\_address\_space net network ID

説明: ネットワークで着信した近隣発見パケットを受信しましたが、そのネットワークでは、どのプロトコルもアドレス変換のために近隣発見を使用していません。

原因: ゲートウェイの構成の誤り

処置: 構成を訂正してください。

原因: そのネットワーク上では近隣発見プロトコルを必要とするプロトコルが使用されているが、ルーターはそのプロトコルをサポートしていない。

処置: なし。

---

### NDP6.004

レベル: UI-ERROR

短構文: NDP6.004 recv: No mem for cache entry, prot protocol\_type net network ID

長構文: NDP6.004 receive: No memory for cache entry, protocol protocol\_type net network ID

説明: 近隣発見パケットの入力処理時に、ルーターは指定のプロトコルの近隣キャッシュ・エントリを作成するための記憶域が得られませんでした。

原因: ルーターはヒープ記憶域が極端に少ない状態です。

処置: 記憶域の使用量を減らす方法を見つけてください。

---

### NDP6.005

レベル: P-TRACE

短構文: NDP6.005 Unknown protocol type protocol\_type net network ID

長構文: NDP6.005 Unknown protocol type *protocol\_type*  
net *network ID*

説明: プロトコルあてに着信した近隣発見パケットを受信しましたが、そのプロトコルはアドレス変換のために近隣発見プロトコルを使用していません。

原因: ゲートウェイの構成の誤り

処置: 構成を訂正してください。

原因: そのネットワーク上では近隣発見を必要とするプロトコルが使用されているが、ルーターはそのプロトコルをサポートしていない。

処置: なし。

---

#### NDP6.006

レベル: C-INFO

短構文: NDP6.006 NDP6 init

長構文: NDP6.006 Neighbor Discovery initialization

説明: このメッセージは、近隣発見の初期化中に印刷されます。

---

#### NDP6.007

レベル: C-TRACE

短構文: NDP6.007 New cache entry  
*hardware\_address\_space protocol\_type net network ID*

長構文: NDP6.007 New neighbor cache entry  
*hardware\_address\_space protocol\_type net network ID*

説明: このホストのアドレスあてに着信した近隣発見パケットに、近隣キャッシュに入っていないマッピングが含まれていました。パケット内の情報を使用して、新しいキャッシュ・エントリが記入されました。

---

#### NDP6.008

レベル: UI-ERROR

短構文: NDP6.008 NDP unable to get memory

長構文: NDP6.008 Neighbor Discovery Protocol unable to get memory

説明: 近隣発見は、必要な記憶域を割り振ることができませんでした。そのために、近隣発見を実行することができません。

原因: ヒープ記憶域が不足しています。おそらく記憶域を大量に必要なとする実行中の転送機能/プロトコルの数が多過ぎるためです。

処置: 不必要な転送機能/プロトコルを使用不可にするか、記憶域を増やしてください。

---

#### NDP6.009

レベル: C-TRACE

短構文: NDP6.009 Sending NA *source\_IP\_address*  
*destination\_IP\_address net network ID*

長構文: NDP6.009 Neighbor Advertisement packet sent from *source\_IP\_address* to *destination\_IP\_address* net *network ID*

説明: 別のホストからのアドレス変換要求のためにICMP6 近隣公示を送信中です。

---

#### NDP6.010

レベル: U-INFO

短構文: NDP6.010 Dropping RA *source\_IP\_address* ->  
*destination\_IP\_address net network ID*

長構文: NDP6.010 Dropping router advertisement request packet received from *source\_IP\_address* to *destination\_IP\_address* net *network ID*

説明: このルーターは発信元ルーターからルーター公示要求を受信しました。他のルーターからのルーター公示要求は無視されるので、この要求は廃棄されます。

---

#### NDP6.011

レベル: U-INFO

短構文: NDP6.011 Dropping Redirect *source\_IP\_address*  
-> *destination\_IP\_address net network ID*

長構文: NDP6.011 Dropping redirect packet received from *source\_IP\_address* to *destination\_IP\_address* net *network ID*

説明: このルーターは発信元ルーターから転送メッセージを受信しました。ルーターはルーティング・プロトコルに基づいてメッセージを転送する必要があるため、転送メッセージは廃棄されます。

---

#### NDP6.012

レベル: UI-ERROR

短構文: NDP6.012 No iorb for send net *network ID*

長構文: NDP6.012 No buffer for send request packet  
net *network ID*

説明: ルーター内のバッファ不足のために、発信された応答パケットが廃棄されました。

原因: この問題は、一時的な過負荷など、さまざまな原因が考えられます。

処置: ルーターの残りのログ出力を調べて、さらに詳

しい情報を入手してください。問題が引き続き発生する場合は、サービス技術員に連絡してください。

---

#### NDP6.013

レベル: C-TRACE

短構文: NDP6.013 Sending RA *source\_IP\_address destination\_IP\_address net network ID life*

長構文: NDP6.013 Router Advertisement packet sent from *source\_IP\_address* to *destination\_IP\_address net network ID life*

説明: 以下の理由のいずれかにより、ICMP6 ルーター公示が送信されています。1. 周期的なルーター公示。2. ルーター送信請求への応答。3. ルーターの存続時間ゼロを公示することによりルーターまたはインターフェースがダウンになることの通知。

---

#### NDP6.014

レベル: C-INFO

短構文: NDP6.014 Sending redirect *source\_IP\_address -> destination\_IP\_address to new\_next\_hop\_IP\_address*

長構文: NDP6.014 Sending redirect for packet from *source\_IP\_address* to *destination\_IP\_address* to use router *new\_next\_hop\_IP\_address*

説明: ルーターは ICMP6 転送メッセージを送信して、このトラフィックにはより良い最初のホップ・ルーターがあることを、直接接続されているネットワーク上の発信元ホストに知らせています。

---

#### NDP6.015

レベル: U-INFO

短構文: NDP6.015 Dropping NS *source\_IP\_address -> destination\_IP\_address*

長構文: NDP6.015 Dropping neighbor solicitation packet received from *source\_IP\_address* to *destination\_IP\_address*

説明: ルーターが発信元ホストから ICMP6 近隣送信請求を受信しました。ICMP6 パケットの妥当性検査に失敗したために、この要求は廃棄されました。

---

#### NDP6.016

レベル: C-INFO

短構文: NDP6.016 NS received *source\_IP\_address -> destination\_IP\_address*

長構文: NDP6.016 Neighbor Solicitation request packet received from *source\_IP\_address* to *destination\_IP\_address*

説明: ルーターが発信元ホストから ICMP6 近隣送信請求を受信しました。

---

#### NDP6.017

レベル: U-INFO

短構文: NDP6.017 Dropping NA *source\_IP\_address -> destination\_IP\_address*

長構文: NDP6.017 Dropping neighbor advertisement packet received from *source\_IP\_address* to *destination\_IP\_address*

説明: ルーターが発信元ホストから ICMP6 近隣公示を受信しました。ICMP6 パケットの妥当性検査に失敗したために、この要求は廃棄されました。

---

#### NDP6.018

レベル: C-INFO

短構文: NDP6.018 NA received *source\_IP\_address -> destination\_IP\_address*

長構文: NDP6.018 Neighbor Advertise request packet received from *source\_IP\_address* to *destination\_IP\_address*

説明: ルーターが発信元ホストから ICMP6 近隣公示を受信しました。

---

#### NDP6.019

レベル: C-INFO

短構文: NDP6.019 Received RS *source\_IP\_address -> destination\_IP\_address*

長構文: NDP6.019 Router Solicitation packet received from *source\_IP\_address* to *destination\_IP\_address*

説明: ルーターが発信元ホストから ICMP6 ルーター送信請求を受信しました。

---

#### NDP6.020

レベル: U-INFO

短構文: NDP6.020 Dropping RS *source\_IP\_address -> destination\_IP\_address*

長構文: NDP6.020 Dropping Router Solicitation packet received from *source\_IP\_address* to *destination\_IP\_address*

説明: ルーターが発信元ホストから ICMP6 ルーター送信請求を受信しました。ICMP6 パケットの妥当性検査に失敗したために、この要求は廃棄されました。

---

## NDP6.021

レベル: UE-ERROR

短構文: NDP6.021 Dropping invalid *ND\_packet\_type* *source\_IP\_address* -> *destination\_IP\_address*

長構文: NDP6.021 Invalid neighbor discovery packet (*ND\_packet\_type*) received from *source\_IP\_address* to *destination\_IP\_address* is dropped

説明: ルーターが発信元ホストから無効な近隣発見パケットを受信しました。パケットは廃棄されます。

原因: ソフトウェアはネット・ポインターが無効であることを検出しましたが、その原因は無効なネットワーク構成にあるものと考えられます。

処置: ネットワーク構成を検査してください。

---

## NDP6.022

レベル: C-TRACE

短構文: NDP6.022 Sending NS *source\_IP\_address* -> *destination\_IP\_address* target *addr\_to\_resolve* net *network ID*

長構文: NDP6.022 Neighbor Solicitation packet sent *source\_IP\_address* to *destination\_IP\_address* target *addr\_to\_resolve* net *network ID*

説明: アドレス変換要求があったために、ICMP6 近隣請求を送信中です。

---

## 第86章 ネクスト・ホップ・ルーティング・プロトコル (NHRP)

この章では、ネクスト・ホップ・ルーティング・プロトコル (NHRP) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### NHRP.001

レベル: UE\_ERROR

短構文: NHRP.001 *caller\_string* detected ext offset incorrect

長構文: NHRP.001 *caller\_string* detected ext offset too small or too big

説明: 拡張オフセットが小さ過ぎるか、大き過ぎるかのいずれかです。大き過ぎる場合は、バッファの大きさが不十分で、指定された拡張を組み込むことができません。

原因: 拡張オフセットが間違っているか、MTU の大きさが本当に不十分であるか、あるいは内部エラーがあるかのいずれかです。

処置: 拡張オフセットが有効であるかどうかを確認してください。ネットワークに見合うように MTU をサイズ変更してください。

---

### NHRP.002

レベル: UE\_ERROR

短構文: NHRP.002 addr family mismatch in *caller\_string*: rcvd *fh\_AddressFamily* vs cached *family*

長構文: NHRP.002 addr family mismatch in *caller\_string*: we received *fh\_AddressFamily* and our cache is *family*

説明: 指定されたプロセスの処理中に、受信したアドレス・ファミリーがキャッシュ内にあるものではないことを検出しました。

---

### NHRP.003

レベル: UE\_ERROR

短構文: NHRP.003 addr family *fh\_AddressFamily* !supported in *caller\_string*

長構文: NHRP.003 addr family *fh\_AddressFamily* not supported in *caller\_string*

説明: 指定されたプロセスの処理中に、受信したアドレス・ファミリーがサポートするものではないことを検出しました。

---

### NHRP.004

レベル: UE\_ERROR

短構文: NHRP.004 in *caller\_string*, detected a loop *proto\_addr*

長構文: NHRP.004 while in *caller\_string*, we detected that an NHRP frame is in a loop *proto\_addr*.

説明: NHRP パケットの処理中に、このパケットを前に一度処理したことがあることに気付きました。

原因: 実ループが検出されているか、ほかでも同じ IP アドレスを使用中です。

処置: 重複 IP アドレスがネットワーク内で使用されていないかどうか、ダブル・チェックします。

---

### NHRP.005

レベル: UE\_ERROR

短構文: NHRP.005 sbntwrk id rcvd *subnet\_id* not cfigd on nt *network ID*

長構文: NHRP.005 subnetwork ID rcvd *subnet\_id* not configured on the net *network ID*

説明: 同じ交換接続ネットワーク上ではありません。交換接続ネットワークは細分されています。送信側が送信している先の交換接続ネットワークは、同じサブネットワークになるように構成されていません。

---

### NHRP.006

レベル: UE\_ERROR

短構文: NHRP.006 nll ext not last found by *caller\_string*

長構文: NHRP.006 null extension found in the middle of the extensions by *caller\_string*

説明: 拡張リストの中央にヌルの拡張が見つかりました。

---

### NHRP.007

レベル: C\_INFO

短構文: NHRP.007 proc sbntwrk id ext in rply



長構文: NHRP.007 processing subnetwork id ext in a reply

説明: 応答内のサブネットワーク ID 拡張を処理中です。

---

#### NHRP.008

レベル: C\_INFO

短構文: NHRP.008 proc sbntwrk id ext in req

長構文: NHRP.008 processing subnetwork id ext in a request

説明: 要求内のサブネットワーク ID 拡張を処理中です。

---

#### NHRP.009

レベル: UE\_ERROR

短構文: NHRP.009 rspndr addr ext len=0 in rply

長構文: NHRP.009 responder address ext length is zero is a reply

説明: 応答内の中継拡張の処理中に、応答側アドレスの拡張の長さがゼロに等しいことを検出しました。応答側が誤って拡張を入力しなかったことを意味します。

---

#### NHRP.010

レベル: UI\_ERROR

短構文: NHRP.010 unexpctd err hndlng in res\_ext\_hndlr

長構文: NHRP.010 unexpected error handling in the res\_ext\_handler

説明: IBM ベンダーの私用拡張に関する一般的なエラー処理のデフォルト事例です。

---

#### NHRP.011

レベル: CI\_ERROR

短構文: NHRP.011 unsprtd cmp ext *ext\_type* rcvd in *caller\_string*

長構文: NHRP.011 unsupported compulsory extension *ext\_type* received in *caller\_string*

説明: 指定された必須の拡張に関するサポートがありません。

---

#### NHRP.012

レベル: C\_INFO

短構文: NHRP.012 rspndr addr ext rcvd *respndr\_addr*

長構文: NHRP.012 responder address extension reply received *respndr\_addr*

説明: 指定されたアドレスは、応答を戻した応答側です。

---

#### NHRP.013

レベル: C\_INFO

短構文: NHRP.013 *transit\_ext\_type* transit ext rsp rcvd

長構文: NHRP.013 *transit\_ext\_type* transit extension response received

説明: これは、中継拡張のタイプ (順方向または逆方向) を識別します。次の事象で NHS がリストされません。

---

#### NHRP.014

レベル: C\_INFO

短構文: NHRP.014 nhs: *nhs\_paddr*

長構文: NHRP.014 nhs: *nhs\_paddr*

説明: このアドレスは、上記の拡張の中の NHS の 1 つです。拡張内の順序で表示されます。

---

#### NHRP.015

レベル: UE\_ERROR

短構文: NHRP.015 unrcgnzd ext type *ext\_type* in *caller\_string*

長構文: NHRP.015 unrecognized extension type *ext\_type* in *caller\_string* reply

説明: クライアントは拡張を送信しなかったが、応答内に拡張があります。

原因: これは内部バグの可能性がありますが、応答内で拡張を送信したのに、応答内の拡張を処理するための処理を追加することを忘れました。

処置: コードを修正します。

原因: こちらの要求パケットに誰かが拡張を追加しています。

---

#### NHRP.016

レベル: C\_INFO

短構文: NHRP.016 lsi paddr= *proto\_addr*, mac= *mac\_addr*, atm= *atm\_addr*

長構文: NHRP.016 Lane Shortcuts to paddr= *proto\_addr*, mac= *mac\_addr*, atm= *atm\_addr*

説明: 指定されたアドレスへの NHRP データ・ダイレ

クト VCC を設定するための、レーン・ショートカット・インターフェースへのコール

---

#### NHRP.017

レベル: UE\_ERROR

短構文: NHRP.017 invld ATM addr rcvd *atm\_addr atm\_saddr* in *caller\_string*

長構文: NHRP.017 invalid ATM addr received *atm\_addr atm\_saddr* in *caller\_string*

説明: 受信した ATM アドレスが無効です。

---

#### NHRP.018

レベル: UE\_ERROR

短構文: NHRP.018 *caller* can't parse the frame at address *frame\_address*.

長構文: NHRP.018 *caller* cannot parse the frame at address *frame\_address*.

説明: 発呼者は、指定のアドレスでフレームを解析することができません。

---

#### NHRP.019

レベル: P\_TRACE

短構文: NHRP.019 Trace NHRP/MPOA Ctrl pkt.

長構文: NHRP.019 Trace NHRP/MPOA Ctrl pkt.

説明: NHRP/MPOA 制御フレーム・パケットのトレース。

---

#### NHRP.020

レベル: C\_INFO

短構文: NHRP.020 *caller\_string*

長構文: NHRP.020 *caller\_string*

説明: 通常の情報

---

#### NHRP.021

レベル: C\_INFO

短構文: NHRP.021 *integer*

長構文: NHRP.021 *integer*

説明: この整数は、ELS が使用されていなかった当時から、古い TYPEN() コールに由来するものです。mcs.h 内の定義を参照してください。

---

#### NHRP.022

レベル: UE\_ERROR

短構文: NHRP.022 Could not xmit pkt to *protocol\_address*, out net intf *net\_number*

長構文: NHRP.022 Could not transmit NHRP packet to *protocol\_address*, out network interface *net\_number*

説明: NHRP パケットを送信できませんでした。

原因: このプロトコル・アドレスまでは、経路指定されたパスが存在しません。

処置: このプロトコル・アドレス (たとえば、IP) にプロトコル・データを送信するために、経路指定されたパスを修正してください。

---

#### NHRP.023

レベル: C\_INFO

短構文: NHRP.023 fwding res reqst for *destination\_addr* to *nhrp\_server\_addr*

長構文: NHRP.023 forwarding resolution request for dest= *destination\_addr* to nhs= *nhrp\_server\_addr*

説明: NHRP 解決要求の転送中です。

---

#### NHRP.025

レベル: UI\_ERROR

短構文: NHRP.025 *caller* can't xmit purge pkt to client= *cli\_net\_addr/ cli\_node\_addr* for dest\_addr= *dest\_net\_addr/ dest\_node\_addr*

長構文: NHRP.025 *caller* can't send purge pkt to client= *cli\_net\_addr/ cli\_node\_addr* for destination address= *dest\_net\_addr/ dest\_node\_addr*

説明: 指定の発呼者は、情報を除去できません。

---

#### NHRP.026

レベル: UI\_ERROR

短構文: NHRP.026 cant get memory for *struct\_type* in *caller\_string*

長構文: NHRP.026 can not get memory for *struct\_type* in *caller\_string*

説明: 指定されたルーチン内に指定されている構造用の記憶域が獲得できません。

---

**NHRP.027**

レベル: CE\_ERROR

短構文: NHRP.027 nak *nhrp\_client\_addr* for *route\_type\_text* route to dest= *destination\_addr* because *reason\_text*

長構文: NHRP.027 nak to client addr *nhrp\_client\_addr* for *route\_type\_text* shortcut route to destination *destination\_addr* because *reason\_text*

説明: NHRP サーバーは、クライアントが受信した要求を満たすことができません。

原因: 詳しい理由は *reason\_text* に説明されています。

処置: 処置は必要ありませんが、このクライアント/あて先に関して NAK を停止することができる方法を決めるにあたっては、*reason\_text* を役立てることができません。

---

**NHRP.028**

レベル: C\_INFO

短構文: NHRP.028 rcvd res reqst from *nhrp\_client\_addr* for *destination\_addr*

長構文: NHRP.028 received resolution request from *nhrp\_client\_addr* for *destination\_addr*

説明: NHRP サーバーが解決要求を受信しました。

---

**NHRP.029**

レベル: C\_INFO

短構文: NHRP.029 xmit purge pkt to client=*nhrp\_client\_addr* for dest\_addr= *destination\_addr* w/ prefix= *prefix*

長構文: NHRP.029 Sending purge pkt to client=*nhrp\_client\_addr* for destination address= *destination\_addr* with prefix= *prefix*

説明: パージ・パケット送信情報

---

**NHRP.030**

レベル: C\_INFO

短構文: NHRP.030 *function\_name: general\_message*

長構文: NHRP.030 *function\_name: general\_message*

説明: メッセージが説明です。

---

**NHRP.031**

レベル: C\_INFO

短構文: NHRP.031 *function\_name: general\_message* *general\_code*

長構文: NHRP.031 *function\_name: general\_message* *general\_code*

説明: メッセージが説明です。

---

**NHRP.032**

レベル: C\_INFO

短構文: NHRP.032 *function\_name: general\_message* *general\_code*

長構文: NHRP.032 *function\_name: general\_message* *general\_code*

説明: メッセージが説明です。

---

**NHRP.033**

レベル: C\_INFO

短構文: NHRP.033 *function\_name: general\_message* *proto\_addr*

長構文: NHRP.033 *function\_name: general\_message* *proto\_addr*

説明: メッセージが説明です。

---

**NHRP.034**

レベル: C\_INFO

短構文: NHRP.034 *function\_name: general\_message* *proto\_addr1/ proto\_addr2*

長構文: NHRP.034 *function\_name: general\_message* *proto\_addr1/ proto\_addr2*

説明: メッセージが説明です。

---

**NHRP.035**

レベル: C\_INFO

短構文: NHRP.035 *function\_name: general\_message* *proto\_addr1/ proto\_addr2/ proto\_addr3*

長構文: NHRP.035 *function\_name: general\_message* *proto\_addr1/ proto\_addr2/ proto\_addr3*

説明: メッセージが説明です。

---

---

**NHRP.036**

レベル: C\_INFO

短構文: NHRP.036 Exclude lst match for: *ip\_addr*

長構文: NHRP.036 Exclude list match for: *ip\_addr*

説明: NHRP は NHRP パケットの全部または一部の処理ができません。パケット内の IP アドレスが、NHRP 除外リスト内に構成されているものに一致するためです。

---

**NHRP.037**

レベル: C\_INFO

短構文: NHRP.037 *caller\_string* dtctd potential mac chgs so attempt to send purge

長構文: NHRP.037 *caller\_string* detected potential mac changes, so attempt to sen purge

説明: レーン・ショートカット・インターフェース・サーバー側で、レベル 2 の変更の可能性が検出されたので、必要なら、NHRP パージの送信を試みます。

---

**NHRP.038**

レベル: C\_INFO

短構文: NHRP.038 *caller\_string* cant get L2 parms, retries exceeded, attempt to send Purge

長構文: NHRP.038 *caller\_string* cannot get L2 parms, retries exceeded, attempt to send Purge

説明: レーン・ショートカット・インターフェース・サーバーは、レベル 2 パラメーターが検索されるのを待っていましたが、試行回数を使い尽くしました。そこで、NHRP パージの送信を試みます。

---

**NHRP.039**

レベル: U\_INFO

短構文: NHRP.039 *caller\_string* dtctd *cache\_type* has reached its limit

長構文: NHRP.039 *caller\_string* detected that the *cache\_type* has reached its limit

説明: NHS/MPS は、指定されたキャッシュのキャッシュ限界に達しました。必要な場合は、キャッシュ限界を再構成してください。

---

**NHRP.040**

レベル: UI\_ERROR

短構文: NHRP.040 *caller\_string* dtctd err with proto addr= *proto\_addr*, type= *type*, table= *table*

長構文: NHRP.040 *caller\_string* detected error with protocol addr= *proto\_addr*, type= *type*, table= *table*

説明: プロトコル・アドレスに基づく MIB エントリーの入手ができません。

---

**NHRP.041**

レベル: UI\_ERROR

短構文: NHRP.041 *function\_name*: *general\_message* *general\_code*

長構文: NHRP.041 *function\_name*: *general\_message* *general\_code*

説明: メッセージが説明です。

---

**NHRP.042**

レベル: UI\_ERROR

短構文: NHRP.042 *function\_name*: No dest for frame, rc = *general\_code*

長構文: NHRP.042 *function\_name*: No destination for this frame, rc = *general\_code*

説明: このフレームにはあて先アドレスがありません。

---

**NHRP.043**

レベル: UI\_ERROR

短構文: NHRP.043 *function\_name*: No src for frame, rc = *general\_code*

長構文: NHRP.043 *function\_name*: No source for this frame, rc = *general\_code*

説明: このフレームの発信元アドレスがありません。

---

**NHRP.044**

レベル: UI\_ERROR

短構文: NHRP.044 *function\_name*: Can't crush frame, rc = *general\_code*

長構文: NHRP.044 *function\_name*: Unable to crush NHRP frame, rc = *general\_code*

説明: ネットワーク上に送信する前に、ローカル (内部使用) NHRP フレームを圧搾することができません。

---

**NHRP.045**

レベル: UI\_ERROR

短構文: NHRP.045 *function\_name*: Can't expand frame, rc = *general\_code*

長構文: NHRP.045 *function\_name*: Unable to expand NHRP frame, rc = *general\_code*

説明: ローカル (内部使用) コピーのために、NHRP フレームを展開することができません。

---

**NHRP.046**

レベル: UI\_ERROR

短構文: NHRP.046 *function\_name*: Proto *protocol\_type* not handled

長構文: NHRP.046 *function\_name*: Protocol *protocol\_type* not handled by NHRP

説明: このプロトコル・タイプのアドレスは、現行リリースの NHRP ではサポートされていません。

原因: NHRP でサポートされていないタイプのプロトコル・アドレス内での機能受け渡し

処置: なし。

---

**NHRP.047**

レベル: UI\_ERROR

短構文: NHRP.047 *function\_name*: No *data\_type* available

長構文: NHRP.047 *function\_name*: No *data\_type* could be allocated

説明: タイプ *data\_type* の構造を割り振ることができませんでした。

原因: 新規構造に割り振るために使用可能な記憶域がありません。

処置: なし。

---

**NHRP.048**

レベル: UI\_ERROR

短構文: NHRP.048 *function\_name*: No ATM info for *proto\_addr*, rc = *general\_code*

長構文: NHRP.048 *function\_name*: Could not get ATM info for *proto\_addr*, rc = *general\_code*

説明: このプロトコル・アドレスに関する ATM アドレスが検索できませんでした。

---

**NHRP.049**

レベル: U\_INFO

短構文: NHRP.049 New RIF= *new\_rif*, Current RIF= *current\_rif*

長構文: NHRP.049 New RIF= *new\_rif*, Current RIF= *current\_rif*

説明: ショートカットに関するパラメーターに対応する RIF が、このショートカット用として現在使用されているものと異なっています。両方の RIF は共に非 NULL です。以後は新規 RIF がこのショートカットに対応付けられます。

---

**NHRP.050**

レベル: U\_INFO

短構文: NHRP.050 *function\_name*: *general\_message*

長構文: NHRP.050 *function\_name*: *general\_message*

説明: メッセージが説明です。

---

**NHRP.051**

レベル: U\_INFO

短構文: NHRP.051 New RIF= *new\_rif*, Current RIF=NULL

長構文: NHRP.051 New RIF= *new\_rif*, Current RIF=NULL

説明: ショートカットに関するパラメーターに対応する RIF が非 NULL です。これは現在使用中の NULL RIF とは異なっています。以後は新規非 NULL RIF がこのショートカットに対応付けられます。

---

**NHRP.052**

レベル: U\_INFO

短構文: NHRP.052 New RIF=NULL, Current RIF= *current\_rif*

長構文: NHRP.052 New RIF=NULL, Current RIF= *current\_rif*

説明: ショートカットに関するパラメーターに対応する RIF が現在は NULL です。これは現在使用中の非 NULL RIF とは異なっています。このショートカットに対応する RIF は、NULL に変更されます。

---

**NHRP.053**

レベル: C\_INFO

短構文: NHRP.053 fwding frame for *dest\_net\_addr/dest\_node\_addr* to *nhs\_net\_addr/ nhs\_node\_addr*

長構文: NHRP.053 forwarding req/rep for dest/src=*dest\_net\_addr/ dest\_node\_addr* to nhs=*nhs\_net\_addr/ nhs\_node\_addr*

説明: NHRP 解決要求の転送中です。

---

**NHRP.054**

レベル: C\_INFO

短構文: NHRP.054 *function\_name*: Timer type *timer\_type timer\_state* for CCE: *proto\_addr*

長構文: NHRP.054 *function\_name*: Timer type *timer\_type timer\_state* for ClientCacheElement: *proto\_addr*

説明: なし。

---

**NHRP.055**

レベル: UI\_ERROR

短構文: NHRP.055 *caller\_string*

長構文: NHRP.055 *caller\_string*

説明: なし。

---

**NHRP.056**

レベル: U\_INFO

短構文: NHRP.056 *function\_name*: VCs marked down for *destination\_protocol\_addr*

長構文: NHRP.056 *function\_name*: VCs marked down for *destination\_protocol\_addr*

説明: このあて先プロトコルに関する VC は、クローズされているか、または無効になっているので、NHRP キャッシュ内でダウンとマークされています。

---

**NHRP.057**

レベル: U\_INFO

短構文: NHRP.057 *function\_name*: Function currently unimplemented

長構文: NHRP.057 *function\_name*: Function currently unimplemented

説明: この機能は現在は実現されていないので、何も行われません。

---

---

**NHRP.058**

レベル: C\_INFO

短構文: NHRP.058 *function\_name*: NextHop (1483 or LSI) will not bypass *proto\_addr1*

長構文: NHRP.058 *function\_name*: NHRP NextHop (1483 or LSI) will not bypass *proto\_addr1*

説明: 解決応答で受信した 1483 または LSI NextHop は、経路指定されたパスの NextHop と同じものです。

---

**NHRP.060**

レベル: UE\_ERROR

短構文: NHRP.060 *function\_name*: *general\_message*

長構文: NHRP.060 *function\_name*: *general\_message*

説明: メッセージが説明です。

---

**NHRP.061**

レベル: UE\_ERROR

短構文: NHRP.061 *function\_name*: *general\_message* *general\_code*

長構文: NHRP.061 *function\_name*: *general\_message* *general\_code*

説明: メッセージが説明です。

---

**NHRP.062**

レベル: UE\_ERROR

短構文: NHRP.062 *function\_name*: *general\_message* *general\_code*

長構文: NHRP.062 *function\_name*: *general\_message* *general\_code*

説明: メッセージが説明です。

---

**NHRP.063**

レベル: UE\_ERROR

短構文: NHRP.063 *function\_name*: *general\_message* *proto\_addr*

長構文: NHRP.063 *function\_name*: *general\_message* *proto\_addr*

説明: メッセージが説明です。

---



---

**NHRP.064**

レベル: UE\_ERROR

短構文: NHRP.064 *function\_name*: NHRP vers mismatch, vers = *general\_code*

長構文: NHRP.064 *function\_name*: NHRP version mismatch, version = *general\_code*

説明: NHRP フレームを受信しましたが、バージョン番号が間違っています。

---

**NHRP.065**

レベル: UE\_ERROR

短構文: NHRP.065 *function\_name*: Checksum not 0: *general\_code*

長構文: NHRP.065 *function\_name*: Checksum not 0: *general\_code*

説明: フレームを受信しましたが、チェックサムの計算が 0 になりませんでした。

---

**NHRP.066**

レベル: UE\_ERROR

短構文: NHRP.066 *function\_name*: *addr\_name* *proto\_addr* not cached

長構文: NHRP.066 *function\_name*: *addr\_name* *proto\_addr* not cached

説明: このアドレスがクライアント・キャッシュ内に見付かりませんでした。

---

**NHRP.067**

レベル: UE\_ERROR

短構文: NHRP.067 *function\_name*: Hold time 0 rcvd from *proto\_addr1* for *proto\_addr2*

長構文: NHRP.067 *function\_name*: Holding time of 0 received from *proto\_addr1* for *proto\_addr2*

説明: 解決要求に対する応答として、保留時間 0 を受信しました。

---

**NHRP.068**

レベル: UE\_ERROR

短構文: NHRP.068 *function\_name*: Can't match MTU for netp *general\_pointer*

長構文: NHRP.068 *function\_name*: Can't provide correct MTU size for netp *general\_pointer*

説明: 応答内で戻された MTU 用として使用できる、使用可能な netp がありません。

---

**NHRP.069**

レベル: UE\_ERROR

短構文: NHRP.069 *function\_name*: Rcvd fragment, length = *general\_length*

長構文: NHRP.069 *function\_name*: Received a fragment, length = *general\_length*

説明: 受信したフレームは、単にフラグメントに過ぎませんでした。

---

**NHRP.070**

レベル: CE\_ERROR

短構文: NHRP.070 *function\_name*: *general\_message*

長構文: NHRP.070 *function\_name*: *general\_message*

説明: メッセージが説明です。

---

**NHRP.071**

レベル: CE\_ERROR

短構文: NHRP.071 *function\_name*: NAK rqst sent from local client *proto\_addr1* for dest *proto\_addr2*, Code = *reply\_code*

長構文: NHRP.071 *function\_name*: NAK for request made by local client *proto\_addr1* for destination *proto\_addr2*, Code = *reply\_code*

説明: *reply\_code* が非ゼロの場合は、*proto\_addr2* に関して行われた要求のローカル・クライアント *proto\_addr1* に関して NAK を受信しました。そうでない場合は、クライアントが、応答を NAK であるかのように処理することによって、強制的に NAK を出しました。

---

**NHRP.072**

レベル: UI\_ERROR

短構文: NHRP.072 *caller\_string* rc = *integer*

長構文: NHRP.072 SNMP interface function *caller\_string* returned error (rc = *integer*)

説明: SNMP インターフェイス機能がエラーを戻しました。

---

**NHRP.073**

レベル: C\_INFO

短構文: NHRP.073 NHRP LSI AddrStateChg (Active):  
nt network ID

長構文: NHRP.073 NHRP LSI AddrStateChg (Active):  
nt network ID

説明: この NHRP LSI ネットワークは、スイッチからアドレス状態の変更を受信しました。これは、アドレス ESI および SEL がスイッチに登録されたことを意味しています。これで、このインターフェースを通して、NHRP LANE ショートカットを設定することができます。

---

**NHRP.074**

レベル: UI\_ERROR

短構文: NHRP.074 NHRP LSI GetAddrByHandle rc=  
return\_code: nt network ID

長構文: NHRP.074 NHRP LSI GetAddrByHandle rc=  
return\_code: nt network ID

説明: スイッチからアドレスを入手しようとしているときに、エラーが検出されました。

---

**NHRP.075**

レベル: UI\_ERROR

短構文: NHRP.075 NHRP LSI OpenCallSap rc=  
return\_code: nt network ID

長構文: NHRP.075 NHRP LSI OpenCallSap rc=  
return\_code: nt network ID

説明: コール SAP をオープンしようとしているときに、エラーが検出されました。コール SAP は、リモートあて先に ATM のコールを発信または受信するために必要です。

---

**NHRP.076**

レベル: UE\_ERROR

短構文: NHRP.076 NHRP LSI Addr Deactivated!: nt  
network ID

長構文: NHRP.076 NHRP LSI Addr Deactivated!: nt  
network ID

説明: この NHRP LSI の ATM アドレスが非活性化されました。すべてのコールが削除されています。この NHRP LSI は、アドレスが再活性化されるのを待つことになります。

---

**NHRP.077**

レベル: UE\_ERROR

短構文: NHRP.077 NHRP LSI Addr Refused!: nt  
network ID

長構文: NHRP.077 NHRP LSI Addr Refused!: nt  
network ID

説明: 要求されたアドレスが、スイッチによって拒否されました。

原因: 考えられる原因は、重複する MAC アドレスがすでにスイッチに登録されていることです。

---

**NHRP.078**

レベル: UI\_ERROR

短構文: NHRP.078 NHRP LSI AddrStChg unknown: nt  
network ID

長構文: NHRP.078 NHRP LSI AddrStChg unknown: nt  
network ID

説明: アドレス状態変更機能が呼び出されましたが、要求された状態が不明です。

---

**NHRP.079**

レベル: UE\_ERROR

短構文: NHRP.079 NHRP LSI OpenDataPath failr(  
return\_code): nt network ID

長構文: NHRP.079 NHRP LSI OpenDataPath failr(  
return\_code): nt network ID

説明: 指定のパラメーターを用いてデータ・パスのオープンを試みているとき、障害が発生しました。このコールは、該当する原因コードを出して停止します。

---

**NHRP.080**

レベル: C\_INFO

短構文: NHRP.080 NHRP LSI PlaceCallAck: nt network  
ID

長構文: NHRP.080 NHRP LSI PlaceCallAck: nt network  
ID

説明: 発信したコールが、リモートあて先によって受信され、受信確認されました。リモート側へのデータ・パスをオープンし、VCC での送受信を開始します。

---

**NHRP.081**

レベル: U\_INFO

短構文: NHRP.081 NHRP LSI DisconnectCall: NULL  
CORRELATOR received

長構文: NHRP.081 NHRP LSI DisconnectCall: NULL  
CORRELATOR received

説明: コールが、受信する直前に解放されました。

---

**NHRP.082**

レベル: U\_INFO

短構文: NHRP.082 NHRP LSI DisconnectCall: nt  
network ID

長構文: NHRP.082 NHRP LSI DisconnectCall: nt  
network ID

説明: すでにアクティブになっているコール、または  
現在発信中のコールが解放されました。解放された理由  
が、追加 ELS メッセージに表示されています。これ  
は、通常の状態です。チャンネルが必要な場合は、再初期  
化します。

原因: ネットワークまたはリモート・ユーザーのい  
ずれかが、コールを解放しました。

---

**NHRP.083**

レベル: U\_INFO

短構文: NHRP.083 NHRP LSI DisconnectCall: rsn=  
reason\_code, cause= cause\_code, diagLen= diag\_len,  
diagData[0]= diag\_data

長構文: NHRP.083 NHRP LSI DisconnectCall: rsn=  
reason\_code, cause= cause\_code, diagLen= diag\_len,  
diagData[0]= diag\_data

説明: このメッセージに入っている情報は、コールが  
解放された理由です。

---

**NHRP.084**

レベル: U\_INFO

短構文: NHRP.084 NHRP LSI DisconnectCall: vpi=  
vcc\_vpi, vci= vcc\_vci, AtmAddr= vcc\_remote\_atm\_address

長構文: NHRP.084 NHRP LSI DisconnectCall: vpi=  
vcc\_vpi, vci= vcc\_vci, AtmAddr= vcc\_remote\_atm\_address

説明: このメッセージの中の情報は、チャンネル  
VPI/VCI と、切断中のチャンネルのリモート ATM アドレ  
スです。

---

---

**NHRP.085**

レベル: U\_INFO

短構文: NHRP.085 NHRP LSI DisconnectCall WalkDwn  
PCR= walk\_down\_PCR, SCR= walk\_down\_SCR:nt network  
ID

長構文: NHRP.085 NHRP LSI DisconnectCall WalkDwn  
PCR= walk\_down\_PCR, SCR= walk\_down\_SCR:nt network  
ID

説明: 解放されたコールは、セル速度が原因で解放さ  
れました。NHC コードは、NHRP\_XX (ARP\_48 として  
使用される) にリストされているターゲットとの接続を  
確立するために、一般に使用されているデータ速度まで  
下げようと試みます。

原因: セル速度が不一致であるために、ネットワーク  
またはリモート・ユーザーのいずれかが、コールを解放  
しました。

---

**NHRP.086**

レベル: UI\_ERROR

短構文: NHRP.086 NHRP LSI Register failure (rc=  
return\_code): nt network ID

長構文: NHRP.086 NHRP LSI Register failure (rc=  
return\_code): nt network ID

説明: この NHRP LSI は、基礎にある装置ドライバー  
およびネット・ハンドラーへのユーザーとしての登録に  
失敗しました。この NHRP LSI は作動不可能になりま  
す。

処置: ルーターをリポートし、担当のサービス技術員  
に連絡してください。

---

**NHRP.087**

レベル: C\_INFO

短構文: NHRP.087 NHRP LSI Register successful: nt  
network ID

長構文: NHRP.087 NHRP LSI Register successful: nt  
network ID

説明: この NHRP LSI は、基礎にある装置ドライバー  
およびネット・ハンドラーに正常に登録しました。これ  
は通常の初期化です。

---

**NHRP.088**

レベル: UI\_ERROR

短構文: NHRP.088 NHRP LSI OpnBffFrmSap Failed  
(rc= return\_code): nt network ID

**長構文:** NHRP.088 NHRP LSI OpnBffFrmSap Failed (rc= *return\_code*): nt *network ID*

**説明:** この NHRP LSI は、バッファ・フレーム SAP のオープン中に失敗しました。これは内部エラーが原因です。この NHRP LSI は作動不可能になります。

**処置:** ルーターをリブートし、担当のサービス技術員に連絡してください。

---

#### NHRP.089

**レベル:** C\_INFO

**短構文:** NHRP.089 NHRP LSI Address Activation pending: nt *network ID*

**長構文:** NHRP.089 NHRP LSI Address Activation pending: net *network ID*

**説明:** この NHRP LSI は、その ATM アドレスをスイッチに登録する手順を開始しました。登録が完了すると、NHRP LSI の ATM アドレスの状況を記述する、別のアドレス状態変更のメッセージがログに記録されます。

**処置:** 処置は必要ありません。これは通常の処理です。

---

#### NHRP.090

**レベル:** C\_INFO

**短構文:** NHRP.090 NHRP LSI Address Activation success: nt *network ID*

**長構文:** NHRP.090 NHRP LSI Address Activation success: nt *network ID*

**説明:** この NHRP LSI は、正常にアドレスを活性化しました。

---

#### NHRP.091

**レベル:** CE\_ERROR

**短構文:** NHRP.091 NHRP LSI AAL IE:Not prsnt, or Invld AAL type (x *AAL\_type*)

**長構文:** NHRP.091 NHRP LSI AAL IE:Not present, or Invalid AAL type (x *AAL\_type*)

**説明:** 無効な AAL タイプ。AAL タイプは AAL5 でなければなりません。

---

#### NHRP.092

**レベル:** CE\_ERROR

**短構文:** NHRP.092 NHRP LSI AAL IE:Invld fwd max SDU sz ( *fwd\_max\_SDU\_size*)

**長構文:** NHRP.092 NHRP LSI AAL IE:Invalid forward maximum SDU size ( *fwd\_max\_SDU\_size*)

**説明:** 順方向の最大 SDU サイズが無効です。

---

#### NHRP.093

**レベル:** CE\_ERROR

**短構文:** NHRP.093 NHRP LSI AAL IE:Invld bak max SDU sz for P2P call ( *bak\_max\_SDU\_size*)

**長構文:** NHRP.093 NHRP LSI AAL IE:Invalid backward maximum SDU size for Point-to-Point Call ( *bak\_max\_SDU\_size*)

**説明:** ポイント・ポイント (2 地点間) コールの場合、逆方向の最大 SDU サイズが無効です。

---

#### NHRP.094

**レベル:** UI\_ERROR

**短構文:** NHRP.094 NHRP LSI No Next Hop @ match: nt *network ID*

**長構文:** NHRP.094 NHRP LSI No Next Hop Address match: net *network ID*

**説明:** ショートカットの設定を試みているとき、NHRP LSI の対応するデータ構造が見付かりませんでした。NHRP LSI の初期化が正常に完了しなかったようです。

---

#### NHRP.095

**レベル:** UI\_ERROR

**短構文:** NHRP.095 NHRP LSI Invld user or frm sap hndl: nt *network ID*

**長構文:** NHRP.095 NHRP LSI Invalid user or frame sap handle: nt *network ID*

**説明:** SVC の設定を試みているとき、NHRP LSI のユーザー・ハンドルまたはフレーム SAP ハンドルが NULL でした。

---

#### NHRP.096

**レベル:** UI\_ERROR

**短構文:** NHRP.096 NHRP LSI Call sap invld: nt *network ID*

長構文: NHRP.096 NHRP LSI Call sap invalid: network network ID

説明: SVC の設定を試みているとき、NHRP LSI のユーザーに有効なコール SAP がありません。

---

#### NHRP.097

レベル: UI\_ERROR

短構文: NHRP.097 NHRP LSI atmPlaceCall Failure (rc=return\_code): nt network ID

長構文: NHRP.097 NHRP LSI atmPlaceCall Failure (rc=return\_code): net network ID

説明: SVC の設定を試みているとき、装置ドライバーのサービスが SUCCESS 以外の値を返しました。

---

#### NHRP.098

レベル: UI\_ERROR

短構文: NHRP.098 NHRP LSI atmPlaceCall Failure destination: Atm@= vcc\_remote\_atm\_address

長構文: NHRP.098 NHRP LSI atmPlaceCall Failure destination: AtmAddr= vcc\_remote\_atm\_address

説明: SVC の設定を試みているとき、装置ドライバーのサービスが SUCCESS 以外の値を返しました。これは、VCC の確立が試みられているリモート端末のアドレスです。

---

#### NHRP.099

レベル: C\_INFO

短構文: NHRP.099 NHRP LSI atmPlaceCall Success: Atm@= atm\_address nt network ID

長構文: NHRP.099 NHRP LSI atmPlaceCall Success: AtmAddr= atm\_address net network ID

説明: コールは正常に実行されました。このチャンネルは新しいチャンネル・リストの上に現れるはずであり、まだ応答はされていません。応答されると、ログに PlaceCallAck メッセージが現れます。

---

#### NHRP.100

レベル: C\_INFO

短構文: NHRP.100 Function function\_name called, nt network ID

長構文: NHRP.100 Function function\_name called, on network network ID

説明: NHRP LSI 機能が呼び出されました。

---

#### NHRP.102

レベル: UE\_ERROR

短構文: NHRP.102 NHRP LSI: Inbnd data rcvd frm ATM@= atm\_addr nt network ID

長構文: NHRP.102 NHRP LSI: Inbound data received from ATM Address= atm\_addr nt network ID

説明: NHRP LSI は VCC を通してデータを受信しました。NHRP LSI VCC はすべてが送信専用 VCC であるはずなので、これは起こるはずのないことです。NHRP LSI はこの ATM に使用不可のマークを付け、そこまで他のショートカットが設定されることはありません。

処置: 状況を訂正して、NHRP LSI VCC の他端の LEC がデータを送信することがないようにします。ルーターをリブートしてください。

---

#### NHRP.103

レベル: UE\_ERROR

短構文: NHRP.103 NHRP LSI: Invlid Shrtct Atm@= atm\_addr nt network ID

長構文: NHRP.103 NHRP LSI: Invalid Shortcut Atm Addr= atm\_addr nt network ID

説明: NHRP LSI は、以前使用不可と判別された ATM アドレスへのショートカットの設定を要求されました。これは、NHRP LSI が、以前、VCC を通してこの同じ ATM アドレスからデータを受信したことの結果です。NHRP LSI VCC はすべてが送信専用です。

---

#### NHRP.104

レベル: C\_INFO

短構文: NHRP.104 NHRP LSI: New Shrtct Rqst NxtHp@= next\_hop\_prot\_addr Atm@= atm\_addr nt network ID

長構文: NHRP.104 NHRP LSI: New Shortcut Request Next Hop Addr= next\_hop\_prot\_addr Atm Addr= atm\_addr nt network ID

説明: アクティブな現行ショートカットがないネクスト・ホップへのショートカットの設定が、NHRP LSI に依頼されました。これは正常で、ここでこの新規ネクスト・ホップへのショートカットが設定されます。

---

#### NHRP.105

レベル: C\_INFO

短構文: NHRP.105 NHRP LSI: Mdfy Shrtct Rqst

NxtHp@= *next\_hop\_prot\_addr* Atm@= *atm\_addr* nt *network ID*

**長構文:** NHRP.105 NHRP LSI: Modify Shortcut  
Request Next Hop Addr= *next\_hop\_prot\_addr* Atm Addr= *atm\_addr* nt *network ID*

**説明:** ショートカットがすでにあるネクスト・ホップへのショートカットの設定が、NHRP LSI に要求されました。この要求と一緒に渡されたパラメーターが、現在アクティブなショートカットのパラメーターと照合して検査され、新規パラメーターに変更があれば、すべて現行ショートカット内に反映されます。

---

#### NHRP.106

レベル: U\_INFO

**短構文:** NHRP.106 NHRP LSI: MAC @ Chngd  
NxtHp@= *next\_hop\_prot\_addr* New MAC@=  
*new\_mac\_addr* Crrnt MAC @=  
*current\_mac\_addr* nt *network ID*

**長構文:** NHRP.106 NHRP LSI: MAC Address Changed  
Next Hop Addr= *next\_hop\_prot\_addr* New MAC Addr=  
*new\_mac\_addr* Current MAC Addr= *current\_mac\_addr* nt *network ID*

**説明:** 既存のショートカットに対応するあて先の MAC アドレスが変更されていることが判明しました。

---

#### NHRP.107

レベル: C\_INFO

**短構文:** NHRP.107 NHRP LSI: Delete Shrtct Rqst  
NxtHp@= *next\_hop\_prot\_addr* nt *network ID*

**長構文:** NHRP.107 NHRP LSI: Delete Shortcut Request  
Next Hop Addr= *next\_hop\_prot\_addr* nt *network ID*

**説明:** ショートカットの削除要求を受信し、実行します。

---

#### NHRP.108

レベル: UI\_ERROR

**短構文:** NHRP.108 NHRP LSI: VCC Setup Err  
NxtHp@= *next\_hop\_prot\_addr* Atm@= *atm\_addr* nt *network ID*

**長構文:** NHRP.108 NHRP LSI: VCC Setup Error Next  
Hop Addr= *next\_hop\_prot\_addr* Atm Addr= *atm\_addr* nt *network ID*

**説明:** VCC の設定要求に対する戻りコードに、VCC が設定されなかったことが示されています。前の ELS

メッセージに、この状況の理由が示されているはずで  
す。

---

#### NHRP.109

レベル: U\_INFO

**短構文:** NHRP.109 NHRP LSI: RIF Chngd NxtHp@=  
*next\_hop\_prot\_addr* Atm@= *atm\_addr* nt *network ID*

**長構文:** NHRP.109 NHRP LSI: RIF Changed Next Hop  
Addr= *next\_hop\_prot\_addr* Atm Addr= *atm\_addr* nt *network ID*

**説明:** 既存のショートカットに対応するルーティング  
情報フィールド (RIF) が変更されていることが判明しま  
した。

---

#### NHRP.110

レベル: C\_INFO

**短構文:** NHRP.110 NHRP LSI: Hldng Time Reset  
NxtHp@= *next\_hop\_prot\_addr* nt *network ID*

**長構文:** NHRP.110 NHRP LSI: Holding Time Reset  
Next Hop Addr= *next\_hop\_prot\_addr* nt *network ID*

**説明:** NHRP LSI に渡された保留時間パラメーター  
が、既存のショートカットに対応する現行存続時間より  
大です。既存のショートカットが変更されて、新しい保  
留時間が反映されます。

---

#### NHRP.111

レベル: C\_INFO

**短構文:** NHRP.111 NHRP LSI: Cntrl Frame *direction*  
Atm@= *atm\_addr* nt *network ID*

**長構文:** NHRP.111 NHRP LSI: Control Frame *direction*  
Atm Addr= *atm\_addr* nt *network ID*

**説明:** 制御フレームが NHRP LSI によって受信されま  
した。

---

#### NHRP.112

レベル: P\_TRACE

**短構文:** NHRP.112 Trace NHRP LSI data packet

**長構文:** NHRP.112 Trace NHRP LSI data packet

**説明:** NHRP LSI データ・パケットをトレースしま  
す。



---

**NHRP.113**

レベル: P\_TRACE

短構文: NHRP.113 Trace NHRP LSI control packet

長構文: NHRP.113 Trace NHRP LSI control packet

説明: NHRP LSI 制御パケットをトレースします。

---

**NHRP.114**

レベル: UI\_ERROR

短構文: NHRP.114 *caller\_string* is passed a ibm lec net

長構文: NHRP.114 *caller\_string* is being passed a non-forum compliant lec net

説明: IBM LEC へのレーン・ショートカットは、サポートしません。

---

**NHRP.115**

レベル: UE\_ERROR

短構文: NHRP.115 *caller\_string* dtctd invld ATM addr tl= *addr\_tl* or sub addr tl= *sub\_addr\_tl*

長構文: NHRP.115 *caller\_string* detected invalid ATM address type/len= *addr\_tl* or sub address type/len= *sub\_addr\_tl*

説明: アドレスまたはサブアドレスのタイプ・フィールドと長さフィールドのいずれかが無効です。

---

**NHRP.116**

レベル: UI\_ERROR

短構文: NHRP.116 *caller\_string* cant get the ccb

長構文: NHRP.116 *caller\_string* can not get the ccb for 1483 transmit

説明: 1483 送信を行うための CCB を入手できません。

---

**NHRP.117**

レベル: UI\_ERROR

短構文: NHRP.117 *caller\_string* cant find the atmarp side car

長構文: NHRP.117 *caller\_string* can not find the atmarp side car

説明: ATMARP サイド・カーがそこにありません。

---

---

**NHRP.118**

レベル: C\_INFO

短構文: NHRP.118 *caller\_string* connction exists w/ autorfrsh set, arp ent cant be owned by NHRP

長構文: NHRP.118 *caller\_string* detects existing connection with autorefresh configured

説明: ATM 接続がすでに存在しています。自動リフレッシュが構成されるので、NHRP がこの ARP エントリを所有することはできません。

---

**NHRP.119**

レベル: C\_INFO

短構文: NHRP.119 *caller\_string* new arp ent being added

長構文: NHRP.119 *caller\_string* new arp entry being added.

説明: NHRP が ATMARP に ARP エントリを追加中です。

---

**NHRP.120**

レベル: C\_INFO

短構文: NHRP.120 *caller\_string* holding time updated

長構文: NHRP.120 *caller\_string* holding time updated

説明: 保留時間を ARP エントリに入っている値まで下げました。

---

**NHRP.121**

レベル: UI\_ERROR

短構文: NHRP.121 *caller\_string* detctd unexpctd ATM addr changed

長構文: NHRP.121 *caller\_string* detected unexpected ATM address changed

説明: これは予期しない ATM アドレス変更です。

---

**NHRP.122**

レベル: UI\_ERROR

短構文: NHRP.122 *caller\_string* rdatm is null for corrspondng macrd= *macrd\_elem*

長構文: NHRP.122 *caller\_string* rdatm element is null for the associated macrd element= *macrd\_elem*

説明: macrd 要素が存在している場合は、対応する

rdatm が存在する必要があります。この原因となった内部バグがあるはずです。

---

#### NHRP.123

レベル: UI\_ERROR

短構文: NHRP.123 *caller\_string* rdatm= *rdatm\_elem* is not pting back to the corrspondng macrd= *macrd\_elem*

長構文: NHRP.123 *caller\_string* rdatm= *rdatm\_elem* is not pointing back to the associated macrd element= *macrd\_elem*

説明: macrd 要素が存在している場合は、対応する rdatm が存在する必要があります。rdatm 要素が macrd 要素を逆に指示してはいません。この原因となった内部バグがあるはずです。

---

#### NHRP.124

レベル: C\_INFO

短構文: NHRP.124 *caller\_string* detctd a protocol, mac or ri change

長構文: NHRP.124 *caller\_string* detected a protocol, mac or ri change

説明: 機能コールで、プロトコル、MAC、または RI 変更が検出されました。

---

#### NHRP.125

レベル: C\_INFO

短構文: NHRP.125 *caller\_string* free learp mac-atm elem for mac addr= *mac\_addr*

長構文: NHRP.125 *caller\_string* free learp mac-atm element for mac addr= *mac\_addr*

説明: 指定された MAC アドレスに関する LEARP\_MAC\_ATM\_ENTRY を解放します。

---

#### NHRP.126

レベル: C\_INFO

短構文: NHRP.126 *caller\_string* free learp rd-atm elem for next\_rd= *next\_rd*

長構文: NHRP.126 *caller\_string* free learp rd-atm element for the next route descriptor= *next\_rd*

説明: 指定された次の経路記述子に関する LEARP\_RD\_ATM\_ENTRY を解放します。

---

#### NHRP.127

レベル: C\_INFO

短構文: NHRP.127 *caller\_string* free learp mac-rd elem for nxt hp addr= *prot\_addr*

長構文: NHRP.127 *caller\_string* free learp mac-rd element for next hop addr= *prot\_addr*

説明: 指定された IP アドレスに関する LEARP\_MAC\_RD\_ENTRY を解放します。

---

#### NHRP.128

レベル: C\_INFO

短構文: NHRP.128 *caller\_string* dtctd hldng time exprd for mac addr= *mac\_addr*

長構文: NHRP.128 *caller\_string* detected holding time expired for mac addr= *mac\_addr*

説明: LEARP MAC-ATM 要素エントリーの保留時間が満了しました。

---

#### NHRP.129

レベル: C\_INFO

短構文: NHRP.129 *caller\_string* dtctd hldng time exprd for next\_rd= *next\_rd*

長構文: NHRP.129 *caller\_string* detected holding time expired for next route descriptor= *next\_rd*

説明: LEARP RD-ATM 要素エントリーの保留時間が満了しました。

---

#### NHRP.130

レベル: C\_INFO

短構文: NHRP.130 *caller\_string* rfrsh ent for mac addr= *mac\_addr*

長構文: NHRP.130 *caller\_string* refresh entry for mac addr= *mac\_addr*

説明: 指定の MAC アドレスの LEARP MAC-ATM 要素エントリーをリフレッシュします。

---

#### NHRP.131

レベル: C\_INFO

短構文: NHRP.131 *caller\_string* rfrsh ent for next\_rd= *next\_rd*

長構文: NHRP.131 *caller\_string* refresh entry for next route descriptor= *next\_rd*

説明: 指定の次の経路記述子の LEARP RD-ATM 要素 エントリーをリフレッシュします。

---

#### NHRP.132

レベル: U\_INFO

短構文: NHRP.132 LEC arp timer timed out for mac addr= *mac\_addr*

長構文: NHRP.132 LEC's arp timer timed out for mac addr= *mac\_addr*

説明: NHRP は、指定された MAC アドレスに関する LEARP を起動しましたが、応答を入手しませんでした。

---

#### NHRP.133

レベル: U\_INFO

短構文: NHRP.133 LEC arp timr timed out for next\_rd= *next\_rd*

長構文: NHRP.133 LEC's arp timer timed out for next route descriptor= *next\_rd*

説明: NHRP は、指定された経路記述子に関する LEARP を起動しましたが、応答を入手しませんでした。

---

#### NHRP.134

レベル: C\_INFO

短構文: NHRP.134 LEC rcvd LE\_ARP rply for mac addr= *mac\_addr*

長構文: NHRP.134 LEC received LE\_ARP reply for mac addr= *mac\_addr*

説明: NHRP は、指定された MAC アドレスに関する LEARP を起動し、応答を入手しました。

---

#### NHRP.135

レベル: C\_INFO

短構文: NHRP.135 LEC rcvd LE\_ARP rply for next\_rd= *next\_rd*

長構文: NHRP.135 LEC received LE\_ARP reply for next route descriptor= *next\_rd*

説明: NHRP は、指定された経路記述子に関する LEARP を起動し、応答を入手しました。

---

#### NHRP.136

レベル: U\_INFO

短構文: NHRP.136 LEC rcvd LE\_ARP rply but atm addr changed, new addr= *atm\_addr*

長構文: NHRP.136 LEC received LE\_ARP reply but atm address changed, new addr= *atm\_addr*

説明: NHRP は、指定された MAC アドレスまたは経路記述子に関する LEARP を起動し、MAC アドレス内に変更を検出しました。

---

#### NHRP.137

レベル: C\_INFO

短構文: NHRP.137 entry exists in LEC's arp table for mac\_addr= *mac\_addr*

長構文: NHRP.137 entry exists in LEC's arp table for mac\_addr= *mac\_addr*

説明: NHRP は、指定された MAC アドレスに関する LEARP を起動しましたが、応答を入手しませんでした。

---

#### NHRP.138

レベル: C\_INFO

短構文: NHRP.138 entry exists in LEC's arp table for next\_rd= *next\_rd*

長構文: NHRP.138 entry exists in LEC's arp table for next route descriptor= *next\_rd*

説明: NHRP は、指定された経路記述子に関する LEARP を起動しましたが、応答を入手しませんでした。

---

#### NHRP.139

レベル: UI\_ERROR

短構文: NHRP.139 LEC arp tbl is full, nhrp cant get entry

長構文: NHRP.139 LEC's arp table is full, nhrp cannot get an entry

説明: LEC の ARP テーブルがいっぱいで、NHRP は エントリーを入手できません。応答を入手します。

処置: LEC の ARP テーブルをもっと大きい値に構成してください。

---

**NHRP.140**

レベル: U\_INFO

短構文: NHRP.140 LEC notifd NHRP of a tply change in net= *net\_no*

長構文: NHRP.140 LEC has notified NHRP of a topology change in net= *net\_no*

説明: LEC は、トポロジー変更があったことを NHRP に通知しました。

---

**NHRP.141**

レベル: C\_INFO

短構文: NHRP.141 *call\_string* retrvd MAC addr successflly from ARP for *proto\_addr*

長構文: NHRP.141 *call\_string* retrieved MAC address successfully from ARP for *proto\_addr*

説明: NHRP は ARP をコールして、MAC アドレスを入手します。MAC が入手できない場合は、NHRP は 1 秒間待ってから再試行します。

---

**NHRP.142**

レベル: C\_INFO

短構文: NHRP.142 *call\_string* found *element\_type* elemnt in del pendng

長構文: NHRP.142 *call\_string* found *element\_type* element in delete pending state

説明: 発呼者は削除保留状態の LEARP 要素を検出しました。

---

**NHRP.143**

レベル: C\_INFO

短構文: NHRP.143 *call\_string* cant find *element\_type* elemnt

長構文: NHRP.143 *call\_string* cannot find *element\_type* element

説明: 発呼者が LEARP 要素を検出できません。

---

**NHRP.144**

レベル: C\_INFO

短構文: NHRP.144 *caller\_string* detctd LE\_Regstrtn faild for *element\_type*= *mac\_addr* on net= *net\_no*

長構文: NHRP.144 *caller\_string* detected LE\_Registration failed for *element\_type*= *mac\_addr* on net= *net\_no*

---

説明: この ELAN に属さない MAC/RD および ATM アドレスの、NHRP による登録が失敗しました。

---

**NHRP.145**

レベル: C\_INFO

短構文: NHRP.145 *caller\_string* detctd LE\_Regstrtn workd for *element\_type*= *mac\_addr* on net= *net\_no*

長構文: NHRP.145 *caller\_string* detected LE\_Registration worked for *element\_type*= *mac\_addr* on net= *net\_no*

説明: この ELAN に属さない MAC/RD および ATM アドレスの、NHRP による登録が正常に行われました。

---

**NHRP.146**

レベル: C\_INFO

短構文: NHRP.146 LE\_Regstrtn pendng for *element\_type*= *mac\_addr* on net= *net\_no*

長構文: NHRP.146 LE\_Registration pending for *element\_type*= *mac\_addr* on net= *net\_no*

説明: この ELAN に属さない MAC/RD および ATM アドレスの、NHRP による登録が保留中です。

---

**NHRP.147**

レベル: UI\_ERROR

短構文: NHRP.147 Cant send LE\_Regstrtn for *element\_type*= *mac\_addr* on net= *net\_no*

長構文: NHRP.147 Cannot send the LE\_Registration for *element\_type*= *mac\_addr* on net= *net\_no*

説明: この ELAN に属さない MAC/RD および ATM アドレスの LE\_Registration の送信で、LEC に問題が生じています。

---

**NHRP.148**

レベル: C\_INFO

短構文: NHRP.148 entry expird for *element\_type*= *mac\_addr* but LE\_Regstrtn pendng

長構文: NHRP.148 entry expired for *element\_type*= *mac\_addr* but LE\_Registration pending

説明: NHRP による、この ELAN に属さない MAC/RD および ATM アドレス登録の保留時間が満了しましたが、LE\_Registration が未処理です。このエントリーは、ここでは削除されません。

---

---

**NHRP.149**

レベル: C\_INFO

短構文: NHRP.149 LE\_Regstrtn entry expird for *element\_type= mac\_addr* and markd to be deltd

長構文: NHRP.149 LE\_Registration entry expired for *element\_type= mac\_addr* and marked to be deletd

説明: NHRP による、この ELAN に属さない MAC/RD および ATM アドレス登録の保留時間が満了しました。エントリーは削除とマークされます。

---

**NHRP.150**

レベル: C\_INFO

短構文: NHRP.150 LE\_Regstrtn entry expird for *element\_type= mac\_addr* unreg the entry

長構文: NHRP.150 LE\_Registration entry expired for *element\_type= mac\_addr*, unregister the entry

説明: NHRP による、この ELAN に属さない MAC/RD および ATM アドレス登録の保留時間が満了しました。エントリーは削除とマークされます。このエントリーは正常に登録されたので、NHRP はここでエントリーの登録を抹消します。

---

**NHRP.151**

レベル: UE\_ERROR

短構文: NHRP.151 *caller\_string* detctd invalid lsi *lan\_type= lan\_type*

長構文: NHRP.151 *caller\_string* detected invalid lsi *lan\_type= lan\_type*

説明: NHRP はレーン・ショートカット・インターフェース *lan\_types* を認識しません。

---

**NHRP.152**

レベル: C\_INFO

短構文: NHRP.152 LANE shrtct to one of our int = *ip\_addr*

長構文: NHRP.152 LANE shortcut to one of our interface= *ip\_addr*

説明: NHRP は、NHS の LEC IP アドレスの 1 つへのショートカットを許可しています。

---

**NHRP.153**

レベル: C\_INFO

短構文: NHRP.153 NHS rcvd Res Req

長構文: NHRP.153 NHS received Resolution Request

説明: NHS が解決要求を受信しました。

---

**NHRP.154**

レベル: UE\_ERROR

短構文: NHRP.154 *caller\_string* dtctd src or dst proto len err

長構文: NHRP.154 *caller\_string* detected source or destination protocol length error

説明: 発呼者がプロトコルの長さエラーを検出しました。

---

**NHRP.155**

レベル: CE\_ERROR

短構文: NHRP.155 nak *src\_net\_addr/ src\_node\_addr* for *route\_type\_text* route to dest= *dest\_net\_addr/ dest\_node\_addr* because *reason\_text*

長構文: NHRP.155 nak to addr *src\_net\_addr/ src\_node\_addr* for *route\_type\_text* shortcut route to destination *dest\_net\_addr/ dest\_node\_addr* because *reason\_text*

説明: NHRP サーバーは、クライアントが受信した要求を満たすことができません。

原因: 詳しい理由は *reason\_text* に説明されています。

処置: 処置は必要ありませんが、このクライアント/あて先に関して NAK を停止することができる方法を決めるにあたっては、*reason\_text* を役立てることができません。

---

**NHRP.156**

レベル: UE\_ERROR

短構文: NHRP.156 Could not delete Imp Cache entry for dest= *proto\_addr*, pfx= *prefix*, cid= *cacheid*

長構文: NHRP.156 Could not delete Imposition Cache entry for dest= *proto\_addr*, prefix= *prefix*, cacheid= *cacheid*

説明: e-mpc が開始したページの組み付けキャッシュ・エントリーの削除に失敗しました。

---

---

**NHRP.161**

レベル: UE\_ERROR

短構文: NHRP.161 *caller\_string* dtctd dst unreachable to *proto\_addr*

長構文: NHRP.161 *caller\_string* detected destination unreachable to *proto\_addr*

説明: 発呼者には指定されたあて先への経路がありません。

---

**NHRP.162**

レベル: UE\_ERROR

短構文: NHRP.162 *caller\_string* dtctd hop count exceeded in the NHRP fwd pkt

長構文: NHRP.162 *caller\_string* detected hop count exceeded in the NHRP forward packet.

説明: 発呼者が NHRP パケットを転送中ですが、ホップ・カウントを超えました。

---

**NHRP.163**

レベル: C\_INFO

短構文: NHRP.163 *caller\_string* cant get 1483 ATM addr

長構文: NHRP.163 *caller\_string* cannot get 1483 ATM address

説明: 発呼者は 1483 ATM アドレスを入手できません。要求を待ち行列に入れ、後で再度試行する必要があります。

---

**NHRP.164**

レベル: UI\_ERROR

短構文: NHRP.164 *caller\_string* dtctd err in the q mngmnt for *queue\_type*

長構文: NHRP.164 *caller\_string* detected error in the queue management for *queue\_type*

説明: 待ち行列上の要素を処理中に、発呼者がエラーを検出しました。待ち行列と待ち行列の内容のサイズにミスマッチがあります。

---

**NHRP.165**

レベル: C\_INFO

短構文: NHRP.165 *caller\_string* cant get MAC or corresponding ATM addr

長構文: NHRP.165 *caller\_string* cannot get MAC or corresponding ATM address

説明: 発呼者は MAC アドレスと対応する ATM アドレスのいずれかを入手できません。要求を待ち行列に入れ、後で再度試行する必要があります。

---

**NHRP.166**

レベル: UI\_ERROR

短構文: NHRP.166 *caller\_string* invalid rc from *called\_function*

長構文: NHRP.166 *caller\_string* invalid return code from *called\_function*

説明: 発呼者が無効の戻りコードを検出しました。

---

**NHRP.167**

レベル: C\_INFO

短構文: NHRP.167 NHS sending a *reply\_type* to *src\_proto\_addr*

長構文: NHRP.167 NHRP Server sending a *reply\_type* to *src\_proto\_addr*

説明: NHRP サーバーが指定されたクライアントに指定された応答を送信中です。

---

**NHRP.168**

レベル: UI\_ERROR

短構文: NHRP.168 NHS cant send a ResReply to *src\_proto\_addr*

長構文: NHRP.168 NHRP Server cannot send a Resolution Reply to *src\_proto\_addr*

説明: NHRP サーバーが指定されたクライアントに解決応答を送信できません。

---

**NHRP.169**

レベル: C\_INFO

短構文: NHRP.169 *caller\_string* ARP/LEARP was successful

長構文: NHRP.169 *caller\_string* ARP and/or LEARP was successful

説明: 発呼者は、解決応答の送信に必要な MAC アドレスまたは ATM アドレス、あるいはその両方を入手しました。

---



---

**NHRP.170**

レベル: UE\_ERROR

短構文: NHRP.170 Zero Hop Cli sning a RegReq

長構文: NHRP.170 Zero Hop Client is sending a Registration Request.

説明: ゼロ・ホップまたは経路切り替えクライアントが登録要求を送信中です。

---

**NHRP.171**

レベル: C\_INFO

短構文: NHRP.171 *caller\_string* forwarding *packet\_type* pkt

長構文: NHRP.171 *caller\_string* forwarding *packet\_type* packet

説明: 発呼者が指定されたパケット・タイプを転送中です。

---

**NHRP.172**

レベル: UE\_ERROR

短構文: NHRP.172 *caller\_string* cant forward *packet\_type* pkt

長構文: NHRP.172 *caller\_string* cannot forward *packet\_type* packet

説明: 発呼者が指定されたパケットを転送できません。

原因: NHS がネクスト・ホップに対して許可されていないか、ネクスト・ホップのネットが NHRP 使用可能でないか、ネクスト・ホップのネットが入力ネットに交換接続されていません。

---

**NHRP.173**

レベル: C\_INFO

短構文: NHRP.173 *caller\_string* rcvd a *packet\_type* pkt destined to me

長構文: NHRP.173 *caller\_string* received a *packet\_type* packet destined to me

説明: 発呼者が NHS/MPS あての指定されたパケット・タイプを受信しました。

---

**NHRP.174**

レベル: UE\_ERROR

短構文: NHRP.174 NHS dtctd a Proto-ATM mapping chg on a RegRequest spcfd as unique..src= *proto\_addr*

長構文: NHRP.174 NHS detected Protocol-ATM mapping change on a RegRequest specified as unique..source= *proto\_addr*

説明: NHRP サーバーが、固有と指定された登録要求のリフレッシュ上に、プロトコルと ATM のマッピングの変更を検出しました。

---

**NHRP.175**

レベル: C\_INFO

短構文: NHRP.175 NHS ran out of mem for client registrations

長構文: NHRP.175 NHS ran out of memory for client registrations

説明: NHRP サーバーは記憶域を使い尽くして、クライアント登録にサービスできませんでした。

原因: NHS が記憶域を獲得できないか、登録対象の構成済みクライアント数に達してしまったか、いずれかです。

---

**NHRP.176**

レベル: UI\_ERROR

短構文: NHRP.176 *caller\_string* cant recgnz the NHRP pkt type = *packet\_type\_value*

長構文: NHRP.176 *caller\_string* cannot recognize the NHRP packet type = *packet\_type\_value*

説明: 発呼者が NHRP パケット・タイプを認識しません。

---

**NHRP.177**

レベル: UE\_ERROR

短構文: NHRP.177 *caller\_string* dtctd NHRP pktsz= *pktsize* greater than the input net's MTU= *mtu*

長構文: NHRP.177 *caller\_string* detected NHRP packet size= *pktsize* greater than the input net's MTU= *mtu*

説明: NHRP パケット・サイズが入力ネットの MTU より大です。MTU は最大データ・サイズから LLC を差し引いたものです。

---

**NHRP.178**

レベル: UI\_ERROR

短構文: NHRP.178 *caller\_string* dtctd NHRP pktsz= *pktsize* greater than bytes rcvd= *bytes\_rcvd*

長構文: NHRP.178 *caller\_string* detected NHRP packet size= *pktsize* greater than bytes received= *bytes\_rcvd*

説明: NHRP パケット・サイズが受信したバイト数より大です。

---

#### NHRP.179

レベル: UI\_ERROR

短構文: NHRP.179 *caller\_string* dtctd bytes rcvd=*bytes\_rcvd* greater than max pkt size= *max\_pkt\_sz*

長構文: NHRP.179 *caller\_string* detected NHRP bytes received= *bytes\_rcvd* greater than max packet size= *max\_pkt\_sz*

説明: 受信した NHRP バイト数が、このネットに関する最大データ・サイズより大です。

---

#### NHRP.180

レベル: U\_INFO

短構文: NHRP.180 *caller\_string* dtctd iniatlst == NULL implies IP not in the box

長構文: NHRP.180 *caller\_string* detected iniatlst == NULL implies IP not in the box

説明: IP はこの NHS/MPS 内に構成されていません。

---

#### NHRP.181

レベル: C\_INFO

短構文: NHRP.181 *caller\_string* dtctd no IP defined on the physical net= *net\_num*

長構文: NHRP.181 *caller\_string* detected that no IP address is defined on the physical net= *net\_num*

説明: 物理ネット上に IP アドレスが構成されていません。このために NHRP ショートカット数が制限される可能性があります。

---

#### NHRP.182

レベル: C\_INFO

短構文: NHRP.182 *caller\_string* using anthr net= *net\_num* to allw shrtcts

長構文: NHRP.182 *caller\_string* using another net= *net\_num* to allow shortcuts

説明: NHRP はショートカット用として匹敵する別のネットを見付けようと試みます。

---

#### NHRP.183

レベル: C\_INFO

短構文: NHRP.183 *caller\_string* no alternate net found for shrtcts

長構文: NHRP.183 *caller\_string* no alternate net found for shortcuts

説明: ショートカットを使用できる代替インターフェースが見付かりません。

---

#### NHRP.184

レベル: U\_INFO

短構文: NHRP.184 *caller\_string* rcvd NHRP pkts on intrfce= *net\_num*

長構文: NHRP.184 *caller\_string* received NHRP pkts on interface= *net\_num*

説明: インターフェース上で NHRP パケットを受信しましたが、NHRP が使用可能になっていません。

---

#### NHRP.185

レベル: UI\_ERROR

短構文: NHRP.185 *caller\_string* cant recgnz the dest\_type = *dest\_type\_value*

長構文: NHRP.185 *caller\_string* cannot recognize the dest\_type = *dest\_type\_value*

説明: 発呼者が *dest\_type* を認識しません。

---

#### NHRP.186

レベル: UI\_ERROR

短構文: NHRP.186 *caller\_string* called n\_send() but it cant send the NHRP pkt

長構文: NHRP.186 *caller\_string* called n\_send() but it cannot send the NHRP packet

説明: *n\_send* が不良の戻りコードを戻しました。

---

#### NHRP.187

レベル: UI\_ERROR

短構文: NHRP.187 *caller\_string* called w/ bad input parm

長構文: NHRP.187 *caller\_string* called with bad input parameter

説明: 入力パラメーターの 1 つが誤りです。

---

**NHRP.188**

レベル: UI\_ERROR

短構文: NHRP.188 *caller\_string* cant find the nxthp to send NHRP/MPOA Packet

長構文: NHRP.188 *caller\_string* cannot find the nexthop to send NHRP/MPOA Packet

説明: どのインターフェース外にも NHRP パケットを送信できません。

---

**NHRP.189**

レベル: UI\_ERROR

短構文: NHRP.189 *caller\_string* cant recgnz proto\_state = *proto\_state*

長構文: NHRP.189 *caller\_string* cannot recognize the proto\_state = *proto\_state*

説明: 発呼者がプロトコル使用可能ビット・パターンを認識しません。

---

**NHRP.190**

レベル: C\_INFO

短構文: NHRP.190 *caller\_string* NHRP initialized on net = *net\_no*

長構文: NHRP.190 *caller\_string* NHRP initialized on network number = *net\_no*

説明: NHRP 使用可能ネットが初期化されたことを知らせる通知

---

**NHRP.191**

レベル: C\_INFO

短構文: NHRP.191 *caller\_string* NHRP enbld net = *net\_no* is down.

長構文: NHRP.191 *caller\_string* NHRP enabled net = *net\_no* is down.

説明: NHRP 使用可能ネットがダウンしていることを知らせる通知

---

**NHRP.192**

レベル: U\_INFO

短構文: NHRP.192 Rcvd Err Ind w/ err code= *error\_code*, err offset= *error\_offset*, from= *from\_proto\_addr*

長構文: NHRP.192 Received Error Indication w/ error

code= *error\_code*, error offset= *error\_offset*, from= *from\_proto\_addr*

説明: 誤り通知パケットが受信され、こちらが着信先になっていることを知らせる通知

---

**NHRP.193**

レベル: U\_INFO

短構文: NHRP.193 *caller\_string* rcvd err rc from IP Route Table for *ip\_addr*: rte= *rte*, inrretp= *inrretp*

長構文: NHRP.193 *caller\_string* received error return code from IP Routing Table for *ip\_addr*: rte= *rte*, inrretp= *inrretp*

説明: IP ルーティング・エラーがあることを知らせる通知

---

**NHRP.194**

レベル: C\_INFO

短構文: NHRP.194 *caller\_string* rcvd a req for *ip\_addr* which is one of our proto addr

長構文: NHRP.194 *caller\_string* received a request for *ip\_addr*, which is one of our protocol address

説明: こちらのプロトコル・アドレスの 1 つへのショートカットに対する要求を受信しました。

---

**NHRP.195**

レベル: U\_INFO

短構文: NHRP.195 *caller\_string* rcvd out\_net=sink net from IP Route Table for *ip\_addr*

長構文: NHRP.195 *caller\_string* received out\_net=sink net from IP Routing Table for *ip\_addr*

説明: IP 経路テーブル・コールからの出力ネットが受信側ネットです。

---

**NHRP.196**

レベル: U\_INFO

短構文: NHRP.196 *caller\_string* cant route *dest*, no explicitly defined NHRP IP Servers

長構文: NHRP.196 *caller\_string* cannot route *dest*, there is no explicitly defined NHRP IP Servers

説明: 経路指定されたパスを使用して NHRP パケットをルーティングすることができず、NHRP IP サーバーは定義されていません。

---

**NHRP.197**

レベル: C\_INFO

短構文: NHRP.197 *caller\_string* scan routing tbl bcause change occurred since last scan

長構文: NHRP.197 *caller\_string* scan routing table because change has occurred since last scan

説明: NHRP がルーティング・テーブルをスキャン中であることを知らせる通知

---

**NHRP.198**

レベル: UI\_ERROR

短構文: NHRP.198 Invalid prefix= *prefix\_flag* in *caller\_string*

長構文: NHRP.198 Invalid prefix flag= *prefix\_flag* detected in *caller\_string*

説明: 無効のプレフィックス・フラグを検出しました。

---

**NHRP.199**

レベル: C\_INFO

短構文: NHRP.199 *caller\_string* did not dtct mac chgs so no purge triggered.

長構文: NHRP.199 *caller\_string* did not detect mac changes, so no purge is triggered.

説明: レベル 2 の変更がレーン・ショートカット・インターフェース・サーバー側で検出されなかったため、NHRP パージが送信されることはありません。

---

**NHRP.200**

レベル: C\_INFO

短構文: NHRP.200 *caller\_string* waiting for L2 parms to be retrieved bfore chgs can be dtctd

長構文: NHRP.200 *caller\_string* waiting for L2 parms to be retrieved before changes can be detected

説明: レーン・ショートカット・インターフェース・サーバーは、レベル 2 パラメーターが検索されるのを待ってからでないと、変更を検出して、NHRP パージを送信することはできません。

---

**NHRP.201**

レベル: UE\_ERROR

短構文: NHRP.201 ATM netids mismatch on nt *in\_net* (netid *in\_netid*) and nt *out\_net* (netid *out\_netid*)

長構文: NHRP.201 ATM network-ids mismatch on net *in\_net* (netid *in\_netid*) and net *out\_net* (netid *out\_netid*)

説明: インバウンド・ネットとアウトバウンド・ネットは同じ交換接続ネットワーク上にはありません。インバウンド・ネットとアウトバウンド・ネットの ATM ネットワーク ID は、異なる値を用いて構成されていません。

---

**NHRP.202**

レベル: UI\_ERROR

短構文: NHRP.202 Cant send LE\_Unregstrtn for *element\_type*= *mac\_addr* on net= *net\_no*

長構文: NHRP.202 Cannot send the LE\_Unregistration for *element\_type*= *mac\_addr* on net= *net\_no*

説明: この ELAN に属さない MAC/RD および ATM アドレスの LE\_Unregistration の送信で、LEC に問題が生じています。

---

**NHRP.203**

レベル: C\_INFO

短構文: NHRP.203 *caller\_string* Cant register existing MAC/RD with new ATM addr for *element\_type*= *mac\_addr* on net= *net\_no*

長構文: NHRP.203 *caller\_string* Cannot register existing MAC/RD with new ATM address for *element\_type*= *mac\_addr* on net= *net\_no*

説明: NHRP による MAC/RD および ATM アドレスの登録が失敗しました。

---

**NHRP.204**

レベル: C\_INFO

短構文: NHRP.204 *caller\_string* Rings not unique in merged RIF (ring *ring\_no*)

長構文: NHRP.204 *caller\_string* Ring numbers not unique in merged RIF (ring *ring\_no*)

説明: 0 ホップ・ルーティングの組み合わせ RIF がエラー状態です。

---

**NHRP.205**

レベル: C\_INFO

短構文: NHRP.205 *caller\_string* Merged RIF too long (driflen= *rif\_len* sriflen= *rif\_len* mriflen= *rif\_len*)

長構文: NHRP.205 *caller\_string* Merged RIF exceeded

MAX\_RIF\_LEN (dest riflen= *rif\_len*, src riflen= *rif\_len*, merged riflen= *rif\_len*)

説明: 0 ホップ・ルーティングの組み合わせ RIF が長過ぎます。

---

#### NHRP.206

レベル: C\_INFO

短構文: NHRP.206 *caller\_string* No free virtual RDs

長構文: NHRP.206 *caller\_string* All virtual route-descriptors are in use

説明: バーチャル経路記述子はすべて使用中です。

---

#### NHRP.207

レベル: UI\_ERROR

短構文: NHRP.207 *caller\_string* retd failure for mac= *caller\_string*

長構文: NHRP.207 *caller\_string* returned failure for mac address= *caller\_string*

説明: 0 ホップ・クライアントに関する *local\_flag* の入手を試みているとき、LEC コードが障害を戻しました。

---

#### NHRP.208

レベル: C\_INFO

短構文: NHRP.208 0-Hop detd bridging type mismatch between mac= *caller\_string* and mac= *caller\_string*

長構文: NHRP.208 0-Hop detected transparent and source-route bridges between mac= *caller\_string* and mac= *caller\_string*

説明: ブリッジング・タイプの混合が原因の 0 ホップ・ルーティングの非互換性

---

#### NHRP.209

レベル: C\_INFO

短構文: NHRP.209 0-Hop rings overlap on net= *net\_no*

長構文: NHRP.209 0-Hop virtual ring range overlapping with another router on net= *net\_no*

説明: ユーザーに対して、オーバーラップしない 0 ホップ・バーチャル・リング範囲を構成するように警告します。

---

#### NHRP.210

レベル: UE\_ERROR

短構文: NHRP.210 *caller\_string* dtctd no 0-hop reg tbl alloc on net= *net\_num*

長構文: NHRP.210 *caller\_string* detected that 0-hop registration table is not allocated on net= *net\_num*

説明: 0 ホップ登録テーブルがこのネット上で割り振られませんでした。

---

#### NHRP.211

レベル: UI\_ERROR

短構文: NHRP.211 Function *caller\_string*, no valid LSI net on intf *net\_num*

長構文: NHRP.211 Function *caller\_string* called, no valid LSI net found on interface *net\_num*

説明: NHRP LSI ネット SRAM レコードが定義されていないか、Rel 1.1 形式です。

---

#### NHRP.212

レベル: UE\_ERROR

短構文: NHRP.212 *packet\_type* not rcvd; cannot snd *packet\_type* pkt; inbound/outbound rqst-id *inbound\_request\_id/ outbound\_request\_id*

長構文: NHRP.212 *packet\_type* not received; therefore, cannot send *packet\_type* for inbound/outbound Request-ID *inbound\_request\_id/ outbound\_request\_id*

説明: *packet\_type* の応答は、対応する応答を受信しないので送信できません。

原因: 経路指定されたパスの中のルーターの 1 つの NHRP または MPOA が使用不可にされているか、誤って構成されています。

処置: パケットが廃棄されている場所を見つけてください。

---

#### NHRP.213

レベル: C\_INFO

短構文: NHRP.213 MPOA 1483 cntrl VC dwn reason= *reason\_code*, cause= *cause\_code*

長構文: NHRP.213 MPOA 1483 control VCC down reason= *reason\_code*, cause= *cause\_code*

説明: 外部 MPS または MPC が、VCC をダウンにしました。

---

**NHRP.214**

レベル: UE\_ERROR

短構文: NHRP.214 Could not xmit pkt to *atm\_addr*, out net intf *net\_number*

長構文: NHRP.214 Could not transmit NHRP packet to *atm\_addr*, out network interface *net\_number*

説明: MPOA/NHRP パケットを MPC/MPS に送信できませんでした。

原因: *atm\_addr* への VCC が活動状態になっていません。

処置: *atm\_addr* によって識別されている外部装置の状態を検査してください。

---

**NHRP.215**

レベル: C\_INFO

短構文: NHRP.215 *ip\_addr* is LEC on net intf *net\_number*, but it's not an MPC/MPS

長構文: NHRP.215 *ip\_addr* is LEC on network interface *net\_number*, but it's not an MPC/MPS

説明: *net\_number* に関連する ELAN 上の *ip\_addr* が、MPC/MPS ではありません。

原因: いずれかの側で MPOA が使用可能にされていないか、サポートされていません。

処置: NHRP パケットを *ip\_addr* で受信する場合は、処置は必要ありません。ただし、*ip\_addr* に関連した LEC が MPC または MPS の場合は、両側の構成を検査してください。

---

**NHRP.216**

レベル: C\_INFO

短構文: NHRP.216 Add purge entry for *dest\_addr=destination\_addr*, *prefix=prefix*, *nh=next\_hop\_addr*

長構文: NHRP.216 Adding new purge cache entry for destination address= *destination\_addr*, *prefix=prefix* and *nh=next\_hop\_addr*

説明: 新しいページ・キャッシュ・エントリを追加中です。

---

**NHRP.217**

レベル: C\_INFO

短構文: NHRP.217 Purge Cache: *comment* *nhrp\_client=nhrp\_client\_addr*, for *dest\_addr=next\_hop\_addr*, *nh=*

長構文: NHRP.217 Purge Cache info: *comment* *nhrp*

---

*client=nhrp\_client\_addr*, for destination address=*next\_hop\_addr* and *nh=*

説明: ページ・キャッシュ情報

---

**NHRP.218**

レベル: C\_INFO

短構文: NHRP.218 Purge Cache: *comment* MPC for *dest\_addr=nhrp\_client\_addr*, *nh=next\_hop\_addr*

長構文: NHRP.218 Purge Cache info: *comment* MPC for destination address= *nhrp\_client\_addr* and *nh=next\_hop\_addr*

説明: ページ・キャッシュ情報

---

**NHRP.219**

レベル: C\_INFO

短構文: NHRP.219 Cache Imp *msg: rid=reqid*, *dest=dest\_addr*, *px=prefix*, *cid=cacheid*, *ht=holding\_time*, *nt=netno*

長構文: NHRP.219 Cache Imposition *msg: reqid=reqid*, *dest=dest\_addr*, *prefix=prefix*, *cacheid=cacheid*, *htime=holding\_time* *net=netno*

説明: MPOA キャッシュ組み付け要求/応答

---

**NHRP.220**

レベル: P\_TRACE

短構文: NHRP.220 Trace MPOA KeepAlive pkt.

長構文: NHRP.220 Trace MPOA KeepAlive pkt.

説明: MPOA キープアライブ制御フレーム・パケットのトレース

---

**NHRP.221**

レベル: C\_INFO

短構文: NHRP.221 rcvd res reqst from *src\_net\_addr/src\_node\_addr* for *dest\_net\_addr/dest\_node\_addr*

長構文: NHRP.221 received resolution request from *src\_net\_addr/src\_node\_addr* for *dest\_net\_addr/dest\_node\_addr*

説明: NHRP サーバーが解決要求を受信しました。

---

**NHRP.222**

レベル: C\_INFO

短構文: NHRP.222 xmit purge pkt to *client=cli\_net\_addr/cli\_node\_addr* for *dest\_addr=dest\_net\_addr/*

---



*dest\_node\_addr* w/ *prefix= prefix*

長構文: NHRP.222 Send purge pkt to client=  
*cli\_net\_addr/ cli\_node\_addr* for destination=  
*dest\_net\_addr/ dest\_node\_addr* with *prefix= prefix*

説明: パージ・パケット送信情報

---

#### NHRP.223

レベル: C\_INFO

短構文: NHRP.223 *function\_name: general\_message*  
*proto\_net\_addr/ proto\_node\_addr*

長構文: NHRP.223 *function\_name: general\_message*  
*proto\_net\_addr/ proto\_node\_addr*

説明: メッセージが説明です。

---

#### NHRP.224

レベル: C\_INFO

短構文: NHRP.224 *function\_name: general\_message*  
*pr\_net\_ad1/ pr\_node\_ad1 pr\_net\_ad2/ pr\_node\_ad2*  
*pr\_net\_ad3/ pr\_node\_ad3*

長構文: NHRP.224 *function\_name: general\_message*  
*pr\_net\_ad1/ pr\_node\_ad1 pr\_net\_ad2/ pr\_node\_ad2*  
*pr\_net\_ad3/ pr\_node\_ad3*

説明: メッセージが説明です。

---

#### NHRP.225

レベル: C\_INFO

短構文: NHRP.225 Exclude lst match for: *pr\_net\_addr/*  
*pr\_node\_addr*

長構文: NHRP.225 Exclude list match for: *pr\_net\_addr/*  
*pr\_node\_addr*

説明: NHRP は NHRP パケットの全部または一部の処理ができません。パケット内の IPX アドレスが、NHRP 除外リストに構成されているアドレスに一致するためです。

---

#### NHRP.227

レベル: UE\_ERROR

短構文: NHRP.227 *function\_name: general\_message*  
*proto\_net\_addr/ proto\_node\_addr*

長構文: NHRP.227 *function\_name: general\_message*  
*proto\_net\_addr/ proto\_node\_addr*

説明: メッセージが説明です。

---

#### NHRP.228

レベル: C\_INFO

短構文: NHRP.228 *caller\_string* free learp mac-rd elem  
for nxt hp addr= *prot\_net\_addr/ prot\_node\_addr*

長構文: NHRP.228 *caller\_string* free learp mac-rd  
element for next hop addr= *prot\_net\_addr/*  
*prot\_node\_addr*

説明: 指定されたプロトコル・アドレスの  
LEARP\_MAC\_RD\_ENTRY を解放します。

---

#### NHRP.229

レベル: UE\_ERROR

短構文: NHRP.229 Could not delete Imp Cache entry  
for dest= *proto\_net\_addr/ proto\_node\_addr*, pfx= *prefix*,  
cid= *cacheid*

長構文: NHRP.229 Could not delete Imposition Cache  
entry for dest= *proto\_net\_addr/ proto\_node\_addr*, prefix=  
*prefix*, cacheid= *cacheid*

説明: e-mpc が開始した除去要求の組み付けキャッシュ  
・エントリーの削除に失敗しました。

---

#### NHRP.230

レベル: UE\_ERROR

短構文: NHRP.230 *caller\_string* dtctd dst unreachable to  
*proto\_net\_addr/ proto\_node\_addr*

長構文: NHRP.230 *caller\_string* detected destination  
unreachable to *proto\_net\_addr/ proto\_node\_addr*

説明: 発呼者には指定されたあて先への経路がありません。

---

#### NHRP.231

レベル: C\_INFO

短構文: NHRP.231 NHS sending a *reply\_type* to  
*src\_proto\_net\_addr/ src\_proto\_node\_addr*

長構文: NHRP.231 NHRP Server sending a *reply\_type*  
to *src\_proto\_net\_addr/ src\_proto\_node\_addr*

説明: NHRP サーバーが指定されたクライアントに指  
定された応答を送信中です。

---

#### NHRP.233

レベル: U\_INFO

短構文: NHRP.233 *caller\_string* rcvd err rc from IPX  
Route Table for *ipx\_net\_addr/ ipx\_node\_addr*

長構文: NHRP.233 *caller\_string* received error return code from IPX Routing Table for *ipx\_net\_addr/ ipx\_node\_addr*

説明: IPX ルーティング・エラーがあることを知らせる通知

---

#### NHRP.234

レベル: C\_INFO

短構文: NHRP.234 *caller\_string* rcvd a req for *ipx\_net\_addr/ ipx\_node\_addr* which is one of our proto addr

長構文: NHRP.234 *caller\_string* received a request *ipx\_net\_addr/ ipx\_node\_addr*, which is one of our protocol address

説明: こちらのプロトコル・アドレスの 1 つヘシヨートカットする要求を受信しました。

---

#### NHRP.235

レベル: C\_INFO

短構文: NHRP.235 *ipx\_net\_addr/ ipx\_node\_addr* is LEC on net intf *net\_number*, but it's not an MPC/MPS

長構文: NHRP.235 *ipx\_net\_addr/ ipx\_node\_addr* is LEC on network interface *net\_number*, but it's not an MPC/MPS

説明: *net\_number* に対応する ELAN 上の *ipx\_addr* が、MPC/MPS ではありません。

原因: いずれかの側で MPOA が使用可能にされていないか、サポートされていません。

処置: NHRP パケットを *ipx\_addr* で受信する場合は、処置は必要ありません。ただし、*ipx\_addr* に対応する LEC が MPC または MPS である場合は、両側の構成を検査してください。

---

#### NHRP.236

レベル: C\_INFO

短構文: NHRP.236 Add purge entry for *dest\_net= dest\_net\_addr*, *nh= nh\_net\_addr/ nh\_node\_addr*

長構文: NHRP.236 Adding new purge cache entry for *dest net= dest\_net\_addr* and *nh= nh\_net\_addr/ nh\_node\_addr*

説明: 新しいページ・キャッシュ・エントリーを追加中です。

---

#### NHRP.237

レベル: C\_INFO

短構文: NHRP.237 Cache Imp msg: *rid= reqid*, *dest= dest\_net\_addr/ dest\_node\_addr*, *pxf= prefix*, *cid= cacheid*, *ht= holding\_time*, *nt= netno*

長構文: NHRP.237 Cache Imposition msg: *reqid= reqid*, *dest= dest\_net\_addr/ dest\_node\_addr*, *prefix= prefix*, *cacheid= cacheid*, *htime= holding\_time* *net= netno*

説明: MPOA キャッシュ組み付け要求/応答

---

#### NHRP.238

レベル: UI\_ERROR

短構文: NHRP.238 *caller* can't add purge entry for *dest\_net= dest\_net\_addr*, *nh= nh\_net\_addr/ nh\_node\_addr*

長構文: NHRP.238 *caller* can't Add new purge cache entry for *dest net= dest\_net\_addr* and *nh= nh\_net\_addr/ nh\_node\_addr*

説明: 上記のルーチンは、新しいページ・キャッシュ・エントリーを追加できません。

---

#### NHRP.239

レベル: C\_INFO

短構文: NHRP.239 *function\_name: general\_message general\_code general\_message general\_code*

長構文: NHRP.239 *function\_name: general\_message general\_code general\_message general\_code*

説明: メッセージが説明です。



---

## 第87章 最短パス最優先オープン (OSPF)

この章では、最短パス最優先オープン (OSPF) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### SPF.001

レベル: UE-ERROR

短構文: SPF.001 Bad length pkt, from *IP\_source*, to *IP\_destination*, OSPF len *OSPF\_packet\_length*, IP len *IP\_packet\_length*, type *OSPF\_packet\_type*

長構文: SPF.001 Bad length packet, from *IP\_source*, to *IP\_destination*, OSPF *OSPF\_packet\_length*, IP *IP\_packet\_length*, type *OSPF\_packet\_type*

説明: OSPF パケットを受信しました。OSPF 長さフィールドに示されているパケットの長さが、IP ヘッダーの長さフィールドに示されている値より長くなっています。パケットは廃棄されます。

---

### SPF.002

レベル: UE-ERROR

短構文: SPF.002 Bad pkt checksum, from *IP\_source*, type *OSPF\_packet\_type*

長構文: SPF.002 Bad packet checksum, from *IP\_source*, type *OSPF\_packet\_type*

説明: OSPF パケットを受信しました。パケットには無効な OSPF チェックサムが入っています。パケットは廃棄されます。

---

### SPF.003

レベル: UE-ERROR

短構文: SPF.003 Bad OSPF version, from *IP\_source*, type *OSPF\_packet\_type*

長構文: SPF.003 Bad OSPF version, from *IP\_source*, type *OSPF\_packet\_type*

説明: OSPF パケットを受信しました。OSPF ヘッダーのバージョン・フィールドが 1 に等しくありません。パケットは廃棄されます。

---

### SPF.005

レベル: UE-ERROR

短構文: SPF.005 No matching ifc for pkt from *IP\_source*, type *OSPF\_packet\_type*

長構文: SPF.005 No matching SPF-interface for packet from *IP\_source*, type *OSPF\_packet\_type*

説明: OSPF パケットを受信しました。パケットに指定された IP 宛て先が受け入れ不能であるか、あるいは OSPF ヘッダー内のパラメーター (たとえば、区域 ID) が、受信側インターフェース用に構成されたパラメーターと一致していません。パケットは廃棄されます。

---

### SPF.006

レベル: UE-ERROR

短構文: SPF.006 Authentication failure, from *IP\_source*, type *OSPF\_packet\_type*

長構文: SPF.006 Packet authentication failure, from *IP\_source*, type *OSPF\_packet\_type*

説明: OSPF パケットを受信しましたが、認証に失敗しました。パケットは廃棄されます。

---

### SPF.007

レベル: UE-ERROR

短構文: SPF.007 No matching nbr for pkt from *IP\_source*, type *OSPF\_packet\_type*

長構文: SPF.007 No matching OSPF neighbor for packet from *IP\_source*, type *OSPF\_packet\_type*

説明: OSPF パケットを受信しました。このパケットはハロー・パケットではなく、既存のどの OSPF 近隣とも一致しません。パケットは廃棄されます。

---

### SPF.008

レベル: UE-ERROR

短構文: SPF.008 Bad pkt type from *IP\_source*, type *OSPF\_packet\_type*

長構文: SPF.008 Bad packet type received from *IP\_source*, type *OSPF\_packet\_type*

説明: OSPF パケットを受信しました。OSPF パケットのタイプ・フィールドが無効です。パケットは廃棄されます。

---

**SPF.009**

レベル: UI-ERROR

短構文: SPF.009 No buffer for mcast to *IP\_destination*

長構文: SPF.009 No buffer for multicast packet to *IP\_destination*

説明: リンク・レベルでパケットを拡張して、非同報通信ネットワークでマルチキャスト・パケットを送信しようとした。バッファ資源が不十分だったので、この拡張が失敗しました。

原因: 資源の輻輳 (ふくそう)

処置: 輻輳 (ふくそう) を緩和してください。

---

**SPF.010**

レベル: P-TRACE

短構文: SPF.010 Received packet type *OSPF\_packet\_type* from *IP\_source*

長構文: SPF.010 Received packet type *OSPF\_packet\_type* from *IP\_source*

説明: 指定のタイプの OSPF パケットを受信しました。

---

**SPF.011**

レベル: U-TRACE

短構文: SPF.011 Sending unicast type *OSPF\_packet\_type* dst *IP\_destination*

長構文: SPF.011 Sending unicast type *OSPF\_packet\_type* dst *IP\_destination*

説明: 指定のタイプのユニキャスト OSPF パケットを、指定の IP へ先に送信しました。

---

**SPF.012**

レベル: P-TRACE

短構文: SPF.012 Sending mcast type *OSPF\_packet\_type*, dst *IP\_destination* net *network*

長構文: SPF.012 Sending multicast, type *OSPF\_packet\_type*, destination *IP\_destination* net *network*

説明: 指定のタイプのマルチキャスト OSPF パケットを、指定のインターフェースに送信しました。

---

---

**SPF.013**

レベル: U-INFO

短構文: SPF.013 Rxmitting type *OSPF\_packet\_type*, *IP\_source* -> *IP\_destination*

長構文: SPF.013 Retransmitting packet, type *OSPF\_packet\_type*, *IP\_source* -> *IP\_destination*

説明: 指定のタイプのユニキャスト OSPF パケットを再送中です。

---

**SPF.014**

レベル: UI-ERROR

短構文: SPF.014 No FSM match, ifc *interface\_IP\_address*, state *interface\_state*, event *interface\_event*

長構文: SPF.014 No FSM match, interface *interface\_IP\_address*, state *interface\_state*, event *interface\_event*

説明: インターフェースが指定の状態にあるときに、指定の事象が発生しました。この発生には、インターフェースの有限状態遷移図は適用されませんでした。この事象は無視されます。

原因: 内部エラーの可能性がります。

処置: サービスに連絡してください。

---

**SPF.015**

レベル: U-INFO

短構文: SPF.015 State change, ifc *interface\_IP\_address*, new state *new\_interface\_state*, event *interface\_event*

長構文: SPF.015 State change, interface *interface\_IP\_address*, new state *new\_interface\_state*, event *interface\_event*

説明: 指定のインターフェースで指定の事象が発生し、そのためにインターフェースの状態が変換しました。

---

**SPF.016**

レベル: UE-ERROR

短構文: SPF.016 No match for hlo (virtual link) from *IP\_source*

長構文: SPF.016 No match for hello received on virtual link, from *IP\_source*

説明: 仮想リンクにのみ突き合わせることができるハロー・パケットを受信しましたが、仮想リンクが構成さ

れていません。パケットは廃棄されます。

---

**SPF.017**

レベル: UE-ERROR

短構文: SPF.017 Network mask mismatch with *IP\_source*

長構文: SPF.017 Network mask mismatch in hello from *IP\_source*

説明: 近隣からハロー・パケットを受信しました。近隣は、共通ネットワークのネットワーク・マスクが、このルーターと一致していません。パケットは廃棄されます。

---

**SPF.018**

レベル: UE-ERROR

短構文: SPF.018 Hello interval mismatch with *IP\_source*

長構文: SPF.018 Hello interval mismatch in hello from *IP\_source*

説明: 近隣からハロー・パケットを受信しました。近隣は、共通ネットワークで使用されるハロー時間間隔が、このルーターと一致していません。パケットは廃棄されます。

---

**SPF.019**

レベル: UE-ERROR

短構文: SPF.019 Dead interval mismatch with *IP\_source*

長構文: SPF.019 Dead interval mismatch in hello from *IP\_source*

説明: 近隣からハロー・パケットを受信しました。近隣は、共通ネットワーク上で使用されるはずの「休止ルーター時間間隔」に関して、このルーターと一致しません。パケットは廃棄されます。

---

**SPF.020**

レベル: UI-ERROR

短構文: SPF.020 No FSM match, nbr *neighbor\_IP\_address*, state *neighbor\_state*, event *neighbor\_event*

長構文: SPF.020 No FSM match, neighbor *neighbor\_IP\_address*, state *neighbor\_state*, event *neighbor\_event*

説明: 指定の事象が生成され、指定の近隣は現在、指定の状態にあります。この事象の発生は、近隣の有限状

態機械によって予測されていませんでした。この事象は無視されます。

原因: 内部エラーの可能性がります。

処置: サービスに連絡してください。

---

**SPF.021**

レベル: U-INFO

短構文: SPF.021 State change, nbr *neighbor\_IP\_address*, new state *neighbor\_state*, event *neighbor\_event*

長構文: SPF.021 State change, neighbor *neighbor\_IP\_address*, new state *neighbor\_state*, event *neighbor\_event*

説明: 指定の事象が生成され、指定の近隣は新しい状態に移行しました。

---

**SPF.022**

レベル: UI-ERROR

短構文: SPF.022 Outstanding DD pkt not avail for nbr *neighbor\_IP\_address*

長構文: SPF.022 Outstanding Database Description packet not avail for neighbor *neighbor\_IP\_address*

説明: 指定の近隣にデータベース記述パケットを再送しようとしたのですが、パケットが見つかりませんでした。再送は打ち切られます。

原因: 内部エラーの可能性がります。

処置: サービスに連絡してください。

---

**SPF.023**

レベル: UI-ERROR

短構文: SPF.023 Unable to get pkt, to *IP\_destination*, ifc *interface\_IP\_address*

長構文: SPF.023 Unable to get packet to send to *IP\_destination*, out interface *interface\_IP\_address*

説明: 指定のあて先に OSPF パケットを送信しようとしたのですが、バッファの不足のために、指定のインターフェースは異常終了しました。

原因: 資源の輻輳 (ふくそう)

処置: 輻輳 (ふくそう) を緩和してください。

---

**SPF.024**

レベル: UE-ERROR

短構文: SPF.024 Bad length LS adv from *neighbor\_IP\_address*



**長構文:** SPF.024 Bad length Link state advertisement received from *neighbor\_IP\_address*

**説明:** 指定の近隣からリンク状態公示を受信しましたが、公示の長さフィールドが、受信したリンク状態更新パケットには公示全体が完全には収められていないことを示しています。部分的な公示は廃棄されます。

---

#### SPF.025

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** SPF.025 from *neighbor\_IP\_address*, adv. cksum fl: ( *LS\_type*, *advertisement\_ID* )

**長構文:** SPF.025 from *neighbor\_IP\_address*, LS advertisement checksum fails: LS type *LS\_type* id *advertisement\_ID*

**説明:** リンク状態公示を受信しました。公示は、LS タイプと 2 つの部分からなる発信元 ID (OSPF 仕様セクション 12.1 を参照) によって識別されています。公示に含まれているチェックサム・フィールドが無効です。公示は無視されます。

---

#### SPF.026

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** SPF.026 from *neighbor\_IP\_address*, bad type, adv: ( *LS\_type*, *advertisement\_ID* )

**長構文:** SPF.026 from *neighbor\_IP\_address*, bad LS type, advertisement: typ *LS\_type* id *advertisement\_ID*

**説明:** リンク状態公示を受信しました。公示の LS タイプ・フィールドが無効です。公示は無視されます。

---

#### SPF.027

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** SPF.027 from *neighbor\_IP\_address*, ext adv on VL: ( *LS\_type*, *advertisement\_ID* )

**長構文:** SPF.027 from *neighbor\_IP\_address*, AS external link adv. on Virtual Link: typ *LS\_type* id *advertisement\_ID*

**説明:** リンク状態公示を受信しました。これは仮想リンクを介して受信しましたが、その LS タイプは AS 外部リンクに等しくなっています。公示は無視されます。

---

#### SPF.028

**レベル:** U-INFO

**短構文:** SPF.028 from *neighbor\_IP\_address*, old adv: ( *LS\_type*, *advertisement\_ID* )

**長構文:** SPF.028 from *neighbor\_IP\_address*, old LS advertisement: typ *LS\_type* id *advertisement\_ID*

**説明:** リンク状態公示を受信しました。この公示は、現行のデータベース・コピーより古いものです。受信した公示は、発信元に向けて再びフラッディングされません。

---

#### SPF.029

**レベル:** U-INFO

**短構文:** SPF.029 from *neighbor\_IP\_address*, self update: ( *LS\_type*, *advertisement\_ID* )

**長構文:** SPF.029 from *neighbor\_IP\_address*, self update: typ *LS\_type* id *advertisement\_ID*

**説明:** リンク状態公示を受信しました。公示はルーター自身によって発信されたものですが、データベース・コピーより新しいものです。これは、ルーターが最後に始動される前に、公示が発信されたことを示しています。このことにより、ルーターは LS シーケンス番号を進め、公示を新しくインスタンス化するか、あるいは公示をフラッシュするか (公示が要約 LSA で、接続された区域が要約 LSA をこれ以上インポートできない場合) のいずれかを行います。

---

#### SPF.030

**レベル:** U-INFO

**短構文:** SPF.030 from *neighbor\_IP\_address*, new adv: ( *LS\_type*, *advertisement\_ID* )

**長構文:** SPF.030 from *neighbor\_IP\_address*, new LS advertisement: typ *LS\_type* id *advertisement\_ID*

**説明:** リンク状態公示を受信しました。この公示は、現行のデータベース・コピーより新しいものです。この公示は、他のすべてのインターフェースからあふれて、ルーティング・データベースに導入されました。

---

#### SPF.031

**レベル:** U-INFO

**短構文:** SPF.031 from *neighbor\_IP\_address*, Old ack for adv: ( *LS\_type*, *advertisement\_ID* )

**長構文:** SPF.031 from *neighbor\_IP\_address*, Old acknowledgement for advertisement: typ *LS\_type* id *advertisement\_ID*

**説明:** 予期しないリンク状態確認応答を受信しましたが、この確認応答は、以前に出されたリンク状態公示のインスタンスに対するものです。

---

**SPF.032**

レベル: U-INFO

短構文: SPF.032 Bad ack from *neighbor\_IP\_address* for adv: ( *LS\_type*, *advertisement\_ID* )

長構文: SPF.032 Bad acknowledgment from *neighbor\_IP\_address* for advertisement: typ *LS\_type* id *advertisement\_ID*

説明: 予期しないリンク状態確認応答を受信しましたが、この確認応答は、現行のリンク状態公示のインスタンスに対するものです。

---

**SPF.033**

レベル: U-INFO

短構文: SPF.033 LS update retransmission to *neighbor\_IP\_address*

長構文: SPF.033 LS update retransmission to neighbor *neighbor\_IP\_address*

説明: 再送済みのリンク状態公示が入っているリンク状態更新パケットが、指定の近隣にユニキャストされました。これはおそらく、フラッディング手順時にパケットが失われたことを示しています。

---

**SPF.034**

レベル: U-INFO

短構文: SPF.034 LS ack sent direct to *neighbor\_IP\_address*

長構文: SPF.034 LS acknowledgement sent directly to neighbor *neighbor\_IP\_address*

説明: リンク状態確認応答パケットが、指定の近隣に直接送信されました。これは、近隣から受信した重複リンク状態公示に対する応答です。これはおそらく、フラッディング手順時にパケットが失われたことを示しています。

---

**SPF.035**

レベル: U-INFO

短構文: SPF.035 Flushing advertisement: ( *LS\_type*, *advertisement\_ID* )

長構文: SPF.035 Flushing advertisement: typ *LS\_type* id *advertisement\_ID*

説明: リンク状態データベースに入っているリンク状態公示が、この 2 時間更新されていません。この公示はデータベースから削除されます。これはおそらく、公示の発信元が到達不能になっていることを示していま

す。OSPF 仕様のセクション 14 を参照してください。

---

**SPF.036**

レベル: U-INFO

短構文: SPF.036 Originating adv: ( *LS\_type*, *advertisement\_ID* )

長構文: SPF.036 Originating LS advertisement: typ *LS\_type* id *advertisement\_ID*

説明: リンク状態公示が、ルーターによって (再) 発信されています。これは、トポロジーの変更によるか、リフレッシュが必要であるためと考えられます。

---

**SPF.037**

レベル: U-INFO

短構文: SPF.037 new route to *destination*, type *route\_type* cost *route\_cost*

長構文: SPF.037 New route to destination *destination*, type *route\_type* cost *route\_cost*

説明: SPF ルーティング・テーブル作成プロセスが、指定のあて先への新しい最良経路を検出し、その経路は指定のコストをもっています。

---

**SPF.038**

レベル: P-TRACE

短構文: SPF.038 *Interface* hello sent to dest *type*

長構文: SPF.038 *Interface* hello sent to IP destination *type*

説明: OSPF ハローが、指定の IP あて先に送信されました。これは、NBMA (非同報通信マルチアクセス) ネットワーク、または P2MP ポイント・マルチポイント (1 地点多地点間) ネットワークを通して行われました。

---

**SPF.039**

レベル: U-INFO

短構文: SPF.039 The OSPF routing protocol is *en/disabled*

長構文: SPF.039 The OSPF routing protocol is *en/disabled*

説明: ルーターの始動時に印刷されました。SPF プロトコルの操作状況を示しています。

---

---

**SPF.040**

レベル: U-INFO

短構文: SPF.040 SPF Interface *interface\_IP\_address* is not an IP address, Interface not installed

長構文: SPF.040 SPF Interface *interface\_IP\_address* is not an IP address, Interface not installed

説明: ルーターの始動時に印刷されました。OSPF インターフェース・アドレスが構成されていますが、そのアドレスが IP コンソールでは構成されていませんでした。OSPF インターフェースはインストールされません。

---

**SPF.043**

レベル: U-INFO

短構文: SPF.043 Duplicate LS ack received from *neighbor\_IP\_address*

長構文: SPF.043 Duplicate LS acknowledgment received from neighbor *neighbor\_IP\_address*

説明: 指定の近隣から、予期しないリンク状態確認応答を受信しました。これはおそらく、フラッディング手順時にパケットが失われたことを示しています。

---

**SPF.044**

レベル: UE-ERROR

短構文: SPF.044 from *neighbor\_IP\_address*, bad age field, adv ( *LS\_type*, *advertisement\_ID* )

長構文: SPF.044 from *neighbor\_IP\_address*, bad age field, advertisement: typ *LS\_type* id *advertisement\_ID*

説明: リンク状態公示を受信しました。公示の LS 経過時間フィールドが無効です。公示は無視されます。

---

**SPF.045**

レベル: U-INFO

短構文: SPF.045 non-existent transit area *proposed\_transit\_area*, VL discarded

長構文: SPF.045 Transit area *proposed\_transit\_area* not configured, virtual link discarded

説明: 仮想リンクが特定伝送区域用に構成されていますが、その区域が定義されていません。仮想リンクは無視されます。

---

**SPF.046**

レベル: U-INFO

短構文: SPF.046 No backbone configured, VLs discarded

長構文: SPF.046 Backbone area is not configured, all virtual links discarded

説明: 仮想リンクは、バックボーン区域が構成されていないと使用できません。

---

**SPF.047**

レベル: U-INFO

短構文: SPF.047 *destination* now unreachable

長構文: SPF.047 Destination *destination* now unreachable

説明: ルーティング・テーブル作成処理時に、あて先が到達不可能であることが分かりました。

---

**SPF.048**

レベル: UE-ERROR

短構文: SPF.048 AS ext adv limit exceeded; adv ignored

長構文: SPF.048 Limit of AS external advertisements exceeded; advertisement discarded

説明: 公示の見積数を超過しました。ルーターのヒープの使用量を制限するために、新しい AS 外部公示は無視されます。

---

**SPF.050**

レベル: U-INFO

短構文: SPF.050 from *neighbor\_IP\_address*, MaxAge: ( *LS\_type*, *advertisement\_ID* )

長構文: SPF.050 from *neighbor\_IP\_address*, received unexpected MaxAge: typ *LS\_type* id *advertisement\_ID*

説明: リンク状態公示を受信しました。その経過時間が MaxAge であり、ルーターのデータベースには現行の公示のインスタンスはありません。公示は確認応答された後、フラッディングを伴わないで廃棄されます。

---

**SPF.051**

レベル: UE-ERROR

短構文: SPF.051 bad adv/ovflo: ( *LS\_type*, *advertisement\_ID* )

長構文: SPF.051 error in advertisement or routing

overflow: typ *LS\_type* id *advertisement\_ID*

**説明:** リンク状態公示を受信しました。公示にエラーが含まれているか、ルーティング・テーブルがオーバーフローするので、データベースに追加することができません。いずれの場合も、公示は廃棄されます。

---

### SPF.052

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** SPF.052 Stub area mismatch with *IP\_source*

**長構文:** SPF.052 Stub area mismatch in hello from *IP\_source*

**説明:** 近隣からハロー・パケットを受信しました。近隣は、接続区域の AS 外部リンク公示処理機能が、このルーターと一致していません。ハロー・パケットは無視されます。

---

### SPF.053

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** SPF.053 from *neighbor\_IP\_address*, recvd in stub area, adv ( *LS\_type*, *advertisement\_ID* )

**長構文:** SPF.053 from *neighbor\_IP\_address*, type 5 LSA in stub area, adv: typ *LS\_type* id *advertisement\_ID*

**説明:** タイプ 5 リンク状態公示を受信しました。公示はスタブ区域を通してフラッドされるので、無視されます。

---

### SPF.054

**レベル:** C-INFO

**短構文:** SPF.054 Dijkstra calculation performed: *Number\_areas* area(s)

**長構文:** SPF.054 Dijkstra calculation performed, on *Number\_areas* area(s)

**説明:** トポロジー変更の結果として、Dijkstra 計算から始めて、ルーティング・テーブルが再計算されました。

---

### SPF.055

**レベル:** U-INFO

**短構文:** SPF.055 Network LSA w/ old Adv Rtr: ( *LS\_type*, *advertisement\_ID* )

**長構文:** SPF.055 Network LSA with old Advertising Router: ( *LS\_type*, *advertisement\_ID* )

**説明:** 当方のアドレスの 1 つをリンク状態 ID として持っているネットワーク・リンクの公示を受信しましたが、公示ルーターが当方のルーター ID ではありません。

ん。これらの公示は古いと思われるので、フラッシュされます。

---

### SPF.056

**レベル:** U-INFO

**短構文:** SPF.056 Reparsing Network LSA: *Link\_State\_ID*

**長構文:** SPF.056 Reparsing Network LSA: *Link\_State\_ID*

**説明:** ネットワーク内に同じリンク状態 ID をもつネットワーク LSA が複数存在するので、ネットワーク・リンクが再解析されています。これは、ルーターが OSPF ルーター ID を変更し、変更の前と後に同じルーター LSA を発信したことを示しています。これは正常ですが、まれな事象です。

---

### SPF.057

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** SPF.057 Send unicast type *OSPF\_packet\_type* dst *IP\_destination* fld, rsn *reason\_code*, net *network*

**長構文:** SPF.057 Sending unicast type *OSPF\_packet\_type* dst *IP\_destination* failed, reason *reason\_code*, network *network*

**説明:** 指定の IP へ先に指定のタイプのユニキャスト OSPF パケットを送信しましたが、失敗しました。reason\_code は、障害の内部エラー・コードです。

**原因:** 各種のハンドラー・エラー (理由コード 1)

**処置:** ハンドラーからのエラー・メッセージを検査して、network\_name を調べてください。

**原因:** 出力待ち行列オーバーフローまたはその他のフロー制御 (理由コード 2)

**処置:** 輻輳 (ふくそう) を緩和してください。

**原因:** ネットワークがダウン (理由コード 3)

**処置:** ネットワークがダウンしているとハンドラーが判断した理由を調べてください。

**原因:** ループまたはよくない同報通信を回避するために、ハンドラーによって除去されました。(理由コード 4)。

**処置:** 構成を検査してください。

**原因:** ホストがダウン (理由コード 5)

**処置:** ホストがダウンしているとハンドラーが判断した理由を調べてください。

---

## SPF.058

レベル: UI-ERROR

短構文: SPF.058 Send multicast type *OSPF\_packet\_type* fld, *IP\_destination* fld, *rsn\_reason\_code*, *net\_network*

長構文: SPF.058 Sending multicast type *OSPF\_packet\_type* dst *IP\_destination* failed, *reason\_reason\_code*, *network\_network*

説明: 指定の IP へ先に指定のタイプのマルチキャスト OSPF パケットを送信しましたが、失敗しました。*reason\_code* は、障害の内部エラー・コードです。

原因: 各種のハンドラー・エラー (理由コード 1)

処置: ハンドラーからのエラー・メッセージを検査して、*network\_name* を調べてください。

原因: 出力待ち行列オーバーフローまたはその他のフロー制御 (理由コード 2)

処置: 輻輳 (ふくそう) を緩和してください。

原因: ネットワークがダウン (理由コード 3)

処置: ネットワークがダウンしているとハンドラーが判断した理由を調べてください。

原因: ループまたはよくない同報通信を回避するために、ハンドラーによって除去されました。(理由コード 4)。

処置: 構成を検査してください。

原因: ホストがダウン (理由コード 5)

処置: ホストがダウンしているとハンドラーが判断した理由を調べてください。

---

## SPF.059

レベル: UI-ERROR

短構文: SPF.059 Rxmit type *OSPF\_packet\_type* fld, *IP\_source* -> *IP\_destination*, *rsn\_reason\_code*, *net\_network*

長構文: SPF.059 Retransmitting packet failed, type *OSPF\_packet\_type*, *IP\_source* -> *IP\_destination*, *reason\_reason\_code*, *network\_network*

説明: 指定のタイプのユニキャスト OSPF パケットの再送が失敗しました。*reason\_code* は、障害の内部エラー・コードです。

原因: 各種のハンドラー・エラー (理由コード 1)

処置: ハンドラーからのエラー・メッセージを検査して、*network\_name* を調べてください。

原因: 出力待ち行列オーバーフローまたはその他のフロー制御 (理由コード 2)

処置: 輻輳 (ふくそう) を緩和してください。

原因: ネットワークがダウン (理由コード 3)

処置: ネットワークがダウンしているとハンドラーが判断した理由を調べてください。

原因: ループまたはよくない同報通信を回避するために、ハンドラーによって除去されました。(理由コード 4)。

処置: 構成を検査してください。

原因: ホストがダウン (理由コード 5)

処置: ホストがダウンしているとハンドラーが判断した理由を調べてください。

---

## SPF.060

レベル: UI-ERROR

短構文: SPF.060 NBMA hello disc to dest *neighbor\_IP\_address*, *rsn\_reason\_code*, *net\_network*

長構文: SPF.060 NBMA hello disc to IP destination *neighbor\_IP\_address*, *reason\_reason\_code*, *network\_network*

説明: 指定の IP へ先への送信を試みているときに、OSPF ハローが廃棄されました。非同報通信、複数アクセス・インターフェースを介して送信しようとした。*reason\_code* は、障害の内部エラー・コードです。

原因: 各種のハンドラー・エラー (理由コード 1)

処置: ハンドラーからのエラー・メッセージを検査して、*network\_name* を調べてください。

原因: 出力待ち行列オーバーフローまたはその他のフロー制御 (理由コード 2)

処置: 輻輳 (ふくそう) を緩和してください。

原因: ネットワークがダウン (理由コード 3)

処置: ネットワークがダウンしているとハンドラーが判断した理由を調べてください。

原因: ループまたはよくない同報通信を回避するために、ハンドラーによって除去されました。(理由コード 4)。

処置: 構成を検査してください。

原因: ホストがダウン (理由コード 5)

処置: ホストがダウンしているとハンドラーが判断した理由を調べてください。



---

**SPF.061**

レベル: U-INFO

短構文: SPF.061 non-existent area *proposed\_area*, interface *interface\_IP\_address* not installed

長構文: SPF.061 OSPF area *proposed\_area* not configured, interface *interface\_IP\_address* not installed

説明: OSPF インターフェース・アドレスが構成されているときに、ルーターの始動時に印刷が行われましたが、接続区域が定義されていません。そのため、OSPF インターフェースは導入されていません。

---

**SPF.062**

レベル: UE-ERROR

短構文: SPF.062 LS node alloc fld, ty *ls\_node\_type*, sz *ls\_node\_size*

長構文: SPF.062 LS node allocation failed, type *ls\_node\_type*, size *ls\_node\_size*

説明: ルーターの記憶域の空きがなくなりました。結果として、OSPF は直前に受信した公示、または発信を試みている公示に対して、この後リンク状態データベースへ追加するためにノードを割り振ることができません。

---

**SPF.063**

レベル: UI-ERROR

短構文: SPF.063 No FSM match, state *interface\_state*, event *interface\_event*, unnum net *network ID*

長構文: SPF.063 No FSM match, state *interface\_state*, event *interface\_event*, unnumbered net *network ID*

説明: 番号なしのインターフェースが指定の状態にあるときに、指定の事象が発生しました。この発生には、インターフェースの有限状態遷移図は適用されませんでした。この事象は無視されます。

原因: 内部エラーの可能性がります。

処置: サービスに連絡してください。

---

**SPF.064**

レベル: U-INFO

短構文: SPF.064 State change, new state *new\_interface\_state*, event *interface\_event*, unnum net *network ID*

長構文: SPF.064 State change, new state *new\_interface\_state*, event *interface\_event*, unnumbered net *network ID*

説明: 指定のインターフェースで指定の事象が発生し、そのためにインターフェースの状態が変位しました。

---

**SPF.066**

レベル: U-INFO

短構文: SPF.066 SPF IP mismatch for unnum addr *interface\_IP\_address*, Interface not installed

長構文: SPF.066 SPF IP mismatch for unnumbered address *interface\_IP\_address*, Interface not installed

説明: ルーターの始動時に印刷されます。番号なしの OSPF インターフェース・アドレスが構成されていますが、そのアドレスが IP コンソールでは構成されていませんでした。OSPF インターフェースはインストールされません。

---

**SPF.067**

レベル: U-INFO

短構文: SPF.067 DMD circuit support active for area *active\_area*

長構文: SPF.067 Demand circuit support active for area *active\_area*

説明: 印刷されるのは、区域のリンク状態データベースのいずれにも、それ以上は DC ビット・クリアの LSA がなく、DoNotAge ビットの設定が有効な場合です。

---

**SPF.068**

レベル: U-INFO

短構文: SPF.068 DMD circuit support not active for area *inactive\_area*

長構文: SPF.068 Demand circuit support not active for area *inactive\_area*

説明: 印刷されるのは、DC ビット・クリアの LSA が区域のリンク状態データベースの 1 つに追加され、DoNotAge ビットが設定された LSA がいずれも除去される場合です。

---

**SPF.069**

レベル: P-TRACE

短構文: SPF.069 Unchanged adv: ( *LS\_type*, *advertisement\_ID*) suppr for dmd int

長構文: SPF.069 Unchanged advertisement: typ *LS\_type* id *advertisement\_ID* suppressed for demand interfaces



**説明:** 印刷されるのは、LSA の内容に直前のバージョンから変更がないため、LSA が交換型回線として構成された 1 つまたは複数の回線を通す、フラッディングの対象にならない場合です。

---

#### SPF.070

**レベル:** P-TRACE

**短構文:** SPF.070 Hello's on int *interface\_address* to neigh *neighbor\_address*. suppressed

**長構文:** SPF.070 Hello's on interface *interface\_address* to neighbor *neighbor\_address*. are being suppressed.

**説明:** 印刷されるのは、あるインターフェースおよび近隣に関して、ハロー抑止が動作可能になった場合です。

---

#### SPF.071

**レベル:** P-TRACE

**短構文:** SPF.071 Cbit clear indicate received in area *area\_address* from *router\_id*.

**長構文:** SPF.071 Cbit clear indicate LSA received in area *area\_address* from *router\_id*.

**説明:** 印刷されるのは、非スタブ区域で、その区域外に DoNotAge 処理をサポートしないルーターが存在することを示す、特殊タイプ 4 の LSA 表示が受信された場合です。

---

#### SPF.072

**レベル:** P-TRACE

**短構文:** SPF.072 Cbit clear indicate originated in area *area\_address*

**長構文:** SPF.072 Cbit clear indicate LSA originated in area *area\_address*.

**説明:** 印刷されるのは、ローカル・ルーターが、区域外に DoNotAge 処理をサポートしないルーターが存在することを示す、特殊タイプ 4 の LSA 表示を発信した場合です。

---

#### SPF.073

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** SPF.073 adv discarded, ovflo buf: ( *LS\_type*, *advertisement\_ID*)

**長構文:** SPF.073 advertisement discarded, overflows buffer: LS type *LS\_type* id *advertisement\_ID*

**説明:** リンク状態公示が廃棄されました。大き過ぎて

ルーターのデータ域に収まらないためです。

**原因:** 単一の区域内の隣接ルーターへの直接接続の数が多いため、ルーター・リンクの LSA が過度に大きくなっています。

**処置:** ネットワークを再構成して、最大のリンク状態公示のサイズを縮小するか、LSA を保持するためのルーターのデータ域のサイズを拡大します。LSA の作成に使用されるデータ域は、最大 LSA サイズを構成することによって、ローカル・ルーターのバッファのサイズまで拡大することができます。ローカル・ルーターのバッファのサイズは、ローカル接続されたサブネットワークに関する最大 MTU のサイズを大きくすることによって、拡大することができます。

---

#### SPF.074

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** SPF.074 Demand circuit *Advertisement\_scope* LSA purge error - Area *area\_id* count is *area\_do\_not\_age\_count*.

**長構文:** SPF.074 Demand circuit *Advertisement\_scope* LSA purge error - Area *area\_id* count is *area\_do\_not\_age\_count*.

**説明:** 交換型回線をサポートする区域から交換型回線をサポートしない区域への状況の変更が原因で、除去された公示の数のミスマッチです。

---

#### SPF.075

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** SPF.075 DD pkt MTU mismatch for *Neighbor\_Address* - ifc MTU *Interface\_MTU*, ifc MRU *Interface\_MRU*, nbr MTU *Neighbor*

**長構文:** SPF.075 Database Description paket MTU mismatch for *Neighbor\_Address* - interface MTU/MRU *Interface\_MTU/ Interface\_MRU* versus neighbor MTU *Neighbor*.

**説明:** 公示された MTU とインターフェース MTU の MTU ミスマッチが原因で、受信したデータ記述パケットが廃棄されました。

**原因:** OSPF データベース記述パケットに指定されている MTU がインターフェース MTU より大です。

**処置:** IP サブネット内の OSPF ルーターをすべて再構成して、同一のインターフェース MTU になるようにします。

---

**SPF.076**

レベル: UE-ERROR

短構文: SPF.076 OSPF subsystem reset cannot increase heap from *Current\_heap\_allocation* to *Requested\_heap\_allocation*.

長構文: SPF.076 OSPF subsystem reset cannot increase heap reservation from *Current\_heap\_allocation* to *Requested\_heap\_allocation*.

説明: OSPF 用のヒープ割り振りを増やすために、OSPF リセットが試行されました。

処置: OSPF ヒープ予約を増やすためには、ルーターをリスタートする必要があります。

---

**SPF.077**

レベル: UE-ERROR

短構文: SPF.077 OSPF subsystem reset memory alloc failure for *Object\_type* - *Object\_id*.

長構文: SPF.077 OSPF subsystem reset memory allocation failure for object *Object\_type* - *Object\_id*.

説明: オブジェクトを割り振るために OSPF リセットが試みられましたが、失敗しました。他のルーター・プロトコルおよび機能に対する記憶域割り振りを検査してください。

---

**SPF.078**

レベル: C\_INFO

短構文: SPF.078 0x *Memory\_op* *Memory\_address* Length *Memory*.

長構文: SPF.078 0x *Memory\_op* *Memory\_address* for length *Memory*.

説明: OSPF は一時記憶域を割り振ったか、あるいは解放しました。

---

**SPF.079**

レベル: C\_INFO

短構文: SPF.079 LS Update ( *LSA\_type*, *LSA\_id*, *LSA\_org*) unicast to *Neighbor\_ID*.

長構文: SPF.079 LS Update (type *LSA\_type*, id *LSA\_id*, org *LSA\_org*) unicast to *Neighbor\_ID*.

説明: RFC 2178 に準拠して、より最近の LSA が発信元に戻されました。

---

**SPF.080**

レベル: U-INFO

短構文: SPF.080 from *neighbor\_IP\_address*, MINLSARRIVAL reject: ( *LS\_type*, *advertisement\_ID*, *new\_lsa\_seq*) seq *old\_lsa\_seq* *lsa\_age* versus *lsa\_received*.

長構文: SPF.080 from *neighbor\_IP\_address*, MINLSARRIVAL reject: type *LS\_type* id *advertisement\_ID* seq *new\_lsa\_seq* - old seq *old\_lsa\_seq* *lsa\_age* versus *lsa\_received*.

説明: MINLSARRIVAL 以内に、リンク状態公示を受信しました。これは無視されます。



---

## 第88章 ルーター IP への OS インターフェース (IPIF)

この章では、ルーター IP への OS インターフェース (IPIF) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### IPIF.001

レベル: UI-ERROR

短構文: IPIF.001 *mosip\_ mosip\_routine: ifconfig ifconfig\_string FAILED, errno = errno.*

長構文: IPIF.001 *mosip\_ mosip\_routine: ifconfig ifconfig\_string FAILED, errno = errno.*

説明: IPIF ifconfig エラー・メッセージ

原因: *errno* (エラー番号) を参照してください。

---

### IPIF.002

レベル: UI-ERROR

短構文: IPIF.002 *mosip\_ mosip\_routine: route route\_string FAILED, errno = errno.*

長構文: IPIF.002 *mosip\_ mosip\_routine: route route\_string FAILED, errno = errno.*

説明: IPIF 経路エラー・メッセージ

原因: *errno* (エラー番号) を参照してください。

---

### IPIF.003

レベル: UI-ERROR

短構文: IPIF.003 *mosip\_getport: TCP/UDP port (requested\_port) not assigned.*

長構文: IPIF.003 *mosip\_getport: TCP/UDP port (requested\_port) not assigned.*

説明: IPIF ポート割り当てエラー・メッセージ

原因: TCP/UDP ポートが利用不可能です。

---

### IPIF.004

レベル: UI-ERROR

短構文: IPIF.004 *mosip\_ mosip\_routine: ERROR allocating memory ( memory\_type).*

長構文: IPIF.004 *mosip\_ mosip\_routine: ERROR allocating memory ( memory\_type).*

説明: IPIF 記憶域割り振りエラー・メッセージ

原因: 記憶域が利用不可能です。

---

### IPIF.005

レベル: C-TRACE

短構文: IPIF.005 *trace\_string*

長構文: IPIF.005 *trace\_string*

説明: IPIF トレース・メッセージ

原因: IPIF でトレースが使用可能にされています。

---

### IPIF.006

レベル: C-TRACE

短構文: IPIF.006 *mosip\_ mosip\_routine: route route\_string*

長構文: IPIF.006 *mosip\_ mosip\_routine: route route\_string*

説明: IPIF トレース・メッセージ

原因: IPIF でトレースが使用可能にされています。

---

### IPIF.007

レベル: C-TRACE

短構文: IPIF.007 *mosip\_ output/rcv: UDP (ip\_address,port) len length*

長構文: IPIF.007 *mosip\_ output/rcv: UDP (ip\_address,port) length length*

説明: IPIF トレース・メッセージ

原因: IPIF でトレースが使用可能にされています。

---

### IPIF.008

レベル: C-TRACE

短構文: IPIF.008 *mosip\_getport: Ignoring error on UDP port port\_number registration.*

長構文: IPIF.008 *mosip\_getport: Ignoring error on UDP port port\_number registration.*

説明: IPIF トレース・メッセージ

原因: IPIF でトレースが使用可能にされています。

---

**IPIF.009**

レベル: C-TRACE

短構文: IPIF.009 mosip\_ add/del: ifconfig ifconfig\_string

長構文: IPIF.009 mosip\_ add/del: ifconfig ifconfig\_string

説明: IPIF トレース・メッセージ

原因: IPIF でトレースが使用可能にされています。

---

**IPIF.010**

レベル: C-TRACE

短構文: IPIF.010 mosip\_port\_allocate: (protocol requested\_port,port assigned\_port,addr protocol) ==> port

長構文: IPIF.010 mosip\_port\_allocate: (protocol requested\_port,port assigned\_port,addr protocol) ==> port

説明: IPIF トレース・メッセージ

原因: IPIF でトレースが使用可能にされています。

---

**IPIF.011**

レベル: C-TRACE

短構文: IPIF.011 mosip\_port\_free: freeing UDP port port\_to\_free

長構文: IPIF.011 mosip\_port\_free: freeing UDP port port\_to\_free

説明: IPIF トレース・メッセージ

原因: IPIF でトレースが使用可能にされています。

---

**IPIF.012**

レベル: C-TRACE

短構文: IPIF.012 mosip\_ output/rcv: TCP ( (ip\_address,port)) len length

長構文: IPIF.012 mosip\_ output/rcv: TCP ( (ip\_address,port)) length length

説明: IPIF トレース・メッセージ

原因: IPIF でトレースが使用可能にされています。

---

**IPIF.013**

レベル: C-TRACE

短構文: IPIF.013 mosip\_ output/rcv: ICMP ( source\_ip\_address) -> ( dest\_ip\_address) type icmp\_type code icmp\_code len length

長構文: IPIF.013 mosip\_ output/rcv: ICMP ( source\_ip\_address) -> ( dest\_ip\_address) type icmp\_type

code icmp\_code length length

説明: IPIF トレース・メッセージ

原因: IPIF でトレースが使用可能にされています。

---

**IPIF.014**

レベル: C-TRACE

短構文: IPIF.014 mosip\_ output/rcv: ( source\_ip\_address) -> ( dest\_ip\_address) protocol protocol len length

長構文: IPIF.014 mosip\_ output/rcv: ( source\_ip\_address) -> ( dest\_ip\_address) protocol protocol length length

説明: IPIF トレース・メッセージ

原因: IPIF でトレースが使用可能にされています。

---

**IPIF.015**

レベル: UI-ERROR

短構文: IPIF.015 Error on system\_call system call, errno = errno

長構文: IPIF.015 Error on system\_call system call, errno = errno

説明: IPIF トレース・メッセージ

原因: IPIF でトレースが使用可能にされています。

---

**IPIF.016**

レベル: C-TRACE

短構文: IPIF.016 mosip\_rcv: TCP/UDP dest port port\_number refused

長構文: IPIF.016 mosip\_rcv: TCP/UDP destination port port\_number refused

説明: IPIF トレース・メッセージ

原因: IPIF でトレースが使用可能にされています。

---

---

## 第89章 PCA ネットワーク・インターフェース (PCA)

この章では、PCA ネットワーク・インターフェース (PCA) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### PCA.001

レベル: ALWAYS

短構文: PCA.001 bd frm LANtype *lan\_type* LANnum *lan\_num* on nt *network*

長構文: PCA.001 frame received for unknown LAN type *lan\_type*, LAN number *lan\_num* on network *network*

説明: チャンネルからフレームを受信しましたが、そのあて先が不明の LAN タイプまたは LAN 番号になっています。

---

### PCA.002

レベル: ALWAYS

短構文: PCA.002 bd not *not\_id* on nt *network*

長構文: PCA.002 unknown notification *not\_id* received from device driver on network *network*

説明: 装置ドライバーから通知を受信しましたが、確認できませんでした。

---

### PCA.003

レベル: UE-ERROR

短構文: PCA.003 bd 8232 cmd *cmd* on nt *network*

長構文: PCA.003 unknown 8232 command *cmd* received on network *network*

説明: 8232 コマンドを受信しましたが、確認できませんでした。

---

### PCA.004

レベル: ALWAYS

短構文: PCA.004 bd cmd *cmd* on nt *network*

長構文: PCA.004 unknown IORB command *cmd* received on network *network*

説明: IORB を受信しましたが、不明のコマンドが含まれていました。

---

### PCA.005

レベル: ALWAYS

短構文: PCA.005 no subch on nt *network*

長構文: PCA.005 no subchannels are defined on network *network*, cannot pass self-test

説明: 並列チャンネル・アダプター基本ネットに関してサブチャンネルが定義されていないので、ネットワークは起動する (自己試験に合格する) ことができません。

原因: この基本ネット・ハンドラーのバーチャル・ネット・ハンドラーが正しく定義されていませんでした。

処置: この並列チャンネル・アダプター上でバーチャル・ネット・ハンドラーに関するサブチャンネルを定義します。

---

### PCA.006

レベル: UI-ERROR

短構文: PCA.006 STOP: no IORB on nt *network*

長構文: PCA.006 network *network* was unable to send a STOP command to the device driver because an IORB was not available

説明: ネットワークは停止を完了することができませんでした。装置ドライバーに STOP コマンドを送信する場合に使用する IORB が使用可能でなかったためです。

---

### PCA.007

レベル: P-TRACE

短構文: PCA.007 frm sent to lt *lantype* ln *lannumber* on nt *network*

長構文: PCA.007 A frame was sent to LAN type *lantype*, LAN number *lannumber* on network *network*

説明: チャンネル上でフレームを受信し、バーチャル・ネット・ハンドラーに送信しました。

---

### PCA.008

レベル: P-TRACE

短構文: PCA.008 data frm rcvd from nt *network*



長構文: PCA.008 A data frame was received from network *network*

説明: チャンネルに送信するデータ・フレームをバーチャル・ネット・ハンドラーから受信しました。

---

#### PCA.009

レベル: P-TRACE

短構文: PCA.009 cmd *cmd\_code* in frm rcvd from nt *network*

長構文: PCA.009 command *cmd\_code* in frame received from network *network*

説明: チャンネルに送信するコマンド・フレームをバーチャル・ネット・ハンドラーから受信しました。

---

#### PCA.010

レベル: P-TRACE

短構文: PCA.010 notif *notif\_code* rcvd on nt *network*

長構文: PCA.010 notification *notif\_code* received from device driver on network *network*

説明: 装置ドライバーから通知を受信しました。

---

#### PCA.011

レベル: P-TRACE

短構文: PCA.011 8232 cmd *cmd\_code* rcvd on nt *network*

長構文: PCA.011 8232 command *cmd\_code* received on network *network*

説明: 基本ネット・ハンドラーが 8232 コマンドを受信しました。

---

#### PCA.012

レベル: C-TRACE

短構文: PCA.012 nt *virtual\_net\_number* reg on nt *network*

長構文: PCA.012 Network number *virtual\_net\_number* registering on base network *network*

説明: バーチャル・ネット・ハンドラーが、並列チャネル・アダプター基本ネット・ハンドラーに登録中です。

---

#### PCA.013

レベル: P-TRACE

短構文: PCA.013 Cmd *cmd\_code* fail stat *cmd\_status* on nt *network*

長構文: PCA.013 Command *cmd\_code* to device driver failed with status *cmd\_status* on network *network*

説明: 基本ネット・ハンドラーから装置ドライバーにコマンドが送信されましたが、これが失敗でした。

---

#### PCA.014

レベル: P-TRACE

短構文: PCA.014 Cmd *cmd\_code* sent to DD on nt *network* (sub *locaddr locaddr* *devaddr devaddr* )

長構文: PCA.014 Commands *cmd\_code* was sent to the device driver on network *network* (subchannel local address *locaddr*, device address *devaddr*)

説明: 装置ドライバーにコマンドが送信されました。

---

#### PCA.015

レベル: P-TRACE

短構文: PCA.015 Snd 8232 resp *cmd\_code* (rc *retcode*) on nt *network* (sub *locaddr locaddr* *devaddr devaddr*)

長構文: PCA.015 Sending 8232 response for command *cmd\_code* with return code *retcode* on network *network* (subchannel local address *locaddr*, device address *devaddr*)

説明: 8232 応答がホストに送信されました。

---

#### PCA.016

レベル: P-TRACE

短構文: PCA.016 Snd not *notification\_id* to net *virt\_net\_number* on nt *network*

長構文: PCA.016 Sending notification *notification\_id* to net *virt\_net\_number* on network *network*

説明: 基本ネット・ハンドラーからバーチャル・ネット・ハンドラーに通知が送信されました。

---

#### PCA.017

レベル: U-TRACE

短構文: PCA.017 circdn for nt *net\_num* on nt *network*

長構文: PCA.017 circdown for net *net\_num* called on network *network*

説明: ネットワークに関する回線ダウン・ルーチンがコールされました。

---

#### PCA.018

レベル: U-TRACE

短構文: PCA.018 circup for nt *net\_num* on nt *network*

長構文: PCA.018 circup for net *net\_num* called on network *network*

説明: ネットワークに関する回線アップ・ルーチンがコールされました。

---

#### PCA.019

レベル: U-TRACE

短構文: PCA.019 net up for nt *net\_num* on nt *network*

長構文: PCA.019 net up for net *net\_num* called on network *network*

説明: バーチャル・ネットワークに関するネットアップ・ルーチンがコールされました。

---

#### PCA.020

レベル: U-TRACE

短構文: PCA.020 net dn for nt *net\_num* on nt *network*

長構文: PCA.020 net down for net *net\_num* called on network *network*

説明: バーチャル・ネットワークに関するネットダウン・ルーチンがコールされました。

---

#### PCA.022

レベル: UI-ERROR

短構文: PCA.022 PCA DD(slot *slot* adapter): Transmit List full threshold= *count*.

長構文: PCA.022 PCA DD(slot *slot* adapter): Transmit List full threshold= *count*.

説明: デバイス・ドライバーは、データをアダプターに送信するために送信リスト項目が必要です。初期化中に項目を獲得することができない場合は、アダプターは再始動します。それ以外の時点でも、アダプターが項目を獲得できない場合は、内部ソフトウェアが回復を試みます。このエラーは LSA の実際の問題のみを生じます。

処置: 問題が引き続き発生する場合は、ソフトウェア・サポートに連絡してください。

---

#### PCA.028

レベル: UI-ERROR

短構文: PCA.028 PCA DD asked to free private buffer 0x *iob* twice for adapter in slot *slot*.

長構文: PCA.028 PCA DD asked to free private buffer 0x *iob* twice for adapter in slot *slot*.

説明: 装置ドライバーはアダプターに同じプライベート・バッファを 2 回解放しました。これが原因で、データ汚染が生じる場合があります。

処置: 問題が引き続き発生する場合は、ソフトウェア・サポートに連絡してください。

---

#### PCA.029

レベル: UI\_ERROR

短構文: PCA.029 Unable to create dump file for PCA adapter in slot *slot*. RC=0x *rc*

長構文: PCA.029 Unable to create dump file for PCA adapter in slot *slot*. RC=0x *rc*

説明: 致命的エラーを PCA アダプターが検出しましたが、装置ドライバーはダンプ・ファイルを作成できませんでした。ソフトウェア・サポートに連絡してください。

---

#### PCA.030

レベル: UI\_ERROR

短構文: PCA.030 Dump file '*filename*' created for the PCA adapter in slot *slot*.

長構文: PCA.030 Dump file '*filename*' created for the PCA adapter in slot *slot*.

説明: 致命的エラーを、PCA アダプター・マイクロコードが検出し、障害情報を含むダンプ・ファイルが作成されました。ソフトウェア・サポートに連絡してください。

---

#### PCA.034

レベル: ALWAYS

短構文: PCA.034 PCA in slot *slot*. AIB FLASH mismatch: code at 0x *codelev*, adapter at 0x *adaplev*

長構文: PCA.034 Parallel Channel Adapter in slot *slot*. AIB FLASH mismatch: code at 0x *codelev*, adapter at 0x *adaplev*

説明: 並列チャンネル・アダプターが、現行のロード・イメージで使用可能なレベルとは異なる FLASH コードを持っています。

**処置:** ソフトウェア・サポートに連絡して、アダプターの FLASH コードを更新する必要があるかどうかを調べてください。

---

#### PCA.035

**レベル:** C-INFO

**短構文:** PCA.035 PCA in slot *slot* is operational.

**長構文:** PCA.035 Parallel Channel Adapter in slot *slot* is operational.

**説明:** 並列チャンネル・アダプターは作動可能です。

---

#### PCA.036

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** PCA.036 PCA error, slot= *slot*, subchan= *subchan*, rc= *rc*, origcmd= *origcmd*, sev= *sev*, correl=0x *correl*.

**長構文:** PCA.036 Parallel Channel Adapter DD received an Error notif from slot *slot* PCA; subchan= *subchan*, rc = *rc*, origcmd= *origcmd*, severity= *sev*, correl=0x *correl*.

**説明:** 並列チャンネル・アダプターは、並列チャンネル・アダプター装置ドライバにエラーを報告中です。

**処置:** 一般的には、処置は必要ありません。問題が引き続き発生する場合は、ソフトウェア・サポートに連絡してください。詳細については、資料を参照してください。

---

#### PCA.037

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** PCA.037 PCA in slot= *slot* is offline to the host.

**長構文:** PCA.037 Parallel Channel Adapter in slot= *slot* is offline to the host.

**説明:** 並列チャンネル・アダプターは、ホストに対してオフラインにあることを報告中です。アダプターは自動的に再始動します。アダプターが再始動に失敗した場合は、診断が起動します。

**処置:** アダプターが診断には合格しても、やはり始動しない場合は、ソフトウェア・サポートに連絡してください。

---

#### PCA.038

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** PCA.038 PCA DD received i960 Processor Fault notif from slot= *slot* PCA, Fault Type=0x *ft*.

**長構文:** PCA.038 Parallel Channel Adapter DD received an i960 Processor Fault notif from slot *slot* PCA with Fault Type=0x *ft*.

**説明:** 並列チャンネル・アダプターは、i960 プロセッサに障害があったことを報告中です。アダプターは自動的に再始動します。アダプターが始動に失敗した場合は、診断が起動します。

**処置:** ソフトウェア・サポートに連絡してください。

---

#### PCA.040

**レベル:** U-INFO

**短構文:** PCA.040 PCA in slot *slot* had an unexpected interrupt.

**長構文:** PCA.040 Parallel Channel Adapter DD received an Unexpected Interrupt notification from slot *slot* PCA.

**説明:** 並列チャンネル・アダプターに予期しない割り込みがありました。問題が引き続き発生する場合は、ソフトウェア・サポートに連絡してください。

---

#### PCA.042

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** PCA.042 Slot *slot* PCA microcode aborted with rc=0x *rc*.

**長構文:** PCA.042 Parallel Channel Adapter DD received a Microcode Aborted notification from slot *slot* PCA, rc=0x *rc*.

**説明:** 並列チャンネル・アダプターは、マイクロコードが強制終了したことを報告中です。アダプターは自動的に再始動します。アダプターが再始動に失敗した場合は、診断が起動します。

**処置:** アダプターが再始動に失敗した場合は、ソフトウェア・サポートに連絡してください。

---

#### PCA.044

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** PCA.044 PCA in slot *slot* had a POST error, error = 0x *error*.

**長構文:** PCA.044 Parallel Channel Adapter in slot *slot* had a POST error, error = 0x *error*.

**説明:** 並列チャンネル・アダプターに POST エラーがありました。アダプターは自動的に再始動します。アダプターが再始動に失敗した場合は、診断が起動します。

**処置:** アダプターが再始動に失敗した場合は、ソフトウェア・サポートに連絡してください。

---

**PCA.045**

レベル: UI-ERROR

短構文: PCA.045 PCA in slot *slot* had a POST error, CBSP value=0x *error*.

長構文: PCA.045 Parallel Channel Adapter in slot *slot* had a POST error, CBSP value=0x *error*.

説明: 並列チャンネル・アダプターに POST エラーがありました。アダプターは自動的に再始動します。アダプターが再始動に失敗した場合は、診断が起動します。

処置: アダプターが再始動に失敗した場合は、ソフトウェア・サポートに連絡してください。

---

**PCA.046**

レベル: UI-ERROR

短構文: PCA.046 PCA in slot *slot* did not complete POST.

長構文: PCA.046 Parallel Channel Adapter in slot *slot* did not complete POST.

説明: 並列チャンネル・アダプターは POST を完了しませんでした。アダプターは自動的に再始動します。アダプターが再始動に失敗した場合は、診断が起動します。

処置: アダプターが診断には合格しても、やはり再始動しない場合は、ソフトウェア・サポートに連絡してください。

---

**PCA.047**

レベル: UI-ERROR

短構文: PCA.047 PCA in slot *slot* had a PrePOST error = 0x *error*.

長構文: PCA.047 Parallel Channel Adapter in slot *slot* had a PrePOST error = 0x *error*.

説明: 並列チャンネル・アダプターに PrePOST エラーがありました。アダプターは自動的に再始動します。アダプターが再始動に失敗した場合は、診断が起動します。

処置: アダプターが再始動しない場合は、ソフトウェア・サポートに連絡してください。

---

**PCA.048**

レベル: UI-ERROR

短構文: PCA.048 Slot *slot* does not contain a PCA, identifier = *id*.

長構文: PCA.048 Slot *slot* does not contain a Parallel Channel Adapter, identifier = *id*.

説明: スロットに並列チャンネル・アダプターが収まっていませんが、ソフトウェアは、このスロットに並列チャンネル・アダプターが入っている場合用として構成されています。

処置: 構成を訂正してください。再構成後も問題が生じる場合は、ソフトウェア・サポートに連絡してください。

---

**PCA.049**

レベル: UI-ERROR

短構文: PCA.049 Slot *slot* PCA timed-out during initialization, cmd=0x *cmd*.

長構文: PCA.049 Slot *slot* Parallel Channel Adapter timed-out during initialization, cmd=0x *cmd*.

説明: アダプターは自動的に再始動します。

処置: アダプターが再始動しない場合は、ソフトウェア・サポートに連絡してください。

---

**PCA.050**

レベル: UI-ERROR

短構文: PCA.050 Slot *slot* PCA Control Unit table did not load correctly, rc=0x *rc*, tbl=0x *tbl\_num*.

長構文: PCA.050 Slot *slot* Parallel Channel Adapter Control Unit table did not load correctly, rc=0x *rc*, tbl=0x *tbl\_num*.

説明: これらのテーブルなしでは、並列チャンネル・アダプターは始動できません。アダプターは自動的に再始動します。

処置: アダプターが再始動しない場合は、ソフトウェア・サポートに連絡してください。

---

**PCA.051**

レベル: UI-ERROR

短構文: PCA.051 PCA DD could not obtain a Control Buffer from slot *slot* adapter.

長構文: PCA.051 Parallel Channel Adapter DD could not obtain a Control Buffer from adapter in slot *slot*.

説明: 装置ドライバーはアダプターからのバッファを必要とします。このバッファを提供できない場合、アダプターは適正に機能していないこととなります。アダプターは自動的に再始動します。

処置: 問題が引き続き発生する場合は、ソフトウェア・サポートに連絡してください。

---

**PCA.052**

レベル: U-INFO

短構文: PCA.052 *file( line)*: PCA DD encountered an internal error for slot *slot*. Identifier = *id*.

長構文: PCA.052 *file( line)*: Parallel Channel Adapter DD encountered an internal error for slot *slot*. Identifier = *id*.

説明: 並列チャンネル・アダプター装置ドライバーは、適正に処理することができない状態を検出しました。

処置: 問題が引き続き発生する場合は、ソフトウェア・サポートに連絡してください。

---

**PCA.054**

レベル: UI-ERROR

短構文: PCA.054 PCA DD could not obtain system memory; slot=0x *slot*, identifier= *id*.

長構文: PCA.054 Parallel Channel Adapter DD could not obtain system memory; slot=0x *slot*, identifier= *id*.

説明: このエラーが初期化中に発生した場合は、アダプターは再始動します。

処置: 問題が引き続き発生する場合は、ソフトウェア・サポートに連絡してください。

---

**PCA.055**

レベル: UI-ERROR

短構文: PCA.055 PCA DD could not open dump files on harddrive. Dumps not available for slot *slot* adapter.

長構文: PCA.055 Parallel Channel Adapter DD could not open the dump files on the harddrive. The dumps are not available for slot *slot* adapter

説明: 装置ドライバーはハード・ディスクのファイルのオープンを試みましたが、これが正常に行われませんでした。並列チャンネル・アダプターのダンプが利用不可能です。

処置: アダプターの問題が引き続き発生する場合は、ソフトウェア・サポートに連絡してください。

---

**PCA.056**

レベル: UI-ERROR

短構文: PCA.056 PCA DD could not dump all slot *slot* PCA *data\_type* data to the dump file.

長構文: PCA.056 Parallel Channel Adapter DD could

not dump all of the slot *slot* PCA *data\_type* data to the dump file on the harddrive.

説明: 装置ドライバーは、ハード・ディスク上のファイルへの並列チャンネル・アダプター・データのダンプを試みました。IRAM ダンプは、c:\PCAIx.DMP (ただし、x はスロット番号) で部分的に使用可能な場合があります。DRAM ダンプは、c:\PCADx.DMP (ただし、x はスロット番号) で部分的に使用可能な場合があります。

処置: ソフトウェア・サポートに連絡してください。

---

**PCA.057**

レベル: C-INFO

短構文: PCA.057 PCA DD received a reset subchannel notif for subchannel 0x *sc*, slot= *slot*.

長構文: PCA.057 Parallel Channel Adapter DD received a reset subchannel notification for subchannel 0x *sc*, slot= *slot*.

説明: 装置ドライバーはサブチャンネル・リセット通知を受信しました。

---

**PCA.058**

レベル: C-INFO

短構文: PCA.058 Incorrect subchannel configuration detected for slot *slot* PCA.

長構文: PCA.058 Incorrect subchannel configuration detected for slot *slot* Parallel Channel Adapter.

説明: 装置ドライバーは、サブチャンネル構成に誤りがあることを検出しました。構成が正しいサブチャンネルであれば、この問題による影響を受けるはずがありません。

処置: 構成を訂正してください。

---

**PCA.059**

レベル: UI-ERROR

短構文: PCA.059 PCA DD(slot *slot* adapter): Command FIFO full threshold= *count*.

長構文: PCA.059 PCA DD(slot *slot* adapter): Command FIFO full threshold= *count*.

説明: アダプターとの通信のために、装置ドライバーにはコマンド FIFO 項目が必要です。初期化中に項目を獲得することができない場合は、アダプターは再始動します。それ以外の時点でも、アダプターが項目を獲得できない場合は、内部ソフトウェアが回復を試みます。このエラーは LSA の実際の問題のみを生じます。

処置: 問題が引き続き発生する場合は、ソフトウェア



ア・サポートに連絡してください。

---

### PCA.060

レベル: P-TRACE

短構文: PCA.060 PCA DD sending frame from slot=*slot*, subchan=*subchan*, LT=*lantype*, LN=*lanum*, to base net.

長構文: PCA.060 Parallel Channel Adapter DD rcvd frame from slot *slot*, PCA, subchan=*subchan*, LanType=*lantype*, and LanNum=*lanum*; sending it to base net.

説明: フレームがチャンネルによって受信され、並列チャンネル・アダプター基本ネット・ハンドラーに送信されました。

---

### PCA.061

レベル: P-TRACE

短構文: PCA.061 PCA DD rcvd frame from net handler for slot=*slot*, subchan=*subchan*, LT=*lantype*, LN=*lanum*, PDU-hdr=*pdu\_len*

長構文: PCA.061 Parallel Channel Adapter DD received a frame from a net handler destined for slot *slot*, PCA, subchan=*subchan*, LanType=*lantype*, and LanNum=*lanum*, PDU-header len=*pdu\_len*.

説明: 並列チャンネル・アダプター関連のネット・ハンドラーが、並列チャンネル・アダプター DD に転送フレームを送信しました。

---

### PCA.062

レベル: P-TRACE

短構文: PCA.062 PCA DD rcvd *cmd*, *cmd* from net handler for slot *slot* PCA.

長構文: PCA.062 Parallel Channel Adapter DD received *cmd*, command from net handler for slot *slot* PCA.

説明: 並列チャンネル・アダプター関連のネット・ハンドラーが、並列チャンネル・アダプター DD に転送フレームを送信しました。

---

### PCA.063

レベル: P-TRACE

短構文: PCA.063 PCA DD rcvd *cmd*, *cmd* from nethandler for slot *slot*, PCA, subchan=*subchan*.

長構文: PCA.063 Parallel Channel Adapter DD received *cmd*, command from a nethandler for slot *slot*, PCA, subchan=*subchan*.

説明: 並列チャンネル・アダプター関連のネット・ハンドラーが、並列チャンネル・アダプター DD に転送フレームを送信しました。

---

### PCA.064

レベル: P-TRACE

短構文: PCA.064 PCA DD sent *notif*, *notif* for slot *slot*, PCA, subchan=*subchan*, LT=*lantype*, LN=*lanum*, to nethandler.

長構文: PCA.064 Parallel Channel Adapter DD sent *notif*, *notif* for slot *slot*, PCA, subchan=*subchan*, LT=*lantype*, LN=*lanum*, to nethandler.

説明: 並列チャンネル・アダプター装置ドライバーは、並列チャンネル・アダプター関連のネット・ハンドラーに通知を送信しました。

---

### PCA.065

レベル: U-INFO

短構文: PCA.065 PCA ran out of rcv buffers, LCS frame discarded, slot=*slot*, local sc=*subchan*

長構文: PCA.065 Parallel Channel Adapter ran out of receive buffers and discarded an LCS frame; slot=*slot* local subchan=*subchan*.

説明: 並列チャンネル・アダプターは、受信バッファを獲得できなかったために LCS を廃棄したことを報告しています。

処置: 一般的には、処置は必要ありません。問題が引き続き発生する場合は、この並列チャンネル・アダプター用の受信バッファの数を増やしてください。

---

### PCA.066

レベル: UI-ERROR

短構文: PCA.066 PCA ran out of rcv buffers, LSA frame discarded, slot=*slot*, local sc=*subchan*

長構文: PCA.066 Parallel Channel Adapter ran out of receive buffers and discarded an LSA frame; slot=*slot* local subchan=*subchan*.

説明: 並列チャンネル・アダプターは、受信バッファを獲得できなかったために LSA を廃棄したことを報告しています。

処置: この並列チャンネル・アダプター用の受信バッファの数を増やしてください。



---

## PCA.067

レベル: U-INFO

短構文: PCA.067 PCA ran out of rcv buffers, MPC+ frame discarded, slot= *slot*, local sc= *subchan*

長構文: PCA.067 Parallel Channel Adapter ran out of receive buffers and discarded an MPC+ frame; slot= *slot* local subchan= *subchan*.

説明: 並列チャンネル・アダプターは、受信バッファを獲得できなかったために MPC+ を廃棄したことを報告しています。

処置: 一般的には、処置は必要ありません。問題が引き続き発生する場合は、この並列チャンネル・アダプター用の受信バッファの数を増やしてください。

---

## Panic pcanomem

短構文: pcanomem: Parallel Channel Adapter handler no memory

説明: 並列チャンネル・アダプターは、制御ブロック用の記憶域を割り振ることができません。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

## Panic pcansram

短構文: pcansram: Parallel Channel Adapter SRAM not found

説明: 並列チャンネル・アダプター・ハンドラーの SRAM レコードが見つかりませんでした。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

## Panic pcabprt

短構文: pcabprt: bad prot init

説明: サポートされないネットワーク・レイヤー・プロトコルが、並列チャンネル・アダプター・ハンドラーの初期化を試みました。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

## Panic pcadreg

短構文: pcadreg: virt net already reg

説明: 並列チャンネル・アダプター・バーチャル・ネット・ハンドラーは、すでに基本ネットに登録されています。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

## Panic pcabreq

短構文: pcabreq: bad xmit rqst

説明: サポートされないプロトコル・パケットが、転送のために並列チャンネル・アダプター・ハンドラーに渡されました。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

## Panic pcanosub

短構文: pcanosub: subch not found

説明: 要求された装置アドレスが、PCA 基本ハンドラー・サブチャンネル・テーブル内で見付かりませんでした。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

## Panic pcabcall

短構文: pcabcall: bad call to routine.

説明: ルーチンに対して無効のコールが行われました。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

## Panic pcabprd

短構文: pcabprt: bad prot down

説明: サポートされないネットワーク・レイヤー・プロトコルが、並列チャンネル・アダプター・ハンドラーの消去を試みました。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

## 第90章 PKI

この章では、PKI メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### PKI.001

レベル: U-INFO

短構文: PKI.001 PKI TFTP file *file\_name* from *server\_IP\_addr* status *status*.

長構文: PKI.001 PKI TFTP file *file\_name* from *server\_IP\_addr* status *status*.

説明: PKI tftp 状況

---

### PKI.002

レベル: P\_TRACE

短構文: PKI.002 LDAP signal check status: *LDAP\_signal\_check\_status*.

長構文: PKI.002 LDAP signal check status: *LDAP\_signal\_check\_status*.

説明: LDAP 信号状況のレポート

---

### PKI.003

レベル: U-INFO

短構文: PKI.003 LDAP connection opening completion.

長構文: PKI.003 LDAP connection opening completion.

説明: LDAP 接続オープン完了のためのアップコール

---

### PKI.004

レベル: U-INFO

短構文: PKI.004 LDAP binding completion.

長構文: PKI.004 LDAP binding completion.

説明: LDAP シンプル・バインド完了のためのアップコール

---

### PKI.005

レベル: U-INFO

短構文: PKI.005 LDAP cert file size *cert\_size* too big, over 2048 bytes

長構文: PKI.005 LDAP cert file size *cert\_size* too big, over 2048 bytes

説明: ダウンロードされた証明書のファイル LDAP

---

が、こちらでサポートする証明書の最大サイズを超えています。

---

### PKI.006

レベル: U-INFO

短構文: PKI.006 RSA key pair gen init status: *status*.

長構文: PKI.006 RSA key pair generation initialization status: *status*.

説明: RSA キーの組みの生成初期化の状況

---

### PKI.007

レベル: U-INFO

短構文: PKI.007 RSA key pair ( *size\_bits* bits) gen status: *status*.

長構文: PKI.007 RSA key pair ( *size\_bits* bits) generation status: *status*.

説明: RSA キーの組みの生成の状況

---

### PKI.008

レベル: U-INFO

短構文: PKI.008 BCert C\_CreateExtensionsObject() *status* status code *error\_code*.

長構文: PKI.008 BCert C\_CreateExtensionsObject() *status* status code *error\_code*.

説明: Bcert コール C\_CreateExtensionsObject() の状況

---

### PKI.009

レベル: UI-ERROR

短構文: PKI.009 Validity check: *status*. Current date: *year/ month/ day*, Time: *hour: min: sec*. Cert valid date: *start\_year/ month/ day hour: min: sec -- end\_year/ month/ day hour: min: sec*.

長構文: PKI.009 Validity check: *status*. Current date: *year/ month/ day*, Time: *hour: min: sec*. Cert valid date: *start\_year/ month/ day hour: min: sec -- end\_year/ month/ day hour: min: sec* .

説明: 証明書妥当性検査の状況

---

---

**PKI.010**

レベル: U-INFO

短構文: PKI.010 Root CA in cache? *status* length=  
*length*.

長構文: PKI.010 Root CA in cache? *status* length=  
*length*.

説明: root CA 証明書がキャッシュに入っているかどうかの状況

---

**PKI.011**

レベル: UI-ERROR

短構文: PKI.011 BSafe B\_CreateKeyObject() error code  
*bsafe\_error\_code*.

長構文: PKI.011 BSafe B\_CreateKeyObject() error code  
*bsafe\_error\_code*.

説明: B\_CreateKeyObject() が失敗しました。

---

**PKI.012**

レベル: UI-ERROR

短構文: PKI.012 BSafe B\_SetKeyInfo() error code  
*bsafe\_error\_code*.

長構文: PKI.012 BSafe B\_SetKeyInfo() error code  
*bsafe\_error\_code*.

説明: B\_SetKeyInfo() が失敗しました。

---

**PKI.013**

レベル: UI-ERROR

短構文: PKI.013 BCert C\_VerifyCertSignature() error  
code *bcert\_error\_code*.

長構文: PKI.013 BCert C\_VerifyCertSignature() error  
code *bcert\_error\_code*.

説明: C\_VerifyCertSignature() が失敗しました。

---

**PKI.014**

レベル: U-INFO

短構文: PKI.014 BCert C\_CreateCertObject() *status*  
*status code status\_code*.

長構文: PKI.014 BCert C\_CreateCertObject() *status*  
*status code status\_code*.

説明: Bcert コール C\_CreateCertObject() の状況

---

---

**PKI.015**

レベル: U-INFO

短構文: PKI.015 BCert C\_SetCertBER() *status status*  
*code code*.

長構文: PKI.015 BCert C\_SetCertBER() *status status*  
*code code*.

説明: Bcert コール C\_SetCertBER() の状況

---

**PKI.016**

レベル: U-INFO

短構文: PKI.016 BCert C\_GetCertFields() *status status*  
*code status\_code*.

長構文: PKI.016 BCert C\_GetCertFields() *status status*  
*code status\_code*.

説明: Bcert コール C\_GetCertFields() の状況

---

**PKI.017**

レベル: U-INFO

短構文: PKI.017 BCert C\_GetNameDER() *status status*  
*code status\_code*.

長構文: PKI.017 BCert C\_GetNameDER() *status status*  
*code status\_code*.

説明: Bcert コール C\_GetNameDER() の状況

---

**PKI.018**

レベル: UI-ERROR

短構文: PKI.018 X500DNBER2Str() error.

長構文: PKI.018 X500DNBER2Str() error

説明: X500DNBER2Str() 戻りエラー

---

**PKI.019**

レベル: U-INFO

短構文: PKI.019 BCert C\_GetExtensionValue() *status*  
*status code status\_code*.

長構文: PKI.019 BCert C\_GetExtensionValue() *status*  
*status code status\_code*.

説明: Bcert コール C\_GetExtensionValue() の状況

---

---

**PKI.020**

レベル: UI-ERROR

短構文: PKI.020 BSafe B\_GetKeyInfo() error code *bsafe\_error\_code*.

長構文: PKI.020 BSafe B\_GetKeyInfo() error code *bsafe\_error\_code*

説明: B\_GetKeyInfo() が失敗しました。

---

**PKI.021**

レベル: U-INFO

短構文: PKI.021 BCert C\_FindExtensionByType() *status* status code *status\_code*.

長構文: PKI.021 BCert C\_FindExtensionByType() *status* status code *status\_code*.

説明: Bcert コール C\_FindExtensionByType() の状況

---

**PKI.022**

レベル: U-INFO

短構文: PKI.022 BCert C\_GetExtensionInfo() *status* status code *status\_code*.

長構文: PKI.022 BCert C\_GetExtensionInfo() *status* status code *status\_code*.

説明: Bcert コール C\_GetExtensionInfo() の状況

---

**PKI.023**

レベル: U-INFO

短構文: PKI.023 BCert C\_CreateAttributesObject() *status* code *error\_code*.

長構文: PKI.023 BCert C\_CreateAttributesObject() *status* code *error\_code*.

説明: Bcert コール C\_CreateAttributesObject() の状況

---

**PKI.024**

レベル: U-INFO

短構文: PKI.024 BCert C\_GetAttributeInExtensionsObj() *status* status code *status\_code*.

長構文: PKI.024 BCert C\_GetAttributeInExtensionsObj() *status* status code *status\_code*.

説明: Bcert コール C\_GetAttributeInExtensionsObj() の状況

---

---

**PKI.025**

レベル: U-INFO

短構文: PKI.025 BCert C\_CreateExtension() *status* status code *code*.

長構文: PKI.025 BCert C\_CreateExtension() *status* status code *code*.

説明: Bcert コール C\_CreateExtension() の状況

---

**PKI.026**

レベル: U-INFO

短構文: PKI.026 BCert C\_AddExtensionValue() *status* status code *error\_code*.

長構文: PKI.026 BCert C\_AddExtensionValue() *status* status code *error\_code*.

説明: Bcert コール C\_AddExtensionValue() の状況

---

**PKI.027**

レベル: U-INFO

短構文: PKI.027 BCert C\_CreateNameObject() *status* status code *error\_code*.

長構文: PKI.027 BCert C\_CreateNameObject() *status* status code *error\_code*.

説明: Bcert コール C\_CreateNameObject() の状況

---

**PKI.028**

レベル: U-INFO

短構文: PKI.028 BCert C\_CreateCertRequestObject() *status* code *error\_code*.

長構文: PKI.028 BCert C\_CreateCertRequestObject() *status* code *error\_code*.

説明: Bcert コール C\_CreateCertRequestObject() の状況

---

**PKI.029**

レベル: U-INFO

短構文: PKI.029 BSafe B\_GetKeyInfo() *status* code *error\_code*.

長構文: PKI.029 BCert B\_GetKeyInfo() *status* code *error\_code*.

説明: Bcert コール B\_GetKeyInfo() の状況

---

---

**PKI.030**

レベル: U-INFO

短構文: PKI.030 BCert C\_SetCertRequestFields() *status* code *error\_code*.

長構文: PKI.030 BCert C\_SetCertRequestFields() *status* code *error\_code*.

説明: Bcert コール C\_SetCertRequestFields() の状況

---

**PKI.031**

レベル: U-INFO

短構文: PKI.031 BCert C\_SignCertRequest() *status* code *error\_code*.

長構文: PKI.031 BCert C\_SignCertRequest() *status* code *error\_code*.

説明: Bcert コール C\_SignCertRequest() の状況

---

**PKI.032**

レベル: U-INFO

短構文: PKI.032 BCert C\_GetCertRequestDER() *status* code *error\_code*.

長構文: PKI.032 BCert C\_GetCertRequestDER() *status* code *error\_code*.

説明: Bcert コール C\_GetCertRequestDER() の状況

---

**PKI.033**

レベル: UI-ERROR

短構文: PKI.033 Warning: *cert\_type* Cert is loaded more than once. cert ID= *cert\_ID*

長構文: PKI.033 Warning: *cert\_type* Cert is loaded more than once. cert ID= *cert\_ID*

説明: 省略時の証明書が複数回ロードされました。

---

**PKI.034**

レベル: U-INFO

短構文: PKI.034 Load *cert\_type* Cert *status*. cert ID= *cert\_ID*

長構文: PKI.034 Load *cert\_type* Cert *status*. cert ID= *cert\_ID*

説明: 証明書をキャッシュにロードしている状況

---

---

**PKI.035**

レベル: U-INFO

短構文: PKI.035 Default *cert\_type* Cert not found, not loaded.

長構文: PKI.035 Default *cert\_type* Cert not found, not loaded.

説明: 省略時の証明書がキャッシュにロードされた状況

---

**PKI.036**

レベル: U-INFO

短構文: PKI.036 BSafe B\_CreateAlgorithmObject() *status* status code *bsafe\_code*.

長構文: PKI.036 BSafe B\_CreateAlgorithmObject() *status* status code *bsafe\_code*.

説明: Bsafe B\_CreateAlgorithmObject() をコールしている状況

---

**PKI.037**

レベル: U-INFO

短構文: PKI.037 BSafe B\_SetAlgorithmObject() *status* status code *bsafe\_code*.

長構文: PKI.037 BSafe B\_SetAlgorithmObject() *status* status code *bsafe\_code*.

説明: Bsafe B\_SetAlgorithmObject() をコールしている状況

---

**PKI.038**

レベル: U-INFO

短構文: PKI.038 BSafe B\_GenerateInit() *status* status code *bsafe\_code*.

長構文: PKI.038 BSafe B\_GenerateInit() *status* status code *bsafe\_code*.

説明: Bsafe B\_GenerateInit() をコールしている状況

---

**PKI.039**

レベル: U-INFO

短構文: PKI.039 BSafe B\_GenerateKeypair() *status* error code *bsafe\_code*.

長構文: PKI.039 BSafe B\_GenerateKeypair() *status* error code *bsafe\_code*.

説明: Bsafe B\_GenerateKeypair() をコールしている状況

---

---

**PKI.040**

レベル: U-INFO

短構文: PKI.040 BCert C\_AddNameAVA() *status code error\_code* Name str: *type*.

長構文: PKI.040 BCert C\_AddNameAVA() *status code error\_code* Name str: *type*.

説明: Bcert コール C\_AddNameAVA() の状況

---

**PKI.041**

レベル: U-INFO

短構文: PKI.041 X500DN initialized. Total X500 Attribute name *total\_attr\_name*

長構文: PKI.041 X500DN initialized. Total X500 Attribute name *total\_attr\_name*

説明: X500 属性名機能が初期化されます。

---

**PKI.042**

レベル: U-INFO

短構文: PKI.042 BCert C\_SetNameBER() *status code error\_code*.

長構文: PKI.042 BCert C\_SetNameBER() *status code error\_code*.

説明: Bcert コール C\_SetNameBER() の状況

---

**PKI.043**

レベル: U-INFO

短構文: PKI.043 BCert C\_IsSubjectSubordinateToIssuer() *status code error\_code*.

長構文: PKI.043 BCert C\_IsSubjectSubordinateToIssuer() *status code error\_code*.

説明: Bcert コール C\_IsSubjectSubordinateToIssuer() の状況

---

**PKI.044**

レベル: U-INFO

短構文: PKI.044 BCert C\_GetNameAVACount() *status code error\_code*.

長構文: PKI.044 BCert C\_GetNameAVACount() *status code error\_code*.

説明: Bcert コール C\_GetNameAVACount() の状況

---

---

**PKI.045**

レベル: U-INFO

短構文: PKI.045 BCert C\_GetNameAVA() *status code error\_code*.

長構文: PKI.045 BCert C\_GetNameAVA() *status code error\_code*.

説明: Bcert コール C\_GetNameAVA() の状況

---

**PKI.046**

レベル: UI-ERROR

短構文: PKI.046 Cert size ( *size* bytes) not correct.

長構文: PKI.046 Certificate size ( *size* bytes) not correct. Too big.

説明: 証明書のサイズが正しくありません。

---

**PKI.047**

レベル: UI-ERROR

短構文: PKI.047 Private key size ( *size* bytes) not correct.

長構文: PKI.047 Private Key size ( *size* bytes) not correct. Too big.

説明: 秘密キーのサイズが正しくありません。

---

**PKI.048**

レベル: U-INFO

短構文: PKI.048 PKI initialized.

長構文: PKI.048 PKI initialized.

説明: PKI の初期化が終了しました。

---

**PKI.049**

レベル: UI-ERROR

短構文: PKI.049 PKI DN attr table not initialized properly. Table size= *size*.

長構文: PKI.049 PKI DN attribute table is not initialized properly. Table size= *size*.

説明: 属性テーブルが初期化されません。

---

**PKI.050**

レベル: UI-ERROR

短構文: PKI.050 PKI X500 DN attr Name not found.



長構文: PKI.050 PKI X500 attribute name is not found in the current attribute table.

説明: X500 DN 属性名が見付かりません。

---

#### PKI.051

レベル: UI-ERROR

短構文: PKI.051 PKI X500 Name type not found.

長構文: PKI.051 PKI X500 Name type is not found in the current attribute table.

説明: X500 DN 名のタイプが見付かりません。

---

#### PKI.052

レベル: UI-ERROR

短構文: PKI.052 PKI *ID\_type* type unknown.

長構文: PKI.052 PKI *ID\_type* type unknown.

説明: PKI ID 名|代替名のタイプが不明です。

---

#### PKI.053

レベル: U-INFO

短構文: PKI.053 PKI *status* Value *alt-name*

長構文: PKI.053 PKI *status* Value *alt-name*

説明: PKI サブジェクト代替名の状況

---

#### PKI.054

レベル: UI-ERROR

短構文: PKI.054 PKI ID bad IP addr

長構文: PKI.054 PKI ID bad IP addr in subj-alt-name in cert

説明: 証明書のサブジェクト代替名の IP アドレスの PKI ID が間違っています。

---

#### PKI.055

レベル: UI-ERROR

短構文: PKI.055 PKI subj-alt-name not parsed correctly.

長構文: PKI.055 PKI subj-alt-name not parsed correctly.

説明: PKI サブジェクト代替名が正しく構文解析されません。

---

#### PKI.056

レベル: U-INFO

短構文: PKI.056 PKI cert validity check status *status*

長構文: PKI.056 PKI certificate validity check status *status*

説明: PKI 証明書妥当性検査の状況

---

#### PKI.057

レベル: U-INFO

短構文: PKI.057 PKI cert root CA check status *status*

長構文: PKI.057 PKI certificate root CA check status *status*

説明: PKI 証明書 root CA 検査の状況

---

#### PKI.058

レベル: U-INFO

短構文: PKI.058 PKI store peer public key status *status*

長構文: PKI.058 PKI store peer public key status *status*

説明: PKI 保管ピア公開キーの状況

---

#### PKI.059

レベル: U-INFO

短構文: PKI.059 PKI store *cert\_type* cert ID status *status*

長構文: PKI.059 PKI store *cert\_type* cert ID status *status*

説明: PKI 保管ピア|ルーターの認証 ID 状況

---

#### PKI.060

レベル: U-INFO

短構文: PKI.060 PKI processing *cert\_type* cert successful

長構文: PKI.060 PKI processing *cert\_type* cert successful

説明: PKI は証明書を正常に処理しました。

---

#### PKI.061

レベル: U-INFO

短構文: PKI.061 PKI cert alt-name processing status: *status*

長構文: PKI.061 PKI cert alt-name processing status:  
*status*

説明: PKI 証明書代替名の処理の状況

---

#### PKI.062

レベル: U-INFO

短構文: PKI.062 PEM->DER conversion: Header *status*,  
Footer *status*

長構文: PKI.062 PEM->DER conversion: Header *status*,  
Footer *status*

説明: PEM ファイルのヘッダーとフッターを抜き出し  
ている状況

---

#### PKI.063

レベル: U-INFO

短構文: PKI.063 PEM->DER buffer conversion: *status*

長構文: PKI.063 PEM->DER buffer conversion: *status*

説明: PEM バッファから DER バッファに変換し  
ている状況

---

#### PKI.064

レベル: UI-ERROR

短構文: PKI.064 PKI unable to get mem: *location*

長構文: PKI.064 PKI unable to get memory: *location*

説明: PKI は必要な記憶域を割り振ることができな  
かったので、PKI は実行できません。

原因: ヒープ記憶域が不足しています。おそらく記憶  
域を大量に必要とする実行中の転送機能/プロトコルの数  
が多過ぎるためです。

処置: 不必要な転送機能/プロトコルを使用不可にする  
か、記憶域を増やしてください。

---

#### PKI.065

レベル: UI-ERROR

短構文: PKI.065 PKI Cert key usage *key\_usage* check  
*status*

長構文: PKI.065 PKI Cert key usage *key\_usage* check  
*status*

説明: 認証キーの使用を検査してください。

---

#### PKI.066

レベル: U-INFO

短構文: PKI.066 Store *cert\_type(remote/local)* cert life  
from router start *cert\_lif\_sec*

長構文: PKI.066 Store *cert\_type(remote/local)* certificate  
life router start *cert\_lif\_sec*

説明: 証明書の存続時間を保管している状況

---

#### PKI.067

レベル: U-INFO

短構文: PKI.067 not used now

長構文: PKI.067 not used now

説明: 現在は使用されていません。

---

#### PKI.068

レベル: U-INFO

短構文: PKI.068 Retrieve peer cert public key *status*

長構文: PKI.068 Retrieve peer certificate public key  
*status*.

説明: ピア証明書の公開キーを検索している状況

---

#### PKI.069

レベル: U-INFO

短構文: PKI.069 Store my cert into cache *status*. cert  
length= *len*

長構文: PKI.069 Store my cert into cache *status*. cert  
length= *len*

説明: こちらの証明書を実行時キャッシュに保管して  
いる状況

---

#### PKI.070

レベル: U-INFO

短構文: PKI.070 Store my private key into cache *status*.  
key buffer length= *len*

長構文: PKI.070 Store my private key into cache *status*.  
key buffer length= *len*

説明: こちらの秘密キーを実行時キャッシュに保管し  
ている状況

---

---

**PKI.071**

レベル: U-INFO

短構文: PKI.071 Store root cert into cache *status*. cert length= *len*

長構文: PKI.071 Store root cert into cache *status*. cert length= *len*

説明: root 証明書を実行時キャッシュに保管している状況

---

**PKI.072**

レベル: U-INFO

短構文: PKI.072 Get my cert from cache *status*. cert length= *len*

長構文: PKI.072 Get my cert from cache *status*. cert length= *len*

説明: こちらの証明書を実行時キャッシュから入手している状況

---

**PKI.073**

レベル: U-INFO

短構文: PKI.073 BSafe B\_EncryptInit() *status* status code *bsafe\_code*.

長構文: PKI.073 BSafe B\_EncryptInit() *status* status code *bsafe\_code*.

説明: Bsafe B\_EncryptInit() をコールしている状況

---

**PKI.074**

レベル: U-INFO

短構文: PKI.074 BSafe B\_EncryptUpdate() *status* status code *bsafe\_code*.

長構文: PKI.074 BSafe B\_EncryptUpdate() *status* status code *bsafe\_code*.

説明: Bsafe B\_EncryptUpdate() をコールしている状況

---

**PKI.075**

レベル: U-INFO

短構文: PKI.075 BSafe B\_EncryptFinal() *status* status code *bsafe\_code*.

長構文: PKI.075 BSafe B\_EncryptFinal() *status* status code *bsafe\_code*.

説明: Bsafe B\_EncryptFinal() をコールしている状況

---

---

**PKI.076**

レベル: U-INFO

短構文: PKI.076 BSafe B\_DecryptInit() *status* status code *bsafe\_code*.

長構文: PKI.076 BSafe B\_DecryptInit() *status* status code *bsafe\_code*.

説明: Bsafe B\_DecryptInit() をコールしている状況

---

**PKI.077**

レベル: U-INFO

短構文: PKI.077 BSafe B\_DecryptUpdate() *status* status code *bsafe\_code*.

長構文: PKI.077 BSafe B\_DecryptUpdate() *status* status code *bsafe\_code*.

説明: Bsafe B\_DecryptUpdate() をコールしている状況

---

**PKI.078**

レベル: U-INFO

短構文: PKI.078 BSafe B\_DecryptFinal() *status* status code *bsafe\_code*.

長構文: PKI.078 BSafe B\_DecryptFinal() *status* status code *bsafe\_code*.

説明: Bsafe B\_DecryptFinal() をコールしている状況

---

**PKI.079**

レベル: U-INFO

短構文: PKI.079 BSafe B\_SetAlgorithmInfo() *status* status code *bsafe\_code*.

長構文: PKI.079 BSafe B\_SetAlgorithmInfo() *status* status code *bsafe\_code*.

説明: Bsafe B\_SetAlgorithmInfo() をコールしている状況

---

**PKI.080**

レベル: U-INFO

短構文: PKI.080 BSafe B\_RandomInit() *status* status code *bsafe\_code*.

長構文: PKI.080 BSafe B\_RandomInit() *status* status code *bsafe\_code*.

説明: Bsafe B\_RandomInit() をコールしている状況

---

---

**PKI.081**

レベル: U-INFO

短構文: PKI.081 BSafe B\_RandomUpdate() *status* *status*  
code *bsafe\_code*.

長構文: PKI.081 BSafe B\_RandomUpdate() *status* *status*  
code *bsafe\_code*.

説明: Bsafe B\_RandomUpdate() をコールしている状況

---

**PKI.082**

レベル: UI-ERROR

短構文: PKI.082 *err\_msg*

長構文: PKI.082 *err\_msg*

説明: 一般認証エラー

---

**PKI.083**

レベル: UI-ERROR

短構文: PKI.083 *err\_msg\_1* error *err\_msg\_2*

長構文: PKI.083 *err\_msg\_1* error *err\_msg\_2*

説明: 一般認証エラー



---

## 第91章 ポイント・ポイント (2 地点間) プロトコル・ネットワーク・インターフェース (PPP)

この章では、ポイント・ポイント (2 地点間) プロトコル・ネットワーク・インターフェース (PPP) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### PPP.001

レベル: C-INFO

短構文: PPP.001 Req brng up IP, addr = *ip\_address* nt *network ID*

長構文: PPP.001 Request to bring up IP, local address = *ip\_address*, on network *network ID*

説明: IP プロトコルのために、`ppp_prrint` ルーチンがコールされました。

---

### PPP.002

レベル: C-INFO

短構文: PPP.002 Srl prt up, nt *network ID*

長構文: PPP.002 Serial port came up sucessfully, on network *network ID*

説明: `ppp_slftst2` ルーチンは、正常にロードおよび初期化されました。

---

### PPP.003

レベル: C-TRACE

短構文: PPP.003 Mnt nt *network ID*

長構文: PPP.003 Doing maint, on network *network ID*

説明: `ppp_mnt` を実行中です。

---

### PPP.004

レベル: P-TRACE

短構文: PPP.004 Nt opn fr outb *protocol\_name*, nt *network ID*

長構文: PPP.004 Outbound data discarded, not open for protocol *protocol\_name*, on network *network ID*

説明: IP 状態がオープン (OK) でないときに、IP データのために `ppp_send` が呼び出されました。

---

### PPP.005

レベル: U-INFO

短構文: PPP.005 Bd IP pkt xmt typ= *type*, nt *network ID*

長構文: PPP.005 Bad IP packet to transmit: type = *type*, on network *network ID*

説明: `slhc` が、IP パケットに対して無効なコードを戻しました。

---

### PPP.006

レベル: CE-ERROR

短構文: PPP.006 I\_ERR on rcv nt *network ID*

長構文: PPP.006 Packet received with I\_ERR set, on network *network ID*

説明: `ppp_in` が、I\_ERR がセットされているパケットを受信しました。

---

### PPP.007

レベル: UE-ERROR

短構文: PPP.007 Rcv Bd fr addr *bad\_address*, nt *network ID*

長構文: PPP.007 Received packet with bad frame address = *bad\_address*, on network *network ID*

説明: `ppp_in` が、アドレス・バイトが 0xff ではないフレームを受信しました。

---

### PPP.008

レベル: UE-ERROR

短構文: PPP.008 Rcv Bd fr cntrl *bad\_control*, nt *network ID*

長構文: PPP.008 Received packet with bad frame control field = *bad\_control*, on network *network ID*

説明: `ppp_in` が、制御バイトが = 3 (UI) ではないフレームを受信しました。



---

**PPP.009**

レベル: UE-ERROR

短構文: PPP.009 Rcv inv prtcl *bad\_protocol*, nt *network ID*

長構文: PPP.009 Received packet with invalid protocol = *bad\_protocol*, on network *network ID*

説明: *ppp\_in* が、プロトコルが無効な (未知ではない) フレームを受信しました。

---

**PPP.010**

レベル: CE-ERROR

短構文: PPP.010 Nt opn fr inb *protocol\_name*, nt *network ID*

長構文: PPP.010 Inbound data discarded, not open for protocol *protocol\_name*, on network *network ID*

説明: *ppp\_in* が、プロトコル状態がオープンではないときに、データを受信しました。

---

**PPP.011**

レベル: CE-ERROR

短構文: PPP.011 Nt opn fr inb *control\_protocol\_name*, nt *network ID*

長構文: PPP.011 Inbound *control\_protocol\_name*, discarded, not open for IPCP on network *network ID*

説明: *ppp\_in* が、LCP 状態がオープンではないときに、制御プロトコル・データを受信しました。

---

**PPP.012**

レベル: UE-ERROR

短構文: PPP.012 Multi Encrypt - discard nt *network ID*

長構文: PPP.012 Multiple Encrypt. - discard on network *network ID*

説明: エクスポート上の理由から、ボックス内でパケットを二度暗号化することはサポートされていません。PPP 暗号化がネゴシエーションされてから、すでに暗号化されたパケットを廃棄する前に、この ELS メッセージがログに記録されます。

原因: PPP 暗号化がネゴシエーションされると、暗号化されたパケットが PPP に渡されます。

処置: IPSEC または PPP を再構成して、暗号化が複数回試みられないようにしてください。

---

**PPP.014**

レベル: C-TRACE

短構文: PPP.014 *fsm\_name*,/ *fsm\_state*, *routine\_name*, nt *network ID*

長構文: PPP.014 FSM = *fsm\_name*,, state = *fsm\_state*,, called *routine\_name*,, on network *network ID*

説明: 指定の FSM ルーチンをコールしました。

---

**PPP.015**

レベル: UI-ERROR

短構文: PPP.015 *fsm\_name*,/ *fsm\_state*, snd bd cd *code*, xmt, nt *network ID*

長構文: PPP.015 FSM = *fsm\_name*,, state = *fsm\_state*,, tried to send bad code *code*,, on network *network ID*

説明: 無効なコードをもつパケットを送信するために、*fsm\_send* がコールされました。

原因: 制御ブロックまたは記憶域 (またはその両方) の破壊

処置: ルーターを再始動して、サービス技術員に連絡してください。

---

**PPP.016**

レベル: P-TRACE

短構文: PPP.016 *fsm\_name*,/ *fsm\_state*, snd *code*,, id *id*, len *len*,, nt *network ID*

長構文: PPP.016 FSM = *fsm\_name*,, state = *fsm\_state*,, sending *code*,, id *id*,, len *len*,, on network *network ID*

説明: *fsm\_send* が、FSM メッセージを送信しようとしています。

---

**PPP.017**

レベル: P-TRACE

短構文: PPP.017 *fsm\_name*,/ *fsm\_state*, rcv *code*,, id *id*, len *len*,, nt *network ID*

長構文: PPP.017 FSM = *fsm\_name*,, state = *fsm\_state*,, received *code*,, id *id*,, len *len*,, on network *network ID*

説明: *fsm\_proc* が、FSM メッセージを受信しました。

---

**PPP.018**

レベル: CE-ERROR

短構文: PPP.018 *fsm\_name*, *msg\_type*, retr exc nt *network ID*

長構文: PPP.018 *fsm\_name*, FSM, *msg\_type*, retries exceeded, on network *network ID*

説明: 構成要求または終了要求の再試行回数が多過ぎます。

---

#### PPP.019

レベル: C-TRACE

短構文: PPP.019 LCP/ *lcp\_state*, *routine\_name*, nt *network ID*

長構文: PPP.019 LCP, state = *lcp\_state*., called *routine\_name*., on network *network ID*

説明: 指定の LCP ルーチンをコールしました。

---

#### PPP.020

レベル: UE-ERROR

短構文: PPP.020 Bd lcp rej id, exp *exp\_id*, gt *got\_id*., nt *network ID*

長構文: PPP.020 Bad LCP reject id, expected *exp\_id*., got *got\_id*., on network *network ID*

説明: *lcp\_rej* が、拒否を受信しましたが、ID が無効です。

---

#### PPP.021

レベル: UE-ERROR

短構文: PPP.021 Bd lcp rej lngth, nt *network ID*

長構文: PPP.021 Bad LCP reject length, on network *network ID*

説明: *lcp\_rej* が、拒否を受信しましたが、長さが無効です。

---

#### PPP.022

レベル: UE-ERROR

短構文: PPP.022 Bd lcp rej opt *lcp\_option*., nt *network ID*

長構文: PPP.022 Bad LCP reject option = *lcp\_option*., on network *network ID*

説明: *lcp\_rej* が、拒否を受信しましたが、範囲外のオプションが含まれています。

---

#### PPP.023

レベル: UE-ERROR

短構文: PPP.023 out-ordr lcp rej opt *lcp\_option*., nt *network ID*

長構文: PPP.023 Bad LCP reject option = *lcp\_option*., on network *network ID*

説明: *lcp\_rej* が、拒否を受信しましたが、順序エラーのオプションが含まれています。

---

#### PPP.024

レベル: UE-ERROR

短構文: PPP.024 Bd lcp req hdr lngth, nt *network ID*

長構文: PPP.024 Bad LCP request header length, on network *network ID*

説明: *lcp\_req* が、要求を受信しましたが、ヘッダーの長さが無効です。

---

#### PPP.025

レベル: UE-ERROR

短構文: PPP.025 Bd lcp req opt *lcp\_option*, shrt, nt *network ID*

長構文: PPP.025 Bad LCP request option = *lcp\_option*., data too short, on network *network ID*

説明: *lcp\_req* が、要求を受信しましたが、オプションのデータが不十分です。

---

#### PPP.026

レベル: C-TRACE

短構文: PPP.026 lcp req rslt: *lcp\_rslt*., opt *lcp\_option*., ln *opt\_len*., nt *network ID*

長構文: PPP.026 lcp request result: *lcp\_rslt*., option = *lcp\_option*., length = *opt\_len*., on network *network ID*

説明: ここまでの、1つのオプションの処理の結果

---

#### PPP.027

レベル: UE-ERROR

短構文: PPP.027 Bd lcp ack id, exp *exp\_id*, gt *got\_id*., nt *network ID*

長構文: PPP.027 Bad lcp ack id, expected *exp\_id*., got *got\_id*., on network *network ID*

説明: *lcp\_ack* が、構成 ACK を受信しましたが、ID が無効です。

---

#### PPP.028

レベル: UE-ERROR

短構文: PPP.028 Bd lcp ack lngth, nt *network ID*

長構文: PPP.028 Bad lcp ack length, on network *network ID*

説明: lcp\_ack が、構成 ACK を受信しましたが、長さが無効です。

---

#### PPP.029

レベル: UE-ERROR

短構文: PPP.029 msmtchd lcp ack, nt *network ID*

長構文: PPP.029 mis-matched data in lcp ack, on network *network ID*

説明: lcp\_ack が ACK を受信しましたが、そのデータが要求と合致していません。

---

#### PPP.030

レベル: UE-ERROR

短構文: PPP.030 Bd lcp nak id, exp *exp\_id*, gt *got\_id*, nt *network ID*

長構文: PPP.030 Bad LCP nak id, expected *exp\_id*, got *got\_id*, on network *network ID*

説明: lcp\_nak が NAK を受信しましたが、ID が無効です。

---

#### PPP.031

レベル: UE-ERROR

短構文: PPP.031 Bd lcp nak lngth, nt *network ID*

長構文: PPP.031 Bad LCP nak length, on network *network ID*

説明: lcp\_nak が NAK を受信しましたが、長さが無効です。

---

#### PPP.032

レベル: UE-ERROR

短構文: PPP.032 Bd lcp nak opt *lcp\_option*, nt *network ID*

長構文: PPP.032 Bad LCP nak option = *lcp\_option*, on network *network ID*

説明: lcp\_nak が NAK を受信しましたが、範囲外のオプションが含まれています。

---

#### PPP.033

レベル: UE-ERROR

短構文: PPP.033 out-ordr lcp nak opt *lcp\_option*, nt *network ID*

長構文: PPP.033 Bad LCP nak option = *lcp\_option*, on network *network ID*

説明: lcp\_nak が NAK を受信しましたが、順序エラーのオプションが含まれています。

---

#### PPP.034

レベル: UE-ERROR

短構文: PPP.034 Bd lcp nak opt *lcp\_option*, shrt, nt *network ID*

長構文: PPP.034 Bad LCP nak option = *lcp\_option*, data too short, on network *network ID*

説明: lcp\_nak が NAK を受信しましたが、オプションのデータが不十分です。

---

#### PPP.035

レベル: P\_TRACE

短構文: PPP.035 mk mru *mru*

長構文: PPP.035 making max receive unit with value *mru*

説明: lcp\_option が、最大受信単位 (mru) を作成しました。

---

#### PPP.036

レベル: P\_TRACE

短構文: PPP.036 mk accm 0x *accm*

長構文: PPP.036 making accm = 0x *accm*

説明: lcp\_option が、accm を作成しました。

---

#### PPP.037

レベル: P\_TRACE

短構文: PPP.037 mk aut 0x *auth*

長構文: PPP.037 making authorization protocol with value 0x *auth*

説明: lcp\_option が、許可を作成しました。

---

#### PPP.038

レベル: P\_TRACE

短構文: PPP.038 mk mag 0x *magic\_number*

長構文: PPP.038 making magic number with value 0x *magic\_number*

説明: lcp\_option が、マジック・ナンバーを作成しました。

---

**PPP.039**

レベル: P\_TRACE

短構文: PPP.039 mk pfc

長構文: PPP.039 making protocol compression

説明: lcp\_option が、プロトコル圧縮を作成しました。

---

**PPP.040**

レベル: P\_TRACE

短構文: PPP.040 mk acfc

長構文: PPP.040 making address/control field compression

説明: lcp\_option が、アドレス/制御圧縮を作成しました。

---

**PPP.041**

レベル: P\_TRACE

短構文: PPP.041 mk qp 0x *protocol, period*

長構文: PPP.041 making quality protocol = 0x *protocol,, period = period*

説明: lcp\_option が、品質を作成しました。

---

**PPP.042**

レベル: P\_TRACE

短構文: PPP.042 mk fcs

長構文: PPP.042 making 32-bit fcs

説明: lcp\_option が、32 ビット FCS を作成しました。

---

**PPP.043**

レベル: P\_TRACE

短構文: PPP.043 mk lcp unk *option*

長構文: PPP.043 making unknown lcp option *option*

説明: lcp\_option が、認知できないオプションを作成しました。

---

**PPP.044**

レベル: P\_TRACE

短構文: PPP.044 ck mru *mru*

長構文: PPP.044 checking max receive unit with value *mru*

---

説明: lcp\_check が、最大受信単位 (mru) を処理しました。

---

**PPP.045**

レベル: P\_TRACE

短構文: PPP.045 ck accm 0x *accm*

長構文: PPP.045 checking accm = 0x *accm*

説明: lcp\_check が、accm を処理しました。

---

**PPP.046**

レベル: P\_TRACE

短構文: PPP.046 ck aut 0x *auth*

長構文: PPP.046 checking authorization protocol with value 0x *auth*

説明: lcp\_check が、許可を処理しました。

---

**PPP.047**

レベル: P\_TRACE

短構文: PPP.047 ck mag 0x *magic\_number*

長構文: PPP.047 checking magic number with value 0x *magic\_number*

説明: lcp\_check が、マジック・ナンバーを処理しました。

---

**PPP.048**

レベル: P\_TRACE

短構文: PPP.048 ck pfc

長構文: PPP.048 checking protocol compression

説明: lcp\_check が、プロトコル圧縮を処理しました。

---

**PPP.049**

レベル: P\_TRACE

短構文: PPP.049 ck acfc

長構文: PPP.049 checking address/control field compression

説明: lcp\_check が、アドレス/制御圧縮を処理しました。

---

---

**PPP.050**

レベル: P\_TRACE

短構文: PPP.050 ck qp 0x protocol, period

長構文: PPP.050 checking quality protocol = 0x protocol,, period = period

説明: lcp\_check が、品質を処理しました。

---

**PPP.051**

レベル: P\_TRACE

短構文: PPP.051 ck fcs

長構文: PPP.051 checking 32-bit fcs

説明: lcp\_check が、32 ビット FCS を処理しました。

---

**PPP.052**

レベル: P\_TRACE

短構文: PPP.052 ck lcp unk option

長構文: PPP.052 checking unknown lcp option option

説明: lcp\_check が、認知できないオプションを処理しました。

---

**PPP.053**

レベル: C-TRACE

短構文: PPP.053 state, routine\_name, nt network ID

長構文: PPP.053 state = state,, called routine\_name,, on network network ID

説明: 指定の cp ルーチンをコールしました。

---

**PPP.054**

レベル: UE-ERROR

短構文: PPP.054 Bd control\_protocol, ack id, exp exp\_id, gt got\_id,, nt network ID

長構文: PPP.054 Bad control\_protocol, ack id, expected exp\_id,, got got\_id,, on network network ID

説明: xxcp\_ack が、構成 ACK を受信しましたが、ID が無効です。

---

**PPP.055**

レベル: UE-ERROR

短構文: PPP.055 Bad control\_protocol, ack lngth nt network ID

長構文: PPP.055 Bad control\_protocol, ack length on network network ID

説明: xxcp\_ack が、構成 ACK を受信しましたが、長さが無効です。

---

**PPP.056**

レベル: UE-ERROR

短構文: PPP.056 msmtchd control\_protocol, ack, nt network ID

長構文: PPP.056 mis-matched data in control\_protocol, ack, on network network ID

説明: xxcp\_ack が ACK を入手しましたが、そのデータがこちらの要求に合致していません。

---

**PPP.057**

レベル: UE-ERROR

短構文: PPP.057 Bd control\_protocol, nak id, exp exp\_id, gt got\_id,, nt network ID

長構文: PPP.057 Bad control\_protocol, nak id, expected exp\_id,, got got\_id,, on network network ID

説明: xxcp\_nak が NAK を受信しましたが、ID が無効です。

---

**PPP.058**

レベル: UE-ERROR

短構文: PPP.058 Bd control\_protocol, nak lngth, nt network ID

長構文: PPP.058 Bad control\_protocol, nak length, on network network ID

説明: xxcp\_nak が NAK を受信しましたが、長さが無効です。

---

**PPP.059**

レベル: UE-ERROR

短構文: PPP.059 Bd control\_protocol, nak opt ipcp\_option,, nt network ID

長構文: PPP.059 Bad control\_protocol, nak option = ipcp\_option,, on network network ID

説明: xxcp\_nak が NAK を受信しましたが、範囲外のオプションが含まれています。

---

---

**PPP.060**

レベル: UE-ERROR

短構文: PPP.060 out-ordr *control\_protocol*, nak opt *ipcp\_option*, nt *network ID*

長構文: PPP.060 Bad *control\_protocol*, nak option = *ipcp\_option*, on network *network ID*

説明: *xxcp\_nak* が NAK を受信しましたが、順序外れのオプションが含まれています。

---

**PPP.061**

レベル: UE-ERROR

短構文: PPP.061 Bd *control\_protocol*, nak opt *ipcp\_option*, shrt, nt *network ID*

長構文: PPP.061 Bad *control\_protocol*, nak option = *ipcp\_option*, data too short, on network *network ID*

説明: *xxcp\_nak* が NAK を受信しましたが、オプションのデータが不十分です。

---

**PPP.062**

レベル: UE-ERROR

短構文: PPP.062 Bd *control\_protocol*, rej id, exp *exp\_id*, gt *got\_id*, nt *network ID*

長構文: PPP.062 Bad *control\_protocol*, reject id, expected *exp\_id*, got *got\_id*, on network *network ID*

説明: *xxcp\_rej* が、拒否を受信しましたが、ID が無効です。

---

**PPP.063**

レベル: UE-ERROR

短構文: PPP.063 Bd *control\_protocol*, rej lngth, nt *network ID*

長構文: PPP.063 Bad *control\_protocol*, reject length, on network *network ID*

説明: *xxcp\_rej* が、拒否を受信しましたが、長さが無効です。

---

**PPP.064**

レベル: UE-ERROR

短構文: PPP.064 Bd *control\_protocol*, rej opt *ipcp\_option*, nt *network ID*

長構文: PPP.064 Bad *control\_protocol*, reject option = *ipcp\_option*, on network *network ID*

説明: *xxcp\_rej* が、拒否を受信しましたが、順序別のオプションが含まれています。

---

**PPP.065**

レベル: UE-ERROR

短構文: PPP.065 out-ordr *control\_protocol*, rej opt *ipcp\_option*, nt *network ID*

長構文: PPP.065 Bad *control\_protocol*, reject option = *ipcp\_option*, on network *network ID*

説明: *xxcp\_rej* が、拒否を受信しましたが、順序外れのオプションが含まれています。

---

**PPP.066**

レベル: P\_TRACE

短構文: PPP.066 mk ads *src\_addr*, *dest\_addr*, nt *network ID*

長構文: PPP.066 making IPCP addresses option, addresses = *src\_addr*, *dest\_addr*, on network *network ID*

説明: *ipcp\_option* が、(使用するべきでない) IPCP アドレス・オプションを作成しました。

---

**PPP.067**

レベル: P\_TRACE

短構文: PPP.067 mk cmp 0x *comp\_protocol*, *slots*,/ *slot\_compress*, nt *network ID*

長構文: PPP.067 making compression option 0x *comp\_protocol*, slots = *slots*, slot\_compress = *slot\_compress*, , on network *network ID*

説明: *ipcp\_option* が、圧縮オプションを作成しました。

---

**PPP.068**

レベル: P\_TRACE

短構文: PPP.068 mk ad *ip\_address*, nt *network ID*

長構文: PPP.068 making IPCP address option, address = *ip\_address*, on network *network ID*

説明: *ipcp\_option* が、IPCP アドレス・オプションを作成しました。

---

**PPP.069**

レベル: P\_TRACE

短構文: PPP.069 mk *protocol*, unk *option*, nt *network ID*



長構文: PPP.069 making unknown *protocol*, option *option*, on network *network ID*

説明: {*ipcp,dncp*}\_*option* が、認知できないオプションを作成しました。

---

### PPP.070

レベル: P\_TRACE

短構文: PPP.070 ck ads *src\_addr*, *dest\_addr*, nt *network ID*

長構文: PPP.070 checking IPCP addresses option, addresses = *src\_addr*, *dest\_addr*, on network *network ID*

説明: *ipcp\_check* が、(使用すべきでない) IPCP アドレス・オプションを処理しました。

---

### PPP.071

レベル: P\_TRACE

短構文: PPP.071 ck cmp 0x *comp\_protocol*, *slots*,/  
*slot\_compress*, nt *network ID*

長構文: PPP.071 checking compression option 0x *comp\_protocol*, slots = *slots*, slot\_compress = *slot\_compress*, on network *network ID*

説明: *ipcp\_check* が、圧縮オプションを処理しました。

---

### PPP.072

レベル: P\_TRACE

短構文: PPP.072 ck ad *ip\_address*, nt *network ID*

長構文: PPP.072 checking IPCP address option, address = *ip\_address*, on network *network ID*

説明: *ipcp\_check* が、IPCP アドレス・オプションを処理しました。

---

### PPP.073

レベル: P\_TRACE

短構文: PPP.073 ck *control\_protocol*, unk *option*

長構文: PPP.073 checking unknown *control\_protocol*, option *option*

説明: *ipcp\_check* が、IPCP の認知できないオプションを処理しました。

---

### PPP.074

レベル: UE-ERROR

短構文: PPP.074 Bd *control\_protocol*, req\_hdr *length*, nt *network ID*

長構文: PPP.074 Bad *control\_protocol*, request header *length*, on network *network ID*

説明: *xxcp\_req* が、要求を受信しましたが、ヘッダー長が無効です。

---

### PPP.075

レベル: UE-ERROR

短構文: PPP.075 Bd *control\_protocol*, req\_opt *ipcp\_option*, shrt, nt *network ID*

長構文: PPP.075 Bad *control\_protocol*, request option = *ipcp\_option*, data too short, on network *network ID*

説明: *xxcp\_req* が、要求を受信しましたが、含まれているオプションのデータが不十分です。

---

### PPP.076

レベル: C-TRACE

短構文: PPP.076 *control\_protocol*, req\_rslt: *ipcp\_rslt*, opt *ipcp\_option*, ln *opt\_len*, nt *network ID*

長構文: PPP.076 *control\_protocol*, request result: *ipcp\_rslt*, option = *ipcp\_option*, length = *opt\_len*, on network *network ID*

説明: ここまでの、1つのオプションの処理の結果

---

### PPP.077

レベル: UE-ERROR

短構文: PPP.077 bd rcv *len*, pk *hdr\_len*, dr *i\_bxfr*, nt *network ID*

長構文: PPP.077 bad length on received data, packet length = *hdr\_len*, driver says *i\_bxfr*, on network *network ID*

説明: LCP または NCP パケットの長さフィールドが、IORB の *i\_bxfr* に一致していません。

---

### PPP.078

レベル: C-INFO

短構文: PPP.078 Mdm sts chg, DCD *dcd* CTS *cts* nt *network ID*

長構文: PPP.078 Modem status changed DCD = *dcd* CTS = *cts* on network *network ID*

説明: モデム状況の変更が発生しました。現在の状態が記述されています。

---

#### PPP.079

レベル: UE-ERROR

短構文: PPP.079 prt rej rcv, prt 0x *protocol*) nt *network ID*

長構文: PPP.079 protocol reject received for protocol 0x *protocol*) on network *network ID*

説明: リンクからプロトコル拒否パケットを受信しました。

---

#### PPP.080

レベル: UE-ERROR

短構文: PPP.080 rc bd cd *packet\_type*, prt *prot\_type*, nt *network ID*

長構文: PPP.080 Received bad code ( *packet\_type*,) for prot *prot\_type*,, on network *network ID*

説明: ネットワークからのパケットが、そのプロトコルではサポートされないタイプをもっていました。

---

#### PPP.081

レベル: UE-ERROR

短構文: PPP.081 rc bd mgc 0x *rcv\_magic\_num*,, ours 0x *our\_magic\_num*, nt *network ID*

長構文: PPP.081 Received bad magic number 0x *rcv\_magic\_num*,, ours is 0x *our\_magic\_num*,, on network *network ID*

説明: 必要なマジック・ナンバーを入手できませんでした。独自のナンバーが得られたら (2 つの引き数が一致)、リンクはループバックされます。

---

#### PPP.082

レベル: UE-ERROR

短構文: PPP.082 lpbk nt *network ID*

長構文: PPP.082 link appears to be looped back on network *network ID*

説明: リンクの構成を試みているときの、過度のマジック・ナンバーの衝突

---

#### PPP.083

レベル: UI-ERROR

短構文: PPP.083 Srl prt fl: 0x *status*, nt *network ID*

長構文: PPP.083 Serial port failed init, stat: 0x *status*,, network *network ID*

説明: `ppp_slftst2` が (netp->n\_idctp)->d\_flg after init 内の悪い状況を監視しました。

---

#### PPP.084

レベル: C-INFO

短構文: PPP.084 Req brng up DN nt *network ID*

長構文: PPP.084 Request to bring up DECNET IV, on network *network ID*

説明: `ppp_pprint` ルーチンが、Decnet IV プロトコルのためにコールされました。

---

#### PPP.085

レベル: UE-ERROR

短構文: PPP.085 rc no mgc nt *network ID*

長構文: PPP.085 Received message without a magic number, on network *network ID*

説明: 受信したパケットには、マジック・ナンバー (ECHO REQ, ECHO ACK, QUALITY REPORT, DISC REQ) が入っているはずですが、入っていませんでした。

---

#### PPP.086

レベル: C-INFO

短構文: PPP.086 Req brng up IPX nt *network ID*

長構文: PPP.086 Request to bring up IPX, on network *network ID*

説明: `ppp_pprint` ルーチンが、IPX プロトコルのためにコールされました。

---

#### PPP.087

レベル: C-INFO

短構文: PPP.087 Req brng up SRT nt *network ID*

長構文: PPP.087 Request to bring up SRT, on network *network ID*

説明: `ppp_pprint` ルーチンが、SRT プロトコルのためにコールされました。

---

**PPP.088**

レベル: C-INFO

短構文: PPP.088 BNCP changed SR seg num from *oldsegnum* to *newsegnum* on port *port* nt *network ID*

長構文: PPP.088 Bridging control protocol changed source route segment number from *oldsegnum* to *newsegnum* on port *port*, network *network ID*

説明: 発信元経路回線 ID のネゴシエーションの結果、リンクのローカル側が、その発信元経路セグメント番号を変更しました。

---

**PPP.089**

レベル: C-TRACE

短構文: PPP.089 DROP: rcvd STB bdgd pkt but bdging dsbld on nt *network*

長構文: PPP.089 Dropping the received Spanning Tree Bridged packet but bridging is disabled on network *network*

説明: スパニング・ツリー・ブリッジングがこのインターフェースでは使用可能にされていないか、STB がボックス内で使用不可になっていますが、この PPP インターフェース上でブリッジされたパケットが受信されています。

---

**PPP.090**

レベル: C-INFO

短構文: PPP.090 Req brng up AppleTalk nt *network ID*

長構文: PPP.090 Request to bring up AppleTalk, on network *network ID*

説明: `ppp_pprint` ルーチンが、AppleTalk プロトコルのためにコールされました。

---

**PPP.091**

レベル: UE-ERROR

短構文: PPP.091 ATCP add opt rejected on nt *network ID* - no common net num

長構文: PPP.091 ATCP address option rejected on network *network ID* - no common network number

説明: AppleTalk Address オプションに PPP リンクの共通ネットワーク番号が含まれていなかったため、ATCP 構成拒否が送信されます。

---

**PPP.092**

レベル: UE-ERROR

短構文: PPP.092 ATCP add opt rejected on nt *network ID* - remote's node ID invalid *node\_id*

長構文: PPP.092 ATCP address option rejected on network *network ID* - remote side's node ID is invalid *node\_id*

説明: リモート側からの AppleTalk Address オプションに無効なノード ID が含まれていたため、ATCP 構成拒否が送信されます。

---

**PPP.093**

レベル: C-INFO

短構文: PPP.093 Req brng up OSI nt *network ID*

長構文: PPP.093 Request to bring up OSI, on network *network ID*

説明: `ppp_pprint` ルーチンが、OSI プロトコルのためにコールされました。

---

**PPP.094**

レベル: C-TRACE

短構文: PPP.094 CCP rec reset-req nt *network ID*

長構文: PPP.094 CCP received compression reset-req on network *network ID*

説明: CCP が、リモート・ホストからリセット要求を受信しました。これは、パケットが失われたか、破壊されたためと考えられます。

---

**PPP.095**

レベル: C-TRACE

短構文: PPP.095 CCP snd reset-req nt *network ID*

長構文: PPP.095 CCP sent compression reset-req on network *network ID*

説明: CCP が、リモート・ホストにリセット要求を送信しました。これは、パケットが失われたか、破壊されたためです。

---

**PPP.096**

レベル: C-TRACE

短構文: PPP.096 CCP rec reset-ack nt *network ID*

長構文: PPP.096 CCP received compression reset-ack on network *network ID*

説明: CCP が、リモート・ホストからリセット確認を受信しました。

---

#### PPP.097

レベル: UE-ERROR

短構文: PPP.097 Bd *control\_protocol*, reset-ack id, exp *exp\_id*, gt *got\_id*, nt *network ID*

長構文: PPP.097 Bad *control\_protocol*, reset-ack id, expected *exp\_id*, got *got\_id*, on network *network ID*

説明: *xxcp\_reset\_ack* が、リセット ACK を受け取りましたが、ID が無効です。

---

#### PPP.098

レベル: UE-ERROR

短構文: PPP.098 Bad *alg\_name*, seq/FCS, exp *exp\_id*, gt *got\_id*, nt *network ID*

長構文: PPP.098 *alg\_name*, decompress, bad sequence or FCS, expected *exp\_id*, got *got\_id*, on network *network ID*

説明: 圧縮されたパケットを受信しましたが、予期しないシーケンス番号が付いているか、検査値が受信したデータに合致していません。これは、パケットが紛失しているか、破壊されたためです。

---

#### PPP.099

レベル: C-TRACE

短構文: PPP.099 CCP mk *opt\_id*, sz *len*, opt *optval*

長構文: PPP.099 CCP make option *opt\_id*, length *len*, optionval *optval*

説明: CCP が、このタイプのオプションを作成しました。

---

#### PPP.100

レベル: UE-ERROR

短構文: PPP.100 CCP bad packet nt *network ID*

長構文: PPP.100 CCP decompressor dropped a bad packet, network *network ID*

説明: PPP データ圧縮解除で、不適正なパケットを除去しました。

---

#### PPP.101

レベル: C-INFO

短構文: PPP.101 ccinit *typename*, will *will\_neg*, mem *mem*, nt *network ID*.

長構文: PPP.101 CCP init: *typename*, will\_negotiate *will\_neg*, maxmem *mem*, net *network ID*.

説明: CCP の使用可能圧縮機能とそのコストのブート時リスト

---

#### PPP.103

レベル: C-INFO

短構文: PPP.103 CCP dis nt *network ID*.

長構文: PPP.103 CCP data compression disabled at boot time, net *network ID*.

説明: CCP データ圧縮が、このインターフェース上で使用不可です。

---

#### PPP.104

レベル: C-TRACE

短構文: PPP.104 uncmp pkt; cmp len *cmp\_len*, > orig *orig\_len*, ( *action*,); nt *network ID*

長構文: PPP.104 Uncompressible packet: compressed len *cmp\_len*, >= uncompressed len *orig\_len*, ( *action*,), nt *network ID*.

説明: CCP 圧縮機能が、圧縮できないパケットを検出しました。通常、元の圧縮されていないパケットが代わりに送信されます。

---

#### PPP.105

レベル: C-TRACE

短構文: PPP.105 CCP have *proto*, got *opt*, ( *ob1*, *ob2*, *ob3*)

長構文: PPP.105 CCP proto *proto*, option is *opt*, ( *ob1*, *ob2*, *ob3*).

説明: 別のルーターが、オプションを含む構成要求を送信しました。

---

#### PPP.106

レベル: UE-ERROR

短構文: PPP.106 CDP gnt pkt got, (> *mru*).

長構文: PPP.106 CDP saw a giant packet of length got, (> *mru*).

説明: ルーターが、圧縮済みのパケットを受信しましたが、そのデータが多過ぎます。

---

#### PPP.107

レベル: C-TRACE

短構文: PPP.107 LZS pkt after reset ( *res\_id*,) nt *network ID*.

長構文: PPP.107 LZS compression received a packet after reset ( *res\_id*,) net *network ID*.

説明: リセット確認を待っているときに、パケットが廃棄されました。

---

#### PPP.108

レベル: UI-ERROR

短構文: PPP.108 Ignoring extra IP addr: addr = *ip\_address* nt *network ID*

長構文: PPP.108 Ignoring multiple IP addresses configured on single PPP link, local address = *ip\_address*, on network *network ID*

説明: IP/PPP は、PPP インターフェースごとに IP アドレスを 1 個だけサポートすることができます。1 つの PPP インターフェース上で複数の IP アドレスを構成すると、ルーターは最初の IP アドレス以外はすべて無視します。このメッセージは、ルーターが IP アドレスを無視していることを示します。

---

#### PPP.109

レベル: UI-ERROR

短構文: PPP.109 CCP rcv CODE\_REJ *code*, nt *network ID*.

長構文: PPP.109 CCP received CODE\_REJ for code *code*,, net *network ID*.

説明: CCP が、CCP パケットに対して CODE\_REJECT を受信しました。コード 14 は RESET-REQ であり、圧縮リセットをサポートしていないリモート・ホストがそれを拒否する可能性があります。ルーターは、CCP 接続を終了し、独力で再始動すると考えられます。

---

#### PPP.110

レベル: C-INFO

短構文: PPP.110 CCP *dir*, no buf net *network ID*.

長構文: PPP.110 CCP *dir*,put no buffers available net *network ID*.

説明: CCP が、入力バッファまたは出力バッファ

の割り振りを試みて、失敗しました。

---

#### PPP.111

レベル: C-TRACE

短構文: PPP.111 CCP R-req timeout nt *network ID*.

長構文: PPP.111 CCP Reset-req timeout expired net *network ID*.

説明: CCP がリセット要求を送信し、確認応答を待っていましたが、タイムアウトになりました。

---

#### PPP.112

レベル: C-INFO

短構文: PPP.112 Req brng up APPN ISR nt *network ID*

長構文: PPP.112 Request to bring up APPN ISR, on network *network ID*

説明: ppp\_prrinit ルーチンが、APPN ISR プロトコルのためにコールされました。

---

#### PPP.113

レベル: C-INFO

短構文: PPP.113 Req brng up APPN HPR nt *network ID*

長構文: PPP.113 Request to bring up APPN HPR, on network *network ID*

説明: ppp\_prrinit ルーチンが、APPN HPR プロトコルのためにコールされました。

---

#### PPP.114

レベル: C-INFO

短構文: PPP.114 *message*

長構文: PPP.114 *message*

説明: 特殊な事象メッセージで、内部開発用として使用されます。

---

#### PPP.116

レベル: C-INFO

短構文: PPP.116 PAP Rcv *packet\_type*, nt *network ID*.

長構文: PPP.116 PAP Received *packet\_type*, net *network ID*.

説明: PAP は、認証要求に対して ACK または NAK を受け取りました。

---

**PPP.117**

レベル: UE-ERROR

短構文: PPP.117 Bd id, exp *exp\_id*, gt *got\_id*, nt *network ID*

長構文: PPP.117 Bad id, expected *exp\_id*, got *got\_id*, on network *network ID*

説明: PAP または CHAP または MSCHAP のパケットに、予期されているものと違う ID が含まれていません。

---

**PPP.118**

レベル: UE-ERROR

短構文: PPP.118 *protocol*, Bd typ *type*, nt *network ID*.

長構文: PPP.118 *protocol*, Bad Packet Type *type*, nt *network ID*.

説明: PAP または CHAP または MSCHAP が、無効なパケット・タイプを受信しました。

---

**PPP.119**

レベル: P-TRACE

短構文: PPP.119 CHAP rcv pkt *packet\_type*, nt *network ID*.

長構文: PPP.119 CHAP receive packet type *packet\_type*, on net *network ID*.

説明: CHAP または MSCHAP が、パケットを受信しました。

---

**PPP.120**

レベル: P-TRACE

短構文: PPP.120 CHAP snd pkt *packet\_type*, nt *network ID*.

長構文: PPP.120 CHAP sent packet type *packet\_type*, on net *network ID*.

説明: CHAP または MSCHAP がパケットを送信しました。

---

**PPP.121**

レベル: UE-ERROR

短構文: PPP.121 CHAP bad len nt *network ID*.

長構文: PPP.121 CHAP bad response length net *network ID*.

---

説明: CHAP または MSCHAP が短過ぎる応答パケットを受信しました。

---

**PPP.124**

レベル: C-INFO

短構文: PPP.124 *protocol*, msg *message*, nt *network ID*.

長構文: PPP.124 *protocol*, message *message*, net *network ID*.

説明: PAP または CHAP または MSCHAP の応答パケットが、平文メッセージを含んでいました。

---

**PPP.125**

レベル: C-INFO

短構文: PPP.125 CHAP CHAL *direction*, name= *name*, nt *network ID*.

長構文: PPP.125 CHAP CHAL *direction*, name= *name*, nt *network ID*.

説明: CHAP または MSCHAP チャレンジが発行または受信されました。

---

**PPP.126**

レベル: C-INFO

短構文: PPP.126 CHAP RESP *direction*, name= *name*, nt *network ID*.

長構文: PPP.126 CHAP RESP *direction*, name= *name*, nt *network ID*.

説明: CHAP または MSCHAP チャレンジに対する応答が発行または受信されました。

---

**PPP.127**

レベル: C-INFO

短構文: PPP.127 PAP REQ *direction*, name= *name*, nt *network ID*.

長構文: PPP.127 PAP REQ *direction*, name= *name*, nt *network ID*.

説明: PAP 要求が発行または受信されました。

---

**PPP.128**

レベル: CE-ERROR

短構文: PPP.128 Rcvd illegal *protocol*, nt *network ID*.

長構文: PPP.128 Rcvd illegal *protocol*, nt *network ID*.

説明: 受信した PAP または CHAP または MSCHAP のパケットが、ネゴシエーションで決められたオプション



ンと対応していませんでした。

---

**PPP.129**

レベル: C-TRACE

短構文: PPP.129 *protocol, flag, done nt network ID.*

長構文: PPP.129 *protocol, flag, Authentication complete net network ID.*

説明: ローカルまたはリモートの認証が正常に完了しました。

---

**PPP.130**

レベル: C-INFO

短構文: PPP.130 *Auth done nt network ID.*

長構文: PPP.130 *Authentication completed successfully on net network ID.*

説明: すべての認証が正常に完了しました。

---

**PPP.131**

レベル: C-TRACE

短構文: PPP.131 *protocol, fcn\_name, nt network ID.*

長構文: PPP.131 *protocol, fcn\_name, net network ID.*

説明: 指定の認証機能をコールしました。

---

**PPP.132**

レベル: C-TRACE

短構文: PPP.132 *No name cfgrd nt network ID.*

長構文: PPP.132 *No name configured net network ID.*

説明: この PPP インターフェース上で構成されている名前がありません。

---

**PPP.133**

レベル: P-TRACE

短構文: PPP.133 *LCP Ident: message, nt network ID.*

長構文: PPP.133 *LCP Identification: message, on net network ID*

説明: LCP 識別パケットを受信しました。

---

**PPP.134**

レベル: C-INFO

短構文: PPP.134 *seconds, seconds remaining pkt typ packet\_type, nt network ID.*

長構文: PPP.134 *seconds, seconds remaining packet type packet\_type, on net network ID*

説明: TIME REMAINING パケットを受信しました。

---

**PPP.135**

レベル: P-TRACE

短構文: PPP.135 *time rem start seconds, seconds net network ID.*

長構文: PPP.135 *Time Remaining Started with seconds, Seconds Remaining net network ID.*

説明: 残り時間が開始しました。

---

**PPP.136**

レベル: P-TRACE

短構文: PPP.136 *time rem sent seconds, seconds left net network ID..*

長構文: PPP.136 *Time Remaining Packet Sent seconds, Seconds Remaining net network ID*

説明: TIME REMAINING パケットを送信しました。

---

**PPP.137**

レベル: C-INFO

短構文: PPP.137 *No Time Remaining! Forced Shutdown net network ID.*

長構文: PPP.137 *No Time Remaining! Forced Shutdown net network ID.*

説明: 残り時間がありません。強制的にシャットダウンします。

---

**PPP.138**

レベル: P-TRACE

短構文: PPP.138 *protocol, snd pkt packet\_type, id id, nt network ID.*

長構文: PPP.138 *protocol, sent packet type packet\_type, id= id, on net network ID.*

説明: 認証プロトコルがパケットを送信しました。

---

**PPP.139**

レベル: P-TRACE

短構文: PPP.139 *protocol, rcv pkt packet\_type, nt network ID.*

長構文: PPP.139 *protocol, receive packet type packet\_type, on net network ID.*

説明: 認証プロトコルがパケットを受信しました。

---

#### PPP.140

レベル: C-INFO

短構文: PPP.140 *protocol*, *Rcv packet\_type*, *nt network ID*.

長構文: PPP.140 *protocol*, *Received packet\_type*, *net network ID*.

説明: 認証プロトコルが、認証要求について ACK または NAK を受信しました。

---

#### PPP.141

レベル: P-TRACE

短構文: PPP.141 *Rcvd what*, *prctl=0x protocol*, *len=length*, *nt network ID*.

長構文: PPP.141 Packet ( *what*) Received, *protocol=0x protocol*), *length=length*, *net network ID*.

説明: PPP がパケットを受信しました。"what" パラメーターによって、パケットが実際に正規のパケット "pkt" として受信されたのか、圧縮データ・パケット "CDP" として受信されたのかが示されます。表示されたプロトコルおよび長さは、圧縮解除が行われた後のものです。

---

#### PPP.143

レベル: P-TRACE

短構文: PPP.143 Unlimited Seconds Remaining for *net network ID*.

長構文: PPP.143 Unlimited Seconds Remaining *net network ID*.

説明: 残り時間が無制限です。

---

#### PPP.144

レベル: P-TRACE

短構文: PPP.144 Unlimited Time Remaining Packet Sent *net network ID*..

長構文: PPP.144 Unlimited Time Remaining Packet Sent *net network ID*

説明: 無制限残り時間パケットを送信しました。

---

#### PPP.145

レベル: U-INFO

短構文: PPP.145 Test # *test\_number* triggered, *nt network ID*. --> *test\_description*

長構文: PPP.145 Test # *test\_number* triggered on *net network ID*. Description: *test\_description*

説明: 特殊診断テストが起動されました。

---

#### PPP.146

レベル: UE-ERROR

短構文: PPP.146 CDP decomp err: data exceeds MRU, *nt network ID*.

長構文: PPP.146 CDP decompression error; expanded data length > MRU, *net network ID*

説明: データ圧縮解除がパケットを展開して生成した PPP 情報フィールドの長さが、ネゴシエーションで決められた MRU 値を超えています。これは、受信側より送信側に問題があるか、または受信したパケット内のデータが破壊されているためである可能性があります。

---

#### PPP.147

レベル: U-INFO

短構文: PPP.147 MRU reduced (was *old\_mru*., now *new\_mru*.), *nt network ID*.

長構文: PPP.147 MRU has been reduced, from *old\_mru*, to *new\_mru*., *net network ID*.

説明: PPP リンク上で使用中の MRU 値は、構成された値から削減されています。下位リンクでは構成された MRU をサポートしないためです。この基本的な原因は、指定の MRU をもつ PPP パケットを完全に含むには、下位リンクのフレーム・サイズが不足していることです。これが発生するのは、おそらく ISDN ダイアル回線において、ISDN 基本ネットワークに対して構成されたフレーム・サイズが小さ過ぎるために、指定の MRU では PPP パケットを送信できない場合です。

処置: 新しい MRU 値が受け入れられる値であれば、処置は必要ありません。そうでなければ、PPP インターフェースを再構成して、ベース・リンク・フレーム指示において MRU をより小さい適切な値にするか、指定の PPP MRU 値を処理できるように、下位リンクに対するフレーム・サイズ・パラメーターを増やしてください。

---

**PPP.148**

レベル: UI-ERROR

短構文: PPP.148 Init MRU= *mru*, too small (<1500) for PPP nt *network ID*.

長構文: PPP.148 Initial MRU value of *mru*, is too small, net *network ID*.

説明: PPP リンク上で使用されている MRU の初期値が小さ過ぎるため、リンクが正しく作動できません。このエラーは、1500 バイトのデータを持つ PPP フレームを受信するには、内部の入力データ・バッファが小さ過ぎることを示しています。PPP では、1500 バイトのデータを処理する能力が必要です。LCP によるネゴシエーションで MRU 値がより小さくなる場合がありますが、ネゴシエーションが行われるまでは MRU は 1500 です。このメッセージが出る基本的な原因は、MRU サイズが省略時値の 1500 である PPP パケットを完全に含むには、下位リンクのフレーム・サイズが不足していることです。ここで注意すべきことは、この値は LCP によるネゴシエーションの結果として最終的に 1500 以下になった値に過ぎないため、この問題は構成された PPP MRU 値の問題では「ない」ということです。そうではなく、問題は MRU の一致が失われた場合や MRU のネゴシエーションを行う場合に、パケットを 1500 バイトに戻すには PPP 用のデータ・バッファが不足しているということです。制御パケットが問題を引き起こすほど長くなることはまれなので、ネゴシエーションが行われる MRU が小さいものであれば、ネットワークはおそらく正常に機能します。これが発生するのは、おそらく ISDN ダイヤル回線において、ISDN 基本ネットワークに対して構成されたフレーム・サイズが小さ過ぎるために、データ・バイト数が 1500 では PPP パケットを運ぶことができない場合です。

処置: 下位リンクのパラメーター (ISDN フレーム・サイズなど) を再構成します。問題が引き続き発生する場合は、サービス技術員に連絡してください。

---

**PPP.149**

レベル: P-TRACE

短構文: PPP.149 Rcv pkt discard, rsn= *reason*., nt *network ID*

長構文: PPP.149 Input packet discarded, reason= *reason*., nt *network ID*

説明: PPP が受信したパケットを廃棄しました。

処置: なし。通知のみのメッセージ

---

**PPP.150**

レベル: P\_TRACE

短構文: PPP.150 Pkt data= *data*... nt *network ID*

長構文: PPP.150 Packet data= *data*... net *network ID*

説明: この通知メッセージは、パケット内のデータの最初の数バイトを表示するだけのものです。このメッセージは、他の ELS メッセージと共に送られ、独立のメッセージとしては表示されないはずですが、表示された厳密なデータ (およびそのデータのパケット内での位置) は、このメッセージを表示する原因となった事象に依存するものです。

処置: なし。通知のみのメッセージ

---

**PPP.151**

レベル: C-INFO

短構文: PPP.151 Net dwn, *why*., nt *network ID*

長構文: PPP.151 Signalling a net down on network, cause= *why*., *network ID*

説明: PPP が高位レイヤーに対して、ネットダウン事象を通知しています。

---

**PPP.152**

レベル: C\_INFO

短構文: PPP.152 Effective MRU changed from *old\_mru*, to *new\_mru*., nt *network ID*

長構文: PPP.152 Effective MRU changed from *old\_mru*, to *new\_mru*., net *network ID*

説明: すでに 'up' としてマークされているリンク上の有効な MRU が変更されました。PPP は、MRU サイズが変更されたことを示すために、特殊な 'net up' タイプの事象を通知しています。通常この状態が起きるのは、暗号化が起動された場合、またはダイヤル・オンデマンド回線で、構成された値とは異なる MRU の値を回線の両側がネゴシエーションを行う場合です。

---

**PPP.153**

レベル: P-TRACE

短構文: PPP.153 Sent pkt, prtcl=0x *protocol*, len= *length*, rc= *rc* ( *status*), nt *network ID*.

長構文: PPP.153 Packet Sent, protocol=0x *protocol*, length= *length*, status= *rc* ( *status*), net *network ID*.

説明: PPP がパケットを送信しました。これは実際には、ベースの装置ドライバーによって送達されるパケットを PPP が送信したことを意味しています。装置ドラ

イバーまたは帯域幅予約システムが、実際のパケットの送信を妨害した可能性があります。このことは、状態 (戻りコード) 値が非ゼロの値であることによって示される場合があります。プロトコルおよび長さの値は、データ圧縮前の値です (パケットが圧縮形式で送信された場合)。

---

**PPP.154**

レベル: C-INFO

短構文: PPP.154 CCP start cmp *algorithm options*, nt *network ID*

長構文: PPP.154 CCP start compressor *algorithm options*, on network *network ID*

説明: CCP は、圧縮アルゴリズムのネゴシエーションを正常に行いました。

---

**PPP.155**

レベル: C-INFO

短構文: PPP.155 CCP start dcmp *algorithm options*, nt *network ID*

長構文: PPP.155 CCP start decompressor *algorithm options*, on network *network ID*

説明: CCP は、圧縮解除アルゴリズムのネゴシエーションを正常に行いました。

---

**PPP.156**

レベル: C-INFO

短構文: PPP.156 CCP stop cmp *algorithm*, nt *network ID*

長構文: PPP.156 CCP stop compressor *algorithm*, on network *network ID*

説明: CCP が圧縮をシャットダウンしました。

---

**PPP.157**

レベル: C-INFO

短構文: PPP.157 CCP stop dcmp *algorithm*, nt *network ID*

長構文: PPP.157 CCP stop decompressor *algorithm*, on network *network ID*

説明: CCP が圧縮解除をシャットダウンしました。

---

**PPP.158**

レベル: C-INFO

短構文: PPP.158 PPP net down, nt *network ID*

長構文: PPP.158 PPP net down, on network *network ID*

説明: PPP リンクがダウンしました。外部信号通知された事象が原因であるか、PPP\_151 を経由して報告されることになる、何らかの内部生成 PPP 事象が原因である可能性があります。

---

**PPP.159**

レベル: C-INFO

短構文: PPP.159 PPP link down (disconnect on dial link), nt *network ID*

長構文: PPP.159 PPP link down (disconnect on dial link), on network *network ID*

説明: ダイヤル回線上の PPP リンクがダウンしました。これは事象 PPP\_158 とは異なります。つまり、リンクがダウンしているのは PPP から見た場合であり、レイヤー 3 プロトコルの観点からは相変わらずアップの状態にあります (たとえば、ISDN アイドル・タイマーが満了したために切断されたダイヤル・オンデマンド回線)。

---

**PPP.160**

レベル: C-INFO

短構文: PPP.160 PPP link disabled, nt *network ID*

長構文: PPP.160 PPP link disabled, on network *network ID*

説明: PPP リンクが使用不可になりました。

---

**PPP.161**

レベル: P\_TRACE

短構文: PPP.161 ck mrru *mrru*

長構文: PPP.161 checking max reconstructed receive unit with value *mrru*

説明: lcp\_check が *mrru* を処理しました。

---

**PPP.162**

レベル: P\_TRACE

短構文: PPP.162 ck short seqnos

長構文: PPP.162 checking short sequence numbers

説明: lcp\_check が短いシーケンス番号を処理しました。

---

#### PPP.163

レベル: P\_TRACE

短構文: PPP.163 ck endpt discr. cls= *class* addr= *addr*

長構文: PPP.163 checking endpoint discriminator class= *class*,addr= *addr*

説明: lcp\_check がエンドポイント弁別子を処理しました。

---

#### PPP.164

レベル: P\_TRACE

短構文: PPP.164 ck link discr= *LD*

長構文: PPP.164 checking link discriminator = *LD*

説明: lcp\_check がリンク弁別子を処理しました。

---

#### PPP.165

レベル: C-INFO

短構文: PPP.165 Assigning IP Address *ip\_address*, nt *network ID*

長構文: PPP.165 Assigning IP Address *ip\_address*, nt *network ID*

説明: IPCP ネゴシエーションのための IP アドレスが割り当てられました。

---

#### PPP.167

レベル: C-TRACE

短構文: PPP.167 ECP mk *opt\_id*, *sz len*, *opt optval*

長構文: PPP.167 ECP make option *opt\_id*, length *len*, optional *optval*

説明: ECP がこのタイプのオプションを作成しました。

---

#### PPP.168

レベル: C-TRACE

短構文: PPP.168 ECP have *proto*, got *opt*, ( *ob1*, *ob2*, *ob3*)

長構文: PPP.168 ECP *proto proto*, option is *opt*, ( *ob1*, *ob2*, *ob3*).

説明: 別のルーターが、オプションを含む構成要求を送信しました。

---

#### PPP.169

レベル: C-TRACE

短構文: PPP.169 ECP rec reset-req nt *network ID*

長構文: PPP.169 ECP received encryption reset-req on *network network ID*

説明: ECP がリモート・ホストからリセット要求を受信しました。これは、パケットが失われたか、破壊されたためと考えられます。

---

#### PPP.170

レベル: C-TRACE

短構文: PPP.170 ECP rec reset-ack nt *network ID*

長構文: PPP.170 ECP received encryption reset-ack on *network network ID*

説明: ECP がリモート・ホストからリセット確認を受信しました。

---

#### PPP.171

レベル: UI-ERROR

短構文: PPP.171 ECP rcv CODE\_REJ *code*, nt *network ID*.

長構文: PPP.171 ECP received CODE\_REJ for code *code*, net *network ID*.

説明: ECP が ECP パケットに関して CODE\_REJECT を受信しました。コード 14 は RESET-REQ であり、暗号化リセットをサポートしていないリモート・ホストはこれをリジェクトする可能性があります。ルーターは ECP 接続を終了し、独自に再始動する可能性があります。

---

#### PPP.172

レベル: C-INFO

短構文: PPP.172 ECP dis nt *network ID*.

長構文: PPP.172 ECP data encryption disabled at boot time, net *network ID*.

説明: ECP データ暗号化は、このインターフェース上で使用不可になっています。

---

#### PPP.173

レベル: C-INFO

短構文: PPP.173 ccinit *typename*, will *will\_neg*, mem *mem*, nt *network ID*.

長構文: PPP.173 ECP init: *typename*, will\_negotiate

*will\_neg*, *maxmem mem*., *net network ID*.

説明: ECP の使用可能な暗号機能とそのコストのブート時間リスト

---

#### PPP.174

レベル: C-INFO

短構文: PPP.174 ECP *dir*, no buf net *network ID*.

長構文: PPP.174 ECP *dir*,put no buffers available net *network ID*.

説明: ECP が入力バッファまたは出力バッファの割り振りを試み、これに失敗しました。

---

#### PPP.175

レベル: C-TRACE

短構文: PPP.175 ECP snd reset-req nt *network ID*

長構文: PPP.175 ECP sent encryption reset-req on *network network ID*

説明: ECP がリモート・ホストにリセット要求を送信しました。これは、パケットが失われたか、破壊されたためです。

---

#### PPP.176

レベル: UE-ERROR

短構文: PPP.176 Bad *alg\_name*, seq, exp *exp\_id*, gt *got\_id*., nt *network ID*

長構文: PPP.176 *alg\_name*, decrypt, bad sequence id, expected *exp\_id*., got *got\_id*., on *network network ID*

説明: ADC データ暗号化解除で入手したシーケンス番号が不適正です。これは、パケットが欠落していることが原因です。

---

#### PPP.177

レベル: UE-ERROR

短構文: PPP.177 Malformed encrypted packet, nt *network ID*

長構文: PPP.177 Decrypter dropped a malformed packet, *network network ID*

説明: 暗号化されたパケットを受信しましたが、廃棄しました。形式が間違っており (長さが正しくないなど)、デコードできなかつたためです。

---

#### PPP.178

レベル: P\_TRACE

短構文: PPP.178 mk mrru *mrru*

長構文: PPP.178 making max reconstructed receive unit with value *mrru*

説明: *lcp\_option* が *mrru* を作成しました。

---

#### PPP.179

レベル: P\_TRACE

短構文: PPP.179 mk endpt discriminator

長構文: PPP.179 making endpoint discriminator

説明: *lcp\_option* がエンドポイント弁別子を作成しました。

---

#### PPP.180

レベル: P\_TRACE

短構文: PPP.180 mk link discriminator

長構文: PPP.180 making link discriminator

説明: *lcp\_option* がリンク弁別子を作成しました。

---

#### PPP.181

レベル: CE-ERROR

短構文: PPP.181 Duplicate address *address* nt *network ID*

長構文: PPP.181 IPCP negotiated IP address *address* is being used by another host nt *network ID*

説明: この IP アドレスに関する ARP に応答したのが別のホストであり、経路は追加されません。

---

#### PPP.182

レベル: C-INFO

短構文: PPP.182 Added route from *from* to *to* mask *mask*

長構文: PPP.182 Added route from *from* to *to* mask *mask*

説明: ダイヤルイン・クライアントまたは LAN に関して、新規静的経路が追加されました。

---



---

**PPP.183**

レベル: C-INFO

短構文: PPP.183 IPCP no buf net *network ID*

長構文: PPP.183 IPCP no buffers available net *network ID*

説明: IPCP が入力バッファまたは出力バッファの割り振りを試み、これに失敗しました。

---

**PPP.184**

レベル: C-INFO

短構文: PPP.184 Add static rte to *address* failed nt *network ID*

長構文: PPP.184 Add static route to *address* failed nt *network ID*

説明: このアドレスが使用中かどうか確認検査するための ARP が失敗しました。

---

**PPP.185**

レベル: CI-ERROR

短構文: PPP.185 Can't do cmprs on new intf, thrsiz too small, nt *network ID*

長構文: PPP.185 Can't do compression on activated interface due to limited trailer size on allocated packet buffers, network *network ID*

説明: データ圧縮がインターフェース上で使用可能にできませんでした。すでにボックス内で割り振られていたバッファに対してサイズ制約が課されていたためです。データ圧縮には、バッファ上のトレーラー・サイズが通常よりやや大きいことが必要です。これが通常発生するのは、PPP インターフェースに対して ACTIVATE INTERFACE が行われた場合ですが、ボックス内の既存の回線で圧縮が使用可能になっていたものはありませんでした。ルーターがこの時点で再始動された場合は、トレーラー・サイズを大きくしてバッファを割り振り、圧縮は作動可能になるはずですが。

---

**PPP.186**

レベル: C-INFO

短構文: PPP.186 ARP ent deleted for prt add *protocol\_address*

長構文: PPP.186 ARP entry deleted for IP address *protocol\_address*

説明: ダイヤルイン IP アドレスに関する ARP エントリは、現在は削除されています。

---

---

**PPP.187**

レベル: UL\_ERROR

短構文: PPP.187 No available Mac Addr - disabling *type*

長構文: PPP.187 No available Mac Addr - disabling *type*

説明: MAC アドレスを入手できませんでした。

---

**PPP.188**

レベル: C\_TRACE

短構文: PPP.188 Net state change, net *network ID* is *state*.

長構文: PPP.188 Net state change, net *network ID* is *state*.

説明: PPP ネットが (おそらく) 新しい状態に設定されました。

処置: なし。通知のみのメッセージ

---

**PPP.189**

レベル: C\_TRACE

短構文: PPP.189 Protocol *protocol* marked down, net *network ID*).

長構文: PPP.189 Protocol *protocol* marked down, net *network ID*).

説明: レイヤー 3 プロトコルが、PPP リンク上でダウンとマークされました。通常これは RESET PROTOCOL が実行された場合に起こります。

処置: なし。通知のみのメッセージ

---

**PPP.190**

レベル: C\_TRACE

短構文: PPP.190 Protocol *protocol action* on net *network ID*).

長構文: PPP.190 Protocol *protocol action* on net *network ID*).

説明: レイヤー 3 プロトコルが、PPP インターフェース上での実行に適格として登録または登録解除しました。"action" パラメーターが、登録したのか登録解除したのかを示します。

処置: なし。通知のみのメッセージ

---

---

**PPP.191**

レベル: C\_TRACE

短構文: PPP.191 *sent\_or\_rcvd* LCP *lcp\_packet\_type*, ID=*id*, net *network ID*) LCP State = < *fsm\_state*>, PktLen=*pkt\_len*, LcpLen=*contents*, Contents:

長構文: PPP.191 *sent\_or\_rcvd* LCP *lcp\_packet\_type*, ID=*id*, net *network ID*) LCP State = < *fsm\_state*>, PktLen=*pkt\_len*, LcpLen=*contents*, Contents:

説明: LCP 構成パケットを送信または受信しました。これは、構成要求、ACK、NAK、またはリジェクト・パケットを表しています。"contents" フィールドに、パケット内に存在する (あるいは、1 つの ELS メッセージに入るだけの) オプションが記述されます。<*fsm\_state*> は、この処置が記録されたときの LCP の状態を示しています。PktLen は受信したパケットの長さ (フレーム/HDLC/FCS バイトを含まない) であり、もう一方の LcpLen は LCP ヘッダーに組み込まれているパケットの "定義" された長さです。これらの値は通常は同じですが、パケットに埋め込みが含まれている場合には、PktLen の方が長い場合があります (これが LcpLen より短い場合には、パケットは切り捨てられ、無効になります)。

処置: なし。通知のみのメッセージ

---

**PPP.193**

レベル: U\_INFO

短構文: PPP.193 *algorithm* decomp/decrypt fld (sts=0x *status*), pkt lost, net *network ID*.

長構文: PPP.193 *algorithm* decompression / decryption failed (status=0x *status*), packet lost, net *network ID*.

説明: パケットは、正しく圧縮解除または暗号化解除できずに、失われました。この状態値は、圧縮解除ルーチンまたは暗号化解除ルーチンによって提供された戻りコードです。

---

**PPP.194**

レベル: U\_INFO

短構文: PPP.194 *algorithm* encryption failed (status=*status*), net *network ID*.

長構文: PPP.194 *algorithm* encryption failed (status=*status*), net *network ID*.

説明: パケットは正しく暗号化できず、送信されませんでした。この状態値は、暗号化ルーチンによって提供された戻りコードです。

---

**PPP.195**

レベル: UE-ERROR

短構文: PPP.195 MSCHAP usr ' *username*' bad chgpwd len *length* nt *network ID*.

長構文: PPP.195 MSCHAP user ' *username*' supplied a bad change password length of *length* on net *network ID*.

説明: MSCHAP は、短過ぎるパスワード変更パケットを受信しました。

---

**PPP.196**

レベル: UE\_ERROR

短構文: PPP.196 Auth svr does not support MSCHAP nt *net\_number*.

長構文: PPP.196 The authentication server does not support MSCHAP on net *net\_number*.

説明: 現行構成は、MSCHAP をサポートしない認証サーバーを使用しています。このサーバーを使用してユーザーを認証しようとする MSCHAP の試行はすべて失敗します。MSCHAP を使用不可にするか、あるいは MSCHAP をサポートする認証サーバーを使用してください。

---

**PPP.197**

レベル: UI\_ERROR

短構文: PPP.197 Cannot gt remote pwd for user ' *username*' nt *net\_number*.

長構文: PPP.197 Authentication server returned an empty password for user ' *username*' on net *net\_number*.

説明: MSCHAP は、パスワード変更パケットに組み込まれている新規パスワードの暗号化を解除するために、ピアの現行パスワードを必要とします。MSCHAP はこのパスワードを入手できなかったため、ピアのローカル・リスト・パスワードを変更することができませんでした。

---

**PPP.198**

レベル: UI\_ERROR

短構文: PPP.198 Bad ptr.

長構文: PPP.198 MSCHAP encountered an invalid internal value.

説明: MSCHAP は無効なポインター値を検出しました。これは内部エラーです。

---

**PPP.199**

レベル: UE\_ERROR

短構文: PPP.199 MSCHAP user ' *username* ' sent unexpected chg pwd nt *net\_number*.

長構文: PPP.199 MSCHAP user ' *username* ' sent an unexpected/unsupported change password pkt on net *net\_number*.

説明: ピアは許可されないパスワード変更パケットを送信しました。パケットは無視されます。

---

**PPP.200**

レベル: P\_TRACE

短構文: PPP.200 ck CBCP

長構文: PPP.200 checking Callback Control Protocol (CBCP).

説明: lcp\_check は CBCP 要求を処理しました。

---

**PPP.201**

レベル: P\_TRACE

短構文: PPP.201 Callback PPP user *username* at *dial\_number* in *delay* seconds on net *network ID*.

長構文: PPP.201 Callback PPP user *username* at *dial\_number* in *delay* seconds on net *network ID*.

説明: ローミングまたは必須コールバックのために、PPP ユーザーをコールバック中です。

---

**PPP.202**

レベル: P\_TRACE

短構文: PPP.202 Callback call start for user *username*, at *destination*, on net *network ID*.

長構文: PPP.202 Callback call start for user *username*, at *destination*, on net *network ID*.

説明: 示されている番号の指定のユーザーをコールバックしようとしています。

---

**PPP.203**

レベル: P\_TRACE

短構文: PPP.203 Callback successful reconnection of user *username*, on net *network ID*.

長構文: PPP.203 Callback successful reconnection of user *username*, on net *network ID*.

---

説明: リストされているユーザーのコールバックが正常に行われました。

---

**PPP.204**

レベル: P\_TRACE

短構文: PPP.204 Callback collision. User *username*, interrupt callback of *username*, on net *network ID*.

長構文: PPP.204 Callback collision. User *username*, interrupt callback of *username*, on net *network ID*.

説明: 2 番目のユーザーのコールバックを試行中に、最初のユーザーがコールしました。最初のユーザーは切断され、ユーザー 2 のコールバックは継続されます。

---

**PPP.205**

レベル: UE\_ERROR

短構文: PPP.205 MSCHAP disabled while MPPE is enabled nt *net\_number*.

長構文: PPP.205 MSCHAP was disabled while MPPE is still enabled on net *net\_number*.

説明: 現行構成では MPPE 暗号化が使用可能にされています。この場合は MSCHAP も使用可能であることが必要です。MPPE (暗号化) を使用不可にせずに MSCHAP を使用不可にすると、すべての PPP リンクに障害が起こる可能性があります。

---

**PPP.206**

レベル: P\_TRACE

短構文: PPP.206 MPPE is active for nt *net\_number*..

長構文: PPP.206 Net *net\_number* has negotiated MPPE.

説明: 特定のネットの MPPE がアクティブかどうかを示します。

---

**PPP.207**

レベル: P\_TRACE

短構文: PPP.207 Link dropped for net *net\_number* because MPPE was enabled and could not negotiate..

長構文: PPP.207 Link dropped for net *net\_number* because MPPE was enabled and could not negotiate..

説明: MPPE がネゴシエーションを行わず、ネットで必須暗号化が使用可能にされている場合には、リンクを除去する必要があります。

---

---

**PPP.208**

レベル: P-TRACE

短構文: PPP.208 Getting ready to send packet through compression and encryption routines.

長構文: PPP.208 Getting ready to send packet through compression and encryption routines.

説明: ほぼ完全なパケット。プロトコルまたは HDLC ヘッダーを持っていません。主としてパケット・トレース用です。

---

**PPP.209**

レベル: P-TRACE

短構文: PPP.209 Code reject. PPP packet not supported.

長構文: PPP.209 Code reject. PPP packet not supported.

説明: これは PPP 折衝中は正常である可能性があります。自分自身または対等機能が特定パケット・コードをサポートしていないとき、コード拒否が発生します。たとえば、LCP 残り時間をサポートしない対等機能はこのパケットのコード拒否を行います。パケット・トレース用です。

---

**PPP.210**

レベル: P-TRACE

短構文: PPP.210 Authentication packet received

長構文: PPP.210 Authentication packet received

説明: 認証パケットを受信しました。主としてパケット・トレース用です。

---

**PPP.211**

レベル: P-TRACE

短構文: PPP.211 Termination packet sent/received

長構文: PPP.211 Termination packet sent/received

説明: 終了要求または終了確認を送信/受信しました。主としてパケット・トレース用です。

---

**PPP.212**

レベル: UI\_ERROR

短構文: PPP.212 incompatible LCP negotiations exceeded net *network ID*

長構文: PPP.212 incompatible LCP negotiations exceeded net *network ID*

説明: 相互間でうまくいかない LCP ネゴシエーション

の数を超えたので、リンクが終了します。talk 2 での LCP 交換を検査し、パラメーターの構成変更により問題を緩和できるかどうか判別します。

---

**PPP.213**

レベル: CE\_ERROR

短構文: PPP.213 PPP Auth FAILED:Prot=*auth\_protocol*,username=*username*,net *network ID*

長構文: PPP.213 PPP Auth FAILED:Prot=*auth\_protocol*,username=*username*,net *network ID*

説明: PPP 認証失敗

---

**Panic pppimem**

短構文: PPP interface initialization failed, no memory.

説明: PPP インターフェースが、初期化を完了するための十分な記憶域を割り振ることができませんでした。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

**Panic pppiprt**

短構文: PPP: unsupported protocol during initialization

説明: PPP ネットワーク・ハンドラーが初期化時に、サポートされないプロトコルを検出しました。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

**Panic pppidev**

短構文: PPP: wrong device type

説明: PPP ネットワーク・ハンドラーが初期化時に、I\_LOUIE または I\_ATC2 以外の装置に PPP が構成されているのを検出しました。

処置: サービス技術員に連絡してください。



---

## 第92章 ポリシー・データベースおよび検索エンジン (PLCY)

この章では、ポリシー・データベースおよび検索エンジン (PLCY) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### PLCY.001

レベル: UE-ERROR

短構文: PLCY.001 Generic Error: *errorString*

長構文: PLCY.001 Generic Error: *errorString*

説明: PLCY: ポリシー検索中のエラー。エラー文字列は、発生したエラーのタイプを表します。

処置: 購入先に連絡し、エラー・メッセージを報告してください。

---

### PLCY.002

レベル: U-INFO

短構文: PLCY.002 Begin building policy database, default rule configuration is *defaultConfig*

長構文: PLCY.002 Begin building policy database, default rule configuration is *defaultConfig*

説明: PLCY: ポリシー検索エンジンが開始しました。ステップ 1 は、省略時の構成についての規則を作成することです。

---

### PLCY.003

レベル: U-INFO

短構文: PLCY.003 *number* policies read from local configuration

長構文: PLCY.003 *number* policies read from local configuration

説明: PLCY: SRAM からローカルに読み取られたポリシーの X 番号

---

### PLCY.004

レベル: U-INFO

短構文: PLCY.004 Next refresh of policy DB in *hour* hour(s), *min* min(s) *second* second(s)

長構文: PLCY.004 Next refresh of policy DB in *hour* hour(s), *min* min(s) *second* second(s)

説明: PLCY: 示された時間が経過すると自動的にデータベースが最新表示されます。

---

### PLCY.005

レベル: U-INFO

短構文: PLCY.005 Automatic refresh of policy database is disabled

長構文: PLCY.005 Automatic refresh of policy database is disabled

説明: PLCY: ポリシー最新表示をユーザーが使用不可にしました。

---

### PLCY.006

レベル: U-INFO

短構文: PLCY.006 Marked list of valid policies, next check in *seconds* seconds

長構文: PLCY.006 Marked list of valid policies, next check in *seconds* seconds

説明: PLCY: 有効なポリシーの検査を行い、現行の時刻およびポリシーの有効期間に基づいてポリシーが有効か無効かをマークしました。次のポリシーが無効または有効になると予定されている時期、または 1 時間後のうち、早い方の時期に検査を再度行います。

---

### PLCY.007

レベル: U-INFO

短構文: PLCY.007 LDAP Policy Search FSM State *state*/Event *event*

長構文: PLCY.007 LDAP Policy Search FSM State *state*/Event *event*

説明: PLCY: ポリシー状態マシンを駆動する事象および対応する状態変更についての情報

---

### PLCY.008

レベル: UE-ERROR

短構文: PLCY.008 DeviceProfile *deviceProfileDN*, *objectClassType* in LDAP Directory does not have a DeviceRulesReference

長構文: PLCY.008 DeviceProfile *deviceProfileDN*,



*objectClassType* in LDAP Directory does not have a DeviceRulesReference

**説明:** PLCY: DeviceRulesReference の属性をもたないディレクトリー内の deviceprofile オブジェクト。この属性は、この装置について取り出す必要がある規則のリストを指定するので、存在する必要があります。

**処置:** 装置規則オブジェクトを参照してこの装置の deviceprofile オブジェクトを更新してください。

---

#### PLCY.009

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** PLCY.009 Error occured during LDAP processing, error msg: *errorMsg*

**長構文:** PLCY.009 Error occured during LDAP processing, error msg: *errorMsg*

**説明:** PLCY: LDAP ディレクトリーへの接続、バインド、探索、または結果の検索時にエラーが発生しました。詳しくは、固有のエラー・メッセージを検討してください。

---

#### PLCY.010

**レベル:** U-INFO

**短構文:** PLCY.010 Completed bind to LDAP server successfully

**長構文:** PLCY.010 Completed bind to LDAP server successfully

**説明:** PLCY: LDAP サーバーへのバインドを正常に完了したので、ディレクトリーの検索を開始してポリシー情報を調べることができるようになりました。

---

#### PLCY.011

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** PLCY.011 Cannot access LDAP Server, route not available to IP Address *ipAddr*

**長構文:** PLCY.011 Cannot access LDAP Server, route not available to IP Address *ipAddr*

**説明:** PLCY: LDAP サーバーのあて先アドレスへの経路が利用可能になるまで、LDAP 接続に TCP で接続することができません。定期的に試行を続けます。ネットが最初に自己検査を受けようとしているか、ルーティング・プロトコルがまだ起動していないときは、これが正常であることを注意してください。また、IP 構成で LDAP サーバーに静的経路も追加してみてください。

---

#### PLCY.012

**レベル:** U-INFO

**短構文:** PLCY.012 Attempting connection to LDAP server at IP Address *ipAddr*, port number *portnum*

**長構文:** PLCY.012 Attempting connection to LDAP server at IP Address *ipAddr*, port number *portnum*

**説明:** PLCY: 指定のポート番号で LDAP サーバーに TCP 接続をオープンしようとしています。

---

#### PLCY.013

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** PLCY.013 Error searching for policy info from LDAP, performing default action

**長構文:** PLCY.013 Error searching for policy info from LDAP, performing default action

**説明:** PLCY: ポリシー情報を調べるためにディレクトリーを検索していたときに何らかのエラーが発生しました。エラーが発生しているので、ポリシー検索アルゴリズムは、構成済みのエラー処理手順を実行します。

---

#### PLCY.014

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** PLCY.014 Referring object not found in the directory, Referring DN *errorMsg*, Error msg:

**長構文:** PLCY.014 Referring object not found in the directory, Referring DN *errorMsg*, Error msg:

**説明:** PLCY: 参照属性で指定された参照オブジェクトがディレクトリー内で見付かりませんでした。参照がディレクトリー内に実際に正しく入っているタイプのものであるか確認してください。

---

#### PLCY.015

**レベル:** U-INFO

**短構文:** PLCY.015 Searching LDAP for Object with dn: *refDn*

**長構文:** PLCY.015 Searching LDAP for Object with dn: *refDn*

**説明:** PLCY: LDAP ディレクトリーから検索される次のオブジェクトについての通知メッセージ

---

### PLCY.016

レベル: UE-ERROR

短構文: PLCY.016 DeviceRules object (DN = *deviceRuleDN*) not found in the directory, Error msg: *errorMsg*

長構文: PLCY.016 DeviceRules object (DN = *deviceRuleDN*) not found in the directory, Error msg: *errorMsg*

説明: PLCY: 装置規則オブジェクトがディレクトリー内に見付かりませんでした。このオブジェクトが talk 6 のもとでフィーチャー・ポリシーとして構成されているか、またこのオブジェクトがディレクトリー内に存在しているか確かめてください。

---

### PLCY.017

レベル: UE-ERROR

短構文: PLCY.017 No PolicyRuleReference attribute found in DeviceRule object *deviceRuleDN*

長構文: PLCY.017 No PolicyRuleReference attribute found in DeviceRule object *deviceRuleDN*

説明: PLCY: 装置規則オブジェクトは、ポリシー規則参照を一切指定していません。PolicyRuleReference 属性が DeviceRules で定義されている必要があります。この複数の値が付いた属性は、装置がどの規則を取り出して、装置用のポリシー・データベースにロードする必要があるかを指定します。

---

### PLCY.018

レベル: UE-ERROR

短構文: PLCY.018 *objectType* ( *objectName*) retrieved from the LDAP server was in error

長構文: PLCY.018 *objectType* ( *objectName*) retrieved from the LDAP server was in error

説明: PLCY: LDAP ディレクトリー内のポリシー・オブジェクトには、エラーが関連付けられています。表示された名前オブジェクトを検査し、それに含まれる情報が正しいか確認してください。

---

### PLCY.019

レベル: UE-ERROR

短構文: PLCY.019 Value( *value*) out of range for LDAP Attribute *attrString*, valid range is *lowVal* to *highVal*

長構文: PLCY.019 Value( *value*) out of range for

LDAP Attribute *attrString*, valid range is *lowVal* to *highVal*

説明: PLCY: ディレクトリーから取り出されたオブジェクトの属性が範囲外でした。有効な範囲は、イベント・ログ・メッセージで表示されているはずです。この属性を検査し、その値を範囲内に収まるよう変更してください。

---

### PLCY.020

レベル: UE-ERROR

短構文: PLCY.020 Error occurred while parsing attribute *attrName*, objectclass *objName*, value was *value*

長構文: PLCY.020 Error occurred while parsing attribute *attrName*, objectclass *objName*, value was *value*

説明: PLCY: ディレクトリーから取り出されたオブジェクトの属性が間違っていました。この属性が範囲外であったか、値が無効であったか、他の何らかのエラーがありました。この属性を検査して、その値を正しくなるように変更してください。

---

### PLCY.021

レベル: U-INFO

短構文: PLCY.021 Ignoring Attribute *attrName* in Class *objName* since it is not a recognized attribute

長構文: PLCY.021 Ignoring Attribute *attrName* in Class *objName* since it is not a recognized attribute

説明: PLCY: ディレクトリーから検索されたオブジェクトが認識されない属性をもっていました。これは必ずしもエラーではありません。特定のオブジェクト・クラスですべての属性がサポートまたは認識されるわけではなく、コードのリリース以降にクラスの定義が変更された可能性もあります。とはいえ、この属性定義を調べ、その定義がこの装置の作動に本当に不必要であるか確認してください。その定義が必要だと感じたら、購入先にその旨を連絡し、だれかにこの問題を調べてもらってください。

---

### PLCY.022

レベル: U-INFO

短構文: PLCY.022 Found object (DN: *dn*), parse using class def *objName*

長構文: PLCY.022 Found object (DN: *dn*), parse using class def *objName*

説明: PLCY: ディレクトリーからオブジェクトが検索され、検索アルゴリズムがこのクラスの属性の構文解析を開始しようとしています。

---

**PLCY.023**

レベル: U-INFO

短構文: PLCY.023 Query( *queryType*,), src: *srcIPAddr*,/  
*srcPortNum*,,dst: *dstIPAddr*,/*dstPortNum*,,prot:  
*protocol*,,DS: *DiffServByte*

長構文: PLCY.023 Query( *queryType*,), src: *srcIPAddr*,/  
*srcPortNum*,,dst: *dstIPAddr*,/*dstPortNum*,,prot:  
*protocol*,,DS: *DiffServByte*

説明: PLCY: 示されたタイプのポリシー照会を受信しましたが、パケット情報がパラメーターを介して指定されていました。

---

**PLCY.024**

レベル: U-INFO

短構文: PLCY.024 Result: Rule: *ruleName*,, Action:  
*actionName*,, Handle: *moduleHandle*

長構文: PLCY.024 Result: Rule: *ruleName*,, Action:  
*actionName*,, Handle: *moduleHandle*

説明: PLCY: ポリシー照会は表示された決定を戻してきました。

---

**PLCY.025**

レベル: U-INFO

短構文: PLCY.025 *qType* Rule matched: *ruleName*

長構文: PLCY.025 *qType* Rule matched: *ruleName*

説明: PLCY: 特定の規則が合致しました。このメッセージは該当しない場合があります。

---

**PLCY.026**

レベル: U-INFO

短構文: PLCY.026 Completed building policy DB,  
*numRules* rules loaded

長構文: PLCY.026 Completed building policy DB,  
*numRules* rules loaded

説明: PLCY: ポリシー・データベースの構築は *numRules* で終了しました。

---

**PLCY.027**

レベル: UE-ERROR

短構文: PLCY.027 Not enough memory to build tree  
for policy database

長構文: PLCY.027 Not enough memory to build tree  
for policy database

説明: PLCY: このエラー・メッセージが検出されたら、記憶域をアップグレードして増やすか、この装置が実施しようとするポリシーの数を十分に減らしてください。

---

**PLCY.028**

レベル: UE-ERROR

短構文: PLCY.028 Dropping pkt, did not arrive in a  
secure ipsec tunnel, rule matched *ruleName*

長構文: PLCY.028 Dropping pkt, did not arrive in a  
secure ipsec tunnel, rule matched *ruleName*

説明: PLCY: パケットは安全なトンネルを通過して到着したはずですが、ポリシーはパケットが明文で(暗号でなく)届いたことを検出しました。その結果、パケットは廃棄されます。これは、だれかが保護されたネットワークに侵入しようとしたために発生しました。

---

**PLCY.029**

レベル: U-INFO

短構文: PLCY.029 Phase 1 *QueryType*, Query returning  
no match for Phase 1 Rule *RuleName*, (  
*ConfiguredPolicyRole*)

長構文: PLCY.029 Phase 1 *QueryType*, Query returning  
no match for Phase 1 Rule *RuleName*, (  
*ConfiguredPolicyRole*)

説明: PLCY: フェーズ 1 の規則で一一致が検出されましたが、一致を戻すことができません。構成済みのフェーズ 1 のアクションでは、起動側または応答側であることだけがサポートされており、この照会はその逆であるからです。

---

**PLCY.030**

レベル: U-INFO

短構文: PLCY.030 Proxy does not match selectors. Will  
not create neg item.

長構文: PLCY.030 Proxy does not match selectors. Will  
not create neg item.

説明: PLCY: フローの最初のパケットは、規則内のプロファイルに合致しますが、IPSEC アクションのプロキシ値には合致しません。CPE は、どの IKE 規則にも一致がないかのように動作します。

---

**PLCY.031**

レベル: U-INFO

短構文: PLCY.031 Created IKE Phase2 negotiated item.

長構文: PLCY.031 Created IKE Phase2 negotiated item.

説明: PLCY: フローの最初のパケットは、規則内のプロファイルおよび IPSEC アクションの対応するプロキシー値に合致します。トンネル ID 情報を保持するために、IKE フェーズでネゴシエーションされた新規の項目が作成されます。

---

**PLCY.032**

レベル: U-INFO

短構文: PLCY.032 Cannot Access LDAP Server, set the dflt tunnel endpoint info (set default)

長構文: PLCY.032 Cannot Access LDAP Server, set the dflt tunnel endpoint info (set default)

説明: PLCY: talk 6 でフィーチャー・ポリシーの set default コマンドを使用して、ユーザーはトンネル・エンドポイント (ローカルおよびリモート) の情報を構成する必要があります。これが必要なのは、デフォルト規則の動作が LDAP 以外のものをすべて除去するか、LDAP を確保することである場合だけです。

---

**PLCY.033**

レベル: U-INFO

短構文: PLCY.033 Phase 1 query, checked rule *ruleName*, for remote ID *remoteld*, *matchFound*

長構文: PLCY.033 Phase 1 query, checked rule *ruleName*, for remote ID *remoteld*, *matchFound*

説明: PLCY: フェーズ 1 ISAKMP ネゴシエーション時に AGGRESSIVE MODE 応答側、MSG5 応答側、または MSG6 起動側のいずれかの場合でのリモート ID 検査についての通知メッセージ。検査されている規則について一致がない場合があります。ポリシー・データベース内のどの規則にも一致が見付からない場合は、このユーザーはネットワークにアクセスすることがまったく許可されないか、あるいはネットワークにアクセスすることが許可されても、ポリシーについてのユーザー・グループに追加される必要があります。

---

**PLCY.034**

レベル: U-INFO

短構文: PLCY.034 Created IKE Phase1 negotiated item, *cpePIHandle* 0x *cpePIHandle*

長構文: PLCY.034 Created IKE Phase1 negotiated item,

*cpePIHandle* 0x *cpePIHandle*

説明: PLCY: フェーズ 1 でネゴシエーションされた情報を保持するために、IKE フェーズでネゴシエーションされる新規の項目が作成されます。

---

**PLCY.035**

レベル: UE-ERROR

短構文: PLCY.035 Phase2 IDci/IDCr Proxy match failed, error: *mismatchReason*

長構文: PLCY.035 Phase2 IDci/IDCr Proxy match failed, error: *mismatchReason*

説明: PLCY: ISAKMP フェーズ 2 応答側として行なわれる IDci と IDCr の突き合わせが失敗しました。このメッセージの情報は、ユーザーに何が失敗したか通知します。一致がない場合は、リモート側のプロキシー構成がローカル側のプロキシー構成に合致しているか確認してください。

---

**PLCY.036**

レベル: U-INFO

短構文: PLCY.036 QuickMode Proxy Information: PeerIDci= *remoteIDci*, RuleIDci= *ruleIDci*, PeerIDCr= *remoteIDcr*, RuleIDCr= *ruleIDCr*

長構文: PLCY.036 QuickMode Proxy Information: PeerIDci= *remoteIDci*, RuleIDci= *ruleIDci*, PeerIDCr= *remoteIDcr*, RuleIDCr= *ruleIDCr*

説明: PLCY: プロキシーのローカルおよびリモート情報についてリモート ISAKMP ピアの値を表示します。突き合わせて検査されているポリシー内で構成されている idci および idcr も表示します。これらの値が合致しない場合、さらに ELS メッセージも表示されます。これらの値が合致しない場合は、トンネルの両端のポリシーが相互に合致するように構成されているか確認してください。典型的な間違いは、異なるプロトコルまたはポートを構成して、トンネルに入れ、それらが合致するはずだとすることです。

---

**PLCY.037**

レベル: UE-ERROR

短構文: PLCY.037 Encryption Algorithm *encrAlgorithm* for *objectName* not supported in this image

長構文: PLCY.037 Encryption Algorithm *encrAlgorithm* for *objectName* not supported in this image

説明: PLCY: このメッセージが表示されるのは、ポリシー・データベースが作成されており、ロードでサポートされていない構成済みの暗号化アルゴリズムが検出さ

れるときです。これが発生するのは、現行のロード・イメージでサポートされている暗号化アルゴリズムを含むポリシーを使ってボックスを構成するが、その後、構成済みの暗号化アルゴリズムをサポートしないイメージをもつボックスをロードする場合です。

---

#### PLCY.038

レベル: UE-ERROR

短構文: PLCY.038 Object *objectName*, IP Address *ipaddr* is not a configured IP Address

長構文: PLCY.038 Object *objectName*, IP Address *ipaddr* is not a configured IP Address

説明: PLCY: このメッセージが表示されるのは、ボックス上の有効な IP アドレスでない IP アドレスを含む構成をポリシー・エンジンが検出する場合です。このメッセージには、デフォルト・ポリシー内、IPSEC アクシオン内の *tunnelStart*、およびプロファイルの一部であるインターフェースの組みが含まれています。

---

#### PLCY.039

レベル: U-INFO

短構文: PLCY.039 Maximum number of IPSEC phase 2 tunnels reached, limit = *limit*

長構文: PLCY.039 Maximum number of IPSEC phase 2 tunnels reached, limit = *limit*

説明: PLCY: このメッセージが表示されるのは、ポリシー・エンジンが新規トンネルを起動する要求をもっているが、IKE でネゴシエーションされたアクティブな IPSEC トンネルの数がすでに最大値にある場合です。

---

#### PLCY.040

レベル: U-INFO

短構文: PLCY.040 Request to *addOrDelete*, an IKE phase *phase1or2*, tunnel, totals active *totalActiveForPhase1or2*

長構文: PLCY.040 Request to *addOrDelete*, an IKE phase *phase1or2*, tunnel, totals active *totalActiveForPhase1or2*

説明: PLCY: このメッセージが表示されるのは、ポリシー・エンジンがフェーズ 1 またはフェーズ 2 の IKE トンネルを追加または削除する要求をもっている場合です。そのタイプのアクティブなトンネルの数も表示されます。

---

#### PLCY.041

レベル: UE-ERROR

短構文: PLCY.041 Key Lookup Failed, No User with ID Type *idType*, and Name *userName*

長構文: PLCY.041 Key Lookup Failed, No User with ID Type *idType*, and Name *userName*

説明: PLCY: このメッセージは、ポリシー・エンジンが IKE 対等機能に関する事前共有キーを検索するための要求を持ち、ユーザーが検出されないときは常に表示されます。このエラーが発生した場合は、ユーザーにアクセスが許可されるべきかどうかを確認し、もしそうならば、必ずこのメッセージと一致する ID タイプと名前ユーザーをフィーチャー・ポリシーに加えます。

---

#### PLCY.042

レベル: U-INFO

短構文: PLCY.042 Key Lookup Success, Found User with ID Type *idType*, and Name *userName*

長構文: PLCY.042 Key Lookup Success, Found User with ID Type *idType*, and Name *userName*

説明: PLCY: このメッセージは、ポリシー・エンジンが IKE 対等機能に関する事前共有キーを検索するための要求を持ち、ユーザーが検出されたときは常に表示されます。このメッセージの一部としてユーザー情報が表示されます。

---

#### PLCY.043

レベル: U-INFO

短構文: PLCY.043 Policy Time Event, Marked Policy (*policyName*,) *validOrInvalid*, on Month,- *date*,- *year*, at *hour*,: *minute*,: *second*

長構文: PLCY.043 Policy Time Event, Marked Policy (*policyName*,) *validOrInvalid*, on Month,- *date*,- *year*, at *hour*,: *minute*,: *second*

説明: PLCY: このメッセージは、ポリシーが有効または無効となるようなタイム・イベントをポリシー・エンジンが検出したときに常に表示されます。



---

## 第93章 Presence Manager (PM)

この章では、Presence Manager (PM) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### PM.001

レベル: UI-ERROR

短構文: PM.001 Fan *fan* failed.

長構文: PM.001 Cooling fan *fan* has failed.

説明: 冷却ファンが、十分な冷却に必要な最小 RPM での回転を停止しました。

---

### PM.002

レベル: U-INFO

短構文: PM.002 Fan *fan* up to speed.

長構文: PM.002 Cooling fan *fan* is up to speed.

説明: 前に障害を起こしていた冷却ファンが、現在は、十分な冷却に必要な最小 RPM で回転しています。

---

### PM.003

レベル: U-INFO

短構文: PM.003 Pwr Supp *power\_supply* OFF.

長構文: PM.003 Power Supply *power\_supply* is OFF or has failed.

説明: 電源機構が電源オフになっているか、障害を起こしています。

---

### PM.004

レベル: U-INFO

短構文: PM.004 Pwr Supp *power\_supply* ON.

長構文: PM.004 Power Supply *power\_supply* is ON.

説明: 電源機構が電源オンになっています。

---

### PM.005

レベル: U-INFO

短構文: PM.005 Thermal *thermal* Overtemp.

長構文: PM.005 Thermal Sensor *thermal* is over-temp.

説明: 温度センサーの示度が指定のしきい値を超えました。

---

### PM.006

レベル: U-INFO

短構文: PM.006 Thermal *thermal* below thresh.

長構文: PM.006 Thermal Sensor *thermal* is below warning level.

説明: 前に指定のしきい値を超えていた温度センサーの示度が、現在は、指定のしきい値より下がっています。

---

### PM.007

レベル: U-INFO

短構文: PM.007 LIC2 *at0 at1 - lic\_name* detected in slot *slot*.

長構文: PM.007 LIC2 *at0 at1 - lic\_name* detected in slot *slot*.

説明: 指定のタイプの LIC が、指定のスロットで検出されました。

---

### PM.008

レベル: U-INFO

短構文: PM.008 LIC2 *at0 at1 - lic\_name* extracted from slot *slot*.

長構文: PM.008 LIC2 *at0 at1 - lic\_name* extracted from slot *slot*.

説明: 指定のタイプの LIC が、指定のスロットから取り出されました。

---

### PM.009

レベル: UE-ERROR

短構文: PM.009 Mechanical Insertion Error, slot *slot*.

長構文: PM.009 Mechanical Insertion Error in slot *slot*.

説明: 機械的な挿入エラーが発生し、LIC タイプを検出できなかったことを示しています。LIC を再挿入する必要があります。



---

**PM.010**

レベル: UE-ERROR

短構文: PM.010 Unknown LIC Type in slot *slot*.

長構文: PM.010 Unknown LIC Type detected in slot *slot*.

説明: スロットにプラグが差し込まれた LIC タイプは、既知のどの LIC タイプとも一致しません。

---

**PM.011**

レベル: UE-ERROR

短構文: PM.011 LIC2 *at0 at1 - lic\_name* is not valid in slot *slot*.

長構文: PM.011 LIC2 *at0 at1 - lic\_name* is not valid in slot *slot*.

説明: スロットにプラグが差し込まれた LIC は、隣接するスロットに存在する LIC と互換性がありません。その結果、LIC は使用可能にされず、"Wrong Slot" 表示がオンになります。

---

**PM.012**

レベル: UI-ERROR

短構文: PM.012 LIC2 *at0 at1 - lic\_name* in slot *slot* is defective.

長構文: PM.012 LIC2 *at0 at1 - lic\_name* in slot *slot* is defective.

説明: スロットにプラグが差し込まれた LIC タイプは、欠陥があります。

---

**PM.013**

レベル: U-INFO

短構文: PM.013 Thermal Overtemp.

長構文: PM.013 Thermal Sensor is Overtemp.

説明: 温度センサーの示度が指定のしきい値を超えました。

---

**PM.014**

レベル: U-INFO

短構文: PM.014 Thermal below Overtemp threshold

長構文: PM.014 Thermal has dropped below Overtemp threshold.

説明: 前に指定のしきい値を超えていた温度センサーの示度が、現在は、しきい値より下がっています。

---

---

**PM.015**

レベル: U-INFO

短構文: PM.015 Extreme Thermal Overtemp

長構文: PM.015 Extreme Thermal Overtemp.

説明: 温度センサーの読み取り値が非常に高い温度を示しています。この状況はシステムのシャットダウンを生じる場合があります。

---

**PM.016**

レベル: U-INFO

短構文: PM.016 *dev\_name* (type *type*) detected in slot *slot*.

長構文: PM.016 *dev\_name* (type *type*) detected in slot *slot*.

説明: 指定のタイプの装置が、指定のスロットで検出されました。

---

**PM.017**

レベル: U-INFO

短構文: PM.017 *dev\_name* (type *type*) extracted from slot *slot*.

長構文: PM.017 *dev\_name* (type *type*) extracted from slot *slot*.

説明: 指定のタイプの装置が、指定のスロットから取り外されました。

---

**PM.018**

レベル: U-INFO

短構文: PM.018 Unknown device in slot *dev\_name*.

長構文: PM.018 Unknown device in slot *dev\_name*.

説明: スロットに差し込まれた装置は、既知のどの装置タイプとも一致しません。

---

**PM.019**

レベル: U-INFO

短構文: PM.019 *dev\_name* (type *type*) is not valid in slot *slot*.

長構文: PM.019 *dev\_name* (type *type*) is not valid in slot *slot*.

説明: 指定のタイプの装置は指定のスロットでは許可されず、使用可能とはなりません。

---

---

**PM.020**

レベル: U-INFO

短構文: PM.020 *dev\_name* (type *type*) in slot *slot* is defective.

長構文: PM.020 *dev\_name* (type *type*) in slot *slot* is defective.

説明: スロットに挿入された装置に障害があります。

---

**PM.021**

レベル: U-INFO

短構文: PM.021 Insufficient power for *dev\_name* (type *type*) in slot *slot*.

長構文: PM.021 Insufficient power for *dev\_name* (type *type*) in slot *slot*.

説明: 指定されたスロット内の装置は、電源機構の取り外し、障害、あるいは過負荷の理由に十分な電源が得られず、オンにはなりません。

---

**PM.022**

レベル: UI-ERROR

短構文: PM.022 Power Supply *fan* Fan failed.

長構文: PM.022 Power Supply *fan* Fan failed.

説明: 電源機構ファンが、十分な冷却に必要な最小 RPM での回転を停止しました。

---

**PM.023**

レベル: U-INFO

短構文: PM.023 Power Supply *fan* Fan up to speed.

長構文: PM.023 Power Supply *fan* Fan up to speed.

説明: 前に障害を起こしていた電源機構ファンが、現在は、十分な冷却に必要な最小 RPM で回転しています。

---

**PM.024**

レベル: U-INFO

短構文: PM.024 Pwr Supp *power\_supply* has Failed.

長構文: PM.024 Power Supply *power\_supply* has failed.

説明: 電源機構に障害が生じました。

---

**PM.025**

レベル: U-INFO

短構文: PM.025 Pwr Supp *power\_supply* is OFF.

長構文: PM.025 Power Supply *power\_supply* is OFF.

説明: 電源機構が電源オフになっています。



---

## 第94章 プロトコル独立マルチキャスト (PIM)

この章では、プロトコル独立マルチキャスト (PIM) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### PIM.001

レベル: C-TRACE

短構文: PIM.001 Add phyint *IP\_interface*

長構文: PIM.001 Add physical interface *IP\_interface*

説明: 指定の物理インターフェースで PIM が使用可能にされました。

---

### PIM.002

レベル: C-TRACE

短構文: PIM.002 Add tunnel *tunnel\_source*->  
*tunnel\_destination*

長構文: PIM.002 Add tunnel *tunnel\_source*->  
*tunnel\_destination*

説明: 指定の発信元アドレスとあて先アドレスの間に PIM トンネルが構成されました。

---

### PIM.003

レベル: U-TRACE

短構文: PIM.003 Nbr *IP\_neighbor* removed, ifc down

長構文: PIM.003 Neighbor *IP\_neighbor* removed due to  
interface going down

説明: PIM バーチャル・インターフェースがダウンしており、この近隣は近隣リストから除去されました。

---

### PIM.004

レベル: UE-ERROR

短構文: PIM.004 bd hdr cks 0x *checksum* (exp 0x  
*expected\_checksum*) *source\_ip\_address* ->  
*destination\_ip\_address*

長構文: PIM.004 Bad header checksum 0x *checksum*  
(expected 0x *expected\_checksum*) in packet from  
*source\_ip\_address* for *destination\_ip\_address*

説明: このメッセージは、PIM 制御メッセージが無効なチェックサムを持っている場合に生成されます。受信したチェックサムが、正しいチェックサムと共に表示されています。

原因: おそらく、パケットが損傷しています。別のノードが、正しくない PIM 制御メッセージを作成している可能性があります。

処置: 問題が引き続き起こる場合は、回線トレースを調べて、パケットが損傷する箇所を判別してください。

---

### PIM.005

レベル: U-TRACE

短構文: PIM.005 Rcvd PIM unk ver= *PIM\_version*  
*IP\_source* -> *IP\_destination*, nt *network ID*

長構文: PIM.005 Received PIM Unknown Version=  
*PIM\_version*, *IP\_source* -> *IP\_destination* net *network ID*

説明: PIM 制御メッセージを受信しましたが、不明のバージョン番号を持っています。パケットは廃棄されません。

---

### PIM.006

レベル: P-TRACE

短構文: PIM.006 Rcvd Hello Msg *IP\_source* ->  
*IP\_destination*, nt *network ID*

長構文: PIM.006 Received PIM Hello Message,  
*IP\_source* -> *IP\_destination* net *network ID*

説明: PIM Hello メッセージを受信しました。

---

### PIM.007

レベル: P-TRACE

短構文: PIM.007 Rcvd Jn/Prn Msg *IP\_source* =>  
*PIM\_upstream*, nt *network ID*

長構文: PIM.007 Received PIM Join/Prune Message,  
*IP\_source* upstream *PIM\_upstream* net *network ID*

説明: PIM Join/Prune メッセージを受信しました。表示されているアドレスは IP パケットあて先アドレスではないのに、PIM プロトコル・パケットにはアップストリーム・ルーター・アドレスが入っています。

---

**PIM.008**

レベル: P-TRACE

短構文: PIM.008 Rcvd Assert Msg, grp *IP\_group*, src *IP\_source*, nt *network ID*

長構文: PIM.008 Received PIM Assert Message, Group *IP\_group*, Source *IP\_source*, net *network ID*

説明: PIM Assert メッセージを受信しました。

---

**PIM.009**

レベル: P-TRACE

短構文: PIM.009 Rcvd Graft Msg *IP\_source* -> *IP\_destination*, nt *network ID*

長構文: PIM.009 Received PIM Graft Message, *IP\_source* -> *IP\_destination* net *network ID*

説明: PIM Graft メッセージを受信しました。

---

**PIM.010**

レベル: P-TRACE

短構文: PIM.010 Rcvd GraftAck Msg *IP\_source* -> *IP\_destination*, nt *network ID*

長構文: PIM.010 Received PIM Graft Ack Message, *IP\_source* -> *IP\_destination* net *network ID*

説明: PIM Graft 確認メッセージを受信しました。

---

**PIM.011**

レベル: UE-ERROR

短構文: PIM.011 Rcvd unk msg *IP\_source* -> *IP\_destination*, nt *network ID*

長構文: PIM.011 Received PIM Unknown Message, *IP\_source* -> *IP\_destination* net *network ID*

説明: PIM Control メッセージを受信しましたが、不明のメッセージ・タイプを持っています。メッセージは廃棄されます。

---

**PIM.012**

レベル: P-TRACE

短構文: PIM.012 Send Hello Msg *IP\_source* -> *IP\_destination*, nt *network ID*

長構文: PIM.012 Sending PIM Hello Message, *IP\_source* -> *IP\_destination* net *network ID*

説明: PIM Hello メッセージが作成され、伝送のためにスケジュールされました。

---

---

**PIM.013**

レベル: P-TRACE

短構文: PIM.013 Send Jn/Prn Msg *IP\_source* => *PIM\_upstream*, nt *network ID*

長構文: PIM.013 Sending PIM Join/Prune Message, *IP\_source* upstream *PIM\_upstream* net *network ID*

説明: PIM Join/Prune メッセージが作成され、伝送のためにスケジュールされました。表示されているアドレスは IP パケットあて先アドレスではない (全 PIM ルーター・アドレスです) のに、PIM プロトコル・パケットにはアップストリーム・ルーター・アドレスが入っています。

---

**PIM.014**

レベル: P-TRACE

短構文: PIM.014 Send Assert Msg, grp *IP\_group*, src *IP\_source*, nt *network ID*

長構文: PIM.014 Sending PIM Assert Message, Group *IP\_group*, Source *IP\_source* net *network ID*

説明: PIM Assert メッセージが作成され、伝送のためにスケジュールされました。この Assert が出されるのは、出力インターフェースで転送テーブル内のマルチキャスト・エントリあてのマルチキャスト・データ・パケットを受信した場合、あるいは問題のマルチキャスト・データを転送するはずのない別のルーターから Assert を受信した場合です。このアクションは、ルーティング・ループが原因で、重複するマルチキャスト・データが送信されていることを示しています。この Assert メッセージにより、どのルーターを転送ルーターにする必要があるのかを解決することができ、この状態が続かないことが保証されます。

---

**PIM.015**

レベル: P-TRACE

短構文: PIM.015 Send Graft Msg *IP\_source* -> *IP\_destination*, nt *network ID*

長構文: PIM.015 Sending PIM Graft Message, *IP\_source* -> *IP\_destination* net *network ID*

説明: PIM Graft メッセージが作成され、伝送のためにスケジュールされました。

---

**PIM.016**

レベル: P-TRACE

短構文: PIM.016 Send GraftAck Msg *IP\_source* -> *IP\_destination*, nt *network ID*

**長構文:** PIM.016 Sending PIM Graft Ack Message,  
*IP\_source* -> *IP\_destination* net *network ID*

**説明:** PIM Graft 確認メッセージが作成され、伝送のためにスケジュールされました。

---

#### PIM.017

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** PIM.017 Could not obtain iorb *IP\_source* -> *IP\_destination*

**長構文:** PIM.017 Unable to obtain an iorb for send,  
*IP\_source* -> *IP\_destination*

**説明:** PIM が PIM 制御メッセージを作成して送信するために必要な入出力要求ブロック (iorb) が、システムによって戻されませんでした。

**原因:** システムの資源が使い尽くされています。これは通常、システム・バッファの記憶域不足によって起こります。

**処置:** 問題の原因がアプリケーション・エラーにあるのではない場合は、追加メモリーを導入し、システムのバッファ数を増やしてください。

---

#### PIM.018

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** PIM.018 Failed iorb send rqst *IP\_source* -> *IP\_destination*

**長構文:** PIM.018 IORB send request was unsuccessful,  
*IP\_source* -> *IP\_destination*

**説明:** PIM 制御メッセージが入っている iorb の送信要求が失敗し、メッセージは廃棄されました。

**原因:** システムは入出力要求ブロックの送信を拒否しました。これは、ルーターの過負荷またはアプリケーション・エラーが原因と考えられます。

**処置:** 高パフォーマンスのルーターにアップグレードしてください。

---

#### PIM.019

**レベル:** U-TRACE

**短構文:** PIM.019 DR *PIM\_old\_DR* replaced by *PIM\_new\_DR* for nt *network ID*

**長構文:** PIM.019 Designated Router *PIM\_old\_DR* is replaced by *PIM\_new\_DR* net *network ID*

**説明:** 指定ルーターがタイムアウトになり、新しい指定ルーターに置き換えられました。

---

#### PIM.020

**レベル:** C-TRACE

**短構文:** PIM.020 Nbr *PIM\_neighbor* del for int *PIM\_interface*

**長構文:** PIM.020 Neighbor *PIM\_neighbor* Deleted from Interface *PIM\_interface*

**説明:** 近隣が時間内に Hello メッセージを送信しなかったためにタイムアウトになりました。近隣は除去されます。

---

#### PIM.021

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** PIM.021 No nbr blocks available for *PIM\_neighbor*, int *PIM\_interface*

**長構文:** PIM.021 No neighbor control blocks are available for *PIM\_neighbor*, Interface *PIM\_interface*

**説明:** 近隣の配列がいっぱい、インターフェース上で新たに発見された近隣のために利用可能な近隣制御ブロックが得られません。

**原因:** PIM 近隣の数、PIM によってサポートされる限界を超えています。これは指定ルーター選択プロセスに影響を与える可能性があります。

**処置:** 同じサブネット上で PIM を実行しているルーターの数を減らしてください。

---

#### PIM.022

**レベル:** C-TRACE

**短構文:** PIM.022 Nbr *PIM\_neighbor* added to int *PIM\_interface*

**長構文:** PIM.022 Neighbor *PIM\_neighbor* added for Interface *PIM\_interface*

**説明:** Hello メッセージを受信したために、近隣がインターフェースに追加されました。

---

#### PIM.023

**レベル:** C-TRACE

**短構文:** PIM.023 J/P Msg parsed, vif *PIM\_interface* gcnt *Group\_count*, jcnt *Join\_count*, pcnt *Prune\_count*

**長構文:** PIM.023 Join/Prune message parsed, vif = *PIM\_interface*, groups = *Group\_count*, joins = *Join\_count*, prunes = *Prune\_count*

**説明:** PIM Join/Prune フォーマットのメッセージを受信し、解析されました。カウントは、解析された



groups、joins、および prunes の合計数です。PIM パーチャル・インターフェースは、パケットを受信したインターフェースです。

---

#### PIM.024

レベル: UI-ERROR

短構文: PIM.024 No mem for msg q

長構文: PIM.024 Could not allocate memory for building a message queue element.

説明: PIM メッセージ待ち行列用のメッセージ待ち行列要素を作成しているときに、記憶域の割り振りに失敗しました。

原因: システムの資源が不足しており、システムの記憶域が使い尽くされています。

処置: 追加メモリーを導入するか、ルーターをアップグレードしてください。

---

#### PIM.025

レベル: U-TRACE

短構文: PIM.025 msg type unk, msg not queued

長構文: PIM.025 Could not queue message element due to unknown message type.

説明: メッセージ・スケジューラーは、発信側から不明のメッセージ・タイプを転送されたために、メッセージ要素を該当するメッセージ待ち行列に入れることができませんでした。メッセージ要素は解放されて記憶域プールに戻され、その他のアクションは取られません。

---

#### PIM.026

レベル: UI-ERROR

短構文: PIM.026 No mem for state, src = *IP\_source*, grp = *IP\_group*, vif = *PIM\_interface*

長構文: PIM.026 Could not get memory for state element, source= *IP\_source*, group= *IP\_group*, interface = *PIM\_interface*

説明: 示されている PIM インターフェース上で、報告されている発信元グループの組みの状態データベースの状態要素を作成しているときに、記憶域の割り振りに失敗しました。

原因: システムの資源が不足しており、システムの記憶域が使い尽くされています。

処置: 追加メモリーを導入するか、ルーターをアップグレードしてください。

---

#### PIM.027

レベル: UI-ERROR

短構文: PIM.027 No mem for sgnode, src = *IP\_source*, grp = *IP\_group*, vif = *PIM\_interface*

長構文: PIM.027 No memory for source-group node, source = *IP\_source*, group = *IP\_group*, interface = *PIM\_interface*

説明: 示されている PIM インターフェース上で、報告されている発信元グループの組みの状態データベースの発信元/グループ・ノード要素を作成しているときに、記憶域の割り振りに失敗しました。

原因: システムの資源が不足しており、システムの記憶域が使い尽くされています。

処置: 追加メモリーを導入するか、ルーターをアップグレードしてください。

---

#### PIM.028

レベル: C-TRACE

短構文: PIM.028 New PRUNE state src *IP\_source* grp *IP\_group* vif *PIM\_interface*

長構文: PIM.028 A new PRUNE state has been created, source = *IP\_source*, group = *IP\_group*, vif = *PIM\_interface*

説明: 新規の PIM PRUNE 状態が作成され、状態データベースに入れられました。

---

#### PIM.029

レベル: U-TRACE

短構文: PIM.029 Del not required src *IP\_source* grp *IP\_group* vif *PIM\_interface*

長構文: PIM.029 Delete request for state not in database, source = *IP\_source*, group = *IP\_group*, vif = *PIM\_interface*

説明: PIM 状態データベースに存在しない状態を削除するための要求が処理されました。アクションは何も取られず、制御がただちに発信側に戻されました。

---

#### PIM.030

レベル: C-TRACE

短構文: PIM.030 PRUNE state removed src *IP\_source* grp *IP\_group* vif *PIM\_interface*

長構文: PIM.030 A PRUNE was deleted from the state database, source = *IP\_source*, group = *IP\_group*, vif = *PIM\_interface*

**説明:** PRUNE 状態は状態データベースから正常に除去され、すべての該当するプログラム待ち行列から除去されました。この PRUNE 状態はもう存在しません。

---

### PIM.031

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** PIM.031 srte has rte type that is UNKNOWN by PIM, src net = *IP\_source* type = *route\_type*

**長構文:** PIM.031 Unicast entry has route type UNKNOWN by PIM, source net = *IP\_source*, route type = *route\_type*

**説明:** PIM は、PIM Assert プロセスで使用する特定のマルチキャスト転送エントリーの優先ローカル・ユニキャスト・ルーティング・メトリックを判別しようとしています。ユニキャスト・ルーティング・エントリーの経路タイプは、PIM が認知しているどのタイプでもなく、優先ルーティング・メトリックは 0x7FFFFFFF であったために、ルーティング・メトリックは不明の経路に適用される 0xFFFFFFFF に設定されました。その結果、通常このルーターは Assert プロセスを失い、その oif をマルチキャスト転送キャッシュ・エントリーから除去することになります。

**原因:** この原因は通常、実行しているユニキャスト・ルーティング・プロトコルまたはその他の機能がユニキャスト転送テーブルを更新し、ユニキャスト・エントリーに PIM が認知しない経路タイプのマークを付けたことにあります。これは、新規のプロトコルをルーターに追加し、それをサポートするように PIM を更新しなかった場合のみ起きるはずですが、PIM は新規の機能をサポートできなくなるか、あるいは新しいバージョンの PIM が必要になります。

**処置:** サポート技術員に連絡して、問題を説明してください。すべてのユニキャスト・ルーティング・プロトコルおよび転送テーブルの変更メカニズムが PIM によってサポートされている場合は、新しいバージョンが必要です。

---

### PIM.032

**レベル:** P-TRACE

**短構文:** PIM.032 Rcv Pim Control Msg for net *network ID*

**長構文:** PIM.032 Received Pim Ctl Message for net *network ID*, which is not ready

**説明:** インターフェースあての PIM 制御メッセージを受信しましたが、インターフェースはメッセージを受信する準備が整っていません。制御メッセージは廃棄されます。

---

### PIM.033

**レベル:** C-TRACE

**短構文:** PIM.033 PIM states have been cleared

**長構文:** PIM.033 The PIM state database has been cleared

**説明:** PIM 状態データベースは、すべての状態を消去しました。これが起こる最も一般的な状況は、ユニキャスト・ルーティングの更新のために、マルチキャスト転送キャッシュが消去されてしまった場合です。

---

### PIM.034

**レベル:** U-TRACE

**短構文:** PIM.034 Group address not multicast, addr = *IP\_group*

**長構文:** PIM.034 An invalid group address was encountered, address = *IP\_group*

**説明:** PIM 制御メッセージの解析中に、有効なマルチキャスト・アドレスとは認められないグループ・アドレスが検出されました。構文解析プログラムは、このアドレスの処理は継続せずに無視しましたが、パケットのその他の解析は続行しました。

---

### PIM.035

**レベル:** U-TRACE

**短構文:** PIM.035 jp rcv pkt len err, len *error\_length* vif *PIM\_interface*

**長構文:** PIM.035 join/prune parser error due to bad PIM packet counts, length = *error\_length* vif = *PIM\_interface*

**説明:** 受信した PIM Join/Prune メッセージの解析中に、構文解析プログラムは長さエラーを検出しました。これは、PIM パケット自体の group、join、および prune カウント・フィールドが間違っており、パケットに含まれているグループおよび発信元アドレスの数を誤って報告している場合に起こります。

---

### PIM.036

**レベル:** C-TRACE

**短構文:** PIM.036 New JOIN state src *IP\_source* grp *IP\_group* vif *PIM\_Interface*

**長構文:** PIM.036 A new JOIN state has been created, source = *IP\_source*, group = *IP\_group*, vif = *PIM\_Interface*

**説明:** 新規の PIM PRUNE 状態が作成され、状態デー

データベースに入れられました。

---

#### PIM.037

レベル: C-TRACE

短構文: PIM.037 JOIN state removed src *IP\_source* grp *IP\_group* vif *PIM\_Interface*

長構文: PIM.037 A JOIN was deleted from the state database, source = *IP\_source*, group = *IP\_group*, vif = *PIM\_Interface*

説明: JOIN 状態は状態データベースから正常に除去され、すべての該当するプログラム待ち行列から除去されました。この JOIN 状態はもう存在しません。

---

#### PIM.038

レベル: U-TRACE

短構文: PIM.038 No PIM vif, *IP\_source* -> *IP\_destination*, net *network ID*

長構文: PIM.038 Could not find a PIM virtual interface, *IP\_source* -> *IP\_destination* net *network ID*

説明: PIM 制御メッセージを受信しましたが、PIM バーチャル・インターフェースにマップできませんでした。パケットは廃棄されます。

---

#### PIM.039

レベル: UI-ERROR

短構文: PIM.039 No mem for rpf q

長構文: PIM.039 Could not allocate memory for building an rpf neighbor block.

説明: 逆パス転送近隣制御ブロックを作成しているときに、記憶域の割り振りに失敗しました。

原因: システムの資源が不足しており、システムの記憶域が使い尽くされています。

処置: 追加メモリーを導入するか、ルーターをアップグレードしてください。

---

#### PIM.040

レベル: U-TRACE

短構文: PIM.040 Rcv Assert for mfcache entry, no ifc, grp *IP\_group*, src *IP\_source*, fip *fip\_index*

長構文: PIM.040 Received Assert on interface not in mfcache entry, Group *IP\_group*, Source *IP\_source*, fip *fip\_index*

説明: 指摘されているマルチキャスト転送インターフェース・インデックスで PIM Assert メッセージを受信

しましたが、このインターフェースは対応する mfcache エントリーに存在しません。

---

#### PIM.041

レベル: P-TRACE

短構文: PIM.041 Rcv Assert for unk src, grp *IP\_group*, src *IP\_source*, fip = *fip\_index*

長構文: PIM.041 Received an Assert for unknown source, Group *IP\_group*, Source *IP\_source*, fip = *fip\_index*

説明: 指摘されているマルチキャスト転送インターフェース・インデックスで PIM Assert メッセージを受信しましたが、ユニキャスト・ルーティング・テーブル内で発信元アドレスを見付けることができませんでした。

---

#### PIM.042

レベル: U-TRACE

短構文: PIM.042 Discard packet due to bad addr, family = *encode\_family*, type = *encode\_type*

長構文: PIM.042 Packet was discarded due to a bad address, family = *encode\_family*, type = *encode\_type*

説明: PIM メッセージ・パケットを受信しましたが、符号化アドレスがサポートされないファミリーまたはタイプを持っていました。パケットは廃棄されました。

---

#### PIM.043

レベル: U-TRACE

短構文: PIM.043 Bad addr, ignored, family = *encode\_family*, type = *encode\_type*

長構文: PIM.043 Address in packet ignored due to bad address, family = *encode\_family*, type = *encode\_type*

説明: PIM 制御メッセージの解析中に、サポートされないファミリーまたはタイプを持つ符号化アドレスが検出されました。このアドレスの処理は継続されずに無視されましたが、パケットのその他の解析は続行されました。

---

#### PIM.044

レベル: U-TRACE

短構文: PIM.044 Ignored aggregated addr, msklen = *mask\_length*

長構文: PIM.044 Ignored address with mask length less than maximum, mask length = *mask\_length*

説明: PIM 制御メッセージの解析中に、マスク長がア

ドレス最大値より短い符号化アドレスが検出されました。これは集約を示しており、集約は PIM によってサポートされないため、このアドレスは無視されました。

---

#### **PIM.045**

**レベル:** U-TRACE

**短構文:** PIM.045 Net *net\_index* not pt-to-pt, reset hello to *hello\_period* sec

**長構文:** PIM.045 The net *net\_index* is not a point-to-point, reset hello period to *hello\_period* seconds

**説明:** PIM インターフェースの構成情報の読み取り時に、隣接の確立後に Hello メッセージの伝送を抑制する Hello 期間が指定されていないことが検出されました。これは、ポイント・ポイント・インターフェースの場合にのみ使用されます。設定するインターフェースがポイント・ポイントでない場合、Hello 期間はデフォルトの Hello 期間に変更されます。



---

## 第95章 プロトコル独立マルチキャスト IPv6 (PIM6)

この章では、プロトコル独立マルチキャスト IPv6 (PIM6) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### PIM6.001

レベル: C-TRACE

短構文: PIM6.001 Add phyint *IP6\_interface*

長構文: PIM6.001 Add physical interface *IP6\_interface*

説明: 指定の物理インターフェースで PIM が使用可能にされました。

---

### PIM6.002

レベル: C-TRACE

短構文: PIM6.002 Add tunnel *tunnel6\_source->tunnel6\_destination*

長構文: PIM6.002 Add tunnel *tunnel6\_source->tunnel6\_destination*

説明: 指定の発信元アドレスとあて先アドレスの間に PIM トンネルが構成されました。

---

### PIM6.003

レベル: U-TRACE

短構文: PIM6.003 Nbr *IP6\_neighbor* removed, ifc down

長構文: PIM6.003 Neighbor *IP6\_neighbor* removed due to interface going down

説明: PIM バーチャル・インターフェースがダウンしており、この近隣は近隣リストから除去されました。

---

### PIM6.004

レベル: UE-ERROR

短構文: PIM6.004 bd hdr cks 0x *checksum* (exp 0x *expected\_checksum*) *source\_ip\_address -> destination\_ip\_address*

長構文: PIM6.004 Bad header checksum 0x *checksum* (expected 0x *expected\_checksum*) in packet from *source\_ip\_address* for *destination\_ip\_address*

説明: このメッセージは、PIM 制御メッセージが無効なチェックサムを持っている場合に生成されます。受信したチェックサムが、正しいチェックサムと共に表示されます。

原因: おそらく、パケットが損傷しています。別のノードが、正しくない PIM 制御メッセージを作成している可能性があります。

処置: 問題が引き続き起こる場合は、回線トレースを調べて、パケットが損傷する箇所を判別してください。

---

### PIM6.005

レベル: U-TRACE

短構文: PIM6.005 Rcvd PIM unk ver= *PIM\_version* *IP6\_source -> IP6\_destination*, nt *network ID*

長構文: PIM6.005 Received PIM Unknown Version= *PIM\_version*, *IP6\_source -> IP6\_destination* net *network ID*

説明: PIM 制御メッセージを受信しましたが、不明のバージョン番号を持っています。パケットは廃棄されます。

---

### PIM6.006

レベル: P-TRACE

短構文: PIM6.006 Rcvd Hello Msg *IP6\_source -> IP6\_destination*, nt *network ID*

長構文: PIM6.006 Received PIM Hello Message, *IP6\_source -> IP6\_destination* net *network ID*

説明: PIM Hello メッセージを受信しました。

---

### PIM6.007

レベル: P-TRACE

短構文: PIM6.007 Rcvd Jn/Prn Msg *IP6\_source => PIM6\_upstream*, nt *network ID*

長構文: PIM6.007 Received PIM Join/Prune Message, *IP6\_source* upstream *PIM6\_upstream* net *network ID*

説明: PIM Join/Prune メッセージを受信しました。表示されているアドレスは IP パケットあて先アドレスではないのに、PIM プロトコル・パケットにはアップストリーム・ルーター・アドレスが入っています。



---

**PIM6.008**

レベル: P-TRACE

短構文: PIM6.008 Rcvd Assert Msg, grp *IP6\_group*, src *IP6\_source*, nt *network ID*

長構文: PIM6.008 Received PIM Assert Message, Group *IP6\_group*, Source *IP6\_source*, net *network ID*

説明: PIM Assert メッセージを受信しました。

---

**PIM6.009**

レベル: P-TRACE

短構文: PIM6.009 Rcvd Graft Msg *IP6\_source* -> *IP6\_destination*, nt *network ID*

長構文: PIM6.009 Received PIM Graft Message, *IP6\_source* -> *IP6\_destination* net *network ID*

説明: PIM Graft メッセージを受信しました。

---

**PIM6.010**

レベル: P-TRACE

短構文: PIM6.010 Rcvd GraftAck Msg *IP6\_source* -> *IP6\_destination*, nt *network ID*

長構文: PIM6.010 Received PIM Graft Ack Message, *IP6\_source* -> *IP6\_destination* net *network ID*

説明: PIM Graft 確認メッセージを受信しました。

---

**PIM6.011**

レベル: UE-ERROR

短構文: PIM6.011 Rcvd unk msg *IP6\_source* -> *IP6\_destination*, nt *network ID*

長構文: PIM6.011 Received PIM Unknown Message, *IP6\_source* -> *IP6\_destination* net *network ID*

説明: PIM Control メッセージを受信しましたが、不明のメッセージ・タイプを持っています。メッセージは廃棄されます。

---

**PIM6.012**

レベル: P-TRACE

短構文: PIM6.012 Send Hello Msg *IP6\_source* -> *IP6\_destination*, nt *network ID*

長構文: PIM6.012 Sending PIM Hello Message, *IP6\_source* -> *IP6\_destination* net *network ID*

説明: PIM Hello メッセージが作成され、伝送のためにスケジュールされました。

---

---

**PIM6.013**

レベル: P-TRACE

短構文: PIM6.013 Send Jn/Prn Msg *IP6\_source* => *PIM6\_upstream*, nt *network ID*

長構文: PIM6.013 Sending PIM Join/Prune Message, *IP6\_source* upstream *PIM6\_upstream* net *network ID*

説明: PIM Join/Prune メッセージが作成され、伝送のためにスケジュールされました。表示されているアドレスは IP パケットあて先アドレスではない (全 PIM ルーター・アドレスです) のに、PIM プロトコル・パケットにはアップストリーム・ルーター・アドレスが入っています。

---

**PIM6.014**

レベル: P-TRACE

短構文: PIM6.014 Send Assert Msg, grp *IP6\_group*, src *IP6\_source*, nt *network ID*

長構文: PIM6.014 Sending PIM Assert Message, Group *IP6\_group*, Source *IP6\_source*, net *network ID*

説明: PIM Assert メッセージが作成され、伝送のためにスケジュールされました。この Assert が出されるのは、出力インターフェースで転送テーブル内のマルチキャスト・エントリーあてのマルチキャスト・データ・パケットを受信した場合、あるいは問題のマルチキャスト・データを転送するはずのない別のルーターから Assert を受信した場合です。このアクションは、ルーティング・ループが原因で、重複するマルチキャスト・データが送信されていることを示しています。この Assert メッセージにより、どのルーターを転送ルーターにする必要があるのかを解決することができ、この状態が続かないことが保証されます。

---

**PIM6.015**

レベル: P-TRACE

短構文: PIM6.015 Send Graft Msg *IP6\_source* -> *IP6\_destination*, nt *network ID*

長構文: PIM6.015 Sending PIM Graft Message, *IP6\_source* -> *IP6\_destination* net *network ID*

説明: PIM Graft メッセージが作成され、伝送のためにスケジュールされました。

---

**PIM6.016**

レベル: P-TRACE

短構文: PIM6.016 Send GraftAck Msg *IP6\_source* -> *IP6\_destination*, nt *network ID*

**長構文:** PIM6.016 Sending PIM Graft Ack Message,  
*IP6\_source -> IP6\_destination net network ID*

**説明:** PIM Graft 確認メッセージが作成され、伝送のためにスケジュールされました。

---

#### PIM6.017

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** PIM6.017 Could not obtain iorb *IP6\_source -> IP6\_destination*

**長構文:** PIM6.017 Unable to obtain an iorb for send,  
*IP6\_source -> IP6\_destination*

**説明:** PIM が PIM 制御メッセージを作成して送信するために必要な入出力要求ブロック (iorb) が、システムによって戻されませんでした。

**原因:** システムの資源が使い尽くされています。これは通常、システム・バッファの記憶域不足によって起こります。

**処置:** 問題の原因がアプリケーション・エラーにあるのではない場合は、追加メモリーを導入し、システムのバッファ数を増やしてください。

---

#### PIM6.018

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** PIM6.018 Failed iorb send rqst *IP6\_source -> IP6\_destination*

**長構文:** PIM6.018 IORB send request was unsuccessful,  
*IP6\_source -> IP6\_destination*

**説明:** PIM 制御メッセージが入っている iorb の送信要求が失敗し、メッセージは廃棄されました。

**原因:** システムが入出力要求ブロックの送信を拒否しました。これは、ルーターの過負荷またはアプリケーション・エラーが原因と考えられます。

**処置:** 高パフォーマンスのルーターにアップグレードしてください。

---

#### PIM6.019

**レベル:** U-TRACE

**短構文:** PIM6.019 DR *PIM6\_old\_DR* replaced by *PIM6\_new\_DR* for nt *network ID*

**長構文:** PIM6.019 Designated Router *PIM6\_old\_DR* is replaced by *PIM6\_new\_DR* net *network ID*

**説明:** 指定ルーターがタイムアウトになり、新しい指定ルーターに置き換えられました。

---

#### PIM6.020

**レベル:** C-TRACE

**短構文:** PIM6.020 Nbr *PIM6\_neighbor* del for int *PIM6\_interface*

**長構文:** PIM6.020 Neighbor *PIM6\_neighbor* Deleted from Interface *PIM6\_interface*

**説明:** 近隣が時間内に Hello メッセージを送信しなかったためにタイムアウトになりました。近隣は除去されます。

---

#### PIM6.021

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** PIM6.021 No nbr blocks available for *PIM6\_neighbor*, int *PIM6\_interface*

**長構文:** PIM6.021 No neighbor control blocks are available for *PIM6\_neighbor*, Interface *PIM6\_interface*

**説明:** 近隣の配列がいっぱい、インターフェース上で新たに発見された近隣のために利用可能な近隣制御ブロックが得られません。

**原因:** PIM 近隣の数、PIM によってサポートされる限界を超えています。これは指定ルーター選択プロセスに影響を与える可能性があります。

**処置:** 同じサブネット上で PIM を実行しているルーターの数を減らしてください。

---

#### PIM6.022

**レベル:** C-TRACE

**短構文:** PIM6.022 Nbr *PIM6\_neighbor* added to int *PIM6\_interface*

**長構文:** PIM6.022 Neighbor *PIM6\_neighbor* added for Interface *PIM6\_interface*

**説明:** Hello メッセージを受信しているために、近隣がインターフェースに追加されました。

---

#### PIM6.023

**レベル:** C-TRACE

**短構文:** PIM6.023 J/P Msg parsed, vif *PIM6\_interface* gcnt *Group\_count*, jcnt *Join\_count*, pcnt *Prune\_count*

**長構文:** PIM6.023 Join/Prune message parsed, vif = *PIM6\_interface*, groups = *Group\_count*, joins = *Join\_count*, prunes = *Prune\_count*

**説明:** PIM Join/Prune フォーマットのメッセージを受信し、解析されました。カウントは、解析された

groups、joins、および prunes の合計数です。PIM パーチャル・インターフェースは、パケットを受信したインターフェースです。

---

#### PIM6.024

レベル: UI-ERROR

短構文: PIM6.024 No mem for msg q

長構文: PIM6.024 Could not allocate memory for building a message queue element.

説明: PIM メッセージ待ち行列用のメッセージ待ち行列要素を作成しているときに、記憶域の割り振りに失敗しました。

原因: システムの資源が不足しており、システムの記憶域が使い尽くされています。

処置: 追加メモリーを導入するか、ルーターをアップグレードしてください。

---

#### PIM6.025

レベル: U-TRACE

短構文: PIM6.025 msg type unk, msg not queued

長構文: PIM6.025 Could not queue message element due to unknown message type.

説明: メッセージ・スケジューラーは、発呼者から不明のメッセージ・タイプを転送されたために、メッセージ要素を該当するメッセージ待ち行列に入れることができませんでした。メッセージ要素は解放されて記憶域プールに戻され、その他のアクションは取られません。

---

#### PIM6.026

レベル: UI-ERROR

短構文: PIM6.026 No mem for state, src = *IP6\_source*, grp = *IP6\_group*, vif = *PIM6\_interface*

長構文: PIM6.026 Could not get memory for state element, source = *IP6\_source*, group = *IP6\_group*, interface = *PIM6\_interface*

説明: 示されている PIM インターフェース上で、報告されている発信元グループの組みの状態データベースの状態要素を作成しているときに、記憶域の割り振りに失敗しました。

原因: システムの資源が不足しており、システムの記憶域が使い尽くされています。

処置: 追加メモリーを導入するか、ルーターをアップグレードしてください。

---

#### PIM6.027

レベル: UI-ERROR

短構文: PIM6.027 No mem for sgnode, src = *IP6\_source*, grp = *IP6\_group*, vif = *PIM6\_interface*

長構文: PIM6.027 No memory for source-group node, source = *IP6\_source*, group = *IP6\_group*, interface = *PIM6\_interface*

説明: 示されている PIM インターフェース上で、報告されている発信元グループの組みの状態データベースの発信元/グループ・ノード要素を作成しているときに、記憶域の割り振りに失敗しました。

原因: システムの資源が不足しており、システムの記憶域が使い尽くされています。

処置: 追加メモリーを導入するか、ルーターをアップグレードしてください。

---

#### PIM6.028

レベル: C-TRACE

短構文: PIM6.028 New PRUNE state src *IP6\_source* grp *IP6\_group* vif *PIM6\_interface*

長構文: PIM6.028 A new PRUNE state has been created, source = *IP6\_source*, group = *IP6\_group*, vif = *PIM6\_interface*

説明: 新規の PIM PRUNE 状態が作成され、状態データベースに入れられました。

---

#### PIM6.029

レベル: U-TRACE

短構文: PIM6.029 Del not required src *IP6\_source* grp *IP6\_group* vif *PIM6\_interface*

長構文: PIM6.029 Delete request for state not in database, source = *IP6\_source*, group = *IP6\_group*, vif = *PIM6\_interface*

説明: PIM 状態データベースに存在しない状態を削除するための要求が処理されました。アクションは何も取られず、制御がただちに発呼者に戻されました。

---

#### PIM6.030

レベル: C-TRACE

短構文: PIM6.030 PRUNE state removed src *IP6\_source* grp *IP6\_group* vif *PIM6\_interface*

長構文: PIM6.030 A PRUNE was deleted from the state database, source = *IP6\_source*, group = *IP6\_group*, vif = *PIM6\_interface*

**説明:** PRUNE 状態は状態データベースから正常に除去され、すべての該当するプログラム待ち行列から除去されました。この PRUNE 状態はもう存在しません。

---

### PIM6.031

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** PIM6.031 srte has rte type that is UNKNOWN by PIM, src net = *IP6\_source* type = *route\_type*

**長構文:** PIM6.031 Unicast entry has route type UNKNOWN by PIM, source net = *IP6\_source*, route type = *route\_type*

**説明:** PIM は、PIM Assert プロセスで使用する特定のマルチキャスト転送エントリーの優先ローカル・ユニキャスト・ルーティング・メトリックを判別しようとしています。ユニキャスト・ルーティング・エントリーの経路タイプは、PIM が認知しているどのタイプでもなく、優先ルーティング・メトリックは 0x7FFFFFFF であったために、ルーティング・メトリックは不明の経路に適用される 0xFFFFFFFF に設定されました。その結果、通常このルーターは Assert プロセスを失い、その oif をマルチキャスト転送キャッシュ・エントリーから除去することになります。

**原因:** この原因は通常、実行しているユニキャスト・ルーティング・プロトコルまたはその他の機能がユニキャスト転送テーブルを更新し、ユニキャスト・エントリーに PIM が認知しない経路タイプのマークを付けたことにあります。これは、新規のプロトコルをルーターに追加し、それをサポートするように PIM を更新しなかった場合のみ起きるはずです。PIM は新規の機能をサポートできなくなるか、あるいは新しいバージョンの PIM が必要になります。

**処置:** サポート技術員に連絡して、問題を説明してください。すべてのユニキャスト・ルーティング・プロトコルおよび転送テーブルの変更メカニズムが PIM によってサポートされている場合は、新しいバージョンが必要です。

---

### PIM6.032

**レベル:** P-TRACE

**短構文:** PIM6.032 Rcv Pim Control Msg for net *network ID*

**長構文:** PIM6.032 Received Pim Ctl Message for net *network ID*, which is not ready

**説明:** インターフェースあての PIM 制御メッセージを受信しましたが、インターフェースはメッセージを受信する準備が整っていません。制御メッセージは廃棄されます。

---

### PIM6.033

**レベル:** C-TRACE

**短構文:** PIM6.033 PIM states have been cleared

**長構文:** PIM6.033 The PIM state database has been cleared

**説明:** PIM 状態データベースは、すべての状態を消去しました。これが起こる最も一般的な状況は、ユニキャスト・ルーティングの更新のために、マルチキャスト転送キャッシュが消去されてしまった場合です。

---

### PIM6.034

**レベル:** U-TRACE

**短構文:** PIM6.034 Group address not multicast, addr = *IP6\_group*

**長構文:** PIM6.034 An invalid group address was encountered, address = *IP6\_group*

**説明:** PIM 制御メッセージの解析中に、有効なマルチキャスト・アドレスとは認められないグループ・アドレスが検出されました。構文解析プログラムは、このアドレスの処理は継続せずに無視しましたが、パケットのその他の解析は続行しました。

---

### PIM6.035

**レベル:** U-TRACE

**短構文:** PIM6.035 jp rcv pkt len err, len *error\_length* vif *PIM6\_interface*

**長構文:** PIM6.035 join/prune parser error due to bad PIM packet counts, length = *error\_length* vif = *PIM6\_interface*

**説明:** 受信した PIM Join/Prune メッセージの解析中に、構文解析プログラムは長さエラーを検出しました。これは、PIM パケット自体の group、join、および prune カウント・フィールドが間違っており、パケットに含まれているグループおよび発信元アドレスの数を誤って報告している場合に起こります。

---

### PIM6.036

**レベル:** C-TRACE

**短構文:** PIM6.036 New JOIN state src *IP6\_source* grp *IP6\_group* vif *PIM6\_Interface*

**長構文:** PIM6.036 A new JOIN state has been created, source = *IP6\_source*, group = *IP6\_group*, vif = *PIM6\_Interface*

**説明:** 新規の PIM PRUNE 状態が作成され、状態デー

データベースに入れられました。

---

#### PIM6.037

レベル: C-TRACE

短構文: PIM6.037 JOIN state removed src *IP6\_source*  
grp *IP6\_group* vif *PIM6\_Interface*

長構文: PIM6.037 A JOIN was deleted from the state database, source = *IP6\_source*, group = *IP6\_group*, vif = *PIM6\_Interface*

説明: JOIN 状態は状態データベースから正常に除去され、すべての該当するプログラム待ち行列から除去されました。この JOIN 状態はもう存在しません。

---

#### PIM6.038

レベル: U-TRACE

短構文: PIM6.038 No PIM vif, *IP6\_source* ->  
*IP6\_destination*, net *network ID*

長構文: PIM6.038 Could not find a PIM virtual interface, *IP6\_source* -> *IP6\_destination* net *network ID*

説明: PIM 制御メッセージを受信しましたが、PIM バーチャル・インターフェースにマップできませんでした。パケットは廃棄されます。

---

#### PIM6.039

レベル: UI-ERROR

短構文: PIM6.039 No mem for rpf q

長構文: PIM6.039 Could not allocate memory for building an rpf neighbor block.

説明: 逆パス転送近隣制御ブロックを作成しているときに、記憶域の割り振りに失敗しました。

原因: システムの資源が不足しており、システムの記憶域が使い尽くされています。

処置: 追加メモリーを導入するか、ルーターをアップグレードしてください。

---

#### PIM6.040

レベル: U-TRACE

短構文: PIM6.040 Rcv Assert for mfcache entry, no ifc, grp *IP6\_group*, src *IP6\_source*, fip *fip\_index*

長構文: PIM6.040 Received Assert on interface not in mfcache entry, Group *IP6\_group*, Source *IP6\_source*, fip *fip\_index*

説明: 指摘されているマルチキャスト転送インターフェース・インデックスで PIM Assert メッセージを受信

しましたが、このインターフェースは対応する mfcache エントリーに存在しません。

---

#### PIM6.041

レベル: P-TRACE

短構文: PIM6.041 Rcv Assert for unk src, grp *IP6\_group*, src *IP6\_source*, fip = *fip\_index*

長構文: PIM6.041 Received an Assert for unknown source, Group *IP6\_group*, Source *IP6\_source*, fip = *fip\_index*

説明: 指摘されているマルチキャスト転送インターフェース・インデックスで PIM Assert メッセージを受信しましたが、ユニキャスト・ルーティング・テーブル内で発信元アドレスを見付けることができませんでした。

---

#### PIM6.042

レベル: U-TRACE

短構文: PIM6.042 Discard packet due to bad addr, family = *encode\_family*, type = *encode\_type*

長構文: PIM6.042 Packet was discarded due to a bad address, family = *encode\_family*, type = *encode\_type*

説明: PIM メッセージ・パケットを受信しましたが、符号化アドレスがサポートされないファミリーまたはタイプを持っていました。パケットは廃棄されました。

---

#### PIM6.043

レベル: U-TRACE

短構文: PIM6.043 Bad addr, ignored, family = *encode\_family*, type = *encode\_type*

長構文: PIM6.043 Address in packet ignored due to bad address, family = *encode\_family*, type = *encode\_type*

説明: PIM 制御メッセージの解析中に、サポートされないファミリーまたはタイプを持つ符号化アドレスが検出されました。このアドレスの処理は継続されずに無視されましたが、パケットのその他の解析は続行されました。

---

#### PIM6.044

レベル: U-TRACE

短構文: PIM6.044 Ignored aggregated addr, msklen = *mask\_length*

長構文: PIM6.044 Ignored address with mask length less than maximum, mask length = *mask\_length*

説明: PIM 制御メッセージの解析中に、マスク長がア



ドレス最大値より短い符号化アドレスが検出されました。これは集約を示しており、集約は PIM によってサポートされないため、このアドレスは無視されました。

---

#### **PIM6.045**

**レベル:** U-TRACE

**短構文:** PIM6.045 Net *net\_index* not pt-to-pt, reset hello to *hello\_period* sec

**長構文:** PIM6.045 The net *net\_index* is not a point-to-point, reset hello period to *hello\_period* seconds

**説明:** PIM インターフェースの構成情報の読み取り時に、隣接の確立後に Hello メッセージの伝送を抑制する Hello 期間が指定されていないことが検出されました。これは、ポイント・ポイント・インターフェースの場合にのみ使用されます。設定するインターフェースがポイント・ポイントでない場合、Hello 期間はデフォルトの Hello 期間に変更されます。





---

## 第96章 QLLC レイヤー (X25 上)

この章では、QLLC レイヤー (X25 上) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### QLLC.001

レベル: C-INFO

短構文: QLLC.001 reset pkt rcvd: nt *cep* st lcn ev

長構文: QLLC.001 reset pkt rcvd: network *cep* state lcn event

説明: リセット・パケットを受信しました。

---

### QLLC.002

レベル: C-INFO

短構文: QLLC.002 reset cnf pkt rcvd: nt *cep* st lcn ev

長構文: QLLC.002 reset cnf pkt rcvd: network *cep* state lcn event

説明: リセット構成パケットを受信しました。

---

### QLLC.003

レベル: C-INFO

短構文: QLLC.003 ckt busy cleared: nt *cep* st lcn ev

長構文: QLLC.003 ckt busy cleared: network *cep* state lcn event

説明: ckt busy がクリアされました。

---

### QLLC.004

レベル: C-INFO

短構文: QLLC.004 ckt busy establish: nt *cep* st lcn ev

長構文: QLLC.004 ckt busy establish: network *cep* state lcn event

説明: ckt busy を設定

---

### QLLC.005

レベル: C-INFO

短構文: QLLC.005 QTEST\_RSP timeout exceeded: nt *cep* st lcn ev

長構文: QLLC.005 QTEST\_RSP timeout exceeded: network *cep* state lcn event

説明: QTEST\_RSP タイムアウトを超過しました。

---

---

### QLLC.006

レベル: C-INFO

短構文: QLLC.006 QXID\_RSP timeout exceeded: nt *cep* st lcn ev

長構文: QLLC.006 QXID\_RSP timeout exceeded: network *cep* state lcn event

説明: QXID\_RSP タイムアウトを超過しました。

---

### QLLC.007

レベル: C-INFO

短構文: QLLC.007 QDISCONTACT timeout exceeded: nt *cep* st lcn ev

長構文: QLLC.007 QDISCONTACT timeout exceeded: network *cep* state lcn event

説明: QDISCONTACT タイムアウトを超過しました。

---

### QLLC.008

レベル: C-INFO

短構文: QLLC.008 QCONTACT timeout exceeded: nt *cep* st lcn ev

長構文: QLLC.008 QCONTACT timeout exceeded: network *cep* state lcn event

説明: QCONTACT タイムアウトを超過しました。

---

### QLLC.009

レベル: C-INFO

短構文: QLLC.009 PVC CIRCUIT ACTIVE: nt *cep* st lcn ev

長構文: QLLC.009 PVC CIRCUIT ACTIVE: network *cep* state lcn event

説明: PVC CIRCUIT ACTIVE。cep->port->hp\_handle を検査すると役立つ場合があります。

---

---

**QLLC.010**

レベル: C-INFO

短構文: QLLC.010 PLC changed to down: nt *cep* st lcn ev

長構文: QLLC.010 PLC changed to down: network *cep* state lcn event

説明: PLC がダウンに変更されました。

---

**QLLC.011**

レベル: C-INFO

短構文: QLLC.011 Q\_CONTACT\_RCV: nt *cep* st lcn ev

長構文: QLLC.011 Q\_CONTACT\_RCV: network *cep* state lcn event

説明: Q\_CONTACT\_RCV

---

**QLLC.012**

レベル: C-INFO

短構文: QLLC.012 Q\_EXCPTN - UNEXP\_CFIELD\_RCVD: nt *cep* st lcn ev

長構文: QLLC.012 Q\_EXCPTN - UNEXP\_CFIELD\_RCVD: network *cep* state lcn event

説明: Q\_EXCPTN - UNEXP\_CFIELD\_RCVD

---

**QLLC.013**

レベル: C-INFO

短構文: QLLC.013 Q\_CONTACT\_CNF: nt *cep* st lcn ev

長構文: QLLC.013 Q\_CONTACT\_CNF: network *cep* state lcn event

説明: Q\_CONTACT\_CNF

---

**QLLC.014**

レベル: C-INFO

短構文: QLLC.014 Q\_DISCONTACT\_RCV: nt *cep* st lcn ev

長構文: QLLC.014 Q\_DISCONTACT\_RCV: network *cep* state lcn event

説明: Q\_DISCONTACT\_RCV

---

---

**QLLC.015**

レベル: C-INFO

短構文: QLLC.015 Q\_DISCONTACT\_CNF: nt *cep* st lcn ev

長構文: QLLC.015 Q\_DISCONTACT\_CNF: network *cep* state lcn event

説明: Q\_DISCONTACT\_CNF

---

**QLLC.016**

レベル: C-INFO

短構文: QLLC.016 Q\_CIRCUIT\_BUSY: nt *cep* st lcn ev

長構文: QLLC.016 Q\_CIRCUIT\_BUSY: network *cep* state lcn event

説明: Q\_CIRCUIT\_BUSY

---

**QLLC.017**

レベル: C-INFO

短構文: QLLC.017 Q\_XID\_CMD\_RCV: nt *cep* st lcn ev

長構文: QLLC.017 Q\_XID\_CMD\_RCV: network *cep* state lcn event

説明: Q\_XID\_CMD\_RCV

---

**QLLC.018**

レベル: C-INFO

短構文: QLLC.018 Q\_XID\_RSP\_RCV: nt *cep* st lcn ev

長構文: QLLC.018 Q\_XID\_RSP\_RCV: network *cep* state lcn event

説明: Q\_XID\_RSP\_RCV

---

**QLLC.019**

レベル: C-INFO

短構文: QLLC.019 b001 plc chg to dwn. nt

長構文: QLLC.019 b001 plc change to down network

説明: b001 plc がダウンに変更されました。

---

**QLLC.020**

レベル: C-INFO

短構文: QLLC.020 b002 plc ckt bsy chg: nt *cep* lcn cst st

長構文: QLLC.020 b002 plc ckt busy change: network cep for lcn cep state state

説明: b002 plc ckt busy が変更されました。

---

#### QLLC.021

レベル: C-INFO

短構文: QLLC.021 b003 clear\_reset pkt rcvd: nt cep lcn cst st

長構文: QLLC.021 b003 clear\_reset pkt rcvd: network cep lcn cep state state

説明: b003 clear\_reset pkt を受信しました。

---

#### QLLC.022

レベル: C-INFO

短構文: QLLC.022 b004 q\_pkt rcvd: nt qa\_field lcn cst qa-field

長構文: QLLC.022 b004 q\_pkt rcvd: network qa\_field lcn cep state qa\_field

説明: b004 q\_pkt を受信しました。

---

#### QLLC.023

レベル: C-INFO

短構文: QLLC.023 b004 q\_pkt rcvd: nt qc\_field lcn cst qc-field

長構文: QLLC.023 b004 q\_pkt rcvd: network qc\_field lcn cep state qc\_field

説明: c\_field

---

#### QLLC.024

レベル: C-INFO

短構文: QLLC.024 b004 user data pkt rcvd: nt cep lcn st

長構文: QLLC.024 b004 user data pkt rcvd: network cep lcn state

説明: b004 ユーザー・データ・パケットを受信しました。

---

#### QLLC.025

レベル: C-INFO

短構文: QLLC.025 b005 ckt active: nt cep lcn st

長構文: QLLC.025 b005 ckt active: network cep lcn state

説明: b005 ckt がアクティブ

---

#### QLLC.026

レベル: C-INFO

短構文: QLLC.026 b006 plc change to up: nt

長構文: QLLC.026 b006 plc change to up: network

説明: b006 plc がアップに変更されました。

---

#### QLLC.027

レベル: C-INFO

短構文: QLLC.027 b019 link busy change: nt link\_status lcn stat

長構文: QLLC.027 b019 link busy change: network link\_status link status

説明: b019 link busy が変更されました。

---

#### QLLC.028

レベル: C-INFO

短構文: QLLC.028 b020 Rx Incoming call: nt peer lcn st

長構文: QLLC.028 b020 Rx Incoming call: nt peer lcn st

説明: b020 Rx 着信コール

---

#### QLLC.029

レベル: C-INFO

短構文: QLLC.029 b022 get qdata: nt peer lcn st tsk

長構文: QLLC.029 b022\_get\_qdata\_pkt: network peer lcn state transmit task

説明: b019 Rxx コールが接続されました。

---

#### QLLC.030

レベル: C-INFO

短構文: QLLC.030 b023 rev pkt: nt tx\_task lcn st

長構文: QLLC.030 b023\_rev\_pkt\_state\_dr : network tx\_task lcn state

説明: b023 はパケット状態 DR を受信します。

---

---

**QLLC.031**

レベル: C-INFO

短構文: QLLC.031 b023 pkt rcvd state DR: nt *tx\_task* lcn st

長構文: QLLC.031 b023 pkt rcvd state DR: network *tx\_task* lcn state

説明: b023 パケットは状態 DR を受信しました。

---

**QLLC.032**

レベル: C-INFO

短構文: QLLC.032 b024 crt rst or clr pkt: nt *cep* lcn st code

長構文: QLLC.032 b024 create reset or clear pkt: network *cep* lcn state code

説明: b024 はリセットまたは解放パケットを作成します。

---

**QLLC.033**

レベル: C-INFO

短構文: QLLC.033 s003 open port: nt *prtcl* prtcl

長構文: QLLC.033 s003 open port: network *prtcl* protocol

説明: s003 オープン・ポート: プロトコル

---

**QLLC.034**

レベル: C-INFO

短構文: QLLC.034 s003 close port: nt *protocol* prtcl

長構文: QLLC.034 s003 close port: network *protocol* protocol

説明: s003 クローズ・ポート

---

**QLLC.035**

レベル: C-INFO

短構文: QLLC.035 s005 register station: nt *lcn* prtcl lcn hndl

長構文: QLLC.035 s005 register station: network *lcn* protocol lcn handle

説明: s005 登録ステーション

---

---

**QLLC.036**

レベル: C-INFO

短構文: QLLC.036 s006 unregister station: nt *cep* lcn

長構文: QLLC.036 s006 unregister station: network *cep* lcn

説明: s006 登録解除ステーション

---

**QLLC.037**

レベル: C-INFO

短構文: QLLC.037 s007 call req: nt *cep* prtcl

長構文: QLLC.037 s007 call req: network *cep* protocol

説明: s007 コール要求

---

**QLLC.038**

レベル: C-INFO

短構文: QLLC.038 s008 clr call req: nt *cep* lcn code

長構文: QLLC.038 s008 clr call req: network *cep* lcn code

説明: s011 データ要求プリミティブ

---

**QLLC.039**

レベル: C-INFO

短構文: QLLC.039 s009 xid req: nt *cep* lcn state

長構文: QLLC.039 s009 xid request : network *cep* lcn cep state :

説明: s009 xid 要求プリミティブ

---

**QLLC.040**

レベル: C-INFO

短構文: QLLC.040 s011 data req: nt *cep* lcn state

長構文: QLLC.040 s011 data req: network *cep* lcn cep state

説明: s011 データ要求プリミティブ

---

**QLLC.041**

レベル: C-INFO

短構文: QLLC.041 s012 xid resp: nt *cep* lcn modifier

長構文: QLLC.041 s012 xid response : nt *cep* lcn modifier

説明: s017 q\_rsp タイマー満了

---

---

**QLLC.042**

レベル: C-INFO

短構文: QLLC.042 s013 tst resp: nt *cep* lcn state modifier

長構文: QLLC.042 s013 tst resp: nt *cep* lcn state modifier

説明: s013 テスト応答

---

**QLLC.043**

レベル: C-INFO

短構文: QLLC.043 s016 ckt bsy req: nt *cep* lcn state modifier

長構文: QLLC.043 s016 ckt bsy req: nt *cep* lcn state modifier

説明: s016 回線ビジー要求

---

**QLLC.044**

レベル: C-INFO

短構文: QLLC.044 s017 rsp tmr expr: nt *cep* lcn state

長構文: QLLC.044 s017 q response timer expired: network *cep* lcn state

説明: s022 接続要求プリミティブ

---

**QLLC.045**

レベル: C-INFO

短構文: QLLC.045 s018 set stn role: nt *cep* lcn state modifier

長構文: QLLC.045 s018 set station role : network *cep* lcn state modifier

説明: s018 ステーション役割設定

---

**QLLC.046**

レベル: C-INFO

短構文: QLLC.046 s019 inc call resp: nt *cep* lcn hnd modifier

長構文: QLLC.046 s019 incoming call response: network *cep* lcn handle modifier

説明: s019 着信コール応答

---

---

**QLLC.047**

レベル: C-INFO

短構文: QLLC.047 s029 rst req: nt *cep* lcn state modifier

長構文: QLLC.047 s029 reset request: network *cep* lcn state modifier

説明: s029 リセット要求

---

**QLLC.048**

レベル: C-INFO

短構文: QLLC.048 s022 cont req: nt *cep* lcn state

長構文: QLLC.048 s022 contact request: network *cep* lcn state

説明: s022 接続要求

---

**QLLC.049**

レベル: C-INFO

短構文: QLLC.049 s023 cont resp: nt *cep* lcn state modifier

長構文: QLLC.049 s023 contact response: network *cep* lcn state modifier

説明: s023 接続応答

---

**QLLC.050**

レベル: C-INFO

短構文: QLLC.050 s024 disc req prim: nt *cep* lcn state

長構文: QLLC.050 s024 discontact request prim: nt *cep* lcn state

説明: s024 切断要求プリミティブ

---

**QLLC.051**

レベル: C-INFO

短構文: QLLC.051 s025 disc resp prim: nt *cep* lcn state

長構文: QLLC.051 s025 discontact response prim: nt *cep* lcn state

説明: s025 切断応答プリミティブ

---

**QLLC.052**

レベル: C-INFO

短構文: QLLC.052 s027 strt q\_rsp tmr: nt *cep* lcn state



長構文: QLLC.052 start q\_rsp timer: network *cep* lcn state

説明: start q\_rsp タイマー

---

#### **QLLC.053**

レベル: C-INFO

短構文: QLLC.053 s028 chg hnd prim: nt *cep* lcn state hndl

長構文: QLLC.053 s028 change handle prim: network *cep* lcn state h\_handle

説明: s028 変更処理プリミティブ

---

#### **QLLC.054**

レベル: C-INFO

短構文: QLLC.054 s029 abort call: nt *cep* lcn state

長構文: QLLC.054 s029 abort call: network *cep* lcn state

説明: s029 コールの強制終了

---

## 第97章 ISDN Q.931 シグナル・レイヤー 3 (Q931)

この章では、ISDN Q.931 シグナル・レイヤー 3 (Q931) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### Q931.001

レベル: U-INFO

短構文: Q931.001 SETUP recvd CRV (0x *crv*) from ( *cgn*) to ( *cdn*) Channel (B *chan*) bw *bw* kbps on isdn/ *intf* nt *net*

長構文: Q931.001 Set up msg received from the switch with Call reference value (0x *crv*) from originator *cgn* to destination *cdn* on Channel number *chan* speed *bw* kbps on isdn *intf* network *net*

説明: セットアップ・メッセージを受信しました。データ接続の準備を整えています。

処置: なし。

---

### Q931.002

レベル: U-INFO

短構文: Q931.002 SETUP sent CRV (0x *crv*) from ( *cgn*) to ( *cdn*) Channel (B *chan*) bw *bw* kbps on isdn/ *intf* nt *net*

長構文: Q931.002 Set up msg sent to the switch with Call reference value (0x *crv*) from originator *cgn* to destination *cdn* on Channel number *chan* bw *bw* on isdn *intf* network *net*

説明: セットアップ・メッセージを送信しました。データ接続の準備を整えています。

処置: なし。

---

### Q931.003

レベル: U-INFO

短構文: Q931.003 ALERT sent CRV (0x *crv*) on isdn/ *intf* nt *net*

長構文: Q931.003 Alert msg sent to the switch with Call reference value (0x *crv*) on ISDN/ *intf* network *net*

説明: アラート・メッセージを送信しました。構成を検査して、コールを受け入れることができるかどうかを調べてください。

処置: なし。

---

### Q931.004

レベル: U-INFO

短構文: Q931.004 CONNECT sent CRV (0x *crv*) on isdn/ *intf* nt *net*

長構文: Q931.004 Connect msg sent to the switch with Call reference value (0x *crv*) on isdn/ *intf* network *net*

説明: 接続メッセージを送信しました。B チャネル通信を開始します。

処置: なし。

---

### Q931.008

レベル: U-INFO

短構文: Q931.008 State change CRV (0x *crv*) connid *connid* from *oldstate* to *newstate* on isdn/ *intf* nt *net*

長構文: Q931.008 Q931 state changed for Call reference value (0x *crv*), connid *connid* from *oldstate* to *newstate* on isdn/ *intf* network *net*

説明: チャネルの状態が変更されました。

処置: なし。

---

### Q931.009

レベル: U-INFO

短構文: Q931.009 RESTART rcv CRV (0x *crv*) Ind[0]=0x *ind* channel= *chan* on isdn/ *intf* nt *net*

長構文: Q931.009 Restart msg rcv from the switch with Call reference value (0x *crv*) ind *ind* Chan *chan* on isdn *intf* network *net*

説明: リスタート・メッセージを受信しました。B チャネル通信を終了します。

処置: なし。

---

### Q931.018

レベル: U-INFO

短構文: Q931.018 Incoming SETUP rejected DNO mismatch CDN ( *cgn*) isdn/ *intf* nt *net*

長構文: Q931.018 Set up msg received from the switch

did not have the right CDN (0x *cgn*) on isdn *intf*  
network *net*

説明: セットアップ・メッセージを受信しましたが、  
互換性のない DN0 です。

処置: なし。

---

#### Q931.019

レベル: U-INFO

短構文: Q931.019 SETUP recvd CRV (0x *crv*) from (  
*cgn*)and rejected - incompatible BC ( *bc1 bc2 bc3 bc4*)  
on nt isdn/ *intf* nt *net*

長構文: Q931.019 Set up msg received from the switch  
with Call reference value (0x *crv*) from *cgn* with  
incompatible bearer capability *bc1 bc2 bc3 bc4* on isdn/  
*intf* network *net*

説明: セットアップ・メッセージを受信しましたが、  
伝達能力に互換性がないために拒否されました。

処置: なし。

---

#### Q931.020

レベル: U-INFO

短構文: Q931.020 Clear Channel B *crv* send msg (0x  
*cgn*) *crv* (0x *bc*) cause (0x *intf*) on isdn/ nt

長構文: Q931.020 Send a DISC/REL/REL COMP *crv* to  
call on chan *cgn* up msg to the switch with Call  
reference value (0x *bc*) cause *intf* on isdn/ network

説明: セットアップ・メッセージを受信しましたが、  
伝達能力に互換性がないために拒否されました。

処置: なし。

---

#### Panic q931ym

短構文: YDC ISDN: mem alloc fld

説明: YDC ISDN ネットワーク・ハンドラーは、初期  
化フェーズで十分な記憶域を割り振ることができません  
でした。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

## 第98章 RED

本章では RED メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### RED.001

レベル: C-INFO

短構文: RED.001 *els*.

長構文: RED.001 ELS message, *els*

説明: デフォルト RED ELS メッセージ

---

### RED.002

レベル: U-INFO

短構文: RED.002 Interface net *net\_number* initialized

長構文: RED.002 Interface is initializaed for RED, net = *net\_number*

説明: インターフェースは機能しています。

---

### RED.003

レベル: U-INFO

短構文: RED.003 RED initialization on net *net\_number*, PPP/FR configured

長構文: RED.003 RED initialization on net *net\_number*, PPP/FR configured

説明: インターフェースがサポートされていません。

---

### RED.004

レベル: U-INFO

短構文: RED.004 RED pkt drop nt *net\_number*, int *queue/size*, *qSize*

長構文: RED.004 Random Early Detection packet drop net *net\_number*, interface *queue/size*, queue size

説明: RED は除去するパケットをマークしました。

---

### RED.005

レベル: U-INFO

短構文: RED.005 RED stat *qSize net\_number*., *avgQ queue*, *pktCount size*,

長構文: RED.005 Random Early Detection stat queue size *net\_number*., average queue *queue*, packet count *size*,

説明: RED 統計

---

### RED.006

レベル: U-INFO

短構文: RED.006 RED init on *net\_name*.; net *net*, *n\_maxop number*., *avg\_init maximum*, *minT queue*., *maxT init*

長構文: RED.006 Random Early Detection initialization for net *net\_name*., net number *net*, max queue *number*., init avg queue *maximum*, minimum threshold *queue*., maximum threshold *init*

説明: RED 初期化



---

## 第99章 IPv6 用の RIP (RIP6)

この章では、IPv6 用の RIP (RIP6) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### RIP6.001

レベル: UE-ERROR

短構文: RIP6.001 bd ver *version\_number* frm hst *source\_IPV6\_address*

長構文: RIP6.001 bad version *version\_number* received from host *source\_IPV6\_address*

説明: RIP6 ヘッダーのバージョン・フィールドが、現行バージョンに一致していませんでした。

原因: これはおそらく、発信元ホストのエラーが原因です。

処置: 発信元ホストの製造元に連絡して、問題を報告してください。

---

### RIP6.002

レベル: U-TRACE

短構文: RIP6.002 Received RIP6 Request *source\_ipv6\_address* -> *dest\_ipv6\_address* on nt *Network ID*

長構文: RIP6.002 Request received from host *source\_ipv6\_address* to *dest\_ipv6\_address* network *Network ID*

説明: RIP6 ルーティング・テーブル要求を、別のホストから受信しました。ルーティング・テーブル更新が、そのホストに送信されます。

---

### RIP6.003

レベル: C-TRACE

短構文: RIP6.003 Received RIP6 Resp *source\_ipv6\_address* -> *dest\_ipv6\_address* on nt *Network ID*

長構文: RIP6.003 response received from host *source\_ipv6\_address* to *dest\_ipv6\_address* network *Network ID*

説明: RIP6 ルーティング・テーブル更新を受信しました。特にルーティング・テーブルが大きい場合、ルーティング・テーブル全体を転送するために複数の応答パケットが必要になる場合があります。

---

### RIP6.004

レベル: UE\_ERROR

短構文: RIP6.004 rip6\_pkt *source\_ipv6\_address* -> *dest\_ipv6\_address* on nt *Network ID*

長構文: RIP6.004 Bad RIP6 received from host *source\_ipv6\_address* to *dest\_ipv6\_address* network *Network ID*

説明: RIP6 パケットは、要求または応答のいずれの場合も、少なくとも 1 つの RTE を持っている必要があります。パケットは廃棄されます。

---

### RIP6.005

レベル: UE\_ERROR

短構文: RIP6.005 rcv RIP6 update net *Network ID* from *src\_addr* bad port *srcport*

長構文: RIP6.005 receiving RIP6 update on net *Network ID* from *src\_addr* with bad UDP6 source port *srcport*

説明: ルーターは無効な UDP6 発信元ポートを含んでいる RIP6 更新/応答を受信しました。発信元ポートは 521 でなければなりません。

---

### RIP6.006

レベル: UE-ERROR

短構文: RIP6.006 bd cmd *command\_code* frm *source\_IP\_address*

長構文: RIP6.006 bad command code *command\_code* received from host *source\_IP\_address*

説明: 認知されないコマンド・コードを含んでいる RIP6 メッセージを受信しました。

原因: 発信元ホストのソフトウェアにエラーがあるか、古いのが原因と考えられます。

処置: 発信元ホストの製造元に連絡して、問題を報告してください。

---

### RIP6.007

レベル: UE\_ERROR

短構文: RIP6.007 rcv RIP6 update net *Network ID* from



*src\_addr* bad\_dest\_address *dst\_addr*

**長構文:** RIP6.007 receiving RIP6 update on net *Network ID* from *src\_addr* with bad dest. address *dst\_addr*

**説明:** ルーターは無効なあて先アドレスを含んでいる RIP6 更新/応答を受信しています。あて先アドレスは、このインターフェースのローカル・アドレスまたはマルチキャスト FF02::9 のいずれかでなければなりません。

---

#### RIP6.008

**レベル:** UE\_ERROR

**短構文:** RIP6.008 rcv RIP6 update net *Network ID* from *src\_addr* bad rte's prefix *prefix*

**長構文:** RIP6.008 receiving RIP6 update on net *Network ID* from *src\_addr* with bad rte's prefix6 *prefix*

**説明:** ルーターは無効な RTE プレフィックスを含んでいる RIP6 更新/応答を受信しています。RTE のプレフィックスは、マルチキャスト・アドレスまたはリンク・ローカル・アドレスであってはなりません。

---

#### RIP6.009

**レベル:** UE\_ERROR

**短構文:** RIP6.009 rcv RIP6 update net *Network ID* from *src\_addr* bad rte's metric *metric*

**長構文:** RIP6.009 receiving RIP6 update on net *Network ID* from *src\_addr* with bad rte's metric *metric*

**説明:** ルーターは無効な RTE メトリックを含んでいる RIP6 更新/応答を受信しています。RTE のメトリックは 1 ~ 16 (両端の値を含む) の範囲内でなければなりません。

---

#### RIP6.010

**レベル:** U-INFO

**短構文:** RIP6.010 Net *destination\_IP\_address* unrch via *next\_hop\_IP\_address*, del

**長構文:** RIP6.010 network *destination\_IP\_address* now unreachable via router *next\_hop\_IP\_address*, deleted

**説明:** 以前にあて先ネットワークへのネクスト・ホップとしてリストされていたルーターから着信した RIP6 更新が、あて先が到達不可能 (つまり、メトリックが 'infinity') であることを公示しています。そのあて先への RIP6 経路は削除されます。

---

#### RIP6.011

**レベル:** U-INFO

**短構文:** RIP6.011 Update net *destination\_IP\_network* hps *metric* via *next\_hop\_IP\_address*

**長構文:** RIP6.011 update route to net *destination\_IP\_network* at metric *metric* hops via router *next\_hop\_IP\_address*

**説明:** 指定のあて先への新しい (より良い) 経路が、RIP6 を介して確認され、導入されました。

---

#### RIP6.012

**レベル:** C-TRACE

**短構文:** RIP6.012 Sending RIP6 Request *source\_ipv6\_address* -> *dest\_ipv6\_address* on nt *Network ID*

**長構文:** RIP6.012 Sending RIP6 multicast Request from *source\_ipv6\_address* to *dest\_ipv6\_address* network *Network ID*

**説明:** ルーターは、アップ状態になったばかりの各インターフェースからの RIP6 要求を送信中です。

---

#### RIP6.013

**レベル:** C-TRACE

**短構文:** RIP6.013 Sending RIP6: *source\_IP\_address* -> *destination\_IP\_address* on net *Network ID* *packet\_count* pkts *number\_of\_routes* rtes

**長構文:** RIP6.013 Sending RIP6 from *source\_IP\_address* to *destination\_IP\_address* on net *Network ID* in *packet\_count* packets with *number\_of\_routes* route enties

**説明:** ルーターは、指定されたアドレスに RIP6 更新 (タイマーによって、またはルーティング・テーブルの変更によって起動された) をマルチキャストしています。

---

#### RIP6.014

**レベル:** C-TRACE

**短構文:** RIP6.014 Sending RIP6: *source\_IP\_address* -> *destination\_IP\_address* on net *Network ID* *packet\_count* pkts *number\_of\_routes* rtes

**長構文:** RIP6.014 Sending RIP6 from *source\_IP\_address* to *destination\_IP\_address* on net *Network ID* in *packet\_count* packets with *number\_of\_routes* route enties

**説明:** ルーターは指定のアドレスに RIP6 更新 (別のホストからの要求によって起動された) を送信しています。

---

### RIP6.015

レベル: CI-ERROR

短構文: RIP6.015 cnt all pkt

長構文: RIP6.015 cannot allocate packet for transmission

説明: RIP6 が (要求または応答のいずれかの) 伝送のためにパケットを割り振ろうとしたとき、使用可能なパケットがありませんでした。

---

### RIP6.016

レベル: C-TRACE

短構文: RIP6.016 Sending RIP6: *source\_IP\_address* -> *destination\_IP\_address* on net *Network ID*

長構文: RIP6.016 Sending RIP6 from *source\_IP\_address* to *destination\_IP\_address* on net *Network ID*

説明: RIP6 パケット (ルーティング・テーブル更新、またはインターフェースが初めてアップになった場合は、要求) が送信されました。

---

### RIP6.017

レベル: UI-ERROR

短構文: RIP6.017 err *output\_error\_code* sending pkt nt *network*

長構文: RIP6.017 error code *output\_error\_code* when sending packet out net *network*

説明: ルーターに何らかの問題があるために、発信応答パケットが廃棄されました。

原因: この問題の原因としては、出力待ち行列の過負荷やネットワークのダウンなど、さまざまなものが考えられます。

処置: 該当するネットワーク・サブシステムからのログ出力を調べて、さらに詳しい情報を入手してください。

---

### RIP6.018

レベル: U-INFO

短構文: RIP6.018 nt rt to *destination\_IP\_address* tmd out

長構文: RIP6.018 network route to *destination\_IP\_address* timed out

説明: ルーティング・データベース内の他のルーターを経由するあて先への経路は、しばらく通信を受信しないので、到達不可能のマークが付けられているところです。

---

### RIP6.019

レベル: U-INFO

短構文: RIP6.019 nt rt to *destination\_IP\_address* del

長構文: RIP6.019 network route to *destination\_IP\_address* deleted

説明: ルーティング・データベース内の他のルーターを経由するあて先への経路は、しばらく通信を受信しないために到達不可能としてマークが付けられていましたが、現在その経路を削除しています。

---

### Panic rip6udperr

短構文: RIP6 udp port not avail

説明: 別のアプリケーションが前に RIP の UDP ポートに登録済みです。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

### RIP6.020

レベル: UE\_ERROR

短構文: RIP6.020 rcv RIP6 update net *Network ID* from *src\_addr* bad rte's prefix\_len *prefix\_len*

長構文: RIP6.020 receiving RIP6 update on net *Network ID* from *src\_addr* with bad rte prefixlen *prefix\_len*

説明: ルーターは無効な RTE プレフィックス LEN を含んでいる RIP6 更新/応答を受信しています。RTE のプレフィックスは 0 ~ 128 (両端の値を含む) の範囲内でなければなりません。

---

### RIP6.021

レベル: UE\_ERROR

短構文: RIP6.021 rcv RIP6 update net *Network ID* from *src\_addr* bad next hop rte prefix *prefix*

長構文: RIP6.021 receiving RIP6 update on net *Network ID* from *src\_addr* with bad next hop rte prefix6 *prefix*

説明: ルーターは無効なネクスト・ホップ RTE プレフィックスを含んでいる RIP6 更新/応答を受信していません。RTE のプレフィックスは、ゼロまたはリンク・ローカル・アドレスでなければなりません。

---

### RIP6.022

レベル: UE\_ERROR

短構文: RIP6.022 rcv RIP6 update net *Network ID* from *src\_addr* bad next hop rte rtag *rtag*

**長構文:** RIP6.022 receiving RIP6 update on net *Network ID* from *src\_addr* with bad next hop rte route tag *rtag*

**説明:** ルーターは無効なネクスト・ホップ RTE 経路タグを含んでいる RIP6 更新/応答を受信しています。ネクスト・ホップ RTE 経路タグはゼロでなければなりません。

---

#### **RIP6.023**

**レベル:** UE\_ERROR

**短構文:** RIP6.023 rcv RIP6 update net *Network ID* from *src\_addr* bad next hop rte prefix\_len *plen*

**長構文:** RIP6.023 receiving RIP6 update on net *Network ID* from *src\_addr* with bad next hop rte prefix len *plen*

**説明:** ルーターは無効なネクスト・ホップ RTE プレフィックス LEN を含んでいる RIP6 更新/応答を受信しています。

---

#### **RIP6.024**

**レベル:** UE\_ERROR

**短構文:** RIP6.024 rcv RIP6 update on net *Network ID* bad srcaddr *src\_addr*

**長構文:** RIP6.024 receiving RIP6 update on net *Network ID* with bad source address *src\_addr*

**説明:** ルーターは無効な発信元アドレスを含んでいる RIP6 更新/応答を受信しています。発信元アドレスは、リンク・ローカル・アドレスでなければなりません。

---

#### **RIP6.025**

**レベル:** UE\_ERROR

**短構文:** RIP6.025 rcv RIP6 update net *Network ID* from *src\_addr* bad hopcount *hopcount*

**長構文:** RIP6.025 receiving RIP6 update on net *Network ID* from *src\_addr* with bad hopcount *hopcount*

**説明:** ルーターは無効なホップ・カウントを含んでいる RIP6 更新/応答を受信しています。ホップ・カウントは 255 でなければなりません。

---

## 第100章 ルーター FDDL (RTRF)

この章では、ルーター FDDL (RTRF) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### RTRF.001

レベル: UE\_ERROR

短構文: RTRF.001 *message network\_interface*

長構文: RTRF.001 *message network\_interface*

説明: このメッセージは、エラーの詳細を説明しており、エラーは *network\_interface* に関連しています。

---

### RTRF.002

レベル: UE\_ERROR

短構文: RTRF.002 *message*

長構文: RTRF.002 *message*

説明: このメッセージは、エラーの詳細を記述しています。

---

### RTRF.003

レベル: C\_INFO

短構文: RTRF.003 *message IP\_Address/ IP\_Mask* for inbound intf *network\_interface*

長構文: RTRF.003 *message IP\_Address/ IP\_Mask* for inbound network interface *network\_interface*

説明: このメッセージは、*network\_interface* 上のインバウンド・トラフィックに関連する *IP\_Address* および *IP\_Mask* についての情報を記述しています。

---

### RTRF.004

レベル: C\_INFO

短構文: RTRF.004 *message IPX\_NetAddress/ IPX\_NodeAddress* for inbound intf *network\_interface*

長構文: RTRF.004 *message IPX\_NetAddress/ IPX\_NodeAddress* for inbound network interface *network\_interface*

説明: このメッセージは、*network\_interface* 上のインバウンド・トラフィックに関連する *IPX\_NetAddress* および *IPX\_NodeAddress* についての情報を記述しています。

---

### RTRF.005

レベル: C\_INFO

短構文: RTRF.005 *message IPX\_NetAddress* for inbound intf *network\_interface*

長構文: RTRF.005 *message IPX\_NetAddress* for inbound network interface *network\_interface*

説明: このメッセージは、*network\_interface* 上のインバウンド・トラフィックに関連する *IPX\_NetAddress* についての情報を記述しています。

---

### RTRF.006

レベル: UI\_ERROR

短構文: RTRF.006 *message*

長構文: RTRF.006 *message*

説明: 異常な内部エラーが発生しました。詳細は、メッセージで説明されています。

---

### RTRF.007

レベル: C\_INFO

短構文: RTRF.007 *message IP\_Address/ IP\_Mask*

長構文: RTRF.007 *message IP\_Address/ IP\_Mask*

説明: このメッセージは、*IP\_Address* および *IP\_Mask* についての情報を記述しています。

---

### RTRF.008

レベル: C\_INFO

短構文: RTRF.008 *message IPX\_NetAddress*

長構文: RTRF.008 *message IPX\_NetAddress*

説明: このメッセージは、*IPX\_NetAddress* についての情報を記述しています。

---

### RTRF.009

レベル: C\_INFO

短構文: RTRF.009 *message*

長構文: RTRF.009 *message*

説明: このメッセージは、エラーの詳細を記述しています。

---

#### RTRF.010

レベル: U\_INFO

短構文: RTRF.010 *message network\_interface*

長構文: RTRF.010 *message network\_interface*

説明: このメッセージは、事象の詳細を説明しており、事象は *network\_interface* に関連しています。

---

#### RTRF.011

レベル: UI\_ERROR

短構文: RTRF.011 *routine\_name: FDDL msg error, message\_name, net network\_interface*

長構文: RTRF.011 *routine\_name: FDDL message error, message message\_name, for net network\_interface*

説明: 指定のメッセージを下位レベルの API に送信しているときに、エラー条件が返されました。示されたルーチン名は、エラーが検出された場所です。

処置: 処置は必要ありません。このタイプのエラーは、輻輳（ふくそう）または他の事象によって生じた一時的な問題が原因で、メッセージ要求が取り消されるために発生することがあります。

---

#### RTRF.012

レベル: U\_INFO

短構文: RTRF.012 *routine\_name: Route add canceled, message, net network\_interface*

長構文: RTRF.012 *routine\_name: Route add was canceled due to message on net network\_interface*

説明: メッセージで説明された理由により、経路追加要求が取り消されました。

---

#### RTRF.013

レベル: C\_INFO

短構文: RTRF.013 *routine\_name: Route message, Grp IP\_Group, Src IP\_Source, net network\_interface, outputs oif\_number*

長構文: RTRF.013 *routine\_name: Route message, Group IP\_Group, Source IP\_Source, net network\_interface, number of output ifc oif\_number*

説明: 下位レイヤーのデータベースに転送経路が追加または削除されました。表示されたメッセージは、アク

ションが追加または削除のどちらであったかを示します。

---

#### RTRF.014

レベル: C\_INFO

短構文: RTRF.014 *routine\_name: MC Addr IP\_Address message, net network\_interface*

長構文: RTRF.014 *routine\_name: Multicast Address IP\_Address has been message, net network\_interface*

説明: 登録済みのマルチキャスト・アドレスが、下位レイヤーのデータベースに追加または削除されました。表示されたメッセージは、アクションが追加または削除のどちらであったかを示します。

---

#### RTRF.015

レベル: C\_INFO

短構文: RTRF.015 *routine\_name: MC Fwding message, net network\_interface*

長構文: RTRF.015 *routine\_name: Multicast forwarding has been message for net network\_interface*

説明: FDDL は、指定のネット・インターフェースで IP マルチキャスト転送を使用可能または使用不可にして、下位レイヤー・データベースへのマルチキャスト転送の状況を変更しました。

---

#### RTRF.016

レベル: C\_INFO

短構文: RTRF.016 *routine\_name: indication\_type Indication received, net network\_interface*

長構文: RTRF.016 *routine\_name: indication\_type Indication received for net network\_interface*

説明: 指定のネットワーク・インターフェースで FDDL が下位レイヤー API から、示された指示を受信しました。

---

#### RTRF.017

レベル: U\_INFO

短構文: RTRF.017 *routine\_name: net network\_interface is now interface\_status*

長構文: RTRF.017 *routine\_name: network interface network\_interface is now interface\_status*

説明: FDDL が、インターフェース状況の変更の通知を受信しました。新しいインターフェース状況がメッセージで記述されています。

---

**RTRF.018**

レベル: UI\_ERROR

短構文: RTRF.018 *routine\_name*: FDDL *function\_name*  
registration failure

長構文: RTRF.018 *routine\_name*: FDDL *function\_name*  
registration failure

説明: FDDL が下位レイヤー・データベースに登録しようとしていたときに、障害が報告されました。このため、与えられた機能が正常に作動できず、さらに使用できなくなります。

処置: ここでのエラーは、初期化が正しく行なわれなかったことを示しています。下位レイヤーのハードウェアは、そのデータベースに上位レイヤー機能がアクセスするのを許可しません。ハードウェア障害を調査してください。

---

**RTRF.019**

レベル: C\_INFO

短構文: RTRF.019 *message* IPX\_NetAddress/  
IP\_NodeAddress

長構文: RTRF.019 *message* IPX\_NetAddress/  
IP\_NodeAddress

説明: このメッセージは、IPX\_NetAddress/IPX\_NodeAddress の組みについての情報を記述しています。

---

**RTRF.020**

レベル: U\_INFO

短構文: RTRF.020 *function\_name*: placeholder

長構文: RTRF.020 *function\_name*: placeholder

説明: なし。

---

**RTRF.021**

レベル: U\_INFO

短構文: RTRF.021 *function\_name*: placeholder

長構文: RTRF.021 *function\_name*: placeholder

説明: なし。

---

**RTRF.022**

レベル: U\_INFO

短構文: RTRF.022 *function\_name*: placeholder

長構文: RTRF.022 *function\_name*: placeholder

説明: なし。

---

**RTRF.023**

レベル: U\_INFO

短構文: RTRF.023 *function\_name*: placeholder

長構文: RTRF.023 *function\_name*: placeholder

説明: なし。

---

**RTRF.024**

レベル: U\_INFO

短構文: RTRF.024 *function\_name*: placeholder

長構文: RTRF.024 *function\_name*: placeholder

説明: なし。

---

**RTRF.025**

レベル: U\_INFO

短構文: RTRF.025 *function\_name*: placeholder

長構文: RTRF.025 *function\_name*: placeholder

説明: なし。

---

**RTRF.026**

レベル: U\_INFO

短構文: RTRF.026 *function\_name*: placeholder

長構文: RTRF.026 *function\_name*: placeholder

説明: なし。

---

**RTRF.027**

レベル: U\_INFO

短構文: RTRF.027 *function\_name*: placeholder

長構文: RTRF.027 *function\_name*: placeholder

説明: なし。

---

**RTRF.028**

レベル: U\_INFO

短構文: RTRF.028 *function\_name*: placeholder

長構文: RTRF.028 *function\_name*: placeholder

説明: なし。

---



---

**RTRF.029**

レベル: U\_INFO

短構文: RTRF.029 *function\_name*: placeholder

長構文: RTRF.029 *function\_name*: placeholder

説明: なし。

---

**RTRF.030**

レベル: U\_INFO

短構文: RTRF.030 *function\_name*: placeholder

長構文: RTRF.030 *function\_name*: placeholder

説明: なし。

---

**RTRF.031**

レベル: U\_INFO

短構文: RTRF.031 *function\_name*: placeholder

長構文: RTRF.031 *function\_name*: placeholder

説明: なし。

---

**RTRF.032**

レベル: U\_INFO

短構文: RTRF.032 *function\_name*: placeholder

長構文: RTRF.032 *function\_name*: placeholder

説明: なし。

---

**RTRF.033**

レベル: U\_INFO

短構文: RTRF.033 *function\_name*: placeholder

長構文: RTRF.033 *function\_name*: placeholder

説明: なし。

---

**RTRF.034**

レベル: U\_INFO

短構文: RTRF.034 *function\_name*: placeholder

長構文: RTRF.034 *function\_name*: placeholder

説明: なし。

---

---

**RTRF.035**

レベル: U\_INFO

短構文: RTRF.035 *function\_name*: placeholder

長構文: RTRF.035 *function\_name*: placeholder

説明: なし。

---

**RTRF.036**

レベル: U\_INFO

短構文: RTRF.036 *function\_name*: placeholder

長構文: RTRF.036 *function\_name*: placeholder

説明: なし。

---

**RTRF.037**

レベル: U\_INFO

短構文: RTRF.037 *function\_name*: placeholder

長構文: RTRF.037 *function\_name*: placeholder

説明: なし。

---

**RTRF.038**

レベル: U\_INFO

短構文: RTRF.038 *function\_name*: placeholder

長構文: RTRF.038 *function\_name*: placeholder

説明: なし。

---

**RTRF.039**

レベル: U\_INFO

短構文: RTRF.039 *function\_name*: placeholder

長構文: RTRF.039 *function\_name*: placeholder

説明: なし。

---

**RTRF.040**

レベル: U\_INFO

短構文: RTRF.040 *function\_name*: placeholder

長構文: RTRF.040 *function\_name*: placeholder

説明: なし。

---

---

**RTRF.041**

レベル: U\_INFO

短構文: RTRF.041 *function\_name*: placeholder

長構文: RTRF.041 *function\_name*: placeholder

説明: なし。

---

**RTRF.042**

レベル: U\_INFO

短構文: RTRF.042 *function\_name*: placeholder

長構文: RTRF.042 *function\_name*: placeholder

説明: なし。

---

**RTRF.043**

レベル: U\_INFO

短構文: RTRF.043 *function\_name*: placeholder

長構文: RTRF.043 *function\_name*: placeholder

説明: なし。

---

**RTRF.044**

レベル: U\_INFO

短構文: RTRF.044 *function\_name*: placeholder

長構文: RTRF.044 *function\_name*: placeholder

説明: なし。

---

**RTRF.045**

レベル: U\_INFO

短構文: RTRF.045 *function\_name*: placeholder

長構文: RTRF.045 *function\_name*: placeholder

説明: なし。

---

**RTRF.046**

レベル: U\_INFO

短構文: RTRF.046 *function\_name*: placeholder

長構文: RTRF.046 *function\_name*: placeholder

説明: なし。

---

**RTRF.047**

レベル: U\_INFO

短構文: RTRF.047 *function\_name*: placeholder

長構文: RTRF.047 *function\_name*: placeholder

説明: なし。

---

**RTRF.048**

レベル: U\_INFO

短構文: RTRF.048 *function\_name*: placeholder

長構文: RTRF.048 *function\_name*: placeholder

説明: なし。

---

**RTRF.049**

レベル: U\_INFO

短構文: RTRF.049 *function\_name*: placeholder

長構文: RTRF.049 *function\_name*: placeholder

説明: なし。

---

**RTRF.050**

レベル: U\_INFO

短構文: RTRF.050 *function\_name*: placeholder

長構文: RTRF.050 *function\_name*: placeholder

説明: なし。



---

## 第101章 ルーティング情報プロトコル (RIP)

この章では、ルーティング情報プロトコル (RIP) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### RIP.001

レベル: UE-ERROR

短構文: RIP.001 bd ver *version\_number* frm hst  
*source\_IP\_address*

長構文: RIP.001 bad version *version\_number* received  
from host *source\_IP\_address*

説明: RIP ヘッダーのバージョン・フィールドが、現行バージョンに一致していませんでした。

原因: これはおそらく、発信元ホストのエラーが原因です。

処置: 発信元ホストの製造元に連絡して、問題を報告してください。

---

### RIP.002

レベル: U-TRACE

短構文: RIP.002 rq frm *source\_IP\_address*

長構文: RIP.002 request received from host  
*source\_IP\_address*

説明: RIP ルーティング・テーブル要求を、別のホストから受信しました。ルーティング・テーブル更新が、そのホストに送信されます。

---

### RIP.003

レベル: U-INFO

短構文: RIP.003 trc on *tracing\_file* frm  
*source\_IP\_address*

長構文: RIP.003 trace on to *tracing\_file* received from  
host *source\_IP\_address*

説明: 示されているログ・ファイルへの RIP トレースをオンにするための要求を、ホストから受信しました。ルーターはこの要求を無視します。

---

### RIP.004

レベル: U-INFO

短構文: RIP.004 trc off frm *source\_IP\_address*

長構文: RIP.004 trace off received from host  
*source\_IP\_address*

説明: RIP トレースをオフにするための要求を、ホストから受信しました。ルーターはこの要求を無視します。

---

### RIP.005

レベル: C-TRACE

短構文: RIP.005 rsp frm *source\_IP\_address*

長構文: RIP.005 response received from host  
*source\_IP\_address*

説明: RIP ルーティング・テーブル更新を受信しました。特にルーティング・テーブルが大きい場合、ルーティング・テーブル全体を転送するために複数の応答パケットが必要になる場合があります。

---

### RIP.006

レベル: UE-ERROR

短構文: RIP.006 bd cmd *command\_code* frm  
*source\_IP\_address*

長構文: RIP.006 bad command code *command\_code*  
received from host *source\_IP\_address*

説明: RIP メッセージを受信しましたが、認知できないコマンド・コードが含まれています。

原因: 発信元ホストのソフトウェアにエラーがあるか、古いのが原因と考えられます。

処置: 発信元ホストの製造元に連絡して、問題を報告してください。

---

### RIP.007

レベル: UE-ERROR

短構文: RIP.007 rsp frm off nt *source\_IP\_address*

長構文: RIP.007 response received from off network  
host *source\_IP\_address*

説明: RIP ルーティング更新応答を受信しましたが、送信元のマシンが、この応答が伝送されてきたネットワークに直接接続されていませんでした。パケットは廃棄されます。

**原因:** 通常の RIP ソフトウェアは、データの送信先を接続されているネットのみに限るように書かれるのが一般的なので、この場合は、敵性事象であることを示していると考えられます。

**処置:** 監査記録やその他の情報を調べて、最初の発信元ホストを突き止めてください。

---

#### RIP.009

**レベル:** U-TRACE

**短構文:** RIP.009 dyn rt to *destination\_IP\_network* frm *next\_hop\_IP\_address* dis

**長構文:** RIP.009 dynamic route to *destination\_IP\_network* from *next\_hop\_IP\_address* disallowed

**説明:** 動的経路を受信しましたが、インターフェースの RIP 受信ポリシーの構成では、この経路を受け入れることを許していないので、この経路は無視されます。

---

#### RIP.010

**レベル:** U-INFO

**短構文:** RIP.010 nt *destination\_IP\_address* unrch via *next\_hop\_IP\_address*, del

**長構文:** RIP.010 network *destination\_IP\_address* now unreachable via router *next\_hop\_IP\_address*, deleted

**説明:** 前にあて先ネットワークへのネクスト・ホップとしてリストされていたルーターからの着信 RIP 更新によって、あて先が到達不可能 (つまり、メトリックが 'infinity') であると公示されています。そのあて先への RIP 経路は削除されます。

---

#### RIP.011

**レベル:** U-INFO

**短構文:** RIP.011 updt nt *destination\_IP\_network* hps *metric* via *next\_hop\_IP\_address*

**長構文:** RIP.011 update route to net *destination\_IP\_network* at metric *metric* hops via router *next\_hop\_IP\_address*

**説明:** 指定のあて先への新しい (より良い) 経路が、RIP を介して受信され、導入されました。

---

#### RIP.012

**レベル:** C-TRACE

**短構文:** RIP.012 snd rqst *source\_IP\_address*

**長構文:** RIP.012 send request from address *source\_IP\_address*

**説明:** ルーターは、アップ状態になったばかりのインターフェースに関連する各アドレスから、RIP 要求を送信しています。

---

#### RIP.013

**レベル:** C-TRACE

**短構文:** RIP.013 snd brd to *destination\_IP\_address* *packet\_count* pkts *number\_of\_routes* rtes

**長構文:** RIP.013 sending broadcast response to address *destination\_IP\_address* in *packet\_count* packets with *number\_of\_routes* routes

**説明:** ルーターは、通常の RIP 同報通信更新 (タイマーまたはルーティング・テーブル内の変更によって起動された) を、指定のアドレスに送信しています。

---

#### RIP.014

**レベル:** C-INFO

**短構文:** RIP.014 snd to *destination\_IP\_address* *packet\_count* pkts *number\_of\_routes* rtes

**長構文:** RIP.014 sending response to address *destination\_IP\_address* in *packet\_count* packets with *number\_of\_routes* routes

**説明:** ルーターは、RIP 更新 (別のホストからの要求によって起動された) を、指定のアドレスに送信していません。

---

#### RIP.015

**レベル:** CI-ERROR

**短構文:** RIP.015 cnt all pkt

**長構文:** RIP.015 cannot allocate packet for transmission

**説明:** RIP が伝送のため (要求と応答のどちらかのため) にパケットを割り振ろうとしたとき、使用可能なパケットがありませんでした。

---

#### RIP.016

**レベル:** C-TRACE

**短構文:** RIP.016 snd pkt *destination\_IP\_address*

**長構文:** RIP.016 sending packet to *destination\_IP\_address*

**説明:** RIP パケット (ルーティング・テーブル更新か、インターフェースが初めてアップになったときであれば、要求) が送信されました。

---

### RIP.017

レベル: UI-ERROR

短構文: RIP.017 err *output\_error\_code* sndng pkt nt *network*

長構文: RIP.017 error code *output\_error\_code* when sending packet out net *network*

説明: ルーターに何らかの問題があるために、発信応答パケットが廃棄されました。

原因: この問題の原因としては、出力待ち行列の過負荷やネットワークのダウンなど、さまざまなものが考えられます。

処置: 該当するネットワーク・サブシステムからのログ出力を調べて、さらに詳しい情報を入手してください。

---

### RIP.018

レベル: U-INFO

短構文: RIP.018 nt rt to *destination\_IP\_address* tmd out

長構文: RIP.018 network route to *destination\_IP\_address* timed out

説明: ルーティング・データベース内の他のルーターを経由するあて先への経路が、しばらくの間、通信を受信しないので、到達不可能としてマークを付けているところです。

---

### RIP.019

レベル: U-INFO

短構文: RIP.019 nt rt to *destination\_IP\_address* del

長構文: RIP.019 network route to *destination\_IP\_address* deleted

説明: ルーティング・データベース内の他のルーターを経由するあて先への経路が、しばらくの間通信を受信せず、到達不可能としてマークが付けられていたが、現在その経路を削除しています。

---

### Panic ripudpperr

短構文: rip udp port not avail

説明: 別のアプリケーションが前に RIP の UDP ポートに登録済みです。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

### RIP.020

レベル: U-INFO

短構文: RIP.020 ver *version\_number* frm hst *source\_IP\_address* intf *source\_IP\_interface*

長構文: RIP.020 Mismatch version *version\_number* received from host *source\_IP\_address* on interface *source\_IP\_interface*

説明: RIP ヘッダーのバージョン・フィールドが、受信インターフェース上の現行バージョンに一致しませんでした。

原因: 発信元ホスト内の構成エラーが原因であると考えられます。

処置: 発信元ホスト内の構成を訂正してください。

---

### RIP.021

レベル: UE-ERROR

短構文: RIP.021 bd auth frm hst *source\_IP\_address* intf *source\_IP\_interface*

長構文: RIP.021 Authentication error received from host *source\_IP\_address* on interface *source\_IP\_interface*

説明: パケットはリジェクトされます。認証情報が無効のためか、認証が使用不可のためか、いずれかが原因で認証エラーが生じたためです。

原因: 構成の誤りが原因であると考えられます。

処置: 構成を訂正してください。

---

### RIP.022

レベル: C-TRACE

短構文: RIP.022 snd RIP2 to *destination\_IP\_address* from *source\_IP\_address* packet\_count pkts *number\_of\_routes* rtes

長構文: RIP.022 sending RIP2 response to address *destination\_IP\_address* from *source\_IP\_address* in *packet\_count* packets with *number\_of\_routes* routes

説明: ルーターは、指定されたアドレスに通常の RIP2 更新 (タイマーとルーティング・テーブルの変更のいずれかによって起動された) を送信中です。





---

## 第102章 RSVP

この章では、RSVP メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### RSVP.001

レベル: C-INFO

短構文: RSVP.001 Initializing RSVP; status= *init\_status*.

長構文: RSVP.001 Initializing RSVP function; result status is *init\_status*.

説明: 初期化機能を実行するために、RSVP 初期化ルーチンがコールされました。結果の状態 (NOT CONFIGURED、STARTED、CONFIG ERROR) が表示されています。

---

### RSVP.002

レベル: C-INFO

短構文: RSVP.002 RSVP stopped at clock *time\_now*.

長構文: RSVP.002 RSVP function is stopped by operator at system clock *time\_now*.

説明: オペレーターが `op-console` コマンドを使用して RSVP 機能を停止しました。

---

### RSVP.004

レベル: U-INFO

短構文: RSVP.004 Rcvd net *n\_net* *updown\_state* msg; net-type= *net\_type* b/w=

長構文: RSVP.004 RSVP received network *n\_net* *updown\_state* message; network type= *net\_type* bandwidth=

説明: RSVP は、ネットワーク・インターフェース UP/DOWN 状態に関するアップ・コールを受信しました。

---

### RSVP.007

レベル: U-INFO

短構文: RSVP.007 RSVP not enabled on *if* *Interface* due to *Reason\_string*

長構文: RSVP.007 Enable RSVP on interface *Interface* failed due to *Reason\_string*

説明: インターフェース上で RSVP を使用可能にする試みが、リンク構成の競合 (たとえば、BRS がすでにそのリンクに構成されている) またはその他の理由で失敗しました。

---

### RSVP.010

レベル: UE-ERROR

短構文: RSVP.010 Not RSVP V1 vrsn *RSVPVersion* fm *SourceIPAddress*

長構文: RSVP.010 Not RSVP V1 version *RSVPVersion* in packet from *SourceIPAddress*

説明: 無効なバージョン番号を持つ RSVP パケットを受信しました (`rsvp_rx_process`)。

---

### RSVP.011

レベル: UE-ERROR

短構文: RSVP.011 Bad RSVP checksum *RSVPChecksum* fm *SourceIPAddress*"

長構文: RSVP.011 Invalid RSVP checksum *RSVPChecksum* in packet from *SourceIPAddress*"

説明: 無効なチェックサムを持つ RSVP パケットを受信しました (`rsvp_rx_process`)。

---

### RSVP.012

レベル: UE-ERROR

短構文: RSVP.012 Bad RSVP pkt lngth *RSVPPacketLength* fm *SourceIPAddress*

長構文: RSVP.012 Bad RSVP packet length *RSVPPacketLength* in packet from *SourceIPAddress*

説明: 無効な長さを持つ RSVP パケットを受信しました (`rsvp_rx_process`)。

---

### RSVP.015

レベル: UE-ERROR

短構文: RSVP.015 Bad RSVP objct lngth *RSVPObjectLength* in objct cla *RSVPObjectClass* from *SourceIPAddress*

長構文: RSVP.015 A bad RSVP object length *RSVPObjectLength* in obj cla *RSVPObjectClass* in packet from *SourceIPAddress*

説明: RSVP オブジェクトの長さが 4 の倍数でないか、4 より小さいか、あるいはその次のオブジェクト・ポインターが無効でした (`rsvp_map_pkt`)。

---

**RSVP.016**

レベル: UE-ERROR

短構文: RSVP.016 Bad RSVP object class  
*RSVPObjectClass* from *SourceIPAddress*

長構文: RSVP.016 RSVP object class *RSVPObjectClass*  
not defined in packet from *SourceIPAddress*

説明: RSVP オブジェクト・クラスが定義されていま  
せんでした (rsvp\_map\_pkt)。

---

**RSVP.017**

レベル: UE-ERROR

短構文: RSVP.017 Fltr without flow from  
*SourceIPAddress*

長構文: RSVP.017 RSVP filter spec received before  
flow spec in packet from *SourceIPAddress*

説明: filterspec を flowspec と一緒に受信しました  
(rsvp\_map\_pkt)。

---

**RSVP.018**

レベル: UE-ERROR

短構文: RSVP.018 RSVP object length err  
*SourceIPAddress*

長構文: RSVP.018 RSVP object length was bad in  
packet from *SourceIPAddress*

説明: RSVP オブジェクトの長さが無効でした  
(rsvp\_map\_pkt)。

---

**RSVP.021**

レベル: UE-ERROR

短構文: RSVP.021 RSVP src *SenderTemplate*/dstn  
*Session* cnflct fm *SourceIPAddress*

長構文: RSVP.021 An RSVP source  
*SenderTemplate*/destination *Session* conflict from  
*SourceIPAddress*

説明: RSVP 送信側テンプレートまたはフィルター仕  
様が、セッションと一致していません  
(rsvp\_check\_srcport)。

---

**RSVP.022**

レベル: UE-ERROR

短構文: RSVP.022 RSVP Pth mssng tmplt  
*SenderTemplate* or tspec *SenderTSpec* fm *SourceIPAddress*

長構文: RSVP.022 RSVP Path message has no template

*SenderTemplate* or tspec *SenderTSpec* from  
*SourceIPAddress*

説明: RSVP パス・メッセージに *sender\_template* また  
は *sender\_tspec* が欠落しています (rsvp\_check\_sender)。

---

**RSVP.026**

レベル: UE-ERROR

短構文: RSVP.026 RSVP WF Resv mssng flow fm  
*SourceIPAddress*

長構文: RSVP.026 RSVP WF RESV message missing  
flowspec from *SourceIPAddress*

説明: ワイルドカード・フィルター (WF) スタイルの  
RSVP 予約メッセージに flowspec 情報が欠落していま  
す (rsvp\_check\_flow)。

---

**RSVP.027**

レベル: UE-ERROR

短構文: RSVP.027 RSVP *RSVPStyle* Resv mssng fltr or  
flow fm *SourceIPAddress*

長構文: RSVP.027 RSVP *RSVPStyle* RESV message  
missing filterspec or flowspec from *SourceIPAddress*

説明: 固定フィルター (FF) スタイルまたは共用明示的  
(SE) スタイルの RSVP 予約メッセージに filterspec ま  
たは flowspec 情報が欠落しています  
(rsvp\_check\_flow)。

---

**RSVP.028**

レベル: UE-ERROR

短構文: RSVP.028 RSVP Resv unkn styl *RSVPStyle* fm  
*SourceIPAddress*

長構文: RSVP.028 RSVP RESV message contains  
unknown style *RSVPStyle* from *SourceIPAddress*

説明: RSVP 予約メッセージが、不明またはサポート  
されていないスタイルを持っています  
(rsvp\_check\_flow)。

---

**RSVP.031**

レベル: UE-ERROR

短構文: RSVP.031 RSVP msg type *MsgType* mssng  
sssn fm *SourceIPAddress*

長構文: RSVP.031 RSVP message type *MsgType* rcvd  
with missing session from *SourceIPAddress*

説明: RSVP メッセージにセッション・オブジェクト  
が欠落しています (rsvp\_msg\_integrity)。

---

**RSVP.032**

レベル: UE-ERROR

短構文: RSVP.032 RSVP Path mssng hp or tm fm *SourceIPAddress*

長構文: RSVP.032 RSVP Path message missing hop or time from *SourceIPAddress*

説明: RSVP パス・メッセージにホップ値または時間値が欠落しています (rsvp\_msg\_integrity)。

---

**RSVP.033**

レベル: UE-ERROR

短構文: RSVP.033 RSVP Resv mssng hp, tm or styl fm *SourceIPAddress*

長構文: RSVP.033 RSVP Resv message missing hop, time or style from *SourceIPAddress*

説明: RSVP 予約メッセージに rsvp\_shop、時間、またはスタイル情報が欠落しています (rsvp\_msg\_integrity)。

---

**RSVP.034**

レベル: UE-ERROR

短構文: RSVP.034 RSVP Path rrr mssng rrr fm *SourceIPAddress*

長構文: RSVP.034 RSVP Path error message missing error spec from *SourceIPAddress*

説明: RSVP Path エラー・メッセージに error\_spec 情報が欠落しています (rsvp\_msg\_integrity)。

---

**RSVP.035**

レベル: UE-ERROR

短構文: RSVP.035 RSVP Resv rrr mssng rrr or styl fm *SourceIPAddress*

長構文: RSVP.035 RSVP Resv error message missing error or style from *SourceIPAddress*

説明: RSVP Resv エラー・メッセージに error\_spec または style\_spec 情報が欠落しています (rsvp\_msg\_integrity)。

---

**RSVP.036**

レベル: UE-ERROR

短構文: RSVP.036 RSVP Path tr mssng hop *RsvpHop* fm *SourceIPAddress*

長構文: RSVP.036 RSVP Path tear message missing rsvp\_hop *RsvpHop* from *SourceIPAddress*

説明: RSVP パス切り離しメッセージに rsvp\_hop 情報が欠落しています (rsvp\_msg\_integrity)。

---

**RSVP.037**

レベル: UE-ERROR

短構文: RSVP.037 RSVP Resv tr mssng hop, scp, or styl from *SourceIPAddress*

長構文: RSVP.037 RSVP Resv tear message missing hop, scope or style from *SourceIPAddress*

説明: RSVP パス切り離しメッセージに rsvp\_hop、有効範囲、またはスタイル情報が欠落しています (rsvp\_msg\_integrity)。

---

**RSVP.038**

レベル: UE-ERROR

短構文: RSVP.038 RSVP Resv cnf mssng rrr spec, cnfrm or styl fm *SourceIPAddress*

長構文: RSVP.038 RSVP Resv confirm message missing error spec, confirm or style from *SourceIPAddress*

説明: RSVP Resv 確認メッセージに error\_spec、resv\_confirm、または style 情報が欠落しています (rsvp\_msg\_integrity)。

---

**RSVP.039**

レベル: UE-ERROR

短構文: RSVP.039 Unknwn RSVP msg *msgtype* rcvd fm *SourceIPAddress*

長構文: RSVP.039 Unknown RSVP message *msgtype* received from *SourceIPAddress*

説明: RSVP パス切り離しメッセージに rsvp\_hop、有効範囲、またはスタイルが欠落しています (rsvp\_msg\_integrity)。

---

**RSVP.041**

レベル: C-TRACE

短構文: RSVP.041 Sess *sess\_id*: port rt chg: new *i\_if*=*i\_if*; new out-mask= *out\_mask*

長構文: RSVP.041 Rte chg on Sessn *sess\_id* port *port* detected; new input port= *i\_if*; new out mask= *out\_mask*

説明: セッション %I ポート %d で経路変更が検出されました。新しい入力インターフェースは %n になり、新しい出力インターフェース・マスクは %x になっています。

---

**RSVP.046**

レベル: UE-ERROR

短構文: RSVP.046 prt ncnstncy

長構文: RSVP.046 Port inconsistency (tbd)

説明: `rsvp_chk_port` が不整合を指摘しています (`rsvp_proc_path`)。

---

**RSVP.047**

レベル: UI-ERROR

短構文: RSVP.047 Cant add RSVP pth state fm nt *network ID*

長構文: RSVP.047 Cannot add new RSVP Path state information from net *network ID*

説明: 新しい状態を示す RSVP パス・メッセージを、RSVP テーブルがいっぱいである (つまり、RSVP\_TABLE\_NEW に失敗した) ために追加できません (`rsvp_proc_path`)。

---

**RSVP.048**

レベル: UI-ERROR

短構文: RSVP.048 RSVP pth has bad tm int *time\_values* nt *network ID*

長構文: RSVP.048 RVSP path message has bad time interval *time\_values* net *network ID*

説明: RSVP パス・メッセージの時間値が、許容最大値より長い、許容最小値より短いかのいずれかです (`rsvp_proc_path`)。

---

**RSVP.049**

レベル: UI-ERROR

短構文: RSVP.049 NULL input if *network ID*

長構文: RSVP.049 Empty input *network ID*

説明: ローカル・セッションがヌル入力インターフェース (later) を持っています (`rsvp_proc_path`)。

---

**RSVP.050**

レベル: UI-ERROR

短構文: RSVP.050 RSVP Rte failure to dest *dst\_addr*

長構文: RSVP.050 RSVP route query to dest *dst\_addr* failed

説明: IP ルーティング・データベースへの RSVP 照会の結果、あて先への経路がありませんでした。

---

---

**RSVP.051**

レベル: UI-ERROR

短構文: RSVP.051 Cant updt TC fltr nt *network ID*

長構文: RSVP.051 Cannot update Traffic Control Filter net *network ID*

説明: RSVP パス・メッセージによってトラフィック制御が変更されましたが、トラフィック制御フィルターを更新できませんでした (`rsvp_proc_path`)。

---

**RSVP.052**

レベル: UI-ERROR

短構文: RSVP.052 Can't get *entry\_type* entry for snder *SenderAddress* prot *Protocol* port *SenderPort* to session *SessionAddress* port *SessPort*

長構文: RSVP.052 Can't get *entry\_type* entry space for sender *SenderAddress* prot *Protocol* port *SenderPort* to session *SessionAddress* port *SessPort*

説明: 指定されたパス要求の処理中に、指定のエントリ・テーブルのスペースが使い尽くされました。

---

**RSVP.062**

レベル: CE-ERROR

短構文: RSVP.062 RSVP *RSVPStyle* resv not *Action* from *SourceIPAddress* code *reasoncode*

長構文: RSVP.062 An *RSVPStyle* style RSVP resv could not be *Action* from *SourceIPAddress* vcrm code *reasoncode*

説明: RSVP 予約メッセージの結果として、新規の予約を確立できなかったか、古い予約を増やすことができませんでした (`rsvp_proc_FF`、SE、または WF)。

---

**RSVP.064**

レベル: UI-ERROR

短構文: RSVP.064 PktClas update error for Session *SessionAddress* Prot *Protocol* Port *SessionPort* out-i/f *Outport*

長構文: RSVP.064 Packet Classifier update error for Session *SessionAddress* Prot *Protocol* Port *SessionPort* out-i/f *Outport*

説明: 指定のセッションの予約メッセージの処理時に、パケット分類プログラムを更新するためのコールが失敗しました。

---

---

**RSVP.065**

レベル: UE-ERROR

短構文: RSVP.065 *MsgT* for sess *SessionAddress*:  
*SessionProt* at i/f *NetNum* discarded ( *Reason* )

長構文: RSVP.065 msg *MsgT* for sess *SessionAddress*:  
*SessionProt* at i/f *NetNum* discarded due to *Reason*

説明: 無効な状態の RSVP メッセージを受信し、廃棄されました。

---

**RSVP.066**

レベル: P-TRACE

短構文: RSVP.066 Rsv Failed *reason value policydb value*

長構文: RSVP.066 Reservation Failed due to *reason value policydb value*

説明: ポリシーによって禁止されているため、予約が失敗しました。

---

**RSVP.067**

レベル: C-TRACE

短構文: RSVP.067 RSVP Plcy Qry *PlcyQryResults Cd Code*

長構文: RSVP.067 RSVP Policy Query *PlcyQryResults code Code*

説明: RSVP がポリシーを照会して、これらの結果を得ました。

---

**RSVP.068**

レベル: C-TRACE

短構文: RSVP.068 IP rtr *ChangeReason* to subnet  
*DestSubnet* mask *DestMask*

長構文: RSVP.068 IP route change notification (route  
*ChangeReason*) to dest subnet *DestSubnet* msk *DestMask*

説明: あて先サブネットへの IP 経路変更通知 (changed|deleted) を受信しました。このトレースは、この経路が RSVP によって使用される場合にのみ表示されます。

---

**RSVP.069**

レベル: C-TRACE

短構文: RSVP.069 Local *upcallType* upcall event

長構文: RSVP.069 *upcallType* upcall event

説明: ローカル (つまり、ルーターへの) アプリケーションに対する RSVP 制御メッセージを受信しました。メッセージ・テキストは、アップ・コール事象のタイプを示しています。

---

**RSVP.070**

レベル: P-TRACE

短構文: RSVP.070 Rcvd *RSVPStyle* msg for sess  
*SessionAddress*: *Protocol* prot *SessionPort* from  
*OrigAddress*

長構文: RSVP.070 Valid RSVP msg type *RSVPStyle*  
rcv'd for sess *SessionAddress* port *Protocol* prot  
*SessionPort* from *OrigAddress*

説明: *OrigAddress* を持つ IP ノードから、特定のセッション (*SessionAddress*、*Protocol*、*SessionPort*) に対する RSVP メッセージ (*Path*、*Resv FF/SE/WF*) を受信しました。

---

**RSVP.071**

レベル: C-TRACE

短構文: RSVP.071 *type* RESV from *SourceAddress*:  
*SourePort* to *DestAddress*: *DestPort* Protocol *Protocol* on  
out-i/f *OPort*

長構文: RSVP.071 *type* RSVP RESV entry in pkt  
classifier for flow from *SourceAddress* Port *SourePort* to  
*DestAddress* Port *DestPort* Protocol *Protocol* on out-i/f  
*OPort*

説明: 特定の発信インターフェース上の指定のセッション / フローのエントリーが、RSVP パケット分類プログラムに追加 / 削除されました。

---

**RSVP.072**

レベル: C-TRACE

短構文: RSVP.072 *type* PATH state from  
*SourceAddress*: *SourePort* prot *Protocol* to *DestAddress*:  
*DestPort*

長構文: RSVP.072 *type* a Path state for flow from  
*SourceAddress* port *SourePort* protocol *Protocol* to  
*DestAddress* port *DestPort*

説明: 発信元ポートからあて先ポート (セッション) へのフローの PATH 状態が追加 / 削除されました。



---

**RSVP.073**

レベル: P-TRACE

短構文: RSVP.073 --RSVP send IP pkt to *Dest\_Address* on net *Netp*, return code= *retcode*

長構文: RSVP.073 RSVP sends an IP packet out to *Dest\_Address* on net *Netp*, with return code *retcode*

説明: RSVP 内部状態および事象の結果として、RSVP メッセージがネクスト・ホップ RSVP ルーターまたはホストに送信されました。

---

**RSVP.074**

レベル: P-TRACE

短構文: RSVP.074 Send *msg\_type* for session *SessionAddress: SessionPort*

長構文: RSVP.074 Send a RSVP message type *msg\_type* for session *SessionAddress* port *SessionPort*

説明: 指定のタイプのリフレッシュまたは切り離しメッセージを、指定されたセッションに送信しました。

---

**RSVP.075**

レベル: U-TRACE

短構文: RSVP.075 *type* state timeout from *SourceAddress: SourePort* prot *Protocol* to *DestAddress: DestPort*

長構文: RSVP.075 A *type* state for flow from *SourceAddress* port *SourePort* protocol *Protocol* to *DestAddress* port *DestPort* timed out

説明: 発信元ポートからあて先ポート (セッション) のフローの PATH または RESV 状態がタイムアウトになり、除去されました。

---

**RSVP.076**

レベル: P-TRACE

短構文: RSVP.076 Forward QoS pkt from *Src\_Address* to *Dest\_Address* prot *Protocol* rt-code= *retcode*

長構文: RSVP.076 Packet Classifier forwards a QoS pkt from *Src\_Address* to *Dest\_Address* protocol *Protocol*; return code= *retcode*

説明: パケット分類プログラムは、QoS フロー内のパケットを識別し、このパケットを該当する待ち行列に転送します。

---

**RSVP.077**

レベル: U-TRACE

短構文: RSVP.077 Pkt Classifier table flushed.

長構文: RSVP.077 Packet Classifier table is flushed!

説明: 初期化時に、またはオペレーター・コンソール・コマンドによって、パケット分類プログラム・テーブルがフラッシュされました。

---

**RSVP.078**

レベル: P-TRACE

短構文: RSVP.078 Send pos RESV-Confirm Pkt back to *recever\_addr*

長構文: RSVP.078 A RESV Confirm packet is sent back to *recever\_addr* as requested.

説明: RESV 確認メッセージが、予約メッセージで予約の確認を要求した受信側 (RESV の発信元) に送信されました。

---

**RSVP.079**

レベル: U-TRACE

短構文: RSVP.079 Ntwk DISC rcvd frm *next\_hop* on sess *sess\_addr: port\_num*

長構文: RSVP.079 A network DISC received from next-hop *next\_hop* on session *sess\_addr* port *port\_num*

説明: ネクスト・ホップ・ルーターから、ネットワークまたはリモート・ホスト生成のセッションに関する DISC を受信しました。

---

**RSVP.080**

レベル: U-TRACE

短構文: RSVP.080 *var1*= *v1*; *var2*= *v2*; *var3*= *v3*; *var4*= *v4*

長構文: RSVP.080 component *var1* *var1*= *v1*; *var2* *var2*= *v2*; *var3* *var3*= *v3*; *var4* *var4*= *v4*

説明: 異常事象の総称トレース。var1 はモジュール名と最初のトレース変数名、v1 は最初のトレース変数値を示し、var2 は 2 番目のトレース変数名、v2 は 2 番目のトレース変数値を示すといった具合になっています。

---

---

## 第103章 SDLC リレー (SRLY)

この章では、SDLC リレー (SRLY) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### SRLY.001

レベル: C-INFO

短構文: SRLY.001 SRLY interface initialization starting network *networkID*

長構文: SRLY.001 SRLY initialization started on network *networkID*

説明: SRLY 転送機能が、リレー・インターフェースで初期化を開始しました。

---

### SRLY.002

レベル: C-INFO

短構文: SRLY.002 SRLY interface initialization complete network *networkID*

長構文: SRLY.002 SRLY initialization completed on network *networkID*

説明: SRLY 転送機能が、リレー・インターフェースでの初期化を完了しました。

---

### SRLY.003

レベル: C-TRACE

短構文: SRLY.003 SRLY frame received on network *networkID*

長構文: SRLY.003 SRLY frame received on network *networkID*

説明: SDLC リレー・フレームを受信しました。

---

### SRLY.004

レベル: C-INFO

短構文: SRLY.004 SRLY frame sent on network *networkID*

長構文: SRLY.004 SRLY frame sent on network *networkID*

説明: SDLC リレー・フレームを送信しました。

---

### SRLY.005

レベル: UI-ERROR

短構文: SRLY.005 SRLY frame discarded for group *group\_number* on network *networkID* - *discard\_reason*

長構文: SRLY.005 SRLY frame discarded for group *group\_number* on network *networkID* - *discard\_reason*

説明: SRLY フレームが廃棄されました。

---

### SRLY.006

レベル: CI-ERROR

短構文: SRLY.006 SRLY memory allocation failed

長構文: SRLY.006 A SRLY memory allocation request failed

説明: 資源に対する SRLY 記憶域割り振り要求が失敗しました。

---

### SRLY.007

レベル: CI-ERROR

短構文: SRLY.007 SRLY port defined for non-SDLC net or invalid hdw - net *networkID*

長構文: SRLY.007 SRLY port defined for non-SDLC net or invalid hdw - network *networkID*

説明: SDLC 以外のネット上に、または無効な (使用不可の) ハードウェアを使用して、SRLY ポートが定義されました。

---

### SRLY.008

レベル: CI-ERROR

短構文: SRLY.008 Configuration error for group *group\_number* - *configuration\_error* - group internally disabled

長構文: SRLY.008 Configuration error for group *group\_number* - *configuration\_error* - group internally disabled

説明: グループ構成エラー

---

**SRLY.009**

レベル: CI-ERROR

短構文: SRLY.009 SRLY frame discarded on network  
*networkID - discard\_reason*

長構文: SRLY.009 SRLY frame discarded on network  
*networkID - discard\_reason*

説明: SRLY フレームが廃棄されました。

---

**SRLY.010**

レベル: CI-ERROR

短構文: SRLY.010 SRLY frame discarded -  
*discard\_reason*

長構文: SRLY.010 SRLY frame discarded -  
*discard\_reason*

説明: SRLY フレームが廃棄されました。

---

**Panic srllyudperr**

短構文: SDLC Relay UDP port not available\r\n

説明: SDLC リレーの UDP ポートには、以前に別の  
アプリケーションが登録されています。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

## 第104章 セキュリティー・プロトコル (SEC)

この章では、セキュリティー・プロトコル (SEC) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### SEC.001

レベル: C-INFO

短構文: SEC.001 Tacacs+: *A message*

長構文: SEC.001 TacacsPlus Message: *A message*

説明: Tacacs Plus に関する汎用メッセージ

---

### SEC.002

レベル: C-INFO

短構文: SEC.002 Tacx+StartPacket: *A message*

長構文: SEC.002 TacacsPlus StartPacket Message: *A message*

説明: Tacacs Plus 開始パケットに関する汎用メッセージ

---

### SEC.004

レベル: U-INFO

短構文: SEC.004 Tacacs conn to *neighbor* open on sprt *sourceport* dprt *destinationport*

長構文: SEC.004 Tacacs connection to *neighbor* open on soure port *sourceport* destination port *destinationport*

説明: この近隣のこの接続に関する OPEN メッセージを受け取りました。

原因: その近隣への接続が正常に完了しました。

処置: なし。これは、通知メッセージです。

---

### SEC.005

レベル: C-INFO

短構文: SEC.005 Tacx+ContinuePacket: *A message*

長構文: SEC.005 TacacsPlus ContinuePacket Message: *A message*

説明: Tacacs Plus 継続パケットに関する汎用メッセージ

---

---

### SEC.006

レベル: C-INFO

短構文: SEC.006 Tacx+ReplyPacket: *A message*

長構文: SEC.006 TacacsPlus ReplyPacket Message: *A message*

説明: Tacacs Plus 応答パケットに関する汎用メッセージ

---

### SEC.007

レベル: C-INFO

短構文: SEC.007 TacPlus: [ *id*, ] *A message*

長構文: SEC.007 TacacsPlus Message: *id*, *A message*

説明: Tacacs Plus が要求 ID を提供する場合の汎用メッセージ

---

### SEC.008

レベル: U-INFO

短構文: SEC.008 TacPlus: [ *id*, ] *A message*

長構文: SEC.008 TacacsPlus Message: [ *id*, ] *A message*

説明: Tacacs Plus クリーン・パス・メッセージに関する汎用メッセージ

---

### SEC.009

レベル: ERROR

短構文: SEC.009 TacPlus: [ *id*, ] *A message*

長構文: SEC.009 Tacacs-Plus Message: [ *id*, ] *A message*

説明: Tacacs Plus に関する汎用メッセージ

---

### SEC.010

レベル: C-INFO

短構文: SEC.010 TacPlus: rq[ *id*, ] tcp[ *id2*, ] *A message*

長構文: SEC.010 TacacsPlus Message: *id*, *id2*, *A message*

説明: Tacacs Plus が要求 ID および tcp ID を示す場合の汎用メッセージ

---

---

**SEC.011**

レベル: C-INFO

短構文: SEC.011 *A message*

長構文: SEC.011 Message: *A message*

説明: セキュリティー・プロトコルの汎用メッセージ

---

**SEC.016**

レベル: C-INFO

短構文: SEC.016 UDP port *port* not hooked

長構文: SEC.016 UDP port *port* not hooked

説明: 認証プロトコルが、パケットを受信するための UDP ポートをフックできませんでした。

---

**SEC.017**

レベル: C-INFO

短構文: SEC.017 Rcvd Resp for unknown id *id*

長構文: SEC.017 Received Response for unknown id *id*

説明: 認証プロトコルが応答を受信しましたが、未処理の要求のいずれにも合致しない応答でした。

---

**SEC.018**

レベル: C-INFO

短構文: SEC.018 Rcvd Invalid Authenticator

長構文: SEC.018 Received Invalid Authenticator

説明: Radius がパケットを受信しましたが、認証機能が無効なので、パケットを廃棄しました。

---

**SEC.019**

レベル: C-INFO

短構文: SEC.019 *direction packetType*

長構文: SEC.019 *direction packetType* packet

説明: 認証プロトコル UDP パケット・タイプを受信または送信しました。

---

**SEC.020**

レベル: C-INFO

短構文: SEC.020 No Srvr Cfd

長構文: SEC.020 No Server Addresses Configured packet

---

説明: サーバー・アドレスが、認証プロトコル用として構成されませんでした。

---

**SEC.021**

レベル: C-INFO

短構文: SEC.021 Radius hooked UDP port *port*

長構文: SEC.021 Radius hooked UDP port *port*

説明: Radius が、Radius パケットを受信するための UDP ポートをフックしませんでした。

---

**SEC.022**

レベル: C-INFO

短構文: SEC.022 *direction packetType* to *address* via *src* port *port*

長構文: SEC.022 *direction packetType* packet to *address* source *src* port *port*

説明: Radius パケット・タイプが、指定されたアドレスおよびポートに送信されました。

---

**SEC.023**

レベル: C-INFO

短構文: SEC.023 Auth *result* user= *user*

長構文: SEC.023 Authentication *result* user= *user*

説明: 認証に合格または不合格でした。

---

**SEC.024**

レベル: C-INFO

短構文: SEC.024 Auth Req Outstanding for *compld*

長構文: SEC.024 Auth Req Outstanding for *compld*

説明: 認証要求がこのネット上ですでに未処理になっているので、新しい要求を廃棄します。

---

**SEC.025**

レベル: C-INFO

短構文: SEC.025 Request List at Max = *maxSize*

長構文: SEC.025 Request List at Max = *maxSize*

説明: 要求リストが最大サイズに達しており、要求を廃棄せざるを得ませんでした。

---

---

### SEC.026

レベル: C-INFO

短構文: SEC.026 *action* Request id= *id* compID= *size*  
list size=

長構文: SEC.026 *action* Request id= *id* compID= *size*  
list size=

説明: セキュリティー・リストに対する要求の追加/除去。

---

### SEC.027

レベル: C-INFO

短構文: SEC.027 *action* compID= *id*

長構文: SEC.027 *action* compID= *id*

説明: セキュリティー・アクションが行われていません。

---

### SEC.028

レベル: C-INFO

短構文: SEC.028 Tacacs hooked UDP port *port*

長構文: SEC.028 Tacacs hooked UDP port *port*

説明: Tacacs が、Tacacs パケットを受信するためのUDP ポートをフックしました。

---

### SEC.029

レベル: C-INFO

短構文: SEC.029 *direction* *packetType* for id *rqid* to  
*address* via *src* port *port*

長構文: SEC.029 *direction* *packetType* packet for request  
id *rqid* to *address* source *src* port *port*

説明: Radius パケット・タイプが、指定されたアドレスおよびポートに送信されました。

---

### SEC.030

レベル: C-INFO

短構文: SEC.030 *action* compID= *id* net: *net*

長構文: SEC.030 *action* completionID= *id* network  
number: *net*

説明: ネットに対してセキュリティ・アクションが行われています。





---

## 第105章 シリアル・ライン・ネットワーク・インターフェース (SL)

この章では、シリアル・ライン・ネットワーク・インターフェース (SL) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### SL.001

レベル: CI-ERROR

短構文: SL.001 no bfr available for slftst on nt *network ID*

長構文: SL.001 no buffer available for selftest on network *network ID*

説明: インターフェース自己検査のために必要なときに、パケット・バッファが利用不可能でした。

---

### SL.007

レベル: U-TRACE

短構文: SL.007 slftst started on nt *network ID*

長構文: SL.007 selftest started on network *network ID*

説明: シリアル・ラインで、自己検査を開始中です。

---

### SL.019

レベル: UE-ERROR

短構文: SL.019 cbl typ *cable\_type* nt compt wth lvl cnvt typ *level\_converter\_type*, nt *network ID*

長構文: SL.019 Cable of type *cable\_type* is not compatible with level converter of type *level\_converter\_type*, network *network ID*

説明: インターフェース上のケーブルとレベル変換器に互換性がありません。自己検査は失敗します。

原因: レベル変換器のケーブル・タイプが間違っています。

処置: 正しいケーブル・タイプを使用してください。

原因: *cable\_type* が "none" の場合は、ケーブルがありません。

処置: アダプター・ケーブルを接続してください。

原因: ケーブルが破損しているために、ケーブル・タイプを正しく示すことができません (非常にまれです)。

処置: ケーブルを交換してください。

---

### SL.020

レベル: UI-ERROR

短構文: SL.020 *cable\_type* can't be used with *internal\_external* clk, nt *network ID*

長構文: SL.020 *cable\_type* cable cannot be used with *internal\_external* clocking enabled, network *network ID*

説明: ケーブルのモード (DCE または DTE) と使用されている刻時タイプに互換性がありません。インターフェースは起動しません。

原因: DTE ケーブルと内部クロックを使用しています。

処置: DCE ケーブルまたは外部クロックを使用してください。

原因: 外部クロック付き DCE ケーブル

処置: DTE ケーブルまたは内部クロックを使用してください。

---

### SL.021

レベル: CE-ERROR

短構文: SL.021 slf tst failed, mdm sts: CTS = *cts*, DSR = *dsr*, DCD = *dcd*, nt *network ID*

長構文: SL.021 Self test failed because of modem status: CTS = *cts*, DSR = *dsr*, DCD = *dcd*, network *network ID*

説明: 少なくとも1つのモデム信号がオフであったために、インターフェースの自己検査が失敗しました。モデム信号の現在の状態が ELS メッセージに示されています。モデム信号の正常な状態は、RS-232、V.35、および V.36 の場合は、CTS=ON、DSR=ON、および DCD=ON です。X.21 の場合は、表示信号の正常な状態は ON です。ELS メッセージでは、DCD は X.21 表示信号を表します。HSSI の場合は、CA 信号の正常な状態は ON です。ELS メッセージでは、DCD は HSSI CA 信号を表します。

原因: ケーブルがモデムに接続されていません。

処置: ケーブルを接続してください。

**原因:** モデムの電源が入っていません。

**処置:** モデムの電源を入れてください。

**原因:** モデム回線の相手側が正しく接続されていません (特に、DCD OFF)。

**処置:** モデムの問題を解決してください。

---

#### SL.022

**レベル:** C-INFO

**短構文:** SL.022 Modem status change CTS = *cts*, DSR = *dsr*, DCD = *dcd*, nt *network ID*

**長構文:** SL.022 Modem status change CTS = *cts*, DSR = *dsr*, DCD = *dcd*, on *network network ID*

**説明:** モデム状況の変更が発生しました。モデム信号の現在の状態が ELS メッセージに示されています。モデム信号の正常な状態は、RS-232、V.35、および V.36 の場合は、CTS=ON、DSR=ON、および DCD=ON です。X.21 の場合は、表示信号の正常な状態は ON です。ELS メッセージでは、DCD は X.21 表示信号を表します。HSSI の場合は、CA 信号の正常な状態は ON です。ELS メッセージでは、DCD は HSSI CA 信号を表します。

---

#### SL.023

**レベル:** CE-ERROR

**短構文:** SL.023 int dwn due to mdm sts: CTS = *cts*, DSR = *dsr*, DCD = *dcd*, nt *network ID*

**長構文:** SL.023 Interface down because of modem status: CTS = *cts*, DSR = *dsr*, DCD = *dcd*, network *network ID*

**説明:** モデムの信号の1つがオフになったので、インターフェースがダウンしました。モデム信号の正常な状態は、RS-232、V.35、および V.36 の場合は、CTS=ON、DSR=ON、および DCD=ON です。X.21 の場合は、表示信号の正常な状態は ON です。ELS メッセージでは、DCD は X.21 表示信号を表します。HSSI の場合は、CA 信号の正常な状態は ON です。ELS メッセージでは、DCD は HSSI CA 信号を表します。

---

#### SL.024

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** SL.024 conf frame sz *configured\_size* too large, reducing to *maximum\_size*, nt *network ID*

**長構文:** SL.024 Configured frame size of *configured\_size* bytes too large, reducing to *maximum\_size* bytes, network *network ID*

**説明:** このインターフェースにユーザーが構成したフレーム・サイズが、特定のシリアル・ライン装置に許される最大サイズを超えています。サイズは、最大許容フレーム・サイズに縮小されます。

**原因:** 構成が許容サイズを超えています。

**処置:** サイズを再構成して、再始動します。

---

#### SL.027

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** SL.027 No level conv, disabling nt *network ID*

**長構文:** SL.027 No level converter, disabling network *network ID*

**説明:** シリアル・アダプターのこのポート上にレベル変換器がありません。自己検査は失敗し、それ以降の自己検査は取り消されます。

**原因:** レベル変換器がありません。

**処置:** ポートにレベル変換器を追加してください。

**原因:** レベル変換器に欠陥があり、インストールされていないものと見なされています。

**処置:** レベル変換器を交換してください。

---

#### SL.028

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** SL.028 Unk level conv *converter\_type*, disabling nt *network ID*

**長構文:** SL.028 Unknown level converter type *converter\_type*, disabling network *network ID*

**説明:** シリアル・アダプターのこのポート上にレベル変換器がありますが、そのタイプが確認不能です。自己検査は失敗し、それ以降の自己検査は取り消されます。

**原因:** レベル変換器のタイプが認識できません。

**処置:** このタイプのレベル変換器をサポートしている、新しいソフトウェアにアップグレードしてください。

**原因:** レベル変換器に欠陥があり、認識できないタイプであると見なされています。

**処置:** レベル変換器を交換してください。

---

#### SL.034

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** SL.034 no cable installed, nt *network ID*

**長構文:** SL.034 No cable installed or installed cable broken or non-compatible, network *network ID*

**説明:** システムが、ネットワーク・インターフェース用のアダプター・ケーブルを検出しません。自己検査は失敗します。

**原因:** ケーブルが取り付けられていません。

**処置:** 正しいアダプター・ケーブルを接続してください。

**原因:** ケーブルが破損しているために、ケーブル・タイプを正しく示すことができません (非常にまれです)。

**処置:** ケーブルを交換してください。



---

## 第106章 サーバー・キャッシュ同期プロトコル (SCSP)

この章では、サーバー・キャッシュ同期プロトコル (SCSP) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### SCSP.002

レベル: U-TRACE

短構文: SCSP.002 Add SG nt *network sg server\_group rc return\_code*

長構文: SCSP.002 Add Server Group. Network *network SGID server\_group rc return\_code*

説明: サーバー・グループが追加されました。戻りコードが 0 であれば、即時に正常に行われたことを示しています。1483 クライアントは後で動作可能になる場合があります。SG UP を示している ELS を探します。

---

### SCSP.003

レベル: U-TRACE

短構文: SCSP.003 Del SG nt *network sg server\_group rc return\_code*

長構文: SCSP.003 Delete Server Group. Network *network SGID server\_group rc return\_code*

説明: サーバー・グループが削除されました。戻りコードが 0 であれば、正常に行われたことを示しています。

---

### SCSP.004

レベル: UE-ERROR

短構文: SCSP.004 Mult DCS nt *network sg server\_group dcs dcs\_id*

長構文: SCSP.004 Multiple DCS IDs at a ATM address. Network *network SGID server\_group DCSID dcs\_id*

説明: SCSP メッセージを DCS から受信しましたが、DCS ID が、その ATM アドレスから以前受信した DCS ID に一致しません。メッセージは廃棄されます。DCS\_ID は、その ATM アドレスにすでにある DCS の ID です。

原因: 構成エラー

---

### SCSP.005

レベル: UI-ERROR

短構文: SCSP.005 out of memory

長構文: SCSP.005 An error occurred when attempting to allocate memory

説明: 記憶域の割り振りを試みているとき、エラーが起きました。記憶域が使い尽くされています。

原因: 過負荷

---

### SCSP.006

レベル: U-INFO

短構文: SCSP.006 DCS not config. nt *network sg server\_group dcs DCS\_ID*

長構文: SCSP.006 Message received from unconfigured DCS. nt *network sg server\_group dcs DCS\_ID*

説明: メッセージを DCS から受信しましたが、その DCS はこのサーバー・グループのもとで構成されていませんでした。構成がセキュア・モードを示しているため、自動的にアップになる DCS はありません。

---

### SCSP.007

レベル: U-TRACE

短構文: SCSP.007 SCSP up on nt *network*

長構文: SCSP.007 SCSP initialized on network *network*

説明: 示されているネットワークがアップになり、このネットワーク用として SCSP が初期化されました。

---

### SCSP.008

レベル: U-TRACE

短構文: SCSP.008 Add DCS nt *network sg server\_group atm partial\_atm\_addr*

長構文: SCSP.008 A DCS is added to network *network, server\_group server\_group, atm addr (esi,sel) partial\_atm\_addr*

説明: 示されているサーバー・グループに DCS が追加



されました。チャンネルはまだアップではなく、DCSID もまだありません。

---

### SCSP.009

レベル: U\_INFO

短構文: SCSP.009 Hello on down DCS, nt *network sg server\_group*

長構文: SCSP.009 Hello msg received on down DCS, network *network*, server\_group *server\_group*

説明: これが起こりえたとすれば、ハローを獲得したものの、このチャンネルに関して、API からまだ channel\_up を受信していない場合だけですが、実際には起こるはずもありません。

---

### SCSP.010

レベル: U\_TRACE

短構文: SCSP.010 DCS Hello state chg to *dcs\_hello\_state*, nt *network sg server\_group dcs dcsid*

長構文: SCSP.010 DCS Hello FSM state change to *dcs\_hello\_state* on network *network*, server group *server\_group*, DCSID *dcsid*

説明: DCS ハロー有限状態機械が状態を変更しました。状態には、以下のものがあります。DOWN - チャンネルがまだアップになっていない。DOWN\_INOP - チャンネルがまだオープンされていない。WAITING - DCS からのハロー・メッセージを待っている。UNIDIRECTIONAL - ハロー・メッセージを受信したが、こちらの LSID が含まれていなかった。BIDIRECTIONAL - 最終状態で、ハローを交換する。

---

### SCSP.011

レベル: U\_INFO

短構文: SCSP.011 RID doesn't match LSID, nt *network sg server\_group dcs dcsid*

長構文: SCSP.011 RID in received msg doesn't match LSID of this DCS. network *network*, server group *server\_group*, DCSID *dcsid*

説明: メッセージの中の受信側 ID が、特定の DCS の構成済み LSID に一致しません。

---

### SCSP.012

レベル: P\_TRACE

短構文: SCSP.012 Hello rcvd nt *network sg server\_group dcs dcsid*

長構文: SCSP.012 Hello message received on network

*network*, server group *server\_group*, DCSID *dcsid*

説明: 通常のハロー・メッセージ

---

### SCSP.013

レベル: U\_TRACE

短構文: SCSP.013 DCS CA state chg to *dcs\_ca\_state/dcs\_master\_state*, nt *network sg server\_group dcs dcsid*

長構文: SCSP.013 DCS CA FSM state change to *dcs\_ca\_state/dcs\_master\_state* on network *network*, server group *server\_group*, DCSID *dcsid*

説明: DCS キャッシュ調整有限状態機械が状態を変更しました。DOWN - ハローがまだ交換されていない。MS\_NEG - マスター/スレーブの折衝。SUMMARIZE - キャッシュ要約レコードの交換。UPDATE - データベース・レコードの交換。ALIGNED - 最終状態。

---

### SCSP.014

レベル: UE\_ERROR

短構文: SCSP.014 CA msg rejected nt *network sg server\_group dcs dcsid*

長構文: SCSP.014 CA msg rejected nt *network sg server\_group dcs dcsid*

説明: 以下に挙げる理由の 1 つにより、受信した CA メッセージをリジェクトしました。MS\_NEG であり、M/S 請求を受け入れない。SUMMARIZE、UPDATE、または ALIGNED であり、I フラグが設定されているか、M フラグが正しくない。SUMMARIZE、UPDATE、または ALIGNED および MASTER であり、シーケンス番号がこちらのシーケンス番号より小さい。SUMMARIZE/SLAVE で、シーケンス番号がこちらの最後のシーケンス番号より 1 だけ大きくない。UPDATE または ALIGNED で、重複ではない。DOWN 状態である。

---

### SCSP.015

レベル: P\_TRACE

短構文: SCSP.015 CA rcvd nt *network sg server\_group dcs dcsid*

長構文: SCSP.015 CA message received on network *network*, server group *server\_group*, DCSID *dcsid*

説明: キャッシュ調整メッセージを受信しました。

---

**SCSP.016**

レベル: UE\_ERROR

短構文: SCSP.016 CSUS msg rejected nt *network sg server\_group dcs dcsid*

長構文: SCSP.016 CSUS msg rejected nt *network sg server\_group dcs dcsid*

説明: 以下に挙げる理由の 1 つにより、受信した CSUS メッセージをリジェクトしました。状態が UPDATE または ALIGNED でない。

---

**SCSP.017**

レベル: UE\_ERROR

短構文: SCSP.017 Bad message nt *network sg server\_group dcs dcsid*

長構文: SCSP.017 Bad message nt *network sg server\_group dcs dcsid*

説明: 以下に挙げる理由の 1 つにより、受信したメッセージをリジェクトしました。示されている長さに対して、パケットが短過ぎた。パケットに含まれていた CSA または CSAS レコードが短過ぎた。

---

**SCSP.018**

レベル: P\_TRACE

短構文: SCSP.018 CSA rcvd nt *network sg server\_group dcs dcsid cpa protocol\_addr csa\_state*

長構文: SCSP.018 Cache Update received nt *network sg server\_group dcs dcsid cpa protocol\_addr csa\_state*

説明: キャッシュ更新を特定の DCS から受信しました。CPA はプロトコル・アドレスです。

---

**SCSP.019**

レベル: U\_TRACE

短構文: SCSP.019 Hello missed, state chg to *dcs\_hello\_state*, nt *network sg server\_group dcs dcsid*

長構文: SCSP.019 Hello message missed, FSM state change to *dcs\_hello\_state* on network *network*, server group *server\_group*, DCSID *dcsid*

説明: 休止係数 (Dead Factor) をハロー・インターバル倍した時間内に、DCS からハロー・メッセージを受信しませんでした。

---

---

**SCSP.020**

レベル: U\_TRACE

短構文: SCSP.020 CA missed, retransmitting, nt *network sg server\_group dcs dcsid*

長構文: SCSP.020 CA message missed, retransmitting. network *network*, server group *server\_group*, DCSID *dcsid*

説明: SUMMARIZE 状態のとき、予期された期間内に、DCS から CA メッセージを受信しませんでした。

---

**SCSP.021**

レベル: U\_TRACE

短構文: SCSP.021 CSUS missed, retransmitting, nt *network sg server\_group dcs dcsid*

長構文: SCSP.021 CSUS message missed, retransmitting. network *network*, server group *server\_group*, DCSID *dcsid*

説明: UPDATE 状態のとき、予期された期間内に、DCS から CSUS メッセージを受信しませんでした。

---

**SCSP.022**

レベル: U\_TRACE

短構文: SCSP.022 retransmitting CSAs, nt *network sg server\_group dcs dcsid*

長構文: SCSP.022 retransmitting CSAs. network *network*, server group *server\_group*, DCSID *dcsid*

説明: CSU\_REQ メッセージ内で送信された CSA に確認応答されませんでした。再送中です。

---

**SCSP.024**

レベル: UE\_ERROR

短構文: SCSP.024 sg ( *server\_group*) bad in msg nt *network*

長構文: SCSP.024 message contains a sg ( *server\_group*) that is not configured. network *network*

説明: メッセージまたは CSA を受信したのが、このネットワーク上に構成されていないサーバー・グループについてです。

---

**SCSP.025**

レベル: UE\_ERROR

短構文: SCSP.025 bad msg type ( *message\_type*) nt *network*

長構文: SCSP.025 bad message type ( *message\_type*) received on network *network*

---

説明: メッセージを受信しましたが、メッセージ・タイプが認識できません。

---

#### SCSP.026

レベル: UE\_ERROR

短構文: SCSP.026 bad msg hdr nt *network*

長構文: SCSP.026 bad message header received on network *network*

説明: 受信したメッセージが不良です。理由は次のいずれか 1 つである可能性があります。メッセージ・バージョンが無効。チェックサムの誤り。

---

#### SCSP.027

レベル: U\_TRACE

短構文: SCSP.027 EP state chg ( *ep\_state*) nt *network* SG *server\_group*

長構文: SCSP.027 Endpoint state change to *ep\_state*, network *network*, SGID *server\_group*

説明: このサーバー・グループが使用しているエンドポイント・アドレスまたは ATM アドレスが状態を変更しました。0 は動作不可能で、1 は動作可能です。

---

#### SCSP.028

レベル: P\_TRACE

短構文: SCSP.028 *message\_type* msg sent nt *network* sg *server\_group* sid *sender\_id* rid *receiver\_id*

長構文: SCSP.028 *message\_type* message sent on network *network* server group *server\_group*. sid *sender\_id* rid *receiver\_id*

説明: 特定のタイプのメッセージの送信中です。SID は送信側 ID (LSID) です。RID は受信側 ID (DCS ID) です。

---

#### SCSP.029

レベル: P\_TRACE

短構文: SCSP.029 CSUS rcvd nt *network* sg *server\_group* dcs *dcsid*

長構文: SCSP.029 CSUS message received on network *network*, server group *server\_group*, DCSID *dcsid*

説明: キャッシュ状態更新勧誘メッセージを受信しました。

---

#### SCSP.031

レベル: P\_TRACE

短構文: SCSP.031 *message\_type* msg rcvd nt *network* sg *server\_group* sid *sender\_id* rid *receiver\_id*

長構文: SCSP.031 *message\_type* message received on network *network* server group *server\_group*. sid *sender\_id* rid *receiver\_id*

説明: 特定のタイプのメッセージの受信中です。SID は送信側 ID (LSID) です。RID は受信側 ID (DCS ID) です。

---

#### SCSP.032

レベル: U\_TRACE

短構文: SCSP.032 CSA retry exceeded, state chg to *dcs\_hello\_state*, nt *network* sg *server\_group* dcs *dcsid*

長構文: SCSP.032 CSA retry count exceeded, HFMS state change to *dcs\_hello\_state* on network *network*, server group *server\_group*, DCSID *dcsid*

説明: 数回の試行後も、DCS は CSA の受信を確認しませんでした。これは異常事象と見なされます。DCS は WAITING 状態にリセットされます。

---

#### SCSP.033

レベル: C\_TRACE

短構文: SCSP.033 cache entry *cache\_action*, paddr *protocol\_address*, oid *origin\_id*, key *cache\_key*

長構文: SCSP.033 cache entry *cache\_action*, protocol address *protocol\_address*, origin ID *origin\_id*, cache key *cache\_key*

説明: SCSP キャッシュ要素の作成、更新、リンク解除、または経過時間切れです。cache\_action は、次のいずれか 1 つです。created - キャッシュ要素が作成される。updated - シーケンス番号が更新される。relinked - 更新および再リンク。unlinked - サーバーがキャッシュ項目を除去中。ignored - シーケンス番号の大きさが足りないため、更新が無視される。aged - 経過時間切れ。

---

#### SCSP.034

レベル: UE\_ERROR

短構文: SCSP.034 duplicate SG registration ( *server\_group*) nt *network*

長構文: SCSP.034 duplicate server group registration ( *server\_group*) on network *network*

説明: サーバーがサーバー・グループの開始を試みま

したが、そのサーバー・グループ ID がすでに使用されていたものです。構成を調べて、サーバー・グループ ID が重複していないかどうか確認します。



---

## 第107章 シンプル・ネットワーク管理プロトコル (SNMP)

この章では、シンプル・ネットワーク管理プロトコル (SNMP) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### SNMP.001

レベル: P-TRACE

短構文: SNMP.001 rcvd pkt frm hst *source\_address*

長構文: SNMP.001 received packet from host  
*source\_address*

説明: このメッセージは、リモート・ホストから各 SNMP パケットを受信するたびに生成されます。

---

### SNMP.002

レベル: P-TRACE

短構文: SNMP.002 snt pkt to hst *dest\_address*

長構文: SNMP.002 sent packet to host *dest\_address*

説明: このメッセージは、リモート・ホストに各 SNMP パケットを送信するたびに生成されます。

---

### SNMP.003

レベル: UE-ERROR

短構文: SNMP.003 rcvd non-SNMP pkt frm hst  
*source\_address* (err= *value*)

長構文: SNMP.003 received non-SNMP packet from  
host *source\_address* (error code = *value*)

説明: このメッセージは、着信 SNMP パケットの第 1 レベル合理性検査によって生成されます。エラー・コードには、以下のような意味があります。1 - パケットが SEQUENCE (0x30) で始まっていない。2 - パケット順序の長さが短過ぎる。3 - パケット順序の長さのコード化 (1 バイト) が不適正である。4 - 最初のパケット・フィールドが ASN.1 INTEGER でない。5 - パケット順序の長さのコード化 (2 バイト) が不適正である。6 - 最初のパケット・フィールドが ASN.1 INTEGER でない。7 - 何か別のエラーが検出された。

原因: ネットワーク上の他のノードが、間違っただけの SNMP パケットをルーターに送信しました。

処置: エラー・メッセージに指定されているリモート・ノードにエラーがないか調べてください。

---

### SNMP.004

レベル: UE-ERROR

短構文: SNMP.004 bad ver *version* frm hst  
*source\_address*

長構文: SNMP.004 bad version number *version* from  
host *source\_address*

説明: このメッセージは、SNMP パケットに正しくないバージョン番号が含まれていることを示しています。

原因: ルーターまたはネットワーク管理プログラムが、互換性のないバージョンを実行しています。

処置: SNMP の一方のバージョンを更新 (またはバックアウト) してください。

原因: 不良パケットが、第 1 レベル・エラー検査で見落とされました。

処置: ネットワークにワイルド・パケットがないか検査してください。

---

### SNMP.005

レベル: U-TRACE

短構文: SNMP.005 no access: comm *community*, hst  
*source\_address*

長構文: SNMP.005 no access to community *community*  
from host *source\_address*

説明: このメッセージは、リモート・ホストからの SNMP 要求が、存在しないコミュニティ、またはそのホストの IP アドレスを受け入れ可能としてリストしていないコミュニティを指定していることを示しています。

原因: リモート・ホストが間違っただけのコミュニティ名を使用しています。

処置: リモート・ホストのネットワーク管理プログラムを更新してください。

原因: ルーターに定義されているコミュニティが間違っています。

処置: コミュニティ名を訂正するか、リモート・ホストの IP アドレスをコミュニティのリストに追加してください。



---

## SNMP.006

レベル: UE-ERROR

短構文: SNMP.006 bad appl type *appl\_type* frm hst *source\_address*

長構文: SNMP.006 bad application type *appl\_type* from host *source\_address*

説明: このメッセージは、SNMP パケットによくない要求タイプがあったことを示します。つまり、GET、GETNEXT、または SET 要求ではなかったということです。

原因: リモート・ホストにエラーがあります (おそらく、応答パケットを送信しています)。

処置: リモート・ホストを検査してください。

原因: 不良パケットが、第1レベル・エラー検査で見落とされました。

処置: ネットワークにワイルド・パケットがないか検査してください。

---

## SNMP.007

レベル: UI-ERROR

レベル: OOM

短構文: SNMP.007 no free pkr bfr

長構文: SNMP.007 no packet buffer available

説明: このメッセージは、SNMP が、SNMP 応答を作成するパケットを割り振ることができない場合に生成されます。

原因: 使用可能な空き記憶域はすべて現在システム上で使用中です。

処置: 後で照会を再試行します。これが正常に行われない場合は、記憶域のアップグレードが必要になる可能性があります。記憶域の統計を監視して、使用状況を調べてください。

---

## SNMP.008

レベル: U-TRACE

短構文: SNMP.008 R/O access for SET: hst *source\_address*, comm *community*

長構文: SNMP.008 SET request from host *source\_address* has read-only access on community *community*

説明: このメッセージは、SET 要求が着信したのが、MIB への読み取り専用アクセスしか提供しないコミュニティであったことを示します。

処置: SET が可能なコミュニティを提供するか、リモート・ホストに SET 要求の送信を停止させるようにしてください。

---

## SNMP.009

レベル: UI-ERROR

レベル: OOM

短構文: SNMP.009 TRAP: no free pkt bfr

長構文: SNMP.009 TRAP: no free packer buffer available

説明: SNMP が記憶域を割り振ることができないため、トラップを送信するたびに、このメッセージが生成されます。

原因: 使用可能な空き記憶域はすべて現在システム上で使用中です。

処置: 記憶域のアップグレードが必要になる可能性があります。記憶域の統計を監視して、使用状況を調べてください。

---

## SNMP.012

レベル: C-TRACE

短構文: SNMP.012 comm *name* added

長構文: SNMP.012 community *name* added

説明: SNMP 構成ルーチンが SRAM から新規コミュニティを読み取るたびに、このメッセージが同構成ルーチンによって生成されます。

---

## SNMP.013

レベル: UE-ERROR

短構文: SNMP.013 rcvd non-SNMP pkt frm hst *source\_address*

長構文: SNMP.013 received non-SNMP packet from host *source\_address*

説明: このメッセージは、着信 SNMP パケットの合理性検査によって生成されます。この検査は、PDU を処理する直前に行われます。

原因: ネットワーク上の別のノードが、間違った形式の SNMP パケットをルーターに送信し、そのパケットが第1レベル・エラー検査で見落とされました。

処置: エラー・メッセージに指定されているリモート・ノードにエラーがないか調べてください。

---

### SNMP.014

レベル: UE-ERROR

短構文: SNMP.014 bad ovarlen *source\_address* frm hst *ovarlen*

長構文: SNMP.014 length of variable to be sent out exceeds max length *source\_address* from host *ovarlen*

説明: このメッセージは、送信される変数の長さの検査によって生成されます。

原因: ネットワーク上の別のノードが、間違っ形式の SNMP パケットをルーターに送信し、そのパケットが第1レベル・エラー検査で見落とされました。

処置: エラー・メッセージに指定されているリモート・ノードにエラーがないか調べてください。

---

### SNMP.015

レベル: P-TRACE

短構文: SNMP.015 rcvd get-req pkt frm hst *source\_address*

長構文: SNMP.015 received a get-request packet from host *source\_address*

説明: このメッセージは、リモート・ホストから get-request タイプの各 SNMP パケットを受信するたびに生成されます。

---

### SNMP.016

レベル: P-TRACE

短構文: SNMP.016 rcvd get-nxt pkt frm hst *source\_address*

長構文: SNMP.016 received a get-next packet from host *source\_address*

説明: このメッセージは、リモート・ホストから get-next タイプの各 SNMP パケットを受信するたびに生成されます。

---

### SNMP.017

レベル: P-TRACE

短構文: SNMP.017 rcvd set-req pkt frm hst *source\_address*

長構文: SNMP.017 received a set-request packet from host *source\_address*

説明: このメッセージは、リモート・ホストから set-request タイプの各 SNMP パケットを受信するたびに生成されます。

---

---

### SNMP.018

レベル: U-TRACE

短構文: SNMP.018 pkt frm hst : *source\_address* caused err typ toobig

長構文: SNMP.018 packet from host *source\_address* resulted in a pkt with error status: toobig

説明: このメッセージは、パケットが送り出されたが、問題の SNMP 変数がパケット・サイズに収まらなかった結果、too big というエラー状況であることを示します。

処置: パケット・サイズを大きくしてください。

---

### SNMP.019

レベル: U-TRACE

短構文: SNMP.019 pkt frm hst : *source\_address* caused err typ nosuchnam

長構文: SNMP.019 packet from host *source\_address* resulted in a pkt with error status: nosuchname

説明: このメッセージは、パケットが送り出されたが、問題の SNMP 変数がシステム内、または指定されたコミュニティに関連するビュー内に存在しなかった結果、noSuchName というエラー状況であるか、または操作が読み取り専用変数に対する SET であることを示します。

処置: 要求された変数が (また、変数の特定のインスタンスも) システム内に存在し、その変数が要求されたビュー内にあり、コミュニティに正しいアクセス・タイプがあり、SET 操作の場合に、要求された変数が書き込み可能であるようにしてください。

---

### SNMP.020

レベル: U-TRACE

短構文: SNMP.020 pkt frm hst : *source\_address* caused err typ badvalue

長構文: SNMP.020 packet from host *source\_address* resulted in a pkt with error status: badvalue

説明: このメッセージは、パケットが送り出されたが、SET 要求に誤った値を指定して変数の設定を試みた結果、badvalue というエラー状況であったことを示します。

処置: リモート・ホストからの SET 要求は、設定しようとしている値の ASN1 タイプに矛盾しない値を指定してください。

---

---

## SNMP.021

レベル: UE-ERROR

短構文: SNMP.021 Pkt discd, inp buffs low, net  
*Network ID*

長構文: SNMP.021 Packet Discarded, input buffers are  
low, network *Network ID*

説明: 着信 SNMP パケットの入力バッファ・プールが、最低水準より下に落ちました。ルーターは SNMP パケットを除去して、他のトラフィックのためにバッファ・スペースを解放することを試みました。

原因: トラフィック・バーストが、インターフェース上の入力バッファでオーバーフローしました。

処置: このメッセージが頻繁に出る場合は、メッセージに示されたインターフェースの入力バッファを大きくする必要があるかもしれません。

---

## SNMP.022

レベル: UE-ERROR

短構文: SNMP.022 ext err ( *tag* ) at *file( line) : message*

長構文: SNMP.022 code encountered external error ( *tag* ) at *file( line) : message*

説明: SNMP コードが、外部事象によって生じたエラー状態を検出しました。

処置: エラー・メッセージに応じて適切な処置を取ってください。

---

## SNMP.023

レベル: UI-ERROR

短構文: SNMP.023 int err ( *tag* ) at *file( line) : message*

長構文: SNMP.023 code encountered internal error ( *tag* ) at *file( line) : message*

説明: SNMP コードが、内部事象によって生じたエラー状態を検出しました。

処置: エラー・メッセージに応じて適切な処置を取ってください。

---

## SNMP.024

レベル: C-TRACE

短構文: SNMP.024 generic trc ( *tag* ) at *file( line) : message*

長構文: SNMP.024 generic trace message ( *tag* ) at *file( line) : message*

説明: SNMP コードがメッセージを生成しました。トレース・メッセージは、P1 (最上位)、P2、P3、および P4 に分類されます。

処置: トレース・メッセージに応じて適切な処置を取ってください。

---

## SNMP.025

レベル: C-TRACE

短構文: SNMP.025 trc sgmt: *trace\_segment*

長構文: SNMP.025 trace segment is generated  
*trace\_segment*

説明: SNMP コードがトレース・セグメントを生成しました。

処置: トレース・セグメントに応じて適切な処置を取ってください。

---

## SNMP.026

レベル: C-TRACE

短構文: SNMP.026 pkt trc ( *tag* ) at *file( line) : message*

長構文: SNMP.026 snmp packet trace ( *tag* ) at *file( line) : message*

説明: `snmp_packet` がトレースされていることを示します。SNMP\_25 をオンにして、パケット情報の残りを入手する必要があります。

---

## SNMP.027

レベル: C-TRACE

短構文: SNMP.027 snmp container ( *tag* ) at *file( line)*

長構文: SNMP.027 snmp main data structure trace ( *tag* ) at *file( line)*

説明: SNMP の主要なデータ構造がトレースされていることを示します。SNMP\_25 をオンにして、パケット情報の残りを入手する必要があります。

---

## SNMP.028

レベル: CI-ERROR

短構文: SNMP.028 err ( *tag* ) at *file( line) : message*

長構文: SNMP.028 code encountered error ( *tag* ) at *file( line) : message*

説明: SNMP コードがエラー状態を検出しました。メッセージは、E1 (最も重大)、E2、および E3 のレベルに分類されます。

**処置:** エラー・メッセージに応じて適切な処置を取ってください。

---

#### **Panic nmnostor**

**短構文:** SNMP: no storage for MIB

**説明:** MIB に項目を追加するために利用可能な記憶域がありませんでした。

---

#### **Panic nmitype**

**短構文:** SNMP: interface type not defined for net

**説明:** インターフェースを定義する構造体が、MIB-II ifType 変数の値を定義していません。

**処置:** 新規ロードについては、サービス技術員に連絡してください。このロードを用いて試行したり、SNMP を使用可能にしたりしてはなりません。

---

#### **Panic snmpudperr**

**短構文:** snmp udp port not avail

**説明:** 別のアプリケーションが前に SNMP の UDP ポートに登録済みです。

**処置:** サービス技術員に連絡してください。



---

## 第108章 ソース・ルーティング透過型 (SRT) ブリッジ

この章では、ソース・ルーティング透過型 (SRT) ブリッジ・メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### SRT.001

レベル: UI-ERROR

短構文: SRT.001 No buf to dup broadcast frame  
*source\_mac-> dest\_mac* to port *port*, nt *network*

長構文: SRT.001 No buffer available to duplicate frame  
from *source\_mac* to *dest\_mac* on to port *port*, network  
*network*

説明: 複数のインターフェースでブリッジ・フレームを送信するために、フレームをコピーするバッファがありません。マルチキャストあて先アドレスの場合、または特定の静的エントリーの場合、ブリッジ・パケットは複数のインターフェースで送信されます。指定のポートおよびネットワークでは、このフレームのコピーは送信されません。

原因: 重大なパケット・バッファの不足

処置: GWCON 内の記憶域統計を検査して、パケット・バッファ・レベルを確認してください。

原因: トラフィック・ピークで、利用可能なバッファがすべて使われています。

処置: 問題になるのは、このメッセージが出る頻度が低い場合です。

---

### SRT.002

レベル: UI-ERROR

短構文: SRT.002 Err *error\_code* setting promisc mode  
on nt *network*

長構文: SRT.002 Error code *error\_code* trying to set  
promiscuous mode on network *network*

説明: スパニング・ツリー・プロトコルがこのネットワークを確認状態に設定することを要求しましたが、装置に対するコマンドが正常に行われませんでした。*error\_code* は、装置特定エラー・コードで、そのエラーが何かを示しています。

原因: ハードウェア障害またはソフトウェア・バグ

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

### SRT.003

レベル: UI-ERROR

短構文: SRT.003 Hw cache full on port *port* nt  
*network*

長構文: SRT.003 Hardware cache full on port *port*  
network *network*

説明: 内部フィルターおよび確認のために使用されるハードウェア・キャッシュが、エントリーの経年処理を試みているときに、満ばい条件を検出しました。

原因: ハードウェア・キャッシュ内のエントリーが多過ぎます。

処置: 分解能の期間を短縮してください。

---

### SRT.004

レベル: UI-ERROR

短構文: SRT.004 No buf for *command\_name* cmd to nt  
*network*

長構文: SRT.004 No buffer available for  
*command\_name* command to network *network*

説明: 装置にコマンドを送信するために利用可能なバッファがありませんでした。使用できるコマンド名としては、"D\_CNFGSRB" (ソース・ルーティング・ブリッジの構成)、"SRT\_ON" (無差別オン)、"SRT\_INFORM" (装置の機能の確認)、"SRT\_SET\_AGE" (装置内フィルター・データベースの経過時間の設定)、"SRT\_DECR\_AGE" (装置内フィルター・データベースに対する経時パスの実行)、"SRT\_ADD\_ENTRY" (静的エントリーの追加)、"SRT\_DEL\_ENTRY" (エントリーの削除、コンソールから)、"SRT\_SEARCH\_ENTRY" (特定のエントリーの探索、コンソールから)、および "SRT\_LIST\_ENTRY" (カード内確認データベースの内容のリスト) があります。コマンド "D\_CNFGSRB" および "SRT\_ON" の場合は、インターフェースは間違った状態のままであるという結果になりかねません。"SRT\_INFORM" での失敗は、重大な問題を生じる可能性があります。その他のコマンドの場合は、それほど重大な結果にはなりません。

原因: 重大なパケット・バッファの不足

処置: GWCON 内の記憶域統計を検査して、パケッ



ト・バッファ・レベルを確認してください。

**原因:** トラフィック・ピークで、利用可能なバッファがすべて使われています。

**処置:** 問題になるのは、このメッセージが出る頻度が低い場合です。

---

#### SRT.005

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** SRT.005 *source\_mac-> dest\_mac* send fld, rsn *reason\_code*, port *port* nt *network*

**長構文:** SRT.005 Sending Frame from *source\_mac* to *dest\_mac* failed, reason *reason\_code*, on port *port* network *network*

**説明:** 転送するパケットの送信が失敗しました。理由は、その障害の内部エラー・コードです。

**原因:** 各種のハンドラー・エラー (理由コード 1)

**処置:** ハンドラーからのエラー・メッセージを検査して、*network\_name* を調べてください。

**原因:** 出力待ち行列オーバーフローまたはその他のフロー制御 (理由コード 2)

**処置:** 輻輳 (ふくそう) を緩和してください。

**原因:** ネットワークがダウン (理由コード 3)

**処置:** ネットワークがダウンしているとハンドラーが判断した理由を調べてください。

**原因:** ループまたはよくない同報通信を回避するために、ハンドラーによって除去されました。(理由コード 4)。

**処置:** 構成を検査してください。

**原因:** ホストがダウン (理由コード 5)

**処置:** ホストがダウンしているとハンドラーが判断した理由を調べてください。

---

#### SRT.006

**レベル:** CI-ERROR

**短構文:** SRT.006 Input q ovf *source\_mac-> dest\_mac*, dropped, nt *network*

**長構文:** SRT.006 Input queue overflow on frame from *source\_mac* to *dest\_mac*, packet dropped from network *network*

**説明:** 転送の対象となるフレーム用の入力待ち行列が長過ぎ、輻輳 (ふくそう) を緩和する試みとして、このフレームは廃棄されました。

**原因:** バースト性トラフィックが輻輳 (ふくそう) の原

因となっている場合があります。

**処置:** バーストが解消されるまで待ってください。

**原因:** トラフィックが多過ぎて、転送機能が転送できません。

**処置:** ネットワークを再構成してください。ルーターの速度を上げてください。

**原因:** バッファ資源が不十分です。

**処置:** GWCON 内の記憶域統計を調べてください。

---

#### SRT.008

**レベル:** CE-ERROR

**短構文:** SRT.008 *source\_mac-> dest\_mac* too big (*reformatted\_length* > *output\_maximum*) for port *port* nt *network*, dropped

**長構文:** SRT.008 Frame from *source\_mac* to *dest\_mac* is too big (reformatted length *reformatted\_length* bytes > output maximum size *output\_maximum* bytes) for port *port* network *network*, dropped

**説明:** 指定のフレームは、この発信ポートおよびネットワークで送信するには大き過ぎます。*reformatted\_length* は、データ・リンク・ヘッダーのマッピング後の、MAC ヘッダーを含めたフレームのサイズです。

**原因:** 大きい最大フレーム・サイズをもつネットワーク上のホストが、これより小さい最大フレーム・サイズをもつネットワーク上のホストに送信しています。

**処置:** 送信ホストを再構成して、そのように大きいフレームを送信させないようにします。フレームが、フラグメントへの分割をサポートするルーティング可能プロトコル (IP または ISO など)、または最大フレーム・サイズ決定をサポートするルーティング可能プロトコル (DNA または XNS) の場合は、ブリッジングではなく、ルーティングの使用に変換します。

**原因:** 大きい最大フレーム・サイズをもつネットワーク上のホストが、これより小さい最大フレーム・サイズをもつネットワークを介して、ホストに送信しています。

**処置:** ネットワークを再構成して、最大フレーム・サイズが大きいネットワーク (FDDI または 802.5 など) をバックボーン・ネットワークとして使用します。スパンニング・ツリー・プロトコル内のポート・コストを再構成して、大きい最大フレーム・サイズをもつネットワークを介したスパンニング・ツリーが優先されるようにしてください。

---

**SRT.009**

レベル: UE-ERROR

短構文: SRT.009 *source\_mac-> dest\_mac* drp, nt *network* down

長構文: SRT.009 Frame from *source\_mac* to *dest\_mac* dropped, input network *network* is down

説明: ダウンしているネットワークで、ブリッジするためのフレームを受信しました。これは無視されます。

原因: BPDU が、このインターフェース上のルーターのユニキャスト・アドレスあてに送信されました。

処置: 送信ノードの処置を訂正してください。

原因: 内部状態の矛盾

---

**SRT.010**

レベル: P-TRACE

短構文: SRT.010 *source\_mac-> dest\_mac* drp, src add flt, port *port* nt *network*

長構文: SRT.010 Frame from *source\_mac* to *dest\_mac* dropped, source address filtered, port *port* network *network*

説明: ハードウェアが MAC フレームを受信しましたが、発信元 MAC アドレスがブリッジによって管理されてフィルター処理されます。フレームは廃棄されます。

原因: 発信元 MAC アドレスが発信元フィルターに合致するフレームを受信しました。

---

**SRT.011**

レベル: U-TRACE

短構文: SRT.011 *source\_mac-> dest\_mac* dropped, input port *port* nt *network* not forwarding

長構文: SRT.011 Frame from *source\_mac* to *dest\_mac* dropped, input port *port* network *network* not in forwarding state

説明: まだ "確認" 状態でしかないポート上で MAC フレームを受信しました。フレームがブリッジされるのは、ポートが "転送" 状態のときだけです。ポートがまだ "確認" 状態にある間は、フィルター・データベース用として発信元アドレスを確認するための、フレーム処理が行われるだけです。フレームはブリッジされません。

原因: "転送" 状態への遷移の一環をなす通常の過程です。

---

**SRT.012**

レベル: U-INFO

短構文: SRT.012 *source\_mac-> dest\_mac* dropped, output port *port* nt *network* not forwarding

長構文: SRT.012 Frame from *source\_mac* to *dest\_mac* dropped, output port *port* network *network* not in forwarding state

説明: MAC フレームはブリッジされている最中でしたが、あて先ポートが "転送" 状態ではありませんでした。そのポートでは、フレームは送信されません。

原因: 出力ポートがまだ "確認" 状態です。

処置: 何も必要ありません。ポートが "転送" に遷移するはずですが。

原因: フィルター・データベース内の静的エントリが指しているポートが、まだ "転送" 状態ではありません。

---

**SRT.013**

レベル: P-TRACE

短構文: SRT.013 *source\_mac-> dest\_mac* drp, dst same LAN, port *port* nt *network*

長構文: SRT.013 Frame from *source\_mac* to *dest\_mac* dropped, destination on same LAN, port *port* network *network*

説明: MAC フレームを受信しましたが、そのあて先アドレスが、ブリッジの packets が来た側と同じ側にあります。ブリッジする必要がないので、フレームはフィルター論理によって除去されます。

原因: ネットワーク上の通常のローカル・トラフィック

---

**SRT.014**

レベル: CI-ERROR

短構文: SRT.014 *source\_mac-> dest\_mac* drp, dst port *port* not enabled, nt *network*

長構文: SRT.014 Frame from *source\_mac* to *dest\_mac* dropped, destination port *port* not enabled, network *network*

説明: ブリッジされている最中のフレームのあて先となっていたポートが、透過ブリッジングを実行していないか、透過ブリッジングに備えた "転送" 状態ではありません。

原因: フィルター・データベース内の静的エントリ

---

が指しているポートが、まだ "転送" 状態ではありません。

---

#### SRT.015

レベル: P-TRACE

短構文: SRT.015 *source\_mac-> dest\_mac* brdg port *port nt network* to port *port nt network*

長構文: SRT.015 Frame from *source\_mac* to *dest\_mac* bridged from port number *port network network* to port number *port network network*

説明: フレームが、これらの 2 つのインターフェース間でブリッジされています。あて先アドレスが分かっていたので、正しいあて先ネットワークにのみ送信されました。

---

#### SRT.016

レベル: P-TRACE

短構文: SRT.016 *source\_mac-> dest\_mac* brdg-all port *port nt network* to port *port nt network*

長構文: SRT.016 Frame from *source\_mac* to *dest\_mac* bridged to all ports from port number *port network network* to port number *port network network*

説明: フレームが、すべての活動透過型ブリッジ・ポートに透過的にブリッジされています。この状況が起こるのは、フレームのあて先がマルチキャストである場合、フレームのあて先が確認データベース内に存在しない場合、または確認データベース内の静的エントリーによって要求されている場合です。フレームが送信される各ポートごとに 1 つのメッセージが出されます。

---

#### SRT.017

レベル: U-INFO

短構文: SRT.017 Enabling SRT on port *port nt network*

長構文: SRT.017 Enabling SRT on port *port network network*

説明: SRT 転送機能は、指定のインターフェースでブリッジを使用可能にするためのプロセスを開始しています。これが開始されるのは、インターフェースが自己検査の後、アップ状態になるときです。

---

#### SRT.018

レベル: C-INFO

短構文: SRT.018 SRT startup complete on port *port nt network*

長構文: SRT.018 SRT startup complete on port *port network network*

説明: SRT 転送機能は、指定のインターフェースでブリッジを使用可能にするプロセスを完了しました。これから "閉そく" 状態に入ります。

---

#### SRT.019

レベル: UI-ERROR

短構文: SRT.019 Unsupp ifc typ *type\_name*, nt *network*

長構文: SRT.019 Unsupported interface type *type\_name*, network *network*

説明: SRT 転送機能が、サポートしていないタイプのインターフェースで使用可能にされました。

原因: ProNET-10 など、SRT をサポートしないインターフェース上で SRT を使用可能にしました。

---

#### SRT.020

レベル: UI-ERROR

短構文: SRT.020 Can't autocfg brdg addr, lowest port *port nt network* no MAC addr

長構文: SRT.020 Cannot autoconfigure the bridge address, the lowest numbered port *port network network* has no MAC address

説明: ブリッジ・アドレスが最小番号のポートの MAC アドレスに基づいて自動構成されるように、ユーザーがブリッジを構成しました。最小番号のポートが MAC アドレスをもっていないタイプ (たとえば、シリアル回線) です。

処置: SRT config> コマンド "SET BRIDGE" を使用して、ブリッジにアドレスを割り当てます。

---

#### SRT.022

レベル: UI-ERROR

短構文: SRT.022 Bridge config with no valid ports, disabling

長構文: SRT.022 Bridge configured with no valid ports, disabling the bridge

説明: ブリッジは使用可能にされましたが、そのブリッジ上にポートが構成されていないか、インターフェースとブリッジ・ポートの構成レコード間にミスマッチがありました。ブリッジは使用不可のままになります。

処置: ブリッジ・ポートと装置の間の構成の矛盾を解決してください。

---

**SRT.023**

レベル: UI-ERROR

短構文: SRT.023 Port *port* config on nonexist network number *network\_number*

長構文: SRT.023 Port *port* configured on nonexistent network number *network\_number*

説明: Config> ADD DEVICE コマンドを用いて構成されていないネットワークを使用するように、ポートが構成されています。このブリッジのポートは使用不可にされます。

原因: ルーターの装置構成とブリッジ構成の間の矛盾

処置: ブリッジ構成内のネットワーク番号を訂正するか、ネットワークを装置構成に追加するかしてください。

---

**SRT.024**

レベル: UI-ERROR

短構文: SRT.024 *existent\_port\_count* ports is < 2, disabling

長構文: SRT.024 *existent\_port\_count* existent ports is less than 2, disabling bridge

説明: ブリッジに構成されている (有効な) ポートが 2 つ未満です。少なくとも 2 つのポートがなければなりません。

原因: 構成されているポートが 2 つ未満です。

処置: さらにポートを追加するか、ブリッジングの試行および使用をしないようにします。

原因: 未構成装置上のポートが多過ぎます。

処置: ブリッジ・ポートと装置間の構成の矛盾を解決してください。

---

**SRT.025**

レベル: UI-ERROR

短構文: SRT.025 No mem for filt db (req *requested\_size*, min *minimum\_size*), disabl

長構文: SRT.025 No memory for filtering databse (desired size *requested\_size* bytes, absolute minimum size *minimum\_size* bytes), disabling bridge

説明: 十分な空き記憶域がなく、最小サイズのフィルター・データベースでさえ割り振ることができません。ブリッジは使用不可にされます。ブリッジは、*requestd\_size* のバイト数を割り振る試みから始めた上で、徐々にサイズを小さくして、*minimum\_size* に至るまで試行します。最小サイズには、登録済みエントリー

と静的エントリーしか入りません。

原因: 重大な記憶域の不足

処置: 他のプロトコル内のルーティング・テーブル・サイズを縮小し、プロトコル数を減らしてシステムを使用し、ルーター内の記憶域を拡張します。

---

**SRT.026**

レベル: C-INFO

短構文: SRT.026 *source\_mac*== *dest\_mac*, drop, port *port* nt *network*

長構文: SRT.026 Frame from *source\_mac* to *dest\_mac*, source same as destination, dropping, from port *port* network *network*

説明: 同じアドレス間で送受信されるフレームは、このブリッジではブリッジされません。

---

**SRT.027**

レベル: P-TRACE

短構文: SRT.027 Chg state *old\_state* to *new\_state*, port *port* nt *network*

長構文: SRT.027 Changing port state from *old\_state* to *new\_state* for port *port*, network *network*

説明: スパニング・ツリー・プロトコルが、SRT ブリッジ内のこのポートのこの状態変更を要求しました。*old\_state* および *new\_state* は、次のいずれか 1 つです。FORWARDING (スパニング・ツリー・プロトコル転送状態)、LEARNING (スパニング・ツリー・プロトコル確認状態)、LISTENING (スパニング・ツリー・プロトコル listen 状態)、BLOCKED (スパニング・ツリー・プロトコル閉そく状態)、CONFIGURING (ポート装置の構成保留)、POSTCONFIGURING (ポート装置の構成完了)、PRECONFIGURING (ポート使用可能、ポート装置の構成開始)、および DISABLED (ポート使用不可)。

---

**SRT.028**

レベル: UI\_ERROR

短構文: SRT.028 No room for PERM *mac\_address* in filt database, disabling

長構文: SRT.028 No room for permanent address *mac\_address* in filtering database, disabling bridge

説明: フィルター・データベースに永続エントリーを入れる余地がありません。ブリッジは使用不可にされません。

**原因:** フィルター・データベースのサイズが小さ過ぎます。

**処置:** フィルター・データベースを大きくしてください。

**原因:** 永続エントリーが多過ぎます。

**処置:** 永続エントリーを減らして構成します。

---

### SRT.029

**レベル:** UI\_ERROR

**短構文:** SRT.029 No mem for PERM *mac\_address*, disabling

**長構文:** SRT.029 No memory for permanent address *mac\_address*, disabling bridge

**説明:** 補助データベースに永続エントリーを入れる余地がありません。ブリッジは使用不可にされます。

**原因:** 空き記憶域が少な過ぎます。

**処置:** ルーティング・データベースを小さくしてください。

**処置:** 記憶域のサイズを増やしてください。

**原因:** 永続エントリーが多過ぎます。

**処置:** 永続エントリーを減らして構成します。

---

### SRT.030

**レベル:** UI\_ERROR

**短構文:** SRT.030 *command* Cmd fld to net *network*

**長構文:** SRT.030 *command* command failed to network *network*

**説明:** ネットワーク装置へのコマンドが失敗しました。使用可能なコマンド名としては、“SRT\_ON” (無差別オン)、“SRT\_OFF” (無差別オフ)、“SRT\_INFORM” (装置の機能の確認)、“SRT\_ADD\_ENTRY” (装置内静的エントリーの追加)、“SRT\_SET\_AGE” (装置内フィルター・データベースの経過時間の設定)、および“SRT\_DECR\_AGE” (装置内フィルター・データベースに対する経時パスの実行) があります。コマンド“SRT\_ON” および “SRT\_OFF” の場合は、インターフェースは間違った状態のままであるという結果になりかねません。“SRT\_INFORM” での失敗は、重大な問題を生じる可能性があります。その他のコマンドの場合は、それほど重大な結果にはなりません。

**原因:** ハードウェア障害またはソフトウェア・バグ

**処置:** サービス技術員に連絡してください。

---

### SRT.031

**レベル:** UI\_ERROR

**短構文:** SRT.031 No buf to dup *routing\_type* frame *source\_mac*-> *dest\_mac* to port *port*, nt *network*

**長構文:** SRT.031 No buffer available to duplicate *routing\_type* frame from *source\_mac* to *dest\_mac* on to port *port*, network *network*

**説明:** 複数のインターフェース上で全経路検索 (ARE) またはスパンニング・ツリー検索 (STE) *routing\_type* フレームを送信するために、フレームをコピーする場合に使用可能なバッファがありません。ARE フレームは、SRT スパンニング・ツリーの一部をなす、すべてのインターフェース上で送信され、STE フレームは、ソース・ルーティングを実行する、すべてのインターフェース上で送信されます。指定のポートおよびネットワークでは、このフレームのコピーは送信されません。

**原因:** 重大なパケット・バッファの不足

**処置:** GWCON 内の記憶域統計を検査して、パケット・バッファ・レベルを確認してください。

**原因:** トラフィック・ピークで、利用可能なバッファがすべて使われています。

**処置:** 問題になるのは、このメッセージが出る頻度が低い場合です。

---

### SRT.032

**レベル:** UI\_ERROR

**短構文:** SRT.032 SR *source\_mac*-> *dest\_mac* send fld, rsn *reason\_code*, port *port* nt *network*

**長構文:** SRT.032 Sending source routed frame from *source\_mac* to *dest\_mac* failed, reason *reason\_code*, on port *port* network *network*

**説明:** 転送中のソース・ルーティング・フレームの送信が失敗しました。*reason\_code* は、障害の内部エラー・コードです。

**原因:** 各種のハンドラー・エラー (理由コード 1)

**処置:** ハンドラーからのエラー・メッセージを検査して、*network\_name* を調べてください。

**原因:** 出力待ち行列オーバーフローまたはその他のフロー制御 (理由コード 2)

**処置:** 輻輳 (ふくそう) を緩和してください。

**原因:** ネットワークがダウン (理由コード 3)

**処置:** ネットワークがダウンしているとハンドラーが判断した理由を調べてください。

**原因:** ループまたはよくない同報通信を回避するため



に、ハンドラーによって除去されました。(理由コード 4)。

**処置:** 構成を検査してください。

**原因:** ホストがダウン (理由コード 5)

**処置:** ホストがダウンしているとハンドラーが判断した理由を調べてください。

---

### SRT.033

**レベル:** C-TRACE

**短構文:** SRT.033 *routing\_type* dup RD drop *source\_mac*-> *dest\_mac* from port *port*, nt *network*

**長構文:** SRT.033 *routing\_type* with duplicate Route Descriptor from *source\_mac* to *dest\_mac* from port *port*, network *network*

**説明:** RIF 内に全経路記述子 (ARE) またはスパンニング・ツリー検索 (STE) *routing\_type* がある、ソース・ルーティング・フレームのルーティング記述子が、RIF 内で重複しています。フレームは廃棄されます。ソース・ルーティング領域に重複するパスが存在する場合、ARE フレームの場合は、これは正常です。STE フレームの場合は、これは、ソース・ルーティング・スパンニング・ツリーの一部になっているインターフェースがありますが、それが本来そうであってはならないインターフェースであることを示しています。

**原因:** すでにオンになっているセグメントからの ARE/STE の受信

**処置:** ARE の場合は、何も必要なく、これは正常です。STE の場合は、その "スパンニング・ツリー" を訂正することはできませんが、必須ではありません。

---

### SRT.034

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** SRT.034 SRF dup LOUT (RIF RIF) drop *source\_mac*-> *dest\_mac* from port *port*, nt *network*

**長構文:** SRT.034 SRF with duplicate LOUT (RIF RIF) from *source\_mac* to *dest\_mac* from port *port*, network *network*

**説明:** 特別ルーティング・フレーム (SRF) タイプのソース・ルーティング・フレームに重複 LOUT (発信 LAN ID) があります。これはイリーガルであり、フレームは廃棄されます。

**原因:** ステーションが、同じブリッジを 2 回以上通過する無効な RIF があるために永久にループするフレームを送信しています。

**処置:** ステーションがこの RIF を使用している原因を

調べてください。手作業で構成された、間違っているものを使用しているか、ディスクバリー・アルゴリズムにバグがあるか、いずれかです。

---

### SRT.036

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** SRT.036 STE max RD (RIF RIF) drop *source\_mac*-> *dest\_mac* from port *port*, nt *network*

**長構文:** SRT.036 Spanning Tree Explorer exceeds maximum Route Descriptors (RIF RIF) from *source\_mac* to *dest\_mac* from port *port*, network *network*

**説明:** スパンニング・ツリー検索 (STE) ソース・ルーティング・フレームに含まれる経路記述子の数が、このブリッジの構成で STE フレームに許されている数を超過しています。フレームは廃棄されます。

**原因:** アップストリーム・ブリッジの STE RD 限界が、このブリッジのものと矛盾しています。

**処置:** ソース・ルーティング・ドメイン内のすべてのブリッジを再構成して、STE RD 限界を一致させてください。

**原因:** 構成された STE RD 限界に対して、ネットワークのホップ数が多過ぎます。

**処置:** ソース・ルーティング・ドメイン内のすべてのブリッジを再構成して、STE RD 限界をドメイン域の直径に一致させてください。

---

### SRT.037

**レベル:** CE-ERROR

**短構文:** SRT.037 SRF unk LOUT (RIF RIF) drop *source\_mac*-> *dest\_mac* from port *port*, nt *network*

**長構文:** SRT.037 SRF with unknown LOUT (RIF RIF) from *source\_mac* to *dest\_mac* from port *port*, network *network*

**説明:** 特別ルーティング・フレーム (SRF) タイプのソース・ルーティング・フレームに、ルーター内の動作可能なソース・ルーティング・インターフェースのいずれの場合とも一致しない発信 LOUT (LAN ID Out) があります。パケットは廃棄されます。

**原因:** エンド・ステーションが、ルーター内のインターフェースがダウンする前に見付かった RIF を使用しています。

**処置:** 何も必要なはずはありませんが、ステーション上のセッションが失敗し、経路ディスクバリーが再開されることとなります。

**原因:** 着信セグメント上の複数のブリッジでブリッジ



番号が同じであり、この LOUT がそのセグメント内で一致しています。

**処置:** 正しい構成になるように再構成してください。特定のセグメント上では、ブリッジ番号はすべてが固有である必要があります。

**原因:** エンド・ステーションが、まったく無効な RIF を使用しています。

**処置:** ステーションがこの RIF を使用している原因を調べてください。

---

#### SRT.038

**レベル:** P-TRACE

**短構文:** SRT.038 ARE rcv (RIF RIF) *source\_mac*-> *dest\_mac* from port *port*, nt *network*

**長構文:** SRT.038 All Routes Explorer received (RIF RIF) from *source\_mac* to *dest\_mac* from port *port*, network *network*

**説明:** 指定のポートで、全経路探索フレームを受信しました。

---

#### SRT.039

**レベル:** P-TRACE

**短構文:** SRT.039 ARE sent (RIF RIF) *source\_mac*-> *dest\_mac* to port *port*, nt *network*

**長構文:** SRT.039 All Routes Explorer sent (RIF RIF) from *source\_mac* to *dest\_mac* to port *port*, network *network*

**説明:** 指定のポートから、全経路探索フレームが送信されました。

---

#### SRT.040

**レベル:** P-TRACE

**短構文:** SRT.040 STE rcv (RIF RIF) *source\_mac*-> *dest\_mac* from port *port*, nt *network*

**長構文:** SRT.040 Spanning Tree Explorer received (RIF RIF) from *source\_mac* to *dest\_mac* from port *port*, network *network*

**説明:** 指定のポートで、スパンニング・ツリー探索フレームを受信しました。

---

#### SRT.041

**レベル:** P-TRACE

**短構文:** SRT.041 STE sent (RIF RIF) *source\_mac*-> *dest\_mac* to port *port*, nt *network*

**長構文:** SRT.041 Spanning Tree Explorer sent (RIF RIF) from *source\_mac* to *dest\_mac* to port *port*, network *network*

**説明:** 指定のポートから、スパンニング・ツリー探索フレームが送信されました。

---

#### SRT.042

**レベル:** U-INFO

**短構文:** SRT.042 *routing\_type* LF lowered ( *old\_LF* to *new\_LF*) *source\_mac*-> *dest\_mac* from port *port*, nt *network*

**長構文:** SRT.042 *routing\_type* Largest Frame size lowered (from *old\_LF* bytes to *new\_LF* bytes) from *source\_mac* to *dest\_mac* from port *port*, network *network*

**説明:** ソース・ルーティング・エクスプローラー (*routing\_type* が ARE または STE) が、その RIF 内の最大フレーム (LF) フィールドの値を低くしました。これは、現在 LF ビットにコード化されている値より小さい最大フレーム・サイズをもつセグメントからフレームを受信するたびに出されます。これは、すべての経路の最大フレーム・サイズを調べるための、スパンニング・ツリー・プロトコルの通常の部分です。

**原因:** 受信したフレームでこのメッセージが出され、このセグメント上のエンド・ノードまたは他のブリッジが異なるフレーム・サイズに構成されていることが指摘されるのは、幾分異常のように見えますが、これは完全に正しい構成です。

**処置:** 指定のセグメント上のフレーム・サイズの構成を矛盾のないものにしてください。

---

#### SRT.043

**レベル:** C-INFO

**短構文:** SRT.043 *routing\_type* LF lowered ( *old\_LF* to *new\_LF*) *source\_mac*-> *dest\_mac* to port *port*, nt *network*

**長構文:** SRT.043 *routing\_type* Largest Frame size lowered (from *old\_LF* bytes to *new\_LF* bytes) from *source\_mac* to *dest\_mac* to port *port*, network *network*

**説明:** ソース・ルーティング・エクスプローラー (*routing\_type* が ARE または STE) が、その RIF 内の最大フレーム (LF) フィールドの値を低くしました。これは、現在 LF ビットにコード化されている値より小さい最大フレーム・サイズをもつセグメントにフレームを送信するたびに出されます。これは、すべての経路の最大フレーム・サイズを調べるための、スパンニング・ツリー・プロトコルの通常の部分です。

---

**SRT.044**

レベル: P-TRACE

短構文: SRT.044 SRF rcv (RIF RIF) *source\_mac*->  
*dest\_mac* from port *port*, nt *network*

長構文: SRT.044 Specifically-routed frame received (RIF RIF) from *source\_mac* to *dest\_mac* from port *port*,  
network *network*

説明: 指定されたポート上で特別ルーティング・フレームを受信しました。

---

**SRT.045**

レベル: P-TRACE

短構文: SRT.045 Send SRF (RIF RIF) *source\_mac*->  
*dest\_mac* to port *port*, nt *network*

長構文: SRT.045 Sending Specifically-routed frame (RIF RIF) from *source\_mac* to *dest\_mac* to port *port*, network  
*network*

説明: 指定されたポート上で特別ルーティング・フレームを送信中です。

---

**SRT.046**

レベル: UI-ERROR

短構文: SRT.046 *routing\_type* rcv *source\_mac*->  
*dest\_mac* from disabl port *port*, nt *network*, disc

長構文: SRT.046 *routing\_type* frame received from  
*source\_mac* to *dest\_mac* on disabled port *port*, network  
*network*, discarded

説明: 指定のポートでソース・ルーティング・フレームを受信しましたが、そのポートはブリッジ用に構成されていません。*routing\_type* は、SRF (特別ルーティング・フレーム)、STE (スパンニング・ツリー探索)、または ARE (全経路探索) のいずれか 1 つです。ブリッジ用に使用可能にされていないポートは、ソース・ルーティング転送装置へのパケットを待ち行列化することはないはずなので、これは実際には一時的にしか起こりません。

---

**SRT.047**

レベル: UI-ERROR

短構文: SRT.047 *routing\_type* rcv *source\_mac*->  
*dest\_mac* from non-SR port *port*, nt *network*, disc

長構文: SRT.047 *routing\_type* frame received from  
*source\_mac* to *dest\_mac* on non-source-routing port *port*,  
network *network*, discarded

説明: 指定のポートでソース・ルーティング・フレームを受信しましたが、そのポートはソース・ルーティング・ブリッジ用に構成されていません。*routing\_type* は、SRF (特別ルーティング・フレーム)、STE (スパンニング・ツリー探索)、または ARE (全経路探索) のいずれか 1 つです。ブリッジ用に使用可能にされていないポートは、ソース・ルーティング転送装置へのパケットを待ち行列化することはないはずなので、これは実際には一時的にしか起こりません。

---

**SRT.048**

レベル: P-TRACE

短構文: SRT.048 STE dropped (RIF RIF) *source\_mac*->  
*dest\_mac* from blk port *port*, nt *network*

長構文: SRT.048 Spanning Tree Explorer dropped (RIF RIF) from *source\_mac* to *dest\_mac* from blocked port  
*port*, network *network*

説明: スパンニング・ツリー探索 (STE) フレームが除去され、転送されませんでした。着信ポートがスパンニング・ツリーの一部になっていないか、STE フレームを転送するように構成されていなかったためです。

原因: STE フレームの場合は、正常であり、STE フレームと ARE フレームの違いがここにあります。

---

**SRT.050**

レベル: UI-ERROR

短構文: SRT.050 err *error\_string* ena SR on nt *network*

長構文: SRT.050 Got *error\_string* error trying to enable  
source-routing on network *network*

説明: ブリッジが、このインターフェース上のソース・ルーティング・ブリッジを使用可能にしようとしたのですが、インターフェースは構成コマンドを拒否しました。このインターフェース上のソース・ルーティングは使用不可のままになります。

原因: 無効なコマンドがインターフェースに渡されたか、インターフェース・ファームウェアにバグがありません。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

**SRT.051**

レベル: UE-ERROR

短構文: SRT.051 SRF *source\_mac*-> *dest\_mac* too big (  
*reformatted\_length* > *output\_maximum*) for port *port* nt  
*network*, dropped

長構文: SRT.051 Specifically-routed frame from

*source\_mac* to *dest\_mac* is too big (reformatted length *reformatted\_length* > output maximum size *output\_maximum*) for port *port* network *network*, dropped

**説明:** 指定された特別ルーティング (ソース・ルーティング) フレームは大き過ぎて、この発信ポートおよび発信ネットワーク上で送信できません。reformatted\_length は、データ・リンク・ヘッダーのマッピング後の、MAC ヘッダーを含めたフレームのサイズです。

**原因:** ホストが、戻された探索フレームからの LF ビット値を使用していません。

**処置:** ホストを修正してください。

---

### SRT.052

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** SRT.052 *routing\_type source\_mac-> dest\_mac* too big ( *reformatted\_length* > *output\_maximum*) for port *port* nt *network*, dropped

**長構文:** SRT.052 *routing\_type* frame from *source\_mac* to *dest\_mac* is too big (reformatted length *reformatted\_length* > output maximum size *output\_maximum*) for port *port* network *network*, dropped

**説明:** ソース・ルーティング探索 (ARE または STE *routing\_type*) フレームが大き過ぎて、この発信ポートおよびインターフェースでは送信することができません。reformatted\_length は、データ・リンク・ヘッダーのマッピング後の、MAC ヘッダーを含めたフレームのサイズです。

**原因:** 送信ホストが探索フレームにデータを入れ過ぎています。ホストは利用可能な最大フレーム・サイズを想定することがないので、通常、これらフレームは短いはずです。

**処置:** 送信ホストの動作を訂正してください。

---

### SRT.053

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** SRT.053 *routing\_type* inv RIF len *RIF\_length*, *source\_mac-> dest\_mac* port *port*, nt *network*, disc

**長構文:** SRT.053 *routing\_type* with invalid RIF lenth *RIF\_length* from *source\_mac* to *dest\_mac* from port *port*, network *network*, discarded

**説明:** ソース・ルーティング・フレームを受信しましたが、RIF の長さビットにコード化されている RIF 長さが無効です。routing\_type は、SRF (特別ルーティング・フレーム)、STE (スパンニング・ツリー探索)、または ARE (全経路探索) のいずれか 1 つです。

**原因:** 受信したフレームの RIF 長さが 2 より小さい

か、長さが 2 の倍数ではありません。

**処置:** 送信ノードのソフトウェアを訂正してください。

---

### SRT.054

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** SRT.054 No mem for hash tab (req *requested\_size*), disabl

**長構文:** SRT.054 No memory for hash table (desired size *requested\_size* bytes), disabling bridge

**説明:** フィルター・データベース用のハッシュ・テーブルを割り振るための十分な空き記憶域がありません。ブリッジは使用不可にされます。

**原因:** 重大な記憶域の不足

**処置:** 他のプロトコル内のルーティング・テーブル・サイズを縮小し、プロトコル数を減らしてシステムを使用し、ルーター内の記憶域を拡張します。

---

### SRT.055

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** SRT.055 No mem for conv hash tab (req *requested\_size*), disabl

**長構文:** SRT.055 No memory for conversion hash table (desired size *requested\_size* bytes), disabling bridge

**説明:** 変換データベース用のハッシュ・テーブルを割り振るための十分な空き記憶域がありません。ブリッジは使用不可にされます。

**原因:** 重大な記憶域の不足

**処置:** 他のプロトコル内のルーティング・テーブル・サイズを縮小し、プロトコル数を減らしてシステムを使用し、ルーター内の記憶域を拡張します。

---

### SRT.056

**レベル:** CI-ERROR

**短構文:** SRT.056 Input SR q ovf *source\_mac-> dest\_mac*, dropped, nt *network*

**長構文:** SRT.056 Input source-routing queue overflow on frame from *source\_mac* to *dest\_mac*, packet dropped from network *network*

**説明:** 転送の対象となるソース・ルーティング・フレーム用の入力待ち行列が長過ぎ、輻輳 (ふくそう) を緩和する試みとして、このフレームは廃棄されました。

**原因:** バースト性トラフィックが輻輳 (ふくそう) の原因となっている場合があります。

**処置:** バーストが解消されるまで待ってください。

**原因:** トラフィックが多過ぎて、転送機能が転送できません。

**処置:** ネットワークを再構成してください。ルーターの速度を上げてください。

**原因:** バッファ資源が不十分です。

**処置:** GWCON 内の記憶域統計を調べてください。

---

### SRT.057

**レベル:** P-TRACE

**短構文:** SRT.057 *source\_mac-> dest\_mac brdg port port nt network to port port nt network*

**長構文:** SRT.057 Frame from *source\_mac* to *dest\_mac* bridged from port number *port network network* to port number *port network network*

**説明:** フレームが、これらの 2 つのインターフェース間でブリッジされています。あて先アドレスが分かっていたので、正しいあて先ネットワークにのみ送信されました。

---

### SRT.058

**レベル:** CE-ERROR

**短構文:** SRT.058 TB->SR *source\_mac-> dest\_mac too big ( reformatted\_length > output\_maximum) for port port nt network, drop*

**長構文:** SRT.058 Transparent frame converted to source-routed frame from *source\_mac* to *dest\_mac* is too big (reformatted length *reformatted\_length* bytes > output maximum size *output\_maximum* bytes) for port *port network network*, dropped

**説明:** 指定の透過型ブリッジ・フレームは長過ぎて、この発信ポートおよびネットワークでは、ソース・ルーティング・フレームとして送信することができません。*reformatted\_length* は、データ・リンク・ヘッダーのマッピング後の、MAC ヘッダーおよび RIF を含めたフレームのサイズです。

**原因:** 大きい最大フレーム・サイズをもつネットワーク上のホストが、これより小さい最大フレーム・サイズをもつネットワーク上のホストに送信しています。

**処置:** 送信ホストを再構成して、そのように大きいフレームを送信させないようにします。フレームが、フラグメントへの分割をサポートするルーティング可能プロトコル (IP または ISO など)、または最大フレーム・サイズ決定をサポートするルーティング可能プロトコル (DNA または XNS) の場合は、ブリッジングではなく、ルーティングの使用に変換します。

**原因:** 大きい最大フレーム・サイズをもつネットワーク上のホストが、これより小さい最大フレーム・サイズをもつネットワークを介して、ホストに送信しています。

**処置:** ネットワークを再構成して、最大フレーム・サイズが大きいネットワーク (FDDI または 802.5 など) をバックボーン・ネットワークとして使用します。スパンニング・ツリー・プロトコル内のポート・コストを再構成して、大きい最大フレーム・サイズをもつネットワークを介したスパンニング・ツリーが優先されるようにしてください。

---

### SRT.059

**レベル:** P-TRACE

**短構文:** SRT.059 TB->SR *source\_mac-> dest\_mac (RIF RIF) brdg port port nt network to port port nt network*

**長構文:** SRT.059 Transparent frame converted to source-routed frame from *source\_mac* to *dest\_mac* (RIF RIF) bridged from port number *port network network* to port number *port network network*

**説明:** フレームがこれら 2 つのインターフェース間で変換ブリッジされています。あて先アドレスおよび RIF が分かっていたので、正しいあて先ネットワークにのみ送信されました。

---

### SRT.060

**レベル:** P-TRACE

**短構文:** SRT.060 TB->SR *source\_mac-> dest\_mac (RIF RIF) brdg-all port port nt network to port port nt network*

**長構文:** SRT.060 Transparent frame converted to source-routed frame from *source\_mac* to *dest\_mac* (RIF RIF) bridged to all ports from port number *port network network* to port number *port network network*

**説明:** フレームがすべての動作可能なソース・ルーティング・ポートへ変換ブリッジされています。この状況が起きるのは、フレームのあて先がマルチキャストである場合、またはフレームのあて先がソース・ルーティング確認データベース内に存在しない場合です。フレームが送信される各ポートごとに 1 つのメッセージが出されます。

---

### SRT.061

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** SRT.061 SRF rcv *source\_mac-> dest\_mac (RIF RIF) to disabl port port, nt network, disc*



**長構文:** SRT.061 Specifically routed frame frame received from *source\_mac* to *dest\_mac* (RIF RIF) to disabled port *port*, network *network*, discarded

**説明:** RIF によれば指定されたポート上で送信されるはずの、特別ルーティング・フレームを受信しましたが、そのポートはブリッジング用として構成されていません。

**原因:** エンド・ステーションが無効な RIF を使用します。これが起こる可能性があるのは、エンド・ステーションは RIF を獲得し、それをキャッシュしますが、その間に、ブリッジの再構成および再始動が行われてしまった場合です。

---

### SRT.062

**レベル:** CE-ERROR

**短構文:** SRT.062 Warning:SR->TB *source\_mac*->*dest\_mac* too big ( *reformatted\_length* > *output\_maximum*) from port *port* nt *network*

**長構文:** SRT.062 Source-routed frame converted to transparent frame from *source\_mac* to *dest\_mac* is too big (*reformatted length reformatted\_length* bytes > *output maximum size output\_maximum bytes*) from port *port* network *network*, may get dropped.

**説明:** 指定されたソース・ルーティング・フレームが、透過型ブリッジ定義域用として、LF-BIT 構成によって許容されているサイズより大です。発信ポートの MAC ヘッダーにマッピングした後、ポートの MSDU 限界を超えた場合には、パケットは廃棄されます。

**原因:** ソース・ルーティング・ホストが、ソース・ルーティング・スレッド化プロセスで決められた最大フレーム・サイズを使用していません。

**処置:** ホストの動作を訂正してください。

**原因:** 大きい最大フレーム・サイズをもつネットワーク上のホストが、これより小さい最大フレーム・サイズをもつネットワーク上のホストに送信しています。

**処置:** 送信ホストを再構成して、そのように大きいフレームを送信させないようにします。フレームが、フラグメントへの分割をサポートするルーティング可能プロトコル (IP または ISO など)、または最大フレーム・サイズ決定をサポートするルーティング可能プロトコル (DNA または XNS) の場合は、ブリッジングではなく、ルーティングの使用に変換します。

**原因:** 大きい最大フレーム・サイズをもつネットワーク上のホストが、これより小さい最大フレーム・サイズをもつネットワークを介して、ホストに送信していません。

**処置:** ネットワークを再構成して、最大フレーム・サ

イズが大きいネットワーク (FDDI または 802.5 など) をバックボーン・ネットワークとして使用します。スパンニング・ツリー・プロトコル内のポート・コストを再構成して、大きい最大フレーム・サイズをもつネットワークを介したスパンニング・ツリーが優先されるようにしてください。

---

### SRT.063

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** SRT.063 No buf to dup *routing\_type* frame *source\_mac*-> *dest\_mac* for SR->TB from port *port* nt *network*

**長構文:** SRT.063 No buffer available to duplicate *routing\_type* frame from *source\_mac* to *dest\_mac* for source-routing to transparent bridging conversion from port *port* network *network*

**説明:** 全経路探索 (ARE) またはスパンニング・ツリー探索 (STE) *routing\_type* フレームを、透過ブリッジング・ドメイン内で透過型ブリッジ・フレームとして送り出すために、フレームをコピーする場合に使用可能なバッファがありません。このフレームのコピーは、透過型ブリッジ・ドメインに送信されません。

**原因:** 重大なパケット・バッファの不足

**処置:** GWCON 内の記憶域統計を検査して、パケット・バッファ・レベルを確認してください。

**原因:** トラフィック・ピークで、利用可能なバッファがすべて使われています。

**処置:** 問題になるのは、このメッセージが出る頻度が低い場合です。

---

### SRT.064

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** SRT.064 No mem for conv db (req *requested\_size*), disabl

**長構文:** SRT.064 No memory for conversion database (desired size *requested\_size* bytes), disabling bridge

**説明:** 変換データベースを割り振るための十分な記憶域がありません。ブリッジは使用不可にされます。

**原因:** 重大な記憶域の不足

**処置:** 他のプロトコル内のルーティング・テーブル・サイズを縮小し、プロトコル数を減らしてシステムを使用し、ルーター内の記憶域を拡張します。

---

**SRT.065**

レベル: UI-ERROR

短構文: SRT.065 Can't add stat ent *MAC\_address* on nt *network*

長構文: SRT.065 Can not add static entry for address *MAC\_address* on network *network*

説明: 内部フィルターをもつブリッジ・インターフェースの内部データベースに、特定の静的エントリを追加しようとしたのですが、失敗しました。

原因: ハードウェア障害またはソフトウェア・バグ

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

**SRT.066**

レベル: UI-ERROR

短構文: SRT.066 Can't ena TB on nt *network*

長構文: SRT.066 Can not enable transparent bridging on network *network*

説明: ブリッジは、IEEE 802.5 トークンリング・ネットワークで透過型ブリッジを使用可能にするように構成されていますが、ネットワークには透過型ブリッジをサポートするハードウェアがありません。このインターフェースでは、透過型ブリッジは使用可能にされません。

原因: 構成の誤り

処置: 構成を訂正してください。

---

**SRT.067**

レベル: UI-ERROR

短構文: SRT.067 SRF *source\_mac-> dest\_mac* (RIF RIF) fwd to disabl port *port*, nt *network*, disc

長構文: SRT.067 Specifically routed frame frame from *source\_mac* to *dest\_mac* (RIF RIF) forwarded to disabled port *port*, network *network*, discarded

説明: ポート上で特別ルーティング・フレームを送信しましたが、そのポートがブリッジング用として構成されていません。ポートがブリッジング用に構成されていない場合は、事前の検査でこのコードのコールは受け入れられないはずなので、このような状況は決して起きないはずです。

---

**SRT.068**

レベル: UI-ERROR

短構文: SRT.068 Eth type table full for *ethernet\_type*

長構文: SRT.068 Ethernet type table full for Ethernet type *ethernet\_type*

説明: イーサネット・タイプ登録テーブル内に、指定の *ethernet\_type* を入れるスペースがありません。これが生じるのは、ハッシュ衝突が多過ぎ、十分なオーバーフロー・バケットがない場合です。

原因: 追加されたイーサネット・タイプ・フィルター数が多過ぎます。

処置: それほど多くのイーサネット・タイプ・フィルターを使用しないようにします。

---

**SRT.069**

レベル: UI-ERROR

短構文: SRT.069 SNAP type table full for PID *protocol*

長構文: SRT.069 Subnetwork Access Protocol table full for Protocol Identifier type *protocol*

説明: SNAP PID 登録テーブル内に、指定のプロトコルを入れるスペースがありません。これが生じるのは、ハッシュ衝突が多過ぎ、十分なオーバーフロー・バケットがない場合です。

原因: 追加された SNAP PID フィルター数が多過ぎます。

処置: そのように多数の SNAP PID フィルターを使用しないでください。

---

**SRT.070**

レベル: P-TRACE

短構文: SRT.070 *source\_mac-> dest\_mac* drp, dst add flt, port *port* nt *network*

長構文: SRT.070 Frame from *source\_mac* to *dest\_mac* dropped, destination address filtered, port *port* network *network*

説明: ハードウェアが MAC フレームを受信しましたが、あて先 MAC アドレスがブリッジによって管理されてフィルター処理されます。フレームは廃棄されます。

原因: あて先 MAC アドレスが排他的フィルターに合致するフレームを受信

---

**SRT.071**

レベル: UI-ERROR

短構文: SRT.071 SR not supp on port *port*, nt *network*

長構文: SRT.071 Source Routing not supported on port *port*, network *network*

説明: ソース・ルーティングが下位ネットワークに接



続されているポート上に構成されていますが、本来ソース・ルーティング・タイプの機能をサポートしないネットワークです。そのようなネットワークには、イーサネットおよび FDDI があります。ブリッジは、ポートのソース・ルーティングを使用不可にします。

原因: ユーザーによる構成の誤りです。

---

#### SRT.081

レベル: P-TRACE

短構文: SRT.081 NB STE converted to SRF (RIF RIF) *source\_mac-> dest\_mac* from port *port*

長構文: SRT.081 NETBIOS STE converted to SRF (RIF RIF) *source\_mac-> dest\_mac* from port *port*

説明: NETBIOS STE が NETBIOS 名前キャッシュによって SRF に変換されました。

---

#### SRT.082

レベル: P-TRACE

短構文: SRT.082 NB STE not converted, RIF too long

長構文: SRT.082 NETBIO STE not converted, RIF too long

説明: NETBIO STE が変換されませんでした。RIF が長過ぎます。

---

#### SRT.083

レベル: P-TRACE

短構文: SRT.083 NB find-name STE filtered (RIF RIF) *source\_mac-> dest\_mac* from port *port*

長構文: SRT.083 NETBIOS find-name STE filtered (RIF RIF) *source\_mac-> dest\_mac* from port *port*

説明: NETBIOS 名前検索 STE がフィルターされました。

---

#### SRT.084

レベル: P-TRACE

短構文: SRT.084 Hello BPDU dropped, STP disabled on prt *port*, nt *network*

長構文: SRT.084 Hello BPDU dropped because STP disabled on port *port*, network *network*

説明: スパニング・ツリー・ハロー BPDU フレームが受信されたポートは、"disable tree port#" コマンドによって、スパニング・ツリー参加では使用不可にされていました。

---

#### SRT.085

レベル: UI-ERROR

短構文: SRT.085 Frame relay Port *port* config on non-Frame Relay intf *network\_number*

長構文: SRT.085 Frame relay Port *port* configured on non-Frame relay interface *network\_number*

説明: このポートではフレーム・リレー・ネットワークを使用しますが、ブリッジ構成の後でインターフェース構成が変更された結果、インターフェースがすでにフレーム・リレーとして構成されていないか、装置レコードの順序が変更されました。

原因: ルーターのインターフェース構成とブリッジ構成の間の矛盾。

処置: インターフェースのデータ・リンク・サポートをフレーム・リレー・タイプにするように訂正するか、ブリッジ構成のインターフェース番号を訂正するか、あるいはその両方を行ってください。

---

#### SRT.086

レベル: UI-ERROR

短構文: SRT.086 Port *port*, cir= *circuit\_name* reg with Frly nt *network\_number* failed, rsn= *reason*

長構文: SRT.086 Bridge port *port* with circuit= *circuit\_name* registration with Frame relay network *network\_number* failed, reason= *reason*

説明: ブリッジ初期化中に、フレーム・リレー・ブリッジ・ポートが関連フレーム・リレー・インターフェースへの登録を試みます。このメッセージは、このプロセスに障害があることを示しています。

原因: 障害の理由としては、以下に挙げるものがあります。(1) 記憶域が不十分である。(2) 別のブリッジ・ポートがこの回線を使用中である。(3) 回線が不明である。

処置: (1) 記憶域の所要量を再評価してください。(2) 同じ回線を使用する競合ブリッジ・ポートを除去または再構成してください。(3) フレーム・リレー構成内で回線を構成してください。

---

#### SRT.087

レベル: UE-ERROR

短構文: SRT.087 ARE max RD drop *source\_mac-> dest\_mac* from port *port*, nt *network*

長構文: SRT.087 All Routes Explorer exceeds maximum Route Descriptors from *source\_mac* to *dest\_mac* from port *port*, network *network*

**説明:** 全経路探索 (ARE) ソース・ルーティング・フレームに、このブリッジの構成で許されている ARE フレーム数を超える経路記述子があります。フレームは廃棄されます。

**原因:** アップストリーム・ブリッジの ARE RD 限界が、このブリッジのものと矛盾している。

**処置:** ソース・ルーティング・ドメイン内のすべてのブリッジを再構成して、ARE RD 限界を一致させてください。

**原因:** 構成された ARE RD 限界に対して、ネットワークのホップ数が多過ぎる。

**処置:** ソース・ルーティング・ドメイン内のすべてのブリッジを再構成して、ARE RD 限界をドメインの直径に一致させてください。

---

### SRT.088

**レベル:** CE-ERROR

**短構文:** SRT.088 *routing\_type* inv LIN (RIF RIF) drop *source\_mac*-> *dest\_mac* from port *port*, nt *network*

**長構文:** SRT.088 *routing\_type* with invalid LIN (RIF RIF) from *source\_mac* to *dest\_mac* from port *port*, *network network*

**説明:** 同報通信ルーティング・フレーム (ARE または STE) タイプのソース・ルーティング・フレームの着信 LIN (LAN ID In) が、フレームが受信されたブリッジ・ポートの構成済みセグメント番号に一致しません。パケットは廃棄されます。

**原因:** 問題のセグメントに接続されたブリッジ間の構成の不一致。

**処置:** 正しい構成になるように再構成してください。すべてのブリッジは、各セグメントが同じ LAN ID を持つように構成する必要があります。

**原因:** エンド・ステーションが、まったく無効な RIF を使用している。

**処置:** ステーションがこの RIF を使用している原因を調べてください。

---

### SRT.090

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** SRT.090 ATM Port *port* config on non-ATM intf *network\_number*

**長構文:** SRT.090 ATM Port *port* configured on non-ATM interface *network\_number*

**説明:** このポートは ATM ネットワークを使用しますが、ブリッジ構成の後でインターフェース構成が変更さ

れた結果、インターフェースがすでに ATM として構成されていないか、装置レコードの順序が変更されました。

**原因:** ルーターのインターフェース構成とブリッジ構成の間の矛盾。

**処置:** インターフェースのデータ・リンク・サポートを ATM タイプにするように訂正するか、ブリッジ構成のネットワーク番号を訂正するか、あるいはその両方を行ってください。

---

### SRT.091

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** SRT.091 Port *port*, vpi= *vpi* vci= *vci* reg with ATM nt *network\_number* failed, rsn= *reason*

**長構文:** SRT.091 Bridge port *port* with vpi= *vpi* vci= *vci* registration with ATM network *network\_number* failed, reason= *reason*

**説明:** ブリッジ初期化中に、ATM ブリッジ・ポートは対応する ATM インターフェースへの登録を試みます。このメッセージは、このプロセスに障害があることを示しています。

**原因:** 障害の理由としては、以下に挙げるものがあります。(1) 記憶域が不十分である。(2) 別のブリッジ・ポートがこの回線を使用中である。(3) 回線が確認不能である。

**処置:** (1) 記憶域の所要量を再評価してください。(2) 同じ回線を使用する競合ブリッジ・ポートを除去または再構成してください。(3) ATM 構成内で回線を構成してください。

---

### SRT.092

**レベル:** U-INFO

**短構文:** SRT.092 DMAC addr. MAX limit. Not adding into dbase

**長構文:** SRT.092 DMAC addr maximum limit reached. This addr won't be added to SR database

**説明:** ブリッジ・データベースに、すでに 7 つの重複する MAC アドレスがあります。ブリッジが別の重複 MAC アドレスを検出中です。

**処置:** 7 つを超える重複 MAC アドレスが存在する環境では、これは普通です。

---

**SRT.093**

レベル: U-INFO

短構文: SRT.093 DMAC seg. mismatch. (RIF *RIF*) SA-  
*source\_mac* from port *port*, nt *network*

長構文: SRT.093 DMAC last segment mismatch. (RIF  
*RIF*) from *source\_mac* from port *port*, network *network*

説明: SRF フレームを受信しましたが、発信セグメント番号が PRIMARY RIF にも SECONDARY RIF にも一致しませんでした。

処置: 2 つを超える異なるセグメントに重複 MAC アドレスが存在する環境では、これは普通です。

---

**SRT.094**

レベル: U-INFO

短構文: SRT.094 DMAC RIF not updated.(RIF *RIF*)  
SA- *source\_mac* from port *port*, nt *network*

長構文: SRT.094 DMAC RIF not updated.(RIF *RIF*)  
from *source\_mac* from port *port*, network *network*

説明: 解決時間間隔内に別の RIF を受信しましたが、それがデータベース・エントリのリフレッシュに使用されることはありません。全経路同報通信 (ARE) フレームがステーション別に送信される場合は、これは普通です。

---

**SRT.095**

レベル: UE-ERROR

短構文: SRT.095 Cannot dynamically add/reset bridge  
port, nt *network\_number*, reason = *reason*

長構文: SRT.095 Bridge port associated with network  
*network\_number* cannot be added/reset, reason = *reason*

説明: 追加またはリセットしているインターフェースに対応するブリッジ・ポートを構成できません。ブリッジ構成の変更の一部のものは、リスタートしないと行なえません。

原因: 障害の理由としては、次のものが考えられます。(1) 追加/リセットしているポートに NetBIOS フィルターが構成されている。(2) 追加/リセットしているポートに LNM が構成されている。(3) 1:1 SRB 構成が変更された可能性がある。(4) 関連のブリッジ・ポートの追加/リセットが原因でブリッジ・パーソナリティ (タイプ) (つまり、STB、SRB、STB & SRB、SRT、SR-TB、ASRT) が変更された。(5) ブリッジ・オプションが変更された (つまり、内部パーティクル・セグメントに変更されるなど)。

処置: システムをリスタートしてください。

**928** ELS メッセージの手引き

---

**SRT.096**

レベル: UI-ERROR

短構文: SRT.096 No mem for multiaccess hash tab (req  
*requested\_size*), disabl

長構文: SRT.096 No memory for multiaccess hash table  
(desired size *requested\_size* bytes), disabling multiaccess  
bridge ports

説明: マルチアクセス・データベース用のハッシュ・テーブルを割り振るための十分な空き記憶域がありません。マルチアクセス・ブリッジ・ポートは使用不可にされます。

原因: 重大な記憶域の不足

処置: 他のプロトコル内のルーティング・テーブル・サイズを縮小し、プロトコル数を減らしてシステムを使用し、ルーター内の記憶域を拡張してください。

---

**SRT.097**

レベル: UI-ERROR

短構文: SRT.097 No mem for multiaccess db (req  
*requested\_size*), disabl

長構文: SRT.097 No memory for multiaccess database  
(desired size *requested\_size* bytes), disabling multiaccess  
bridge ports

説明: マルチアクセス・データベースを割り振るための十分な空き記憶域がありません。マルチアクセス・ブリッジ・ポートは使用不可にされます。

原因: 重大な記憶域の不足

処置: 他のプロトコル内のルーティング・テーブル・サイズを縮小し、プロトコル数を減らしてシステムを使用し、ルーター内の記憶域を拡張してください。

---

**SRT.098**

レベル: UI-ERROR

短構文: SRT.098 FR/ATM Port *port* config on  
non-FR/ATM intf *network\_number*

長構文: SRT.098 FR/ATM Port *port* configured on  
non-FR/ATM interface *network\_number*

説明: このポートは、フレーム・リレーまたは ATM ネットワークを使用しますが、ブリッジ構成の後でインターフェース構成が変更された結果、インターフェースがすでにフレーム・リレーまたは ATM として構成されていないか、装置レコードの順序が変更されました。

原因: ルーターのインターフェース構成とブリッジ構成の間の矛盾。

**処置:** インターフェースのデータ・リンク・サポートをフレーム・リレーまたは ATM タイプにするように訂正するか、ブリッジ構成のインターフェース番号を訂正するか、あるいはその両方を行ってください。

**原因:** ソフトウェアのバグ

**処置:** 破損したダンプを取って、サービス技術員に連絡してください。

---

#### SRT.099

**レベル:** U-INFO

**短構文:** SRT.099 *source\_mac-> dest\_mac* dropped, output circuit on port *port* nt *network* not active

**長構文:** SRT.099 Frame from *source\_mac* to *dest\_mac* dropped, output circuit on port *port* network *network* is not active

**説明:** マルチアクセス・ポートで MAC フレームがブリッジされていましたが、あて先ポートが "アクティブ" 状態でありませんでした。フレームは送信されません。

**原因:** 出力ポート上の回線が使用中ではありません。

**処置:** 何も必要ありません。その回線でデータを受信すると、ポートは "アクティブ" になります。

---

#### Panic SRTimem

**短構文:** SRT: memory allocation failed

**説明:** SRT 転送機能が、最も基本的なテーブルを保持できる十分な記憶域を割り振ることができませんでした。

**原因:** 空き記憶域の不足

**処置:** 他のプロトコル用のデータベースを小さくしてください。

**処置:** 記憶域のサイズを増やしてください。

---

#### Fatal srtiisrt

**短構文:** SRT: Invalid *i\_srt* on input

**説明:** ハンドラーから転送機能に渡された *i\_srt* フラグの値が無効です。

**原因:** ソフトウェアのバグ

**処置:** 破損したダンプを取って、サービス技術員に連絡してください。

---

#### Fatal srtuimed

**短構文:** SRT: unknown input media

**説明:** 入力ネット・タイプが、SRT ブリッジによって認知されているタイプ (802.3/イーサネット、FDDI、または 802.5) の 1 つではありません。



---

## 第109章 スパニング・ツリー・プロトコル (STP)

この章では、スパニング・ツリー・プロトコル (STP) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### STP.001

レベル: C-TRACE

短構文: STP.001 Cfg BPDU rcv frm *source\_address*  
*bridge\_type- bridge\_instance* port *bridge\_port*, nt *network*

長構文: STP.001 Configuration BPDU received frm  
*source\_address* on *bridge\_type- bridge\_instance* port  
*bridge\_port*, network *network*

説明: 指定の MAC アドレスから、構成 BPDU を受信しました。

原因: このポートのこのブリッジと同じネットワーク上の別のブリッジ

---

### STP.002

レベル: C-TRACE

短構文: STP.002 Tcn BPDU rcv frm *source\_address*  
*bridge\_type- bridge\_instance* port *bridge\_port*, nt *network*

長構文: STP.002 Topology change notification BPDU  
received frm *source\_address* on *bridge\_type-*  
*bridge\_instance* port *bridge\_port*, network *network*

説明: トポロジー変更通知 BPDU が指定された MAC アドレスから受信されました。

原因: 送信ブリッジで、または送信ブリッジのダウンストリームで、トポロジー変更を検出しました。

処置: 何も必要ありません。トポロジー変更が経路ブリッジによって確認されると、メッセージは出なくなるはずです。

---

### STP.003

レベル: UE-ERROR

短構文: STP.003 Ukn BPDU type *BDPU\_type* rcv frm  
*source\_address* *bridge\_type- bridge\_instance* port  
*bridge\_port*, nt *network*

長構文: STP.003 Unkown BPDU type *BDPU\_type*  
received frm *source\_address* on *bridge\_type-*  
*bridge\_instance* port *bridge\_port*, network *network*

説明: 指定されたホストから BPDU を受信しましたが、BPDU タイプ・フィールドに未定義の値が入っています。これは無視されます。

原因: リモート・ブリッジでのプログラム・エラー

処置: リモート・ノードを訂正してください。

原因: 受信パケットのデータが破壊されています。

処置: データ破壊の原因を除去してください。

---

### STP.005

レベル: UE-ERROR

短構文: STP.005 BPDU bd ver  
*Protocol\_Version\_Identifier* frm *source\_address*  
*bridge\_type- bridge\_instance* port *bridge\_port*, nt *network*

長構文: STP.005 BPDU bad Version  
*Protocol\_Version\_Identifier* frm *source\_address* on  
*bridge\_type- bridge\_instance* port *bridge\_port*, network  
*network*

説明: 構成 BPDU を受信しましたが、プロトコル・バージョン識別子が 00 ではありません。これは無視されます。

原因: リモート・ブリッジでのプログラム・エラー

処置: リモート・ノードを訂正してください。

原因: 受信パケットのデータが破壊されています。

処置: データ破壊の原因を除去してください。

---

### STP.006

レベル: UE-ERROR

短構文: STP.006 Cfg BPDU trunc ( *length* byt) frm  
*source\_address* *bridge\_type- bridge\_instance* port  
*bridge\_port*, nt *network*

長構文: STP.006 Configuration BPDU tuncated ( *length*  
bytes) frm *source\_address* on *bridge\_type- bridge\_instance*  
port *bridge\_port*, network *network*

説明: 構成 BPDU を受信しましたが、長さが 35 バイト未満です。これは無視されます。

原因: リモート・ブリッジでのプログラム・エラー

処置: リモート・ノードを訂正してください。

原因: 受信パケットのデータが破壊されています。

処置: データ破壊の原因を除去してください。



---

**STP.007**

レベル: UE-ERROR

短構文: STP.007 Cfg BPDU unk flg flags frm source\_address bridge\_type- bridge\_instance port bridge\_port, nt network

長構文: STP.007 Configuration BPDU unknown flags flags frm source\_address on bridge\_type- bridge\_instance port bridge\_port, network network

説明: 構成 BPDU を受信しましたが、フラグ・フィールドに未定義のビットが設定されています。これは無視されます。

原因: リモート・ブリッジでのプログラム・エラー

処置: リモート・ノードを訂正してください。

原因: 受信パケットのデータが破壊されています。

処置: データ破壊の原因を除去してください。

---

**STP.008**

レベル: UE-ERROR

短構文: STP.008 Tcn BPDU trunc ( length byt) frm source\_address bridge\_type- bridge\_instance port bridge\_port, nt network

長構文: STP.008 Topology change notification BPDU tuncated ( length bytes) frm source\_address on bridge\_type- bridge\_instance port bridge\_port, network network

説明: トポロジー変更通知 BPDU を受信しましたが、長さが 4 バイト未満です。これは無視されます。

原因: リモート・ブリッジでのプログラム・エラー

処置: リモート・ノードを訂正してください。

原因: 受信パケットのデータが破壊されています。

処置: データ破壊の原因を除去してください。

---

**STP.009**

レベル: UI-ERROR

短構文: STP.009 No buf for BPDU bridge\_type- bridge\_instance port bridge\_port, nt network

長構文: STP.009 No buffer to send BPDU on bridge\_type- bridge\_instance port bridge\_port, network network

説明: 指定のポートで、BPDU を作成して送信するために利用可能なパケット・バッファがありません。

原因: 重大なパケット・バッファの不足

処置: GWCON 内の記憶域統計を検査して、パケット・バッファ・レベルを確認してください。

原因: トラフィック・ピークで、利用可能なバッファがすべて使われています。

処置: 問題になるのは、このメッセージが出る頻度が低い場合です。

---

**STP.010**

レベル: P-TRACE

短構文: STP.010 Sndg cfg BPDU bridge\_type- bridge\_instance port bridge\_port, nt network

長構文: STP.010 Sending Configuration BPDU on bridge\_type- bridge\_instance port bridge\_port network network

説明: 指定のポートで、構成 BPDU が送信されました。これは通常、スパンニング・ツリー・プロトコルの一部として、定期的に行われます。この BPDU のフラグ・フィールドはゼロです。たとえば、トポロジー変更ビットもトポロジー変更確認ビットもセットされていません。

---

**STP.011**

レベル: P-TRACE

短構文: STP.011 Sndg Cfg BPDU flgs TC TCA bridge\_type- bridge\_instance port bridge\_port, nt network

長構文: STP.011 Sending Configuration BPDU with flags TC TCA on bridge\_type- bridge\_instance port bridge\_port, network network

説明: 指定のポートで、構成 BPDU が送信されました。これは通常、スパンニング・ツリー・プロトコルの一部として、定期的に行われます。TC が表示されるのは、トポロジー変更ビットが BPDU のフラグ・バイトに設定される場合であり、TCA が表示されるのは、トポロジー変更確認ビットがフラグ・バイト内に設定される場合です。

原因: このブリッジが経路ブリッジであり、トポロジー変更が進行中であることを知っている場合、トポロジー変更フラグがセットされます。また、非経路ブリッジが、着信構成 BPDU 内で受信したこのビットを伝送します。

処置: 何も必要ありません。このフラグが設定される時間は、現行最大経過時間パラメーターと現行転送遅延パラメーター（経路・ブリッジによって伝送される）の合計だけに過ぎません。

原因: このブリッジがトポロジー変更通知 BPDU を受信し、このポートがその LAN 上の指定ブリッジである

場合は、トポロジー変更確認フラグが設定されます。

**処置:** 何も必要ありません。このフラグは 1 つの BDPDU でしか送信されません。

---

### STP.012

**レベル:** P-TRACE

**短構文:** STP.012 Sndg tcn BPDU *bridge\_type-bridge\_instance* port *bridge\_port*, nt *network*

**長構文:** STP.012 Sending Topology Change Notification BPDU on *bridge\_type-bridge\_instance* port *bridge\_port* network *network*

**説明:** 指定のポートで、トポロジー変更通知 BPDU が送信されます。非経路ブリッジは、スパンニング・ツリー内でトポロジー変更を検出すると、これらを経路ポートから送信します。

**原因:** このスパンニング・ツリー内のブリッジ、またはブリッジ上のインターフェースが、アップまたはダウン状態になりました。

**処置:** 何も必要ありません。この状態が持続するのは、トポロジー変更確認の受信、または古い経路ブリッジが到達不可能になっていることを示すタイムアウトまでに過ぎません。

---

### STP.013

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** STP.013 BPDU snd fld, rsn *reason\_code*, *bridge\_type-bridge\_instance* port *bridge\_port*, nt *network*

**長構文:** STP.013 BPDU send failed for reason code *reason\_code* on *bridge\_type-bridge\_instance* port *bridge\_port* network *network*

**説明:** 指定のポートで、転送のために BPDU を待ち行列化する試みが失敗しました。

**原因:** 各種のハンドラー・エラー (理由コード 1)

**処置:** ネットワークのハンドラーからのエラー・メッセージがあるかどうか調べてください。

**原因:** 出力待ち行列オーバーフローまたはその他のフロー制御 (理由コード 2)

**処置:** 輻輳 (ふくそう) を緩和してください。

**原因:** ネットワークがダウン (理由コード 3)

**処置:** ネットワークがダウンしているとハンドラーが判断した理由を調べてください。

**原因:** ループまたはよくない同報通信を回避するために、ハンドラーによって除去されました。(理由コード 4)。

**処置:** 構成を検査してください。

**原因:** ホストがダウン (理由コード 5)

**処置:** ホストがダウンしているとハンドラーが判断した理由を調べてください。

---

### STP.014

**レベル:** U-INFO

**短構文:** STP.014 Blocking *bridge\_type-bridge\_instance* port *bridge\_port*, nt *network*, det *topol* chg

**長構文:** STP.014 Blocking *bridge\_type-bridge\_instance* port *bridge\_port*, network *network*, detecting topology change

**説明:** このポートは閉そく状態に入れられたばかりです。これはトポロジーの変更なので、このブリッジはトポロジー変更を検出しました。今度はこのために、トポロジー変更通知が送信されることとなります。

**原因:** このスパンニング・ツリー内のブリッジ、またはブリッジ上のインターフェースが、アップまたはダウン状態になりました。

**処置:** 何も必要ありません。変更があった場合には、これは正常です。

---

### STP.015

**レベル:** U-INFO

**短構文:** STP.015 Topol chg detected *bridge\_type-bridge\_instance* port *bridge\_port*, nt *network*

**長構文:** STP.015 Topology change detected on *bridge\_type-bridge\_instance* port *bridge\_port*, network *network*

**説明:** このポートでトポロジー変更通知を受信し、このポートは LAN 上の特定ポートです。これにより、プロトコルはトポロジー変更通知状態に入ります。トポロジー変更確認が送信側に戻され、経路に向けて伝送されます。

**原因:** ブリッジ、またはブリッジ上のインターフェースが、このスパンニング・ツリー内でアップまたはダウンになりました。

**処置:** 何も必要ありません。変更があった場合には、これは正常です。

---

### STP.016

**レベル:** U-INFO

**短構文:** STP.016 Select as root *bridge\_type-bridge\_instance*, det *topol* chg

**長構文:** STP.016 Selected as root on *bridge\_type-bridge\_instance*, detecting topology change

**説明:** このブリッジは、以前はそうではありませんでしたが、いまスパンニング・ツリーの経路として自身を選択したばかりです。これにより、ブリッジはトポロジー変更通知状態に入ります。

**原因:** このスパンニング・ツリー内のブリッジ、またはブリッジ上のインターフェースが、アップまたはダウン状態になりました。

**処置:** 何も必要ありません。変更があった場合には、これは正常です。

**原因:** これが最初にアップになったブリッジであり、したがって、ツリーの経路です。

---

### STP.017

**レベル:** C-INFO

**短構文:** STP.017 Tply chg ackd *bridge\_type-bridge\_instance* port *bridge\_port*, nt *network*

**長構文:** STP.017 Topology change acknowledged on *bridge\_type-bridge\_instance* port *bridge\_port*, network *network*

**説明:** 指定のポートで、トポロジー変更確認を検出しました。このポートは、ブリッジの経路ポートです。

**原因:** こちらの経路ポートと同じ LAN 上のブリッジが、発信構成 BDPDU 内にトポロジー変更確認フラグを設定しました。これは、このブリッジが発信または伝送したトポロジー変更通知に対する応答です。

**処置:** 何も必要ありません。これはトポロジー変更通知の通常の結果です。

---

### STP.018

**レベル:** C-INFO

**短構文:** STP.018 Acking tply chg *bridge\_type-bridge\_instance* port *bridge\_port*, nt *network*

**長構文:** STP.018 Acknowledging topology change on *bridge\_type-bridge\_instance* port *bridge\_port*, network *network*

**説明:** 指定のポートで、トポロジー変更通知が確認されました。これは、その LAN の特定ポートであるポートで、トポロジー変更通知が受信された場合に行われます。

**原因:** このブリッジのダウンストリームのブリッジ・トポロジーの変更

**処置:** 何も必要ありません。スパンニング・ツリーの再構成の一環をなす通常の過程です。

**934** ELS メッセージの手引き

---

### STP.019

**レベル:** C-TRACE

**短構文:** STP.019 Tplgy chg notif timer expired *bridge\_type-bridge\_instance*

**長構文:** STP.019 Topology Change Notification timer expired on *bridge\_type-bridge\_instance*

**説明:** トポロジー変更タイマーが満了しました。このブリッジは、この経路ポートでのトポロジー変更通知 BDPDU の送信を中止します。

**原因:** ブリッジがトポロジー変更通知状態にあった期間が、ブリッジ・ハロー・タイマー期間を経過すると、タイマーは満了します。

**処置:** 何も必要ありません。この状態の通常の結果です。

---

### STP.020

**レベル:** C-TRACE

**短構文:** STP.020 Tplgy chg timer expired *bridge\_type-bridge\_instance*

**長構文:** STP.020 Topology Change timer expired on *bridge\_type-bridge\_instance*

**説明:** トポロジー変更タイマーが満了しました。経路であるこのブリッジは、トポロジー変更を構成 BDPDU に入れて送信するのを中止します。

**原因:** これが生じるのは、この経路ブリッジがトポロジー変更状態にあった時間が、現行最大経過時間パラメーターと現行転送遅延パラメーターの合計にわたった場合です。

**処置:** 何も必要ありません。この状態の通常の結果です。

---

### STP.021

**レベル:** U-INFO

**短構文:** STP.021 Msg age tmr exp *bridge\_type-bridge\_instance* port *bridge\_port*, nt *network*, try Root

**長構文:** STP.021 Message age timer expired on *bridge\_type-bridge\_instance* port *bridge\_port*, network *network*, will try and become root

**説明:** このポートのメッセージ経過日数タイマーが満了しました。ブリッジは、経路になろうと試みます。ブリッジは、その LAN 上の特定ポートになります。

**原因:** このインターフェース上で受信されている構成 BDPDU はありません。この LAN 上にブリッジがないか、ブリッジがダウンしているか、いずれかです。

---

**STP.022**

レベル: C-TRACE

短構文: STP.022 Hello tmr exp *bridge\_type-bridge\_instance*

長構文: STP.022 Hello timer expired on *bridge\_type-bridge\_instance*

説明: このポートで、ハロー・タイマーが満了しました。すべてのポートで、構成 BPDU が送信されます。

---

**STP.023**

レベル: C-TRACE

短構文: STP.023 Stop msg age tmr *bridge\_type-bridge\_instance* port *bridge\_port*, nt *network*

長構文: STP.023 Stopping message age timer for *bridge\_type-bridge\_instance* port *bridge\_port*, network *network*

説明: このポート上のメッセージ経過時間タイマーが停止します。このポートがその LAN 上の指定ポートであるためです。

---

**STP.024**

レベル: U-INFO

短構文: STP.024 Not root *bridge\_type-bridge\_instance*, stop hello tmr

長構文: STP.024 Not root anymore on *bridge\_type-bridge\_instance*, stopping hello timer

説明: このブリッジは、スパンニング・ツリー上の経路ブリッジではなくなることに決まりました。ハロー・タイマーも取り消されます。

---

**STP.025**

レベル: C-INFO

短構文: STP.025 Stop tply chg age tmr *bridge\_type-bridge\_instance*

長構文: STP.025 Stopping topology change timer for *bridge\_type-bridge\_instance*

説明: このブリッジが経路ではなくなったため、トポロジー変更タイマーを停止します。

---

**STP.026**

レベル: U-INFO

短構文: STP.026 Root *bridge\_type-bridge\_instance*, strt hello tmr

長構文: STP.026 Selected as root on *bridge\_type-bridge\_instance*, starting hello timer

説明: このブリッジは、スパンニング・ツリー上の経路ブリッジになることが決まりました。ハロー・タイマーが始動されます。

---

**STP.027**

レベル: C-TRACE

短構文: STP.027 Strt msg age tmr *bridge\_type-bridge\_instance* port *bridge\_port*, nt *network*

長構文: STP.027 Starting message age timer for *bridge\_type-bridge\_instance* port *bridge\_port*, network *network*

説明: このポート上のメッセージ経過時間タイマーを始動します。

---

**STP.028**

レベル: C-TRACE

短構文: STP.028 Attmpt root *bridge\_type-bridge\_instance*, strt hello tmr

長構文: STP.028 Attempting to become root on *bridge\_type-bridge\_instance*, starting hello timer

説明: このブリッジは、スパンニング・ツリーの経路ブリッジになろうと試みています。ハロー・タイマーが始動されます。

---

**STP.032**

レベル: UI-ERROR

短構文: STP.032 DROP: *bpdu\_type* BPDU frm recvd on non-parti port *bridge\_port*, nt *network*

長構文: STP.032 DROP: *bpdu\_type* BPDU frame received on non-participating port *bridge\_port*, network *network*

説明: ソース経路ブリッジ BPDU または IEEE802.1D BPDU を受信しましたが、ポートが SRB または IEEE802.1D スパンニング・ツリー・プロトコルに参加していません。

---

**Fatal stpubpdu**

短構文: Attempt to send unknown BPDU type

説明: コードは、不明のタイプの BPDU を送信しようとした。

原因: おそらく、ソフトウェアのバグです。

**処置:** 破損したダンプを入手して、サービス技術員に連絡してください。

---

## 第110章 SRT FDDL 関連 ELS メッセージ

この章では、SRT FDDL 関連 ELS メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### SRTF.001

レベル: U-INFO

短構文: SRTF.001 fddl: duplicate registration

長構文: SRTF.001 fddl: duplicate registration

説明: SRT プロトコルは、FDDL インターフェースにすでに登録済みです。

---

### SRTF.002

レベル: UI-ERROR

短構文: SRTF.002 fddl: registration failed

長構文: SRTF.002 fddl: registration failed

説明: SRT プロトコルの FDDL インターフェースへの登録が失敗しました。

---

### SRTF.003

レベル: UI-ERROR

短構文: SRTF.003 fddl: *function\_name* call failed

長構文: SRTF.003 fddl: *function\_name* call failed

説明: SRT による fddl\_api コールが失敗しました。

---

### SRTF.004

レベル: U-INFO

短構文: SRTF.004 fddl send interfaceConfigSet for ifNum *interfaceNum* ,state= *new\_state*

長構文: SRTF.004 fddl send interfaceConfigSet for ifNum *interfaceNum* ,state= *new\_state*

説明: ポート状態変更事象が発生しました。それぞれのインターフェースに新しい状態が送信されます。

---

### SRTF.005

レベル: U-INFO

短構文: SRTF.005 fddl send macAddrDeleteRequest for addr= *mac\_addr*

長構文: SRTF.005 fddl send macAddrDeleteRequest for addr= *mac\_addr*

説明: FDDL インターフェースに MAC アドレス削除メッセージが送信されます。

---

### SRTF.006

レベル: U-INFO

短構文: SRTF.006 fddl send macAddrPurgeRequest

長構文: SRTF.006 fddl send macAddrDeleteRequest

説明: FDDL インターフェースにデータベース除去要求メッセージが送信されます。

---

### SRTF.007

レベル: U-INFO

短構文: SRTF.007 fddl send macAddrQueryRequest for addr= *mac\_addr*

長構文: SRTF.007 fddl send macAddrQueryRequest for addr= *mac\_addr*

説明: FDDL インターフェースに MAC アドレス照会要求メッセージが送信されます。

---

### SRTF.008

レベル: U-INFO

短構文: SRTF.008 fddl recv macAddrResolutionRequest for addr= *mac\_addr*, from ifNum= *interfaceNum*

長構文: SRTF.008 fddl recv macAddrResolutionRequest for addr= *mac\_addr*, from ifNum= *interfaceNum*

説明: MAC アドレス解決要求メッセージを受信します。

---

### SRTF.009

レベル: U-INFO

短構文: SRTF.009 fddl send macAddrResolutionReply for addr= *mac\_addr*,ifNum= *interfaceNum*,vpiVci= *vpiVci*

長構文: SRTF.009 fddl send macAddrResolutionReply for addr= *mac\_addr*,ifNum= *interfaceNum*,vpiVci= *vpiVci*

説明: FDDL インターフェースに MAC アドレス解決応答メッセージが送信されます。



---

**SRTF.010**

レベル: U-INFO

短構文: SRTF.010 fddl rcv macAddrQueryReply for  
addr= *mac\_addr*,ifNum= *interfaceNum*,age= *age* secs

長構文: SRTF.010 fddl rcv macAddrQueryReply for  
addr= *mac\_addr*,ifNum= *interfaceNum*,age= *age* seconds

説明: MAC アドレス照会応答メッセージを受信し  
ます。

---

**SRTF.011**

レベル: UI-ERROR

短構文: SRTF.011 fddl macAddrQueryReply, entry not  
in database: *mac\_addr*

長構文: SRTF.011 fddl macAddrQueryReply, entry not  
in database: *mac\_addr*

説明: FDDL 照会応答を受信しましたが、そのあて先  
アドレスが SRT データベース内にありません。

---

**SRTF.012**

レベル: U-INFO

短構文: SRTF.012 fddl rcv macAddrLearnRequest for  
addr= *mac\_addr*,ifNum= *interfaceNum*

長構文: SRTF.012 fddl rcv macAddrLearnRequest for  
addr= *mac\_addr*,ifNum= *interfaceNum*

説明: MAC アドレス確認要求メッセージを受信し  
ます。

---

**SRTF.013**

レベル: UI-ERROR

短構文: SRTF.013 fddl macAddrLearnRequest, entry not  
in database: *mac\_addr*

長構文: SRTF.013 fddl macAddrLearnRequest, entry not  
in database: *mac\_addr*

説明: FDDL 確認要求エラー。アドレスを確認した後  
でも、アドレスが SRT データベース内にありません。

---

**SRTF.014**

レベル: U-INFO

短構文: SRTF.014 fddl send macAddrLearnReply for  
addr= *mac\_addr*,ifNum= *interfaceNum*

長構文: SRTF.014 fddl send macAddrLearnReply for  
addr= *mac\_addr*,ifNum= *interfaceNum*

説明: MAC アドレス確認応答メッセージにアドレスと  
インターフェース情報を付けて送信します。

---

**SRTF.015**

レベル: U-INFO

短構文: SRTF.015 fddl rcv statisticsUpdateIndication  
for ifNum= *interfaceNum*

長構文: SRTF.015 fddl rcv statisticsUpdateIndication  
for ifNum= *interfaceNum*

説明: 統計更新指示メッセージをインターフェースか  
ら受信しました。

---

**SRTF.016**

レベル: UI-ERROR

短構文: SRTF.016 fddl invalid ifNum= *interfaceNum* in  
msg = *message\_name*

長構文: SRTF.016 fddl invalid ifNum= *interfaceNum* in  
msg = *message\_name*

説明: FDDL コールをインターフェース番号付きで受  
信しました。このインターフェース番号についてネット  
構造は存在しません。

---

**SRTF.017**

レベル: UI-ERROR

短構文: SRTF.017 fddl macAddrLearnRequest, bad port  
pointer in database entry: *mac\_addr*

長構文: SRTF.017 fddl macAddrLearnRequest, bad port  
pointer in database entry: *mac\_addr*

説明: FDDL 確認要求エラー。SRT データベースのエ  
ントリに、NULL ポート・ポインターがあります。

---

**SRTF.018**

レベル: U-INFO

短構文: SRTF.018 fddl port security violation by addr=  
*mac\_addr*, on ifNum= *interfaceNum*

長構文: SRTF.018 fddl port security violation by addr=  
*mac\_addr*, on ifNum= *interfaceNum*

説明: 2 番目の src mac アドレスが保護ポート上に現  
れました。

---

## 第111章 SuperELAN (SE)

この章では、SuperELAN (SE) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### SE.001

レベル: UI-ERROR

短構文: SE.001 SE- *se\_id*:No buf to dup broadcast frame 0x *source\_mac*->0x *dest\_mac* to port *port*, net-*network* int *int*/ *int\_no*

長構文: SE.001 SE- *se\_id*:No buffer available to duplicate frame from 0x *source\_mac* to 0x *dest\_mac* on to port *port*, network *network* interface *int*/ *int\_no*

説明: 複数のインターフェースでブリッジ・フレームを送信するためにフレームをコピーするのに利用可能なバッファがありません。マルチキャストあて先アドレスまたは不明のユニキャスト・アドレスの場合、ブリッジ・パケットは複数のインターフェース上で送信されません。指定のポートとネットワーク上では、このフレームのコピーは送信されません。

原因: 重大なパケット・バッファの不足

処置: GWCON 内の記憶域統計を検査して、パケット・バッファ・レベルを確認してください。

原因: トラフィック・ピーク時に利用可能なバッファがすべて使われている。

処置: 問題になるのは、このメッセージが出る頻度が低い場合です。

---

### SE.002

レベル: UE-ERROR

短構文: SE.002 SE- *se\_id*:Bcast 802.3 bad len *actual\_length* *claimed\_length*, 0x *source\_Ethernet\_address*->0x *destination\_Ethernet\_address* net-*network*

長構文: SE.002 SE- *se\_id*:Broadcast packet received with a bad 802.3 length field actual *actual\_length* claimed *claimed\_length* from 0x *source\_Ethernet\_address* to 0x *destination\_Ethernet\_address* network *network*

説明: タイプ・フィールド 802.3 を示す同報通信パケットを受信しましたが、802.3 ヘッダーに示されているデータ長より短くなっていました。

---

### SE.003

レベル: UE-ERROR

短構文: SE.003 SE- *se\_id*:802.3 bad len *actual\_length* *claimed\_length*, 0x *source\_Ethernet\_address*->0x *destination\_Ethernet\_address* net-*network*

長構文: SE.003 SE- *se\_id*:packet received with a bad 802.3 length field actual *actual\_length* claimed *claimed\_length* from 0x *source\_Ethernet\_address* to 0x *destination\_Ethernet\_address* network *network*

説明: タイプ・フィールド 802.3 を示す非同報通信パケットを受信しましたが、802.3 ヘッダーに示されているデータ長より短くなっていました。

---

### SE.004

レベル: UE-ERROR

短構文: SE.004 SE- *se\_id*:LOOP odd skip *count*, 0x *source\_MAC\_address*->0x *destination\_MAC\_address*, net-*network*

長構文: SE.004 SE- *se\_id*:Loopback Protocol, odd skipCount *count* from 0x *source\_MAC\_address* to 0x *destination\_MAC\_address*, network *network*

説明: イーサネット・ループバック・プロトコル (構成試験プロトコル) パケット内に、奇数の skipCount が含まれていました。パケットは廃棄されます。

原因: リモート・ノードでのプログラム・エラー

---

### SE.005

レベル: UI-ERROR

短構文: SE.005 SE- *se\_id*:0x *source\_mac*->0x *dest\_mac* send failed, rsn *reason\_code*, port *port* net-*network* int *int*/ *int\_no*

長構文: SE.005 SE- *se\_id*:Sending Frame from 0x *source\_mac* to 0x *dest\_mac* failed, reason *reason\_code*, on port *port* network *network* interface *int*/ *int\_no*

説明: 転送するパケットの送信が失敗しました。理由は、その障害の内部エラー・コードです。

原因: 各種のハンドラー・エラー (理由コード 1)

処置: ハンドラーからのエラー・メッセージを検査し

て、network\_name を調べてください。

**原因:** 出力待ち行列オーバーフローまたはその他のフロー制御 (理由コード 2)

**処置:** 輻輳 (ふくそう) を緩和してください。

**原因:** ネットワークがダウン (理由コード 3)

**処置:** ネットワークがダウンしているとハンドラーが判断した理由を調べてください。

**原因:** ループまたはよくない同報通信を回避するために、ハンドラーによって除去されました。(理由コード 4)。

**処置:** 構成を検査してください。

**原因:** ホストがダウン (理由コード 5)

**処置:** ホストがダウンしているとハンドラーが判断した理由を調べてください。

---

## SE.006

**レベル:** CI-ERROR

**短構文:** SE.006 SE- *se\_id*:Input q ovf 0x *source\_mac*->0x *dest\_mac*, dropped, net- *network* int *int/ int\_no*

**長構文:** SE.006 SE- *se\_id*:Input queue overflow on frame from 0x *source\_mac* to 0x *dest\_mac*, packet dropped from network *network* interface *int/ int\_no*

**説明:** 転送の対象となるフレーム用の入力待ち行列が長過ぎ、輻輳 (ふくそう)を緩和する試みとして、このフレームは除去されました。

**原因:** バースト性トラフィックが輻輳 (ふくそう) の原因となっている場合があります。

**処置:** バーストが解消されるまで待ってください。

**原因:** トラフィックが多過ぎて、転送機能が転送できない。

**処置:** ネットワークを再構成してください。ルーターの速度を上げてください。

**原因:** バッファ資源が不十分

**処置:** GWCON 内の記憶域統計を調べてください。

---

## SE.007

**レベル:** CI-ERROR

**短構文:** SE.007 SE- *se\_id*:BPDU q ovf 0x *source\_mac*->0x *network*, dropped, net- *int* int *int\_no/*

**長構文:** SE.007 SE- *se\_id*:Bridge Protocol Data Unit input queue overflow on frame from 0x *source\_mac* to 0x *network*, dropped from network *int* interface *int\_no/*

**説明:** スパニング・ツリー・プロトコル・ブリッジ・プロトコル・データ単位用の入力待ち行列が長過ぎ、輻輳 (ふくそう) を緩和する試みとして、このフレームは除去されました。

**原因:** 発信元ノードによる BDPU フレームのストリーミング。

**処置:** 発信元ノードの動作を訂正してください。

**原因:** トラフィックが多過ぎて、転送機能が転送できない。

**処置:** ネットワークを再構成してください。ルーターの速度を上げてください。

**原因:** バッファ資源が不十分

**処置:** GWCON 内の記憶域統計を調べてください。

---

## SE.008

**レベル:** CE-ERROR

**短構文:** SE.008 SE- *se\_id*:0x *source\_mac*->0x *dest\_mac* too big ( *reformatted\_length* > *output\_maximum*) for port *port* net- *network* int *int/ int\_no*, dropped

**長構文:** SE.008 SE- *se\_id*:Frame from 0x *source\_mac* to 0x *dest\_mac* is too big (*reformatted\_length* bytes > *output\_maximum\_size* *output\_maximum* bytes) for port *port* network *network* interface *int/ int\_no*, dropped

**説明:** 指定のフレームは、この発信ポートとネットワークで送信するには大き過ぎます。*reformatted\_length* は、データ・リンク・ヘッダーのマッピング後の、MACヘッダーを含めたフレームのサイズです。

**原因:** 大きい最大フレーム・サイズをもつネットワーク上のホストが、これより小さい最大フレーム・サイズをもつネットワーク上のホストに送信しています。

**処置:** 送信ホストを再構成して、そのような大きいフレームを送信しないようにします。フレームが、断片化をサポートするルーティング可能プロトコル (IP または ISO など)、または最大フレーム・サイズ決定をサポートするルーティング可能プロトコル (DNA または XNS) の場合は、ブリッジングではなく、ルーティングを使用するように変換します。

**原因:** 大きい最大フレーム・サイズをもつネットワーク上のホストが、これより小さい最大フレーム・サイズをもつネットワークを介して、ホストに送信しています。

**処置:** ネットワークを再構成して、最大フレーム・サイズが大きいネットワーク (FDDI または 802.5 など) をバックボーン・ネットワークとして使用します。スパニング・ツリー・プロトコル内のポート・コストを再

構成して、大きい最大フレーム・サイズをもつネットワークを経由するスパンニング・ツリーが優先されるようにしてください。

---

### SE.009

レベル: UE-ERROR

短構文: SE.009 SE- *se\_id*:0x *source\_mac*->0x *dest\_mac* dropped, net- *network* down

長構文: SE.009 SE- *se\_id*:Frame from 0x *source\_mac* to 0x *dest\_mac* dropped, input network *network* is down

説明: ダウンしているネットワークで、ブリッジするためのフレームを受信しました。これは無視されます。

原因: BDPU が、このインターフェース上のルーターのユニキャスト・アドレスあてに送信された。

処置: 送信ノードのアクションを訂正してください。

原因: 内部状態の矛盾

---

### SE.010

レベル: C-INFO

短構文: SE.010 SE- *se\_id*:LOOP rcv 0x *source\_MAC\_address*->0x *destination\_MAC\_address*, net-*network*

長構文: SE.010 SE- *se\_id*:Loopback Protocol frame received from 0x *source\_MAC\_address* to 0x *destination\_MAC\_address*, network *network*

説明: イーサネット・ループバック・プロトコル (構成試験プロトコル) パケットを受信しました。

---

### SE.011

レベル: C-INFO

短構文: SE.011 SE- *se\_id*:0x *source\_mac*->0x *dest\_mac* dropped, input port *port* net- *network* int *int*/ *int\_no* not forwarding

長構文: SE.011 SE- *se\_id*:Frame from 0x *source\_mac* to 0x *dest\_mac* dropped, input port *port* network *network* interface *int*/ *int\_no* not in forwarding state

説明: まだ "確認" 状態でしかないポート上で MAC フレームを受信しました。フレームがブリッジされるのは、ポートが "転送" 状態のときだけです。ポートがまだ "確認" 状態にある間は、フィルター・データベース用として発信元アドレスを確認するためのフレーム処理が行われるだけです。フレームはブリッジされません。

原因: "転送" 状態に移行する通常のプロセスです。

---

### SE.012

レベル: C-INFO

短構文: SE.012 SE- *se\_id*:0x *source\_mac*->0x *dest\_mac* dropped, output port *port* net- *network* int *int*/ *int\_no* not forwarding

長構文: SE.012 SE- *se\_id*:Frame from 0x *source\_mac* to 0x *dest\_mac* dropped, output port *port* network *network* interface *int*/ *int\_no* not in forwarding state

説明: MAC フレームはブリッジされている最中でしたが、あて先ポートが "転送" 状態ではありませんでした。そのポートでは、フレームは送信されません。

原因: 出力ポートがまだ "確認" 状態である。

処置: 何も必要ありません。ポートが "転送" に遷移するはずです。

原因: フィルター・データベース内の静的エントリが指しているポートが、まだ "転送" 状態でない。

---

### SE.013

レベル: C-INFO

短構文: SE.013 SE- *se\_id*:0x *source\_mac*->0x *dest\_mac* dropped, dst same LAN, port *port* net- *network* int *int*/ *int\_no*

長構文: SE.013 SE- *se\_id*:Frame from 0x *source\_mac* to 0x *dest\_mac* dropped, destination on same LAN, port *port* network *network* interface *int*/ *int\_no*

説明: MAC フレームを受信しましたが、そのあて先アドレスが、ブリッジのパケットが来た側と同じ側にあります。ブリッジする必要がないので、フレームはフィルター論理によって除去されます。

原因: ネットワーク上の通常のローカル・トラフィック

---

### SE.014

レベル: CI-ERROR

短構文: SE.014 SE- *se\_id*:0x *source\_mac*->0x *dest\_mac* drp, dst port *port* not enabled, net- *network* int *int*/ *int\_no*

長構文: SE.014 SE- *se\_id*:Frame from 0x *source\_mac* to 0x *dest\_mac* dropped, destination port *port* not enabled, network *network* interface *int*/ *int\_no*

説明: ブリッジされたフレームのあて先となっていたポートが "転送" 状態ではありません。

原因: フィルター・データベースが "転送" 状態にないポートを指しています。

---

**SE.015**

レベル: C-INFO

短構文: SE.015 SE- *se\_id*:0x *source\_mac*->0x *dest\_mac*  
fwrdd from port *port* net- *network* int *int/ int\_no* to port  
*port* net- *network* int *int/ int\_no*

長構文: SE.015 SE- *se\_id*:Frame from 0x *source\_mac* to  
0x *dest\_mac* forwarded from port number *port* network  
*network* interface *int/ int\_no* to port number *port* network  
*network* interface *int/ int\_no*

説明: フレームは、発信元 MAC からあて先 MAC にブリッジ中です。

---

**SE.016**

レベル: C-INFO

短構文: SE.016 SE- *se\_id*:0x *source\_mac*->0x *dest\_mac*  
drp due to VLAN defs, from port *port* net- *network* int  
*int/ int\_no* to port *port* net- *network* int *int/ int\_no*

長構文: SE.016 SE- *se\_id*:0x *source\_mac*->0x *dest\_mac*  
dropped due to VLAN definitions, from port *port* net-  
*network* int *int/ int\_no* to port *port* net- *network* int *int/*  
*int\_no*

説明: フレームは、VLAN フィルターにより、指定のインターフェースに転送されませんでした。

---

**SE.017**

レベル: CE-ERROR

短構文: SE.017 SE- *se\_id*:Unreg dst 0x *source\_mac*->0x  
*dest\_mac* Etype *Ethernet\_type*, drp, net- *network*

長構文: SE.017 SE- *se\_id*:Frame from 0x *source\_mac* to  
unregistered destination MAC address 0x *dest\_mac*,  
Ethernet type *Ethernet\_type*, dropped, network *network*

説明: 使用可能プロトコルに一致するイーサネット・タイプのフレームを受信しましたが、あて先 MAC アドレスがブリッジに登録されていません。フレームは廃棄されます。

原因: *dest\_mac* がユニキャスト・アドレスの場合、LAN 上のステーションが、このプロトコル用のフレームを間違ったネクスト・ホップ MAC アドレスに送信しています。

処置: リモート・ステーションのアクションを訂正してください。

原因: *dest\_mac* がマルチキャスト・アドレスの場合、LAN 上のステーションが、フレームを間違ったマルチキャスト・アドレスにか、あるいは、おそらくこのルーターが使用可能にしているあて先アドレスだけに送信

しています。プロトコルによって、これはエラーである場合と、エラーでない場合があります。

処置: 必要な場合には、リモート・ステーションのアクションを訂正してください。

---

**SE.018**

レベル: CE-ERROR

短構文: SE.018 SE- *se\_id*:Unkn SNAP mfr code  
*number* from 0x *source\_MAC* net- *network ID*

長構文: SE.018 SE- *se\_id*:Unknown SNAP manufacturer  
code *number* from 0x *source\_MAC* net *network ID*

説明: このメッセージは、SNAP ヘッダーに不明の編成コード (000000 以外の) をもつフレームを受信したときに生成されます。フレームは同報通信でした。

原因: ホストが、SNAP を使用して、不明の固有プロトコル用のパケットを送信しています。

---

**SE.019**

レベル: UE-ERROR

短構文: SE.019 SE- *se\_id*:DECnet bad len *actual\_length*  
*claimed\_length*, 0x *source\_MAC\_address*->0x  
*destination\_MAC\_address* net- *network*

長構文: SE.019 SE- *se\_id*:DECnet packet received with  
a bad length actual *actual\_length* claimed *claimed\_length*  
from 0x *source\_MAC\_address* to 0x  
*destination\_MAC\_address* network *network*

説明: DECnet パケットを受信しましたが、長さフィールドが実際のパケット長より長くなっていました。

---

**SE.020**

レベル: UI-ERROR

短構文: SE.020 SE- *se\_id*:LLC RSP to 0x  
*destination\_Ethernet\_address* dsc, rsn *code*, net- *network*

長構文: SE.020 SE- *se\_id*:LLC response to 0x  
*destination\_Ethernet\_address* discarded, for reason *code*,  
network *network*

説明: コードで示されている理由により、LLC 応答 (XID または TEST) を指定のアドレスに送信できませんでした。

---

**SE.021**

レベル: UE-ERROR

短構文: SE.021 SE- *se\_id*:Dropped IPX pkt w/



*encap\_seen* encaps - using *encap\_used* encaps on int  
*intnum*

**長構文:** SE.021 SE- *se\_id*:Dropped IPX pkt with encaps  
*encap\_seen* using *encap\_used* on interface *intnum*

**説明:** このメッセージは、このインターフェース用に  
選択された以外のカプセル化を使用した IPX パケット  
を受信した場合に生成されます。

**原因:** 単一回線で複数のカプセル化を使用しているネ  
ットワークの場合、これは正常です。

**処置:** 何も必要ありません。

---

### SE.022

**レベル:** U-INFO

**短構文:** SE.022 SE- *se\_id*:Unkn SNAP mfr code  
*number* from 0x *source\_MAC* net- *network ID*

**長構文:** SE.022 SE- *se\_id*:Unknown SNAP manufacturer  
*code number* from 0x *source\_MAC* net *network ID*

**説明:** このメッセージは、SNAP ヘッダーに不明の編  
成コード (000000 以外の) をもつフレームを受信したと  
きに生成されます。このフレームは、ルーターにアドレ  
ス指定されていました。

**原因:** ホストが、SNAP を使用して、不明の固有プロ  
トコル用のパケットを送信しています。

---

### SE.023

**レベル:** U-INFO

**短構文:** SE.023 SE- *se\_id*:Unexp U-frame *LLC\_control*  
from 0x *source\_MAC* ssap *source\_SAP* dsap *dest\_SAP*  
net- *network ID*

**長構文:** SE.023 SE- *se\_id*:Unexpected U-frame  
*LLC\_control* from 0x *source\_MAC*, ssap *source\_SAP*, dsap  
*dest\_SAP*, net *network ID*

**説明:** このメッセージは、予期しない 802.2 LLC U  
(非番号制) フレーム・タイプを受信したときに生成さ  
れます。(UI、XID、および TEST のみがサポートされ  
ます。) このフレームは、ルーターにアドレス指定され  
ていました。

---

### SE.024

**レベル:** CE-ERROR

**短構文:** SE.024 SE- *se\_id*:Unexp U-frame *LLC\_control*  
from 0x *source\_MAC* ssap *source\_SAP* dsap *dest\_SAP*  
net- *network ID*

**長構文:** SE.024 SE- *se\_id*:Unexpected U-frame

*LLC\_control* from 0x *source\_MAC*, ssap *source\_SAP*, dsap  
*dest\_SAP*, net *network ID*

**説明:** このメッセージは、予期しない 802.2 LLC U  
(非番号制) フレーム・タイプを受信したときに生成さ  
れます。(UI、XID、および TEST のみがサポートされ  
ます。) フレームは同報通信でした。

---

### SE.025

**レベル:** CI-ERROR

**短構文:** SE.025 SE- *se\_id*:Hello BPDU dropped because  
STP disabled on prt *port*, net- *network*

**長構文:** SE.025 SE- *se\_id*:Hello BPDU dropped because  
STP disabled on port *port*, network *network*

**説明:** スパニング・ツリー・ハロー BPDU フレーム  
を受信したポートは、SuperELAN スパニング・ツリー  
が使用不可にされています。SuperELAN に対しては  
手動スパニング・ツリー・サポートは使用可能にされ  
ていないので、このメッセージは表示されるはずはあり  
ません。このメッセージが表示される場合は、操作可能  
コードに問題があることを示しています。

---

### SE.026

**レベル:** C-INFO

**短構文:** SE.026 SE- *se\_id*:Frame dropped, src 0x  
*source\_mac*==dest 0x *dest\_mac*, port *port* net- *network* int  
*int/ int\_no*

**長構文:** SE.026 SE- *se\_id*:Frame from 0x *source\_mac* to  
0x *dest\_mac*, source same as destination, dropping, from  
port *port* network *network* interface *int/ int\_no*

**説明:** 同じアドレス間で送受信されるフレームは、ブ  
リッジされません。

---

### SE.027

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** SE.027 SE- *se\_id*:DECnet bad len *actual\_length*  
*claimed\_length*, 0x *source\_Ethernet\_address*->0x  
*destination\_Ethernet\_address* net- *network*

**長構文:** SE.027 SE- *se\_id*:DECnet packet received with  
a bad length *actual actual\_length* *claimed claimed\_length*  
from 0x *source\_Ethernet\_address* to 0x  
*destination\_Ethernet\_address* network *network*

**説明:** DECnet パケットを受信しましたが、長さフィー  
ルドが実際のパケット長より長くなっていました。



---

**SE.028**

レベル: UE-ERROR

短構文: SE.028 SE- *se\_id*:DECnet MOP bad len  
*actual\_length claimed\_length*, 0x  
*source\_Ethernet\_address->0x destination\_Ethernet\_address*  
net- *network*

長構文: SE.028 SE- *se\_id*:DECnet MOP packet received  
with a bad length *actual actual\_length claimed*  
*claimed\_length* from 0x *source\_Ethernet\_address* to 0x  
*destination\_Ethernet\_address network network*

説明: DECnet MOP パケットを受信しましたが、長さ  
フィールドが実際のパケットの長さより大きくなって  
いました。

---

**SE.029**

レベル: UE-ERROR

短構文: SE.029 SE- *se\_id*:Unexp type bcast frame  
*LLC\_control* from 0x *source\_MAC* ssap *source\_SAP* dsap  
*dest\_SAP* net- *network ID*

長構文: SE.029 SE- *se\_id*:Unexpected type broadcast  
frame *LLC\_control* from 0x *source\_MAC*, ssap  
*source\_SAP*, dsap *dest\_SAP*, net *network ID*

説明: このメッセージは、予期しない 802.2 LLC フレーム・  
タイプを受信したときに生成されます。タイプは、I (情報転送)  
または S (監視) です。フレームは同報通信でした。

原因: ホストが、ルーターへの 802.2 タイプ 2 接続を  
試んでいます。

---

**SE.030**

レベル: UE-ERROR

短構文: SE.030 SE- *se\_id*:IPX pkt in  
*received\_encapsulation* encaps ign, using  
*configured\_encapsulation* encaps, net- *network*

長構文: SE.030 SE- *se\_id*:IPX pkt in encapsulation  
*received\_encapsulation* ignored, using encapsulation  
*configured\_encapsulation* on network *network*

説明: このメッセージは、インターフェースの IPX 用  
に構成されたフレーム以外のデータ・リンク・カプセル  
(フレーム) に入った IPX パケットを受信すると生成され  
ます。パケットは無視されます。

*received\_encapsulation* および *configured\_encapsulation*  
は、"ETHERNET\_802.3"、"ETHERNET\_II"、  
"ETHERNET\_802.2"、または "ETHERNET\_SNAP" のう  
ちのいずれか 1 つです。ETHERNET\_802.3 は "Novell"

とも呼ばれ、ETHERNET\_II は "Ethernet" とも呼ばれま  
す。

原因: このネットワークで 1 つだけのカプセル化が使用  
されている場合、このノードのカプセルは、ネットワ  
ーク上の他のすべての IPX ノードと同じではありません。

処置: ネットワーク上のすべてのノードが同一のカプ  
セルを使用するように構成してください。

原因: このネットワークで複数のカプセルが使用され  
ている場合、パケットは、このノードとは異なるカプ  
セルを使用しているノードから受信されています。

---

**SE.031**

レベル: U-INFO

短構文: SE.031 SE- *se\_id*:Unexp type frame  
*LLC\_control* from 0x *source\_MAC* ssap *source\_SAP* dsap  
*dest\_SAP* net- *network ID*

長構文: SE.031 SE- *se\_id*:Unexpected type frame  
*LLC\_control* from 0x *source\_MAC*, ssap *source\_SAP*, dsap  
*dest\_SAP*, net *network ID*

説明: このメッセージは、予期しない 802.2 LLC フレ  
ーム・タイプを受信したときに生成されます。タイプ  
は、I (情報転送) または S (監視) です。このフレーム  
は、ルーターにアドレス指定されていました。

原因: ホストが、ルーターへの 802.2 タイプ 2 接続を  
試んでいます。

---

**SE.032**

レベル: UI-ERROR

短構文: SE.032 SE- *se\_id*:SR 0x *source\_mac->0x*  
*dest\_mac* send failed, rsn *reason\_code*, port *port* net-  
*network* int *int/ int\_no*

長構文: SE.032 SE- *se\_id*:Sending source routed frame  
from 0x *source\_mac* to 0x *dest\_mac* failed, reason  
*reason\_code*, on port *port* network *network* interface *int/*  
*int\_no*

説明: ソース・ルーティング・フレームの送信が失敗  
しました。*reason\_code* は、障害の内部エラー・コード  
です。

原因: 各種のハンドラー・エラー (理由コード 1)

処置: ハンドラーからのエラー・メッセージを検査し  
て、*network\_name* を調べてください。

原因: 出力待ち行列オーバーフローまたはその他のフ  
ロー制御 (理由コード 2)

処置: 輻輳 (ふくそう) を緩和してください。

**原因:** ネットワークがダウン (理由コード 3)

**処置:** ネットワークがダウンしているとハンドラーが判断した理由を調べてください。

**原因:** ループまたはよくない同報通信を回避するために、ハンドラーによって除去されました。(理由コード 4)。

**処置:** 構成を検査してください。

**原因:** ホストがダウン (理由コード 5)

**処置:** ホストがダウンしているとハンドラーが判断した理由を調べてください。

---

### SE.033

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** SE.033 SE- *se\_id*:LOOP fwd to 0x *forward\_Ethernet\_address* dropped, *rsn\_code*, net- *network*

**長構文:** SE.033 SE- *se\_id*:Loopback protocol, forward to 0x *forward\_Ethernet\_address* discarded, for reason *code*, network *network*

**説明:** コードで示されている理由により、イーサネット・ループバック・プロトコル (構成試験プロトコル) パケットが指定のアドレスに転送できませんでした。

---

### SE.034

**レベル:** U-INFO

**短構文:** SE.034 SE- *se\_id*:Unkn SNAP type *type\_code* from 0x *source\_MAC* net- *network ID*

**長構文:** SE.034 SE- *se\_id*:Unknown SNAP type *type\_code* from 0x *source\_MAC* net *network ID*

**説明:** このメッセージは、不明の SNAP タイプ (編成コード 000000 内の) をもつフレームを受信したときに生成されます。このフレームは、ルーターにアドレス指定されていました。

**原因:** ホストが、SNAP を使用して、不明のイーサネット・タイプに関するパケットを送信しています。

---

### SE.035

**レベル:** CE-ERROR

**短構文:** SE.035 SE- *se\_id*:Unkn SNAP type *type\_code* from 0x *source\_MAC* net- *network ID*

**長構文:** SE.035 SE- *se\_id*:Unknown SNAP type *type\_code* from 0x *source\_MAC* net *network ID*

**説明:** このメッセージは、不明の SNAP タイプ (編成コード 000000 内の) をもつフレームを受信したときに生成されます。フレームは同報通信でした。

**原因:** ホストが、SNAP を使用して、不明のイーサネット・タイプに関するパケットを送信しています。

---

### SE.036

**レベル:** U-INFO

**短構文:** SE.036 SE- *se\_id*:Unkn SAP *sap\_number* from 0x *source\_MAC* net- *network ID*

**長構文:** SE.036 SE- *se\_id*:Unknown SAP *sap\_number* from 0x *source\_MAC* net *network ID*

**説明:** このメッセージは、不明のあて先 SAP をもつパケットを受信したときに生成されます。メッセージは、ルーターにアドレス指定されていました。

**原因:** ホストが不明のプロトコル識別子 (SAP) のパケットを送信しています。

---

### SE.037

**レベル:** U-INFO

**短構文:** SE.037 SE- *se\_id*:Unkn SAP *sap\_number* from 0x *source\_MAC* net- *network ID*

**長構文:** SE.037 SE- *se\_id*:Unknown SAP *sap\_number* from 0x *source\_MAC* net *network ID*

**説明:** このメッセージは、不明のあて先 SAP をもつパケットを受信したときに生成されます。メッセージは同報通信でした。

**原因:** ホストが不明のプロトコル識別子 (SAP) のパケットを送信しています。

---

### SE.038

**レベル:** C-INFO

**短構文:** SE.038 SE- *se\_id*:Main pkt rcvd on net-*network*

**長構文:** SE.038 SE- *se\_id*:Maintenance packet received on net *network*

**説明:** ハンドラーが保守パケットを受信しました。

---

### SE.039

**レベル:** CI-ERROR

**短構文:** SE.039 SE- *se\_id*:0x *source\_mac*->0x *dest\_mac* dropped, dest addr filt, port *port* net- *network* int *int/* *int\_no*

**長構文:** SE.039 SE- *se\_id*:Frame from 0x *source\_mac* to 0x *dest\_mac* dropped, destination address filtered, port *port* network *network* interface *int/* *int\_no*

**説明:** ハードウェアが MAC フレームを受信しました

が、あて先 MAC アドレスがブリッジによって管理されてフィルタ処理されます。フレームは廃棄されます。

**原因:** あて先 MAC アドレスが排他的フィルタに合致するフレームを受信しました。

---

#### SE.040

**レベル:** C-INFO

**短構文:** SE.040 SE- *se\_id*:Test pkt 0x *mac\_address*, src sap *source\_sap*, net- *network*

**長構文:** SE.040 SE- *se\_id*:Test packet from 0x *mac\_address*, source sap *source\_sap*, net *network*

**説明:** ハンドラーがテスト・メッセージを受信しました。

---

#### SE.041

**レベル:** C-INFO

**短構文:** SE.041 SE- *se\_id*:XID pkt 0x *mac\_address*, sap *source\_sap*, net- *network*

**長構文:** SE.041 SE- *se\_id*:XID packet received from 0x *mac\_address*, source sap *source\_sap*, net *network*

**説明:** ハンドラーが xid メッセージを受信しました。

---

#### SE.042

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** SE.042 SE- *se\_id*:LOOP mcast fwd dest 0x *forward\_Ethernet\_address*, 0x *source\_Ethernet\_address*->0x *destination\_Ethernet\_address*, net- *network*

**長構文:** SE.042 SE- *se\_id*:Loopback Protocol, multicast forward address 0x *forward\_Ethernet\_address* from 0x *source\_Ethernet\_address* to 0x *destination\_Ethernet\_address*, network *network*

**説明:** イーサネット・ループバック・プロトコル (構成試験プロトコル) パケットに、マルチキャストの転送アドレスが入っています。パケットは廃棄されます。

**原因:** リモート・ノードでのプログラム・エラー

---

#### SE.043

**レベル:** C-INFO

**短構文:** SE.043 SE- *se\_id*:LOOP fwd 0x *source\_Ethernet\_address*->0x *forward\_Ethernet\_address*, net- *network*

**長構文:** SE.043 SE- *se\_id*:Loopback Protocol, forwarding from 0x *source\_Ethernet\_address* to 0x *forward\_Ethernet\_address*, network *network*

**説明:** イーサネット・ループバック・プロトコル (構成試験プロトコル) パケットを、指定のネクスト・ホップに転送中です。

---

#### SE.044

**レベル:** C-INFO

**短構文:** SE.044 SE- *se\_id*:SRF rcv (RIF *RIF*) 0x *source\_mac*->0x *dest\_mac* from port *port*, net- *network* int *int*/ *int\_no*

**長構文:** SE.044 SE- *se\_id*:Specifically-routed frame received (RIF *RIF*) from 0x *source\_mac* to 0x *dest\_mac* from port *port*, network *network* interface *int*/ *int\_no*

**説明:** 指定されたポート上で特別ルーティング・フレームを受信しました。

---

#### SE.045

**レベル:** C-INFO

**短構文:** SE.045 SE- *se\_id*:Send SRF (RIF *RIF*) 0x *source\_mac*->0x *dest\_mac* to port *port*, net- *network* int *int*/ *int\_no*

**長構文:** SE.045 SE- *se\_id*:Sending Specifically-routed frame (RIF *RIF*) from 0x *source\_mac* to 0x *dest\_mac* to port *port*, network *network* interface *int*/ *int\_no*

**説明:** 指定されたポート上で特別ルーティング・フレームを送信中です。

---

#### SE.046

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** SE.046 SE- *se\_id*:LOOP func *function* not fwd, 0x *source\_Ethernet\_address*->0x *destination\_Ethernet\_address*, net- *network*

**長構文:** SE.046 SE- *se\_id*:Loopback Protocol, function *function* not Forward Data from 0x *source\_Ethernet\_address* to 0x *destination\_Ethernet\_address*, network *network*

**説明:** イーサネット・ループバック・プロトコル (構成試験プロトコル) パケットに、転送 (2) の機能コードが入っていませんでした。パケットは廃棄されます。

**原因:** ここは、このパケットの最終あて先なので、機能コードは応答 (1) でした。

**処置:** なし。

**原因:** リモート・ノードのプログラム・エラーによる未定義機能コード

---

**SE.047**

レベル: DEBUG

短構文: SE.047 SE- *se\_id*:Attempt to learn MAC addr 0x *mac* for our own net- *network* int *int/ intno*

長構文: SE.047 SE- *se\_id*:Attempted to learn MAC address 0x *mac* for our own net- *network* int *int/ intno*

説明: 転送コードが、それ自体のインターフェース MAC アドレスをキャッシュしようとしていました。このアドレスは、動的に確認されるようなことがあってはなりません。これが起こる可能性があるのは、ネットワーク内の別の MAC アドレスが SE インターフェース MAC アドレスに一致しているか、あるいは SE BPDU が送信インターフェースにループバックされている場合です。

---

**SE.048**

レベル: C-INFO

短構文: SE.048 SE- *se\_id*:message event not used

長構文: SE.048 SE- *se\_id*:message event not used

説明: このメッセージ事象は使用されていません。

---

**SE.049**

レベル: C-INFO

短構文: SE.049 SE- *se\_id*:message event not used

長構文: SE.049 SE- *se\_id*:message event not used

説明: このメッセージ事象は使用されていません。

---

**SE.050**

レベル: C-INFO

短構文: SE.050 SE- *se\_id*:LOOP rcv 0x *source\_Ethernet\_address*->0x *destination\_Ethernet\_address*, net- *network*

長構文: SE.050 SE- *se\_id*:Loopback Protocol frame received from 0x *source\_Ethernet\_address* to 0x *destination\_Ethernet\_address*, network *network*

説明: イーサネット・ループバック・プロトコル (構成試験プロトコル) パケットを受信しました。

---

**SE.051**

レベル: UE-ERROR

短構文: SE.051 SE- *se\_id*:SRF 0x *source\_mac*->0x *dest\_mac* too big ( *reformatted\_length* > *output\_maximum*) for port *port* net- *network* int *int/ int\_no*, dropped

長構文: SE.051 SE- *se\_id*:Specifically-routed frame from

0x *source\_mac* to 0x *dest\_mac* is too big (reformatted length *reformatted\_length* > output maximum size *output\_maximum*) for port *port* network *network* interface *int/ int\_no*, dropped

説明: 指定された特別ルーティング (ソース・ルーティング) フレームは大きすぎて、この発信ポートとネットワーク上では送信できません。*reformatted\_length* は、データ・リンク・ヘッダーのマッピング後の、MAC ヘッダーを含めたフレームのサイズです。

原因: ホストが戻された探索フレームからの LF ビット値を使用していません。

処置: ホストを修正してください。

---

**SE.052**

レベル: C-INFO

短構文: SE.052 SE- *se\_id*:ELAN ' *src\_elan*'/net- *src\_netno* -> ELAN ' *targ\_elan*'/net- *targ\_netno* *frame\_type* drp due to VLAN defs

長構文: SE.052 SE- *se\_id*:ELAN ' *src\_elan*'/net- *src\_netno* -> ELAN ' *targ\_elan*'/net- *targ\_netno* *frame\_type* drp due to VLAN defs

説明: LE 制御フレームは、VLAN フィルターのために、指定されたインターフェースに転送されませんでした。

---

**SE.053**

レベル: UE-ERROR

短構文: SE.053 SE- *se\_id*:Inv RIF len *RIF\_length*, 0x *source\_mac*->0x *dest\_mac* port *port*, net- *network* ID, dropped

長構文: SE.053 SE- *se\_id*:Frame with invalid RIF length *RIF\_length* from 0x *source\_mac* to 0x *dest\_mac* from port *port*, network *network* ID, discarded

説明: ソース・ルーティング・フレームを受信しましたが、RIF の長さビットに符号化されている RIF 長さが無効です。

原因: 受信したフレームの RIF 長さが 2 より小さいか、長さが 2 の倍数ではありません。

処置: 送信ノードのソフトウェアを訂正してください。

---

**SE.054**

レベル: UE-ERROR

短構文: SE.054 SE- *se\_id*:LOOP odd skip *count*, 0x

*source\_Ethernet\_address->0x destination\_Ethernet\_address, net- network*

**長構文:** SE.054 SE- *se\_id*:Loopback Protocol, odd skipCount *count* from 0x *source\_Ethernet\_address* to 0x *destination\_Ethernet\_address*, network *network*

**説明:** イーサネット・ループバック・プロトコル (構成試験プロトコル) パケット内に、奇数の skipCount が含まれていました。パケットは廃棄されます。

**原因:** リモート・ノードでのプログラム・エラー

---

#### SE.055

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** SE.055 SE- *se\_id*:LOOP bd skip *count*, 0x *source\_Ethernet\_address->0x destination\_Ethernet\_address*, net- *network*

**長構文:** SE.055 SE- *se\_id*:Loopback Protocol, bad skipCount *count* from 0x *source\_Ethernet\_address* to 0x *destination\_Ethernet\_address*, network *network*

**説明:** イーサネット・ループバック・プロトコル (構成試験プロトコル) パケットに、パケットの終わりより先を指す skipCount が入っていました。パケットは廃棄されます。

**原因:** リモート・ノードでのプログラム・エラー

---

#### SE.056

**レベル:** C-INFO

**短構文:** SE.056 SE- *se\_id*:0x *source\_mac->0x dest\_mac* dropped, port block/list, net- *network*

**長構文:** SE.056 SE- *se\_id*:Frame from 0x *source\_mac* to 0x *dest\_mac* dropped, received on blocked or listening port, network *network*

**説明:** MAC フレームがハードウェアによって受信されましたが、廃棄されている最中です。受信が行われたポートが "閉そく" 状態または "listen" 状態のためです。フレームが処理されるのは、ポートが "確認" 状態または "転送" 状態のときだけです。

**原因:** ポートの起動時には正常です。

**処置:** ポートが "確認" 状態および "転送" 状態に遷移するのを待ちます。

---

#### SE.057

**レベル:** C-INFO

**短構文:** SE.057 SE- *se\_id*:Chg state *old\_state* to *new\_state*, port *port* net- *network*

**長構文:** SE.057 SE- *se\_id*:Changing port state from *old\_state* to *new\_state* for port *port*, network *network*

**説明:** スパニング・ツリー・プロトコルが、SRT ブリッジ内のこのポートのこの状態変更を要求しました。old\_state および new\_state は、次のいずれか 1 つです。FORWARDING (スパニング・ツリー・プロトコル転送状態)、LEARNING (スパニング・ツリー・プロトコル確認状態)、LISTENING (スパニング・ツリー・プロトコル listen 状態)、BLOCKED (スパニング・ツリー・プロトコル閉そく状態)、CONFIGURING (ポート装置の構成保留)、POSTCONFIGURING (ポート装置の構成完了)、PRECONFIGURING (ポート使用可能、ポート装置の構成開始)、および DISABLED (ポート使用不可)。

---

#### SE.058

**レベル:** P-TRACE

**短構文:** SE.058 SE- *se\_id*:Trace incoming data frame from ELAN ' *elan*'

**長構文:** SE.058 SE- *se\_id*:Trace incoming data frame from ELAN ' *elan*'

**説明:** 着信データ・フレームのトレース

---

#### SE.059

**レベル:** P-TRACE

**短構文:** SE.059 SE- *se\_id*:Trace outgoing data frame to ELAN ' *elan*'

**長構文:** SE.059 SE- *se\_id*:Trace outgoing data frame to ELAN ' *elan*'

**説明:** 発信データ・フレームのトレース

---

#### SE.060

**レベル:** DEBUG

**短構文:** SE.060 SE- *se\_id*:MAC 0x *mac* found in DFFC mapped to ELAN ' *elan*', net- *network* int *int/ int\_no*

**長構文:** SE.060 SE- *se\_id*:MAC 0x *mac* found in DFFC mapped to ELAN ' *elan*', net- *network* int *int/ int\_no*

**説明:** DFFC データベースで MAC アドレスの検索に成功しました。

---

#### SE.061

**レベル:** DEBUG

**短構文:** SE.061 SE- *se\_id*:Rte Desc ring. bridge found in DFFC mapped to ELAN ' *elan*', net- *network* int *int/ int\_no*



**長構文:** SE.061 SE- *se\_id*:Route Descriptor *ring*. *bridge* found in DFFC mapped to ELAN '*elan*', net- *network* int *int*/ *int\_no*

**説明:** DFFC データベースで経路記述子の検索に成功しました。

---

### SE.062

**レベル:** C-INFO

**短構文:** SE.062 SE- *se\_id*:Chg state *old\_state* to *new\_state*, port *port* net- *network*

**長構文:** SE.062 SE- *se\_id*:Changing port state from *old\_state* to *new\_state* for port *port*, network *network*

**説明:** SE スパニング・ツリー・プロトコルが、SE ブリッジ内のこのポートのこの状態変更を要求しました。old\_state および new\_state は、次のいずれか 1 つです。FORWARDING (スパニング・ツリー・プロトコル転送状態)、LEARNING (スパニング・ツリー・プロトコル確認状態)、LISTENING (スパニング・ツリー・プロトコル listen 状態)、BLOCKED (スパニング・ツリー・プロトコル閉そく状態)、CONFIGURED (ポートは構成済み、SPT を待機)、NETDOWN (ポートは構成されているが、インターフェースがダウン)、CONFIGURING (ポートを構成中)、および NOTSETUP (ポートは未構成)。

---

### SE.063

**レベル:** C\_INFO

**短構文:** SE.063 SE- *se\_id*:0x *source\_mac*->0x *dest\_mac* SNAP *protocol\_identifier*, endnode, net- *network*

**長構文:** SE.063 SE- *se\_id*:Frame from 0x *source\_mac* to 0x *dest\_mac*, IEEE 802 SNAP Protocol Identifier *protocol\_identifier* for endnode protocol, network *network*

**説明:** エンド・ノード・プロトコルに一致する、IEEE 802 サブネットワーク・アクセス・プロトコル (SNAP) プロトコル識別子 (PID) のマルチキャスト・フレームを受信しました。フレームは、エンド・ノード・プロトコルによってブリッジされ、ローカルで処理されます。

---

### SE.064

**レベル:** CI\_ERROR

**短構文:** SE.064 SE- *se\_id*:DFFC MAC Cache exceeded, 0x *mac* deleted from cache

**長構文:** SE.064 SE- *se\_id*:DFFC MAC Cache exceeded, 0x *mac* deleted from cache

**説明:** DFFC MAC キャッシュが、構成された最大サイ

ズを超えました。最も古い MAC エントリーが削除されます。

**処置:** 処置は必要ありません。利用可能な空きヒープ記憶域がある場合は、MAC キャッシュのサイズを増やすことができます。ヒープ記憶域の空き容量は、talk 5 インターフェース・コンソールから mem コマンドを出して調べることができます。

---

### SE.065

**レベル:** UI\_ERROR

**短構文:** SE.065 SE- *se\_id*:No memory available for allocating cache entry

**長構文:** SE.065 SE- *se\_id*:No memory available for allocating cache entry

**説明:** 記憶域不足のために、CFFC または DFFC エントリーを割り振ることができませんでした。

**処置:** 過剰な記憶域ヒープ割り振りを防止するために、DFFC MAC キャッシュのサイズを減らすことが必要になる場合があります。その他のコンポーネントの構成も検査して、無駄な記憶域割り振りにつながる不当に高いパラメーター設定値がないか調べてください。

---

### SE.066

**レベル:** CE\_ERROR

**短構文:** SE.066 SE- *se\_id*:Bridges connected to SE have diff cnfg ring num, 0x *ring\_new* replaces 0x *ring\_old*.

**長構文:** SE.066 SE- *se\_id*:Bridges connected to SE have diff cnfg ring number, 0x *ring\_new* replaces 0x *ring\_old*.

**説明:** SuperELAN に接続されたブリッジは、異なるリング番号で構成されています。SE キャッシュは、確認された最新のリング番号が正しいものと想定し、それを現行のリング番号値とします。経路キャッシュはフラッシュされます。

**処置:** 接続ブリッジのリング番号設定値を変更し、SuperELAN に直接接続されたすべてのブリッジが同じリング番号に構成されていることを確認してください。これを行わないと SuperELAN の動作効率が低くなりますが、ネットワークの接続性には影響しないはずですが。

---

### SE.067

**レベル:** CI\_ERROR

**短構文:** SE.067 SE- *se\_id*:Ctrl q ovf, dropped, net- *network* int *int*/ *int\_no*

**長構文:** SE.067 SE- *se\_id*:Control frame queue overflow, packet dropped from network *network* interface *int*/ *int\_no*



説明: 転送する制御フレーム待ち行列が長過ぎて、輻輳(ふくそう)を緩和するために、このフレームは廃棄されました。

---

#### SE.068

レベル: CE-ERROR

短構文: SE.068 SE- *se\_id*:ELAN ' *elan*'/net- *netno* unjoined LES/BUS due to frame sz mismatch

長構文: SE.068 SE- *se\_id*:ELAN ' *elan*'/net- *netno* unjoined LES/BUS due to frame size mismatch

説明: ELAN は、SuperELAN フレーム・サイズとは異なるフレーム・サイズを持つ LES/BUS の結合に成功しましたが、ショートカット LEC は LES/BUS から除去され、SuperELAN 内で使用することはできません。

処置: ショートカット LEC を結合しようとした LES/BUS フレーム・サイズを変更するか、SuperELAN を異なるフレーム・サイズで再構成してください。

---

#### SE.069

レベル: CI-ERROR

短構文: SE.069 SE- *se\_id*:ELAN ' *elan*'/net- *netno* no global bufs, LE Ctrl frame droppe.

長構文: SE.069 SE- *se\_id*:ELAN ' *elan*'/net- *netno* no global buffers, LE Ctrl frame dropped

説明: LE 制御フレームをコピーするために利用可能なグローバル・バッファがありませんでした。フレームは SuperELAN ブリッジによって廃棄されました。

---

#### SE.070

レベル: CI-ERROR

短構文: SE.070 SE- *se\_id*:ELAN ' *elan*'/net- *netno* no mem available to cache LE Ctrl frame

長構文: SE.070 SE- *se\_id*:ELAN ' *elan*'/net- *netno* no memory available to cache LE Ctrl frame

説明: LE 制御フレームをキャッシュするために利用可能な記憶域がありません。フレームは SuperELAN ブリッジによって廃棄されました。

---

#### SE.071

レベル: C-INFO

短構文: SE.071 SE- *se\_id*:ELAN ' *elan*'/net- *netno* LE Ctrl frame filt, Target MAC=0x *target\_mac*

長構文: SE.071 SE- *se\_id*:ELAN ' *elan*'/net- *netno* LE Ctrl frame filtered, Target MAC=0x *target\_mac*

説明: LE ARP 要求がフィルターに掛けられました。

---

#### SE.072

レベル: C-INFO

短構文: SE.072 SE- *se\_id*:ELAN ' *elan*'/net- *netno* LE Ctrl frame dropped, port not fwd

長構文: SE.072 SE- *se\_id*:ELAN ' *elan*'/net- *netno* LE Ctrl frame dropped, port not forwarding

説明: ポートが転送状態になかったために、LE 制御フレームは廃棄されました。

---

#### SE.073

レベル: P-TRACE

短構文: SE.073 SE- *se\_id*:Trace incoming LE Control frame from ELAN ' *elan*'

長構文: SE.073 SE- *se\_id*:Trace incoming LE Control frame from ELAN ' *elan*'

説明: 着信 LE 制御フレームのトレース

---

#### SE.074

レベル: P-TRACE

短構文: SE.074 SE- *se\_id*:Trace outgoing LE Control frame to ELAN ' *elan*'

長構文: SE.074 SE- *se\_id*:Trace outgoing LE Control frame to ELAN ' *elan*'

説明: 発信 LE 制御フレームのトレース

---

#### SE.075

レベル: C-INFO

短構文: SE.075 SE- *se\_id*:New targ route desc *ring. bridge* lrnd on ELAN ' *elan*'/net- *net* int *int/ intno*

長構文: SE.075 SE- *se\_id*:New target route descriptor *ring. bridge* learned on ELAN ' *elan*'/net- *net* int *int/ intno*

説明: ネットのターゲット経路記述子が確認されました。この経路記述子は、ソース経路ブリッジを介して SuperELAN に接続された次のブリッジ・リング・セグメントを表します。

---

#### SE.076

レベル: C-INFO

短構文: SE.076 SE- *se\_id*:Target route desc *ring. bridge* deleted from DFFC

**長構文:** SE.076 SE- *se\_id*:Target route desc *ring*, *bridge* deleted from DFFC

**説明:** ターゲット経路記述子が DFFC から除去されました。これが行われるのは、DFFC がフラッシュされるか、経路記述子が経時処理によって除去された場合です。

---

#### SE.077

**レベル:** C-INFO

**短構文:** SE.077 SE- *se\_id*:New MAC addr 0x *mac* learned on ELAN ' *elan*'/net- *net* int *int*/ *intno*

**長構文:** SE.077 SE- *se\_id*:New MAC addr 0x *mac* learned on ELAN ' *elan*'/net- *net* int *int*/ *intno*

**説明:** 新しい MAC アドレスが確認されました。この MAC アドレスは、SuperELAN 内の ELAN に直接接続されたステーション、または透過型ブリッジの背後にある従来型ステーションを表しています。

---

#### SE.078

**レベル:** C-INFO

**短構文:** SE.078 SE- *se\_id*:MAC addr 0x *mac* deleted from DFFC

**長構文:** SE.078 SE- *se\_id*:MAC addr 0x *mac* deleted from DFFC

**説明:** MAC アドレスが DFFC から除去されました。これが行われるのは、DFFC がフラッシュされるか、MAC アドレスが経時処理によって除去された場合です。

---

#### SE.079

**レベル:** C-INFO

**短構文:** SE.079 SE- *se\_id*:Dup MAC 0x *mac* found in DFFC

**長構文:** SE.079 SE- *se\_id*:Dup MAC 0x *mac* found in DFFC

**説明:** DFFC データベースで MAC アドレスを検索した結果、重複する MAC の一致が検出されました。

---

#### SE.080

**レベル:** C-INFO

**短構文:** SE.080 SE- *se\_id*:Dup MAC 0x *mac* detected on ELAN ' *elan*', net- *network* int *int*/ *int\_no*

**長構文:** SE.080 SE- *se\_id*:Duplicate MAC 0x *mac* detected on ELAN ' *elan*', net- *network* int *int*/ *int\_no*

**説明:** 重複する MAC が検出されました。MAC は確認された ELAN に追加されました。

---

#### SE.081

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** SE.081 DIX V2 bd ln *actual\_length* *claimed\_length* *source\_Ethernet\_address* -> *destination\_Ethernet\_address* nt *network*

**長構文:** SE.081 packet received with a bad length field actual *actual\_length* claimed *claimed\_length* from *source\_Ethernet\_address* to *destination\_Ethernet\_address* network *network*

**説明:** DIX V2 パケットを受信しましたが、タイプ・フィールドは 0x80D5 (IBM SNA または Netbios) で、長さフィールドが実際のパケットの長さより大きくなっていました。

---

#### Fatal seiisrt

**短構文:** SE: Invalid *i\_srt* on input

**説明:** ハンドラーから転送機能に渡された *i\_srt* フラグの値が無効です。

**原因:** ソフトウェアのバグ

**処置:** 破損したダンプを取って、サービス技術員に連絡してください。

---

#### Fatal seuimed

**短構文:** SE: unknown input media

**説明:** 入力ネット・タイプが、SRT ブリッジによって認知されているタイプ (802.3/イーサネット、FDDI、または 802.5) の 1 つではありません。

**原因:** ソフトウェアのバグ

**処置:** 破損したダンプを取って、サービス技術員に連絡してください。



## 第112章 SuperELAN スパニング・ツリー・プロトコル (SEST)

この章では、SuperELAN スパニング・ツリー・プロトコル (SEST) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### SEST.001

レベル: C-INFO

短構文: SEST.001 Cfg BPDU rcv frame *source\_address* *bridge\_type-se\_id* port *bridge\_port*, net- *network* int *int/* *int\_no*

長構文: SEST.001 Configuration BPDU received frm *source\_address* on *bridge\_type-se\_id* port *bridge\_port*, network *network* interface *int/* *int\_no*

説明: 指定の MAC アドレスから、構成 BPDU を受信しました。

原因: このポートのこのブリッジと同じネットワーク上の別の SE ブリッジ

---

### SEST.002

レベル: C-INFO

短構文: SEST.002 Tcn BPDU rcv frame *source\_address* *bridge\_type-se\_id* port *bridge\_port*, net- *network* int *int/* *int\_no*

長構文: SEST.002 Topology change notification BPDU received frame *source\_address* on *bridge\_type-se\_id* port *bridge\_port*, network *network* interface *int/* *int\_no*

説明: トポロジー変更通知 BPDU が指定された MAC アドレスから受信されました。

原因: 送信ブリッジで、または送信ブリッジのダウンストリームで、トポロジー変更を検出しました。

処置: 何も必要ありません。トポロジー変更が経路ブリッジによって確認されると、メッセージは出なくなるはずです。

---

### SEST.003

レベル: UE-ERROR

短構文: SEST.003 Ukn BPDU type *BDPU\_type* rcv frame *source\_address* *bridge\_type-se\_id* port *bridge\_port*, net- *network* int *int/* *int\_no*

長構文: SEST.003 Unkown BPDU type *BDPU\_type* received frame *source\_address* on *bridge\_type-se\_id* port *bridge\_port*, network *network* interface *int/* *int\_no*

説明: 指定されたホストから BPDU を受信しました

が、BPDU タイプ・フィールドに未定義の値が入っています。これは無視されます。

原因: リモート・ブリッジでのプログラム・エラー

処置: リモート・ノードを訂正してください。

原因: 受信パケットのデータが破壊されています。

処置: データ破壊の原因を除去してください。

---

### SEST.004

レベル: UE-ERROR

短構文: SEST.004 BPDU bad ID *Protocol\_Identifier* frame *source\_address* *bridge\_type-se\_id* port *bridge\_port*, net- *network* int *int/* *int\_no*

長構文: SEST.004 BPDU bad protocol identifier *Protocol\_Identifier* frame *source\_address* on *bridge\_type-se\_id* port *bridge\_port*, network *network* interface *int/* *int\_no*

説明: 構成 BPDU を受信しましたが、プロトコル識別子が 0000 ではありません。これは無視されます。

原因: リモート・ブリッジでのプログラム・エラー

処置: リモート・ノードを訂正してください。

原因: 受信パケットのデータが破壊されています。

処置: データ破壊の原因を除去してください。

---

### SEST.005

レベル: UE-ERROR

短構文: SEST.005 BPDU bad ver *Protocol\_Version\_Identifier* frame *source\_address* *bridge\_type-se\_id* port *bridge\_port*, net- *network* int *int/* *int\_no*

長構文: SEST.005 BPDU bad Version *Protocol\_Version\_Identifier* frame *source\_address* on *bridge\_type-se\_id* port *bridge\_port*, network *network* interface *int/* *int\_no*

説明: 構成 BPDU を受信しましたが、プロトコル・バージョン識別子が 00 ではありません。これは無視されます。

原因: リモート・ブリッジでのプログラム・エラー

**処置:** リモート・ノードを訂正してください。  
**原因:** 受信パケットのデータが破壊されています。  
**処置:** データ破壊の原因を除去してください。

---

#### SEST.006

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** SEST.006 Cfg BPDU trunc ( *length* byt) frame *source\_address* *bridge\_type- se\_id* port *bridge\_port*, net-*network* int *int/ int\_no*

**長構文:** SEST.006 Configuration BPDU tuncated ( *length* bytes) frame *source\_address* on *bridge\_type- se\_id* port *bridge\_port*, network *network* interface *int/ int\_no*

**説明:** 構成 BPDU を受信しましたが、バイトの長さが正しくありません。これは無視されます。

**原因:** リモート・ブリッジでのプログラム・エラー

**処置:** リモート・ノードを訂正してください。

**原因:** 受信パケットのデータが破壊されています。

**処置:** データ破壊の原因を除去してください。

---

#### SEST.007

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** SEST.007 Cfg BPDU unk flg *flags* frame *source\_address* *bridge\_type- se\_id* port *bridge\_port*, net-*network* int *int/ int\_no*

**長構文:** SEST.007 Configuration BPDU unknown flags *flags* frame *source\_address* on *bridge\_type- se\_id* port *bridge\_port*, network *network* interface *int/ int\_no*

**説明:** 構成 BPDU を受信しましたが、フラグ・フィールドに未定義のビットが設定されています。これは無視されます。

**原因:** リモート・ブリッジでのプログラム・エラー

**処置:** リモート・ノードを訂正してください。

**原因:** 受信パケットのデータが破壊されています。

**処置:** データ破壊の原因を除去してください。

---

#### SEST.008

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** SEST.008 Tcn BPDU trunc ( *length* byt) frame *source\_address* *bridge\_type- se\_id* port *bridge\_port*, net-*network* int *int/ int\_no*

**長構文:** SEST.008 Topology change notification BPDU tuncated ( *length* bytes) frame *source\_address* on

*bridge\_type- se\_id* port *bridge\_port*, network *network* interface *int/ int\_no*

**説明:** トポロジー変更通知 BPDU を受信しましたが、バイトの長さが正しくありません。これは無視されません。

**原因:** リモート・ブリッジでのプログラム・エラー

**処置:** リモート・ノードを訂正してください。

**原因:** 受信パケットのデータが破壊されています。

**処置:** データ破壊の原因を除去してください。

---

#### SEST.009

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** SEST.009 No buf for BPDU *bridge\_type- se\_id* port *bridge\_port*, net- *network* int *int/ int\_no*

**長構文:** SEST.009 No buffer to send BPDU on *bridge\_type- se\_id* port *bridge\_port*, network *network* interface *int/ int\_no*

**説明:** 指定のポートで、BPDU を作成して送信するために利用可能なパケット・バッファがありません。

**原因:** 重大なパケット・バッファの不足

**処置:** GWCON 内の記憶域統計を検査して、パケット・バッファ・レベルを確認してください。

**原因:** トラフィック・ピークで、利用可能なバッファがすべて使われています。

**処置:** 問題になるのは、このメッセージが出る頻度が低い場合です。

---

#### SEST.010

**レベル:** C-INFO

**短構文:** SEST.010 Sndg cfg BPDU *bridge\_type- se\_id* port *bridge\_port*, net- *network* int *int/ int\_no*

**長構文:** SEST.010 Sending Configuration BPDU on *bridge\_type- se\_id* port *bridge\_port* network *network* interface *int/ int\_no*

**説明:** 指定のポートで、構成 BPDU が送信されました。これは通常、SE スパニング・ツリー・プロトコルの一部として、定期的に行われます。この BPDU のフラグ・フィールドはゼロです。たとえば、トポロジー変更ビットもトポロジー変更確認ビットもセットされていません。

---

## SEST.011

レベル: C-INFO

短構文: SEST.011 Sndg Cfg BPDU flgs TC TCA  
bridge\_type- se\_id port bridge\_port, net- network int int/  
int\_no

長構文: SEST.011 Sending Configuration BPDU with  
flgs TC TCA on bridge\_type- se\_id port bridge\_port,  
network network interface int/ int\_no

説明: 指定のポートで、構成 BPDU が送信されました。これは通常、SE スパニング・ツリー・プロトコルの一部として、定期的に行われます。TC が表示されるのは、トポロジー変更ビットが BPDU のフラグ・バイトに設定される場合であり、TCA が表示されるのは、トポロジー変更確認ビットがフラグ・バイト内に設定される場合です。

原因: このブリッジが経路ブリッジであり、トポロジー変更が進行中であることを知っている場合、トポロジー変更フラグがセットされます。また、非経路ブリッジが、着信構成 BPDU 内で受信したこのビットを伝送します。

処置: 何も必要ありません。このフラグが設定される時間は、現行最大経過時間パラメーターと現行転送遅延パラメーター（経路・ブリッジによって伝送される）の合計だけに過ぎません。

原因: このブリッジがトポロジー変更通知 BPDU を受信し、このポートがその LAN 上の指定ブリッジである場合は、トポロジー変更確認フラグが設定されます。

処置: 何も必要ありません。このフラグは 1 つの BPDU でしか送信されません。

---

## SEST.012

レベル: C-INFO

短構文: SEST.012 Sndg tcn BPDU bridge\_type- se\_id  
port bridge\_port, net- network int int/ int\_no

長構文: SEST.012 Sending Topology Change  
Notification BPDU on bridge\_type- se\_id port bridge\_port  
network network interface int/ int\_no

説明: 指定のポートで、トポロジー変更通知 BPDU が送信されます。これらが非経路ポートの経路ポート上で送信されるのは、スパニング・ツリー内にトポロジー変更を検出した場合です。

原因: このスパニング・ツリー内のブリッジ、またはブリッジ上のインターフェースが、アップまたはダウン状態になりました。

処置: 何も必要ありません。この状態が持続するのは、トポロジー変更確認の受信、または古い経路ブリッ

ジが到達不可能になっていることを示すタイムアウトまでに過ぎません。

---

## SEST.013

レベル: UI-ERROR

短構文: SEST.013 BPDU snd failed, rsn reason\_code,  
bridge\_type- se\_id port bridge\_port, net- network int int/  
int\_no

長構文: SEST.013 BPDU send failed for reason code  
reason\_code on bridge\_type- se\_id port bridge\_port  
network network interface int/ int\_no

説明: 指定のポートで、転送のために BPDU を待ち行列化する試みが失敗しました。

原因: 各種のハンドラー・エラー (理由コード 1)

処置: ネットワークのハンドラーからのエラー・メッセージがあるかどうか調べてください。

原因: 出力待ち行列オーバーフローまたはその他のフロー制御 (理由コード 2)

処置: 輻輳 (ふくそう) を緩和してください。

原因: ネットワークがダウン (理由コード 3)

処置: ネットワークがダウンしているとハンドラーが判断した理由を調べてください。

原因: ループまたはよくない同報通信を回避するためにハンドラーによって廃棄されました。(理由コード 4)。

処置: 構成を検査してください。

原因: ホストがダウン (理由コード 5)

処置: ホストがダウンしているとハンドラーが判断した理由を調べてください。

---

## SEST.014

レベル: U-INFO

短構文: SEST.014 Blocking bridge\_type- se\_id port  
bridge\_port, net- network int int/ int\_no, det topol chg

長構文: SEST.014 Blocking bridge\_type- se\_id port  
bridge\_port, network network interface int/ int\_no,  
detecting topology change

説明: このポートは閉そく状態に入れられたばかりです。これはトポロジーの変更なので、このブリッジはトポロジー変更を検出しました。今度はこのために、トポロジー変更通知が送信されることとなります。

原因: このスパニング・ツリー内のブリッジ、またはブリッジ上のインターフェースが、アップまたはダウン状態になりました。



**処置:** 何も必要ありません。変更があった場合には、これは正常です。

---

#### SEST.015

**レベル:** U-INFO

**短構文:** SEST.015 Topol chg detected *bridge\_type-se\_id* port *bridge\_port*, net- *network* int/ *int\_no*

**長構文:** SEST.015 Topology change detected on *bridge\_type-se\_id* port *bridge\_port*, network *network* interface *int/ int\_no*

**説明:** このポートでトポロジー変更通知を受信し、このポートは LAN 上の特定ポートです。これにより、プロトコルはトポロジー変更通知状態に入ります。トポロジー変更確認が送信側に戻され、経路に向けて伝送されます。

**原因:** ブリッジ、またはブリッジ上のインターフェースが、このスパンニング・ツリー内でアップまたはダウンになりました。

**処置:** 何も必要ありません。変更があった場合には、これは正常です。

---

#### SEST.016

**レベル:** U-INFO

**短構文:** SEST.016 Select as root *bridge\_type-se\_id*, det topol chg

**長構文:** SEST.016 Selected as root on *bridge\_type-se\_id*, detecting topology change

**説明:** このブリッジは、以前はそうではありませんでしたが、いまスパンニング・ツリーの経路として自身を選択したばかりです。これにより、ブリッジはトポロジー変更通知状態に入ります。

**原因:** このスパンニング・ツリー内のブリッジ、またはブリッジ上のインターフェースが、アップまたはダウン状態になりました。

**処置:** 何も必要ありません。変更があった場合には、これは正常です。

**原因:** これが最初にアップになったブリッジであり、したがって、ツリーの経路です。

---

#### SEST.017

**レベル:** C-INFO

**短構文:** SEST.017 Tply chg ackd *bridge\_type-se\_id* port *bridge\_port*, net- *network* int/ *int\_no*

**長構文:** SEST.017 Topology change acknowledged on

*bridge\_type-se\_id* port *bridge\_port*, network *network* interface *int/ int\_no*

**説明:** 指定のポートで、トポロジー変更確認を検出しました。このポートは、ブリッジの経路ポートです。

**原因:** こちらの経路ポートと同じ LAN 上のブリッジが、発信構成 BDPDU 内にトポロジー変更確認フラグを設定しました。これは、このブリッジが発信または伝送したトポロジー変更通知に対する応答です。

**処置:** 何も必要ありません。これはトポロジー変更通知の通常の結果です。

---

#### SEST.018

**レベル:** C-INFO

**短構文:** SEST.018 Acking tply chg *bridge\_type-se\_id* port *bridge\_port*, net- *network* int/ *int\_no*

**長構文:** SEST.018 Acknowledging topology change on *bridge\_type-se\_id* port *bridge\_port*, network *network* interface *int/ int\_no*

**説明:** 指定のポートで、トポロジー変更通知が確認されました。これは、その LAN の特定ポートであるポートで、トポロジー変更通知が受信された場合に行われず。

**原因:** このブリッジのダウンストリームのブリッジ・トポロジーの変更

**処置:** 何も必要ありません。スパンニング・ツリーの再構成の一環をなす通常の過程です。

---

#### SEST.019

**レベル:** C-INFO

**短構文:** SEST.019 Tply chg notif timer expired *bridge\_type-se\_id*

**長構文:** SEST.019 Topology Change Notification timer expired on *bridge\_type-se\_id*

**説明:** トポロジー変更タイマーが満了しました。このブリッジは、この経路ポートでのトポロジー変更通知 BDPDU の送信を中止します。

**原因:** ブリッジがトポロジー変更通知状態にあった期間が、ブリッジ・ハロー・タイマー期間を経過すると、タイマーは満了します。

**処置:** 何も必要ありません。この状態の通常の結果です。

---

**SEST.020**

レベル: C-INFO

短構文: SEST.020 Tplgy chg timer expired *bridge\_type-se\_id*

長構文: SEST.020 Topology Change timer expired on *bridge\_type-se\_id*

説明: トポロジー変更タイマーが満了しました。経路であるこのブリッジは、トポロジー変更を構成 BPDU に入れて送信するのを中止します。

原因: これが生じるのは、この経路ブリッジがトポロジー変更状態にあった時間が、現行最大経過時間パラメーターと現行転送遅延パラメーターの合計にわたった場合です。

処置: 何も必要ありません。この状態の通常の結果です。

---

**SEST.021**

レベル: U-INFO

短構文: SEST.021 Msg age timer exp *bridge\_type-se\_id* port *bridge\_port*, net- *network* int *int/ int\_no*, try Root

長構文: SEST.021 Message age timer expired on *bridge\_type-se\_id* port *bridge\_port*, network *network* interface *int/ int\_no*, will try and become root

説明: このポートのメッセージ経過日数タイマーが満了しました。ブリッジは、経路になろうと試みます。ブリッジは、その LAN 上の特定ポートになります。

原因: このインターフェース上で受信されている構成 BPDU はありません。この LAN 上にブリッジがないか、ブリッジがダウンしているか、いずれかです。

---

**SEST.022**

レベル: C-INFO

短構文: SEST.022 Hello timer exp *bridge\_type-se\_id*

長構文: SEST.022 Hello timer expired on *bridge\_type-se\_id*

説明: このポートで、ハロー・タイマーが満了しました。すべてのポートで、構成 BPDU が送信されます。

---

**SEST.023**

レベル: C-INFO

短構文: SEST.023 Stop msg age timer *bridge\_type-se\_id* port *bridge\_port*, net- *network* int *int/ int\_no*

長構文: SEST.023 Stopping message age timer for *bridge\_type-se\_id* port *bridge\_port*, network *network* interface *int/ int\_no*

説明: このポート上のメッセージ経過時間タイマーが停止します。このポートがその LAN 上の指定ポートであるためです。

---

**SEST.024**

レベル: U-INFO

短構文: SEST.024 Not root *bridge\_type-se\_id*, stop hello timer

長構文: SEST.024 Not root anymore on *bridge\_type-se\_id*, stopping hello timer

説明: このブリッジは、スパンニング・ツリー上の経路ブリッジではなくなることに決まりました。ハロー・タイマーも取り消されます。

---

**SEST.025**

レベル: C-INFO

短構文: SEST.025 Stop tplgy chg age timer *bridge\_type-se\_id*

長構文: SEST.025 Stopping topology change timer for *bridge\_type-se\_id*

説明: このブリッジが経路ではなくなったため、トポロジー変更タイマーを停止します。

---

**SEST.026**

レベル: U-INFO

短構文: SEST.026 Root *bridge\_type-se\_id*, start hello timer

長構文: SEST.026 Selected as root on *bridge\_type-se\_id*, starting hello timer

説明: このブリッジは、スパンニング・ツリー上の経路ブリッジになることが決まりました。ハロー・タイマーが始動されます。

---

**SEST.027**

レベル: C-INFO

短構文: SEST.027 Strt msg age timer *bridge\_type-se\_id* port *bridge\_port*, net- *network* int *int/ int\_no*

長構文: SEST.027 Starting message age timer for *bridge\_type-se\_id* port *bridge\_port*, network *network* interface *int/ int\_no*

説明: このポート上のメッセージ経過時間タイマーを始動します。

---

#### SEST.028

レベル: C-INFO

短構文: SEST.028 Attmpt root *bridge\_type- se\_id*, strt hello timer

長構文: SEST.028 Attempting to become root on *bridge\_type- se\_id*, starting hello timer

説明: このブリッジは、スパンニング・ツリーの経路ブリッジになろうと試みています。ハロー・タイマーが始動されます。

---

#### SEST.029

レベル: UI-ERROR

短構文: SEST.029 Cfg BPDU frame *source\_address* ignored *bridge\_type- se\_id*, inact port *bridge\_port*, net- *network* int *int/ int\_no*

長構文: SEST.029 Configuration BPDU from *source\_address* on *bridge\_type- se\_id* ignored, inactive port *bridge\_port*, network *network* interface *int/ int\_no*

説明: 指定の MAC アドレスから構成 BPDU を受信しましたが、ポートがスパンニング・ツリー・プロトコルに含まれていません。

---

#### SEST.030

レベル: UI-ERROR

短構文: SEST.030 Tcn BPDU frame *source\_address* ign *bridge\_type- se\_id*, inact port *bridge\_port*, net- *network* int *int/ int\_no*

長構文: SEST.030 Topology change notification BPDU from *source\_address* on *bridge\_type- se\_id* ignored, inactive port *bridge\_port*, network *network* interface *int/ int\_no*

説明: 指定の MAC アドレスからトポロジー変更通知 BPDU を受信しましたが、ポートがスパンニング・ツリー・プロトコルに含まれていません。

---

#### SEST.031

レベル: C-INFO

短構文: SEST.031 *bridge\_type- se\_id* desig port *bridge\_port*, net- *network* int *int/ int\_no*

長構文: SEST.031 *bridge\_type- se\_id* becoming designated port *bridge\_port*, network *network* interface *int/ int\_no*

説明: このブリッジは、このポートに接続されている LAN 上の指定ポートであると自ら宣言しています。

---

#### SEST.032

レベル: UI-ERROR

短構文: SEST.032 DROP: *bpdu\_type* BPDU frame recvd on non-parti port *bridge\_port*, net- *network* int *int/ int\_no*

長構文: SEST.032 DROP: *bpdu\_type* BPDU frame received on non-participating port *bridge\_port*, network *network* interface *int/ int\_no*

説明: 構成 BPDU を受信しましたが、ポートが SE スパンニング・ツリー・プロトコルに含まれていません。

---

#### SEST.033

レベル: C-INFO

短構文: SEST.033 BPDU from SE ID *bpdu\_se\_id* rcvd frame *source\_address* *bridge\_type- se\_id* port *bridge\_port*, net- *network* int *int/ int\_no*

長構文: SEST.033 BPDU from SE ID *bpdu\_se\_id* rcvd frame *source\_address* on *bridge\_type- se\_id* port *bridge\_port*, network *network* interface *int/ int\_no*

説明: 異なる SuperELAN に含まれている SuperELAN ブリッジから、構成 BPDU を受信しました。BPDU は廃棄されます。

原因: 2 つの SuperELAN インターフェースが同一の ELAN に接続されています。SuperELAN スパンニング・ツリーは単一の SuperELAN のコンテキスト内でのみ動作するので、このネットワークの実現方式は推奨できません。この場合、スパンニング・ツリーが正しく形成されず、ネットワーク・ループの原因になります。

処置: 複数の SuperELAN インターフェースが接続されている ELAN から SuperELAN インターフェースを取り外してください。

---

#### SEST.034

レベル: P-TRACE

短構文: SEST.034 SE- *se\_id*:Trace incoming SE Spanning Tree frame from ELAN ' *elan*'

長構文: SEST.034 SE- *se\_id*:Trace incoming SE Spanning Tree frame from ELAN ' *elan*'

説明: 着信 SE スパンニング・ツリー・フレームをトレースします。

---

**SEST.035**

レベル: P-TRACE

短構文: SEST.035 SE- *se\_id*:Trace outgoing SE Spanning Tree frame to ELAN ' *elan*'

長構文: SEST.035 SE- *se\_id*:Trace outgoing SE Spanning Tree frame to ELAN ' *elan*'

説明: 発信 SE スパニング・ツリー・フレームをトレースします。

---

**SEST.036**

レベル: UE-ERROR

短構文: SEST.036 SE- *se\_id*:SPT frame rcvd on ELAN ' *elan*' fwd by a non-short-cut brdg, frame drop.

長構文: SEST.036 SE- *se\_id*:SPT frame received on ELAN ' *elan*' forwarded by a non-short-cut bridge, frame dropped.

説明: インターフェース上で受信した SuperELAN スパニング・ツリー構成は、ショートカット・ブリッジをサポートしないプロキシ装置によって転送されたものでした。SE SPT トポロジーが非ショートカット・ネットワークを経由して収束するのを防止するために、フレームは廃棄されます。このメッセージが続く場合は、既存のブリッジ・トポロジーを検査して、スパニング・ツリー・エラーがないか調べてください。

---

**SEST.037**

レベル: UI-ERROR

短構文: SEST.037 SE- *se\_id*:Unable to get LES address for ELAN ' *elan*'

長構文: SEST.037 SE- *se\_id*:Unable to get LES address for ELAN ' *elan*'

説明: 指定された ELAN の LEC インターフェースの LES アドレスを取り出すことができませんでした。メッセージが引き続き出る場合は、サービス技術員に連絡してください。

---

**SEST.038**

レベル: UE-ERROR

短構文: SEST.038 SE- *se\_id*:Cfg BPDU rcvd on ifc from which it was sent ELAN ' *elan*', frame drop

長構文: SEST.038 SE- *se\_id*:Cfg BPDU received on interface from which it was sent ELAN ' *elan*', frame dropped

説明: SuperELAN 構成 BPDU がループバックし、そ

れを送信したインターフェースで受信されました。

BPDU は廃棄されました。SuperELAN に接続されたすべてのブリッジに、SNAP フィルター '10005A-80D7' を導入すれば、SE STP BPDU フレームのループバックを防止できます。

---

**Fatal sestubpdu**

短構文: Attempt to send unknown SE-BPDU type

説明: The code attempted to send an unknown type of SE-BPDU.

原因: おそらく、ソフトウェアのバグです。

処置: 破損したダンプを取って、サービス技術員に連絡してください。



---

## 第113章 同期データ・リンク制御 (SDLC)

この章では、同期データ・リンク制御 (SDLC) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### SDLC.001

レベル: C-INFO

短構文: SDLC.001 nt *network ID* - SDLC support installed for QSL

長構文: SDLC.001 SDLC support installed for QSL, on network *network ID*

説明: DLSw SDLC が、シリアル装置を通して操作するために初期化され、現在ルーターで使用できるようになっています。

---

### SDLC.002

レベル: C-INFO

短構文: SDLC.002 dflt cfg used on stn *Address*, nt *network ID*

長構文: SDLC.002 No remote configuration was defined for SDLC address *Address* - default settings used, on network *network ID*

説明: SDLC ステーション上でオープンが試みられましたが、構成レコードが ADD STATION コマンドによって定義されていませんでした。ステーションは、省略時構成値を用いてオープンされます。このステーションは、モニター処理 LIST STATION ALL コマンドでリストされます。ステーション・アドレスの横のアスタリスク \* は、省略時構成が使用されていることを示しています。

---

### SDLC.003

レベル: CE-ERROR

短構文: SDLC.003 no mem to copy to SDLC, nt *network ID*

長構文: SDLC.003 Cannot copy a user buffer to to SDLC - Out of memory, on network *network ID*

説明: 現在、ユーザー・データを SDLC にコピーするために利用可能な記憶域がありません。後で再度試行されます。

---

### SDLC.004

レベル: U-INFO

短構文: SDLC.004 frame dropped nt *network ID* not active

長構文: SDLC.004 Inbound frame was dropped - SDLC not yet active on network *network ID*.

説明: まだ SDLC クライアントによって所有されていないインターフェースで、フレームを受信しました。SDLC クライアントが使用のためにそのポートをオープンするまで、受信されたパケットはすべて除去されます。

---

### SDLC.005

レベル: CE-ERROR

短構文: SDLC.005 nt *network ID* congested - pkt dropped

長構文: SDLC.005 Packet dropped due to no SDLC credit or memory shortage, on network *network ID* . Temporary.

説明: SDLC 受信クレジットがないか、一時的な記憶域不足のために、着信パケットが除去されました。

---

### SDLC.006

レベル: CE-ERROR

短構文: SDLC.006 nt *network ID* - I\_ERR on rcv

長構文: SDLC.006 Packet received with I\_ERR set, on network *network ID*

説明: *real\_sdlic\_in* が、I\_ERR がセットされているパケットを受信しました。

---

### SDLC.007

レベル: CE-ERROR

短構文: SDLC.007 nt *network ID* - tx to dev fail (*status*)

長構文: SDLC.007 Failure to send packet to device, on network *network ID*, status = *status*

説明: SDLC からフレームを送信しようとしていると



きに、net send() のコールが失敗しました。

---

### SDLC.008

レベル: P-TRACE

短構文: SDLC.008 tx count bytes to address (nt network ID): octets

長構文: SDLC.008 Transmit to link station count, address bytes, on network network ID: octets

説明: ルーターが SDLC フレームを送信しました。フレームとは、SDLC ヘッダーも含めた、フレーム全体です。ルーターは、SDLC フレームの送信をすべてこのメッセージによってログに記録します。SDLC I フレームの送信のみをログに記録する場合は、SDLC\_53 を使用します。

---

### SDLC.009

レベル: P-TRACE

短構文: SDLC.009 rx count bytes from address (nt network ID): octets

長構文: SDLC.009 Received count bytes from link station address, on network network ID: octets

説明: ルーターが SDLC フレームを受信しました。フレームとは、SDLC ヘッダーも含めた、フレーム全体です。ルーターは、SDLC フレームの受信をすべてこのメッセージによってログに記録します。SDLC I フレームの受信のみをログに記録する場合は、SDLC\_52 を使用します。

---

### SDLC.010

レベル: C-INFO

短構文: SDLC.010 port ACTIVE, nt network ID

長構文: SDLC.010 Request to bring up SDLC, on network network ID

説明: ルーター内のエンティティがインターフェースに接続され、SDLC サービスを使用できるようになっています。

---

### SDLC.011

レベル: C-INFO

短構文: SDLC.011 port INACTIVE, nt network ID

長構文: SDLC.011 Request to bring down SDLC, on network network ID

説明: ルーター内のエンティティは、もうこのインターフェースの SDLC サービスを使用していません。

---

### SDLC.012

レベル: C-INFO

短構文: SDLC.012 Link status: Exception, nt network ID

長構文: SDLC.012 Link status change Exception occurred, on network network ID

説明: インターフェース信号の状態が変りました。注: インターフェースが半二重モードで作動している場合は、これらのメッセージが非常に多数生成されます。

---

### SDLC.013

レベル: C-INFO

短構文: SDLC.013 addr Address -> NRM, nt network ID

長構文: SDLC.013 Station Address is now UP, on network network ID

説明: SDLC リンクは現在、通常応答モードで作動しています。すなわち、現在 SDLC 接続が進行中です。

---

### SDLC.014

レベル: C-INFO

短構文: SDLC.014 SNRM refused, addr Address nt network ID

長構文: SDLC.014 Remote station refused SNRM, link station Address remains DOWN on network network ID

説明: ルーターによるリモート・リンク・ステーションへの接続の試みが拒否されました。

---

### SDLC.015

レベル: C-INFO

短構文: SDLC.015 addr Address -> NDM, nt network ID

長構文: SDLC.015 Station Address is now DOWN, on network network ID

説明: SDLC リンクは現在、通常切断モードで作動しています。すなわち、SDLC 接続が正常に終了しました。

---

### SDLC.016

レベル: U-INFO

短構文: SDLC.016 LnkStn Address except Exception, nt network ID

長構文: SDLC.016 Exception Address occurred on Link

Station Exception, on network *network ID*

説明: SDLC プロトコルが初期化されました。

---

### SDLC.017

レベル: U-INFO

短構文: SDLC.017 nt *network ID* - inter-poll delay forced to 0

長構文: SDLC.017 Network *network ID*, cannot use inter-poll delay and Primary or Secondary Poll Pause

説明: 1 次または 2 次のポーリング休止を使用可能にしている場合は、リンク・ポーリング間遅延を使用可能にすることはできません。1 次または 2 次のポーリング休止は、優先されるポーリング・タイマーです。

---

### SDLC.018

レベル: U-INFO

短構文: SDLC.018 nt *network ID* Stn address - Secondary Poll Pause forced to 0

長構文: SDLC.018 Network *network ID* Station address, cannot use Secondary Poll Pause since link inter-poll is enabled

説明: 矛盾を生じさせた構成情報 (ユーザーが 2 つの 2 次休止を使用可能にしたなど) が残っている可能性があります。再構成によりリンク・ポーリング間遅延を使用不可にして、2 次ポーリング休止を使用するのが最善の方法です。この ELS メッセージは、2 次ポーリング休止が強制的に 0 にされ、ポーリング間遅延が変更されないままであったことを示しています。

---

### SDLC.020

レベル: U-INFO

短構文: SDLC.020 nt *network ID* stn address: DLC\_LINK\_FAULT\_CONDITION

長構文: SDLC.020 Network *network ID* SDLC station address: DLC\_LINK\_FAULT\_CONDITION

説明: SDLC がリンク上で障害を検出し、リンク上のすべての活動 SDLC 接続を終了させました。この原因は通常、全二重回線では DSR、CTS、または DCD の損失、半二重回線では DSR の損失にあります。

---

### SDLC.021

レベル: U-INFO

短構文: SDLC.021 nt *network ID* stn address: DLC\_RX\_EXCEED\_WINDOW\_SIZE

長構文: SDLC.021 Network *network ID* SDLC station address: DLC\_RX\_EXCEED\_WINDOW\_SIZE

説明: SDLC が、SDLC が応答できるようになる前に RECEIVE WINDOW として構成されているフレーム数より多くのフレームを受信しました。

---

### SDLC.022

レベル: U-INFO

短構文: SDLC.022 nt *network ID* stn address: DLC\_RX\_LOCAL\_PROTOCOL\_ERROR

長構文: SDLC.022 Network *network ID* SDLC station address: DLC\_RX\_LOCAL\_PROTOCOL\_ERROR

説明: ルーターが SDLC プロトコル・エラーを検出しました。その結果として、ルーターは SDLC 接続をすべて終了させました。

---

### SDLC.023

レベル: U-INFO

短構文: SDLC.023 nt *network ID* stn address: DLC\_XID\_RETRY\_LIMIT\_REACHED

長構文: SDLC.023 Network *network ID* SDLC station address: DLC\_XID\_RETRY\_LIMIT\_REACHED

説明: リモート・リンク・ステーションが、ルーターによって送信された XID フレームに回答しません。

---

### SDLC.024

レベル: U-INFO

短構文: SDLC.024 nt *network ID* stn address: DLC\_TEST\_RETRY\_LIMIT\_REACHED

長構文: SDLC.024 Network *network ID* SDLC station address: DLC\_TEST\_RETRY\_LIMIT\_REACHED

説明: リモート・リンク・ステーションが、ルーターによって送信された TEST フレームに回答しません。

---

### SDLC.025

レベル: U-INFO

短構文: SDLC.025 nt *network ID* stn address: DLC\_SNRM\_RETRY\_LIMIT\_REACHED

長構文: SDLC.025 Network *network ID* SDLC station address: DLC\_SNRM\_RETRY\_LIMIT\_REACHED

説明: リモート・リンク・ステーションが、ルーターによって送信された SNRM フレームに回答しません。接続の試みは失敗しました。

---

**SDLC.026**

レベル: U-INFO

短構文: SDLC.026 nt *network ID* stn *address*:  
DLC\_POLL\_RETRY\_LIMIT\_REACHED

長構文: SDLC.026 Network *network ID* SDLC station  
*address*: DLC\_POLL\_RETRY\_LIMIT\_REACHED

説明: リモート・リンク・ステーションが、ルーターによって送信されたポーリング (RR または RNR) に応答しません。その結果として、ルーターは接続をすべて終了させました。

---

**SDLC.027**

レベル: U-INFO

短構文: SDLC.027 nt *network ID* stn *address*:  
DLC\_RX\_FRMR\_INV\_CTL\_FIELD

長構文: SDLC.027 Network *network ID* SDLC station  
*address*: DLC\_RX\_FRMR\_INV\_CTL\_FIELD

説明: リモート・リンク・ステーションが無効な制御フィールドをもつフレームを受信したことを示す、フレーム拒否 (FRMR) フレームを SDLC が受信しました。

---

**SDLC.028**

レベル: U-INFO

短構文: SDLC.028 nt *network ID* stn *address*:  
DLC\_RX\_FRMR\_INV\_LENGTH

長構文: SDLC.028 Network *network ID* SDLC station  
*address*: DLC\_RX\_FRMR\_INV\_LENGTH

説明: リモート・リンク・ステーションが短過ぎるフレームを受信したことを示す、フレーム拒否 (FRMR) フレームを SDLC が受信しました。

---

**SDLC.029**

レベル: U-INFO

短構文: SDLC.029 nt *network ID* stn *address*:  
DLC\_RX\_FRMR\_LONG\_I\_FIELD

長構文: SDLC.029 Network *network ID* SDLC station  
*address*: DLC\_RX\_FRMR\_LONG\_I\_FIELD

説明: リモート・リンク・ステーションが長過ぎるフレームを受信したことを示す、フレーム拒否 (FRMR) フレームを SDLC が受信しました。

---

**SDLC.030**

レベル: U-INFO

短構文: SDLC.030 nt *network ID* stn *address*:  
DLC\_RX\_FRMR\_INV\_NR

長構文: SDLC.030 Network *network ID* SDLC station  
*address*: DLC\_RX\_FRMR\_INV\_NR

説明: リモート・リンク・ステーションが制御フィールドに無効な N(r) が入っているフレームを受信したことを示す、フレーム拒否 (FRMR) フレームを SDLC が受信しました。

---

**SDLC.031**

レベル: U-INFO

短構文: SDLC.031 nt *network ID* stn *address*:  
DLC\_RX\_FRMR\_NO\_I\_FIELD

長構文: SDLC.031 Network *network ID* SDLC station  
*address*: DLC\_RX\_FRMR\_NO\_I\_FIELD

説明: リモート・リンク・ステーションが I フィールドにデータが入っていない I フレームを受信したことを示す、フレーム拒否 (FRMR) フレームを SDLC が受信しました。

---

**SDLC.032**

レベル: U-INFO

短構文: SDLC.032 nt *network ID* stn *address*:  
DLC\_RX\_FRAME\_INV\_CTL\_FIELD

長構文: SDLC.032 Network *network ID* SDLC station  
*address*: DLC\_RX\_FRAME\_INV\_CTL\_FIELD

説明: SDLC が、無効な制御フィールドをもつフレームを受信しました。

---

**SDLC.033**

レベル: U-INFO

短構文: SDLC.033 nt *network ID* stn *address*:  
DLC\_RX\_FRAME\_INV\_LENGTH

長構文: SDLC.033 Network *network ID* SDLC station  
*address*: DLC\_RX\_FRAME\_INV\_LENGTH

説明: SDLC が、短過ぎるフレームを受信しました。

---

**SDLC.034**

レベル: U-INFO

短構文: SDLC.034 nt *network ID* stn *address*:  
DLC\_RX\_FRAME\_LONG\_I\_FIELD

長構文: SDLC.034 Network *network ID* SDLC station address: DLC\_RX\_FRAME\_LONG\_I\_FIELD

説明: SDLC が、長過ぎるフレームを受信しました。

---

#### SDLC.035

レベル: U-INFO

短構文: SDLC.035 nt *network ID* stn address: DLC\_RX\_FRAME\_INV\_NR

長構文: SDLC.035 Network *network ID* SDLC station address: DLC\_RX\_FRAME\_INV\_NR

説明: SDLC が、制御フィールドに無効な N(r) が入っているフレームを受信しました。

---

#### SDLC.036

レベル: U-INFO

短構文: SDLC.036 nt *network ID* stn address: DLC\_RX\_DM

長構文: SDLC.036 Network *network ID* SDLC station address: DLC\_RX\_DM

説明: SDLC が、切断モード (DM) フレームを受信しました。リモート 2 次リンク・ステーションは、このフレームを送信して、前に受信した DISC フレームを受け入れたことを示しました。現在、リンク切断は完了しています。

---

#### SDLC.037

レベル: U-INFO

短構文: SDLC.037 nt *network ID* stn address: DLC\_RX\_RD

長構文: SDLC.037 Network *network ID* SDLC station address: DLC\_RX\_RD

説明: SDLC が、要求切断 (RD) フレームを受信しました。SDLC クライアントは、切断 (DISC) フレームを送信して、これに応答しなければなりません。

---

#### SDLC.038

レベル: U-INFO

短構文: SDLC.038 nt *network ID* stn address: DLC\_RX\_RIM

長構文: SDLC.038 Network *network ID* SDLC station address: DLC\_RX\_RIM

説明: SDLC が、初期化要求モード (RIM) フレームを受信しました。SDLC クライアントは、初期化セット・

モード (SIM) フレームを送信して、これに応答しなければなりません。

---

#### SDLC.039

レベル: U-INFO

短構文: SDLC.039 nt *network ID* stn address: DLC\_LINK\_INACTIVITY\_DETECTION

長構文: SDLC.039 Network *network ID* SDLC station address: DLC\_LINK\_INACTIVITY\_DETECTION

説明: 将来使用するために予約されています。

---

#### SDLC.040

レベル: U-INFO

短構文: SDLC.040 nt *network ID* stn address: DLC\_TX\_FRMR\_INV\_CTL\_FIELD

長構文: SDLC.040 Network *network ID* SDLC station address: DLC\_TX\_FRMR\_INV\_CTL\_FIELD

説明: SDLC は、無効な制御フィールドをもつフレームを受信したので、フレーム拒否 (FRMR) 状態に入りました。

---

#### SDLC.041

レベル: U-INFO

短構文: SDLC.041 nt *network ID* stn address: DLC\_TX\_FRMR\_INV\_LENGTH

長構文: SDLC.041 Network *network ID* SDLC station address: DLC\_TX\_FRMR\_INV\_LENGTH

説明: SDLC は、短過ぎるフレームを受信したので、フレーム拒否 (FRMR) 状態に入りました。

---

#### SDLC.042

レベル: U-INFO

短構文: SDLC.042 nt *network ID* stn address: DLC\_TX\_FRMR\_LONG\_I\_FIELD

長構文: SDLC.042 Network *network ID* SDLC station address: DLC\_TX\_FRMR\_LONG\_I\_FIELD

説明: SDLC は、長過ぎるフレームを受信したので、フレーム拒否 (FRMR) 状態に入りました。

---

#### SDLC.043

レベル: U-INFO

短構文: SDLC.043 nt *network ID* stn address: DLC\_TX\_FRMR\_INV\_NR

長構文: SDLC.043 Network *network ID* SDLC station address: DLC\_TX\_FRMR\_INV\_NR

説明: SDLC は、制御フィールドに無効な N(r) が入っているフレームを受信したので、フレーム拒否 (FRMR) 状態に入りました。

---

#### SDLC.044

レベル: U-INFO

短構文: SDLC.044 nt *network ID* stn address: DLC\_RX\_SNRM\_WHILE\_IN\_NRM

長構文: SDLC.044 Network *network ID* SDLC station address: DLC\_RX\_SNRM\_WHILE\_IN\_NRM

説明: 将来使用するために予約されています。

---

#### SDLC.045

レベル: U-INFO

短構文: SDLC.045 nt *network ID* stn address: DLC\_PORT\_DISABLED

長構文: SDLC.045 Network *network ID* SDLC station address: DLC\_PORT\_DISABLED

説明: ユーザーが、SDLC コンソールからインターフェースを使用不可にしました。現行の接続はすべて終了されました。

---

#### SDLC.046

レベル: U-INFO

短構文: SDLC.046 nt *network ID* stn address: DLC\_PORT\_ENABLED

長構文: SDLC.046 Network *network ID* SDLC station address: DLC\_PORT\_ENABLED

説明: ユーザーが、SDLC コンソールからインターフェースを使用可能にしました。

---

#### SDLC.047

レベル: U-INFO

短構文: SDLC.047 nt *network ID*: CLOSED

長構文: SDLC.047 Network *network ID* SDLC link: DLC\_STATION\_CLOSED

説明: インターフェースが、SDLC によってクローズされました。このインターフェースでは、SDLC はもう実行されていません。

---

#### SDLC.048

レベル: U-INFO

短構文: SDLC.048 nt *network ID* stn address: DISABLED

長構文: SDLC.048 Network *network ID* SDLC station address: DLC\_LS\_DISABLED

説明: ユーザーが、このインターフェース上のリモート・リンク・ステーションを、SDLC コンソールから使用不可にしました。現行の接続はすべて終了されました。

---

#### SDLC.049

レベル: U-INFO

短構文: SDLC.049 nt *network ID* stn address: ENABLED

長構文: SDLC.049 Network *network ID* SDLC station address: DLC\_LS\_ENABLED

説明: ユーザーが、このインターフェース上のリモート・リンク・ステーションを、SDLC コンソールから使用可能にしました。

---

#### SDLC.050

レベル: P-TRACE

短構文: SDLC.050 nt *network ID* stn address - rx UI bytes length: *byte\_count*

長構文: SDLC.050 Network *network ID* received UI from SDLC addr *address* length bytes: *byte\_count*

説明: ルーターが、非番号制情報 (UI) フレームをこのインターフェース上で受信しました。

---

#### SDLC.051

レベル: P-TRACE

短構文: SDLC.051 nt *network ID* stn address - tx UI bytes *byte\_count*: *octets*

長構文: SDLC.051 Network *network ID* sent UI to SDLC addr *address* *byte\_count* bytes: *octets*

説明: ルーターが、非番号制情報 (UI) フレームをこのインターフェース上に送信しました。

---

#### SDLC.052

レベル: P-TRACE

短構文: SDLC.052 nt *network ID* - rx I on address *byte\_count* bytes: *octets*



**長構文:** SDLC.052 Network *network ID* received I from SDLC addr *address byte\_count* bytes: *octets*

**説明:** ルーターが、情報 (I) フレームをこのインターフェース上で受信しました。すべての受信 SDLC フレームをログに記録するためには、SDLC\_9 を使用します。

---

### SDLC.053

**レベル:** P-TRACE

**短構文:** SDLC.053 nt *network ID* - tx I on *address byte\_count* bytes: *octets*

**長構文:** SDLC.053 Network *network ID* sent I to SDLC addr *address byte\_count* bytes: *octets*

**説明:** ルーターが、情報 (I) フレームをこのインターフェース上に送信しました。すべての受信 SDLC フレームをログに記録するためには、SDLC\_8 を使用します。

---

### SDLC.054

**レベル:** U-INFO

**短構文:** SDLC.054 nt *network ID* Stn *address* - MaxBTU too large for link - adjusted ( *oldBTUSize* -> *newBTUSize*)

**長構文:** SDLC.054 Network *network ID* Station *address*, Max BTU size too large for link - adjusted ( *oldBTUSize* -> *newBTUSize*)

**説明:** リモート・リンク・ステーションに構成された最大 BTU サイズが、このリンクに定義された値を超えています。ルーターは、このリモート・リンク・ステーションに対する値を一時的に調整しました。今後このメッセージが出るのを防ぐためには、SET REMOTE MAX-PACKET コマンドを用いて、最大 BTU サイズを変更してください。

---

### SDLC.055

**レベル:** U-INFO

**短構文:** SDLC.055 nt *network ID* Stn *address* - Rx wdw sz not compat w/modulo - adjusted ( *oldRxWindow* -> *newRxWindow*)

**長構文:** SDLC.055 Network *network ID* Station *address*, Window size is inconsistent with modulo for link - adjusted ( *oldRxWindow* -> *newRxWindow*)

**説明:** このリンクのモジュロがユーザーによって変更され、すべての定義済みのリモート・リンク・ステーションのウィンドウ・サイズが無効になりました。ウィンドウ・サイズは、一時的に調整されました。リンクがモ

ジュロ 8 用に構成されている場合、有効なウィンドウ・サイズは 0 ~ 7 です。リンクがモジュロ 128 用に構成されている場合、有効なウィンドウ・サイズは 8 ~ 128 です。今後このメッセージが出るのを防ぐためには、SET REMOTE RECEIVE-WINDOW コマンドを用いて、受信ウィンドウ・サイズを変更してください。

---

### SDLC.056

**レベル:** U-INFO

**短構文:** SDLC.056 nt *network ID* Stn *address* - Tx wdw sz not compat w/modulo - adjusted ( *oldTxWindow* -> *newTxWindow*)

**長構文:** SDLC.056 Network *network ID* Station *address*, Window size is inconsistent with modulo for link - adjusted ( *oldTxWindow* -> *newTxWindow*)

**説明:** このリンクのモジュロがユーザーによって変更され、すべての定義済みのリモート・リンク・ステーションのウィンドウ・サイズが無効になりました。ウィンドウ・サイズは、一時的に調整されました。リンクがモジュロ 8 用に構成されている場合、有効なウィンドウ・サイズは 0 ~ 7 です。リンクがモジュロ 128 用に構成されている場合、有効なウィンドウ・サイズは 8 ~ 128 です。今後このメッセージが出るのを防ぐためには、'SET REMOTE TRANSMIT-WINDOW' コマンドを用いて、送信ウィンドウ・サイズを変更してください。

---

### SDLC.057

**レベル:** U-INFO

**短構文:** SDLC.057 nt *network ID* - Link cfg corrupted - using default

**長構文:** SDLC.057 Network *network ID* - Link configuration corrupted, using defaults.

**説明:** リンク構成のどこかが破壊されました。ソフトウェア更新が原因と考えられます。省略時のリンク構成が作成されました。SDLC を作動する前に、新しく作成された構成を検討して、必要に応じて調整してください。

---

### SDLC.058

**レベル:** U-INFO

**短構文:** SDLC.058 nt *network ID* - cfg XID/TEST timeout corrupted - fixed

**長構文:** SDLC.058 Network *network ID* - Configured XID/TEST timeout corrupted - fixed.

**説明:** リンク構成で無効な XID/TEST タイムアウト値



が検出されました。ソフトウェア更新が原因と考えられます。一時的に、有効な値に変更されました。今後このメッセージが出るのを防ぐためには、このインターフェースの SDLC 構成プロンプトから、XID/TEST タイムアウトを設定してください。

---

#### SDLC.059

レベル: U-INFO

短構文: SDLC.059 nt *network ID* - cfg XID/TEST retry count corrupted - fixed

長構文: SDLC.059 Network *network ID* - Configured XID/TEST retry count corrupted - fixed.

説明: リンク構成で無効な XID/TEST 再試行値が検出されました。ソフトウェア更新が原因と考えられます。一時的に、有効な値に変更されました。今後このメッセージが出るのを防ぐためには、このインターフェースの SDLC 構成プロンプトから、XID/TEST 再試行カウントを設定してください。

---

#### SDLC.060

レベル: U-INFO

短構文: SDLC.060 nt *network ID* - cfg SNRM timeout corrupted - fixed

長構文: SDLC.060 Network *network ID* - Configured XID/TEST timeout value corrupted - fixed.

説明: リンク構成で無効な SNRM タイムアウト値が検出されました。ソフトウェア更新が原因と考えられます。一時的に、有効な値に変更されました。今後このメッセージが出るのを防ぐためには、このインターフェースの SDLC 構成プロンプトから、SNRM タイムアウトを設定してください。

---

#### SDLC.061

レベル: U-INFO

短構文: SDLC.061 nt *network ID* - cfg SNRM retry count corrupted - fixed

長構文: SDLC.061 Network *network ID* - Configured SNRM retry count corrupted - fixed.

説明: リンク構成で無効な SNRM 再試行値が検出されました。ソフトウェア更新が原因と考えられます。一時的に、有効な値に変更されました。今後このメッセージが出るのを防ぐためには、このインターフェースの SDLC 構成プロンプトから、SNRM 再試行カウントを設定してください。

---

#### SDLC.062

レベル: U-INFO

短構文: SDLC.062 nt *network ID* - cfg POLL timeout corrupted - fixed

長構文: SDLC.062 Network *network ID* - Configured POLL timeout value corrupted - fixed.

説明: リンク構成で無効な POLL タイムアウト値が検出されました。ソフトウェア更新が原因と考えられます。一時的に、有効な値に変更されました。今後このメッセージが出るのを防ぐためには、このインターフェースの SDLC 構成プロンプトから、POLL タイムアウトを設定してください。

---

#### SDLC.063

レベル: U-INFO

短構文: SDLC.063 nt *network ID* - cfg inter-POLL delay corrupted - fixed

長構文: SDLC.063 Network *network ID* - Configured inter-POLL delay value corrupted - fixed.

説明: リンク構成で無効な POLL 間遅延値が検出されました。ソフトウェア更新が原因と考えられます。一時的に、有効な値に変更されました。今後このメッセージが出るのを防ぐためには、このインターフェースの SDLC 構成プロンプトから、POLL 間遅延値を設定してください。

---

#### SDLC.064

レベル: U-INFO

短構文: SDLC.064 nt *network ID* - cfg POLL retry count corrupted - fixed

長構文: SDLC.064 Network *network ID* - Configured POLL retry count corrupted - fixed.

説明: リンク構成で無効な POLL 再試行値が検出されました。ソフトウェア更新が原因と考えられます。一時的に、有効な値に変更されました。今後このメッセージが出るのを防ぐためには、このインターフェースの SDLC 構成プロンプトから、POLL 再試行カウントを設定してください。

---

#### SDLC.065

レベル: U-INFO

短構文: SDLC.065 nt *network ID* - cfg inactivity timeout corrupted - fixed

長構文: SDLC.065 Network *network ID* - Configured inactivity timeout value corrupted - fixed.

説明: 将来使用するために予約されています。

---

#### SDLC.066

レベル: U-INFO

短構文: SDLC.066 nt *network ID* - cfg RTS hold duration corrupted - fixed

長構文: SDLC.066 Network *network ID* - Configured RTS hold duration value corrupted - fixed.

説明: リンク構成で無効な RTS 保留値が検出されました。ソフトウェア更新が原因と考えられます。一時的に、有効な値に変更されました。今後このメッセージが出るのを防ぐためには、このインターフェースの SDLC 構成プロンプトから、RTS 保留値を設定してください。

---

#### SDLC.067

レベル: U-INFO

短構文: SDLC.067 nt *network ID* - cfg max frame size corrupted - fixed

長構文: SDLC.067 Network *network ID* - Configured max frame size value corrupted - fixed.

説明: リンク構成で無効最大フレーム・サイズ値が検出されました。ソフトウェア更新が原因と考えられます。一時的に、有効な値に変更されました。今後このメッセージが出るのを防ぐためには、このインターフェースの SDLC 構成プロンプトから、最大フレーム・サイズを設定してください。

---

#### SDLC.068

レベル: C-INFO

短構文: SDLC.068 nt *network ID* - link ctrs reset by usr

長構文: SDLC.068 Network *network ID* - SDLC link counters were reset by user.

説明: SDLC コンソールから、リンク・カウンターがリセットされました。

---

#### SDLC.069

レベル: U-INFO

短構文: SDLC.069 nt *network ID* - cannot reset link ctrs

長構文: SDLC.069 Network *network ID* - SDLC link counters cannot be reset.

説明: SDLC コンソールから、リンク・カウンターを

リセットすることができませんでした。通常、これは一時的な状態です。操作を再試行してください。

---

#### SDLC.070

レベル: C-INFO

短構文: SDLC.070 nt *network ID* lnk stn address - link ctrs reset by usr

長構文: SDLC.070 Network *network ID* Link Station address - SDLC link counters were reset by user.

説明: ユーザーが、リモート 2 次ステーションのカウンターを SDLC コンソールからリセットしました。

---

#### SDLC.071

レベル: U-INFO

短構文: SDLC.071 nt *network ID* Stn address - Protocol forced to TWO-WAY-ALTERNATING since Group Poll is used

長構文: SDLC.071 Network *network ID* Station address, cannot use Primary or Secondary Group Poll with TWO-WAY-SIMULTANEOUS

説明: 矛盾を生じさせた構成情報が残っている可能性があります。つまり、両方向同期リンク・プロトコルは、1 次または 2 次のグループ・ポーリングと一緒に使用することはできません。ステーションが活動化されたときに、プロトコルは、交互に両方向を使用するよう余儀なくされました。

---

#### SDLC.072

レベル: U-INFO

短構文: SDLC.072 nt *network ID* stn address: CLOSED

長構文: SDLC.072 Network *network ID* SDLC station address: DLC\_SAP\_CLOSED

説明: リモート・リンク・ステーションがルーターによってクローズされ、もう活動状態ではありません。

---

#### SDLC.073

レベル: CE-ERROR

短構文: SDLC.073 nt *network ID*: lo prio buffer alloc failed

長構文: SDLC.073 Network *network ID*: low priority buffer request failed

説明: すでに公平シェアを割り振り済みであったので、SDLC はルーターのヒープからの記憶域の割り振り

に失敗しました。通常、これは一時的な問題で、SDLC は回復します。

---

#### SDLC.074

レベル: CE-ERROR

短構文: SDLC.074 nt *network ID*: hi prio buffer alloc failed

長構文: SDLC.074 Network *network ID*: high priority buffer request failed

説明: SDLC が、ルーターのヒープからの高優先順位バッファの割り振りに失敗しました。この結果、SDLC は一時的にパフォーマンスが低下します。この状態が続く場合は、SDLC セッションが失われる可能性があります。

---

#### SDLC.075

レベル: CE-ERROR

短構文: SDLC.075 nt *network ID*: buffer alloc failed - credit ok

長構文: SDLC.075 Network *network ID*: buffer alloc request failed, but credit is okay

説明: ヒープが使い尽くされていたので、SDLC はルーターのヒープからの記憶域の割り振りに失敗しました。通常、これは一時的な問題で、SDLC は回復します。

---

#### SDLC.076

レベル: CE-ERROR

短構文: SDLC.076 nt *network ID*: cannot xmit I-frame. Will re-transmit

長構文: SDLC.076 Network *network ID*: cannot transmit I-frame. Will re-transmit later

説明: SDLC が、情報 (I) フレームをインターフェースに送信できませんでした。SDLC は、後で再送を試みます。

---

#### SDLC.077

レベル: CE-ERROR

短構文: SDLC.077 nt *network ID*: cannot xmit S-frame - dropped

長構文: SDLC.077 Network *network ID*: cannot transmit S-frame - dropped

説明: SDLC が、監視 (S) フレームをインターフェー

スに送信できませんでした。SDLC は、後で再送を試みます。

---

#### SDLC.078

レベル: CE-ERROR

短構文: SDLC.078 nt *network ID*: cannot xmit U-frame. SDLC will recover

長構文: SDLC.078 Network *network ID*: cannot transmit U-frame - SDLC will recover

説明: SDLC が、非番号制情報 (UI) フレームをインターフェースに送信できませんでした。SDLC は、後で再送を試みます。

---

#### SDLC.079

レベル: CE-ERROR

短構文: SDLC.079 nt *network ID*: cannot xmit XID/TEST frame. Will re-xmit

長構文: SDLC.079 Network *network ID*: cannot transmit U-frame - SDLC will re-transmit

説明: SDLC が、XID または TEST フレームをインターフェースに送信できませんでした。SDLC は、後で再送を試みます。

---

#### SDLC.080

レベル: CE-ERROR

短構文: SDLC.080 nt *network ID*: rx inv frame type - dropped

長構文: SDLC.080 Network *network ID*: received invalid frame type - dropped

説明: SDLC が、無効なフレーム・タイプを受信しました。このフレームは無視されました。

---

#### SDLC.081

レベル: CE-ERROR

短構文: SDLC.081 nt *network ID*: rx frame from sec stn not polled - dropped

長構文: SDLC.081 Network *network ID*: received a frame from a secondary station that was not polled - dropped

説明: SDLC が、ポーリングしていないリモート・リンク・ステーションからフレームを受信しました。このフレームは無視されました。このエラーは、ポーリング応答タイムアウトが短過ぎる場合にも起きることがあります。

---

**SDLC.082**

レベル: CE-ERROR

短構文: SDLC.082 nt *network ID*: rx UI frame from sec stn w/o F-bit - dropped

長構文: SDLC.082 Network *network ID*: received a UI frame from a secondary station without the Final bit set - dropped

説明: SDLC が、最終 (F) ビットがセットされていない非番号制情報 (UI) フレームを受信しました。このフレームは除去されました。

---

**SDLC.083**

レベル: CE-ERROR

短構文: SDLC.083 nt *network ID*: rx bcast on mpt line - dropped

長構文: SDLC.083 Network *network ID*: received a broadcast frame from a secondary station on a multipoint line - dropped

説明: SDLC が、分岐回線の同報通信アドレスへのフレームを受信しました。フレームは除去されました。

---

**SDLC.084**

レベル: UE-ERROR

短構文: SDLC.084 SDLC not up on nt *network ID* - no LINK config

長構文: SDLC.084 Network *network ID*: SDLC not brought up because no LINK configuration is defined

説明: このインターフェース用の SDLC リンク構成がないので、SDLC リンクを初期化できませんでした。

---

**SDLC.085**

レベル: UE-ERROR

短構文: SDLC.085 nt *network ID*: signal ctl rq failed - reason

長構文: SDLC.085 Network *network ID*: signal control request failed because *reason*

説明: SDLC が、インターフェース上の1つまたは複数の信号を制御できませんでした。この状況は、サポートされていないインターフェースで SDLC を実行しようとした場合に起こる可能性があります。

---

**SDLC.086**

レベル: CE-ERROR

短構文: SDLC.086 HDX, DCD hi during xmit, nt *network ID*

長構文: SDLC.086 HDX, DCD went high during HDX transmit, on network *network ID*

説明: 半二重モードでフレームを伝送中に、DCD が高 (high) になりました。これはプロトコル違反であり、インターフェースは問題の訂正のために間もなくダウンします。

---

**SDLC.087**

レベル: C-INFO

短構文: SDLC.087 HDX, CTS now low. Premature DCD recovery complete, nt *network ID*

長構文: SDLC.087 HDX, CTS now low. Premature DCD recovery complete, on network *network ID*

説明: CTS 信号が、インターフェースが半二重プロトコル違反から回復している間に低 (low) に移行しました。リンクは正しい状態になりました。データ転送が再開できます。

---

**SDLC.088**

レベル: CE-ERROR

短構文: SDLC.088 HDX, unsolicited signal while idle, nt *network ID*

長構文: SDLC.088 HDX, unsolicited signal while idle, on network *network ID*

説明: 回線がアイドル状態のときに、接続装置によって信号が代入されました。半二重モードで作動中は、アイドル状態のインターフェースでは、DTR/DSR 信号だけを代入してください。

---

**SDLC.089**

レベル: CE-ERROR

短構文: SDLC.089 HDX, DSR low during xmit, nt *network ID*

長構文: SDLC.089 HDX, DSR went low during HDX transmit, on network *network ID*

説明: DSR 信号が、伝送中に低 (low) になりました。これはプロトコル違反であり、インターフェースは問題の訂正のために間もなくダウンします。

---

### SDLC.090

レベル: CE-ERROR

短構文: SDLC.090 nt *network ID*: rx inv frame type while closing link *address* - dropped

長構文: SDLC.090 Network *network ID*: received inappropriate frame while closing link *address* - dropped

説明: SDLC は、リンク・ステーションをクローズしているとき、UA 以外のフレームを受信しました。ルーターはこのフレームを無視しました。

---

### SDLC.091

レベル: C-INFO

短構文: SDLC.091 addr *Address* added, nt *network ID*

長構文: SDLC.091 Secondary station *Address* has been dynamically added, on network *network ID*

説明: SDLC リモート・リンク・ステーションが SDLC コンソールからユーザーにより追加され、使用可能状態です。

---

### SDLC.092

レベル: C-INFO

短構文: SDLC.092 addr *Address* deleted, nt *network ID*

長構文: SDLC.092 Secondary station *Address* has been dynamically deleted, on network *network ID*

説明: SDLC リモート・リンク・ステーションが SDLC コンソールからユーザーにより削除され、使用できない状態です。

---

### SDLC.093

レベル: CE-ERROR

短構文: SDLC.093 nt *network ID*: rx frame from invalid stn addr - dropped

長構文: SDLC.093 Network *network ID*: received a frame from an invalid station address - dropped

説明: SDLC は、認知されないステーション・アドレスが入っているフレームを、リモート・リンク・ステーションから受け取りました。ルーターはこのフレームを無視しました。

---

### SDLC.094

レベル: UE-ERROR

短構文: SDLC.094 nt *network ID* lnk stn *address* - stn disabled, rx frame dropped

長構文: SDLC.094 Network *network ID* Link Station *address* - station is disabled; frame ignored.

説明: あて先ステーションは使用不可状態なので、このステーションあての受信フレームをルーターが無視しました。

---

### SDLC.095

レベル: UE-ERROR

短構文: SDLC.095 nt *network ID* stn *address*: DLC\_RX\_NXID\_WHILE\_IN\_NRM

長構文: SDLC.095 Network *network ID* SDLC station *address*: DLC\_RX\_NXID\_WHILE\_IN\_NRM

説明: ローカル SDLC 2 次リンク・ステーションが、NRM の実行中にヌル XID フレームをリモート・リンク・ステーションから受信しました。これは、送信側でリンクが失敗し、接続の再確立を試みていることを示しているものとみなします。

---

### SDLC.096

レベル: C-INFO

短構文: SDLC.096 port FULL, nt *network ID*

長構文: SDLC.096 Transmit data queue has reached its limit on network *network ID*

説明: SDLC ユーザー (DLS または APPN など) は、このインターフェースへの待ち行列にそれ以上のデータを入れることができません。

---

### SDLC.097

レベル: C-INFO

短構文: SDLC.097 port newly AVAILABLE, nt *network ID*

長構文: SDLC.097 Transmit data queue has dropped below its threshold on network *network ID*

説明: SDLC ユーザー (DLS または APPN など) は、このインターフェースへの待ち行列に追加データを入れることができるようになりました。

---

### SDLC.098

レベル: C-INFO

短構文: SDLC.098 nt *network ID*: rx invalid control field for station *address* -- no link station timer running

長構文: SDLC.098 Network *network ID*: received a UI frame for station *address* and no link station timer is running

**説明:** SDLC は、非番号制情報 (UI) フレームを受信し、リンク・ステーション・タイマーが稼働していないこと、タイマーを開始するためのステーションが使用できないことが検出されました。

---

**SDLC.099**

**レベル:** C-INFO

**短構文:** SDLC.099 nt *network ID*: Station (addr *address*, timeout ID X\ *timeoutId*\') timeout has occurred.

**長構文:** SDLC.099 Network *network ID*: station (addr X\ *address*\', timeout ID X\ *timeoutId*\') timer has expired without response.

**説明:** SDLC はフレームを送信しましたが、応答を受信することなく、応答を受信するための時間制限が満了しました。talk 5 では、SDLC ネットにおいてリンク r をリストし、タイムアウト ID の意味を調べます。





---

## 第114章 シン・サーバー・ディスク・タスク (TSDK)

この章では、シン・サーバー・ディスク・タスク (TSDK) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### TSDK.001

レベル: U-INFO

短構文: TSDK.001 Deleting Host File: *host\_file\_name*  
(StagedFile: *cached\_file\_name*, DiskInfo:  
*disk\_info\_file\_name*)

長構文: TSDK.001 Deleting Host File: *host\_file\_name*  
(StagedFile: *cached\_file\_name*, DiskInfo:  
*disk\_info\_file\_name*)

説明: このメッセージは、キャッシュ・ファイルがディスク・ドライブから削除される場合に生成されます。

---

### TSDK.002

レベル: UI-ERROR

短構文: TSDK.002 Couldn't schedule *request\_type* of  
*request\_name* file ( *file\_name*), rc: *return\_code*( *rc*)

長構文: TSDK.002 Couldn't schedule *request\_type* of  
*request\_name* file ( *file\_name*), rc: *return\_code*( *rc*)

説明: このメッセージは、ディスク・タスクがファイル要求を実行できない場合に生成される内部エラーです。

---

### TSDK.003

レベル: UE-ERROR

短構文: TSDK.003 An error occurred while reading  
*file\_name*

長構文: TSDK.003 An error occurred while reading  
*file\_name*

説明: このメッセージは、ディスク・タスクがハード・ディスクからファイルを読み取れない場合に生成されます。

原因: 破壊されたハード・ディスク

処置: シン・サーバー機能をリスタートしてください。エラーが解消されない場合は、ハード・ディスクを復元してください。

---

### TSDK.004

レベル: UI-ERROR

短構文: TSDK.004 Mismatch between actual file size  
(of *file\_size*) and expected file size (of *file\_size*)

長構文: TSDK.004 Mismatch between actual file size  
(of *file\_size*) and expected file size (of *file\_size*)

説明: このメッセージは、ハード・ディスクに保管されているファイルに矛盾がある場合に生成されます。

原因: 破壊されたハード・ディスク

処置: シン・サーバー機能をリスタートしてください。エラーが解消されない場合は、ハード・ディスクを復元してください。

---

### TSDK.005

レベル: U-INFO

短構文: TSDK.005 Owner of *file\_name* isn't a  
configured Master File Server

長構文: TSDK.005 Owner of *file\_name* isn't a  
configured Master File Server

説明: このメッセージは、NFS と RFS/400 の間で構成が変更されている場合に生成されます。すべての既存のキャッシュ・ファイルが削除されます。

---

### TSDK.006

レベル: C-INFO

短構文: TSDK.006 Found file: *directory/ file\_name*  
*extension*

長構文: TSDK.006 Found file: *directory/ file\_name*  
*extension*

説明: このメッセージは、シン・サーバーの初期化中に生成されます。ハード・ディスク上で各ファイルが検出されるたびに生成されます。指定されているファイル名は、シン・サーバーのハード・ディスク上のファイルの実際の名前です (これらの名前は、Talk 5 List Cached-Files 出力の最初の列に表示されます)。

---

**TSDK.007**

レベル: C-INFO

短構文: TSDK.007 Adding: *cached\_file\_name* (*host\_file\_name*) to cache

長構文: TSDK.007 Adding: *cached\_file\_name* (*host\_file\_name*) to cache

説明: このメッセージは、ハード・ディスク上のファイルが、実際に利用可能なファイル・セットに追加されたことを示すために生成されます。

---

**TSDK.008**

レベル: U-TRACE

短構文: TSDK.008 *activate\_or\_terminate* disk task

長構文: TSDK.008 *activate\_or\_terminate* disk task

説明: このメッセージは、シン・サーバー・ディスク・タスクが開始中または終了中であることを示します。

---

**TSDK.009**

レベル: ALWAYS

短構文: TSDK.009 Update Finished: *host\_file\_name*, InTable: *in\_table\_state*( *value*)

長構文: TSDK.009 Update Finished: *host\_file\_name*, InTable: *in\_table\_state*( *value*)

説明: このメッセージは、キャッシュ・ファイル更新が完了した場合に生成されます。InTable は、ファイルがまだキャッシュされているかどうかを示します。

---

**TSDK.010**

レベル: C-INFO

短構文: TSDK.010 Creating File Does Not Exist entry for *host\_file\_name*

長構文: TSDK.010 Creating File Does Not Exist entry for *host\_file\_name*

説明: このメッセージは、マスター・ファイル・サーバーに存在しないファイル用のエントリが作成された場合に生成されます。

---

**TSDK.011**

レベル: UI-ERROR

短構文: TSDK.011 *function* returning *error\_code* because *reason*

長構文: TSDK.011 *function* returning *error\_code* because *reason*

説明: この内部エラーは、ディスク・タスクが要求を処理できない場合に生成されます。

原因: 要求を割り振ることができませんでした。

処置: シン・サーバー機能は、要求の処理中に記憶域を使い尽くしました。障害が起こったクライアントをリスタートしてください。エラーが解消しない場合は、ファイルに同時にアクセスするクライアントの数を減らしてください。

---

**TSDK.012**

レベル: UI-ERROR

短構文: TSDK.012 *function* returning *error\_code*

長構文: TSDK.012 *function* returning *error\_code*

説明: このメッセージは、ディスク・タスク機能に障害が起こった場合に生成されます。

---

**TSDK.013**

レベル: C-INFO

短構文: TSDK.013 Create entry *file\_name*

長構文: TSDK.013 Create entry *file\_name*

説明: このメッセージは、ディスク上のキャッシュ・ファイルに新しいファイルが追加される場合に生成されます。

---

**TSDK.014**

レベル: C-TRACE

短構文: TSDK.014 Create Files for *host\_file\_name* (*file\_number*), rc: *return\_code\_description*( *return\_code*)

長構文: TSDK.014 Create Files for *host\_file\_name* (*file\_number*), rc: *return\_code\_description*( *return\_code*)

説明: このメッセージは、ディスク上のキャッシュ・ファイルに新しいファイルが追加される場合に生成されます。16 進数の *file\_number* は、ハード・ディスク上の実際のファイル名 (Talk 5 List Cached-Files 出力の最初の列に表示) に対応しています。

---

**TSDK.015**

レベル: UE-ERROR

短構文: TSDK.015 Couldn't *create\_or\_access* Thin Server File Cache Directory ( *directory*) because *reason*

長構文: TSDK.015 Couldn't *create\_or\_access* Thin Server File Cache Directory ( *directory*) because *reason*

**説明:** このメッセージは、何らかの理由でシン・サーバー機能がキャッシュ・ファイル・ディレクトリーを作成できない、またはアクセスできない場合に生成されます。このメッセージが出た場合は、ハード・ディスクの使用法とシン・サーバー機能の使用法との間に何らかの非互換性があります。もう 1 つの可能性は、ハード・ディスクが破壊されていることです。

---

#### TSDK.016

**レベル:** U-INFO

**短構文:** TSDK.016 Attempting to create Thin Server Directory: *directory\_name*

**長構文:** TSDK.016 Attempting to create Thin Server Directory: *directory\_name*

**説明:** このメッセージは、ディスク・タスクがハード・ディスク上にキャッシュ・ファイルを保管するのに使用するサブディレクトリーを作成中であることを示すために生成されます。

---

#### TSDK.017

**レベル:** U-INFO

**短構文:** TSDK.017 Thin Server Directory Created Successfully

**長構文:** TSDK.017 Thin Server Directory Created Successfully

**説明:** このメッセージは、ディスク・タスクがハード・ディスク上にキャッシュ・ファイルを保管するのに使用するサブディレクトリーの作成に成功したことを示すために生成されます。

---

#### TSDK.018

**レベル:** U-INFO

**短構文:** TSDK.018 Thin Server File Cache Directory Was Empty

**長構文:** TSDK.018 Thin Server File Cache Directory Was Empty

**説明:** このメッセージは、シン・サーバー機能を開始したときにキャッシュ・ファイルが存在しない場合に生成されます。

---

#### TSDK.019

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** TSDK.019 The following entry is a duplicate

**長構文:** TSDK.019 The following entry is a duplicate

**説明:** このメッセージは、シン・サーバー・キャッシュ内で重複ファイルが検出されたことを示すために生成されます。古いファイルが削除されたことを示す TSDK.1 メッセージも生成されます。

---

#### TSDK.020

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** TSDK.020 Read-Only file found: *file\_name*

**長構文:** TSDK.020 Read-Only file found: *file\_name*

**説明:** このメッセージは、シン・サーバー・ディレクトリーで読み取り専用ファイルが検出された場合に生成されます。これは起こり得ないことなので、ハード・ディスクが破壊されていることを示しています。

---

#### TSDK.021

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** TSDK.021 Internal Error: *part\_1 part\_2(number)*

**長構文:** TSDK.021 Internal Error: *part\_1 part\_2(number)*

**説明:** このメッセージは、シン・サーバー・ディスク・タスクで重大な内部エラーが発生した場合に生成されます。

---

#### TSDK.022

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** TSDK.022 Abort on: *file\_name*, LastByteAvail: *bytes*, FileSize: *bytes*

**長構文:** TSDK.022 Abort on: *file\_name*, LastByteAvail: *bytes*, FileSize: *bytes*

**説明:** このメッセージは、ファイル更新が中断された場合 (たとえば、マスター・ファイル・サーバーへの接続の切断によって) に生成されます。

---

#### TSDK.023

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** TSDK.023 Err in obj dtor: *specific\_error\_message*

**長構文:** TSDK.023 Error in object destructor: *specific\_error\_message*

**説明:** このメッセージは、オブジェクト・デストラクターが何らかの無効な状態を検出した場合に生成されます。

---

**TSDK.024**

レベル: C-TRACE

短構文: TSDK.024 TRC: *trace\_message*

長構文: TSDK.024 TRACE: *trace\_message*

説明: このメッセージは、ディスク・タスク内部トレースが使用されている場合に生成されます。

---

**TSDK.025**

レベル: U-INFO

短構文: TSDK.025 Rmv *file\_name* (not in preload)

長構文: TSDK.025 Remove *file\_name* (not in preload list or include directories)

説明: このメッセージは、ディスク・タスクが、事前ロード・リストまたは組み込みディレクトリーに含まれなくなったので、ファイルをキャッシュから除去する場合に生成されます。

---

**TSDK.026**

レベル: ALWAYS

短構文: TSDK.026 Refresh *protocol files starting\_or\_finished*

長構文: TSDK.026 Refresh *protocol files starting\_or\_finished*

説明: このメッセージは、特定のプロトコルに属するファイルのリフレッシュの開始中または完了中に生成されます。これは、何らかの理由でリフレッシュが打ち切られたことを示している場合があります。その場合には、該当するクライアント・メッセージ (TSNC for NFS, TSRC for RFS/400) が表示されるはずです。

---

**TSDK.027**

レベル: UI-ERROR

短構文: TSDK.027 Unexpected RC from *routine* is *error( number) optional\_info*

長構文: TSDK.027 Unexpected RC from *routine* is *error( number) optional\_info*

説明: このメッセージは、ディスク・タスク機能が予期しない戻りコードを戻した場合に生成されます。

---

**TSDK.028**

レベル: C-TRACE

短構文: TSDK.028 Acceptable RC from *routine* is *error( number) optional\_info*

長構文: TSDK.028 Acceptable RC from *routine* is *error( number) optional\_info*

説明: このメッセージは、ディスク・タスクが以下の戻りコードの 1 つを戻した場合に生成されます。

原因: TSDK\_NO\_SAME\_VERSION

処置: NFS または RFS/400 クライアントが、ファイルの更新が必要かどうか、およびキャッシュ・ファイルがマスター・ファイル・サーバー上のファイルと同じバージョンかどうかを検査していました。

原因: TSDK\_NO\_NOT\_ON\_DISK

処置: TFTP、NFS、または RFS/400 サーバーは、事前ロード・リストには含まれているが、現在はハード・ディスク上に存在しないファイルにアクセスしようとしていました。

原因: TSDK\_NO\_NOT\_AVAILABLE

処置: TFTP、NFS、または RFS/400 サーバーは、事前ロード・リストに含まれていないファイルにアクセスしようとしていました。

原因: TSDK\_NO\_NODE\_NOT\_FOUND

処置: NFS サーバーは、キャッシュ内に存在しないファイルにアクセスしようとしています。

---

**TSDK.029**

レベル: UE-ERROR

短構文: TSDK.029 RAM memory cache was configured for *configured\_memoryk*, using *actual\_memoryk*

長構文: TSDK.029 RAM memory cache was configured for *configured\_memoryk*, using *actual\_memoryk*

説明: このメッセージは、シン・サーバー機能が構成された量の RAM メモリー・キャッシュを使用できなかった場合に生成されます。

原因: RAM キャッシュに使用する記憶域の量を変更し、ルーター全体をリスタートせずに、シン・サーバー機能をリスタートした可能性があります。

原因: RAM キャッシュ用に構成されている記憶域の量が、ルーター内で利用可能な量より大きくなっています。

---

**TSDK.030**

レベル: UI-ERROR

短構文: TSDK.030 Invalid Handle, Task: *task\_name*(0x *task\_id*), Handle: 0x *handle*, rc: *error( error\_number)*

長構文: TSDK.030 Invalid Handle, Task: *task\_name*(0x *task\_id*), Handle: 0x *handle*, rc: *error( error\_number)*

**説明:** このメッセージは、ディスク・タスクが無効なハンドルを渡された場合に生成されます。

---

### TSDK.031

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** TSDK.031 Aborting Disk Requests for *host\_file\_name* (FileState: *file\_state*)

**長構文:** TSDK.031 Aborting Disk Requests for *host\_file\_name* (FileState: *file\_state*)

**説明:** このメッセージは、リフレッシュ、ファイル削除、フラッシュ、またはマスター・サーバーとのファイル・バージョンの検証の結果として、アクセス中にファイルが削除された場合に生成されます。また、シン・サーバー機能が使用不可にされている場合、またはリスタートされた場合にも生成されることがあります。

---

### TSDK.032

**レベル:** CE-ERROR

**短構文:** TSDK.032 *Canceling\_or\_Aborting* all Disk Requests for handle: *task*, 0x *handle*

**長構文:** TSDK.032 *Canceling\_or\_Aborting* all Disk Requests for handle: *task*, 0x *handle*

**説明:** このメッセージは、リフレッシュ、ファイル削除、フラッシュ、またはマスター・サーバーとのファイル・バージョンの検証の結果として、アクセス中にファイルが削除された場合に生成されます。また、シン・サーバー機能が使用不可にされている場合、またはリスタートされた場合にも生成されることがあります。

---

### TSDK.033

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** TSDK.033 No room *cache\_or\_hard\_file* for *host\_file\_name*

**長構文:** TSDK.033 No room *cache\_or\_hard\_file* for *host\_file\_name*

**説明:** このメッセージは、余地がないためにファイルをシン・サーバーに保管できない場合に生成されます。

**原因:** RAM 専用モード (ハード・ディスクが構成されていない)。

**処置:** MEMORY-CACHE が、キャッシュされるすべてのファイルによって使用される合計スペースよりいくぶん大きい値に設定されていることを確認してください。

**原因:** 構成されたハード・ディスク。

**処置:** ハード・ディスクが動作可能であり、使用されていることを確認してください (たとえば、Talk 5 の構

成を検査してください)。ハード・ディスクが使用されている場合は、ダウンロードされているファイル数が多過ぎないことを確認してください。

---

### TSDK.034

**レベル:** ALWAYS

**短構文:** TSDK.034 Thin Server running without hard file because *problem*

**長構文:** TSDK.034 Thin Server running without hard file because *problem*

**説明:** このメッセージは、何らかの原因でシン・サーバーがハード・ディスクを使用できない場合に生成されます。

**原因:** 一般的な問題

**処置:** ハード・ディスクが破壊されていないこと、"TS" および "TS/DIR" ディレクトリーに無効なファイルが存在しないことを確認してください。これらのディレクトリー内のファイルはすべて "xxxxxxx.INF" または "xxxxxxx.DAT" 形式でなければなりません (ただし、"xxxxxxx" は16進数)。また、すべてのファイルは、読み取り / 書き込みでなければなりません。

**原因:** ハード・ディスクが使用不可能

**処置:** ハード・ディスクが存在することを確認してください。存在する場合は、十分なスペースがあることを確認してください。

**原因:** シン・サーバー・ディレクトリーを作成できない。

**処置:** ハード・ディスク上にスペースがあること、およびファイル "TS" が存在しないか、あるいは存在する場合は、それがディレクトリーであることを確認してください。また、"TS/DIR" がディレクトリーであるか、存在しないかのいずれかであることも確認してください。

**原因:** シン・サーバー・ディレクトリーにアクセスできない。

**処置:** ハード・ディスク上にディレクトリー "TS" が存在することを確認してください。また、"TS/DIR" がディレクトリーであることも確認してください。





---

## 第115章 シン・サーバー NFS (TSNS)

この章では、シン・サーバー NFS (TSNS) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### TSNS.001

レベル: UI-ERROR

短構文: TSNS.001 System Error: *error\_description*

長構文: TSNS.001 System Error: *error\_description*

説明: NFS サーバーは、初期セットアップを正常に完了できませんでした。ポートマッパーの登録時または初期ソケットのセットアップ時に、エラーが発生しました。

---

### TSNS.002

レベル: UI-ERROR

短構文: TSNS.002 Unable to send *command-name* reply

長構文: TSNS.002 Unable to send *command-name* reply

説明: ネットワーク・ステーションに応答を送信する試みが失敗しました。

---

### TSNS.003

レベル: UI-ERROR

短構文: TSNS.003 Unable to decode *command\_name* args

長構文: TSNS.003 Decode failed with *command\_name*

説明: RPC 要求の引き数を復号する試みが失敗しました。

---

### TSNS.004

レベル: UI-ERROR

短構文: TSNS.004 Memory Allocation error getting *storage\_name*

長構文: TSNS.004 Memory Allocation error failed with *storage\_name*

説明: シン・サーバー機能が使用するために割り振られた記憶域が使い尽くされました。

---

### TSNS.005

レベル: C-TRACE

短構文: TSNS.005 *function\_name* failed with *rc*

長構文: TSNS.005 *function\_name* failed with *rc*

説明: 機能へのコールが、指定された戻りコードまたはエラー番号により失敗しました。

---

### TSNS.006

レベル: C-INFO

短構文: TSNS.006 NFSD transport handle is *transport\_handle*

長構文: TSNS.006 NFSD transport handle is *transport\_handle*

説明: このメッセージは、NFS サーバーの初期化時に定義された NFS トランスポート・ハンドルを表示します。

---

### TSNS.007

レベル: UI-ERROR

短構文: TSNS.007 System Error: *function\_name* errno is *errno*

長構文: TSNS.007 System Error: *function\_name* errno is *errno*

説明: RPC サービス・トランスポートを作成しようとしているときに、システム・エラーが発生しました。

---

### TSNS.008

レベル: UI-ERROR

短構文: TSNS.008 *function\_description* , sock number is *sock\_descriptor*, errno *err\_number*

長構文: TSNS.008 *function\_description* , sock number is *sock\_descriptor*, errno *err\_number*

説明: *sock\_descriptor* によって定義されたソケットのバイトが、指摘されたエラー番号により失敗しました。

---

### TSNS.009

レベル: CE-ERROR

短構文: TSNS.009 Unsupported RPC invoked prog=*program\_number*, vers=*version\_number*, proc=*procedure\_number*

**長構文:** TSNS.009 Unsupported RPC invoked prog=  
*program\_number*, vers= *version\_number*, proc=  
*procedure\_number*

**説明:** サポートされない RPC ルーチンを起動しよう  
としました。

**原因:** NFS クライアントが、サポートされない RPC  
ルーチンを起動しようとした。

**処置:** メッセージに指定されているプロシージャ番  
号を検査して、要求されたルーチンを判別し、その使用  
法を確認してください。最も可能性が高いのは、WRITE  
コマンドと CREATE コマンドです。

---

#### TSNS.010

**レベル:** C-INFO

**短構文:** TSNS.010 MOUNT from *ip\_addr* on directory  
*directory\_name* was successful

**長構文:** TSNS.010 MOUNT request from *ip\_addr* on  
directory *directory\_name* was successful

**説明:** 指定の IP アドレスのクライアントが正常にマウ  
ントされました。

---

#### TSNS.011

**レベル:** C-TRACE

**短構文:** TSNS.011 NFS DISPATCH received prog=  
*program\_number*, vers= *version\_number*, proc=  
*procedure\_number* ( *procedure\_name* )

**長構文:** TSNS.011 NFS DISPATCH received prog=  
*program\_number*, vers= *version\_number*, proc=  
*procedure\_number* ( *procedure\_name* )

**説明:** このメッセージは、NFS ディスパッチ・ルーチ  
ンが起動されたことを示します。

---

#### TSNS.012

**レベル:** C-TRACE

**短構文:** TSNS.012 MOUNT DISPATCH received prog=  
*program\_number*, vers= *version\_number*, proc=  
*procedure\_number* ( *procedure\_name* )

**長構文:** TSNS.012 MOUNT DISPATCH received prog=  
*program\_number*, vers= *version\_number*, proc=  
*procedure\_number* ( *procedure\_name* )

**説明:** このメッセージは、MOUNT ディスパッチ・ルー  
チンが起動されたことを示します。

---

#### TSNS.013

**レベル:** P-TRACE

**短構文:** TSNS.013 *function\_name* was invoked

**長構文:** TSNS.013 *function\_name* was invoked

**説明:** このメッセージは、指定された機能が起動され  
たことを示します。

---

#### TSNS.014

**レベル:** C-TRACE

**短構文:** TSNS.014 TRC: *message\_description*

**長構文:** TSNS.014 TRACE: *message\_description*

**説明:** デバッグの目的に使用される情報メッセージ

---

#### TSNS.015

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** TSNS.015 MOS IP Interface Failed to Come  
Up after *time* seconds

**長構文:** TSNS.015 MOS IP Interface Failed to Come  
Up after *time* seconds

**説明:** このエラーは、ルーター IP インターフェースの  
始動に失敗した場合に生成されます。

**原因:** IP インターフェースが正しく構成されていない  
か、またはハードウェア障害が存在します。

**処置:** IP 構成の定義と物理的な接続を検査してくださ  
い。

---

#### TSNS.016

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** TSNS.016 *function-name* failed with rc: *rc*,  
error: *error-description*( *error-code* )

**長構文:** TSNS.016 *function-name* failed with rc: *rc*,  
error: *error-description*( *error-code* )

**説明:** 機能へのコールが、指摘されたエラーにより失  
敗しました。これにより、NFS サーバー・スレッドが  
開始できない場合があります。

---

#### TSNS.017

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** TSNS.017 INT ERR: *function-name* failed with  
*reason*

**長構文:** TSNS.017 INT ERR: *function-name* failed with  
*reason*

説明: このエラーは、重大な内部コード問題を報告しています。

---

#### TSNS.018

レベル: UI-ERROR

短構文: TSNS.018 INT ERR: *message\_description*

長構文: TSNS.018 INT ERR: *message\_description*

説明: このエラーは、破壊されたパケットが NFS サーバーによって検出されたことを報告しています。パケットは廃棄されます。

---

#### TSNS.019

レベル: C-TRACE

短構文: TSNS.019 LOOKUP of file *filename* was received

長構文: TSNS.019 LOOKUP of file *filename* was received

説明: このメッセージは、ルックアップが実行されたファイル名を表示します。

---

#### TSNS.020

レベル: C-INFO

短構文: TSNS.020 LOOKUP by *filename* successful for file/dir ( )

長構文: TSNS.020 LOOKUP by *filename* completed successfully for file/directory ( )

説明: クライアントが、シン・サーバーに NFS ルックアップを出し、シン・サーバーは、ルックアップが要求されたファイルまたはディレクトリーをキャッシュに入れていたので、肯定応答しました。

---

#### TSNS.021

レベル: C-INFO

短構文: TSNS.021 LOOKUP by *ipaddr* for ( *filename*) discarded, TSF attempting to obtain

長構文: TSNS.021 LOOKUP by *ipaddr* for ( *filename*) has been temporarily discarded while TSF attempts to obtain the file/dir

説明: TSF がマスター・ファイル・サーバーからファイル入手しようとしていたときに、ファイル名で指定されたファイルに対する、クライアントによる NFS ルックアップ要求が廃棄されました。クライアントは、ルックアップを再試行し、それ以降の再試行は、シン・サーバーがファイル入手できるかどうかに応じて、入手

可能なファイルで応答されるか、ファイルが見付からない旨応答されます。

---

#### TSNS.022

レベル: C-INFO

短構文: TSNS.022 LOOKUP by *ipaddr* for ( *filename*) - not found because

長構文: TSNS.022 LOOKUP by *ipaddr* for file/directory ( *filename*) not found because

説明: ファイル名で指定されたファイルまたはディレクトリーに対する、クライアントによる NFS ルックアップ要求が失敗しました。

原因: ファイルはソフト・リンクです。

処置: マスター・ファイル・サーバーでハード・リンクを作成してください。

原因: ファイルが存在していません。

処置: クライアントは、存在していないファイルを要求する場合があります。ファイルがマスター・ファイル・サーバーに存在しない場合、これは正常な状態と見なされ (エラー状態ではなく)、クライアントは正常に作動します。

---

#### TSNS.023

レベル: C-INFO

短構文: TSNS.023 GETATTR by *ipaddr* for ( *filename*) successful

長構文: TSNS.023 GETATTRIBUTE by *ipaddr* for ( *filename*) successful

説明: NFS コマンド GETATTR (Get Attribute) が成功しました。

---

#### TSNS.024

レベル: UI-ERROR

短構文: TSNS.024 GETATTR by *ipaddr* for ( *filename*) failed, reason = *reason\_code*

長構文: TSNS.024 GETATTRIBUTE by *ipaddr* for ( *filename*) failed, reason = *reason\_code*

説明: 指定された理由により NFS コマンド GETATTR (Get Attribute) が失敗しました。

---

#### TSNS.025

レベル: C-INFO

短構文: TSNS.025 Starting to read file *filename* by *ipaddr*

**長構文:** TSNS.025 Starting to read file *filename* by *ipaddr*

**説明:** クライアントが、指定のファイルからの読み取りを開始しています (つまり、オフセット・ゼロから読み取り中です)。

---

#### TSNS.026

**レベル:** C-TRACE

**短構文:** TSNS.026 READ of offset ( *offset*) of file *filename* by *ipaddr* returned *amount\_read* bytes

**長構文:** TSNS.026 READ of offset ( *offset*) of file *filename* by *ipaddr* returned *amount\_read* bytes

**説明:** クライアントは、指定のファイルを読み取り中です。

---

#### TSNS.027

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** TSNS.027 READ failed for offset ( *offset*) of file *filename* by *ipaddr*, reason = *reason\_code*

**長構文:** TSNS.027 READ failed for offset ( *offset*) of file *filename* by *ipaddr*, reason = *reason\_code*

**説明:** 指定された理由により、ファイルの読み取りに失敗しました。

---

#### TSNS.028

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** TSNS.028 ReadDir for *filename* by *ipaddr* failed, reason = *reason\_code*

**長構文:** TSNS.028 ReadDir for *filename* by *ipaddr* failed, reason = *reason\_code*

**説明:** 指定された理由で、NFS コマンド Read Directory (ディレクトリーの読み取り) が失敗しました。

---

#### TSNS.029

**レベル:** C-INFO

**短構文:** TSNS.029 ReadDir for *filename* by *ipaddr* successful

**長構文:** TSNS.029 ReadDir for *filename* by *ipaddr* successful

**説明:** NFS コマンド Read Directory (ディレクトリーの読み取り) が成功しました。

---

#### TSNS.030

**レベル:** C-INFO

**短構文:** TSNS.030 ReadSymLink for *filename* by *ipaddr* successful

**長構文:** TSNS.030 ReadSymLink for *filename* by *ipaddr* successful

**説明:** NFS コマンド Read Symbolic Link (シンボリック・リンクの読み取り) が成功しました。

---

#### TSNS.031

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** TSNS.031 ReadSymLink for *filename* by *ipaddr* failed, reason = *reason\_code*

**長構文:** TSNS.031 ReadSymLink for *filename* by *ipaddr* failed, reason = *reason\_code*

**説明:** NFS コマンド Read Symbolic Link (シンボリック・リンクの読み取り) が失敗しました。

---

#### TSNS.032

**レベル:** UI\_ERROR

**短構文:** TSNS.032 MOUNT from *ipaddr* on directory *directory\_name* failed

**長構文:** TSNS.032 MOUNT request from *ipaddr* on directory *directory\_name* failed

**説明:** 取り付け要求が失敗しました。

**原因:** シン・サーバーがキャッシュに入れるように構成されているディレクトリーと、クライアントが使用するように構成されているディレクトリーの間にミスマッチがあります。

**処置:** クライアントが正しく構成されているか確認してください。

---

#### TSNS.033

**レベル:** C-INFO

**短構文:** TSNS.033 MOUNT from *ipaddr* on directory *directory\_name* failed, max mounts( *max\_mounts\_allowed*) exceeded

**長構文:** TSNS.033 MOUNT from *ipaddr* on directory *directory\_name* failed, max mounts( *max\_mounts\_allowed*) exceeded

**説明:** 接続されているすべてのクライアントによって許可される取り付けの最大数を超えたので、取り付け要求が失敗しました。

---

**TSNS.034**

レベル: C-INFO

短構文: TSNS.034 UNMOUNT from *ip\_addr* on  
directory *directory\_name*

長構文: TSNS.034 UNMOUNT from *ip\_addr* on  
directory *directory\_name*

説明: 指定されたディレクトリーについて、取り付け  
解除要求が受信されました。





---

## 第116章 シン・サーバー NFS クライアント (TSNC)

この章では、シン・サーバー NFS クライアント (TSNC) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### TSNC.001

レベル: U-INFO

短構文: TSNC.001 Starting NFS Client full Refresh

長構文: TSNC.001 Starting NFS Client full Refresh

説明: NFS クライアントは、全リフレッシュを開始しました。

---

### TSNC.002

レベル: U-INFO

短構文: TSNC.002 Completing NFS Client full Refresh

長構文: TSNC.002 Completing NFS Client full Refresh

説明: NFS クライアントは、全リフレッシュを完了しました。

---

### TSNC.003

レベル: U-INFO

短構文: TSNC.003 Refresh for Directory *host\_file\_name* will be processed (*reason*)

長構文: TSNC.003 Refresh for Directory *host\_file\_name* will be processed (*reason*)

説明: このメッセージは、リフレッシュ時に、サブディレクトリーが処理されることおよびその理由を示すために生成されます。

---

### TSNC.004

レベル: U-INFO

短構文: TSNC.004 Refresh for Directory *host\_file\_name* will be skipped (*reason*)

長構文: TSNC.004 Refresh for Directory *host\_file\_name* will be skipped (*reason*)

説明: このメッセージは、リフレッシュ時に、サブディレクトリーがスキップされることおよびその理由を示すために生成されます。

---

### TSNC.005

レベル: UI-ERROR

短構文: TSNC.005 Invalid file of type *st\_mode* (*host\_file\_name*), mode :

長構文: TSNC.005 Invalid file of type *st\_mode* (*host\_file\_name*), mode :

説明: このメッセージは、リフレッシュ時または通常ファイル、シンボリック・リンク、またはディレクトリーではない個別のファイルの更新時にファイルが検出される場合に生成されます。

---

### TSNC.006

レベル: UI-ERROR

短構文: TSNC.006 No memory to process *host\_file\_name*

長構文: TSNC.006 No memory to process *host\_file\_name*

説明: このメッセージは、シン・サーバー機能が、記憶域が使い尽くされたためにファイルまたはディレクトリーを処理できない場合に生成されます。

原因: マスター・ファイル・サーバーは、1998年8月の修正レベル以前の NSM コードが導入されている NT サーバーです。

処置: NSM コードを更新してください。

---

### TSNC.007

レベル: U-INFO

短構文: TSNC.007 Refresh for File *host\_file\_name* will be processed

長構文: TSNC.007 Refresh for File *host\_file\_name* will be processed

説明: このメッセージは、リフレッシュ時に生成されて、ファイルが処理されることを示します。

---

**TSNC.008**

レベル: U-INFO

短構文: TSNC.008 Refresh for File *host\_file\_name* is complete

長構文: TSNC.008 Refresh for File *host\_file\_name* is complete

説明: このメッセージは、ファイルの更新が完了した場合に生成されます。

---

**TSNC.009**

レベル: U-INFO

短構文: TSNC.009 Refresh for File *host\_file\_name* will be skipped ( *reason* )

長構文: TSNC.009 Refresh for File *host\_file\_name* will be skipped ( *reason* )

説明: このメッセージは、リフレッシュ時に生成されて、ファイルがスキップされることを示します。

---

**TSNC.010**

レベル: UI-ERROR

短構文: TSNC.010 OpenFile call for *file\_name* returned *error\_description*( *error\_code* )

長構文: TSNC.010 OpenFile call for *file\_name* returned *error\_description*( *error\_code* )

説明: NFS クライアントは、ハード・ディスク上の *host\_file\_name* のキャッシュ・コピーをオープンできませんでした。

原因: TSDK\_NO\_CANT\_WRITE

処置: キャッシュされるファイルが多過ぎます。ルーター上に利用可能な記憶域を十分に確保するか、もしくは構成を調整してキャッシュ・ファイルの数を減らしてください。

原因: その他のコード

処置: 内部コード・エラーが発生しました。

---

**TSNC.011**

レベル: UI-ERROR

短構文: TSNC.011 *nfs\_proc* call for *host\_file\_name* returned *error\_description*( *error\_code* )

長構文: TSNC.011 *nfs\_proc* call for *host\_file\_name* returned *error\_description*( *error\_code* )

説明: マスター・ファイル・サーバー上のファイルにアクセスしているときに問題が発生しました。

原因: NFSERR\_PERM, NFSERR\_ACCES, MNT\_EPERM, MNT\_EACCESS

処置: アクセス中のファイルによっては、シン・サーバーがそのファイルへのアクセス権をもたないようにアクセス権が設定されている場合があります。ファイルをシン・サーバーからアクセス可能にするには、ファイル上のアクセス権を訂正してください。

原因: NFSERR\_NOENT, MNT\_ENOENT, NFSERR\_EXIST

処置: ファイルがマスター・ファイル・サーバー上に存在していません。これは、マスター・ファイル・サーバー上で NFS デーモンまたは Mount デーモンの操作に失敗したことを示す場合があります。Talk 5 または SNMP で REFRESH コマンドを使用して、新たにリフレッシュを強制します。エラーが引き続き発生する場合は、マスター・ファイル・サーバーの動作を検査してください。

原因: NFSERR\_IO, NFSERR\_NXIO

処置: マスター・ファイル・サーバーで入出力エラーが発生しました。マスター・ファイル・サーバーが正しく動作するか検査してください。

原因: NFSERR\_NOTDIR, NFSERR\_ISDIR, NFSERR\_STALE

処置: リフレッシュまたは単一ファイル更新の進行中に、マスター・ファイル・サーバーでファイルが変更されました。マスター・ファイル・サーバー上のファイル更新が完了した後、Talk 5 または SNMP で REFRESH コマンドを使用して、新たにリフレッシュを強制してください。

原因: NFS クライアントの操作が利用不可能です。

処置: マスター・ファイル・サーバーが正しく機能していません。NFS デーモンおよび Mount デーモンが実行中であり、正しく構成されています。

原因: NFS クライアントの操作がタイムアウトになりました。

処置: タイムアウトにより、NFS クライアントの再試行回数を使い尽くしました。マスター・ファイル・サーバーへの接続が作動可能であるか、およびマスター・ファイル・サーバー自体が作動可能であることを確認してください。

原因: その他

処置: マスター・ファイル・サーバーが正しく動作するか検査してください。

---

## TSNC.012

レベル: UI-ERROR

短構文: TSNC.012 Update File for *host\_file\_name* returned *error\_description( error\_code)*

長構文: TSNC.012 Update File for *host\_file\_name* returned *error\_description( error\_code)*

説明: NFS クライアントは、キャッシュ・ファイルを更新できませんでした。

処置: キャッシュ・ファイルがスペースを使い過ぎています。ハード・ディスクを使用していない場合は、キャッシュに使用する記憶域の量を増やしてください。これが不可能な場合、あるいはハード・ディスクを使用している場合は、構成を変更して、キャッシュするファイルの数を減らしてください。Talk 5 からのフラッシュも、使われなくなったファイルを除去するのに役立つ場合があります。

原因: その他のエラー

処置: 内部コード・エラーが発生しました。

---

## TSNC.013

レベル: UI-ERROR

短構文: TSNC.013 *file\_operation* of *host\_file\_name* at Offset *file\_offset* returned *error\_description( error\_code)*

長構文: TSNC.013 *file\_operation* of *host\_file\_name* at Offset *file\_offset* returned *error\_description( error\_code)*

説明: マスター・ファイル・サーバー上のファイルにアクセスしているときに問題が発生しました。TSNC\_11の原因および処置を参照してください。

---

## TSNC.014

レベル: UI-ERROR

短構文: TSNC.014 WriteFileRequest call for *host\_file\_name* returned *error\_description( error\_code)*

長構文: TSNC.014 WriteFileRequest call for *host\_file\_name* returned *error\_description( error\_code)*

説明: このメッセージは、シン・サーバー・キャッシュへの書き込みに失敗した場合に生成されます。

原因: TSDK\_CACHE\_WRITE\_ERROR

処置: シン・サーバーはハード・ディスクを使用しておらず、指定のファイルのキャッシュ内の記憶域が使い尽くされました。

原因: TSDK\_SCHED\_CANCELED

処置: リスタートまたは他のアクションが原因で、フ

ァイルの更新が中断されました。処置は必要ありません。次回のリフレッシュ時にファイルは回復されます。

原因: TSDK\_DISK\_IO\_ERROR

処置: ファイルをハード・ディスクに書き込み中に、ディスク入出力エラーが発生しました。ハード・ディスクが破壊されていないことを確認してください。

原因: その他のエラー

処置: 内部コード・エラーが発生しました。

---

## TSNC.015

レベル: UI-ERROR

短構文: TSNC.015 LookupNode call for *host\_file\_name* returned *error\_description( error\_code)*

長構文: TSNC.015 LookupNode call for *host\_file\_name* returned *error\_description( error\_code)*

説明: NFS クライアントは、シン・サーバー・キャッシュ内のファイル名を解決することができませんでした。これは内部コード・エラーです。

---

## TSNC.016

レベル: UI-ERROR

短構文: TSNC.016 Resolve for *host\_file\_name* returned *error\_description( error\_code)*

長構文: TSNC.016 Resolve for *host\_file\_name* returned *error\_description( error\_code)*

説明: このメッセージは、NFS クライアントがマスター・ファイル・サーバー上のファイル名を解決しようとしている場合に生成されます。

原因: NFSERR\_NOENT

処置: ファイルが "Yes, include sub-directories" ディレクトリから要求されていましたが、マスター・ファイル・サーバー上に存在していません。ファイルがマスター・ファイル・サーバー上に存在すると想定されている場合は、シン・サーバーがファイルへのアクセス権を持っているか確認してください。

原因: NFSERR\_PERM, NFSERR\_ACCES, MNT\_EPERM, MNT\_EACCESS

処置: アクセス中のファイルによっては、シン・サーバーがそのファイルへのアクセス権をもたないようにアクセス権が設定されている場合があります。ファイルがシン・サーバーからアクセス可能にするには、ファイル上のアクセス権を訂正してください。

原因: MNT\_ENOENT, NFSERR\_EXIST

処置: ファイルがマスター・ファイル・サーバー上に

存在していません。これは、マスター・ファイル・サーバー上で NFS デーモンまたは Mount デーモンの操作に失敗したことを示す場合があります。Talk 5 または SNMP で REFRESH コマンドを使用して、新たにリフレッシュを強制します。エラーが引き続き発生する場合は、マスター・ファイル・サーバーの動作を検査してください。

**原因:** NFSERR\_IO, NFSERR\_NXIO

**処置:** マスター・ファイル・サーバーで入出力エラーが発生しました。マスター・ファイル・サーバーが正しく動作するか検査してください。

**原因:** NFSERR\_NOTDIR, NFSERR\_ISDIR, NFSERR\_STALE

**処置:** リフレッシュまたは単一ファイル更新の進行中に、マスター・ファイル・サーバーでファイルが変更されました。マスター・ファイル・サーバー上のファイル更新が完了した後、Talk 5 または SNMP で REFRESH コマンドを使用して、新たにリフレッシュを強制してください。

**原因:** NFS クライアントの操作が利用不可能です。

**処置:** マスター・ファイル・サーバーが正しく機能していません。NFS デーモンおよび Mount デーモンが実行中であり、正しく構成されています。

**原因:** NFS クライアントの操作がタイムアウトになりました。

**処置:** タイムアウトにより、NFS クライアントの再試行回数を使い尽くしました。マスター・ファイル・サーバーへの接続が作動可能であるか、およびマスター・ファイル・サーバー自体が作動可能であることを確認してください。

**原因:** TSDK\_NO\_TOO\_MANY\_NODES

**処置:** キャッシュされているファイルが多過ぎるか、あるいはすべてのサブディレクトリー内のすべてのファイルをキャッシュするように構成されたディレクトリーの中に存在するディレクトリーの数が多過ぎます。構成を変更して、キャッシュするファイルまたはディレクトリーの数を減らしてください。Talk 5 からのフラッシュも、使われなくなったファイルを除去するのに役立つ場合があります。

**原因:** その他のエラー

**処置:** 内部コード・エラーが発生しました。

---

## TSNC.017

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** TSNC.017 WriteFileRequest call for

*host\_file\_name* returned errno *error\_description*(*error\_code*)

**長構文:** TSNC.017 WriteFileRequest call for *host\_file\_name* returned errno *error\_description*(*error\_code*)

**説明:** ファイルをキャッシュに書き込み中に、ディスク入出力エラーが発生しました。ハード・ディスクが破壊されている可能性があります。

---

## TSNC.018

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** TSNC.018 AddDirectory for *host\_file\_name* returned *error\_description*(*error\_code*)

**長構文:** TSNC.018 AddDirectory for *host\_file\_name* returned *error\_description*(*error\_code*)

**説明:** このメッセージは、NFS クライアントがシン・サーバー上に、マスター・ファイル・サーバー上のディレクトリーに対応するディレクトリーを作成できない場合に生成されます。

---

## TSNC.019

**レベル:** C-TRACE

**短構文:** TSNC.019 TRC: *trace\_message*

**長構文:** TSNC.019 TRACE: *trace\_message*

**説明:** このメッセージは、NFS クライアントで内部トレースが使用されている場合に生成されます。

---

## TSNC.020

**レベル:** C-INFO

**短構文:** TSNC.020 Create Incl Dir *include\_directory*, sub-dirs: *local\_directory*

**長構文:** TSNC.020 Create Include Directory *include\_directory*, include sub-directories: *local\_directory*

**説明:** このメッセージは、構成が処理されたときに生成されます。

---

## TSNC.021

**レベル:** U-INFO

**説明:** 1 次 (2 次) マスター・サーバーが使用されています。

---

---

## TSNC.022

レベル: UI-ERROR

短構文: TSNC.022 INT ERR: *function* for *object* returned *error\_description( error\_code)*

長構文: TSNC.022 INTERNAL ERROR: *function* for *object* returned *error\_description( error\_code)*

説明: このメッセージは、NFS クライアントで内部エラーが発生した場合に生成されます。

---

## TSNC.023

レベル: UE-ERROR

短構文: TSNC.023 *action ( host\_file\_name)* failed, too many nodes: *num\_files* files, *num\_links* sym lnks, *num\_dirs* dirs, *num\_other* other, TOT: *num\_total* nodes

長構文: TSNC.023 *action ( host\_file\_name)* failed, too many nodes: *num\_files* files, *num\_links* symbolic links, *num\_dirs* directories, *num\_other* other, TOTAL: *num\_total* nodes

説明: シン・サーバー・フィーチャー NFS ディレクトリー・ノード構造が充てんし、追加ファイルまたはディレクトリーのための余地はありません。構成を変更し、ファイルがキャッシュに入れられ、また (あるいは) キャッシュ・ファイルをフラッシュするディレクトリーの数を減らし、必要ではなくなった認知ファイルを取り外します。

原因: 多数の「その他」のファイル

処置: ホスト上に存在しないファイルが要求されるごとに、そのためにノード項目が作成され、NFS クライアントに対する応答時間を改善します。これらが多数あることは、クライアントが不適切に構成されていることを示唆します。キャッシュをフラッシュし、これらの項目を取り除きます。

---

## TSNC.024

レベル: C-INFO

短構文: TSNC.024 Update check *host\_file\_name*

長構文: TSNC.024 Update check *host\_file\_name*

説明: このメッセージは、ネットワーク・ステーションがファイルにアクセスするときに生成されます。NFS クライアントは、ファイルが最新のものであるかどうかを検査します。そのファイルが存在するディレクトリーが、すべてのサブディレクトリーが含まれている構成済みの組み込みディレクトリーによって指定されるディレクトリー・ツリーの一部を構成している場合、必要であれば、ファイルはキャッシュに追加されます。

---

## TSNC.025

レベル: CE-ERROR

短構文: TSNC.025 RESERVED *x*

長構文: TSNC.025 RESERVED *x*

説明: 予約済み

---

## TSNC.026

レベル: UE-ERROR

短構文: TSNC.026 RESERVED *x*

長構文: TSNC.026 RESERVED *x*

説明: 予約済み

---

## TSNC.027

レベル: UE-ERROR

短構文: TSNC.027 RPC Error in *function* is *error\_description( error\_code)*, *additional\_description( additional\_code, additional\_code)*

長構文: TSNC.027 RPC Error in *function* is *error\_description( error\_code)*, *additional\_description( additional\_code, additional\_code)*

説明: このメッセージは RPC のコールが失敗したときに生成されます。

原因: 結果を復号できず、RPC のバージョンが互換性をもたず、サーバーが引き数を復号できず、ポートマップが失敗し、プログラムが登録されません。

処置: マスター・ファイル・サーバーが無効な応答を返しました。マスター・ファイル・サーバーが正しいサーバー・ソフトウェアを実行しているか確認します。

原因: 送信できず、受信できず、ホストが不明で、プロトコルが不明

処置: マスター・ファイル・サーバーへの通信に問題がある可能性があります。使用中の IP インターフェースが作動可能であるか確認してください。

原因: タイムアウトになりました。

処置: 操作がタイムアウトになりました。少数のタイムアウトが予期されます。発生するタイムアウトの回数が多過ぎる場合は、マスター・ファイル・サーバーへの接続を検査してください。

原因: 認証エラー

処置: マスター・ファイル・サーバーによっては、シン・サーバー用の名前を解決できなければならないものがあります。シン・サーバーが、マスター・ファイル・サーバーに接続するために使用されるインターフェース



上の IP アドレスに対して、ドメイン名サーバー内にエントリーをもたない場合は、マスター・ファイル・サーバーの "hosts" ファイルにエントリーを追加ことができます。

**原因:** プログラムが利用不可能、プログラム/バージョンがミスマッチ、プロシージャーが利用不可能

**処置:** ポート Mapper・デーモン、NFS デーモン、または Mount デーモンがマスター・ファイル・サーバー上で実行されていません。それらのデーモンが実行され、正しく構成されているか確認してください。

**原因:** リモート・システムのエラー

**処置:** マスター・ファイル・サーバー上で何らかの種類のエラーが発生しました。マスター・ファイル・サーバーが正しく動作しているか確認してください。

**原因:** その他

**処置:** 内部エラーが発生しました。

---

### TSNC.028

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** TSNC.028 Include directory *directory* could not be resolved because *reason*

**長構文:** TSNC.028 Include directory *directory* could not be resolved because *reason*

**説明:** このメッセージは、構成済みの組み込みディレクトリーの 1 つを、マスター・ファイル・サーバーによってエクスポートされた有効なマウントに解決できなかった場合に生成されます。

**原因:** エクスポートされた nfs ディレクトリーがない。

**処置:** マスター・ファイル・サーバーが必要なディレクトリーをエクスポートしていること、およびシン・サーバーがそれらに対するアクセスを持っていることを確認してください。

**原因:** 一致したエクスポートがない。

**処置:** 組み込みディレクトリーが正しく構成されていること、および正しいマスター・ファイル・サーバーが構成されていることを確認してください。ファイル名は大文字小文字を区別することにも注意してください。

---

### TSNC.029

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** TSNC.029 NFS Client initialization failed because *function* returned *error\_description*( *error\_code*)

**長構文:** TSNC.029 NFS Client initialization failed because *function* returned *error\_description*( *error\_code*)

**992** ELS メッセージの手引き

**説明:** このエラーは、シン・サーバー NFS クライアントが内部エラーのために初期化に失敗した場合に報告されます。

---

### TSNC.030

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** TSNC.030 Failed to connect to Master File Server *daemon* daemon, error *error\_description*

**長構文:** TSNC.030 Failed to connect to Master File Server *daemon* daemon, error *error\_description*

**説明:** このエラーが報告されるのは、NFS がマスター・ファイル・サーバー上で Mount デーモンまたは NFS デーモンへの接続に失敗した場合です。

---

### TSNC.031

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** TSNC.031 No exported directories on master server

**長構文:** TSNC.031 No exported directories on master server

**説明:** このエラーは、マスター・サーバーに上にエクスポートされたディレクトリーが存在しない場合に報告されます。

---

### TSNC.032

**レベル:** U-INFO

**短構文:** TSNC.032 *function* failed, retrying *count* of *maximum* times

**長構文:** TSNC.032 *function* failed, retrying *count* of *maximum* times

**説明:** このエラーは、NFS クライアントが動作を再試行中であることを示すために報告されます。

---

## 第117章 シン・サーバー RFS クライアント (TSRC)

この章では、シン・サーバー RFS クライアント (TSRC) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### TSRC.001

レベル: UI-ERROR

短構文: TSRC.001 *generic\_string*

長構文: TSRC.001 *generic\_string*

説明: これは、指定されたエラーを報告する総称 RFS クライアント・エラー・メッセージです。

---

### TSRC.004

レベル: UI-ERROR

短構文: TSRC.004 ERROR: (errno= *error\_number*):  
*error\_number\_string*

長構文: TSRC.004 ERROR: (errno= *error\_number*):  
*error\_number\_string*

説明: これは、指定のエラー番号に関連した文字列の説明を報告する、総称 RFS クライアント・エラー・メッセージです。

---

### TSRC.005

レベル: UI-ERROR

短構文: TSRC.005 *function\_name*() call failed rc=  
*return\_code* errno= *error\_number*

長構文: TSRC.005 *function\_name*() call failed rc=  
*return\_code* errno= *error\_number*

説明: 指定された機能コールが失敗しました。障害が起きた機能コールからの戻りコードと障害時のエラー番号が示されています。

---

### TSRC.006

レベル: UI-ERROR

短構文: TSRC.006 *function\_name*() call failed rc=  
*return\_code*

長構文: TSRC.006 *function\_name*() call failed rc=  
*return\_code*

説明: 指定された機能コールが失敗しました。失敗した機能からの戻りコードが示されています。

---

### TSRC.007

レベル: UI-ERROR

短構文: TSRC.007 Bad RC on *function\_name* rc=  
*return\_code* errno= *error\_number*

長構文: TSRC.007 Bad return code on *function\_name*  
rc= *return\_code* errno= *error\_number*

説明: 指定の *function\_name* がよくない戻りコードを戻しました。障害が起きた機能コールからの戻りコードと障害時のエラー番号が示されています。

---

### TSRC.008

レベル: UI-ERROR

短構文: TSRC.008 ERROR: Bad RC from  
*function\_name* (rc: *return\_code* )

長構文: TSRC.008 ERROR: Bad return code from  
*function\_name* (rc: *return\_code* )

説明: 指定の機能コールがよくない戻りコードを戻しました。指定の機能コールから受信した戻りコードが示されています。

---

### TSRC.009

レベル: C-INFO

短構文: TSRC.009 *generic\_string*

長構文: TSRC.009 *generic\_string*

説明: これは、情報テキスト・ストリングを印刷するのに使用される、総称 RFS 情報メッセージです。

---

### TSRC.010

レベル: C-INFO

短構文: TSRC.010 The connection to the Primary  
Master Server . Switching to Secondary Master Server

長構文: TSRC.010 The connection to the Primary  
Master Server . Switching to Secondary Master Server

説明: 1 次マスター・サーバーとの接続に失敗しました。2 次マスター・サーバーに切り替えます。これは、選択が自動になっており、1 次マスター・サーバーがオフ・ラインの場合には正常なメッセージです。

---

**TSRC.011**

レベル: C-INFO

短構文: TSRC.011 The connection to the Secondary Master Server failed.

長構文: TSRC.011 The connection to the Secondary Master Server failed.

説明: 2 次マスター・サーバーとの接続に失敗しました。選択は自動です。

---

**TSRC.015**

レベル: C-INFO

短構文: TSRC.015 INFO: About to enter: *function\_name*

長構文: TSRC.015 INFO: About to enter: *function\_name*

説明: この情報メッセージは、指定された機能が起動されようとしていることを示します。

---

**TSRC.016**

レベル: C-INFO

短構文: TSRC.016 Starting func *function\_name*()

長構文: TSRC.016 Starting function *function\_name*()

説明: このメッセージは、指定の機能の開始時に生成されます。現在、指定されたルーチン内にいることを示しています。

---

**TSRC.017**

レベル: C-INFO

短構文: TSRC.017 The *function\_name* call completed ok

長構文: TSRC.017 The *function\_name* call completed successfully

説明: 指定の機能コールが正常に完了しました。

---

**TSRC.018**

レベル: C-INFO

短構文: TSRC.018 RFS client thread is terminating

長構文: TSRC.018 RFS client thread is terminating

説明: RFS クライアント・スレッドを終了中です。

原因: これが起る最も一般的な状況は、ユーザーが手でシン・サーバー機能の使用不可にしたか、リスタートした場合です。回復不可能な例外エラー状態が検出された場合にも、RFS クライアント・スレッドが終了することがあります。

---

---

**TSRC.019**

レベル: UE-ERROR

短構文: TSRC.019 ERROR: Rply is NOT *expected\_reply\_id* (ReqRplyID: *received\_reply\_id*)

長構文: TSRC.019 ERROR: Reply is NOT *expected\_reply\_id* (ReqRplyID: *received\_reply\_id*)

説明: RFS クライアントは、マスター RFS ファイル・サーバーから予期しない応答を受信しました。予想していた識別子と受信した識別子が示されています。

---

**TSRC.020**

レベル: UE-ERROR

短構文: TSRC.020 ERROR: *rfs\_reply\_msg* rply does NOT have a matching correlation id (req cid: *request\_cid* rply cid: *reply\_cid*)

長構文: TSRC.020 ERROR: *rfs\_reply\_msg* reply does NOT have a matching correlation id (request cid: *request\_cid* reply cid: *reply\_cid*)

説明: RFS クライアントは RFS 応答を受信しましたが、最後の要求で送信した相関識別子と一致していませんでした。

---

**TSRC.021**

レベル: UI-ERROR

短構文: TSRC.021 ERROR: on *rfs\_request\_msg* req write() (rc= *return\_code* errno= *error\_number*)

長構文: TSRC.021 ERROR: on *rfs\_request\_msg* request write() (rc= *return\_code* errno= *error\_number*)

説明: 指定の RFS クライアント要求コマンドをマスター RFS ファイル・サーバー・ソケット・ストリームに書き込んでいるときに、エラーが発生しました。write() からの戻りコードとエラー検出時のスレッド特定エラー番号の両方が示されています。

---

**TSRC.022**

レベル: UI-ERROR

短構文: TSRC.022 ERROR: *rfs\_request\_msg* rply read() failed (rc= *return\_code* errno= *error\_number*)

長構文: TSRC.022 ERROR: *rfs\_request\_msg* reply read() failed (rc= *return\_code* errno= *error\_number*)

説明: 指定の RFS クライアント応答をマスター RFS ファイル・サーバー・ソケット・ストリームから読み取っているときに、エラーが発生しました。read() からの

戻りコードとエラー検出時のスレッド特定エラー番号の両方が示されています。

---

### TSRC.023

レベル: UE-ERROR

短構文: TSRC.023 ERROR: *rfs\_reply\_msg* rply is too small (bytes read: *num\_bytes\_read*)

長構文: TSRC.023 ERROR: *rfs\_reply\_msg* reply is too small (bytes read: *num\_bytes\_read*)

説明: RFS クライアントは、予想より小さい RFS 応答を受け取りました。実際に読み取られたバイト数が示されています。

---

### TSRC.024

レベル: CE-ERROR

短構文: TSRC.024 ERROR: File *pathname* not found on master RFS file server

長構文: TSRC.024 ERROR: File *pathname* not found on master RFS file server

説明: 指定されたファイルが、マスター RFS ファイル・サーバー上で見付かりませんでした。

原因: 指定のファイルがマスター RFS ファイル・サーバー上に存在しない。

処置: 指定のファイルをマスター RFS ファイル・サーバー上に置いてください。

原因: 指定のファイルはプリロード・リストに含まれているが、シン・サーバー・キャッシュのためには必要ない。

処置: 指定のファイルをプリロード・リストから除去してください。

---

### TSRC.025

レベル: UE-ERROR

短構文: TSRC.025 ERROR: *rfs\_reply\_msg* rply has a trunc header (bytes read: *num\_bytes\_read*)

長構文: TSRC.025 ERROR: *rfs\_reply\_msg* reply has a truncated header (bytes read: *num\_bytes\_read*)

説明: RFS クライアントはマスター RFS ファイル・サーバーから RFS 応答を受信しましたが、ヘッダーが切り捨てられていました。

---

### TSRC.026

レベル: UE-ERROR

短構文: TSRC.026 ERROR: Unexpected rply to *rfs\_reply\_msg* req (ReqRplyId: *reply\_id*)

長構文: TSRC.026 ERROR: Unexpected reply to *rfs\_reply\_msg* request (ReqRplyId: *reply\_id*)

説明: RFS クライアントは、マスター RFS ファイル・サーバーから、指定の RFS 要求に対する予期しない RFS 応答を受信しました。

原因: (OpenNode 要求の場合): RFS クライアントは、マスター RFS ファイル・サーバーからファイルを取り出すための十分な許可を持っていません。

処置: マスター RFS ファイル・サーバー上のファイルに関する許可を変更して、QTFTP というユーザー ID がファイルにアクセスできるようにしてください。

---

### TSRC.027

レベル: C-INFO

短構文: TSRC.027 Received portmapper resp ( *response\_character*) port: *port\_number*

長構文: TSRC.027 Received portmapper response ( *response\_character*) port: *port\_number*

説明: RFS クライアントは、マスター RFS ファイル・サーバーのポートマッパー・デーモンから、指定のポートマッパー応答を受信しました。

---

### TSRC.028

レベル: C-INFO

短構文: TSRC.028 *rfs\_request\_msg* req sent ok ( *num\_bytes\_sent* bytes sent)

長構文: TSRC.028 *rfs\_request\_msg* request sent successfully ( *num\_bytes\_sent* bytes sent)

説明: RFS クライアントは、指定の RFS 要求をマスター RFS ファイル・サーバーに正常に送信しました。

---

### TSRC.029

レベル: C-INFO

短構文: TSRC.029 RC from *rfs\_reply\_msg* is ok

長構文: TSRC.029 Return Code from *rfs\_reply\_msg* is ok

説明: RFS クライアントが指定の機能コールから受信した戻りコードは OK でした。

---

**TSRC.030**

レベル: C-INFO

短構文: TSRC.030 *rfs\_reply\_msg* rply looks ok (*num\_bytes\_received* bytes received)

長構文: TSRC.030 *rfs\_reply\_msg* reply looks ok (*num\_bytes\_received* bytes received)

説明: RFS クライアントは、マスター RFS ファイル・サーバーからの指定の応答で、予期したバイト数を受け取りました。受信したバイト数とともに応答のタイプが示されています。

---

**TSRC.031**

レベル: C-INFO

短構文: TSRC.031 RC from DS\_RC rply: *return\_code\_in\_msg*

長構文: TSRC.031 Return Code contained in DS\_RC rply: *return\_code\_in\_msg*

説明: 指定の戻りコードが、マスター RFS ファイル・サーバーからの DS\_RC RFS 応答で戻されました。

原因: DS\_RC は、RFSファイル・サーバーが RFS 要求に回答して RFS クライアントに戻りコードを戻すのに使用する戻りコード・データ構造です。この戻りコードに関する追加情報が、RFS 仕様に含まれている場合があります。

---

**TSRC.032**

レベル: C-INFO

短構文: TSRC.032 Remote/local timestamp match; thus file *pathname* will not be downloaded.

長構文: TSRC.032 Remote/local timestamp match; thus file *pathname* will not be downloaded.

説明: キャッシュ内の指定のファイルのキャッシュ・エントリーのタイム・スタンプが、マスター RFS ファイル・サーバー上のファイルのタイム・スタンプに一致しています。このファイルのキャッシュ・エントリーは最新のものなので、ファイルはダウンロードされません。

---

**TSRC.033**

レベル: C-INFO

短構文: TSRC.033 Remote/local timestamp mismatch; thus file *pathname* will be downloaded.

長構文: TSRC.033 Remote/local timestamp mismatch; thus file *pathname* will be downloaded.

説明: キャッシュ内の指定のファイルのキャッシュ・エントリーのタイム・スタンプが、マスター RFS ファイル・サーバー上のファイルのタイム・スタンプに一致していません。このファイルのキャッシュ・エントリーは最新ではないので、ファイルがダウンロードされません。

---

**TSRC.034**

レベル: UE-ERROR

短構文: TSRC.034 ERROR: StartServerReply reported bad primary RC: *primary\_return\_code*

長構文: TSRC.034 ERROR: StartServerReply reported bad primary return code: *primary\_return\_code*

説明: RFS クライアントは、マスター RFS サーバーからよくない 1 次戻りコードが入っている StartServerReply メッセージを受信しました。

原因: RFS ファイル・サーバーは、マスター・サーバー上で正常に開始されませんでした。

処置: マスター・サーバーのエラー・ログを検査して、このエラー状態の詳しい情報を調べ、適切な処置を取ってください。

---

**TSRC.035**

レベル: C-INFO

短構文: TSRC.035 StartServerReply primary RC indicates success

長構文: TSRC.035 StartServerReply primary return code indicates success

説明: RFS クライアントは、マスター RFS サーバーから正常な 1 次戻りコードが入っている StartServerReply メッセージを受信しました。

---

**TSRC.036**

レベル: C-INFO

短構文: TSRC.036 File length returned on Lookup rply: *file\_length*

長構文: TSRC.036 File length returned on Lookup rply: *file\_length*

説明: RFS クライアントは、マスター RFS ファイル・サーバーから、指定のファイル長を持つルックアップ応答を受け取りました。



---

**TSRC.037**

レベル: C-INFO

短構文: TSRC.037 Checking state of master RFS file server connection

長構文: TSRC.037 Checking state of master RFS file server connection

説明: RFS クライアントは、RFS マスター・マスター・ファイルの接続状態を検査しています。

---

**TSRC.038**

レベル: C-INFO

短構文: TSRC.038 Establishing communication with master RFS file server

長構文: TSRC.038 Establishing communication with master RFS file server

説明: RFS クライアントは、マスター RFS ファイル・サーバーとの通信を確立中です。

---

**TSRC.039**

レベル: C-INFO

短構文: TSRC.039 Disconnected from master RFS file server

長構文: TSRC.039 Disconnected from master RFS file server

説明: RFS クライアントは、マスター RFS ファイル・サーバーから切断しました。

---

**TSRC.040**

レベル: C-INFO

短構文: TSRC.040 *handle\_name* Handle: *handle\_value*

長構文: TSRC.040 *handle\_name* Handle: *handle\_value*

説明: RFS クライアントは、指定のハンドルの値を報告しています。マスター RFS ファイル・サーバーは、ルックアップ・ファイル・ハンドルとオープン・ファイル・ハンドルの両方を戻します。

---

**TSRC.041**

レベル: C-INFO

短構文: TSRC.041 File handle returned on *parameter\_name* rply: *reply\_name*

長構文: TSRC.041 File handle returned on *parameter\_name* reply: *reply\_name*

---

説明: RFS クライアントは、指定の応答 (マスター RFS ファイル・サーバーからの) から受け取ったハンドルの値を報告しています。

---

**TSRC.042**

レベル: C-INFO

短構文: TSRC.042 *reply\_name* has correct syntax

長構文: TSRC.042 *reply\_name* has correct syntax

説明: RFS クライアントは、指定の応答の構文が正しいことを報告しています。

---

**TSRC.043**

レベル: UI-ERROR

短構文: TSRC.043 Failed ASCII->UNICODE *variable\_name* conversion of *ascii\_string*; conv\_rc=*conversion\_return\_code*

長構文: TSRC.043 Failed ASCII->UNICODE *variable\_name* conversion of *ascii\_string*; conv\_rc=*conversion\_return\_code*

説明: 指定の ASCII 文字列の ASCII->UNICODE 変換が、指定の戻りコードにより失敗しました。

---

**TSRC.044**

レベル: C-INFO

短構文: TSRC.044 Successful ASCII->UNICODE *variable\_name* conversion of *ascii\_string*

長構文: TSRC.044 Successful ASCII->UNICODE *variable\_name* conversion of *ascii\_string*

説明: 指定の ASCII 文字列の ASCII->UNICODE 変換が成功しました。

---

**TSRC.045**

レベル: CE-ERROR

短構文: TSRC.045 ERROR: Unable to connect to master RFS server

長構文: TSRC.045 ERROR: Unable to connect to master RFS server

説明: RFS クライアントはマスター RFS ファイル・サーバーに接続できません。

原因: この症状がよく見られるのは、ネットワークに問題がある場合、またはマスター RFS サーバー・デーモンが実行されていない場合です。

処置: マスター RFS サーバーとの接続を検査してください (たとえば、ping または traceroute を使用して)。

---



マスター RFS サーバーのサブシステム・プロセスが実行されていることを確認してください。問題が解消されない場合は、マスター・サーバー上の RFS サーバーのサブシステム・プロセスを停止し、リスタートしてみてください。

---

#### TSRC.046

レベル: CE-ERROR

短構文: TSRC.046 Aborted Connection Retry: Exceeded the maximum number of retry attempts

長構文: TSRC.046 Aborted Connection Retry: Exceeded the maximum number of retry attempts

説明: RFS クライアントは、マスター RFS ファイル・サーバーとの接続を何度も試みましたが、断念しました。

原因: この症状がよく見られるのは、ネットワークに問題がある場合、またはマスター RFS ファイル・サーバー・デーモンが実行されていない場合です。

処置: マスター RFS ファイル・サーバーとの接続を検査してください (たとえば、ping または traceroute を使用して)。マスター RFS ファイル・サーバーのサブシステム・プロセスが実行されていることを確認してください (たとえば、wrksbs を使用して)。

処置: 問題が解消されない場合は、(AS/400) マスター・サーバー上の RFS ファイル・サーバーおよび TCP/IP サブシステム・プロセスを停止し、リスタートしてみてください。

処置: 問題が引き続き発生する場合は、ルーターのシン・サーバー機能をリスタートしてください。

処置: 問題が引き続き発生する場合は、ルーターをリスタートしてください。

---

#### TSRC.047

レベル: UI-ERROR

短構文: TSRC.047 Warning: RFS Server connection status is not valid

長構文: TSRC.047 Warning: RFS Server connection status is not valid

説明: RFS クライアントは、無効な RFS サーバー接続状況を検出しました。

---

#### TSRC.048

レベル: UI-ERROR

短構文: TSRC.048 seedrply is not valid

長構文: TSRC.048 seedrply is not valid

説明: RFS クライアントは、無効な seedrply を検出しました。

---

#### TSRC.049

レベル: C-INFO

短構文: TSRC.049 Attempting to connect to *ip\_address* (port *port\_number*)

長構文: TSRC.049 Attempting to connect to *ip\_address* (port *port\_number*)

説明: RFS クライアントは、指定の IP アドレスとポート番号で、マスター・サーバーへの接続を試みています。

---

#### TSRC.050

レベル: C-INFO

短構文: TSRC.050 Connected to the AS/400 master RFS file server (as-file) thread

長構文: TSRC.050 Connected to the AS/400 master RFS file server (as-file) thread

説明: RFS クライアントは、AS/400 のマスター RFS ファイル・サーバー (as-file) スレッドに正常に接続されました。

---

#### TSRC.051

レベル: C-INFO

短構文: TSRC.051 Initializing *socket\_descriptor* to port *port\_number*, family *family\_number*

長構文: TSRC.051 Initializing *socket\_descriptor* to port *port\_number*, family *family\_number*

説明: RFS クライアントは、指定のソケット記述子を、指定のポートとファミリー番号に初期設定していません。

---

#### TSRC.052

レベル: C-INFO

短構文: TSRC.052 Sending req to obtain portnumber for: *server\_process*

長構文: TSRC.052 Sending request to obtain portnumber for: *server\_process*

説明: RFS クライアントは、指定のサーバー・プロセスのポート番号を入手するために、AS/400 のポートマップパーに要求を出しています。

---

**TSRC.053**

レベル: C-INFO

短構文: TSRC.053 Connected to the AS/400 portmapper server thread

長構文: TSRC.053 Connected to the AS/400 portmapper server thread

説明: RFS クライアントは、AS/400 のポートマッパー・サーバー・スレッドに正常に接続されました。

---

**TSRC.054**

レベル: C-INFO

短構文: TSRC.054 INFO: Value of refresh timeout: *num\_sec* sec *num\_nsec* nsec

長構文: TSRC.054 INFO: Value of refresh timeout: *num\_sec* sec *num\_nsec* nsec

説明: RFS クライアントは、リフレッシュ・タイムアウト変数の現行値を報告しています。この変数は、プリロード・リスト内のファイルの次の自動リフレッシュまでの残り時間を計算するのに使用されます。

---

**TSRC.055**

レベル: C-INFO

短構文: TSRC.055 Refreshing file: *pathname*

長構文: TSRC.055 Refreshing file: *pathname*

説明: RFS クライアントは、指定のファイルのリフレッシュ中です。

---

**TSRC.056**

レベル: C-INFO

短構文: TSRC.056 Refresh timer expired

長構文: TSRC.056 Refresh timer expired

説明: RFS クライアントのリフレッシュ・タイマーが満了しました。定期的なリフレッシュが使用可能にされている場合、この時点で、プリロード・リスト内のファイルがリフレッシュされます。下記の追加メッセージを参照して、プリロード・リスト・ファイルが実際にリフレッシュされているかどうかを調べてください。

---

**TSRC.057**

レベル: C-INFO

短構文: TSRC.057 (time\_of\_refresh == 0), NOT sending refresh msg

長構文: TSRC.057 (time\_of\_refresh == 0), NOT sending refresh message

説明: time\_of\_refresh パラメーターは、ファイルを定期的にリフレッシュしてはならないことを示しています。プリロード・リスト・ファイルはリフレッシュされません。

---

**TSRC.058**

レベル: C-INFO

短構文: TSRC.058 *action\_name* refresh msg

長構文: TSRC.058 *action\_name* refresh message

説明: スレッドは、RFS クライアント・スレッドにリフレッシュ・メッセージを出して、指定のアクションを実行しています。

---

**TSRC.059**

レベル: UI-ERROR

短構文: TSRC.059 ERROR: Received UNRECOGNIZED msg (in mq) - Discarding

長構文: TSRC.059 ERROR: Received UNRECOGNIZED message (in message queue) - Discarding

説明: RFS クライアントは、メッセージ待ち行列から認識不能メッセージを受信しました。このメッセージは廃棄され、RFS クライアントは通常どおりに処理を続けます。

---

**TSRC.060**

レベル: UI-ERROR

短構文: TSRC.060 Unable to *action\_name* RFS client (pr\_mq) mq rc= *return\_code* errno= *error\_number*

長構文: TSRC.060 Unable to *action\_name* RFS client (pr\_mq) message queue rc= *return\_code* errno= *error\_number*

説明: RFS クライアントは、RFS クライアント (pr\_mq) メッセージ待ち行列上の指定のアクションを実行できませんでした。障害が起こった動作からの戻りコードと障害時のスレッド特定エラー番号が示されています。

---

**TSRC.061**

レベル: C-INFO

短構文: TSRC.061 INFO: Received *message\_name* msg (in mq)

**長構文:** TSRC.061 INFO: Received *message\_name* message (in mq)

**説明:** RFS クライアントは、pr\_mq メッセージ待ち行列からメッセージを受信したことを報告しています。

---

### TSRC.062

**レベル:** C-INFO

**短構文:** TSRC.062 Either received msg, signal, or timer expired

**長構文:** TSRC.062 Either received message, signal, or timer expired

**説明:** RFS クライアントは、メッセージ待ち行列上のメッセージ、信号、またはリフレッシュ・タイマーの満了の結果として、アクションを取る必要があることを検出しました。

---

### TSRC.063

**レベル:** C-INFO

**短構文:** TSRC.063 Exited mq\_timedreceive() with: rc= *return\_code* errno= *error\_number*

**長構文:** TSRC.063 Exited mq\_timedreceive() with: rc= *return\_code* errno= *error\_number*

**説明:** RFS は、示されている戻りコードにより、ブロック mq\_timedreceive ルーチンを終了しました。RFS クライアント・スレッドのエラー番号の現行値も表示されています。

---

### TSRC.064

**レベル:** C-INFO

**短構文:** TSRC.064 Processing msg (received from mq)

**長構文:** TSRC.064 Processing message (received from message queue)

**説明:** RFS クライアントは、メッセージ待ち行列から受け取ったメッセージを処理中です。

---

### TSRC.065

**レベル:** C-INFO

**短構文:** TSRC.065 Msg successfully sent to RFS client

**長構文:** TSRC.065 Message successfully sent to RFS client

**説明:** スレッドは、RFS クライアントのメッセージ待ち行列に、メッセージを正常に送信しました。

---

### TSRC.066

**レベル:** C-INFO

**短構文:** TSRC.066 RFS client (pr\_mq) mq *action\_name*

**長構文:** TSRC.066 RFS client (pr\_mq) mq *action\_name*

**説明:** RFS クライアント (pr\_mq) メッセージ待ち行列に対して、示されているアクションを実行中です。

---

### TSRC.067

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** TSRC.067 ERROR: mqtimedreceive() call failed - No msg of desired type rc= *return\_code* local\_errno= *error\_number*

**長構文:** TSRC.067 ERROR: mqtimedreceive() call failed - No message of desired type rc= *return\_code* local\_errno= *error\_number*

**説明:** mqtimedreceive コールは、pr\_mq メッセージ待ち行列で正しいタイプのメッセージが見付からなかったために失敗しました。

**原因:** スレッドは、無効なメッセージを RFS クライアント pr\_mq メッセージ待ち行列に直接送信しました。

**処置:** スレッドは、RFS クライアント・インターフェース複数スレッド安全機能コールを使用して、メッセージを RFS クライアントに送る必要があります。

**原因:** RFS クライアントは、pr\_mq メッセージ・バッファのメッセージを調べるために起動されましたが、そこにメッセージがありません。

**処置:** このエラーまでのすべての TSRC ELS メッセージのダンプを保管し、システム管理者にこのエラーを報告してください。

---

### TSRC.068

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** TSRC.068 ERROR: Msg on pr\_mq mq exceeds mq\_recv\_msg\_buf size

**長構文:** TSRC.068 ERROR: Message on pr\_mq message queue exceeds mq\_recv\_msg\_buf size

**説明:** pr\_mq メッセージ待ち行列から受信中のメッセージは mq\_recv\_msg\_buf サイズを超えています。

**原因:** あるスレッドが RFS クライアント・スレッドにメッセージを送信していますが、それが RFS クライアント・スレッドの受信メッセージ・バッファより大きくなっています。問題のスレッドは、不要情報データを RFS クライアントに送信している可能性があります。

**処置:** ユーザーの場合: システム管理者に連絡してください。

**処置:** 開発者の場合: スレッドは必ず RFS クライアント・インターフェース複数スレッド安全機能コールを使用して、RFS クライアントにメッセージを送信する必要があります。メッセージが有効な場合は、スレッドが RFS クライアントに送信しているデータの量を減らすか、RFS クライアントが着信メッセージを収容できるように受信バッファをサイズを増やす必要があります。

---

#### TSRC.069

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** TSRC.069 ERROR: *semaphore\_name* Sem creat failed rc= *return\_code* errno= *error\_number*

**長構文:** TSRC.069 ERROR: *semaphore\_name* Semaphore creation failed rc= *return\_code* errno= *error\_number*

**説明:** RFS クライアントは、指定のセマフォを作成するのに失敗しました。障害が起きたコールからの戻りコードと障害時のスレッド特定エラー番号が表示されています。

---

#### TSRC.070

**レベル:** C-INFO

**短構文:** TSRC.070 Creating sems

**長構文:** TSRC.070 Creating semaphores

**説明:** RFS クライアントはセマフォを作成中です。

---

#### TSRC.071

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** TSRC.071 ERROR: Bad disk\_io\_parms.Status returned to WriteFileRequestCallbackFunc() by DiskTask; Status= *disk\_io\_parms\_status*, Errno= *disk\_io\_parms\_errno*

**長構文:** TSRC.071 ERROR: Bad disk\_io\_parms.Status returned to WriteFileRequestCallbackFunc() by DiskTask; Status= *disk\_io\_parms\_status*, Errno= *disk\_io\_parms\_errno*

**説明:** RFS クライアントは DiskTask から、よくない *disk\_io\_parms* 状態を含む *disk\_io\_parms* ブロックを受信しました。*disk\_io\_parms* 構造からの状態とエラー番号が報告されています。DiskTask (TSDK) ELS メッセージを調べて、エラー状態についての詳しい情報を入手し、適切な処置を取ってください。

---

#### TSRC.072

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** TSRC.072 ERROR: Stopping reading the preload list due to bad disk\_io\_parms.Status returned from DiskTask: *disk\_io\_parms\_status*

**長構文:** TSRC.072 ERROR: Stopping reading the preload list due to bad disk\_io\_parms.Status returned from DiskTask: *disk\_io\_parms\_status*

**説明:** RFS クライアントは、DiskTask によってよくない *disk\_io\_parms.Status* が戻されたために、ループの途中で ReadFileData() を終了しています。よくない状態値が示されています。

**原因:** DiskTask ReadFileData() インターフェース機能コールが失敗しました。

**処置:** シン・サーバーをリフレッシュしてください。

**処置:** 問題が解消されない場合は、DiskTask (TSDK) ELS メッセージを調べて、エラー状態についての詳しい情報を入手し、適切な処置を取ってください。

---

#### TSRC.073

**レベル:** C-INFO

**短構文:** TSRC.073 UpdateFileInfo() returned a RC: rc= *return\_code*

**長構文:** TSRC.073 UpdateFileInfo() returned a return code: rc= *return\_code*

**説明:** RFS クライアントは、DiskTask への UpdateFileInfo() インターフェース機能コールで、指定の戻りコードが戻されたことを報告しています。この戻りコードについての詳細は、シン・サーバー DiskTask の資料を参照してください。

---

#### TSRC.074

**レベル:** C-INFO

**短構文:** TSRC.074 *disk\_io\_parms.Errno* returned by DiskTask = *disk\_io\_parms\_errno*

**長構文:** TSRC.074 *disk\_io\_parms.Errno* returned by DiskTask = *disk\_io\_parms\_errno*

**説明:** RFS クライアントは、DiskTask によって戻された *disk\_io\_parms.Errno* を報告しています。この戻りコードについての詳細は、シン・サーバー DiskTask の資料を参照してください。

---

**TSRC.075**

レベル: C-INFO

短構文: TSRC.075 Exiting ReadFileData() while loop due to ActualLen: *actual\_length\_value*

長構文: TSRC.075 Exiting ReadFileData() while loop due to ActualLen: *actual\_length\_value*

説明: RFS クライアントは、ファイル内にそれ以上バイトが残されていなかったために、ループ (ファイルをキャッシュに保管するための) の途中で ActualLen を終了したことを報告しています。ここに指定されている非ゼロの ActualLen 値が、問題の原因です。

原因: 正常な動作時には、このメッセージは value=0 を報告します。非ゼロ値は、問題があることを示しています。

処置: 非ゼロ値が表示されている場合は、すべての TSRC および TSDK エラー ELS メッセージを保管し、システム管理者に問題を報告してください。

---

**TSRC.076**

レベル: UI-ERROR

短構文: TSRC.076 ERROR: *action\_name* file: *pathname*

長構文: TSRC.076 ERROR: *action\_name* file: *pathname*

説明: 指定のファイルに関する指定のファイル操作が失敗しました。

---

**TSRC.077**

レベル: C-INFO

短構文: TSRC.077 Attempting to open local file on disk: *pathname*

長構文: TSRC.077 Attempting to open local file on disk: *pathname*

説明: RFS クライアントは、ローカル・ハード・ディスク上の指定のファイルをオープンしようとしています。

---

**TSRC.078**

レベル: C-INFO

短構文: TSRC.078 Local file write() was successful; bytes written: *num\_bytes\_written*

長構文: TSRC.078 Local file write() was successful; bytes written: *num\_bytes\_written*

説明: RFS クライアントは、指定されたバイト数をローカル・ハード・ディスクに正常に書き込みました。

---

**TSRC.079**

レベル: C-INFO

短構文: TSRC.079 INFO: Filename: *pathname*

長構文: TSRC.079 INFO: Filename: *pathname*

説明: RFS クライアントは、前の ELS メッセージに関連した特定のファイル名を報告しています。

---

**TSRC.080**

レベル: P-TRACE

短構文: TSRC.080 File data to temp buffer read() looks ok; bytes received: *num\_bytes\_received*, bytes remaining: *num\_bytes\_remaining*

長構文: TSRC.080 File data to temp buffer read() looks ok; bytes received: *num\_bytes\_received*, bytes remaining: *num\_bytes\_remaining*

説明: RFS クライアントは、マスター RFS ファイル・サーバーからファイルをダウンロード中です。このメッセージは、RFS クライアントがソケット・ストリームからシン・サーバー・キャッシュに読み込んだ各パケットを報告します。

---

**TSRC.081**

レベル: C-INFO

短構文: TSRC.081 *counter\_config* value *variable\_name* = *value*

長構文: TSRC.081 *counter\_config* value *variable\_name* = *value*

説明: 指定されたカウンター / 構成パラメーターの値が示されています。

---

**TSRC.082**

レベル: C-INFO

短構文: TSRC.082 *counter\_config* value *variable\_name* = *value\_string*

長構文: TSRC.082 *counter\_config* value *variable\_name* = *value\_string*

説明: 指定されたカウンター / 構成パラメーター・ストリングの値が示されています。

---

**TSRC.083**

レベル: C-INFO

短構文: TSRC.083 *function\_name*() call failed rc=*return\_code*

**長構文:** TSRC.083 *function\_name()* call failed rc=  
*return\_code*

**説明:** 指定された機能コールが失敗しました。失敗した機能からの戻りコードが示されています。このメッセージは、必ずしもエラーが発生したことを示しているわけではありません。正常な動作時にも、このメッセージは出ます。

**原因:** RFS クライアントはプリロード・リストの終わりに達し、ファイルの終わりを超えて読み取ろうとしています。

**処置:** 処置は必要ありません。これは通常に出るメッセージです。





---

## 第118章 シン・サーバー RFS サーバー (TSRS)

この章では、シン・サーバー RFS サーバー (TSRS) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### TSRS.001

レベル: C-TRACE

短構文: TSRS.001 Start func *function\_name*, sh = *socket\_handle*

長構文: TSRS.001 Starting function *function\_name*, socket handle = *socket\_handle*

説明: このメッセージは、各機能の開始時に生成されます。

---

### TSRS.002

レベル: CI-ERROR

短構文: TSRS.002 *allocating\_or\_deallocating ctl\_blk\_name*. old ( *current\_number*), new ( *new\_number*)

長構文: TSRS.002 *allocating\_or\_deallocating ctl\_blk\_name*. old amount( *current\_number*), new amount( *new\_number*)

説明: このメッセージは、要求を達成するために資源の獲得を試みていること、または現在は必要でない資源を解放中であることを示すのに使用されます。

---

### TSRS.003

レベル: C-TRACE

短構文: TSRS.003 Start func *function\_name*

長構文: TSRS.003 Starting function *function\_name*

説明: このメッセージは、機能の開始時に生成されます。

---

### TSRS.004

レベル: UI-ERROR

短構文: TSRS.004 Func *function\_name* failed, rc = *return\_code*

長構文: TSRS.004 Function *function\_name* failed with rc = *return\_code*

説明: 機能が予期しない戻りコードを戻しました。

---

### TSRS.005

レベル: P-TRACE

短構文: TSRS.005 Func *function\_name* compl, rc = *return\_code*

長構文: TSRS.005 Function *function\_name* completed. rc = *return\_code*

説明: 機能が正常に完了し、指定された値を戻しました。

---

### TSRS.006

レベル: UI-ERROR

短構文: TSRS.006 Alloc failed for *control\_block\_name*

長構文: TSRS.006 Allocate failed for *control\_block\_name*

説明: 指定された制御ブロックを割り振るための十分な記憶域がありませんでした。

原因: クライアントの数をサポートするために利用可能な十分な記憶域がありません。

処置: クライアントの数を減らすか、装置内の記憶域の量を増やすかしてください。

---

### TSRS.007

レベル: UI-ERROR

短構文: TSRS.007 NS ctl blk not found. corrID = *corr\_id*

長構文: TSRS.007 NS control block not found. correlation ID received = *corr\_id*

説明: TSF は、接続された各クライアントに関する情報を保守しています。クライアントが要求を出すたびに、TSF はその情報を見付ける必要がありますが、この場合は、その情報が見付かりませんでした。*corr\_id* は、受信したデータ・フレームからのものです。

---

### TSRS.008

レベル: C-INFO

短構文: TSRS.008 Mas file svr *rfs\_or\_login* port not started ( *ipaddr*)

**長構文:** TSRS.008 Master file server *rfs\_or\_login* port not started to master file server *ipaddr*

**説明:** マスター・ファイル・サーバーへの接続を確立しようとする試みが成功しませんでした。この接続は、シン・サーバーがマスター・ファイル・サーバーと同じバージョンのファイルを持っていることを正しく検証するために必要です。マスター・ファイル・サーバー接続が存在しないときにクライアントの電源をオンにすると、現在シン・サーバーが持っているファイルのバージョンを入手することができます。

**原因:** 正しくないマスター・ファイル・サーバー IP アドレス。

**処置:** マスター・ファイル・サーバー・アドレスが正しいことを確認してください。

**原因:** マスター・ファイル・サーバーへのパスがない。

**処置:** マスター・ファイル・サーバーとクライアントの間に IP パスが存在することを確認してください。

---

#### TSRS.009

**レベル:** C-INFO

**短構文:** TSRS.009 Mas file svr *rfs\_or\_login* port started to *ipaddr*

**長構文:** TSRS.009 Master file server *rfs\_or\_login* port started to *ipaddr*

**説明:** マスター・ファイル・サーバーへの接続が正常に確立されました。シン・サーバーは、ファイルがオープンされるたびに、ファイルのバージョンが正しいかどうかを検査します。また、シン・サーバーが特定のファイルを持っていない場合、要求はマスター・ファイル・サーバーにリレーされて、処理されます。

---

#### TSRS.010

**レベル:** P-TRACE

**短構文:** TSRS.010 Port mapper rply, use port *port\_number*

**長構文:** TSRS.010 Port mapper reply directing client to port *port\_number*

**説明:** クライアントが RFS を使用してシン・サーバーに接続し、シン・サーバーはそのクライアントを RFS またはログイン・アクティビティーのために指定のポートに転送しました。

---

#### TSRS.011

**レベル:** P-TRACE

**短構文:** TSRS.011 Port mapper req *request\_string* is invalid

**長構文:** TSRS.011 Port mapper request *request\_string* is invalid

**説明:** クライアントは、ポートマッパーに対して無効な要求を行いました。

---

#### TSRS.012

**レベル:** P-TRACE

**短構文:** TSRS.012 RFS *cmd\_or\_reply* = *cmd\_op\_code* ( *cmd\_name*) rcvd for fh = *file\_handle* corrID = *rfs\_correlation\_id*

**長構文:** TSRS.012 RFS *cmd\_or\_reply* = *cmd\_op\_code* ( *cmd\_name*) received for file handle = *file\_handle* corrID = *rfs\_correlation\_id*

**説明:** RFS/400 要求を受信しました。ファイル・ハンドルを使用すると、その要求に対応するファイルを判別することができます。また、関連 ID を使用すると、その要求を出したクライアントを判別することができます。

---

#### TSRS.013

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** TSRS.013 Rcvd RFS rply( *reply\_op\_code*), exp( *cmd\_op\_code*)

**長構文:** TSRS.013 Received RFS reply( *reply\_op\_code*), expected( *cmd\_op\_code*)

**説明:** 予期しない応答を受信しました。関連 ID を使用すると、応答と要求を照合することができます。この場合、応答の中の関連 ID によって、これが *cmd\_op\_code* に対する応答であり、応答は実際に *repl\_op\_code* であることが分かります。

---

#### TSRS.014

**レベル:** C-TRACE

**短構文:** TSRS.014 Lookup *cmd\_or\_reply* ( *file\_name*) rc( *return\_code*) ( *client\_ip\_addr*)

**長構文:** TSRS.014 Lookup *cmd\_or\_reply* ( *file\_name*) rc( *return\_code*) ( *client\_ip\_addr*)

**説明:** ファイル・ルックアップ要求または応答を受信しました。ルックアップ要求には、情報を必要とするファイル名が入っています。ルックアップ応答には、ファ

イル情報と初期ファイル・ハンドルが入っています。戻りコード BDI は、ファイルがマスター・ファイル・サーバー上に存在しないことを示します。

---

#### TSRS.015

レベル: UI-ERROR

短構文: TSRS.015 8001 rcvd, rc( *return\_code*), sh( *socket\_handle*) cmd( *rfs\_cmd*), file = *file\_name* ( *ipaddr*)

長構文: TSRS.015 8001(Return Code) received, rc( *return\_code*), socket handle( *socket\_handle*) cmd( *rfs\_cmd*), file name = *file\_name*, client( *ipaddr*)

説明: マスター・ファイル・サーバーは、クライアントにエラーを戻しました。

---

#### TSRS.016

レベル: UI-ERROR

短構文: TSRS.016 sckt call *socket\_function* failed. hndl = *socket\_handle*, errno = *errno*

長構文: TSRS.016 socket call *socket\_function* failed. handle = *socket\_handle*, errno = *errno*

説明: ソケット・コールが失敗しました。ソケット・コールは、失敗した理由に関する情報が入っている指定のエラー番号 (errno) を戻しました。

---

#### TSRS.017

レベル: C-TRACE

短構文: TSRS.017 sck call *socket\_function\_name* successful. hndl = *socket\_handle*, rc = *return\_code*

長構文: TSRS.017 socket call *socket\_function\_name* successful. handle = *socket\_handle*, rc = *return\_code*

説明: ソケット・コールが正常に完了しました。

---

#### TSRS.018

レベル: P-TRACE

短構文: TSRS.018 sckt *send\_receive* ( *from*) sh( *socket\_handle*) rc( *return\_code*) len( *length*) fh( *file\_handle*) corrID( *rfs\_correlation\_id*)

長構文: TSRS.018 socket *send\_receive* ( *from*) socket handle( *socket\_handle*) rc( *return\_code*) len( *length*) fh( *file\_handle*) corrID( *rfs\_correlation\_id*)

説明: フレームが正常に送信/受信されました。

---

#### TSRS.019

レベル: P-TRACE

短構文: TSRS.019 sckt snd() *cmd\_name* rply. rc = *return\_code*

長構文: TSRS.019 socket send() *cmd\_name* reply generated by TSF. rc = *return\_code*

説明: シン・サーバーはクライアントの要求に対する応答を生成しました。この要求は、マスター・ファイル・サーバーに転送されませんでした。

---

#### TSRS.020

レベル: P-TRACE

短構文: TSRS.020 sckt lost. sckt( *socket\_handle*) rc( *return\_code*) port( *port\_number*) listening( *listening\_yes\_or\_no*)

長構文: TSRS.020 socket lost. socket( *socket\_handle*) rc( *return\_code*) port( *port\_number*) listening( *listening\_yes\_or\_no*)

説明: ソケット接続が失われました。これは正常な状態です。接続の開始と終了が連続的に行われています。

---

#### TSRS.021

レベル: C-INFO

短構文: TSRS.021 Open ( *file\_name*) to ( *disk\_yes\_or\_no*) by ( *client\_ip\_addr*)

長構文: TSRS.021 Open file( *file\_name*) to ( *disk\_yes\_or\_no*) by ( *client\_ip\_addr*)

説明: 指定されたクライアントによってファイルがオープンされました。2 番目のパラメーターは、シン・サーバーがこのファイルの処理を試みるのか、あるいはマスター・ファイル・サーバーがこのファイルを処理するのかを示します。

---

#### TSRS.022

レベル: C-TRACE

短構文: TSRS.022 read offset(base= *base\_offset*, rel= *relative\_offset*), len( *length*)

長構文: TSRS.022 Processing read offset(base= *base\_offset*, rel= *relative\_offset*), length( *length*)

説明: クライアントは読み取り要求を行いました。

---

**TSRS.023**

レベル: C-INFO

短構文: TSRS.023 Conn est to *ip\_addr*

長構文: TSRS.023 Connection established to client at ip addr *ip\_addr*

説明: クライアントによってシン・サーバー RFS デモンへの接続が行われました。

---

**TSRS.024**

レベル: C-INFO

短構文: TSRS.024 Conn lost to *ip\_addr*

長構文: TSRS.024 Connection lost to client at ip address *ip\_addr*

説明: 指定のクライアントへのすべての TCP 接続が失われました。

原因: ネットワーク・エラー

処置: シン・サーバーとクライアント間のパスが利用可能かどうかを確認してください。

原因: クライアントが電源をオフにしました。

処置: なし。

---

**TSRS.025**

レベル: C-TRACE

短構文: TSRS.025 Call ReadFileRequest() buf strt(*buffer\_addr*) end(*buffer\_addr*)

長構文: TSRS.025 Calling ReadFileRequest() buf start(*buffer\_addr*) end(*buffer\_addr*)

説明: ローカル・ディスクからファイルを読み取るために、ハード・ディスクをコール中です。

---

**TSRS.026**

レベル: C-INFO

短構文: TSRS.026 Close ( *file\_name*) by ( *client\_ip\_addr*), *num\_bytes* bytes served

長構文: TSRS.026 Close file ( *file\_name*) by ( *client\_ip\_addr*), *num\_bytes* bytes served

説明: 指定されたファイルをクローズ中です。2 番目のパラメーターは、このファイルを使用したクライアントの IP アドレスを示し、3 番目のパラメーターは使用されたバイト数を示しています。

---

**TSRS.027**

レベル: P-TRACE

短構文: TSRS.027 Hndl based Lookup Req. hndl(*file\_handle*)

長構文: TSRS.027 Handle based Lookup Request. handle( *file\_handle*)

説明: クライアントは、指定されたハンドルを使用して、ハンドルに基づくルックアップ要求を出しました(ほとんどのルックアップ要求は、名前に基づいて行われます)。

---

**TSRS.028**

レベル: P-TRACE

短構文: TSRS.028 snd() to( *target\_device*) *rfs\_command* for *file\_name* (hndl = *file\_handle*)

長構文: TSRS.028 send() to( *target\_device*) *rfs\_command* for *file\_name* (handle = *file\_handle*)

説明: 指定された RFS/400 コマンドが、シン・サーバーによって生成されました。

---

**TSRS.029**

レベル: C-TRACE

短構文: TSRS.029 *ctl\_blk\_type* ctl blk destroyed. name = *name\_assoc\_with\_ctl\_blk*

長構文: TSRS.029 *ctl\_blk\_type* control block destroyed. name = *name\_assoc\_with\_ctl\_blk*

説明: 指定された制御ブロックを破壊中です。

---

**TSRS.030**

レベル: UI-ERROR

短構文: TSRS.030 Congestion snding, waiting *num\_seconds* seconds to retry, errno = *errno*

長構文: TSRS.030 Congestion sending, waiting *num\_seconds* seconds to retry, errno = *errno*

説明: RFS サーバーは、データの送信を試みているときに輻輳(ふくそう)に遭遇しています。輻輳(ふくそう)が解消されるまで一時停止します。

---

**TSRS.031**

レベル: UI-ERROR

短構文: TSRS.031 Req Ctl blk not fnd. corrID = *corr\_id*

**長構文:** TSRS.031 Request Control block not found.  
corrID received = *corr\_id*

**説明:** マスター・ファイル・サーバーから応答を受信した場合、TSF はその応答に対応する要求が処理されたときに保管された情報にアクセスする必要があります。その情報を見付けることができませんでした。corr\_id は、データ・フレームで受信した相関 ID の値です。

---

### TSRS.032

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** TSRS.032 File ctl blk not found using  
*search\_type* ( *search\_parameter*) client( *ipaddr*)

**長構文:** TSRS.032 File control block not found using  
*search\_type* ( *search\_parameter*) client( *ipaddr*)

**説明:** ファイル制御ブロックを見付けることができませんでした。search\_type は、制御ブロックを見付けるのに使用された方法を示し、これは受信したフレームのタイプによって異なります。search\_parameter は、検索アルゴリズムに入力されるパラメーターです。

---

### TSRS.033

**レベル:** UI-ERROR

**説明:** RFS デーモンは、受け入れ可能なクライアント接続の数の限界に達しました。最近多数のクライアントがリポートされたのであれば、元の接続がタイムアウトになれば、この状態は解消されるはずですが、この状態が続く場合は、クライアントの数が許容最大数を超えていないか検査してください。

---

### TSRS.034

**レベル:** C-INFO

**短構文:** TSRS.034 File ( *file\_name*) not found in local cache

**長構文:** TSRS.034 File ( *file\_name*) was requested by a client and was not found in the local cache

**説明:** ファイル *file\_name* に関する要求がシン・サーバーによって受信されましたが、そのファイルがキャッシュされないためにシン・サーバーは要求を満足させることができませんでした。切断モードで実行されている場合は、クライアントはファイルが検出されなかったことを通知され、そうでなければ、要求はマスター・ファイル・サーバーにリレーされます。

**原因:** 事前ロード・リスト中のファイル・セットが不十分。

**処置:** 指定ファイルを事前ロード・リストに追加します。

**原因:** ファイルがマスター・ファイル・サーバー上に存在しません。

**処置:** なし。クライアントは存在しないファイルを要求する場合があります。

---

### TSRS.035

**レベル:** C-INFO

**短構文:** TSRS.035 Attempting to connect to *ipaddr*  
(port *port\_num*)

**長構文:** TSRS.035 Attempting to connect to master file server *ipaddr*, port *port\_num*

**説明:** RFS サーバー・デーモンは、RFS リレーを許可するために、マスター・ファイル・サーバー *ipaddr*、ポート番号 *port\_num* との接続の確立を試みています。





---

## 第119章 シン・サーバー TFTP および TFTP リレー・サーバー (TSTD)

この章では、シン・サーバー TFTP および TFTP リレー・サーバー (TSTD) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### TSTD.001

レベル: UI-ERROR

短構文: TSTD.001 TFTP Relay *message socket value* *msg value*

長構文: TSTD.001 TFTP Relay *message socket value* *msg value*

説明: マスター・ホストへの TFTP リレーの情報メッセージ

---

### TSTD.002

レベル: C-INFO

短構文: TSTD.002 Request from client *IP-address* about *file* *peer number= peer-number*

長構文: TSTD.002 Request from client *IP-address* about *file* *peer number= peer-number*

説明: IP アドレスを持つクライアントからファイルに関する要求を受信しました。この要求にはピア番号が割り当てられています。

---

### TSTD.003

レベル: UI-ERROR

短構文: TSTD.003 System resource error: *error-code*

長構文: TSTD.003 System resource error: *error-code*

説明: システム資源エラーが発生しました。エラー・コードを記録してください。構成パラメーターを検査してください。

---

### TSTD.004

レベル: C-TRACE

短構文: TSTD.004 Port number assigned to this request *port-number* *peer number peer*

長構文: TSTD.004 Port number assigned to this request *port-number* *peer number peer*

説明: このTFTP 要求に、内部ポート番号とピア番号が割り当てられました。

---

### TSTD.005

レベル: UI-ERROR

短構文: TSTD.005 Error sending file to client error *code= error-code*

長構文: TSTD.005 Error sending file to client error *code= error-code*

説明: クライアントへのファイルの送信時のエラー。エラーを検査して、適切な処置を取ってください。

---

### TSTD.006

レベル: U-TRACE

短構文: TSTD.006 Max. number of concurrent requests *count* *current number value*

長構文: TSTD.006 Max. number of concurrent requests *count* *current number value*

説明: NetworkStations から処理される並行 TFTP 要求の最大数と現在の要求の数

---

### TSTD.007

レベル: C-TRACE

短構文: TSTD.007 Number of current TFTP Relay requests = *number*

長構文: TSTD.007 Number of current TFTP Relay requests = *number*

説明: 現在の TFTP リレーの要求の数

---

### TSTD.008

レベル: C-INFO

短構文: TSTD.008 Request *was(was* relayed to Master Server *not)*

長構文: TSTD.008 Request *was(was* relayed to Master Server *not)*

説明: TFTP ファイル要求をクライアントから受信し、マスター・サーバーに中継されました (されませんでした)。

---

**TSTD.009**

レベル: U-TRACE

短構文: TSTD.009 Packet Request options error  
*options-error*

長構文: TSTD.009 Packet Request options error  
*options-error*

説明: クライアントからの TFTP パケット要求オプション・エラー

---

**TSTD.010**

レベル: C-INFO

短構文: TSTD.010 File *file* - *was*(*was* found in local  
cache

長構文: TSTD.010 File *file* - *was*(*was* found in local  
cache

説明: 要求されたファイルがローカル・キャッシュ内で見付かりました (見付かりませんでした)。

---

**TSTD.011**

レベル: C-INFO

短構文: TSTD.011 File *file* - *was*(*was* retrieved from  
Master server

長構文: TSTD.011 File *file* - *was*(*was* retrieved from  
Master server

説明: 要求されたファイルがマスター・サーバーから取り出されました (取り出されませんでした)。

---

**TSTD.012**

レベル: UI-ERROR

短構文: TSTD.012 Recoverable network or system  
resource error *error-code*

長構文: TSTD.012 Recoverable network or system  
resource error *error-code*

説明: 回復可能なネットワークまたはシステム資源エラーが発生しました。

---

**TSTD.013**

レベル: UI-ERROR

短構文: TSTD.013 Error *error-number* sending OACK  
for block size to client *peer-number*

長構文: TSTD.013 Error *error-number* sending OACK  
for block size to client *peer-number*

---

説明: クライアントへのブロック・サイズ・ネゴシエーションに対する OACK の送信時のエラー

---

**TSTD.014**

レベル: UI-ERROR

短構文: TSTD.014 Error *error-number* in ACK to  
OACK block size from client *peer-number*

長構文: TSTD.014 Error *error-number* in ACK to  
OACK block size from client *peer-number*

説明: クライアントへのブロック・サイズ・ネゴシエーションに対する ACK の受信時のエラー

---

**TSTD.015**

レベル: UI-ERROR

短構文: TSTD.015 Error packet received from client  
*peer-number*

長構文: TSTD.015 Error packet received from client  
*peer-number*

説明: ブロック・サイズ・ネゴシエーション時に、クライアントからエラー・パケットを受信しました。

---

**TSTD.016**

レベル: UI-ERROR

短構文: TSTD.016 Error opening file with return code=  
*value*

長構文: TSTD.016 Error opening file with return code=  
*value*

説明: 指定の戻りコードを伴う、ファイルのオープン時のエラー

---

**TSTD.017**

レベル: UI-ERROR

短構文: TSTD.017 Error reading file with return code=  
*value*

長構文: TSTD.017 Error reading file with return code  
*value*

説明: 指定の戻りコードを伴う、ファイルの読み取り時のエラー

---

**TSTD.018**

レベル: UI-ERROR

短構文: TSTD.018 Error sending file to client *peer*=  
*peer*, at block= *number*, error= *value*

---

長構文: TSTD.018 Error sending file to client peer=  
peer, at block= number, error= value

説明: 指定のエラー値を伴う、ブロック番号のクライアントへのファイルの送信時のエラー

---

#### TSTD.019

レベル: UI-ERROR

短構文: TSTD.019 Error receiving ACK from client  
peer= peer

長構文: TSTD.019 Error receiving ACK from client  
peer= peer

説明: クライアントからの ACK の受信時のエラー

---

#### TSTD.020

レベル: UI-ERROR

短構文: TSTD.020 Error packet received from client  
peer= peer

長構文: TSTD.020 Error packet received from client  
peer= peer

説明: クライアントからエラー・パケットを受信しました。

---

#### TSTD.021

レベル: C-TRACE

短構文: TSTD.021 Request for file complete peer=  
peer-number

長構文: TSTD.021 Request for file complete peer=  
peer-number

説明: 指定のピア番号を持つクライアントに対するファイル完了の要求

---

#### TSTD.022

レベル: C-TRACE

短構文: TSTD.022 Wrong block ack.ed resend frame  
IP-Address, block= number, last block= number

長構文: TSTD.022 Wrong block ack.ed resend frame  
IP-Address block= number, last block= number

説明: クライアントから間違ったブロックに対するACKを受信しました。クライアントにフレームを再送しています。

---

#### TSTD.023

レベル: UI-ERROR

短構文: TSTD.023 Timeout on response from client  
peer= peer

長構文: TSTD.023 Timeout on response from client  
peer= peer

説明: クライアントからの応答時にタイムアウトになりました。

---

#### TSTD.024

レベル: U-INFO

短構文: TSTD.024 Maximum TFTP threads exceeded  
thread-count

長構文: TSTD.024 Maximum TFTP threads exceeded  
thread-count

説明: 並行 TFTP 要求の最大数を超えました。このTFTP 要求は、次に利用可能なスレッドで処理されます。

---

#### TSTD.025

レベル: C-TRACE

短構文: TSTD.025 Send frame to client, peer= peer,  
block#= block, block size= block-size

長構文: TSTD.025 Send frame to client, peer= peer,  
block#= block, block size= block-size

説明: クライアントにフレームを送信中です。ブロック番号とブロック・サイズが示されています。

---

#### TSTD.026

レベル: C-TRACE

短構文: TSTD.026 Resend frame to client IP-Address,  
block#= block, last block rec.ed= last-block-received

長構文: TSTD.026 Resend frame to client IP-Address,  
block#= block, last block rec.ed= last-block-received

説明: 指定のブロック番号のクライアントにフレームを再送します。

---

#### TSTD.027

レベル: C-TRACE

短構文: TSTD.027 ACK received from peer= peer,  
block rec.ed= block-number-received, block expected=  
block-number-expected

長構文: TSTD.027 ACK received from peer= peer,

block rec.ed= *block-number-received*, block expected=  
*block-number-expected*

説明: 指定のブロックのクライアントから ACK を受信しました。

原因を示しています。

---

#### TSTD.028

レベル: UI-ERROR

短構文: TSTD.028 NAK sent to client, peer= *peer*,  
error= *error-code*

長構文: TSTD.028 NAK sent to client, peer= *peer*,  
error= *error-code*

説明: NAK がクライアントに送信されました。

---

#### TSTD.029

レベル: UI-ERROR

短構文: TSTD.029 Open request failed on Host Server  
*IP-address*, *error-code*

長構文: TSTD.029 Open request failed on Host Server  
*IP-address*, *error-code*

説明: ホスト・サーバー上でオープン要求が失敗しました。構成パラメーターおよびホスト・サーバーにアクセスするためのネットワークを検査してください。

---

#### TSTD.030

レベル: UI-ERROR

短構文: TSTD.030 Read request failed on Host Server  
*IP-address*, *error-code*

長構文: TSTD.030 Read request failed on Host Server  
*IP-address*, *error-code*

説明: ホスト・サーバー上で読み取り要求が失敗しました。構成パラメーターおよびホスト・サーバーにアクセスするためのネットワークを検査してください。

---

#### TSTD.031

レベル: UI-ERROR

短構文: TSTD.031 TFTP thread(0x *threadid*) stack util(  
*stack\_util* percent) file ( *file\_name*) file avail(  
*IsFileAvailable\_rc*)

長構文: TSTD.031 TFTP thread(0x *threadid*) stack util(  
*stack\_util* percent) file ( *file\_name*) file avail(  
*IsFileAvailable\_rc*)

説明: スレッド *threadid* についてのスタック使用率は *stack\_util* でしたが、これは危険なまでに高いものです。 *file\_name* および *IsFileAvailable\_rc* は、考えられる

---

## 第120章 トークンリング・ネットワーク・インターフェース (TKR)

この章では、トークンリング・ネットワーク・インターフェース (TKR) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### TKR.001

レベル: U-INFO

短構文: TKR.001 unexp type frm LLC\_control fm source\_MAC ssap source\_SAP dsap dest\_SAP nt network ID

長構文: TKR.001 Unexpected type frame LLC\_control from source\_MAC, ssap source\_SAP, dsap dest\_SAP, net network ID

説明: このメッセージは、予期しない 802.2 LLC フレーム・タイプを受信したときに生成されます。タイプは、I (情報転送) または S (監視) です。フレームは、ルーターにアドレス指定されていました。

原因: ホストが、ルーターへの 802.2 タイプ 2 接続を試みています。

---

### TKR.002

レベル: P-TRACE

短構文: TKR.002 unexp type brd frm LLC\_control fm source\_MAC ssap source\_SAP dsap dest\_SAP nt network ID

長構文: TKR.002 Unexpected type broadcast frame LLC\_control from source\_MAC, ssap source\_SAP, dsap dest\_SAP, net network ID

説明: このメッセージは、予期しない 802.2 LLC フレーム・タイプを受信したときに生成されます。タイプは、I (情報転送) または S (監視) です。フレームは同報通信でした。

原因: ホストが、ルーターへの 802.2 タイプ 2 接続を試みています。

---

### TKR.003

レベル: U-INFO

短構文: TKR.003 unkn SNAP mfr cd number fm source\_MAC nt network ID

長構文: TKR.003 Unknown SNAP manufacturer code number from source\_MAC net network ID

説明: このメッセージは、SNAP ヘッダーに不明の編成コード (000000 以外の) をもつフレームを受信したときに生成されます。フレームは、ルーターにアドレス指定されていました。

原因: ホストが、SNAP を使用して、不明の固有プロトコルに関するパケットを送信しています。

---

### TKR.004

レベル: P-TRACE

短構文: TKR.004 unkn SNAP mfr code number fm source\_MAC nt network ID

長構文: TKR.004 Unknown SNAP manufacturer code number from source\_MAC net network ID

説明: このメッセージは、SNAP ヘッダーに不明の編成コード (000000 以外の) をもつフレームを受信したときに生成されます。フレームは同報通信でした。

原因: ホストが、SNAP を使用して、不明の固有プロトコルに関するパケットを送信しています。

---

### TKR.005

レベル: U-INFO

短構文: TKR.005 unkn SNAP type type\_code fm source\_MAC nt network ID

長構文: TKR.005 Unknown SNAP type type\_code from source\_MAC net network ID

説明: このメッセージは、不明の SNAP タイプ (編成コード 000000 内の) をもつフレームを受信したときに生成されます。フレームは、ルーターにアドレス指定されていました。

原因: ホストが、SNAP を使用して、不明のイーサネット・タイプに関するパケットを送信しています。

---

### TKR.006

レベル: P-TRACE

短構文: TKR.006 unkn SNAP type type\_code fm source\_MAC nt network ID



**長構文:** TKR.006 Unknown SNAP type *type\_code* from *source\_MAC* net *network ID*

**説明:** このメッセージは、不明の SNAP タイプ (編成コード 000000 内の) をもつフレームを受信したときに生成されます。フレームは同報通信でした。

**原因:** ホストが、SNAP を使用して、不明のイーサネット・タイプに関するパケットを送信しています。

---

#### TKR.007

**レベル:** U-INFO

**短構文:** TKR.007 unkn SAP *sap\_number* fm *source\_MAC* nt *network ID*

**長構文:** TKR.007 Unknown SAP *sap\_number* from *source\_MAC* net *network ID*

**説明:** このメッセージは、不明のあて先 SAP をもつパケットを受信したときに生成されます。メッセージは、ルーターにアドレス指定されていました。

**原因:** ホストは、不明のプロトコル識別子 (SAP) に関するパケットを送信しています。

---

#### TKR.008

**レベル:** U-INFO

**短構文:** TKR.008 unkn SAP *sap\_number* fm *source\_MAC* nt *network ID*

**長構文:** TKR.008 Unknown SAP *sap\_number* from *source\_MAC* net *network ID*

**説明:** このメッセージは、不明のあて先 SAP をもつパケットを受信したときに生成されます。メッセージは同報通信でした。

**原因:** ホストは、不明のプロトコル識別子 (SAP) に関するパケットを送信しています。

---

#### TKR.009

**レベル:** U-INFO

**短構文:** TKR.009 unexp U frm *LLC\_control* fm *source\_MAC* ssap *source\_SAP* dsap *dest\_SAP* nt *network ID*

**長構文:** TKR.009 Unexpected U frame *LLC\_control* from *source\_MAC*, ssap *source\_SAP*, dsap *dest\_SAP*, net *network ID*

**説明:** このメッセージは、予期しない 802.2 LLC U (非番号制) フレーム・タイプを受信したときに生成されます。(UI、XID、および TEST のみがサポートされます。) フレームは、ルーターにアドレス指定されました。

---

#### TKR.010

**レベル:** P-TRACE

**短構文:** TKR.010 unexp U frm *LLC\_control* fm *source\_MAC* ssap *source\_SAP* dsap *dest\_SAP* nt *network ID*

**長構文:** TKR.010 Unexpected U frame *LLC\_control* from *source\_MAC*, ssap *source\_SAP*, dsap *dest\_SAP*, net *network ID*

**説明:** このメッセージは、予期しない 802.2 LLC U (非番号制) フレーム・タイプを受信したときに生成されます。(UI、XID、および TEST のみがサポートされます。) フレームは同報通信でした。

---

#### TKR.014

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** TKR.014 *selftest\_phase* fld *error\_condition* nt *network*

**長構文:** TKR.014 *selftest\_phase* failed: *error\_condition*, *network network*

**説明:** 802.5 トークンリング・カードに関する自己検査で、自己検査中のエラーが報告されました。フェーズは、"Initial test"、"Board reset"、"Configuration"、"Open"、"Open: Lobe media test"、"Open: Physical insertion"、"Open: Address verification"、"Open: Roll call poll"、"Open: Request parameters"、"Packet output"、および "Packet receive" です。IBM トークンリング自己検査障害については、メッセージ TKR-45 を参照してください。

**原因:** "Initial test" フェーズでは、エラーは "Buffer unavail" です。これは、ルーターに重大なパケット・バッファ不足があることを示しています。

**処置:** 記憶域のサイズを大きくするか、ルーティング・テーブルのサイズを小さくしてください。

**原因:** "Board reset" フェーズでは、エラーは次のいずれか 1 つである可能性があります。"Initial test error"、"Adaptor ROM CRC error"、"Adaptor RAM error"、"Instruction Test error"、"Context/Interrupt Test error"、"Protocol Handler Hardware Err"、または "System Interface Register Err"。これらはいずれも、アダプター・チップ・セット内部の問題を示しています。

**処置:** インターフェースのハードウェア障害と思われる場合があります。交換してください。

**原因:** "Configuration" フェーズでは、エラーは次のいずれか 1 つである可能性があります。"Invalid init block"、"Invalid options"、"Invalid receive burst"、"Invalid transmit burst"、"Invalid DMA abort

threshold”、”Invalid SCB”、”Invalid SSB”、”DIO Parity”、”DMA timeout”、”DMA parity”、”DMA bus error”、”DMA data error”、または”Adaptor check”。これらは、チップ・セット内部のハードウェアに問題があるか、ソフトウェアに問題がある可能性があることを示しています。

**処置:** インターフェースのハードウェア障害と思われる。交換してください。

**原因:** ”Open” フェーズでは、エラーは次のいずれか 1 つである可能性があります。”Node address error”、”List size error”、”Buffer size error”、”Expansion RAM error”、”Transmit buffer count”、または”Inavlid open option”。これらは、チップ・セット内部のハードウェアに問題があるか、ソフトウェアに問題がある可能性があることを示しています。

**処置:** インターフェースのハードウェア障害と思われる。交換してください。

**原因:** ”Open: Lobe media test”、”Open: Physical insertion”、”Open: Address verification”、”Open: Participation in ring poll”、および”Open: Request initialization” フェーズでは、エラーは次のいずれか 1 つである可能性があります。”Function failure”、”Signal loss”、”Timeout”、”Ring failure”、”Ring beaconing”、”Duplicate node Address”、”Request initialization”、”Remove received”、または”IMPL force received”。これらは、リングを結合するための MAC アルゴリズムの処理に障害があることを示しています。問題はおそらく、インターフェースではなくリングまたはケーブルにあります。

**処置:** インターフェースが接続を試みている 802.5 リング内のネットワークに問題がないか調べてください。

**原因:** ”Packet output” フェーズでは、エラーは”Unkown”です。伝送の完了時に、ノードが自分自身に送信した自己検査パケットのアドレス認知ビットがセットされていませんでした。

**処置:** ネットワークに問題がないか調べてください。ハードウェアに問題があると考えられます。

**原因:** ”Packet input” フェーズでは、エラーは”Unkown”です。ノードがそれ自体に送信した自己検査パケットが、1/2 秒以内に受信されませんでした。

**処置:** ネットワークに問題がないか調べてください。ハードウェアに問題があると考えられます。

---

#### TKR.015

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** TKR.015 dwn sts cls nt *network*

**長構文:** TKR.015 Down, ring status close indication, network *network*

**説明:** 何らかの重大なエラー条件があったため、インターフェースはそれ自体をリングから自動的に除去しました。このエラーは、”Lobe wire fault”、”Auto-removal error”、または”Remove received”のいずれか 1 つである可能性があります。インターフェースはリングとの結合を再度試み、アップに戻る場合もあります。

**原因:** リングまたはインターフェースにハードウェア問題があります。正確な原因はログに記録されませんが、これらのエラーはカウントされ、+interface コマンド内のカウンターに問題が示されているはずです。

**処置:** インターフェース・カウンターを調べてください。”Lobe wire fault”では、ネットワークに問題があることが示されます。”Auto-removal error”では、インターフェースに内部問題があることが示されます。”Remove received”では、ネットワーク管理ステーションがこのステーションに対して、リングからの離脱を指示したことが示されます。

---

#### TKR.016

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** TKR.016 dwn adap chk *adapter\_check\_code* nt *network*

**長構文:** TKR.016 Down, adapter check *adapter\_check\_code*, network *network*

**説明:** アダプター状況チェックのため、インターフェースがダウンしました。インターフェースは自己検査を行わず、自動的にアップに戻りません。*adapter\_check\_code* に、発生したエラーが示されています。

**原因:** アダプターが重大な回復不可能内部障害を検出しました。

**処置:** この問題が引き続き発生する場合は、インターフェースを交換してください。

---

#### TKR.017

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** TKR.017 pkt sz *configured\_size* too big for 4 Mbps, limiting to *maximum\_size*, nt *network*

**長構文:** TKR.017 Packet size *configured\_size* too big for 4 Megabit/Second, limiting to *maximum\_size*, network *network*

**説明:** ユーザーが、802.5 ネットワーク用のパケット・サイズを、4 メガビット/秒のネットワーク用として許容されているパケット・サイズより大きく設定しました。

8144、11407、および 17800 バイトのサイズがリーガル・サイズなのは、16 メガビット/秒のネットワークの場合だけです。

---

#### TKR.019

レベル: UE-ERROR

短構文: TKR.019 runt pkt ( *length*) frm *source\_address*,  
net *network*

長構文: TKR.019 runt packet ( *length* bytes) from node  
*source\_address*, network *network*

説明: パケットを受信しましたが、短過ぎて MAC ヘッダーおよび LLC ヘッダーが入りません。

原因: 外部エラー

---

#### TKR.020

レベル: UE-ERROR

短構文: TKR.020 DN bd ln *actual\_length*  
*claimed\_length* *source\_MAC\_address* ->  
*destination\_MAC\_address* nt *network*

長構文: TKR.020 DECnet packet received with a bad  
length actual *actual\_length* claimed *claimed\_length* from  
*source\_MAC\_address* to *destination\_MAC\_address* network  
*network*

説明: DECnet パケットを受信しましたが、長さフィールドが実際のパケット長より長くなっていました。

---

#### TKR.021

レベル: P-TRACE

短構文: TKR.021 LOOP rcv *source\_MAC\_address* ->  
*destination\_MAC\_address*, nt *network*

長構文: TKR.021 Loopback Protocol frame received  
from *source\_MAC\_address* to *destination\_MAC\_address*,  
network *network*

説明: イーサネット・ループバック・プロトコル (構成試験プロトコル) パケットを受信しました。

---

#### TKR.022

レベル: UE-ERROR

短構文: TKR.022 LOOP odd skip *count*,  
*source\_MAC\_address* -> *destination\_MAC\_address*, nt  
*network*

長構文: TKR.022 Loopback Protocol, odd skipCount  
*count* from *source\_MAC\_address* to  
*destination\_MAC\_address*, network *network*

説明: イーサネット・ループバック・プロトコル (構成試験プロトコル) パケット内に、奇数の skipCount が含まれていました。パケットは廃棄されます。

原因: リモート・ノードでのプログラム・エラー

---

#### TKR.023

レベル: UE-ERROR

短構文: TKR.023 LOOP bd skip *count*,  
*source\_MAC\_address* -> *destination\_MAC\_address*, nt  
*network*

長構文: TKR.023 Loopback Protocol, bad skipCount  
*count* from *source\_MAC\_address* to  
*destination\_MAC\_address*, network *network*

説明: イーサネット・ループバック・プロトコル (構成試験プロトコル) パケットに、パケットの終わりより先を指す skipCount が入っていました。パケットは廃棄されます。

原因: リモート・ノードでのプログラム・エラー

---

#### TKR.024

レベル: P-TRACE

短構文: TKR.024 LOOP func *function* not forw,  
*source\_MAC\_address* -> *destination\_MAC\_address*, nt  
*network*

長構文: TKR.024 Loopback Protocol, function *function*  
not Forward Data from *source\_MAC\_address* to  
*destination\_MAC\_address*, network *network*

説明: イーサネット・ループバック・プロトコル (構成試験プロトコル) パケットに、転送 (2) の機能コードが入っていませんでした。パケットは廃棄されます。

原因: ここは、このパケットの最終あて先なので、機能コードは応答 (1) でした。

処置: なし。

---

#### TKR.025

レベル: UE-ERROR

短構文: TKR.025 LOOP mc fwd dst  
*forward\_MAC\_address*, *source\_MAC\_address* ->  
*destination\_MAC\_address*, nt *network*

長構文: TKR.025 Loopback Protocol, multicast forward  
address *forward\_MAC\_address* from *source\_MAC\_address*  
to *destination\_MAC\_address*, network *network*

説明: イーサネット・ループバック・プロトコル (構成試験プロトコル) パケットに、マルチキャストの転送アドレスが入っています。パケットは廃棄されます。

原因: リモート・ノードでのプログラム・エラー

---

#### TKR.026

レベル: P-TRACE

短構文: TKR.026 LOOP fwd *source\_MAC\_address* -> *forward\_MAC\_address*, nt *network*

長構文: TKR.026 Loopback Protocol, forwarding from *source\_MAC\_address* to *forward\_MAC\_address*, network *network*

説明: イーサネット・ループバック・プロトコル (構成試験プロトコル) パケットを、指定のネクスト・ホップに転送中です。

---

#### TKR.027

レベル: UI-ERROR

短構文: TKR.027 LOOP fwd to *forward\_Ethernet\_address* dsc, rsn *code*, nt *network*

長構文: TKR.027 Loopback protocol, forward to *forward\_Ethernet\_address* discarded, for reason *code*, network *network*

説明: コードで示された理由により、イーサネット・ループバック・プロトコル (構成試験プロトコル) パケットを、指定のアドレスに転送できませんでした。

---

#### TKR.028

レベル: UI-ERROR

短構文: TKR.028 rif table corruption for nt *network*

長構文: TKR.028 rif related functions failed because of rif table corruption on network *network*

説明: RIF テーブルが破壊されています。

---

#### TKR.029

レベル: P-TRACE

短構文: TKR.029 rif entry is being removed entry *hardware\_address* *protocol\_type* nt *network*

長構文: TKR.029 rif aging function is removing entry *hardware\_address* *protocol\_type* network *network*

説明: RIF エントリー経時機能によって、RIF テーブルからエントリーの除去が行われている最中です。

---

#### TKR.030

レベル: UI\_ERROR

短構文: TKR.030 MAC frm typ *mac\_frametype* unex from *hardware\_address* nt *network*

長構文: TKR.030 MAC frame type *mac\_frametype* unexpected from *hardware\_address* network *network*

説明: ハンドラーが、予期しないフレーム・タイプをもつフレームを受信しました。

---

#### TKR.031

レベル: P-TRACE

短構文: TKR.031 Main rcd on nt *network*

長構文: TKR.031 Maintenance packet received on net *network*

説明: ハンドラーが保守パケットを受信しました。

---

#### TKR.032

レベル: P-TRACE

短構文: TKR.032 test frm *mac\_address*, src sap *source\_sap*, nt *network*

長構文: TKR.032 test packet from *mac\_address*, source sap *source\_sap*, net *network*

説明: ハンドラーがテスト・メッセージを受信しました。

---

#### TKR.033

レベル: P-TRACE

短構文: TKR.033 xid frm *mac\_address*, sap *source\_sap*, nt *network*

長構文: TKR.033 xid packet received from *mac\_address*, source sap *source\_sap*, net *network*

説明: ハンドラーが xid メッセージを受信しました。

---

#### TKR.035

レベル: U-TRACE

短構文: TKR.035 new RIF ( *RIF*) for *MAC\_address* nt *network ID*

長構文: TKR.035 new RIF ( *RIF*) for *MAC\_address* net *network ID*

説明: このメッセージが生成されるのは、802.5 MAC アドレスから RIF への変換キャッシュに、RIF が追加された場合です。

---

**TKR.036**

レベル: ALWAYS

短構文: TKR.036 can't set 2nd grp addr *MAC\_address*

長構文: TKR.036 can't set 2nd group address  
*MAC\_address*

説明: トークンリング・ハードウェアがサポートできるグループ・アドレスは 1 つだけです。2 番目のアドレスのインストールが試みられています。

---

**TKR.037**

レベル: ALWAYS

短構文: TKR.037 Net *network ID*, Unkn SRT Cmd Completion code - *SRT\_Completion*. Being restarted

長構文: TKR.037 Network *network ID*, Has Received an Unknown SRT Command Completion code - *SRT\_Completion*. Interface being restarted

説明: トークンリング・ハードウェアが、予期しない SRT 完了コードを戻しました。インターフェースは自己検査に入ります。

---

**TKR.038**

レベル: ALWAYS

短構文: TKR.038 Net *network ID*, Cmnd to TKR failed - invld param(s). Being restarted

長構文: TKR.038 Network *network ID*, Command to Token Ring Adapter failed - invalid parameter(s). Interface being restarted

説明: トークンリング・ボードが、渡されたパラメーターのうちの 1 つまたは複数が無効であったことを示す、イリーガル・パラメーター状況コードを戻しました。インターフェースは再初期化されます。

---

**TKR.039**

レベル: ALWAYS

短構文: TKR.039 Net *network ID*, Unkn TKR Cmd Completion code - *Completion\_Code*. Being restarted

長構文: TKR.039 Network *network ID*, Unknown Command Completion code - *Completion\_Code*. Interface being restarted

説明: トークンリング・ボードが予期しない完了コードを戻しました。インターフェースは再初期化されません。

---

---

**TKR.040**

レベル: ALWAYS

短構文: TKR.040 Net *network ID*, Invld Command *Command* rcvd in tm\_ioctl. Being restarted

長構文: TKR.040 Network *network ID*, Invalid Command *Command* received by tm\_ioctl from handler. Interface being restarted

説明: tm\_ioctl ルーチンが、装置ハンドラーから無効なコマンドを受信しました。インターフェースは再初期化されます。

---

**TKR.041**

レベル: ALWAYS

短構文: TKR.041 Net *network ID*, Invld Interrupt rcvd *Interrupt* from TKR adapter. Being restarted

長構文: TKR.041 Network *network ID*, Invalid Interrupt *Interrupt* received from the TKR adapter. Interface being restarted

説明: 割り込みサービス・ルーチンが、アダプター・カードから無効な割り込みを受信しました。インターフェースは再初期化されます。

---

**TKR.043**

レベル: UE-ERROR

短構文: TKR.043 drop IPX pkt w/ *encap\_seen* encaps - using *encap\_used* encaps on int *intnum*

長構文: TKR.043 dropped IPX pkt with encaps *encap\_seen* using *encap\_used* on interface *intnum*

説明: このメッセージが生成されるのは、カプセル化がこのインターフェースの場合に選択されているもの以外の IPX パケットを受信した場合です。

原因: 単一回線で複数のカプセル化を使用しているネットワークの場合、これは正常です。

処置: 何も必要ありません。

---

**TKR.044**

レベル: UE-ERROR

短構文: TKR.044 odd RIF len frm *MAC\_address*; pkt drpd nt *network ID*

長構文: TKR.044 odd RIF length from *MAC\_address*; packet dropped on net *network ID*

説明: RIF ヘッダー内の長さバイトが奇数でした。これは無効です。パケットは廃棄されました。



## TKR.045

レベル: UI-ERROR

短構文: TKR.045 *selftest\_phase fld error\_condition nt network*

長構文: TKR.045 *selftest\_phase failed: error\_condition, network network*

**説明:** IBM 802.5 トークンリングに関する自己検査で、自己検査中にエラーが報告されました。このメッセージは、トークンリング・ハードウェアに関する有効で迅速な初歩的診断ツールとして使用できることがしばしばあります。フェーズには、"reset"、"load loader (part 1)"、"load loader (part 2)"、"download microcode"、"check downloaded microcode"、"Configuration"、"Read interesting pointers"、"open: lobe media test"、"open: physical insertion"、"open: address verification"、"open: participation in ring poll"、"open: request initialization"、"Set bridge params"、"Set STE wanted"、"Packet output"、"Packet receive"、"SRT Config"、"Set func/group address"、および "Unknown Test" があります。

**原因:** open: lobe media test: function failure.

**処置:** これは基本的なケーブルの問題です。ケーブルを検査してください。ルーター構成が、正しい媒体ケーブル設定 (すなわち、UTP または STP) になっているか調べてください。

**原因:** open: physical insertion fld ring beaconing. The Token-Ring is beaconing. これは通常、1 つのステーションで速度の構成に誤りがあることが原因です。

**処置:** ルーターの構成が、正しい速度設定 (すなわち、4 Mbps または 16 Mbps) になっているか調べてください。リング内のすべてのステーションが、同じ速度に設定されているか検査してください。トークンリングに物理的切断がないかどうか調べてください。

**原因:** open: address verification fld duplicate node address. このインターフェースの MAC アドレスが、リング上で重複しています。

**処置:** ルーターの構成が、このインターフェースの正しい MAC アドレスを指定しているか検査してください。リング上の他のステーションについて、重複アドレスがないかどうか検査してください。

**原因:** "reset"、"load loader (part 1)"、"load loader (part 2)"、"download microcode"、または "check downloaded microcode" フェーズのいずれか。

**処置:** インターフェースのハードウェア障害とされます。交換してください。

**原因:** "Configuration" フェーズでは、エラーは次のいずれか 1 つである可能性があります。"initial test error"、"microcode crc error"、"adapter ram error"、"instruction test error"、"context/interrupt test error"、"protocol handler hardware err"、"system interface register err"、"invalid parameter length"、"invalid options"、"invalid receive burst"、"invalid transmit burst"、"invalid dma abort threshold"、"invalid dma test address"、"dio parity"、"dma timeout"、"dma parity"、"dma bus error"、"dma data error"、または "adapter check"。

**処置:** これらは、アダプターが実行した診断によって検出された障害です。インターフェースのハードウェア障害とされます。この問題が引き続き発生する場合は、交換してください。

**原因:** "Open" フェーズでは、エラーは次のいずれか 1 つである可能性があります。"Node address error"、"List size error"、"Buffer size error"、"Expansion RAM error"、"Transmit buffer count error"、または "Invalid open option"。

**処置:** インターフェースのハードウェア障害とされます。交換してください。

**原因:** "open: lobe media test"、"open: physical insertion"、"open: address verification"、"open: participation in ring poll"、"open: request initialization" フェーズ。オープン操作が失敗しました。

**処置:** これらは何度でも修正可能です。一般的な障害は上述の通りです。ケーブルの構成および速度を再度検査してください。ネットワークやケーブルに問題がないか、ハードウェア障害の可能性がないか調べてください。

**原因:** フェーズ "Set bridge params"、"Set STE wanted"、"SRT Config"、"Set func/group address" は、トークンリングをブリッジング、グループ・アドレス、機能アドレスなどのために設定する場合に関連するフェーズです。

**処置:** トークンリングはすでにアップし、正常に稼働していることを思えば、ソフトウェア問題である可能性の方が大です。

**原因:** パケットの出力フィールドが確認不能です。トークンリング・ドライバーはテスト・パケットを送信できませんでした。ルーター内のバッファが使い尽くされているなど、ソフトウェア問題である可能性の方が大です。

**処置:** 問題が引き続き発生する場合は、ルーターを再始動してください。

**原因:** パケットの受信フィールドが確認不能です。トークンリング・ドライバーは、テスト・パケットを送信



してリングを一周させ、それを受信することができませんでした。

**処置:** リング上に異常に大量のトラフィックがないかどうか検査してください。

---

#### TKR.046

**レベル:** C-INFO

**短構文:** TKR.046 FasTR frm drpd from SRC\_address to Dest\_address, RIF RIF, nt network

**長構文:** TKR.046 Fast Token Ring Frame dropped from SRC\_address to Dest\_address, RIF RIF, net network

**説明:** RIF を含む高速トークンリング・フレームが廃棄されました。

---

#### TKR.047

**レベル:** C-INFO

**短構文:** TKR.047 FasTR frm drpd from SRC\_address to Dest\_address, nt network

**長構文:** TKR.047 Fast Token Ring frame dropped from SRC\_address to Dest\_address, net network

**説明:** RIF を含まない高速トークンリング・フレームが廃棄されました。

---

#### TKR.048

**レベル:** C-INFO

**短構文:** TKR.048 FasTR tst frm looped from SRC\_address to Dest\_address, nt network UP

**長構文:** TKR.048 Fast Token Ring frame looped from SRC\_address to Dest\_address, net network

**説明:** ネットがアップのときに、高速トークンリング・テスト・フレームがループバックされました。

---

#### TKR.049

**レベル:** C-INFO

**短構文:** TKR.049 FasTR tst frm looped from SRC\_address to Dest\_address, nt network not UP

**長構文:** TKR.049 Fast Token Ring frame looped from SRC\_address to Dest\_address, net network

**説明:** ネットがアップでないときに、高速トークンリング・テスト・フレームがループバックされました。

---

#### TKR.050

**レベル:** C-INFO

**短構文:** TKR.050 flash\_condition flash state: flash\_state, nt network

**長構文:** TKR.050 flash\_condition, flash state = flash\_state network network

**説明:** トークンリング・フラッシュ更新プロセスの情報通知。理由は、"3 回の試行後にマイクロコード更新を終了した"、"非 AMD フラッシュ更新はサポートされない"、"フラッシュ更新からの正常な状況"、"フラッシュ更新からのエラー状況"、"フラッシュ更新が進行中"です。

---

#### Panic tkrMacTooManyReg

**短構文:** tkr\_regMacAddrUpCall: too many registered

**説明:** 内部問題

**原因:** ソフトウェアのバグ

**処置:** サービス技術員に通知してください。

---

#### Panic tkrMacStsTooManyReg

**短構文:** tkr\_regStatusUpCall: too many registered

**説明:** 内部問題

**原因:** ソフトウェアのバグ

**処置:** サービス技術員に通知してください。

---

#### Panic tkrMacXmitTooManyReg

**短構文:** tkr\_regXmitpCall: too many registered

**説明:** 内部問題

**原因:** ソフトウェアのバグ

**処置:** サービス技術員に通知してください。

---

## 第121章 伝送制御プロトコル (TCP)

この章では、伝送制御プロトコル (TCP) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### TCP.001

レベル: UI-ERROR

短構文: TCP.001 pkt cksum fld pkt = *tcp\_checksum*  
calc = *tcp\_checksum*

長構文: TCP.001 packet checksum failed received  
packet checksum is *tcp\_checksum* and calculated  
checksum is *tcp\_checksum*

説明: 受信したパケットのチェックサムが、計算されたチェックサムに等しくないために、チェックサムが失敗しました。

---

### TCP.002

レベル: UI-ERROR

短構文: TCP.002 rcvd pkt *source\_ip\_address* ->  
*destination\_ip\_address* dst prt *tcp\_port* no cnn

長構文: TCP.002 received packet *source\_ip\_address* ->  
*destination\_ip\_address* with destination port *tcp\_port* has  
no tcp connection

説明: TCP がパケットを受信しましたが、TCP ポート番号が無効です。

---

### TCP.003

レベル: C-INFO

短構文: TCP.003 Act opn sccfl dst prt *tcp\_port*

長構文: TCP.003 TCP Active open successful for port  
number *tcp\_port*

説明: 能動オープンが成功し、オープンをアプリケーションに通知しています。

---

### TCP.004

レベル: UI-ERROR

短構文: TCP.004 rcvd invld SYN in wndw  
*source\_ip\_address* -> *destination\_ip\_address* dst prt  
*tcp\_port* kill cnn

長構文: TCP.004 received invalid SYN packet  
*source\_ip\_address* -> *destination\_ip\_address* with  
destination port *tcp\_port*, kill connection

説明: TCP が無効な SYN パケットを受信したので、接続を切断します。

---

### TCP.007

レベル: UI-ERROR

短構文: TCP.007 drp seg *source\_ip\_address* ->  
*destination\_ip\_address* dst prt *tcp\_port* rsn *reject\_code* snd  
ACK

長構文: TCP.007 dropped segment *source\_ip\_address* ->  
*destination\_ip\_address* with destination port *tcp\_port*,  
reason *reject\_code*, send a valid ACK in response

説明: TCP はセグメントを拒否しました。リジェクト・コードは、以下のとおりです。リジェクト・コード:  
1 - Seg len = 0, Rcv win > 0, seqnum < tcb\_ack 2 -  
Seg len = 0, Rcv win = 0, seqnum != tcb\_ack 3 - Seg  
len > 0, Rcv win > 0, winend < tcb\_ack 4 - Seg len >  
0, Rcv win = 0. 5 - Seg len = 0, Rcv win > 0, seqnum  
>= winend 6 - Seg len > 0, Rcv win > 0, seqnum >=  
winend 注: ACK を行なうのは、受信したセグメントが  
RST セグメント以外の場合だけです。

---

### TCP.009

レベル: C-INFO

短構文: TCP.009 state LISTEN: rcvd RST dst prt  
*tcp\_port* seq num *seq\_num*

長構文: TCP.009 while in LISTEN state, received RST  
with destination port *tcp\_port*, sequence number *seq\_num*;  
drop segment

説明: TCP は、LISTEN 状態のときに RST を受信しました。単にパケットを無視します。

---

### TCP.010

レベル: C-INFO

短構文: TCP.010 state SYN\_RCVD: RST|TIMEOUT  
rtrn to LISTEN port *tcp\_port*

長構文: TCP.010 while in SYN\_RECEIVED states,  
received RST or TIMEOUT with local port *tcp\_port*.  
Return to LISTEN state

説明: 通信中のパートナーから RESET を受信したた

めか、SYN|ACK を戻した後で TIMEOUT したため、TCP 受動接続の試みが失敗しました。

---

#### TCP.011

レベル: C-INFO

短構文: TCP.011 rcvd RST dst prt *tcp\_port* seq num *seq\_num*, abort

長構文: TCP.011 received RST with destination port *tcp\_port*, sequence number *seq\_num*; drop segment and abort connection

説明: TCP は RST を受信しました。接続を打ち切ります。

---

#### TCP.012

レベル: UI-ERROR

短構文: TCP.012 drop seg dst prt *tcp\_port* seq num *seq\_num* no ACK present

長構文: TCP.012 drop segment with destination port *tcp\_port*, sequence number *seq\_num* because no ACK is present

説明: TCP は、パケット内に確認がなかったので、パケットの処理を停止しました。

---

#### TCP.013

レベル: UI-ERROR

短構文: TCP.013 drop seg dst prt *tcp\_port* seq num *seq\_num* ack num *ack\_num* rev invld ACK

長構文: TCP.013 drop segment with destination port *tcp\_port*, sequence number *seq\_num*, acknowledge number *ack\_num*, received invalid ACK

説明: まだ送信していないデータに対する確認応答が入っているので、セグメントの処理を停止します。

---

#### TCP.014

レベル: C-INFO

短構文: TCP.014 state ESTAB: rcvd FIN dst prt *tcp\_port* seq num *seq\_num*

長構文: TCP.014 while in ESTABLISHED state, received FIN with destination port *tcp\_port*, sequence number *seq\_num*

説明: TCP は、ESTABLISHED 状態にあるときに FIN を受信しました。すべてのデータを受信した時点で、FIN|ACK を送信します。

---

#### TCP.015

レベル: C-INFO

短構文: TCP.015 rcvd PSH dst prt *tcp\_port* seq num *seq\_num*

長構文: TCP.015 received a segment with the PSH bit set with destination port *tcp\_port*, sequence number *seq\_num*

説明: TCP は、PSH ビットがセットされているセグメントを受信しました。

---

#### TCP.016

レベル: C-INFO

短構文: TCP.016 state SYNRCVD: rcvd vld seg dst prt *tcp\_port* seq num *seq\_num*, enter ESTAB

長構文: TCP.016 while in SYNRCVD state, received valid segment with destination port *tcp\_port*, sequence number *seq\_num*, so enter ESTABLISHED state

説明: TCP は、SYNRCVD 状態にあるときに、有効なセグメントを受信しました。ESTABLISHED 状態に入り、アプリケーションにオープンについて通知します。

---

#### TCP.017

レベル: UI-ERROR

短構文: TCP.017 rcvd FIN while in LISTEN dst prt *tcp\_port* seq num *seq\_num*, snd RST

長構文: TCP.017 received FIN segment while in the LISTEN state, destination port *tcp\_port*, sequence number *seq\_num*, snd RST

説明: TCP が LISTEN 状態にあるときに FIN を受信したので、相手側に RST を送信します。

---

#### TCP.024

レベル: UI-ERROR

短構文: TCP.024 prcss FIN in invld state

長構文: TCP.024 process a received FIN; current state is not SYNRCVD|ESTAB, so do nothing

説明: TCP が FIN を処理していますが、SYNRCVD|ESTAB 状態ではありません。

---

#### TCP.025

レベル: C-INFO

短構文: TCP.025 prcss FIN in ESTAB|SYNRCVD state

frgn hst *ip\_address* lcl hst *ip\_address* dprt *dst\_port* sprt *src\_port*

**長構文:** TCP.025 process a received FIN; current state is SYNRCVD|ESTAB, foreign host *ip\_address* local host *ip\_address* destination port *dst\_port* source port *src\_port*

**説明:** TCP が FIN を処理していますが、SYNRCVD|ESTAB 状態ではありません。

---

### TCP.026

**レベル:** C-INFO

**短構文:** TCP.026 app rcv tmout

**長構文:** TCP.026 application posted receive timeout has fired

**説明:** アプリケーションは、タイムアウト値を指定した読み取りを通知しています。要求したすべてのデータをタイムアウト期間内に受信しなかった場合、タイマーは満了し、受信バッファの内容がすべてアプリケーションに渡されます。

---

### TCP.027

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** TCP.027 frgn prt illgl close of wndw frgn hst *ip\_address* lcl hst *ip\_address* dprt *dst\_port* sprt *src\_port*

**長構文:** TCP.027 foreign port closed the advertised window illegally foreign host *ip\_address* local host *ip\_address* destination port *dst\_port* source port *src\_port*

**説明:** 相手側は音信不通で、外部ウィンドウが不正にクローズされたようです。RST を送信します。

---

### TCP.028

**レベル:** C-INFO

**短構文:** TCP.028 state trnstn to SYNRCVD

**長構文:** TCP.028 state of TCP connection transitioned to SYN-RECEIVED state

**説明:** 能動オープンまたは受動オープンの結果として、接続の状態が SYN-RECEIVED 状態に変更されました。

---

### TCP.029

**レベル:** C-INFO

**短構文:** TCP.029 state trnstn to ESTAB

**長構文:** TCP.029 state of TCP connection transitioned to ESTABLISHED state

**説明:** 活動オープンまたは受動オープンの結果とし

て、接続の状態が ESTABLISHED 状態に変更されました。

---

### TCP.030

**レベル:** P-TRACE

**短構文:** TCP.030 rcvd TCP pkt *source\_ip\_address* -> *destination\_ip\_address* dst prt *tcp\_port*

**長構文:** TCP.030 received packet *source\_ip\_address* -> *destination\_ip\_address* with destination port *tcp\_port*

**説明:** TCP はパケットを受信しました。

---

### TCP.031

**レベル:** P-TRACE

**短構文:** TCP.031 seq num *seq\_num* to *seq\_num* given to app.

**長構文:** TCP.031 data with sequence number *seq\_num* through to *seq\_num* given to application

**説明:** 受信バッファ内の有効なデータが、さらに処理するためにアプリケーションに渡されました。

---

### TCP.032

**レベル:** C-INFO

**短構文:** TCP.032 excssv num rtries

**長構文:** TCP.032 excessive number of retries has occurred

**説明:** フレームを再送した回数が多過ぎます。アプリケーションがすでに接続をクローズしている場合は、単に打ち切ります。そうでない場合は、問題があることをアプリケーションに通知します。

---

### TCP.033

**レベル:** P-TRACE

**短構文:** TCP.033 snd ctrl seg seq num *seq\_num* ack num *ack\_num* wndw *window*

**長構文:** TCP.033 send control segment with sequence number *seq\_num* and acknowledge number *ack\_num* window *window*

**説明:** セグメントに確認応答するため、あるいは FIN または RST などの特殊制御セグメントを送信するために、制御セグメントを送信します。

---

**TCP.034**

レベル: C-INFO

短構文: TCP.034 rxmt seq num *seq\_num* to *seq\_num*

長構文: TCP.034 retransmit data with sequence number *seq\_num* through to *seq\_num*

説明: 転送したデータに対する有効な ACK を受信しなかったため、データを再送信します。

---

**TCP.035**

レベル: P-TRACE

短構文: TCP.035 xmt seq num *seq\_num* to *seq\_num*

長構文: TCP.035 transmit data with sequence number *seq\_num* through to *seq\_num*

説明: データを送信します。

---

**TCP.036**

レベル: UI-ERROR

短構文: TCP.036 unspt optn( *kind*) rcvd in SYN seg

長構文: TCP.036 unsupported option( *kind*) received in SYN segment

説明: SYN パケットのオプション・フィールドに、サポートされないオプションが入っています。

---

**TCP.038**

レベル: UI-ERROR

短構文: TCP.038 rjct seg dst prt *tcp\_port* seq num *seq\_num* bad ACK in SYNRCVD, snd RST

長構文: TCP.038 reject segment with destination port *tcp\_port* and sequence number *seq\_num*, bad ACK in segment while in SYNRCVD state

説明: SYNRCVD 状態のときに正しくない確認応答をもつセグメントを受信したため、セグメントを拒否し、相手側に RST を送信します。正しい確認応答を受信するまでは、ESTABLISHED 状態に進むことができません。

---

**TCP.039**

レベル: UI-ERROR

短構文: TCP.039 rcvd ACK seg with dst prt *tcp\_port* seq num *seq\_num* in LISTEN, snd RST

長構文: TCP.039 received ACK segment with destination port *tcp\_port*, sequence number *seq\_num* while in the LISTEN state, send RST

---

**1026** ELS メッセージの手引き

説明: TCP が、LISTEN 状態のときに ACK を受信しました。まだデータを何も送信しておらず、確認応答されるものは何もないはずなので、これは無意味です。したがって、RST を送信します。

---

**TCP.040**

レベル: UI-ERROR

短構文: TCP.040 TCP snd rst to hst *source\_ip\_address*

長構文: TCP.040 TCP sending RESET to host *source\_ip\_address*

説明: TCP は相手側に RESET セグメントを送信しています。

---

**TCP.041**

レベル: C-INFO

短構文: TCP.041 TCP cnn clsd frgn hst *foreign\_ip\_address* lcl hst *local\_ip\_address*

長構文: TCP.041 TCP connection closed, foreign host *foreign\_ip\_address*, local hst *local\_ip\_address*

説明: TCP 接続がクローズされ、アプリケーションにそのことを通知しています。

---

**TCP.042**

レベル: C-INFO

短構文: TCP.042 Frng TCB for frgn hst *foreign\_ip\_address* lcl hst *local\_ip\_address*

長構文: TCP.042 Freeing TCB block for connection between *foreign\_ip\_address* and *local\_ip\_address*

説明: クローズされた TCP 接続に関連した TCB ブロックを解放しています。

---

**TCP.044**

レベル: C-INFO

短構文: TCP.044 Idle tmr fires frgn hst *foreign\_ip\_address* lcl hst *local\_ip\_address*

長構文: TCP.044 Idle timer fires for connection between *foreign\_ip\_address* and *local\_ip\_address*

説明: TCP 接続のアイドル・タイマーが満了します。

---

**TCP.045**

レベル: C-INFO

短構文: TCP.045 Rxmt tmr fires frgn hst *foreign\_ip\_address* lcl hst *local\_ip\_address*

長構文: TCP.045 Retransmit timer fires for connection between *foreign\_ip\_address* and *local\_ip\_address*

説明: TCP 接続の再送タイマーが満了します。

---

#### TCP.046

レベル: C-INFO

短構文: TCP.046 State trnstn frm ESTAB to FINWAIT  
*source\_ip\_address* -> *destination\_ip\_address* dst prt  
*tcp\_src\_port* src prt *tcp\_dst\_port*

長構文: TCP.046 State transitioned from ESTABLISHED to FINWAIT *source\_ip\_address* -> *destination\_ip\_address* dst prt *tcp\_src\_port* src prt *tcp\_dst\_port*

説明: TCP 接続の状態が ESTABLISHED から FINWAIT に移行しました。FIN を送信し、現在は FIN-ACK の着信を待っています。

---

#### TCP.047

レベル: C-INFO

短構文: TCP.047 State trnstn to CLOSED  
*source\_ip\_address* -> *destination\_ip\_address* dst prt  
*tcp\_src\_port* src prt *tcp\_dst\_port*

長構文: TCP.047 State transitioned to CLOSED  
*source\_ip\_address* -> *destination\_ip\_address* dst prt  
*tcp\_src\_port* src prt *tcp\_dst\_port*

説明: TCP 接続の状態が CLOSED に移行しました。

---

#### TCP.048

レベル: C-INFO

短構文: TCP.048 Rcvd data after CLOSE issued and zero wndw, snd RST *source\_ip\_address* -> *destination\_ip\_address* dst prt *tcp\_src\_port* src prt *tcp\_dst\_port*

長構文: TCP.048 Received data after CLOSE was issued, and window is zero, send RESET  
*source\_ip\_address* -> *destination\_ip\_address* dst prt  
*tcp\_src\_port* src prt *tcp\_dst\_port*

説明: アプリケーションが CLOSE を要求しているために、TCP 接続をクローズしています。ウィンドウがゼロに縮小した後で、受信したすべてのパケットを廃棄します。これは、半二重 TCP クローズ手順に基づくものです。

---

#### TCP.049

レベル: C-INFO

短構文: TCP.049 Rcvd NACK

長構文: TCP.049 Received NACK

説明: 相手側が、データ長がゼロの古い ACK を送信しました。これは NACK として扱います。

---

#### TCP.050

レベル: C-INFO

短構文: TCP.050 Rcvd ACK for Keep Alive

長構文: TCP.050 Received Acknowledge for the keep alive packet sent

説明: 相手側が、キープアライブ・パケットを確認しました。キープアライブ・パケットは、この TCP 接続でキープアライブが使用可能にされており、接続がアイドル状態である場合に送信されます。

---

#### TCP.051

レベル: C-INFO

短構文: TCP.051 Lcl wndw zero

長構文: TCP.051 Local window zero

説明: 公示されたローカル・ウィンドウがゼロです。アプリケーションによる TCP 受信バッファの処置が遅れています。

---

#### TCP.052

レベル: C-INFO

短構文: TCP.052 snd FIN seq *seq\_num*, ack *ack\_num*

長構文: TCP.052 send FIN sequence number *seq\_num*, acknowledge number *ack\_num*

説明: TCP 接続をクローズしており、FIN を送信しました。

---

#### TCP.053

レベル: C-INFO

短構文: TCP.053 get buf fld - cannot snd pkt

長構文: TCP.053 get buf failed - cannot send packet

説明: ルーターが IORB を使い尽くしてしまい、getbuf が失敗したので、パケットを送信できません。



---

## TCP.054

レベル: C-INFO

短構文: TCP.054 xmit buf too large (*requested\_amount*), clipped to *clipped\_amount*

長構文: TCP.054 transmit buffer too large for listen/open (*requested\_amount*), clipped to (*clipped\_amount*)

説明: TCP 接続に関して要求された送信バッファ・サイズが大き過ぎて、システムがそれを割り振ることはできません。TCP は、その代わりに、システムで使用できる最大のサイズを選択しました。

---

## TCP.055

レベル: C-INFO

短構文: TCP.055 rcv buf too large (*requested\_amount*), clipped to *clipped\_amount*

長構文: TCP.055 receive buffer too large for listen/open (*requested\_amount*), clipped to (*clipped\_amount*)

説明: TCP 接続に関して要求された受信バッファ・サイズが大き過ぎて、システムがそれを割り振ることができません。TCP は、その代わりに、システムで使用できる最大のサイズを選択しました。

---

## TCP.056

レベル: UE-ERROR

短構文: TCP.056 6 Duplicate acks with seqnum *seq\_num* ack num *ack\_num* wndw *window*

長構文: TCP.056 6 ACKs seen with with sequence number *seq\_num* and acknowledge number *ack\_num* window *window*

説明: 高速再送が、脱落しているセグメントを送信しました。新しいデータは確認応答を受けていたはずで、もう一方の側がダウンしているか、輻輳 (ふくそう) している可能性があります。

---

## TCP.057

レベル: UE-ERROR

短構文: TCP.057 New data (*tcp\_ack*) ACKed after *tcp\_dupack* dups

長構文: TCP.057 Sequence number *tcp\_ack* ACKnowledged after processing *tcp\_dupack* duplicate ACKs

説明: TCP が、以前に確認応答されていたデータに確認応答している ACK をカウントしています。厳密に重

複している ACK が 3 つ以上受信されている場合、明らかに脱落したデータ・セグメントが再送されています。新しいデータが確認応答されると、このメッセージが (厳密に重複している ACK の合計数とともに) 印刷され、カウンターがクリアされます。

---

## TCP.058

レベル: U-INFO

短構文: TCP.058 Echo *foreign\_ip\_address*(*foreign\_port\_number*) -> *local\_ip\_address*(*local\_port\_number*)

長構文: TCP.058 Connection to Echo from *foreign\_ip\_address* port *foreign\_port\_number* to *local\_ip\_address* port *local\_port\_number*

説明: エコーのための接続が確立されました。エコーは、受信したデータを送信側に戻します。

---

## TCP.059

レベル: UI-ERROR

短構文: TCP.059 rcvd pkt *source\_ip\_address* -> *destination\_ip\_address* dst prt *tcp\_port* no cnn

長構文: TCP.059 received packet *source\_ip\_address* -> *destination\_ip\_address* with destination port *tcp\_port* has no tcp connection

説明: TCP はパケットを受信しましたが、TCP ポート番号が無効です。

---

## TCP.060

レベル: UI-ERROR

短構文: TCP.060 rcvd invld SYN in wndw *source\_ip\_address* -> *destination\_ip\_address* dst prt *tcp\_port* kill cnn

長構文: TCP.060 received invalid SYN packet *source\_ip\_address* -> *destination\_ip\_address* with destination port *tcp\_port*, kill connection

説明: TCP は無効な SYN パケットを受信したので、接続を切断します。

---

## TCP.063

レベル: UI-ERROR

短構文: TCP.063 drp seg *source\_ip\_address* -> *destination\_ip\_address* dst prt *tcp\_port* rsn *reject\_code* snd ACK

長構文: TCP.063 dropped segment *source\_ip\_address* -> *destination\_ip\_address* with destination port *tcp\_port*,

reason *reject\_code*, send a valid ACK in response

**説明:** TCP はセグメントを拒否しました。リジェクト・コードは、以下のとおりです。リジェクト・コード:  
1 - Seg len = 0, Rcv win > 0, seqnum < tcb\_ack  
2 - Seg len = 0, Rcv win = 0, seqnum != tcb\_ack  
3 - Seg len > 0, Rcv win > 0, winend < tcb\_ack  
4 - Seg len > 0, Rcv win = 0  
5 - Seg len = 0, Rcv win > 0, seqnum >= winend  
6 - Seg len > 0, Rcv win > 0, seqnum >= winend  
注: ACK を行なうのは、受信したセグメントが RST セグメント以外の場合だけです。

---

#### TCP.064

**レベル:** C-INFO

**短構文:** TCP.064 prcss FIN in ESTAB|SYNRCVD state  
frgn hst *ip\_address* lcl hst *ip\_address* dprt *dst\_port* sprt *src\_port*

**長構文:** TCP.064 process a received FIN; current state is SYNRCVD|ESTAB, foreign host *ip\_address* local host *ip\_address* destination port *dst\_port* source port *src\_port*

**説明:** TCP が FIN を処理していますが、SYNRCVD|ESTAB 状態ではありません。

---

#### TCP.065

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** TCP.065 frgn prt illgl close of wndw frgn hst  
*ip\_address* lcl hst *ip\_address* dprt *dst\_port* sprt *src\_port*

**長構文:** TCP.065 foreign port closed the advertised window illegally foreign host *ip\_address* local host *ip\_address* destination port *dst\_port* source port *src\_port*

**説明:** 相手側は音信不通で、外部ウィンドウが不正にクローズされたようです。RST を送信します。

---

#### TCP.066

**レベル:** P-TRACE

**短構文:** TCP.066 rcvd TCP pkt *source\_ip\_address* ->  
*destination\_ip\_address* dst prt *tcp\_port*

**長構文:** TCP.066 received packet *source\_ip\_address* ->  
*destination\_ip\_address* with destination port *tcp\_port*

**説明:** TCP はパケットを受信しました。

---

#### TCP.067

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** TCP.067 TCP snd rst to hst *source\_ip\_address*

**長構文:** TCP.067 TCP sending RESET to host  
*source\_ip\_address*

**説明:** TCP は相手側に RESET セグメントを送信しています。

---

#### TCP.068

**レベル:** C-INFO

**短構文:** TCP.068 TCP cnn clsd frgn hst  
*foreign\_ip\_address* lcl hst *local\_ip\_address*

**長構文:** TCP.068 TCP connection closed, foreign host  
*foreign\_ip\_address*, local hst *local\_ip\_address*

**説明:** TCP 接続がクローズされ、アプリケーションにそのことを通知しています。

---

#### TCP.069

**レベル:** C-INFO

**短構文:** TCP.069 Frng TCB for frgn hst  
*foreign\_ip\_address* lcl hst *local\_ip\_address*

**長構文:** TCP.069 Freeing TCB block for connection between *foreign\_ip\_address* and *local\_ip\_address*

**説明:** クローズされた TCP 接続に関連した TCB ブロックを解放しています。

---

#### TCP.071

**レベル:** C-INFO

**短構文:** TCP.071 Rxmt tmr fires frgn hst  
*foreign\_ip\_address* lcl hst *local\_ip\_address*

**長構文:** TCP.071 Retransmit timer fires for connection between *foreign\_ip\_address* and *local\_ip\_address*

**説明:** TCP 接続の再送タイマーが満了します。

---

#### TCP.072

**レベル:** C-INFO

**短構文:** TCP.072 State trnstn frm ESTAB to FINWAIT  
*source\_ip\_address* -> *destination\_ip\_address* dst prt  
*tcp\_src\_port* src prt *tcp\_dst\_port*

**長構文:** TCP.072 State transitioned from ESTABLISHED to FINWAIT *source\_ip\_address* ->  
*destination\_ip\_address* dst prt *tcp\_src\_port* src prt  
*tcp\_dst\_port*

**説明:** TCP 接続の状態が ESTABLISHED から FINWAIT に移行しました。FIN を送信し、現在は FIN-ACK の着信を待っています。

---

### TCP.073

レベル: C-INFO

短構文: TCP.073 State trnstn to CLOSED

*source\_ip\_address -> destination\_ip\_address dst prt tcp\_src\_port src prt tcp\_dst\_port*

長構文: TCP.073 State transitioned to CLOSED

*source\_ip\_address -> destination\_ip\_address dst prt tcp\_src\_port src prt tcp\_dst\_port*

説明: TCP 接続の状態が CLOSED に移行しました。

---

### TCP.074

レベル: C-INFO

短構文: TCP.074 Rcvd data after CLOSE issued and zero wndw, snd RST

*source\_ip\_address -> destination\_ip\_address dst prt tcp\_src\_port src prt tcp\_dst\_port*

長構文: TCP.074 Received data after CLOSE was issued, and window is zero, send RESET

*source\_ip\_address -> destination\_ip\_address dst prt tcp\_src\_port src prt tcp\_dst\_port*

説明: アプリケーションが CLOSE を要求しているために、TCP 接続をクローズしています。ウィンドウがゼロに縮小した後で、受信したすべてのパケットを廃棄します。これは、半二重 TCP クローズ手順に基づくものです。

---

### TCP.075

レベル: C-INFO

短構文: TCP.075 PMTU chg, fhost

*destination\_ip\_address, PMTU pmtu, old MSS old\_mss new MSS new\_mss*

長構文: TCP.075 Path MTU changed to foreign host

*destination\_ip\_address, PMTU = pmtu, old MSS = old\_mss new MSS = new\_mss*

説明: ローカル・ホストが送信した TCP セグメントが、この外部ホストへのパス内のリンクの 1 つにとって大き過ぎることを示す Packet Too Big ICMP を受信しました。

---

### TCP.076

レベル: C-INFO

短構文: TCP.076 PMTU chg, rxmt

*source\_ip\_address -> destination\_ip\_address, dst prt tcp\_src\_port src prt tcp\_dst\_port*

長構文: TCP.076 PMTU change, retransmit

---

**1030** ELS メッセージの手引き

*source\_ip\_address -> destination\_ip\_address, dst prt tcp\_src\_port src prt tcp\_dst\_port*

説明: Packet Too Big ICMP によって指摘されて廃棄されたセグメントを再送します。

---

### TCP.077

レベル: C-INFO

短構文: TCP.077 xmt

*source\_ip\_address -> destination\_ip\_address, dst prt tcp\_src\_port src prt tcp\_dst\_port*

長構文: TCP.077 transmit data

*source\_ip\_address -> destination\_ip\_address, dst prt tcp\_src\_port src prt tcp\_dst\_port*

説明: データをリンク・ローカル・アドレスに送信します。

---

### TCP.078

レベル: UI-ERROR

短構文: TCP.078 xmt failed

*source\_ip\_address -> destination\_ip\_address, dst prt tcp\_src\_port src prt tcp\_dst\_port*

長構文: TCP.078 transmit failed

*source\_ip\_address -> destination\_ip\_address, dst prt tcp\_src\_port src prt tcp\_dst\_port*

説明: リンク・ローカル・アドレスへの送信が失敗しました。

---

### TCP.079

レベル: U-INFO

短構文: TCP.079 Echo

*foreign\_ip\_address( foreign\_port\_number) -> local\_ip\_address( local\_port\_number)*

長構文: TCP.079 Connection to Echo from

*foreign\_ip\_address port foreign\_port\_number to local\_ip\_address port local\_port\_number*

説明: エコーのための接続が確立されました。エコーは、受信したデータを送信側に戻します。

---

### TCP.080

レベル: UE-ERROR

短構文: TCP.080 Persistent Listen

*local\_ip\_address( local\_port\_number) denied. total\_current\_open sockets open*

長構文: TCP.080 SYN pkt has been received for

*local\_ip\_address( local\_port\_number)*. *total\_current\_open* bytes are in SYNRCVD state

**説明:** %I(%d) への接続が試行されています。TCP は LISTEN を複製する必要がありますが、接続の限界に達してしまいました。クライアントが使用するルーターの資源が不十分であることを示している可能性があります。あるいはサービス要求が拒否されたために SYN パケットがあふれていることを示している可能性もあります。

---

#### TCP.081

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** TCP.081 Persistent Listen *local\_ip\_address( local\_port\_number)* replaced

**長構文:** TCP.081 A connection ( *local\_ip\_address( local\_port\_number)*) has completed. A LISTEN was replaced

**説明:** この LISTEN で置き換えるための前回の試行は、既存の持続 LISTEN が多過ぎるために拒否されました。そのサーバーの接続が確立され、LISTEN を置き換えるための十分な記憶域が得られました。

---

#### TCP.082

**レベル:** C-INFO

**短構文:** TCP.082 rcvd pkt *source\_ip\_address* -> *destination\_ip\_address* dst prt *tcp\_port* sending to OS

**長構文:** TCP.082 received packet *source\_ip\_address* -> *destination\_ip\_address* with destination port *tcp\_port*. Router passing packet to OS

**説明:** TCP は、受信したパケットを OS に渡しています。オペレーティング・システムはこの接続を持っている可能性があります。そうでない場合、オペレーティング・システムはリセットを戻すはずですが。

---

#### TCP.083

**レベル:** C-INFO

**短構文:** TCP.083 TCP cnn request *source\_ip\_address* -> *destination\_ip\_address( tcp\_port)* refused. Router is at cnn max( *tcp\_max\_cnn*)

**長構文:** TCP.083 received packet *source\_ip\_address* -> *destination\_ip\_address(dst port tcp\_port)*. Router supports max of *tcp\_max\_cnn* concurrent connections

**説明:** TCP は接続要求を受け取りましたが、ルーターはすでにサポートできる最大数の TCP 接続を持っています。この制限は、他のルーター・コンポーネントが記憶域を使い尽くしてしまうのを防止します。

---

#### TCP.084

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** TCP.084 TCP retransmitting *data\_size* bytes *local\_host( local\_port)* -> *foreign\_host( foreign\_port)* with no buffer.

**長構文:** TCP.084 TCP retransmitting *data\_size* bytes *local\_host( local\_port)* -> *foreign\_host( foreign\_port)* with no buffer.

**説明:** アプリケーションがクローズを呼び出したときに、TCP はアイドル・モードでした。転送バッファはありませぬので、フレーム内に何らかの制御ビットを設定するだけで済みます。

---

#### TCP.085

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** TCP.085 TCP reset connection *local\_host( local\_port)* -> *foreign\_host( foreign\_port)*. No xbuf for *data\_size* data bytes

**長構文:** TCP.085 TCP reset connection *local\_host( local\_port)* -> *foreign\_host( foreign\_port)*. No xbuf for *data\_size* data bytes

**説明:** 転送バッファはないので、複数のバイトを再送する必要があります。これがどのようにして起きるか、明らかではありません。これが起きたら、カスタマー・サービスに報告してください。

---

#### TCP.086

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** TCP.086 New cnn *foreign\_ip\_addr( foreign\_ip\_port)*-> *local\_ip\_addr( local\_ip\_port)* has no master socket

**長構文:** TCP.086 New TCP handshake has completed from *foreign\_ip\_addr( foreign\_ip\_port)* to *local\_ip\_addr( local\_ip\_port)*, but the master socket is no longer available

**説明:** この TCB が指すマスター・ソケットは、listen() になっていません。したがって、マスター・ソケットがクローズされたか、アプリケーションが無効なソケットを使用中かの、いずれかです。



---

## 第122章 トリビアル・ファイル転送プロトコル (TFTP)

この章では、トリビアル・ファイル転送プロトコル (TFTP) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### TFTP.001

レベル: UI-ERROR

短構文: TFTP.001 xfer max exceeded

長構文: TFTP.001 simultaneous transfer maximum exceeded

説明: 同時 TFTP 転送の最大数がサポートされていません。要求 (ローカルとリモートのどちらか) が行われたときは、この最大数の TFTP 転送がすでに進行中でした。

---

### TFTP.002

レベル: UI-ERROR

短構文: TFTP.002 unknwn rqst opcode: *opcode*

長構文: TFTP.002 unknown TFTP request opcode: *opcode*

説明: 不明の TFTP 要求命令コードを受信しました。

---

### TFTP.003

レベル: UI-ERROR

短構文: TFTP.003 accs viol fn: *filename\_requested*

長構文: TFTP.003 access violation filename: *filename\_requested*

説明: TFTP アクセス制御違反のために、TFTP ファイル転送要求 (ローカルまたはリモート) が失敗しました。

---

### TFTP.004

レベル: UI-ERROR

短構文: TFTP.004 no UDP port avail

長構文: TFTP.004 no UDP port available

説明: UDP ポートが利用不可能であったので、TFTP ファイル転送要求 (ローカルまたはリモート) が失敗しました。

---

### TFTP.005

レベル: UI-ERROR

短構文: TFTP.005 no bfr avail

長構文: TFTP.005 no buffer available

説明: バッファの不足のために、TFTP 要求が失敗しました。

---

### TFTP.006

レベル: CI-ERROR

短構文: TFTP.006 2nd srvr regd

長構文: TFTP.006 second TFTP server registered

説明: 一度に動作可能にできる TFTP サーバーは 1 つだけです。2 番目のサーバーはソフトウェアによって登録され、直前のサーバーは停止されています。

---

### TFTP.007

レベル: UE-ERROR

短構文: TFTP.007 unexp data pkt rcv

長構文: TFTP.007 unexpected TFTP data packet received

説明: 非活動状態の接続で、TFTP パケットを受信しました。

---

### TFTP.008

レベル: UE-ERROR

短構文: TFTP.008 unexp xfer term: *reason\_code*, tid *transfer\_id*

長構文: TFTP.008 TFTP transfer unexpected termination: *reason\_code*, transfer id *transfer\_id*

説明: TFTP 転送が早期に終了しました。理由コードが用意されています。

---

### TFTP.009

レベル: C-INFO

短構文: TFTP.009 normal xfer cmplt, tid *transfer\_id*



長構文: TFTP.009 TFTP transfer completed normally, transfer id *transfer\_id*

説明: TFTP 転送が正常に完了しました。

---

#### TFTP.010

レベル: CE-ERROR

短構文: TFTP.010 src appren avrtd, blk *block* exp *expected\_block* tid *transfer\_id*

長構文: TFTP.010 sorcerer's apprentice bug avoided, block *block* expected *expected\_block* transfer id *transfer\_id*

説明: 魔法使いの弟子と呼ばれるバグに対する修正では、シーケンス誤り TFTP ACK に対する応答として、古い TFTP データ・パケットの再送を行わないようにします。これが行われてしまったばかりです。受信した ACK と予期した ACK のブロック番号が表示されません。

---

#### TFTP.011

レベル: UE-ERROR

短構文: TFTP.011 xfer timeout, tid *transfer\_id*

長構文: TFTP.011 TFTP transfer network timeout, transfer id *transfer\_id*

説明: ネットワークでのタイムアウトのために、TFTP 転送が失敗しました。

---

#### TFTP.012

レベル: U-INFO

短構文: TFTP.012 ack pkt retrns, blk *block* tid *transfer\_id*

長構文: TFTP.012 TFTP ack packet retransmission, block number *block* transfer id *transfer\_id*

説明: 受信したシーケンス誤りデータ・パケットに対する応答として、TFTP ACK パケットが再送されました。

---

#### TFTP.013

レベル: U-INFO

短構文: TFTP.013 data pkt retrns, blk *block* tid *transfer\_id*

長構文: TFTP.013 TFTP data packet retransmission, block number *block* transfer id *transfer\_id*

説明: タイマーの満了時に、TFTP パケットが再送されました。

---

#### TFTP.014

レベル: C-INFO

短構文: TFTP.014 rmt type req acpctd, tid *transfer\_id*

長構文: TFTP.014 remote TFTP *type* request accepted, transfer id *transfer\_id*

説明: リモート TFTP 転送要求が受け入れられました。

---

#### TFTP.015

レベル: C-INFO

短構文: TFTP.015 data pkt sent, blk *block* tid *transfer\_id*

長構文: TFTP.015 data packet sent, block number *block* transfer id *transfer\_id*

説明: TFTP データ・パケットが送信されました。

---

#### TFTP.016

レベル: C-INFO

短構文: TFTP.016 ack pkt sent, blk *block* tid *transfer\_id*

長構文: TFTP.016 ack packet sent, block number *block* transfer id *transfer\_id*

説明: TFTP ACK パケットが送信されました。

---

#### TFTP.017

レベル: U-INFO

短構文: TFTP.017 req pkt retrns, tid *transfer\_id*

長構文: TFTP.017 request packet retransmitted, transfer id *transfer\_id*

説明: TFTP 要求パケットが再送されました。

---

#### TFTP.018

レベル: UE-ERROR

短構文: TFTP.018 rmt req rej'd: *reason* *optional\_details*

長構文: TFTP.018 remote request rejected: *reason* *optional\_details*

説明: 示されている理由により、リモート TFTP 要求が拒否されました。任意選択の 2 番目のパラメーターが、さらに詳しい情報を提供します。

---

---

**TFTP.019**

レベル: C-INFO

短構文: TFTP.019 *type req sent, tid transfer\_id*

長構文: TFTP.019 locally originated *type* request sent, transfer id *transfer\_id*

説明: ローカル発信 TFTP 要求が送信されました。

---

**TFTP.020**

レベル: C-INFO

短構文: TFTP.020 *xfer abrted by usr*

長構文: TFTP.020 locally originated TFTP transfer aborted at the console

説明: ローカル発信 TFTP 転送がコンソールで放棄されました。

---

**TFTP.021**

レベル: C-INFO

短構文: TFTP.021 *ack pkt rcvd blk block tid trans\_id*

長構文: TFTP.021 ack packet received, block *block* transfer id *trans\_id*

説明: TFTP ACK パケットが受信されました。

---

**TFTP.022**

レベル: C-INFO

短構文: TFTP.022 *data pkt rcvd blk block tid trans\_id*

長構文: TFTP.022 data packet received, block *block* transfer id *trans\_id*

説明: TFTP データ・パケットが受信されました。

---

**TFTP.023**

レベル: C-INFO

短構文: TFTP.023 *unexp err pkt rcvd code errcode colon\_and\_openquote errmsg closequote*

長構文: TFTP.023 unexpected error packet received, code *errcode colon\_and\_openquote errmsg closequote*

説明: 予期しない TFTP エラー・パケットが受信されました。

---

---

**TFTP.024**

レベル: UE-ERROR

短構文: TFTP.024 *lcl dev err errmsg*

長構文: TFTP.024 local device error, *errmsg*

説明: ローカル装置の 1 つへのアクセスでのエラー。Errmsg に、実際の装置およびエラーのタイプが記述されています。

---

**TFTP.025**

レベル: ALWAYS

短構文: TFTP.025 Starting tftp of file *configFile* from *serverIpAddr*

長構文: TFTP.025 Starting tftp of file *configFile* from *serverIpAddr*

説明: EasyStart が、指定されたホストから指定されたファイルをダウンロードしようとしています。

---

**TFTP.026**

レベル: ALWAYS

短構文: TFTP.026 Open failed.

長構文: TFTP.026 Open failed.

説明: オープンが失敗しました。

---

**TFTP.027**

レベル: ALWAYS

短構文: TFTP.027 Transfer completed successfully. Writing to NVRAM.

長構文: TFTP.027 Transfer completed successfully. Writing to NVRAM.

説明: 転送が正しく完了しました。NVRAM に書き込んでいます。

---

**TFTP.028**

レベル: ALWAYS

短構文: TFTP.028 Writing to NVRAM completed.

長構文: TFTP.028 Writing to NVRAM completed.

説明: NVRAM への書き込みが完了しました。

---

---

**TFTP.029**

レベル: ALWAYS

短構文: TFTP.029 Transfer stopped due to a failure.

長構文: TFTP.029 Transfer stopped due to a failure.

説明: 転送が、障害があったために停止しました。

---

**TFTP.030**

レベル: U-INFO

短構文: TFTP.030 ack blk *block* to duplicate data blk *duplicate*, tid *transfer\_id*

長構文: TFTP.030 TFTP ack block *block* sent as response to duplicate block *duplicate* - tid *transfer\_id*

説明: 重複データ・パケットに応答して、TFTP ACK パケットが送信されました。

---

**TFTP.031**

レベル: UE-ERROR

短構文: TFTP.031 blk wrapped. max rcvd blk *block* tid *trans\_id*

長構文: TFTP.031 block wrapped. maximum received block was *block* transfer id *trans\_id*

説明: 転送する必要があるファイルが大き過ぎます。このファイルを転送するには、512 バイトが 0xffff または 0x7fff ブロックより多く必要です。リモート・サーバーは、ブロック番号の折り返しを 0 に戻して扱うことはできません。ファイルの残りの部分の転送を続行するために、新しい書き込み要求が開始されます。

---

**TFTP.032**

レベル: UI-ERROR

短構文: TFTP.032 no mem avail

長構文: TFTP.032 no memory available

説明: 記憶域の不足のために、TFTP 要求が失敗しました。

---

**TFTP.033**

レベル: C-INFO

短構文: TFTP.033 *req* req sent for fn *fn*, tid *transfer\_id*

長構文: TFTP.033 *req* request sent for file name *fn*, transfer id *transfer\_id*

説明: 指定されたファイルに TFTP 要求が送信されました。

---

**TFTP.034**

レベル: UI-ERROR

短構文: TFTP.034 No known path to destination.

長構文: TFTP.034 No known path to destination.

説明: 転送要求のあて先への確認済みのパスがなかったために、転送を開始することができませんでした。

---

## 第123章 ユーザー・データグラム・プロトコル (UDP)

この章では、ユーザー・データグラム・プロトコル (UDP) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### UDP.003

レベル: UE-ERROR

短構文: UDP.003 dsc pkt frm *source\_ip\_address* bd len *length*

長構文: UDP.003 Discarded packet from *source\_ip\_address*, bad length *length*

説明: このメッセージは、UDP の長さが IP の長さを超えているためにパケットが廃棄された場合に生成されます。

---

### UDP.004

レベル: UE-ERROR

短構文: UDP.004 bd cksum clc *checksum* rcv *checksum*

長構文: UDP.004 Bad checksum - calculated *checksum*, received *checksum*

説明: このメッセージは、チェックサムが無効であるためにパケットが廃棄された場合に生成されます。

---

### UDP.005

レベル: U-TRACE

短構文: UDP.005 rcvd pkt frm ( *source\_IP\_address*, prt *udp\_port\_number*, nt *Network ID*)

長構文: UDP.005 received packet from ( *source\_IP\_address*, port *udp\_port\_number*, net *Network ID*)

説明: 特定のインターフェース上で UDP データグラムを受信しました。ポート番号がメッセージに入っています。

---

### UDP.006

レベル: U-TRACE

短構文: UDP.006 fwd pkt to *destination\_IP\_address* on prt *udp\_port\_number*

長構文: UDP.006 Forwarding packet to *destination\_IP\_address* on udp port *udp\_port\_number*

説明: 特定のあて先に UDP データグラムを転送中です。ポート番号がメッセージに入っています。

---

### UDP.007

レベル: U-INFO

短構文: UDP.007 echo *source\_ip\_address*(*source\_port\_number*) -> *destination\_ip\_address*(*destination\_port\_number*)

長構文: UDP.007 UDP Echo received datagram from *source\_ip\_address* port *source\_port\_number* to *destination\_ip\_address* port *destination\_port\_number*

説明: UDP エコーがデータグラムを受信しました。データグラムを送信側に戻します。



---

## 第124章 IPv6 用ユーザー・データグラム・プロトコル (UDP6)

この章では、IPv6 用ユーザー・データグラム・プロトコル (UDP6) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### UDP6.001

レベル: U-INFO

短構文: UDP6.001 pkt *source\_ip\_address* ->  
*destination\_ip\_address* port *port\_number* no srvt

長構文: UDP6.001 Packet from *source\_ip\_address* for  
*destination\_ip\_address* port *port\_number*, no server

説明: このメッセージは、UDP6 がルーターに導入されていないか、あるいは UDP6 は導入されているが、パケットがマルチキャスト・アドレスあてであり、どのアプリケーションも UDP あて先ポートをサポートしていないためにパケットが廃棄された場合に生成されません。

---

### UDP6.002

レベル: U-INFO

短構文: UDP6.002 pkt *source\_ip\_address* ->  
*destination\_ip\_address* port *port\_number* no srvt

長構文: UDP6.002 Packet from *source\_ip\_address* for  
*destination\_ip\_address* port *port\_number*, no server

説明: このメッセージは、UDP6 がルーターに導入されていないか、あるいは UDP6 は導入されているが、UDP6 アプリケーションが UDP6 あて先ポートをサポートしていないためにパケットが廃棄された場合に生成されます。パケットは、ルーターに送信されました。

---

### UDP6.003

レベル: UE-ERROR

短構文: UDP6.003 discarded pkt from *source\_ip\_address*  
bad len *length*

長構文: UDP6.003 Discarded packet from  
*source\_ip\_address*, bad length *length*

説明: このメッセージは、UDP の長さが IP の長さを超えているためにパケットが廃棄された場合に生成されます。

原因: 問題の原因としては、さまざまなものが考えられます。この UDP6 パケットの送信元ノードに問題があるか、あるいはパケットが転送中またはこのルーターに到着したときに破壊された可能性があります。

処置: 送信元ノードの直後とこのルーターに到着する直前のパケットをトレースしてください。

---

### UDP6.004

レベル: UE-ERROR

短構文: UDP6.004 bad checksum clc *checksum* rcv  
*checksum*

長構文: UDP6.004 Bad checksum - calculated *checksum*,  
received *checksum*

説明: このメッセージは、チェックサムが無効であるためにパケットが廃棄された場合に生成されます。

原因: チェックサムの誤り。送信元ノードで UDP6 チェックサムが正しく実行されていなかったか、このパケットの UDP6 部分が破壊されている可能性があります。

処置: 送信元ノードの直後とこのルーターに到着する直前のパケットをトレースしてください。

---

### UDP6.005

レベル: C-TRACE

短構文: UDP6.005 received pkt from (  
*source\_IP\_address*, prt *udp\_port\_number*, nt *Network ID*)

長構文: UDP6.005 received packet from (  
*source\_IP\_address*, port *udp\_port\_number*, net *Network ID*)

説明: 特定のインターフェースで UDP6 データグラムを受信しました。ポート番号がメッセージに入っています。

---

### UDP6.006

レベル: C-TRACE

短構文: UDP6.006 forwarding pkt to  
*destination\_IP\_address* on prt *udp\_port\_number*

長構文: UDP6.006 Forwarding packet to  
*destination\_IP\_address* on udp port *udp\_port\_number*

説明: 特定のあて先に UDP6 データグラムを転送中です。ポート番号がメッセージに入っています。



---

**UDP6.007**

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** UDP6.007 zero checksum rcv *checksum*

**長構文:** UDP6.007 zero checksum - received *checksum*

**説明:** このメッセージは、チェックサムがゼロのためにパケットが廃棄された場合に生成されます。(注: UDPとは異なり、IPV4 では UDP6 チェックサムはオプションではありません)。

**原因:** 送信元ノードが UDP6 チェックサムを実行しなかったか、あるいは UDP6 ヘッダー・フィールド内のチェックサム・フィールドが破壊されています。

**処置:** 送信元ノードの直後とこのルーターに到着する直前のパケットをトレースしてください。

---

## 第125章 VCRM

この章では、VCRM メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### VCRM.001

レベル: UI-ERROR

短構文: VCRM.001 VCRM No Rsrcs *Failure\_type* Routine

長構文: VCRM.001 VCRM Insufficient resources of type *Failure\_type* in Routine

説明: VCRM は必要な資源 (記憶域) を入手できませんでした。

---

### VCRM.002

レベル: UI-ERROR

短構文: VCRM.002 VCRM *Correlator\_type* Crrltr *Correlator* Msmtch Routine

長構文: VCRM.002 VCRM *Correlator\_type* Correlator *Correlator* Mismatch in routine Routine

説明: 指定されたタイプの不明の VCRM 相関関係子が検出されました。

---

### VCRM.003

レベル: UI-ERROR

短構文: VCRM.003 VCRM Unxpctd *Condition Code* from Routine

長構文: VCRM.003 VCRM Unexpected *Condition Code* from Routine

説明: VCRM の予期しない状態が発生しました。

---

### VCRM.004

レベル: P-TRACE

短構文: VCRM.004 VCRM *Event\_type* Evnt *Added\_info1* *Added\_info2* *Added\_info3* in Routine

長構文: VCRM.004 VCRM *Event\_type* event occured *Added\_info1* *Added\_info2* *Added\_info3* in routine Routine

説明: VCRM で VCRM トレース事象が発生しました。

---

### VCRM.005

レベル: U-TRACE

短構文: VCRM.005 *var1*= *val1*

長構文: VCRM.005 component *var1* *var1*= *val1*

説明: intServ spec の内容 (1 浮動小数点フィールド) の総称ダンプ

---

### VCRM.006

レベル: U-TRACE

短構文: VCRM.006 *var1*= *val1*

長構文: VCRM.006 component *var1* *var1*= *val1*

説明: intServ spec の内容 (1 整数フィールド) の総称ダンプ

---

### VCRM.007

レベル: P-TRACE

短構文: VCRM.007 VCRM *event* avg= *avg* peak= *peak* burst= *burst* minpkt= *minmtu* maxpkt= *maxmtu* on if oif to gateway

長構文: VCRM.007 VCRM *event* evnt; avgrate= *avg* peak= *peak* burst= *burst* minTU= *minmtu* maxTU= *maxmtu* on out if oif to nxt-hop gateway

説明: VCRM 予約 QoS パラメーターの追加/削除、出力インターフェース、およびネクスト・ホップ・ゲートウェイのダンプ出力

---

### VCRM.008

レベル: U-TRACE

短構文: VCRM.008 *var1*= *v1*; *var2*= *v2*; *var3*= *v3*; *var4*= *v4*

長構文: VCRM.008 component *var1* *var1*= *v1*; *var2* *var2*= *v2*; *var3* *var3*= *v3*; *var4* *var4*= *v4*

説明: 異常事象の総称トレース。var1 はモジュール名と最初のトレース変数名、v1 は最初の変数値、var2 は 2 番目のトレース変数名、v2 は 2 番目のトレース変数値といった具合に (16 進値で) 表示されます。

---

**VCRM.009**

レベル: UI-ERROR

短構文: VCRM.009 VCRM Unxpctd *Condition Code*  
*ErrorMsg* from *Routine*

長構文: VCRM.009 VCRM Unexpected *Condition Code*  
*ErrorMsg* from *Routine*

説明: VCRM の予期しない状態が発生しました。

---

**VCRM.010**

レベル: U-TRACE

短構文: VCRM.010 *var1= v1; var2= v2; var3= v3;*  
*var4= v4*

長構文: VCRM.010 component *var1 var1= v1; var2*  
*var2= v2; var3 var3= v3; var4 var4= v4*

説明: 異常事象の総称トレース。var1 はモジュール名と最初のトレース変数名、v1 は最初の変数値、var2 は2番目のトレース変数名、v2 は2番目のトレース変数値といった具合に (10 進値で) 表示されます。

---

**VCRM.011**

レベル: P-TRACE

短構文: VCRM.011 DSRM *strm streamId action chng=*  
*deltaBw sum= sumBw Module*

長構文: VCRM.011 DSRM stream id *streamId action*  
*deltaBw total amount sumBw Module*

説明: RSVP によって使用される DS ストリームが、その予約量を変更しました。

---

## 第126章 バーチャル LAN (VLAN) ELS

この章では、バーチャル LAN (VLAN) ELS メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### VLAN.001

レベル: C-TRACE

短構文: VLAN.001 TR IP arp

長構文: VLAN.001 Received a token ring IP arp frame

説明: トークンリング IP ARP フレームを受信しました。

---

### VLAN.002

レベル: C-TRACE

短構文: VLAN.002 ENET IP arp DX

長構文: VLAN.002 Received an ethernet IP arp frame in DIX encapsulation

説明: DIX カプセル化によるイーサネット IP ARP フレームを受信しました。

---

### VLAN.003

レベル: C-TRACE

短構文: VLAN.003 ENET IP arp SNAP

長構文: VLAN.003 Received an ethernet IP arp frame in SNAP encapsulation

説明: SNAP カプセル化によるイーサネット IP ARP フレームを受信しました。

---

### VLAN.004

レベル: C-TRACE

短構文: VLAN.004 TR IPX 802.2

長構文: VLAN.004 Received a token ring IPX frame in 802.2 encapsulation

説明: 802.2 カプセル化によるトークンリング IPX フレームを受信しました。

---

### VLAN.005

レベル: C-TRACE

短構文: VLAN.005 TR IPX SNAP

長構文: VLAN.005 Received a token ring IPX frame in SNAP encapsulation

説明: SNAP カプセル化によるトークンリング IPX フレームを受信しました。

---

### VLAN.006

レベル: C-TRACE

短構文: VLAN.006 ENET IPX DIX

長構文: VLAN.006 Received an ethernet IPX frame in DIX encapsulation

説明: DIX カプセル化によるイーサネット IPX フレームを受信しました。

---

### VLAN.007

レベル: C-TRACE

短構文: VLAN.007 ENET IPX raw

長構文: VLAN.007 Received an ethernet IPX frame in raw encapsulation

説明: 生カプセル化によるイーサネット IPX フレームを受信しました。

---

### VLAN.008

レベル: C-TRACE

短構文: VLAN.008 ENET IPX 802.2

長構文: VLAN.008 Received an ethernet IPX frame in 802.2 encapsulation

説明: 802.2 カプセル化によるイーサネット IPX フレームを受信しました。

---

### VLAN.009

レベル: C-TRACE

短構文: VLAN.009 ENET IPX SNAP

長構文: VLAN.009 Received an ethernet IPX frame in SNAP encapsulation

説明: SNAP カプセル化によるイーサネット IPX フレームを受信しました。

---

**VLAN.010**

レベル: C-TRACE

短構文: VLAN.010 TR NTBS

長構文: VLAN.010 Received a token ring netbios frame

説明: トークンリング NETBIOS フレームを受信しました。

---

**VLAN.011**

レベル: C-TRACE

短構文: VLAN.011 ENET NTBS LLC

長構文: VLAN.011 Received an ethernet netbios LLC frame

説明: イーサネット NETBIOS LLC フレームを受信しました。

---

**VLAN.012**

レベル: C-TRACE

短構文: VLAN.012 ENET NTBS

長構文: VLAN.012 Received an ethernet netbios frame

説明: イーサネット NETBIOS フレームを受信しました。

---

**VLAN.013**

レベル: C-TRACE

短構文: VLAN.013 Discard packet source MAC *sourceMac[0]*

長構文: VLAN.013 The packet from the indicated MAC *sourceMac[0]* was discarded. The port map is set to zero

説明: パケットは廃棄されました。ポート・マップはゼロに設定されます。これは、IP カットスルーが使用不可にされているか、一致する IPX カプセル化が見つからなかったことが原因と考えられます。

処置: なし。

---

**VLAN.014**

レベル: C-TRACE

短構文: VLAN.014 Discard packet (port excluded) prt *port\_num* ifc *ifc\_num* MAC *sourceMac[0]*

長構文: VLAN.014 Discard packet (port excluded) prt *port\_num* ifc *ifc\_num* MAC *sourceMac[0]*

説明: 指定のポートおよびインターフェース上で、指定の MAC アドレスからパケットを受信しましたが、廃

棄しました。VLAN でポートの排他が設定されているためです。ポート・マップはゼロに設定されます。

処置: なし。

---

**VLAN.015**

レベル: C-TRACE

短構文: VLAN.015 Flood packet from MAC *sourceMac[0]*

長構文: VLAN.015 The packet from the indicated MAC address *sourceMac[0]* will be flooded.

説明: 指定の MAC アドレスからのパケットはフラッディングされます。ポート・マップは未変更です。

処置: なし。

---

**VLAN.016**

レベル: C-TRACE

短構文: VLAN.016 IP prt *port\_num* ifc *ifc\_num* MAC *sourceMac[0]* *sourceNet* -> *protocolOption*

長構文: VLAN.016 Received an IP packet on port *port\_num* interface *ifc\_num* MAC *sourceMac[0]* *sourceNet* -> destination *protocolOption*

説明: 発信元からあて先へ向かう、指定のポートおよびインターフェース上で、指定の MAC アドレスから IP パケットを受信しました。

処置: なし。

---

**VLAN.017**

レベル: C-TRACE

短構文: VLAN.017 IPX prt *port\_num* ifc *ifc\_num* MAC *sourceMac[0]* nt *sourceNet*

長構文: VLAN.017 Received an IPX packet on port *port\_num* interface *ifc\_num* MAC address *sourceMac[0]* network *sourceNet*

説明: 指定のポート、インターフェース、およびネットワーク上で、指定の MAC アドレスから IPX パケットを受信しました。

処置: なし。

---

**VLAN.018**

レベル: C-TRACE

短構文: VLAN.018 NTBS prt *port\_num* ifc *ifc\_num* MAC *sourceMac[0]*

長構文: VLAN.018 Received a NETBIOS packet on

port *port\_num* interface *ifc\_num* MAC address *sourceMac[0]*

**説明:** 指定のポートおよびインターフェース上で、指定の MAC アドレスから NETBIOS パケットを受信しました。

**処置:** なし。

---

#### VLAN.019

**レベル:** C-TRACE

**短構文:** VLAN.019 SLDW prt *port\_num* ifc *ifc\_num* MAC *sourceMac[0]*

**長構文:** VLAN.019 Received a packet on port *port\_num* interface *ifc\_num* MAC address *sourceMac[0]* sldw fltr.

**説明:** 指定のポートおよびインターフェース上で、指定の MAC アドレスからパケットを受信しました。スライディング・ウィンドウ・フィルタが定義されており、検査されます。

**処置:** なし。

---

#### VLAN.020

**レベル:** C-TRACE

**短構文:** VLAN.020 fwd PMP[0-3] *vlanPmap[0]* *vlanPmap[1]* *vlanPmap[2]* *vlanPmap[3]*

**長構文:** VLAN.020 forwarding port map [0][1][2][3] *vlanPmap[0]* *vlanPmap[1]* *vlanPmap[2]* *vlanPmap[3]*

**説明:** パケットが送り出される転送ポート・マップ

**処置:** なし。

---

#### VLAN.021

**レベル:** C-TRACE

**短構文:** VLAN.021 fwd PMP[4-7] *vlanPmap[0]* *vlanPmap[1]* *vlanPmap[2]* *vlanPmap[3]*

**長構文:** VLAN.021 forwarding port map [4][5][6][7] *vlanPmap[0]* *vlanPmap[1]* *vlanPmap[2]* *vlanPmap[3]*

**説明:** パケットが送り出される転送ポート・マップ

**処置:** なし。

---

#### VLAN.022

**レベル:** C-TRACE

**短構文:** VLAN.022 agt *network* hndl *handle* PMP[0-3] *ageoutPmap[0]* *ageoutPmap[1]* *ageoutPmap[2]* *ageoutPmap[3]*

**長構文:** VLAN.022 ageout *network* handle *handle* port

*map[4-7]* *ageoutPmap[0]* *ageoutPmap[1]* *ageoutPmap[2]* *ageoutPmap[3]*

**説明:** 指定のネットワーク上でタイマーが満了すると、動作可能および転送ポート・マップから除外されず。ハンドルによって、どの VLAN であるかが示されます。

**処置:** なし。

---

#### VLAN.023

**レベル:** C-TRACE

**短構文:** VLAN.023 agt *network* hndl *handle* PMP[4-7] *ageoutPmap[4]* *ageoutPmap[5]* *ageoutPmap[6]* *ageoutPmap[7]*

**長構文:** VLAN.023 ageout *network* handle *handle* port *map[4-7]* *ageoutPmap[4]* *ageoutPmap[5]* *ageoutPmap[6]* *ageoutPmap[7]*

**説明:** IP、IPX、または NBS (NETBIOS) でタイマーが満了すると、動作可能および転送ポート・マップから除外されます。ハンドルによって、それぞれの VLAN での VLAN であるかが示されます。

**処置:** なし。

---

#### VLAN.024

**レベル:** C-TRACE

**短構文:** VLAN.024 sld mtch prt *port\_num* ifc *ifc\_num* MAC *sourceMac[0]* strt *offsetType* offst *offset* cmpln *sldwCmpLen* vl *framePtr* *framePtr+4* *framePtr+8*

**長構文:** VLAN.024 Match on a sliding window filter occurred on port *port\_num* interface *ifc\_num* MAC *sourceMac[0]* starting field *offsetType* offset *offset* compare length *sldwCmpLen* value *framePtr* *framePtr+4* *framePtr+8*

**説明:** スライディング・ウィンドウ VLAN で、指定のポートおよびインターフェース上で指定の MAC アドレスから受信したパケットとの一致が起きました。一致は、指定の長さの指定のオフセットで起きました。10 バイトのデータが表示されています。

**処置:** なし。

---

#### VLAN.025

**レベル:** C-TRACE

**短構文:** VLAN.025 mac match prt *port\_num* ifc *ifc\_num* MAC *sourceMac[0]*

**長構文:** VLAN.025 Match on a Mac Address filter



occured on port *port\_num* interface *ifc\_num* MAC *sourceMac[0]*

**説明:** MAC アドレス VLAN で、指定のポートおよびインターフェース上で発信元 MAC アドレスから受信したパケットとの一致が起きました。

**処置:** なし。

---

#### VLAN.026

**レベル:** C-TRACE

**短構文:** VLAN.026 port match prt *port\_num* ifc *ifc\_num* MAC *sourceMac[0]*

**長構文:** VLAN.026 Match on a Port-based filter occured on port *port\_num* interface *ifc\_num* MAC Address *sourceMac[0]*

**説明:** ポート・ベース VLAN で、指定のポートおよびインターフェース上で MAC アドレスから受信したパケットとの一致が起きました。

**処置:** なし。

---

#### VLAN.027

**レベル:** C-TRACE

**短構文:** VLAN.027 IGMP Report prt *port\_num* ifc *ifc\_num* MAC *sourceMac[0]* Group *ipGroupAddress*

**長構文:** VLAN.027 Received an IGMP Report on port *port\_num* interface *ifc\_num* MAC *sourceMac[0]* Group *ipGroupAddress*

**説明:** 指定のポートおよびインターフェース上で、指定の MAC アドレスから指定の IP マルチキャスト・グループあての IGMP レポート・フレームを受信しました。

**処置:** なし。

---

#### VLAN.028

**レベル:** C-TRACE

**短構文:** VLAN.028 IP Mcast port *port\_num* ifc *ifc\_num* MAC *sourceMac[0]* Group *ipGroupAddress*

**長構文:** VLAN.028 Received matching IP Multicast frame on port *port\_num* interface *ifc\_num* MAC *sourceMac[0]* to Group *ipGroupAddress*

**説明:** 指定のポートおよびインターフェース上で、指定の MAC アドレスから指定の IP マルチキャスト・グループあての IP マルチキャスト・フレームを受信しましたが、これが使用可能にされている IP マルチキャスト VLAN に一致しています。

**処置:** なし。

---

#### VLAN.029

**レベル:** C-TRACE

**短構文:** VLAN.029 OSPF Hello prt *port\_num* ifc *ifc\_num* MAC *sourceMac[0]*

**長構文:** VLAN.029 Received an OSPF Hello on port *port\_num* interface *ifc\_num* MAC *sourceMac[0]*

**説明:** 指定のポートおよびインターフェース上で、指定の MAC アドレスから OSPF ハロー・フレームを受信しました。

**処置:** なし。

---

#### VLAN.030

**レベル:** C-TRACE

**短構文:** VLAN.030 DVMRP Probe prt *port\_num* ifc *ifc\_num* MAC *sourceMac[0]*

**長構文:** VLAN.030 Received a DVMRP Probe on port *port\_num* interface *ifc\_num* MAC *sourceMac[0]*

**説明:** 指定のポートおよびインターフェース上で、指定の MAC アドレスから DVMRP プロブ・フレームを受信しました。

**処置:** なし。

---

#### VLAN.031

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** VLAN.031 Invld brid *brid*

**長構文:** VLAN.031 Invalid bridge ID *brid*

**説明:** ブリッジ ID が VLAN ブリッジ・テーブルに存在しません。

**処置:** なし。

---

#### VLAN.032

**レベル:** DEBUG

**短構文:** VLAN.032 BestFwd Info brid *brid* bcsts\_fwd *brInstTable->bcasts\_forward* crnt\_bcsts\_fwd *brInstTable->current\_bcasts\_forward*

**長構文:** VLAN.032 Broadcast forwarding state requested bridge ID *brid* *brInstTable->bcasts\_forward* *brInstTable->bcasts\_forward* *brInstTable->current\_bcasts\_forward* *brInstTable->current\_bcasts\_forward*

**説明:** 指定のブリッジ ID の同報通信転送情報の現行

状態が要求されました。同報通信転送フラグの状態が、  
現行転送フラグの前の状態とともに表示されます。

処置: なし。

---

#### VLAN.033

レベル: DEBUG

短構文: VLAN.033 fddl\_brdg\_intCnfgStReq state  
portState

長構文: VLAN.033  
fddl\_bridge\_interfaceConfigSetRequest state portState

説明: fddl\_bridge\_interfaceConfigSetRequest へのコール  
で、渡された状態が  
SRT\_PBLOCKED、SRT\_PLISTENING、SRT\_PLEARNING、  
または SRT\_PFORWARDING ではありません。

処置: なし。

---

#### VLAN.034

レベル: DEBUG

短構文: VLAN.034 CfgReq brghndl brgFddlHandle ifc  
cfgInfo.interfaceNum cfg.state cfgInfo.interfaceState cfg.bcf  
cfgInfo.broadcastsForwardedByCpu

長構文: VLAN.034 Sending CFG interface bridge  
handle brgFddlHandle number cfgInfo.interfaceNum  
interface state cfgInfo.interfaceState broadcasts forwarded  
cfgInfo.broadcastsForwardedByCpu

説明: 指定のインターフェースのインターフェース構  
成設定要求を送信中です。インターフェース fddl ブリ  
ッジ・ハンドル、インターフェース番号、同報通信状  
態、および同報通信転送フラグが表示されます。

処置: なし。

---

#### VLAN.035

レベル: UI-ERROR

短構文: VLAN.035 Err fddl\_brdg\_intCnfgStReq rc rc

長構文: VLAN.035 Error calling  
fddl\_bridge\_interfaceConfigSetRequest return code rc

説明: fddl\_bridge\_interfaceConfigSetRequest のコール  
で、エラーが戻されました。コールからの戻りコードが  
表示されます。

処置: なし。

---

#### VLAN.036

レベル: C-INFO

短構文: VLAN.036 mcastAddReq brghndl  
brgFddlHandle MAC  
&mcAddReq.lanDest.macAddr.octets[0] fwd msk  
mcAddReq.iMask[0-7] &mcAddReq.eMask[0-7] exc msk

長構文: VLAN.036 Sending multicast add request bridge  
handle brgFddlHandle MAC address  
&mcAddReq.lanDest.macAddr.octets[0] include mask  
mcAddReq.iMask[0-7] &mcAddReq.eMask[0-7] exclude  
map

説明: fddl\_bridge\_multicastAddRequest を送信中です。  
fddl ブリッジ・ハンドル、MAC アドレス、および包含/  
除外マスクが表示されます。

処置: なし。

---

#### VLAN.037

レベル: UI-ERROR

短構文: VLAN.037 Err fddl\_brdg\_mcastAddReq rc

長構文: VLAN.037 Error calling  
fddl\_bridge\_interfaceConfigSetRequest return code rc

説明: fddl\_bridge\_multicastAddRequest のコールで、エ  
ラーが戻されました。コールからの戻りコードが表示さ  
れます。

処置: なし。

---

#### VLAN.038

レベル: C-INFO

短構文: VLAN.038 macAddrDelReq brghndl  
brgFddlHandle MAC mcAddReq.lanDest.macAddr.octets[0]

長構文: VLAN.038 Sending mac address delete request  
bridge handle brgFddlHandle MAC address  
mcAddReq.lanDest.macAddr.octets[0]

説明: fddl\_bridge\_macAddrDeleteRequest を送信中で  
す。fddl ブリッジ・ハンドルと MAC アドレスが表示  
されます。

処置: なし。

---

#### VLAN.039

レベル: UI-ERROR

短構文: VLAN.039 Err fddl\_brdg\_macAddrDelReq rc

長構文: VLAN.039 Error calling  
fddl\_bridge\_macAddrDeleteRequest return code rc

説明: `fddl_bridge_macAddrDeleteRequest` のコールで、エラーが戻されました。コールからの戻りコードが表示されます。

処置: なし。

---

#### VLAN.040

レベル: C-INFO

短構文: `VLAN.040 mcastStatsGetReq brghndl  
brgFddlHandle MAC  
&mcAddReq.lanDest.macAddr.octets[0]`

長構文: `VLAN.040 Sending multicast get statistics  
request bridge handle brgFddlHandle MAC address  
&mcAddReq.lanDest.macAddr.octets[0]`

説明: `fddl_bridge_multicastStatsGetRequest` を送信中です。`fddl` ブリッジ・ハンドルと MAC アドレスが表示されます。

処置: なし。

---

#### VLAN.041

レベル: UI-ERROR

短構文: `VLAN.041 Err fddl_brdg_mcastStatsGetReq rc`

長構文: `VLAN.041 Error calling  
fddl_bridge_multicastStatsGetRequest return code rc`

説明: `fddl_bridge_multicastStatsGetRequest` のコールで、エラーが戻されました。コールからの戻りコードが表示されます。

処置: なし。

---

#### VLAN.042

レベル: C-INFO

短構文: `VLAN.042 mcastStatsGetReply MAC  
mcAddReq.lanDest.macAddr.octets[0] fwd  
stats.framesForwarded fltrd stats.framesFiltered`

長構文: `VLAN.042 Received multicast statistics reply  
MAC address mcAddReq.lanDest.macAddr.octets[0] frames  
forwarded stats.framesForwarded frames filtered  
stats.framesFiltered`

説明: `fddl_bridge_multicastStatsGetReply` を受信しました。MAC アドレス、フレーム転送値およびフレーム・フィルター値が表示されます。

処置: なし。

---

#### VLAN.043

レベル: UI-ERROR

短構文: `VLAN.043 mcastStatsGetReply address not  
found MAC lanDest.macAddr.octets[0]`

長構文: `VLAN.043 Received multicast statistics reply  
MAC address lanDest.macAddr.octets[0] not found`

説明: マルチキャスト統計応答を受信しましたが、MAC アドレスが見つかりませんでした。

処置: なし。

---

#### VLAN.044

レベル: C-INFO

短構文: `VLAN.044 IGMP Query in prt port_num ifc  
ifc_num MAC sourceMac[0] Group ipGroupAddress`

長構文: `VLAN.044 Received an IGMP Query on port  
port_num interface ifc_num MAC sourceMac[0] Group  
ipGroupAddress`

説明: 指定のポートおよびインターフェース上で、指定の MAC アドレスから指定の IP マルチキャスト・グループあての IGMP 照会フレームを受信しました。グループがゼロの場合は、フレームはすべてのグループへの一般照会になります。

処置: なし。

---

#### VLAN.045

レベル: C-INFO

短構文: `VLAN.045 Tx IGMP General Query out port  
port_num ifc ifc_num`

長構文: `VLAN.045 Transmit IGMP Query out port  
port_num interface ifc_num`

説明: IGMP 一般照会フレームが、指定のポートおよびインターフェースから伝送されました。

処置: なし。

---

#### VLAN.046

レベル: C-INFO

短構文: `VLAN.046 Tx IGMP Report prt port_num ifc  
ifc_num srcIp ipSourceAddress Group ipGroupAddress`

長構文: `VLAN.046 Transmit an IGMP Report out port  
port_num interface ifc_num srcIp ipSourceAddress Group  
ipGroupAddress`

説明: 指定のポートおよびインターフェースから、指定の IP マルチキャスト・グループあての IGMP レポ

ート・フレームが、指定の発信元 IP アドレスを付けて  
伝送されました。

処置: なし。

---

#### **VLAN.047**

レベル: C-INFO

短構文: VLAN.047 BOOTP received on prt *port\_num*  
ifc *ifc\_num* from MAC *sourceMac[0]*

長構文: VLAN.047 Received a BOOTP frame on port  
*port\_num* interface *ifc\_num* from MAC *sourceMac[0]*

説明: 指定のポートおよびインターフェース上で、指  
定の MAC アドレスから BOOTP フレームを受信しま  
した。

処置: なし。



---

## 第127章 バーチャル・ルーター冗長プロトコル (VRRP)

この章では、バーチャル・ルーター冗長プロトコル (VRRP) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### VRRP.001

レベル: C-INFO

短構文: VRRP.001 VRID *Interface\_address/ vrid* init success net *network\_number* ifc *network\_name\_number/*

長構文: VRRP.001 VRID *Interface\_address/ vrid* initialization successful for net *network\_number* and interface *network\_name\_number/* .

説明: VRID (バーチャル・ルーター) は正常に初期化されました。この VRID は、VRRP プロトコルに含まれます。

---

### VRRP.002

レベル: UE-ERROR

短構文: VRRP.002 VRID *Interface\_address/ vrid* init failed: *reason\_code*

長構文: VRRP.002 VRID *Interface\_address/ vrid* initialization failed due to *reason\_code*.

説明: VRID (バーチャル・ルーター) が初期化されませんでした。理由コードが障害のタイプを示しています。1 - インターフェース IP アドレスが見つからない。2 - IP アドレスのネットが見つからない。3 - IP アドレスのネットがサポートされない。4 - サポートされないトークンリング機能アドレス。5 - VRID 制御ブロック割り振り時の記憶域エラー。6 - VRID はバーチャル・アドレスを持たない。7 - ブリッジ・ネット上のマルチキャスト VRID は許されない。

---

### VRRP.003

レベル: C-INFO

短構文: VRRP.003 Net *network\_number* ifc *network\_name\_number/ source\_mac destination\_mac-> protocol* proto

長構文: VRRP.003 Net *network\_number* interface *network\_name\_number/ source\_mac* MAC level send *destination\_mac-> protocol* protocol successful.

説明: ネットワーク *n\_fsend* 機能を使用して、インターフェース上で MAC レベルのフレームが送信されました。

---

### VRRP.004

レベル: UE-ERROR

短構文: VRRP.004 Net *network\_number* ifc *network\_name\_number/ source\_mac destination\_mac-> protocol* proto *reason\_code* failed:

長構文: VRRP.004 Net *network\_number* interface *network\_name\_number/ source\_mac* MAC level send *destination\_mac-> protocol* protocol *reason\_code* failed due to .

説明: MAC レベルのフレームの送信が失敗しました。理由コードが、障害の発生源を示しています。その他 - *n\_fsend()* 戻りコード 254 - リンク・レイヤー・ヘッダ一割り振り失敗。

---

### VRRP.005

レベル: C-INFO

短構文: VRRP.005 VRID *Interface\_address/ vrid* adv net *interface\_name* ifc *network\_number/ network\_name\_number*

長構文: VRRP.005 VRID *Interface\_address/ vrid* advertisement sent on net *interface\_name* interface *network\_number/ network\_name\_number*.

説明: インターフェース上で VRID 公示が送信されました。

---

### VRRP.006

レベル: UE-ERROR

短構文: VRRP.006 VRID *Interface\_address/ vrid* adv net *interface\_name* ifc *network\_number/ network\_name\_name* failed:

長構文: VRRP.006 VRID *Interface\_address/ vrid* advertisement on net *interface\_name* interface *network\_number/ network\_name\_name* failed due to reason .

説明: 次の理由で、インターフェース上で VRID 公示が送信されませんでした。1 - 入出力バッファ一割り振り失敗 2 - *vrrp\_mac\_send()* 障害



---

**VRRP.007**

レベル: C-INFO

短構文: VRRP.007 VRID *Interface\_address/ vrid* state *old\_state\_name-> new\_state\_name: event\_name*

長構文: VRRP.007 VRID *Interface\_address/ vrid* state change from *old\_state\_name* to *new\_state\_name* due to event *event\_name*.

説明: VRID の状態が変更されました。

---

**VRRP.008**

レベル: C-INFO

短構文: VRRP.008 VRID *Interface\_address/ vrid* adv rcv src *source\_ip* net *interface\_name* ifc *network\_number/ network\_name\_number*

長構文: VRRP.008 VRID *Interface\_address/ vrid* advertisement received on from *source\_ip* on net *interface\_name* interface *network\_number/ network\_name\_number*.

説明: インターフェース上で送信側から VRID 公示を受信しました。

---

**VRRP.009**

レベル: UE-ERROR

短構文: VRRP.009 VRID *Interface\_address/ vrid* adv rej src *source\_ip* net *interface\_name* ifc *network\_number/ network\_name\_number: reason\_code*

長構文: VRRP.009 VRID *Interface\_address/ vrid* advertisement received on from *source\_ip* on net *interface\_name* interface *network\_number/ network\_name\_number* due to reason *reason\_code*.

説明: 指定された理由のため、VRID 公示が拒否されました。理由コードには、次のものが含まれます。1 - IP TTL が正しくない 2 - IP 長が正しくない 3 - VRRP バージョン/タイプが正しくない 4 - 正しくないネット で受信 5 - チェックサムが正しくない 6 - 認証エラー

---

**VRRP.010**

レベル: C-INFO

短構文: VRRP.010 VRID *Interface\_address/ vrid* adv src *source\_ip* net *vrid\_interval* ifc *received\_interval/ int mm vs*

長構文: VRRP.010 VRID *Interface\_address/ vrid* advertisement received from *source\_ip* net *vrid\_interval* interface *received\_interval/* has interval mismatch versus .

説明: 受信した VRID 公示の公示間隔が、構成された VRID 公示と異なっています。ただし、この公示は受け入れられました。

---

**VRRP.011**

レベル: C-INFO

短構文: VRRP.011 VRID *Interface\_address/ vrid* adv src *source\_ip* net ifc / addr mm

長構文: VRRP.011 VRID *Interface\_address/ vrid* advertisement received on from *source\_ip* net interface / had address list mismatch.

説明: 受信した VRID 公示のアドレス・リストが、構成された VRID アドレス・リストと異なっています。ただし、この公示は受け入れられました。

---

**VRRP.012**

レベル: UI-ERROR

短構文: VRRP.012 Dup VR addr *ip\_address* in VRIDs *interface\_address/ vrid* and *interface\_address/ vrid*

長構文: VRRP.012 Duplicate Virtual Router IP address *ip\_address* in VRIDs *interface\_address/ vrid* and *interface\_address/ vrid*.

説明: 指定されたバーチャル・ルーター IP アドレスが、複数の VRID の中で構成されたか、1 つの VRID の中で複数回構成されました。

処置: 指定されたバーチャル・ルーター IP アドレスの 1 つのインスタンスを除きすべて削除します。

---

## 第128章 音声フィーチャー (VOICE)

この章では、音声フィーチャー (VOICE) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### VOIC.001

レベル: C-INFO

短構文: VOIC.001 Call *message7s* recv nt *network ID*, trans nt *network ID* DLCI *dpci* sub *subchannel* cir *circuit* NID *nid* infolabel *info*

長構文: VOIC.001 Call *message7s* packet received on network *network ID*, transmitted on network *network ID* DLCI = *dpci* subchannel = *subchannel* circuit = *circuit* Sender NID = *nid* infolabel = *info*

説明: 指定のインターフェースで、コール処理パケットを受信し、送信しました。

---

### VOIC.002

レベル: C-INFO

短構文: VOIC.002 Call *message7s* trans nt *network ID* DLCI *dpci* sub *subchannel* cir *circuit* NID *nid* infolabel *info*

長構文: VOIC.002 Call *message7s* packet transmitted on network *network ID* DLCI = *dpci* subchannel = *subchannel* circuit = *circuit* Sender NID = *nid* infolabel = *info*

説明: 指定のインターフェースで、ローカルに生成されたコール処理パケットが送信されました。

---

### VOIC.003

レベル: C-INFO

短構文: VOIC.003 Call *message7s* recv nt *network ID*, disc unroutable DLCI *dpci* sub *subchannel* cir *circuit* NID *nid* infolabel *info*

長構文: VOIC.003 Call *message7s* packet received on network *network ID*, discarded as unroutable DLCI = *dpci* subchannel = *subchannel* circuit = *circuit* Sender NID = *nid* infolabel = *info*

説明: 指定のインターフェースで、コール処理パケットを受信されましたが、経路指定できないとして廃棄されました。

---

### VOIC.004

レベル: ALWAYS

短構文: VOIC.004 Cfg Warning: *warning* nt *network ID*

長構文: VOIC.004 Configuration Warning: *warning* network *network ID*

説明: 指定のインターフェースで、音声動作に関して起こりうる構成エラーが検出されました。



---

## 第129章 V.25bis ダイアル呼び出し (V25B)

この章では、V.25bis ダイアル呼び出し (V25B) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### V25B.001

レベル: CE-ERROR

短構文: V25B.001 I\_ERR (0x *status*) len( *msglen*) on rcv nt *network ID*

長構文: V25B.001 Frame received with I\_ERR set (*status* = 0x *status*) or bad length( *msglen*), on network *network ID*

説明: V.25bis: v25b\_rx() がドライバーからエラー・フラグがセットされた、または最小値以下の長さのバッファを受信しました。

処置: この事象をサービス技術員に連絡してください。

---

### V25B.002

レベル: UE-ERROR

短構文: V25B.002 Rx bad type ( *type*) st *state* on nt *network ID*

長構文: V25B.002 Received an unrecognized frame type ( *type*) in state *state*, on network *network ID*

説明: V.25bis: v25b\_rx() が DCE からフレームを受信したが、通常の V.25bis 指示以外であり、状態は "接続" 以外でした。

処置: この事象をサービス技術員に連絡してください。

---

### V25B.003

レベル: U-INFO

短構文: V25B.003 Cll to *address* failed T = *secs. ms* secs on nt *network ID*

長構文: V25B.003 Call to *address* failed after *secs. ms* seconds on network *network ID*

説明: 接続の試みは失敗しました。考えられる理由については、V25B.016 を参照してください。

---

### V25B.006

レベル: C-INFO

短構文: V25B.006 FSM st *state1* ev *event* -> st *state2* nt *network ID*

長構文: V25B.006 FSM transition occurred: old state *state1*, event *event*, new state *state2* on network *network ID*.

説明: ハンドラーが、状態変更を起こした事象を受信しました。これがモデム信号の変化の結果生じたのであれば、先行するログ・メッセージ (使用可能である場合) が新規の信号を指示しているはずです。

---

### V25B.007

レベル: C-INFO

短構文: V25B.007 Mdm Chg 0x *modem1* -> 0x *modem2* (DSR/CTS/CD/CI) nt *network ID*

長構文: V25B.007 A modem signal change was detected (0x *modem1* -> 0x *modem2* DSR/CTS/CD/CI) network *network ID*.

説明: DCE からのモデム信号の変更が検出されました。これは、FSM 変換 (続く) を起こす場合とそうでない場合とがあります。

---

### V25B.008

レベル: UE-ERROR

短構文: V25B.008 Dead DCE nt *network ID*

長構文: V25B.008 DCE not responding to the handler on network *network ID*.

説明: V.25bis ハンドラーは自己検査でモデム (または CU/DSU) を上げようと試みます。(CTS を上げることによって) 応答しない場合は、ハンドラーでは、休止または非準拠と見なします。

原因: DCE が接続されていないか、電源オフ、操作不可能、または V.25bis に準拠していません。

処置: ケーブルを接続し、電源をオンにし、それを修正するか、または準拠しているモデムを入手します。

---

**V25B.009**

レベル: P-TRACE

短構文: V25B.009 RxD Pkt In *msglen* nt *network ID*

長構文: V25B.009 Received a frame of length ( *msglen*) from network *network ID*.

説明: V.25bis ハンドラーがデータ・フレームを受信しました。これはそのクライアント・カプセル化機能へ転送するものです。

---

**V25B.010**

レベル: P-TRACE

短構文: V25B.010 TxD Pkt In *msglen* nt *network ID*

長構文: V25B.010 Transmitted a frame of length ( *msglen*) over network *network ID*.

説明: V.25bis ハンドラーが、そのクライアント・カプセル化機能の代わりにデータ・フレームを転送しました。

---

**V25B.012**

レベル: UE-ERROR

短構文: V25B.012 No heap on *function* nt *network ID*

長構文: V25B.012 Insufficient heap memory to support this function ( *function*) on network *network ID*.

説明: V.25bis ハンドラーは、動作のためにある程度の量のヒープ記憶域を必要とするが、それを取得できませんでした。

原因: ロード・イメージ、またはプロトコル・テーブルのいずれかが大き過ぎます。

処置: ロード・イメージを小さくするか、転送元テーブルのサイズを減らしてください。

---

**V25B.013**

レベル: UE-ERROR

短構文: V25B.013 Bd cfg ( *function*) nt *network ID*

長構文: V25B.013 Incomplete configuration ( *function*) for network *network ID*.

説明: V.25bis ハンドラーは作業のために最小構成を必要としますが、その情報が指定されませんでした。

処置: このインターフェースの V25B 構成が少なくともローカル・アドレスを含んでいるか確認してください。

---

**V25B.014**

レベル: UE-ERROR

短構文: V25B.014 Bd ConnID (0x *ConnID* 0x *RegP* 0x *PortP*)

長構文: V25B.014 V.25bis function invoked with an invalid Connection Identifier (0x *ConnID* 0x *RegP* 0x *PortP*).

説明: V.25bis ハンドラーが、カプセル化機能に対してその接続関連機能への接続識別子を介してインターフェースをとります。無効な接続識別子で呼び出されました。

---

**V25B.015**

レベル: U-TRACE

短構文: V25B.015 Drp RxD Pkt In *msglen* st *state* nt *network ID*

長構文: V25B.015 Dropping a received Data frame of length ( *msglen*) in state *state* from network *network ID*.

説明: V.25bis ハンドラーはデータ・フレームを受信しましたが、予期した状態ではなかったため、それを除去しました。

---

**V25B.016**

レベル: U-TRACE

短構文: V25B.016 *indtype* Ind rsn *reason* st *state* nt *network ID*

長構文: V25B.016 DCE indication *indtype*, *reason* in state *state* on network *network ID*.

説明: DCE は指定された指示を送信しました。これは、V.25bis ハンドラーにより開始された接続の試みが、指定された理由により失敗した (INV または CFI) ことを示す場合があります (このメッセージに理由コードが付随している場合、その説明については発呼側装置ユーザーズ・マニュアルを参照してください)。他に、これは単なる冗長着信コール指示 (INC) である場合があります。これはすでに CI 回線 125 により信号されています。

原因: コールが打ち切られました。ルーター・タイムアウト、またはモデム・ユーザー・インターフェース・コマンド。

処置: コールの確立期間を延長するか、コールに割り込まないようにしてください。

原因: ローカル DCE 使用中: ユーザーが発呼側装置ユーザー・インターフェースを通じて介入しました。

**処置:** 介入しないでください。

**原因:** 使用中トーン: リモート・エンドが使用中です。

**処置:** 後で再度試みます (ルーターで自動的に行うべきです)。

**原因:** ダイヤル音なし: 電話ネットワークが応答しません。

**処置:** リンクを修理します。サービス会社に連絡してください。

**原因:** 番号が格納されていません。

**処置:** サービス技術員に連絡してください。対応するコマンドを使用していません。

**原因:** 応答トーン無し: リモート装置が応答トーンを出しませんでした。

**処置:** コールされた番号を調べ、リモート装置がオンラインかどうか確認します。

**原因:** リング・トーン (ただし、無応答)

**処置:** コールされた番号を調べ、リモート装置がオンラインかどうか確認します。

---

#### V25B.017

**レベル:** C-INFO

**短構文:** V25B.017 Indctn Message st state nt network ID

**長構文:** V25B.017 DCE sent Message in state state, on network network ID.

**説明:** 発呼側装置がルーターの要求 (INC) を受け入れたか、コールの接続中 (CNX または ONL) であるかのいずれかです。これは正常な事象です。ただし、特定の DCE/CU によって必ずしも常に報告されるとは限りません。

---

#### V25B.018

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** V25B.018 Dlyd Cll ind delaytime minutes nt network ID

**長構文:** V25B.018 DCE indicates Call Delayed for delaytime minutes on network network ID.

**説明:** 発呼側装置 (DCE) が、少なくとも指示した時間新たな発信コールをしないことを示しています。これは、ある種の DCE のある種の管理用任意選択フィーチャーで、短期間の高頻度のコールを禁止します。直前のログ項目を検査し、大量のコールが行われている理由を判別します。

**原因:** 特定のあて先に対する接続は継続してクリアされています。

**処置:** ゲートウェイ・メッセージを検査し、コールがアイドルにされている (アイドル期間を延長) か、検証プロシーチャーが失敗している (両端で呼び出し番号を検査) かを判別します。

**原因:** 無応答のリモート DCE

**処置:** コールされた番号を調べ、リモート DCE がオンラインかどうか確認します。

**原因:** リモート装置が使用中

**処置:** そのあて先に対するコール再試行タイムアウトを延ばします。

---

#### V25B.019

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** V25B.019 No Bf Cll nt network ID

**長構文:** V25B.019 Buffer unavailable for connection request on network network ID.

**説明:** ハンドラーは、DCE に "接続要求" を送信するためにバッファを必要とするが、それを獲得できませんでした。コールは失敗します。ルーターは後でコールを再開する必要があります。

---

#### V25B.020

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** V25B.020 Bd Sts CRN Tx 0x status nt network ID

**長構文:** V25B.020 Bad transmit status (0x status) for CRN network network ID.

**説明:** ドライバーは、コール・リクエスト (CRN) を送信しようとする際に不良送信状況を報告します。

---

#### V25B.021

**レベル:** C-INFO

**短構文:** V25B.021 Set DSS DSS nt network ID

**長構文:** V25B.021 Set output signals DSS on network network ID

**説明:** ルーターは、先行する事象の応答として出力データ・セット信号を変更しています。(DTR = V.24 回線 108/2 および RTS = V.24 回線 105)



---

**V25B.022**

レベル: CI-ERROR

短構文: V25B.022 no bfr avl *action* nt *network ID*

長構文: V25B.022 no buffer available for *action*  
network *network ID*

説明: ハードウェア固有のインターフェース・コードが、指定されたアクションを実行するためにパケット・バッファを必要としたとき、使用可能なパケット・バッファがありませんでした。

---

**V25B.023**

レベル: U-INFO

短構文: V25B.023 Slftst OK nt *network ID*

長構文: V25B.023 Selftest completed successfully on  
network *network ID*

説明: ルーターとモデム間の接続の自己検査が成功しました。

---

**V25B.024**

レベル: C-INFO

短構文: V25B.024 Tx CRN *destination* nt *network ID*

長構文: V25B.024 Sending Dial (CRN) command for  
call to *destination* on network *network ID*

説明: モデムは現在実際に V.25bis コマンドを受信できる状態なので、ダイヤルしたい電話番号をモデムに送信中です。

---

**V25B.025**

レベル: C-INFO

短構文: V25B.025 Clnt CR *destination* nt *network ID*

長構文: V25B.025 Client connection request to  
*destination* on network *network ID*

説明: クライアント (たとえば、ダイヤル回線または WAN 復元) が指定されたアドレスに接続要求を行ないました。

---

**V25B.026**

レベル: C-INFO

短構文: V25B.026 Clnt CR blkcd *destination* nt *network ID*

長構文: V25B.026 Client connection request on busy  
interface to *destination* on network *network ID*

説明: クライアント (たとえば、ダイヤル回線または WAN 復元) は接続を開始しようとしていますが、基本ネットワークが使用中です。

---

**V25B.027**

レベル: C-INFO

短構文: V25B.027 Out Call *destination* cmp T= *time* nt  
*network ID*

長構文: V25B.027 Client connection established to  
*destination* in *time* seconds on network *network ID*

説明: 指定された時間で、ルーターは要求された接続 (たとえば、ダイヤル回線または WAN 復元) を確立しました。オペレーターはこの値を使用して、構成済み接続タイムアウトを調整することができます。

---

**V25B.028**

レベル: ALWAYS

短構文: V25B.028 Bad drct Tx prot *Protocol*, pls remap  
to dial circuit on nt *network ID*

長構文: V25B.028 Some forwarder ( *Protocol* ) has  
attempted to transmit directly over the V.25bis network  
*network ID*

説明: V.25bis ネットワーク上での送信は、対応するダイヤル回線経由で行われ、したがって、適切なカプセル化が行われるというのは、想定でしかありません。これは転送機能の構成における誤りが原因です。どの転送元も V.25bis ネットワークを使用するよう構成してはいけません。これらメッセージの多数をまとめて、実際の事象の一部だけがログに記録されます。

原因: 転送元 (IP、IPX、など) アドレスは V.25bis インターフェースに割り当てられました。

処置: アドレスを削除し、ダイヤル回線 (それ自体は V.25bis ネットワークにマップされます) にアドレスを再割り当てすることになると考えられます。

原因: ブリッジまたは他の転送機能が V.25bis インターフェースを使用するよう構成されています。

処置: ブリッジまたは転送機能により使用されるポートとして V.25bis インターフェースを取り外します。

---

## 第130章 V.34 ダイヤル呼び出し (V34)

この章では、V.34 ダイヤル呼び出し (V34) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### V34.001

レベル: CE-ERROR

短構文: V34.001 I\_ERR (0x *status*) len( *msglen*) on rcv nt *network ID*

長構文: V34.001 Frame received with I\_ERR set (status = 0x *status*) or bad length( *msglen*), on network *network ID*

説明: V.34: V34\_rx() がドライバーからバッファを受信しましたが、エラー・フラグが設定されていたか、長さが最小値未満でした。

処置: この事象をサービス技術員に連絡してください。

---

### V34.002

レベル: C-INFO

短構文: V34.002 Rcv data/response: *type* st *state* on nt *network ID*

長構文: V34.002 Received data from modem ( *type*) in state *state*, on network *network ID*

説明: V34 は "接続" 以外の状態にあるときに、モデムからデータを受信しました。これは正常であり、通常、モデムはルーターによって送信された AT コマンドに回答しています。

---

### V34.003

レベル: U-INFO

短構文: V34.003 Cll to *address* failed T = *secs. ms* secs on nt *network ID*

長構文: V34.003 Call to *address* failed after *secs. ms* seconds on network *network ID*

説明: 接続の試みは失敗しました。考えられる理由については、V34.016 を参照してください。

---

### V34.006

レベル: C-INFO

短構文: V34.006 FSM st *state1* ev *event* -> st *state2* nt *network ID*

長構文: V34.006 FSM transition occurred: old state *state1*, event *event*, new state *state2* on network *network ID*.

説明: ハンドラーが、状態変更を起こした事象を受信しました。これがモデム信号の変化の結果生じたのであれば、先行するログ・メッセージ (使用可能である場合) が新規の信号を指示しているはずです。

---

### V34.007

レベル: C-INFO

短構文: V34.007 Mdm Chg 0x *modem1* -> 0x *modem2* (DSR/CTS/CD/CI) nt *network ID*

長構文: V34.007 A modem signal change was detected (0x *modem1* -> 0x *modem2* DSR/CTS/CD/CI) network *network ID*.

説明: DCE からのモデム信号の変更が検出されました。これは、FSM 変換 (続く) を起こす場合とそうでない場合とがあります。

---

### V34.008

レベル: UE-ERROR

短構文: V34.008 Dead DCE st *state* nt *network ID*

長構文: V34.008 DCE not responding (current st *state*) to the handler on network *network ID*.

説明: V.34 は、自己検査で、または通常操作ごとに、モデムを上げようと試みます。(CTS を上げることによって) 応答しない場合は、ハンドラーでは、休止または非準拠と見なします。

原因: DCE が未接続、電源オフ、動作不可能、または非 V.34 準拠です。

処置: ケーブルを接続し、電源をオンにし、それを修正するか、または準拠しているモデムを入手します。

---

### V34.009

レベル: P-TRACE

短構文: V34.009 RxD Pkt ln *msglen* nt *network ID*

長構文: V34.009 Received a frame of length ( *msglen*) from network *network ID*.

**説明:** V.34 ハンドラーはデータ・フレームを受信し、そのクライアント・カプセル化機能へそのデータ・フレームを転送中です。

---

#### V34.010

**レベル:** P-TRACE

**短構文:** V34.010 TxD Pkt In *msglen* nt *network ID*

**長構文:** V34.010 Transmitted a frame of length (*msglen*) over network *network ID*.

**説明:** V.34 ハンドラーが、そのクライアント・カプセル化機能に代わって、データ・フレームを送信しました。

---

#### V34.012

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** V34.012 No heap on *function* nt *network ID*

**長構文:** V34.012 Insufficient heap memory to support this function (*function*) on network *network ID*.

**説明:** V.34 ハンドラーは、動作のためにある程度の量のヒープ記憶域を必要とするが、それを取得できませんでした。

**原因:** ロード・イメージ、またはプロトコル・テーブルのいずれかが大き過ぎます。

**処置:** ロード・イメージを小さくするか、転送元テーブルのサイズを減らしてください。

---

#### V34.013

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** V34.013 Bd cfg (*function*) nt *network ID*

**長構文:** V34.013 Incomplete configuration (*function*) for network *network ID*.

**説明:** V.34 ハンドラーは作業のための最小構成を必要としますが、その情報が指定されませんでした。

**処置:** このインターフェースに関する V34 構成に、少なくともローカル・アドレスが組み込まれているかどうか確認してください。

---

#### V34.014

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** V34.014 Bd ConnID (0x *ConnID*)

**長構文:** V34.014 V.34 function invoked with an invalid Connection Identifier (0x *ConnID*).

**説明:** V.34 ハンドラーは、その接続関連機能のため

に、接続識別子を介して、カプセル化機能とのインターフェースをとります。無効な接続識別子で呼び出されました。

---

#### V34.015

**レベル:** U-TRACE

**短構文:** V34.015 Drp RxD Pkt In *msglen* st *state* nt *network ID*

**長構文:** V34.015 Dropping a received Data frame of length (*msglen*) in state *state* from network *network ID*.

**説明:** V.34 ハンドラーはデータ・フレームを受信しましたが、予期した状態ではなかったため、それを除去しました。

---

#### V34.016

**レベル:** U-TRACE

**短構文:** V34.016 *indtype* Ind rsn *reason* st *state* nt *network ID*

**長構文:** V34.016 DCE indication *indtype*, reason *reason* in state *state* on network *network ID*.

**説明:** DCE は指定された指示を送信しました。これは、示されている理由により、V.34 ハンドラーによって開始された接続の試みが失敗した (INV または CFI) ことを示している場合があります (このメッセージに理由コードが伴っている場合は、理由コードの説明については、発呼側装置の使用者資料を参照してください)。他に、これは単なる冗長着信コール指示 (INC) である場合があります。これはすでに CI 回線 125 により信号されています。

**原因:** コールが打ち切られました。ルーター・タイムアウト、またはモデム・ユーザー・インターフェース・コマンド。

**処置:** コールの確立期間を延長するか、コールに割り込まないようにしてください。

**原因:** ローカル DCE 使用中: ユーザーが発呼側装置ユーザー・インターフェースを通じて介入しました。

**処置:** 介入しないでください。

**原因:** 使用中トーン: リモート・エンドが使用中です。

**処置:** 後で再度試みます (ルーターで自動的に行うべきです)。

**原因:** ダイアル音なし: 電話ネットワークが応答しません。

**処置:** リンクを修理します。サービス会社に連絡してください。

**原因:** 番号が格納されていません。

**処置:** サービス技術員に連絡してください。対応するコマンドを使用していません。

**原因:** 応答トーン無し: リモート装置が応答トーンを出しませんでした。

**処置:** コールされた番号を調べ、リモート装置がオンラインかどうか確認します。

**原因:** リング・トーン (ただし、無応答)

**処置:** コールされた番号を調べ、リモート装置がオンラインかどうか確認します。

---

#### V34.017

**レベル:** C-INFO

**短構文:** V34.017 Indctn Message st state nt network ID

**長構文:** V34.017 DCE sent Message in state state, on network network ID.

**説明:** 発呼側装置がルーターの要求を受け入れたか、コールの接続中であるか、いずれかです。これは正常な事象です。ただし、特定の DCE によって必ずしも常に報告されるとは限らないようです。

---

#### V34.018

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** V34.018 Dlyd Cll ind delaytime minutes nt network ID

**長構文:** V34.018 DCE indicates Call Delayed for delaytime minutes on network network ID.

**説明:** 発呼側装置 (DCE) が、少なくとも指示した時間新たな発信コールをしないことを示しています。これは、ある種の DCE のある種の管理用任意選択フィーチャーで、短期間の高頻度のコールを禁止します。直前のログ項目を検査し、大量のコールが行われている理由を判別します。

**原因:** 特定のあて先に対する接続は継続してクリアされています。

**処置:** ゲートウェイ・メッセージを検査し、コールがアイドルにされている (アイドル期間を延長) か、検証プロシージャが失敗している (両端で呼び出し番号を検査) かを判別します。

**原因:** 無応答のリモート DCE

**処置:** コールされた番号を調べ、リモート DCE がオンラインかどうか確認します。

**原因:** リモート装置が使用中

**処置:** そのあて先に対するコール再試行タイムアウトを延ばします。

---

#### V34.019

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** V34.019 No Bf Cll nt network ID

**長構文:** V34.019 Buffer unavailable for connection request on network network ID.

**説明:** ハンドラーは、DCE に "接続要求" を送信するためにバッファを必要とするが、それを獲得できませんでした。コールは失敗します。ルーターは後でコールを再開する必要があります。

---

#### V34.020

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** V34.020 Bd Sts CRN Tx 0x status nt network ID

**長構文:** V34.020 Bad transmit status (0x status) for CRN network network ID.

**説明:** ドライバーは、コール・リクエスト (CRN) を送信しようとする際に不良送信状況を報告します。

---

#### V34.021

**レベル:** C-INFO

**短構文:** V34.021 Set DSS DSS nt network ID

**長構文:** V34.021 Set output signals DSS on network network ID

**説明:** ルーターは、先行する事象の応答として出力データ・セット信号を変更しています。(DTR = V.24 回線 108/2 および RTS = V.24 回線 105)

---

#### V34.022

**レベル:** CI-ERROR

**短構文:** V34.022 no bfr avl action nt network ID

**長構文:** V34.022 no buffer available for action network network ID

**説明:** ハードウェア固有のインターフェース・コードが、指定されたアクションを実行するためにパケット・バッファを必要としたとき、使用可能なパケット・バッファがありませんでした。

---

#### V34.023

**レベル:** U-INFO

**短構文:** V34.023 Slftst OK nt network ID

**長構文:** V34.023 Selftest completed successfully on network network ID

説明: ルーターとモデム間の接続の自己検査が成功しました。

---

#### V34.024

レベル: C-INFO

短構文: V34.024 Tx CRN *destination* nt *network ID*

長構文: V34.024 Sending Dial command for call to *destination* on network *network ID*

説明: モデムは現在実際に V.34 コマンドを受信できる状態なので、ダイヤルしたい電話番号をモデムに送信中です。

---

#### V34.025

レベル: C-INFO

短構文: V34.025 Clnt CR *destination* nt *network ID*

長構文: V34.025 Client connection request to *destination* on network *network ID*

説明: クライアント (たとえば、ダイヤル回線または WAN 復元) が指定されたアドレスに接続要求を行いません。

---

#### V34.026

レベル: C-INFO

短構文: V34.026 Clnt CR blkcd *destination* nt *network ID*

長構文: V34.026 Client connection request on busy interface to *destination* on network *network ID*

説明: クライアント (たとえば、ダイヤル回線または WAN 復元) は接続を開始しようとしていますが、基本ネットワークが使用中です。

---

#### V34.027

レベル: C-INFO

短構文: V34.027 Out Call *destination* cmp T=*time* nt *network ID*

長構文: V34.027 Client connection established to *destination* in *time* seconds on network *network ID*

説明: ローカル・クライアント (たとえば、ダイヤル回線または WAN 復元) により指定されたアドレスに要求された接続は、指定された時間で確立されました。オペレーターはこの値を使用して、構成済み接続タイムアウトを調整することができます。

---

#### V34.028

レベル: ALWAYS

短構文: V34.028 Bad drct Tx prot *Protocol*, pls remap to dial circuit on nt *network ID*

長構文: V34.028 Some forwarder ( *Protocol*) has attempted to transmit directly over the V.34 network *network ID*

説明: V.34 ネットワーク上での送信は、対応するダイヤル回線経由で行われ、したがって、適切なカプセル化が行われるというのは、想定でしかありません。これは転送機能の構成における誤りが原因です。転送機能はいずれも、V.34 ネットワークを使用する構成であってはなりません。これらメッセージの多数をまとめて、実際の事象の一部だけがログに記録されます。

原因: 転送機能 (IP、IPX など) アドレスが V.34 インターフェースに割り当てられました。

処置: アドレスを削除し、ダイヤル回線 (それ自体は V.34 ネットワークにマップされます) にアドレスを再割り当てすることになると考えられます。

原因: ブリッジまたは他の転送機能が V.34 インターフェースを使用する構成になっています。

処置: ブリッジまたは転送機能によって使用されるポートとしての V.34 インターフェースを除去します。

---

#### V34.029

レベル: UE\_ERROR

短構文: V34.029 V34 escape and hangup command, *hangup\_string*, not recognized by modem on nt *netnum*

長構文: V34.029 V34 escape and hangup command, *hangup\_string*, not recognized by modem on nt *netnum*

説明: V34 初期化 FSM によって送信されたエスケープ・シーケンスおよびハングアップ・コマンドを、モデムが認識しませんでした。

原因: 構成されたハングアップ・ストリングが間違っています。

処置: インターフェースに接続されている特定のモデム用として、正しいハングアップ・ストリングを調べてください。何も指定されていない場合は、ATH がデフォルトです。

---

#### V34.030

レベル: UE\_ERROR

短構文: V34.030 V34 reset command, *reset\_string*, not recognized by modem on nt *netnum*



**長構文:** V34.030 V34 reset command, *reset\_string*, not recognized by modem on nt *netnum*

**説明:** V34 初期化 FSM によって送信されたりセット・コマンドを、モデムが認識しませんでした。

**原因:** 構成されたりセット・ストリングが間違っています。

**処置:** インターフェースに接続されている特定のモデム用として、正しいリセット・ストリングを調べてください。何も指定されていない場合は、ATZ がデフォルトです。

---

### V34.031

**レベル:** UE\_ERROR

**短構文:** V34.031 V34 factory defaults command, *factory\_string*, not recognized by modem on nt *netnum*

**長構文:** V34.031 V34 factory defaults command, *factory\_string*, not recognized by modem on nt *netnum*

**説明:** V34 初期化 FSM によって送信されたファクトリー・デフォルト設定コマンドを、モデムが認識しませんでした。

**原因:** モデムは工場出荷時デフォルト値に設定するコマンドに対して期待通りに応答していません。

**処置:** エラーは無視されます。モデムが正しく動作しない場合には、デフォルトの構成済み初期化ストリングを変更する必要があります。

---

### V34.032

**レベル:** UE\_ERROR

**短構文:** V34.032 V34 init command, *init\_string*, not recognized by modem on nt *netnum*

**長構文:** V34.032 V34 init command, *init\_string*, not recognized by modem on nt *netnum*

**説明:** V34 初期化 FSM によって送信された初期化ストリング・コマンドを、モデムが認識しませんでした。

**原因:** 構成された初期化ストリングが間違っています。

**処置:** インターフェースに接続されている特定のモデム用として、正しい初期化ストリングを調べてください。何も指定されない場合は、at&f&s111&d2&c1x3 がデフォルトです。

---

### V34.033

**レベル:** UE\_ERROR

**短構文:** V34.033 V34 initialization failed on nt *network ID*

**長構文:** V34.033 V34 initialization failed on net *network ID*

**説明:** V34 モデム初期化アルゴリズムが失敗しました。

**原因:** DCE が CTS を上げるのに失敗したか、あるいは ATZ、AT&F または構成可能なモデム初期化ストリングに OK を送りませんでした。

**処置:** インターフェースに接続されている特定のモデム用として、正しい初期化ストリングを調べてください。何も指定されない場合は、at&f&s111&d2&c1x3 がデフォルトです。

---

### V34.034

**レベル:** CE-ERROR

**短構文:** V34.034 slf tst failed, mdm sts: CTS = *cts*, DSR = *dsr*, DCD = *dcd*, nt *network ID*

**長構文:** V34.034 Self test failed because of modem status: CTS = *cts*, DSR = *dsr*, DCD = *dcd*, network *network ID*

**説明:** 少なくとも1つのモデム信号がオフであったために、インターフェースの自己検査が失敗しました。モデム信号の現在の状態が ELS メッセージに示されています。モデム信号の正常な状態は、V34 接続の場合は、CTS=ON、DSR=ON、および DCD=OFF です。

**原因:** ケーブルがモデムに接続されていません。

**処置:** ケーブルを接続してください。

**原因:** モデムの電源が入っていません。

**処置:** モデムの電源を入れてください。

**原因:** モデム回線の相手側が正しく接続されていません (特に、DCD OFF)。

**処置:** モデムの問題を解決してください。

---

### V34.035

**レベル:** CE-ERROR

**短構文:** V34.035 int dwn due to mdm sts: CTS = *cts*, DSR = *dsr*, DCD = *dcd*, nt *network ID*

**長構文:** V34.035 Interface down because of modem status: CTS = *cts*, DSR = *dsr*, DCD = *dcd*, network *network ID*



**説明:** モデムの信号の1つがオフになったので、インターフェースがダウンしました。モデム信号の正常な状態は、V34 の場合は、CTS=ON、DSR=ON、および DCD=ON です。

---

#### V34.036

**レベル:** C-INFO

**短構文:** V34.036 Modem status change CTS = *cts*, DSR = *dsr*, DCD = *dcd*, nt *network ID*

**長構文:** V34.036 Modem status change CTS = *cts*, DSR = *dsr*, DCD = *dcd*, on *network network ID*

**説明:** モデム状況の変更が発生しました。モデム信号の現在の状態が ELS メッセージに示されています。モデム信号の正常な状態は、CTS=ON、DSR=ON、および DCD=ON です。

---

#### V34.037

**レベル:** C-INFO

**短構文:** V34.037 Cll dscnct from ISDN cll hndlr nt *network ID*

**長構文:** V34.037 Call disconnect from ISDN call handler on *network network ID*

**説明:** ISDN コール・ハンドラーが、指定のネットワークのコールの終了を通知しました。これは通常のコールの終了の場合もありますが、ハードウェア障害を通知している可能性もあります。

---

#### V34.038

**レベル:** U-INFO

**短構文:** V34.038 No nt to receive call.

**長構文:** V34.038 No net available or able to receive incoming call.

**説明:** 着信コールが検出されましたが、コールを受信するために利用可能な、または構成されたネットがありません。構成を検査して、着信コールを受信するための十分なネットが定義されていることを確認してください。

---

#### V34.039

**レベル:** UI-ERROR

**短構文:** V34.039 CML call remap to non-existent PPP dial circuit on nt *network ID*

**長構文:** V34.039 CML tried to remap a call to an unregistered PPP circuit on *network network ID*

**説明:** CML は、現在はネットワークに登録されていないダイヤル回線にコールを再マップしようとした。このネットワーク・インターフェース上のダイヤル回線が正しく構成されていることを確認してください。

---

#### V34.040

**レベル:** C-INFO

**短構文:** V34.040 Configured call connect timeout of *time* seconds exceeded on nt *network ID*

**長構文:** V34.040 The NET's configured call connect timeout of *time* seconds was exceeded on net *network ID*

**説明:** コール接続タイムアウトを超過しました。オペレーターは、コール完了のための時間を長くするために、構成された接続タイムアウトを増やすことができます。

---

#### V34.041

**レベル:** P-TRACE

**短構文:** V34.041 Sent modem command: *type* on nt *network ID*

**長構文:** V34.041 Sent modem command: *type* on net *network ID*

**説明:** ルーターはモデムにコマンドを送信中です。

---

#### V34.042

**レベル:** C\_INFO

**短構文:** V34.042 PPP dial circuit disconnect request on nt *network ID*

**長構文:** V34.042 PPP dial circuit disconnect request on net *network ID*

**説明:** PPP ダイヤル回線が V34 に対してコールを切断するように要求しました。

---

#### V34.043

**レベル:** UE\_ERROR

**短構文:** V34.043 Timeout waiting for DCE to raise CTS on nt *network ID*

**長構文:** V34.043 Timeout waiting for DCE to raise CTS on net *network ID*

**説明:** ルーターが DTR 信号を上げましたが、DCE は応答可能な時間内に CTS を上げませんでした。

**原因:** DCE が未接続、電源オフ、動作不可能、または非 V.34 準拠です。

**処置:** ケーブルを接続し、DCE の構成と電源を検査してください。

---

#### **V34.044**

**レベル:** UE\_ERROR

**短構文:** V34.044 Timeout waiting for OK response from DCE on nt *network ID*

**長構文:** V34.044 Timeout waiting for OK response from DCE on net *network ID*

**説明:** ルーターは DCE に AT コマンドを送信しましたが、OK の応答を受け取りませんでした。送信されたコマンドは、ATZ、AT&F、および構成可能なモデム初期化文字列です。

**原因:** DCE が未接続、電源オフ、動作不可能、または非 V.34 準拠です。

**処置:** ケーブルを接続し、DCE の構成と電源を検査してください。モデムの電源をオフ/オンにします。



---

## 第131章 Web サーバー・キャッシュ - コア (WEBC)

この章では、Web サーバー・キャッシュ - コア (WEBC) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### WEBC.001

レベル: C-INFO

短構文: WEBC.001 Partition *partition* initialized successfully

長構文: WEBC.001 Partition *partition* initialized successfully

説明: 新規のキャッシュ区画が作成されました。

---

### WEBC.002

レベル: CI-ERROR

短構文: WEBC.002 Partition *partition* initialization failed. *reason*

長構文: WEBC.002 Partition *partition* initialization failed. *reason*

説明: 示されている理由で、キャッシュ区画は作成されませんでした。

---

### WEBC.003

レベル: C-INFO

短構文: WEBC.003 Handle 0x *handle* obtained for partition *partition*

長構文: WEBC.003 Handle 0x *handle* obtained for partition *partition*

説明: 指定の区画のキャッシュ・ハンドルが獲得されました。

---

### WEBC.004

レベル: CI-ERROR

短構文: WEBC.004 Unable to obtain handle for partition *partition*. *reason*

長構文: WEBC.004 Unable to obtain handle for partition *partition*. *reason*

説明: 示されている理由で、キャッシュ・ハンドルは許可されませんでした。

---

### WEBC.005

レベル: C-INFO

短構文: WEBC.005 Item added to partition *partition*

長構文: WEBC.005 Item added to partition *partition*

説明: 指定の区画にキャッシュ項目が追加されました。

---

### WEBC.006

レベル: C-INFO

短構文: WEBC.006 Item not added to partition *partition*

長構文: WEBC.006 Item not added to partition *partition*

説明: 指定の区画にキャッシュ項目は追加されませんでした。検査に合格しませんでした。

---

### WEBC.007

レベル: CI-ERROR

短構文: WEBC.007 Item not added to partition *partition*. *reason*

長構文: WEBC.007 Item not added to partition *partition*. *reason*

説明: 示されている理由で、指定の区画にキャッシュ項目は追加されませんでした。

---

### WEBC.008

レベル: UI-ERROR

短構文: WEBC.008 Item not added to partition *partition*. RC=0x *retcode*

長構文: WEBC.008 Item not added to partition *partition*. RC=0x *retcode*

説明: 指定の区画にキャッシュ項目は追加されませんでした。

---

### WEBC.009

レベル: C-INFO

短構文: WEBC.009 Item deleted from partition *partition*

長構文: WEBC.009 Item deleted from partition *partition*

説明: 指定の区画からキャッシュ項目が削除されました。

---

#### WEBC.010

レベル: CI-ERROR

短構文: WEBC.010 Item not deleted from partition *partition. reason*

長構文: WEBC.010 Item not deleted from partition *partition. reason*

説明: 示されている理由で、指定の区画からキャッシュ項目は削除されませんでした。

---

#### WEBC.011

レベル: UI-ERROR

短構文: WEBC.011 Item not added to partition *partition. RC=0x retcode*

長構文: WEBC.011 Item not added to partition *partition. RC=0x retcode*

説明: 指定の区画にキャッシュ項目は追加されませんでした。

---

#### WEBC.012

レベル: C-INFO

短構文: WEBC.012 Partition *partition* being purged...

長構文: WEBC.012 Partition *partition* being purged...

説明: キャッシュ区画からすべてのキャッシュ項目を除去中です。

---

#### WEBC.013

レベル: C-INFO

短構文: WEBC.013 Partition *partition* purge complete

長構文: WEBC.013 Partition *partition* purge complete

説明: キャッシュ区画からすべてのキャッシュ項目が除去されました。

---

#### WEBC.014

レベル: CI-ERROR

短構文: WEBC.014 Partition *partition* not purged. *reason*

長構文: WEBC.014 Partition *partition* not purged. *reason*

説明: 示されている理由で、キャッシュ区画はパージされませんでした。

---

#### WEBC.015

レベル: C-INFO

短構文: WEBC.015 Item found in partition *partition*

長構文: WEBC.015 Item found in partition *partition*

説明: 指定の区画でキャッシュ項目が見つかりました。

---

#### WEBC.016

レベル: C-INFO

短構文: WEBC.016 Item not found in partition *partition*

長構文: WEBC.016 Item not found in partition *partition*

説明: 指定の区画でキャッシュ項目が見つかりませんでした。

---

#### WEBC.017

レベル: CI-ERROR

短構文: WEBC.017 Item not found in partition *partition. reason*

長構文: WEBC.017 Item not found in partition *partition. reason*

説明: 示されている理由で、指定の区画でキャッシュ項目が見つかりませんでした。

---

#### WEBC.018

レベル: C-INFO

短構文: WEBC.018 Handle 0x *handle* retired

長構文: WEBC.018 Handle 0x *handle* retired

説明: キャッシュ・ハンドルの使用が終了しました。

---

#### WEBC.019

レベル: C-INFO

短構文: WEBC.019 Partition *partition* being terminated...

長構文: WEBC.019 Partition *partition* being terminated...

説明: キャッシュ区画を終了中です。

---

**WEBC.020**

レベル: C-INFO

短構文: WEBC.020 Partition *partition* termination complete

長構文: WEBC.020 Partition *partition* termination complete

説明: キャッシュ区画が終了しました。

---

**WEBC.021**

レベル: CI-ERROR

短構文: WEBC.021 Partition *partition* not terminated.  
*reason*

長構文: WEBC.021 Partition *partition* not terminated.  
*reason*

説明: 示されている理由で、キャッシュ区画は終了しませんでした。

---

**WEBC.022**

レベル: UI-ERROR

短構文: WEBC.022 Garbage collection detected state  
*state* for partition *partition*

長構文: WEBC.022 Garbage collection detected state  
*state* for partition *partition*

説明: 不要情報収集ルーチンが、リストされている区画の不明状態を検出しました。不要情報収集は停止します。

---

**WEBC.023**

レベル: CI-ERROR

短構文: WEBC.023 Partition *partition* init failed. RC=0x  
*retcode*

長構文: WEBC.023 Partition *partition* initialization failed. Return code=0x *retcode*

説明: Web サーバー・キャッシュ区画が定義されましたが、初期化できません。

---

**WEBC.024**

レベル: CI-ERROR

短構文: WEBC.024 Proxy init failed for partition  
*partition*. RC=0x *retcode*

長構文: WEBC.024 Proxy initialization failed for  
partition *partition*. Return code=0x *retcode*

---

説明: Web サーバー・キャッシュ HTTP プロキシを定義することができません。

---

**WEBC.025**

レベル: CI-ERROR

短構文: WEBC.025 ECC Manager init failed. RC=0x  
*retcode*

長構文: WEBC.025 ECC Manager initialization failed.  
Return Code=0x *retcode*

説明: 外部キャッシュ管理プログラムの初期化に失敗しました。

---

**WEBC.026**

レベル: C-INFO

短構文: WEBC.026 0x *bytecnt* bytes of heap storage  
are available for Web Server cache

長構文: WEBC.026 0x *bytecnt* bytes of heap storage  
are available for Web Server cache

説明: Web サーバー・キャッシュ機能が利用可能なヒープ記憶域の合計量を提示します。

---

**WEBC.027**

レベル: UE-ERROR

短構文: WEBC.027 Insufficient heap storage (0x *bytecnt*  
bytes) to run Web Server cache

長構文: WEBC.027 Insufficient heap storage (0x *bytecnt*  
bytes) to run Web Server cache

説明: Web サーバー・キャッシュ機能を有効に実行できるだけの十分なヒープ記憶域が定義されていません。重大な記憶域の問題が発生する可能性があります。

---

**WEBC.028**

レベル: C-INFO

短構文: WEBC.028 Dependency ( *dependency*) added to  
partition *partition*

長構文: WEBC.028 New dependency ( *dependency*)  
added to partition *partition*

説明: 区画についての依存関係テーブルに新しい依存関係が追加されました。

---



---

**WEBC.029**

レベル: C-INFO

短構文: WEBC.029 Dependency ( *dependency* ) deleted from partition *partition*

長構文: WEBC.029 Dependency ( *dependency* ) deleted from partition *partition*

説明: 区画についての依存関係テーブルから依存関係が削除されました。

---

**WEBC.030**

レベル: C-INFO

短構文: WEBC.030 URL ( *URL* ) added to dependency ( *dependency* ) for partition *partition*

長構文: WEBC.030 New URL ( *URL* ) was added to dependency ( *dependency* ) for partition *partition*

説明: 区画についての指定の依存関係に新しい URL が追加されました。

---

**WEBC.031**

レベル: C-INFO

短構文: WEBC.031 URL ( *URL* ) deleted from dependency ( *dependency* ) for partition *partition*

長構文: WEBC.031 URL ( *URL* ) deleted from dependency ( *dependency* ) for partition *partition*

説明: 区画についての指定の依存関係から URL が削除されました。

---

**WEBC.032**

レベル: C-INFO

短構文: WEBC.032 Dependency ( *dependency* ) invalidated for partition *partition*

長構文: WEBC.032 Dependency ( *dependency* ) invalidated for partition *partition*

説明: 区画について、指定の依存関係の URL がすべて除去されました。

---

**WEBC.033**

レベル: C-INFO

短構文: WEBC.033 ECC Manager (port *port*) has started

長構文: WEBC.033 External Cache Control Manager (port *port*) has started

説明: 外部キャッシュ制御マネージャーが指定のポートを listen しています。

---

**WEBC.034**

レベル: C-INFO

短構文: WEBC.034 ECC Manager (port *port*) has stopped

長構文: WEBC.034 External Cache Control Manager (port *port*) has stopped

説明: 外部キャッシュ制御マネージャーは指定のポートをもはや listen していません。

---

**WEBC.035**

レベル: C-INFO

短構文: WEBC.035 ECC connection ( *connection* ) opened

長構文: WEBC.035 External Cache Control connection ( *connection* ) opened

説明: 外部キャッシュ制御マネージャーへの接続がオープンしました。

---

**WEBC.036**

レベル: C-INFO

短構文: WEBC.036 ECC connection ( *connection* ) closed

長構文: WEBC.036 External Cache Control connection ( *connection* ) closed

説明: 外部キャッシュ制御マネージャーへの接続がクローズしました。

---

## 第132章 Web サーバー・キャッシュ - HTTP プロキシ (WEBH)

この章では、Web サーバー・キャッシュ - HTTP プロキシ (WEBH) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### WEBH.001

レベル: UE-ERROR

短構文: WEBH.001 No Storage for HTTP Proxy(cluster *cluster port port*)

長構文: WEBH.001 No Storage for HTTP Proxy(cluster *cluster port port*)

説明: HTTP プロキシは、必要な記憶域を入手することができませんでした。

---

### WEBH.002

レベル: UE-ERROR

短構文: WEBH.002 Parsing error for HTTP Proxy(cluster *cluster port port*) conn ( *connection*)

長構文: WEBH.002 Parsing error for HTTP Proxy(cluster *cluster port port*) connection ( *connection*)

説明: HTTP プロキシ構文解析プログラムがデータを解析することができませんでした。解析されていた TCP セグメントについては、事象 WEBH\_8 を参照してください。

---

### WEBH.003

レベル: UE-ERROR

短構文: WEBH.003 HTTP Proxy (cluster *cluster port port*) conn ( *connection*) could not get additional segment descriptor from TCP

長構文: WEBH.003 HTTP Proxy (cluster *cluster port port*) connection ( *connection*) could not get additional segment descriptor from TCP

説明: HTTP プロキシは、TCP からデータ・ブロックの追加セグメント記述子を入手できませんでした。

---

### WEBH.004

レベル: UE-ERROR

短構文: WEBH.004 HTTP Proxy(cluster *cluster port port*) partition ( *partition*) conn ( *connection*) went to tunneling

長構文: WEBH.004 HTTP Proxy(cluster *cluster port port*) partition ( *partition*) connection ( *connection*) went to tunneling

説明: HTTP プロキシは、接続を通知するためにトンネル伝送しました。

---

### WEBH.005

レベル: UE-ERROR

短構文: WEBH.005 HTTP Proxy(cluster *cluster port port*) conn ( *connection*) receive a non HTTP message

長構文: WEBH.005 HTTP Proxy(cluster *cluster port port*) connection ( *connection*) receive a non HTTP message

説明: HTTP は、メッセージが HTTP でなかったために解析することができませんでした。

---

### WEBH.006

レベル: UE-ERROR

短構文: WEBH.006 HTTP Proxy(cluster *cluster port port*) conn ( *connection*) received a boundary that was too big

長構文: WEBH.006 HTTP Proxy(cluster *cluster port port*) connection ( *connection*) received a boundary that was too big

説明: HTTP プロキシは、複数パーツ / バイト範囲の境界がこのボックスでサポートされるサイズより大きいために、メッセージを解析することができませんでした。

---

### WEBH.007

レベル: UE-ERROR

短構文: WEBH.007 HTTP Proxy(cluster *cluster port port*) conn ( *connection*) received unsupported transfer-encoding

長構文: WEBH.007 HTTP Proxy(cluster *cluster port port*) connection ( *connection*) received unsupported transfer-encoding

説明: HTTP プロキシは、使用されている転送符号化がサポートされないために、メッセージを解析することができませんでした。

---

#### WEBH.008

レベル: P-TRACE

短構文: WEBH.008 *string*

長構文: WEBH.008 *string*

説明: セグメントのダンプ。ダンプされている理由については、他のメッセージを参照してください。

---

#### WEBH.009

レベル: P-TRACE

短構文: WEBH.009 HTTP Proxy(cluster *cluster* port *port*) conn ( *connection*) new req being parsed

長構文: WEBH.009 HTTP Proxy(cluster *cluster* port *port*) connection ( *connection*) new request being parser

説明: HTTP プロキシ構文解析プログラムは、新規の要求の解析を開始しようとしています。

---

#### WEBH.010

レベル: P-TRACE

短構文: WEBH.010 HTTP Proxy(cluster *cluster* port *port*) conn ( *connection*) new resp being parsed

長構文: WEBH.010 HTTP Proxy(cluster *cluster* port *port*) connection ( *connection*) new response being parsed

説明: HTTP プロキシ構文解析プログラムは、新規の応答の解析を開始しています。

---

#### WEBH.011

レベル: U-TRACE

短構文: WEBH.011 HTTP Proxy(cluster *cluster* port *port*) partition ( *partition*) conn ( *connection*) not caching rsp because *string*

長構文: WEBH.011 HTTP Proxy(cluster *cluster* port *port*) partition ( *partition*) connection ( *connection*) not caching rsp because *string*

説明: HTTP プロキシ構文解析プログラムは、応答をキャッシュしません (理由については、テキストを参照してください)。

---

#### WEBH.012

レベル: U-TRACE

短構文: WEBH.012 HTTP Proxy(cluster *cluster* port *port*) partition ( *partition*) conn ( *connection*) not using cache because *string*

長構文: WEBH.012 HTTP Proxy(cluster *cluster* port *port*) partition ( *partition*) connection ( *connection*) not using cache because *string*

説明: HTTP プロキシ構文解析プログラム/キャッシュは、要求を満たすためにキャッシュを使用していません (理由については、テキストを参照してください)。

---

#### WEBH.013

レベル: C-INFO

短構文: WEBH.013 HTTP Proxy(cluster *cluster* port *port*) partition ( *partition*) started

長構文: WEBH.013 HTTP Proxy(cluster *cluster* port *port*) partition ( *partition*) started

説明: 指定のクラスターとポートの HTTP プロキシが開始されました。

---

#### WEBH.014

レベル: C-INFO

短構文: WEBH.014 HTTP Proxy(cluster *cluster* port *port*) partition ( *partition*) ended

長構文: WEBH.014 HTTP Proxy(cluster *cluster* port *port*) partition ( *partition*) ended

説明: 指定のクラスターとポートの HTTP プロキシが終了しました。

---

#### WEBH.015

レベル: C-INFO

短構文: WEBH.015 Conn ( *connection*) HTTP Proxy(cluster *cluster* port *port*) partition ( *partition*) opened

長構文: WEBH.015 Connection ( *connection*) HTTP Proxy(cluster *cluster* port *port*) partition ( *partition*) opened

説明: 指定のクラスターとポートの HTTP プロキシ接続が開始されました。

---

**WEBH.016**

レベル: C-INFO

短構文: WEBH.016 Conn ( *connection*) HTTP  
Proxy(cluster *cluster port port*) partition ( *partition*) closed

長構文: WEBH.016 Connection ( *connection*) HTTP  
Proxy(cluster *cluster port port*) partition ( *partition*) closed

説明: 指定のクラスターとポートの HTTP プロキシ接続がクローズされました。

---

**WEBH.017**

レベル: C-INFO

短構文: WEBH.017 Client connection *connection*  
accepted as Socket *socket*

長構文: WEBH.017 Client connection *connection*  
accepted as Socket *socket*

説明: クライアントは新規の接続を開始しました。

---

**WEBH.018**

レベル: C-INFO

短構文: WEBH.018 Server connection *connection*  
completed as Socket *socket*

長構文: WEBH.018 Server connection *connection*  
completed as Socket *socket*

説明: サーバーへの新規の接続が開始されました。

---

**WEBH.019**

レベル: UE-ERROR

短構文: WEBH.019 CONNECTING\_TO\_SERVER is  
unexpected (socket *socket state 0x state*)

長構文: WEBH.019 CONNECTING TO SERVER is  
unexpected (socket *socket state 0x state*)

説明: 一時的な CONNECTING\_TO\_SERVER 状態は、  
ここでは予期されないものです。

---

**WEBH.020**

レベル: C-INFO

短構文: WEBH.020 Client connection *connection*  
(Socket *socket*) was handed off to *cache\_member*

長構文: WEBH.020 Client connection *connection*  
(Socket *socket*) was handed off to *cache\_member*

説明: 接続は、キャッシュ配列内の別のキャッシュに  
渡されました。



---

## 第133章 WAN 復元システム (WRS)

この章では、WAN 復元システム (WRS) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### WRS.001

レベル: C-INFO

短構文: WRS.001 Primary net *network ID* switching to secondary net *network ID*

長構文: WRS.001 Primary interface number *network ID* switching to secondary interface number *network ID*

説明: 1 次インターフェースが、2 次回線を通して復元中です。

---

### WRS.002

レベル: C-INFO

短構文: WRS.002 Primary net *network ID* restored on secondary net *network ID*

長構文: WRS.002 Primary interface number *network ID* restored on secondary interface number *network ID*

説明: 1 次インターフェースが、2 次回線を通して復元されました。

---

### WRS.004

レベル: C-INFO

短構文: WRS.004 Secondary net *network ID* switching back to primary net *network ID*

長構文: WRS.004 Secondary interface number *network ID* switching back to primary interface number *network ID*

説明: 2 次インターフェースが、2 次回線を通して復元中です。

---

### WRS.006

レベル: C-INFO

短構文: WRS.006 Switch to sec net *network ID* averted pri net *network ID* disabled

長構文: WRS.006 Switch to secondary interface number *network ID* averted primary interface number *network ID* disabled

説明: 2 次インターフェースへの切り替えが放棄され、1 次インターフェースは使用不可になっています。

---

### WRS.007

レベル: C-INFO

短構文: WRS.007 Secondary net *network ID* failed resort to primary net *network ID*

長構文: WRS.007 Secondary interface number *network ID* resorting back to primary interface number *network ID*

説明: 2 次インターフェースがダウンしたので、切り替えによって 1 次回線に戻りました。

---

### WRS.008

レベル: C-INFO

短構文: WRS.008 Sec net *network ID* swt to AVL; pri net *network ID* bck ONL

長構文: WRS.008 Secondary net number *network ID* switch to AVAILABLE; primary net number *network ID* back ONLINE

説明: 2 次インターフェースへの切り替えが放棄され、1 次がそのまま活動状態でオンラインになっています。

---

### WRS.009

レベル: C-TRACE

短構文: WRS.009 Packet forwarded pri net *network ID* onto sec net *network ID*

長構文: WRS.009 Packet forwarded from the primary interface number *network ID* onto the secondary interface number *network ID*

説明: 1 次インターフェースから 2 次インターフェースに、パケットが転送されました。

---

### WRS.010

レベル: C-TRACE

短構文: WRS.010 Packet received on pri net *network ID* from sec net *network ID*

長構文: WRS.010 Packet received on primary interface number *network ID* from secondary interface number *network ID*



説明: 2 次インターフェースから 1 次インターフェースへのパケットを受信しました。

---

#### WRS.012

レベル: C-TRACE

短構文: WRS.012 Unable to forward pri net *network ID* onto sec net *network ID*

長構文: WRS.012 Packet forwarded from the primary interface number *network ID* onto the secondary interface number failed *network ID*

説明: 1 次インターフェースから 2 次インターフェースに、パケットを転送することができません。

---

#### WRS.013

レベル: C-INFO

短構文: WRS.013 Switch to sec net *network ID* aborted, sec restoral disabled

長構文: WRS.013 Switch to secondary interface number *network ID* aborted secondary restoral disabled

説明: 2 次インターフェースへの切り替えが放棄され、2 次復元は使用不可になっています。

---

#### WRS.022

レベル: UE-ERROR

短構文: WRS.022 Protocol initialization on sec ignored, prot = *type* on nt *network ID*

長構文: WRS.022 Protocol initialization on secondary ignored, protocol = *type* on network *network ID*

説明: 2 次回線で無効なプロトコルが構成されました。

原因: ソフトウェア構成が古くなっています。サービス技術員に連絡してください。

---

#### WRS.023

レベル: UE-ERROR

短構文: WRS.023 Sec int disabled, mismatch datalink nt *network ID*

長構文: WRS.023 Secondary interface disabled, mismatched datalink type network *network ID*

説明: 2 次インターフェース上で構成されたデータ・リンク・タイプに不一致がありました。データ・リンク・タイプは 1 次インターフェースと一致していなければなりません。

---

#### WRS.024

レベル: C-INFO

短構文: WRS.024 Perform n\_up for net *network ID*

長構文: WRS.024 Perform deferred net-up for interface number *network ID*

説明: 指定された 1 次インターフェースが、構成済みの安定化期間の間、継続的にアップ状態でした。そのため、ルーターはネットアップ通知の遅延を知らせます。

---

#### WRS.025

レベル: C-INFO

短構文: WRS.025 Reroute pri *network ID* alt *network ID*

長構文: WRS.025 Begin rerouting for primary *network ID* using alternate *network ID*

説明: 指定された 1 次インターフェースがダウンした(または、構成された最初の安定化期間内にアップにならなかった)ので、ルーターは代替をアップにして、再ルーティング・サービスを提供します。

---

#### WRS.026

レベル: C-INFO

短構文: WRS.026 End reroute pri *network ID* alt *network ID*

長構文: WRS.026 End rerouting for primary *network ID* using alternate *network ID*

説明: 指定された 1 次インターフェースは、代替の再ルーティング・サービスを必要としなくなりました。他に代替のサービスを必要とする 1 次インターフェースがない場合は、ルーターは代替を再ルーティング用としてアップにする以前の状態に復元します。

---

#### WRS.027

レベル: C-INFO

短構文: WRS.027 Queue deferred n\_up for pri *network ID*

長構文: WRS.027 Queue deferred net-up for interface number *network ID*

説明: 指定された 1 次インターフェースはアップ状態になりましたが、ルーターは、構成済みの安定化期間の間だけネットアップ通知を遅らせます。

---

**WRS.028**

レベル: C-INFO

短構文: WRS.028 Queue delayed n\_up for pri *network ID*

長構文: WRS.028 Queue delayed net-up for interface number *network ID*

説明: 指定された 1 次インターフェースはアップになりましたが、構成された時刻復帰開始時刻まで、ルーターはネットアップ通知を遅らせました。安定化期間 (構成済みの場合) は、すでに経過しました。

---

**WRS.029**

レベル: C-INFO

短構文: WRS.029 Dial-overflow switch some prots pri *network ID* alt *network ID*

長構文: WRS.029 Dial-on-overflow switching some protocols from primary *network ID* to alternate *network ID*

説明: ダイヤルオン・オーバーフロー追加しきい値を超え、定義済みプロトコルが代替インターフェースに切り替えられている最中です。

---

**WRS.030**

レベル: C-TRACE

短構文: WRS.030 Dial-overflow traffic pri *network ID* sp speed add *add-count* drp *drop-count* in: *in-count* out: *out-count*

長構文: WRS.030 Dial-on-overflow sample traffic primary *network ID* speed *speed* add-count *add-count* drop-count *drop-count* in-count: *in-count* out-count: *out-count*

説明: ダイヤルオン・オーバーフロー機能は、超過したのが追加しきい値か除去しきい値かを判別するために、1 次リンク上のトラフィックをサンプリング中です。構成されたリンク速度、代替の追加または除去のしきい値カウント、および直前の時間間隔中の実際の着信および発信のカウントが報告されます。

---

**WRS.031**

レベル: C-INFO

短構文: WRS.031 Dial-overflow not enabled pri *network ID* wrong dta lnk type

長構文: WRS.031 Dial-on-overflow not enabled primary *network ID* wrong primary data link type

説明: データ・リンク・タイプがダイヤルオン・オーバーフローでは無効の 1 次リンク用として、ダイヤルオン・オーバーフローが構成されました。

---

**WRS.032**

レベル: C-INFO

短構文: WRS.032 Dial-overflow pri *network ID* alt *network ID* min alt up time *sec* *sec* *exprd*

長構文: WRS.032 Dial-on-overflow primary *network ID* alternate *network ID* minimum alternate up time *sec* seconds expired

説明: 指定された 1 次/代替ペアの最小ダイヤルオン・オーバーフロー代替アップ時間が満了となりました。ダイヤルオン・オーバーフロー・プロトコルは切り替えられて 1 次リンクに戻ります。

---

**WRS.033**

レベル: C-INFO

短構文: WRS.033 WRR alt *network ID* down, was rerouting for pri *network ID*

長構文: WRS.033 Wan reroute alternate link *network ID* has been marked down, was rerouting for primary *network ID*

説明: 指定された 1 次に関して能動的にトラフィックの再ルーティング中であった WAN 再ルーティング代替リンクが、ダウンとマークされました。

---

**Panic wrsimem**

短構文: WAN restoral initialization failed, no memory.

説明: WAN 復元初期化が、初期化を完了するために十分な記憶域を割り振ることができませんでした。

処置: サービス技術員に連絡してください。



---

## 第134章 Xerox ネットワーク・コア (XN)

この章では、Xerox ネットワーク・コア (XN) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### XN.001

レベル: UE-ERROR

短構文: XN.001 *protocol trunc pkt frm source\_net/ source\_node, xns length phys length*

長構文: XN.001 *protocol truncated packet from source\_net/ source\_node; xns length, physical length*

説明: このメッセージが生成されるのは、パケットにパケットの物理長さより長い XNS パケット長がある場合です。

原因: リモート・ノード内のプログラミング・エラー。ネットワークによる切り捨て。

---

### XN.004

レベル: UE-ERROR

短構文: XN.004 *protocol hop cnt ovflo frm source\_net/ source\_node to destination\_net*

長構文: XN.004 *protocol hop count overflow from source\_net/ source\_node to destination\_net*

説明: このメッセージは、パケットのホップ・カウントが 15 を超えてしまい、オーバーフローした場合に生成されます。エラー (ホップ・カウント) パケットが送信されます。

---

### XN.005

レベル: CE-ERROR

短構文: XN.005 *protocol no gwy frm source\_net/ source\_node to destination\_net*

長構文: XN.005 *protocol no gateway from source\_net/ source\_node to destination\_net*

説明: このメッセージは、あて先ネットワークへのゲートウェイがないためにパケットを送信できない場合に生成されます。エラー (到達不可能) パケットが送信されます。

---

### XN.007

レベル: UE-ERROR

短構文: XN.007 *protocol dst hst 0 frm source\_net/*

*source\_node to destination\_net*

長構文: XN.007 *protocol destination host 0 from source\_net/ source\_node to destination\_net*

説明: このメッセージは、パケットがノード 000000000000 にアドレス指定された場合に生成されません。これはイリーガルなホスト・アドレスです。エラー (チェックサム) パケットが送信されます。

---

### XN.008

レベル: P-TRACE

短構文: XN.008 *protocol source\_net/ source\_node -> dest\_net/ dest\_node*

長構文: XN.008 *protocol Packet received from source\_net/ source\_node for dest\_net/ dest\_node*

説明: このメッセージは、パケットが転送されたときに生成されます。

---

### XN.009

レベル: UE-ERROR

短構文: XN.009 *protocol pkt too lng to frwd pkt\_size > max\_size nt output network ID frm source\_net/ source\_node*

長構文: XN.009 *protocol packet too long to forward pkt\_size > max\_size net output network ID from source\_net/ source\_node*

説明: このメッセージは、転送されたパケットが長過ぎて、それを必要なインターフェースから送り出すことができない場合に生成されます。エラー (サイズ) パケットが送信されます。

---

### XN.010

レベル: UI-ERROR

短構文: XN.010 *protocol type frm source\_net/ source\_node for dest\_net/ dest\_node dsc, rsn code*

長構文: XN.010 *protocol type from source\_net/ source\_node for dest\_net/ dest\_node discarded for reason code*

説明: エラー・コードで示されている理由により、出

カパケットが正常に転送されませんでした。

---

**XN.011**

レベル: C-INFO

短構文: XN.011 *protocol intrfc network/ node nt network ID up*

長構文: XN.011 *protocol interface network/ node net network ID up*

説明: 指定されたインターフェースがアップ状態になり、指定された XNS プロトコル用に使用可能になっています。

---

**XN.012**

レベル: U-INFO

短構文: XN.012 *protocol del nt destination\_net rt via gateway nt network ID*

長構文: XN.012 *protocol deleted net destination\_net route via gateway net network ID*

説明: 指定された経路が、その経路の最初のホップ・インターフェースがダウンしたために、削除されました。

原因: インターフェースのダウン

処置: ネットワークを修正します。

---

**XN.013**

レベル: UI-ERROR

短構文: XN.013 *protocol tbl ovrfll, dst destination\_net*

長構文: XN.013 *protocol Table overflow, destination destination\_net*

説明: このメッセージは、ルーティング・テーブルがすでに満杯のために、そのテーブルに新しい項目を作成できない場合に生成されます。

原因: ルーティング・テーブルが小さすぎます。

処置: このプロトコルのルーティング・テーブルのサイズを大きくします。

---

**XN.014**

レベル: C-INFO

短構文: XN.014 *protocol echo typ operation to skt socket frm source\_net/ source\_node*

長構文: XN.014 *protocol Echo type operation to socket socket from source\_net/ source\_node*

説明: 指定されたソケットに対する指定された操作を

含む、エコー・タイプのパケットを受信しました。

---

**XN.015**

レベル: UE-ERROR

短構文: XN.015 *protocol bd src source\_net/ source\_node nt network ID*

長構文: XN.015 *protocol bad source source\_net/ source\_node net network ID*

説明: パケットが送信側に戻されていましたが、送信側のノード・アドレスがマルチキャスト・アドレスか、イリーガルなアドレスの 000000000000 でした。この状態は、エコー応答、エラー・パケット、または他の照会への応答を送信するときに起こります。パケットは廃棄されます。

---

**XN.016**

レベル: UE-ERROR

短構文: XN.016 *protocol bad net 0 source\_net/ source\_node-> dest\_net/ dest\_node*

長構文: XN.016 *protocol bad source network 0 from source\_net/ source\_node for dest\_net/ dest\_node*

説明: パケットが送信側に戻されていて、その発信元ネットワークがゼロでしたが、あて先ネットワークが非ゼロでした。この状態は、エコー応答、エラー・パケット、または他の照会への応答を送信するときに起こりません。パケットは廃棄されます。

---

**XN.017**

レベル: UI-ERROR

レベル: OOM

短構文: XN.017 *protocol no mem for err pkt*

長構文: XN.017 *protocol No memory for error packet*

説明: このメッセージは、誤りのあるパケットをエラー・パケットにコピーするために使用可能な記憶域がない場合に生成されます。エラー・パケットは送信されません。

---

**XN.018**

レベル: UE-ERROR

短構文: XN.018 *protocol short ( length) pkt frm source\_net/ source\_node (?) nt network ID*

長構文: XN.018 *protocol short ( length) packet from source\_net/ source\_node (?) net network ID*

説明: このメッセージは、パケットの物理長が、最短

の 30 バイト XNS、IPX、または DDS ヘッダー長より短い場合に生成されます。切り捨ての重大度に応じて、`source_net` および `source_node` は、有効なパケット・データである場合も、そうでない場合もあります。

**原因:** リモート・ノード内のプログラミング・エラー。ネットワークによる切り捨て。

---

#### **XN.019**

**レベル:** C-TRACE

**短構文:** XN.019 *protocol chg src net to new\_source\_net, pkt source\_net/ source\_node -> dest\_net/ dest\_node*

**長構文:** XN.019 *protocol changing source network to new\_source\_net on packet received from source\_net/ source\_node for dest\_net/ dest\_node*

**説明:** このメッセージは、発信元ネットワーク番号が 0 である IPX パケットを受信したときに生成されます。ルーターはこの番号を、パケットを受信したインターフェースのネットワーク番号になるように訂正します。

---

#### **XN.020**

**レベル:** UE-ERROR

**短構文:** XN.020 *protocol bad src net 0, hop count hop\_count, source\_net/ source\_node -> dest\_net/ dest\_node, nt network ID*

**長構文:** XN.020 *protocol bas source network 0 with hop count hop\_count on packet received from source\_net/ source\_node for dest\_net/ dest\_node via network network ID*

**説明:** このメッセージは、発信元ネットワーク番号が 0 の IPX パケットを受信し、ホップ・カウント (トランスポート制御) が非ゼロである場合に生成されます。発信元ネットワーク番号は、そのネットワークがそれを受信したネットワークではないと思われるので、訂正されません。`dest_node` は応答することができません。

**原因:** これは、パケットが、転送時に発信元ネットワーク番号を訂正していない他のルーターによってすでに転送されていること、あるいは、発信元ノードが、非ゼロ・ホップ・カウントのパケットを送信したことを示します。

**処置:** リモート・ノードまたはルーター上のプログラミング・エラーを訂正します。





---

## 第135章 X.25 ネットワーク・インターフェース (X25)

この章では、X.25 ネットワーク・インターフェース (X25) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### X25.001

レベル: CI-ERROR

短構文: X25.001 no nde addr nt *network ID*

長構文: X25.001 node address not assigned network index *network ID*

説明: X.25 ノード・アドレス割り当てが行われていないために、X.25 ネットワーク・ハンドラーが初期化を続行することができません。

---

### X25.002

レベル: CI-ERROR

短構文: X25.002 prtcl not cnfg nt *network ID*

長構文: X25.002 protocol forwarder not configured network index *network ID*

説明: X.25 ネットワーク・ハンドラーがプロトコル事前初期化を受信しましたが、省略時構成が使用されました。プロトコルが構成されていません。

---

### X25.003

レベル: UI-ERROR

短構文: X25.003 req unkn nt *network ID*

長構文: X25.003 request unknown network index *network ID*

説明: X.25 ネットワーク・ハンドラーが、コンソール・インターフェースを介して、または転送機能の問題により、不明の要求を受信しました。要求は単に無視されます。

---

### X25.004

レベル: UI-ERROR

短構文: X25.004 dev int dwn drng init nt *network ID*

長構文: X25.004 device driver constantly down during initialization network index *network ID*

説明: X.25 ネットワーク・ハンドラーは、CPU から COM-4 への初期化手順を完了するために、装置ドライバーを待っています。

処置: この状態が続く場合は、COM-4 インターフェースをリセットしてください。サービス技術員に連絡してください。

---

### X25.005

レベル: CI-ERROR

短構文: X25.005 PVC LCN rngc nt *network ID*

長構文: X25.005 PVC LCN lies outside configured PVC range: network *network ID*

説明: X.25 ネットワーク・ハンドラーは、構成に矛盾があるために、初期化を継続することができません。指摘されている PVC は、構成された PVC 範囲を外れています。

---

### X25.006

レベル: CI-ERROR

短構文: X25.006 LCN overlap nt *network ID*

長構文: X25.006 One or more logical channel ranges overlap : network *network ID*

説明: X.25 ネットワーク・ハンドラーは、構成に矛盾があるために、初期化を継続することができません。構成された論理チャネル範囲がオーバーラップしていません。範囲が非ゼロの場合は、以下の不等式が成り立つ必要があります。LOW-PVC <= HI-PVC < LOW-INBOUND <= HIGH-INBOUND < LOW-TWO-WAY <= HIGH-TWO-WAY < LOW-OUTBOUND <= HIGH-OUTBOUND.

---

### X25.007

レベル: CI-ERROR

短構文: X25.007 pkt dflt > max nt *network ID*

長構文: X25.007 Packet default size greater than maximum size: network *network ID*

説明: X.25 ネットワーク・ハンドラーは、構成に矛盾があるために、初期化を継続することができません。構成された省略時パケット・サイズが、構成された最大パケット・サイズを超えています。

---

**X25.008**

レベル: UI-ERROR

短構文: X25.008 call req prot not supprtd nt *network ID*, *x25\_source*-> *x25\_destination* cud= *call\_user\_data*

長構文: X25.008 call request protocol not supported network index *network ID*, calling dte *x25\_source* -> called dte *x25\_destination* with call user data *call\_user\_data*

説明: X.25 ネットワーク・ハンドラーが受信したコール・リクエストに、サポートされないプロトコルが指示されています。

---

**X25.009**

レベル: UI-ERROR

短構文: X25.009 No heap for nt *network ID*

長構文: X25.009 Insufficient heap to complete initialization of network *network ID*

説明: X.25 ネットワークは、PVC の数、PVC 範囲のサイズ、および程度の小さいものでは、定義されるアドレスの数、使用可能なプロトコル、および SVC 範囲のサイズに基づいた量の、かなり大量のヒープ記憶域を初期化のために必要とします。この記憶域が使用可能でない場合、X.25 を実行することができません。インターフェースは、自身を使用不可にし、使用不可状態のままになります。

処置: X.25 テーブルのサイズ、またはルーター内のその他の構成可能なテーブル (ルーティング・テーブル) のサイズを減らすことを検討してください。

---

**X25.010**

レベル: CI-ERROR

短構文: X25.010 net int dwn nt *network ID*

長構文: X25.010 network interface went down network index *network ID*

説明: X.25 ネットワーク・ハンドラーが、ネットワーク・インターフェースがダウン状態に移行しているのを検出しました。ハンドラーは短期間モニターした後で、その状態をプロトコル転送機能に通知します。

---

**Panic x25intm**

短構文: X25: net intf mismatch

説明: X.25 データ構造 "ネット" が X.25 関連ではありません。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

**Panic x25iprt**

短構文: X25: unsuppt prt drng init

説明: X.25 ネットワーク・ハンドラーが、初期化時に、サポートされないプロトコルを検出しました。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

**Panic x25imem**

短構文: X25: mem alloc fld

説明: X.25 ネットワーク・ハンドラーが、初期化フェーズで、十分な記憶域を割り振るのに失敗しました。

処置: サービス技術員に連絡してください。

---

## 第136章 X.25 ネットワーク・インターフェース・フレーム・レイヤー (X252)

この章では、X.25 ネットワーク・インターフェース・フレーム・レイヤー (X252) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### X252.003

レベル: C-INFO

短構文: X252.003 frm lyr up nt *network ID*

長構文: X252.003 Frame layer up network *network ID*

説明: フレーム・レイヤーがアップになっています。

---

### X252.004

レベル: C-INFO

短構文: X252.004 frm lyr dn reason *reason nt network ID*

長構文: X252.004 Frame layer down reason *reason network network ID*

説明: フレーム・レイヤーがダウンしています。

---

### X252.005

レベル: P-TRACE

短構文: X252.005 I-frm rxd nt *network ID*

長構文: X252.005 I-frame received from network *network ID*

説明: ネットワークから正常な I フレームを受信しました。

---

### X252.006

レベル: P-TRACE

短構文: X252.006 I-frm txd nt *network ID*

長構文: X252.006 I-frame transmitted to network *network ID*

説明: ネットワークに正常な I フレームを送信しました。

---

### X252.007

レベル: P-TRACE

短構文: X252.007 rr rxd nt *network ID*

長構文: X252.007 rr received from network *network ID*

説明: ネットワークからフレーム・レイヤー RR を受信しました。

---

### X252.008

レベル: P-TRACE

短構文: X252.008 rr txd nt *network ID*

長構文: X252.008 rr transmitted to network *network ID*

説明: ネットワークにフレーム・レイヤー RR を送信しました。

---

### X252.009

レベル: P-TRACE

短構文: X252.009 rnr rxd nt *network ID*

長構文: X252.009 rnr received from network *network ID*

説明: ネットワークからフレーム・レイヤー RNR を受信しました。

---

### X252.010

レベル: P-TRACE

短構文: X252.010 rnr txd nt *network ID*

長構文: X252.010 rnr transmitted to network *network ID*

説明: ネットワークにフレーム・レイヤー RNR を送信しました。

---

### X252.011

レベル: P-TRACE

短構文: X252.011 rej rxd nt *network ID*

長構文: X252.011 rej received from network *network ID*

説明: ネットワークからフレーム・レイヤー拒否を受信しました。

---

**X252.012**

レベル: P-TRACE

短構文: X252.012 rej txd nt *network ID*

長構文: X252.012 rej transmitted to network *network ID*

説明: ネットワークにフレーム・レイヤー拒否を送信しました。

---

**X252.013**

レベル: P-TRACE

短構文: X252.013 sabme rxd nt *network ID*

長構文: X252.013 sabme received from network *network ID*

説明: ネットワークから SABME フレームを受信しました。

---

**X252.014**

レベル: P-TRACE

短構文: X252.014 sabme txd nt *network ID*

長構文: X252.014 sabme transmitted to network *network ID*

説明: ネットワークに SABME フレームを送信しました。

---

**X252.015**

レベル: P-TRACE

短構文: X252.015 sabm rxd nt *network ID*

長構文: X252.015 sabm received from network *network ID*

説明: ネットワークから SABM フレームを受信しました。

---

**X252.016**

レベル: P-TRACE

短構文: X252.016 sabm txd nt *network ID*

長構文: X252.016 sabm transmitted to network *network ID*

説明: ネットワークに SABM フレームを送信しました。

---

---

**X252.017**

レベル: P-TRACE

短構文: X252.017 disc rxd nt *network ID*

長構文: X252.017 disc received from network *network ID*

説明: ネットワークから DISC フレームを受信しました。

---

**X252.018**

レベル: P-TRACE

短構文: X252.018 disc txd nt *network ID*

長構文: X252.018 disc transmitted to network *network ID*

説明: ネットワークに DISC フレームを送信しました。

---

**X252.019**

レベル: P-TRACE

短構文: X252.019 dm rxd nt *network ID*

長構文: X252.019 dm received from network *network ID*

説明: ネットワークから DM フレームを受信しました。

---

**X252.020**

レベル: P-TRACE

短構文: X252.020 dm txd nt *network ID*

長構文: X252.020 dm transmitted to network *network ID*

説明: ネットワークに DM フレームを送信しました。

---

**X252.021**

レベル: P-TRACE

短構文: X252.021 ua rxd nt *network ID*

長構文: X252.021 ua received from network *network ID*

説明: ネットワークから UA フレームを受信しました。

---

---

**X252.022**

レベル: P-TRACE

短構文: X252.022 ua txd nt *network ID*

長構文: X252.022 ua transmitted to network *network ID*

説明: ネットワークに UA フレームを送信しました。

---

**X252.026**

レベル: UE-ERROR

短構文: X252.026 frmr I-frm too lng txd nt *network ID*

長構文: X252.026 frame reject for I-frame too long  
transmitted to network *network ID*

説明: ネットワークに、I フレームが長過ぎることを示すフレーム拒否を送信しました。

---

**X252.027**

レベル: UE-ERROR

短構文: X252.027 frmr N(R) invld rxd nt *network ID*

長構文: X252.027 frame reject for N(R) invalid received  
from network *network ID*

説明: ネットワークから、無効な N(R) を受信したことを示すフレーム拒否を受信しました。

---

**X252.028**

レベル: UE-ERROR

短構文: X252.028 frmr N(R) invld txd nt *network ID*

長構文: X252.028 frame reject for N(R) invalid  
transmitted to network *network ID*

説明: ネットワークに、無効な N(R) を受信したことを示すフレーム拒否を送信しました。

---

**X252.033**

レベル: C-INFO

短構文: X252.033 t2 tmr exp nt *network ID*

長構文: X252.033 T2 timer expired network *network ID*

説明: 指定のネットワークの T2 タイマーが満了しました。





---

## 第137章 X.25 ネットワーク・インターフェース・パケット・レイヤー (X253)

この章では、X.25 ネットワーク・インターフェース・パケット・レイヤー (X253) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### X253.003

レベル: C-INFO

短構文: X253.003 pkt lyr up nt *network ID*

長構文: X253.003 Packet layer up network *network ID*

説明: パケット・レイヤーはアップになっています。

---

### X253.004

レベル: C-INFO

短構文: X253.004 pkt lyr dn reason *reason* nt *network ID*

長構文: X253.004 Packet layer down reason *reason* network *network ID*

説明: パケット・レイヤーはダウンしています。

---

### X253.005

レベル: P-TRACE

短構文: X253.005 data pkt rxd lcn *lcn* nt *network ID*

長構文: X253.005 Data Packet received on lcn *lcn* from network *network ID*

説明: ネットワークから正常なデータ・パケットを受信しました。

---

### X253.006

レベル: P-TRACE

短構文: X253.006 data pkt txd lcn *lcn* nt *network ID*

長構文: X253.006 Data Packet transmitted on lcn *lcn* to network *network ID*

説明: ネットワークに正常なデータ・パケットを送信しました。

---

### X253.007

レベル: P-TRACE

短構文: X253.007 call ind rxd lcn *lcn* nt *network ID*

長構文: X253.007 Call indication received for lcn *lcn* from network *network ID*

説明: ネットワークから、指定の LCN のコール指示を受信しました。

---

### X253.008

レベル: P-TRACE

短構文: X253.008 cll rq txd lcn *lcn* nt *network ID* with calling dte *calling\_dte\_addr* and called dte *called\_dte\_addr* facilities *facilities* call\_user\_data cud

長構文: X253.008 Call request packet transmitted for lcn *lcn* network *network ID* from calling dte *calling\_dte\_addr* to called dte *called\_dte\_addr* facilities *facilities* call\_user\_data cud

説明: ネットワークに、指定の LCN のコール・リクエストを送信しました。

---

### X253.009

レベル: P-TRACE

短構文: X253.009 cll cnf rxd lcn *lcn* nt *network ID*

長構文: X253.009 Call Confirmation Packet received for lcn *lcn* network *network ID*

説明: ネットワークから、指定の LCN のコール確認を受信しました。

---

### X253.010

レベル: P-TRACE

短構文: X253.010 cll acpt txd lcn *lcn* nt *network ID*

長構文: X253.010 Call Accepted Packet transmitted for lcn *lcn* network *network ID*

説明: ネットワークに、指定の LCN のコール受付を送信しました。

---

### X253.011

レベル: P-TRACE

短構文: X253.011 rr rxd lcn *lcn* nt *network ID*

長構文: X253.011 RR Packet received for lcn *lcn* network *network ID*

説明: ネットワークから、指定の LCN の RR を受信しました。

---

#### X253.012

レベル: P-TRACE

短構文: X253.012 rr txd lcn *lcn* nt *network ID*

長構文: X253.012 RR Packet transmitted for lcn *lcn* network *network ID*

説明: ネットワークに、指定の LCN の RR を送信しました。

---

#### X253.013

レベル: P-TRACE

短構文: X253.013 rnr rxd lcn *lcn* nt *network ID*

長構文: X253.013 RNR Packet received for lcn *lcn* network *network ID*

説明: ネットワークから、指定の LCN の RNR を受信しました。

---

#### X253.014

レベル: P-TRACE

短構文: X253.014 rnr txd lcn *lcn* nt *network ID*

長構文: X253.014 RNR Packet transmitted for lcn *lcn* network *network ID*

説明: ネットワークに、指定の LCN の RNR を送信しました。

---

#### X253.017

レベル: P-TRACE

短構文: X253.017 clr rq rxd lcn *lcn* cse *clearing\_cause* diag *clearing\_diagnostic* nt *network ID*

長構文: X253.017 Clear request received for lcn *lcn* cause *clearing\_cause* diagnostic *clearing\_diagnostic* network *network ID*

説明: ネットワークから、指定の LCN の復旧要求を受信しました。

---

#### X253.018

レベル: P-TRACE

短構文: X253.018 clr rq txd lcn *lcn* cse *clearing\_cause* diag *clearing\_diagnostic* nt *network ID*

長構文: X253.018 Clear request transmitted for lcn *lcn* cause *clearing\_cause* diagnostic *clearing\_diagnostic* network *network ID*

説明: ネットワークに、指定の LCN の復旧要求を送信しました。

---

#### X253.019

レベル: P-TRACE

短構文: X253.019 clr cnf rxd lcn *lcn* nt *network ID*

長構文: X253.019 Clear confirm received for lcn *lcn* network *network ID*

説明: ネットワークから、指定の LCN の復旧確認を受信しました。

---

#### X253.020

レベル: P-TRACE

短構文: X253.020 clr cnf txd lcn *lcn* nt *network ID*

長構文: X253.020 Clear confirm transmitted to lcn *lcn* network *network ID*

説明: ネットワークに、指定の LCN の復旧確認を送信しました。

---

#### X253.023

レベル: P-TRACE

短構文: X253.023 rset rxd lcn *lcn* cse *reset\_cause* diag *reset\_diagnostic* nt *network ID*

長構文: X253.023 Reset received for lcn *lcn* cause *reset\_cause* diagnostic *reset\_diagnostic* network *network ID*

説明: ネットワークから、指定の LCN のリセットを受信しました。

---

#### X253.024

レベル: P-TRACE

短構文: X253.024 rset txd lcn *lcn* cse *reset\_cause* diag *reset\_diagnostic* nt *network ID*

長構文: X253.024 Reset transmitted for lcn *lcn* cause *reset\_cause* diagnostic *reset\_diagnostic* network *network ID*

説明: ネットワークに、指定の LCN のリセットを送信しました。

---

**X253.025**

レベル: P-TRACE

短構文: X253.025 rset cnf rxd lcn *lcn* nt *network ID*

長構文: X253.025 Reset confirm received for lcn *lcn* network *network ID*

説明: ネットワークから、指定の LCN のリセット確認を受信しました。

---

**X253.026**

レベル: P-TRACE

短構文: X253.026 rset cnf txd lcn *lcn* nt *network ID*

長構文: X253.026 Reset confirm transmitted for lcn *lcn* network *network ID*

説明: ネットワークに、指定の LCN のリセット確認を送信しました。

---

**X253.027**

レベル: P-TRACE

短構文: X253.027 rsttr rxd lcn *lcn* cse *restart\_cause* diag *restart\_diagnostic* nt *network ID*

長構文: X253.027 Restart received lcn *lcn* cause *restart\_cause* diagnostic *restart\_diagnostic* network *network ID*

説明: ネットワークから、再始動を受信しました。

---

**X253.028**

レベル: P-TRACE

短構文: X253.028 rsttr txd lcn *lcn* cse *restart\_cause* diag *restart\_diagnostic* nt *network ID*

長構文: X253.028 Restart transmitted lcn *lcn* cause *restart\_cause* diagnostic *restart\_diagnostic* network *network ID*

説明: ネットワークに、再始動を送信しました。

---

**X253.029**

レベル: P-TRACE

短構文: X253.029 rsttr cnf rxd lcn *lcn* nt *network ID*

長構文: X253.029 Restart confirm received lcn *lcn* network *network ID*

説明: ネットワークから、再始動確認を受信しました。

---

---

**X253.030**

レベル: P-TRACE

短構文: X253.030 rsttr cnf txd lcn *lcn* nt *network ID*

長構文: X253.030 Restart confirm transmitted lcn *lcn* network *network ID*

説明: ネットワークに、再始動確認を送信しました。

---

**X253.031**

レベル: P-TRACE

短構文: X253.031 diag txd diag cde *diagnostic\_code* nt *network ID*

長構文: X253.031 Diagnostic transmitted diagnostic code *diagnostic\_code* network *network ID*

説明: ネットワークに、診断パケットを送信しました。

---

**X253.032**

レベル: P-TRACE

短構文: X253.032 diag rxd diag cde *diagnostic\_code* nt *network ID*

長構文: X253.032 Diagnostic received diagnostic code *diagnostic\_code* network *network ID*

説明: ネットワークから、診断パケットを受信しました。

---

**X253.033**

レベル: C-INFO

短構文: X253.033 rsttr tmr exp lcn *lcn* nt *network ID*

長構文: X253.033 Restart timer expired lcn *lcn* network *network ID*

説明: 指定のネットワークの再始動タイマーが満了しました。

---

**X253.040**

レベル: U-INFO

短構文: X253.040 lost data - excessive X.25 mbit processing lcn *network ID*/

長構文: X253.040 lost data - excessive X.25 mbit processing lcn *network ID*/

説明: X.25 の M ビット処理で要求されているバッファの数が多過ぎます。パケット・サイズおよび MTU サイズの構成パラメーターを微調整して、パケットを大

---

きくするか、メッセージ・サイズを小さくするか、いずれかです。

---

**X253.041**

レベル: U-INFO

短構文: X253.041 *lcn expired on lcn network ID/*

長構文: X253.041 *lcn expired on lcn network ID/*

説明: パケット・レイヤー・タイマーが満了しました。示されている回線がリセットまたは切断されている可能性があります。

---

**X253.042**

レベル: P-TRACE

短構文: X253.042 *call ind rxd lcn lcn nt network ID with calling\_dte calling\_dte\_addr and called\_dte called\_dte\_addr facilities facilities call\_user\_data cud*

長構文: X253.042 *Call indication received for lcn lcn from network network ID from calling\_dte calling\_dte\_addr to called\_dte called\_dte\_addr facilities facilities call\_user\_data cud*

説明: ネットワークから、指定の LCN のコール指示を受信しました。

---

**X253.043**

レベル: U-INFO

短構文: X253.043 *peer\_DTE\_addr for DTE addr network ID/ buffers\_returned buffers returned*

長構文: X253.043 *peer\_DTE\_addr for DTE addr network ID/ buffers\_returned buffers returned*

説明: パケット・レイヤー・タイマーが満了しました。処理されるデータがないので、バッファが戻されました。

---

## 第138章 X.25 ネットワーク・インターフェース物理レイヤー (X251)

この章では、X.25 ネットワーク・インターフェース物理レイヤー (X251) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### X251.001

レベル: C-INFO

短構文: X251.001 Mdm sts chg: DSR/DCD/CTS *DSR/DCD/CTS* nt *network ID*

長構文: X251.001 Modem status changed DSR = *DSR* DCD = *DCD* CTS = *CTS* on network *network ID*

説明: (入力) モデム制御信号が変りました。入力信号の現在の状態は、示されているとおりです。

---

### X251.003

レベル: C-INFO

短構文: X251.003 Srl prt up, nt *network ID*

長構文: X251.003 Serial port came up sucessfully, on network *network ID*

説明: ロードおよび初期化の結果は、x25\_s2 ルーチンにとって成功でした。

---

### X251.004

レベル: UI-ERROR

短構文: X251.004 TxComp Rsys Schd fil nt *network ID*

長構文: X251.004 Rsys ring full on Transmit complete: network *network ID*

説明: 内部スケジューラー・リングがいっぱいであったため、X.25 のフレーム・レイヤーへの送信完了通知を待ち行列化しようとする試みが失敗しました。これは、バッファの消失を引き起こします。

---

### X251.006

レベル: CE\_ERROR

短構文: X251.006 RxOvr nt *network ID*

長構文: X251.006 Receiver overrun: frame too long network *network ID*

説明: 正しい CRC をもつフレームを受信しましたが、(構成された) 最大長を超えていました。

---

### X251.007

レベル: CE\_ERROR

短構文: X251.007 RxErr st *status* nt *network ID*

長構文: X251.007 Receiver error: Erroneous frame (driver status *status*) received on network *network ID*

説明: エラーのある (CRC が正しくない、モデム信号がダウンなど) フレームを受信しました。

---

### X251.008

レベル: C-INFO

短構文: X251.008 Frm Rxd nt *network ID*

長構文: X251.008 Frame received from network *network ID*

説明: ネットワークから、正しいフレームを受信しました。

---

### X251.009

レベル: CE-ERROR

短構文: X251.009 Frm Tx Flsh nt *network ID*

長構文: X251.009 Outbound frame flushed on network *network ID*

説明: プロトコルの状態または事象が原因で、フレームの転送が打ち切られました。

---

### X251.010

レベル: CE-ERROR

短構文: X251.010 Frm Txd Fail st *status* nt *network ID*

長構文: X251.010 Frame transmission failed, status *status*, on network *network ID*

説明: ネットワークへのフレームの転送が失敗しました。ドライバーが、指定の状況に戻しました。



---

**X251.011**

レベル: C-INFO

短構文: X251.011 Frm Txd nt *network ID*

長構文: X251.011 Frame sucessfully transmitted to  
network *network ID*

説明: フレームは、正常にネットワークに転送されました。

---

**X251.012**

レベル: CI-ERROR

短構文: X251.012 Cfg err nt *network ID*

長構文: X251.012 Configuration error on network index  
*network ID*

説明: データが欠落しているか、ネットワーク構成に矛盾があるために、X.25 ネットワーク・ハンドラーは初期化を継続することができません。ノード・アドレス、バーチャル・サーキットの範囲、および PVC 割り当て (もしあれば) を検査してください。

---

**X251.013**

レベル: CE-ERROR

短構文: X251.013 Tx flsh cmp *network ID*

長構文: X251.013 Outbound buffer flush completed by  
driver on network *network ID*

説明: プロトコルの事象により、フレーム・レイヤーは、ドライバーのために待ち行列化されているすべてのバッファをフラッシュすることが必要になりました。フラッシュ・コマンドを出して、これを行います。ドライバーは、フラッシュされる最後のバッファにマークを付け、そのバッファがこのメッセージを生成します。

---

## 第139章 TCP/IP を介する X.25 トランスポート (XTP)

この章では、TCP/IP を介する X.25 トランスポート (XTP) メッセージについて説明します。メッセージの内容およびメッセージの使用方法についての説明は、「はじめに」の章を参照してください。

---

### XTP.002

レベル: U-INFO

短構文: XTP.002 q overflow, nt *network ID*

長構文: XTP.002 Queue overflow on packet from net *network ID*

説明: このメッセージは、入力待ち行列オーバーフローのために、転送機能がパケットを廃棄する場合に生成されます。

原因: 入力待ち行列オーバーフローは、バッファが不足しているインターフェースからパケットを受信し、しかも XTP 待ち行列の長さが公平シェアより大きい場合に発生します。原因は、バースト状態または定常状態で、XTP 転送機能の伝送能力より速くトラフィックが到着していることが考えられます。

処置: トラフィックのバーストを減らしてください。より高速なルーターにアップグレードしてください。

---

### XTP.005

レベル: UI-ERROR

短構文: XTP.005 invalid tcp msg type recvd

長構文: XTP.005 Undefined message received on TCP

説明: 受信された TCP メッセージが、定義されているものではありません。

---

### XTP.006

レベル: U-INFO

短構文: XTP.006 called dte *dteaddr*, in call req from peer *ipaddr* not configured

長構文: XTP.006 Called DTE *dteaddr*, in CALL REQUEST from peer *ipaddr* is not configured on any interface.

説明: コールする必要がある DTE が、どのインターフェース上でも構成されていません。

---

### XTP.007

レベル: UI-ERROR

短構文: XTP.007 call req to dte *dteaddr*, from peer

*ipaddr*, failed with diag *clearing\_diagnostic*

長構文: XTP.007 Call request to DTE *dteaddr*, from peer *ipaddr*, failed with diagnostic *clearing\_diagnostic*

説明: DTE に対して行われたコール・リクエストが失敗しました。

---

### XTP.008

レベル: U-INFO

短構文: XTP.008 tcp pkt or x25 pkt has invalid cktid

長構文: XTP.008 We received a tcp packet or an x.25 pkt with invalid circuit id in it.

説明: これは単なる整理段階である可能性があり、おそらく何の影響も及ぼしません。

---

### XTP.009

レベル: UI-ERROR

短構文: XTP.009 tcp pkt alloc failed

長構文: XTP.009 Memory allocation for XTP tcp packet failed

説明: XTP の TCP パケットの割り振りに失敗しました。

---

### XTP.010

レベル: UI-ERROR

短構文: XTP.010 unkn x25 data type recvd in tcp pkt

長構文: XTP.010 X.25 data encapsulated in TCP packet is neither Q nor U data.

説明: TCP メッセージに含まれている X.25 データが無効です。

---

### XTP.011

レベル: UI-ERROR

短構文: XTP.011 data xfer req from peer *ipaddr* on an inactive x25 ckt

長構文: XTP.011 TCP Request from peer *ipaddr* to send data on an inactive X.25 circuit is received.

説明: X.25 回線が活動状態ではないために、X.25 回線を介してデータを送信できません。

---

#### XTP.012

レベル: UI-ERROR

短構文: XTP.012 data xfer req from peer *ipaddr*, on nt *network ID* failed

長構文: XTP.012 Data from peer *ipaddr*, could not be sent on net *network ID*

説明: X.25 回線を介してデータを送信できませんでした。

---

#### XTP.013

レベル: UI-ERROR

短構文: XTP.013 mem alloc failed in *function\_name*

長構文: XTP.013 Memory allocation failed in function *function\_name*

説明: 記憶域の割り振りができませんでした。

---

#### XTP.014

レベル: UI-ERROR

短構文: XTP.014 *network ID*

長構文: XTP.014 *network ID*

説明: XTP の総称デバッグ・メッセージ

---

#### XTP.015

レベル: UI-ERROR

短構文: XTP.015 call req from rmt dte *dteaddr*, on peer *ipaddr*, to local dte *dteaddr* failed

長構文: XTP.015 Call request from DTE *dteaddr*, configured on peer *ipaddr*, to local DTE *dteaddr* failed

説明: X.25 コール・リクエストが失敗しました。

---

#### XTP.017

レベル: U-INFO

短構文: XTP.017 xtp init successful

長構文: XTP.017 XTP forwarder initialization on the router is successful

説明: XTP 転送機能が正常に初期化されました。

---

#### XTP.019

レベル: UI-ERROR

短構文: XTP.019 multiple dtes configured on dce interface *interface*

長構文: XTP.019 More than one DTE has been configured on DCE interface *interface*

説明: 装置タイプ DCE のインターフェース上で、複数の DTE が構成されています。

---

#### XTP.020

レベル: UI-ERROR

短構文: XTP.020 internal ip addr not set

長構文: XTP.020 The internal IP address has not been set in IP config

説明: ルーターの内部 IP アドレスが設定されていません。

処置: IP 構成で内部 IP アドレスを設定してください。

---

#### XTP.021

レベル: U-INFO

短構文: XTP.021 net dwn, nt *network ID*

長構文: XTP.021 net down for net *network ID*

説明: このメッセージは、ネットワークがダウンした場合に生成されます。

---

#### XTP.022

レベル: UI-ERROR

短構文: XTP.022 pvc req for unconfigured local dte or lcn *dteaddr*

長構文: XTP.022 A PVC is configured for a unconfigured local DTE or lcn *dteaddr*

説明: ローカル DTE または LCN を構成します。

---

#### XTP.023

レベル: UI-ERROR

短構文: XTP.023 excess pvcs configured

長構文: XTP.023 The number of PVCs configured exceeds the limit

説明: 定義されている限界以上の数の PVC が構成されています。

---

**XTP.024**

レベル: UI-ERROR

短構文: XTP.024 recv on null tcb

長構文: XTP.024 Receive posted on null tcb

説明: ヌル TCB 上に受信が通知されました。

---

**XTP.025**

レベル: UI-ERROR

短構文: XTP.025 null iob recvd on tcp

長構文: XTP.025 The iob received on TCP is null

説明: ヌル IOB が TCP を介して受信されました。

---

**XTP.026**

レベル: UI-ERROR

短構文: XTP.026 tcp post rcv failed

長構文: XTP.026 The receive posted by TCP failed

説明: データを入手するために TCP によって通知された受信が失敗しました。

---

**XTP.027**

レベル: UI-ERROR

短構文: XTP.027 xtp\_tcp hdr rcvd from peer *ipaddr*, has invalid msg size *msg\_size*

長構文: XTP.027 xtp\_tcp header received from peer *ipaddr*, has an invalid message size *msg\_size*.

説明: xtp\_tcp ヘッダー内のメッセージのサイズが無効です。

---

**XTP.028**

レベル: UI-ERROR

短構文: XTP.028 null apphnd in tcbp, TCP cnn to peer *ipaddr* is down

長構文: XTP.028 null apphnd in tcbp, TCP cnn to peer *ipaddr* is down.

説明: TCP 制御ブロック内の回線 ID がヌルです。ただし、TCP 回線に関するデータはあります。アプリケーション・ハンドルが TCBP 内で NULL です。対応するピア・ルーターへの TCP 接続が、そこからのデータの到着直後にダウンしたという事実によるものと思われる。このメッセージの直前に XTP.56 メッセージがログに記録された場合は、これは通常発生する事象です。

---

---

**XTP.029**

レベル: UI-ERROR

短構文: XTP.029 tcp sess to peer *ipaddr* is reset

長構文: XTP.029 The TCP session to peer *ipaddr* is being reset

説明: TCP セッションがリセットされています。

---

**XTP.030**

レベル: UI-ERROR

短構文: XTP.030 tcp send to peer *ipaddr* failed

長構文: XTP.030 TCP send to peer *ipaddr* failed

説明: データを送信するための TCP コールが失敗しました。

---

**XTP.031**

レベル: UI-ERROR

短構文: XTP.031 x25 api reg failed on int *interface*

長構文: XTP.031 Registration with the X.25 service failed on interface *interface*

説明: X.25 サービスに登録するための X.25 API コールが失敗しました。

---

**XTP.032**

レベル: U-INFO

短構文: XTP.032 xtp listening on tcp port *port*

長構文: XTP.032 TCP component of XTP did a passive open on tcp port *port*

説明: XTP TCP モジュールが、受動オープンを正常に行いました。

---

**XTP.033**

レベル: UI-ERROR

短構文: XTP.033 xtp passive open failed on tcp port *port*

長構文: XTP.033 TCP component of XTP did a passive open on port *port* which failed

説明: XTP TCP モジュールが、受動オープンに失敗しました。

---

---

**XTP.034**

レベル: U-INFO

短構文: XTP.034 xtp active open from *ipaddr*

長構文: XTP.034 TCP component of XTP did a active open from *ipaddr*

説明: XTP TCP モジュールが、能動オープンを正常に行いました。

---

**XTP.035**

レベル: UI-ERROR

短構文: XTP.035 xtp tcp active open from *ipaddr* failed

長構文: XTP.035 TCP component of XTP did a failed active open from *ipaddr*

説明: XTP TCP モジュールが、能動オープンに失敗しました。

---

**XTP.036**

レベル: U-INFO

短構文: XTP.036 tcp cnn from unconfigured peer *ipaddr* not accepted

長構文: XTP.036 TCP connection from unconfigured peer *ipaddr* not accepted

説明: 受信した接続要求の送信元のルーターが、ピア・ルーターとして構成されていません。

---

**XTP.037**

レベル: UI-ERROR

短構文: XTP.037 rtr with greater IP addr *ipaddr* - an error

長構文: XTP.037 Some how an router with greater IP address does an active open, against the design. src *ipaddr*

説明: 大きい方の IP アドレスからの能動オープンが、小さい方の IP アドレスで受信されました。これはエラーです。

---

**XTP.038**

レベル: U-INFO

短構文: XTP.038 closing prev tcp cnn to peer *ipaddr*

長構文: XTP.038 Closing previously opened TCP connection to *ipaddr*

---

説明: 以前にオープンされた TCP 接続がクローズされています。

---

**XTP.039**

レベル: U-INFO

短構文: XTP.039 tcp cnn estab from *ipaddr*

長構文: XTP.039 TCP connection established between *ipaddr*

説明: ピア・ルーターの間で TCP 接続が確立されています。

---

**XTP.041**

レベル: U-INFO

短構文: XTP.041 tcp msg *msg\_type*, sent to router *ipaddr*, which has *unss* messages queued

長構文: XTP.041 TCP packet containing message *msg\_type*, is sent to router *ipaddr*, which has *unss* messages queued.

説明: TCP メッセージが送信されています。単なるログ。

---

**XTP.042**

レベル: U-INFO

短構文: XTP.042 tcp msg *Network ID*

長構文: XTP.042 TCP packet containing message *Network ID*

説明: TCP メッセージが受信されました。単なるログ。

---

**XTP.043**

レベル: UI-ERROR

短構文: XTP.043 tcp cnn to *Network ID*

長構文: XTP.043 TCP connection to *Network ID* has reached limit.

説明: 1 つの TCP 接続が複数の SVC を処理しているときに、SVC を通じたデータの到着が速過ぎる場合、通信量が多過ぎるために TCP 接続はトラフィックを処理できません。

---

**XTP.044**

レベル: U-INFO

短構文: XTP.044 peer *ipaddr* closed tcp cnn

---

長構文: XTP.044 Remote host *ipaddr* has closed the TCP connection.

説明: 接続がクローズされました。整理を行います。

---

#### XTP.045

レベル: U-INFO

短構文: XTP.045 appln handle in tcbp retn from tcp NULL

長構文: XTP.045 In a TCP upcall we found that application handle for a TCP connection is NULL

説明: これは、それほど大きなエラーにはなりません。

---

#### XTP.046

レベル: UI-ERROR

短構文: XTP.046 invalid message size *msg\_size* requested for transport on TCP

長構文: XTP.046 The message size *msg\_size* requested by X.25 for transport on TCP is invalid.

説明: X.25 でのメッセージ・サイズを検査してください。

---

#### XTP.047

レベル: UI-ERROR

短構文: XTP.047 request to send on a non-established TCP connection

長構文: XTP.047 You got a request to forward either x25 call req, x25 data on a non-established TCP connection.

説明: XTP または X.25 での構成が誤っている可能性があります。

---

#### XTP.048

レベル: UI-ERROR

短構文: XTP.048 invalid tcp cnn, src and dst same - *ipaddr*

長構文: XTP.048 Peer IP address same as the local IP address - *ipaddr*.

説明: XTP での IP アドレスの構成を検査してください。

---

#### XTP.050

レベル: UI-ERROR

短構文: XTP.050 pvc with lcn *lcn* not configured in x25

長構文: XTP.050 PVC with LCN *lcn* is configured in XTP but not in X.25

説明: PVC を X.25 でも定義してください。

---

#### XTP.051

レベル: UI-ERROR

短構文: XTP.051 xtp init not successful on nt *network ID*

長構文: XTP.051 XTP is not successfully initialized on net *network ID*

説明: 問題のインターフェースがダウンしているか、X.25 タイプではない可能性があります。

---

#### XTP.052

レベル: U-INFO

短構文: XTP.052 call req for call *dteaddr*,--> *dteaddr*, cannot be fwd to peer *ipaddr*, no TCP cnn

長構文: XTP.052 An X.25 Call Request from calling DTE *dteaddr*, to called DTE *dteaddr*, cannot be forwarded to peer *ipaddr* since the TCP connection to the peer is not active.

説明: コールされた DTE への接続が、ピア・ルーターへの TCP 接続が現在非活動状態であるために、この時点ではピア・ルーターを通じて確立できません。

---

#### XTP.053

レベル: U-INFO

短構文: XTP.053 call req for call *dteaddr*,--> *dteaddr*, redrive to peer *ipaddr*

長構文: XTP.053 An X.25 Call Request from calling DTE *dteaddr*, to called DTE *dteaddr*, is being re-driven to peer router *ipaddr*.

説明: コールされた DTE への接続が、別のピア・ルーターを通じての前の試みが失敗したために、このピア・ルーターを通じて試みられています。

---



---

**XTP.054**

レベル: U-INFO

短構文: XTP.054 no other peer for call req redrive for call *dteaddr*,--> *dteaddr*

長構文: XTP.054 There are no other available peer routers to attempt a redrive of the X.25 Call Request from calling DTE *dteaddr*, to called DTE *dteaddr*.

説明: コールされた DTE への接続を、別のピア・ルーターを通じて試みることはできません。

---

**XTP.055**

レベル: U-INFO

短構文: XTP.055 call req timeout for call *dteaddr*,--> *dteaddr*, via peer *ipaddr*

長構文: XTP.055 An X.25 Call Request from calling DTE *dteaddr*, to called DTE *dteaddr*, through peer router *ipaddr* timed out.

説明: コールされた DTE への接続がピア・ルーターを通じて試みられていましたが、接続のタイムアウト値までの間に応答がありませんでした。

---

**XTP.056**

レベル: U-INFO

短構文: XTP.056 tcp cnn to peer *ipaddr* has closed

長構文: XTP.056 The TCP connection to remote host *ipaddr* has closed.

説明: リモート・ホストへの TCP 接続がクローズされました。

---

**XTP.057**

レベル: U-INFO

短構文: XTP.057 tcp cnn to peer *ipaddr* closed - no keepalives

長構文: XTP.057 The TCP connection to remote host *ipaddr* has been closed due to a lack of received Keepalive messages.

説明: リモート・ホストからの X.25 トランスポート・キープアライブ・メッセージをこのルーターが現在受信していないため、リモート・ホストへの TCP 接続がクローズされました。

---

**XTP.058**

レベル: U-INFO

短構文: XTP.058 unsupported tcp msg *Network ID*, message dropped

長構文: XTP.058 An unsupported TCP packet containing message *Network ID*, clear sent

説明: サポートされない TCP メッセージを受信しました。このルーターと TCP メッセージを送信したルーターの間に互換性はありません。

---

**XTP.059**

レベル: UI-ERROR

短構文: XTP.059 xtp forcing tcp cnn to *Network ID*

長構文: XTP.059 XTP connection to *Network ID*, has reached limit.

説明: 1 つの XTP 接続が複数の SVC を伝送しているため、X.25 が送信できる速度より速くデータが到着する場合、XTP は TCP/IP 接続をフロー制御する必要があります。

---

**XTP.060**

レベル: UI-ERROR

短構文: XTP.060 XTP exiting flow control on tcp cnn to *Network ID*

長構文: XTP.060 XTP connection to *Network ID*.

説明: 1 つの XTP 接続が複数の SVC を伝送しているため、X.25 が送信できる速度より速くデータが到着する場合、XTP は TCP/IP 接続をフロー制御する必要がありますが、現在 XTP はデータを受信できる状態になっています。





Printed in Japan

SC88-6373-12



日本アイ・ビー・エム株式会社  
〒106-8711 東京都港区六本木3-2-12